

@IT15周年記念企画

# @ITクロニクル

世界の、IT業界の、@ITの15年が見えてくる  
@IT通信1～700号全コラム集



1993年、米クリントン政権が発足して以降、金融とITを軸にした産業構造への変革が進み、その後Windows 95の登場、Eコマースの台頭などを経て、時代はITバブルに突入。その活況冷めやらぬ2000年5月22日の早朝に、技術者のための専門情報サイト「@IT」は産声をあげました。それから15年——皆さまにとって、この15年間はどのような意味や重みを持つ15年だったのでしょうか？

いつも@IT通信をご愛読くださり誠にありがとうございます。2015年5月22日、@ITはおかげさまで15周年を迎えることができました。本Ebookはそれを記念して、2001年にスタートした@IT通信第1号からこれまでの全700号分のメルマガコラムを一冊に再編集してお届けする作品です。

ここには@ITを創設した現スマートニュース株式会社 執行役員／シニア・ヴァイスプレジデントの藤村厚夫氏、@IT初代編集長で現Publickey Blogger in Chiefの新野淳一氏をはじめ、各時代の@IT編集部員、さらには編集部にかかわってきた他部門のスタッフなど、実に多様な“@IT関係者”たちの肉声が収められています。その一人一人が、そのときの社会やIT業界、また日々の生活に何を思ってきたのか？——

メルマガならではの飾らない筆致でしたためられた本コラム群は、ある意味、澄んだ時代の鏡となり、その時代の空気をも感じさせる内容となっています。ITに深く携わっていらっしゃる皆さまにとって、ここに含まれた数々のキーワードやフレーズは、“ご自身の15年”を思うきっかけにもなるのではないのでしょうか。

あのことろ自分は何を考え、何を感じ、何をしていたのか。変化の速いIT業界の中で、何が変わり、何が変わらず、何が繰り返されているのか。ぜひこのタイムマシンでこれまでの15年を振り返り、今後の15年に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(@IT編集長 内野宏信)

※注

- 本文中の情報は全て「掲載時点のもの」としています。
- 本文中に登場するサービスやイベント、コラム執筆者の所属情報なども全て「執筆当時の情報」としています。

## @IT15周年記念企画

# 世界の、IT業界の、@ITの15年が見えてくる： @ITクロニクル 「@IT通信 1～700号 全コラム集」

## 目次

### 2001 年

メールマガジン「@IT通信」配信スタート

「Yahoo!BB」サービス開始・911 米同時多発テロ・「無線 LAN」導入で湧く@IT オフィス

### 2002 年

みずほ銀行誕生。システム障害によるトラブル多発

ソフトウェア開発業空洞化?・911 から 1 年その日を米国で迎える・B フレッツ開通を待ちわびる編集部員

### 2003 年

米国で「iTunes Music Store」開始。価格は一律、1 曲 1 ドル

「FINAL FANTASY XI」に夢中・イラク戦争開戦・@IT 自分戦略研究所オープン

### 2004 年

「Winny」開発者 金子勇氏逮捕、起訴。開発者の倫理観問われる

一億総ブロガー時代来たる?・「世界の中心で、愛をさけぶ」300 万部ヒット・

メモリ 1 ギガバイトの PC を買って大喜びする@IT 社員

### 2005 年

スティーブ・ジョブズ、スタンフォード大学卒業式でスピーチ「Stay hungry, stay foolish」

さよならツーカー・仮面ライダー「響鬼」は音で戦う・@IT×ITmedia 合体 もとい合併

### 2006 年

Web2.0 ブーム。Google、地図サービス「Google Earth」発表

ニンテンドー DS Lite 発売・さよなら交通博物館・編集部 平田の年末ベストソングシリーズスタート

### 2007 年

YouTube 日本語版公開。ユーザーがコンテンツを創る時代に

GPS で自分ログを取る・東京マラソン初開催・アイティメディア上場

@IT15周年記念企画

世界の、IT業界の、@ITの15年が見えてくる：

## @ITクロニクル

# 「@IT通信 1～700号 全コラム集」

## 2008年

第44代米国大統領バラク・オバマ氏、インターネットを駆使して選挙活動  
デジタルデータの寿命・青少年ネット規制法案。可決・サーバ仮想化を夢想する技術部員

## 2009年

Windows 7 販売開始。Twitter ブーム、トラブルも多発

Twitter の次は「Poken」？・お台場に巨大ガンダム出現・おばかアプリ選手権スタート

## 2010年

iPad 販売開始、Windows2000 サポート終了

第二次 Web ブラウザー戦争勃発 (IE シェア 62%)・Twitter ドラマ「素直になれなくて」・  
@IT 編集長「クラウドブームは今年で終わり」と予言

## 2011年

311、MS がクラウドで被災情報ミラーサイト作成、HONDA がカーナビ情報公開

巨星墜つ。スティーブ・ジョブズ死去・東日本大震災・北極星 @IT 創設者 藤村厚夫退社

## 2012年

ファーストサーバ大規模障害。顧客データ消失、データ復旧は不可能

IT 業界に空前の「ろくろ」ブーム・AKB48 が「Google+1」を活用・

「@IT」12年ぶりのリニューアル (やっど) スマホ対応

## 2013年

2013 ソーシャルメディア経由の不始末、通称「バカッター」事件、続発

2045年問題って？・「お・も・て・な・し」2020 東京オリンピック決定・

@IT 編集部員 Windows のフォントに憂う

## 2014年

Windows XP サポート終了、STAPLE 細胞はなかった

Youtuber ブーム・逗子海岸の規制強化・2代目「年末ベストソングシリーズ」誕生 (ただし 80 年代中心)

## 2015年

「@IT」15周年、マイナンバー制度始まる

スマートメーターがやってくる！・サブカル生地に 3D プリンターショップ・「@IT」15周年

2001

## No.001

### 初心者歓迎！入門記事特集 / [コラム] @IT秋葉原通信

2001年5月16日

# [コラム] @チーム秋葉原 電波を飛ばせ！

目的もなくふらりとお店をのぞくのも楽しいですが、買う目的があれば3倍楽しいのがアキバ。

実は、以前から買うなら「これ」と発売当初から狙いをつけていた商品があったのです。発売開始から1カ月程度たち、有名な店舗でもその商品を扱いはじめたのですが、販売価格は4万7000～8000円。これが相場なのかもしれませんが、急いで買う必要があるでなし。気長に待つつもりでkakaku.comのお知らせメールで、4万円を切るまで更新情報を送ってもらうよう登録したところ、1週間ほど前から新価格通知が入る!入る!

とうとう希望価格4万円を切る店が2軒登場したため、買いどきと見切りました。

全店サイトを見て、店頭で販売しているかどうかをチェック。通販も便利だけど、送料と配送時間はかかるし、やっぱり速攻ゲットしたいのが人情というもの。念のため、サイトで情報のあった5軒のうち、アキバで店頭販売している4軒の地図を印刷して、地図の端に価格をメモしました。いっけん周到に見えますが、本当に欲しくて周到な人は通販で買うことでしょう。なぜこんなことをしたのかと言うと、冒頭で話したように、やっぱり目的を持ってアキバに行きたかったんですよ。

案の定、アキバに着いてから地図をもとに歩きまわってみると、最初の2軒は在庫切れ。3軒目と4軒目は最安値ではないけど、通販のときの送料も足すとどちらも割安なので、結局、より安かったほうの3軒目で購入しました。

ここでミッションを達成したので、あとは帰るだけなのですが、商品を受け取ったらシャボン玉がはじけたような気持ちになってしまいました。それに、行きたい店だけチェックして帰るなんて品がない<sup>(\*)</sup>。そこで現在1台持っているMP3プレーヤをつぶれるまでカスタマイズしてもいいように、同じ機種のパックアップを買おうと新たなミッションを自分に与え、某店に向かいました。

(\*1 編集注:なんでやねん)

しかし、狙いをつけていた商品は売り切れ。あきらめがつかずに棚をながめっていると、ワイヤレスオーディオアダプタなる商品が目に入りました。

これは、オーディオ音源を FM 波で飛ばすことにより、ミニコンポなどのスピーカで MP3 などが聞けるというもの。これを買えば、音楽リソースを MD や CD から MP3 に切り替えるために使わなくなったミニコンポを再使用できるではないですか!!

FM 波が入ればいいわけだから、旅行先に持って行って、ホテルのラジオで受信することもできます（そもそも旅行に行く時間あるのかいとか、使わなくなったコンポを売って、もっといい専用スピーカを買えばいいのに、という理性の声は当然無視）。

公共の場はともかく、プライベートな場所でイヤホンを使うのが嫌いな私には、考えれば考えるほどいい思いつきのように思えて、衝動買いしてしまいました。

家に着いてから最初にセットアップしたのは、もちろん、オーディオアダプタのほう。既存のラジオ局と重ならないように（有効範囲 5m では、既存の局と重なると隣人には迷惑かもしれないし）周波数をディップスイッチで設定したら、あとは勝手にやってくれる USB 接続によるセットアップのみ。あっという間に MP3 の音がステレオから流れ出す。ああ、音質でなく、動作したことで単純に感動!!!

エラー音がかぶろうが、アプリケーション起動時に音がワンテンポ遅れようが、PC のノイズを避けるために右側の USB を使用したことによりマウスが左側に来てしまおうが、そんなことは気にしません。

目的があって楽しむアキバもいいですが、ふらりと楽しむアキバもやっぱりいいもんです。結局どっちがいいんじゃーという声をよそに、買えなかった MP3 プレーヤーの購入計画をいそいそと練る私でした。

（事業開発局 三田恵美子）

## No.002

### 実践ノウハウ記事特集 / [コラム] 社長・藤村の真実

2001年5月23日

# [コラム] @IT の真実 社長・藤村の真実

@ IT クラブ・メンバーの皆さん、ごぶさたしています。@ IT 代表の藤村です。いつも@ IT を熱心に読んでいただきありがとうございます。

当サイトは、この 22 日でようやく満 1 歳。最初の誕生日を迎えました。いつもはサボって、コラム原稿から逃げてばかりの私ですが、今回はさすがに「ぜひ書かせて」ということに。

とはいえ、改めて「1 周年、ご愛顧ありがとうございます」では選挙演説みたいで芸がありません。ここはひとつ、極私的に。題して「社長藤村の真実。この 1 年間」。短くはなかった道のりを振り返ってみます。

まず、「この 1 年間、変わったこと」。急激に髪が白くなりました。行きつけの理髪店で「髪、染めましょうよ」って薦められます。

「この 1 年間、学んだこと」。暗算ができるようになりました（笑）。とっさに「まるごとハウマッチ」計算をする機会が増えたのか。

「この 1 年間、悩み続けたこと」。モバイル PC（笑）。デスクトップ PC には帰らないつもりで VAIO C1VJ を使ってきたのですが、Crusoe 600MHz って……。1.7GHz の発熱におぼれてみたくなる最近です。

「この 1 年間、捨ててきたこと」。体脂肪。少々自慢。飲み食い接待をしない（できない？）会社のせいとか、15%まで落とすことに成功。人間ってあさましいです。落としているときだから体脂肪計も買いました。

「この 1 年間、増えたこと」。充実を感じる機会。ウソっぽいですか？ でもホントです。いいスタッフがだんだん集まり、やりたいことの実現が加速していきます。@ IT を見守ってきてくれたメンバーの皆さんに感謝と同時に、ともに頑張ってくれているスタッフや協力者の皆さんに、こんな場所ではありますが、深謝。ではまた 1 年後に（ウソ\*1）。

（代表取締役・藤村厚夫）

(\*1 編集注：いや、意地でも書いてもらいます)



## No.003

### 目指せ! ネットワーク管理者 / [コラム] お菓子サーバの真実

2001年5月30日

# [コラム] @チーム秋葉原 “お菓子”サーバの真実

皆さま、すでにご存知かと思いますが、「@ IT サイト」はこの5月で“一周年”を迎えました。

メンバーの皆さん、支えてくださったスポンサーの皆さんのお蔭でございます。そして残業食を共に食べたスタッフのみんなありがとう!

と、これではコラムが終わってしまいオチのないままなので、1年前の@ IT と現在の@ IT を比較して「@ IT とはなんぞや」に迫っていきたいと思います。

#### 【社員数が増大】

設立当初（2000年2月）は、現在入居しているビルもまだ未完成で、住居用マンション（社長の名誉のために付け加えると、六本木のこじられたマンションではありましたが）で、ダイニングテーブルを囲んで仕事していました。座ったままで皆さんで手がつなげる状態でした。トイレも1つで誰かが入っていると待っていなくてはなりませんでした。だけど、いまは飲み会に全員参加できるような日を設定するのも困難を極めるほどに社員が増えました。そのうえ、いまのオフィスはトイレだって広いので、いつでも行けちゃいます<sup>(\*)</sup>。

#### 【お菓子サーバ】

@ IT で最も重要な主力サーバ<sup>(\*\*)</sup>を導入しました。高度な可用性と優れた拡張性を兼ね備えており、専門のサーバ管理者が置かれ、厳密に運用されています。これにより日々円滑に過不足なくお菓子が行き渡り、かつ新製品のジャンクフードが、もれなく検証できるようなすばらしい環境<sup>(\*\*\*)</sup>が実現されました。

#### 【@ IT を知る人が増えた】

1年前は、社名を名乗ってから会社の業種を説明するのに時間がかかりました。そういえば、2000年初めは「IT」のことを「イット」と呼ぶ首相もいたようなころですから、「IT エンジニアの育成と支援」とかいかっても、響かない人にはさっぱりな反応でした。それがいまや、飲み会に行くと未知の人の中の1人が@ IT を知っていたりと、感激する機会もあります。嬉しいことです。

(\*1) 編集注：オフィスが施設されると自由にトイレに行けなくなるヨーコのことを、リカコはまだ知らなかった

(\*2) 編集注：ただのお菓子置き場である

(\*3) 編集注：ずいぶん勝手な思い込みである

なんだか、まったく「なんぞや」に迫れないうちに文字数がオーバーになってきました。まとめると、とにかく1年前とはまったく違う環境になって（創って）きて、サイトのサービスも格段によくなってきました。

@ IT の本質は設立当初から、「IT エンジニアの育成と支援」のための情報サービスを提供することに変化ありません。

これからもますますの充実と快適な使いごちをご提供していきます——と広報っぽくまとめさせていただきます。

今後ともよろしくです。

(PR & マーケティング 土屋 利佳子)

## No.004

### これであなたもデベロッパ/[コラム]リーナスこぼれ話

2001年6月6日

## [コラム]取材こぼれ話

# マイクロソフトは怖くないが、奥さんは…

先週水曜日のリーナス・トーバルズを囲んで開かれたセッションのニュース<sup>(\*)</sup>、ご覧いただいたでしょうか？ ニュースのタイトルには“渋谷”とありますが、具体的に渋谷のどこかという、HMVでもスクランブル交差点でも、もちろんNHKでもなく、道玄坂にあるオフィスビルです。同じフロア<sup>(\*)</sup>にわが@ ITのオフィスもあります。

あのリーナスが来日したことだけでもすでに事件なのですが、あの記事は@ ITが入居するマークシティビルで開催された2時間のディスカッションのときのものでした。さらに言うと、@ ITのオフィスにも3分ほど足を踏み入れてくれました（このときの写真は忘れたころ<sup>(\*)</sup>に“デジカメレポート”で発表されることでしょう）。

なぜ渋谷なの?についてはこの際、省略します。が、せっくなのでニュースに書かなかった“リーナス@渋谷こぼれ話”を紹介しましょう。

#### 【やっぱりサンダルだった】

登場したリーナスのいでたちはというと、ベージュのポロシャツ（胸にペンギンマークあり）と DOCKERS のチノパン。足元は、靴下に ecco のサンダル! これぞエンジニアの正しい姿（か?）。

#### 【字に自信がない?】

サインを頼む参加者に対して、リーナスはすごく困った顔をして、「自分の字が好きじゃないし、恥ずかしい」。それでも、持参のラップトップや切り抜き記事にサインをもらったラッキーな参加者がいました。

#### 【女性好き?】

自著<sup>(\*)</sup>に“いつも若い女性に囲まれていたい”と書いてあることに触れると、リーナスは、「そうなんだ。でも、妻はその言葉を許してくれないし、認めてくれないんだ」と赤面。この純粹さを見て、リーナスは（相手がコンピュータの場合と違って）こと女性となると器用ではないと勝手に判断しました。間違っても奥さんを裏切るようなことはしないでしょ（実生活でいかに女性に囲まれているかは自伝を読めばわかります。が、書店に行かずとも、Amazon.co.jpに行かずとも、@ ITのニュースのどこかに書かれています）

(\*) 編集注 : <http://www.atmarkit.co.jp/news/200105/31/linus.html>

(\*) 編集注 : 同じビルではなく、同じフロアに来たのである (\*3) 編集注 : 忘れないうちをお願いします

(\*) 筆者注 : リーナスが共著した自伝「それがぼくには楽しかったから」。リーナス来日の目的は@ ITに来ることだけ(?)ではなく、この本のプロモーションのためでもあった。「(日本語版の出版社が) ポケモンと同じで光栄だよ」とは共著者ディビット・ダイヤモンド氏のコメント。

### 【資格に頼るな】

少し真面目な話です。IT 業界にも資格が多く、最近はリナックスでも教育ビジネスが立ちあがりつつある状況に対して、「こんなビジネスが出てくるとは想像もしなかった」とコメント。リーナスは、Linux を教育ビジネスにするには難しいかも、といいながら「僕自身は認定試験には意味はないと思っている。認定試験に合格するよりも“自分が知っていること（=プログラミングできること）”が大切じゃないかな」と言っていました。

### 【最後にスエオカの感想】

リーナスに会える、と分かってから、下調べの意味でいくつか海外のメディアに登場している彼の記事を読みました。そこで思ったこと、「冷ややか」「毒舌」、ひょっとしてマスコミ嫌いかも——。当然、こちらはかなり緊張していたのですが、現れた彼はとてもにこやか、しかも気取りがありません。私は日本語の“オタク”がどんな意味を持つのか分からないので、彼のことをオタクとは言いません。が、とにかくプログラミングが純粋に好きということ、そして好きなものに没頭することが彼にとって、とても大切だということ、これだけは確かに言えそうです。

リーナスのほうはというと、緊張気味だった参加者があまりにおとなしかったことに驚いた様子。セッション後に「すごくシャイだね。フィンランドの人でもシャイだと思ってたけど、それ以上だよ」。

(編集局 末岡 洋子)

## No.005

# インターネットをもっと安全に! / [コラム] チープな満足感?

2001年6月13日

## [コラム] チーム秋葉原 チープな満足感って何?

アコ: また、何か買ったそうですね。

三田: あ、早耳ですね。iPAQ(32MB) を買ってしまいました。実は去年 US で販売直後に実物を見せてもらったことがあり、そのときからちょっと欲しかったのです。

アコ: 物欲炸裂ですか……

三田: 特に使用する目的もないまま、購買意欲と店内在庫が同期してしまったので、3日で飽きてもいいやと思  
い衝動買いしました。

アコ: 剛毅な……

三田: が、すでにうれしいことをいくつか見つけました。まず起動がはやい、一瞬ですよ。それに基本的なアプリ  
も入ってる。MP3 などの大きなファイルは CF カードに逃がせるのでメモリ 32MB でも十分です。会社の  
行き帰りは CF カードを挿して、MP3 として使ってます。

アコ: MP3 プレーヤーに成り下がってしまってるんですか?!

三田: いやー、仕事ではまだ大きな能力を発揮してないけど、会社では PC 拡張カードに LAN カードを挿して、  
メールや会社のホームページをダウンロードしています。外では PHS カードをつなげてワイヤレスに通信、  
といってもこれはまだ自宅でテストした程度にしか使っていませんが。今後の予定としては、Intelli Sync の  
Pocket PC 版が出るのを待って、ノーツの予定やタスクを同期させれば完璧です。

アコ: ……なにがどうカンペキなんでしょ? ほかの PDA は検討しなかったの?

三田: 昔、Palm を持ったことがあるのですが、スケジュールやタスク管理が中心で、どちらもいいかげんな私に  
は向かなかつた (あっこれはオフレコで) と思います。しかも電池は単 4 だし。電池を使うデバイスを購入  
するときは、単 3 電池を使用するのが必須条件で、単 4 電池ではダメですね。単 3 電池でなければ、リチ

ウム電池でも構わないけど。iPAQ は、普通の PC と同じ LAN カード、モデムカード、PHS カードがそのまま利用できるのでチープな満足感も得られます。ほかの Pocket PC なり Windows CE 機はまったく考えず。やはり、チープな満足感、これに尽きるのでしょうか。

**アコ:** チープって、コンパクトの人に怒られそうだな。スケジューラが使いやすいとか、Web が使えて便利とかそういう点で誉めるところはないの？

**三田:** スケジューラは、ノーツ対応のシンクソフトがないので、まだ使ってません。LAN カードを繋げて@ IT のホームページを見てみましたが、速くはないです。本格的に Web を使うなら、サブノートや本物の PC を持ったほうがいいですし、スケジュールやタスク管理が中心なら、Palm のほうが手軽。PC カードのジャケットを着ると、やはりかさばります。ぎりぎり携帯しても苦にならない大きさで、PC と同じようなことができることが魅力ですかね。

**アコ:** ザウルスは検討しなかった？

**三田:** 新しい L1 は CF カードが直挿しできるんですよ～、ホームページ見ながら。H" も対応してるんですね。でも、接続ケーブルは専用で別売り。ブラウザが縦横を切り替えられたり、MP3 が再生できるのはいいけど、PC とは違う別の使い方を覚えなきゃいけない気がします。Windows が使いやすいということではないと思うけれど、なんせ慣れちゃったから。形は似てるけど Palm と iPAQ は競合じゃないと思ってますが、ザウルスと Palm はどうなんでしょう。かぶり具合は多いけど、若干ぶれがあると思いませんか？

**アコ:** 全部、似たようなものにしか思えないです。Palm には見向きもせず、ザウルスは Palm ほど否定的ではないが、いずれにしても iPAQ の足元にも及ばない……ということですか。それって機能とか、使って便利とかで選んでるんじゃないかと、「新しいから」なのでは？

**三田:** バレた。別に Palm を否定しているわけじゃないですよ。それまでは CE のほうを否定していたくらいで。ポケットサイズの Windows で、限られた拡張機器しか使えなさそうな気がしたので。拡張性に惚れた、という大げさです。手持ちのカードがそこそこ使えそう、という雰囲気に乗ったんですね。

**アコ:** チープなのは、「iPAQ が」じゃなくて「三田さんが」ってことですね。

(アコム鈴木／三田恵美子)

## No.006

### データベースを使い倒せ! / [コラム] 迷惑メール、ホントの問題点

2001年6月20日

# [コラム] フォーラム番のひとこと 迷惑メール、ホントの問題点

サービス開始以来、わずか二年余りで、利用者が 2400 万人を超えた NTTドコモの iモードだが、ここに来てトラブルが多発している。そのうちの1つが「迷惑メール」の存在だ。iモードでは、受信メールに対してもパケット料金を払わなければいけないため、迷惑メールの受信者から不満の声があがっていた。これに対応して、NTTドコモでは、毎月最大 400 パケットの通信料を無料とすることを決めた。

では、この迷惑メールはどうやってアドレスを調べて送っているのだろうか。iモードの場合、デフォルトでは、「電話番号 @docomo.ne.jp」がメールアドレスとなっているため、「090」の後ろに 8 桁の数字をつければ、それで自動的に生成されてしまう（正確には次の 3 桁でキャリア種別などもあるが……）。これに対しては、7 月以降、電話番号アドレスを廃止することで対応した。

これにより迷惑メールが来なくなるかという点、問題はそう単純ではない。すでに、ありがちな名前のアルファベット（例えば hiro）と記号や数字の組み合わせを生成するようなプログラムも出回り始めているという。実際、Google で「メールアドレス収集ソフト」をキーにすれば……お分かりいただけるであろう。

そして、iモードの迷惑メールで問題となるのは、インターネットのメールとは違いヘッダ部分がほとんど削られてしまうため、どこから送られてきたのかの追跡がまず不可能だということだ。

みなさんはこのような状況をどう思いますか？

(M3)

No.007

ブロードバンド時代に備えよう!/[コラム]ジョブ&ラーニングの真実

2001年6月27日

[コラム]@ITの真実

# 「ジョブ エージェント」 「ラーニング デスク」の真実 (とお薦めのメルマガ)

@ IT クラブのみなさん、こんにちは。

5月22日から始めました新しいサービス「@ IT ジョブ エージェント」「@ IT ラーニング デスク」を担当しています小林と申します。

この2つのサービスは、@ IT 設立当初から“漠然と計画”されていて、記事で学習→掲示板でナレッジ共有→ラーニングコースでスキルアップ→キャリアアップ、という一連の流れをご提供しようというものです。

“漠然と計画”と書きましたが、昨年の11月はまさにそんな状態でした。

そこから業界関係者へのインタビューや@ IT クラブメンバーの方へのヒアリング（ご協力感謝します）、各種調査結果の収集と分析などを経てサービス概要を固め、趣旨に賛同してくださるパートナー候補へアプローチし、同時にシステム構築、Web制作、収支計画立案と苦しくも楽しい日々を送り、現在の内容になってます。

#楽しいなんて書いてますが、それは今だから思えるもの。当時は“つらい”の一言

前置きが長くなりましたが、とても楽しい(!?)活動の中で、参考になったメールマガジンを今回はご紹介しません。

直接的にキャリアアップにつながるわけではないのですが、マクロ的な視点でIT業界の労働事情（なんとも古めかしい単語ですが）や企業内教育の実情、SI業界の課題などがレポートされています。



### ■JIL労働情報

発行：日本労働研究機構

頻度：週 2 回

内容：労働政策に関する記者発表資料、各省庁が発表する労働関連の統計調査の結果、そのほか独自の調査結果や記事クリッピングなど。

寸評：同機構の独自調査結果をたまに公表しているのですが、ある調査結果を見て「IT エンジニアはサラリーマンではなくプロ野球選手と捉えたほうがいい」という視点を持つようになりました。先週の金曜日に配信されたものでは「IT 技術者の年齢と能力の関係」というタイトルで独自調査結果を公表しています。なかなか興味深いタイトルでしょ？

### ■電算労ITマガジン

発行：電算労

頻度：隔週火曜日

内容：IT 技術者として知っておきたい業界や技術の動向、情報処理技術者試験の解答速報、労働組合の活用法、独自調査結果など。

寸評：いわゆる労働組合なので「春闘」ネタなどがありますが、受託開発業界の問題や客先常駐（実態派遣）問題に関係省庁や業界団体に申し入れしていたりするので、IT 業界全般の問題を考える上で参考になります。また組合員のアンケート結果も公表していて「健康状態に問題ない：18%」なんて結果もあり「1.8%の間違いじゃないの？」なんて突っ込みを入れることができます。

この 2 つのメールで、IT 業界の労使双方の情報を拾って「@ IT ジョブ エージェント」「@ IT ラーニング デスク」の今後の展開の参考にしたいと思っています。

みなさんも、ご自身のキャリアを考える上で、このようなマクロ的な情報も参考にしたいはいかがでしょうか。

（営業企画局／小林教至）

## No.008

### 携帯Javaで広がる世界 / [コラム]ブロードバンドの真実

2001年7月4日

# [コラム]ブロードバンドの真実 本当のブロードバンドはいつやってくる?

ソフトバンクの子会社の BB テクノロジーとヤフーが、ADSL によるインターネット接続サービスを開始すると発表した。それも、最大速度は 8Mbps で、月額料金は 2467 円からという格安でだ。現状の ADSL によるインターネット接続料金は最大 1.5Mbps で月額 5000 ~ 6000 円程度。したがって、半額手程度で速度は倍以上ということになる。

しかし、これを手放しで喜んでいいのだろうか。ソフトバンクが手がける Yahoo!BB では、ADSL の規格として G.dmt の Annex.A を採用している。実は G.dmt には、日本では ISDN が普及していることから (ADSL は ISDN による干渉を受けるため)、その対応策として Annex.C という規格もある。ソフトバンク側では、実際のテストではほとんど影響を受けないとしているが、心配であることも確かだ。

また、8Mbps という数字にもトリックがある。いやトリックというほどでもないのだが、ADSL の場合は局からの距離に応じて、速度が落ちていくのだ。これは、ベストエフォートで提供される ADSL の宿命でありしかたのないことなのだが、実際には「最大 8Mbps」という言葉でしか表されていないので、なかなか実感できるものではない。

余談になるが、筆者宅では NTT のフレッツ ADSL を導入しているが、下り方向の平均速度は 500Kbps。フレッツ ADSL では最大 1.5Mbps なので 1/3 の速度しか出ていないことになる。局からの距離が 4.7km と離れているため、これでも速度は出ている方なのだが…。

そして、ここにきてアッカ・ネットワークスが、G.dmt の Annex.C のフルレート、すなわち最大 8Mbps での ADSL 接続サービスの提供を表明した。ISDN 対策が施されていることから、通信品質の良さを売りにしたいようだ。

ともあれ、ブロードバンドが騒がれている昨今だが、ADSL による本当の意味でのブロードバンドを体験できる人は、局から遠くない距離の人に限られてしまう。そういった意味では、ADSL はブロードバンドの本命足り得ないと実感している今日この頃だ。

(M3)

No.009

ビジネスを革新せよ! / [コラム] 新人・神崎良介の真実

2001年7月11日

## [コラム] @IT の真実 新人・神崎良介の真実

いや～何はともあれ、@ IT に入社して一週間。一週間って一言で簡単にいっても、いろいろありまして、もう何カ月もこの会社で働いているような、そんな気がする一週間でした。

とにかく一日が非常に長いというか、濃い!そしてとにかく異常なテンションのままに気づいたら一週間が終わってしまったという始末。

それはやはり@ IT っていう会社が持っている、ある種独特の雰囲気であったりとか、職場環境的なものが大きな原因を与えていると思うんです。今回は入社わずか一週間目の私、神崎がなんとなく感じた@ IT の変なところを紹介しちゃいます。

### ■ 1 変なテンション

まず驚いたのが、@ IT の異常なテンションでした。動物園のようにテンションが高い<sup>(\*)</sup>とか、そういうわけではないんです……もうハイテンションを通り越しちゃった境地というのがあります。そりゃ～社員はみんな仕事はとにかく黙々とこなしていくタイプだと思うんですが……。

まず、あまりに連日連夜仕事をしすぎたために、信号待ちで思わず目を閉じて眠りに入る四本さん(怖いよ～)<sup>(\*\*)</sup>。

それにも増して印象に残っているのが、初めて@ IT の人に飲み連れて行ってもらった際、「神崎君が人生の中で大切にしている3つの物って何?俺は愛と金と権力なんだけどね～」と唐突に聞いてきたT塚さん、あなたでした。

嗚呼、こんなにも自分の考えや夢をストレートに話した機会なんてどれくらいぶりでしょうか?四本さんだって、一生懸命自分の仕事に没頭したあまり、そういうことになったんだものね。そんな子供のような大人が@ IT の変なテンションを形成しているのです。

(\*1) 編集注:動物園ってどんなテンションなんですか?今度聞いときます

(\*2) 編集注:営業企画局長。取締役である

## ■2 チームワーク

読者のみなさんをご存知のことかも知れませんが、@ IT は社員 26 名ってということで、立ち上がって見渡せば、視界にすべての顔が目に入るほど。全員集まったの全体会議だってできちゃいます。

だから、何か問題が起きたときはすぐに関係者全員が集まって対策を話し合うこともできるし、意思の疎通が非常にスムーズ。それで何も自分の仕事だけをやるってわけではなく、ほかのことにも首を突っ込まずに入れない。そんな社員が集まっているので、それだけダイナミックな仕事につながっていくのです。

そういう意味では同じ会社の人というよりも、むしろ同じ目的を共有する愉快的仲間たちって感じでしょうか？  
(笑) 俺も早くうちとけなきゃ!

## ■3 ……渋谷

「まんまじゃん!」って多くのご非難の声も聞こえてくるようですが、やっぱり渋谷ってなんとなく気分がいい。駅から会社までの区間を歩いている、仕事に向かっているような気がまだしないですもん。

渋谷にたむろする若人たちのエキスを胸一杯に吸い込んでいるような気がするし、今の時期、クーラーが効いてて会社にも快適! それでもって仕事を終えて会社を出たら、そこはもう夜の道玄坂!

なんか気分がワクワク、ドキドキするじゃないですか〜?仕事が終わったらって話なんだけど……。

ということで、今のところドキドキワクワクしながらこの会社に通っているわけですが、@ IT の妙~な雰囲気<sup>(\*)3</sup>に慣れるためにも、いち早く妙~な人<sup>(\*)4</sup>にならなければ! 頑張るッス!!

(\*3) 編集注: 妙……ですか?>社長!

(\*4) 編集注: いや、すでに妙です

(神崎良介)

## No.010

### なくてはならない電子メール/[コラム]メインは食い倒れか？

2001年7月18日

## [コラム]@ITの真実

# メインは買い漁りか？食い倒れか？

数ヶ月前のまだ春うららかな時期に、@ IT サイト一周年記念のプレゼント企画で「台湾 PC パーツ 買い漁りツアー」が掲載されていたのを覚えているでしょうか？

先週末、この買い漁りツアーがいよいよ実行にうつされ、当選された@ IT 読者代表 3 名様と一緒に台風シーズン只中、一路台北へ。台北まで 3 時間弱の短いフライトにも関わらず、ボリュウムタップリの機内食（カツドン）が出て満腹状態。夕刻台北到着してもすぐには空腹になれないために、さっそくパーツ買い漁りへ出かけて、燃料切れのために夜の 10 時半くらいから、ホテル近くの台湾ローカル色のある西門の屋台での食事。魯肉飯（豚肉そぼろご飯）、虫可仔煎（カキ入り卵焼き）、炒青菜（青菜炒め）、腸詰入りのおじや、しいたけ入り汁ビーフン、台湾ビールなどなど……中国語はよく分からないままに、あれこれ選んでみて楽しみました。

そして 2 日目は気がづけば、4 回も食事をしていたのです。朝の 9 時から朝食へ……まずはお粥だと思って「青葉」へ。白飯がお粥になっただけで、おかずは前日の夕食に負けず劣らずの量。1 日がかりの買い漁りのための活力といいつつ、大鍋にはいったお粥に、豚の角煮、チンゲン菜炒め、マーボ豆腐、野菜炒め、えび入り卵焼き。その 3 時間後には、小籠包（20 個）、小籠包湯（40 個）、チャーハン、野菜炒めを食べに「京鼎小館」へ行く（日本でも有名な鼎泰豊で修行した人がのれんわけして出した店）。もちろん買い漁りもしているのだが、なぜか食べるために動いて（買い物）してるんじゃないかと思うパワフルさ。そのまた 3 時間後には、台北駅前の新光三越の地下のフードコートと呼ばれる屋台街での食事。麺あり、丼あり、で思い思いのメニューで腹ごなし。最後の買い漁りの後には、「欣葉」で落ち着いて食事をするも、すでにこのとき夜の 11 時すぎ。

最終日も前夜に負けず、空港のフードコートで最後の台湾料理を堪能し、そして豪華機内食も平らげていたのはいうまでもありません。

食べては買い漁り、そしてまた食べる……。私のデジカメには、買い漁る姿よりも食べている姿のほうが多いかもしれない気付いたときには、もう日本に到着していました……。詳細なツアーレポートはまた後日。楽しみに。

（営業企画局 加部浩子<元@ IT クラブ担当>）

## No.011

### 堅牢なるシステムは健全なるストレージに / [コラム]取材者の熱き願い

2001年7月25日

## [コラム]@ITの真実 取材者の血の涙の熱き願い

発表会の取材などで、会場に早すぎる時間に到着した場合、どこか喫茶店にでも……ということになるが、これを見つけるのが一苦労。

なぜなら、私はタバコがぜんぜんダメだから。昔はそれほどでもなかったが、今ではかなり相当本格的かつ真剣にダメ。

ということで、こんな場合どうしても禁煙の店を探さねばならないのだ。あたりを見渡して、スタバがあればよし。なければ、チェーン店系喫茶店やファーストフードの店を探して店の中を外から覗き（アヤシイ）、禁煙席のポジションをチェック。喫煙席にへばりつくように設置されていたり、申し訳程度であれば、パス。これでダメなら一般の喫茶店も見てみる。店内の客が吸っていないか、灰皿が置かれているかなどをチェックするのだが、大抵は徒労に終わる。

こういう虚しい作業をしているうちに通常は会見の時間が来てしまい、実際には店に入らずに終わることも多い。店の立場からすると販売機会の喪失というやつだ。

時間をつぶす際には別に見つからなくてもいいが、どうしても座って何かをしたいという場合、店を見つけるまで本当に大変だ。いつぞや、原稿を書いて送らねばならなくなり、ハンドヘルド PC と PHS カードを持って街中を探したことがあった。

ズバリの店がなく、探し回っていると「いけるかも」という店を発見した。店内を覗くと（だからアヤシイって）、入り口付近の席には赤い丸に斜線の「駐禁」のマークが見える。これを禁煙マークと判断した私は店内に入ると「こちらは禁煙席はありますか？」などと聞くこともなくオーダーして、カップを持って（セルフサービスの店だったのだ）、席について愕然とした。例のマークは「禁煙」ではなく、「禁携帯電話」マークだったのだ！（そこまで見えないって）しかも、PHS カードのほうまで禁止されるとは……

そういえば、昔パソコンのデモを見るために数人で喫茶店に入り注文した後で、そこがパソコン持ち込み禁止の喫茶店で、大迷惑したという話を聞いたことがある。

そこで飲食店にはぜひ、「禁煙／喫煙」はもちろん、「携帯電話禁止」「男子禁制」「女人禁制」などの場合にはその別を示すステッカーをでっかく貼り出してもらいたい。いちいち店内を覗き込むのは大変なのだ（挙動不審ですしね）。

それからどなたか、携帯電話から「最寄りの禁煙飲食店が一発で検索できるサイト」っていうのを作ってもらえませんか（もし、すでにあるよというのであれば、ぜひ教えてください）。

(T/S)

## No.012

### 学びの基本は模倣から / [コラム] 電波・雷波の真実

2001年8月1日

## [コラム] @ITの真実 電波・雷波の真実

自分のプライベートなメールアドレスは、denpa@xxx.ne.jp です。denpa の意味するところは、自分の一番好きな TV 番組、“進め!電波少年” (日テレ系) に由来します。一時は、denpa@docomo.ne.jp も保有していて、チューヤンと真中瞳の 80 日間世界一周の際には、応援メールを毎日受信することになりました。番組は、猿岩石のユーラシア横断でブレイクする以前からのファンで、かれこれ 10 年近く見ていることになります。ヤラセと現実をうまく揺らして、ゴールまでのプロセスに人間味を浮かびあがらせるあたりは、秀逸だと思っています。ゴールが無意味であればあるほど、人間の営みに関心が集中します。無茶苦茶な企画と思われがちですが、最近はゴールに至るまでの季節も配慮されて、結果的に大過なく終了するように仕立てられた企画力は、素晴らしいと思います。

過去の企画を振り返れば、電波少年的企画としては、南北アメリカ大陸縦断ヒッチハイク (ドロンズ)、無人島脱出 (R マニア)、懸賞生活 (なすび)、アフリカ・ヨーロッパ大陸縦断ヒッチハイク (朋友)、ハルマゲドン2 (蛭子直和・真中瞳)、超能力生活 (五折の安田)、スワンの旅 in the World (R マニア)、浪花恋しぐれ (三原麻衣子・クールズ原田)、愛する 2 人別れる 2 人 (やらせなし)、箱男 (川元文太)、地球防衛軍 (そろそろ出たほうがいいんじゃないか?)、応援歌を捧げる旅 (山崎ハコ、室井滋)、おニャン子だったりモー娘。だったり (15 少女漂流記へ)、全米デビューへの道 (華原朋美)、東大一直線 (坂本ちゃん・ケイコ先生)、占いの旅 (天城純子・本多彩子)、アフリカ人を笑わしに行こう (矢部太郎)、8 少女漂流記 (8/15) と続き、現在は、モンゴル人を笑わしに行こう (ガンフヤグ家)、アンコールワットへの道の舗装 (89km) に至っています。

雷波少年系企画としては、熱狂的巨人ファン (奥多摩)、ラストチャンス (SomethingElse)、熱狂的巨人ファン VS 阪神ファン (汐留のテント)、Mrs ロシナンテを探して… (Do-Yo)、ラストツアー (Bluem of Youth)、電波少年院 (ポプラ並木)、オリンピックへの道 (R マニア)、熱狂的巨人ファン VS 中日ファン (ジャイ子・中日くん)、究極の麺ロード (タイムトラベラー)、ゴミ生活 (メカドック・レッド)、鉄棒少女 (羽田実加)、ゴミ生活の旅、日本一センスのいい人選手権と続き、現在は、鮎子の viva ★特売 (椿鮎子)、ロシナンテ Jr. 誕生プロジェクトに至っています。

いづれの企画も、ゴールに関してきちんと説明があり、「やりますか?、やりませんか?」という質問で、本人の合意を得た上でスタートしていきます。会社での個人の目標設定も結局同じなのかな、とも思います。最新の「モンゴル人を笑わしに行こう」で、「お前の野望は果てしないな!」と T プロデューサーが激励しているテクニッ



クは、いろいろと応用が利きそうです。猿岩石が飛行機を使ったことやロシナンテが北海道産であったことなどでマスコミ攻撃を受け、現在も、占いの旅でイスタンブールにいるはずの天城純子が千葉テレビの番組に出ていたり、鉄棒少女はもともと体操選手だった、などのきな臭い噂が絶えませんが、番組の方は、金髪の秘書（ナンシー）を連れた T 部長のキャラで、さらに胡散臭さを増しています。記録に残る選手より、記憶に残る選手になる方法は、電波・雷波から学べるように思います。ゴールへの強い意思と頑張りのプロセスが共感を呼び込み、脳裏に刻みこむのだと思います。

（取締役 辻 俊彦）

## No.013

# 次世代インターネットの姿とは？/[コラム]エンジニアは足りない？

2001年8月8日

## [コラム]フォーラム番のひとこと エンジニアは足りない？

Engineer Life フォーラムを担当してからずっと疑問に思っていることがある。それはエンジニアの数の問題である。取材先でよく聞くのが、「人（エンジニア）が足りない」という言葉だ。だが IT 関連のエンジニアはいつたい、どれほど不足しているのかを調べようとしても、これがよく分からない。さまざまな数字は出ているが、その根拠が分からないのだ。もちろん、ぼくの調査が甘いのかもしれないのだが……。

そもそも現在、どれほどのエンジニアがいるのだろうか調べると、5年ごとに調査される「国勢調査」、厚生労働省の「賃金センサス」、それに経済産業省の「特定サービス産業実態調査報告書」などで知ることができる。例えば、経済産業省が7月19日に発表した「平成12年特定サービス産業実態調査（速報）」によれば、情報サービス業の従業員数は52万8956人おり、そのうちシステムエンジニアは22万4729人、プログラマは11万1584人だという。

しかし、こうした数字からでは分からないことがある。そもそも情報サービス業ではない企業のIT部門などはどうなるのだろうか？ また、システムエンジニアはどんな分野のエンジニアなのだろうか？ そして、プログラマはどのような言語でコーディングしているのだろうか？

平成13年度版の「労働経済白書」によると、情報通信技術関連の雇用は、就業人口に占める割合で約7%で、米国と遜色がなく、「必ずしも日本がアメリカに遅れをとっているわけではない」という。

このことをどう思いますか？ 十分な数のエンジニアはいますか？ いままさに必要な技術を持った技術者は少ないと感じませんか？ 一部のエンジニアに仕事が集中していませんか？

ぼくはこうした数字を見ても、“いま必要な技術”や“いま必要な技術者”の数は、現在のマクロな統計数字では把握できないとあきらめているのですが……。

（編集局 オーウチ）

## No.014

### ITエンジニアに資格は必要? / [コラム] モバイル機器はどれがよい?

2001年8月15日

# [コラム] フォーラム番のひとつ モバイル機器はどれがよい?

今回はモバイル機器の話題です。モバイル機器とされるモノには、

- (1) ノート PC
- (2) PDA
- (3) 携帯電話

なんかがあると思いますけど、皆さんはどれをお使いでしょう? 私の周りには、これらをすべて同時に持ち歩くというギミックマニアが多いのですが、私自身は普段は (3) の携帯電話のみで、必要に応じて無線 LAN カードをつけたノート PC を持ち歩くという日常です。必要以上にモノを持ち歩くのがイヤなタチなので、特に携帯電話が重宝しています。

仕事ならびに私用メールも含め、すべてのメールを携帯電話に転送しているので、メールの送受信がリアルタイムで確認できるのは便利です。携帯でメールが届いたのを確認して、おもむろにノート PC を開いて返信を書く……ということも可能ですし。PC のキーボードに慣れてしまっている身としては、極力メールの返信には使いたくありません。

最近、Java 対応携帯が出ていますが、誰かアレのうまい活用方法とかご存知ですか? 私は J-PHONE の J-SH07 という機種を使用していますが、付属のカメラこそ使ったことがあるものの (意外にもこの付属カメラは便利ですよ!)、Java アプリケーションは使用したことがありません。携帯電話の弱点は、オフラインのときにデータを保持できないことにあると思うのですが (この点が PDA の有利なところだと思います)、このあたりの特性を活かしたアプリケーションが登場すると、いろいろ利用価値があるかもしれませんね (それにしては、携帯 Java はメモリとかの制約が多すぎると思いますけど……)。

とりとめもなく書いてきましたが、これから先、どんなにノート PC や PDA、携帯が進化したとしても、それ 1 つあれば解決する! というモバイルソリューションは存在しないでしょう。携帯の進化でモバイルの用途がかなり広がりましたが、今後 PC に取って代わることもなさそうです。一時期、「携帯が PC を駆逐」するなんて論調の記事が雑誌の誌面などを覆っていることがありましたが、「どれが秀でている」のではなく「TPO」に応じて使い分けるのが正解なのでしょう。より便利になってくれるのは 1 ユーザーとして嬉しい限りですけどね。

(編集局モバイルフォーラム非担当 J)

## No.015

### PDAをめぐる環境 / [コラム] 米国スーパー散策

2001年8月22日

## [コラム] @ITの真実 スーパー散策

日本ではお盆の真っ最中である8月11日～16日に、米国サンディエゴに出張した。11日は案の定出国のピークで、成田は大混雑。おっと、何のための出張かを書き忘れた。米サイベースのTechWave 2001というカンファレンスの取材だ。

カンファレンス開始の前々日の午後に現地に到着。サンディエゴはメキシコとの国境にほど近い港町。港町なのに湿気はほとんどないので、日差しは強いものの、日本と違って、非常に快適だ。夜ともなれば、風は冷たく半袖では肌寒いくらい。今回の取材は某ツアーで行ったので、夜には到着記念のパーティ。当然、メキシコ料理でだ。メニューを見ても、どんな料理か分からず、食材を頼りに頼んでみたのだが……どれもこれも驚くほどの量。美味しいのだけど、時差ボケで胃の調子が思わしくない人が多く、揃って討ち死に状態。あっ、私はキッチリ食べました。

そしてアメリカといえば、スーパー散策ですよ。早速うろろしてたら見つけました。Ralphsだ。24時間のスーパー。日本のコンビニとは訳が違う。幕張や南町田にあるカルフルなんかと同じ程度の規模。日本ではお目にかかれないような食材がいろいろあるので、大好きなんです。そして必ず購入するのが「チェリーコーク」。日本でも大昔には売っていたのだけど、「サスケ」「タブクリア」などと同類の幻の炭酸飲料となっている。で、探し回るのだが、ない。見あたらない。まさかアメリカでも「幻」になってしまったのだろうか？ 缶飲料の陳列棚を探し回ることに10分、ようやく発見。なんと缶のデザインが変わっていて分からなかっただけ。そりゃ、そうです、前にアメリカで買ったのは2年も前。デザイン変わっていてもおかしくない。ついでに、ペプシの「ワイルドチェリーテイスト」なんかも見つけました。こっちは、ペットボトルね。

次は、サプリメント。日本に比べると安いんだよね。同じ値段とっていても、実はよく見ると1タブレット中の含有量が倍だったりして、実質安い。ビタミンCをはじめ、買い込んでしまいました。(笑)

しかし、アメリカにはお茶や麦茶のペットボトルが売ってない。エビアンでも飲んでおけばいいのに、つつい「Coke Please」とか頼んでしまう私。帰ってきてからは怖くて体重計に乗っていません。

TechWave 2001の詳細レポートはまた後日。お楽しみに。

(M3)

## No.016

# CPUはどうなる!/[コラム]カタカナ語はけしからんのか

2001年8月29日

## [コラム]取材こぼれ話 カタカナ語はけしからんのか

昨日、e コマースサイト構築パッケージソフトの開発メーカーであるコマースセンターが主催した「EC 井戸端会議」に出席した。この会社で会長を務める前コンパック会長の村井勝氏なども出席して、EC の最前線に立つ方々の話が聞けた。

そこで、プレゼンテーションとは別に出た話題として、IT や EC 普及を阻害しているのは、「IT 用語にカタカナ語が多すぎる」からではないのか、という指摘があった。

個人の趣味としてモノを買う BtoC の世界ならば、やりたくない人はパソコンなど使わずに買い物すればよいのだが、ビジネスツールの 1 つとしての BtoB システムは、コンピュータが好きではない人間にも使えるようにならないと普及しないというのだ。

これは古くて、新しい問題だ。これまで（そして今も）何度も繰り返し指摘されてきた。

コンピュータやネットワークの世界だけではなく、ビジネスの世界も e ビジネス化により、英語直輸入が目立つ。「カスタマ・リレーションシップ・マネジメント」「ワンツーワン・マーケティング」「サプライ・チェーン・マネジメント」……。この分野は、米国が「カンバン方式」を JIT (Just In Time) と “ 翻訳 ” したように、もっと訳されてよいのは確かだろう。

コンピュータ用語にも和風のほうが分かりやすいものも少なくないが、訳すには「造語」するしかないものも多い。それに翻訳さえすれば分かりやすくなるかといえば必ずしもそうではないような気がするのだ。おそらく、英語が母語の人でも、「IT 用語は分からん」という人も少なくないのではないだろうか。

これらは単にカタカナだから分からないのではなく、それが新しい概念・考え方を要求するから理解に努力が必要になるのであろう。

よく CUI が GUI になって「分かりやすくなった」というが、これは本当は「分かった人が操作するうえで便利になった」ということのように思う。初めてコンピュータに触る人はコマンドの代わりに操作手順を覚えなければならぬ。

そこで EC などのシステムを導入する場合、その会社での従来のやり方をコンピュータ上でも踏襲し、変化を少なくすることが必要だというような意見もあったが、ビジネスプロセスを変えて効率的にすることが IT 武装のポイントの 1 つなのだから、深刻な矛盾に陥っているともいえる。

IT 業界にはコンピュータが嫌いという人はいないが、それ以外の業界にはパソコンなんか見るものイヤという人や電子機器を恐れている人がいるのだ。IT 業界以外での IT 推進には、見えないハードルがたくさんある。

(T/S)

No.017

P2Pで広がるネットワーク!/[コラム]Webサービス泥まみれ

2001年9月5日

## [コラム]NetDictionaryの真実 Webサービス泥まみれ

こんにちは、@IT で Insider.NET フォーラムなどを担当している（有）デジタルアドバンテージの小川です。今日は、先日立ち上がりました Web サービス実験サイト「NetDictionary」について紹介します。

この NetDictionary は、次世代の情報インフラとして、マイクロソフトを始め IBM や Sun が普及を図っている Web サービスの実験サイトで、弊社のコンピュータ用語事典「Insider's Computer Dictionary」のデータを Web サービスとしてアクセス可能にするというものです。

誤解を恐れず簡単に言えば、Web サービスとは、プログラムから呼び出し可能な関数がネットワークの先にあるようなものです。Windows アプリケーションは、ローカル・ディスクにある DLL ファイルを呼び出しながら処理を実行します。Web サービスでは、この DLL だけがインターネットの先にあるような状態と考えてください。

例えば、Web サービスを使えば、「首都高 高井戸インターから霞ヶ関まで、現時点で何分かかかるか?」とか、「明日の予想最高気温は何度か?」とか、「今日の試合で西武ライオンズのカブレラ選手はホームランを打ったのか?」などといった、スタンドアロンでは考えられなかった、リアルタイムの情報や、大規模なデータベース検索などをプログラムからリモートで呼び出し、それを元にアプリケーションの処理を進められるようになります。

どうですか? Web サービスにはいろいろ可能性がありそうだと感じませんか? 私はおおいに感じます。ただ、これが社会の情報インフラとして機能するには、超えなければならないハードルが山ほどあるでしょうし、どうすればビジネスにつながるのかも到底見当がつきません。こういうときには、誰かが泥まみれになる必要があります。NetDictionary は、Web サービスの可能性や問題点を具体的に明らかにするために率先して泥まみれになろうという実験サイトなのです。

「泥まみれレポート」については、@IT / Insider.NET フォーラムにて記事化する予定です。開始まで少々お待ちください。

NetDictionary は、読者のみなさんとともに発展する実験プロジェクトです。@IT / Insider.NET フォーラム会議室でご意見をお待ちしております。お気軽にご発言ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

(デジタルアドバンテージ・代表取締役 小川 誉久)

No.018

Webサイトを立ち上げよう!/[コラム]@ITスポーツ同好会の真実?

2001年9月12日

[コラム]@ITの真実

## @ITスポーツクラブ同好会の真実?

蒸し暑い夏も終わり、そろそろ夜も涼しくなってきましたが、メンバーの皆さんはいかがお過ごしですか?ってわけでもう秋ですね。秋といえば、食欲の秋!巷では、秋刀魚、松茸、ぶどう、梨……と旬の食べ物があふれています。おいしいものは、つい食べ過ぎちゃって気がつけば、服のサイズが合わなくなっています。

また、秋といえば、芸術の秋、スポーツの秋というものもありますね。芸術は私にはよく分かりませんが休日に上野の美術館にでも行って、ぼーっと眺めるだけでもいいですね。スポーツのほうは、ここ@ IT でも、自己管理とともに体力増強やリフレッシュのために平日の出勤前や帰宅途中にスポーツクラブに通っている方や、週末にプールやサッカー、野球などでリフレッシュしている方もいるようです。

私も週末には、何かしら運動をするようにしているのですが、どうも怠け癖がついており、やってみるものの全力で動くことができなくなっています。

某氏に聞いたところ、この@ IT のオフィスの近くの某スポーツクラブのプールには、早朝~ 9:00 ごろまではかなり年配の女性の方が多くこられているようですが、9:00 以降になるとモデルと思いきビューティな女性の方が見受けられるそうです。

私もその時間に合わせて行きたい気持ちもあるのですが、今のままでは自信がないので、鍛えてからにします。そういっていると、また、知らず知らずのうちに不摂生をしまい、体調を崩しかねませんので、@ IT スポーツクラブ同好会(そんなのあるの?)に入会して、朝か夜のプールで一汗かこうかと思っています。

読者の皆さんも、秋の夜長にお酒を飲むのも、食事をするのも、スポーツするのも、読書するのも、芸術に親しむのもよしということで、自分をリフレッシュするよい方法を見つけてくださいね。くれぐれも仕事で体を酷使し過ぎないように……(業界では多そうなので)。

最後に、リフレッシュしたあとは、旬のネタがたくさん詰まっている、@ IT の各フォーラムに訪問していただき、IT 情報を拾ってくださいね。では、また。

(編集局新人 K)



## No.019

### 電子署名を考える!/[コラム]尻有の謎?

2001年9月19日

# [コラム]メールマガジン担当者のぼやき 尻有の謎?

一昨日配信の「@ IT 先週の人気記事 -2001/9/17」をご覧くださいだろうか?

8月の用語アクセスランキングの第1位が、なんと【尻有】だったのだ。最初、集計結果をみたときに、集計担当者が誤変換したのかと思ったのだが、URLをクリックしてみたら、ちゃんとICDにその用語が登録されている。気になる方は、ぜひ下のURLをクリックしてほしい。

<http://www.atmarkit.co.jp/icd/root/41/54193341.html>

いわゆる隠語というやつで、ワレスなどと一緒に使われることが多い用語のようだ。

しかし、なぜこの用語が8月の第1位となったのかが分からない。どこかの有名サイトもしくはメルマガで、この用語が使われ、意味が分からなかった人が大挙してGoogleで検索して、その結果@ITのICDにたどり着いた、といった推測しかできない。

Googleで「尻有」を検索すると、確かにICDの該当ページは上から3つ目に出てくるのだが……。

なぜ「尻有」がこんなにアクセスを集めたのか、どなたかお分かりになる方はいませんか? ご存じの方は、ぜひ下記掲示板までお知らせください。もしくは、[info@atmarkit.co.jp](mailto:info@atmarkit.co.jp)までメールをください。

(メルマガ担当 M3)

## No.020

### 常時接続時代に必須のファイアウォール! / [コラム] 恐怖のQ33NY

2001年9月26日

## [コラム] メールマガジン担当者のぼやき 恐怖のQ33NY

ネット上でこんな話が出回っているようです。

Word（でなくてもよいのでしょうか）に、世界貿易センターに激突した飛行機のフライトナンバー「Q33NY」を入力し、フォントを Wingdings に変える。すると……

私も正直ドキリとしました。そら恐ろしいというか、何ともいやな感じが背中あたりを通り過ぎていきます。

しかし、その一方で何か釈然としない感じもします。

あまりに出来すぎている!——ということで調べてみると、現実のフライトナンバーはまったく別の番号。

さらに調べると、「Q33NY」はすでに英語のサイトでもちらほら取り上げられていました（ドイツ語サイトでも取り上げられているようでしたが、読めませんでした）。

で、それらを読んでもすでにデマだと断定済み。このネタのバージョンとしてはフライトナンバーではなく、尾翼の番号だと説明しているものもあるそうです（それもデマです）。

今回のテロ事件に関連して、米国ではノストラダムスの本が売れているとか、ネット上でもノストラダムスがビル崩壊を予言していたという噂（これもデマ）が飛び交っているとか、深層心理的な不安がつのっているようです。

最初のやり取りは、日本語でしたが、受け答えの中には本気かどうか分かりませんが信じているふうの答えを返している人も見受けられました。デマ以外にも、被害者への募金を騙ったネット詐欺などもあるので、お気をつけください。

(T/S)

## No.021

### 家庭内LANも無線の時代!/[コラム]無線LANはじめました

2001年10月3日

# [コラム]@ITの真実 無線LANはじめました

こんにちは。@ IT スタッフの鈴木 J です。今回は、弊社オフィスへの無線 LAN 導入顛末記をお伝えしていきましょう。

いまさら無線 LAN のメリットをここで語る必要もないでしょう。かくいう私も、自宅（といっても 1K のマンションですが）に無線 LAN を導入しています。「2 階建てや広い家でなければ意味がないのでは？」と思うかもしれませんが、これはこれで便利なものです。さて、今回のすべてののはじまりは、@ IT コンテンツを統括する編集局長ニーノの一言からでした。

ニーノ「俺、自宅に無線 LAN を導入したんだよ」

と言うなり、周りに無線 LAN カードを見せびらかしたのです。

私「会社にアクセスポイント（無線 LAN と有線 LAN の中継を行う装置）があれば、会社でも無線 LAN がそのまま使えますよねえ」

かくして、私とニーノの間で、会社に無線 LAN のアクセスポイントを導入する計画が持ち上がりました。ですが、アクセスポイントの市場での相場は 3 万円 ~ 3 万 5000 円ほど。2 人で割っても 1 万 5000 円強。ちょっと高い買い物です。

私「会社で購入するのはむりですか？」

ニーノ「ムリだね（きっぱり）」

こうなったら、「無線 LAN を使用したい」というメンバーを集めて、1 人あたりの負担金額を少なくするしかありません。スタッフ全員にメールを流して、互助会という名目で有志を募りました。

「4 ~ 5 人集まれば御の字かなあ」と思っていたところ、あれよあれよという間にメンバーは増え、最終的に 13 名までいきました（ちなみに、これは @ IT 全スタッフの約半数です）。メンバーには、前述ニーノや私のようにす

で自宅に無線 LAN を導入しているような者もいれば、この手のデジタルグッズがいかに好きそうな者、はては単に面白そうなので参加したような者もいたりしますが……。でもおかげさまで、1 人あたりの負担が 3000 円を切るまでになりました。無線 LAN……恐ろるべし。

メンバーが集まった段階で、さっそく近所のヨドバシ（電気機器／カメラ量販店のヨドバシカメラのこと）に駆け込み、アクセスポイントを購入。すぐさまセットアップを完了させ、自分のマシンを接続してみる。成功! すでに自宅をはじめいろいろな場所で何回もセットアップを行っているので、インストール作業も手馴れたものです。転送速度も、大量のファイルコピーさえしなければ快適で、日常業務レベルでは有線 LAN 環境と体感での差はありません。それから、ニーノをはじめ、無線 LAN カードを購入してきたメンバー数名がアクセスポイントに接続してきていますが、いまのところ快適です。

実際に使ってみると快適というのが、多くのメンバーの感想のようです。みなさんのオフィスや自宅に導入してみるのもいかがでしょうか? さて、ここで参考までに、互助会に参加しなかったメンバーの理由も並べておきましょう。

「だって、会社ではデスク以外で PC（ノート）を使うことがないから」

「とにかくカードのでっぱりがじゃま」

いや、ごもっとも（笑）だけど、あるといろいろ便利だったりするのです。ネットワーク接続環境を維持したまま来客にプレゼンしたりとか、会議室での打ち合わせにそのまま PC を持っていったりとか、気分転換に休憩所（あるの?）で作業をしたりとか……え? あまり重要じゃない? う〜ん、言われてみるとそうかも（汗）

（鈴木 J）

## No.022

### ウイルス/ワーム記事特集/[コラム]洗剤のいない洗濯機

2001年10月10日

# [コラム]メール番のひとこと 洗剤のいない洗濯機

先日、日本石鹼洗剤工業会が、三洋電機製の「超音波と電解水で洗おう」という洗濯機に対して、反論を行った。この洗濯機が「洗剤ゼロコース」というモードを持ち、洗剤のいない洗濯機とされたため、その洗濯機で洗剤を使用しない場合に、洗えるとしてカタログに記載されている肌着について白さが次第に失われる、繊維が傷みやすい、汚れが再付着するなどの調査結果を発表したのだ。

結果として、日本石鹼洗剤工業会の行動はヤブヘビだったといえよう。マスコミは三洋電機対洗剤業界の構図で報道し、日本石鹼洗剤工業会はどちらかといえば悪役だった。しかも、その報道は「洗剤のいない洗濯機」の存在を知らない人間にまでその存在を知らせてしまった（かくいう私はその1人だ）。だいたい、本当にその洗濯機できちんと汚れが落ちないのであれば、洗剤業界ではなくて、消費者が三洋電機に抗議するはずだ。実際には、三洋電機は「洗剤ゼロコースでは、無機物の汚れ、衣類の繊維内にこびりついた汚れなどは落ちない」と断っており、全面的に洗剤の存在を否定しているわけではない。日本石鹼洗剤工業会はいらぬケンカを売ったように思われる。

さて、では本当に洗剤なしで洗濯可能な機械が登場したら、どうだろうか。ユーザーの立場、あるいは環境保護の立場からすれば喜ばしいことだろうが、洗剤業界にとっては（おそらく日本石鹼洗剤工業会が持っている危機感のとおり）、壊滅的打撃となる。その場合、洗剤業界の存在を守るために、洗濯機を禁止すべきだろうか？

IT 業界のように、いつ“新型洗濯機”が登場するか、常に気を配っていなければならない世界も過酷だが、いま本当に苦しんでいるのは既得権益をムリに守ろうと保護されてきた業界ばかりであることを改めて思い出すべきであろう。

(T/S)

## No.023

### ブロードバンド・ルータ記事特集 / [コラム] マイライン、最後の追い込み

2001年10月17日

# [コラム] メール番のひとこと マイライン、最後の追い込み

「マイライン事業者協議会」が15日にまとめた9月末時点の登録状況によると、この制度の登録済み利用者は、全体の約60%に達したそうだ。会社別では、NTT 東日本、西日本が市内で約74%のシェアを占め、優位にたっている。11月1日からはこの登録料が有料（800円）になるため、各社は今後2週間の終盤戦にあの手子の手で全力をあげることになる。

あの手の手1つとして、インターネットプロバイダを運営している、KDDI や NTT コミュニケーションは、マイライン登録させることで、プロバイダの料金を割り引いている。また、J-フォンの親会社である日本テレコムは、J-フォンの新規登録時の事務手数料を、マイライン登録で無料にするといったこともやっている。

しかし、相変わらず分かりにくいのが、各社の料金体系だ。利用年に応じた割引率を利用すると最大××%といわれても、自分は今年からその会社を利用するとしたら、いったいいくらになるのかが分からない。そういう意味では、今の各社の広告はほとんど意味をなしてないと思うのだが…。今まで、NTT 以外を使っていた人はその恩恵に預かれるが、新規で登録させようとするなら、そういった利用年に応じた割引率は意味をなさないのだから…。

そんな場合に役立つのが、「価格.com」のマイライン価格比較だ。自分のよく使う時間帯、かける地域を選択すると、最もやすくなる電話会社とプランを教えてくれるのだ。

マイライン登録をしない場合は、自動的に国際電話を除いて、NTT グループを選んだとみなされてしまう。今月いっぱい無料登録が終了するので、まだの人は検討してみよう。電話料金が安くなるかもしれないですよ。

## No.024

### バックアップに映像に! / [コラム] BB ルータ動作確認情報局担当者の真実

2001年10月24日

## [コラム] @IT の真実

# BB ルータ動作確認情報局担当者の真実

メンバーサービス担当の飯田です。10月10日から「ブロードバンドルータ動作確認情報局」を開始しました。今度のサービスは、皆様の契約なされたプロバイダとルータの動作情報を報告し合おうというものです。

まだご覧になったことのない方は、一度見てみてください。そして、お陰さまで確認の報告も集まり始めていますが、ブロードバンド接続されているそこのアナタ、投稿もお願いします。

さて、皆さまにお願いしておきながら、かくいう私は相変わらずダイヤルアップ接続です。4月ごろは、10月になったら有線ブロードネットワークスの光サービスが23区で使えるといってるし——、なんてのんきに構えてましたが、今日までのところ、私の住んでいるあたりには届く気配がありません。

というわけで、いまは Yahoo!BB の申し込み中といったところですが、唐突に局内工事の日程が延期されるなど、いつ実現できるのか、予断を許しません。さらに、私の住んでいるアパート近辺は、ISDN 化も最も遅かった地域でもあり、仮に開通しても速度が出るのか心配です。

そうこうするうちに唐突に隣の局で B フレッツが始まってしまいました。同じように私の局でも開始されたら、いま住んでいるアパートに光ファイバを引き込むのは簡単ではないでしょうから、ここは引き払って同じ局内に住む親の家に戻ってもいいとすら（ちょっぴり）思ってしまうます。こうなると、いま ADSL を契約してしまっているの? という囁き声が心の底から響いてきます。

しかし、なぜ各社とも計画は「来年4月までに23区で」くらいのレベルでしか開示されておらず、また開示されているスケジュールすら、ころころ変わってしまうのでしょうか。ころころ変わるから開示しないのでしょうか?

明日が分からないこんな状況で、いつか春の来る日を待ちながら、今日もダイヤルアップ接続するのです。あ〜早く自前のブロードバンドルータの接続報告を「ブロードバンドルータ動作確認情報局」に投稿した〜い。

(事業開発局 飯田ミタ恵美子)

## No.025

### 家庭内LANを組んでみよう/[コラム]メールマガジン配信事故に思う

2001年10月31日

# [コラム]メルマガ担当者のぼやき メールマガジン配信事故に思う

ここ何日か連続して、メールマガジン配信の事故が続いている。

「国内線 .com」では、登録者のメールアドレスが約 2,990 人分流出してしまう事故を起こした。それに続いて、NTTドコモ埼玉支店と明治乳業、レナウンでも同様なトラブルが発生していたことが分かった。いずれも人為的なミスによるもので、タイトル部分に登録ユーザーのメールアドレスを入れてしまうというもの。ウイルスなどの被害は確認されていないらしい。

同じ、メールマガジンを発行している身としては、他人事ではすまされないのだが、しかし、どういう人為的ミスをすればメールアドレスをタイトル部分に入れてしまえるのだろうか？ 非常に不思議でならない。メールマガジン発行する側としては、もっとそういったシステムに気を配って欲しいものだ。

もちろん、@ IT のシステムではそういった事故は起こらないようになっている。ご安心を。

(M3)



No.026

ネットワークなら共有しよう/[コラム]葛餅の元祖を探る

2001年11月7日

## [コラム]@ITの真実 葛餅の元祖を探る

いきなりローカルな話で失礼します。

先日、某 IT 系インターネット会社のお菓子サーバ管理者に脅され、地元の東急沿線某線の昔ながらの門前町にて、自称“葛餅の元祖浅〇屋”で「名物葛餅」を購入しました。早速社内お菓子サーバにアップしたところ、これがなかなか好評でした。

某社長などは、3食これでも構わない（ほんとだな〜）と言い出し、マイ箸を持参までして、きな粉みみれでほおぼる始末。

ところで、この門前町界限なぜか葛餅屋が3軒あり、どの店も“元祖”をうたっているのです。それぞれに味があり、一概にどこが一番とは言えないのですが、いったいどこが本当の元祖なのでしょう？。

浅〇屋いわく、「くずもちの起りは、元禄年間に初代が初めてくずもちを考案その後宝暦2年(1752年)、甘味として売出し好評を博した」そうである。ほかの2店も似たようなことを言っているようだ。

また、多摩川を越えたお隣の川崎〇師にも名物「久寿餅」なるものがあって、こちらの始まりは天保年間(1830~1840年)だという（そして、こちらも“元祖”らしい）。だとすると浅〇屋よりも少し新しい。

ちょっと Web で調査したところでも、これだけ“元祖”といわれる葛餅があるのだから、日本全国いったいいくつ葛餅の“元祖”があるのだろう。

興味はあるのだが、残念ながら全部調べているほど暇ではないので、このあたりで泣く泣くあきらめて、あとはお菓子サーバの管理者へ引き渡すこととする。きっと引き続き調査をしてくれるに違いない（たぶん）。

そういえばちょっと前に、名古屋の青柳ういろうが、外郎作って500年を名乗る小田原の「ういろう」に名称使用の差し止めを求められていて、それが高裁では請求が棄却されたというニュースがあった。ういろうはすでに一般名詞である、という判断だとか（「大須ういろ」は訴えられなかったらしい）。

そんなこんなで、なんとな〜くひとつ思ったのは、やっぱり何はなくとも商標登録、さらに特許・ビジネス特許もちゃんと取得するべきだってことでしょうか。(……って江戸時代じゃあなあ)

(総務管理局 かめれおんけいこ)

No.027

XPがやってくる!/[コラム]迷惑メールの受信ブロック

2001年11月14日

## [コラム]メール番のひとこと 迷惑メールの受信ブロック

11月12日、NTTドコモより

- 迷惑メールの受信ブロックを開始

というリリースが発表され、迷惑メールへの対応が始まりました。しかし、これは本当に効果があるのでしょうか？正直言って、SPAM業者とのイタチゴッコのような気がして、根本的な解決につながっていないような気がします。

「宛先が不明なものを大量に含むメールについては、iモードセンターにおいて受信しないため、今後、お客様に迷惑メールが届きにくくなるのが期待できます」ということですが、実際には、不達メールがあるかどうかはどうやって検証するのでしょうか？

いっぺんに送らずに、少量ずつ、なおかつ複数のサーバーを利用して送信することで不達メールを減らす方策をとれるような気がするのですが……。

やはり、もっと根本的な解決策、法的な解決策をとらないとイタチゴッコが終わらないような気がするのですが、いかがなものでしょうか？

(M3)

## No.028

### ルーティングを極めよう! / [コラム] ML の威力と問題点

2001年11月21日

# [コラム] メール番のひとこと ML の威力と問題点

先日、久々に母校（大学）の部室に寄りました。

サークル創立 30 周年の記念式典 (!) の反省会のためです。実はこの式典のため、現役側はメールリングリスト (ML) を作り、式典の内容の議論、連絡、データの受け渡し、OB からの意見吸収などに利用していました。

現役の学生に聞くと、同じサークルでもさまざまな ML があるだけでなく、インスタントメッセージも駆使し、サークルの運営などを円滑に進めているとのこと。2、3 年前からこうした方法が当たり前になっているようです。サークル内での議論や情報を共有したいとの考えのようですが、まだまだいろんな問題もあるようです。

問題の 1 つはすべての議論や連絡、会議やミーティングの議論の過程が、必ずしも ML では流れていないことです。これによって、結局はだれかのところに電話して聞いたり、メールして確認したりすることが必要になり、逆に場合によっては聞いてないと問題になることもあるようです。

もう 1 つの問題は、結論が見えにくいことです。ML には、さまざまな役割の人がいます（運営準備委員会の現役、それを監督する現役、OB など）。ML に流れる議論もそれを受け、さまざまな内容のものが流れるのですが、ときには結論ややり取りのないまま、流れっぱなしということも多かったのです。

こんなことを書いたのは、こうしたことは企業でもよくあることだと思うからです。あなたの会社でも、そうした中途半端なシステムはありませんか？ その場合、システムに問題があるのか、運用する側に問題があるのか、いま一度考えてもいいかもしれません。

ところで 100 名以上も参加したこのイベントに、ぼくは結局風邪をひいて参加できずに終わったのでした。わざわざ海外から帰国して参加した OB もいたのに残念です。

(編集局 O)

No.029

CRMで顧客ニーズにあったサービスを!/[コラム]ゲーム機の明暗

2001年11月28日

## [コラム]メール番のひとこと ゲーム機の明暗

11月27日、セガが「ドリームキャスト12月に国内最終出荷」と発表した。実際には、国内在庫はすでに出荷し終わっていて、海外在庫分を新たに日本仕様にしての出荷だそうだ。これと対照的なのが、SCEのプレイステーション2だ。売れ行きは好調で、この11月26日には、価格の再引き下げを発表した。当初はオープン価格（実売3万9800円程度）だったのが、今回の引き下げで2万9800円と、3/4になった。これに対して、2002年2月22日に発売が予定されているマイクロソフトのXboxがどういう価格設定でくるのかが見物である。

(M3)

## No.030

# いまこそXMLを学ぼう!/[コラム]Webサイトのボリューム感

2001年12月4日

## [コラム]@ITの悩み

# 「Webサイトの ボリューム感を伝える方法って?」

最近、「インターネットって便利だな」とつくづく感じます。このところ“ストレージ”に関して情報収集をしているのですが、この手の記事を掲載している雑誌って案外少なくて、イベントに出かけようにも時間的・地理的な制約から、なかなか足を運ぶことができません。

その一方で、Google を使って「ストレージ」を検索すると、「全言語のページからストレージを検索しました。約 94,900 件中 1 - 10 件目・検索にかかった時間 0.09 秒」という結果が得られます。関連製品を扱う会社はもとより、「基礎知識」のページ、最新の関連記事など、さまざまな情報がインターネット上には存在しているというわけです。検索条件にヒットする Web サイトの数もさることながら、個々のコンテンツの質や量にはとても充実感を感じます。

@ IT の読者の方々の中にも、検索エンジンから@ IT へたどり着いたという方が多いのではないのでしょうか? たいていは「その記事だけ読んで終わり」かもしれないですが中には記事コンテンツの内容に感動(?)して下さって、ほかのコンテンツを読み歩く方もいらっしゃるでしょう…… (^ ^ \*)

@ IT ではほぼ毎日、数本ずつ新たな記事が掲載されます。@ IT が誕生してからすでに 1 年半が過ぎ、いまでは 1200 本以上の記事が掲載されているわけですが、このボリューム感（記事本数のみならず、個々の記事の質も含めて）というのは、どの程度読者の方に伝わっているのでしょうか?

いつも@ IT を利用している読者の方はなんとなく「すごいボリュームの記事が掲載されているサイト」と認識してくださっていると思います。けれど、初めて@ IT を訪れてくださった方や、検索サイト経由で記事ページにダイレクトに訪れた方などは、@ IT というサイトによほどの興味をもたない限り、どれほどの質と量を携えたサイトかを知ることはないのでは?と、ふとした疑問が頭をよぎるのです。

@ IT が、もし雑誌というメディアであったならば「創刊 2 周年記念 特別増大ページ」などと銘打って、雑誌を手にとった人に物理的に量的なボリューム感を伝えることが可能です。しかし、Web サイトというものはどんなに歴史(?)のあるサイトであっても、表示されるのは Web ページの 1 ページなので、全体のボリューム感

(質の面でも量の面でも) が伝わりにくい気がします。

Web サイトを構築するときに、ユーザビリティやデザインあるいは更新頻度などに関してはさまざまなハウツーが語られますが、サイトそのもののボリューム感をうまく伝える手法というのはあまり聞いたことがありません。目立つところに記事本数を載せるのがいいのか、サイトマップを工夫して見せるのがいいのか、INDEX のデザイン次第でどうにかなるのか……はたまた、サイト視聴率のような指標で図るのがいいのか……

平面的な Web サイトを立体的に見せ、サイトが誇るボリューム感を、初めて訪れた人にも瞬時に伝えられる……そんな、よいアイデアがあれば、ぜひ@ IT のスタッフ宛に (こっそりと) 教えてください。

(営業企画局 荒木直子)

## No.031

### ユーザー認証 / [コラム] NEC の Pocket PC が発売延期! ?

2001年12月12日

## [コラム] メルマガ担当の一言

# NEC の Pocket PC が発売延期! ?

NEC の Pocket PC 「PocketGear」 の発売がとうとう来年に延期になった。当初は 12 月 4 日発売予定だったのが、12 月 14 日に延び、そして 12 月 11 日になって「性能及び堅牢性について改善が必要となったため、出荷開始日を延期させていただくことと致しました。出荷日につきまして、1 月末頃改めてご案内させていただきます」と発表された。楽しみに待っていた人も多いはずだが、いったい何があったのだろうか？

海の向こうでは、コンパックの iPAQ 用の Pocket PC 2002 アップグレード CD-ROM に、従来の Pocket PC には搭載されていたソフトウェアが搭載されていないということで、問題になっているようだが、NEC も似たような問題を改善するための処置なのだろうか？

いずれにしても、発売日 2 日前にして、1 カ月以上もの延期は尋常ならざるものを感じる。国内の Pocket PC 2002 搭載マシンを出荷するほかのメーカーの動向も気になるところだ。ほかのメーカーが順調に出荷すれば、NEC 単独の問題だし、追隨して発売延期になれば、Pocket PC 2002 そのものに何らかの問題が出たということになる。せっかくのボーナス商戦を目の前に、Palm 勢が値段引き下げや、新製品の投入で売れ行きをのびしている中、Pocket PC 勢は苦戦を強いられることになった。

(編集局・松山雅明)



## No.032

### サーバ市場の動向を探る! / [コラム] Web サービスを勉強しませんか?

2001年12月19日

## [コラム] @IT の真実

# Web サービスを勉強しませんか?

今年の自分をちょっとだけ振り返ると、仕事で関わったことから多くを学んで、少しだけスキルアップにもなった年でした。

年初は、Web サイトのプロデュースについて書籍やオンラインのサイトを研究し、夏の終わりには@ IT 読者の方と台湾へかけて PC パーツを買い漁るコツを覚え (?)、そして秋からは Insider.NET フォーラムで始まった「NetDictionary プロジェクト」に関わっているので、Web サービスの勉強を始めています。

特にこのプロジェクトは、プログラミングの知識がまったくなく、Web サービスについても知らないことが多い私にはタイヘンです。

プロジェクト関係者や読者の方にお会いすることも多く、掲示板やオフ会場でみなさんが話していることがちょっとでも理解できるようになりたいと思って、最近無謀な計画を考えました。

誰にでも初めてというのはありますよね。そこで「Web サービス はじめて物語」と題して、まずは自分で開発をやってみようという壮大なヤポーを思い立ったのです。

まずはプロジェクトとの関わりから、.NET について Insider.NET の過去のコンテンツを読むことからのスタートですが、それと並行して実際に触ってみる環境としてテストマシンを仕立てて、Windows2000 上に VS.NET のベータ 2 をインストールしました (まだインストールしただけ)。

最近、Insider.NET の新刊書籍で紹介されていた「最新ドットネットがわかる」も書店で見かけたので、これも読んでみようかなと思ったりしています (Web サービスは .NET だけではありませんが、まずは関わりのあるところから)。

とにかくいまはどういう順番で、何から手をつけたら良いのかを思案中ですが、いろいろチャレンジしてみようと思っています。それからどんなことを Web サービスでやったら面白いだろうかについても考えています。それが思いつけば実際に開発する気分も大いに盛り上がること間違いなし! (かも?)

そんなこんなで、「ヒロコと一緒に Web サービスを学ぶ会」(あるの?) への入会希望者のほか、「こんな Web サービスを作ってみたら」という提案や「アドバイスなら任せろ!」とか「温かく見守ってます!」という方など、いろいろな方を募集中なので、ぜひ会議室に投稿ください。

(営業企画局・加部浩子)

## No.033

### メモリについて考える!/[コラム]IPネットワークを勉強しませんか?

2001年12月26日

# [コラム]@ITイベント担当者のつぶやき IPネットワークを勉強しませんか?

年末も押し迫って、あと残すところ5日。このコラムが読まれているころには、クリスマスのお楽しみ会も終わって、今年最後のイベント(?) 社内の大掃除や夜の忘年会の準備、はたまた最後の納品やら追い込みやらで大忙しでしょうか?

営業企画局の加部です。前回のコラムに登場しましたが、年内最後のコラムに再登場です! しばらくおつきあいください。

今年は自宅にもブロードバンド環境を構築して IP ネットワークというものが身近になったと感じた年でした。インターネットが生活のあらゆる部分に浸透してきていますが、それらがもたらす社会的なインパクトがどれほどのものなのか、計り知れないですね。

そしてイベント担当者としては、「IP ネットワーク」が盛り上がっているところで、やはり@ IT 読者の皆さんにいま伝えたいものはこれかなと思って選びました。

2002年最初のセミナー、「IP Network Technology&Solution Meeting ~ IP エキスパートに変貌するためのワンデイセミナー~」を1月31日に実施します!

今回、私が一番苦労したのは、各セッションのタイトル設定。タイトルは短い文字数で魅力的でインパクトのあるものにしないといけませんよね。国語の成績が芳しくなかった私には、この作業で脳細胞をフル活用していた感じでした。

それからこのセミナーに参加した後には、皆さんが元気になれるような雰囲気づくりも検討中。ただ、単に聞いて帰るだけではないセミナーにしていきたいと思っています。ぜひこのセミナーにご参加ください。

※前回のコラムで、「Web サービスと一緒に勉強しましょう」と書きました。今の私の頭は、右が Web サービス、左が IP ネットワーク、隙間にほかのものが詰まっています。

(営業企画局 加部浩子)

2002

## No.034

### 今年こそIT資格をとろう!/[コラム]卓上カレンダーはどこ?

2002年1月9日

# [コラム]メルマガ担当者のつぶやき 卓上カレンダーはどこ?

PC を使う仕事をしていますが、PC 上のカレンダーではなく、机の上で使う卓上カレンダーは重宝しています。やはりいちいちキーボードを叩かなくても、サクッと予定を書き込んだりできる手軽さが便利です。ところが、今年是不況のせい、各メーカーさんが卓上カレンダーを作っていないらしくて、私どものところに送られてきません。おかげで、編集局内の一部の人は大騒ぎでした。みなさんのところには卓上カレンダーは送られてきましたか?

今年はこのことで大騒ぎしなくてすむような一年になるといいのですが。さて、どんな一年が待っているのでしょうか?

(編集局・松山雅明)

## No.035

### いまこそIPv6 / [コラム]サーバ管理者の一番重い日

2002年1月16日

# [コラム]@ITの真実 サーバ管理者の一番重い日

その日はけっこう肉体的にツライ日でした。それが席に戻ったとたん、シャチョーから「社内サーバ落ちてるんだけど」といわれようものなら、こっちのほうが身も心もシステムダウンです。

しかし、泣く子とサーバダウンとシャチョーには勝てません。

とりあえずサーバにモニターをつなげてみると、OS が落ちてます。再起動してみると OS ログが表示されたあたりでリブートしてしまいます。何度かトライしましたが、その都度違うところでリブートするのです。safe モードでもダメ。こうなると私ではお手上げです。ジョーシにボタンタッチし、ハードウェアチェックをすることにしました。ほかの PC からメモリをもってきたり、CPU を取り替えても状況は変わりません。

原因が特定できないので、とうとう私が秋葉原で安い PC を買ってきて、ダウンしたマシンの HDD 内容をコピーすることになりました。重い PC をもって帰ってきた私に、みんなは「好きなアキハバラに行けてよかったね」と何の慰めにもならない言葉をかけてくれました。屈辱です。しかも重い PC を運んだために次の 2 日間、筋肉痛でものすごい苦しみに苛まれていたことは誰も知りません。

HDD をフォーマットし、OS のインストールし、古い HDD からのファイルコピーを行い、新しい PC でサーバが稼動したのは夕方でした。新しい HDD にコピーをしながら気付いたのは、古い HDD は残り 7Mbytes になっていたこと。トラブルはこのせいかもしれませんが、そうだとすると、OS も起動しないっていうのはあんまりです。あるいは、新サーバ稼働後に見たこの記事と同様の原因かもしれません。

あまりのことに古い PC は手付かずのまま放置しています。渋谷近辺で安い PC を売ってるお店を知っていたら教えてください。

(事業企画局・Ver.2.11)

## No.036

# 巨大化進むハードディスク/[コラム]インフルエンザには負けない

2002年1月23日

## [コラム]@ITイベント担当者のつぶやき インフルエンザには負けない

近ごろの@ IT はインフルエンザに次々とやられています。みなさんの体調はどうか？ 先週末の1月18日には、厚生労働省からインフルエンザの大流行が宣言されたようですね。厚生労働省によると感染予防には、人混みを避け、常日頃から十分な栄養や休息を取って、室内加湿をする。そして外出時はマスク、帰宅時はうがいと手洗いをするをお勧めしているみたいです。私はこれらの感染予防の項目は1つも守っていないのですが、まったく風邪をひく心配すらありません。高熱や咳などに苦しんでいる@ IT 社員のみなを見ていると少しだけ申し訳なく思っています。

さて、こんなに私が元気なのも理由はただ1つ。あと8日と迫った、IP ネットワークテクノロジー&ソリューションミーティング（1月31日開催）があるので、風邪などひいている余裕がないのです。朝の漢方薬と1日2回のサプリメント（10種類）を欠かさずに、体調を整えつつ、毎日ハイテンションで準備しています。

いまの悩みどころは最後のパネルディスカッションです。モデレータの藤村とともに IP ネットワークでのディスカッションの話題を何にしようか、参加者のみなさんと一緒に考えられるものにしようと奮闘中。IPv6 ここだけの話とか、食いつぶれのない技術者になるには、IP 技術かなとか、アイデア出しで眠れぬ日々？です。

このイベントが終わったときに、急に風邪をひくことがないようにしたいものです。

@ IT 読者のみなさんの風邪の対策は？ やっぱり何をするにも身体が資本ですからね……。

（営業企画局 加部）

No.037

ユーザビリティ考察への招待 / [コラム]6年前@ITは生まれなかった？

2002年1月30日

**[コラム]@ITの真実**

# 6年前、もしこうなっていたら @ITは生まれなかった

今回は、わたくし中澤めがちよいと昔話をさせていただきます。

1994年当時、現@IT代表取締役の藤村は、わたしが所属していた某出版社の某WM編集部の副編集長だった。彼が、「Visual Basicの雑誌を作りたいんだ」と熱く語ったのをいまでもよく覚えている。

時は流れて1996年、彼は同じくWM編集部員だった新野とネットワーク雑誌を立ち上げたのだった（VB雑誌はどこにいったのだろうか?）。しかし、新雑誌立ち上げには戦慄すべき危機を乗り越えねばならなかったことを知る人は少ない。

その危機とは、WM編集部のW編集長（当時）が提案した新雑誌の誌名である。

その名は『せのび』。

だれもPC系雑誌とは思えない。書店で『よいこ』や『めばえ』のコーナーに置かれてしまいそうだ。「せのび編集部」なんて書かれた名刺を人に渡すのは、絶対にイヤだ（わたしも後にこの新編集部に移籍する）。

この案は幸いにして（当然のごとく）そのまま闇に葬られたが、もし採用されていたらどうなっていただろうか。

現@IT編集局長・新野は語る。「『せのび』になってたら、アノ会社を辞める時期は大幅に早くなったし、@ITを作ることもなかったんじゃないかな」。

危ないところだった。

（編集局・中澤勇）



## No.038

### 進化するブロードバンド・ルータ/[コラム]Bフレッツ開通はいつ?

2002年2月6日

## [コラム]メルマガ担当のぼやき Bフレッツ開通はいつ?

多摩地区でも B フレッツの申し込みが開始された。

すでにフレッツ ADSL を導入しているものの、4km 以上の線路長、49dB の減衰により、400Kbps 前後しか速度が出ないのに業を煮やして、早速申し込んだのが 11 月。

NTT 東日本から連絡があったのが 12 月もあと数日を残すばかりの日であった。これですぐにも 10Mbps だと思ったら、事前調査が必要で、その後 1 カ月程度で工事を行うとのこと。うちは公団の集合住宅なので、管理組合の許可と立ち会いが必要で、実際の調査は 1 月の半ばとなった。調査に来た NTT-ME の人によると、なんとそばの道路までは光ファイバがきているが、そこから建物まではまだ光ファイバが通ってないので、実際の工事までは 2 カ月待ちだとか……。 「おいおい話が違うじゃないか」。

さらに、数日経ってから「古い集合住宅のため、MDF までの管が細く光ファイバのケーブルが通らない」との連絡。建物の外壁にケーブルをはわすことになるらしいのだが、そうになるとまた管理組合の許可が必要になるし、工事費がかさみそうな気配も漂っている……。いやはや、B フレッツ開通までにはまだまだ時間がかかりそうだ。

(編集局 松山雅明)

## No.039

### 基本から学ぶDNS/[コラム]死の恐怖の真実

2002年2月13日

# [コラム]@ITの真実 死の恐怖の真実

あれは忘れもしない1月25日(金)のことでした。

「薬を飲んでも熱が下がらない……」

週初めから具合が悪く、薬でごまかすという小細工を弄していた神崎でしたがこの異常事態になすすべなく、よろよろと近くの病院に這っていくことしかできません。

——死ぬんじゃないか?!

何しろ病気知らずのアンブレイカブルな身だった神崎にとって、検査を受けるのも久しぶりの経験で、診察結果が不安です。

そんな中、眉をひそめながら、お医者さまが重たい口を開きます。

**医者:**「神崎さん。症状はインフルエンザですが……ちゃんと栄養とってますか?」

**神崎:**「は、はあ。ちゃんと食べてますけど」

**医者:**「ちなみに昨日の晩は何を食べられました?」

**神崎:**「え~ U、UFO (焼きソバ)」<sup>(※編注1)</sup>

……気まずい沈黙。

その後のやり取りをまとめますと、日ごろの食生活(肉食一辺倒)の偏りとそれによる体の抵抗力の低下をやさしく指摘いただきました<sup>(※編注2)</sup>。

※編注1: 別に「焼きソバ」という食品が悪いわけではありません

※編注2: 血がドロドロだったとの報告もなされている

つまり……この飽食の時代に「栄養失調」であるという診断だったのです。この指摘に、わが人生のあまりの寂しさに、苦しい熱も一気に引く思いでした。

実家の両親にもずいぶん心配をかけ、2 日後にはダンボール箱いっぱいのビタミン C、俗にいうミカンが送られてきたのでした。

いかがでしょうか？ この神崎の貴重な体験からいえることは 1 つ。「抵抗力をつけなければインフルエンザにはかかるべくしてかかる」――

皆さんもお体にはくれぐれもお気をつけください。

(営業企画局 神崎良介)

No.040

Webサービスの実像 / [コラム] ADSL と B フレッツの狭間で

2002年2月20日

## [コラム]メルマガ担当のぼやき ADSL と B フレッツの狭間で

先々週の @ IT 通信で B フレッツのことでぼやいたら、「そんなのはぼやきではない」というお叱りのご意見をいただいてしまった。

4km 以上あるのは同じでも、NTT に断られてしまったとか。しかし、「ADSL」「損失」「スループット」などをキーワードにしてインターネットを探してみると……世の中は広い。49dB 以上の損失でも ADSL を使っている人はいっぱいいるようだ。そして、同じ 49dB の損失でも 1Mbps 近い下り回線速度が出ている人もいるようだ。

それなら、うちももう少し速度改善できないものかと、いろいろ小細工してみた。RWIN/MTU の調整、モジュラーケーブルの短縮化とツイストモジュラーケーブルへの交換、ノイズフィルターの挿入、フェライトコアの使用……。でも、ほとんど速度の改善は見られなかった。それどころか、最近では、リンクが頻りに切れる現象にも悩まされている。NTT の故障担当に電話したけど、「ノイズ源となるものからはなしてください」とか通りいっぺんの回答のみ……。後は、回線調整工事しかないのだろうか……。ブリッジタップはすすだけで 2 万円以上もとられるのは痛いし……。

件の B フレッツはというと、管理組合側の許可は出たものの、NTT からの連絡がない状態。そろそろ催促しないと駄目そうだ。

(編集局・松山雅明)

## No.041

### システム開発とインテグレーション/[コラム]編集局長の休日

2002年2月27日

# [コラム]@ITの真実 編集局長の休日

編集局長の新野です。半年前に引っ越した後、どういう訳か木工工作に目覚めてしまいました。

というのも、引っ越したときに新しい家具が欲しくなって、無印良品や千趣会などのカタログをつらつらと眺めたりしていて、目にとまったのが、おしゃれなローテーブル。木の板を組み合わせて、キャスターで移動できるようにしただけのシンプルなものが、2万円ナリ。

2万円は高いなあ、と思っているうちに、うーむこれなら作れる!——と、近所のDIYショップで、差し金(L字型モノサシ)、紙ヤスリ、ウレタンニス、カナヅチ、ボンドなどを買い込んで、東急ハンズで切った木を入手し、「とんてんかん、とんてんかん」と始めてしまいました。

木工工作なんて、高校生のときに自宅の郵便受けを作った以来ですが、なんとかなるもの。組み立てるうちに釘では強度不足なのが分かり、さんざん迷ったあげくに電動ドリル兼ドライバを追加購入。しかしこれが大当たりで!ドリルで下穴開け、ドライバで木ネジをぐりぐり突っ込むなど、ぐんぐん組み立てが進みます。おかげで作るのが楽しい!

完成目前で最大の山場はヤスリがけと塗装でした。木肌を整えるために冬のベランダに出て、ごしごし半日ヤスリがけをして、塗装。さらにヤスリがけ、再び塗装、の繰り返し。結果、情けなくも筋肉痛になりましたが、なかなかおしゃれなローテーブルが出来上がりました。それなりのもんです。

工具込みでだいたい1万5000円ナリ。目論見通り、市販品より安くあがりました。ばんざい!

気をよくした私は、今度は寝室のほうに使う予定のテーブルを作成中。さらにテレビ台や電話台も作るべく構想してます。

(編集局・新野淳一)

## No.042

### 基礎から学ぶファイアウォール/[コラム]初の都会進出

2002年3月6日

## [コラム]@ITの真実 初の都会進出

@ IT に入社してはや 4 カ月です。入社したのは寒い冬が本格的に始まる季節だったというのに、いまはもう春を感じるような暖かい日が多くなってきました。しかし喜んでばかりもられません。おかげで花粉症がツライ毎日です。

さて、@ IT に入社することになって、楽しみに思ったことの 1 つは「都会に通える」ということでした。

「都会」と言っちゃうのもどうかと思うけど、なにせ私が今まで通ったのは隣に牧場（牛がいた）がある高校だったり、山を切り開いてキャンパスを作った大学（通学途中の田んぼからカエルの大合唱が聞こえた）だったり。なんと田園牧歌的な風景ばかりを何年も何年も見てきたのです。一応首都圏なのに。

そして以前の職場はちょっとだけ「都会」になり、駅前で便利な場所だったものの、割と静かな住宅地区にありました。一番大きな商業施設は駅前のスーパーぐらいという程度。

そもそも、私が育った土地も（首都圏なのに）車がないと生活できないような場所なので、「都会」への憧れは強かったのです。

というわけで、人生初の都会進出を果たした私ですが、1 つだけデメリットを感じています。それは、飲食代が高くつくということ。今まで学食や社食の恩恵を受け続けていたので、よけいにそう感じます。渋谷だから特別高いということはないでしょうけど、少なくとも地元の飲食店と比べたら、同じメニューでも 200 円ぐらい価格差があるはず。まあ、予想していたことではありますが、この点だけはちょっとうれしくないですね。

でも、学食や社食っていわば「身内」にしか会わない場所ですが、一般の飲食店だとまったくなんの接点もない他人が隣の席にいて、「世の中にはいろいろな人がいる」と思えるからおもしろいです。電車やバスの中でもそうですが、隣の人がおもしろい話をしていると、聞かつもりはなくてもついつい聞いてしまったり、おもしろい行動を観察してしまったりします。

話がそれましたが、お店がいっぱいあるという便利さを享受しつつ、そういう人間観察も「都会に通うこと」で楽しんでいることの 1 つなのでした。

（編集局・新人あべ）

No.043

スパムと戦う管理者のために / [コラム] インテリジェント・ホテルの真実

2002年3月13日

[コラム] @ITの真実

# インテリジェント・ホテルの真実

ニュース担当の末岡です。性別は女性。この“属性”はこれからお話する中で重要な情報となるので、気に留めて読み進めてください。



2月末に出張で米国に行ってきました。行き先はメキシコとの国境に近いサン・ディエゴという都市。パンダのいる動物園でも有名なので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか？

そのサン・ディエゴに到着した日、ホテルのロビーで他社の記者たちと別れ、自分の部屋に入ってまずしたことは、日本から持ってきたPCをインターネットに接続することでした。

さいわい、滞在したホテルは各部屋にイーサネットのクチが設置されている“インテリジェント・ホテル”だったので、そんなに手間取ることもなく——といたいところですが、ちょっとしたトラブルが発生しました。

PCをネットワークに接続すると、画面に料金コース選択のページが表示されました。「1日」か「1週間」か、コースを選べというものですが、私は特に深い考えもなくとっさに「1日」をクリック、晴れてインターネットへの道が開けました。

Webの閲覧とメールの送受信ができることも確認したころ、「そういえば……」と思い出したのが、最初の料金選択画面。その日を入れると5日分使用することになる私の場合、1日ごとの課金より一週間コースのほうが安かったのです。

そこで最初の画面に戻ろうとするもなかなか戻れず、数分間の格闘の後、イーサネットの接続口に書いてあった電話番号に問い合わせることにしました。何とか説明しようとするのですが私の英語力不足か、うまく事情が通じていない様子。すると先方は「エンジニアを派遣するから部屋で待っているように」と指示してきました。

「そこまで面倒が必要なら、1日コースでいいや」と思ったものの、相手はもう電話を切っていました。

待つこと約 30 分。“エンジニア”が私の部屋のベルを鳴らしました。ドアを開けると工具類の入ったショッピングカート・サイズの巨大カートとともに、“エンジニア”が立っています。40 才ぐらいでしょうか。さすがメキシコに近いだけあって、ラテンの雰囲気漂わせた男性（ド派手なネックレスがやけに目立つ）でした。

（想像した“エンジニア”とはかなり違うなあ……）

さて、この“エンジニア”に事情を再度説明するのですが、ここでも反応が芳しくありません。彼の運び込んだカートを見ていて気が付いたのですが、“エンジニア”の守備範囲は広いらしく、電気や水道などの簡単な配線・配管工事が担当であるように見受けられます。

（もしかして、ネットワークの知識はあまりないのでは……）

案の定、私の説明を聞いて彼が最初にしたことは、電話をかけて支持を仰ぐことでした。そして、私にこういったのです。「大丈夫。確認したら、一日ごとに払ったほうが安いから、このままでいいよ」

私はもうそれ以上説明する気も起こらず、納得した振りをして苦笑いしていると、件の“エンジニア”は、私に「どこから来たの？」などと質問し始めるではありませんか。挙句の果てには、「このホテルに勤めているから（そんなこと分かっているんだけど……）、いつでも会いに来ていい」などと言い出す始末。

追い払おうと出口まで送り出してもドアの手前で立ったまま動かず、なかなか部屋を出て行こうとしません。やっとのことで追い返しドアに鍵をかけると、どっと疲れがでて、時差ボケもあいまって、そのまま眠りこんでしまいました。こうやって、初日にして唯一となる自由時間を台無しにしてしまったのです。

最近、日本のホテルでもインテリジェント化が進んでいると聞きますが、サポートは大切です。どんな“エンジニア”をサポート要員として配置するのか、少し気になるところです。

（編集局・末岡洋子）



## No.044

### いまどきのeラーニング/[コラム]年収7500万円の先輩は幸せか？

2002年3月20日

# [コラム]@ITの真実 年収7500万円の先輩は幸せか？

@ IT ジョブエージェントを担当しています小林です。先週、大学時代の先輩（S41 生）と数年ぶりに飲みました。

その先輩は卒業後、外資系金融機関に入社し、今まで同業界で 3 回転職（ではなく転社ですね）しました。その間の最高年収はナント 7500 万円! 為替ディーラーという過酷な仕事とはいえ、僕からするとオイオイという感じでした。

で、その先輩今は何をしているかという、一年間ばかりプータローです。そのうち半年間は家族（奥さんと子ども 2 人）を連れて、世界一周していたそうです。そこまで聞くと「そのままずーっと一周しててくださいな」と言い放って席を立とうとしましたが、どうも悩んでいる様子。

バブルの頃のヤンエグ（死語）の典型のような先輩は、僕にこう質問しました。

「なあ、オレ、どんな仕事したらいいと思う？」

とりあえず手っ取り早く儲かる仕事ということで、外資系金融機関に入社し、本来の優秀さでトップクラスの為替ディーラーになり、何社も渡り歩き、宝くじの一等賞金のような年収をもらっても、やっぱり「適職」ではなかったようです。

「“やりたい事、やるべき事、得意な事” の 3 要素を満たす仕事を自分のキャリアビジョンにすると幸せな仕事ができます」と私は受け売り（苦笑）のアドバイスをしました。

この先輩に限ったことではありません。かくいう僕だって、社会人 12 年目を迎えようとしているにも関わらずキャリアプランニングは見えてきません。この話に共感できる方（年収にじゃなく、見えないキャリアプランニングについて）のために、幸せになるキャリアプランの立て方セミナーを開催します。

（営業企画局：小林教至）

## No.045

### 企業間コラボレーションの時代に向けて / [コラム] “ツチ吉”の葛藤

2002年3月27日

## [コラム] @ITの真実 “ツチ吉”の葛藤

@ IT の記事はこう見えても (?)、校正者の方に校正をお願いしている (これは極秘情報だが、していないものもある)。そこで以前、ある原稿に関して校正者の方から次のような指摘を受けた。

「吉野家」の “吉” の上は「土」です——。しかも、吉野家は社名の表記にわりとこだわるとの話である。

と言われても「吉」の字は、「斉／齋／齊／齋」などと違って、工業技術院日本工業規格では同字の扱いになっており、文字コードは1つしか割り当てられていないから書き分けるとしたらフォントで切り替えるしかない (しかも該当する字体をもっているフォントセットが必要)。印刷物を作っているならともかく、Web メディアの @ IT に対してあまりといえばあまりの指摘である。

そこで本家本元の「吉野家ディー・アンド・シー」のサイトはどうなっているかと思って見てみると、ロゴが「土」になっているのは当然として、なんと本文中の “吉野家” も「土」になっているではないか!

どうなっているのかと思ってしてみると文中にグラフィックが貼ってあるのだ。したがって、Web ブラウザの文字サイズを変更すると少々悲しいことになってしまうが、このページを作った方のご苦労がしのばれる思いであった。

さらに校正者の方の情報を裏付けるように、吉野家サイトには各ページに『弊社の “吉” は「土」に「口」、 “や” は「家」です』というような説明まで載っている (現在は無いようです)。

さて、では @ IT でも「吉野家」文字をグラフィックで載せたか?——というと、悩んだ挙句 (?) ませんでした。吉野家のみなさん、ごめんなさい。

このあと、新聞や雑誌で「吉野家」と出てくると見てしまうのだが、なるほどけっこう「ツチ吉」(俗にそういうらしい) になっていることが少なくない。そこにはそれなりに苦労や配慮があるのだなあと思ってしまうのである。

この文字コードと書体の話は奥深く、かつ文科系・技術系の人々が入り乱れて、バトルロイヤルを繰り広げている分野なので、ここではこれ以上深入りしないが、もしご意見・感想などありましたら、会議室までどうぞ。

(出版局：鈴木崇)

## No.046

### キャリアプランを考えよう/[コラム]みんな悩んでいるんですね

2002年4月3日

## [コラム]@ITの真実 「みんな悩んでいるんですね」

@ IT ジョブエージェント担当の小林です。先々週のこのコラムでもお知らせしました@ IT 初のキャリア関連セミナー「自分戦略セミナー」を3月30日に開催しました。

当日は、会場一杯で急遽イスを追加したほどでした。お越しいただいた皆さん、ありがとうございました。ご回答いただいたアンケートを見ると、おおむね好評だったようで、第2回を行いたいと画策しているところです。今回お越しになれなかった方はぜひ次回ご参加ください。

さて、タイトルのせりふですが、セミナー後のキャリア相談を終えたキャリアコンサルタントのひと言です。

日常、何人もの転職希望者に会っているキャリアコンサルタントでも、このような感想をもらすほど、セミナー参加者の方々は真剣でした。セミナーを企画した私としてはうれしくもあり、同時に背筋の伸びる思いです。

エンジニアは、目の前のテクノロジーを習得しなければならないと同時にそのテクノロジーに固執しては、テクノロジートレンドが変わったときに「使い捨て」になります。かといって、テクノロジーを追っていかなければ、「使い物にならない」というジレンマを抱えています。

セミナーのスピーカーの共通した意見は「ビジョン」を持つことです。そして「自分戦略」を構築すること。将来こうなりたい/これをしたい、だからいまこれをする、というものがないと目先の仕事や技術動向に右往左往することになってしまいます。

最後にセミナー参加者のアンケートからご紹介します。

「自分を発見することは難しいこと。それを発見する考え方、発見後の自分の道を創造していくことの重要性が発見できて、大変良いセミナーでした」

都合のいいコメントを抽出したようで恐縮ですが、この人は、すでに自分戦略構築の“はじめの一步”を踏み出せたことは確かだと思います。

まだ自分戦略を持っていない方、まず何かを始めてみませんか。@ IT ジョブエージェントは IT エンジニアの自分戦略の構築と実現をサポートします。

(営業企画局：小林教至)

No.047

セキュリティホールに気を付けよう / [コラム] がんばれ! 『リナックス』業界

2002年4月10日

## [コラム]@ITの真実 がんばれ! 『リナックス』業界

「Linux Square フォーラム」の本年3月月間ページビュー数が100万ページビューを超えたことを先日発表しました。

思えばインテルなどがRedHat社に出資をして、にわかLinuxが注目され始めてから早いものでもう4年になる。当時かたくなに『ライナックス』や『リヌークス』などと呼ぶ人も多かったこのOSも、いまやすっかり定着し、@ITでも「Linux Square」は「Windows Insider」と並ぶ看板フォーラムとなった。

このLinux、オープンソースという殺し文句をひっさげ登場してきた当時はすいぶん話題を振りまいたが、その後はどうも期待どおりには成長していないところもあるようだ。実際、私の営業先でもLinuxに関係しての(最近)景気のいい話は聞けなくなっている。

しかし、これと似たような歴史をもつテクノロジーを私は知っている。

Linuxが注目を浴びる3年も前に、インターネットの新たな可能性を一身に受けて登場した言語——『Java』である。その登場時の衝撃に反して、ビジネスとしてはなかなかブレイクせず、しばらくは技術者のおもちゃなどと呼ばれる時期もあったが、着実にその技術は進化していき、Webアプリケーション~Webサービスの登場により、いまや押しも押されぬITの花形テクノロジーである。

ジャンルや生い立ち異なるが、似てなくもないLinuxとJava。同じように大ブレイクへの道を歩んでいるのでは?などと、確たる根拠などはないが密かに期待している。

Javaがブレイクしたのはその登場から7年後……。とすればブレイクまでわずか。フォーラム同様、Linux業界もブレイクしてほしいものだ。

がんばれ! 『リナックス』

(営業企画局:手塚暁)

No.048

新人教育担当者になられたあなたに / [コラム] 今年のチャレンジ

2002年4月17日

## [コラム]@ITの真実 今年のチャレンジ

3月末に@ IT ジョブエージェント初のオフラインセミナー「IT エンジニアのための自分戦略セミナー」を実施し、そのサポート隊としてこのセミナーを見ていたときに、私もあらためて自分のキャリアや仕事内容について考え、ふと思い出したことがあります。

学生のころ、入社試験の面接で「あなたは5年後、どうなっていたいですか?」と、面接官に聞かれました。

「お客様に愛される営業 Woman になりたいです」

真顔でこう回答したその会社に入社となりました。それから時は流れて……結局、バリバリの営業 Woman にはなりませんでしたが、お客様に好印象を持ってもらえる製品を作りたい、イベントやセミナーをやりたいと、“お客様に愛される”気持ちは忘れずに、仕事をし続けています。

さて、この3月のセミナーの時期は、@ IT 社内は今年の自分の業務についての目標を立てるのに、全員が四苦八苦していました(@ IT の新年度は3月からです)。年間を通してのチャレンジ目標と、それぞれに対するアクションプランを1つにまとめて形にします。

その中で今年の私の業務は、イベントやセミナーに重点が置かれることになり、また@ IT が今年度力を入れたものの1つであることも確認できました。

仕事やキャリアの目標やそれらを達成するためのアクションをまとめるのは、面倒で時間もかかるので、後回しになりがちですが、真剣に自分の仕事内容について考える良い機会となりました。

考えた結果、まず第1四半期のメインは、「翼システム カンファレンス 2002」での@ IT 企画・提供のデベロップメントトラックです。今年@ IT がチャレンジしようとする新しいコンテンツ提供の試みです。

そして今年の私のチャレンジは、イベントやセミナーなどを@ IT の中で育て、大きくすること。もちろん読者の皆さんに「@ IT だから行きたい!」と思ってもらえるものを作り上げること。

5年後の私は……やはり周りの人を喜ばせる何かをしているんだと思います。それが何かは秘密です。皆さんの今年のチャレンジは何ですか? そして5年後は?

(営業企画局:加部浩子)

## No.049

### 今後注目のIP電話を知ろう/[コラム]2年前、何をしていましたか？

2002年4月24日

# [コラム]@ITの真実 2年前、何をしていましたか？

ついこの間、お正月だったような気がするのに、もう今週末からGWに突入。日々、慌しくしていると月日のたつのは、早いものですね。

あなたは2年前の4月、何をしていましたか？先月と今月では、変わり映えしなかったとしても2年前と現在では環境もご自身も変わっているのではないのでしょうか。

さて、わたしはというと2年前はちょうど5月末の@ITサイト開設に向けて、おおわらわでした(もうすぐ開設2周年!)。マーケティングコミュニケーション担当者としては、サイト名の「@IT」をどんなロゴマークにしようということから始まり、サイトが開設したことをどうやって告知していくか、どんなメッセージでどこで伝えるかと、@ITを必要としているはずの人たちをどうやったら読者にできるのだろうと日々奮闘していました。

そう、一番気になっていたのは読者。どんな人が読んでくれるのだろうと悩んでいました。雑誌や書籍であれば書店で手にとって人や電車で読んでいる人を見る機会もありますが、オンラインメディアでは、なかなか読者の姿を見ることはできません。いまひとつ、自分たちの仕事の手応えがリアルに感じられなかったのです。しかし、2年たった@ITでは、先日のJob Agentセミナーのようなオフラインセミナーを開催するようになり、オンライン上で記事を読覧したり、サービスを利用してくださっている読者の方に会う機会も多くなってきました。

2年間の小さな積み重ねで少しずつ成長してきた@ITの原動力はなんといっても、読者の皆さんです。オフラインセミナーは、そのセミナー自体の成功も目的ではあるのですが、読者の方々の顔や声が生で感じられる嬉しい機会です。言葉ではうまく理由を表現できませんが、この2年間してきたことが実感できる瞬間です。

今年の@ITはいろいろな形やテーマでどんどんオフラインセミナーやイベントを提供していきます。6月には翼システムカンファレンス2002で「デベロップメントトラック」を企画・提供します。ぜひ、疲労の極みにある@ITスタッフを喜ばせるためにも(笑)関心のあるテーマがあれば、ご参加ください。絶対、損はさせません!

(PR&マーケティング:土屋利佳子)



## No.050

### 無線LANに取り組もう/[コラム]Bフレッツその後

2002年5月1日

## [コラム]メール担当の一言 Bフレッツその後

以前、フレッツ ADSL を導入したが速度が出ず、業を煮やして B フレッツを申し込んだことを 2 月に書いた。@ IT クラブ Cafe 会議室では「ぼやきに聞こえん」というお叱りもちょうだいした。今回もぼやきということで書かせてはいただくが、またお叱りをちょうだいするかもしれない。しかし、きっとタメになる話もあるはずなので、最後まで読んでいただきたい。

1 月の事前調査で開通は 2 カ月後と言われていたが、その後の連絡で 4 月上旬と伝えられた。その間、わが家のフレッツ ADSL は、400kbps は出るものの、日増しに ADSL のリンク切れが多発するようになってしまった。何度か NTT 東日本に電話やメールをし、ADSL モデムやスプリッタを交換したが改善されず。後は回線調整しかないとのこと。改善されるかどうか分からない回線調整に 3 万円近い金額は出せない。ましてや、B フレッツが間近に迫っているのに。

そうこうしているうちに 3 月末になり、メールで問い合わせをしたところ……「大変申し訳ないのですが、お客様の開通工事につきましては 6 月中旬から下旬を予定しています」との返事。すぐさま「問い合わせるたびに 2 ～ 3 カ月先になるのはどういうことか?」と返事を送ったところ、翌日には電話があり「4 月 10 日をめどに開通工事を行います」とのこと。二転三転いったいどうなっているのだろうか……。

そして 4 月も 1 週間が過ぎたが、また連絡がないので問い合わせると、翌日に電話。「4 月 24 日でいかがでしょうか?」もう少しなんとかならないかと交渉した結果、工事日が 4 月 17 日に決定した。当日無事工事の方が来られ、電話線の配管を通さずに家のわきの電柱から直で光ファイバケーブルを引き、エアコンのダクトより部屋の中に通し、つつがなく工事も終了。フレッツスクウェア直では、約 8.6Mbps というスループットを示していた。工事料金も基本の料金のみ請求だった。これは嬉しかった。

しかし、びっくりしたのはこの後だった。その後同じ敷地内の方から電話があり「うちは、電話線の配管が狭くて通らないので、断られました」とのこと。まったく、同じ構造の住居でありながら、このような差はいったいどういうことなのだろうか。ブロードバンドという言葉ばかりが先行しているが、こういった現場レベルでの状況もっと改善してほしいものだ。そして、これまで、ADSL や B フレッツを断られた方や長い間待たされている方は、ぜひこまめに担当者に連絡して、相談することをお勧めする。

(編集局：松山雅明)

## No.051

### 駆除よりもウイルス対策が重要 / [コラム] 効果的なリフレッシュ方法は？

2002年5月8日

## [コラム] @ITの真実 効果的なリフレッシュ方法は？

最近、肩や目が痛いときがあります。

帰宅時の通勤電車の中でつり革につかまるときの、肩が痛くて腕が上がらないことや、目の周りが痛くなり、頭痛にまでなってしまうことがたびたびあります。まず原因として考えつくのは、パソコンを操作しているということでしょうか。一日のうちパソコンを操作している時間は、平均 5 ~ 6 時間といったところですよ。開発者の皆さんと比べるとさほど多いということはありませんよね。

それ以外で思い当たるとすれば年齢でしょうか？ 20 代のころには毎日 10 時間程度パソコンの前から離れなくてもそれほど、肩が痛いなどと感じたことはなかったのですが……。最近、運動も積極的にやってませんので、体力の衰えから、疲れがダイレクトに体に反映してしまうのでしょうか？

また、20 代のころは元気がありましたから、帰宅途中に複数のスポーツクラブに通って運動をしたりしてリフレッシュに心掛けていました。

しかし、いまでは平日にスポーツをすることは時間的になかなか厳しい状況です。そこで、週末には何かやらねばとは思っていますが、これまた以前のように早起きをして積極的に草野球の試合に参加したり、スポーツクラブで運動をする気力と体力がなくなってきています。まずい兆候です。

それでも、何かやらねばという気持ちだけは強く、いくつか運動器具を購入してしまいました。メジャーリーグも愛用している全身を鍛えるスイング棒のようなものやアブ何とかという仰向きで腹筋を鍛える器具や、腹巻みたいに巻いて自分で動かなくても腹筋が鍛えられるなものなど。しかし、購入しただけで気が済んでしまっているので、出費はかさんでいますがまったく効果は出ておりません。

さて、その腹巻のような器具は、ボタン電池で動作しているのですが、最強にした場合、使い始めは腹筋が針金でつかまれるような強烈な痛みを感じるほどの強度がありますが、15 回ほど使用するとパワーが激減し、動作しなくなってしまいました。消費電力が随分大きいようです。そりゃそうですね、1 分間に腹筋 200 回分の運動をするらしいので……。

30 代以上の皆さん、こんな私に皆さんが日ごろ行っておられる、効果的なリフレッシュ方法がありましたら、ぜひお教えてください。

(編集局：近藤孝一)

## No.052

### コンパクトを飲み込んだHP / [コラム] 街角ビジネスの明日はどっちだ

2002年5月15日

## [コラム] @ITの真実

# 街角ビジネスの明日はどっちだ

先週、家の近所に最近大規模なチェーン展開で知られる古本店が2軒続けてオープンしました。自宅近辺はあまり開発の進まない地区ですが、ここまで出店してきたかと思うと都内の他地区はもう飽和状態なのかとひねた見方をしつつ、もの珍しくて2軒をはしごしました。

同じチェーンなのでだいたい品揃えが同じだろうと思っていたにもかかわらず、かなり違いがあることに驚きました。1店は新刊で売れ筋のマンガが中心で、もう1つの店は、単行本やビデオを置いているようです。始終流れる音楽と広告アナウンス、立ち読み歓迎というスタイルは、それまで地元にあった古本店にはなかったものです。勢いで、そのうちの1店で数冊購入してしまいました。

昨夜もその店の前を通ったのですが、やはり混んでいます。そういえば、深夜まで営業しているディスカウントストアやカジュアルウェアで大ヒットしたチェーン店もこんな感じだった記憶があります。その店舗の入った建物には以前コンビニが入っていましたが、いまやコンビニがあった時よりにぎやかです。チェーン古本店の隣では、去年開店した古本店ががらんとしたお店で営業を続けていました。そういえば通りに7店あったコンビニも、すでに3店が閉店という状態です。チェーン古本店も立地条件や品揃えの違いが営業にどう影響するか、来年はどうなっているか、ビジネスとしてどこで転換期を迎えるのか、などをぼんやり考えつつ、買った本を読んでいます。

@ IT はおかげさまでもうすぐ2周年を迎えますが、常に変化を読み迅速に対応しなければ3周年は迎えられなくなるかもと、こじつけっぽく思ってます。そんなわけで3年目もどうぞごひいきに。

(事業企画局・三田)

## No.053

### ファイル交換以外もあるPtoP/[コラム]カンザキの「英会話は楽しい」

2002年5月22日

# [コラム]@ITの真実 カンザキの「英会話は楽しい」

10 カ月ほどお休みを取っていた英会話学校に再び通いはじめました。

さすがに@ IT に入ってから、「毎週木曜日の 8 時は英会話の日」な～んていう余裕もなく、休みの取れる土曜日にはレベルに合うクラスがないということで、映画や某海外弁護士ドラマの DVD を字幕なしで見たり、話題となった某魔法使い童話を原文で読んだり、1 人で英語上達活動に取り組んでいました。

しかし、やはり語学上達の近道は会話。会話の基本は「私+あなた=私たち」の意志伝達。いくらヒアリングレベルが上達したところで、こちらの意志を英語で伝えることができなければ、異文化コミュニケーションなんて成り立つわけありません。ちょうどそんな折、以前通っていた英会話学校でレベルに見合ったクラスが土曜日に開設されたこともあり、喜び勇んで参加したのでした。

久しぶりに 2 時間出席した英会話学校は、やはり 10 カ月のブランクが大きく、従来仕事の中だけで感じていた挫折を仕事の外でも感じることになりました。いまやズタズタに引き裂かれたプライドのためか、気分は星屑となって、空を飛び回っています。

とはいえ英会話は楽しかったです。1 人きりで勉強するのと違うと感じたことが 2 点あります。

#### 1. やっぱりコミュニケーション

「毛利元就三本の矢」の故事を持ち出すまでもなく、やはり 1 人より 2 人、2 人より 3 人で学ぶ方が、はるかにモチベーションを高く維持することができます（マン・ツーマンの授業も受けたことがありますが、どんなに仲の良い先生でも、時間が経つにつれ、けん怠期のカップルのように、会話も滞りがちになるものです）。

といっても、学校の授業のように、先生 1 人に対して生徒 40 人だと、2 時間の長丁場で集中力を保つのは至難の技です。そのあたりは「さすが英会話学校! 心得てらっしゃる」といったところでしょうか（いや別に特定の学校をヨイショしているわけではありません）。

今回は生徒 6 人の構成で授業を受けたのですが、会話も止まることなく、誰かのテンションが低くなれば、どっこい今度はこっちがテンションを上げる番だとばかりに、終始、活発に英語が飛び交う授業となったのでした。

## 2. 普段（日本語でも）考えていないことを話せる

ちなみに前回の授業では環境問題について話し合ったのですが、普通に生活していると、「環境のキーワードは3R（Reduce、Reuse、Recycle のことらしいです）だけ」なんて話す機会は皆無です。ちなみに来週は Numerology（数秘学）らしいですし、立場の違うクラスメイトと、普段考えもしないことをあれやこれやと話すことは楽しいものです。

今回のクラスでただ1つ寂しかったのは、クラスメイトの職業が、学生、金融系、デザイナーだったせいか、@ IT を知っている人がいなかったこと。「やっぱり@ IT 読者たる最前線のエンジニアは忙しいのか〜」と残念至極……。

エンジニアの方も英語が使われる機会が多いと思われます。しかし業務が忙しすぎて英語の学習をすることがおっくうになっている方も多いでしょう。英語習得の道は多々あります。英会話学校も英語能力取得の手段の1つですが、学校に通う時間や予約の調整が難しい皆さんには、インターネットで学習する方法もあります。気楽な感じでトライしてみてもいいかもしれません。

（営業企画局：神崎良介）

## No.054

# システム連携の本命“Webサービス”/[コラム]谷に古いに宇宙の宇

2002年5月29日

## [コラム]@ITの真実 谷に古いに宇宙の宇

こんにちは。谷古宇です。ヤコウと読みます。およそ 1 週間前に入社したばかりです。

さて、私は電話で自分の苗字を説明するのがとても面倒だと思っています。あまりにも頻繁に説明をしなければならないのです。故にフォーマットを作って随時対応することにしてあります。「谷（たに）にふるい（古い）に宇宙（うちゅう）の宇（う）です」と。

取材時だと先方の 90%の方は、名前を聞いた後に私の出身地を聞いてきます。この時にもフォーマットを作り対応しています。「埼玉県の三郷（みさと）というところですよ。ホラ、常磐道のインターチェンジがあるところですよ」。こういってたいのいのが「ああ、なるほど」と納得した顔をしてくれます。今まで何回このような説明をしたか分かりません。今でも会見案内の宛名に「谷古」や「谷古宙」や「ヤフブ」などさまざまな誤解に満ちた名字が書かれてくるので、啓蒙活動は怠らないようにしなければならないと思っています。

@ IT にくる前は、とある IT 業界紙の記者をしていました。夜討ち、朝駆けもやりました。記者クラブには入っていませんでしたが、記者クラブでくつろいだことはあります。朝の記者クラブはサービスの行き届いた喫茶店みたいなもんだと思いました。

取材ターゲットは企業の偉い方々でした。つまり経営戦略が取材の主眼だったわけです。だれが退任し、だれが就任するのか？ どの企業がどの企業を合併し、はたまた吸収するのか？ そういうことです。決算期には決算書の山とにらみ合う日が続きました。

同じ IT 業界にいたとはいえ、切り口が違えば世界の見え方はまったく違ってきます。@ IT から眺めた IT 業界の動向は、これまでとは違うミクロな世界だと捉えています。ミクロとはいえ、世界そのものが狭まった訳ではないのが不思議ですね。IT 業界の底深さというか、そこから世界の在り方の多様さというスケールの大きな感慨を実感しているところです。

（編集局：谷古宇浩司）

## No.055

### 情報管理の前に行うべきこと/[コラム] 答えの導き方

2002年6月5日

# [コラム] 部長のつぶやき 答えの導き方

先週、私の小学生の子どもが通っている絵画のアトリエの先生がこんなことをしていました。

「いまの子どもたちは、方法や技法の習得から学び始めて答えに至ろうとしたり、あるいは答えから始めて、答えを得るための方法を探そうとしている」というのです。

子どもたちといっても、結局は親や社会がそのように教えているのであり、もっといえば受験のためにそのようになってしまったということなのでしょう。

しかし、よく考えてみると、子どもたちばかりではなく、これまで自分自身がそうではなかったかとはっとさせられました。

私も子どものころから、何の疑問を抱くこともなく決まりごとや社会的評価の定まったことを受け入れてきました。最近になってやっと、子どもとのかかわりを通して、「なぜ」とか「どうして」ということを、自分に問いかけるように成長(?) できたと感じているところです。

職場でも、何の疑問も抱かずに仕事をしていると、新たな発想や改善をしていこうというマインドを持つことが、非常に難しくなります。

私の業務でいうと、商法改正や会計基準の変更があった場合、「勉強して対処しなくては」ということになりませんが、単純に表面上の変更点を学習し覚えたところで本質的な理解をしているとはいえません。法律や制度が変わった社会的背景や意味、理念を押さえておかないことには、イレギュラーな事柄が起こったときにより対応が取れません。

答えを導くといっても、ただ単にアンサーが得られればそれで良しとするのではなく自分なりのソリューションを生み出す力——その力こそが大切なのです。

「学校が週休 2 日で子供の学力が心配だ」などという前に果たして自分が豊かな感性や想像力を生み出せる発想を持っているか、自問してみることも大切ではないでしょうか。



アトリエの先生いわく、「お父さんの仕事も技や方法だけに頼っていると、そのうち行き詰まってしまいますよ」と脅かされてしまいました。

なんだか年を取るとともに自分の発想の乏しさが浮き彫りにされてくるようで、肩を落とす場合もありますが、新しい視点、異なる発想を考える癖をつけることによっていままでと違った答えが導き出せることもあるのではないかと感じます。

(総務管理局：工藤靖)

## No.056

### ネット社会のインフラ“IPv6”/[コラム]K6-IIIとWin98はがんばれるか?

2002年6月12日

#### [コラム]メルマガ担当のつぶやき

# K6-IIIとWindows 98は まだまだがんばれるか?

System Insider フォーラムで「日本の PC 史を振り返る」という記事が掲載され、それに伴い、System Insider 会議室も大いに盛り上がっている。私が初めて自分で買ったパソコンは富士通の「FM-7」だった。そこまで古くはないが、いま自宅で使っているマシンは、K6-III/400MHz に Windows 98SE を搭載したマシンだ。メモリも DIMM ではなく SIMM を利用している、マザーボードだ。ちょっと高かったが 64MB の SIMM を 4 枚挿して 256MB にしている。ATA/100 ボードを入れて、流体軸受けの 60GB HDD を載せている。ビデオ回りも、AGP スロットがないマザーボードなので、PCI のビデオカードだ。それでもなんとかパフォーマンスを上げようと、nVIDIA の G-Force2 搭載のものにもしている。そんな健気なマシンだが、最近どうにもこうにも調子が悪い。電源を入れっぱなしにしておくと、半日も経つと、画面がブルースクリーンになる。いや場合によってはブラックアウトしていることすらある。当然リセットするわけだが、そうすると Windows 98 のロゴが表示されるころまではいくのだが、そこでそのロゴが消えるとウンともスンとも言わなくなってしまう。最初はビデオ関係の不具合かと思ってビデオカードを変えてみたのだが、不具合は解消されなかった。あきらめて、放置して翌日電源を入れてみると何事もなかったかのように立ち上がるではないか。これは、ひょっとしたら、熱暴走なのだろうか?梅雨入りしたばかりで、これからますます暑くなるというのに……。

やはり、もうそろそろマシンも引退の時期なのだろうか? 家ではメールと Web サーフィン程度しかしないので特に問題はなかったのだが……。ま、確かに B フレツツになってから、動画を見るときには多少もたつくことがあるのは気になってはいたのだが。皆さんの家のマシンの調子はいかがですか?

(編集局: 松山雅明)

No.057

アプリケーションサーバ市場 / [コラム] 変革期のソフトウェア開発

2002年6月19日

## [コラム] @IT の真実 エンジニアの視線から見る 「変革期のソフトウェア開発」

@ IT の藤村です。コラム執筆はずいぶんしばらくぶりです。お元気ですか？

去る 6 月 6 日に「翼システムカンファレンス 2002」が開催されました。@ IT も「特別協賛」企業として「デベロップメントトラック」の企画・運営を担当させていただいたのはご承知のとおりですね。

この「トラック」は、@ IT の「Development Style」で扱っている、開発プロセスの変革にかかわるテーマを中心に 4 つのセッションで構成しました。いま最もエンジニアを熱くするテーマがそこにあると考えたからです。さながら「Development Style ライブ」の内容で、オンラインと同様、いまをときめくエッジな企業のエッジな論客が次々登壇。会場は熱心な参加者で埋められ感激しました。

さて、この「カンファレンス」に深く関わってみて、まさに主題どおり「変革期のソフトウェア開発」の大波を実感することができました。

そう。数年前であれば、市場シェアを有するベンダ各社のキーマンが、製品アーキテクチャや戦略を語る。それがそのまま「最新のソフトウェア開発の課題」でもありました。

いまは違います。趣は変わり、有力ベンダの多くはその成熟度合いを競い「プラットフォーム」や「インフラ」と一歩退いた位置を志向するようになりました。他方、開発プロセスをめぐる方法論議や、そのためのツール、ソフトウェア部品などにハイライトが当たり始めました。規模による優勝劣敗を超えて、まさに適正な「粒度」に価値が見いだされる時代。“おもしろい時代”の到来です。

@ IT は、こんな「時代」のまっただ中をエンジニアのみなさんと一緒に歩んでいきたいと願っています。そんな折り、来る「SODEC」(ソフトウェア開発環境展)の一角で、おしゃべりをさせていただく機会を得ました。エンジニアの視点から、この「変革期」がどう見えているのか。@ IT 読者調査の結果などを紹介してみたいと思っています。時間があえば、ぜひ会場でお会いしましょう。

(代表取締役:藤村厚夫)

## No.058

# Apacheを学ぶ/[コラム]非技術者にお薦め、生きるための方法論:XP

2002年6月26日

## [コラム]リサーチャーのネタ元

# 非技術者にお薦めする、 現在を生きるための方法論:XP

僕は@ IT でアンケート調査なんかを担当していますが、調査設問を作るときに煮詰まると、参考書（ネタ本）として IT 関連書籍を買いに行きます。

といっても何が書いてあるかなんて分からないまま、ボキャブラリだけ仕入れるという激しく不毛な読書体験が 99%を占めるわけですが、たまには読んでいて熱くなる本に出会ったりもすることもあります。今日はそんな 1 冊、XP こと『エクストリーム・プログラミング入門』について書いてみます。

注) 僕にはオブジェクト指向の Agile な開発プロセスを語る素養も資格もないので、その辺のお話にご興味ある方は、ぜひ@ IT Development Style コーナーをご覧ください。

XP 入門はその名の通りソフトウェア開発者のために書かれた本ですが、僕のような事務屋が読んでも、なぜか自分のために書かれているような気がしてくる不思議な魅力を持っています。それは何でだろうあと手元の本を眺めなおすと、こんな一文に出くわします。

“すべてのものは変化する。要求は変化する。設計は変化する。ビジネスは変化する。テクノロジーは変化する。  
(中略) 変化自体は問題ではない。変化は起こりうるものだ。問題は変化が起きたときに対処できないことだ”

これは、本書のクールな副題“Embrace Change: 変化を抱きしめよう”の背景となる（たぶん）箇所だけど、すべては変化するというこの基本認識は、ソフトウェア開発者にだけあてはまるものではないでしょう。非定型な業務に携わっていれば、先が見えないから不安になる。それを避けるために念入りな計画を立てても、どこかで変化が生じてストレス・フルな状態に陥る。変化をコントロールできないことによるこうしたトラブルは、家事分担から銀行合併にいたるまで、いまだき渡世のあらゆる場面に見られる現象ではないでしょうか？

著者のケント・ベックは、変化を必然のものとして受け入れ/対処するために、「コミュニケーション」「シンプル」「フィードバック」「勇気」という 4 つの価値を示しています。これらはすべて著者のプログラミング体験から導かれたものですが、その成果をテクニカルタームに閉じ込めず、現在に生きる僕らが等しく共感できるまで昇華させた点こそ、本書の魅力の源泉といえるでしょう。

「がんばっているのに、なぜか万事うまく回らない」

そんなときに、現状打破のヒントをくれる 1 冊だと思います。

(@ IT マーケティングサービス担当：小柴豊)

## No.059

### 激しい携帯電話の動向 / [コラム] 私のリフレッシュ法

2002年7月3日

## [コラム] システム管理担当者の独り言 私のリフレッシュ法

インターネットの技術革新は「ドッグイヤー」にたとえられます。そこでわが家のドッグのお話です（こじつけで恐縮です）。

わが家にはビーグルの大型種がいます。知り合いの獣医さんの紹介でいただいたものですが、そのときはビーグルに大型種があるなど知りませんでした。獣医さんに確認すると確かにビーグル種だといいますし、大型という点を除けば、なるほど外見的にはビーグルの特徴を備えています。

小型犬のつもりで飼い始めたので名前はチャピとかわいげなのですが、いまや 20 キロ近くにもなり、体格も性格もかわいくはありません。散歩に行けば急停止、急発進の繰り返しとやりたい放題。いったん綱を離すと、呼んでも顔を向けるだけで、食べ物でもちらつかせない限り近づいてもきません。

なんとか言うことを聞かせようと、ある日テレビで見た調教法を試してみました。「徹底的に走らせて疲れさせることで犬に参ったと思わせる」というものです。しかしショックが強すぎたのか、その日は家に帰るなり軒下に潜り込んだまま、その後 3 日間も呼んでも顔すら見せませんでした。しかし、その割には飼い主のいうことを前よりも聞くようになったとも思えません。

性格はかわいげがない犬ですが、それでも走る姿だけは惚れ惚れします。家から 6 キロほどで広々とした砂丘のある房総の海に出るので、天気の良い週末には海辺に出かけて好きなように走らせてやります。はるか遠くの砂丘まで一気に駆け上ったかと思うと、次の瞬間には水しぶきをたてて海に飛び込んでいます。見ていて爽快そのもので、こちらの気分も晴れ晴れします。海水を浴びると、ノミもダニもたかりませんしね。

しかし、最近は週末の天気が悪く、海にもしばらく行っていません。海水には平気で浸かるのに雨は嫌いで、少しでも雨が降ると軒下の奥にもぐりこみ丸まっています。梅雨が明ければ夏。今年の夏はチャピに泳ぎをマスターさせようと、計画を練っているところです。

(@ IT システム管理担当 : 大池龍司)

## No.060

### 携帯電話Java/[コラム]ソフト業空洞化とITエンジニアとロシア戦

2002年7月10日

## [コラム]@ITの真実

# ソフトウェア業の空洞化と ITエンジニアとロシア戦

@ IT ジョブエージェント担当の小林です。先日、ある会合に出席しました。その日は折しも FIFA W 杯の日本 - ロシア戦の日。テレビのないアットマーク・アイティ（貧しい!）では、平日の TV 観戦は望むべくもなく、唯一日曜日に開催された日本戦は絶対逃すまいとそわそわとしていました。

“さて、そろそろ帰ればキックオフには間に合うわい”と思っていた矢先、同席していた大手ハードベンダーの A さんが「この前中国に行ってきました」と話かけるではありませんか。“おいおい海外出張話はどうでもいいから、俺に稲本を応援させてくれい”と心の中で叫びつつも、メディア所属の悲しい性「おっ、いよいよ中国進出ですか」と上の空で返事しました。

ところが A さんが語ってくれた中国の現状は興味深いものでした。視察した会社は、システム開発の下流工程を受託する会社だそうですが、所属エンジニアの待遇と上昇志向の高さに驚いたそうです。まずポジションが 1 つ上がるたびに、アパートがマンションに、マンションが一戸建てにと、目に見えて生活環境が改善されていくとのこと。

彼らは日本の下請けに甘んじるつもりはなく、いずれは米国で働くことを、夢ではなく具体的に考えているらしいのです。ではいまの仕事は手を抜いているかというところでもなく、“日本の仕事は日本語を学ぶチャンス、日本語は米国に行ってもキャリアアップに役立つ”と言っていたそうです。なんたるバイタリティ。

くだんの A さん、そのような開発会社と提携でき、さぞやうれしいかと思いきや「これからの日本は何で食っていけばいいですかねえ」とつぶやいていました。この中国の例に限らず、フレームワーク製品や CASE ツールなどの普及で確実に実装工程、特にプログラマの需要 (= 必要人員) は減っていくトレンドなのだと思います。

5 年先のエンジニアには何が必要なのか、ロシア戦のこともすっかり忘れ、この A さんと熱い議論を戦わせました。後から聞くとこの A さん、実はゲンを担いで日本の試合は後半戦からしか見ないとのこと。どうやら時間つぶしの話題だったらしい。あやうくこのゲン担ぎに付き合わされるところでした。

(営業企画局：小林教至)

## No.061

### ネットワーク構築に欠かせない2つの技術 / [コラム] カジノで勝つコツ

2002年7月17日

## [コラム] @ITの真実

# カジノで勝つコツは 「チャンスを最大限に利用する」こと

6月の初旬に、ブロードという SAN (Storage Area Network) の分野では著名な企業のカンファレンスに参加するために、米国はラスベガスまで出張に行ってきました。

日中はほとんど仕事で、ホテルの部屋とホテル隣接のコンベンション・センターとの往復に終始したのですが、ちょっとした買い物や食事などでロビーやほかのホテルなどに行ってみると、やはり米国でも有数のリゾートだけあって、いかにも「観光で来ました!!」って感じの人たちに大勢出くわします (本当は、観光で来る人のほうが普通なのですが)。

仕事でのラスベガス滞在でしたが、まったく遊ばなかったわけではありません。待ち合わせのちょっとした時間や、原稿を書きながら煮詰まっているときとか、気が付いたらスロットの前に座っていたりします。

ご存じの方も多いかもかもしれませんが、ラスベガスにあるホテルやショッピング・センター (含むコンビニ)、空港には、必ずといっていいほどカジノ・コーナーがあるので、否が応でも目に付くものですから (言い訳)。

で、今回の戦績ですが、計 1 時間半ほどプレイして 94ドルの稼ぎでした。ちょこちょこやっていた割には、まあまあ収穫だと思っています。

基本的に運がいいらしく、過去には「近くに両替機がなく、仕方なくスロットに紙幣を入れてレバーを倒したら必要以上にコインが出てしまった」「待ち時間に適当にスロットで遊んでいたら、大当たりで時間が来ても止まらなくなってしまった」なんてこともありました。これらは偶然でしたが、多少でも儲けを出そうとしたら、運だけではだめです。多少のコツがあったりします。そこで、この場を借りて、私が実践しているちょっとしたテクニックを伝授しましょう。

カジノにはたくさんのマシンやディーラーのいるゲーム台がありますが、ここでは、私が最も得意としているビデオ・ポーカーを例に紹介します。なぜポーカーかといえば、スロットは完全に運に左右されますし、ディーラーが付いているブラック・ジャックなどのゲーム台は人間が相手ですから…… (ブラック・ジャックのルールに詳し



くないというのが、本当の理由だったりします)。

台の条件としては、ダブル・アップ (役を当てた後に当たりをさらに倍々に増やしていくゲーム) ができるもので、25 セントか 1 ドルの台あたりがお勧めです (5 セントでもいいのですが、時間をかけてもほとんど見返りがないので)。

さて、ゲームがスタートしたら、基本的にはフルハウス以上の役を狙います。手札がワンペアやブタだった場合、「たとえ 1 枚だけでもなるべく絵札を優先して残す」ようにしましょう。通常、ビデオ・ポーカーでは、ワンペアができていたとしても当たりとはみなされないのですが、「Jack or Better」ということで絵札以上のペアができていた場合には、最低限の配当が出る仕組みになっているからです (実はこれも台によって違うので注意)。

こうやって、フルハウス以上の役が出るまでの間は、Jack or Better を利用して極カクレジットを減らさないように維持しておきます。ダブル・アップは確実に限り狙わないほうが無難です。もし、フルハウス以上の役が出た場合 (狙いにくいですがフラッシュでも OK です)、ここからが勝負です。ダブル・アップを利用して、ギリギリまで当たり配当の倍増を狙います。ツーペアやスリーカード程度の役ではもともとの配当が低いため、ダブル・アップを狙っても限度がありますが、高い役でダブル・アップを成功させると、一気に手持ちのクレジットを増やすことが可能です。

つまり、普段はクレジットを減らさないような打ち方をしておき、ここぞというチャンスでは一気に勝負に出る。これが私の実践しているテクニックです。

結局今回の当たり分は、サンフランシスコで“カニ”という形に姿を変えて、私のおなかの中に納めさせていただきました (ごちそうさまでした)。皆さん、もしラスベガスに訪問する機会がありましたら、ぜひカジノにチャレンジしてみてください。ご健闘をお祈りいたします。

(編集局：鈴木淳也)

## No.062

### 電子政府で変わる自治体の行政 / [コラム]ドコモとJ-フォンの差

2002年7月24日

## [コラム]メルマガ担当のぼやき ドコモとJ-フォンの差

思うところあって、携帯電話を NTTドコモから J-フォンに変えた。メールの受信は 192 文字以下なら無料、パックプランの無料通話の未使用分が翌月に繰り越せる、といったことを考慮して変えてみたわけだ。そのうえ、利用者も増加し、ドコモと比べてもサービスエリアも遜色なくなっていると聞いていたのも理由の 1 つだ。そして何より、知人がみんな J-フォンになってしまい、ドコモからだとメールが届かないというのが大きな理由だった。しかし、実際に使い始めてみると、思いもかけず使いにくい部分があった。

サービスエリアについていえば、自宅近辺では、東京デジタルホン時代はほとんど使えなかった。しかし、J-フォンショップの副店長さんは「拡大しているから、お客様の住所のあたりでも大丈夫です」と言っていたのだが……実際には「圏外」表示がされることがままある。そんなに自宅近辺は田舎なんだろうか？ ま、確かに都内とはいえ国道 16 号線より外側で、FOMA もサービスされてない地区ではあるが。

プライベートでプロバイダとして OCN を利用している。OCN は、携帯電話からメールのチェックをできるサービスを用意しているのだが、対応しているのが i モードと WAP (つまり au) だけ。J-スカイには対応していないのだ。問い合わせしてみたが「そのようなサービスの予定はございません」とけんもほろろの答えだった。これが一番困ったことであった。

また、いままで利用していたサイトのほとんどは i モードサイトだが、HDML と cHTML ほどの差はないものと思っていたが……実際には「このサイトは J-フォンでは表示できません」というエラーが出まくっている。やはり、ドコモが既存の HTML をベースにしたものを採用したというのは、それなりの意味があるようだ。au にしてもゲートウェイで変換を行ったりしているし……そういう意味では J-フォンは後塵を拝しているような気がする。

この辺が、いくら追いつかれてきたとはいえ、シェア No.1 のドコモの強さなのだろうか？

そんなわけで、いまはドコモを復活させるかどうかを検討中。でも、二刀流にするのは基本料金のことなど考えると無駄なような気がする。このまま我慢するしかないのだろうか……。

(編集局：松山雅明)

## No.063

### 無線LAN利用の注意点/[コラム]頭と身体のバランスを取り戻そう

2002年7月31日

## [コラム]セミナー担当のつぶやき 年に1度は頭と身体の バランスを取り戻そう

@ IT のセミナー&カンファレンス担当の加部です。暑い日が続いていますね。さて、そろそろ夏休みモードになってきました。みなさんの周りはどうですか？

1 年中、朝から夜中まで PC の前で働きづめでいると、頭が回らなくなったり、良い発想ができなくなったり、または身体のバランス（体型も!）を崩したり、さまざまな歪みが出てきます。

私の場合、週 1 回のマッサージや月 1 回のエステも気分が良くて好きなのですが、やはり夏休みや冬休みに少し長めの休暇を取って、仕事をしている東京とは違う世界に行くのが好きです。これが気分転換に一番良いようです。

視野も広がり、新しい友人や知人もでき、美味しいものもガンガン食べることができるので、身体も大きく（?）なり、そして新しいパワーをもらって仕事が再開できます。

今年のプランは、夏休みを 1 週間ほど取って、次のことを全部かなえることです。

- 青い海、白い砂浜を満喫する
- 水着（やっぱりビキニ?）で日焼け
- 読書、または何も考えずにボーっとして過ごす休日

すごく良いと思いませんか!友人たちを誘えば、ビーチで遊んでも、大勢での食事も楽しそうです。屋外でのバーベキューも良いかもしれませんよね。

このプランの実施場所は、なるべく職場からは離れて、メールや電話を気にしないでいられるところがベストだと思っています。

たぶん最初は仕事とかのメールが恋しくなるんでしょうが、2、3 日も経つとメールや電話も気にならなくなるでしょう。休みと仕事の ON / OFF は、忙しい人ほど必要なのかもしれないと思います。

こう書いている私も、いままさに夏休み中でちょうど 3 日目。

この原稿をとある内緒の場所<sup>(※)</sup>で書いていますが、この原稿を書き上げて、@ IT 通信が配信されているころには、きっとメールも電話も気にしないでどこかの海でリゾート気分を満喫していること間違いなし?!

(※さて、内緒の場所はどこでしょう?)

1. 沖縄の宮古島 2. ハワイのカイルアビーチ 3. ギリシャのミコノス島 4. 伊豆の海洋公園 5. 千葉の九十九里浜)

[→正解はこちら](#)

リフレッシュ後の私の状況はまたそのうちということで。

(営業企画局 : 加部浩子)

## No.064

### 高密度化するサーバ/[コラム]人と機械の分析力について

2002年8月7日

# [コラム]@ITの真実 人と機械の分析力について

新聞や雑誌の書評欄で紹介された新刊を入手する場合、かつては、ジュンク堂や LIBRO、芳林堂といった大型の書店に足を運び、目を皿のようにして当該の書籍を探索し、それでも見つからないときは、検索データベースを活用し、そこまでしても見つからない時には、店員さんに訊いたりしていたものでした。

もちろん、いまでも本屋に行って、同じようなことを続けているのですが、amazon.co.jp を利用する以前と比較すると、目当ての書籍を探索する苦労はかなり軽減されました。机上の PC で目当ての書籍が即座に検索可能という状況は、書籍探索にかかる仕事量と時間を著しく削減させてくれたのです。

利用者であれば、ご存知でしょうが、amazon.co.jp は、購入履歴を蓄積し、そのデータを元に購入者の嗜好傾向を分析して「お薦めの書籍」を紹介してくれます。神保町の古本屋街に足繁く通っている人であれば、店を訪れるたびに書店員があなたにぴったりの「お薦めの書籍」の入荷を教えてくれる、この幸せについてよく分かるのではないのでしょうか。amazon.co.jp も同じことを厳密なデータの分析で行っています。

ただし、そういうお薦めが必ずしもぴたりと当たるとは限りません。それはあくまで蓄積されたデータからはじき出された傾向に過ぎません。人の嗜好は複雑怪奇な要素の塊から漂う臭気のようなものです。ピンポイントでその人の好み通りの書籍を選択することは不可能でしょう。恐らく自分自身でも自分の好みとやらを分かっていないことが多いのではないのでしょうか。

結局、人の感性によるゆらぎを含む分析と、機械による極めて論理的で隙のない分析には大きな違いはないのかもしれませんが、どちらでもいいんですけど、少なくとも私にとっては、どちらも間違ってるし、どちらもあっている訳ですから。

つまり、人は所詮孤独なのさ、ということでした。

(編集局：谷古宇浩司)

## No.065

### モデリングを学ぼう!/[コラム]オリジナル創作カレー講座

2002年8月21日

# [コラム]ニュース当番のひとこと オリジナル創作カレー講座

料理が苦手な人でも、「カレーライスなら」という人は多いのではないのでしょうか。私もご多分に漏れず、その1人です。

1人暮らしは学生時代からなので、かれこれ10年以上になりますが、カレーライスはその間、ときどき作るメニュー……にも関わらず一向に上達しません。かえってヒマだった学生時代のほうが、いろいろと工夫していたような気がします。

そんな今年の夏は、雑誌の特集などに触発されて、何回かカレーライスを作ってみたので、そのときの話を少し。

私の好みは、どろどろとしたものより、あっさりして具が形を留めているもの（だから、喫茶店で出てくるようなカレーライスはあまり好きではありません）。かといって、スパイスを調合するほどの忍耐もセンスもない。市販のルーを使いつつ、いつもとは違うものかと考えて、試してみた素材がトマトです。ルーを入れる前にざっくり切ったトマトを入れるだけなのですが失敗しません。それから、肉をミンチにするのも、あっさりを追求する人にはお勧めです。

私の作るカレーには、どろどろ型にしないためにあえて入れないものもあります。カレーの具の定番とされているジャガイモです。といってもでんぷんを含むジャガイモがどろどろの原因のような気がしているだけで、根拠はないのですが。

考えてみると、カレーライスほどいろいろなものが使われる料理も少ないように思います。リンゴとハチミツに始まり、ミルク、コーヒー、最近ではチョコレートもありなんだとか（ちょっと行き過ぎのような気がしなくもないのですが、この“何でもあり”の原因は、すべてを吸収してくれるあのカレーの色にあると思っています）。

というわけで、カレーにはいろんなバリエーションがありますが、珍しいものを入れるときは加減が必要です。以前、私の父が“男のカレー”と息巻いて作ってくれたカレーは、食べてみると何かヘンでした。カレー独特のスパイスの味がするにもかかわらず、甘いのです。父いわく、普通の野菜や肉に加え、リンゴ、パイナップル、キウイ、ピーナッツ、カシューを加えたとか——どおりで。“カスタマイズ”はほどほどに、ということでしょうか。

夏といえばカレーです。暑かった今年の夏も終盤となりましたが、まだ自宅でカレーライスを食べていない人、オリジナル創作カレーはいかがでしょう？

（編集局 末岡洋子）

## No.066

### ディレクターサービス/[コラム]余命幾ばくもない時、悔やむことは？

2002年8月28日

# [コラム]@ITジョブエージェント担当者のつぶやき 余命幾ばくもない時、悔やむことは？

最近ある書籍で次のような話を読みました。末期患者のケアをしている博士の話なのですが、多くの患者は「愛する人とうまくいかなかった」「愛する人と過ごす時間が少なかった」ことを悔やみ、「もっと仕事をしたかった」と悔やむ人はいないそうです。

縁起でもない話で恐縮ですが、皆さんも想像してみてください。自分の余命が残りわずかとなって何を悔やみますか？ 私は真っ先に「もっと旅行がしたい」と悔やむだろうと思いました。末期患者を引き合いに出していますが、要は人生を豊かに送るために何に時間を使いたいか、ってことですね。私の場合にはそれが旅行だということです。

仕事も大事だけど、人生を豊かに送るための時間も確保したい。しかし時間は限られている。そりゃもう、労働時間を短縮するしかありません。しかし To-Do List は 2 つぶして 3 増える状態、どうしよう……。

転職？ いえいえアットマーク・アイティは好きなのでそれはなし。そう、効率良く仕事をこなすしかありません。そこで最近では次のような工夫をしています。

1. その日に必ず終わらせなければならない Task は作業時間を予定表に入れる  
(いままではミーティングの予定しか入れていなかった)
2. 本当に目標達成に必要な Task かどうか自問自答する (もっと効率的に目標を達成できる方法はないか考える)
3. 金曜日の午前中は今週の成果確認と来週のアクションプラン立案に当てる

なぜこんなことを考え始めたのかというと、私の担当している「自分戦略セミナー」で豆蔵の羽生田さんや萩本さん、マイクロソフトの熊谷さん、日本 IBM の米持さん、日本アイオナテクノロジーの小野沢さんといった第一線で活躍しているエンジニアの方々の話に触発されたからです。ただでさえ忙しいはずなのに、執筆や講演をされています。まるでこの方々には 1 日 50 時間あるような活躍なのです。私も少しでも近づきたい。そう考えているのです。

さて、前述のような工夫をして、効率良く仕事が進むようになり、時間的にも多少余裕を持てるようになりました。これで心おきなく旅行に行ける……とはいかないのが現実で、いままでできなかった Task に取り掛かっています。臨終の床で「精一杯働いた」と思えるのも、それはそれで幸せかと（苦笑）。

(@ IT ジョブエージェント担当：小林 教至)

No.067

ネットワーク構築の2つの技術 / [コラム] 幸福なるサマー・スイミング

2002年9月4日

## [コラム] 局長のつぶやき 幸福なるサマー・スイミングの日々

編集局長の新野です。私は中学時代に水泳部に所属していたこともあって、いまでもプールで泳ぐことが、人生で3番目くらいに幸せな行為としてやめられません。今年も夏の間は週末ごとに屋外プールに通い、太陽に照らされ、曇り空を仰ぎ、雨に打たれ、夜の照明の中、いろいろなシチュエーションの中でえんえんと泳ぎ続けました。

マラソンランナーが、走っている途中でランナーズ・ハイになるという話がありますが、水泳でもスイマーズ・ハイは経験できます。僕の場合、ハイになると息継ぎが楽になって、腕に力が戻ってきて、泳ぎに勢いがついて、もう何キロだって泳げそうな気になります。が、こんな状態は10分も続きません。だんだん筋肉疲労のほうが勝ってきて、腕が上がらなくなって、スピードも落ちてきます。

そんなわけで、実際に僕は純粋な水泳中毒というよりも、スイミング・ハイによる脳内麻薬中毒みたいなもんです。ちょっとダルイかなあ、という日でも、泳いだ後は口笛をフューフュー吹きながら、誰かに見せたいくらい機嫌よく帰宅します。

8月が終わり、通いつめた大好きな屋外プールは先週末で終わってしまいました。今週末からは屋内プールへ切り替えて、また、スイミング・ハイを味わいつつ水泳三昧の日々が続くといいなあ、と思っています。

(編集局：新野淳一)



## No.068

### セキュアで低コストVPN/[コラム]リフレッシュして前向き

2002年9月11日

# [コラム]セミナー担当のつぶやき リフレッシュして前向きになれました!

@ IT のセミナー&カンファレンス担当の加部です。今年も残暑が厳しかったですね。さて、前回（7月31日の@ IT 通信）私が書いたコラムの最後のクイズ、覚えていますか？

『この原稿をとある内緒の場所<sup>(※)</sup>で書いていますが、この原稿を書き上げて、@ IT 通信が配信されているころには、きっとメールも電話も気にしないでどこかの海でリゾート気分を満喫していること間違いなし?!

(※さて、内緒の場所はどこでしょう? 1. 沖縄の宮古島 2. ハワイのカイルアビーチ 3. ギリシャのミコノス島 4. 伊豆の海洋公園 5. 千葉の九十九里浜) リフレッシュ後の私の状況はまたそのうちということで。』

このクイズの正解は、「2. ハワイのカイルアビーチ」でした。

ハワイのビーチまで来て、PC を広げて太陽の下で原稿を書いている私ってどうかと思うのですが、なかなかどうして、周りの観光客からは声をかけられて話が盛り上がったたりして楽しかったです。友達づくりの変わった方法を見つけた感じですが、もうビーチで PC を広げることはしないと思います（砂がかかって大変なことになりました。皆さんも気を付けてくださいね）。ちなみにカイルアビーチ、綺麗ですよ。ワイキキより人も少ないですし、波もなく、プカプカ浮いてリラックスしてきました。

それから、このリフレッシュ後の私に少し変化がありました。

なんと、休み明けにとっても仕事がしたくなったのです。すごく前向きな気持ちになれました。休み明けからビーチリゾートの余韻に浸ることもなく現実に戻され、寝ても覚めても「@ IT のセミナー企画」の山に埋もれつつも、どんどん片付けていけるんです。そしてそのペースがいつもより快調なのです。

なぜ快調かというと「次の休みはどこに行こうか、何をしようか、そしてそれまでにしておくべきことは何なのか」を明確になったからです。すぐにアクションできる目標があると、やっぱりやる気も違うし、前向きになってるなど実感しています。

いままでもそういう目標がなかったわけではないのですが、気持ちが入っていなかったんですね。

そして私が次の休みまでにやらなければならないこと、身近な目標は@ IT の秋のセミナーを成功させることです。データベース、セキュリティ、IP ネットワーク……。

データベースは「@ IT Database Technology Meeting with DB2」。もう申し込みしましたか? セキュリティと IP ネットワークは近日中に告知予定です! それぞれの締め切りが迫っているのでアタフタしながらやっています。でもこれを過ぎると次の休み (リフレッシュするひととき) が待っている! 自分へのご褒美をたくさんあげるんだと思って進んでいます。

こんな単純な目標ですが、このまま前向きな気持ちを持続できるようにしたいなあと思います。

(営業企画局 : 加部浩子)

## No.069

### 秋の夜長にオススメ入門・解説書 / [コラム] 編集者、秋の目標！

2002年9月18日

## [コラム] ニュース担当のつぶやき 編集者、秋の目標！

編集局の大内です。さて、9月ももう少しで終わりです。この時期、暑いと思ったら寒く、寒いと思ったら暖かいといった感じで、その気温の変化が激しいため、体調は崩しがちになる人が多いのではないのでしょうか？ ぼくにとても冬から春への移行期とともに、年に2度の風邪シーズンです。

アットマーク・アイティに入社するちょっと前までは、忙しさのために休日でも働くことは多かったのです。そんなふうにご経過していたある年のいまごろの季節に、セキが出始め、結局春先まで止まりませんでした。正確に言えば、治りかけるのだけど、そこでまたセキが出始めるといった症状だったのです。

結局ある病院で、「ぜんそくになりかかっている」と言われるまで、風邪薬を飲んでいました。それでは治りません（笑）。その病院の担当医いわく、「かなり体力が落ちているようですね。あまり運動していないんじゃないかな？」。

そのとき、その助言を無視したため、その後2度ほど気管支炎になりました。そしてそうした症状が出るのが大抵、春と秋のこのシーズンなのです。

それでアットマーク・アイティ入社後には、スポーツジムに行くようにしました。マシントレーニングと水泳をするようになったのですが、忙しいときは土日とも行けないままです。また、今年は仕事だけでなく、プライベートな面でも忙しく、なかなか通えません。

そこでこのコラムで宣言。スポーツの秋、毎週1日は（低い目標です）スポーツジムで汗を流し、体力を落とさないようにするッ！と。

みなさん、陰ながら見守ってください。

（編集局：大内隆良）

## No.070

### プロセスで開発しよう / [コラム] 奇跡のフルーツ! ?

2002年9月25日

# [コラム] マーケティング担当のつぶやき 奇跡のフルーツ! ?

マーケティングの土屋です。いつの間にか涼しくなりましたね。季節の変わり目、なんだかカラダがだるいなあとか、風邪をひいているかなあという方も多いのではないのでしょうか? かくいうわたしも、すっかり弱っております。この夏は夏バテから始まり、腎臓結石、リンパ腺の痛みによる発熱、風邪と一通り(?) 体験しました。いまま病気というほどではありませんが、リンパ腺が痛くていまいち冴えません。

そんな体力と健康には自信がないというわたしが最近試しているのは、『ノニ』というフルーツのジュースです。ノニはタヒチなどで採れ、現地では「奇跡のフルーツ」と呼ばれているそうです。人間の身体機能を正しく働かせる成分「プロゼロニン」が奇跡の要因のようです。

ネットで検索して見つけたサイトにあった効能で面白かったもの(失礼)を一部抜粋します。

-----

腸寄生虫、体内不整、胸部感染、喘息、呼吸困難、皮膚病と炎症、腫れ物、皮下の炎症、擦り傷、苦痛、けが、汚染、不調、悪性腫瘍、腫れ、性別障害、出産、妊娠、目の苦痛、熱病、骨と関節障害、骨折、捻挫

-----

いろいろな効能(笑)があるようですが、しかしものすごく飲みづらい!

フルーツなのに生臭いのです。青汁を軽く超えるのみづらさでしょう(自百分比)。やはり良薬は口に苦しなものでしょうか。

さて、これを飲み始めたわたしはどうだったかというとなニを飲みやすくする方法\*は、編み出しましたが、朝の目覚めがすっきりするぐらいしか効き目はまだ表れてません。とはいいいながら、今朝の通勤電車で爆睡してました……。おかしいな。

ほかにも、これは! という体質改善法がある方はご教授ください。

※ノニを原液のまま飲むことはまず難しいでしょう。本来も何かで割って飲むようです。ブドウが腐ったにおいにも似ているので、ブドウジュースに入れるとやや中和されるかなという感じです。

(マーケティング: 土屋利佳子)

No.071

計画的なセキュリティ対策のために / [コラム]開催が近づく「BorCon2002」

2002年10月2日

## [コラム]代表のひとこと 開催が近づく「BorCon2002」、 @ITによる ライブディスカッションに注目!

皆さん こんにちは。@ IT 経営および庶務担当の藤村です。お元気ですか? まだ暑い時期から告知をしていました「Borland Conference 2002 Tokyo」(BorCon2002)。秋を迎えて開催時期が近づいてきました!

オフラインイベントでの、@ IT の得意ワザは「ライブ ディスカッション」。今日はこの BorCon2002 内で行う「@ IT Development Style Live!」について、ご紹介しましょう。

今回、@ IT が選んだテーマは「開発スタイル変革の時代をどう生きるか」。

@ IT でも、「Development Style」を通じて、開発手法の変化の波については幾度も論じてきました。「ライブ」では、机上の議論では触れられることの少ない「課題」や「現実」について本音で語り合おうと虎視眈々(笑)、仕込み中です。

出演者は、まず@ IT 読者なら泣く子も黙る——ではなくて、知らぬ者となない株式会社豆蔵 CTO の萩本順三氏。次に「開発プロセスの変革」といえば筆頭に挙げられる「RUP」(Rational Unified Process) のエバンジェリスト、日本ラショナルソフトウェア株式会社の藤井智弘氏。さらに「難易度が高い」「新しい開発スタイル」なら任せろのインテグレータ、新開発手法のいいところ・悪いところを知り抜くベテラン株式会社電通国際情報サービス e- テクノロジー統括部の高安厚思氏が加わります。

コメンテータにはポーランドの藤井等氏、モデレータは私、@ IT の藤村です。

また近いうちにこのコラムで、ライブで論じ合うネタを少々スニークプレビューします! お楽しみに。

(代表取締役 藤村厚夫)

No.072

.NETのこれまでとこれから / [コラム] 徹夜続きのエンジニアのアドバイス求む

2002年10月9日

## [コラム] セミナー担当のつぶやき 徹夜続きのエンジニアの方の アドバイス求む!?

@ IT のセミナー&カンファレンス担当の加部です。衣替えの 10 月になり、秋冬ものの洋服選びが楽しい時期になってきたのでわくわくします。

しかし、この 10 月は私が担当する@ IT のセミナーの数が増えて準備に忙しく洋服選びどころではなくなっているのが現状です。

このようなセミナー準備をしているときに限って、同僚から「すごく生き生きしている」とよくいわれます。セミナーの開催が近づくとつれ、どんどんテンションが上がり、「ランナーズハイ」ならぬ「イベントハイ」になってしまいます。イベントハイの症状は、疲れていることも忘れて、異常なほどに元気があり、そしてほとんど寝なくても大丈夫で、目もキラキラと輝き、気持ちも明るくなってきます。自分の身体のことながらとても不思議な現象です。

しかし問題なのが、イベント終了直後にやってくる疲労感。数年前まではたっぴり寝ることで回復できたのですが、最近はいくら寝てもすっきりしません。サプリメントも疲労回復用のドリンク剤もあまり効きません。疲労感が完全に取れないのです。体力的に衰えを感じてしまい、若くないことを実感する瞬間です。

プロジェクトにどっぷりはまり、開発カットオーバーの日まで徹夜が続くことがあるかもしれない@ IT 読者の皆様は、忙しくも充実した日のあとをどのように乗り切っているのでしょうか? ぜひ、お知らせいただけませんか。

長期バカンスにでも行ければよいのですが、バカンスに行かなくても疲れを吹っ飛ばすことができる「@ IT 読者流のすぐ効くお疲れ解消術」を@ IT クラブ Cafe にて募集します。

皆様の秘技をお聞かせください。またはイベント会場でご披露いただくのも OK ? です。お待ちしております。

(営業企画局・加部浩子)

[→続きはこちら](#)

## No.073

### データベース・エンジニアに挑戦! / [コラム] セプテンバー 11 in アメリカ

2002年10月16日

## [コラム]取材こぼれ話

# セプテンバー イレブン in アメリカ

今年6月のラスベガスのイベント取材に引き続き、9月にもサンフランシスコ~サンノゼのエリアへ取材に行く機会がありました。しかも今回は、あの事件から1周年にあたる9月11日をまたいでの日程。厳重警戒が予想される米国では、何か待っていたのか!? 今回は、その取材日程の中で見たこと気がついたことなどを、つらつらとまとめてみました。

#### ●警戒厳重な空港

6月に渡米した際はなかったのですが、今回は成田空港でスーツケースを開けての総検査が行われました。任意抽出での荷物チェックではなくて、米国行きの旅行者はすべて対象だったようです。検査官のチェックに合格したことを示す封印のシールの貼られたスーツケースのみチェックイン・カウンターに預けることができます。同時期に別の国に行った人の話を聞く限り、ここまで厳重ではなかったようなので、やはり9・11の影響なのでしょう。

米国側ではというと、今回の行程では国内便の乗り継ぎがなかったので、幸いにも空港の外にまであふれる大行列には巻き込まれませんでした。しかし、かの地の人々は最初のゲートを通過するだけで2時間以上待ちともいわれており、相変わらず大変なようです。その代わりというわけではありませんが、帰国便で手荷物および身体検査の対象に“選出”されてしまいました……。

#### ●なんとなく閑散とした感じもあるダウンタウン

今回、初めてサンノゼのダウンタウンを歩いたのですが、シリコンバレーの中心地というには、閑散としていました。ウワサには聞いていましたが、日本の都市と比べると、その雰囲気の違いに驚かされます。不況が原因ともいわれますが、これで「全米で7~8番目の規模の都市」というのは意外ですね。

閑散とはしているものの、街の雰囲気自体は気に入っています。日本を含むアジア系の人が多いので、食堂のバラエティが富んでいるのが嬉しいところ。砂漠気候なので暑いながらも木陰に入ると涼しいのも特徴でしょう。街中には、Light Railと呼ばれる路面電車が走っていて、これもまたいい感じです。

#### ●9・11当日は早朝から生中継

9月10日の夜はヘンな時間に寝てしまったため、9月11日当日は夜中の2時くらいに起きてしまい、仕事をしていました。その際にTVをつけていたのですが、CNNなどではその時間からすでに1周年の追悼番組を放

映していました。そして、西海岸時間で朝の 5 時くらいから、米ブッシュ大統領が出席した式典の様子の中継が始まりました。東海岸時間では朝 8 時ですから、ちょうど 1 年前に WTC に 1 機目の飛行機が衝突したころの時間ですね。ずっと TV を見ていたわけではありませんが、昼からはインタビューがあり、大統領の声明や数千人の被害者の名前の朗読などを聞くことができました。

昼過ぎに、サンノゼやサンフランシスコの街を少し周ってみましたが、ダウンタウンのビルなどでは半旗が掲げられていました。サンノゼからサンフランシスコまで移動する電車の車窓から見える風景のなか、各家庭に小さく掲げられた星条旗が印象的でした。

(編集局：鈴木淳也)



No.074

広域LANでも利用されるVLANとは / [コラム]生き残る開発スタイルとは

2002年10月23日

[コラム]代表のひとつ

# 「ソフトウェア危機の波」到来で、 生き残る開発スタイルとは!?

毎度の登場、@ IT 経営および庶務担当の藤村です。いよいよ秋たけなわとなってきましたね。いかがお過ごしですか？

前回に引き続き「Borland Conference 2002 Tokyo」(BorCon2002)の中で開催させていただくオフラインイベント「@ IT Development Style Live!」についてですが、今回はその内容の事前プレビューと行きましょう。

この「Live!」のテーマは、そう「開発スタイル変革の時代をどう生きるか」です。@ IT サイト「Java Solution 第4回読者調査結果——ソフトウェアの危機とRUP / XP / UML」からも分かるように、「開発期間の短縮化」「開発規模や工数の適正見積」「開発途中での仕様変更が頻繁」が「ソフトウェア開発の課題」の最上位に挙げられます。

また、「勘定系／基幹系ソフト」を「Web サイト／EC系ソフト」案件数が超えていること(同調査)からも、「勘定系」か「情報系」かの分類を超えてe-business領域の案件が増え、並行して開発期間の短縮化や仕様の模索の現象が顕在化しているのが見て取れます。

こんな状況下で、あなたが用いる開発手法はどうなるのでしょうか？ これからも通用する手法と、通用しない手法との違いは？ 現場で苦闘されるエンジニアの代表にその実態を聞くとともに、RUP や XP など最新開発手法を推進する旗手にもその答えを聞いてみたいと思います。

「迅速に」「試行錯誤」「チーム開発」「再利用」など、実践的に最適なスタイルは何か？「Live!」ならではのオフレコ・本音トークをめざします。会場でお会いしましょう!

(代表取締役：藤村厚夫)

## No.075

### 巨人インテルの最新動向 / [コラム] 履歴書につきものの質問項目

2002年10月30日

# [コラム] イベント担当のひとこと 履歴書につきものの質問項目

先日、アットマーク・アイティ入社のために何年かぶりに履歴書を書いた。履歴書には趣味を記載する欄がある。皆さんも何かしら書いたことがあると思う。そこで私がその欄に何を書いたかを紹介してみよう。

私の趣味は音楽鑑賞、演劇鑑賞、落語鑑賞、浪曲鑑賞、講談鑑賞の5つだ。なんだか鑑賞しまくりだがすべて私の趣味である。鑑賞といってもレコードやCDを聞くだけでなく、実際のステージを見に劇場へ足を運ぶのだ。音楽はJ-POPがメイン、メジャーよりも知る人ぞ知るという感じのMusicianの方が私好み。

演劇はお気に入りの舞台役者さん目当て、落語は前職で落語の番組を担当してからまんまとハマった。また、以前浪曲師と知り合いになり、それから浪曲の魅力にハマり、21世紀幕開けの去年、とうとう講談にまで手をつけてしまった。

私の場合、趣味になるきっかけは“お気に入りの人”を見付けることにある。これが見つけられないと続かない。動機は不純。でも、そういう人に出逢うと「いままで私が知らなかった世界には魅力的な人がたくさんいたなんて」と再確認する。

ああ、なんて素敵! 幸せ! こんなスバラシイ世界があったのね☆ しかしこんな思いも束の間、私はお気に入りの人を見るために劇場へ足を運ぶ時間とお金をつくるという業を背負ってしまった。先立つものがなければ手に入れない行為は、麻薬か、はたまたホストに貢ぐ女性心理のそれと同じなのかもしれない。

(営業企画局: 新人・小島貴香子)

No.076

ネットワークの不正行為を検出するIDS/[コラム]ものぐさ新担当の野望

2002年11月6日

## [コラム]@ITの真実 ものぐさ新担当の野望

新しくモノを購入する意欲は薄く、よくいうとエコロジカル派の私です。が、先日、どうしてもほしい家電に出会いました。「お掃除ロボット」です。床をじっくりと這い回り、掃除が終わると自動的に自分の充電席に戻るというなんとも健気なロボットです。

ハウスダストに反応するアレルギーを持っていて、放っておくと体の調子が悪くなってしまいう体質の私は、普段嫌々ながらも掃除を強いられています。

それが、このロボットくに任せれば、あたかもペットか、赤ちゃんがハイハイするように私たち所有者の目を楽しませながら部屋の塵をスイスイと吸い取ってくれる……ちょっと感動しませんか？

いまは高価な商品ですので、大幅なプライスダウンが起きないと購入できそうもありませんが、そのうち苦手な部屋の隅々やミゾなどの掃除も可能になったら“即購入”しようと思ってます。

一昔前までだと近未来のお話として語られていたことが現実のものとなるぐらい、近年の家電の進化は目覚ましいものです。

すでにリモートで外出先からお風呂やエアコンのスイッチをオンオフしたりすることが可能となっていますが、今後は家中の家電製品がネットワーク化され、ユビキタス環境からそれら进行操作・管理することが当たり前になるでしょう。

そうすると、一家に一台のホームサーバ時代がやってきて、ネットワークをうまく管理することが、生活能力の1つとして評価されるようになる……なんてことになるかもしれません。そのときには、結婚相手の条件として「働き者である」ではなく「ネットワークの管理ができる」や「プロトコルに詳しい」などの項目が上位にランクインする時代も来たりして……。と、ものぐさ気味の私は、未来を自分の勝手な夢を交えて予想しながら、自作 PC の Web サーバ化に続いて、メールサーバの作成に挑戦中です。

(編集局 : Master of IP Network フォーラム担当 富嶋典子)

No.077

Sunのサーバビジネス戦略/[コラム]第三者だからこそできるお手伝い

2002年11月13日

## [コラム]@ITのCARRIER SOLUTION 第三者だからこそできるお手伝い

この11月から@ ITに加わりました神崎（かんざき）と申します。二十数年間、人材関連ビジネスとIT教育に携わってきました。これまでの経験を生かしつつ、@ IT JobAgent や@ IT Learning Desk などを通じて@ ITのメンバーの方々のキャリアデザインやスキルアップなどの「役に立つ」支援を行っていきます。

個人のキャリアデザインという面では、第三者からの「客観性」が大切です。先日、そのことを実感できるイベントに出会いました。

秋空の心地よい休日、家族とともにフリーマーケットに行きました。300店舗以上が出店し、さまざまな商売の縮図を見ることができて面白く、また勉強になりました。

まず目立つのが、活気のあるお店。お客さんが次々と集まり、実際に商品を手にとって値段交渉をしています。人が集まれば、それだけでパッとスポットライトがあたったような雰囲気が漂い、明るくなり、さらに人が集まってきます。その一方で、ほとんどお客さんが寄り付かないお店もありました。人が寄り付かないお店は、不思議なことに木枯らしが吹いて寒々と感じられます。

このフリーマーケット会場のような、同じ規模と条件のスペースが与えられている場合でも、「売れるお店」と「売れないお店」が生じてしまうのは、それぞれのお店の商品力や展示の仕方、価格の付け方、ラッピングの美しさなどの「アイデアと工夫」からでしょう。そして怖いのは、時間が経つにつれ、その差はどんどん広がってきってしまうということです。このような違いは、客観的に眺めるとすぐに分かるものですよね。

やはりキャリア形成でも同じことがあてはまります。理想と違った進路を歩んでいることに気が付かず、自己満足だけで年月を過ぎていってしまうことは大変不幸なことです。ときには立ち止まって客観的に自分を見つめ直したり、自分のキャリアビジョンや計画について第三者的な他人から意見を聞いてみるような機会をぜひ作りたいものです。

（人財局部長：神崎 真澄）

## No.078

### 一歩進んだWebシステム開発 / [コラム] トムに言われた10年前のひと言

2002年11月20日

## [コラム] 自分戦略のススメ

# 米国人トムに言われた10年前のひと言

12月7日に「IT エンジニアのための自分戦略セミナー」を霞ヶ関にて開催します。今回のテーマは、“第三者を通じて、いままでのキャリアを確認し、これからのキャリアを考える”です。このテーマから私が体験したあることを思い出します。

10年前、社会人2年目の私は悩んでいました。プランナーとして働きたいと思って入社したにもかかわらず、管理部門に配属されてしまったのです。当時は、まだ実直で（もちろんいまでも）、やりたいこととやるべきことの狭間で悶々とした日々を過ごしていました。

そんなとき、あるパーティーで30歳代後半の米国人、トムと話をしました。トムは同僚のダンナさんで、私の仕事上の悩みについて、奥さんから聞いていたようです。

トム：タカシ、Youは何のために仕事してる？（トムは幸い日本語がしゃべれました。少し変だったけど……）

私：うーん、自分のためかなあ……。

トム：No、No。Youは、会社のために働いているんじゃないか？

私：そんなつもりはないんだけど……。

トム：タカシ、人生は一度きりだ、もっと楽しめ。仕事は自分がHappyになるためにやるもんだ。会社のために働くんじゃない。

正確には覚えてませんが、そんな会話でした。そのときは「酔っ払いなんかに説教されてたまるか」と、お気楽とも思える発想に反発を覚えました。

しかし日が経つにつれ、トムの言葉が胸に響きます。会社を何社も変え、ついには好きな日本で働き、日本人の奥さんまでGetしたトム。明らかにトムは人生を楽しんでいます。その後、何度かトムと話す機会があり、職業観や人生観などを話し合いました。そのたびに、すっーと肩の力が抜け「自分のために働くんだ」という気に

なったものです。

何年かして、周囲の反対を押し切り、まったく別業界の IT 出版の世界に転職し、紆余曲折を経て現在に至っています。自分のために働く、という気持ちを持ち続けて。

冒頭紹介したトムとの会話をいまでもたまに思い出します。会社の同僚や友人など事情を知りすぎる人よりも、トムのように違った視点の人からのアドバイスの方が影響が大きいことがあります。

今回の「IT エンジニアのための自分戦略セミナー」でも、テーマ“ 第三者を通じて、いままでのキャリアを確認し、これからのキャリアを考える ” に添って、師走のこの時期にキャリアについて考えるきっかけを、トムのようにご提供できればと考えています。

ちなみに、トムはその後転職して米国に戻り、また転職して日本に戻って、悠悠自適に過ごしていると風の噂に聞いています。

(@ IT ジョブエージェント担当：小林教至)

No.079

ミッションクリティカルを狙う.NET Server / [コラム] 誘われる人? それとも

2002年11月27日

[コラム] 自分戦略のススメ

## あなたは誘われる人? それとも……

今年 9 月の「完全失業率」は 5.4%と発表されました。また完全失業者数は 365 万人で 18 カ月連続して増加しています。では「完全失業率」とはどういうことを意味するのでしょうか?

「完全失業率」は「労働力人口に占める完全失業者の割合」を意味します。「完全失業者」は「15 歳以上で仕事がなく、仕事を探していた者で、仕事があればすぐに就ける者」とILO で定義されています。仕事探しをあきらめて家事手伝いや主婦(夫)業を行っていたり、資格をとるために(昼間の)学校へ通って勉強をしている人は該当しません。

一方、フルタイムの正社員の職を探しながら、短期(週 1 日でも)アルバイトをする人は就業者と見なされません。この求職難の時代はそういった人の数は相当数にのぼると思われ、現実に正社員就業を希望しているが叶わない人の数を考慮した失業率は、軽く 10%を超えるでしょう。

こういった状況が背景にあると、転職の相談を受ける際に簡単に賛成して GO サインを出すことはできません。最近では若い人に対しても「自ら辞めてはいけない」と強く言っています。決して転職を否定しているわけではありません。次の仕事がすでに決まっているのならば問題ないのですが、「とりあえず辞めてから……」とか「衝動的に辞めたくなる」などの理由の退職はいさめるようにしているのです。

また、漠然と転職を考えている人に対しても「自分から探さなくても本当に実力があり“求められる人材”ならば必ずその能力を必要とするところから誘いがあるから」と退職を思いとどまるよう言い聞かせています。これからのキャリア戦略とは、他社から「誘われる人材になる」ことが 1 つ挙げられます。

転職を考えている人も、考えていない人も、自分のキャリア戦略だけは早くから考えておくことをお勧めします。「将来なんて考えても分からない」「会社や上司のいうままに流されて」というのはこれからの時代あまりにも危険です。

こういう状況だからこそ、自分自身の「市場価値」をきちんと把握しておくことが必要です。

(人財局: 神寄真澄)

## No.080

### システム開発の生産性を向上させる／[コラム]あなたはWeb派？ 書籍派？

2002年12月4日

## [コラム]第2編集部だより

# あなたはWeb派？ それとも書籍派？

いままで世間の不況とは関係なく、一貫して右肩上がりの成長を続けてきたはずの本（書籍、雑誌）が、2～3年ほど前から次第に売れ行きが下がり始めてきた状況を一部の報道は「出版不況」と表現しています。

ここでちょっと思い出してみてください。街の本屋さん、大駐車場のある郊外の本屋さん、インターネット上にあるオンライン書店に行くと、相変わらず毎日のように新しい本が積まれており（インターネット上では、新刊案内として）、売れていないという印象を抱くことはありません。実際、大ベストセラーとなる本もあります。

しかし自分の周りを見渡してみると、携帯電話やインターネットの爆発的普及で、究極のアナログメディア（使いやすいという意味で）である本が強いあおりを受けているようにも感じられるときもあります。

例えば、都市圏に見られる通勤風景です。新聞、文庫本、週刊誌、さらにはマンガを読むサラリーマン、OL、学生の姿が減り、携帯電話を操作している姿がいまの通勤・通学風景ではないでしょうか？

では、皆さんが携わっている「IT」業界と「IT 関連技術書」の関係はではどうでしょう。一般の本と同様に「IT」も例外ではありません。一世を風靡したビギナー向け PC マニュアル本が爆発的に売れていた時期は世の中も「IT バブル」と呼ばれていましたが、出版界も IT 出版への新規参入もあり「IT 出版バブル」の状況を呈していました。しかし、「IT 不況」といわれているいま、IT 出版界も同様に「IT 出版不況」といわれるようになっているのです。

はたして、「IT 本」の価値は下がっているのでしょうか？ PC の購買率の低下と同様に PC 関連書の売り上げとしては、下降しているかもしれません。しかし、業務で必須とされる「IT 技術」に関する本への投資はどうでしょうか。

ここでちょっと見方を変えてみましょう。IT に携わっている方の情報収集方法は明らかに変わってきています。会社や自宅において、多くの方がブロードバンドによるインターネット接続により、インターネットからの情報を収集する量が増えていることでしょう（私は必要不可欠です）。

しかし、インターネット利用が広まったとはいえ、得た情報をじっくり理解したい場合、また膨大な量の資料を



読む場合は、紙ベースで読む方がよいこともあります。また、その反対に Web 上で素早く必要な情報が見たい場合もあるでしょう。

ここで、私たちは「Web」と「書籍」双方にメリットがあることに着目して「ハイブリッド型出版」事業を推進したいと考えました。

@ IT に集う月間 100 万人におよぶ IT エキスパートのニーズを分析し、商品性の高い技術解説情報を、アットマーク・アイティが企画・編集し、提供するものです。企画・編集された技術解説情報は、提携先の IT 系出版各社から書籍として出版されると同時に、@ IT サイト内でもオンラインコンテンツとして皆様に提供する予定です。

ハイブリッド型書籍の第一弾は、2003 年 1 月を予定しています。

これで、あなたが「Web 派」でも「書籍派」でも、悩みの 1 つは解消されるのではないのでしょうか。

(編集局 第 2 編集部：河合一彦)

No.081

IBMのオープンシステム戦略/[コラム]Linux Square一時停滞の理由

2002年12月11日

[コラム]@ITの真実

# 大暴露！Linux Squareが一時停滞していた理由

Linux Square フォーラムは、10月に一時的に更新が停滞してしまった。というのも、担当者である中澤が、9月末から10月末にかけて2度も入院していたからだ。

退院後も問題が残っていた。手術痕から血液や膿などの体液が多量に流出するため、厚みが2mmほどもあるガーゼを4枚重ねにしてもすぐビショビショになってしまうのである。これでは、家から会社に着くころにはジーパンが真っ赤に染まってしまう。

思案していると名案が浮かんだ。生理用品を使えば何とかできるのではないだろうか？早速コンビニに向かったのだが、種類が多くてさっぱり分からない。しかもレジにいるのは若い女性！これは切ない。とにかく適当にブツをつかんでレジに差し出す。一種の羞恥プレイだと思えばこれも悦びに変わる……ことはなかった。ああ、恥ずかしい。穴があったら入りたい。なければ掘ってでも入りたい。だが、レジの前に穴を掘ったらきっと叱られるだろう。

購入したものの、使い方が分からない。試行錯誤の結果、パンツに張るらしいことは分かったが、なかなかうまくいかない。もしかすると、男物のトランクスは考慮されていないのかもしれない。最終的になんとか張れたが、なんだかとても悲しい気持ちになった。

それから2週間ほどでブツを使い切ってしまった。また買いに行くのはツライので、総務のお姉さまに依頼することに。しかし、「どんなのがいいの？」と聞かれて困った。それを見て「ホホホ」と笑うお姉さま。もしかして楽しんでますね？

こうして、生理用品を使うようになって1カ月以上が経過した。ある日、トランクスに張る手際がよくなっている自分に気付いて、またとても悲しい気持ちになった。

入院&通院期間に学んだところによると、中澤を苦しめたその病気の原因はストレスや不規則な生活とのこと。そういえば患者の中にはSEやデザイナーもいたなあ。また知り合った患者の多くが親も同じ病だったといていた。皆さんも、思い当たる節があったら早く病院に行きましょう。

(編集局：中澤勇)

## No.082

# 止まらないシステムにクラスタリング/[コラム]ニュースと過ごす華麗な週末

2002年12月18日

## 局長のつぶやき

# ニュースと過ごす華麗な週末

編集局長の新野です。私は週末、自分の部屋で過ごすときには、なんとなくテレビをつけていることが多いのです。たまに仕事をしたり本を読んだりするときもテレビはつけっぱなしなのですが、いまひとつ集中できないときもあります。そんなときは、FM ラジオに切り替えたりします。

どちらの場合も共通していえるのは、大抵流している番組は、ニュース系です。有料放送でも申し込んで CNN あたりをつけっぱなしにできればいいかと、思っているくらい好きなジャンルなのですが、週末だけのために有料放送を申し込むのもなあと、結局はいつもの適当な番組を流しっぱなしにしているのが私の週末の風景といったところでした。

ところが、こうしたスタイルに 2 週間前から新しいメディアが加わりました。インターネットです。リアルネットワークスの RealOne という新しいプレイヤーを試したところ、世界中のインターネットラジオを簡単に楽しめて、中には一日中ニュースを流している放送局もあります。うれしいことにこれで、部屋にいるときはずっとニュースを聞くことができます。しかも中身は英語なので、聞き流してしまえば（というか聞き流すしかないのですが）集中したいときの邪魔にもなりません。

さらに先週末、そのメディアに驚くべき新しい発見がありました。

英 BBC の Web サイトでは、ヘッドラインだけですが映像でのニュースを 24 時間、毎日提供しているのです。これを流しておけば、PC が一日中ニュースを放映し続けるテレビに早変わり。映像付きなので「タンカーが沈んでるなあ」とか「渋滞してるなあ」とか「釈明してるなあ」とか、内容もそこそ想像できます。これで当面は有料の放送を申し込む必要もなくなり、大好きなニュースも楽しめて、私の生活もちょっとだけグレードアップ。

この体験を通して、インターネットは人の生活を容易にグレードアップできる可能性があるかと、あらためて実感しました。では、果たして@ IT はあなたの生活をグレードアップしているでしょうか。もしそうだとしたら、とてもうれしいのですが。

(編集局長：新野淳一)

## No.083

### 今後注目のグループウェア市場 / [コラム] フラメティで培った私の土台

2002年12月25日

#### [コラム] 私の信条

# フラメティと「Leave it better than you found it」で培った私の土台

マイナー家のクリスマスのしきたりに、クリスマスディナーの最初にフラメティ (Frummety) を食べるというのがあります。麦とクリームと砂糖で作った、日本でいう「すいとん」のようなものです。私が知っている限りでは、普段好んで食べる人は多くありません。

わが家では、これをローストビーフ、ソーセージロール、チーズビスケット、ジャムパイ、トライフル (デザート) などクリスマスならではのおいしい食事の前に必ず食べます。

フラメティはもともと、祖母の育った家が貧しかったころの主食で、祖母が「あのときのことを忘れないように、おいしい食事ができることを神様に感謝しましょう」という気持ちを込めて、あえてクリスマスイブの日に食べるようになりました。

私の生き方の土台となっているのが、こうした伝統や親から教えられたボランティア的な考え方だったり、家族そのものだったりします。日本のいい部分もそういう部分だと思っていたのですが、最近その美しい部分が失われつつあると感じています。

人が自分のアイデンティティを考えると、そのときどきの環境のなかでの自分より、祖先から伝わってきた文化のような強いコアになる部分が必要です。

アメリカではそれが宗教や学歴、自分戦略などになりますが、自分の根底に中心的な「何か」がないと、フラフラと人生が終わってしまうことになりかねません。逆に考えると、自分戦略を作る上でも自分の根本的な人格、自分にとって一番大切なものを明確にもつ必要があります。

Leave it better than you found it——来る前よりきれいにして帰りましょうという意味です。日本的に言えば、「迷惑かけない」ということかもしれません。けれどそれだけで終わるのではなく、自分がそこに介在したことによって、ほかの人々を幸せにしたり世の中を良くしたりするというマインドを持ちましょうという言葉です。これは、親の教えで僕が小さなころから自然に身に付いている考え方で、いまでも仕事でも遊びでもこの考えを

もって生活しています。

世の中のためになる、プラスに変えていくというのは、それぞれの立場によって、やり方はさまざまです。自分ができる範囲でこうしたマインドを持ちながら生活すれば実行できます。自分戦略を立てるということは、人のために何ができるかということをしっかり持つことと考えられます。

みんなでそういう気持ちをもって 2003 年を迎えればきっといい年になります。

2002 年は私の本厄年です。2003 年はまだ厄年ですけど今年よりは良くなって、そのうえでの 2004 年もまたさらに良くなる……と信じています。

では皆さん、Merry Chirstmas and A Happy New Year!!

(サンブリッジ社長／アットマーク・アイティ会長：アレン・マイナー)

2003

No.084

TCP/IPプロトコル群を学ぶ/[コラム]壊す年、創る年 2003年

2003年1月9日

## [コラム]代表のひとこと 壊す年、創る年 2003年

あけましておめでとうございます。アットマーク・アイティの経営および風紀担当の藤村です。

まめに「@ IT」をお読みいただいている熱心な読者の方には、「2003年の新たな試みとは!？」という対談で新年早々からお目にかかっていますね。本年もお付き合いをよろしく申し上げます。

さて、広報担当からはしっかりとお題を与えられて、私事を書いてすませられないのですが、あえて脱線すると——。新年早々 MTB で大転倒。雪が凍りついたデンジャラスゾーンをさっそうと走り抜けるつもりでしたが、気が付けば青空を見ていました。痛えー。それから、徐々に年をひとつ食いましたね (笑)。もうすぐ 50 代。どちらも不吉な経験ですが「いかん、いまのうちに好きなことをしておかねば」という天啓として大切にします。

アットマーク・アイティに話題を振ります。もう過去ですが、2002 年は「@ IT」が、ようやく皆さんの間で定着した年でした。後半には安定的に月々 100 万人 (!) を超える方からアクセスいただいています。何より「アットマーク・アイティと申しまして……」と自己紹介しようとする、遮られて「あ、見えています」といわれることがたびたび。

というわけで、今年はメジャーな道を歩みます……わけはないと (笑)。ほかにないニッチメディアが私たちの本分。アットマーク・アイティにとって、そう今年は“壊す”年になりそうです。“創る”年にもします。皆さんの中の 9 割の方々が「エンジニア業の将来に不安」と答えています。この事態にはマジにこだわります。皆さんと一緒に考えアクションするための新メディアを創り出します。

と、力み返ると「社長、また肩に力が」と注意されそうですが (笑)。まずは、大事な「Specialized」の後輪を新調するあたりから始めます。お互い事故には気を付けましょうね。

(代表取締役：藤村厚夫)

## No.085

# Webアプリケーション開発の大潮流 / [コラム] すぐ効くお疲れ解消術のその後

2003年1月16日

## [コラム] セミナー担当者のつぶやき

# @IT 読者流の すぐ効くお疲れ解消術のその後

セミナー&カンファレンス担当の加部です。昨年 10 月の@ IT 通信のコラムで「@ IT 読者流のすぐ効くお疲れ解消術」を募集したところ、さまざまなアドバイスをいただきました。ありがとうございました。年末までに自分でいくつか試したので今回はそれをご報告します。

### ● 熱めの風呂（温泉がいい）& 泡の出るものを口にして、さくっと就寝

晩酌をしない私は、お風呂に入ってアルコールをすぐ飲むと頭がグルグルまわり、そのままベットへ。確かにすぐに眠れましたが、眠りすぎて遅刻しそうになってしまいました。これは週末にのみ行うのが良いようです。しかし年末に引越しをしたらバスタブなし、シャワールームだけになってしまい、しばらくは「熱めの風呂」に縁がなさそうです（寂しい……）。

### ● 蒸しタオル（レンジで 1 分チン）

家で作業しているときの必須アイテムになりました。蒸しタオルをあてるのは、首の後ろが一番気持ちよく、5 分くらいでスーッと眠ってしまいます。すると、そのあとは目がスッキリして肩が軽くなります。

### ● 昼食直後にビタミン C の錠剤を飲む

去年の秋、毎昼食後にビタミン C を飲んでいたのですが、午後あまり眠くならずに元気で過ごせました。私のお気に入りにはスティックタイプの顆粒。いっとき服用をお休みしていましたが、どうも眠くなってしまうので、また飲み始めました。酸っぱい感覚がまたたまりません。

### ● 整体&足裏マッサージ

去年の年末に台湾に行きました。足裏マッサージ、整体をしてリラックスの日々を過ごしました。足裏マッサージは足のむくみが取れ、足のサイズが少し小さくなったようです（靴に隙間ができました!）。整体の方は「バキッ、バキバキ」とすごい音がするのですが、施しを受けるとスッキリとして、顔つきまで変わったようでした。即効性が確実にあります。料金も両方のサービスを 1 時間受けて 3500 円とお得でした。

さて、そんなこんなで疲れも取れましたので、今年もセミナー企画をたくさんやります。ご期待くださいませ。



実は、いまも 1 月 31 日に実施の「実践 Windows セキュリティセミナー」を準備してます。もうみなさんは告知ページをご覧になりましたか？ 自分で言うのもなんですが、すごく良い内容のセミナーです。ぜひ来てくださいね (PR モード)。

イベント前の大忙し時期ですが、蒸しタオルとビタミン C と整体で乗り切るつもりです。皆さんのアドバイスに感謝します。今年もよろしくお願ひします!

(営業企画局 : 加部浩子)

## No.086

# 安全なWeb通信には欠かせないSSL/[コラム]@ITの帯電男!?

2003年1月23日

## [コラム]ニュース担当のつぶやき @ITの帯電男!?

冬になって最もイヤなのは静電気だ。ニュース取材でさまざまな企業を回るがエレベータのスイッチで必ず「パチッ」とくる。エレベータだけでなく、ドアノブや自動車のドアなど金属でできているほとんどのモノで「パチッ」だ。ひどいときには手洗いの水に手を差し出した瞬間に「パチッ」と来るときもある。

もちろん、人の手に触れたときも「パチッ」。ここで「君への思いがはじめて音がしたよ。聞こえたかい?」などと軽口の1つも叩けるようなら、私の人生もドラマチックになっていたのだろうが、「ごめん、ごめん」と繰り返すのがやっと。今日も平凡な1日になりそうだ。

IT 関連の記事を書いているからには、「静電気による電子機器の破壊に注意しましょう」とでも訴えるのが本筋なのだろうが、私の場合、静電気へ関心を持つ理由の中心は痛いのがヤダ! ということだ。だが、後ろ向きではいけない。人の体にたまる静電気をどうにか有効活用できないだろうか。電気というからには、電球を体に付ければ点灯するのではないだろうか。中学生レベルの知識で間違っているような気もするが「パチッ」と来た瞬間に、私の頭の上に付けた豆電球が「ピカッ」と光るのだ。モータを取り付ければ「パチッ」と来ると頭に取り付けた羽がくるくる回る。周りの人は、ぼんやりと「あ、垣内さんはまた静電気を起こしているのだなー」と思ってくれるだろう。

筆が滑って長々とばかばかしいことを書いてしまったが、NHK のテレビ番組「ためしてガッテン」によると、痛くない静電気の逃し方は「ハンカチで触る」(少し湿っているほうがいいらしい)「かぎで触る」「つめで触る」などだ。なんとも情けない姿ではないか。私もやってしまうが、大の大人がつめでこわごわとドアノブに触れている姿はどうだろうか。もちろん腰が引けていて、顔は半泣きだ。そんな奴の言うことが信頼できるだろうか。会議でどれほど立派なことを主張していても、会議終了後にはつめでドアノブに触れているのだ。そんな上司は嫌だろう。

日々さまざまところでニュース取材をしているので、もし腰が引けた姿勢の記者を見かけることがあれば、「ああ、あれが帯電している垣内さんか」と思っていただけで幸いだ。

(編集局: 垣内郁栄)

No.087

Webオーサリングのためのプロトコル/[コラム]テディ柏野リターンズ

2003年1月30日

[コラム]HIPな営業担当

# テディ柏野の「murdered by the music」リターンズ

昨年の12月にアットマーク・アイティに入社しました。今回が当コラム初登場となります。実は、前職でお客様に対して発行するDMにコラムまがいのものを連載(?)しておりました。その名も『テディ柏野の「murdered by the music」』(笑)。名のとおり音楽にまつわる与太話&テーマ別わたしのコメント付BEST5を勝手に紹介していました。「秋の夜長にスティーヴィー♪この5曲を聴け」「祝来日決定! わたしが選ぶロキシーミュージック5選」といったテイストでした。

毎回しょもない内容を書いておりましたが、思ったより購読率は高く(?)「先月のBEST5に入っていたあの曲はどのCDに入ってるの?」などというありがたい問い合わせをちょうだいしたことも何度かありました(ああ懐かしい)。

そのDMもいつの間にか休刊となり、音楽に対するささやかな自己表現の場を奪われたため、外資系CDショップの「販売員さんの音楽愛にあふれたコメントPOP(手作りキャッチコピーっていうんでしょうか?)」に負けじと、自分の書いた「コピー」を家のCDに貼り悦に入るというステキな行為で心の隙間を埋めていました(うそです)。

せっかくこういった場をいただいたので、この機会に「テディ……」コラムを復活させることを狙います。ちなみに「テディ」とは、別にわたしがリーゼント兄ちゃんという訳ではなく、1970年代に若き日の片岡義男が「テディ片岡」というペンネームを使ってHIPな評論を書いていたのに影響を受け、借用させていただいた次第です。

メルマガ編集班に掛け合い、3カ月に1度は「テディ柏野」をお届けしたいものです。音楽好きな方もそうでない方もよろしくお付き合いください。(あ、YMOではユキヒロファンでした♪)

(営業企画局・柏野晃司)

No.088

RAIDで壊れにくいストレージシステムを作る / [コラム]「Only one」って何？

2003年2月6日

[コラム]自分戦略研究所担当のつぶやき

## 自分にとっての「Only one」って何？

今年1月アットマーク・アイティに入社しました原田です。2月3日オープンの新サイト「@ IT 自分戦略研究所」のコンテンツ作りを担当します。IT エキスパートはもちろんのこと、IT 業界で働き、自分のキャリア戦略を積極的に考えていこうと思う、すべての方々に注目してもらえるようなサイトを目指しています。

前職では転職情報誌の編集をしていましたが、今回は自分の再就職までの“浮いた時間”を使ってエジプトへ旅行してきました。偶然にも、往復の飛行機ではエジプト考古学の専門家、W 大 Y 教授と一緒に（とはいってもあちらはビジネスクラスのようにでしたが……）。TBS で放送されている「世界ふしぎ発見!」の番組効果もあり、日本でエジプト考古学の専門家といえば、W 大 Y 教授を思い出すようになりました。それに加えてあのヒゲ面とダミ声、特異なキャラクター。うまく「Only one = 唯一の存在」を達成している人だなあと思います。

Only one についてさらにもう一言。先日、テレビドラマのエンディングに流れる主題曲を聴いていたとき、なかなか印象的なフレーズがありました。曲名は SMAP の「世界に一つだけの花」。「No.1 にならなくてもいい。もともと特別な Only one」という歌詞です（テーマは恋愛がらみかもしれませんが……）。

最近、こんな出来事が続いたので、「自分にとっての Only one って何だろう?」とあれこれ考えてみました。仕事についての Only one といえば、キャリアやスキルアップを考える IT エキスパートの方々の中で「@ IT 自分戦略研究所」を Only one メディアにすることです。

「No.1」と「Only one」では存在感がまるで違います。No.1 の代わりはすぐに現れますが、Only one の代役は見つけられません。そのため「@ IT 自分戦略研究所」を Only one メディアにするには、充実したコンテンツ作りが欠かせません。これから積極的に IT 業界の最前線で活躍されている皆さんの下へ取材にお伺いし、IT エキスパートの間で、いま何が起きているのか? を「現場の目線」を起点に鋭く迫っていきます。ぜひとも今後の「@ IT 自分戦略研究所」にご期待ください!

(編集局: 原田明)

## No.089

### 次世代の開発アプローチ / [コラム] エディタのつぶやき

2003年2月13日

# [コラム] エディタのつぶやき 調理場を見て思うこと

21 時過ぎに食事をすることが多い。僕は調理場をのぞけるお店が好きで、1 人の場合よくカウンターに座って料理人の姿をぼんやりと見ている。そういう時のビールはおいしい。

料理と編集は似ている、と思うときがある。材料を吟味して、成果物を作り上げる。経験と技がモノをいう。知識も必要だ。だけど、なにより誠実じゃないといいものは作れない。最高の料理人はとにかく材料に誠実だと思う。

最高の素材を選ぶには、鋭い眼力もさることながら、素材に対するまっすぐなまなざしと優しさ、思いやりがなければならないはずだ。無責任な料理人は、無責任に材料を選び、無責任に調理するだろう。無責任な料理人は無責任な料理しか作れない。才能に溢れていようが、豊富な知識を誇ろうが、駄目なものは駄目なんだと思う。

同じように、編集者も誠実じゃなきゃいけない。筆者や取材相手、記事、同僚、そして読者に対する誠実さが求められる。表層的な礼儀正しさや優柔不断な態度がそこに入り込む余地はない。約束は守る、決めたことはやる、口にしたことは実行する。調理場を戦場と喩えるなら、編集現場も静かな戦場だ。目に見えない所でさまざまな思惑が、戦場を飛び交う銃弾のように交錯している。

無責任者はそのうち消える。臆病者も消え去る運命にある。誇りを持って誠実さを貫くことは勇気のいることだ。だからこそ、真剣な料理人の姿には励まされる。ビールがおいしいのも当然だ。

『調理場という戦場』（斉須政雄 朝日出版社）は誠実さについて書かれた本だ。フランスで修行した「コート・ドール」料理長 斉須政雄の精神はとても静かで落ち着いているが、半面とてつもなく熱い。

（編集局：谷古宇浩司）

No.090

Cookieを極める!/[コラム]知るは楽しみなり「読書のススメ」

2003年2月20日

## [コラム]@IT自分戦略研究所所長のつぶやき 知るは楽しみなり「読書のススメ」

2月3日にスタートした@ITの兄弟サイト「@IT自分戦略研究所」所長の神崎（かんざき）です。中長期的な視点でスキルとキャリアの向上を目指すITエキスパートのためのコンテンツとサービスをこれから数多く提供していきますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

さて、不況のせいか、書籍離れの進行のせいか定かではありませんが、書籍が売れないという話をよく耳にします。2月11日付けの朝日新聞によると確かに、ここ6年連続して書籍（雑誌含む）の販売額が落ちているようです。

しかし、私の周囲のITエンジニアの方は、よくこんなに多くの本が読めるなと感心するほど（特に分厚い専門書）を読んでいます。旧Engineer Lifeフォーラム、現在の@IT自分戦略研究所の会議室にも「本を買いすぎて本棚がいっぱいになったときどうしています?」というスレッドがあり、6000件近くの閲覧がありました（2003/2/19現在）。多くの皆さんが、きっと同じ悩みや経験を抱えているのでしょう。私自身も1000冊を超える本の置き場所に四苦八苦しているので、このスレッドは大変参考になります。

学習のリソースとして書籍は極めて優れています。e-Learningがどれほど使いやすいものになったとしても、書籍以上に「いつでもどこでも手軽に」勉強できるものにはならないのではないのでしょうか。

昔、NHKアナウンサーの鈴木健二氏が司会をしていた「知るは楽しみなりと申しまして知識をたくさん持つことは、人生を楽しくしてくれるものでございます」というあいさつで始まるテレビ番組がありました（年がバレバレ?）。私はこのフレーズが好きで、同時に知識を習得するのに一番手っ取り早い方法である「読書」が好きになった経緯があります。

エンジニアの方が専門書を読まれる理由は、現状の仕事に直結する「知識」の習得のためだったり、将来のスキルやキャリアアップに備えてということなのでしょう。いずれにしても読書は自分を高めるための重要なステップになるといえます。

@IT、@IT自分戦略研究所も、紙の書籍に負けないような知識の提供を目指しています。

（@IT自分戦略研究所 所長：神崎 眞澄）

No.091

セキュリティホールをつぶせ/[コラム]「@ITハイブックス」誕生!(其の1)

2003年2月27日

## 【コラム】@ITの真実 「@ITハイブックス」誕生!(其の1)

2月26日に誕生したばかりの「@ITハイブックス」を担当している竹村です。この「@ITハイブックス」とは、書籍とWebの機能を連動した「ハイブリッド型出版」事業の名称です。

これは、「@ITサイト」「hybrid」「books」を掛け合わせた造語で、「書籍とWebサイトのメリットを活かしたITエキスパート向けパブリッシング」を目指して命名されました。ぜひ書籍とWeb両方の「@ITハイブックス」をご覧ください、業務に、個人のスキルアップにお役立ていただければ幸いです。

@ITハイブックスを担当する私たち（編集長の河合を筆頭に、竹村、玉川の3名）がアットマーク・アイティに入社したのは昨年11月1日のことです。それから約4カ月、「Java2ラーニングブック - 310-035 編-」と「Oracle9i DB Release 2 実践ガイド」の2冊の書籍を、技術評論社との協業で世に送り出すことができました。

完成までには、企画から書籍コンテンツの編集、さらにはWebコンテンツの制作までの工程がありました。前職が紙媒体の編集だったため、Webコンテンツの制作は慣れないことも手伝いスピードが速く感じられ、目の回るような作業でした。正直、何をどう進めてきたのか忘れてしまうくらいですが、いまはとにかく達成感があります。

私が企画段階からかかわってきた「Oracle9iDB Release 2 実践ガイド」は、日本オラクルの監修のもとで、Oracleの製品技術に精通した著者が書き下ろしたものです。Oracleの初心者の方、またいまいちOracleを使いこなせなかった方に、いかに分かりやすく、丁寧に解説するかという点に力点を置いています。どうぞご活用ください。

次回、続けて@ITハイブックスの河合にコラムをリレーします。お楽しみに。

(@ITハイブックス 担当: 竹村 功)

## No.092

# IPマスカレードとは?/[コラム]「@ITハイブックス」誕生!(其の2)

2003年3月6日

## [コラム]@ITの真実 「@ITハイブックス」誕生!(其の2)

先月 26 日に誕生した「@ IT ハイブックス」編集長の河合です。前回の竹村に続けて@ IT ハイブックスについてお話をしていきます。

@ IT ハイブックスの書籍には、ユニークなナンバー（アクティベーションキー）が付いています。これを@ IT の Web サイトから登録することにより、@ IT ハイブックスが提供する「Web 袋とじページ」が利用できます。Web 袋とじページとは、書籍の種類によって内容は異なりますが、「Web 模擬問題」や「読者からの FAQ」など、Web の利点を活かした付加情報を書籍購入者だけに提供するサービスです。

ちなみにこの「Web 袋とじ」のネーミングですが、社内で大きな(?)議論を呼びました。「袋とじ?」「しかも Web の?」「読者(おもに女性)に受け入れられるのか?」など。しかし、あの袋とじを破く瞬間のワクワク感を Web 上でも味わっていただくというコンセプトの下に、あえて“袋とじ”に決定しました。ご利用いただいた方は、ぜひご意見もお聞かせください。

さて、第 1 弾として今回発行した書籍は、前回のコラムで紹介した「Oracle9iDBRelease 2 実践ガイド」のほかに「Java2 ラーニングブック - 310-035 編-」があります。サン・マイクロシステムズの監修のもとで、Java の技術に精通した著者が書き下ろしたものです。

「試験番号 310-035:Sun Certified Programmer for the Java2 Platform1.4」に対応した問題集で、単に模擬問題+解答という形にはせず、図表と組み合わせた詳細な解説を加えています。さらに、同じ執筆陣が作成した追加模擬問題を@ IT ハイブックスが提供する「Web 袋とじページ」でトライしていただけます。受験直前の最終チェックにどうぞ。

第 1 弾は技術評論社との協業で、2 点同時刊行しました。今後もテーマに応じてさまざまな出版社と協業して「@ IT ハイブックス」を運営していきます。

何はともあれ、@ IT ハイブックスの Web サイトで「立ち読み」をしてみてください。納得いただけた書籍があれば「購入」していただいて、ぜひ「Web 袋とじページ」を活用してみてください。今後とも、「@ IT ハイブックス」をご愛読いただけますよう心よりお願い申し上げます。 ( @ IT ハイブックス 編集長:河合一彦)



No.093

CRMを支えるテクノロジー/[コラム]38歳からのスノーボード

2003年3月13日

**[コラム]読者調査担当のつぶやき**

# 38歳からのスノーボード または重力の魔から逃れるための 小さなアドベンチャー

こんにちは、最近どうですか？ 僕の方は、長年の自堕落な暮らしが祟って、体力の衰えをハッキリ自覚できるようになりました。特に 30 歳代後半になってからは、風邪で咳がとまらなくて知らぬ間に肋骨折れてるわ、ちょっと寝不足で飲み会に行ったら貧血でぶっ倒れるわ、電車とホームの間に落ちそうになって変形するほど脛を強打するわで、なんかもう大変です。

でもね、一番ヤバイなと思うのはそういう肉体的なものでなくて、なんかもっとこう精神的なところなんです。何をやるのも億劫っていうか、新しいものに興味がなくなるっていうか。最近、よく聴いた CD でいうと、ピンク・フロイドにドアーズにラフマニフとかですよ。ヤバイでしょ？ なんかこう “Gravity の呪文 ” 掛けられたって感じで。

ところがですよ、そんな僕がスノボ始めたんですよ。スノーボード。ええ、もちろん自発的じゃないですよ。こんな歳からスノボなんかやったら、頭打って逝っちゃうって思ってたから。でもね、その誘ってくれた友達ってのが、似たような歳なんですけど、やたら生き生きしてるんですよ。僕よりも仕事はハードワークなクセして、眼なんかキラキラしちゃって、いま俺にイチバン足りないものを持ってって感じでなんかこうあやかりたくて、フラフラついてたわけです。

で、行ってみるとこれが大変で。まずね、立てないんですよ。ボードに両足拘束されるでしょ、立とうとするたびズルズルいっちゃって。もう、その段階で息なんかゼエゼエですよ。やっぱりおとなしく、家で YMO の再発盤でも聴いてりゃよかった。

なんとか立ち上がったって、七転び八起きっていうか、七転八倒状態で。ちょっと斜滑降できるようになったら、今度は曲がんなきゃいけないんですけど、スノボってね、一瞬谷側に体重抜かないと、板が下向かないんですよ。斜度があってアイスバーンでシャリシャリ状態になっていたりすると、恐怖を乗り越えて絶望的な気分にもなれます。でもね、コワイと思っても逃げずに前を向かないと先に進めないって、何か人生の法則みたいでしょ？ まあ滑ってる間はそんなこと考えてる余裕ないですけど。

そんな状態だから、だれかと比べてカッコ付けたいとかまったく思わないんですけどリフトをまともに降りられた!とか、今回はパツと立てた!とか、ファミリーゲレンデをコケずに滑れた!ってときなんか、嬉しいんですよね。ちょっと前の自分にできなかったことができるようになった実感、“俺って、まだ進歩できるんだ”ってことを実感できるのが、われながら単純だけど、すごく、嬉しい。

ところであなたスノボやったことあるんですけど? ない?

じゃあ今度一緒に行きましょうよ。楽しいっすよ。

(@ IT マーケティングサービス : 小柴豊)

## No.094

### IPアドレスを管理するプロトコル/[コラム]映画館に行かなくなった理由

2003年3月20日

# [コラム]営業担当のつぶやき 私が映画館に行かなくなった理由

アットマーク・アイティに入社してもうすぐ2カ月なります営業企画局の西山です。

いきなりですが、皆さん、最近映画観てますか？

最近の私は、4～5年前まではあんなによく観に行っていた映画館からとんとご無沙汰状態になってます。その訳は?という、これがまた、いくつかあるんですけど、1つはDVD。ちょっと大きめのテレビ画面で自宅でのんびりとDVDを観ていると、ホント楽ですよ。コーヒーを飲みながら、タバコも吸えるし、トイレに行くときは一時停止ってな具合で。

最近のちょっと難解な作品も、細部に余計な仕掛けをちりばめた意地悪な作品も怒とうの“繰り返し観る”攻撃で「あそこ見逃したっ!」「意味が分からないっ!」なんてこともないですしね。

でも、やっぱり気になる作品はできるだけ早く観たいし、「あの作品よかったよ!観たほうがいいよ!!」なんてセリフもたまにはいってみたいくなるわけですね。そんなときは、映画館まで行かなければならないのですが、どうも1人で映画館に行くのが苦手なんです……。で、これが最近映画館に行かない最大の理由なんです。以前は一緒に観に行ってくれてた人物が、仕事の関係でほとんど試写会で先に観ちゃってるんですよ。これが。

そんなわけで、人には面白かった映画を薦めたいけど、人から薦められた映画はあまり観たくないという天邪鬼な私はますます映画館から足が遠のいてしまうのであります。

最後に、私がその人物に最近薦められた作品をいくつかご紹介（決して皆さんに薦めてるわけではありませんので……）。

#### ● 『アバウト・シュミット』

いままでとは一味違うジャック・ニコルソンが観られるブラックユーモア満載のヒューマンドラマ（別に一味違うジャック・ニコルソンに興味はないので、パス）。

● 『ブラック・ダイヤモンド』

とにかくジェット・リーのアクションがかっていい映画。アクション映画にしては、ストーリーが面白い。展開の仕方も〇（リー・リンチェイもがんばってるみたいですね。わたしは DVD で観ます）。

● 『ブルークラッシュ』

サーフィン映画。ハワイのノースショアの波が凄い。この撮影カメラマンは、よく死ななかつたと思う。ストーリーは単純で、とくに中身はない（こんな説明じゃだれも観に行かないですね）。

● 『ブリー』

10 代の少年がゲーム感覚で殺人を犯すまでの過程を描くドキュメント。一見普通の少年がなぜ犯罪を犯すのか？（ん〜もし観に行くとしたら、これかな……）

（営業企画局：西山敏之）

## No.095

### 企業間取引引きとしてのWebサービス/[コラム]30代への背伸び

2003年3月27日

# [コラム]@ITハイブックス担当のつぶやき 30代への背伸び

映画「オー・ド・ヴィ」、観てきました。と言っても先月の話ですが。

岸谷五朗、山田幸伸、あがた森魚ファンの私は、大満足。ルンルンで「いいねえ、いいねえ」と観てきました。

が、本当は大人な作品で「鑑（み）終わったら、お酒が呑（の）みたくなるような映画」と篠原哲雄監督は言っているそうです。確かに、ルンルンと観ていたわりには、混沌としたまったり感が残っていました。もっと大人になってから観れば味わい深いものがあったのかもしれませんが。お子様な私には、背伸びだったようです。

実はそうも言われてられません。もうすぐ 30、十分大人です……。

私の周囲は、趣味つながりの 30 代の人々が多く、「サーティーズ」やら「三十路」（そのまんま……）なんてグループ化した呼称までついています。年始めには私もその「三十路」の新年会に招かれ参加しました。

その席には、20 代は 2 人しかおらず、万が一年齢の話になったら危険!と思っていたところ、案の定「そういえばそこに……」と指をさされ、どんな弁解もちが明かなそうな雰囲気があったので、仕方なくこやかに「三十路リーチ!」と叫んでみたところ、「いよっ」なんてかけ声があがり許されました。

このことは、あとで同級生の間に広まり、「勇気ある行為」と賞されましたが、実際 30 歳になるのは嬉しいものです。30 歳は大人って思うし、身近な 30 代たちは皆さんバイタリティ溢れていて尊敬してしまいます。

自分がそんな 30 歳になれるかは別の話ではありますが……。

前述の「趣味」というのは所属している吹奏楽団のことなのですが、そこで私はかなりのお子様扱いを受けており、「永遠の少女」と言われる始末。一見ファンタスティックな響きですが、「指揮者にたてつかない」「会議中は落ち着け」「食事中に寝ない」など、情けない注意をちようだいしている次第です。

そんな注意を肝に銘じ、日々、大人になるべく精進しております。皆様、気を長くお見守り下さい。

（編集局第 2 編集部：@ IT ハイブックス担当 玉川美保）

No.096

インターネットSSO/[コラム]地方巡業への道は山あり谷あり

2003年4月3日

[コラム]セミナー担当者の野望

# @ITセミナー、 地方巡業への道は山あり谷あり？

セミナー&カンファレンス担当の加部です。

ようやく寒さも気にならなくなり、桜満開の春——気分一新する季節となりました。暖かく過ごしやすい、新年度の節目を迎えると、だれもが新しいことをやってみたくなったり、思わず動き出したくなったりしますよね。

私が担当するセミナーの仕事も、暖くなるのを待っていたかのように、さまざまなセミナーの実施依頼や要望が増えてきて、新しいことを始めるモードになってきました。

例えば今年 1 月に実施した Windows セキュリティセミナーは、とても多くの方から次回開催に関するお問い合わせがありました。そのご要望にお応えして、第 2 回を 4 月に実施します。この Windows に関するセキュリティというテーマは継続して行いたいと思っています。

皆さまからいただいた要望を実施できるということは、担当者冥利に尽きます。本当にありがとうございました。

これ以外にも 5 月、6 月と@ IT が企画提供するセミナーやカンファレンスも現在仕込み中です。楽しみにお待ちください。近いうちに@ IT サイトやこのメールマガジンで告知していきます。

さてセミナー実施に関する要望の中で多いものに、関東近郊以外の方から「東京以外の地方でもぜひ開催してほしい!」というのがあります。

私としては、ぜひ地方巡業したい! (ご当地名物の美味しいものが食べたい?!) と密かに野望を抱いており、どのようにすれば周囲を説得して実現できるかを悩んでいるところです。

その悩みとは、実施会場の調達であったり、できれば現地の方に講師をお願いしたいなど、東京のオフィスからではなかなかアプローチが難しいことなのです。さらに本音をいえば、セミナーを支援していただける企業を見つけるのも難題です。

簡単にはいかないことではありますが、@ IT 読者の皆さまの熱い要望と供に、「@ IT 地方巡業の実現」に向けた斬新なアイデアをちょうだいできたらいいなと思っています。ご意見、ご感想、お待ちしております。そして、山あり谷ありの野望ですが、暖かく見守ってくださいね。

(営業企画局 : 加部浩子)

No.097

エンジニアにとって必須となるXML/[コラム]リニューアルの裏事情

2003年4月10日

[コラム]デジタルアドバンテージの野望

# Windows Server Insider、 Insdier.NETリニューアルの裏事情

みなさんこんにちは。@ IT で Windows Server Insider、System Insider と Insider.NET フォーラムを運営しているデジタルアドバンテージの小川です。

すでにお気づきかと思いますが、2003年3月6日に Windows Server Insider フォーラムと Insider.NET フォーラムのリニューアルをしました。前者は、これまで WindowsInsider だったものに「Server」という一言を追加しています。後者のフォーラム名は変更していませんが、いずれも、フォーラム・トップページをリニューアルしました。では、簡単に今回のリニューアルの背景について簡単に説明します。

私たちデジタルアドバンテージは、スーパーアスキーという技術情報誌を手がけていたメンバーによって設立されました。このスーパーアスキー時代を含めて、これまで私たちのテーマは「パソコンをより多くの人に使ってもらいたい」ということだったと思います。しかし、気が付けば、パソコンはほんのお小遣い程度で買えるものになり、高速なインターネット常時接続も個人で手に入る時代になりました。時代は、「1台のパソコン」を超えて、ネットワークを前提とするアプリケーション連携時代へと突入しようとしています。

つまり、時代をリードしてきたつもりが、いつの間にか時代に先を越されつつあるのではないかと感じるようになりました。経験が長いだけあって、確かに私たちはパソコンには詳しい。いままでは、それだけで重宝がられて仕事をさせてもらってきたわけですが、これからは「パソコンに詳しいのはいいが、それで何ができるの?」ということが問われるようになってきたのだと思います。

アプリケーション連携時代においては、単独のパソコンだけでなく、それらをいかに協調させられるか。具体的にいえば、パソコンを足回りとして、情報システム全体をいかに設計し、運用するかが問われるようになるでしょう。このとき重要な役割を果たすのはミドルウェアだと思います。

ミドルウェアに関して、私たちは経験も薄く、これまでは記事としてもあまり取り上げられませんでした。しかしこれからは、ミドルウェア・レベルの視点でも語れるようにならなければ、価値ある情報を提供できないと判断しました。Windows ServerInsider は Windows IT プロフェッショナル、Insdier.NET は .NET 開発者という読



者ターゲットの中心は変わりませんが、双方とも、今後はミドルウェアの視点も意識していこうと考えています。

ただいま、筆者開拓を含めて、ミドルウェア関連の記事企画を準備しております。私たちデジタルアドバンテージにとっても未知の領域であり、勉強の連続ですが、何とかお役に立てる記事を提供していきたいと思います。どうかお付き合いください。

この分野では、私たちよりも経験豊富なエンジニアの方々が@ IT 読者にはたくさんいらっしゃると思います。これからの記事展開において、お気づきの点あらば、ご遠慮なくご指摘ください。また「そういうことなら自分に書かせる」とお思いの方、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

(デジタルアドバンテージ・代表取締役：小川誉久)

No.098

OSの壁を乗り越える仮想マシン / [コラム]「モモ」と「チャコ」に癒されるわたし

2003年4月17日

[コラム]@ITの真実

## 「モモ」と「チャコ」に癒されるわたし

3月にアットマーク・アイティに入社しました榛葉みゆきです。

まだ入社ホヤホヤの新人!なのですが新卒者ではありませんで、ちょっとばかし社会経験のある営業企画局員です。

ではごあいさつ代わりに、わが家で飼っているペットの話でもさせてもらっちゃいます。

わが家には気まぐれ娘が2人(匹)いまして、1匹はモモンガの「モモ」、もう1匹は耳たれウサギの「チャコ」です。私を含め女3人(1人と2匹)でそれぞれ勝手気ままにやっています。

最近モモは、冬眠だったせいかずーっとゲージのベットの途中で眠り込んでいて、運動もせずにご飯もベットの中で食べているので、ちょっとおでぶの引きこもりになってます。

一方チャコは、元気に部屋中飛び回っていたずらばかりします。皆さんウサギもなつくって知ってますか? ウサギだって気長に付き合えば、ちゃんとトイレや芸も覚えるんですよ。

おやつがほしいときなど、人の足元にダッーと寄ってきて、足の周りをハの字に回りケージに入って“ちょうだい”をするんです。特に覚えさせたつもりはないんですがいつの間にかやるようになりました。

いたずらウサギとはよくいったもので、かまってほしいとき、わざと怒られるようなことをするんです。「コラーツ」っていうと、楽しげに逃げていくその様子を見てると怒るに怒れなくて……。 「親ばかだなー」と思いながら日々癒されつつにぎやかにやっています。

春になり暖かくなってきたので、そろそろ私を含めわが家の女どもの私生活にも、春が来てほしいところです。はあ……。

そんなわたしですが、仕事はガツガツいきますので、担当するフォーラムスポンサーなどの広告管理を通じて皆様のお役にたてればと思います。@ IT での今後の活躍を応援ください!よろしく申し上げます。

ちなみに、榛葉は「はるば」と読みます。

(営業企画局: 榛葉みゆき)

No.099

リモートアクセスにもVPNを使おう/[コラム]方向音痴のゲゲゲの鬼太郎

2003年4月24日

**[コラム]@ITの真実**

## 方向音痴のゲゲゲの鬼太郎

はじめまして、4月1日に入社した岩崎史絵（しえ）と申します。Business Computing フォーラム担当です。名前の響きから、某ギャグマンガに出てくる「シェーツ!」というキャラクターを思い出す方も多いと思いますが、あれほど強烈なキャラはありません。ただ長めの前髪&茶髪ゆえに、時々「ゲゲゲの鬼太郎みたい」といわれることも。一応、女性なのですけどね。

そんなわたしにも悩みがあります。それは「方向音痴」なこと。取材前のプレ調査では、その会社の動向や業績もさることながら、所在地の確認は欠かせません。地図をプリントアウトし、普段持ち歩いている「東京 23 区地図」にも印をつけ、地下鉄の出口でもしっかり方向を確認します。なのにやっぱりわたしの足は反対方向に向かってしまうのです。

「地図を見ると多分こっちの方向だと思うけど、いつも逆方向に進んじゃうから、今日は思っているのと反対の方向に行ってみよう!」と自分で自分の裏をかいて歩み始めたりすることもあるのですが、そういうときに限って最初の直感が当たっていたりするんですよ。

方向音痴の方は分かると思いますが、地図情報と現実の空間を合わせて認識できないので、どうしても「直感判断」に頼らざるを得ないのです。で、取材先の方に「道に迷ってしまって……」と涙声で電話することもしばしば。

ある時など「さっき駅で岩崎さんを見かけてね、ウチの会社に来るはずなのに反対方向にどンドン歩いていっちゃったから、おかしいな—とっていたんですよ」とにこやかに言われたこともありました。それならその場で声をかけて欲しかった。

街中でもし、地図を片手におろおろしている鬼太郎っぽい女性記者を見かけたら、それはきっと@ IT の岩崎です。そんなときはひとこと「目的地はどちらですか?」と声をかけて下さいませ。ひょっとするとあなたの会社への取材かもしれません。

(編集局: 岩崎史絵)

## No.100

### データベースを自由にプログラムしてみよう / [コラム] アナログ人間のなぞ

2003年5月1日

# [コラム] @ITの真実 アナログ人間のなぞ?!

昔からどうにもよく分からない言葉に「アナログ」がある。

いや、もちろん「連続的に変化する物理量」の意味では分かる。ところがそこに、「人間」とか、「思考」というような単語がくっついてくるととたんに分からなくなる。使う人によって意味がバラバラで、おうおうにしてその定義があいまいだったりする。

デジタル情報機器が使える人が「デジタル人間」、使えない人間が「アナログ人間」というのは分からないでもないが「ビデオの録画もできないぐらいのアナログ人間」という用法に出会うと、「ではそのビデオは VHS ではないのだな!」とツッコミたくなる。

「デジタル思考／アナログ思考」は、前者が“良い／悪い”というような 2 分法を基本にしたロジカルな思考、後者は感性や直観などに基礎を置く思考……らしいが、それなら「論理的／直感的」でいいんじゃないか? (それに「アナログ=感性・直感」はちとムリがある)

ナレッジマネジメント用語の「暗黙知／形式知」も、「アナログ知／デジタル知」と説明されることが多いが、これもたいていは言い換えなくても通じるような気がする (というか言い換えの方が分かりやすいのでは?)。「左脳／右脳」のことを「デジタル脳／アナログ脳」と説明するのも同様だ。単に「論理的／情緒的」でいいのではないか?

この上、「アナログ経営」「アナログ生活」なんて言われた日にはもうお手上げだ。

というわけで、「デジタル (情報機器) ではない!」の意味で、「アナログ」って使うのをやめてもらえませんか (ってだれに言ってるの?)

(編集局: 鈴木崇)

No.101

ネットワーク管理の苦悩、Hotfix / [コラム] 仕事を離れる黄金週間(飛び石)

2003年5月8日

## [コラム] 編集局長のつぶやき 仕事を離れる黄金週間(飛び石)

編集局長の新野です。ゴールデンウィークの初日、パソコンや IT 関連の出版関係者が参加する、ちょっとしたバーベキューパーティに招待されて行ってきました。実はこうした出版関係者は取材先で顔を合わせるが多かったりして、会社は違ってもお互いに顔見知りだったりするのです。

バーベキューパーティの会場は、ある超巨大 IT ベンダの重役の私邸にある広い庭。ざっと見渡して PC や IT メディアの関係者が 30 人ほど。アスキーの看板雑誌の元編集長、インプレスの重役、IDG の雑誌部門のトップ、某新聞社のパソコン雑誌の編集長、ベテラン編集者から独立してフリーになったばかりのライターなどなど、そうそうたる顔ぶれに混じって現場で活躍している編集スタッフの顔もあります。特別ゲストとして、超巨大電話会社の重役も登場です。

こうした人たちが集まれば、どこの会社を買収されそうだとか、だれそれが引き抜かれそうだとか、会社の戦略の裏話だとか……IT 業界の裏話がたくさん出てきそうですが、昼間からバーベキューを食べつつビール片手にそういった話題はほとんどでませんでした。では何の話で盛り上がっていたかということ——、いま思い出そうとしてもあんまり思い出せません。けっこうのんびりしたバーベキューパーティでした。

雑誌の世界にはゴールデンウィーク進行というのがあって、ゴールデンウィークにきっちり休むために、その 1 カ月前に猛然と仕事を前倒します（というより印刷所が止まってしまうので、前倒しせざるを得ないのです）。多くの人がそうやって休みを迎えて、仕事モードをオフにしていたのかもしれませんが。読者の方は今年のゴールデンウィークはどのように過ごされたのでしょうか。

(編集局：新野淳一)

## No.102

### セイキヒョウゲンを学べ/[コラム]パチスロ2年で磨いたエンジニアスキル

2003年5月15日

## [コラム]@ITの真実

# パチスロ2年で磨いた エンジニアスキル?!

まいど! アットマーク・アイティのシステム開発担当で、プログラマな日々を過ごしている友田です。

実は入社する前の2年弱の間、パチスロで生きておりました(本当です)。それ以前に身に付けたIT技術者としてのスキルを活かして再就職、と進むコースもあったのですが、十数年間あくせく働いてきた自分に自由な時間をプレゼント、なんてことを思いたったわけです。ま、それとIT技術者以外の生きるためのスキルとしてそういうものを身に付けたいということもありました。

今回はそのときの体験から見出したパチスロの極意と、日々のプログラマとしての仕事に共通する点をここに綴っていきたいと思います。

実はパチスロ(やパチンコ)で勝つというのは、非常に簡単なことなのです。要は、いかに他人と差を付けるかに掛かっています。できることは全部やる、他人の知らない情報を早く仕入れる、仕入れた情報を最大限に利用する。これらをやり通せば自然に結果はついてきます。

まず、作業効率を考慮して、“1枚でもコインを多く出す”とされる地道な小技を使います。次に、パチスロは全機種が違うスペックですので、台の出球の設定や確率、傾向を雑誌などのメディアから、事前に情報を仕入れておかなければなりません。ただし、その情報はほかの人も当然チェックしています。これはライバルに差を付けるというより、差を付けられないために知っておくという程度と考えられるでしょう。

さらに、メディアからの情報より大事なものがあります。地域、店、そのほかの活きた情報です。とはいっても、特殊なことではありません。これはほんの一例ですが、情報が出回っていない場合、特にマイナーなメーカーの機種ならば、いつまでも解析が行われない場合もあります。参考になる情報がないときは、勇敢に立ち向かわずにはまずほかの人がプレイしている台の動きを後ろから見ておきましょう。その機種全体の動きを俯瞰(ふかん)することにより、きっと何かが見えてきます。だれも気づかないうちに、球の出る傾向をつかめたら、チャンス到来です(少し自慢しますが、私は初日でそれに気づいて月100万稼げた機種もありました)。

これらの“技”の1つ1つは簡単で、ほんの少しの効果しかありません。が、それらを徹底して行うことが確実に「勝ち」につながります。

ここまで読まれた、読者の皆さんは気づかれたと思いますが、“技”を寄せ集めて、少しずつ確実に進んでいくさまは、日々の技術者としての仕事にも共通すると思いませんか？ この姿勢は、日常の仕事にも当てはまることなんですよ。ライバルに出し抜かれないためにも……。なんてことを思いながら、今日も忙しくプログラムを1つ1つデバッグしていく私でした。

(事業開発局：友田康一郎)

## No.103

# EJBで業務システムを構築しよう/[コラム]世界の中心でサケを喰えたけもの

2003年5月22日

## [コラム]編集担当のつぶやき

# 世界の中心でサケを喰えたけもの

大学時代の友人と集まったとき、なぜか「木彫りの熊」（鮭をくわえてるヤツ）の話題になり、みな実家に「ある or あった」ということが判明した。世帯普及率 100%とは尋常ではない。サンプル数が少なすぎたか？

ということで、アットマーク・アイティのスタッフ 38 人に同様のアンケートを実施してみた。すると、24 人が「家に熊がある（あった）」と答えた。今度は世帯普及率 63%である。数字的なインパクトは減少したが、それでも異常な数値ではなからうか？

なぜこんなに普及しているのだろう。そもそも自分が北海道に行ったとして、土産に木彫りの熊をチョイスするだろうか？ もっと、かさ張らないものを選ぶのではないか？ いや、熊を渡して、相手の困った顔を見るのも一興か。では、もらう立場だったらどうか。自分なら、絶対仕返しとして……。あ!!

そ う い う こ と か 。

異常な世帯普及率は、報復攻撃の結果というわけだ。目には目を。熊には熊を。熊の恨みが熊を呼ぶ。寒い時代だな。

妄想じみてきたので話を変えよう。そもそも木彫りの熊作りは、北海道の八雲町で農場を経営していた徳川義親が、周辺の農民たちに勧めたのが始まりだという。義親は尾張徳川家 19 代当主で、マレー旅行時に虎狩りを行った「虎狩りの殿様」としても有名だ。このイメージが定着し、理髪業組合の会長<sup>(※1)</sup>にさせられてしまったというエピソードもある。

ちなみに、尾張家現当主のご子息（22 代）は、BSD をハックする傍ら JUNET の設立や WIDE の運営にも携わった人物。しかも、弊社代表取締役 藤村や編集局長 新野、そして私らがかつて勤めていた会社に属していたこともあるという（ご本人の Web サイトより）。徳川家からハッカーが生まれるとは、家康もビックリであろう（といっても 21 代当主は婿養子なのだが）。

をを、IT っぽい話題になったではないか。一時はどうなるかと思ったが……。

（編集局：中澤勇）

※ 1 メルマガ編集担当注：虎狩り=トラ刈り



## No.104

### オープンソースソフトを考える/[コラム]波乗りでココロと身体のバランスを

2003年5月29日

#### [コラム]@IT人財局担当のつぶやき

# 波乗りでココロと身体の バランスをとろう!

皆さん、はじめまして。エイプリル・フールの日にあつまーく・アイティに入った@ IT ジョブエージェントのサポートデスク担当の佐藤です。いつ、まわりから「入社はウソだよーん」と言われるのか、ちょっとドキドキしながら日々過ごしています。

初対面の人と話して、「趣味はなんですか?」とたびたび聞かれます。そんなとき私は数少ない趣味の中から「波乗りです」って答えます。始めてからもう7年ほど経過します。きっかけは、社会人になってからデスクワークが多く、身体を動かす機会がまったくなくなり「このままではいかん!ココロと身体のバランスが崩れる」と一念発起。「季節を問わず、楽しく、1人でもでき、なおかつ運動量が半端じゃないスポーツは?」と友達にヒアリングした結果、「波乗りがいいのでは」ということで始めたわけですな。

初体験は忘れもしない、11月の寒風吹きすさぶ土曜日。日もまだ昇らない朝の5時、準備もそこそこ、友人と共にいざ湘南へ。ブルブル震えながら、ウェットスーツと20分間格闘の後、念入りに準備運動。「さあ海へ!」……ってレクチャーなしかい!?

「大丈夫。死にそうになったら叫べ」と放任された私は、何度も波にあおられ、鼻水垂らしながら、やっとのことで沖へ。板の上になんとか座り、波を待つフリして、周囲を見渡すと、ほかのサーファーは楽しそうに波と戯れているじゃないですか!その姿がうらやましいやら、まぶしいやら。その日を境に私の「ヤミ練の日々」が始まり、それからというもの、波があろうと、なかろうと毎週のように通ったおかげでいまでは一人前の波乗り職人として、暇さえあれば波と戯れる日々。

そんなこんなで、週末は身体を動かし、仕事では疲れてボンヤリ……じゃなかった、頭を使い(ホントか!?)、なるべくストレスをためないような生活を送っています。この間友人が、「転職したは良いが、新しい環境に慣れずストレスフルな生活を送っている」とぼやいていました。「環境が合う、合わない」ではなく、他人と時間を共に過ごすって、程度の差はあれ、ストレスの原因になったりするのかもしれない。だからストレスをまったくなくすのではなく、うまく忘れる方法を考えたほうがいいのかもかもしれません。ココロのバランスをとるために、皆さんも「波乗り」を始めてみませんか?

(人財局:佐藤左衛子)

## No.105

### エンタープライズにも浸透するPHP / [コラム] 幸せを呼ぶ家電

2003年6月5日

# [コラム] @IT事業開発局担当のつぶやき 幸せを呼ぶ家電

週末、わが家に“ やっと ”465L サイズの大型冷蔵庫が来た。

上が冷蔵で、氷室が別で、野菜室が大きくて、冷凍室が引き出し式で広いヤツ。4月に気合いを入れて観音開きの500Lサイズを買ったら、キッチンの入り口が狭くて搬入できずキャンセル……涙を飲んだ。が、今回はスムーズに到着。イエーイ。

かれこれ9年間使った冷蔵庫は、冷凍⇒冷蔵室⇒下の引き出しが野菜室——といった最近では見かけないタイプ。そう、冷凍庫が一番上ということは、当然積み重ね式。冷凍してあるカチンコチンの非常食たちがずるっと落ちることも、奥からは“ いったいいつの時代の…… ”という干からびたお魚（なんかCMで見たことあるなあ）が顔を出すこともしばしば。野菜室を引き出せば、小悪魔（後述）の手によって次から次へ野菜が飛んでいってしまう日々。

そんな悲しい日々をバラ色にしてくれたのがこの冷蔵庫。新しい家電が1つ家にあるだけで、こんなにも人は幸せになれるものだろうか! というくらい。キッチンに入り、ニヤニヤ。家事の効率がとにかく（何となく）アップした気がする。つられて小悪魔の機嫌も良いのであった。

なんでそんなに家電ごときで騒ぐか? というのも私は4月半ばにアットマーク・アイティに入社したばかりで、コラムも初登場。ってなわけで自己紹介すると1歳半の娘（←これが小悪魔）と超多忙な旦那がいる復職したての“ 働くママ ”というわけ。少しでも生活を“ 楽 ”にするために、乾燥機つき洗濯機、そしてやっと冷蔵庫を購入。次は食器洗い乾燥機を市場調査中。家電業界の方々、情報求む……。

ちなみに、先輩働くママたちが唱える“ 働くママの3カ条 ”を。

- 金とか物で解決できるものはできるだけそれで解決する
- 寝れるときにどこでも眠る
- 頼れる人にはとにかく頼る

いかがでしょう? これから復職するあなた! 復職する奥さんをお持ちのあなた!ご参考までに。

(事業開発局: 古澤正美)

No.106

広がりつつあるIP電話/[コラム]タカコの苦闘～キャンペーンの裏側～

2003年6月12日

[コラム]@ITの真実

# タカコの苦闘～@IT自分戦略研究所 キャンペーンの裏側～

「小島貴香子」この名前に見覚えはありますか？

このコラムの2つ上に掲載されている“お知らせ”でコラムを書いている弊社のスタッフである。そして、小島のコラムが5月22日より毎週木曜配信の本メルマガ「@ IT 通信」にて、連続5週掲載されることになったことをご記憶の方がいらしたら、胃弱な小島（つい最近も入院）も低体温な私（セロトニンも分泌されないかも）も元気がでそうだ。

さて、@ IT のサイト上にも、このメールマガジンでも、ここ最近「@ IT 自分戦略研究所」という文字をよく見かけることだろうと思う。本年2月にエンジニアの90%が抱える将来の不安を解決するために、弊社が立ち上げた@ IT に続く2つめのサイトだ。

しかし、私（マーケティング担当者）的には「まだまだ@ IT 読者に読んでもらってない!」という悩みを抱えていた。そこで、@ IT の媒体のいたるところに、@ IT 自分戦略研究所の自社広告を掲載するというキャンペーンを企画したのだ。上のコラムもその一環だ。

企画するは易し、文章を作るのは難し。

文章制作の担当となった小島は苦勞している。毎回、社内各部署からよってたかってレビューされるわ、ネタもつきてくるわ……。毎週、関係者でキャンペーンの進ちょくを分析するミーティング（反省会）をするのだが、「読者に反応をしてもらえる文章を書け」やら「もっとクリックしてもらいたい」「ダジャレはいいから何の告知かを書け」「もっとナマな感じを出して欲しい」など、みんな言いたい放題だ。

ナマな感じ——という指摘に至っては、もっと表現のしようがあるだろう……。と言いながら実は、この頭の弱そうなナマ発言は私である。もしかすると、このときまた体温が下がっていて、鈍っていたのかもしれない……。言われた小島も切なからう。

そんな小島貴香子に「合いの手を」間違えた! 「愛の手を」。喜ばせると思って、ぜひ上の URL にアクセスしていただきたい。

あ、小島をねぎらうつもりで書いたこのコラムをキャンペーンに使ってしまいそうなのでこれくらいにしておこう。

最後に、キャンペーン関係者でもある佐藤@サーファー（こういうと本人は異常に照れる）が、小島を評した一言で締めくくりたい。小島貴香子とは「あなたを知り隊、私を知らせ隊」という人間だそう。この「隊」というところがポイントだそうだが意味はよく分からない……。なかなか奥深い会社になってきたものだ。

(PR&Marketing : 土屋利佳子)

## No.107

# ネットワーク管理とSNMPを学ぼう / [コラム]自分をどうやって励ましていますか

2003年6月19日

## [コラム]代表のつぶやき

# 自分をどうやって励ましていますか、の巻

冗談ではなく、「年が明けたなあ。春になったなあ……」と思っているうちに、もう立派な初夏に。ずっ——と昔のまだ若かったころ、「カネは要らん。好きな本読んで、好きな音楽を聴く」というノンビリ生活を夢見ていたのに、現在は時間がますます壊れていく日々です。

これというも、その昔に「仕事はこうやる」「生活はこうする」と自分戦略を築いてこなかったツケが回ってきているのかも。……と「またもや自分戦略ネタ？」かと思わせておいてなんですが、今回は極私的トピックでいこうと思います。テーマは、悪戦苦闘の毎日を生きる自分をどうやって励ますか……。

結論から言うと、同世代もしくは先行世代のガンバリを目の当たりにするのが、私には一番効きます。

最近自分をすごくモチベートしてくれたのが、4月にライブを見た(聴いた)KingCrimson。60歳近いRobert Fripp率いる超おじさんバンドです。でもまだまだ完成と破壊のループを経巡っていて、ライブではいつもすごい緊迫感とカタルシスが漂います。さらに極私的には、bassのTrey Gunnのプレイスタイルを見ていつもぶっ飛びます。「創造と進化は齢に関係ない」ということが実感できる、生きた化石、じゃなくて証明!

まだまだライブネタはありますが、別の機会に。話題を変えてTodd Rundgrenについて。ちょっと前にGeorge Harrisonトリビュートアルバムがリリースされました。参加アーティストは「昔の名前で出ています」的プレイヤーが多い中で、Toddだけは「While My Guitar Gently Weeps」を、Georgeファンをぶちのめす迫力でカバー。1曲入魂、懐旧の情を断ち切る切実さがそこにありました。このトラックだけで買う価値がある。こういう魂のこもったテイクを聴くと、曲がりがけた背中が伸びるというものです(苦笑)。

「@ IT 自分戦略研究所」プロジェクトも2月にオープンして以後、いままざに入魂の時期です。ちょっと気持ちがへたり気味のエンジニアにお勧めできるコンテンツがそろってきました。いまは自分励ましコンテンツとして萩本順三氏と筆者の対談「豆蔵の萩本氏が語る理想のエンジニア像」がオススメです。皆さんの「自分励ましテクニック」も教えて下さい。そんなわけで、また次のコラムで!

(アットマーク・アイティ 代表: 藤村厚夫)

## No.108

# Windows Server 2003使いこなし術 / [コラム] グリーンのある生活

2003年6月26日

## [コラム] @IT制作担当のつぶやき グリーンのある生活

「インテリアプランツ」。最近、こう呼ばれる室内栽培の植物<sup>(※)</sup>に興味があります。要は観葉植物ですが、床に置くような大きい鉢植えモノではなく、卓上サイズの小さい植物です。植物の根を水苔で包んだ「苔玉」や、ガラスの器に入れた水耕栽培モノなど、それ自体インテリアとして楽しめるものに惹かれます。

こう書くとすでにいろいろ育てているかのようなのですが、まだ何も持っていません。

実はつい最近まで花や観葉植物にはあまり興味がありませんでした。何しろ世話が簡単なはずのミニサボテンですら枯らした実績(?)を持つ私。もらったシクラメンもあつというまに枯れたし、我が家の飼い猫ナナンが食べる「猫の草」さえも数週間で枯れてしまう始末。猫の草なんて雑草みたいなものなのに、枯れるってどういうことでしょうか?

とにかく私のところへ来た植物はことごとく枯れていくので、自分から積極的に育てたいとは思っていませんでした。

それなのになぜ興味を持つようになったのか? きっかけは、5月にたまたまもらったミニバラの鉢植えです。

最初は室内に置いていたのですが、例によってあつというまにしおれていき、真っ赤だった花びらも乾いた血のようにドス黒くなってしまいました(水もあげていたのになぜだ?)。これはマズイ、ということでベランダに出して日当たりの良い場所に置き、毎朝水をあげるようにしました。

最初は計量カップで水をあげていたのですが、どうせならじょうろのほうが楽だと「Franc franc」で黄色いじょうろを購入。これだけでなんだか水やりが楽しくなりました(黄色好きなので)。その甲斐あってか花はダメになったものの葉は復活し、いまでは青々として新たなつぼみもついています。

こんなわけで「植物を育てるのは意外と難しくないかも」と思ったのです。考えてみればシクラメンなども適切な世話をしていなかっただけかもしれません。

※「インテリアグリーン」とか「インドアグリーン」ともいうらしい。

そこで、潜在意識にあった「グリーンのある生活」への憧れが呼び覚まされました。種類を選べば私でも育てられるかもしれないし、家の中に植物があると猫も人もいやされそうです。

そういえば猫を飼い始めるときも「ちゃんと世話できるのか?」と思いましたが、ナンは病気ひとつせずに元気でやっています。猫を飼ったことで、ほかの生物の面倒も見られるようになったのでしょうか。

まだ本やお店で見てどれが良いか考えている段階ですが、夏までには買ってきて室内植物の栽培に挑戦してみようと思っています。

(編集局：阿部知衣)

No.109

UMLは開発現場の共通言語 / [コラム]女性にとって目指すべきライフスタイル

2003年7月3日

## [コラム]@ITニュース担当のつぶやき ある種の若い女性にとって 目指すべきライフスタイル

ジャズファンの女性が増えているらしい。『アエラ (6月2日号)』の音楽コラムで紹介されるほどだから、この現象は事実なのだろう。この音楽コラムにコメントを寄せている HMV 数寄屋橋店のスタッフは「ファッションに気を使っている女性が多く見受けられる」とし、ジャズが（彼女たちにとって）ライフスタイルに合った音楽と認識されているのでは、と分析している。

先日、仕事がひけた後に、南青山の「BODY & SOUL」へ行った。骨董通りを渡った向こう側には「BlueNote TOKYO」がある。金曜日とはいえ、平日にもかかわらず「BODY & SOUL」はほぼ満席だった。客層を見渡して気付いたことがある。男女比はほぼ半々。男性は 40 ~ 50 歳代が中心、60 ~ 70 歳の男性もちらほら見えるが、女性は 20 歳代前半 ~ 30 歳代中盤が大半を占めていた。男性の多くはスーツで、ネクタイをきっちりと締めている。女性はドレス風の典雅な格好が多い。カップルが 7 割ほど、3 割は女性複数で来ているようだ。

21 時過ぎにライブが始まった。与世山澄子 (vo)、岡田勉 (b)、後藤浩二 (pf)、KURO (ds) という布陣で、ソニー・ロリンズやマイルス・デイビスのスタンダードを独自のアレンジで演奏し、「Lover come back to me」で締めくくった。アンコールは「smile」である。素材は純粋なアメリカン・ジャズだった。

テレビでよく綾戸智絵を見かける。ライブチケットは即日完売だという。ブルーノート・レコードと契約しているノラ・ジョーンズの CD が飛ぶように売れている。彼女はノース・テキサス大学でジャズ・ピアノを専攻していた。ヨーロッパのジャズ（ユーロ・ジャズ）が人気を博していると前述のアエラでも紹介されていた。

ユーロ・ジャズと総称されるリズムが醸し出すイメージは、ビッグバンドの爆発力や奔放さとは違い、また例えば、マイルス・デイビスのサクスが搾り出す物悲しさ、孤独感とも違う。クールで知的、都会的な洗練さを備えており、適度に感傷的だが、しなやかな力強さも秘めている。

つまり、このようなスタイルが、ある種の若い女性にとって目指すべきライフスタイルのあり方なのかもしれない。なぜか無性に筒井康隆の『ジャズ大名』が懐かしくなった。

(編集局：谷古宇浩司)



## No.110

### エンジニアも意識すべきTCOとROI/[コラム]禁煙にも“自分戦略”が必要

2003年7月10日

# [コラム]営業企画局担当のつぶやき 禁煙にも“自分戦略”が必要?!

思い立ったが吉日!ということで「たばこ税」値上がりに伴い、営業企画局・神崎は6月28日より禁煙を始めました!!……すいません2日で挫折しました。

ということで今回のコラムは「失敗の本質——禁煙はなぜ破られたか」について鋭く考察していきたいと思えます。

考えていくと、大きく4つの原因が出てきました。

#### (1) あいまいな戦略目的

「禁煙自体が目的だろうに」なんて突っ込みもあるかもしれませんが、喫煙者にとってはそうではありません。目的というか「禁煙するとこんないいことがある!」ということがなければ動こうと思えないのですね。「たばこ銭がない」「健康面が心配」というような、差し迫った危機感がまったくない僕には戦略目的が欠けていました。

#### (2) 長期的展望のない短期決戦志向の戦略

禁煙は一生を費やすトライアルです。にもかかわらず、その場の勢いで灰皿とライターを手放しただけで禁煙した気になった僕は、わずか2日後に湧き上がった喫煙の欲求に耐えられませんでした。

#### (3) 主観的な戦略策定

他人の禁煙失敗談はよく話に聞くのですが、自分を過剰に信じすぎるあまり、禁煙についての客観的事実を考察することがありませんでした。

#### (4) 狭くて進化のない戦略的オプション

たばこを吸わないと苦しい。「じゃあ~その時どうするか?」というコンティジェンシープランもなく禁煙へと突っ走ってしまったがために「苦しいし、吸っちゃえ~」とならざるを得なかったのです。

と、ここまでつらつらと失敗談を書いて参りましたが、これは自分戦略形成の際に陥りやすいパターンともいえるのではないのでしょうか?

ってエラそうに書き連ねてきましたが、これは「自分戦略研究所」のコンテンツに触発されて、自分なりに失敗の原因を分析してみたものなのです（汗）。それはさておき、皆様も僕の禁煙と同じ間違いをしないよう切に祈る次第です。

（営業企画局：神崎良介）

## No.111

### 企業の義務ともいえるセキュリティポリシー策定 / [コラム] かゆい体験

2003年7月17日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき かゆい体験

@ IT 読者の皆さん、こんにちは~! @ IT [FYI] 担当の荒木です。およそ2年ぶりの登場です。唐突ですが皆さん、私の不幸話、聞きたいですか? 別に大した話じゃないですよ、本当に。実は……つい先日、私、いわゆる「ジンマシン」なるものを経験いたしました! わーい! (^0^)/ (意味不明) なんの前触れもなく、突然ですよ、とつぜん!

ところがですね、どうやら、この「ジンマシン」ってやつは、けっこうメジャーらしいです。一生のうちに5人に1人は経験するんですって (木彫りの熊保有率<sup>(※1)</sup>には負けてる?)。かかったことのある人は「ジンマシン」って聞くだけで、背筋がぞわぞわするでしょ? だって、その痒さといったら、そりゃもう、はんぱじゃないんですよ。

私の場合、ピークは真夜中でした。知らないうちにパジャマのズボンを脱いで、太ももの内側をボリボリかきむしり…… (はしたない姿を想像させてすみません)。はたと異変に気づき、目が覚めました。電気をつけて患部を確認すると「なに、これ?」状態。100匹の蚊に一気に刺されたかのように、無数の皮膚の盛り上がり体が体中びっしり。ああ……こう書いてるだけで、あの不気味な痒みを思い出します。

そんな私を尻目に、隣で安眠していた愛猫たちときたら、「あれ? もう朝ごはんの時間? しゃしゃみ (鶏のササミ) ちょうだいニャ~!」と擦り寄ってくる始末。「ちがーう! ごはんじゃなーい! 痒いっ! 異常にかゆいのお! 誰か助けて~!」

ま、原因はいろいろあるらしいですけど、要は、身体からの警告なんだそう。「日ごろの食生活を改めなさい」「睡眠は十分に取らなさい」「ストレスはためないで発散してしまいなさい」って。たとえ自覚症状がなくても、身体が疲れて弱っていると、普段はどうということもない刺激 (食べ物や薬など) に対して、身体が過敏に反応してしまうみたいです。

でも「ジンマシン」で死ぬことはまずないのでご心配なく! 一般的には、1日もたてばあの地獄のようなかゆみからは解放され、普段通りの生活に戻れます。ということは、不摂生を改める努力と、「ジンマシン」の襲撃に耐える努力とを比べたら、「ジンマシン」のほうが楽かも……。でも、本当に、痒いです。虫刺されとは比べものになりません。皆さんも人の不幸を笑っている暇があったら、不摂生を改めましょう。でないと、次の犠牲者はあなたかもしれませんよ

(営業企画局: 荒木直子)

※1 参考: @ IT 通信 No.103 [コラム] 世界の中心でサケを喰えたけもの

## No.112

### 改めて考える、PKIの価値 / [コラム] 気がつけば、河川敷

2003年7月24日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 気がつけば、河川敷

私、営業担当の手塚は、もうこの10年くらい草野球にはまっている。4～10月のいわゆるワンシーズンで、約20試合をこなす。平均すると、月に1～2試合のペース。

夏場、休日ともなれば当然のように、多摩川の河川敷に繰り出す。が、炎天下でのスポーツはさすがに暑い。ここで、野球のユニフォームに対する疑念が湧く。夏のスポーツなのに、ユニフォームが長袖&長ズボンなのはおかしくないか？ 帽子を被るのは日射病防止で理にかなっているので我慢するとしても、上半身なんか重ね着までしてる！これは、明らかにおかしい。

以前からの疑問なのだが、野球に対して同様の疑問は多々あるので、列記したい。

- なぜ監督が選手と同じユニフォームを着ているのか？
- なぜ球場ごとに広さが違うのか？
- なぜボールを保持している側が“守備側”なのか？

考えてみると野球というスポーツはことごとく“変”である。ほかの球技ルールを覚えた後に、野球を初めて見る人には、ひどく特殊なスポーツに映るのではないか？

小さかったころにテレビで中継されるスポーツといえば野球くらいのもので、野球がスポーツの常識となっていた。たまにサッカーが中継され、監督の姿が映し出された瞬間、「サッカーって監督がユニフォームを着てないのか。変なスポーツだなあ」と感じたものだ。いま思えば、そっちが王道なのに……。こんなに特殊な野球の慣例を何の疑いもなく、“常識”と、とらえていたのだ。

ここでふと立ち止まると、恐ろしくなる。ただ“気付かない”とか、“知らない”ために日常生活、あるいはビジネスでも同じように大変な“過ち”や“無駄”を犯してはいないだろうか？ そう考えると、少しゾっとする。

と、野球のおかしさ具合の考察をしてみても、今週末も野球の予定だ。やっぱり楽しみである。

(営業企画局 / アカウント 営業担当 : 手塚暁)

## No.113

### 公開サーバの障害対策への心得 / [コラム] テディ 柏野 リターンズ Vol.2

2003年7月31日

#### [コラム] HIP な営業担当

# テディ 柏野 の「murdered by the music」リターンズ Vol.2

おまツとさん♪♪ (キンキン風)。奇跡的に編集サイドから「不定期連載」とのお許しをいただき (?)、再度 (編集部注: 2003 年 1 月 30 日の「@ IT 通信 No.087」参照) 登場です ^^;

では早速本題に (早やっ)。みなさん、最近「鳥肌」立ってますか? あ、寒いやつじゃなくて「カンドー!」または「ショーゲキ!」のやつです。

なんでこんなこと言うのかとゆーと、その昔、学生時代の先輩 (新潟出身・ジャックス<sup>(※)</sup> ファン・極度のアングラ風姿・通称「ロクさん」) が高田馬場の焼鳥屋「鳥●す」にて熱く語っていたのを、つい最近会社帰りの丸の内線の中で思い出したんです。

「いいか、自分にとっての『名曲』の定義つーのはなあ、何回聞いても初めて聞いた“あの時”の衝撃が、瞬間的によみがえってくるかどーかなのよ。俺なんか『からっぽの世界』聞かたびにさア、いつも全身に鳥肌がバアアって立っちゃうんだよなあ……」(ここでロクさん耐ハイ梅割りグビッ)。「柏野も曲を聴いて『問答無用の鳥肌体験』したことあるだろ? それがお前にとっての『名曲』ってヤツなんだよ」ちなみにそのとき、ロクさんの方が圧倒的に酒のオーダーが多いにもかかわらず、「問答無用!」で割り勘にされたことも思い出したんですけど、そんなことはどーでもよいですね。失礼しました……。そういえばロクさん元気かなあ……と、筆者も中ジョッキをしみじみグビグビ。

確かに、皆さんも特別に思い入れのある曲は、飽きるどころか何度聞いてもあの独特の「ジーンとした感じ (80's 風になると“胸キュン”な感じ)」が込み上げてきたりしませんか?? 「優」な曲は数あれど、自身の定義における「名曲」をこの夏休みの間に洗い出してみるのも結構オツだったりしますよ。意外な部分で各曲に共通項があったりして♪

※早川義夫 (Vo & G)、水橋春夫 (G)、谷野ひろし (B)・木田高介 (Ds) で結成されたロックバンド。1968 年に東芝 EMI からファースト・アルバムをリリースする直前に水橋春夫が脱退し、代わりにつのだ☆ひろが参加。「ジャックスの世界」「ジャックスの奇蹟」の 2 枚のアルバムを残し、1969 年に解散した。

そ・こ・で……

今回は

～♪納涼♪ Myトリハダもんナンバー BEST 5 (2003 年夏編) ～

“Promises, Promises”by バート・バカラック

“Night&Day” by トレーシー・ソーン

“Mother of Pearl” by ロキシーミュージック

“Career Oppotunity”by クラッシュ

“Slave To The Rhythme” by グレース・ジョーンズ

“I Wanna be Loved ”by エルヴィス・コステロ

“Black Cow ”by スティーリー・ダン

“Born Under Punches (The Heat Goes On) ”by トーキング・ヘッズ

“Under Pressure”by クイーン&デヴィッド・ボウイ

“JOLIE”by アル・クーパー

“Thieves Like Us(inst.)”By ニュー・オーダー

“The Queen Is Dead”by スミス

“Pop Muzik”by M

“As”by スティーヴィー・ワンダー

“Dear Prudence”by ビートルズ

……あ。すいません、全然「BEST5」じゃないですね。前半は一応「納涼」にこだわってセレクトしました。

ではこの辺で……“See You Next Time!!” ←小林克也先生風♪

追伸：ロクさん、借りっぱなしの『からっぽの世界』のシングル返却します……。

(営業企画局：柏野晃司)

## No.114

### 夏休みに差を付ける「読書」のススメ/[コラム]女性との接し方の極意

2003年8月7日

## [コラム]局長のつぶやき 女性との接し方の極意

先日、雑誌プレジデントの2003年7月28日発売号に「職場の女性社員にどう思われているか」という特集記事が掲載されていました。ちょっと読んでみたくなりますね。私自身も、どう思われてると思うと妙に意識してごちなくなってしまうそうです。

私は男兄弟4人の中で育ち、さらに学校では男性とばかりつるんでいましたので就職する前は、女性が自分のどこを見ているなんて意識していませんでした。

初めて就職した会社もアットマーク・アイティと同じく女性の多い職場でしたので(@ITは女性の比率は高い会社なのです)、最初はいろいろ苦労したことを思い出しました(こんなこと書くと、そのときの同僚の女性からこっちこそ苦労させられたといわれること必至ですが……)。

そういえば、友人の父で某家電メーカーのNY駐在員として勤めていた方は「アメリカで女性秘書を使いこなしている日本人なんて聞いたことがない」なんて発言していましたし、別の友人で人材会社の人間に女性とうまく仕事をやっていくコツを聞いたところ、「こっちが教えてほしいくらいだ」という返事をもらったりしたこともあります。これは極端な例かもしれませんが、会社で女性との付き合い方が分からずに困っている方も多いのかもしれないですね。

ここで私なりの対女性の接し方の極意をご紹介します。一番気を付けているのはいつもまわりに自分の妻もしくは娘がいるのだと思うことです。変に感じられるかもしれませんが、自宅ではいつも母娘そろって私の監視役なのです。そのため自然ときちんとした接し方ができるとしています。結婚していない方に説明すると、母親といったところでしょうか。これも私の経験上、幼少のころに母親にとっても厳しくつけられたことからの連想です。もっとも中には母親では、わがママをいってしまう人もいないかもしれないので、それでは逆効果となるかもしれませんね(笑)。

いずれにしても女性に限らず、人と接するときには気を使うものですよね。皆さんは、どのように対人関係を築かれているのでしょうか? ぜひ機会があればご教授いただきたいものです。

(総務管理局:工藤靖)

No.115

MSBlast騒動に学ぶセキュリティ対策 / [コラム] ライフ・イズ・ゼロサムゲーム？

2003年8月21日

## [コラム] 人材局担当者のつぶやき ライフ・イズ・ゼロサムゲーム？

このコラムを書いている今はお盆。お土産をいっぱい抱えて故郷へ向かう人々の顔はうれしそうだ。しかし一方で、お盆は亡くなった人と向き合う季節でもある。

今年、立て続けに親しい友人 5 人を亡くした。似たような価値観を持ち、共に泣き、怒り、けんかをし、あるいは喜び、励まし、そして祝杯を挙げたかけがえのない仲間——前職のシンクタンクでの先輩たちだ。もう 10 年以上の付き合いになる。5 人ともめっちゃめっちゃ仕事ができて、不必要にエネルギッシュで、かつ独りで生きる強さと優しさを持ったカッコイイ男たちだった。一番年上でも 54 歳。死ぬには早すぎる。出る言葉は、「ウソ?!」「マジ?!」「なんでー???’ だけ。

シンクタンクの研究員の働き方は極端に二極化している。研究所によっても違うし、同じ研究所内でもまったく違う。日がな一日、汗ひとつかかずに端然とパソコンに向かい、残業はせず、休日はしっかり休み、そればかりか奥方を助けて「育児休暇」まで取るワークスタイルがある一方で、オフィスにはほとんど姿を現さず、来た!と思ったら、電話だ会議だとやたら喧（かまびす）しく働くスタイルもあった。亡くなった 5 人はもちろん後者。

そんなわれわれの日々は、政府の委員会などでわがままな大学教授や役人をなだめたり、彼らのために書籍や雑誌の原稿を代筆してみたり、あるいは激しい折衝を深夜まで繰り返すなど多忙の中、日に 2 冊以上の本を読み、さらにはマーケティング・リサーチの補助情報を得るために、深夜のコンビニでバイトをし、ディーラーで車を売り農家や工場に住み込みで働いたりといったことまでやり、自分の経験則を調査結果に生かすことに追われた。

しょせん、リサーチ・アナリストは擬似体験と傍観の域を超えられない。だから仕事の質を追究しようとすれば、やることには際限がない。月の半分は家に帰れないし、24 時間 365 日スタンバイ状態。趣味もプライベートも仕事のネタにしてしまう。“人並みのシアワセ”など望むべくもない生活だ。手に入るのは、通帳の残高数字と社外の評価、そして何よりその場限りの充足感。ここから見えるのは、「何かを得ようとすれば何かを失う」という当たり前の構図だ。

彼らの訃報を次々に受け取り、あるいは看取る中で、初めて自分の働き方に一瞬のちゅうちょを覚えた。人生のロング・タームのビジョンももちろん大切だが、いま突然人生を断ち切られたとしても悔いを残さない働き方を



しているか、それに見合った結果を出し、報酬を受けているか。これまでの生き方の中で捨て去ってきたものが、本当に不要だったのかと振り返るのも 1 つの勇気なのかもしれない。

アットマーク・アイティに入社して 1 カ月半。人財局に所属して、頭の中が「IT エンジニアにとっての自分戦略」でいっぱいの日々、「自分にとっての『自分戦略』とは？」と改めて考えている。

ハードワークで知られる IT エンジニアの皆さんは、手に入れたいものと、捨ててもいいもの、そのプライオリティははっきりしてますか？

(人財局：伊東忍)

## No.116

# オープンソース時代のテスト手法 / [コラム] ガツン! と焼き肉でも食いますか

2003年8月28日

## [コラム] 編集局員のつぶやき ガツン! と焼き肉でも食いますか

はじめまして、8月より XML & Web Services フォーラムの新担当となりました上島です。以後お見知りおきを願います。唐突ですが、この夏、生活のリズムに大きな変化があった方、体の調子はいかがですか? 特に転勤や異動、転職を経験された方は、暑い最中に新しい環境へ飛び込んで自分でも気付かないうちにストレスが溜まっているかもしれません (私自身も転職組ですので少しばかりその気持ちが分かります)。

私もアットマーク・アイティ編集局に参加して、始業時刻が以前より遅くなったためこの新しい生活リズムになかなかなじめませんでした。会社に着くころには丸の内一帯は昼食モード。山と積まれた弁当に群がる OL さんたちを横目で見れば、いたく空腹感をそそられます。

昼食時間は厳密に決まっているわけではないといいつつも、オフィスに着くなり弁当を広げるわけにもいかず、3時くらいまで仕事をしてから昼食に出るようにしています。この時間になるとランチタイムは終わっていて、開いている店を探すのは大変です。JR 有楽町駅一帯を歩き回った末、立ち食いソバで済ませたこともありました。それと、千代田区に固有の“事情” (千代田区境界は路上禁煙なので愛煙家の私には辛い一帯なのです) もあって、外へ食へに出る意欲は日々薄れています。

帰宅時間が後ろへずれた関係で、「NHK ニュース 10」を見られなくなったのも痛い。仕方なく「筑紫哲也のニュース 23」で代用していますが、民放ニュース番組は無駄話が多くて好きではないのですが、まあ我慢して慣れるしかないですね。

転職からほぼ 1 カ月、ようやく新しい時間割りになじんできたかなと思っていたところが、少し前から痛んでいた奥歯がいつの間にか治っている! もしかしたら、転職にまつわるストレスが歯ぐきにダメージを与えていたのかもしれない。ストレスは思わぬ形で体に影響を与えるものですから、転職組の方は体の変調には十分気を付けてください。私の場合、歯痛が消えたのは新しい環境に体が適応したサインだったのでしょうか。

冷夏だったとはいえ、8月末のこの時期は気付かぬうちに疲れが溜まってくるころです。こんなときにはドカ食い療法がイチバン。今度の休日にはスタミナ料理をたっぷり食べて、元気に夏を乗り切りましょう。

(編集局: 上島康夫)

## No.117

### 無線LANで企業生産性を向上させよう/[コラム]夏、私が海を見る理由

2003年9月4日

## [コラム]@ITの真実 夏、私が海を見る理由

はじめまして。8月1日に入社しました西原しのぶといたします。営業企画局で異邦人のように扱われながら日々を過ごしています。

2年前まで働いていた私の職場は港にあります。北海道の室蘭市が私の実家で、職場の港は岩上にある自宅から行きは2分、帰りは5分という距離（東京では職場がこんなに近いなんて考えられないですよ）。潮の香りに包まれて新鮮な魚介類を相手に働いていました。

船体から船のエンジンまで造り、いまでも現役でキャプテン（船長）をしている父の影響で海が大好きな私は、実家に戻ると、いつも毎夜毎夜、海を見えています。

海を眺める理由は、季節ごとに変化します。夏から冬になるまで（正確には、6月から10月くらいまで）の晩に海を眺めるのは「イカ釣漁船」が出ているかをチェックするためです。イカがどの位置にいて大量に獲れているかをイカ釣漁船特有の漁火（いさりび）の明るさや量で判断します。個人で釣る場合は一本釣りです。群にヒットしたときは1時間で100杯も釣れます。おかげでいまごろの季節、わが家は父の釣ってくるイカが毎日食卓に出されます。調理法はバラエティに富んでいるのがいいところ。イカ刺し、焼きイカ、イカリング、イカ飯など。そのほかにも、自家製スルメも作っています。

ちなみに北海道で獲れるイカは3種類だけ。スルメイカ（真イカ）、ヤリイカ、アカイカ。みなさんの食卓にあがるイカはスルメイカです。スルメにするからスルメイカってわけではありません。

知っていますか？ イカってストレスを感じると変色するんですよ。擬態保護色といって危険を察知したら墨を吐いて逃げようとします。それに生簀（いけす）に多数の固体を入れると共食いしてしまうくらい獰猛性もあります。寿命はたったの1年で成長自体は早いのですが、イカ自身の人生としてはただひたすら食べ続けるだけの一生です。

こんな海どっぷりの野生の世界で生まれ育った私が、大都会という異世界の東京に飛び出してきた理由……、それは次の機会にお話ししましょう。

（営業企画局：西原しのぶ）

No.118

XMLのスタイルシート変換用の言語とは/[コラム]それいけ♪ITゲーマー!!

2003年9月11日

## [コラム]事業企画局員のつぶやき それいけ♪ITゲーマー!!

はじめまして、アットマーク・アイティ事業企画局の浅野です。今回は、子供のころからゲームが好きだった私  
がこの1年ハマっている、FINAL FANTASY XI (FFXI) についてお話します。

ご存じの方も多いと思われるのですが、どのようなゲームか少し説明すると、FFXIはMMORPG（大規模多人数  
参加型ロールプレイングゲーム）というジャンルに属するいわゆるオンラインゲームで、サーバ上に設けられた  
ヴァナディールという仮想空間に常に数千のプレイヤーがアクセスしています。

そして、仲間同士でチャットを楽しんだり、パーティを組んでモンスターを退治したり、職人となり合成品を作っ  
たり、日がな1日釣りに明け暮れたり、はたまたレアなアイテムを求めて世界中を駆け巡ったり、と楽しみ方は人  
それぞれです。

一応バックボーンとなるストーリーはあるのですが、基本的には“終わりのない人生ゲーム”のようなものなの  
です。

オンラインゲームというと何やらオタクなイメージを持たれがちで、私も最初はそうでした。しかし、以前在籍  
していた会社の先輩から「面白いからやってみろ」と誘われて、とうとう禁断の果実をかじることになったので  
す。

まず、ゲームをスタートするとモンスターを倒して経験値を稼ぎレベルアップ! より多くの経験値を得るために  
は、より強力なモンスターを相手にしなければなりません。そこで仲間を集めてパーティを組み、協力して敵に  
挑むことになります。通常、パーティは敵にダメージを与える前衛、回復役の後衛、戦闘を有利にする補助役と  
いった構成で組織されますが、各々が自分の役割をきちんと務められなければ、そのパーティは途端に破綻しま  
す。それに加え、FFXIの世界でも慢性的な人材不足が起きていて、後衛を見つけるのに一苦労（どこか現実社  
会にも似ていますね!?!）。でも、このオンラインゲームの醍醐味ともいえるパーティプレイこそが私を夢中にさせ  
たのです。

先ほど終わりのないゲームといいましたが、恐ろしいことにそれは時間がいくらあっても足りないということと

同意なわけで、かくいう私も自分の時間の限りを経験値と合成スキルとに引き換えにしつつ現在に至っています。

休みの日などは「遊びに連れてけ!」という彼女の冷たい視線を感じながら、肩身の狭い思いをして時間を作ってプレイしています（同様の状況の方、ご家族をお持ちの方などにはよく分かります……）。

でも、まだまだいきます!（というか、後戻りできない!?) 機会がありましたら、もう少しツツ込んだお話などもさせていただきます。皆さんも禁断の果実をかじってみませんか?……/goodbye (FFXI のコマンド: さよならの意)

(事業企画局: 浅野正徳)

## No.119

### フレームワークを読み解こう / [コラム] “C調”のススメ

2003年9月18日

## [コラム] 事業企画局員のつぶやき “C調”のススメ

先日、ある大きめの企業の IT 管理部門で働いている若手の技術者の方と話をする機会がありました。ちょうど “Blaster” ワームの騒ぎの後だったので興味があって、どのように対応したのか聞いてみました。

私 「セキュリティパッチが当たってるかとか、ウイルス除けのパターンファイルをアップデートしてるかとか、どうやって社内ユーザーに徹底してるの？」

若者 「社内を足で調べて回ってますよ。1つ1つ」

私 「へ？ クライアント数、かなりあるでしょ？ 集中管理するツールとか使ってないの？ 一発で管理できるじゃない？」

若者 「ツール調べるの面倒だし、人力で十分っすよ。このご時世なので、会社からお金も出ないし……」

近ごろの若い者はなっとらん<sup>(※1)</sup>、と私は思いました。コンピュータを使って、もっと効率よく作業ができるところを、彼は卑屈な自己犠牲精神を発揮して、効率の悪い仕事をしています。自分自身の仕事を楽にできない者に、ユーザー業務の生産性向上などできるはずはありません。全体の効率を見据えた業務改善提案ができない彼が悪いのか、彼をそこまで卑屈にさせる不景気な気分が悪いのか……。

映画「ニッポン無責任時代」の中で、平等（たいらひとし）師は、「人生で大事なことはタイミングと C 調と無責任<sup>(※2)</sup>である。コツコツやる奴あご苦労さん」と説いておられます。これこそ日本の高度経済を支えてきた原動力。これからの日本の経済発展を支える IT の専門家たるもの、コンピュータを使ってどれだけ「楽しんで儲ける」か一生懸命知恵を絞って、景気の回復に貢献していただきたい、と思ったのでした。皆さ～ん。IT 投資に対して卑屈になっていませんか？

※ 1：40 歳を過ぎると、「最近の若い者は……」なんてセリフにぜんぜん抵抗がなくなります。歳は取ってみるものです。

※ 2：ここで言う「無責任」とは、個人がすべての責任を背負い込むことを避け、最終結果における組織の最大利益を追求する「結果オーライ」なプラグマティズムを指します。

(事業開発局：樋口理)

## No.120

### システム連携でビジネスを向上させよう / [コラム] 嫁のミシンと冷夏の因果関係

2003年9月25日

## [コラム] 自分戦略研究所スタッフのつぶやき 嫁のミシンと冷夏の因果関係

内閣府の Web サイトの中に「今週の指標」という、もう 4 年も続いている地味なコーナーがあります。最近公表された指標からピックアップして解説を加えたコラムを週に 2 本ほど掲載してくれるので、経済に弱いわたしにはいい勉強になります。

先週のトピックは「冷夏と消費の関係の検証」。ここ 30 年くらいのデータによると、消費全体と気温との間には明確な相関は見られないそうです。

冷夏になると夏物の消費が落ち込むのは確かなのですが、その代わりほかのものが売れる。ビールの代わりに日本酒、夏物の服の代わりに秋物、という具合。でも代替関係がはっきりしないものだってたくさんあります。クーラーの代わりにヒーターを買おう、とはなりません。さて、クーラーを買わずに済んだお金は何処へ？

冷夏で打撃を受けたニュースばかりを目にしていたので、冷夏は景気を下押ししたのだとばかり思っていました。どうやらその裏でニッコリしている人たちもたくさんいたらしい。商売人は、損したときは言いふらすけど、トクしちゃったときは黙っているもの。

風が吹けば桶屋が儲かる。夏が寒けりゃ〇〇が儲かる。この謎と因果関係が分かるということが、経済が分かるということではないかと、勝手に思っています。ちょっと調べてみたところ、テーマパークとかゴルフ場とか、「暑すぎると行く気がなくなるレジャー」は好調だったみたいです。ほかにはインスタントラーメン。これは「暑すぎると食べる気がなくなる熱い食べ物」ですよ。なるほどなるほど。

そこで質問。今年の夏、あなたの「冷夏故の予定外の出費」ナンバーワンは、何でした？ ちなみにわが家では、嫁さんのミシン。さて、わたしが今週の指標を読み続けることで得た経済感覚から、妻の購入したミシンと冷夏を結び付けて考えてみると、秋の夜長が前倒しでやって来て、室内系の趣味が盛り上がる、と関連付けてみたのですが、いかがでしょうか。

(自分戦略研究所「起動線」世話人 / 株式会社アーキツ : 堀内浩二)

## No.121

### サイトサマリーを提供する言語、RSS / [コラム] やっぱり蕎麦が好き

2003年10月2日

# [コラム] @IT 自分戦略研究所 サポーターの つぶやき やっぱり蕎麦が好き

暖簾（のれん）をくぐり、中に入るとバリカラーで統一されたスケルトン風のシンプルな内装。年季の入った女性が、蕎麦茶をサッと出してくれる。注文をしてから程なく、せいろに盛られた薄茶色の蕎麦が、お汁とともに出てくる。まずは一口蕎麦だけを食し、風味・甘みを感じる。次に汁だけを口に含み、出汁や醤油の具合を味わう。

さらに薬味を加えない汁に 3 分の 1 くらい浸した蕎麦を食した後、刻みネギなどの薬味を少量お汁に加えて、ズズッと蕎麦を掻き込む。その後、残った汁に蕎麦湯を入れて飲み干す。店に入ってから食べ終わるまで 10 分あまり、江戸時代から続く日本ならではのファーストフード。とても潔く、爽快だ。

近年、蕎麦屋に行く機会がとても増えた。讃岐うどん人気に刺激されたわけでもないが、各店各様の蕎麦風情を味わうのは、とても楽しい。

最近では、鴨せいろのリサーチにいそしんでいる。昔はメニューにある店が少なかったが、近時、立ち食い中心の小諸そばにも、ファミレス風の華屋与兵衛にも、ちゃんとある。自分の好みは、濃い目のつゆにあっさり目の蕎麦。

うどんもある店では、よくうどんとの合い盛を注文する。気の利いた店では、お汁が 2 つ出てきて、薬味も 2 つ付いてくる。蕎麦には山葵、うどんには生姜の薬味を使う。チェーン店の杵屋でも、お汁が 2 つ出てくる。

ここまで読んでいただいた方は蕎麦を食べたくなかったのではないだろうか。そんな方に私のお薦めの東京のお店を以下にお知らせする。ここで、ちょっとした補足だが、名店は、得てして最寄駅から少し歩くとところに点在しているようだ。



■長寿庵（ちょうじゅあん）

銀座 1 丁目。元祖を名乗るだけの価値のある、鴨せいろ。

■更科堀井（さらしなほりい）

六本木ヒルズのお膝元、麻布十番温泉の近く。季節を蕎麦から感じられる「(季節の) 変わり蕎麦」は年間、22 種も。

■利庵（としあん）

白金台にある名店。香り高さ蕎麦と絶品の出し巻き。最近の蕎麦には疑問の声も。

■鷹匠（たかしょう）

根津にある趣のある店。二八と太目の深山の合い盛はお得感あり。

■きたはま心月（きたはましんげつ）

玉川高島屋新南館。北海道産の有機栽培蕎麦粉を使用。

■池之端藪蕎麦（いけのはたやぶそば）

神田・並木と並ぶ藪御三家。辛いほどの濃い目のつゆ。

■三合庵（さんごうあん）

白金 5 丁目。たたずまいのある店で、絶品のセイロ。

■明月庵ぎんざ田中屋（めいげつあんぎんざたなかや）

銀座 6 丁目。創業 40 年の練馬本店から毎日新蕎麦が届く。

（@ IT 自分戦略研究所サポーター：辻俊彦）

## No.122

### 次々世代のコンピューティング / [コラム] “兆し” 探し

2003年10月9日

## [コラム] 営業企画局長のつぶやき “兆し” 探し

ある飲み会でのこと。流通サービス系企業に勤務する知人がこうつぶやいた。「最近リサーチ（調査）の依頼が増えてきた。これはこの何カ月か後に、その企業の宣伝や販売促進につながる場合があるんだよな〜」。

確かにその通りである。企業が調査に予算を割くということは、すなわちプロジェクトやビジネスプランがあることを意味し、その先にはよりよい製品やサービスを開発したり、製品やサービスをより多く、効率的に販売したりといった実行フェイズがあると予測できる。つまり調査は、その結果を基に製品を開発し、宣伝や販売促進のプランを立て、実行するというビジネス・サイクルの一部であるわけだ。

逆にいえば、企業の業績が悪化すると経費削減の名目の下で真っ先にカットされるのが、調査や宣伝・販売促進などのマーケティング予算だ。ということは、知人の話は景気回復の兆しの 1 つと受け取っていいのだろうか。

ある客先でのこと。人材系企業のお客さんから「最近、半導体設計や組み込みといった電子系の技術者と、営業職の求人が増えているんですね〜」との話を聞いた。

この分野はもともと慢性的な人材不足だったが、最近はこれまで以上に少ない人手に悩んでいるらしい。特に大手製造業で切実な問題になっているという。近い将来（一部ではすでに実現されているが）自動車や家電製品はネットワークと結ばれ、その先の IT とつながり、さまざまな情報をやり取りすることになる。その根幹を作り上げる技術者を製造系企業が多く求めているということは、その先のネットワークや IT の技術者も必要になるのだろうか？

では、営業職の募集は？ 企業が新しい製品の販売やビジネスを立ち上げる、もしくは強化するときに必要になる職種だ。他方、前出の人材系企業のお客さんは「モノが売れないときにこそ、営業を強化する必要がある」とも話していた。

できる営業マンは人の何倍も稼いでくれる。「この製品はもうこれ以上売れないだろう」というときにさえ、売り上げを伸ばすことができる人材はどこでも欲しい。また昨今のようにモノが売れない時代には、そのようなスーパー営業マンに頼らず、「全体の組織力を強化して売り上げを増大させたい」ということも考えられる。

調査のビジネスが動き始め、製品を生み出すための人材が求められている。その一方営業職の募集は、新しいビジネスのためなのか？ それとも「モノが売れないから」という理由による営業強化なのか？ ——これは、どちらも正しい気がする。

全体的に景気は回復基調だとは思われるが、まだ確証がつかめない。今年の夏のような、いつ夏になったのか、秋になったのか変わり目が実感できなかったように。好きになった相手の気持ちが察しかねるときのような。う〜ん、はっきりさせて欲しいところだ。

バブル期に戻って欲しいとは決して思わない。しかし景気が回復して、IT 業界が健全にそして夢を持って活性化することを切に望んでいる。そんな営業現場から、「兆し探し」のレポートでした。

(営業企画局：四本健)

## No.123

### Webアプリを“豊か”にするリッチクライアント/[コラム]フットサルとPM

2003年10月16日

# [コラム]なんちゃってフットサルプレイヤーのつぶやき フットサルとプロジェクトマネジメント

今年の5月に、某PC出版社からフットサル(5人制サッカー)の挑戦状が叩きつけられました。メディアとして、日ごろ広告主を奪い合う仲。「ここは負けてなるものか」と、急きょ当社もフットサルチームを結成し、いざ勝負。

気合は十分でも、何ととっても急造チーム。悲惨な結果かと思いきや、楽勝しちゃいました。それ以来、いい気になって複数のチームと対戦しています。結果は五分五分といったところ。毎回その日の第1試合はいい勝負をするのですが、悲しいかな、平均年齢32歳。第2試合からは体がついてきません。みんな、途中からは運動量の少ないキーパーをやりたいがる始末です(苦笑)。

先日は某システム開発会社と対戦。試合前、相手チームは「ウチはチームを作ったばかりなので、お手柔らかに」と言っていたので、「いっちょ胸を貸してやるか」ってな気持ちで試合に臨みました。

いや~騙された(笑)。ユニフォームはそろっているし(当チームはバラバラ)、選手は20歳代が大半(当チームは皆30歳代)。しかもなんだか統率がとれています。試合前から「これはヤバい」と思ったら、案の定ボロ負けでした。

統率がとれているのも当たり前で、選手たちのリーダーとなっていた方は、仕事のうえでもプロジェクトマネージャでした。で、選手の多くは、そのプロマネの部下なのです。さそがし開発プロジェクトもスムーズなことでしょう。

7月に行った@IT自分戦略研究所の読者調査で、「エンジニアを行ううえで、重要なヒューマン/ビジネススキル」を聞いたところ、第1位は対顧客コミュニケーション能力、第2位がチーム内コミュニケーション能力でした(ちなみに、プロジェクト管理は第3位)。

プロジェクトのマネジメントスキルとして、PMBOK(Project Management Body Of Knowledge)などを学ぶことはもちろん必要ですが、スポーツを通じてチームメンバーと感動を共有するという、実に人間臭い部分も重要なのだろうなあ、と感心してしまいました。へなちょこなアットマーク・アイティ チームでよければ、いつでも対戦しますぜ。

(人財局:小林教至)

No.124

「その先」にたどり着くためのIPv6 / [コラム]ハードボイルドはつらいよ

2003年10月23日

## [コラム]@IT編集担当のつぶやき ハードボイルドはつらいよ

ハードボイルドなジャーナリスト人生を送っている——と一部の友人たちは思っている。扱うネタは世界最先端のコンピュータ・テクノロジーだ（最先端といわれる研究はまず公表されないが）。世界（行ったとしてアメリカ）を舞台に、最新鋭の秘密兵器（Windows2000搭載のノートPC）を使いこなし、次々と陰謀（OracleがPeopleSoftを買収るとかしないとか？）を暴き、美女の涙を振り切り（PR会社の女性からくる記者会見の案内を調整する）、今日は台北、明日はサンノゼ、1時間後（1年後かも）にはパリへ旅立つ（こともある）。

彼らは僕をジェームズ・ボンドと間違えているようなのである。さしずめ、無茶な命令を下しながらも実は心配している「M」は編集局長で、秘密兵器をくれる「Q」は総務部長か？ 女王陛下は社長か？ じゃあ、「マニー・ペニー」はいったい誰だろう。アットマーク・アイティに受付嬢はいない。

まあ、僕が思うに、大きくは間違っていないはずである。誤解している友人たちには、誤解させたままでおこうと思っている。夢はいつか覚めるのである。さて。実際、@ITの記者兼編集者は日々どんな冒険をしているのか。

まず、朝。曙光に目を細めながら、ベランダでドライマティーニを飲みつつ（当然、白い猫を抱きながら、白のガウンを着ている）、New York Timesを読む……わけはなく、牛乳で喉を潤し、電車に乗って都内の記者会見場（たいがいホテル）に赴くのみだ。筆者と連載記事の打ち合わせをすることもあるし、ミーティングに出席することもある。そもそも、前日は夜遅くまで原稿を書いたり、翻訳をしたり、企画書を作ったりしていることもあり、心地よく目覚めることはあまりない。

昼。レストランで美女を口説き、共にシエスタ……もなし。膨大な量のスパムメールを片っ端から「ゴミ箱」に叩き込み、重要な用件はその場で処理しつつ、午前中の会見を記事にし、公開予定の記事のインデックスを作成し、作りかけのHTMLを仕上げ、出来上がってきている原稿を校正し、図版をデザイン会社に発注し、ミーティングの準備をし、けんか腰の熱い議論を戦わせながら、ベーグルとコーヒーで胃を満たすのだった。

夜。資料の大半は自宅にあるため、資料がなくてはできない仕事は自宅でやる。こういうコラムも自宅で書く。甘い夜はいずこへ？ 確かにハードボイルドな人生といえなくもないのである。 （編集局:谷古宇浩司）

## No.125

### 競合他社に勝つためのデータ活用 / [コラム] 秋の夜長に葦編三絶

2003年10月30日

## [コラム] 総務管理局担当のつぶやき 秋の夜長に葦編三絶※

拙宅には岩波書店の広辞苑が3冊ございます。3版と4版と5版の各1冊ずつ。言葉を引くためならば1冊もあれば用は足りるのですが、「読み物」としては捨てるに惜しいほどにそれぞれ特色があり、手放すことができません。愛しています。

例えば3版と4版。パッと見だけでも違いが歴然として。【蝙蝠（こうもり）】の図版1つとっても、3版での『闇夜に飛び交う2匹の蝙蝠』図に対し、4版では『翼を広げ標本然とした1匹の蝙蝠』を描いております。蝙蝠のみならず、すべての図版に目を通すと、このように“生態を意識する3版”と“形態を見せる4版”と方向性の違いが鮮烈で実に興味深いところですよ。

好みの問題ですが、私はとりわけこの「生態の3版」がひいきでございます。各図版も何やら生き生きしており、【たつのおとしご】の図などはぷくりぷくりと小さな泡を吐きながら、ぷかりぷかりと漂う姿がおとぼけで愛らしい。

加えて、3版は説明文が全体を通して妙な味があり、【飯蛸（いいだこ）】の説明に至っては、末尾を「卵も美味。」といきなり主観で締めつけてしまっています。「飯蛸の卵はうまいとワシは思う。ご意見無用。うまいもんはうまいんじゃ」と言わんばかりの「卵も美味。」の強気はどうでしょう。

私、決して飯蛸は好物ではございませんが、これを読むたびに飯蛸がなんだかヤケに食べたくなります。ですが逆に、ここまで人間臭いとこの項目を担当された方はよほどの飯蛸好きと見せかけて、本当のところは意外にも食わず嫌いのあまのじゃくなのではないかと勘繰ってしまいます。

ちなみに、4版では「卵も美味。」の部分が削除されました。辞書としてはいい姿勢ですが、「読み物」としては実につまらない話でございます。

※葦編三絶（いへんさんぜつ）：書物を熟読すること、熱心に読書すること

（総務管理局：田村千晶）

No.126

SOAPは使えるプロトコル/[コラム]「murdered by the music」リターンズVol.3

2003年11月6日

[コラム]HIPな営業担当のつぶやき

# テディ柏野の「murdered by the music」リターンズVol.3

30代以降の方なら分かっていただけたと思いますが、その昔、ラジオの音楽番組をエアチェックするのが日々のささやかな楽しみでした。高校生の分際で毎週CD（当時LPですね）をポンポン購入するわけにもいかず、ただでさえ情報過疎な北陸に身を置く私にとって、FMラジオから流れる音源は当時の私にとって貴重な財産でありました。

当時よく聞いていたのは「サウンドストリート」や「クロスオーバーイレブン」「全英TOP20」（←これはAMですね）とかです。特に「クロスオーバーイレブン」は夏休みなどにマニアックな「プロデューサー特集」（クライヴ・ランガー&アラン・ウィンスタンレー特集とか）なんかを定期的にやっていて、なかなか地方では手に入らない音源をまとめてGETできる願ってもない機会でした……たまたま実家で当時のテープを発掘し、ついつい1本1本車の中で聞いて思い出に浸ったりしてます ^^;

さて、エアチェックを「54分テープ」なんかでしていると最後の曲が途中で切れてしまうことがよくありました。で、そういう曲って妙に印象に残るんですね……一番印象に残っているのが、とあるジョン・レノン追悼番組でかかった「Remember」という曲です。当時そのテープを繰り返し聞かされたとき、曲の続きが気になって気になってたまりませんでした。

後年、念願がかない「ジョンの魂」を購入した私は「Mother」や「Working Class Hero」といった名曲群を当然のようにすっ飛ばすと、おもむろにA面の6曲目に針を落とし、ワクワクしながら聞いたのですが……感想はいまいち。確かに名曲なのですがテープで聞いていた時の印象と全然違うのです。う〜ん「フツーな名曲」。『テディ・テープバージョン』の淡々とした美しいメロディーが急にバッサリ終わる感じがすごくスリリングで良かったんですね〜。つまり続きが聞きたかったわけではなかったのです（泣）。今でも「ジョンの魂」を聞いていて曲が「Remember」になると妙に居心地が悪くなる私はやはり変でしょうか??

～たまには邦楽でもいって見ますか?～

特選 ♪ テディの懐メロ Best5 ～ J-Pop 編

“ アメリカン・フィーリング ” by サーカス

“ 沖縄ベイブルース ” by ダウンタウンブギウギバンド

“ ロンリネス ” by 桑名正博

“ ハリウッドスキャンダル ” by 郷ひろみ

“ きみについて ” by 坂本龍一

(営業企画局：柏野晃司)



## No.127

# 人と企業に利益を与える入り口を作る / [コラム] IQ を高くするトレーニング

2003年11月13日

## [コラム] 編集担当のつぶやき IQ を高くするトレーニング

こんにちは。入社して1年を迎える編集局の富嶋です。たしか、1年前のコラムではお掃除ロボットが欲しいと書きました。もちろん、依然として、掃除問題は解決されていませんが、それより欲しいものが現れました。

ずばり! 「自分の IQ」です。この間の連休にテレビで、IQ を計測して自分の潜在能力を知ろう! といった趣旨のテレビ番組がありました。「あなたの自分探しをお手伝いします!」といった PR コメントには閉口しつつも、とりあえずは連休最後の余興にとオンライン回答シートをダウンロードし、テレビに向かい 70 問すべてを解きました。私のデータも統計に反映されるようプロフィールも入力しました。

番組では IQ の高い人が映し出されましたが、みなさん誰もが賢そうでした。プロフィール別の統計では、IQ の平均が一番低いのが巨人ファンで、高いのは 2 位が日本ハム (!)、1 位が千葉ロッテ (!! ) だったり、女性よりも男性が高かったりと、興味深い結果が出ていました。気になる自分自身の IQ 結果は、ごく平均的な試験結果でした。

IQ は「知能とは何か」をどう定義するかによっていくつも検査法があり、知能測定の絶対指標にはならないのかもしれませんが、不良の世界の「腕力」「度胸」のようにビジネスマンの能力を測る指標があれば、地道なトレーニングを積んで高めたいと思います。

そういえば、「会社自体の能力を計測する IQ」<sup>(編注1)</sup> という概念があると聞きました。また「EQ」<sup>(編注2)</sup> についてもありましたね。受験生には偏差値があり、電子媒体編集者にはページビュー<sup>(編注3)</sup> っていう計測数値があります。IQ を高めれば担当フォーラムのページビューは上がるのか……、結果はまた次のコラムでご報告します。

編注 1: 「組織 IQ」のことだと思われる。米スタンフォード大学で開発された組織の活性度を総合的に把握する指標である

編注 2: EQ = 感情的知能、感情的知性と訳される。自己および他者の情動状態を知覚・把握し、自ら情動を生み出す能力のこと。ダニエル・ゴールマンの著書によって広められたが、原著では Emotional Intelligence だったものを、訳書では EQ としたため日本ではこの名称で知られている

編注 3: ページビューとは、Web ページ 1 ページ分を表示すること。ここでは Web ページが読まれた回数のこと。「Insider's computer Dictionary」参照

(Master of IP Network フォーラム編集担当: 富嶋典子)

## No.128

### 最大の情報漏えいリスクは“内部の人間”/[コラム]神秘的な魚——ウナギ

2003年11月20日

## [コラム]@ITハイブックス担当のつぶやき 神秘的な魚——ウナギ

@ IT ハイブックス担当の河合です。ついこの間までは、11月といっても先日の衆院選挙前は、まだ暖かかったのに、このところめっきり寒くなり、体がついていかずに風邪をひく方も多いと思います。こういったときこそ、スタミナがつくものでも食べたいですね。

夏場のスタミナ食といえば、“土用の丑の日”に代表される鰻ですが、最近は、スーパーに行くと鰻って1年中置かれていますよね（強引な導入、スミマセン）。

いつでも食べられる鰻（ここからは、ウナギに変更します）ですが、ウナギの生態は謎が多いって知っていましたか？ 確か9月ごろにある水産試験場でウナギが卵を産んだことが話題になったのですが、なんとウナギの卵っていままで正体不明だったのです。どこで産卵しているかさえ分かっていませんでした。

かの有名な、アリストテレス先生は「ウナギは泥の中から自然発生する」と書いていました。それは、卵を持ったウナギや生まれたばかりのウナギの子どもが見つからなかったためだそうです。じゃあ、ウナギはどこで卵を産んで、僕たちの食卓に来るのか？

僕たちの食卓に来てくれるウナギは、なんと川を下って海を渡り、太平洋のマリアナ諸島とフィリピンの間あたりで産卵しているらしいのです。しかも、生まれたばかりのウナギは「レプトケファルス<sup>(注)</sup>」とよばれる柳の葉っぱのような時期を経て、幼魚（シラスウナギ）になります。その幼魚が冬に日本沿岸にやってきて、採捕され養殖に用いられています。ちなみに、浜名湖地域では、シラスウナギのことをメッコと呼んでいるそうです。

風邪が流行る季節に、体力をつけるためにも、次の「鰻」を食べる機会に、鰻は実は神秘的な魚であることを思い出してみてください。食する楽しみが倍増するはずですよ。

(注) レプトケファルス（葉形仔魚）：アナゴ、ウツボ、ハモ、ウミヘビも同じような特異的な幼生期を経て、成長します。

(編集局 第2編集部：河合一彦)

## No.129

### 業務システムの肝はデータベースにあり / [コラム] 讃岐うどんの裏テーマとは？

2003年11月27日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき 讃岐うどんの裏テーマとは？

讃岐うどん。香川県生まれの私にとっては一生背負っていかねばいけない、業にも似た食べ物である。

まだ子供だったころ、家族で外食することは一大イベントだった。「今日は外で食べよう」と言われて、お子様ランチ、ハンバーグ、オムライス……と、いろいろな食べ物が頭の中で万華鏡のように交錯する中、結局向かった先は香川の全うどん屋の約 30%以上を占める（憶測）セルフ系うどん屋だった覚えがある。

「香川県民は 1 日 1 回は必ずうどんを食べる」。この根拠のない噂はほぼ事実といってよい。そんな「うどん crazy な毎日」を過ごした私は、歩いていける距離に「彦江」「長楽」「岡泉」と名だたる名店が立ち並び絶好の環境で育ったにもかかわらず「うどん屋行くぞ」と言われる度に拒否反応を起こしたものだ。

いつからだろう？ そんな私が「うどん」と聞いただけで、思わず抱きしめたいくなるような愛情を「うどん」に対して持つようになったのは。「うどん食べたいから」という理由だけで帰郷するようになったのは。

「上京してから、おいしいうどんを食べてないからだよ」といった指摘はよく受けるのだが、それは違う。確かに、嫌々ながらも小さなころから「うどん英才教育」を受けた香川出身者の舌は知らず知らずのうちに肥えている。しかし最近のブームにのっかり、そこそこ「生きた麺」を出す店は東京にもないではない（少ないですけど）。

その答えに気付いたのは今年の 8 月。帰郷の際、うどん屋の光景を見た私は、すべてを納得した。時間はちょうど日曜のお昼前後。ごった返す店内は、杖をついた老人もいれば、ジャージ姿のヤンキーも、カップルも、家族連れもいる。そんな彼らが、ときには相席し合い、うどんを食べながら、「NHK のどじまん」を見ている。香川ではごく日常的な光景である。

「東京砂漠」といわれる、コミュニケーションの途絶えた都会に住む私にとって、うどんを介することで、あらゆる香川県民と繋がることのできる場所が「うどん屋」だったのだ。その雄大さ、豪快さたるや……嗚呼！ 正月帰郷しても、真っ先にうどん屋に向かってしまうのだろう。

（営業企画局：神崎良介）

## No.130

### リモートアクセスはSSL-VPNで決まり? / [コラム] 帰巢本能に勝る高価な食事

2003年12月4日

## [コラム] 総務管理局担当のつぶやき 帰巢本能に勝る高価な食事

現在、息子が家出中だ。しかも3回目、おまけに、ここ1カ月ほど姿を見ていない。これほど長期間は初めてだ。それともどこかで迷子になったとか……。

だいたいわが家の家系はどんなに飲酒してもきちんと帰って来られる帰巢本能が自慢だ（以前、そんなことを自慢にするな、と人に言われた）。彼だけが隔世遺伝なのかもしれない<sup>(※編注)</sup>。でも、そういえば、親戚の誰かが酔った帰りに目が覚めたら大船の観音様が見下ろしていたなどと話していた。確か彼の家は都内だったはず。

そんなことを思いつつ、いい加減心配になって探しに出た。居場所の目星はだいたいついている。わが家の裏手、直線距離で150メートルほどのところにある一戸建ての家だ。彼はそこにちよくちよくおじゃましてはごちそうと寝床をいただき、深夜にご帰宅の日々が続いていた。

通りの電信柱から様子をうかがった。第三者からみればかなり危ない人である。そのとき、見慣れた姿が道に出てきた。彼に間違いはない。そっと声をかけてみたところ、こちらを向いて立ち止まった。反応している。3カ月ぶりのご対面だ。

再び声をかけようとしたそのとき、家から初老のご婦人が出てきた。彼は彼女の足のまわりをぐるぐる回って甘え声を出している。ご婦人はおもむろに彼の足元に持っていたごちそうを置いた。どうやら彼の好みを熟知しているらしい。すごい勢いで中身を片付け始める彼。そして、こちらはといえば彼女と目が合ってしまった。まずい……。逃げ出す場面ではないのだが、ついそそくさとその場を離れてしまった。

逃げ出したことを後悔しつつ、その日の出来事を家人に話した。なぜか家人はすでにご婦人のことは知っていた。どうやら1人でお住まいで、息子を大変可愛がってくれているらしい、とのこと。う~む。連れ帰りたいのはやまやまだが、突然いなくなったらさぞ悲しむことだろう。こちらは居場所は分かっているのでまた会いにいけばいい。

それにしても、生後1年のネコに帰巢本能というものはあるのだろうか。育ての親より高価な缶詰、ということとか……。

というわけで、現在も裏の道には家人も含め、電信柱の影にあやしい人間が出没する日々が続いている。ストーリーカーと間違えられて通報されなければいいかと願う毎日である。

※編注：義理の息子なのでそもそも遺伝しません。

(総務管理局：上田恵子)

## No.131

### 注目の新技術——無線ICタグとは / [コラム] 今買うべきか? DVDレコーダー

2003年12月11日

## [コラム] @IT事業開発局担当のつぶやき 今買うべきか? DVDレコーダー

わが家の家電は10年以上働いているものばかり。そろそろ現代社会に適応したAV周りが欲しくてウズウズしている今日このごろ。以前、このメルマガのコラム<sup>(※1)</sup>で“次は食器洗い乾燥機だ~!”と宣言し、皆さんからご意見を頂いてからはや半年。年末のボーナス商戦に踊らされて欲しかったものはDVDレコーダーだ。

CMで、雑誌で、DVDレコーダーがチラリ……ああ、ほ、欲しい!“キーワードだけでどンドン録画!? 何百時間録画!? 画面メニューで番組選び~”なんてデジタルな響きに魅了され、欲しくてたまらなくなり旦那様に懇願。食器洗い乾燥機のとときは“自分で買えば?”というノリだった旦那様も、あまりに私がDVDレコーダーが織り成す素晴らしい世界の話べらべらとまくし立てるので、2003年総まとめクリスマスプレゼントは、ほぼDVDレコーダー(たぶんHDD内蔵タイプ)に決定した。

だが1つ大きな問題……というか懸念がある。それは「もしかしてDVDレコーダーの自動録画機能は使えないのでは?’’ということ。わが家のテレビはケーブルテレビ経由で受信しているため、ビデオは固定の「ライン入力」で、ビデオ録画の際は、ケーブルのSTBのチャンネルの方を見たいものに合わせなくてはならない。予約録画はもっと大変で、両方で予約をするか、またはSTBまでチャンネル合わせにおもむく。さらに5チャンネルのサラウンドシステムにもつないでいるため、配線も操作もかなり複雑になっているのだ。

そしてもう1つ気になるのが、地上デジタル放送への対応。ケーブルから地上デジタル放送受信できるという話は聞いたことがあるが、何をどうしたらよいかイマイチ分からない。

果たして今、この時期DVDレコーダーに手を出すべきかどうか。もし購入したら、この家電はわが家に幸せを運んでくれるのか……。悩みは深まる一方だ。

▼ 2003年6月5日 [ @ IT 通信 No.105 ] コラム : 幸せを呼ぶ家電

(事業開発局 : 古澤正美)

No.132

MS Officeが業務アプリになる/[コラム]私も「一生どうでしょうします」宣言

2003年12月18日

## [コラム]@ITトレンドウォッチャーからのお誘い 私も「一生どうでしょうします」宣言

鈴井貴之、大泉洋、藤村忠寿、嬉野雅道。この名前をご存じの方、あなたはスバラシイ。北海道のローカルテレビ局で約6年間続いた番組「水曜どうでしょう」の番組の出演者とディレクターである。番組制作費のほとんどを日本全国、いや世界を股にかけた過酷な旅につき込み、彼らのボヤキ、口げんか、涙、笑顔を放送したなんとも魅力的な30分番組だ。

2002年9月、「水曜どうでしょう」は6年という長い歴史にピリオドを打った。その直後、札幌在住の友人が送ってくれた1本のビデオ。120分のビデオテープには、恐ろしいことに3倍速で6時間(360分)分の「水曜どうでしょう」が録画されていた。

ある日、私はこの画質の荒いビデオを見た。おっ! 誰だい? 変なモジャ毛と唇おぼけの2人組は。なかなかおもしろい。いやおもしろい! おもしろすぎる(笑)。私は6時間のビデオを一気に見てしまった。そのとき私はすでに「水曜どうでしょう」の虜になっていた。

現在この番組は「どうでしょうリターンズ」と名前を変えて、北海道をはじめ津々浦々のローカル局で再放送されている。関東圏なら、テレビ埼玉、千葉テレビ、TVK テレビ(神奈川)が受信できれば見るのが可能だ。テレビ埼玉なんぞは「月9」で放送している。チャレンジャーである。しかし、残念ながら東京ではやっていない!(何やっている! 東京 MX テレビ) 都内在住の私は見られないのだ。

見たい! 禁断症状が出るくらい見たい気持ちでいっぱいだ。そんな気持ちが通じたのか、私と同じように番組が放映されていないエリア在住者のために「どうでしょう」スタッフは、今年から約10年かけて6年間の全放送をDVDにして販売するという。さらに「水曜どうでしょう」の出演陣とスタッフはこうも言った。「番組は終わったけれど、僕たちは違う形で一生どうでしょうします!」と。なんて素敵な言葉なんだ。私も言うぞ「私も一生どうでしょうします!」

「水曜どうでしょう」のDVDは今年3巻が発売され、最新巻は約6万本も売れた。ハリウッド映画を押しつけて、見事オリコンチャート3位にランクイン。あなたも全国の“どうでしょうバカ”<sup>(※)</sup>と共に「一生どうでしょう」してみませんか?  
(人財局: 小島貴香子)

※著者註: 「水曜どうでしょう」にハマった人のこと

## No.133

管理者が避けては通れないDNS / [コラム] サンタクロースはわが家のベランダに  
2003年12月25日

### [コラム] @IT 編集局長のつぶやき

# サンタクロースはわが家のベランダに

私は子どものころ、クリスマスが近づいてくると「家に煙突できないかなあ」と思っていました。なんたって、ウチには毎年サンタクロースがこっそりプレゼントを届けてくれたのです。ただし、プレゼントが届くのはベランダ。わが家には煙突がありませんでした。「煙突さえあれば、ちゃんとサンタクロースは煙突経由でプレゼントを届けてくれるのに」と思っていました。

当時のわが家は団地住まいで、しかも4階建ての1階。煙突を作るには、2階、3階、4階がじゃまです。それくらいは子供の私にも分かりました。煙突はあきらめることにしました。

しかし、子どもの私にプレゼントを届けてくれるサンタクロースは、父親が変身したものではありませんでした。なんたって、クリスマスイブの夜は私と一緒に父も母も部屋でご飯を食べて、ケーキを食べていたのです。で、ひとしきり食べ終わったあと「プレゼントが来ているかもね」と、両親に促されてベランダに出てみると、そこにはバーンとプレゼントが到着していたわけです。「サンタクロース、いつ来たのかなあ」と思っていました。

そのサンタクロースの正体が分かったのは、小学校も高学年のころだったと思います。さすがにそのころにはサンタクロースの存在は信じていませんでしたが、どうしてベランダにプレゼントが届いたのか、そのからくりは、親が白状するまで分かりませんでした。

サンタクロースの正体は、お隣さんでした。隣のおじさんが、私の親に頼まれてこっそりプレゼントをベランダに置いてくれたのです。煙突をあきらめざるを得なかった団地の1階だったからこそ、壁のすぐ向こうにサンタクロース家族が住んでいて、気軽にベランダにプレゼントを置けたのでした。私も親になった暁には、どんな方法で子どもに夢のあるプレゼントを渡そうか思案中です。

(編集局：新野淳一)



2004

## No.134

### 実装作業・ビジネス分析を支援するモデリング / [コラム] 「@IT」って、どう読む？

2004年1月8日

# [コラム] 代表のひとこと 「@IT」って、どう読んでいますか？

新年明けましておめでとうございます。アットマーク・アイティ代表の藤村です。皆さん、良い年未年始を過ごされましたか？

と、ここまで書いて新年初脱線。「@ IT」と書かずに「アットマーク・アイティ」と書きました。実は皆さんにお目にかかっている Web サイト名「@ IT」と、会社を指示しするものを区別するために書き分けています。Web サイトを指すときは@ IT。会社（当社）を指すときはアットマーク・アイティと。……と不安になって過去のコラムを読み返すと、案の定「@ IT の藤村です」って書き出しを発見。首尾一貫せず。やれやれ情けない。

ちなみに……、と気落ちもせずに引き続き第 2 の脱線へ。

たった 3 文字の Web サイト名「@ IT」ですが、皆さんはどう発音してくれていますか？実はこれ、多くの解釈が入り乱れ諸説紛々。まず「アットマークさん」と省略形？で呼ばれることがあります。親愛の感じが悪くないですね。対して、「ちょっと違うんだけど」という読みの代表が「アット・アイティ」。他方、堂々とわが道を行くという風格ありなのが、「アットマーキット」。たぶん「atmarkIT」の英語表記を頑張って発音してくれたのですね。読みにくい名前ですみません。正解ってほどのこともないですが、「アットマーク・アイティ」とまんまに読んでくだされば幸せです。

さて閑話休題。とようやく本題へ。

年輩者の私としては、「1 年の計は元旦にあり」と、型どおりにいろいろ思いをめぐらせながら新春を迎えました。なわけで、フツーはここで「本年の抱負は」と語るのがスジですが、コラムっぽくないのでそれはまたの機会にゆずることにします（またの機会なんてある?）。

というわけで、まともな抱負に代え、今年のごく個人的な抱負、“マイ抱負”を。順不同でまいります。

1. いつも笑顔で仕事をする（スタッフなら分かる、この痛さ）
2. 毎日欠かさず日記を書く（理由は、1 月 21 日公開予定の@ IT 自分戦略研究所の書評にヒントあり）

3. 155km 球を真芯でとらえる（「狭山バッティングセンター」の愛用マシンが最近グレードアップ。スピードガンで、本当にこのスピードなのを見てビックリ）
4. 暗算に強くなる（数字が7けたを超えると、急に損得計算ができなくなるので）
6. 中性脂肪の値を下げる（通いつけの女医さんに見下されているのが悔しい）
7. 自宅を BB 環境へ（いまだこんな遅いネット環境あり? と自分でも笑っちゃう）

やれやれ、どうも盛り上がりには欠けます。一方、アットマーク・アイティのほうは抱負、満載。「忘れられない1年」を目指し頑張ります。どうぞ本年もたっぷりお付き合いください。

（アットマーク・アイティ代表：藤村厚夫）

## No.135

ストレージ製品、次のトレンドは？ / [コラム] 新年の健康と幸福を祈る「どんど焼き」

2004年1月15日

# [コラム] ハイブックス編集からのお誘い 新しい年の健康と幸福を祈る 「どんど焼き」をご存じですか？

数年前のことになりますが、「どんど焼き」を見に富士の麓へ行ってきました。最初は初富士登山の予定だったのですが、パンフレットでこの行事を見つけ、前々から興味があったことも手伝って急遽変更。今回はその模様を実況でお送りします。

明けて新年 1 月 15 日。小正月。村の男衆は朝から大忙し。手押し車で、軽トラックで各家の門先を回り、積み置かれている用済みの門松や注連飾りを集めます。持ち寄った正月飾りをうす高く積み上げ、竹林へ。なた、のこぎり、山刀などを手にしています。当たるを幸い、目につく竹をめったやたらに切り倒します。竹を人の背丈ほどの長さのにこぎりで引き、正月飾りの上へ山となします。半端ではないかなりの高さ、かなりの広さ。

作業はいったんそこで終わり。男衆は家へ戻り、それぞれの仕事にかかります。

日暮れて午後 6 時過ぎ。村の民が再び所定の場所へ戻ってきます。今度は男衆だけではありません。村中の住民が残らず集まります。手に手に三つ又の木を持って。三つ又の先にお団子くっつけて。

三つ又の木の種類は何でも構いません。先端が三つ又に分かれていれば「6 尺ンガとこでブッタ切るズラ」だそうです。お団子は、うるち米をひいて粉に、丸めて、突き刺したものです。

暗闇の中でひとしきり雑談があった後、いざ点火。村中の人が集まったこれほどの行事だというのに、儀式めいたことはありません。「そろそろ始めるズラ」で、新聞紙をもんで、使い捨てライターで……その代わり、火の勢いたるやものすごい。

乾ききった門松に、ばさばさの注連飾りのわら、書き初めの半紙、ひからびたダルマに羽子板……。天をも焦がすとはこのことで、炎は高く燃え上がり、火花ははるかに飛び散りで、遠目にはどう見ても山火事です。そこへもってきて太い青竹があります。とてつもない破裂音が響きます。窓を叩き屋根を揺らし、林を突き抜け富士山でこだまします。爆竹とはよくもいったもので、ほとんど爆撃音。

三つ又を火にかざすのはまだ早い。今は黒く焦げるだけ。熾（おき）火になるまでしばし待て。

この火にはいろいろな御利益(?)があると聞きました。「焼いたお団子を食べると風邪をひかない」とか、「書き初めを投じると習字が上手になる」、「あぶった注連飾りの橙（だいたい）をかじるとおねしょが治る（しまった、早く知っとけば!）」など興味深いものばかりです。

日本情緒溢れる行事を見てみたいという読者の方がいらっしゃいましたら、一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

(@ IT ハイブックス編集担当: 玉川美保)

## No.136

### 多機能化するファイアウォールを見極めろ! / [コラム] タイムマシンで家族だんらん

2004年1月22日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき タイムマシンで家族だんらん

今年のお正月は遠出することもなく自宅で家族と一緒に静かに過ごしました。お正月のテレビ番組はあまり気に入らないため、子どもたちとレンタルビデオを大量に借りてきて、ゆっくりと鑑賞しました。

その中でも面白かったのが2年前に公開された「タイムマシン」でした。原作は「透明人間」や「宇宙戦争」などでも有名なH・G・ウェルズの作品で、もう100年以上も前に書かれたものです。過去にも映画化されていますが、最新の映像技術の進歩でどのように変わるのかが楽しみでした。

ストーリーは、1899年のニューヨークで始まります。若い大学教授が凶弾に倒れてしまったフィアンセを過去に戻って助けようとタイムマシンを完成させ、一度はそれで助けることができたのですが、すぐにまた事故に遭ってしまい結局は運命は変えることはできないことを悟ります。そこで「解決法は過去ではなく未来にある」と未来へ旅立ちます。

2037年には月に仕掛けた核の爆発で地軸がズレて砕け散り、地球にその破片が降り注ぎ滅亡が迫っていたり、その影響でタイムマシンが暴走し気が付くと80万年後の世界に到達していたり、というアイデアは原作と同じです。よく100年も前にこれほど未来の世界を創作できたものだと感動ものです。

その後、偶然マイクル・クライトンの小説「タイムライン」を読みましたが、こちらはいわゆるタイムトラベルの話です。映画化されてちょうどいま公開中です。

マイクル・クライトンも「ジュラシックパーク」や「スフィア」で過去や未来を描いた作家ですので、こうしたストーリーはお手のものです。小説も映画もこれからという方がいらっしゃるでしょうから詳しく書くのは控えますが、こちらは14世紀半ばのフランスが舞台です。

なぜ、アメリカのニューメキシコ州にある研究施設から英仏100年戦争中の中世フランスへ飛ぶのかは分かりませんが、14世紀半ばといえば、西洋史的にはまだアメリカ大陸が発見されていなかったからかもしれません。

うちくも盛りだくさんで、「ジュラシックパーク」では遺伝子工学がキーでしたが今回は近年注目されている

量子テクノロジーが分かりやすく解説されているので、雑学の足しにもなりそうです。

果たして私が生きているうちに、そのようなことが可能だと立証されるのか興味のあるところですが、人間そのものを過去にテレポーテーションできなくても、せめてアーサー・C・クラークの「過ぎ去りし日々」に出てくる過去の場面を見ることができる装置が開発されれば、これから高齢化社会に向かう日本にはピッタリのエンターテインメントになり、世界一周クルージングよりはるかに人気が出そうです。

映画を見ても小説を読んでもビジネスと結び付けてしまうところは、夢もロマンもなくなってきた現実第一な中年の証拠でしょうか？

(営業企画局：神寄真澄)

## No.137

### 効率の良いWindowsのセキュリティ管理/[コラム]ハードボイルドにあこがれて

2004年1月29日

#### [コラム]@IT編集担当のつぶやき

# バーカウンターと ハードボイルドにあこがれて

バーのカウンター席ってものにあこがれを抱いていた。静かに飲みながら、バーテンダーとたわいない話をしたり、情報を得たりできる大人の世界。それは多分、中学生ぐらいから読み始めたハードボイルド小説の影響だろう。だいたいカクテルって存在も真面目な読書生活で知り、新しい小説（その多くはハードボイルド小説）を読破するに従い、その種類も多くなった。例えばギムレットといえば『長いお別れ』（レイモンド・チャンドラー著）を、マティーニといえば『深夜プラス 1』（ギャビン・ライアル著）を思い浮かべるようになっていた。

そのうち、バーだけでなく、居酒屋や小料理屋のカウンター席にもあこがれを抱くようになったのは、テレビドラマなどの影響かもしれない。そしてぼくのハードボイルド人生も、大いに軟弱になった証拠かもしれない。

元来人見知りで話し下手なぼくとしては、カウンターで店の人と話をするなんてことは夢のまた夢だと思っていた。しかし、ひところ飲みに行くことが多くなり、いつのまにか店の人と話をするようになった。そうすると、常連客とも仲良くなる。

結局、店の人（さらには常連客）と仲良くなるコツって、当たり前だけど何度も通うことだ。すると、いつの間にか知り合いが増え、そしてさまざまな情報も集まるようになる。これで仕事場も酒場ならば、ぼくはマッド・スカダー<sup>(※)</sup>のような人生を送ったのだろうか。ぼくにとっては飲み屋は異業種交流会場になり、コミュニケーションスキルを試される道場となった。

問題は、そこで話したことを次の日覚えていないことや、意外と参加費／授業料が高いってことだろうか。

(※) ローレンス・ブロックの書いたハードボイルド小説に登場するアル中の探偵。代表作『八百万の死にざま』『倒錯の舞踏』（いずれもMWA 最優秀長篇賞受賞作品）など。

(編集局：大内隆良)



## No.138

### データベースエンジニアを目指そう! / [コラム] 真夜中の東京散歩

2004年2月5日

# [コラム] 人財局サービス担当のつぶやき 真夜中の東京散歩

先日不思議な機会に恵まれて、真夜中の東京を散歩することになった。外気温 1 度。天気予報では「明日は雪」とっていたそんな日の夜だった。

聞こえるのは、車が猛スピードで通り過ぎる音と、鼻をすする音、足音、歩く時にすれる洋服の音、そして地理に疎い私に時折説明をする声。信号の色が昼間より気持ち早く規則的な変化を繰り返す。緑、黄、赤。

ふと顔を上げると、東京タワーの先端が見えてきた。遠くから見るオレンジ色の光は「ココだよ」と柔らかく冬の空に自己主張をしている。1 度は通りすぎては見たものの、気になって、南極物語の太郎と次郎の銅像を鑑賞するという理由を無理やり付けて戻ってみる。

真下から見た東京タワーを形容するのに一番適切な言葉を、そこに来ていた若者が吐き出した。「デカッ」。

六本木。夜中の 3 時に、街頭で生花を売っている町。マックもスタバも営業中。ここに来ると、なぜかいつも私の頭の中ではストーンズの「夜をぶっ飛ばせ」が流れてくる。立ち止まっている人、足早に通り過ぎていく人、誰の顔も生気に満ち溢れているような気がする。

渋谷到着。凄い早口で女の子を熱心に口説いている男の子がいる。彼の口から漏れる音は「スゲーヨ、スゲーヨ。だってスゲーヨ」、ラップである。リズム重視の口説き方。2、3 人しか渡らない渋谷駅前交差点。人影まばらなセンター街。歩いたご褒美は暖かいコーヒーと耳に心地良い BGM。

散歩をするつもりなんて最初はなかった。適当にタクシーを捕まえていれば、もうすでに家でシャワーを浴び終えているはずだった。しかし、黙々と歩いてしまったのである。急いで歩く理由も、ゆっくり歩く理由も思いつかないまま。

普段見ることのない光景、聞かない音。そんな夜も良いもんだったとシナトラとボノのデュエットを聞きながら思う。部屋の中は暖かい……。

(人財局：佐藤左衛子)

## No.139

### 生産性を上げる開発プロセスとは / [コラム] 三平汁って知ってますか？

2004年2月12日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき 三平汁って知ってますか？

わが家のお正月で食べる料理は、おせち料理とは程遠く、母の作ってくれる寿司・茶碗蒸し・いすし（なれずし）・刺身（余った寿司ネタのことですが）と三平汁だったりします。

皆さんは、三平汁って知ってますか？ 私の地元あたりでは日常食べる汁なのですが簡単にいうと、塩サケのぶつ切りにじゃがいもや大根、にんじん、長ネギなどを入れた塩味のごった煮の汁です。

この三平汁という名前の由来は、北海道内各地で諸説紛々なので、本当のところは分かりませんが、私の地元でのいわれは、次のようなものです。

「三杯食べられるくらい美味しい汁」という意味から漁師さんのナマリが加わり→「サンバイ」→「サンベイ」→「サンペイ」と活用したようです。

実際、近所の漁師さんと会話するとナマリが酷いので納得できてしまいます。ほかには、南部藩の斉藤三平に由来するとか、漁師の三平が松前藩主にふるまったからだとか、あるいは三平皿に盛り付けたからだとか諸説があるようです。

また、具材に関しても地域によって具材も味も違うので、それぞれの土地独特の文化があります。日本海側にある余市町の三平汁は、米糠と食塩で漬け込んだ糠ニシン、じゃがいも、ささげ（サヤエンドウに似た豆）の3種類の具材が入った汁のことだったりします。ちなみに、わが家の三平汁はカジカという魚かサケを使った塩味の汁です。

レシピといえるレシピもないので、上手く教えられませんが、作り方を簡単にお教えするとザクサクと野菜を切って固い順に鍋にはなして（入れて）、塩・コショウをたっぷり入れ、魚は最後に入れます。魚は火がすぐ通るので、長く煮てはいけません。豪快に作るのがコツです。

大なべ料理なので、たくさん作ってみんなで食卓を囲むお正月にはちょうどいいのです。まだまだ寒い日も続きますので、ぜひ皆さんも作ってみてはいかがでしょうか？

（営業企画局：西原しのぶ）

## No.140

# エンジニアを引きつけるEclipse / [コラム] 幻のラー油に巡り合った日

2004年2月19日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき 幻のラー油に巡り合った日

いつものように昼過ぎに目が覚めた土曜日。外はかなりいい天気だけど、やっぱり週末は家でのおんびりするの  
が一番だな、などと思いながら、起きてるんだか寝てるんだか分からないような状態を満喫していた。

隣の部屋では、もう 100 回ぐらいは観てるに違いない BluesBrothers の DVD が掛かっている。ちょうど Ray  
Charles の「Shake Your Tailfeather」の場面で、嫁さんからお声が掛かった。「もう少ししたら出掛けるから  
支度をして」と。

そういえばそんな約束をしたような気がする。どこに行くのかと聞くと、原宿のブックオフ（古本チェーン店）  
だという。しかも歩いていくのだと。そうだ、昨日の夜地図を見ながら言ってたな。「明治神宮を通れば 3km ぐ  
らいしかないから、歩いて行ける」って。

支度して家を出ると、15 分くらいで明治神宮の西参道の入り口に着いた。そこから御社殿を通って南参道を  
抜けると、そこはもう原宿駅。西参道を歩いているときは土曜の午後の都心とは思えないぐらい人が少なく、の  
どかな感じだったのだが、御社殿では結婚式やら参拝客やらでかなりの人がいる。さらに南参道を進むと、だん  
だん人が多くなってきた。しかも年齢層が若くなってきてる。「ラフォーレ原宿」に近づくと、もうそこは若者  
だらけ……人の波をかき分けて、やっとのこと目的のブックオフに着いた。

もうその時点でぐったり疲れていた私は、徐々に不機嫌モードになっていた。「早くしよう……」「そろそろ帰ろ  
う……」「もう先に帰っていい?」

ようやくブックオフを出て、電車に乗る。新宿に着くと、やっとひと段落。南口でゆっくりお茶を飲んで休憩。同  
じように人が多くても、原宿と新宿では何でこんなに違うんだろう。新宿の方が落ち着く。

買い込んだ本を読みながら 1 時間ほどのおんびりしたので、そろそろ食事して帰ろうかということになった。西口  
の方をぶらぶらと歩いていると、こんなところに琉球の香り漂うお店が。

ちょっと覗いてみようと思っていると、こじんまりとした沖縄名産品のお店だった。もしかしてと思いながら奥に進

んでいくと……あつた!「石垣島の島ラー油」が。テレビ番組「どっちの料理ショー」で見て、速攻で買いに行ったのが去年のこと。餃子はもちろん、ラーメンも野菜炒めも麻婆豆腐も、それこそ何でも“激ウマ”にしてくれた。この「島ラー油」君はその後、銀座の「わしたショップ」にも伊勢丹にも、いつ行っても売り切れだった。

2人で顔を見合わせてガッツポーズ、買い占めてやろうと手を伸ばすとそこには「お1人様1本まで」の文字が……。仕方がない、今日のところは2本で許しといてやるか。購入して店を出た。

「まさかこんなところに売ってるとはね〜」「今日はいい1日だったな〜」。満足気に歩きながら、気持ちはすでに「明日は点心三昧だあ!」となってしまう私はその後食べに行った寿司の味など、もうどうでも良いのだった。

(営業企画局：西山敏之)

## No.141

### 柔軟なシステムの影にXMLデータベースあり / [コラム] 天上の喜び、「かまどさん」

2004年2月26日

## [コラム] 編集局員のつぶやき 天上の喜び、「かまどさん」

かまどさんを知ってますか? かまどさんは炊飯専用の土鍋。火にかけるだけで、かまどで炊いたようなふっくらとした絶妙のご飯が食べられる。香りがよく、ご飯だけで何杯でもおかわりできてしまう。もちろん、自宅に電気炊飯器はあるのだが、同じ米を炊いても、かまどさんでははるかに高級な米のように思えるから不思議。昔の人はこんなにおいしいご飯を食べていたのだろうか。

かまどさんは、形は水炊きなどをする普通の土鍋。しかし、土が違うのだという。確かに普通の土鍋よりは土の粒子が粗くできているようだ。表面にあいた細かな穴が炊飯でよい働きをするのだろう。

ご飯の炊き方はいたって簡単だ。まず、米を研ぎ、かまどさんに分量の水と共に入れる。無洗米を使ってもいいのだが、やはり自分でキュキュと音を立てて米を研ぎたいところだ。キュキュと米を研いでいる間にだんだんと、かまどさんで米を炊くのだという意識が高まってくる。かまどさんでの炊飯はどこか儀式っぽいのだ。

米は 20 分間、水につけておく。長くて短くてもいいのかもしれないが、やはり厳格にしたい。さて、いよいよコンロに点火するのだが、特に注意はいらない。火加減は「中強火」。まあ、適当で大丈夫だ。途中で火加減を変えない、かまどさんの蓋を決して取らないということさえ守れば、失敗なくおいしいご飯が食べられる。炊飯する時間は 20 分が目安。17 分ごろから沸騰し、水蒸気が噴出して来るだろう。20 分で火を止めるが“おこげ”が好きな人はさらに 1 ~ 2 分炊いておく。かまどさんからパチパチという乾いた音が聞こえてくれば OK だ。

ご飯が炊き上がった! すぐにでもお茶碗に盛って食べたいところだが、ここが我慢のしどころ。火を止めてから 20 分間はそのまま蒸らしておこう。この間に無駄な水分が飛んでしまい、ちょうどよい具合になるのだ。

ご飯が炊き上がったかまどさんの蓋を取るときは毎回おいしそう! と声が上がリ、つばきが湧き出る。つやつやで絶妙の粘り具合を湛えたご飯。熱々のご飯をふーふーいいながら食べるのは、代えがたい喜びだ。しゃもじでかまどさんの底をこそげると香ばしいおこげが取れるのも、うれしい。

アットマーク・アイティには、かまどさんに感動した知人が家に押しかけてきて目の前でご飯を炊かれ、食べさせられたという社員がいる。その知人の気持ちがよく分かる。

(編集局 垣内郁栄)

## No.142

### 企業を守るためのルール作りとは / [コラム] わが家の喜び

2004年3月4日

## [コラム] 営業企画局員のつぶやき わが家の喜び

わが家のあるじは、今年 40 歳を迎えた SE である。彼の理系出身らしいところは新しい機械をすぐ欲しがるところで、らしからぬところは新しい機械に弱いところだ。家電の配線などは私のほうがてきぱきこなしたりする。その彼がここのところ物欲を抑え切れないのか、毎週のように新しい機械を次々と導入している。先々週末に導入されたのは HDD & DVD レコーダー、先週末は無線 LAN、そして今週末に導入が予定されているのは ETC（自動料金収受システム）だ。

先々週やってきたのは、その名も「スゴ録」という DVD レコーダー。すでにわが家で大活躍！あまりにも簡単に録画、再生できるので、普段なら見もしないような番組までとりあえず録画されている。頭に「超」が付くくらい、面倒くさがり屋な彼がこれまで録り貯めてきたビデオテープには、ほとんどラベルが貼られていない。暇をもて余す週末、「この前録ったあれ、見たいな」と思っても、すぐに見たためしがない。揚げ句の果てには、私が保存版として録画したテープに上書きしたりして、ケンカの種になることもしばしば……。

それにしても「スゴ録」よ、おまえはなんて素晴らしいのだろう！これからは、もうテープを巻き戻したり、早送りして見たいものを探さなくていいんだね。いちいちラベルを貼る必要も、間違っ上書きされることもない……（うるる涙）。これは携帯電話と同じくらいの便利度向上機械だ。まさに「スゴ録」がもたらす“スゴイ画期的な録画ライフ”。これまで、彼が導入した機械の中でもこれは No.1 かもしれない。見た目では区別の付かないテープの大群、いったいいつごろの何が録画されているのか「スゴ録」ライフを満喫するいまとなっては、もうどうでもいい。

その次の週は、わが家に無線 LAN 環境が用意された。別に目新しい機械ってことでもないが、これはこれでかなり便利。週末、夫婦揃って PC に向かう場合など、モデムの取り合いというくだらない争いが避けられる。また、息子たち（猫）が運動会を始めるとコードをひっかけやしないかとハラハラすることもなくなった。世の中ってほんと便利になってるねえ……。

そして、今週末。いよいよ My Car に ETC が搭載される。別に遠出する予定があるわけではないが、彼はどうしても欲しいそうだ。まあ、キャッシュバックキャンペーンもやってるし、いちいち高速の料金所で小銭を探したり、領収書が車内にあふれることもなくなるわけだし……それはそれでまた便利になるならいっかなー、くらいなものだ。でも何より私にとって便利なのは、次々と生活を便利にする機械を導入してくれる彼の存在そのものである。

（営業企画局：荒木直子）

## No.143

### システム開発を変えるSOAとは/[コラム]私が“落第”した理由

2004年3月11日

## [コラム]編集局長の挫折？ 私が“落第”した理由

3月は卒業シーズン。実は私、昨年の4月から「NHK ラジオ英会話」のCDを毎月買い続けていて、この3月（正確には2月発売号）で最終号を迎えたわけですが……、途中で力尽き、今年は卒業できそうにありません（単に3月まで続かなかった、という意味です）。

NHK ラジオ英会話には、やさしいものから難しいものまで全部で6コースあります。この1年でチャレンジしたのは、その中の最高峰「ビジネス英会話」。講座の内容は、ホテル業界で活躍する女性のストーリーを追っていくラジオドラマと、その英会話の解説（これは日本語）が中心です。実践的なビジネス英語を学ぶと同時に、ビジネスのノウハウまで学べてしまう欲張りな講座です。

私は“ラジオドラマを楽しみたい”派なので、内容が分かってほしいと分かってほしいと単に聞き流すだけです。テキストも一応買ってはみるものの全然見ません。これで上達すればラッキー、というノリです。

ではなぜ今年挫折したのかというと、その理由は簡単です。内容がビジネス英会話なだけに、休日に聞いていると、つい仕事のことを思い出してしまうのです。ラジオドラマを楽しむはずが、会議のうまいやり方とか上司への報告とか、休日にのんびり聞けるような内容ではないんですね（たとえ英語が分からなくても、日本語の解説で中身は分かってしまうのです）。

楽しめないおかげでついついCDから遠ざかり、ペースが落ちて、落ち葉舞う11月に「夏休み楽しんでる？」と8月分を聞いている始末。「楽しんでる？ って言われてもねえ……」と、9月以降のCDは本棚の中で開封されないまま、私は落第生になっていきました。

とはいえ、3月は卒業シーズン。今年度は落第したことにします。あと10日くらいで内容を一新したラジオ英会話の4月号が店頭に並ぶはずなので、今度は楽しめる内容の講座を選んで試してみようかなあ、と考えています。みなさんも、新年度は僕と同級生になる、というのはどうですか？

（編集局：新野淳一）

## No.144

### 社内データを経営戦略に生かすBI/[コラム]王子様をねらえ!

2004年3月18日

#### [コラム]読者調査担当のつぶやき

# 「王子様をねらえ!」ってこれじゃテロじゃん改め「エースが散る!」

あ、ども、ご無沙汰です。1年ぶりくらいですねえ。

ええええ、とりあえず何とかやってますよ。相変わらずパツとしないですけど。スノボですか? やあ今シーズンは行ってないんですよ。行けば楽しいのは分かってるんですけど、やっぱこう、なんつうか行くまでがね。何かとでしょ?

でもですね、代わりにテニス始めたんですよ、テニス。いや違いますよ、あの実写版の影響とかではなく(彼女のパンダ姿は好きですけどね)、去年の夏前くらいからスクール入って。もともと僕らの世代って、みんなあのアニメ見て、遊びでやってたじゃないですか。あ、アニメ版知らない? 世代ギャップですなあ。

じゃ、好きなテニスプレーヤーって誰ですか? 僕はレンドル(イワン・レンドル: IVAN LENDL) なんですよなあ。当時のテニス界って、コナーズとかマッケンローとか派手なプレーヤーが人気あったんですけど、1人暗い痩せこけた顔してて、あれは絶対いろんな修羅場見てきてますね。

でそのレンドルの何がいいって、あのバックハンドね。居合抜きみたいな構えからスパッとパッシング撃つと、マッケンローでも抜かれてましたからね。カッコよかったなあ。でもね、弱点もはっきりしてて、ボレー下手なんですよ。ウインブルドンとかだと芝だから前出るんですけど、そのたびに失敗して。僕なんかテレビ見ながらレンドルがボレーするたび「出るなあ」って叫んでました。でもね、そういう武器と弱点がはっきりしてるのって、なんかいいじゃないですか。「不器用ですか……」って感じで。いまのテニスって、みんな弾丸サーブだしショットもボレーもうまいんだけどなんかつまないんですよ。ロボットがやってるみたいで。であなたは? サンプラスですか……価値観の断絶ですなあ。

でまあスクール行くにあたって、僕なりにいろいろ準備したんですよ。とりあえず例の天才少年プレーヤー漫画見たり、amazon.comで「80年代USオープンハイライト」ビデオを取り寄せたり、宮本輝の「青が散る」を読み返したりして。でもね、初級クラスで中学生とかと一緒にレッスン受けてると、その辺の幻想はガラガラ崩れますね。



昔のイメージだと華麗にサイドステップ踏んでボレー決めてるはずなんですけど、なぜか足がもつれてパツパツ転がってて、コーチに真顔で心配されちゃったりして。

とはいえ、テニスはいいですよ。3時まで飲んでても前ほどぶっ倒れて運ばれることもなくなっただし、これは毎週のレッスンのおかげですよたぶん。あと何がいいってねえ、テニスは1人じゃできないってところがいいんです！僕、基本的に休みの日は放っておいてくれて感心なんですけど、やっぱスクールだけやってても楽しくないんで、たまに誰か誘ってコート取ったりするようになったし。普段ちょっと苦手な人とでも、テニスだったらできる気がする。なんでかなあ、ネット挟んでちっちゃな球打ち合うだけなのに、話をするより純粹に一緒にいられるんですよ。

で、最近では会社の友達やらその友達やらと一緒に、テニスサークル始めたんですよ。だいたいニコタマ（二子多摩川:地名）の、そう、あの川っぺりのとこでやってます。隣のフットサル場はヒップでホップな若い奴らばかりだけど、テニスコートには老若男女いろんな人が楽しそうにプレーしてて、いいですよ。ちょうど4月から活動再開しようと思ってるんでよかったら一緒にやりませんかテニス？気が向いたら連絡くださいよ。僕らのレベルですか？まあみんなそこそこ年だし、経験者もブランク10年とかなんで、楽勝で負けると思いますけど。

(@ IT マーケティングサービス:小柴豊)

## No.145

### 効果的なITインフラ監視とは/[コラム]ハルウララ?!

2004年3月25日

## [コラム]営業企画担当の妄想 ハルウララ?!

今年も桜が開花した。これからの日に日にその色と表情を変えていき、毎年のことながら驚嘆の声を上げてしまふであろう美しき満開期を経て、しかし間髪入れずにはらはらと散り始める。われわれが感傷にふける暇もなく、今度は葉桜として力強く生き生きとした生命感を提示してくれる。

見事である。これだけのサイクルを 3 ~ 4 週間の間に実に潔く、実にダイナミックに、まるでわれわれの気分を先読みするかのごとき巧妙さで希望、感動、焦燥、失望、復活、さらには忘却に至るまで絶妙に演出してくれる。

これを人為的なマーケティングに基づいたイベントとして展開してみたら、どうだろう?

担当者の作業は想像するだけでも大変なものである。今年の「桜」が終わった時点ですぐに翌年の開花に向けた準備を始めなくてはなるまい。気候はもちろん、景気動向や同時期のほかのイベントなどを加味して 1 年後の開花日と満開のタイミングを決定する。そこにはデータマイニングに基づく需要予測だけではなく、膨大な数の市場調査データや、グループインタビューなどから導き出される受け手の声も無視することはできない。

日程が決まれば早速準備作業だ。なにしろ「桜」は全国的なイベントである。綿密なプロジェクトマネジメントの下、各地方の担当者と緊密な連携を取り合い、タイミングを計りながら南から北へ「桜前線」を形成し勢いよく咲き誇らせる。

もちろん地域ごとに人気の色を調査し微妙に濃淡をつけることや、どこかで「狂い咲き」を起こし、マスコミへ話題を提供することも怠ってはならない。

その場所やタイミングを 1 つ間違えるとイベント全体の盛り上がりに影響するため、End to End の統合管理が必要だ。

今年のように、満開予定日に降ってわいた「ヤンキース来日、松井凱旋」というコンペティティブな外的要素に対抗するため、開花後に雪を降らせ満開を遅らせるなどという手法は実におもしろく興味深い。

ここまでやるからには、スポンサー探しも慎重に行いたい。花見客を対象にしたビール会社や食品会社、イメージアップを狙うナショナルスポンサーはもちろんだが、メインスポンサーにはぜひ“IT 企業”に一役買ってもらいたいところだ。

このダイナミックでアジャイルな一気通貫イベントを通して、IT がもたらす「スケーラビリティ」や「フレキシビリティ」を余すところなくアピールできるだろう……。

イカン、また思考が暴走してしまった……。

とにかく、それぞれ一本の木々が淡々と生命活動を行っているだけのことに対して、こんな大がかりな作業を見いだしてしまうわたしの想像力、いや妄想力。これこそが桜とほかの花との決定的な違いなのだろう。

今年も「桜の生命力」と「わたしの妄想力」のコラボレーションによる、一大イベントが始まる……。また酒が飲める。

(@ IT 営業企画局 : 手塚暁)

No.146

BPMを目指せ! / [コラム]大阪で生まれた女

2004年4月1日

## [コラム]@IT PR&マーケティング担当の主張 大阪で生まれた女

大阪から東京に来て、この4月でまる12年。干支もぐるりと一周しました。あのころは養命酒を飲まなくても元気だったなあ、と懐かしみつつ、大阪で生まれ育った<sup>(\*)</sup>私が、東京に来て「なんでやー」と思ったこと、「意外とええやん」と思っていることベスト3を紹介します。

ちなみにこのコラムは大阪弁で書いています。関西イントネーションで語尾下げて、音を抜き気味で読んでほしい~。

それでは、「なんでやねんベスト3」からです。

1. 「(休みは) 田舎に帰るの?」と聞かれたこと

→大阪は田舎ちゃうで。関西人は全員、そう思っています。

2. こけた(転んだ)ときに「大丈夫? 平気?」と声を掛けられた

→笑ってひと言「あほや~」と言われるのになじんでたんで、東京に来て初めて言われたときにはかなり引きました。気配りの表現は、東と西ではちゃうみたいですね。

3. 非関西人は関西人と知ると「関西弁でしゃべって」と言うこと

→別にどっちでもええやん(笑)。

次に、「ええなあベスト3」です。

1. 他人のことに干渉しない。プライベートな質問をしつこくされない→大阪では自分の親以上に近所のおばちゃんがかうるさい。うちの母親もその代表。他人のことはええやんと言っても、電車の中の見知らぬ人にも「兄ちゃん、ボタンとれてんで」。ええやないか、そんなん!

\*1 大阪といっても、正確には兵庫県尼崎出身です。さらにガラが悪い?! ちょっとだけエエカッコをすると学校はずっと西宮(兵庫県)なので、元ヤンではありません

## 2. 鰻の蒲焼が美味しい

→関東では、素焼きの後で蒸すのが普通らしいですが、関西では蒸さないです。ふっくらやわやわで、個人的には鰻の蒲焼は断然、関東派。

## 3. 値切るとすぐまけて（安くして）くれる

→関西人の悲しい性なのか、すぐに勉強（安く）してもらおうと思う。値切られ慣れてないのか、値切る女に悲壮さを感じるのか、迫力に負けるのかあっさりまけてくれます。

でも、12年間かかっても解決できてないことがあるのです。この機会に、皆さんのお知恵を貸して下さい。大阪で他人に「そんなんあかんわ」「ちゃうやん」というのを東京ではどう言えばいいのでしょうか。「そんなのダメでしょう」「違うんじゃないですか」では、ケンカになりかねないと思うのは気にしすぎでしょうか……。

(PR& マーケティング：土屋利佳子)

No.147

IPネットワークの基礎を学ぼう / [コラム] 麦チョコを嗅ぎ分けるかわいいやつ

2004年4月8日

[コラム] 営業企画局担当のつぶやき

## 大好きな麦チョコを嗅ぎ分ける かわいいやつ

いや～春ですね。ぽかぽかと陽気が暖かくなり、いつの間にか眠気に襲われてる今日この頃です。毎日の通勤電車は特にそうで、座った瞬間次の駅に着く前に眠りこけてしまい、何度か乗り過ごしてしまっています。

わが家のいたずら娘（ウサギのチャコ、これ→ U^x^U ）も冬眠から覚めたのか、最近は朝起きるのが早く6時になると「早く起きろ～」と言わんばかりケージの中で暴れ出します。人が起きるまでケージの扉をドタンガシャン蹴飛ばし続けるので、あまりの騒音にやむなく眠い体を起こし扉を開けてやるのですが、出るや否や朝っぱらから部屋中大運動会。テーブルの周りをぐるぐるっと走り出します。

毎度のことなので、そんなの放っておいてこのままもう1度寝ようとベットに潜りこむと、今度はベットの上に飛び乗ってきて、「い～こ、い～こして～」とマッサージを要求してきます。それを無視するとズカッドカッと人の上で暴れます。「もー!うるさいなーっ」とは思いながらも半分寝ぼけながら撫でてはやりますが、ついまた眠ってしまい手が止まると、ぐいぐいっと頭を突き上げて催促。毎朝「あ～、あと1時間は寝られたのに」と思いながらも、毎日1人でお留守番してるのですから、チャコにとっては貴重なコミュニケーションタイムなのでしょう。

日中は狭い部屋に放し飼いでお留守番させているのですが、おとなしくお留守番なんてとんでもなく、壁や配線コードをかじるし、雑誌はビリビリにするので、私は毎晩帰宅直後の部屋のチェックが欠かせません。狭いケージの中に何時間も閉じ込めさせているのもかわいそうで、つい出しっぱなしにしてしまうのですが、その代償は大きく頭を悩ませられます。

好き嫌いも多くウサギなのにキャベツや人参は飽きたのかまったく食べず、小松菜やチンゲン菜、水菜などバリエーションを変えてやらないといけない状態で、ワラも市販で売っているものはまったく興味を示さず、専門店でネット通販しているものしか食べません。興味のない食べ物はさっぱり手を付けず、しまいにはそれらにオシッコを引っ掛けるありさまで何ともぜいたくであり困った状態。飼い主の私より栄養のあるものを食べています……。 「このやろ～、お前を買ったときはわずか1万程度だったのに、金のかかるやつだ（と心の声）」

先日、麦チョコを食べていたら興味を示してきたので、ちょっとのつもりであげたら最近ではそれがお気に入り

になってしまいました。袋のカサカサって音が聞こえたところに、ダッーと走りよってきてチョウダイをします。仕方なくあげてしまうのですが、ふっと横を見ると同じような形状のものがあり（ウサギの糞）、いじわるしちゃおーつと麦チョコに糞を混ぜてあげてみました。

一瞬口の動きが止まり、何か違うと考え込んだのか、途中で吐き出しました。やっぱりまずかったようです。それ以降、右手に麦チョコ、左手に糞を同時に差し出してからかっているのですが、左手の糞には目もくれず右手の麦チョコをガツガツと食べています。やはりウサギでも味覚もあり、嗅覚でものを判断する頭脳は持ちあわせているのだな～、ただのオバカさんでないんだと関心させられました。

こんないたずら野郎に振り回されながらも、毎日癒されています。

(営業企画局：榛葉みゆき)

## No.148

# プログラマのための入門講座でJavaを始めよう / [コラム]まばたきをしよう!

2004年4月15日

## [コラム]編集局担当のつぶやき まばたきをしよう!

最近、まぶたの調子が悪いので眼科へ行ったところ、アレルギー性結膜炎とドライアイのせいで目の中が炎症を起こしていると言われました。普段はコンタクトレンズをしているのですが、当然ドクターストップ。しばらくメガネ生活をしています。

アレルギー性結膜炎は子どものころからですが、ドライアイだと知ったのはつい半年ほど前でした。ドライアイというのは、涙の量が少ないために目が乾いて表面に傷が付く状態のことです。ドライアイになったら、とにかく目薬をたくさん差して水分補給するしかありません。

眼科医が言うには、涙と同じ成分の入った目薬、それも防腐剤が入っていない使い捨てタイプがよいとのことです。防腐剤が入っている目薬は、涙と同じ成分だけでできているわけではないし、目に必要な水分を奪ってしまうこともあるとか。

で、防腐剤の入っていない目薬を差して気を付けていたのですが、3週間ほど前、まぶたに違和感を感じるようになりました（眠いとき無理に目を開けていると、まぶたが二重三重になったりすると思うのですが、そういう風にまぶたが上がりきらないような重い感じをご想像ください）。具体的には、左目はまぶたの上にシワみみたいな線ができ、右目は三重まぶたになりかかったまま治らない、という状態になってしまいました。

ドライアイに加えてパソコンを長時間使っていることや、コンタクトを使っていること、花粉症のアレルギーが出たこと、などが一度に重なって炎症を起こしたのでしょう。1週間以上経っても治らないので、眼科へ行った次第です。

さて、処方された目薬3種類を差してメガネ生活をしていると、次第に目の腫れぼったさは引いていきました。でもまぶたの余計な線はなかなか取れません。時々まぶたを引っ張って本来の状態にするのですが、定着してくれません。

そんなときふと、パソコンのモニタをずっと見ているとまばたきが少なくなることを思い出しました。まばたきが少ないとドライアイになりやすいのですが、まぶたの筋肉も変なふうに凝り固まりそうです。ということは、もしかしたらまばたきの仕方を工夫して、まぶたを鍛えてみたらよいかも? と思い、やってみました<sup>(※注)</sup>。



すると、その甲斐あってか 2、3 日で元に戻ってしまいました。バンザイ!

でも花粉症で目がかゆいのは続いているので、メガネ生活はまだまだ続きそうです。

※著者注

上目がちにまばたきすると三重まぶたになりやすくなることに気が付いたので、その逆に、下目がちに目を見開いた状態でまばたきをするようにしてみました。そうすると、余計な線ができていた部分（まぶたと眉毛の間）の皮膚は動かず、まぶただけが動きます。これを繰り返して、まぶただけを動かすようにしてみました。ネットに載っていたドライアイ対策の情報を参考にしています。

(編集局：阿部知衣)

No.149

オープンソースRDBMS MySQLを知ろう/[コラム]春は恒例の大道芸

2004年4月22日

## [コラム]編集局担当のつぶやき 春は恒例の大道芸

大道芸フリークの間では、かなり有名な「第 28 回 野毛大道芸」が 4 月 17、18 日と横浜の桜木町からみなとみらいを中心に大々的に行われました。2 日間で延べ 100 組もの演者が行う数々のパフォーマンスは、まさに見ものです。今回久々に見に行き、堪能してきました。

中国、イギリス、ベルギー、オーストラリア、アメリカ、フランスなど世界各国から集ったパフォーマーによる無料のイベント（チップなどは発生しますが）は、同時に 20 カ所ものところで行われるため、初めに見たい演目をパンフレットで確認してからでないと思ってしまう。ですので、観覧の鉄則はまずパンフレット（100 円）を購入することです。そして多くの人垣を越えてパフォーマンスを覗ける通称「野毛潜望鏡（500 円）」と、地べたに座って見るときに必要な「イベント用座布団 全席自由（100 円）」も欠かせません。

さて、詳細は「野毛大道芸公式ページ」をご覧くださいのがよいと思いますが、今回見に行けなかった方のためにオススメのパフォーマンスをちょっと紹介します。

私が特に気に入っているのは、アクロバティカルで観客を笑わせるピエロの芸です。中でも、若手の中で抜きん出ていると評判の「Clown LOTO」氏。鼻を赤くしたピエロの出で立ちとコミカルな演技で観客を笑わせる一方、パイプイスを 4 段も重ねた不安定な中での逆立ちや中国独楽（こま）を使ったジャグリングなど、すばらしいパフォーマンスを見せてくれます。ご覧になれば、サンフランシスコやワシントンなどでも活躍しているということもうなずけます。

また、江戸時代から伝わる古典芸の江戸糸操り人形の「上条充」氏は、江戸時代の町民や獅子舞といった古風なパフォーマンス。その場の雰囲気を一気におめでたい雰囲気に変えてしまうお囃子とその芸の繊細さは、一見の価値があります。大道芸というよりは伝統芸能という感じです。

最後に紹介するのは、ばかばかしいジャグリングパフォーマーの「アイシュー仮面」氏です。仮面ライダーもどきの出で立ちで、観客の子どもたちの心をはっきりつかむ下ネタやコミカルなアクロバットなど一度見たら忘れられないばかばかしさはまさに大道芸って感じです。芸の失敗も笑いに変えてしまう、そのテクニックは抱腹絶倒間違いありません。「愛、正義、ほんのちょっとの勇気」というキャッチフレーズの意味を、ぜひ次回は確認しに行かれてはどうでしょう。

（編集局：近藤孝）

## No.150

### コンピュータの脆弱性を塞ごう/[コラム]外国語を日本語に置き換えるという作業

2004年4月30日

#### [コラム]編集局担当のつぶやき

# 外国語を日本語に置き換えるという作業

@ IT の IT Architect フォーラムに、The Rational Edge という翻訳記事が月 1 回のペースで掲載されているのをご存じですか。ソフトウェア開発の分析・設計工程に焦点を絞った技術エッセイです。@ IT は日本 IBM (旧日本ラショナルソフトウェアですが) と契約を結んでいるため、毎月 10 本近く公開される The Rational Edge の記事群から好きなだけ記事を選び、日本語に翻訳して公開することができるのです。

翻訳対象記事の選定から編集、制作、公開まで、一連の作業をわたしが担当しています。通常、翻訳作業は専門の翻訳業者にお願いするのですが、ゴールデンウィークや夏休みなどのまとまった時間が取れるとき、あるいは急ぎで翻訳原稿が欲しいとき、はたまた私の気が向いたときなどは、自分で翻訳をしてしまうことがあります。

わたしは必ずしも英語が得意な訳ではないので、自分で翻訳をしようと決めた瞬間から、辞書を片手に、英単語の一語一語をコリコリと日本語に置き換えていくという果てしない苦役を覚悟しなくてはなりません。英語の文章を読むことと、英語を日本語に置き換えることは、まったく次元の違う作業なのです。

翻訳をしているとき、私はいつも、山登りを思い浮かべます。山登り。この極めて孤独で苦しい作業は、しかし、必ずしも悪いことばかりではありません。珍しい鳥のさえずりを聞くことができるかもしれないし、見たこともないきれいな花に出会うかもしれない。そして、一步一步、歩を積み重ねていけば、いつかは必ず頂上に辿り着くことができます。山の上から見る地球の姿は、地表からでは決して見るできない類 (たぐい) の “何か” を含んでいる気がします。

一度でも自分の足で山に登り、降りてくるという経験を積むと、自分の中の何かが変わります。翻訳という作業も同じだとわたしは思います。とはいえ、こういうことは自分の体と頭を使って、実際にやってみないことには実感できないものです。何語のどんな文章でもよいので、ぜひ一度、翻訳にチャレンジされてはいかがでしょうか。

(編集局 : 谷古宇浩司)

## No.151

### 仮想化という潮流 / [コラム] 私はこれで英語を覚えました

2004年5月6日

## [コラム] 編集局担当のつぶやき

# 私はこれで英語を覚えました

こんにちは。メールマガジン担当の富嶋です。前回のコラム (@ IT 通信 No.127) で「IQ が上がれば、フォーラムのページビューは上がるのか」という命題について、その結果をお伝えするとしていました。でも IQ の上げ方が分からなかったので何とも言えません……。

今回は英語を聞き取れるようになるための方法について書きたいと思います。私は帰国子女という経験を持つため、これまで「どうやったら英語が聞き取れるようになるか / 話せるようになるか」といった質問をしばしば受け、そのたびに同じことを答えてきました。もっとも、「なるほど、それは効果がありそうだ」と納得し、実践してくれた友人は 1 人もいません。

「どうやったら英語を習得できるか」への解答は、ずばり「睡眠学習」です。私は高校生当時、自分の意志では決してなかった英語圏での生活に慣れようと必死でした。少しでも英語に触れる時間を延長しようと、毎晩、頭の上のラジオをつけっぱなしにして眠るようにしたのです。

すると日が経過するにつれ、それまでお経にしか聞こえなかった音の連なりが、節に区切られて聞こえるようになり、単語に区切れて聞こえるようになりました。聞くことができるようになれば、後は分からない単語を調べたり、自分で話す練習をしてみたりと自由自在に学習できます。

どうでしょう? 英語は好きだけど、習得途中にある皆さん。おかしく感じられるかもしれませんが、一度だめもとでトライしてみてください。もしうまくいったら、会議室の@ IT クラブ Cafe のに報告してくださるとうれしいです。逆に効果が出ない方、ごめんなさい。でも、脳に何らかの影響を与え、英語への免疫になることは間違いありません。だめもととは言いましたが、睡眠不足になるリスクはありますので、自己責任でお願いします。

なんて偉そうなことを書いてしまいましたが、学習は継続すべきだということも付記しておきます。このところ、私は簡単なスペリングでさえ自信が持てなくなりつつあります……。

(編集局 : 富嶋典子)

No.152

64bit処理が企業システムを変える/[コラム]脱線する女

2004年5月13日

## 【コラム】@ITの真実 脱線する女

こんにちは、今年4月にアットマーク・アイティに入社した鈴木麻紀と申します。私には、モノゴトにはまってしまう癖があります。あらゆるアンテナを駆使して、メディアミックス（つまり本でも映画でも関連あるものはなんでも手を出す）にはまり、全制覇すると熱がスーッと冷めてしまうという困った癖です。

しかも、最初に意図していたところから脱線して突っ走ってしまうこともしばしば。

例えば「浅野忠信」LOVE がきっかけで「殺し屋 1」という映画を観たはずなのに、その映画を作った三池崇史監督にすっかり夢中になって旧作品を次から次へと鑑賞し、気が付いたら「哀川翔」LOVE になっていたり（「DEAD OR ALIVE」サイコー!）。

最近では、母がボクシングを習い始めたので、「あしたのジョー」のビデオと漫画全20巻を進呈し一緒に観たのですが……。母はその後、映画「ロッキー」を鑑賞、「ボクシングマガジン」定期購読など、順調にボクシング関連を摂取しているのに対し、私はなぜか「梶原一輝」にはまり、作品のみならず「梶原一輝伝」を読んでしまったり（あしたのジョーの登場人物では丹下段平 LOVE）。

ちなみにここ1年ではまってしまったものを列挙すると、

- 岡崎京子の漫画（全読破）
- 不肖、宮嶋（入手可能な写真集はもちろんすべてゲット。写真展で本人に電話番号を渡したのですが、やっぱり連絡はありませんでした。下記注を参照）
- Mike Oldfield（レコードですでに持っていたものも含め、CD全タイトル制覇）などなどです。分からない方には、何のことやら? のラインナップですね。

ちなみにいま私がはまっているのは、ベトナムです。春にホーチミンに旅行したのですが、その前に“ベトナムのバックボーンを知っておこう”と「地獄の黙示録・完全版」を観に行ったのが運の尽きでした。ベトナム戦争って、結局ダレとダレがナニのために戦ったのかがどうしても分からなくなり、ベトナム戦争従軍カメラマンをされていた方の従軍記を読んだり、キューバ製の「ベトナム戦争のニュース映像をコラージュした映画」を観たり。

そして今日、斜め前の席の H さんが「フルメタルジャケット」の DVD を貸してくれたので、週末にゆっくり鑑賞する予定です。しかし、追えば追うほどベトナム戦争の「ダレがナニのために」の疑問は解明されるどころかさ  
らに深まるばかり。私がアホなのか、そもそも戦争ってそういうものなのか。

そもそも楽しくお買い物にベトナム旅行に行ったはずなのに、気が付いたらまた脱線しているワタシなのでした。

注：不肖、宮嶋 フリーの報道カメラマンで、本名は宮嶋茂樹。現在、週刊文春で「イラク撮影記」を連載中。

(人財局：鈴木麻紀)

## No.153

### 組織的なセキュリティ対策・ISMSとは/[コラム]役に立つ本、役に立たない本…

2004年5月20日

## [コラム]代表取締役のつぶやき

# 役に立つ本、役に立たない本。 私的トップ5

皆さん、こんにちは。藤村です。早いもので2000年にWebサイト「@ IT」を開設してこの5月22日で丸4年が経ちます。日ごろのご愛顧に心からお礼を申し上げます。

さて今回は、メディアの周辺に立つ自分の原点を意識し、「役に立つ本」「役に立たない本」ランキングを披露します。それこそ「役に立たない」情報なのですが。

#### ●役に立つ本ベスト5

私的な「役に立つ本」の定義は、「短期的に効能が得られること」に尽きます。困ったことが解決される、これが“効能”です。ただ、誰にでも適用できる広いスコープで語りにくいのが難点。以下はこの難点克服を多少ながら意識したランキングです。

1. 「ビジネスマンのためのメンタル・タフネス」 ジム・レーヤー他著・TBS プリタニカ刊
2. 「ブレイクスルー・マネジメント」 司馬正次 著・東洋経済新報社刊
3. 「MBA マーケティング」 グロービス著・ダイヤモンド社刊
4. 「『図解表現』 入門」 飯田英明著・日本経済新聞社
5. 「野球上達 BOOK バッティング」 角晃司監・成美堂出版刊

1 は、プレッシャーを感じやすい、あるいはネガティブ思考に陥りがちという方に推奨します。私がまさにそんなもので。「腹式呼吸」と「イメージ・バンク」（ポジティブイメージを意識的に作り出すイメージ群）の活用法を知るだけでもおトク。

3 や 4 は常に手元に置き参照したい本。何度読んでも効能が減衰しない点は特筆もの。

#### ●役に立たない本ベスト5

それでは「役に立たない本」とは何か？これも私だけの定義は、明快です。「役立つ……」の正反対。つまり、短期的にはなんの効能も提供しないもの。では価値がないのかというと、否。歯ごたえがあり（ありすぎて?）、長期的に思考の地殻変動を引き起こしてしまうようなものを意味します。

- 1 「折口信夫全集 第 1 巻 古代研究 國文學篇 (1)」 折口信夫著・中公文庫 (品切れ)
- 2 「心とは何か—心的現象論入門」 吉本隆明著・弓立社刊
- 3 「メディア論—人間の拡張の諸相」 マーシャル・マクルーハン著・みすず書房刊
- 4 「胎児の世界—人類の生命記憶」 三木成夫著・中公新書
- 5 「天皇がわかれば日本がわかる」 斎川真著・筑摩書房刊

エラそうなタイトルが並んで恐縮ですが、いずれも刺激に満ちていて人間観、文化観が揺さぶられます。人間の系統発生概念を恐ろしく拡張して説いたものが 4。ビジュアル豊富で愉しめます。

どうだったでしょうか? 私的ランキング。皆さんの「役に立つ……」「役に立たない……」も教えてもらえると嬉しいです。ではまた。

(代表取締役: 藤村厚夫)



No.154

UNIXとWindowsをつなぐSamba/  
[コラム]ビジネスチャンスを探めている諸氏に捧ぐ

2004年5月27日

[コラム]人財局担当のつぶやき

# 新たなビジネスチャンスを探めている 諸氏に捧ぐ～北に吉報あり、かも?～

祝復活!「水曜どうでしょう」チャーンチャチャチャチャララーン<sup>(注1)</sup>(興味のない方は以下読むべからず。  
@ IT サイトをゆる〜りとご覧あれ)

2002年9月、6年間の番組にいったん終止符を打ったあの番組がいよいよ復活、いや、本格的に「一生どうでしょう」し始めた。再び「旅に出る」という話だけはささやかれていたが、2004年4月某日、あの愛すべき男たちは新たな旅に向かった。その模様はHTB(北海道テレビ)にて約6週にわたり放送、昨晩は記念すべき第1夜であった。

東京在住「どうでしょうリターンズ<sup>(注2)</sup>」すら見られない私は、番組見たさに羽田空港から飛行機に飛び乗ってしまいそんな禁断症状を抑えるので精一杯である。道民はうらやましい。毎週水曜深夜は「どうでしょう」が見られるんだもの。そうだ、宮城藩士<sup>(注3)</sup>も同様である。1週遅れだが、本州のどこよりも早く新作が見られるのだから。北海道往復航空券じゃなくて、定期券を誰か私にくだされ。ダメなら東北新幹線いつでも乗り放題切符でもよい。私の欲望はとどまることを知らないのである。

私だけではない。全国には番組で訪れた街(通称:聖地)を旅するファンがたくさんいるのだ。もったいないぞ、こんなにおいしい「ビジネスチャンス」を逃しては。全国の放送局やインプレスTVよ、なぜHTBから新作の放送権利料を買わないのだ?絶対に損はしないぞ。むしろ視聴者から感謝のメールや貢物が届くだろう。全国の旅行会社よ、なぜ「最新作『水曜どうでしょう』鑑賞とスープカレー食べ放題」というツアーを企画しないのだ?全国の“どうで症”という不治の病と戦っている藩士たちは、こぞって旅行代金という年貢を納めに行くであろう。

さて私といえば、札幌在住の友達からいつか届くであろうビデオテープをひたすら待つという苦行をスタートさせたばかり。まさに生き地獄である。

(注1) 歌える人は歌いましょう、ご存じオープニングテーマ。

(注2) 「水曜どうでしょう」再放送バージョンの番組名。全国27道府県にて放送中

(注3) 宮城県のどうでしょうファン。同様に東北地方のファンを東北勢とも呼ぶ。

(人財局:小島貴香子)

## No.155

### W3Cってどんな団体？ / [コラム] 日曜カーター、風になります

2004年6月3日

## [コラム] 編集局担当のつぶやき

# 日曜カーター、風になります

みなさん、カートってご存じですか？ アメリカンレーシングスポーツの代名詞 CART ではなくて、Kart です。日本ではゴーカートといったほうが通じるかもしれません。前に勤めていた職場の同僚とちよくちよくカートに乗りに行ってます。もっとも、本格的にカートを始めると数百万円があつという間に飛んでいってしまいますから、もっぱらレンタルカートに乗るお気軽カーターです。

簡単にカートを説明します。カートは F1 などに代表されるようなフォーミュラレーシングスポーツの最初の入り口になります。F1 ドライバーの多くはカートでレースを覚えました。皇帝ことミハエル・シューマッハの実家は、カート場を経営しています。1 人乗りの車体、むき出しのタイヤ、右ペダルがアクセルで、左ペダルがブレーキ。基本的な構造は F1 と一緒です。載せているエンジンは、排気量 50cc から 200cc 程度。原付バイクのエンジンや発電機などの汎用エンジンです。鉄で作られたフレームに、ほんの気持ち程度のカウルが付いています。

レンタルカートとはいえ、普段走っているホームサーキットでは平均時速 40 キロ程度は出ます。ストレートでアクセルを全開にすれば、時速 60 キロに達するかもしれません。カートは、座椅子を乗せた板に 4 つのタイヤを付けたようなものですから、視界は地面を這うような感じになります。体感速度は実速度の 2 ~ 3 倍といわれていますので、時速 100 キロの世界に生身を晒すことになります。コーナーを攻める時の遠心力で体はシートに押さえ付けられ、気が付くとあざだらけになっていることもしばしばです。

レンタルカートは、専門知識や運転免許証がなくても誰でも楽しむことができる手軽なスポーツです。みなさんも気軽にチャレンジしてみてください。きっと病みつきになりますよ。時間当たりのレンタル料金がほかの娯楽に比べて高いのが悩みの種ですが……。

(編集局：岡田大助)

## No.156

### XMLプログラミング関連記事特集 / [コラム] 見えない壁を越える時

2004年6月10日

## [コラム] 営業企画局担当のつぶやき 見えない壁を越える時

先月より営業企画局配属となりました小野澤です。

私の前職のオフィスは竹橋にありました。大手町、丸の内へ行くには電車で移動するにも、タクシーを使うにしても中途半端な距離にあるエリア。天気の良い日はテクテク徒歩で移動していました。

オフィスを出て、錦町河岸交差点を左折し、首都高速の高架脇を歩いて、神田橋を目指します。橋のたもとに佇む人化した黄金虫の「豊展観守像」（千代田区民の豊かな発展を願っているらしいが、ひいき目に見てもこれはカッパかゴキブリにしか思えない）を横目に見つつ橋を渡ると、高層ビルが建ち並ぶ大手町の光景が目飛び込んで来ます。

大手町は金融、通信の街。出発地点の竹橋が皇居と神保町の書店街に挟まれて、時間がゆっくり流れているエリアなのに対し、大手町に入ってくるとピーンと張りつめた空気を感じます。なにか目に見えない壁を越えた感じ。時間の流れが速い。背筋がスツと伸びて、足取りも自然と速くなります。さあこれから一仕事するぞ！と気分が高揚したものです。

私にとって、大手町はわりと身近に感じることはできましたが、アットマーク・アイティのある丸の内はとても敷居の高い街でした。以前、仕事でこのエリアに出張ったときは、同行した上司もなんとなく腰が引けている様子。その日はよく晴れた初夏でしたが、彼は「なんか空気が重たい気がする」と言ってました。私と同じことを感じていたのかもしれませんが。

第六感と言うと大げさですが、こんな風に“空気”を感じ取ることは案外大事なことじゃないかなと思ってます。場所によって街の空気が異なるのと同様に、企業によって“空気（社風といいますよね）”は相当違います。訪問先の受付で“空気”を感じ取って、それに合わせてプレゼンの仕方も変えてみる。ノリを外してしまうと結構イタイですから……。

こんな風に営業で外部の人とお会いするときは、私はどの会社にもある“社風”の違いを感じたり、街の中に張り巡らされている目に見えない壁を越えるときに気持ちが切り替わってゆくさまを観察したりと、自分の肌感覚を楽しむことにしています。

ちなみに、あるお客さんから教えてもらった話ですが、名刺には「長生きする会社」を見分けるコツがあるそうです。縦書き、横書きどちらでも OK ですが、紙は縦長に使うことが長生きの秘訣なんだとか。ほんとうかな？ 迷信のような気もしますが、そんな見方にもとづいて名刺を地図にマッピングしたら、街の新しい一面を知ることができるかもしれません。

(営業企画局：小野澤崇)

## No.157

### オブジェクト指向を極める / [コラム] 一億総ブロガー? 時代

2004年6月17日

# [コラム] 事業開発局担当のつぶやき 一億総ブロガー? 時代

ブログ (blog) というモノが一般的になって久しい感があります。@ IT 通信をお読みのみなさまなら、ご自分のブログサイトをお持ちの方も多いと思います。

私自身がブログなるモノの存在を知ったのは、アットマーク・アイティに入社した去年の夏のコト。それまで IT 業界のすみっこの方にはいたものの、Web の世界とは縁遠かったせいか? (言い訳です) ブログについてはまったく無知。ド素人でした。

@ IT 用語辞典で「ブログ」を検索してみました。

「なにになに? 日記のような感じ!? 個人的な情報発信活動ね」

入社当時、私の所属する事業開発局ではそのメンバー 4 名のうち、半数の 2 名がすでに自分のブログサイトを持っていて、トラックバックがどうしたこうしたなどとナニやら楽しそうに情報発信している様子でした。私は、「自分のブログサイトを持つのも面白そうだなあ〜」とは思いつつも、流行りにノルのは嫌だったのと、いまさらな感じがして手を出さずにいました。そのうえ、片道 2 時間という長距離通勤で時間がなかったのです (ハイ。言い訳です)。

そんなこんなで数カ月が過ぎたところで事件が! うちの職場の私以外の残る 1 名。ブログなんかにかもっとも縁遠いと思われたスロットマニアの T 氏がナント! その趣味を活かして? スロットブログを始めたではないですか! その時味わった大きな大きな疎外感はいまでも忘れません。そして「いつか私も……」と心に深く深く誓ったのです。

あまりに深い誓いだったため誓いを立てたことも忘れてしまい、それからだいぶ時間が経ってしまいましたが、いまでは私も自分のブログサイトを持つまでになりました。とはいえ長距離通勤のせいで (トコトン言い訳) なかなか更新ができずコンテンツはほとんどありません。情報発信し続けている人は偉大だなあと、しみじみ思います。さ〜て、ネタ探しネタ探し!

(事業開発局: 浅野正徳)

No.158

XML Schemaを覚えよう / [コラム] スローフード

2004年6月24日

## [コラム] 編集局担当のつぶやき スローフード

家庭用パン焼き器を使い始めて、かれこれ8年くらいになります。この間、ずっと自家製パンを食べてきました。よく続けていると、われながら感心します。

材料は小麦粉、水、塩、ドライイースト、それにイースト菌を発酵させるための水飴。これを焼き器にセットすると、3時間ほどで円筒型のパンが焼き上がります。

初めて自分で焼き上げたパンを食べたときには、わくわくする気持ちが先走って、口に入れる前から「うまい!」という言葉が出てきそうな雰囲気でしたが、実際に食べてみると「???」。まずくはないけれど、「うまい!」と叫ぶにはほど遠くて、なにか物足りない味でした。精いっぱいほめ言葉で、せいぜい「素朴な味」くらいでしょうか。

それでもしばらく食べ続けていると、パンのことが少し分かってきます。パンはそもそも小麦粉の味しかしないはずで、焼き上がりに多少の違いはあっても、味の良しあしなどないはずなんです。わが家のパンになじんでくると、市販のパンには小麦粉以外の味（人工甘味料や香料など）がどっさり入っているのが分かってきます。添加物の味に慣らされていたから、初めて自家製パンを食べたときに、何か物足りないと感じたわけです。

そうと気付いてからは、わが家のパンしか食べる気にはなれません。特に、焼きたてのパリッとした芳ばしさは最高です。パン好きの方は、ぜひともお試しあれ。普通の小麦粉でも十分おいしく焼けますが、ライ麦粉や全粒粉を使ったり、クルミやココアを混ぜてみたりと、いろいろ楽しめますよ。

(編集局：上島康夫)

No.159

Eclipseはどこまでお手軽なのか？/[コラム]ギリシャ神話の面白さ？！

2004年7月1日

## [コラム]営業企画局担当のつぶやき ギリシャ神話の面白さ？！

夏が来る。しかも今年はオリンピックイヤーである。野球・サッカー・陸上・水泳など、また眠れない日々が続くことになりそうだ。特に今回のオリンピックはその発祥の地アテネで開催される。近代文明がひと回りした節目だとか、歴史上特別な大会だとか言われているが、単純に楽しみである。楽しみのあまり、最近すでによく眠れていない。

そんなことがあってかなくてか、最近ギリシャ神話に関する本を読む機会があった。神話の中身と文化的背景について考察されているのだが、これがなかなか面白い。内容自体もさることながら、これまで 35 年生きてきて培ったギリシャ神話についての知識がここまで間違っただけであっただけか! という再認識がわれながら面白かった。

「培った知識」などというとエラそうな言い方になってしまう。これまで「ギリシャ神話」にはほとんど興味はなかったのだから、恥ずかしい話がゼウスとかいわれても「ああ、“リングにかけろ”に出てきた強い奴ねえ」くらいの印象しかなかった。ゼウスが神様の中でも一番偉い人 (!) であることは知っていたが、“すかしたいやな奴”というイメージであった。ところが実はとても人間くさい“いい奴”のようだ。これはすごい発見だった。読んでいない人には伝わらないだろうが感動で涙があふれた。

そのほかにもヘラクレスとかプロメテウスとか、これまでなんとなく知っていた名前についてその大本を知ってみると、“なんとなく知っていたこと”のなんといい加減なことか! 読んでいてイメージにとらわれていた自分がさらけ出されているようで思わず反省した。号泣もした。

これからは先入観にとらわれることのないように、きちんとした知識を見つめたいものだ。まずはオリンピック代表選手たちの生い立ちを調べようと思う。まずは柔ちゃんの身辺調査あたりか……。また涙があふれそうだ。

(営業企画局:手塚暁)

## No.160

### データベースを使いこなそう / [コラム]世界の中心で、グチをさげぶ

2004年7月8日

# [コラム]@IT自分戦略研究所サービス担当のつぶやき 世界の中心で、グチをさげぶ

すごい人気ですな、「世界の中心で、愛をさげぶ」。本は 300 万部を突破、映画もヒットだそうです。今度は TV ドラマ開始です。純愛モノには興味のない僕は、新聞の番組紹介欄で初めてあらすじを知り、ちょっとびっくり。

主人公たちはなんと僕と同じ年。朔太郎と亜紀ほど純愛でないにしても、僕も高校 2 年生のとき、付き合っていた女の子がいました。一緒に帰ったり、長電話したりと楽しかったなー。

実は先日、高校時代の友人の結婚パーティーでその彼女に久しぶりに再会。昔話に話が弾んでひとしきりすると、彼女は「私たち、ずっと付き合っていたら、いまとは違った人生になってただろうね」としみり。

「ふざけんな、お前がフットンだろうが」と言いたい気持ちを抑え、続きを促すと、出るわ出るわグチの数々。ダンナの悪口や近所の主婦のこと。いかに自分が不幸な環境にあるかを滔々と話します。

思わず説教しました。「グチってどうする? それじゃ、いつまでも幸せになれない。周囲に不満があるなら、自らが周囲を変えていけばいいじゃないか」。昔の彼氏なら、きっと慰めてくれると期待していたであろう彼女は驚きの表情。

“周囲に不満があるなら”というのは、実は転職で失敗する方々に多い例。いまの会社や仕事に不満で、転職で解消しようと思っても成功するはずがありません。たとえ転職できても、転職先で不満がたまれば、また転職を繰り返すことに。

不満が転職を考えるきっかけになることは是ですが、転職の目的になることは否です。これは 3 年以上に渡って、@ IT ジョブエージェントという転職支援サービスを運営して得た経験則です。

朔太郎の亜紀への想いには遠く及びませんが、高校時代の彼女への想いは特別です。幸せになってほしいものですが、僕の説教を聞いた彼女は「あなたは高校時代も説教して私をフットンのよ」。だからお前がフットンだつてば。

(@ IT 自分戦略研究所サービス担当 : 小林教至)



No.161

XUL(ずーる)って何?/[コラム]どうするどうなる日本球界

2004年7月15日

## [コラム]@IT事業開発局担当のつぶやき どうするどうなる日本球界

季節はすっかり夏、暑い日々が続いています。夏といえばビールに枝豆、野球観戦ですな。私にとって野球は夏ってイメージがあります。野球観戦といっても球場に足を運ぶことはまったくなく、もっぱら家でテレビ観戦なんですけどね。

さて、野球といえばいまは避けて通れない話題がありますね。そう、近鉄バファローズとオリックスブルーウェーブの合併問題、そしてセ・パ両リーグの合併問題です。

ともに関西の球団、私も実家が大阪ですので気が気ではありません。子供のころから近鉄の試合はよく見に行ったものでした。なにせ、いつ行ってもガラガラ、外野席でキャッチボールしながらの観戦もできる、すばらしく開放的な球場でした。もちろん大阪ドームみたいな球場ができるもともとずっと昔、藤井寺球場と日生球場を本拠地にしてたところです（そういう観客動員数の少なさが大きな問題、というのはそのころは知りませんもんね）。

つい先日、大激震が走って以来、スポーツニュースもこの件を取り上げない日はない状態。私も日本プロ野球を愛する1人として注目してきました。

が、何かキナ臭い。

最初は近鉄の球団名売却に始まり、それが近鉄とオリックス合併、セ・パ両リーグ統合へと話があるで意味トン拍子に進んでいます。オイオイ、これじゃまるで確信犯、最初っからそういう魂胆かよ、と突っ込みたくなります。

どう考えても、近鉄は球団存続を第一に考えていたとは思えない行動をとってます。球団名売却、それがダメならいきなり合併。本来、インパクトの大きくなる事項をちらつかせつつ落とし所を見付けるとというのが交渉の大前提。この場合だと、合併をほのめかしておいて、それに他球団が難色を示したら球団名売却で決着させる、というのが大人の話し合いってもんでしょ。どうやら前々からシナリオができていた、と勘ぐってしまいたくなるっつてもんですよ、これでは。それにライブドアの堀江社長が買収に動いたときの他球団オーナーの冷ややかな対応。「余計なことするな」といわんばかりです。近鉄ファンは大歓迎してたのに……

真相がどうなのかは当事者ではないので分かりませんが、あまりにもスムーズな進行にうさんくささを感じるのは皆さん同様なようで、スポーツ関連のコラムでもこの件については詳しく書かれています。半分は邪推なのかも知れませんが。

巨人戦のテレビ放映権料がセ・リーグ各球団の大きなアドバンテージというのは理解できますが、この時期のリーグ統合は日本球界の将来に大きな影を落とす、そう思えてなりません。ただでさえ巨人戦の視聴率と観客動員数の落ち込みはひどい状況なのに、それに頼ってチーム数を減らしてどうすんの? って感じです。

それよりも、東京近辺に集中しているチームを地方に分散させ、チームカラーを明確にしていく、もっと交流戦を行い新鮮なカード作りに努めるなど、いろいろできることはあるんじゃないでしょうか、といいたくりますが私は悲しいかなファン。すべてを決定しているオーナー様には声がとどきません。

選手会はストも辞さじ、と悲壮な決意を固めたようです。それに対して、オーナーやリーグ会長の反応はまたも冷やか。セ・リーグの会長さんなんかは「良識ある判断をされると思う」ですと!? 話し合いによる解決を求めるストは良識のない行動なんでしょうか、この人たちにとって。「やったれ、選手会」と叫びたい気分です。

ついに球界初のスト決行となるのか、それとも選手会とオーナーたちとの話し合いが実現するのか? この騒動は、旧態依然とした日本プロ野球界の改革を進めるための痛み。ファンとしても甘受する覚悟はできました。今年の夏は枝豆とビールだけで我慢します。

※このコラムは 7 月 11 日時点での各社報道に基づいておりますので、掲載時点での事実と食い違っている可能性があります。

(事業開発局 : 友田康一郎)

No.162

SSL-VPNをもう一度理解する / [コラム] アンニョンハセヨ

2004年7月22日

## [コラム] @IT 営業企画局担当のつぶやき アンニョンハセヨ

先日夏休みをいただいて、韓国へ旅行へ行ってきました。初めての海外旅行。1カ月前から有給届けを出して、届けを出したその日にパスポート申請をして、気合が入りまくりました!

韓国へ行くまでの約1カ月は、準備に大奮闘しました。まずは、女二人旅だから、買物、エステ、占いなどなど、情報収集。韓国へ行ったら必ず買いたいアイテムリストも作りました。定番のキムチ、韓国のり、メガネ、帽子そしてアイシャドウ……。

それから、最近、メガネを韓国で作ると安かって知っていました? 日常の物価は日本より安いのは有名だけど、メガネを作るのも激安なんです。その場で本格的に視力検査して、10分で出来上がり。時間がかからないから、絶対に1つは買わねば! と… (実際に3個作りました)。本当に楽しくて、あつという間だったんです。旅行当日までの日々は。

いざ韓国。初めて降り立った海外は、梅雨で豪雨。全身ずぶ濡れ。しかも寒い。北海道と大して変わらない気候。つい、実家に帰ったのかと錯覚してしまうくらい。

空港で現地ガイドさんと合流して、初めて会ったそのガイドさんの第一声が「アンニョンハセヨ。あなた在日韓国人でしょう? お帰りなさい」いえ、私は純粋な日本人です。そ、そのはずです。だって、パスポートもちゃんと日本国って書いてあるし。

日本でもよく間違われるけど、現地の人にいきなり言われるなんて、結構ショック。どこが似ているのかと聞けば「あなたは、顔も雰囲気も空気もすべてが韓国人。間違いなく韓国人よ!」と断言されちゃいました。

実際、ソウル市内を歩いていると、一緒に行った友達は日本語で店員さんに声をかけられるのに、私にはなぜか韓国語。勉強してないから全然分からないし。日本語で「日本人です」っていうとすごく驚かれてしまう始末。

大雨の中、ソウル観光だったので明洞 (ミョンドン)、南大門、東大門、狎鷗亭 (アックジョン) などなど歩きまわりました。その成果は、社内の所属している局の人たちは知っています。休み明けにアイシャドウのメイクで散々笑われてしまいました。

それでも私は大満足。韓国大好きになっちゃって、また冬に行こうと決心しました。

みなさんも、国内旅行よりも格安で、免税店もたくさんある韓国へぜひ足を運んでみてください。きっと懐かしき 10 年前の日本を思い出せるはずです。

(営業企画局：西原しのぶ)

## No.163

### 侵入検知システム講座 / [コラム] 台湾夜市への誘い

2004年7月29日

# [コラム] @IT 自分戦略研究所 サービス担当のつぶやき 台湾夜市への誘い

こんにちは。@ IT 自分戦略研究所の鈴木麻紀です。先だって、友人と台湾（台北）に行ってきました。台湾というと、ゆっくり時間が過ぎる癒しの島というイメージもありますが、庶民派のワタシのお勧めナンバーワンはすばり「夜市」。滞在中毎晩行ってしまったぐらいお気に入りの場所なのです。

夜市。それは台湾の庶民の生活と遊びの場所。駐車場みたいな広場や通りに、食べ物や雑貨やゲームの小さなお店や屋台がワサワサと集まり、お祭りの夜と原宿の竹下通りと下町の市場が合体したようなアヤシクも楽しい総合お楽しみスポットなのです。台北では市内各所に大小さまざまな夜市が立ち、毎晩地元の皆さんの胃袋と楽しい気分を満たしてくれます。

おもしろいのは、その大胆なミクスチャーっぷり。洋服やグッズのお店の合間に普通に臓物の屋台が混在していたり、香水屋の軒先でペット用の子豚を売っていたり。服→靴→臓物→おしゃれ小物→臭豆腐→CD ショップ、というように脈略なくお店が続いています。

飲食の屋台が集まっているコーナーは最も活気に溢れた一角です。豚のお尻の皮を煮込んだものやブチトマトの飴がけ（美味!）、ワタシの顔より大きいフライドチキン、肉汁たっぷりの豚マン、ふわふわのカキ氷（パパイヤやマンゴーのてんこ盛り）などを、地元の人に混じってワシワシと食べまくったのでした。

ちなみに台北では想像以上に言葉が通じません。注文は指差しで。美味しい! ありがとう! の気持ちは、「謝謝」とボディランゲージと、とびっきりの嬉しそうな笑顔で乗り切ります。

美味しいもので満腹になり、激安アジア雑貨で物欲を満たし（日本に 100 円ショップがあるように、台湾には 10 円ショップというものがあります。1 元が約 3.5 円なので、35 円ショップですね。）、仕上げに「5 分間マッサージ（足湯付 100 元）」と「バンブー糸を巧みに操って顔の産毛を抜くお手軽アジアエステ」でリラックスして、台湾夜市の夜は更けてゆくのでした。

ああ、また行きたいなあ。

(@ IT 自分戦略研究所 サービス担当 : 鈴木麻紀)

No.164

SQLの基礎 / [コラム] パソコン今昔物語

2004年8月5日

## [コラム] @IT 自分戦略研究所 営業担当の つぶやき パソコン今昔物語

自宅で使っていた個人の PC が 5 年目に入り、動きがやたら遅かったりフリーズしたり果てはまともに画面が表示されなかったりと不調続きだったので、家族に「困った。パソコンがないと仕事にも影響が出る」とか言い訳をして、新しいものに買い替えました。十数年前なら買い替えというとボーナスを丸ごと突っ込まないといけなかったのが、何百倍も高性能になりながらも価格は下がって気軽に買い、助かります。

思えば自宅に身銭を切ったマシンが来たのはエポックメイキングな「Windows 95」が出る直前の 1994 年だったから 10 年前ということになります。そのときは C 社のオールインパソコンで、その次は通販専門の G 社、次も通販の D 社と高性能で安い外資系マシンをひいきにしています。

10 年前、メインメモリは 8MBytes とか 16MBytes で大騒ぎしていましたが、今度わが家にやって来たマシンのメモリはメモリダブル増量キャンペーン中だったので、なんと 1GBytes！ きっと能力の 10 分の 1 も使わないので大いなる無駄と思いながらも、なぜか人に自慢したくなります。

そういえばやはり 10 年以上前に、シリコングラフィックス社のマルチメディアに特化した「Indy」というワークステーションで、メモリが 1GBytes 乗っているというのを横浜の展示会場で偶然見かけ、しばらく呆然と固まったのを思い出します。ハードの価格は数百万円で、ソフトも入れると 1000 万円以上だったような記憶があります。

このマシンでもう 1 つ大いなる無駄かな、と思ったのが DVD ドライブ付きのマルチユニット。バックアップ用には外付けハードディスクがあるし、音楽や映像に特に興味があるわけでもなく、家電量販店の CD-R や DVD-R のメディア売り場で DVD メディアを手にとったものの、いったい何に使うのか？ としばらくその場で考えてしまうほど。結局 DVD メディアは必要に迫られてから買うことにして、単なるアプリケーションソフトのインストール用 CD-ROM ドライブとして活用することになりました。

そして不調だったマシンをどう処分しようかと思いつきながら、後付のグラフィックボードを純正に付け替えたり、誰かにあげてもいいようにハードディスクをフォーマットし直して OS を再インストールすると、見違えるようにサクサクと快適に動くようになったということは間違っても家族にはいえません。

(@ IT 自分戦略研究所 営業担当 : 神寄真澄)

No.165

WinXP SP2、混乱を招かぬ展開準備を / [コラム] 僕のフィールド・オブ・ドリームス

2004年8月12日

## [コラム] 総務管理局長のつぶやき 僕のフィールド・オブ・ドリームス

最近、サッカー人気に押されて野球の人気低落が話題になっていますが、わが家では野球人気が復活しています。7歳の息子が学校の野球チームに入ってからというもの、プロ野球をテレビ観戦して試合結果を新聞で確認すること、夏休み恒例のラジオ体操の後にキャッチボールすることが日課になっているほどです。

自分も小さいころは、新聞に載っているチームの勝率や打率を暗記して、学校で自慢していたことを思い出しました。とはいえ、田舎育ちですのでテレビ中継は巨人戦しかなく、自然に巨人ファンになってしまっていたのですが……。

野球観戦のいいところは、攻撃は攻撃、守備は守備としてじっくり見られるところ。また、観客であっても、「次はインコースに投げた方がよい」などプレイヤーになった気分で見られることの2つではないでしょうか。自分の子供もいつか野球をやってくれたらいいなと思っていましたので、うまい具合に好きになってくれて、心底喜んでいきます。TVゲームばかりやっているよりはずっと健康的ですしね。

息子とキャッチボールできる楽しさは、男親冥利に尽きます。とはいっても、まだ捕ったり投げたりが満足にできないレベルですので、ぼろぼろ落球します。つい「そんなボールが取れないでどうする、誰々ちゃんはちゃんとできるじゃないか」などと声を荒げてしまうこともあります。「松井」(!) とまではいかななくても早くうまくなって野球チームで活躍してほしいという親の欲求が出てしまいます。

人にもものを教えるのは好きなのですが、息子に野球を教えるのは、そんな親の欲目が邪魔してうまくいきません。ですが、息子が所属する野球チームのコーチも二つ返事で引き受けました。自分用にもグローブ・バットのセットを買い、結局、息子以上に張り切っています。

子供のころから野球は好きでしたが、長い時間を経て、いまさらに強く親しみを感じています。大学で始めたラグビーはケガがつきものなので、さすがにいまは楽しめませんが、野球なら歳をとっても楽しめます。

皆さんも、夏休みは、ずっとやりたかったことを思い出すのにいいタイミングかもしれません。アットマーク・アイティも、私を含めて平均年齢が高めですので、フットサルは無理でも、野球はいいかも。スポーツをするのが苦手な人にも楽しいですよ。プレイヤーでなかったって、ビール片手の野球観戦は最高ですから。（総務管理局：工藤靖）

## No.166

### そろそろIPv6も実用段階へ/[コラム]夏らしいことしたい

2004年8月19日

# [コラム]PR&マーケティングのつぶやき 夏らしいことしたい

みなさんの「夏はやっぱりこれだね」って、いうものは何ですか？

ビヤガーデンに行くこと？ 野球観戦？ それとも、うちの編集局長のように、屋外で泳ぐことだったりする方もいらっしゃるのでは。

あたしはといえば、ここ数年はクーラーをつけた部屋で寒さに震えながらお昼寝することぐらいで、これといって夏を満喫してないんです。そこで、今年はいつもしないような夏らしいことをしよう、いや、するんだと決意。したいとは思っていてもしなさそうなこと。それは夏だからではなくても嫌いな「めんどくさい」ことでした。

めんどくさいことも数あれど、できることから手をつけようと考えたのが「浴衣を着る」こと。えっ、あんまりめんどくさくないですか？ そんなこともないですよ。まず浴衣を持ってないから買いにいかなくちゃいけない。普段、買わないから、どこで買えばいいやら、いくらぐらいするのか、何を選べばいいかわからない。着付けだってできないし、保管も不安だし。と、まったく自慢にはなりません、あたしにとってはそれぐらいハードルが高いんです。

といっても、とにかく買っちゃえば、もったいないから着るようになると思い、買いましたよ。お店の人に勧められるがままに一式。試着とかしていくうちに気分は盛り上がっていたんですが、お会計をすると、コート1着買うより高い値段で啞然。おまけにどうせ買うなら個性的なものと思い、椎名林檎みたいな感じがいいと大正口マン風にしました。

斬新なデザインながら、店員さんが褒めてくれた通り似合わないこともない。だけど、ちょっと変わった人？ 「同じデザインの浴衣を着ている人には、まず会いませんよ」というセールストークにウソはありませんでした。路線を間違えた気が。

ともかく、子供のころに着ていたキティちゃん柄、学生時代の母校の音頭を踊るために着ていた浴衣\*と、いままでちゃんとした浴衣を着たことがなかったので、うれしいです。この夏に5回は着るぞ。浴衣で出勤だってしたいぞ。それは無理かな？



\* 母校の音頭

兵庫県西宮の甲子園球場近くにある「武庫川女子学院」では、「武庫川音頭」というオリジナル音頭があり、全身に学校名が入った浴衣を着て踊る。中学から大学までの全校生徒が音頭を踊る姿は圧巻。ちなみに、校歌は阪神タイガースの応援歌「六甲おろし」とメロディが酷似。近いからか?!

(PR & マーケティング担当 : 土屋利佳子)

## No.167

### データベースの運用管理 / [コラム] 使える? 遊べる! Google 画像検索

2004年8月26日

# [コラム] 総務管理局担当者のつぶやき 使える? 遊べる! Google 画像検索

ご存じでしたか、巨人の清原の一人称って「ワイ」じゃないんですよ。裏切られた苦い気持ちが口に広がります。総務管理局の田村です。よりによって「僕」って。

こんな枕を使ってしまうほどコラムのネタに困っておりますもので、たったいま隣の席の土屋さんに「何かネタないっすか。ないっすか。」と頼ったところ「こないだ、総務局長の工藤さんはあしたのジョーのマンモス西に似ていると発覚した。あとクッキングパパの荒岩さんにも似ている」という話をしてくださいました。

そのネタをどう膨らましていいものやら。なんというか、高いところにバナナが吊るされた部屋に、木箱と棒と一緒に放りこまれたような気分です。私なら、取れないバナナを哀しみ、その棒で木箱を叩きます。荒岩でマンモス西を打ち鳴らします。イアン・ペイスのように。

ところで、マンモス西ってどんな顔をしていましたっけ。さっそく Google の画像検索の結果、トップに出てきたのが「岸边シロー」でした。無性にやるせない。あ然と吊るされたバナナを見上げるばかりです。以前、「埴谷雄高」で画像検索をした際に、本人を差し置いて「モー娘。の矢口」がポカンと口を開けている画像がトップにヒットしてしまったとき以上の虚脱感に襲われました。

この話、どうまとめていいものやら。あのバナナは酸っぱかったに違いない。来週はとても楽しくて実のためになるコラムなのでお楽しみに。タタタタタタタタ (脱兎の如く逃げ去る田村)

タタタタタタタタ (後ろ向きのまま戻ってくる) ちなみに Google で「バナナで釘が打てます」と検索すると 295 件ヒットします。意外に浸透している言葉なんですね。「バナナで釘が打てます」って。では、このへんで。タタタタタタタ。

(総務管理局担当: 田村千晶)

## No.168

### 市場争奪戦の始まるSOAを知る / [コラム] 我が家の「キックキック」ブーム

2004年9月2日

## [コラム] 営業企画局担当者のつぶやき 我が家の「キックキック」ブーム

自分が熱中していることの 1 つにスポーツを見ることが挙げられる。スポーツを見るといっても、なかなか競技場に行くこともできずにテレビ観戦中心なのだが。

F1 や NBA やテニスも以前はよく見ていたが、最近では昔ほど熱中して見なくなった。いまでも昔と変わらずに見続けているのはサッカーである。Jリーグに海外リーグに日本代表チームと注目する試合は数多い。

中田英寿を筆頭に海外で活躍する日本人選手も増え、観戦の楽しみは海を越えて広がっている。今年は加えてオリンピック代表チームという楽しみな試合もあった。こちらは残念な結果に終わってしまったが、2006 年ワールドカップ予選はこれからも続くし、まだまだ楽しませてもらえそうである。

私の趣味は、家族にも確実に影響を及ぼしているようだ。妻は以前はサッカーのことなど何も知らなかったが、いまではルールや選手の名前などもなかなか分かるようになり一緒にテレビ観戦を楽しんでいる。

今年 3 歳になった娘もサッカーのことを「キックキック」と呼び、日本代表の試合では「ニッポン!ニッポン!」と大声で叫びながら一生懸命応援している。

先日家族で、現在日本代表チームのフォワードとして活躍している玉田選手がいる柏レイソルのファン感謝祭に行ってきた。自宅から自転車でもいける距離にサッカー場がありながら、そこに足を踏み入れるのは初めてだった。

イベントのキックターゲットに挑戦している少年たちを見ながら、娘とグラウンドの芝の感触を楽しんだ。娘はどちらかといえば、その後にあった花火大会の方を楽しんでいたようだが……。

猛暑と呼ぶにふさわしかった夏が終わり、だんだんと秋の気配が漂ってきた。この秋は、サッカー場に足を運んで、親子でのサッカー観戦を実現したいと考えている。我が家のサッカー熱は、まだまだ冷めそうにもない。

(営業企画局担当 : 執行一浩)

## No.169

### 求められている情報漏えい対策 / [コラム] お年寄りに優しい携帯電話ください

2004年9月9日

## [コラム] 事業開発局スタッフのつぶやき お年寄りに優しい携帯電話ください

1 週間前、父が入院した! と母から連絡があり、すっとなで実家へ帰った。幸い、大した病ではなく、「病院はヒマだ〜、暗い〜」と文句をいっている父を見て安心したのだった。

その際、母が「お父さんも携帯電話を持ちたい」といっていると私に訴えてきた。母は、私が以前 J-phone (現 Vodafone) から Docomo に切り替えた際に古い方の携帯電話の権利を譲ったので、かれこれ 5 年近く携帯電話を利用しているヘビーユーザー? だ。ただし、そのころに出ていた“お年寄りに優しい”文字が大きい機種ではあるが。

さて、Vodafone ならカメラ付きだろうがテレビ付きだろうが、本体価格 1 円の機種があるし、家族割り引きを適用すればいま払っている月額料金とさほど変わらないだろう! ということで母を誘ってヨドバシカメラへ。思った通り、1 円機種が数種類。さんざん悩んで購入した。

いろいろ機能があって難しいかな? と心配したものの、「帰ったら電話番号とメールアドレスを知らせるね〜!」と、父が入院してからひとりぼっちの生活をしている母は、良い楽しみができたとばかりに意気揚々と帰っていった。

そして夜。私の携帯が鳴る。おお、来たかと思って取ってみるとなんだかぶつぶつ切れがちな音。電話を借りてきた母は、「電話がかからないの〜」と泣きそう。どうも、母の携帯から父の新携帯にかけても着信しないらしい。やっとのことで父の携帯から私のところへ発信することができたのだという。

しばし悩む、私。

私: 「そこ、アンテナ立ってる?」

母: 「アンテナならちゃんと伸ばしてるよ」

はあ?

私: 「じゃなくて、電波を表す棒みたいなの 3 本表示されてる?」

母: 「ない……。もしかして、圏外って書いてあるとだめなの?」

そうです、その通り。機能の複雑さでもなんでもない、こんな基本が分かってなかったとは! 若者には当たり前のこの状況、お年寄りにもしっかり教えてあげする方法はないだろうか……。

ちなみに、1 週間たったいまも私にはまだ父携帯からのメールが届きません (笑)。こちらはどんな問題を抱えているのやら。

(事業開発局: 古澤正美)

## No.170

# データベースプログラミングを極める / [コラム] 哀愁のひとりツッコミ

2004年9月16日

## [コラム] 編集現場の真実 哀愁のひとりツッコミ

私の担当している「@ IT 情報マネジメント」ではコーナートップページに、“情報マネージャのための「今日のひと言」”という欄がある。

これは“情報マネージャの”とうたっているが、ビジネスマン——特にマネージャクラス以上向けの警句を日替わりで掲載しているもの。その内容だが、担当している私自身、耳が痛いというか、身につまされるというか……。

『「これはじっくり取り組む必要があるから、後でやろう」。これが仕事の先送りです』  
——いや、だって目の前に別の締め切りがあるんですよー（このコラムもギリギリのスケジュールで書いている）。

『仕事は先行管理が大切です。出足の早い人は、仕事のできる人です』  
——それができれば……とは思うんです。でも、なかなか変えられないんですねえ。

『仕事は常にやり方を見直さなければなりません。同じことの繰り返しは仕事ではなく作業です』  
——その見直しを「後でやろう」とか思うんです。悪循環ですね。

『会社に“評論家”は要りません。会社に必要な人間は、実務家です』  
——「悪循環ですね」とかいつてる場合じゃないと。努力はしているつもりなんですけど……。

『成果を上げる人と上げない人の差は才能ではありません。それは、よい習慣を身に付けているか否かの差です』  
——でも、できないんです（妙な開き直り）！

『ダメな人というのは、常に「できる、できない」という発想からスタートします』  
——げ、ダメすか。やっぱり。

と、こんな気持ちで日々、「今日のひと言」を更新しているのです。同じ気分を味わいたい方、ぜひ一度、ご覧ください。

（編集局：鈴木崇）

No.171

ストレージのトレンドを知ろう / [コラム] 四国八十八カ所霊場めぐりに思うこと

2004年9月24日

[コラム] 営業企画局員のつぶやき

## 四国八十八カ所霊場めぐりに思うこと

はじめまして。営業企画局の齋藤です。自己紹介も兼ねて、私の出身地の「徳島」について紹介します。

「徳島」といえば、阿波踊りや鳴門の渦などが有名ですが、「四国」という括りでは「四国八十八カ所霊場めぐり」でしょう。四国四県の 88 カ所の霊場、1450 キロを巡拝する、あの遍路の旅のことです。

「四国八十八カ所霊場めぐり」で、1 番目に巡る場所が、徳島から始まることをご存知でしたか？

1 番目のお寺は、山の上にある霊山寺（りょうぜんじ）というお寺で、「いちばんさん」と、地元の人たちは呼んでいます。お正月の初詣には、全国からお参りにくるようで、毎年 1 月 1 日は、その道のりに普段の交通量からは考えられないほどの渋滞ぶりを見せます。自分の地元が、毎年活気付いているのを見るのは楽しいですね！

ちなみに、「四国 88 カ所」の 88 とは、人間の煩惱の数で、88 カ所すべての霊場を回ることにより、88 の煩惱を除き 88 の功德をもたらすといわれています。

ということは……、毎年、煩惱は必ず 1 つ消せてるということですよ！ 今年は、2 ~ 3 カ所ぐらい回ってみようかしら。そうすれば、その分の煩惱が消えるのでしょうか。全部回ると大変ですが、2、3 カ所ぐらいなら意外と近いのです。私はマイペースなタイプなので煩惱がホントに 88 個あるかは不明なのですが。

みなさんも四国に遊びに行ったときには、1 つぐらい煩惱を消してみたいかがでしょう。ちなみに、辞書によると、煩惱とは、欲望、怒り、執着などの『人間に身心の苦しみを生みだす精神のはたらき』とあります。一説では、108 とも 84000 とも数えられています。その場合、88 カ所では足りませんね……。何度お参りしても御利益が永遠にあるという、四国八十八カ所霊場めぐりのお話でした。

(営業企画局：齋藤大)

## No.172

# 簡単に「転職したい」というけれど / [コラム] 月曜日、笑顔で出社するには!?

2004年9月30日

## [コラム] 代表取締役のつぶやき 月曜日、笑顔で出社するには!?

皆さん、こんにちは。藤村です。またまたコラムを書かせてもらうことになりました。ところでずばり質問。月曜日の朝って、辛くないですか? 「いつも辛いよ」 って? それでも、やはりどの日が辛いのか? と訊けば月曜日でしょ。それも起き抜け。もしくは出社途中かな。

以前のコラムで触れた記憶がありますが、私は中学校時代、“登校拒否” だった時期があります。電車通学だったのですが、学校へいざ行こうとすると、腹痛（下痢）などで電車に乗れなくなる。もしくは途中下車してしまうのです。病院にも連れて行かれましたっけ。これ、まず間違いなく月曜日に発症しましたね。

これは個人的な経験。でも一般的にも「ブルーマンデー」というように、月曜日は憂鬱な日というのが通り相場です。最近目にした記事で、月曜日は、単に憂鬱な“気分” だけでなく、実際に例えば脳卒中などを発症する確率も高いとのことでした。

今回は「私はこのようにして、月曜朝の憂鬱を克服した（いなあ）」がテーマです。

- 早起きして出社してみる
- 土日のライフスタイルをコントロール
- ウィークデイのワークスタイル（の割り切り方）

3つ掲げてみました。手っ取り早く取り組める順です。

月曜日の早起きは非常に効きます。自身への分析なのですが、週末の間は忘れていられた、仕事上の気掛かりややり残しなど、なぜか月曜日の朝になると、しっかり思い出してしまいます。通勤中に続々と関連することを思い出します。こうなると気分は最悪。日曜日の晩に寝つきが悪いのも同じ原因かもしれませんね。早起きは、このイヤな状況に対処する時間的余裕をもたらします。

でも勘違いしないでください。早朝出勤で早速仕事に取りかかるのはむしろ勧めません。経験上それは逆効果。あたふたと行動に走るとますます余裕を失う。悪いことを思い出すだけ思い出し（苦笑）、取りあえずの対策を立てる余裕を作り出すのが重要です。



そのために、手は止めて考える。通勤途中を徒歩に振り替えるなどして、体を覚醒させながら思考を駆使すると、不思議に精神的安定（というか、開き直り?）が得られるものです。

次に、ウィークエンドのライフスタイル。私の場合、月曜日に早起きできる設計を重視します。したがって睡眠の質が重要です。夜更かしもしたりしますが、とにかく2日間とも頑張ってお早起きしておきましょう。

それに加えて、お勧めはしませんが個人的には「適度な運動と軽い仕事」を心がけます。休み明けに「あれを忘れていた!」といった不快感を防ぐには、軽い緊張を維持したほうが私には合うようです。短時間に限定して週内にできないメールの返事や戦略思考を行います。週末のリラックス状態だとポジティブな思考ができます。

さて、最も難易度高いウィークデーの「ワークスタイル」について。誰れもが“正しいワークスタイル”を模索しています。私も悩むのですが、明らかなことは、すべての課題に対し同じように最善を尽すことは無理ということです。何らかの割り切り（の原則）がないと、仕事の不消化感が月曜日朝の憂鬱を生みます。

多くは論じませんが、私は例の「7つの習慣」（の「最優先事項」）を参考にしています。ポイントは「重要度のマトリックス」を意識すること。

まず「緊急」「緊急ではない」、そして「重要」「重要ではない」の観点で四象限を作ります。未処理事項をこの四象限に置いてみると、「緊急かつ重要なこと」と「緊急ではないが重要なこと」が整理できます。日常、いかに私たちが「緊急だが重要でないこと」に振り回されているかも見えてきますね。締め切り=重要、ではないのです。「重要でなくとも締め切りは延ばせない」と訴える人もいます。「重要ではない」のなら手数を省く、時間を切りつめるなどの対処があります。

さて、最後は駆け足になりましたし、そうそう容易に実践できることでもありません。まずは月曜日早起きの習慣からスタートしてみてもどうでしょうか?

(代表取締役：藤村厚夫)

No.173

RDBMS最新事情 / [コラム]ITがナノテクを変え、ナノテクがITを変える

2004年10月7日

## [コラム]編集局スタッフのつぶやき ITがナノテクを変え、 ナノテクがITを変える

最近、サイエンスに人気がない。それを象徴するのが近年の学生の理科系離れといわれているが、つい先日さらにショッキングなニュースが飛び込んできた。国立天文台の調査によると「太陽は地球の周りを回っている」と回答した小学生が4割にも上ったというのだ。僕はこの現状に非常に危機感を感じる。「科学技術立国日本」はこの先大丈夫だろうか……？

もちろん、政府はこの現状を黙って見過ごそうとはしていないようだ。理科系教育への施策もさることながら、日本が世界をリードできるような次なる「夢」の科学技術を、サイエンスへの求心力として、また新たな経済力の源にしようとしている。

それは何かというと「ナノテクノロジー」だ。日本のナノ材料やナノデバイス技術はすでに米国をリードするといわれる。政府は科学技術への重点施策の1つとしてナノテクノロジーを位置付け、米国を上回る予算を投入している。

さて、ここからは二番煎じのうんちくだが、ナノの世界は、量子化学で扱うにはサイズが大きく、物性科学で扱うには小さい。さらには周囲の環境が真空であると仮定した解析しか行えない。200年来の科学技術の手法からはアプローチできないのだという。この限界を超えるための道具として、いま大きな期待が寄せられているのが「サイエンス・グリッド」だ。ナノの世界に正確にアプローチするには2つのシミュレーションを関連付けて行う「連成シミュレーション」が必要になり、グリッドがこれを実現するのだという。

文部科学省が推進するNAREGIプロジェクトでは、PCクラスターとSMP型並列計算機を組み合わせ、連成シミュレーションを可能にする研究を行っている。その拠点は愛知県岡崎市の分子科学研究所にある。IAサーバ889ノードで構成されるPCクラスターと50CPUで構成されるSMP型並列スーパーコンピュータは、研究者からは1台のコンピュータに見える。研究者が投げたさまざまな種類の計算プログラムは、自動的に必要なリソースによって実行され、端末に計算結果を返してくれる。これを実現するテクノロジーは「グリッド」「仮想化」「ユーティリティ・コンピューティング」というITの成果だ。

ナノテクノロジーには、ガン細胞だけを確実に破壊する抗ガン剤や、シリコンの集積度の限界を遙かに超えた分子コンピュータなど、「夢」の成果が期待されている。IT がナノテクノロジーを変え、ナノテクノロジーが現代の常識を超えたコンピュータを生み出し、IT を大きく変える可能性が見えている。

こんなことを言ったら読者に怒られてしまうが、ビジネスと IT というテーマに最近ちょっぴり飽きていた。サイエンスと IT の融合は、いまの僕にとって、すごく夢があってワクワクするテーマだ。サイエンス・グリッドの効果が立証されれば、公的な研究機関や素材・バイオ系の民間企業に加速度的に導入される可能性もある。サイエンスにおける IT も、近い将来 IT ベンダにとって大きなマーケットになるかもしれないと思っている。

(編集局 寄稿編集者：宮下知起)

No.174

Webクライアント・アプリを整理する/[コラム]実録 エロいサイトができるまで

2004年10月14日

## [コラム]編集局スタッフのつぶやき 実録 エロサイト以上に エロいサイトができるまで

「エロサイトって何だろう?」

趣味で運営している自分の Web サイトを見ながら、そんなことを考えることがある。今日もまた、いかがわしいコンテンツを求めて多くの人々が私のサイトにやってくる。そんなモノないのに。

発端は、Apache のアクセスログに残っていた 1 行のデータだった。そこには、検索サイトから「某女性タレント+いかがわしいキーワード」<sup>(筆者注)</sup>によるアクセスがあったことが記録されていた。そんなコンテンツはない。その女性タレント名を出したこともない。日記にそう書いた。2、3 日後、リファラを調べると「某女性タレント+いかがわしいキーワード」でのアクセスが増えていた。日記が検索にヒットし始めたようだ。意図せぬ事態ではあるが、まあ気にすることはない。そのときはそう思った。

しばらくして、別件でほかの女性タレント名を複数日記に記述した。すると、「それぞれのタレント名+いかがわしいキーワード」でのアクセスが発生していた。試しに Google でそのキーワードを検索してみた。

1 ページ目の 3 番目に 俺 の サ イ ト が 出 て く る じ ゃ ね え か !

ちなみに、1 位と 2 位は某検索サイトの検索結果ページだった。実質 1 位。母さん、僕はエロキーワードで 1 位になりました! 妹よ、兄はやったぞ!

……うれしくない。

その後、事態はさらに悪化する。タレント名どころか、「ごく普通の単語+いかがわしいキーワード」でもヒットするようになった。「ThinkPad いかがわしいキーワード」ってどういうことだ? もう意味が分からない。リファラを眺めていると、何ともいえない醜悪感に襲われる。

気掛かりなのは、訪問者の期待を裏切っていることである。私のサイトには、彼らが期待するようなエロいコ

コンテンツはまったくない。落胆しているであろう訪問者の心情を思うと胸が痛む。それに、真面目にコンテンツを掲載しているエロサイトより検索順位が高いのも心苦しい。真面目にやっているエロサイトというのもどうかと思うが。

日記にエロコンテンツがない旨を書いても逆効果だろう。いっそ、ホントのエロサイトにしてしまおうか。

筆者注：当メルマガの品位を保つため「いかがわしいキーワード」がどのような単語であるかは伏せさせていただく。

(編集局：中澤勇)

## No.175

### セキュリティポリシーはありますか？/[コラム]常磐線な人々

2004年10月21日

## [コラム]事業開発局担当のつぶやき 常磐線な人々

アットマークアイティに入社してはや1年あまり。自宅は上野から常磐線で1時間ちよいの寂れた某ローカル都市にあり、これまでずっと片道2時間ほどの長距離通勤を続けてきました。われながらよく続いていると思います(笑)。

私には乗り慣れてしまった常磐線ですが、関東近辺にお住まいの方も1度くらいは乗車経験があるでしょうか？また「常磐線」にはどのようなイメージを持つでしょうか？一般的には、田舎へ田舎へと下っていくローカル線なためイナカッペ鉄道のイメージが強いようですね。上野を起点としていることも影響しているかもしれません。

そんな常磐線ですが、もちろん私以外にも都内までの通勤などに利用している人は数多くいて、車内では日々さまざまな人間模様を見ることができます。1年以上も通勤に使っていると常磐線のいろいろな傾向が見えてきます。

その中でもまず1番は、車内でモノを食べているひとが多いコト。長い家路の途中で食欲に負けてしまうのでしょうか？はたまたいつものクセなのでしょう？車中飲食率という点では、常磐線は全国でも1、2を争うのではないのでしょうか。今風の格好をしたオネエチャンがパクパク、ムシャムシャとやっているヴィジュアル的にアンバランスな光景に出会うこともしばしば。

それをアットホームだな~と思うか、ウゼエ!と思うかは個人の問題ですが、もっとも問題視すべきはその匂いです!お茶とサンドウィッチ、おにぎり位までならほぼ無臭。まあまあ問題はナイ。缶ビールにサキイカなんてのも毎日お疲れのお父さんに免じて、う~ん……ギリギリ許そうではないか。

しかし、隣でマス寿司を食べられ、その生臭い匂いをブンブン嗅がされた時はかなりの殺意(私は魚嫌いなのだ)を覚えたものです。しかもそれがカップルで「はい、あ~ん」とか(私は独り身なのだ)やられた日にはもう……。

幸いなことに手の届く範囲に刃物がなかったため犯罪者にはならず済みしました。そういえば、納豆味(もちろん匂い付き)のスナック菓子を広げられた時もキュー!と拳を握り締めていた気がするなあ(遠い目)。そんなモノ家で食べ、家で!

こんな人間ドラマにあふれた常磐線ですが、皆さんも1度は体験してみたいはいかがでしょうか？

(事業開発局:浅野正徳)

## No.176

### リレーショナルデータベースに限界を感じたら/[コラム]サゲ”男は国境を越える

2004年10月28日

## [コラム]編集局スタッフのつぶやき “サゲ”男は国境を越える

1 カ月ほど前に編集担当として入社した新人です。最近の悩みは禁煙して約半年で5キロ太り不健康になったことです。今回の転職する際に1週間ほど時間ができたので、自他ともに認める海外放浪好きの私としては、チャンスを生かすべくニューヨークに5年ぶりに行って参りました。

911 後の NY はやはりいろいろ変わっていましたが、モチモチしたベーグルの味が変わっていなかったのは幸いでした。今回の NY 旅行の目的は 1 位：松井率いるヤンキース戦観戦! 2 位：メトロポリタン美術館潰け、3 位：オフロードウェイを観倒す!でした。

2 位と 3 位を最初の 4 日間ではぼ完了させ、待ちに待った 5 日目、いよいよメインのヤンキース戦観戦! 当日は気合を入れて 21 時プレイボールにもかかわらず、15 時から地下鉄でヤンキースタジアムに乗り込み、応援グッズを仕入れて気合を入れました。

それには訳があります。親子 3 代巨人ファンの私は、後楽園球場の時代から巨人戦の観戦に行っていました。しかし! 私が球場で観戦すると、敗戦率 90%強なんです……。明らかに“サゲ”傾向のある私は NY まで来て、“サゲ”を発揮しないようお祈りをしました。

ヤンキースタジアムの独特の形や、フェンスが低くて選手が非常に近いことなど、お決まりのことに一通り感動してるうちに試合開始となったのですが、案の定 8 回の裏時点で 1 対 5 で負けてます……。[またか!] と心の中で叫び神様にお祈りしていると見る見るうちに 1 アウト満塁になり、松井の打順が!

ホームランを打てば同点、ヒットでも 2 点差というまさにおあつらえ向きの場面、カウント 1 - 2 で松井が振った!……ポテポテポテッポテッ……4 - 6 - 3 の芸術的なゲッツーでした。やっぱり“サゲ”は国境を超えます。

さらについ先日ヤンキースが 3 連勝後まさかの 4 連敗でリーグ決勝敗退……。松井さんごめんなさい。もう 2 度と観戦しないので許してください。

(編集局：大津心)

## No.177

### プロジェクトを成功させる方法 / [コラム] 35歳からのダイエット法

2004年11月4日

# [コラム] @IT 自分戦略研究所スタッフのつぶやき 2週間で効果テキメン! 35歳からのダイエット法

「最近、貫禄でてきたね」同僚からそう言われたのが、3年前の32歳のとき。「そうかオレも一人前に見られるようになってきたか」とほくそえんだのもつかの間、どうも違うらしいと気付きました。単に太っただけだったんです。

大学を卒業して10年あまり、体重はほとんど変わらず55kgをキープ。それが32歳になって、次のような現象に見舞われました。

- ベルトの穴が1つ足りなくなる
- ジーンズ（68インチ）がはけなくなる
- ベルトをしていなかったことを帰宅後に気付く

「やばい」とは思ったものの、「歳をとるということは太ることなんだ」と勝手に解釈して、成り行きにまかせることに。そのうちに体重増もストップするだろうとたかをくくり、問題を先延ばしにしたのです。そして3年の間にこんな現象が。

- 無意識のうちに階段ではなくエスカレーターを選ぶ
- 一生使わないだろうと思っていた礼服のズボンのアジャスタを調整
- スボンのホックがはまらなくなり、ベルトが必須になる

落ちた物を拾うときに腹が邪魔で苦しくなって、何とかせねばと真剣に思い始めた矢先にある情報を入手。「男性の場合、32歳くらいに成長のための栄養が必要なくなる。以降はそれまでの食事量を減らさなければ余分な栄養がぜい肉になる」

まさにオレのことだ、と納得。ちょうどストレスで食欲が落ちたのを機にいままで2膳だった夕食を1膳に変更。するとどうでしょう、1週間ごろから胴回りの肉が心持ち少なくなったような。2週間して体重計にのると、なんと2kg減!

- ベルトの穴が1つ、また1つと余地なし、ついにはベルトを切ることに
- はけなくなったジーンズがはける



- 上り階段が楽になる

いまでは 56kg とベスト体重にあと 1kg まで迫りました。ますますうれしくなり、間食を控えたり、ついにはジョギングまで開始。

万人に通用する方法ではないと思いますが、とにかくいままでと違う何かを始め、(またはやめる)、少しでもいいから成果をだす。成果がでてくれば継続とさらなる工夫の源になる、ということが大事かと。なんだが仕事にも応用できそうですね。

(@ IT 自分戦略研究所 サービス担当: 小林教至)

No.178

テストについて考える / [コラム] デカレンジャーにお金を巻き上げられるの巻

2004年11月11日

[コラム] 編集局スタッフのつぶやき

## デカレンジャーに お金を巻き上げられるの巻

北海道日本ハムの新庄がキレンジャーになったこともあってか、世間でもそれなりに話題になったスーパー戦隊モノ。今年、同シリーズとしては初の刑事モノ「特捜戦隊デカレンジャー」の出番となりました。こやつらが息子（5歳）のハートをわしづかみなのです。

デカレンジャーを見ていると、作り手も私と同じ年齢の人たちが中心なのかなと思ってしまいます。怪人を倒すという構図は同じものの、デカレンジャーの場合、とどめを刺す直前に警察本部に対してお伺いをたてるのです。すると彼らの持っている水戸黄門の印籠のようなアイテムに「○」か「×」が表示されます。「×」ができれば、即、死刑執行。ほら、何かに似ているじゃないですか。ブッチー武者演じるイエス様がNGを出した出演者を裁く「ひょうきん懺悔室」に……。

さて、戦隊モノといえば「後楽園遊園地で僕と握手」なわけですよ。いまは東京ドームシティになりましたが。子供と一緒にスーパー戦隊ショーを見に行きました。まずは入場整理券の入手から始まります。9時30分配布開始ということで、15分ぐらい前に現地に到着したのですが、すでに100人からの行列。甘くみてました。整理券を入場チケットに交換します。通常公演日は大人も子供も1000円です。しかし、TVに実際に登場している役者が出る特別公演日は1500円に跳ね上がります。しかも、通常公演日ならば全席自由席なのに、特別公演日にはわざわざ「幼児ファミリー席」なるものが用意されます。こんなところにもイケメン俳優起用の弊害が出ているのですね……。おかあさんの方がハマるヒーローモノって。

30分ほどのショーを見て大興奮の息子。でもお目当てはその後のデカレッドとの握手会と撮影会です。息子のお気に入り「デカブレイク」という6人目(!)の戦士のはずですが、その辺はどうでもいいみたいです。ちなみに、握手会のチケットが400円、撮影会のチケットが800円。記念の写真が残る撮影会はともかく、おざなりな握手をするだけで400円は高いよ! なんだかんだで戦隊ショーだけで5000円近くの出費になりましたが、息子が満足してくれたのでよしとしましょう。

ちなみに今回見たのが第3話らしく、来年3月の放送終了までにショーもあと3話（全6話）あるらしいですよ。なんだか次も見に行くと張り切っていますけど……まぢっすか? （編集局：岡田大助）

## No.179

### より身近になったギガスイッチを見てみよう/[コラム]イタリア・セリエAを観戦する

2004年11月18日

# [コラム]人財局スタッフのつぶやき イタリア・セリエAを観戦する

サッカーが好きな私は、冬のイタリア・セリエ A リーグの観戦を楽しみにしています。若いときは自分がプレーヤーでしたが、30 歳に近づくとつれ、サッカーは「やる」から「見る」スポーツに変わっています。

現地の “ 生 ” 試合を観戦するべく、何度かイタリアまで足を運んでいます。初めてイタリアでセリエ A を見たのは中田がローマに在籍していたときです。この年はローマが優勝した年なのですが、たしか私が見た試合のローマも強かったです。試合内容を覚えていないくらい、とにかく興奮して観戦しました。

このセリエ A 観戦の興奮にはまって、翌冬もミラノをはじめ、サッカースタジアムのある都市にいきました。ちなみにこの年、中田はローマからパルマへ移籍していました。ミラノでの滞在期間中、暇を持て余していた私は、思い立ってパルマへ。有名な試合場「スタジオ・エンニオ・タルディーニ」（サッカー好きはスタジアムの名前も覚える）の写真を撮ろうと思ったのです。

スタジアムに着くと観客が大勢いました。聞けば、なんとこの日はレギュラーメンバーの練習日とのこと。

ラッキー! 練習場はスタジアムとは違う場所にあるので、スタジアムで練習するのは珍しい。しかも練習の見学は無料です。練習メンバーは、天下のセリエ A のレギュラーだけあって、皆さんサッカーがとてもうまい。2 時間の練習終了後、「駐車場で待っていれば選手に会える」と考え、駐車場で待つことにしました。

待つこと数分。すると、来ました、中田選手。さすがにオーラが出ている。日本人は私と女性 2 人組だけ。しかし私たち日本人の存在に気づくと、見えないフリ (?) して早歩きで去ろうとする中田。急いで追いかけて、「中田さん、写真お願いします」と、もう “ モミ手 ” でお願いしました。するとすぐに並んで写真をとってくれました。「なんだ、中田選手はいい人だ」と安心し、無理矢理に肩を並べてパチリ!

シャッターが押し終わると、中田選手は「ありがと……」とぼつりといい、立ち去ってしまいました。「おーい、もう行っちゃうのかよ」と名残惜しかったです。

しかし中田選手が日本人ファンを嫌がる理由を、イタリアのファンのふるまいを見て分かりました。イタリアのファンのマナーはすごく良い。サインをもらっているときでも、相手の選手の携帯電話が鳴ると、ファンはその選

手から素早く離れていきます。小学生くらいの子供でさえも、電話が終わるのをじっと待つのです。思わず感心してしまいました。試合中の“ウルTRAS”と呼ばれるサポーターのマナーはあんなに悪いのに。

(人財局：柳澤浩嗣)

## No.180

# JSF (JavaServer Faces) の実力を知ろう / [コラム] 引っ越し浮世風呂

2004年11月25日

## [コラム] 読者調査担当のつぶやき 引っ越し浮世風呂

幡ヶ谷三十郎 (以下ハ) : おはようございます。

多摩川四十郎 (以下タ) : おひゃひょうほじゃいまふ。

ハ : 月曜の朝からいつにもましてへロへロしてますね。

タ : この週末引っ越し作業で、ほとんど寝てないのよお。

ハ : 引っ越し? すいぶん急ですね。またワンルームですか?

タ : うーんとね、今回は 2L。

ハ : あれ、以前「人間起きて半畳、寝て 1 畳。独り者はワンルームで充分」とか言ってたじゃないすか。

タ : なんつっても俺はワンルーム歴 14 年、自他ともに認める最強のワンルーマーだからな。手を伸ばせばすべてに届くあの人家一体感は捨てがたいんだけど、やっぱそろそろ風呂がね、もちよっと広いといいなあと。ユニットバスだとほら、肩まで浸かると足が浴槽から出ちゃって悲しいじゃん。今度のとこだと、肩と足が両方、お湯に入るんだよ!

ハ : それは今までがよっぽど狭かったんですねえ……。

タ : それに広いだけじゃなくて今のところはボタン 1 つで自動湯張りできるし、「あと 5 分でお風呂に入れます」とかいきなり喋りだすんだよ! 風呂が!! ビックリしたなあ。HAL9000 と対峙した時のボーマン船長の気持ちがよく分かった。

ハ : 誰ですそれ?

タ : まあ今も LDK + 1 室ぶち抜きで使ってあと 1 部屋丸々空いてるから、広めのワンルーム+拡張スロット仕様とも言えるけどな。

ハ : 1 部屋無駄なだけじゃないすか。もしや結婚のご予定でも?

タ : それはない (キッパリ)。ないけど 1 部屋余裕があれば、なにかと何かあったときにナニじゃないか。人生の  
アヴェイラビリティ&スケーラビリティ向上というか。

ハ : 仕事じゃないんだから IT 用語で誤魔化さないでくださいよ。え、でも 2L って、まさか買ったんじゃないですよ?

タ : いやえーと風呂とトイレ分の金は払ったけど、残りの部分は銀行が大家の長期賃貸と考えられるな。

ハ : それを世間では購入と言うんですよ! しかしすいぶん変わりましたね。前は「独り者でマンション買うなんて必然性皆無の愚行」って言ってましたよね。

タ : いちいち昔のこと思い出すなよ。“変化ヲ抱擁セヨ”ってケントベックも言ってるだろ?

ハ : XP とマンション購入と何の関係があるんですか!

タ:それはだね、今までのマンション購入が“誕生→入学→就職→結婚→購入”の電車を進むウォーターフォール型プロセスだったとすれば、今はアジャイルな時代なんだから、マンションなんていつ買っちゃってもいいんだよ。

ハ:は?

タ:「少子化・晩婚化が進んでいる現状は、生き方が多様化しつつある今の社会において、ある意味で自然な流れなのかと思います」ってサーヤも言ってたじゃん。

ハ:だ、誰です、それ?

タ:おれ、あの方々って歴史の中に住んでると思ってただけど、あの発言で見直したね。僕や君と同じモダンな今を生きてるじゃないか。

ハ:よくわかんないですけど、クルマはどうするんですか?

タ:敷地内に1台分だけ空きがあったから持ってくるんだけど、クルマといえばクロちゃんエリーゼ乗ってるんだってね!

ハ:だから誰なんですそれ!

タ:おれクロちゃんとタメだし、同じライトウェイト・オープン乗りとしてすごい共感もてるんだよね。

ハ:同じって、あなたのはダイハツじゃないですか。

タ:あのね、この世にクルマってのは“箱型自動車”と“幌型自動車”しかないの。その圧倒的にマイナーな幌型に乗ってる時点で、メーカーを超えた連帯感があるのだよ。しかしサーヤは助手席に乗ってくれるのかな?もし2人でターンパイクあたり幌全開のエリーゼで走ってくれたら、あの夫婦はおれにとって神になるな。

ハ:まあ他人様のことはいいですけど、じゃあ結構住み心地はよいわけですね?

タ:うーん、ダメだな。

ハ:え、欠陥住宅ですか!? それともいきなり近所との関係がこじれたとか?

タ:いや、広すぎて静かすぎるから、ホームシックになるんだよ。グールドの月光ソナタなんてかけたら、寂しくて泣きそうになっちゃった。

ハ:……とっととお見合いでもしてください。

タ:はひゅ〜ん

(@ IT マーケティングサービス:小柴豊)

## No.181

### 情報セキュリティマネジメントのツボ / [コラム] わたしの食事作法とDNA

2004年12月2日

## [コラム] ニュース担当のつぶやき わたしの食事作法とDNA

取材に出ていることが多いので、オフィスでお昼ご飯を食べることもあまりなく、外食がほとんど。もちろん、1人で食べますが、社会人になった当初は1人でお店に入るのに抵抗がありましたね。お昼ご飯を食べるだけなので、気取った高級な店ではありません。ランチ 700 円くらいの定食屋さんや、立ち食いそば屋さん、カレースタンドなどです。自宅で1人で食べるのはなんともないのに、ほかに人がいる中で1人で食べるのはなにか気恥ずかしい感じがしました。

これはなんですかね？ 1人でご飯を食べているという無防備な姿を他人にさらしていることに対する恐怖がDNAに刻み込まれている？ とか大げさなことも考えちゃいますが、まあ寂しいだけとの意見もありますね。

一度、中華料理店に1人で入ったとき、ほかにいた多数の1人客とひとまとめにされて8人掛けの円卓に案内されたことがあります。両隣と向かいが他人という状況で料理を食べるのは、とても気まずい感じがしました。

しかし、定食屋さんで1人ご飯を食べている人たちは、なにか求道者のような面持ちで黙々とご飯を口に運び、終わるなりさっと出て行きます。とても禁欲的に思えます。場合によってはかっこいいかも。

わたしの場合は、雑誌や新聞など文字を目にしながらいとご飯を落ち着いて食べられないという悪癖があるため、とても見栄えがいい食事ではありません。読みたい雑誌、新聞がないときは、周りのお客を観察して、他人の上司の愚痴に聞き耳を立てたり、勝手に男女の仲を勘ぐったりするさらに悪い癖が出てきます。とても禁欲的とはいえ、俗な食事になっちゃいます。ダメですね。楽しい会話をしながらゆっくり時間を取って食事をするというわたしの理想は、いつか実現するのでしょうか。

(編集局：垣内郁栄)

## No.182

### 注目の資格でスキルアップ!/[コラム]白いところが気になるんだ

2004年12月9日

#### [コラム]人財局担当のつぶやき

# 白いところが気になるんだ～ 「地元は47都道府県」夢の全県制覇～

丸の内 OL100 人に聞きました、「死ぬまでに達成したいことは何ですか?」もし街角でこんな質問をされたら私はこう答えるだろう、「全県制覇です」と。

いまや老若男女がお手軽にスイーツと行ける海外旅行、しかも国内旅行よりお安い。これまで外国へ行くチャンスを逃し続けている私は、へそが3回転半してしまい、「今さら海外なんてちゃんちゃらおかしいもの。エステだグルメだ買い物だと踊らされちゃってかっこわるっ!、生まれも育ちも東京は下町、こちトラ江戸っ子よお～、外国なんていまさら行けるかつーの!」

外国への嫉妬と憧れを胸に秘めながらも、人と同じことはしたくないのが私の性分。日本人ならもっと日本を満喫しよう、まだまだ日本も捨てたもんじゃあないんだ。

私は、以前やっていた仕事柄、撮影や取材で日本全国を飛び回る機会に恵まれた。また、西でライブがあれば新幹線に飛び乗り、北で芝居があれば飛行機を予約する。地図と時刻表とホテルガイドが私の愛読書、私の地元は東京じゃなくて日本なんだ。

ある日私は、自分がこれまでに行った都市がどれだけあるのか知りたくなり、日本の白地図を広げ、降り立ったことがある県を片っ端から塗りつぶしてみた。するとその数、41 都道府県。おお、すげー!そして白く残った未だ行ったことがない県は、福井、滋賀、和歌山、徳島、佐賀、宮崎。あと6県で全県制覇である。

白地図を眺めながら私は思った。白い部分が気になる気になる気になる……。しかし白地図の白いところが気になるからって佐賀へ行くのはおかしい。やはり旅に出るには理由が必要である。でも塗りつぶしたい、日本が地元だと胸を張っていいたい。私はいつか、たいして実りもない「全県制覇」という目標を立てていた。

誰か私に旅に出る理由を与えてくれないだろうか? 仕事でも遊びでもいい、こうなったら罰ゲームでもいい。上記6県在住もしくは出身の方「〇〇県のここがすごい」をぜひ教えてほしい。私が「それ魅力☆」と思えたら、こっそり旅支度を始めるだろう。もちろん鞆に白地図を忍ばせているのはいうまでもない。(人財局:小島貴香子)



## No.183

### DB2を飼い慣らすのに手間はいらぬ／[コラム]3台目のThinkPadを買うべきか

2004年12月16日

#### [コラム]編集局長のつぶやき

# 3台目のThinkPadを買うべきか、 買わざるべきか

仕事のメインマシン、サブマシンの2台のThinkPadが立て続けに壊れてしまい、個人的な大打撃を受けたのは、IBMがパソコン事業の売却先を探している、というニュースが流れる前の日でした。

1台目が壊れた原因は、私のミス。会社でThinkPadをパタンと閉じたときに、通常は自動的にスタンバイの状況になりますが、この日は、電源がオンのままでした。運の悪いことに、何の確認せずにカバンに入れてしまったのです。

帰路の間、カバンの中でずっとスイッチが入ったままのThinkPadは徐々に加熱していき、その熱で基盤がやられたようでした。

部屋に戻ってからしばらくして、カバンから「ピーピー」という音で気が付いてみると、すでにカバンの中でThinkPadはぐったりして、2度と起動しなくなっていました。

2台目がクラッシュしたのは、次の日です。早起きして1台目のハードディスクからデータを抜き出し、2台目のThinkPadへコピーして会社へ行き、その日のメールを読み込ませました。そしていったん席を離れてまた席に戻ってみると、画面がブルースクリーンになっています。「おかしいな」と思って再起動してみると、ハードディスクからは「ガコガコガコガコ」という異音。いやがるThinkPadを押さえて強制的に電源を切ったものの、再び電源を入れるとThinkPadはガコガコガコガコと激しく抵抗し、私はあきらめてもう一度電源を切るほかありませんでした。

仕方なくその日の夜、2台目のThinkPadの壊れたハードディスクを入れ替え、OSを再インストールをしてなんとか復活させます。これで大丈夫だろうとThinkPadに目をやると「きっと私は3人目だから」という謎のセリフが聞こえてきたようなこなかったような。

そして私の現在の最大の悩みは、1台目のThinkPadをどうすべきか。修理ならたぶん10万円コース。かといって、新しいマシンを買えば15万円コースです。お金の問題だけでなく、愛するThinkPadたちを軽々しく捨てることもできず、私にとっては難しい選択です。

(編集局：新野淳一)

## No.184

### 上手なログの使い方 / [コラム] 今年最大の出来事といえば……

2004年12月24日

# [コラム] 事業開発局長のつぶやき アットマーク・アイティの 今年最大の出来事といえば……

そろそろ今年も終わり。アットマーク・アイティの今年一番の大きな出来事といえば、先月発表したソフトバンク・アイティメディアとの合併を外すわけには行きますまい。

世間のブログなどでは、したり顔の「つまりソフトバンクが吸収したんだ」といった解説もよく見ます。勤めている会社がどこかに飲みこまれる経験が豊富な私からすると、「はあ? 吸収されるってのは、こんなもんじゃないぜ」って感じなのですが、ま、今日はそんな話じゃありません。

実は私、ソフトバンクにはちょっとご縁があります。1983年ごろ、創刊されたばかりの『Oh!PC』という雑誌に連載記事を書いていたのです。当時福岡にいた私は、編集部からの距離が遠くて目が届かないことをいいことに、連載に穴は空けるわ、広告が始まっている単行本の原稿は入稿しないわ、そりゃあもう好き放題（担当の橋本さん、ご迷惑をおかけしました）。

合併を機にソフトバンクつながりでそのころのことを懐かしく思い出していてふと気がついたんですが、あの時、原稿は原稿用紙に万年筆でカリカリ書いて、FAXと郵便で送っていたんですね。書き損じは二重線で消したり、原稿用紙を丸めてゴミ箱に捨てて書き直したり、ずいぶん手間ヒマかけて推敲していました。

あれから二十年。その間に原稿をDOS版のワープロソフトで書くようになってゴミ箱がいらなくなり、次にホームポジションが右手はマウス、左手はCtrl（あるいはCmd）-X/C/Vに変わり、FAXが電子メールに変わり、（弊社ではやってないようですが）ネットワーク越しに著者と編集者が同じ文書を共同でいじるようになり……と、PCやネットワークなしでどうやって仕事をしていたのか思い出すこともできないぐらい、テキスト生産の現場は様変わりして（質はともかく）生産性が上がりました。

この進化がこれからどんなところに僕らを連れて行ってくれるのかなあ、なんて柄にもなくセンチメンタルになっちゃうのは年末のせい? それとも合併のせい?

それではみなさま、良いお年を。

（事業開発局：樋口理）

2005

## No.185

フリーのエンジニアになる?/[コラム]「忙しいから」が言い訳のあなたと私に  
2005年1月6日

# [コラム]代表のひとこと 「忙しいから」が言い訳になり始めた あなたと私のために

新年明けましておめでとうございます。アットマーク・アイティ代表の藤村です。皆さん、良い年末年始を過ごされましたか? 私の場合、大晦日からの雪で、(例年もそうなのですが……) 遠出もせず自宅近辺で幸いのんびり過ごしました。自宅からは山々が今回の雪でなおさら美しく眺望できます。

ついでに書くと、私が利用する私鉄の駅では、近くの山でクマを見かけるとの貼り紙をしばらく見かけましたが、さすがに冬眠期に入ったのか貼り紙を見なくなりました。やれやれです。

さて、年末は 11 月に発表したソフトバンク・アイティメディア社との合併統合にまつわるアクションで追われました。おおむね好意的に受け止めていただいているようです。というか、大方は気にもしていないというのが正しいかも(笑)。その是非を措いて、「@ IT がなくなっちゃう?」とのご心配は無用です。

今回の合併は、私たちがもっと多くを提供していきたいと考えた選択ですから。何を「もっと多く」かについては、もう少し期待してお待ちください。

ま、そのようなわけで、この合併がらみもあり私の周りには珍しく忙しい時間が流れています。短い年末年始休暇のおかげで一瞬その時間が止まりました。これを機に改めて忙しさが自分に及ぼす悪影響について評価してみることにしました。

題して「多忙を言い訳にしていると……Top5」です。

1. 食事がナゲヤリ、かつ運動をしない言い訳で肥満が進行する
2. 平均睡眠時間が 6 時間を切り、頭はますますぼんやり
3. 「時間がない」と言いつつ酒量増
4. 未読書籍が積み上がりストレス高まる
5. なぜか衝動買いの傾向強まる

いかがでしょうか? 内心「ギクッ」とされた方も多いのではないのでしょうか。自分自身も情けなく感じましたから

(笑)。どうして情けないのかと考えていくと——。人間は、何か言い訳（口実）ができると「自分をコントロール」しなくなるようなのです。「言い訳がある」状況にどう抗うか。この辺りからは個人的テーマになるのですが、自分の年齢からして、「質にこだわり」たいと考え始めています。

量的観点から目を転じると、実は上に挙げた 5 つとも、皆“質”にこだわることによる対処法があることに気づくのです。例えば、食事の質、運動の質、睡眠の質……というように。これらは互いに関連したサイクルをなしていますから、どこから良い循環に持ち込むかがポイントとも思います。

年の初め。今年は質的価値に目を転じ物事を眺められたらと思います。それも一歩ずつ。思わぬ新展開が見えてきそうな予感がします。良い年にしましょう。

(アットマーク・アイティ代表：藤村厚夫)

No.186

Webクライアント技術 / [コラム] 子供の一言

2005年1月13日

## [コラム] 総務管理局長のつぶやき 子供の一言

自宅で飼っていた金魚が亡くなりました。私が、ティッシュに包んで捨てようとしたところ、下の 5 歳の娘が「お墓を作ってあげたい」というので、幼稚園へ行く道すがら、実家の庭までもって行って埋めてあげました。

あくる日の朝、また 1 匹の金魚が死んでしまいました。私は、仕事に出かけるモードでしたので、金魚のお墓については面倒臭いなあという感覚でした。気もそぞろに、庭に降りて適当な場所にお墓を掘ろうと思ったら、ミニスコップを持ってくるのを忘れてしまい、近くにあった石で掘り返して埋めました。

すると、側で見ていた娘が、「昨日死んだ金魚さんの隣に埋めてあげて。死んでも 2 人で近くにいたら寂しくないから」というではありませんか。

私は、忙しさや面倒さにかまけて、たかが金魚のお墓という感覚でした。しかし、娘の言葉で、亡くなった人や動物のその後の気持ちまで思いやれる優しい心を失っていることに気がつかされました。

親しい人や配偶者が亡くなっても、自分の心からいなくなったわけではありません。ここ数年で、自分の父親や家内の母親が亡くなり、元気の出ない日々ではありましたが、心にはずっと生き続けていると思うと元気になりました。

いつも、口うるさく叱っている子供に人生を学ばされる瞬間があります。

(総務管理局：工藤靖)

No.187

中国の底力 / [コラム] いるか座への想い

2005年1月20日

## [コラム] 編集局スタッフのつぶやき いるか座への想い

こんにちは。アットマーク・アイティ編集局の長谷川です。このごろ、朝晩の冷え込みが厳しいですね。年が明けてから、やっと冬らしくなってきた気がします。

冬は星がきれいに見える季節です。空気中の水分や塵が少なく、夜空が澄んでいるためです。仕事が終わって帰るとき、ふと見上げた空に星が瞬いていると、なつかしい友人に会ったときのようにうれしい気分になります。

わたしの星好き歴は 15 年に及びますが、ふたご座流星群をカウントするわけでも、天体写真に熱中するわけでもありません。ただただほけーっと見ているのが好きな一般の星見人です。

ときどき車で山へ星を見に行きます。いまの季節なら、スキーウェアと寝袋で完全武装し、ほかのクルマにひかれられないように注意しながら、寝転んで夜明けまで星を見ます。疲れも悩みも吹っ飛ば気がします。

そんなわたしのお気に入りの天体は、夏の星座、いるか座です。

そんな星座知らないって? れっきとした 88 星座のひとつです。4 等星と 5 等星からなる小さな星座ですが、ひし形が美しいんですよ。

以前いた会社では、天文部を立ち上げました。後輩を支部長に任命しておいたので、まだ存在するはず……です。

その天文部を去るとき、「あれを『いるかである!』と思える貴職の星への愛はさすが」とか「連れて行かれた星見ツアーは、だいたい曇っていて見えなかった」（それは君が雨男だからだよ、NZ くん）という言葉をもらいました。失礼な。

いるか座がいるかには見えないのは、本物を見たことがないからです。いるか座は天の川の中に位置しています。実際に見てみれば、いるかが天の川をすいすい泳ぎ、ピッと元気よくジャンプしているようにしか見えません。

いるか座、みなさんも見たくなってきたでしょう? ……すみません、夏までお待ちください。(編集局:長谷川玲奈)

## No.188

### 組み込み機器に求められる機能とは?/[コラム]合併を期に振り返ってみた

2005年1月27日

## [コラム]営業企画局スタッフのつぶやき 合併を期に振り返ってみた。

すでに発表されているとおり、株式会社アットマーク・アイティは 3 月 1 日にソフトバンク・アイティメディア社と合併し、晴れて新生「アイティメディア株式会社」となる（もちろん Web サイトとしての「@ IT」はこのままなのでご安心を……）。

こういった合併のような会社の劇的な変化は、よく聞く話ではあるが、それを「中から」体験できることは、そう多くない。「これもいい経験だ」などと思っていたが振り返ると私に限ってはそうでもないことに気付く。

というのは、私が最初にお世話になった流通会社は、入社後 2 年半で倒産している。会社の『倒産』を中から体験していたのである。また、転職した出版社はしばらくして『買収』されることになった。

その後、この会社アットマーク・アイティの『創業』に立ち会い、そしていま、『合併』である。ほんの 10 年ちょっとの間に『倒産』『買収』『創業』『合併』と、おおよそ考えられる会社激変を「中から」見てきたことになる。

よく友達などから“大変だなあ”などと笑われるが、本人からするとそうでもない。

『ブレのない自分』をしっかりと意識していれば、その程度の環境の激変はむしろ歓迎すべきで逆にわくわくする<sup>(\*)</sup>ほどだ。

また、いろんな会社で“同僚”としてさまざまな人に出会い、その後、同じ人と“他社”の方として接することは、また違った人脈となり現在のビジネスに役立っている面も少なくない。

一期一会というが、まさにそのとおり。会社がどうあれ大事なのはやっぱり「人」なのである。これからも人とのつながりを大切にしたい。もちろん『ブレのない自分』があつての話だが。

筆者註 ※「わくわくする」は先日飲みに行った時の同僚の言葉を借りました。

(営業企画局:手塚 暁)



No.189

Javaのパフォーマンス・チューニング/[コラム]ブログって楽しいですね!

2005年2月3日

## [コラム]営業企画局スタッフのつぶやき ブログって楽しいですね!

いまさらって感じもしなくもないですが、年末に始めたブログにはまっています。自分のホームページを持ちたいというのは数年来の検討事項でしたが、ブログが登場する以前は投下する時間と手間がかかることが原因で、足を踏み入れずじまい。

昨年、昔の知り合いに勧められて、半信半疑ながら、三日坊主になったときは罰ゲーム付きというルールを設けて、でも半分お遊びのように始めてみました。なんと、約2カ月も続いています。スタートが12月4日なので、明日でまるまる2カ月終了です。

ブログを始めて得た効用はいくつかあります。以下に列記します。

### 1. 携帯電話のカメラを活用するようになった

まず身の回りの出来事を記すところから始めました。昨年末、アットマーク・アイティのオフィスの周りで開催された東京ミレナリオの準備から次第に仕上がってゆく様子を記録しました。また、丸の内仲通りはクリスマス・シーズンのショーウィンドウの飾り付けがきれいで、撮影してアップし、当初、ネタには困りませんでした。以前は携帯電話のカメラなんて宝の持ち腐れだったんですが、いまでは大事なアイテムです。

### 2. 備忘録代わりに利用できる!

「一週間前はなにしてたっけか?」ということが多くありませんか? 写真付きで記録が残っていれば交通費精算も楽です!(笑) また、個人的な趣味でLinuxの自宅サーバ構築に挑戦中なのですが、ネット上で見つけたTIPSを拾い集めて、メモ帳代わりに記録しています。

### 3. 知り合いが増えた

音信不通の友達から5年ぶりに連絡があったり、どこから流れ着いてくれたのか読んでくれた人とコミュニケーションしたりと、なかなか楽しいものです。

### 4. 占いの定点観測ができるようになった

私は毎週占いをチェックをするんですが、その占いが当たったかどうか検証するって考えたこともありませんでした。今ではブログ上で占いを非公開にして(自分だけ閲覧可能な)日記の間に挟んでいます。それを毎週1

回チェックします。結果ですか?……かなり当たっていますね。

という感じで、ブログのおかげで自分の Web サイトを持つことができ、それが育っていく楽しみを味わっています。年初には悪友からソーシャルネットワークサービスに招待されました。これとブログの組み合わせがまたメチャメチャおもしろいんですがそのお話は別の機会に。

(営業企画局:小野澤崇)

No.190

DB2を活用しよう / [コラム] 久美ちゃん、ごめんね

2005年2月10日

## [コラム] JOB@IT担当スタッフのつぶやき 久美ちゃん、ごめんね。

じきバレンタインデーですね。いまじゃ義理チョコしかいただけませんが、これでも子ども時代はイケメンだったんで、毎年数人の女の子からチョコをちょうだいしました（自慢）。しかし小学6年生のバレンタインデーは25年後のいまでも後悔の念が消えません。

小学校時代は、バレンタインデー当日の朝に、女の子がお目当ての男の子の机の中にチョコを入れておくのがオーソドックスな渡し方。男の子は登校してすぐ机をまさぐって成果を確認。そして誰にも気付かれないよう、そっとかばんに入れます。

あの日、僕も登校直後ドキドキしながら、机をまさぐると「2つもあった!」。うれしい半面、ちょっと困ったことに。1つなら気付かれないよう速攻でかばんに入れられますが、2つとなると時間がかかる。

「やばい、これはバレる」と焦りながらも、ある作戦をひらめき、取りあえず机に入れっぱなしにしておくことに。

授業が終わり、帰りの会が始まる前に「具合が悪いので、保健室に行きます」と先生に告げ、そそくさと教室を後にしました。そう、同級生が帰宅して誰もいなくなってから教室に戻って、チョコをかばんに入れようという作戦。

ころあいを見計らって保健室を出ようとした瞬間、扉が開き「小林、すげーよ、お前の机の中に2つもチョコがあったぞ」。なんと友達がおせっかい、じゃなくでご親切にも帰り支度をして、かばんを持ってきてくれたのです。

「コイツ、いつかイスに画びょうをおいてやる」と決意しながらも「えー、ホント」と白々しく対応。動揺を隠そうと「開けてみるか」などと口走ってしまいました。

「本命の子からだったらどんなに幸せだろう」と贈り主を早く知りたかった気持ちもあり、せかさされるまま包みを開けると、ハート型のチョコの上に白い文字が。

「私のハートを受け取ってください、久美より」

あー、なんでバレないように手紙にしてくれなかったの。しかも本命じゃないし。

チョコをもらったことばかりか、贈り主までバレる羽目に。翌朝登校すると、すでにクラス全員が知ってます。久美ちゃんと本命の女の子が近寄ってきて、ひと言「最低!」。久美ちゃん、四半世紀たっても申し訳ないと思ってるよ。

教訓：「モテない男は友達にするな」じゃなくて、「浅知恵は身を滅ぼす」

(JOB @ IT 担当: 小林教至)

## No.191

### 仮想化技術とは何か？/[コラム]レッツ・シャトル。

2005年2月17日

## [コラム]編集局スタッフのつぶやき レッツ・シャトル。

むかしむかしの中学時代、私はバドミントン部に所属していた。特にスポーツが得意なわけではない（むしろ苦手な）私だが、中学校というのは大抵の人が部活動、それも運動部に入っていた。部活動の有無が進学への内申点に影響するということもあったし、運動部の方がより良いという雰囲気だったので、「小学校から一緒の友達がみんな入るから」程度の理由で私もバドミントン部に入ったわけだ\*<sup>1</sup>。

しかしバドミントンというのは、やったことのある人ならお分かりと思うが、結構激しいスポーツだ。1年生の間は素振りやランニングといった基礎練習ばかりでなかなかシャトル\*<sup>2</sup>を打つ機会がない。朝は早い、夏は暑い、冬は寒い、かなり辛かった。学年が上がり、実際にシャトルを打つようになると、それはそれで運動量が半端じゃないため、大変疲れる日々だった。なんでこんな大変な部活に入ってしまったのだろう、と、同じ体育館で活動している演劇部を横目に見ながら何度思ったことか。

それでも3年生で引退するまで部活動は続けたが、やはりもともとの運動神経に限界があるのか、さっぱり上達しなかった。

それ以降、運動部に所属することはなかった。学生時代、かつての部活仲間とたまーに市立体育館でバドミントンをしたが、社会人になってからは何年もラケットを持つことはなかった。

ところが、そのラケットが再び日の目を見る機会がやってきた。

昨年秋ごろから、現同僚や元同僚、学生時代の友人などと一緒に「シャトル同好会」なるものを結成し、公立の体育館\*<sup>3</sup>でバドミントンをするようになったのだ。といっても2カ月に1回程度のお気楽活動だけ。

そのメンバーの中で本格的な経験があるのは私だけだったので、とりあえず「主将」という扱いになっている。大して技術がない私も、素人集団の中ではうまい方になってしまうのだ。

#### ▼著者註

\*<sup>1</sup> 私の同期は15人ぐらいいて、そのうち6~7人は同じ小学校出身でした。

\*<sup>2</sup> バドミントンの羽根のこと。正確には「シャトルコック」というらしいです。

\*<sup>3</sup> 土日などに個人向けに開放していて、1人200~300円ぐらいで利用できます。自治体によっては、市民以外でも利用できます。

約 10 年ぶりのバドミントンだったけれど、やはり体で覚えたことは何年経っても残っているようで、普通に打つのもサーブを打つのも、床に落ちたシャトルをラケットで拾うことも難なくできた。

ちなみに 1 回目の「同好会」のときは、日ごろの運動不足のせいで 1 週間ぐらいものすごい筋肉痛になってしまった。だけど、その後はそれほどひどい筋肉痛にはならなくなった。つい最近スキーに行ったときも、例年なら翌日かなりの筋肉痛になるところが、今回はまったくといっていいほど痛くならなかった。これはバドミントンのおかげかもしれない。

中学時代は、厳しい上下関係やキツイ練習など楽しくないことも多かったけど、今はただ単に楽しい。ルールもあまり気にせずに適当だし、たまにスマッシュが飛び出す程度。疲れたら休んで、交代して、と実にお気楽だ。健康のために運動しよう、くらいの目的なので、もはや勝敗など関係ないし。

女子中学生の団体や、20 歳前後の男子学生たちが真剣に練習している隣で、お気楽社会人たちは無邪気にコートを走り回るのだった。

(編集局：阿部知衣)

## No.192

### 文字化け対処法 / [コラム] オヤジの肉体改造計画

2005年2月24日

# [コラム] 営業企画局スタッフのつぶやき オヤジの肉体改造計画

先日、人間ドック検診を受けたところ、コレステロール値が振り切れていました。面談によると、動物性脂肪の取り過ぎとのこと。特に卵は1個/週で十分とか。(あるある大事典で確か、成人は卵1日1個は大丈夫といていたのに。うそつき)

30歳代後半とはいえ、今までコレステロールを指摘されたのは初めてなので、ショックでした。横腹がプヨプヨしてきたのはちょっとは気になってはいたのですが……。

そこで、気を引き締めて、食事を以下のように2月から変えてみました。

1. 食事の基本は魚料理。
2. 海藻類・野菜を増やす。
3. 肉・卵は控える。
4. 間食はしない。
5. 腹八部でとめる。

以上、取りあえず今年はこれぐらいから始めようと決めました。効果はもちろん、まだ分かりませんが、間食をやめて、腹八部でとめるのは、なかなかいいですね。なんとなく体調が!!

ただし、間食しない代わりに、コーヒー。腹八部でとめて、ビール。というのはやめられません。(やっぱり、アメとムチは必要ですね)

コーヒーに関しては、17日の某新聞に厚生労働省研究班の調査で「コーヒーを毎日飲む人はほとんど飲まない人に比べて、肝がんになる危険性が約半分になる」との記事が出ていたので、勝手に支持して、毎日3~5杯は飲み続けます。

でも普通ですよ。ちなみに豆はマンデリンが一番いいですね。ない場合は、コロンビアかモカです。そういえば、健康診断の面談で頻尿も気になると相談したら、コーヒーの飲みすぎと一蹴されました……。

4月からフィットネスクラブに通う予定です。汗を流した後は、軽くビールをジョッキ2杯ぐらいで止めておけば、

私の 40 歳代に向けての肉体改造計画は完璧に近い。

というより、かなり遠い話になりましたが、まあ、やれるところから、あまり無理をせず、ちょっと健康に気を使いながら、精神的な満足感を重視するのが、私の健康法の進むべき道だと考えています。来年の健康診断は、ほんとうに楽しみです。

(営業企画局：執行一浩)



## No.193

# リッチクライアントは次世代Webアプリとなるか／[コラム]若旦那のように

2005年3月3日

## [コラム]編集局スタッフのつぶやき 若旦那のように

上智大学 法学部国際関係法学科 猪口邦子教授は普段着として着物を着る。着物でグローバル化の講義を行う。それはすでに「暗黙のメッセージ」だと上智新聞のインタビューに答えて笑う。

IT 畑を専門に取材、執筆活動をする吉田育代さんも着物の毎日である。着物を着続ける理由を聞いたことはない。聞いても多分、うまくはぐらかされるような気がする。

いま、呉服屋の若手経営者が着物市場の復権を狙ってさまざまな手を打っている。

京都工芸染匠協同組合青年部が手描き友禅の新ブランドを3月までに開発するという。表参道など東京に4店舗を持つ「くるり」では、若い女性に向けて、お洒落としてのアンティーク着物を提案している。大正期に流行した絹織物「銘仙」を復活させ、価格を抑えてインターネットで販売し始めたのは「呉服屋さん.com」である。

横文字の専門用語が氾濫（はんらん）する意味不明な日本語の文章に囲まれながら、一方で、家に帰れば、江戸後期から明治、大正時代に書かれた文章に目を通す日々である。最近は都都逸（どどいつ）を探すのが楽しい。

「口でけなして心で褒めて 人目しので見る写真」

「恋し恋しと泣く蝉よりも 泣かぬ蛭が身を焦がす」

吉原の馴染みに通う若旦那のように、懐手（ふところ）をしながら、外資系 IT 企業がひしめく 2005 年の東京を、足取り軽く歩き回りたい。そういうわけで、いまはじっくり着物の研究中、なのです。

（編集局：谷古宇浩司）

## No.194

# データベースをSQL Server 2000で学ぶ/[コラム]墓石にまつわるエトセトラ

2005年3月10日

## [コラム]人財局スタッフのつぶやき 墓石にまつわるエトセトラ

先日叔母の納骨式があり、多磨霊園に行ってきました。納骨式というのは、亡くなった人の骨をお墓に納める儀式です。お墓の前でお坊さんのおまじないを聞き、その後は四十九日の法要ということで、近くの石材店でお食事会がありました。

親戚との食事会は昔の話ばかりで、常に前しか向いていないワタシはいたたまれなくなり、早々に会場の外に脱出。お店番をしていた石材店の若ダンナと意気投合し、即席、墓石に関するインタビューと相成った次第です。今日は、せっかくなのでそこで得た墓石ウンチクをご披露しましょう。

### • ブランド

墓石にもブランドがあって、その中でも No.1 は四国の加賀石。産出量が少ない貴重品で、大き目のサイズだとお墓 1 つに 1000 万円もするそうです。また、国産品は最近産出量が少なく、この業界でも輸入品が主流。石屋のダンナいわく、輸入品の中ではフィンランド産が上質でオススメ。韓国や中国産のものも多く輸入されているが質があまり良くないとか。

### • 黒い石

墓石といえばグレーや白っぽい石がメインですが、黒い石も最近見かけるようになりました。黒石の No.1 はスウェーデン産、続いてインド産。タンカーのような大きな船に載ってやってきます。しかし、黒石は雨風にさらされると表面の光沢がなくなってしまうので、あまり墓石向きではないそうです。

### • 質の良しあし

質の良しあしは、「石の目」がどれだけつまっているかで決まるそうです。目が粗いと石の吸水率が高くなり、雨などで石の中に水分がたまります。それが寒暖の差で膨張したり収縮したりして石を圧迫します。質の悪い石で墓石を作ると、5 年で石にヒビが入ってしまうこともあるそうです。

### • 石の切り出し

墓石のもとになる原石は、山の中や地中に埋まっています。これをダイナマイトで爆破して 5×5 メートルぐらいの塊で掘り出し、現地でチェーンソーなどを使ってブロックに切り分けます。

いかがでしたか？ このトリビア、明日職場で使えるものばかりでしょう？

一通りウンチクを語ったあとで「俺と一緒に墓に入らないか？ もちろん石は加賀石で」なあって口説いたら、プロポーズも上手く行くかもしれませんよ。

(人財開発部：鈴木麻紀)

## No.195

# 仮想化技術は今年の注目テクノロジー / [コラム] 中国でびっくりしチャイナ!

2005年3月17日

## [コラム] 営業局業務推進部スタッフのつぶやき 中国でびっくりしチャイナ!

営業局企画部の杉浦です。私が一昨年の8月から約1年間中国に語学留学をしていたときに驚いたことを、読者の皆さんにダイジェストでお伝えします。

- 歩行者は横断歩道を使わず好きな場所で渡っていた。道の真ん中で立つことがあっても怖くない。車も人々を上手に避ける。
- お茶を飲むとき急須に茶葉を入れるのではなく、カップに直接葉を入れて飲む人が多い（かなり合理的。帰国後も実践中ですが、ときどき口に葉が着くのが難点）どこでもお湯はタダ。さすがお茶大国。そしてマイお茶用水筒を持ち歩いている。
- 雨の日でも自転車に乗れるようにと専用のカッパがある（これは優れモノ。日本で見たことはない）。相当なことがない限り、人々は自転車で通勤する。
- バスに乗るとき、狭い入り口でわれ先に乗る人ばかりで、必ず押し合いになる。すんなり並んでの乗車は経験せず。
- 病院の診察室はオープンである。診察機の周りに患者が囲み、1人が診察を終えると、イスが空く。すると、診察機を囲む患者同士の椅子取りゲームが始まる。（椅子取りの勢いが病人じゃないと感じた……）
- 知らない場所で道を尋ねると、1人に聞いたのにもかかわらず、気付くと教えてくれる人が増えて、ちょっとした親切な人の輪が必ずできる。
- 夏の売り場。冷蔵庫に入っている飲み物と外に置いてあるだけの飲み物では値段が違う。
- ハルピンの冬はとても寒いのでアイスクリームは冷凍庫ではなく外で売っている。
- 電車で指定席乗車券は役に立たない。わざわざ指定席を買っても、すでに座られているケースがほとんど。早い者勝ちの感覚が強いらしく、指定席券を持たない人はどうあっても座り続けるので、4人席に、5人で座っ

たりする。

- 日本人と分かる知っている日本語を伝えてくれるのはありがたいが、「メシ、バカヤロー」といった、その場にそぐわない言葉を並べてる人多し。
- 携帯はどんな場所でもマナーモードにはしない。劇場で、映画館でもガンガン着信音が鳴り響いている。だが、だからといって怒る人もいない。
- とても綺麗な女性（スカートを履いているのにもかかわらず）が、自転車に乗るときや食事をする時に足をかなり広げている姿を見ることがある。びっくりする。

すみません、事柄を羅列しただけです。毎日が発見ばかりでとても楽しかったです。皆さんも中国に行かれたら、街を観察して見てください。面白いですよ。

（営業局業務推進部：杉浦麻樹）

## No.196

### 個人情報保護法律完全施行 / [コラム] “自分がもらって嬉しいもの”

2005年3月24日

## [コラム] 営業局企画部スタッフのつぶやき プレゼントの基本は “自分がもらって嬉しいもの”

早いもので、2005 年も 4 分の 1 が過ぎ、もうすぐ 4 月を迎えます。そして 4 月といえば、入社・入学のシーズン。甥っ子の拓弥くんが、ついこの間この世に生を受けたと思ったら、もう小学校入学なんです。「お祝い、何にしようかな……」と、年明けくらいから漠然と考えていました。そして、自分がもらった入学祝いの記憶を手練り寄せてみたのです。

ウン十年も昔の記憶とはいえ、意外と鮮明に覚えているのは、まず叔父からもらった赤い牛革のランドセルでした。当時は軽くて、型が崩れにくいクラリーノランドセルが流行りで、本革のランドセルは実は値段も高く、最初から型崩れしているような感じでした。私としては、お友達とちょっと風合いが違ったので、100%素直に喜べなかったという記憶が甦ってきました。

で、最近のランドセル事情はというと、IT 業界と同様にセキュリティ対策が重視されていて、その防犯登録に時間がかかるとかで、すでに甥っ子のランドセルは甥っ子の両親によって昨秋オーダー済みでした。

じゃあ、学習机? 転勤族の弟一家にとって、荷物になるものはどうかな、好みもあるし……。実は、私自身、当時両親に買ってもらった学習机にはあまりよい思い出がないんです。夜寝ていたところをタタキ起こされ、そして正座。父から「学習机を買ってやるからしっかり勉強しなさい」と、とうとうと話をされた苦い思い出が……。しかも、買っていただいた「ピンポンパン学習机」は、子供心に、子供じみていて、どうかな? と思った次第 (お父さん、お母さん、ごめんなさい!)

プレゼントの基本はなんといっても “自分がもらって嬉しいもの”、と原点に立ち返り、一番嬉しかった入学祝いは何だったかを思い出しました。そして、それはズバリ「図鑑シリーズ」だったので。動物や植物、今は嫌いになってしまったけど昆虫、そして宇宙や恐竜、たくさんの絵や写真が並んでいて、何時間も飽きずに眺めていたものです。「これだ!」と思った私は、早速、小学館の「図鑑 NEO シリーズ」12 冊セットを甥っ子に送りました。もちろん、とても気に入って喜んでくれました。

余談ですが、図鑑好きだった私が、大人になってから自腹で購入した図鑑は「世界動物大図鑑」です。1 万円

近くするし、持ち帰るには重過ぎるのですが、これまた見ごたえがあります。子供用の図鑑では見たこともないような動物とか、各地域での生態系などを知ることでもでき、動物マニアの知的好奇心を満たしてくれる大人向けの図鑑で、絶対お勧めです。

(営業局企画部：荒木直子)

## No.197

# 多様化するフィッシング詐欺 / [コラム]これが、統合・新オフィスだ！

2005年3月31日

## [コラム]@ITの真実 これが、統合・新オフィスだ！

先週末から今週頭にかけて、オフィスの引っ越しがあった。このコラムが皆さんのお手元に届く 31 日は、新オフィスの 4 日目だ。

新生アイティメディア株式会社は、法的には 3 月 1 日にスタートしていたが、これまで 2 つのオフィスに分かれていた。この移転で物理的にも統合され、内部で働く社員としては、“いっしょになった感”を実際に感じられるようになった。

旧アットマーク・アイティのメンバーにとってははず向かいのビルに移動しただけなので周囲の環境は変わらないが、距離はともあれ、移動+統合だったので、総務やシステム関係者は大変だったと思う。

私自身、新オフィス設計や引っ越しのプロジェクトにかかわっていないので、このオフィスのことを、まだよく知らない。これを機会にちょっと見ていこう。

フロアはすっかり広くなった（いま、社長の席まで「遠いぞ」といいながら歩いてきた人あり）。しかも現状、“間違っ”低いパーティションが入っているので、席に座っていても端から端までよく見渡せる。なんか、落ち着かない。

会議室 / ミーティングコーナーは、「子」「寅」「辰」などと命名されている。でも 12 個所あるわけではない。「辰に集合」といわれて「え、たつ？ タツ？ 立つ？」と慌てる社員多数。

リフレッシュスペースと名付けられたコーナーもいくつかある。それぞれ「あさり」「しじみ」「はまぐり」と名付けられているが、これら命名則の由来は不明だ。

そのリフレッシュスペースの一角にマッサージチェアが置いてある。なかなか心地よいらしいが、昼間っから座るのはちょっと恥ずかしい。

と、そんな感じだ（う～ん、何も伝わっていないかもしれない……）。



個人的には旧オフィスが入っていたビルにあったスタバから遠くなったのが、さみしい。といっても先月救急車で運ばれてからコーヒーは控えている\*ので、実質的には何も変わっていないのだが。まだ気持ちが切り替わっていないようだ。

明日から 4 月、気分を一新していきましょうか。

※突然の腹痛で担ぎ込まれた。後日の検査で腸炎と診断されたが、コーヒーとの因果関係を特に指摘されたわけではない。気分をやめているだけである

(編集 第 2 局 : 鈴木崇)

## No.198

### データベース・プログラミング縦横無尽/[コラム]新入社員の皆様へ

2005年4月7日

## [コラム]管理局長のつぶやき 新入社員の皆様へ

@ IT の読者の中にも、今年、社会人としてスタートされたばかりの方もいるのではないのでしょうか。

私も新入社員の時代がありました。もう 20 年前のことになります。

あのころの思い出は、銀行の独身寮から駒場東大前（井の頭線）まで歩く小道の沈丁花です。春の訪れを知らせてくれ、単調な会社との往復の中であの匂いがすると、いまでも新入社員だったころを思い出します。

また、入社 1 年目の桜の時期に、花見の場所取りで、井の頭公園まで出向いたのも懐かしい思い出です。

就職してすぐのころは、朝 9 ~ 夕方 5 時の勤務でしたが、寮に帰ると不思議と疲れて夜 10 時には寝ていました。会社では気を使っていないようで、案外使っていたんでしょうね。社会人のリズムに慣れるのに結構時間がかかります。

無理の利く年代といっても体調には十分配慮してください。

昨今は、就職事情も相当変化し、入社直後から現場でタフな仕事に就かせられることも多いようです。学校の OB 会なども、従来は大体卒業後 4 ~ 5 年目までの人が活躍したのですが、最近のこの年代は仕事がハードで休みも満足に取れていない人が多いようで、OB 会活動の中心から外れる傾向が見られます。

個人的には卒業直後は、学校の後輩の面倒を見る余裕があった方がいいと思います。自分のことばかり一生懸命の人生も、何か寂しいものです。仕事にベストを尽くすことは生活の糧を得るために当然のことですが、世の中や人のために自分の時間を費やすことも大事です。

自戒も込めて、新社会人の皆様に応援メッセージとして送ります。

(管理局長：工藤靖)

No.199

ユーザー・インターフェイスとしての帳票/[コラム]メディアに必要な“姿勢”を守る

2005年4月14日

## [コラム]アイティメディアの真実 メディアに必要な“姿勢”を守る

今年 3 月末で Yahoo! BB が累計 478 万回線となり、500 万回線にあと少しと迫った。

思えば、2001 年 6 月にデビューしてからわずか 4 年足らずでの偉業。当時、Yahoo! BB は破格の値段で NTT に勝負を挑んだ。この数年で、少なくとも契約回線数において、サービスリリース当時の目標契約件数をはるかに超えた。

当のソフトバンク BB は、いまだに経常利益の黒字化を達成せずに、株主をやきもきさせているが、「ブロードバンド」という旗印で、閉塞感のあった情報通信分野に風穴を開け、日本を世界有数のブロードバンド先進国に導いた意義は大きい。

ITmedia (当時の ZDNetJAPAN) でも、Yahoo! BB の記事をよく取り上げてきた。当初は ADSL モデムの設置や回線の開通までに時間を要したり、開通しても接続状況が悪く、手厳しい内容の記事が多かった。

孫社長には「お前のところのメディアは、俺の仕事の邪魔をする気か!」と幾度となく叱られた。ソフトバンク BB の経営会議 (月曜の夕方から火曜にかけて開催) で、ひたすら平身低頭した。孫社長が怒りの矢を向けると、まるで犯罪者をにらみ付けるような冷たい眼差しで衆目がこちらを見つめた。まさに、多勢に無勢。

しかし、記事の内容は (事実と異なるもの以外は) 一切変えなかった。ソフトバンクグループの一員である当社が、Yahoo! BB に対して厳しい記事を書くことに批判的な声もあった。だが、多くの読者はその姿勢を歓迎し、支持してくれたと思う。

資本主義経済の論理の中で、ビジネスの舵取りをしながら、メディアの立ち位置を守っていくことはなかなか難しい。最終的には、株主や経営者 (この場合は孫社長) の中期的視点に立った「度量」がものをいう。

一方、正しいと信じるが故に報道してよい、とばかりいえるものでもない。発信者には常に謙虚さが求められる。社員にはいつもいっていることだが、批判しても称賛してもよいが、根底では「テクノロジーに対する畏敬と愛情」を持つことが重要ではないだろうか。

(代表取締役社長：大槻利樹)

## No.200

### 新技術者の基礎づくりはTCP/IPから / [コラム] ライフスタイルの発見

2005年4月21日

## [コラム] 会長のつぶやき 「楽しい」から始まる ライフスタイルの発見

みなさん、ごぶさたしています（といっても、「@ IT 自分戦略研究所 Weekly」には、先日原稿を書きました）。「@ IT 通信」も 200 号を迎えることになりました。継続するということはそれだけで何らかの価値があるものと、勝手ながら感慨がありますね。永らくのご愛読ありがとうございます。

さてさて、ふと気がつくと季節は大きく移り変わっていきますね。

桜も散り、同時にスギ花粉の最盛期もようやく終わり（やれやれ）、落ち着いて仕事に取りかかろうかという時機がやってきました。個人的にはこの段階になるまでが実に長く感じたのですが、そんななかの“変化”についてお伝えしたいと思います。

この冬は、いろいろなことがありました。レギュラー業務としても当然ながら年度末決算がありました。加えて、何よりもハードだった会社の合併・統合、オフィスの移転など、イレギュラーなイベントが集中した季節でもありました。おかげで(?)か、3月にもなってインフルエンザに罹患。20年ぶりぐらいに町医者に出向いて風邪薬をもらう羽目になりました。どこかで身体的ペースを崩した結果なのでしょう。

そんな季節の移ろいと、わが身を巡る環境変化をようやく自覚する段になり、“変化に強い”ワークスタイル、ライフスタイルを発見することが重要と痛感しました。

仕事からみで対処すべきことが多くなってくると、物理的な時間というよりも心の余裕、柔軟性が失われていきます。それが何に影響するかといえば、私のケースでは運動量の低下につながります。歩数計こそ携帯しませんが、普段は多く歩くことを心掛けているはずが、時間のないことを理由についつい回避してしまいます。週2回通っていたはずのトレーニングジムにさっぱり顔を出さなくなります。と、そんな具合に運動量が減れば、むしろ体重増加ともなりますし、私の場合はインフルエンザ罹患の遠因にもなっていったと思います。悔しいことにいったんダウンしてしまうと、自分のなかに運動しないことのいいわけがどんどん用意されてしまいます。

さて、わが身を振り返って、変化に強いライフスタイルのポイントとはなんのでしょうか? 「しなければならない」

が、多過ぎる・重過ぎると、「できなくなった」という際のリバウンドが強いようです。いったん病気をすると、従前の日常を取り戻すのがいかに大変か、経験者にはお分かりでしょう。「ねばならない」とのギャップが大き過ぎるのは危険です。ポイントは、いかにちゃらんぽらんに、変化に適合するかです。

また、「好きだからやる」と、自分にとって好ましいことをモチベーションにする必要があります。私でいえば、週末に戸外で汗を流す楽しみは比較的維持されているのですが、それは自分にとり「楽しい」度合いが高いからと分析します。楽しいに身を任すと、雑念（仕事上の緊張など）も排除しやすいものです。

最後は駆け足になってしまいましたが、「楽しい」を軸に、極力柔軟な目標を自分に課すというのが、環境の変化にも耐えるスタイルのディシプリンと痛感します。まずは自身のライフスタイル、ワークスタイルにちょっと冷静な分析を加えるような機会も必要ですね。またお会いしましょう。

(代表取締役会長：藤村厚夫)

## No.201

### デュアルコア・プロセッサ最新動向 / [コラム] 春はジャストサイズな日曜大工

2005年4月28日

## [コラム] @IT 発行人のオフ

# 春はジャストサイズ & チープシックな日曜大工

春は引っ越しのシーズン。私の住む賃貸マンションでも空き部屋がちらほら出て、新しい住民がやってきています。新しい部屋には、新しい家具が欲しくなるものです。でも、「このスキマにぴったりの棚が欲しい」とか「これを載せてちょうどの高さになる台が欲しい」とか、思いどおりのサイズの家具を見付けるのは難しいものです。

ということで、私は以前からときどき簡単な木工でテレビ台とかスピーカースタンドとか身近な家具を作っています。

木材の調達、東急ハンズでカットしてもらおうか、インターネットで木材を扱っているところがオススメ。正確にカットしてもらえます。DIY ショップでもカットしてくれるところが多いですが、売り場の人が片手間でやっているようなところは避けています。サイズが数ミリでも微妙にずれていると、ゆがんだ組み上がりになったり、出っ張りをカンナで調整したりと、余計な手間がかかるのです。

木材がそろったら組み立てるだけ。プラモデルよりずっと手軽で一番楽しい瞬間。簡単なのは、例えばパイン材で厚さ 1.5cm、幅 30cm、長さ 60cm と 30cm の板を 4 枚組み合わせて作る箱。2 ~ 3 コ作れば棚になるし、キャスターを付けければサイドテーブルです。木工用ボンドで接着して、木ネジで組み立てれば人が乗っても壊れません。3000 円でお釣りがきます。

電気ドリルがあれば作業はずっと簡単です。5000 円くらいで買えますので、一家に一台どうぞ。塗装は、ウレタンニスのスプレーを 5 回くらい塗るときれいなツヤが出ますが、面倒なので最近はおっぴらオイルフィニッシュ。「フトコオイル」といった市販の仕上げ用オイルを塗って、紙ヤスリで刷り込みます。濃い色のオイルを選べば、アジア風な風合いの仕上がりにも。

市販のものでは得られない「ジャストサイズ&チープシック」。もうベランダに出て作業しても寒くない季節。楽しいですよ。私は、次にフロアライトを作ろうかなと思って構想中です。

(@ IT 発行人 : 新野淳一)

## No.202

# PKIのおさらい/[コラム]地域限定ヒーローが世界を守るのだ

2005年5月12日

## [コラム]私のはまりネタ

# 地域限定ヒーローが世界を守るのだ

北海道札幌市の東側に位置する白石区、ここには白石区だけしか守らない地域限定ヒーローがいる。その名は「雅楽戦隊ホワイトストーンズ」。白石区をこよなく愛する南郷 進、本郷 隆、北郷 誠の3人組が、日夜、白石区民の平和を守っている。

もともと身寄りのない南郷、本郷、北郷の3人は、幼いころから白龍神社に預けられ宮司に育てられた。そんな環境で育ったせいか、彼らは雅楽の演奏を得意とする。

ある日、彼らは自分たちの秘められた過去を知ることになる。その昔、川で溺死した3人は、川北博士という人の手により改造人間として蘇ったと……。

ここまで読んで、いやタイトルを見て敏感に反応したという人、あなたはお目が高い。私は以前、このコラムで「水曜どうでしょう」のことを書いたが、いつかホワイトストーンズをネタにしようと心に秘めていた。

そしたらね、やってくれたよインプレス TV さん。「水曜どうでしょう」に引き続き、「ドラバラ鈴井の巣」もネット配信スタートじゃない。「ドラバラ鈴井の巣」は北海道テレビの番組。30分の放送時間で、ドラマと制作現場の舞台裏が半分ずつで構成されているドラマバラエティ。そのドラマの1作品が「雅楽戦隊ホワイトストーンズ」というわけ。

なんといっても名前が素敵でしょ。科学戦隊じゃなくて雅楽戦隊、白石区だからホワイトストーンズ。世界じゃなくて白石区しか守らないってところも男気があって潔い。全国、いや、全世界の各地域で、そういうヒーローがたくさんいれば世界平和も夢じゃないと思わない?

そういえば、@ IT 発行人が愛してやまない東京都狛江市にも地域限定ヒーローがいる。その名も「多摩川戦隊コマレンジャー」。主な仕事は狛江の宣伝らしい。ヒーローになりたい人のために随時募集も受け付けている(いったい何人いるんだ? シフト制なのか?)。あなたの隣にも、平和を守るヒーローがいるかもしれない。

(人財開発部: 小島貴香子)

## No.203

### 自社システムの改ざんを防御するには / [コラム] 美少女新人作家デビュー

2005年5月19日

## [コラム] 営業課長の青春 美少女新人作家デビュー、そのとき (プロジェクトX風)

これは、作家になる夢を追い続けた女性と、それを見守った、私を含む彼女の友人たちの、真実の物語である。

2005年2月10日。1つの物語が1冊の本となり、全国の書店で発売された。本の題名は「BAD × BUDDY 12月の銃と少女」、著者は「吉田茄矢」、ラインアップは「富士見ミステリー文庫」。ティーンズ向けのライトノベルで、もともとは第4回富士見ヤングミステリー大賞の最終選考作品だった。

その日、私、和泉は仕事帰り、閉店間際の新宿紀伊國屋書店本店に、駆け込んだ。しかし本が1冊もない。もしや、入荷なしか？ 焦りを抑え、店員に聞いた。「そちらは別館、Forestの2Fにございます」。そこは、異空間だった。スーツ姿の三十路男にとっては、居づらい空気が漂っていた。即座に読書用と保存用、2冊を手に取りレジに向った。

すると店員がいった。「同じ本が2冊ですがよろしいですか?」。常識的な気遣いがかえって和泉を、ひるませた。

「間違えました」といいたかった。が、振り絞るように「それをお願いします」と答えた。そのとき、遠く海の向こう（徳島）で暮らす友人の大塚は、すでに6軒の本屋を巡り、4冊も買っていた。やはり結婚できる男は、器が大きい。結局和泉が直接知っている人だけでも、9人で計13冊、買った。

いつもの癖で、あとがきを最初に読む際、偶然巻末の著者紹介が目に入った。和泉は目を疑った。そこにはこう記されている。

『未だに携帯ではなくPHSで頑張る美少女新人作家』。

「美少女といって、許されるのは女子高生までだろう」——自然と言葉が、漏れていた。しかし作家本人も本が出るまで、この事実を知らなかった。編集部の強権が発動されていたのだ。彼女のヤケ気味な「サイン会と



か開くことになったら、どうするんでしょう。美少女演じちゃうよ?」という前向きさが、救いだった。

2005年4月15日。『ドラゴンマガジン5月号増刊』“ファンタジアバトルロイヤル”に外伝が掲載された。本編の評判が、よかったのだろう。夢の印税生活に向けた次の一歩が、踏み出された。これからも彼女と彼女を見守る友人たちの戦いは続く……。

(営業局アカウント営業部1課:和泉良)

No.204

IPSとIDS/[コラム]目新しさに踊らされず「ふるきを温め、新しきを知る」

2005年5月26日

## [コラム]エンタープライズ編集記者のつぶやき 目新しさに踊らされず 「ふるきを温め、新しきを知る」。

どうも IT 記者のような仕事をしていると、枯れてしっかり根付いた「当たり前」のテクノロジーよりも、「目の新しいもの」「話題のもの」に飛びついてしまいがちだ。

ご存じのとおり IT の世界では、次から次へと新しい「コンセプト」やら「ソリューション」やらが出てくる。恥ずかしい話だが、油断していると、それらの意味をよく消化することもなく、情報を追いかけては書き散らかすだけで精いっぱい、という日々になりがちだ。しかもそこには、他誌の動向を横目でちらちらと眺め、「遅れてはならじ」という横並びの意識があることも否定できない。

けれど@ IT との統合を機に、過去に書き散らした記事を掘り返してみたらあらためて気が付いた。「何だ、前にもおんなじコンセプトがあったじゃないか」「似たようなテクノロジーがとっくにでていたじゃないか」……何のことはない、情報を伝える側の自分が一番踊らされているようなものだ。

もちろん、同じテクノロジーでも環境が異なれば、その持つ意味や役割が変わってくることもある。個人情報保護法対策の一環として最近はやりの「シンクライアント」などはその一例だろう。メインフレーム時代のダム端末の代替から、LAN 環境を背景にした TCO 削減のツールとして提示されたこともあったが、最近はおそらく、はじめから端末に情報を持たせないことで情報漏えいを防ぐという側面から注目されている。

「あの人は今」ではないけれど、「あのテクノロジーは今、どんな文脈の中でどう生かされているのか」を冷静に振り返ることも重要かもしれない。温故知新の精神を見習わねばと感じる今日このごろである。

(編集第 1 局 エンタープライズ統括部：高橋睦美)

## No.205

### 目指せ! プロジェクトマネージャ/[コラム]最近あったちょっと怖い話

2005年6月2日

## [コラム]新人営業の告白 最近あったちょっと怖い話

入社し配属が決定してから、もうすぐ1カ月。少しずつ社会人生活にも慣れてきて、生活のリズムもつかめてきた。帰宅がそんなに遅くない日には、家でゆっくり本を読んだり、音楽を聴いて過ごしている。自分にとっては、このリラックスできる時間がとても大切だ。

この日も、帰ってきて風呂に入ってから本でも読もうと思っていたのだが、無性にジュースとお菓子が欲しくなり、近くのコンビニまで自転車で向かった。その日は、外の風が気持ちいいので少し遠い方のコンビニに行くことにし、気持ちよく買い物を済ませた。

しかし、その事件は帰り道で起こった。人気のない道を走っているときに、ふと道端を見ると、おばさんがぐったりと倒れているではないか。

「やべえ、人が、死んでる」直感的にそう思い、おばさんに声をかけた。「大丈夫ですか?」と、何度話し掛けても、体をゆすっても、おばさんはピクリとも動かない。

念のため、腕をとって、脈を調べてみると、脈はあった。死んではいなかったが、ヤバイ状況には変わりはない。救急車を呼ぼうと携帯電話を探すと、ポケットには財布しか入っていない。

「家から電話するしかない」そう思うと、家まで自転車を飛ばし、救急車を呼んだ。その場所を説明したが、正確な住所を知らず、相手も分からないようなので、一度僕の家に来てもらって、家からおばさんの倒れていた現場に向かった。

「あそこです! あそこに倒れてるんですよ!」おばさんが倒れていた場所を指さし救急隊の人と車を降りた。すると、おばさんの姿は忽然と消えていた。

「えー。なんで?」あんなにピクリとも動かなかったおばさんが……、なぜ? 僕たちは、辺りを懸命に探したが、おばさんの形跡はなく、気まずい雰囲気醸し出された。

「本当にいたんだよね?」救急隊員の口調は穏やかだったが、完全に疑っている眼差しだった。信じてもらおう

といろいろと説明したが、いえばいほど、うさんくさくなっていく気がして途中で弁解をあきらめた。

人助けするつもりが、多分「狼少年」の疑いを掛けられることに……。いや、絶対にそう思われてしまったはずだ。

自分の中に少しでも良心があったことをうれしく思いつつ、とても複雑な気持ちになった。数週間が過ぎたが、「あのおばさんはなんだったんだろう」と考え出すと、恐ろしさが襲ってきて、いまでもうまく寝付けない。

(営業局 アカウント営業部 1 課: 鈴木直人)

## No.206

### ユーザビリティを考えよう / [コラム] 君は砲丸投げを知っているか!

2005年6月9日

## [コラム] 新人営業の告白

# 君は砲丸投げを知っているか!

「期待の大型新人」ともてあそばれ続け、すでに1カ月が経過した。「大型」の意味は文字通りの「大型」だ。184cm、0.1tの体は、周囲からの好奇の目を捕らえて離さない。知らない人との会話はいつも「身長、体重はどれくらい?」で始まり、次の質問は「何かスポーツやっていた?」である。ダイエットしようと思っている一方で、すぐに自分の存在を覚えてもらえるという巨体の利点に複雑な気分になっている。

僕は中学、高校とこの巨体を生かして部活動に励んできた。所属していた部は「陸上部」で「砲丸投げ」をやってきた。前述の問いに「砲丸投げです」と答えると「柔道」という言葉を期待していた相手は若干戸惑った顔をする。その顔がたまらない。砲丸投げをやっていてよかったと思う瞬間だ。

なぜ、砲丸投げをやることにしたのかは簡単である。僕の通っていた学校は規模が小さかったため、柔道部がなく、陸上部か野球部くらいしか選択肢がなかったことが1つ。そしてもう1つ、僕は「ドカベン」にはなりたくなかったのである。

私見を述べさせてもらおうと意外に思われるかもしれないが、砲丸投げを含め、投擲（とうてき）競技はとても知的なスポーツである。足の運び、腕の突き出す角度。それらが若干違うだけで記録は大きく異なる。正しいフォームやどこに筋肉をつけるとよいのかということを考えるのが、当時の僕の幸せの1つだった。

さらに「叫ぶ」ことが爽快だった。陸上のテレビ中継で砲丸やハンマーを投げたときまたは投げた後まで叫び続ける選手を不思議に思ったことはないだろうか。ここでまた、僕の私見をいわせていただければ、あの叫びには理由がない。ただ、叫びたいだけなのだ。強いて理由を挙げるならば、砲丸やハンマーを投げるときの遠心力や重さから開放された歓喜の声ではなからうか。僕の体感的には、叫ぶと記録が1割ほど伸びた。その理由もよく分からない。

今は当然、投擲（とうてき）競技はしていない。しかし、たまに無性に砲丸を投げて叫びたくなるときもある。それを親に話すと「そんなことより、お前が仕事を投げ出さないか心配だ」といわれてしまった。実によく分かっている。

(人財開発部: 千葉大輔)

## No.207

# ビジネスプロセス・モデリング/[コラム]ブログをはじめました

2005年6月16日

## [コラム]事業開発局長の提案 ブログをはじめました

@ IT 通信読者の皆さん、はじめまして。事業開発局の磯貝一と申します。弊社は6月13日に「オルタナティブ・ブログ」という名称のビジネスブログメディア・サイトを開設いたしました。われわれのようなメディア企業が、どのような形でブログコミュニティにコミットするか、周囲を見つつ検討した結果、開設したものです。私にとっては、PCWEEK（現 ITmedia エンタープライズ）、MacWEEK（現 ITmedia PCUpdate）、ZDNet JAPAN（現 ITmedia）に次いで開設に関わった、4つ目のサイトです。

オルタナティブ・ブログの最大の特徴は、広い意味での「ビジネス」にフォーカスしている点にあります。ブロガー、読者の皆さん、事務局の三者共同で、新しいビジネスを立ち上げていこう。強弱はあれども、そんな趣旨にご賛同いただける方々に、ブロガーとしてのご参加をいただいています（当然、人それぞれ「ビジネス」の定義は異なります）。扱うテーマがITだからビジネスというだけではなく、われわれ三者がビジネスのきっかけをつかみ展開する場、とご理解ください。

従って、読者の皆さんには、琴線に触れたブロガーたちに気軽にそして積極的にコンタクトをとっていただきたいですし（そのための手段としてのコメントやトラックバックです）、われわれの趣旨にご賛同いただけるブロガーの方は、参加応募いただきたいと思います。また、自社サイトでの告知では十分とはいえない、われわれの場を使って自ら広報活動をしたい。そんな希望をお持ちの企業の方々には、協賛企業としてブログに参加することが可能です。

そもそも、広報活動は、広告とは別の方法でブランドを作る手段です。放送や紙メディアが主力だった時代とは別の形で、個人・企業ともに本気で新しい広報のあり方を模索する必要があるのではないのでしょうか？ しかも、楽しく。

以上、オルタナティブ・ブログからの提案でした。

（事業開発局：磯貝一）

## No.208

### ブログをビジネスで使う / [コラム] 夏、ビールが美味しい季節です

2005年6月23日

# [コラム] 技術開発部員のつぶやき 夏、ビールが美味しい季節です

先週末、久々にショッピングに行ってきました。都内の地元の駅ビル、若い子向けの雑誌に出てくるようないまどきのお洋服を売るお店に入ってみました。

ウィンドウショッピングしているのは、ほとんどが 10 代後半～ 20 代前半のヤングでスリムな人たちでした。スリムな人限定のサイズにちゅうちょしながらも、中に入ってみるとマネキンが着ている組み合わせもおしゃれで、思わずあれこれ手にとってみたりしました。

そこに、素敵なタイトスカートを見つけたので、少しタイプの違う 2 着と、七分丈のパンツを試着してみることに。試着室に入るとき、店員さんの意味深な微笑が気になったけど、かまわず試着。案の定ホックがかからない。あの微笑は、「多分、サイズが小さいと思いますけどお。」だったのかと妙に納得。嗚呼。

果敢にも、同じお店で、今度は夏らしいシャツを探すことに。あれこれ手にとってみて、3 着を選び、さすがに着られるだろうと思い試着もせずに購入。家に帰って早速着替えてみました。が。かろうじて着ることはできるものの、3 着中 2 着は、本来遊びのあるべきところが伸びきってはちきれそう。自分のサイズを過小、いや過大評価していました。

最近、洗顔中、前傾姿勢をとっているときに、体重を支えきれないのか、股関節の関節ネズミ（離断性軟骨炎：外傷や疾患などや老化で関節の変形や老化に伴う変形性関節症による骨片）がやけに騒ぐなあ、と思っていたけれど、実際に目で見ても、巷のサイズと比較してみても、がくぜんとしたのはいうまでもありません。

次回からは、自分に合ったサイズのお店で服探しをしよう。そして夏までに、なんとかスリムになって、この服を着よう。と固くココロに誓った週末でした。でもこれからビールのおいしい季節がやってくるんだよなあ。

(技術開発局：田崎輝代)

## No.209

# プロジェクトゴールのために「要求」を「管理」する/[コラム]下っ端“X-MEN”

2005年6月30日

## [コラム]編集統括のつぶやき 下っ端“X-MEN”

乾燥したオフィスに長時間いる私の悩みは、お肌の乾燥……もだが、「静電気」だ。新オフィスに移ってからというもの、特にひどい。この時期にいまだに静電気に悩まされているのだから、深刻さがお分かりいただけるだろうか。

床が比較的毛足の長いカーペットなためだと思うのだが、とにかくやたらバチバチくる。ドアの取っ手でバチッ。引き出しやキャビネット、冷蔵庫を開けようとしてバチッ。自販機にコインを入れようとしてバチッ。手をかざすと水を出すタイプの洗面台でも、水を通してバチッだ。

この辺はまだ私が痛いだけだからいい（いや、よくはないが）。すでに被害は他人にも及んでいる。USB メモリを渡されたときにバチッときたときは、データが壊れたかと心底あせった。またあるときは、仕事を頼み、「よろしくね」と肩をぼんとたたいたらバチッ。「針さしたのかと思いました」といわれたときには、わが身がついに凶器と化したかと情けなくなった。

会社を出ても、エレベーターのボタンに自動改札、レジでおつりをもらうときなど、あらゆる場所で静電気が私を待ち受けている。今からこんな状態じゃ、冬はいったいどうすればいいのだ。静電気解消グッズも数種類使ってみたが、グッズ越しに静電気がきたときは泣きたくなった。

静電気の発生量は体質によって差があるものらしい。ならば特異体質の持ち主が集う「X-MEN」に入れてもらうか。静電気は「Static electricity」だから「スタティ」とか呼び名も考えてみた。しかし「X-MEN」は、手から火や氷を出したり、雷を起こす超能力者ぞろいだった。静電気発生くらいでは弟子入りしても下っ端だろう。

プラス思考に頭を切り替えよう。発生した電気をどこかにためておけないものか。ノート PC のバッテリーに充電できれば、モバイル時も困らない。ためておいた静電気で明かりをともしれば、災害時に役立つ。カレシを自宅に招いて「コーヒー一杯のお湯くらいなら手で沸かせるのよ」などといえれば、災い転じて省エネとなる、だ。お嫁さんにしたい特技 No.1 になるかもしれない。こうなったら、世界中の静電気体質の人々の力を結集して、大規模蓄電設備を作る。う～んエコだ。むちゃくちゃな理論だと突っ込まないでいただきたい。そうでも思わないとやっつけられません。

ここはぜひ科学の発達に期待したいものだ。今年の冬には間に合いそうにもないが。（編集第 1 局・松山由美子）



No.210

Linuxカーネル2.6/[コラム]マクドナルド青春物語

2005年7月7日

## [コラム]IT戦士のつぶやき マクドナルド青春物語

「ねえ、好きってなんだろう」——うつむき加減につぶやく、黒髪の女子高生。小さな机を挟んだ向かいには、学ラン姿の男の子が顔を真っ赤にして、困ったように眼を泳がせる。

張り詰めた空気を切り裂くように、「ねえ、腕ずもうしよう!」と言い出す彼女。「なんで?」と困惑する彼だが、「やってみたいの」と食い下がる彼女に負けて「いいよ」。右手を組み合う2人。彼は手加減しながらも、結局勝ってしまう。

でも、彼女の目的は、勝負じゃなかった。腕相撲に負けたあとも彼女は、彼の右手を握ったまま離さなかった

これは私が通いつめている駅前のマクドナルドでの1シーン。無線LAN (Yahoo! BB モバイル) が無料で使えるので、休日の仕事場としてよく使っているのですが、夕方ともなると高校生のたまり場に。プリクラを交換したり、受験について喋ったり、最近の高校生事情が分かって楽しく、ぶっちゃけ仕事どころじゃありません。

冒頭のような甘酸っぱいシーンに出くわすこともたまにあります。思わず聞き耳を立て、さらに思わずメッセージを立ち上げて友人に実況中継してしまうあたり、私もおばちゃんになってしまったなと反省しきりです。

「おまえエッチしろよ、ここまでやったんだったらさ」——そんなことを言い合う男子もいました。男子グループの1人が、彼女とのキス写真を、嫌がるフリをしつつも誇らしげに見せた後、別の男子に言われたせりふです。「なんでツッこまねーの?自信ないのかよ」なんて背伸びした発言が初々しく、女子高育ちの私は萌え萌えです。

彼らが楽しすぎるおかげで仕事はまったくはかどらないわけですが、普段出会えない人の会話を聞くことで、視野を広げているんだからいいじゃないか——などと、それらしい言い訳を自分にしてしまう私なのでした。

(編集第1局:岡田有花)

## No.211

### 時代は組み込みLinux! ? / [コラム] MASKED RIDER

2005年7月14日

# [コラム] 技術開発局スタッフからのおさそい MASKED RIDER

仮面ライダーと言われ、皆さんはどのライダーを思い出しますか？

長く続く仮面ライダーのシリーズの中でも、「和」をベースに作り上げられた今回の仮面ライダー響鬼（ヒビキ）はかなりの異彩を放っています。なにせライダーたちは“鬼”と呼ばれ、主役である響鬼の武器は撥（ばち）。撥でどうやって敵を倒すのかといえ、敵に太鼓のようなものを取り付け、それを叩くことで「清める」というかたちで、「音」で相手を倒すことになるわけです。

敵は基本的に“童子”と“姫”と呼ばれる育ての親のような存在と、“魔化魍（まかもう）”と呼ばれる蟹や蜘蛛の化け物が1セットで現れ、毎回ライダーたちと戦うことになります。

その後、現在までに数人のライダーが追加されていますが、これだけ「和」をベースにした背景なのにもかかわらず、話が進んでくると、ほかのライダーが使う武器はトランペットやギターになっていて、気が付けば、和も何もあったもんじゃなくなってしまうわけで。

かといって気に入らないかといわれるとそんなことはなく、最近登場してきてかなりお気に入りになったのがギターを武器にする轟鬼（とどろき）。これを知り合いに話したら「轟鬼って『ギューン!』の人?」と聞かれ「違うわ!」と返そうとしたものの、ふと気付く。「あれ? ギューンといえばギューンか……」

ギューン! はさておき、轟鬼の武器はギター（正式名称は“音撃弦 烈雷”）であるが剣でもあり、それで敵を痛め付けはするものの、最後はあくまで「音」で清めることとなります。そこまでは手段は違えどほかのライダーとなんら変わるところはありません。こやつのはここからなのです。

化け物の魔化魍を倒し、一息入れた轟鬼は突然、烈雷をくると回し、激しくギターソロをかき鳴らし始めます。これを最初に見たときにはかなり驚き、そして笑った。実際の演奏者と轟鬼はもちろん別人であり、演奏と指の動きがあっていないなどあるものの、そんなものは問題ではないのです。

どうです? 特撮好きな読者の皆さん、日曜朝8時という社会人にはきつい時間ですが一度見てみませんか?

(技術開発局: 粟飯島勝明)

## No.212

### さまざまなVoIP実現方法 / [コラム] 海での格闘～水着撮影編

2005年7月21日

## [コラム] 編集部員のつぶやき 海での格闘～水着撮影編

「♪はるばるベイベこんなどこまで来てしまった」 なーんて歌いながら都内から車を走らせること数時間、やってきました由比ヶ浜。有休使って一足早いバカンスです!

……ウソです。仕事です。ITmedia LifeStyle チャンネルの「デジカメ撮影術」という連載のための水着撮影です。ちなみに都内から数時間もかかっちゃったのは、道路が混んでいたから。

この日は朝からホントいい天気で、梅雨はもう明けたのか? てな暑さ。帽子をかぶっていても日差しはまぶしく、日射病になるのではないかと心配になるくらい。晴れたのはうれしいけれど、あ、暑い、暑すぎる……。しまいには帽子では不足、持参したレフ版を日よけがわりにしてしまったほどです。

しかし、大変だったのはそれだけではありません。海で写真を撮っていると（海だけではないのですが）ものすごく注目を集めてしまうんですね。撮影の間、私は主にビーチで荷物番をしていたのですが、何度話しかけられたことか。

「あれって何かの撮影ですか?」「どこの雑誌?」なんてのはまだいい方で、「撮影してんの?! なんか手伝おうか!!」という下心丸見えなものから「実はオレ、記者になりたいんだ。連絡先教えてよ!」て訳の分からんナンパまで、しつこいのなんの。

iPod で大好きな「三人」の曲を大音量で聴いて、無視してしようかとも考えたけれどそれじゃあカメラマンの呼ぶ声とかまで聞こえなくなっちゃうし。仕方がないので、その都度適当にあしらっていましたけれど、はあ、疲れた……。

そんなこんなでしたが、水着撮影は無事終了。カメラマンはいいカットがたくさん撮れたと喜んでいました。よかったよかった。ちなみに記事はコチラ。ぜひご覧になってみてくださいね。

▼今日から始めるデジカメ撮影術 第26回 水着と海水浴の関係

(編集第1局:北村明子)

## No.213

### フィッシング詐欺にはもううんざり / [コラム] クールビズ、某IT企業の場合

2005年7月28日

## [コラム] 編集部員のつぶやき クールビズ、某IT企業の場合

もうすぐ 8 月。「クールビズ」を始めた企業の皆様も、だいぶ慣れてきたころではないでしょうか。

アイティメディアの編集局は、そもそもスーツとは縁がなさそうな人々（40 代後半でも T シャツにハーフパンツでビルケンサンダル、とか。丸の内なのに）が大半ですが、営業の皆さんはネクタイをはずした程度のスーツ姿で暑い中歩き回ってくれています。本当に頭が下がります。

ところで私の知人の会社（某外資系中堅 IT 企業）には「ビジネスカジュアルの遵守」ということで、クールビズの「禁止事例」があります。例えば……

- T シャツ、襟なしシャツ、アロハシャツ、スウェットシャツなどは不可
- スニーカー、サンダルなど不可
- ジーンズ、半ズボン、トレーニングウェアなど不可

生徒手帳に書いてあるのかと思うような内容ですが、イントラネットで通達されたんだそうです。極め付けはこれ。

- シャツの裾（すそ）が Y シャツスタイルの場合は外出しは不可

そりゃ普通のワイシャツの裾を出したら変かもしれませんが、オーバーシャツ前提のデザインのシャツもあるわけだし、出した方が涼しいのに。

ところで、なんでシャツの裾を出すのが失礼とされているかというと、昔々欧州では男性が下着を着けず、シャツの裾で済ませていた（ってちょっと具体的に想像したくないですが）からなんだそうです。裾を出してるのは下着を見せてるようなものだったわけです。でも今、そんな人はいません（よね?）。

たしかに規則があれば、その枠内で自由にできるので、かえって楽なものです。上司だって、部下が「それはちょっと」なスタイルにしてきたからといって、いいオトナに対して服装に関しての注意などしたくはないでしょう。とはいえ、お達しは「人に不快な思いをさせない服装」の 1 行で済むのではないのでしょうか。

「風紀委員」のお姉さまが毎朝校門(?) でチェックしてたら、それはそれでちょっといいかもしれないですけどね。

（編集第 1 局：佐藤由紀子）

## No.214

### 組み込み開発の新たな潮流 / [コラム] 進化を続けるインターネット広告

2005年8月4日

# [コラム] 営業部員のつぶやき 進化を続けるインターネット広告

インターネット広告の現場は、他メディアの広告とは比較にならないほどのスピードで進化や変化を繰り返しています。各媒体社が広告主に対し、矢継ぎ早に次から次へと新商品のコマーススペース（より大きく、より大容量で、そしてより目立つ位置）や、表示方法の仕掛け（オンマウスやストリーミングなど）を開発・投入していくことを競い合っているのが現状です。

雑誌や新聞などの紙メディアでは刊行速度や紙面面積などの物理的制約があるのに比べ、インターネット広告は比較的フレキシブルといった点があり、何よりもインターネットメディアの地位がようやく確立されて、広告主からの大きな注目と期待が表れています。その結果、情報量や表現力のより豊かな広告が増え、興味をもった読者へのより良い情報伝達につながればよいと思っています。

いま、大切なことだと感じているのが、「広告配信のネットワーク速度」と「読者側の PC のハードスペックやネットワーク環境」、そして「受け手の作法（読者の欲求や理解）」という3つの要素です。この3つの要素のなかにどこか突出して大きな負荷がかかってしまえば、読者にとっても、広告主にとっても決してハッピーなことではありません。

Web メディアの担当者としてのミッションは、その微妙なバランスを調整しながら両者のより良いコミュニケーションの場を提供していくことだと、あらためて感じています。

他媒体はどんどん派手なブロードバンド広告などの新メニューを投入しています。弊社はこうした新広告には比較的保守的でしたが、読者のみなさんは“広告”にどんなご要望をお持ちでしょうか？ よろしければご意見をお聞かせください。

（営業局：長江正陽）

## No.215

### 現場の問題を解決しよう / [コラム] 数が多ければイってmondでもない

2005年8月11日

## [コラム] 営業部員のつぶやき 数が多ければイってmondでもない

ある日、仕事を終えて家に着くと、リビングの雰囲気がいいつもと違う。しばらくは気のせいかと思っていたが、なんか落ち着かないのでよくよく調べてみると原因が判明した。

部屋の四隅に小さな白い物体が置いてあるのだ。そう、たとえばあまりよくないが、ちょうど検便のときに使用するアレによく似ている（お食事中だった読者のみなさますみません）。ついに母親が悪い新興宗教に入団したのかと心配になって尋ねると、どうやら1人暮らしをしている祖母が購入した、置いておくとゴキブリが寄りつかなくなるという、すぐれもの商品らしい。大量に買い過ぎてわが家にもお裾分けを頂いたとのこと。さらによく調べてみると、リビングだけでなく、キッチン、トイレ、そのほか家中の部屋の四隅に設置されていた（一体祖母はいくつ買ったのだろう……）。

最近「ムシキング」というゲームが子供たちの間で流行っているらしいが、実際の虫は触れないという子も多いそうだ。自分もそこまでひどくはないが、いわゆる「最近の若者」といわれる世代なので、ムシ（ゴキブリはムシに入るのだろうか？）が出ないなら、多少部屋の景観は悪くなるが我慢しようと思った。

ところが事件は1週間後に起きた。出たんですよ、ゴキブリが!!

しかも入浴中、生まれたままの姿という、こちらがかなり無防備な状況下で……。

凍りつく自分。視線を感じてかピクリとも動かなくなる彼。太古の時代より生き続ける先人への敬意など、すでにこちらには存在しない。もう、殺るか殺られるかの世界だ（まあ、殺られはしないだろうが）。

だが、素手でつぶすのは避けたいところ。熱湯を浴びせる、シャンプーで攻撃するなどいくつかの方法は考えたのだが、この狭い浴室で彼に飛ばれるのは厄介だ。結局、うまい殺虫方法も思い浮かばず、いったん風呂から上がって新聞紙でつぶすのが得策だろうという結論に達し、第1ラウンドは心理戦のみで終了。しばし一緒に入浴するという羽目になった。

恐らく祖母が買った駆除剤が効かなかったわけではない。いや、むしろ効き過ぎたのだ。あくまで推測ではあるが、どうやら、家中に置かれた駆除剤を避けて、唯一置かれていない浴室に逃げ込んできたのだろう。確かに

漏れてしまうので風呂場には置けない。意外な盲点だ。

風呂から上がり、丸めた新聞紙を片手に再び浴室へ戻っての第 2 ラウンドが終わったころには汗だく状態。何のために風呂に入ったんだろうと思いつつ、「いくら便利な道具でも効果は使い方次第だよなあ」という当たり前のことを、2 度目の湯船に浸かりながら痛感した。

(営業局：植木立朗)

## No.216

### 大規模なウイルス感染警報が発令中/[コラム]ボールパークでかっとなげせ～○○!

2005年8月18日

## [コラム]営業部員からのお誘い ボールパークでかっとなげせ～○○!

ITmedia (当時の ZDNet Japan) に入るまで、世間知らずだった私は、失礼ながら IT 業界の媒体社の人たちは、アキバやアニメを愛する引こもり (という私もガンダム好きっす) だと思っていました。「スポーツ? 疲れるだけじゃん」みたいな人が大半かと。

しかし、実際に入社してみると、野球、サッカーを中心に意外とスポーツ好きな人種が集まっていることに驚きました。なかには、アトランタオリンピックのブラジル戦で、後に「マイアミの奇蹟」といわれる大金星をあげた西野監督のオフィシャル Web サイトの編集長がいたり、野球をこよなく愛し、秋になると「今年こそは!」とあはれもないプロからのドラフト指名を心待ちにする企画部長がいたり、(もう退職しましたが) オリンピックの最終選考まで残ったアマレスラーがいたりと世間的にも異色なスポーツ愛好家が在籍していました。

そういう私も、週末はバレーボールに興じ、毎月 1 度はスポーツ観戦にでかけるフリークです。特に野球に関しては、自他ともに認める虎狂で「子供ができたなら名前は大河 (タイガー) か虎樹 (トラッキー) やな」などと考えている大バカ者です。

しかし現在、わが軍は中日とガチンコでセリーグの覇権を争っているにもかかわらず例年に比ベイマイチ“虎の血”が騒ぎません。今年から阪神のヒッティングマーチ(HM)の大半が変更となってしまったのが痛手です。HM というのは、打者が打席に立った際に、「かっとなげせ～○○!」という掛け声の前後に歌われるあれです。

今年の 3 月、わが軍の HM の著作権料がある応援団を通じて暴力団の資金源となっていた可能性が高い (その額は千万にもなるとか) という理由で、大部分の HM が変更となりました。頭では理解できるものの、長年にわたり魂を込め叫び続けた HM を簡単に心や体が忘れられるはずもありません。私と同様に乗り切れない虎党は多いようです。

HM の世界も奥深いこととはご存じでしょうか。球団によってその内容、スタイルは異なりますが、わが軍の場合も、「フィールド駆け抜ける 世界一のスプリンター 期待と夢乗せて 走れ赤い彗星」のようなガンダムマニア系虎党にはたまらない赤星の HM や 桜山ダンスと呼ばれる振り付けとともに歌われる桜山の HM などさまざまなものがあります。



この世界は実際に足を踏み込むまでは、ヒジョウに寒く、赤面ものではありませんが、ビールを飲みつつ、メガホン片手に歌えば、最高のストレス発散になるんです。特に球場を埋め尽くした 4 万を越すファンが一体となって、エールを送るその姿には感動さえ覚えます。

今年は、球界初の交流戦が行われ、ロッテや楽天などの応援スタイルが注目を浴びました。球界再編に伴い、ファンサービスにも力を入れ始めたプロ野球界。まだ生観戦の経験がない方も 1 度、ボールパークで狂喜乱舞してみませんか？

(営業局：林大樹)

## No.217

# 日本固有のIT文化「帳票」のイマを知る / [コラム]乙女がおまけにはまる理由

2005年8月25日

## [コラム]営業部員のつぶやき 乙女がおまけにはまる理由

夏になって飲料メーカーの「おまけ」にはまった。おまけの類は好きだったが、乙女が「ガチャガチャ」をやっている姿もどうかと思って控えていた。

思えば、飲み物を買うという行為でフィギュアが手に入るのだからいい世の中になった。しかも意外と細かな造りをしているからあなどれない。

特に女子高生の間ではやっている「こりらっくま」にはまった。そう、色が白くて黒く丸い目、半分口が開いていたりすると、もうどうにもかわいくてしょうがない。だらだらしているのがまた……そっか。これは私の願望なのか。

最近編集部の一部の方々も協力してくれている（ありがたいことです）。シークレットなんぞ出た日には自慢！といってもそのうれしさが伝わる一部の方へ。ええ、理解されなくても集めるんですが。

オフィスを見回してみると……私以外にも、デスクの上にフィギュアを置いている人が多数。モノは違えど部署問わず。

CRT モニタだと上にフィギュアを飾れるからよかったけど、ノート PC だとできなくてつまらない。向かいの人のパーティションの上に、無理無理アヒルなんか置かれていたりする……こういうところに規制がない会社でよかった。

メーカーの策略に負けた気もするが、ペットボトル飲み物にフィギュアを付けたのは素晴らしいアイデアだと思う。飲み物を買うという行為に楽しみが生まれたのだ。こだわらないのであれば、おまけ付きのやつを選びたい。先日スポーツ飲料にアミノ酸のタブレットがついていて買った（効くのかなあ……）。

オフィス移転のときに一部を自宅に持ち帰ったものの、ここ何カ月かのおまけ収集により、会社のデスクの上がフィギュアで埋まってしまった。こういう状況を考えてなるべく場所のとらないプチ系もうれしい。

机を埋めてはいけませんが、日々の業務の潤いに欠かせないものになっている。こういう癒しは必要だなと思う。

（営業局：永野亜希子）

## No.218

### エクストリーム・プログラミングで開発効率を最大限に / [コラム] 福岡・博多のお国自慢

2005年9月1日

## [コラム] 営業部員のつぶやき 福岡・博多のお国自慢

最近、実家に帰省したくなる時がよくある。日々の忙しさや時間の速さ、大都会の雑踏を感じたときなどだ。私の出身地は福岡・博多。博多といえば、皆さんは何が思い浮かぶだろうか？ 明太子？ 博多人形？ 黒田節？（という人はそうはいないだろうが）その中でも、ホークス、という人は少なくないだろう。昔は福岡ドームといていた、現在のヤフードームを本拠地に昔と変わらず地元の人に愛されるホークス。

私もそのファンの 1 人だ。東京に上京してからというもの、福岡へは冠婚葬祭などで帰省する程度になり、野球観戦に行くこともなくなってしまったが、学生時代はライオンズ戦ともなれば、平日でもせっせと出かけ、月 1 回は福岡ドームに足を運んだものだ。

そのころ（約 10 ~ 15 年前）のホークスは大変失礼ながら、いまのような強いチームとはいえず、大体毎年 B クラスで「今日こそは勝ってくれ!」と試合を見に行くたびに友人と祈るような気持ちになったものだった（そういうホークスだからこそ、当然、毎回応援にも熱が入り、1 試合で 2 本買うメガホンは毎試合使い捨てとなっていたのはいうまでもない）。

そう、いまでこそ強いチームなのだが、昔はそうではなかった。しかし、だからといってファンの数がその間減ったことはなかったのではないだろうか。

本当に地元で愛される地元のチームなのだ。理由はさまざまだろうが、23 年間、福岡で育った私的意見としては、福岡の人は祭り好きだ。団結心も強い。男も強い。しかし、女はもっと強い（あまり関係ないが）。多くの人がきっと福岡・博多という街を誇りに思っていて大好きなのだ。そして、そういう地域で頑張るホークスがみんな好きなのだ。

ちなみに、福岡はホークスだけでなく、菅原道真で有名な大宰府天満宮、うなぎで有名な柳川、祭りならどんたくや山笠、食事ならラーメンにモツ鍋・水炊き（普通に肉も魚も美味しい!）、お父さんには西通り&中州……などお薦めは盛りだくさんだ。

ただ、いまの私は歳を取るごとに福岡が遠くなり今年の夏も帰省できず、寂しさをスーパーの明太子や近所のモツ鍋屋で紛らわすことが多くなっている。きっとまた街は変わっているんだろうな……。 （営業局: 澁江利恵）

## No.219

### 最近のSQLってどうなの?/[コラム]1人暮らしにおける救急車の呼び方について

2005年9月8日

## [コラム]営業部員のつぶやき 1人暮らしにおける 救急車の呼び方について

先日、1人暮らしの私の兄が救急車で運ばれた。

その日、兄は職場の飲み会に参加し、深夜まで大量に飲み食いして部屋に戻った。その時点ですでに腹は猛烈に痛んでいたという。けれど、寝れば治る、そう考えて床に就いた。だが、その痛みは増すばかりで、眠ることすらできず、結局そのまま1人で2時間悩んだ末、とうとう自分で119番に電話した。

119番の際、兄は近所を気遣い、電話口で「サイレンは鳴らさずに来てください」と頼んでいる。さらに、マンションの部屋で待つことはせず、身支度をして外に出て、路上に三角座りで救急車を待たらしい。数分後、救急車は当然ながら盛大なサイレンと共に駆けつけ、顔面蒼白の兄を乗せていってくれた。

車上、救急隊員はしゃべるのも苦しい兄に対し、「なにを食べましたか?」「なにを飲みましたか?」「その妙な名前の飲み物はなんですか?」と、その日、口にしたものについて微に入り細に入り、しつこいくらいに尋ねた。

兄は、痛みにもうろうとする意識のなか、スクリュードライバー、ソルティードッグといった名だたるカクテルについてその組成をきちんと説明したらしい。

こうした一連の救急隊員の行動はまったくもって正しい。サイレンは鳴らすべきであるし、食中毒が疑われるこのような状況においては、一通りのことを確認すべきである。

「自分で自分のために救急車を呼ぶのはけっこう勇気がいる」兄はそういう。確かに他人のために救急車を呼ぶときに「サイレンを鳴らさずに来てください」とはきつといわない。人間、自分のこととなると優先順位がおかしくなってしまうこともあるのかもしれない。

結果として兄はただのかいようで、適切な措置もあり、数日の入院と静養を経て快復を果たしている。みなさんも、救急車を呼ぶ時には恥じらうことなく、堂々と運ばれてほしい。間違ってもタクシーを呼んだりしてはいけない。

(営業局:鈴木一冬)

## No.220

### 読書の秋、さて何を読む? / [コラム] 不安に満ちた、人生初の……

2005年9月15日

## [コラム] 編集局員のつぶやき 不安に満ちた、人生初の……

先日、人生初のイベントをこなしてまいりました——手術です。左の手のひらに、ナゾの引っ張りができたため、切除してもらったのです。

なんといっても初めての手術、不安でいっぱいです。そもそも最初に見てもらった医師の「よく分からないけど大きな病院で切ってもらった方がいいよ（意識）」というステキにアバウトな診断からして不安を煽ります。手術当日も、看護師さんはびびる私に笑顔でこういいます。「部分麻酔で意識があるから怖くないですよ」……。むしろ余計に怖いんですが。

しかも「1センチくらい切るだけの日帰り手術」と聞いていたのに、手術着に着替えさせられて戸惑いの嵐。普通の手術みたいで怖いんですけど。そしてなぜか名前の入ったテープを足首に巻かれました。なんだか死体置き場の死体のようなんですが。

覚悟を決めて手術台に乗ると、血圧や心電図をモニターする装置を付けられます。麻酔をかけるから必要なのですが、初心者にはちょっと大げさに感じられます。その上、手と足を固定されてしまいました。まさかこれから改造手術? 仮面ライダー（1号）にされたらどうしよう。

……そんなこともなく、普通に手術は始まりましたが、手術中はとにかく忍耐。左腕だけに麻酔をかけるために腕の付け根を止血帯で締めているのですが、これがかなり痛い。そしてひたすらヒマ。それから眠い。でも、寝ぼけてうっかり動いてしまって変なところが切れたら嫌だなあ、と思うと眠れず。そしてとどめに鼻の頭が時々かゆい……。自分ではかけず、とはいえ看護師さんに「ちょっと鼻の頭かいてもらっていいですか?」ともいえず、ただひたすら耐えるのみ。小一時間ほどの手術がやたらと長く感じられました。

とはいえ手術は無事終わり、ストレッチャーで運ばれて急患気分というおまけ付き。ナゾの引っ張りの正体は「ガングリオン」というもので、腱に油などがたまってできたものだそうです。合体ロボみたいな名前ですね。

人生初手術は面白い体験ではありましたが、やっぱり健康が一番だとしみじみ思うとともに、それ以上に実感したことが1つ。ナースさんはとにかくにこやかで優しく、殿方が白衣の天使に「萌える」のも頷ける……。と、ちょっとくだらないことをつくづく思ったのでした。

（編集局：廣渡朝子）

No.221

DNSサーバの設定を見直してみよう/[コラム]狙いは高感度消費者、メンバーも…

2005年9月22日

[コラム]編集局員のつぶやき

## 狙いは“高感度消費者”、 もちろん編集メンバーも……

9月1日、アイティメディアに新しいブランドが誕生しました。名前は「+D」（プラスディ）。Mobile や PCUpdate など既存のチャンネルを統合した消費者系サイトで、今後は順次、新チャンネルや EC、双方向サービスなどを拡充していく方針です。

同サイトの方針はずばり「新しいデジタルライフスタイルの提案」。既存の IT の枠にとらわれず、デジタルライフを楽しむ人たちにより面白くてエッジの効いた情報や使い方を提供するのがサイトの趣旨です。もちろんメンバーもツワモノぞろい。アイティメディアじゃ珍しく、一見してフツーじゃない人たちが集まっています。

ちょっとまわりを見渡しても、睡眠不足の目つきで延々、MP3 プレーヤーのバッテリーテストをやっているのや、携帯ゲーム機の液晶にふうふう息をかけたたり、いやらしげな手つきで触ったりしているやつとか。おーい、突然笑い出すなよ。怖いから。

他にも、深夜、穴蔵（倉庫兼ラボ）にこもってひたすらビデオカードのベンチマークにいそしんでいるのとか……って、これじゃ一昔前のパソコン出版社マンマじゃん。

「あ、それなら僕は眼をつぶっていても、携帯端末の重さが当てられます」（モバイル編集部某）——そりゃすごい。でもそのどこが新しいデジタルライフの提案なんじゃい！ そういう人は『TV チャンピオン』の方を目指してね。サイトの趣旨が違う、サイトの趣旨が！

「中川さん、××の発表会で仲間由紀恵が出ますけど」「あ、ドアップ、俺用をお願いね」「プロクレーの発表会どうします」「行く行く、記事は書かないけど」——ってそれじゃただのアイオタ兼アニオタ。結局、一番悪いのは俺なのね……。

こんなメンツで作る「+D」が、「新しいデジタルライフスタイルの提案」というオシャレなメディアになりますかどうか。乞うご期待。

(+D 編集部：中川純一)

No.222

XMLデータベースを普及させたい/[コラム]キミと僕との間には…(読者プレゼント編)

2005年9月29日

## [コラム]編集局員のつぶやき キミと僕との間には…… (読者プレゼント編)

読者プレゼントコーナー、というものがある。誌面にものやサービスを掲載して、「何名様にプレゼント」とやっている、アレだ。

こういう企画は、メーカーと編集部との「持ちつ持たれつ」の関係があって成立する。編集部はプレゼント企画で読者を喜ばすことができるし、メーカーとしても製品を媒体に露出させるいい機会になる。だから、メーカーに電話して「今度読プレ(読者プレゼント)やるんで製品くれませんか?」というと、案外すんなり提供してくれることが多い。そりゃあ、「あまりに高額な商品は提供が難しいこともある」と某社広報さんは言っていたが。

筆者も、たびたびプレゼント企画を実施している。応募が多数あるとうれしいものだが実はこの手の企画には「悪魔の誘惑」が存在することは意外に知られていない。

誘惑その1は、プレゼントを身内にあげたくなるということである。当選は発送をもってかえさせていただく……というケースだと、誰に当選したかなどは読者はおろか下手すると社内の人間にも分からない。担当者が「こいつ当選」と決めて、ものを送ってしまえば終わりである。だから、このグッズ欲しいなあ……と思ったら、自分でガメてしまうことも可能といえれば可能なのだ。

誘惑その2は、好感もてる読者にプレゼントをあげたくなることである。公明正大な編集者とはいえ、やはり人間。「いつも読んでます! 頑張ってください!」と応募してきた人間と、「こんなサイト最低、もうこねえよ」と応募してきた人間では、前者に当てたくなってしまう。実際、応募者もこの点は心得たもので、慣れたユーザーの間で「自由記述欄は長文を書け」というのは常識化しているらしい。ほかにも、当選者選択の現場で「どっちに当選させるか2択になった際、(ハガキの応募で)宛名書きに“御中”があるかないかで決めた」という裏話を聞いたこともある。

ちなみに、ITmediaでは上記の不正は行わず、非常に厳正な抽選を行っている。いや、ホントですって。先日も、ランダムクリックで当選メールを選んだら、自由記述欄に批判が書いてあった。それでも、筆者はきちんとプレゼントを発送した。

(+ D 編集部: 杉浦正武)

## No.223

# 人気沸騰中の「Ajax」って何だ？/[コラム]「峠の釜めし」の空き容器再利用法

2005年10月6日

## [コラム]編集局員のつぶやき

# 「峠の釜めし」の空き容器再利用法

@ IT 通信読者のみなさま、はじめまして。今年の 1 月に立ち上がったばかりで、ITmedia では一番末っ子のチャンネル「ビジネスモバイル」を担当しています、吉岡と申します。ビジネスモバイルは 10 月 1 日から誌面を全面リニューアル。いまは近ごろ話題の“おサイフケータイ”ことモバイル FeliCa の特集を掲載中です。ぜひ一度見に来てくださいませ。

さて、宣伝はこれくらいにして本題に。先日、軽井沢へドライブに行ってきました。帰りに寄り道するのは、関東信越の方ならきつとご存じ、横川の「峠の釜めし本舗おぎのや」。デパートの駅弁大会などでも常連の有名な駅弁屋さんです。列車の旅でも車の旅でも、子どものころから何度となくこの釜めしを買って帰ってきました。

家に帰ってきてみんなでおいしく釜めしをいただくと、あとに残るのは益子焼の立派な空き釜……捨てるのもなんだか悪いような気がして、洗って取っておくのですが、何にも使えなくて結局捨てていました。

何かに使えないかなあ……と長年思っていたのですが、試しにこれでご飯を炊いてみたところ、炊飯器で炊くよりもおいしく炊けたのでその方法を。何よりこの釜は 1 人分なので、ちょっとだけ炊きたいときにぴったりです。というわけで以下、峠の釜めしの空き釜を使ったご飯の炊き方です。

### ●用意するもの

米…1 カップ

水…200cc

### ●手順

- 1…鍋に研いだ米と水を入れる。できれば 30 分吸水しておく
- 2…蓋をちょっとずらして中火で 3 ~ 4 分。ブクブク煮立ってくるまで
- 3…火を弱め、蓋を閉めて 10 分。この後は一切蓋は開けない
- 4…強火にして 10 秒数えて火を止める
- 5…そのまま 10 分程度蒸らす

以上です。できれば 30 分以上米に水を吸収させられるとベストです。コンロの火力や蓋のずらし方によっても



違うと思うので、適宜微調整してください。

とっても簡単&失敗なしなので、もし家に空き釜があったらお試しを。数回使うとヒビが入ってきたりしますので、そうしたら心おきなく捨ててください。炊飯器だとなかなかできないおこげもできたりして、おいしいですよ。

(ITmedia ビジネスモバイル編集部：吉岡綾乃)

No.224

組み込みソフトウェア開発に入門してみよう / [コラム] さよならツーカー

2005年10月13日

## [コラム] 編集局員のつぶやき さよならツーカー

「♪へいへいへい、ツーカー、使ってほしい、掛ければかけるほど……」

こんにちは。リニューアルして間もない、ITmedia エンタープライズ編集部の怒賀です。オルタナティブブログにも参加しています。ここでは、私が最近携帯電話で経験したユーザー心理みたいなものについて書きたいと思います。

最初に携帯電話を持ったのは 1994 年の秋くらいでした。端末は今と比べると大きくてグロテスク。たまたま選んだキャリアがツーカーでした。当時の CM はシブガキ隊のモックンこと、本木雅弘さんが、ビートルズのまねをしながら冒頭の歌を歌っていたと記憶しています。あのころのツーカーユーザーは、いまほど肩身の狭い思いはしていませんでした。

しかし、激化する競争に押され、「話せりゃええやん」というマーケティングコピーを打ち出したあたりから、敗走をはじめたように思います。そして、KDDI がツーカーを 100%子会社化することを明らかにし、今月 11 日からは、ツーカーユーザーが電話番号を変更せずに AU 端末へと移行できるサービスを開始しました。

家電量販店の担当者に聞くと、初日は申し込みが殺到して、AU 側の対応が遅れるなどパンク状態になっていたようです。かくいう自分も、外を歩くことが多いため、歩きながら目的地をナビしてくれる GPS 機能を使いたいという理由で、近日中に AU に乗り換える予定です。

でも、10 年以上ツーカーを利用していると、それなりにツーカーブランドへの愛着はあります。私以外の多くの人にも、携帯電話のキャリアや端末のデザインに、いい意味でも悪い意味でも、アイデンティティみたいなものを持っているような気がしています。ほかの製品以上に、人やメディアがする携帯電話への評価を、自分自身の評価に重ね合わせるような場面も多いのではないのでしょうか。

これはなぜなのでしょう。いつも身につけていて、人に見られるものだからという当たり前の理由のような気がしますし、何かもっと特殊な要因をユーザーが自分の携帯電話に見出しているのかもしれないとも思えます。真実を知っていらしたら、こっそり教えてください。

(ITmedia エンタープライズ編集部 : 怒賀新也)

No.225

Webアプリケーションの見直しを/[コラム]彼(彼女)がずっとゲームをしてて困ります

2005年10月20日

[コラム]編集局員のつぶやき

# 彼(彼女)が ずっとゲームをしてて困ります

みなさんの生活の中で、いわゆる「ゲーム」と呼ばれる“遊び”にどれほどの時間を割くことができますか？

先月、千葉県幕張メッセで開催された日本におけるゲームの祭典「東京ゲームショウ 2005」では過去最高の入場者数をマークしました。昨今、ゲーム離れが囁かれておりますが、次世代ゲーム機などの話題もあり、まだまだ元気の様子です。

そこで質問——あなたの恋人、もしくは家族がずっとゲームをしているとどう思いますか？

私、故あって Games 担当となって 10 カ月、世界のさまざまな場所へ参りました。ところ変わればなんとやらで、世界を見渡せばゲーマーの立ち位置が国によって微妙にズレがあるようで……。日本ではゲームをやっている人間をいまだに暗いとか特にご年配の方にはずっとテレビ画面に向かう姿が異常に思うとか。

かの 16 連打のカリスマはおっしゃってます。「ゲームは 1 日 1 時間」と。身体に負担がかからないようにと提唱された、歴史に刻まれる名言ではありますが、これはコミュニケーションの観点から見ても正しかったようです。

最近の若い世代で、ゲームをやったことがないという人間はあまりいないはず。かなり理解もあって、別にゲームをすることは異常ではないし、むしろ会話の糸口になったり、同じ趣向を持つ者同士が集うキッカケにもなっています。そもそも、余暇の過ごし方として認知された遊びの 1 つです。

しかし、大半の人はドラクエやファイナルファンタジーは知っていても、毎週何十本も発売されるソフトすべてを知るわけではありません。「nintendogs」など、女の子受けするものはさておき、恋人がよく分からないモンスターと戦っているのを眺めることに世の人々はどれほど耐えられるのでしょうか？

もしも、部屋に 2 人でいて、相方がずっとゲームをしてるとしましょう。この際、パーティーゲームや、2 人で遊べるなんてヌルいゲームは排除します。もちろん 1 人用ゲームを恋人と仲良く「あーでもない、こーでもない」といちゃつくこともしません。その部屋にある本も読み尽くし、むしろポータブルゲーム機なんて楽しいも

のもあるはずがなく、テレビもゲームで占領されている状況で、あなたは何をしますか？

そもそも、そういう他人のことを考えない恋人は持たない、とかいうのはナシ! どうです? そうです、多分、喧嘩になりますよね? もしくは出ていきますよね? 「私 (俺) とゲームどっちを取るのよ」と。相手想いの方なら、その状況でもうまく立ち回れるでしょうが、先に上げた状況になるような人は、そもそも相手のことなど考えません。自分が一番です。

この状況、ゲームだからちょっと間抜けに思えますが、ゲームを仕事やスポーツに置き換えればどうです? 同じようなことに陥ったことありませんか? 仕事に一生懸命すぎて気がついたら恋人いなくなってたとか、スポーツや勉強に勤しんでいたら浮気されたとか。

で、何が言いたいかというとは、自分も心当たりあるなあと思ったわけです。香ばしい思い出。過去の苦い経験を生かして、いまではうまく振る舞ってます。心に誓うのはあの名人の名言——「ゲームは 1 日 1 時間」。そして、「ゲームは 1 人でいるときに」……。

もちろん、対戦プレイやパーティゲームで恋人や家族と遊ぶこともオススメしますが強過ぎず弱過ぎずの心づかいは忘れずに。

(ITmedia + D Games 編集部 : 加藤 亘)

## No.226

### やっぱり Visual Basic だよな / [コラム] 人間観察

2005年10月27日

## [コラム] 編集局員のつぶやき 人間観察

電車に乗っているとき、歩いているとき、車移動中に渋滞しているとき、よく妄想半分に人間観察をする。その人のクセを見つけたり、その置かれているシチュエーションを考えてみたりするのである。

あるアキバの PC ショップにいたビデオカード物色中の人。別の店でまた見かける。八人掛け席の老若男女全員、首角度は前傾数度、右手でケータイ持って同じ格好。電車内でケータイメールする若者、隣人と同機種と気付き目が合う。思わず会釈。電車内で iPod 持ち音楽聞いている人、隣人の機種がそれより新機種と気付き隠す。電車内で漫画読む学生、隣人の覗きに気が付き、悔しいので角度を変えて意地悪。大きなバッグを持って電車に乗ってきた会社員、案の定揺れてぶつかり睨まれる。美しきお姉様電車内で熟睡。はっと起き、下車駅でないかきよろきよろ確かめる。筆記具、全て異なる会社のノベルティグッズ。その中にはない会社の発表会にて。ドン・キホーテ深夜二時、こんな遅くにこんな場所で。何やっているヤツなんだ。デニーズ休日の早朝六時、こんな時間にこんな場所で。何やっているヤツなんだ。狙いは半額シール。シール貼られる時を見計らいスーパー店内徘徊。男のくせに。コンビニ支払い計一万円。公共料金でもないのに一体そんなに何をかうのだろう。

これら人間観察、取りあえずは暇つぶしで悪意はない。しかしこの妄想中にふと企画やタイトル案、いいフレーズなどが思い浮かぶこともある。そのため決して悪趣味ではないといえよう。

オフィスの対面の席に原稿執筆中にてディスプレイを睨み付ける W 記者がいた。いい言葉が浮かばないのか文章がうまくまとまらないのか、漢字変換が思うようにいかなかったのか、突然「あぁ～。くそっ」と叫びながら起きあがり、おもむろに机をバンッ! 結構大きな音だった。次の瞬間、何もなかったようにまたキーボードを打っている。突然かつ予想外の行動にかなりびびったことは言うまでもない。

「あれ、何があったの? 結構びびったよ～。じつは観察してたんだ」

「え、覚えてないよそんなこと。そんなこと言うならおまえだって、ほにゃららほにゃららなことよくやってるよ。じつは前から結構気になってたんだよな」

(ITmedia + D PCUpdate 編集部 : 岩城俊介)

No.227

RSS 情報提供機能をサイトに付加する / [コラム] ノークレームノーリターン!?

2005年11月4日

## [コラム] 営業局員のつぶやき ノークレームノーリターン!?

新居に引越して 2 カ月、冬を目前にまだまだ閑散としたわが家にもそろそろ「温もり」が欲しくなり、ネットでリビング用の間接照明を買うことにしました。

普段私は、あまりネットでモノを購入することはないのですが、今回はあるオークションサイトで見つけた照明に心奪われてしまいました。なんでもバリ島の職人が 1 つ 1 つ手作りで仕上げるハンドメイドのフロアランプで、「バリ島のゆっくり過ぎてゆく時間を想いながら」というコメントまで付いています。ノークレームノーリターン(返品が効かない取引) の商品でしたが、普段バタバタした生活を送り「安らぎ」や「癒し」という言葉に敏感な私は、迷わず 1 万 2000 円で購入しました。

数日後、届いた商品を見てびっくりしました。電源を入れると手元のスイッチからバチバチと火花が散り、シェードには血痕と思われる染みが……。バリ島の安らぎどころか、職人の適当な仕事ぶりに開いた口がふさがりません。早速クレームをと思いましたが、ノークレームノーリターンという強力過ぎる一言が立ちはだかります。

私たち消費者は、モノを買う際は事前に情報を丹念に入手し、アクションを起こす際は、特にネットを利用する場合、利便性とそこに潜むリスクを天秤にかけなければなりません。私の場合今後はもう少しリスクを大きめに見積もる必要がある、ということに気付かされた 1 つの“経験”だったと自分に言い聞かせてみたりしましたが、やっぱり悔しい!!

(営業局 アカウント営業部: 多田頼正)

No.228

まもなく登場、SQL Server 2005 / [コラム] 炸裂！ 赤ん坊パワー

2005年11月10日

## [コラム] 編集局員のつぶやき 炸裂！ 赤ん坊パワー

わが家に子どもが生まれて9カ月、日々の生活サイクルがすっかり赤ん坊中心になったことは、共働き夫婦2人だけの暮らしだったことから大きな変化なのですが、ちょっとした驚きだったのが近所との距離感の変化です。

東京郊外の住宅地、6棟ほどのテラスハウスの一角に5年ほど住んでいるのですが、近所は子どものいる家庭ばかりで、夫婦だけなのはうちくらい。顔を合わせればあいさつはしますが、お隣を除いてはあまり話すこともありませんでした。

ところが、赤ん坊が生まれてしばらくして散歩にと連れ出すと、ちょうど居合わせた（これまで会釈くらいしかしたことがない）奥様方が向こうから声を掛けていらっしゃいます。

いつも一軒だけ深夜まで明かりがついていて、主人らしき人（私）が出かける時間も朝早かったり遅かったりめっちゃめっちゃでそのくせ帰宅は夜遅い、怪しい家庭と思われていたのかもしれませんが、それが、子どもができたことで奥様方に一種の安心感を与えたのかなあ、と思った次第です。

保育所に通わせているので、そこでの保護者同士の付き合いも始まりました。ああ、地域社会とのつながりってこうやって子どもを介して深まっていくのですねえ。

(ITmedia ニュース編集 : 佐々木千之)

No.229

EclipseじゃないJava/[コラム]おかげさまで快方に向かっています

2005年11月17日

[コラム]編集局員のつぶやき

## おかげさまで快方に向かっています

今年前半、脳梗塞で倒れ、病院に運ばれてそのまま入院となった。病院で困ったことを挙げれば切りがない。しかし、精神面で1つだけ挙げるとすると、四六時中、ぼうっとすることが多くなったことだ。何か考えようとしても、考えに集中できず、気付くとぼうっとしてしまう。

医師に聞くと、「脳に血が流れなくなったんだから、そりゃあぼうっとするよ」と、冗談みたいなことをいう。それ以外には、「脳には高次機能というものがあるのだが、その機能が落ちている」というのだ。

そんな影響があるのかなのか、入院中に本を読んでいてもすぐに疲れるし、ぼうっとしつつ読むので、きちんと内容を把握できないような気がしていた。

こうした症状が改善してきたのは退院したからだ。それでも仕事に復帰した当初は、やはりぼうっとすることが多かった。周囲の人間は気を使ってくれるからか、本当にそう思っているのかは分からないが、そんなに変わらないとはいってくれたが……。マシになってきたと思うのは、退院して3カ月ほどたってからだ。

しかし、いまでもたまに、人に呼ばれてもぼうっとしていて気付かないこともある。左半身の麻痺や口の麻痺には慣れ、我慢できるが、ぼうっとする症状には困惑してしまう。これが消えてくれるとどんなに幸せかと思うのだが、そう簡単に消えてはくれないようだ。

(@ IT 自分戦略研究所編集 : 大内隆良)



## No.230

### もう一度、Webサービス白書を読む/[コラム]the【kabi】killers

2005年11月24日

# [コラム]営業部員のつぶやき the【kabi】killers

早いもので、2005 年ももう 11 月が終わろうとしている。すでに、頬を刺すような風が音を立てはじめ、男の肌にも人工的な潤いが必要な季節を迎えた。

そんな中、季節はずれであることは重々承知しているが、『カビ（黴）』について、物思いにふけることの多い今日このごろである。

私も 1 人暮らしをはじめて、もう数年になるが、賃貸住宅のバスルームはどうしてこうも湿気（しけ）るのであろうか。小窓付き・乾燥機能付きのわが家は、おそらくまだマシな部類に入るはずだが、そのような環境においても、『黒い点々』とは時折、一戦を強いられる。

なかでも、カビの温床と化していたのが、湯船に張った湯の温度を保つための“風呂ブタ”である。

1 人暮らし・男性・遅い帰り時間……。当然、湯船に湯を張る機会などなく、ほとんど使われることのないその“ブタ”は、その機能性からくる凸凹とした形状から、カビたちの快適な住処となっていた。

比較的マメな性格の私は、その住処を一蹴すべく、役目を終えたハブラシを手に日々立ち向かっていたのだが、さすがに数年がたつと立ち退きを拒むカビも出てくる。

そこで、満を持して、わが家に来襲したのが【カビキラー】である。

そのベタベタなネーミングからくるブランド力は絶大なもので、私も幼少のころから常に頭の片隅で注目していたが、ついにその名高き勝ち組商品を稼いだ給料で購入するときを迎えたのだ。私は早速、最寄の商店街に足を運んだ。さすがは勝ち組。最初に入った薬局で、確実に買うことができた。

赤・白・黄色……。そのパワーみなぎるパッケージデザインが何ともたまらない。鉄砲を手にした知将、織田信長氏のごとく、強力なパートナーを味方にした私は、宣戦布告の上、立ち退きを拒む黒い物体との戦いをはじめた。

まんべんなくまんべんなくまんべんなく、無色透明の液体が敵陣へと攻め込む。開戦から数分後。勝負は呆気ない幕切れを迎えた。フタが、出会ったころのような純真無垢な姿に再生したのだ。それは見違えるような光景であった。

それ以来、輝きさえ覚えた“フタ”は、2階の寝室へと移動させられた。二度とカビが生えないように、気の利いたオブジェとして、そこに佇んでいる。

カビキラー。『まぜるな危険』と記されているとおり、彼は実にデンジャラスな存在であった。

再び彼と共に戦える日を待ちわびながらも、今日も私は、役目を終えたハブラシを手にバスルームを磨くのである……。

(営業局：小泉利明)

No.231

Rootkitって何ですか? / [コラム] テレビコンテンツのビジネスモデル

2005年12月1日

[コラム] 編集部員のつぶやき

## テレビコンテンツのビジネスモデル

10年以上も前ですが、英国に住んでいたことがあります。楽しい生活でしたが、1つだけ寂しかったのは日本のテレビ放送が見られなかったことです。BBC のドキュメンタリーなどはさすがにすごいのですが、全体的な面白さは日本のテレビ番組に軍配が上がります。ロンドンの日本食品店ではドラマからバラエティ番組まで、テレビ番組を収録した多数のビデオカセットがレンタルされていて、現地に住む日本人に重宝されていました。

つい先日の 11 月 28 日に、在京テレビ放送局 5 社と電通が、インターネット上で映像コンテンツを配信する事業会社設立に向けて検討を開始したと発表しました。このニュースを見てもしかしたらやっとなら世界どこにいても、日本のテレビ番組を見られる日がすぐそこに来ようとしているのかな、と期待を持ちました。しかし、TBS、フジテレビ、テレビ朝日などが以前設立したテレビ番組のブロードバンド配信のための会社、トレソラーがその後存在感を失っていることを考えると、前途は多難なのかもしれません。

インターネット業界の人は、テレビ番組が最大のインターネット・コンテンツだと思っています。しかし、テレビ局の身になって考えると、どうやったら事業として成り立つのかは悩むところでしょう。USEN の「Gyao」のように、動画ポータルで無料ストリーミング配信し、広告収入を得るというシンプルなモデルが、結局が一番いいということになるのかもしれませんが。ただしこの場合、ストリーミング配信のインフラコストもばかになりません。BBC は、専用のピア・ツー・ピア・ファイル交換ソフトでユーザー同士が動画コンテンツを交換する方法を本格的に実験し始めました。著作権管理技術 (DRM) を組み合わせ、コンテンツは放送後 7 日で自動的に削除されるようになっています。

インターネットだからこそ、技術的にはいろいろな方法が考えられますが、単一のポータル会社に配信を任せられるわけにはいかないことは確かでしょう。テレビ・コンテンツのインターネットにおけるビジネスモデルは、結局テレビ局自身が見出すしかないという気がしてなりません。

(@ IT 編集部 : 三木泉)

## No.232

### IT管理者のお仕事 / [コラム] アイティメディアで“同期”を想う

2005年12月8日

# [コラム] 営業部員のつぶやき アイティメディアで“同期”を想う

ダチュラの花がたわわに実る秋の果実のように美しい曲線を描いて咲き誇っていた去年のいまごろ、ミレナリオにざわめく休日の丸の内かいわいを私は買い物かごを手に歩いた。

先日部屋で、そのとき捨て忘れた高級チョコレート屋のレシートを見つけた。すると一粒 300 円のチョコレートが入ったショーケースにべったりと貼りついて、なんだかエラそうなチョコたちを好戦的な目で眺め、その魅力に屈服し、買い、ミレナリオを楽しむ人混みの中を歩きながら一粒一粒を愛おしい気持ちで食べたことを、じんわりと思い出したのである。

世の中には、シンクロシティと呼ばれるものがあるらしい。平たく言えば「偶然の一致」のことだそうだけれど、そんな仰々しい言葉で飾らなくとも、例えば友人に電話をかけようと思ったその瞬間まさにその友人から電話が掛かってきた、一緒にいた人と同じタイミングで同じ歌を口ずさんだ、などの経験がある読者も大勢いるだろう。そういえば、私が小学生のころ、運動会の進行委員を任されたプレッシャーからか、急性盲腸炎になり入院をしたが、手術から 2 日も経たないうちに次々と 4 人もの同級生が虫垂炎の診断を受け同じ病院に入院。

あたかも盲腸同士が“同期”をとっているかのように罹患（りかん）、そしてみんなで仲良く盲腸を摘出し、その後の入院生活はさながら小さな林間学校のようににぎやかなものになった（おかげで私はいまでもひそかに盲腸は伝染病なんじゃないかと信じているフシがある）。

まあ、何もこんな卑近な例じゃなくても、アメリカ競馬でゴール直前にスターダストという馬が頭から血を吹いて死んだ、死因を調べてみると頭蓋骨骨折。現場付近には血のついた石が落ちており、事件性があるとみてさらなる調査をした結果、その石は隕石（スターダスト）であった、なんていうスケールの大きな話もあるくらいなのでその規模にかかわらず、通常では交わりえない事実の鉢合わせが至るところで起きていることになる。

偶然の一致。

今日もダチュラが日々冷え込む空気を肥やしとばかりに力強くしなる。

今年も夥しい数の人たちが丸の内に群がってきて、きっと去年の私のように溜息をつきながら 300 円のチョコ

レートを買うんだ。

オフィスの外を見やるとミレナリオは残すところ点灯のセレモニーを待つばかり。

私はいま、どうしたことか、まさにそのチョコレート屋が店を構えるビルにあるアイティメディアの一員となって再びこの季節を迎え、そのオフィスで同じように深い溜息をついているのである。

(営業局：杉島美帆子)

## No.233

ユビキタスを多方面から見てみよう / [コラム] 2006年こそがイノベーション元年だ!

2005年12月15日

### [コラム] エンタープライズ統括のつぶやき

# 2006年こそがイノベーション元年だ!

春に新しい丸の内のオフィスに引っ越してきたかと思えば、もう師走——四十路も半ばに差し掛かると光陰矢のごとだ。オフィスのウィンドウ越しに見える「東京ミレナリオ」の電飾も 10 日後の点灯を待ちわびている。

昨晩は、日本アイ・ビー・エムの年末記者懇親会に出掛けた。今年初めての年末記者懇だ。

大歳社長をはじめ、主だった同社幹部らと、くだけた話をするには良い機会だし、同業者同士の情報交換にもいい。堀田常務の姿が見えなかったのは寂しかったが、おなじみの役員らが顔をそろえた。プレスやアナリストもなじみの顔ばかり……。中にはこの時期にしか会わない人たちもいる。

「また、合併?」

わたしに振られる話題の大半はメディアセレクトとの合併だった。この業界は狭く、みんな気にしてくれているようだ。

それにしても同じ面子ばかりだ。この日も顔を合わせた日経 BP 社の中村さんが 11 月、同社サイトに書いたコラム「IT 業界が未熟なまま老いていくという不安を感じませんか」は、われわれ IT 業界周辺のメディアにもそのまま当てはまるのではないかと不安にさえなってくる。

せっかくなので、北城会長の話もお伝えしておこう。

経済同友会代表幹事でもある北城会長は、残り少なくなった 2005 年を振り返り、「郵政民営化」「景気回復」「ガバナンス」の年だったとした上で、2006 年も基調は変わらないと展望する。低金利、円安、株価上昇が効き、企業の経営者にとってはこの上ない条件が整っていると彼はみる。

「景気が回復して体力も付いてくる。改革の本丸に続き、二の丸、三の丸の改革も進むだろう。IBM もイノベーションによってさまざまな改革に貢献したい」と北城氏。

イノベーションとは、単に技術革新のことを指すのではなく、過去を断ち切ったり、既存のものを組み合わせ

ることで社会や人々に新たな価値をもたらす革新的な取り組み、が本来の意味らしい。

IT バブル消失で明けた新しい千年紀だったが、来年こそようやく輝きを見せそうだ。

(ITmedia エンタープライズ／ニュース統括：浅井英二)

## No.234

# Visual Basic 2005で.NETはどうなる?/[コラム]2005年の初体験

2005年12月22日

## [コラム]ITmedia編集統括のつぶやき 2005年の初体験

きょう、友人からプレゼントが届いた。開けてみると……OSPDだ。何それ、と思うだろうが、これは英語の辞書。でも一般向けの辞書ではない。Official ScrabblePlayers Dictionary といって、スクラブルというボードゲームで遊ぶ人のための英英辞書だ。「最近買ったもの? スクラブルかな」と漏らしたのを覚えていてくれたわけだ。

今年の夏、@ IT に連載されている Spencer F. Katt のコラムの翻訳者である T さん宅の集まりで、スクラブルに初挑戦した。スクラブルの存在自体は知っていたが、この歳まで実際にやったことはなかった。クロスワードパズル状に英単語を作っていくゲーム。A ~ Z のアルファベットが書かれたコマ 100 個と、225 のマス目からなるゲーム盤を使う。高得点のコマとマス目をうまく使いながら単語を作っていく、獲得した点数を競う。人名・地名などの固有名詞や略語は NG という決まりだが、例えば CHINA、JAPAN は「陶器」「漆器」の意味の一般語として使用できる。このように、スクラブルで「作っていい単語」をまとめたのが OSPD だ。

日本では普及度いまひとつのゲームだが、欧米ではかなりポピュラーと聞く。本来は辞書持ち込み不可だが、日本人だし遊びなので辞書 OK とするが、それでも結構面白い勝負になる。辞書を引き引き HAMLET (村落) だの RE (ドレミのレ) だの、そんなのあったのかと思う“一般語”を見つけ出す。点数が高い Q や Z を使った単語に敏感になりああ QUIZ が作りたい、QWERTY はアリかしら……とか考える (アリでした)。

アイティメディアは今年、合併に始まり ITmedia + D の立ち上げ、ITmedia エンタープライズの大幅リニューアル、TechTarget の立ち上げなど、ビッグイベントの目白押しだった。ITmedia 編集統括局は夏以降、息つく暇もなかったが、そんな中、個人的にささやかな息抜きとして楽しませてもらった。

実はこのゲームの北米販売権を持つ Hasbro のサイトに行けばオンライン版の辞書があり、使いたいアルファベットをランダムに入力するだけで使用可能語が列挙されるお手軽なツールもある。ツールに頼れば楽勝……とやりたいところだが、選ぶマス目とコマの組み合わせは多様なので、一筋縄ではいかない。

高校生くらいから大人まで楽しめるので、年末年始にご家族でトライしてみたいはいかがでしょう。日本では現在、リトル・アメリカという会社がスクラブルを扱っている。それでは皆さん、楽しいクリスマス&年末年始を。

(ITmedia 編集統括局: 後藤周子)



2006

No.235

VoIP & VoWLはどこへ行く? / [コラム]2006年もエンジニアが主役の年に  
2006年1月5日

## [コラム]@IT発行人のつぶやき 2006年もエンジニアが主役の年に

21 世紀が始まって 5 年。2006 年がやってきました。子供のころ見た 21 世紀の想像図といま見ている都市の風景はずいぶん違いますが、21 世紀に入ってから、それでも技術は着々と進化していて、ケータイのテレビ電話は実用化され、新幹線はいつの間にか近未来的なボディラインにすっかり入れ替わってしまっているし、家庭用のロボットは床の上をはい回って掃除してくれるまでになりました。そういえば、小走りできるロボットも開発されたみたいですね。

現実の 21 世紀が、少しずつ想像の 21 世紀に近づいているように思います。

「未来を予想する最も確かな方法は、それを作り出すことだ」と、ある著名人がいったそうですが（誰でしたっけ?）、本当にそうだと思います。そして、今日もエンジニアは未来に向けて少しずつ新しいものを作り出しています。このメールマガジンの読者の多くも、そうした未来を作り出す職業についていることと思います。

そんなわけで@ IT は今年も、未来を作り出すエンジニアを、特にコンピュータエンジニアを支援していきます。2006 年も@ IT をどうぞよろしく願いいたします。

(@ IT 発行人: 新野淳一)

## No.236

# 発売まであと少しか Visual Studio 2005 / [コラム] 変化を受け入れてみる

2006年1月12日

## [コラム] 会長のつぶやき 変化を受け入れてみる

新年明けましておめでとうございます。2006 年がスタートしました。このコラムが読まれるころには、読者の皆さんは、お正月気分ももはや遠い過去に思えるほど全力モードで業務に取り組まれていることでしょう。

今回は、そんな皆さんを想像しながらも、あえて間延びしたことを書いてみたくなりました。

起床してから出勤までの順番を変えてみる。物事を眺める視点を変えてみる。いつも歩く道順を変えてみる。小さくともいつもと違うことを受け入れてみる……、とそんなことです。

いつもの業務にスタートダッシュよろしく取り組むのではなく、それに取り組む手順を変えてみて、少しぎこちなく取り組む中に、何かを発見する可能性があるように思うのです。

実にささいな私ごとですが、この年末年始、休みの期間が 2 日間伸びました（会社合併の余波なのですが）。これがきっかけで自転車掃除など普段意識しない取り組みの時間ができました。そこで視線を移動しながら愛車を仔細に見ていくと、思わぬ傷みや油污れなどが見えてきました。それらに意識が届くことで、あるいはメンテナンスを届かせることで、次の走りの気分が大幅に変化するという経験を味わいました。

うまく表現できませんが、シークエンスを変えることは、その分だけ脳を少し暖める効果があるようです。日ごろ“脳力”低下にあえぐ私にとっては、この効能は無視できません。

昨年読んで印象に残ったものに、脳生理学者・池谷裕二氏による一連の著作があります。特に、『進化しすぎた脳 中高生と語る「大脳生理学」の最前線』は感嘆しました。素人っぽく総括すると、脳にはわれわれ凡人の想像が及ばないほどの開発余地がある。「脳を使えば使うほど神経細胞が増えるという事実」（『記憶力を強くする』）。しかし、開発には脳に適切な負荷が必要。ルーチン（ふだんどおりの手順で）をこなすだけでは、“脳力”開発には不足である……という示唆です。

ここで、「負荷」を刺激といい換えてもいいかもしれません。変化という刺激。日々の中に生じる小さな変化は、私たちの能力を開発する糧になるのかもしれない。

(アイティメディア 代表取締役会長：藤村厚夫)

## No.237

### 無線インターネットの今後 / [コラム] あ、あのメディア企業ですね、となる！

2006年1月19日

#### [コラム] 社長のつぶやき

# 「アイティメディア？ あ、あのメディア企業ですね」となる！

新年明けましておめでとうございます。本年も@ IT をよろしくお祈りします。

@ IT は多くの技術者に支持されて今日を迎えています。ほとんどの国内主要サイトは平日昼食時にピークタイムを迎えますが、@ IT はお昼休みになるとアクセスが減ります。午前中・午後のワーキングタイムに多くの読者が訪れます。このサイトが「仕事での活用」を目的に利用されていることが如実に分かります。

さて、@ IT や ITmedia を説明するときには、「IT 系の」とか「技術者向け」あるいは「オンラインメディア」などと多くの形容詞を付けて語らねばなりません。世の中には、ホンダやソニーのように企業ブランドのみでその事業体を連想できる企業がたくさんあります。これぞ「ブランドの価値」というものでしょう。

ソフトバンクは、2004 年にダイエーからホークスを買収しました。皆様のご記憶に新しいと思いますが、この年はホリエモンや楽天の三木谷さんが球界の風雲児として台頭し世を騒がせました。その年の暮れに、友人から「ホリエモン、三木谷さんときたら、いよいよ真打孫さんの登場じゃあないの」と問いただされ、「うち（ソフトバンク）は今グループを挙げてブロードバンドに全資源を集中しているから、それはないよ」と確信をもって答えた数日後、「ボールパークに夢はせて」と題して、ホークスの買収が報じられたのです。

実は、サプライズということもなく、友人にそう言い切ったものの自分でも「恐らく……」などと、どこかで期待していたのだと思います。

以前からホークスのファンだった私としては、願ったりかなったりで、昨年は福岡ドームに 5 回も足を運びました。ナイターを見て 21 時 30 分に福岡を出発する最終便で帰京したことも何度かありました。

とにかく、野球効果は絶大です。シーズン中は毎日「ソフトバンク」。オフでも王監督がメディアに登場するたびに「ソフトバンク」、他球団の選手が語るときも「ソフトバンクは……」ということで、IT やブロードバンドに縁のない田舎の親戚や友人まで見事にソフトバンクを認知したのでした。

当社も将来は、「アイティメディア」というだけで、「ああそうか、あのメディア企業か」と連想してもらえような企業であり、メディアになりたいものです。経営者が陥りがちな期間の売上・利益に表せない、まさに Invisible Asset（見えざる資産）なのだと痛感します。新年なので、少し吹かしてしまいました。

(代表取締役社長：大槻利樹)

No.238

SOX法の最先端に行く／[コラム]鼻血とダイビング

2006年1月19日

## [コラム]人財開発部スタッフのつぶやき 鼻血とダイビング

昨年は箱根、京都、河口湖、石垣島、モルディブ、フィリピンなどさまざまな場所へ旅をした。友人からは土産話を楽しみにされるぐらい珍道中を繰り広げていて楽しく思い出深い旅行ばかりだ。

旅行そのものだけでなく、旅行へ行くまでの過程も好きである。誰とどこへ行くか、何を目的とするか、ツアー情報や現地情報などを調べ倒して、費用対効果の高い旅行を目指している。費用対効果というと聞こえがいいが、いい換えれば格安旅行。何度も旅行に行きたいための策でもある。

年末年始には少し奮発し初めて海外で年を越した。それでも年末年始価格にしては、破格の13万円。4泊5日で航空費、宿泊費（部屋はデラックスルーム）滞在期間中の全食事、ダイビングが6本付いてこの価格。安いと思いませんか？

さて、今回の土産話から一部を紹介すると、テラスに続く扉のすき間から蚊がぶんぶん入ってきて蚊取り線香の意味がなかったり、シャワーを浴びている最中に水が止まって泡をタオルでふき取らなければならなかったり、食事は口の中の水分を吸い取られそうなパサパサのお肉が毎日出てきたり……。

そして一番笑えたのが、ダイビングでの一コマ。おそらく、耳抜きがうまくできなかったのが原因だったと思うのだが、ダイビングを終えて船に上がり、満面の笑みを浮かべながら友人の方へ振り返ったら、「鼻血が出てるよ」と指摘された。顔面が海水で覆われているので、自分ではまったく気付かなかったのだが、鏡で確かめると、たしかに鼻の下がドバーツと吹き出した鼻血で真っ赤だった。

そんなハプニングを笑い飛ばしながら、私も友人もこの旅行でダイビングの楽しさを再発見し、追加ダイビングを申し込み、ダイビング三昧の日々を過ごしてきた。宿泊先はびっくりホテルだったけれども、ダイビングと旅友のおかげで費用対効果のよい旅行を大満喫することができた。まさしく「旅は道連れ世は情け」である。

そしていま、扉のすき間にガムテープを張って蚊避けをしてくれた友人と、次はどこへダイビングに行こうかを検討中だ。今度はどんな珍道中が待ち構えているのかといまから楽しみである。「ボクらの生きざま SHOW!」で今後の珍道中ぶりを発表していこうと思っているので、ご期待。

(事業開発局 人財開発部：大杉 文)

## No.239

ベータ版公開のInternet Explorer 7/[コラム]@IT情報マネジメントは、進化するか？

2006年2月2日

# [コラム]@IT情報マネジメントスタッフのつぶやき @IT情報マネジメントは、進化するか？

こんにちは、@ IT 情報マネジメント編集部の鈴木です。

今月1日、「@ IT 情報マネジメント」がリニューアルいたしました。これまであった@ IT 情報マネジメントのコンテンツに加え、@ IT 下にあった「IT Architect」フォーラムを移管・統合し、企業のIT戦略企画からシステム的设计、開発、運用までを広く扱うサイトとなりました。いままで以上にご愛顧いただければと思います。

さて、そのリニューアルに先立って、@ IT 情報マネジメントで「アジャイル・エンタープライズ」というコーナーがスタートしています。これは、これから企業にとって必須となる“俊敏な経営”を実現するための経営管理、方法論、アーキテクチャ、人材、IT ツールなどをトータルに考えていく情報ポータルです。

このコーナーで公開されたいくつかの記事では「変化するものが生き残る」というダーウィンの言葉を引いて、経営環境の変化に対応することの重要性を説いています。

ですが、ダーウィン進化論（ネオ・ダーウィニズム含む）は、自然淘汰・適者生存説であって、変化（変異）そのものは偶発的なもの、環境に適応するといった方向性はないものという位置付けです。ビジネスでの“たとえ”としては、事業の多角化やポートフォリオ経営、あるいは「下手な鉄砲も数撃ちゃ当たる」式の新製品ラッシュの方が適切かもしれません。まあ「進化論」といえばダーウィン——レトリックですから無用な突っ込みですが。

今回の@ IT 情報マネジメントのリニューアルも、変化への対応を意図したものです。果たして、環境（読者の皆さん）に適応できているでしょうか？ 自然淘汰されないよう、以後精進です。

（@ IT 情報マネジメント：鈴木崇）

No.240

PKIを見直してみよう / [コラム] Webサービスにお金を払うことの意味

2006年2月9日

## [コラム] 編成・デザイン部スタッフのつぶやき Webサービスにお金を払うことの意味

昨年 10 月の総務省の発表によると、2005 年 9 月末時点でブログの登録者数は 473 万人、2006 年 3 月末には 621 万人になる予想だそうです。2005 年 3 月末時点では 335 万人だったそうですから、ブロガーはどんどん増えていますね。

さて、自分のブログを持つのに ASP 型のブログサービスを使う人は多いと思います。でも使ううちにだんだん既存のサービスやお仕着せのデザインでは物足りなくなって自分でブログサイトを構築する人もいます。

私もその 1 人で、最初は某大手サービスの有料版ではじめたのですが、もともとレンタルサーバを使っていたこともあり、1 年半ほどでそちらに移転しました。ツールは MovableType (MT) です。

構築当初はちょっとトラブルもありましたが、その後大きな問題もなく運営していました。が、最近になって急に、再構築すると 500 エラーが頻発するようになって困りました。

調べたところ、どうやら今使っているデータベースが原因で起きるトラブルだということが分かりました。データベースを別のものに (この場合 SQLite へ) 変更すれば解決するようなのですが、知識のない素人にとってそれは結構怖いことです。

まずデータベースのバックアップを取らなきゃいけない。そもそもそのやり方からして調べないと分からない。ついでに MT のバージョンも上げたいけど、そんな一度にやって大丈夫なのか? 失敗して表示できなくなったりして。あ一面倒くさい。

などということがグルグル頭を駆け巡り、いまだ手付かずな状態です。

自分で構築すると好きなようにカスタマイズできて楽しいのですが、一方でトラブルの対処もバージョンアップも自分でしなくてはなりません。ASP 型のサービスだとそういう面倒なことはすべて運営側が面倒みってくれるわけですから、記事を書くことだけに集中できます。あらためて、なんて楽だったんだろう! と思いました。

実は、Web サイトの制作を仕事にしているくせに、Web サービスにお金を使うのはもったいない、などと思っ



ている節がありました。だけど、やっぱり有料のサービスというのは伊達じゃないですね。しかも、中には「無料でこんなにできるの?」というサービスもあるわけですから、本当に頭が下がります。

そんなわけで、このままトラブルを乗り越えて続けるか、ASP 型サービスに戻るか検討中です。あ、でも決して MovableType が悪いわけではありませんので、誤解のないように。

(編集第 1 局 編成・デザイン部:阿部知衣)

No.241

ASP.NETでWebアプリ開発 / [コラム]「鈴木」検索で一番になる！

2006年2月16日

## [コラム]人財開発部スタッフのつぶやき 「鈴木」検索で一番になる！

皆さんもいちどは経験あるでしょう？ いやいや、とぼけたってダメです。顔に書いてありますよ、実はやったことあるって。「自分の名前を Google ってみる」。

ワタシもとうとうその誘惑にかられ先日やってしまいました。1 件もひっかからなかったらどうしよう、とドキドキしつつフルネームを入力して検索。すると、さすがメディアの威力、この「@ IT 通信」コラムのバックナンバーや掲示板、アイティメディア・オルタナティブ・ブログなど、仕事関連のものが次々と上位に表示されます。

そして画面をスクロールしていくと、徐々にワタシではない同姓同名さんが登場してきます。自分と同じ名前の人がいろいろなジャンルで活躍をされている様子は、文字を眺めているだけでも頼もしい気持ちになってきます。

さらにスクロールしていくと、@ IT 以外でのワタシに関する情報が出てきました。昔の写真も発見。自分も持っていない写真だったので、思わず保存してしまいます。

そして! とうとうワタシは見付けてしまいました。なんと、あの 2 ちゃんねるが検索結果に表示されているではありませんか。すでに過去記事になっていますが、スレッドを立てていただいて (?) いたようです。しかもワタシを応援してくれる趣旨のスレッドです。なんという光栄なことでしょう!

メディアの影響力の大きさにオドロキとヨロコビを感じつつ、発信する情報には常に意識と責任を持って、と心のふんどしを締め直した次第です。とはいえ、本来お気楽極楽なワタシ。次の野望は、「鈴木」の検索結果で最初のページに表示されることです。

(事業開発局 人財開発部 : 鈴木麻紀)

No.242

Ajaxで人気のRuby on Railsとは? / [コラム] 記者35歳リタイア説

2006年2月23日

## [コラム] 編集局員のつぶやき 記者35歳リタイア説

記者という職業に携わる人間は、30歳代半ばに能力的なピークが来る、といわれている。人から話で聞かされたこともあるし、以前どこかでそのような記事を見かけたような気もする。

筆者は記者というよりは編集者の立場なのだが、四十路に入り、自身の経験を思い返してみると、これには妙にナットクした。どの職種にも当てはまるが、編集や執筆の仕事を遂行するうえで、体力、気力、知力・思考力、経験といった要素が必要になる。

体力については、三十路後半から衰えが著しい。今年はじめに早速、派手に風邪をひいてしまい、しかも回復が遅々として進まない。また、入稿の締め切り前は作業が深夜にまで及ぶ、あるいは徹夜することが多かったが、それも今ではできそうにない。

だが、体力以上に問題なのが、気力の減退だ。特集などの取材をするうえで、取材先に適当に当たりを付けてしまおうとしたり（手抜きともいう）、情報収集でも最近では文献には当たらずネットのサーチエンジンについで頼ってしまったりしている。若いときは納得がいくまで取材対象の企業をまわり、書籍などにも多く目を通してはいたはず。この「気力」を維持し続けるのがはなはだ難しくなるのも、「35歳リタイア説」の理由になっているのかもしれない。

さらに30半ばも過ぎると、一般にはマネージャとしての役割も求められるようになる。この職業を続ける限り、生涯いち編集者というわけにもいかないようだ。

一方で、東京ヤクルトスワローズの古田敦也氏のように、筆者と同世代ながら捕手兼監督という現場のプレーイングマネージャを演じる人もいる。選手として機能しながら、試合の駆け引きを左右する戦略も立てるといふ役割は、並大抵のことではこなせないだろう。自分も副編としての仕事をやりながら雑誌のページ担当もスタッフと同じように行うという時期が長かったが、プロ野球の監督の仕事の大変さと比べる次元のものではない。選手としては年寄り、監督としては若手になる40歳は、さまざまな面で厳しさを感じる年齢となるだろう。

そんな彼に大きな敬意を払いつつも、いかにこの大役を果たしていくのか? 「現役」側をリタイアする日がいいつ来るのか? と考えると興味は尽きない。古田監督には、筆者の今後を生きるうえでの手本になってくれればと期待している。

(ITmedia エンタープライズ編集部: 堀見誠司)

## No.243

### しっかりと予防しましょう、ウイルス対策 / [コラム] 秘伝公開!? 仕事のイライラ解消術

2006年3月2日

## [コラム] 人財開発部スタッフのつぶやき 秘伝公開! 仕事のイライラ解消術

例えば、顧客からの理不尽な要求、上司の思い付き度 100%な指示、期待した成果の上がない部下などなど、日常の仕事ではイライラの原因が、そこかしこに落ちているもの。かくいう私（遅ればせながら、JOB @ IT の小林です）も、しょっちゅうイライラしています。

イライラを鎮めるために、タバコを吸う、ガムを噛む（ボトルに入ったガムは 1 週間でなくなる）、コーヒーを飲む、と不健康この上ない方法をとっていました。これじゃあ、いつ胃に穴が開くか心配。しかもどんどん顔が陰しくなるし。しかし、最近すばらしいイライラ解消術を発見。題して「プチ親切法」です。

エレベーターに乗っていて、同じフロアで降りる人がいる場合、あなたはどうしてますか？ 私はいままでなら、われ先にと降りてました。イライラしているときは特に。そうではなく、イライラしているときこそ、開くボタンをクリック、もとい押し続けて、他の人を先に降ろしてあげます。

そうすると、多くの人は会釈をするか、「ありがとうございます」といってくれるんです。赤の他人から感謝されると、ちょっとうれしい。しかもなんだかイライラしていたことがバカバカしくなる。

マズローの欲求 5 段階説では、「感謝されたい」というのは高い次元の欲求なんですね。イライラしているときに限らず、ちょっとした親切をして人から感謝されると、気持ちいいです。「情けは人のためならず」って感じですよ。

エレベーターの場合、若い女の子よりもご年配の方やサラリーマンから「ありがとう」といわれた方がいい。だってマズローによると生理的欲求が一番低い次元の欲求ですから (^\_^)

(事業開発局 人財開発部: 小林 教至)

No.244

人生いろいろ、データベースも…… / [コラム] さようなら交通博物館

2006年3月9日

## [コラム] エンタープライズ編集員のつぶやき さようなら交通博物館

東京・千代田区にある「交通博物館」。大手町の「逡信総合博物館（ていぱーく）」と並んで、小学生時代を関東近県で過ごした方なら、いやおうなく社会科見学で連れて行かれた、もとい一度は訪れたことのある場所だろう。1921年から鉄道を中心に、戦後は自動車や航空機、船舶などの交通全般に関する実物大模型や資料を展示してきた。ほど近くには秋葉原が位置しており、かいわいでは電気街と並ぶ名物の1つだった。

ご存じのとおり、秋葉原はもはや電気街ではない。かつての家電、そしてパソコンといった商品主軸のシフトを経て、今では大型激安量販店とさまざまなオタク文化を擁したよく分からない街になった。

こうした秋葉原の変容とともに、交通博物館も2006年5月14日で姿を消す。中央線の始発駅となる万世橋駅として生まれ、博物館となって小学生を楽しませ、そして取り壊されていく。かつて賑わいを見せていた電気店の撤退と同じく、また1つアキバの歴史に幕が下りるようで複雑な気持ちになる。

先日JRが行ったテストで次世代新幹線は時速366kmを記録したそうだ。これも交通博物館の記録物に刻まれるのだろうか、こうした時代の波が次々といろいろなものの変容を強いていくのかもしれない。

閉館までの残りわずかな期間、交通博物館は「さようならキャンペーン」でその名残をとどめようとする。非公開だった旧国鉄万世橋駅遺構が見学できたり、すでに展示されなくなっていた古い資料が特別展示されていたりする。

その交通博物館は2007年10月14日から、「鉄道博物館」としてさいたま市で新たな歴史を刻むことになっている。現在入口に佇んでいる初代新幹線の0系(21-25)と蒸気機関車(D51426)も移設展示される予定。ただし、残念ながら航空・自動車などの貴重な展示物の行方は決まっていない。

(エンタープライズ編集部：柿沼雄一郎)

No.245

DNSに課せられる役割 / [コラム] 電話とメールと個性

2006年3月16日

## [コラム] 取締役のつぶやき 電話とメールと個性

企業としての新たな成長を求め、アイティメディアとの統合・合併を決断、この2月から旧メディアセレクトの社員を引き連れて、アイティメディアのオフィスへ移ってきた。同じメディア企業でも、“紙媒体”を主体にしてきたわれわれと“オンライン”を主体にしているアイティメディアでは、さまざまな面でその企業文化の違いに驚かされる。

その最たる例が「電話文化」と「電子メール文化」の違いだ。アイティメディアのオフィスはやけに静かだ。聞こえるのはキーボードを叩く微かな音だけで、電話での会話はほとんど聞こえない。その静寂をぶち壊すように、旧メディアセレクト社員のかん高い電話の音が鳴り響く。アイティメディアでは、社外とはもちろん、社内コミュニケーションのほとんども、電子メールが主体のようだ。もちろん旧メディアセレクトも、主たる通信手段は電子メールで、特にビジネス上の重要な用件は電子メールでと指導してきた。要は、電話への依存度がどの程度残っているかの違いであり、アイティメディアのそれは旧メディアセレクトの10分の1以下のような気がする。

誤解しないでもらいたい。私は決して、それを否定するつもりはない。私自身、コミュニケーション手段としてはいまや電子メールが最も優れた手段だと思っている。とりわけビジネスの世界において、極めて有用な通信手段であることは間違いない。ただ、否定するつもりはさらさらでないが、「社内高齢者番付第6位（自己推定）」の“年寄りの私”としては、どうしても一抹の寂しさを感じてしまう。電子メールとビジネスマナーの関係などという不毛な議論ではない。電子メールによる「個性」の消滅というか、電子メールでは個性が伝わってこない、伝えられない、ということに対する寂しさだ。

アイティメディアへ移って、見知らぬ多くの社員と電子メールを交換した。でも、なかなか距離が縮まらない。生（ナマ）の相手を知っていれば電子メールもいろいろな個性を表現できるのだろうが、電子メールだけを頼りに相手の個性を読み取るのは難しい。同僚ならまだいい。いずれ話をする機会にも恵まれるだろう。問題は社外の人間に対する、企業人としての個性の発露という機会を電子メールは奪ってしまっていないだろうか。

25年前、大学を卒業して会社へ入り、まずは電話対応の研修を受けた。ぎこちない受け答えも次第に、それなりのビジネスマンらしい口上となり、1人悦に入った。社外の取引先と緊張しながら、それでも必死に何かを説得するように熱く語りかけた。ときには、受話器の向こうにいる女性社員の可愛らしい声に妙にドキドキしたり、無愛想な取材相手がつまらぬ冗談をきっかけに心を開いてくれたこともあった。電話でのコミュニケーションには確

かに、お互いの個性が見え隠れした。

思えば、自分の企業人としての唯一の財産と言えるヒューマン・ネットワークは、すべてが電話の会話から始まった。いまでも初対面の方とたくさんお会いするが、事前に電話でコンタクトがあったか、電子メールでコンタクトがあったかによって、親しくさせていただくスタート地点が違うような気がする。

アイティメディア高齢者番付第 6 位（自己推定）の年寄りからの余計なお世話です。みなさん、たまには電話を使ってみませんか？

（取締役：松浦義幹）

## No.246

情報漏えいウイルスに感染しないために / [コラム] 記憶に残ればいいんです!

2006年3月23日

# [コラム] 営業局員のつぶやき 記憶に残ればいいんです!

3月某日、私は生まれて初めてファッションショーなるものを体験しました。

そうです、世界の有名メゾンが、パリやミラノで年2回開催する“アレ”です。といっても、出る側ではなく見る側で。

きっかけは、月刊女性誌の読者プレゼント。ファッション界で1、2位を争う人気のあのブランドが、新宿のデパートとのコラボレーションにより、東京でファッションショーを開催するというのです。クジ運皆無の私が軽い気持ちで応募したところ、幸運にも当選したのです。

会場はデパート屋上の特設ステージ。こういって何だかショボい気がしますが、結構本格的です。レッドカーペットならぬ、グリーンカーペットを歩き、フロントロウを陣取るべく意気込んで会場入りした私。しかし、すでに席は7割程埋まっており、残念ながら希望のポジションを確保することはできませんでした。

それでも気を取り直し、開演時間を待つこと数十分。ショーは定刻に開演。まず驚いたのが、音楽。耳が痛くなるような爆音です。となりに座った友人の声すら聞こえません。

そして、モデル。とにかくデカいんです。スーパーモデルは175~180cmが当たり前。もちろん八頭身。その位の知識は備えていましたが、実際に目の当たりにすると、その大きさ、スタイルの良さに圧倒されるばかり。同じ人間とは思えません。

半ば放心状態でその光景を眺めていた私ですが、正気に戻り、最新のコレクションをチェック。1点20万、30万は当たり前。とても手が出せるお品ではありません。東京でショーが開催されるのも、これが最初で最後かもしれない。私はもう二度とないであろうこの瞬間を、「カメラ小僧かよ!」とツッコミが入るくらいの勢いでカメラに収めました。

華やかな時間は30分余で終了。意外と短いものです。興奮冷めやらぬ中、帰りの車中で本日撮った写真を確認。さぞ記念に残るでしょう。が、しかし! 液晶画面にはモデルたちが通り過ぎた後の残像だけが映し出されていました。モデルの動きが速すぎたのでした。うまく撮れていたのは、静止していた会場外観だけ。ええー!? 今日



の私の努力は何? と、どっと疲れが襲ってきました。

写真って難しいですね……。人生初の貴重な体験は、淡い初恋の思い出のように、記憶の中にだけ留めておくことにしたのです。

(営業局:花澤亜希子)

No.247

SQLを覚えよう / [コラム] “雰囲気からの新しい自分演出”をしようかな

2006年3月30日

## [コラム] TechTarget スタッフのつぶやき “雰囲気からの新しい自分演出”を しようかな

仕事柄、IT 企業取材することが多い。「部下にどんな能力が必要だと思うか」というテーマで、開発系企業のマネージャにインタビューしたことがある。圧倒的 No.1 の要望は部下の「コミュニケーション能力」だった。

内容は「1人でほかの会社に行って、とにかく話ができること」といったコメントが多かった。そんなに、部下たちは、話ができないのだろうか？ コミュニケーションがそんなに下手なんだろうか？ と不思議に思った。

昨年末は、日本の CIO の方々のお話を聞く機会があった。「CIO に必要とされる能力は何か」という質問に対する、ダントツ 1 位の回答もこれもまた「コミュニケーション能力」であった。それに加えて多かったのが「プレゼン能力」。日本の CIO は、みんなの意見をよく聞いてシステム要件をまとめあげ、それを予算化するためのプレゼン能力が問われるのだろう。どちらにしろ、コミュニケーション能力が必要とされていることは間違いない。

話す能力は後天的に向上していくものなのか。先日、TV を見ていたらコロムビア (CME) の廣瀬社長が登場して、会社の戦略を話していた。大昔、IBM 時代の廣瀬さんに取材したことがあるのだが、明らかにその当時の雰囲気とは「激変！」していた。

以前の廣瀬さんは、七三分けの髪型に金縁メガネ、スーツをシャキッと着こなして、穏やかにゆっくりと話す姿は大学教授みたいだった。日本語で話しているのにメモをすべて英語で書いているのもカッコよかった。

それが現在の廣瀬さんは、小林克也みたいな雰囲気になって、話し方もすごくアップテンポ。この変わりようは何？ 音楽業界に入ったから意図的に変えたのか？ それとも自然に変わっていったものなの？ と考えを巡らせたところで、1つの可能性に思い至った。

話す能力やコミュニケーション能力は簡単に変えられないかもしれないが、雰囲気から変えていくのも手なのかもしれない。それに見合った能力は後から付いてくるってこともありうるのだから……。と、自分自身も雰囲気から変えてみようかと考えている。みなさんも、この4月に新しい自分演出はどうですか？

(TechTarget プロデューサー：小宮紳一)

## No.248

### 新入社員に贈る!まずはここから/[コラム]春の逃避行

2006年4月6日

## [コラム]事業開発部員のつぶやき 春の逃避行

風が暖かくなり、すっかり春めいてきました。オフィスがある丸の内では、仲通り沿いに可愛らしいチューリップが植えられ、芝生も青さを取り戻し、寒さの厳しかった冬がうそのようです。

新入生・新入社員の方々や、引っ越しの荷を積むトラックを見かけるたびに、春だなーと実感します。そして、何を隠そう、私も春から新天地で新しい生活をスタートする1人です。4月末の結婚を控え、今は準備が架橋に入り、日々目を回しています。

結婚後の新居は一軒屋なのですが、実は一軒屋で暮らすのははじめての体験です。一見うらやましがられそうなこの状況ですが、ここで大きな悩みが発生しました。

『みなさん、お家の戸締り、どうしてますか?』

実家は14階建てマンションの9階で、隣り合わせた建物がない環境です。加えて、同じ階に2件しか家がないので、戸締りは就寝時か、全員が外出するときのみ。しかも、玄関のドアの鍵をかける程度です。窓なんて台風の時しか鍵をかけません。

これから暮らす一軒屋はそういうワケにはいかないですよ。どこからでも誰もが入ってこれる環境です。窓を開け放して外出なんて、家宅侵入歓迎ハウスになってしまいます。

外出時は当然全部施錠するとして、分からないのは在宅時です。2階の換気をしながら、1階でお昼寝なんて、危険の範囲内……なのでしょうか。

いやいや、逆に2階の自室にこもっているときこそ、1階が狙われるのかもしれない。ちょっと目の前のお店にいている間にも、全部の窓を閉めるべきなのか。でも閉め切った環境の生活は経験がないのでそれもまた不安です。

と、傍から見れば、とつてもくだらない問題に、楽しく頭を悩ませて、忙しい現実から少しでも逃避しようとするワタクシなのでした。どうやら私の頭にも春が来たようです。

(事業開発部:小松 千郷)

## No.249

### 春だ、気合いだ、Linuxを学ぼう / [コラム] 1人暮らしの奇行、独り言と受け身

2006年4月13日

## [コラム] 人財メディアスタッフのつぶやき 1人暮らしの奇行、独り言と受け身

いよいよ新年度がスタートした。アイティメディアのオフィスがある、ここ丸の内でも新入社員とおぼしき方々を街のあちこちで見かけるようになった。彼、彼女たちを見るたびに、1年前は自分も着慣れないスーツを着てどこかぎこちなさが漂う仕草で研修を受けていたことを思い出した。1年経過して変わったのは、入社当初のスーツからカジュアル出勤に変わり、0.1tだった体重が0.11tになろうとしていることぐらいだ。

さて、新生活がスタートしてこの4月から「1人暮らし」をはじめた人も多いだろう。住み慣れた土地を離れ、家族や友人たちと分かれる寂しさがある。その一方で妙な解放感もある。その寂しさや解放感からかもしれないが、1人暮らしをはじめると自分自身が気付かない内に「奇行」をするようになる。僕は1人暮らしをはじめて4年目になるが、年々奇行の度合いがエスカレートしてきた。

僕の場合、主に2種類の奇行がある。1つは「独り言」もう1つは「受身」だ。独り言は主にテレビに向かっていうことが多い。はじめはそのとき見ている番組に対する感想だったのだが、最近では某討論番組の司会者よろしく「ちょ、ちょっと待って。彼の話を聞こう」などと勝手に番組の司会をするようになっていた。あるとき、はたとそれに気がついて、自分がそこまで病んでいるのかと軽く絶望した。

もう1つの「受身」だが、僕は2週間に1度くらい、何の前触れもなく柔道の「受身」をしたくなるときがある。184センチ、0.11tの体が狭い部屋を激しく動きまわるのだから影響は大きい。つい最近、前回り受身でスチールラックに足の小指を打ち付けてしまい、あまりの痛さに30分ほどのた打ち回った。僕の住んでいる部屋の下は倉庫になっているので、苦情は来ていないができるだけこのような行動は慎みたい。

「咳をしても1人」と尾崎放哉はいったが、「司会をしても1人」「前回り受身をしても1人」一体、僕の奇行はどこまで続いていくのだろうか。ちょっと楽しみになってきた自分がここにいる。

(人財メディア：千葉 大輔)

## No.250

### ネットワークの基本を知る出発点/[コラム]ゲーマーもアニメオタクもまだまだぬるいぜ

2006年4月20日

# [コラム]人財メディアスタッフのつぶやき ゲーマーもアニメオタクも まだまだぬるいぜ

最初にいっておこう。私はゲーマーでもアニメオタクでもない。

先月の初め、ゲーム業界は「ニンテンドー DS Lite」の発売で盛り上がり、ゲーマーたちは「ニンテンドー DS Lite」をいかにゲットできるかが話題の中心だった。ある日、私は某仕掛け人の魔法にかかり「ニンテンドー DS Lite」が欲しくなった。しかし、弊社サイトでも“入手困難”という文字文字文字。徹夜して店頭に並んでも無理なのか？ そんなに大変なものなのか？ ゲーマーでもない私が徹夜もしないで入手できたらすごいことなのだろうか？ じゃ、いっちょやってみっか！

そんな軽い気持ちで、前日は睡眠を取り、発売開始時間の 1 時間前に店頭に行ってあっさり買ってしまった。ええええええ？ こんな簡単にゲットできちゃったよ。まだまだ入手困難とされている「ニンテンドー DS Lite」を私が持っていることを、そのとき会社では口が裂けてもいえなかったことはいうまでもない。

さらに、先日「東京国際アニメフェア 2006」が開催され、私が好きな大泉洋氏のトークショーを見るために、アニメとはまったく無縁の友達とアニメオタクな方々に戦いを挑んだ。先ほど同様、整理券が出るとか、徹夜で並ぶ人があるなど前評判はそこそこ。そして戦いの日はやってきた。徹夜組もいたそうだが、私が目当てのトークショーは約 900 人分の整理券を 1 時間で配布終了。結果、私の望みはあっさり叶った。私はテレビなどの取材カメラに映る勢いで最前列をゲットした。アハハハ。みんな何が目的だったのかしら？

私は思った。ゲーマーもアニメオタクもぬるいぬるい。何をあせっているのだ。私は過去に 1 カ月並んだ経験がある（1 人ではなくグループで）。それに比べれば、1 晩徹夜するくらい大したことではない。並びのプロの私（主にチケット関係）からしてみれば、最前列のチケットに限りはあるが、ゲームは一番最初に並ぼうが最後に並ぼうが店舗に入荷した数の中に自分がカウントされれば同じなのである。

お金、時間、体力をなるべく消耗しないで、効率よく自分の欲望を満たすことができるか？ そして突発的なことが発生したときの的確な判断が大事なのだ。世のゲーマーとアニメオタクと呼ばれる人たちへ、キミたちの欲望は満たされているかい？ 私のような素人に負けてはならんよ。  
(人財メディア：小島貴香子)

## No.251

### ゴールデンウィークはいつもと違う本を / [コラム] ミャンマー製タナカ石鹸

2006年4月27日

## [コラム] エンタープライズ編集部員のつぶやき ミャンマー製タナカ石鹸

懇意にしている友人がミャンマーから戻ってきた。2カ月ぶりの帰国だ。好き好んで軍事政権荒れ狂うミャンマーにわざわざ行くのだから、よっぽどの暇人か、強者である。旅行中「メールが検閲されている」との連絡が何度か届き迷惑したが、本当にミャンマーからなのかも定かでないようなやつだ。

そんな友人が先日お土産を持ってやってきた。こういうときは、何か悪い冗談じゃないか、と疑うのが礼儀作法とどこかで習った記憶があるが、受け取った包みからは何とも優しい良い香りがただよっている。

「タナカだよ、タ・ナ・カ・石鹸」。友人はそう言って妙に自慢気だ。

タナカといわれ、ミャンマーに渡った田中さんが開発した石鹸を想像するのはわたしが至らなかったのだが、よくよく聞いてみると、田中さんの田中ではなく、単にタナカと呼ばれるミカンの匂いがする樹をスズリですり下ろし、石鹸として固めたものらしい。どおりで香りだけは良かったのだ。

しかし、それにこだまされてはいけない。石鹸といってもこれはミャンマー製である。直接、肌に使うのだからちょっとは疑わざるを得ない。体に良いのか、悪いのか、それぐらいは知らない人から餌を与えられたうちの犬でも確かめる。そう思い、パッケージの文字を見てみても、書かれているのはミャンマー語、分かるわけがない。

当の友人に聞いてみても、肌荒れ防止といわれたとか、日焼け止めといわれたとか、またある人には虫除けになるといわれたとか、答えはあいまい。「少なくとも科学的な効能分析はなされてない」と笑っている。

まあ、昔から適当なところのある友人のお土産だから、そっと棚の中にでもしまっておけばいいだろう。まず気付かれる心配はない。もしもわたしの周りからタナカの香りがしたら「ああ、あれ使ったんだ」。そう思っしてほしい。

(エンタープライズ編集部: 堀 哲也)

## No.252

### 新人さん、コマンドラインの世界へようこそ / [コラム] 『名字をめぐる冒険』

2006年5月11日

## [コラム] 新入社員のつぶやき 『名字をめぐる冒険』

こんにちは。営業本部の岑と申します。「岑」です。すいません、読めないですね。「ミネ」と読みます。

私、この春にアイティメディアに新卒入社したピチピチの新人なわけですが、新人たるもの自己紹介をする機会が非常に多いのです。そんなとき、よく使うネタが「自分の名字」です。

この「岑」という名字、正確に読める方はめったにいらっしゃいません。「コンさんですか?」とか「シンさんですか?」とか。ちなみに「シン」は半分正解。音読みするとシンなのです。

逆に、ミネという音だけを知っていらっしゃる方は十中八九、違う字を当てて書かれます。「峰」「峯」「嶺」は日常茶飯事、面白いのが DM で、このほかに「山今」で届いたこともありますし、恐ろしいことに「岸」で届くものもあります（岑の字形が岸に似ているためでしょうか）。

自分の名字をググる、なんてちょっぴり恥ずかしい行為も、この字ではいろいろと台無しです。なんか漢字だらけのサイトが大量に。漢字っていうか簡体字にヒットするのは台湾のサイトとか、なんかそんな感じのページだらけです。私は純粋な日本男児です。

そんな厄介な名字ですが、たまに読める方もいらっしゃいます。百人一首に詳しい方は読めるのですね。なぜかというと「壬生忠岑（みぶのただみね）」という歌人がいるからです。有明のつれなく見えし別れよりあかつきばかり憂きものはなし。別に縁もゆかりもありません。

とまあ、厄介ではあるものの、これだけ話して一度認知されれば間違えられない……というのも実は甘い。甘いのです。

あれは小学生のころ、最も仲の良かった友人の K 君からはじめて直筆の年賀状が届いたときのこと。幼い書体で、それでも一生懸命に筆ペンで書いてくれたね。ありがとう。でもね、下の「今」が「令」になってるよ。待て親友、最後の点は余計だッ!

なんだか悲しくなってきましたが、その意味するところは steep、precipitous、peak だそうで。以上、英語

版ウィクショナリーより抜粋……そう、日本語版には項目すらないのであった。な、泣いてなんかいないんだからねっ!

険しく切り立った崖のような、あるいは、頂点。よく取れば、そういう高みへと至る使命を与られているということでしょうか。何事もポジティブに、名字に負けないように精進していきたいな、と思う連休明けの午後でした。

(営業部: 岑 康貴)



## No.253

### 選択肢が増えるストレージ / [コラム] 会社はヒトが資本、ヒトはカラダが資本

2006年5月18日

## [コラム] 新入社員のつぶやき

# 会社はヒトが資本、ヒトはカラダが資本

季節の変わり目となり、気温差の激しい日々が続きますね。読者の皆さんは体調管理は万全でしょうか？

新人の山岡といいます。僕は残念ながら GW 最後の日に風邪をひき、入社早々 2 日半の休みを頂いてしまいました。情けない思いで一杯です。風邪の原因はいろいろと考えられますが（体力消耗、うたた寝、同期と過ごした GW でのヤンチャなど）、それよりも、ひきはじめに無理をして半日出社したことが何よりも失敗でした。

その日はとにかく栄養摂取に努めたのですが、摂取後に一瞬は回復の兆しを見せるもすぐに意識もうろうとなる、というひどいありさまでした。意識もうろうとなっている時点で会社に来ているのはおかしいと今では思うのですが、正常な判断力も奪われていたようです。もしかしたら何かおかしい言動もあったかもしれませんが、怖いので聞けません。

そして昼食後。ダウン寸前で帰る決断をし営業のメーリングリストに連絡しました。すると、S 先輩（メガネで美人の方）から「無理しないでね」と優しいメールが！僕がメガネと優しい言葉に弱いのを知っておられるのでしょうか（いや、違う）。アイティメディアに入社して良かったと思うことは度々あるのですが、一緒に仕事する人は大事だなあと、しみじみ思う新人生活 1 か月目（病人生活 1 日目）。

帰り際に食料を買い込み、取りあえず就寝。その後「卵雑炊」をかきこみ、もう一度就寝。やはり風邪を治すには食べて寝るのが一番ですね。朝には大分回復していました。ただ、全快というわけには行かず、さらに 2 日の休みをもらい、こうして家で風邪をテーマにコラムを書いている次第です。

会社はヒト・モノ・カネ（あと情報）が資本とありますが、そのなかでもヒトは体が資本であり、健康維持は重要な仕事のうちの 1 つなのだと学んだ 5 月の連休明けでした。皆さんも健康には十分お気を付けくださいね。

※追記：病院で薬をもらって飲んだら速効で治りました。

（営業部：山岡 大介）

## No.254

### 非接触ICカードについて知る/[コラム]陸マイラーになりますよ

2006年5月18日

## [コラム]新入社員のつぶやき 社会人デビューとともに、 陸マイラーになりますよ

みなさまはじめまして。営業本部に配属されました、新人の藤元 佳代と申します。出身は石川県金沢市で、趣味はスクラップブック作りです。大学ではローマ史を専攻していました。こんな非 IT な私ですが、読者のみなさま、よろしくお願いします。

実家に帰る度に「絶対にマイルはためた方がいい。」といわれ続けてはや 4 年です。ためそびれたマイルはもう手に入りませんが、社会人になったのを機に重い腰をあげて、この先の新たなマイルを生かしていきたいと思っています。

ところでマイレージカードって、どういったものが良いんでしょうか。私個人は、買い物でたまったポイントがマイルに換算可能なカードがいいかなあ、と思っています。家賃の引き落としをマイルのたまるカードにすると、2 年でソウルや沖縄までの往復チケットが手に入ったりすることもあるらしいです。これなら何もしなくてもカードを作って、家賃を払うだけで旅行をプレゼント! って、親孝行もできますね。

飛行機に乗らずにマイルをためる人のことを「陸マイラー」と呼ぶそうです。

その陸マイラーの友人に話を聞いたところ、マイレージをためる方法はいろいろで、夜中に海外のコールセンターに電話で問い合わせをしたり、飲み会の幹事をわざわざ引き受け、支払いをカードで行いマイルをためる人など、傍から見て、「マイレージを効果的にためるには、ここまでしないと駄目ってこと!？」と驚嘆することもしばしばだそうです。

また、ビジネスマンが出張のときに飛行機を利用して発生するマイレージは、一体誰のものなのかも、非常に気になっています。

ところで、私の実家にはマイレージでもらった折り畳み自転車があるのですが、誰も乗っていないので錆びてきています。せっかくためても、そのマイル自体を無駄にしてんじゃん! っていつも思っています。私はマイルに振り回されないように気を付けつつ、陸マイラーとしてデビューしたいと思います。 (営業部: 藤元 佳代)

## No.255

### 組み込み開発はITRONからT-Engineへ/[コラム]上手な付き合い方(お金編)

2006年6月1日

## [コラム]新入社員のつぶやき 上手な付き合い方(お金編)

新入社員の岩瀬と申します。時間に余裕のある方がおりましたらこれも何かの縁、ぜひ私のコラムに立ち寄ってください。

先月、兄嫁が出産したといううれしくもあり悲しい知らせが私の耳に舞い込んできました。私も叔父さんと呼ばれる年齢になってしまったのかとつくづく感じています。そんな心の小さい私も社会人となり給料をもらう立場になりました。年を重ねることも、まんざら悪いことだけではないなと思ひ直しています。

ですが、小学生のころから親のすねをかじり尽くして生きていた私は、その浪費癖が治らずにいたため、はじめての給料は溝に捨てているのと変わりませんでした。

まず、私が真っ先に心掛けたことは預金を時間外から引き出さないことです。コンビニの ATM から引き落とすものなら、最悪のケースでは、一回 210 円も手数料がかかってしまいます。

もったいない。ここで皆さんに良いニュースがあります。知っている方も多いかと思いますが、東京三菱 UFJ 銀行には、預金が 10 万円以上あるとどこで引き落としでも手数料がまったくかからない新サービスがあるようです。

ただ、月末に 10 万円の預金がない場合は、代償として 315 円が引き落とされてしまうため、給料もらいたての私には、そのサービスを受けることがまだできません。ボーナスが入り次第、引き落とし手数料が無料になる新サービスに登録する予定です。

次に心掛けたことは携帯電話の通話時間の短縮です。自分からかけるようなら、用件のみ伝えて切るようにしています。また、余分に通話料を払わないためにも料金プランの変更と使わないサービスの解約を行いました。

われながらなんて小さいのかと思うこともありますが、これも『人の性』逆らえません。私の母も、学生時代と社会人になってからの私のお金に対する豹変ぶりに戸惑いを隠せないようです。

お金は人を変えるとありますが、あながち、それもうそではないなと感じる社会人、1 年目です。

(営業部：岩瀬貴義)

## No.256

### 今秋登場のOffice 2007 / [コラム] オンとオフはメリハリ

2006年6月8日

# [コラム] 新入社員のつぶやき オンとオフはメリハリ

社会人になってちょうど2カ月。満員電車で揺られて通勤する生活にようやく慣れてきたところです。

学生から社会人になってみて何が変わったのだろう、ふと考えることがあります。スーツを着る生活になったこと、名刺を持つようになったこと、名前を名字で呼ばれること……、挙げればキリがないのですが、一番変わったなと感じるのは「時間の過ごし方」です。

私が就職したのがIT業界、メディアということも関係しているのですが、ビジネスの時間は緊張感があってものすごく速いことに驚きました。

刻一刻と流れていく時間をいかに有効にいかに効率よく過ごしていけるかが、大事なのだと痛感します。

オンの時間も変われば、オフの時間も変わりました。このところ金曜の夜は同期と朝まで飲み会、土日は買い物に出かけたり、観劇をしたり、ジムで汗を流したり、居心地の良いカフェでお茶をしたり、少し足を伸ばして鎌倉に出かけたり。

平日の反動でしょうか、何かを取り戻すかのごとく、むさぼるように自分の好きなことをやっています。学生の時よりも、よく遊んでいるような……。

学生の頃は、オンとオフの境もなく、日々気の向くままに過ごしていました。卒業の前は、自由を失うように思えて学生の身分を手放すのがとっても嫌でした。

けれども、こうして社会人になってみると、オンとオフのメリハリのある生活も、緊張感があって、なかなか楽しいものだと気付きました。

ただこのコラムを書いていて気付いたのは、土日に遊びをぎゅうぎゅうに詰め込んでいるので、もう少し身体を休めることも覚えた方がいいように思います。

(営業部：菅森朝子)

## No.257

### ロボコンが熱い/[コラム]ロックとお酒と書道

2006年6月15日

## [コラム]新広報担当のつぶやき ロックとお酒と書道

5月中旬から広報・マーコム担当として入社しました渡辺と申します。よろしく申し上げます。IT 業界で働きながらも、その一方でプライベートでは「書道」にハマっています。

書道と聞くと、「地味……」と思われるかもしれませんが、それはおそらく昔、学校の授業であった「習字」のせい。習字は“字を習うこと”で少々堅苦しいですが、書道は“創作&アート”。自由です。

書体、バランス、筆脈、にじみ、かすれなど、自分の手で創作して文字を表現するというのはワクワクします。特に長さ 1.5 メートルくらいある大きな紙に、太い筆で書くのは爽快です。ヘッドホンで大音量のロックを聴きながら書いたり、お酒を飲みながら書いたりもします。(ただし、邦楽は歌詞が耳に入って集中力に支障が出るので洋楽に限ります。ワインはグラスを倒しやすく書いたものがパーになるので注意が必要)

ブランクの時期もあったのですが、書道暦は約 16 年。特に 3 年前、前の職場でエクセル漬けの生活が続いていたときに、突然「活字ではない字が見たい!!!」という気持ちが湧き上がり、それ以来、火がついてしまいました。

師範資格を取るための学校にも通っており、合宿まであります。今は古典の「かな」の作品(細い筆で薄い紙に書く。巻物をご想像ください)に取り組み中。「会社でキーボードを打ちまくった数十分後には、紀貫之の歌を書いている」というギャップ、なかなか面白いです。

多忙でしばらく練習の機会がなかったりすると、「何か書きたい」と落ち着かず、夜中に筆を持つこともあります。気がつくと数時間もたっていて、部屋が紙の山になっていますが、気分はすっきり! 書道に限りませんが、自分の手で何かを創り出す時間は、楽しく、ストレス解消にもなるのでおすすめです。

将来はデザインも勉強して、本業の合間に焼酎のボトルのラベル文字など書けるようになればいいなあなどとひそかに考え中です。

(PR& マーケティング担当 : 渡辺真知子)

## No.258

### やっぱりいまだに分からないWeb 2.0 / [コラム]セーラー服おじさん

2006年6月22日

## [コラム]総務担当のつぶやき セーラー服おじさん

かれこれ何年前か……。遠い昔のように思える高校時代。違う高校に通う友達、Sちゃんから聞かされた噂話が私は忘れられなかった。その噂話とは、Sちゃんの通う高校の近くに変なオジサンがいるという。その名も『セーラー服オジサン』!いい年のオジサンがセーラー服(中学生用らしい)を着て毎日町のどこかに出没しているという。

一度お目にかかりたいと思っていたが、なかなか遭遇することがなく高校時代が過ぎた。Sちゃんの話はウソなのか?その後、免許を取得した私は車の運転をするようになった。とある休日、ドライブがてらふらふら車を走らせていると、前方に怪しい物体発見!そう、あれは噂のセーラー服オジサンだ!!車を止めてじっくり観察する。

確かにセーラー服を着ている。推察するところ、身長160~165cm、ぽっちゃり色白、目が悪いのかメガネの中の目が異様に小さく見える。髪は黒く肩までの長さだが、抜け落ちたのかかなり薄く地肌が見え隠れしている。そのころ、ちまたの学生はルーズソックスにローファーが大流行していたが、やはりオジサン。白のハイソックスにスニーカーだ。

てっきり歩いて徘徊しているのかと思っていたが、自転車に乗っていた。もちろんママチャリ。かごにはかわいらしいカバーがついている。どうりでなかなか会えなかったはずだ。行動範囲は広いらしい。

噂の人物を目の当たりにした興奮冷めやらぬ私は、その場でSちゃんに電話をした。そしてSちゃんから噂の人物がセーラー服オジサンになってしまった理由を聞いた。昔、オジサンには娘がいたが、中学生のときに不慮の事故で亡くなってしまった。娘をとっても愛していたオジサンは悲しさのあまりノイローゼになり、娘のセーラー服を着て外に出るようになったという。なんとも悲しい話ではないか。私は今まで偏見の目で見ていた自分を恥じた。

そういえば周りの人たちが動じず普通に接しているのは理由を知っているからだろうか。最近また見かけたが以前と違う点が1つあった。ハイソックスとスニーカーが紫色に変わっていた(なぜこの色なんだ?)。さすがのセーラー服オジサンもおしゃれに目覚めたのだろうか?

皆さんの周りにはこんなオジサンいませんか?もしかしたらそれにはやむにやまれぬ事情があるのかもしれないよ。ひとつ優しく見守ってあげてはいかがでしょうか?

(総務人事部:中村由美)

## No.259

### 管理できる開発チームを作ろう / [コラム] Biz.ID の野望？

2006年6月29日

# [コラム] Biz.ID 担当のつぶやき Biz.ID の野望？

ゴールデンウィーク明けから入社しました鷹木です。よろしくお願いします。

実は、アイティメディアは人生で 3 回目の会社となります。新卒で入社した会社は新宿、初めて転職した会社は市ヶ谷でした。ちなみに弊社の最寄り駅は、東京メトロ有楽町線の有楽町駅。ホーム中ほどのエレベータを利用すれば、ものの数分で入居するビルに入れる絶好の立地です。しかも、地下は日比谷線、千代田線、丸の内線、銀座線、都営地下鉄三田線とつながり、さらに JR 山手線の有楽町駅も近いので交通の便は都内でも指折りといえるでしょう。

しかし、駅が多いこともあって入社から 2 カ月になろうとしている今でも有楽町・銀座かいわいで迷子になりそうになるのが欠点。東京生まれの東京育ちである私ですが「慣れ親しんだ都内でここまで迷うものか」と苛立ちながら地下道をさまよう毎日です。前職・前々職では迷うなんてありえなかったのに……。

話は変わりますが、6 月 27 日にビジネスパーソン向けに仕事の効率アップを目指すサイト「ITmedia Biz.ID」がオープンしました（かくいう私が Biz.ID 担当なのですが）。Google のような Web 2.0 的なサービスから、超整理法のような仕事術までもカバーするサイトで、ビジネスパーソンの皆さまに役立つこと間違いなしです。

というわけで、まずは隗より始めよ——最近必死になって覚えている「有楽町駅・銀座駅・日比谷駅⇄アイティメディアの最短ルート」を Biz.ID にいつか掲載してやりたい、そして自分自身にとっても役立つサイトにしたい、と思っています。そんな“野望”を抱く私が担当の Biz.ID ですが、皆さま、どうかよろしくお願いします。

(ビジネス・メディア事業推進部：鷹木創)

## No.260

### 5分で分かるシリーズでおさらいを / 試写会招待券ゲット大作戦

2006年7月6日

# [コラム] 企画統括担当のつぶやき 試写会招待券ゲット大作戦

先日、友達にとある映画の試写会に誘われました。応募したら抽選で当たったのだそうです。その映画の内容はよく知らないし、正直、あまり興味のないジャンルだったのですが、“抽選で当たった”というレア感に惹かれちょっと行ってみることに。

そう、懸賞に当選するなんてすごいですよね。もし私なら踊って喜びそうなくらいラッキーなことだと思うのです。しかし彼女は軽いいました。

「そうでもないよ。けっこう当たるよ」 え! “けっこう” 当たるの? 「最近ネットで応募しはじめたんだけど、もう2、3回当たったよ」 ええ! そんな頻繁に? 「試写会っていいよータダだし!」 確かに!! タダ、最高!!

影響されやすい私は、帰宅後早速ネットで試写会の情報を検索し、いくつか応募してみました。

その結果……、全滅。

それもそのはず、私ってば応募する映画を厳選していたのですね。「これは話題になってるから応募しとこ〜、こっちは聞いたことないしあんま趣味じゃないからいいや〜」といった具合に。それではおのずと人気のある当選確率の低いものばかり選びがちになるというもの。考えを改めなければ。

「もともとこだわりはないのだから、ジャンルや話題性を問わず時間と場所に無理がないものは片っ端から応募しよう!」 こんな具合に、私の試写会招待券応募の日々が始まったのでした。

あれから2カ月。友達はその後も順調に当選し続けているようです。私はというと、いまだに当選ゼロ。もしかして、単にくじ運がないだけ?

(企画統括: 喜多 幸恵)



## No.261

### Excelを使った開発 / 妄想と発見のお腹の内側と外側でのふれあいのとき

2006年7月13日

#### [コラム] クリエイティブ室担当のつぶやき

# 妄想と発見のお腹の内側と外側でのふれあいのとき

はじめまして。10月に出産を予定しています伊藤です。

先月あたりからお腹の膨らみが目立つようになり、中で順調に成長している赤ちゃんの動きも活発になってきました。5月の連休ごろ、まるで腸にたまったガスが移動するようなポコポコという動きを感じたのが胎動の始まりだったのですが、最近では動きにバリエーションが出てきました。

ドンツという大きな衝撃があったり、体の向きを変えているようなゆっくりとした旋回を感じたり、細かくリズムを刻むような動きをしたりと、動きの変化を感じていると飽きることがありません。時折、プルプル、ピクピクと震えるような揺れを感じる時があります。これは、お腹の中で“しゃっくり”をしているのだそうです。

ポコンと動いたときに、外側からトンと軽く押さえるようにして叩くと、それに反応してポコンと返してることがあります。このコミュニケーションをキックゲームというらしいのですが、自宅で夫とこの反応を楽しみながら(ウチの子って、ひょっとすると天才?)と早くも親バカ街道まっしぐらです。

楽しみながら観察しているうちに、胎動を感じる時間帯というのを発見しました。最も動きが活発なのは、自宅で横になっているときで、リラックスして体が緩んで動きやすいのか時折、痛いと感じるくらい動くこともあります。また、この時期ならではですが“サッカー W 杯の試合を TV 観戦”しているときは動きが激しいことに気が付き、早速、こんな相談も……。

「もしかして、早くもサッカーに興味を持ち始めた?」

「男の子だったら、名前は“しゅうと”なんて、いいんじゃない?」

「でもさ、ゴールキーパーになったら失点続きだよ」

——親バカの域を超えています。“親”の文字は取るべきかもしれません。

お腹の内側と外側でのふれあいは残すところあと3カ月しかないなので、その貴重な時間をいろいろな発見と共に過ごしたいと思っています。

(クリエイティブ室:伊藤 尚美)

## No.262

# 日本版SOX法対応は可視化から／「じゃないですか禁止令」賛成！反対？

2006年7月20日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# 「じゃないですか禁止令」賛成！反対？

先日、とある書店にて 1 冊の本を購入しました。その名も「毎月新聞」。だんご 3 兄弟の作詞や、NEC キャラクター「バザールでござーる」の発案者として、有名な佐藤雅彦氏が、毎日新聞で連載していたコラムをまとめたという本です。そのなかで、ひときわ目にとまったのが、初回の「じゃないですか禁止令」というもの。

最近の若い子は「～じゃないですか」と、やんわりと同意を求めているような微妙なニュアンスで話をしてくる人が多く、佐藤氏は本のなかで、“この「じゃないですか」隆盛の状況を看過するわけにいかず、多少の誤解を恐れず、ここにその禁止令を訴えるものであります”と宣誓していらっしゃいます。

確かに、このいい回し、同意を求めただけならいいのですが、知ってて当然というニュアンスも含まれてしまう可能性もありますよね。時々感じるのが、「じゃないですか」の後で、否定する間もなく次の話題に進まれてしまうと、意見できるタイミングを失ってしまうということ。佐藤氏の禁止令に、思わず、頷いてしまいます。

とここまででは、読者の意見ですが、実は、そんな私も使ってしまう 1 人なのです。

営業という仕事柄、相手の立場に立って会話をする、正しい日本語を使うことは日常的に心掛けていますつもりなのですが、気心した人にはボロが出るものでして、入社以来変わらないほぼ腐れ縁ともいえる 10 歳離れた上長（自称吉田栄作、青春時代は 1980 年代!）には、特に「～じゃないですか」と連発してしまいます。

その度に、「んなこと知るか!」と必ず突っ込んでくれる上長。私はというと、反省するわけではなく、若く偽っているのではないかと、周りから年齢詐称疑惑をかけられている身としては、やっぱり若かったのかと、自分の実年齢を再確認できる、よい機会だったりもします。（正しい日本語を使えないだけともいえますが、この際、自己満足です）

とはいえ、世間でいうところのお肌の曲がり角という年齢でもあり、まっとうな社会人になるためにも、ジャストシステムの“日本語ドリル”でも使って、正しい日本語が使えるようになりたいと思います。はい、ジャストさんはお客さんです。

（営業本部：河村 泉）

## No.263

### 暗号について学ぶ / 脳みその健康と質の良い通勤時間の関係

2006年7月27日

## [コラム] デザイン部新入りのつぶやき 脳みその健康と 質の良い通勤時間の関係

本来、フリーランスの生きた見本のような漫画家には、通勤のための時間というものはない。自宅だろうがファミレスだろうが己のいるその場所が即、仕事場となるからだ。

私はまだその境地にたどり着く道の途中をさ迷っているカンジなので、お金をいただくために、毎日決まった時間に会社へ行く。

が、それが不満かという、案外そうでもなく、結構いいんじゃないかとさえ思っていたりする。今日はそのことを話そう。

一見、通勤時間というものはまったく無駄であるように思える。ある物体を、ある場所へ移す。純然たる“移動”の面のみを考えるならば、確かに通勤は無駄である。

しかし人間という生き物を扱う場合には、ことはそう単純ではない。特に、その人間が多少なりとも仕事上で脳みそのクリエイティブな部分を使っている場合は。

人間は、考える。体を動かすエネルギーが口から入る食物であるとする、考えるためのそれは何だろう。私は“情報”だろうと思っている。そして、それは机の前に座って、パソコンの中から得られるものだけを指すのではない。自分の足を使って歩くと、流れていく景色には、すでに膨大な情報が含まれているのかもしれない。

自分を例にあげて恐縮だが、私はこの半月余り、職場のビルの至近距離まで電車一本で行ける通勤ルートを使っていた。車内で過ごす時間は多少長くなるものの、表を歩く時間は極端に短くてすむ。梅雨のいやらしい雨にも、蒸し暑い外気にも煩わされない理想的な通勤路であるはずだった。しかし、どうにも調子が出ないのだ。

そんな、へんてこな気持ちが続くなか、たまたま美容室に寄ったその足で会社まで歩いてみようという気になった。クソ暑い昼に、百円そこそこの地下鉄代金をケチりたい一心だった。

ところが、である。ひとことかというと、これがたいそう具合が良かったのだ。

路面に並ぶショーウィンドウに見える季節感。そこいらじゅうにある飲食店の入り混じったにおい。それぞれ千差万別な人々の表情……。そして何より、窮屈な都会に植えられても、なお人間たちに潤いを与えてくれる木々の緑、その鮮やかさ。

こうなると、もう気分はすっかり「おじいちゃん、見て見て!」と叫ぶアルプスの少女ハイジである。そのくらい徐々に感動した。この乱雑な世界の、美しさと、豊かさに。その後の会社での仕事がノリノリの絶好調であったことはいうまでもない。

というわけで (?), 結論は、やっぱり人間はたまには外に出なくちゃ駄目なのだ。良い仕事と、脳みその健康は、いかに質の良い通勤時間を過ごせるかにかかっているといても過言ではない。ただし、どうやってそんな、ほどよい通勤時間を要する職場を手に入れるかについては、筆者の力の及ぶところではないので念のため……。

(メディア統括本部: 本橋 優子)

## No.264

### ソフトウェアテスト / 大好きな松本零士の世界で

2006年8月3日

# [コラム] 大好きな松本零士の世界で 「機械の体を手に入れたい」

この前ふとそんな言葉が頭をよぎりました。なんのことはない、仕事で疲れただけなのですが「疲労感や睡眠を感じない体だったら楽なのになあ=機械の体を手に入れる」という思考に陥ったようです。そこで、かつて自分が熱中したアニメ、松本零士先生の「銀河鉄道 999」を久しぶりに観たくなりました。

いうまでもないとは思のですが内容を少々。「銀河鉄道 999」とは、1970 年代後半からテレビアニメとなり、大人気を博した松本零士先生原作のマンガです。

幼いころにお母さんを機械伯爵に目の前で殺された星野鉄郎は、機械の体を手に入れることと、機械伯爵を倒すことを目標とし、なぞめいた女性メーテルとともに、銀河鉄道 999 に乗り込み、宇宙を旅するという壮大な SF アニメです。

観る前は、貧富の差による未来都市は今の社会を反映してやいないかとか、機械人間と生身の人間の確執を大人になったいまはどう感じるかとか、機械になる方が鉄郎は幸せなのではないかとか、鉄郎を通して見る、誰もが通過する少年から大人への成長とか……、気になる題材がいくつかあったのですが、観終わった率直な感想としては「銀河鉄道 999 に乗ってメーテルと旅をしたい」でした。

銀河鉄道の機関車内部や、食堂車で食べるピフテキや、久々に見るメーテルや、鉄郎の服装や、トチローの飲んでた酒「美少年」とか、本筋よりも、そういうディテールが楽しくて仕方ありませんでした。

松本零士先生の描く SF は、世界が 1 つにつながっていて、キャラクターが自由自在にお互いの物語の中を行き来し、内容の辻褄が合わないことも多少あるようですが、その世界観だけでじゅうぶん楽しめるのだと感じました。

それにしてもキャプテンハーロックといい、エメラルダスといい、メーテルといい、いい男といい女がてんこ盛りですね。トチローは声がハンサムでしたし……（ハンサムな声ってあるもんなんだと発見）。

当初の「自分が機械人間になりたい……」なんていう考えはいつのまにか、どこかへ消え去ってしまいましたが、仕事で心身ともに疲労したときは「銀河鉄道 999」を観て、はるか銀河の彼方をメーテルと鉄郎とともに旅してみられてはいかがでしょうか。おすすめです。

(メディア統括本部: 佐藤道子)

## No.265

### 拡がる情報漏えい対策 / 友人の「パソコンおたくン」とのエピソード

2006年8月10日

#### [コラム]メディア統括のつぶやき

# 友人の「パソコンおたくン」とのエピソード

最近、自宅の PC に音楽 CD のデータを取り込むことが多くなり、「外付けハードディスクが欲しい」と思ったものの、その分野においてさほど詳しく知らない私は、長年のつきあいがある友人「パソコンおたくン」に電話をしてみた。

アキバを 1 人で歩く勇気などない私に、彼は某家電量販店 B を提案してくれ、最後にこう付け加えた。

「ポイントは、週末です。週末だとセールで安くなるよ」おお! ナイスな情報ありがと〜、おたくン。早速、今度の週末にでも行ってみようかと思っていたら、彼はさらにこう続けた。

「しかし、女が 1 人で週末にハードディスク買いに電気屋さんに行くってのも、どうかねえ……」

しばらくの沈黙の後、爆笑である。へこむ私。「いまの笑いの臨界点、なんならクリティカルポイントっていてもいいけど、それは一体どこなのよ??!」と聞くと、「うーん、“女”“1 人”“週末”“ハードディスク”……、どれも単体だとフツーだけど、Web の検索方式でいうと『OR』条件じゃなくて『AND』条件で、全部がそろっているところだよ。それらのキーワードから強いて 1 つだけ挙げるなら“ハードディスク”かなあ」

そうなのか。今、はやりの「お 1 人さま」の存在までも『AND』条件は脅かしてしまうとは……、うーん、おそるべし。

そんなこんなで複雑な想いを抱きつつ、女性の姿が皆無のハードディスクコーナーにトコトコと行き、無事にお目当ての商品を手に入れることができた。

親切な助言の主の「パソコンおたくン」にまつわるエピソードをもう 1 つ。最近、彼はダイエットを始めたらしい。いやいや、薄着の季節というのは、性別など関係なく自分の体系を意識させられるので、その行動は理解しやすい。

ただ、気になるのが、そのダイエットメニュー。どんなハイテクを駆使した「デジデジ・ダイエットメニュー」なのかと思いきや、ただ単にコンビニで買う食事に気を付けているだけだそう。

「な～んだ、そんなの普通じゃない」と思ったのもつかの間。彼いわく、「ダイエット＝粗末な食事」という方程式の下、軽くてパサパサしているイメージ映像がダイエット食としてあるらしい。

その方程式でたどり着いたダイエットメニューが、昼ごはんを買いに行ったコンビニでたまたま目に入った、昔懐かしい甘食だったというのである。

確かに味はシンプルだけど、でも「粗末」とはちょっと違う……（私もね、牛乳と一緒に食べるのは、結構好きだったりするけれども）。毎日、せっせと甘食をかじる彼。一向に減らない体重&体脂肪。

あの～すいません、それ、「甘」って思いっきり書いてあるんですけど……。

(メディア統括本部：澤田景子)

## No.266

これからISMS認証を取得するために／たまには恐竜イベントも取材したい

2006年8月17日

# 【コラム】@IT自分戦略研究所スタッフのつぶやき たまには恐竜イベントも取材したい

ある休日の昼下がりのこと、友人がわたしにこういった。「恐竜博は 8 月に行く?」(先日幕張で始まった「世界の巨大恐竜博 2006」。恐竜好きとしては以前から楽しみにしていた)

その瞬間、頭の中にわきあがる妄想。恐竜博にプレス枠で招待され、だだっ広い会場をカメラ片手にかけめぐるわたし。炎天下での入場待ち行列も押し合いへし合いも、「立ち止まらずにお進みください」の声もなし。好きな展示の前で思う存分うろうろし、写真を撮りまくり、インタビューしまくる。恐竜グッズを(タダで)大量ゲットし、オフィスに戻って書く記事は「スーパーサウルスに見る自分戦略」……!

妄想はそこではかなく消えた。わたしの担当分野は、IT エンジニアがスキルとキャリアを自主的に考えるための「自分戦略」。恐竜博に招待されるような立場ではないのだった。

昨年編集の仕事を始めたばかりのわたしは、時々こんな妄想をしてしまう。行きたいイベントにはタダで入れて(自分の担当分野に関係があれば)、プレスルームでお菓子とコーヒーがもらえるこの仕事。ホテルの宴会場でコースのランチが出てくる記者発表会があるなんて知らなかった(でも、ナイフとフォークで食事をしながら質問してメモ取って撮影するって、ほとんど拷問)。いろいろな人が嫌がらずに話を聞かせてくれる、編集者ってお得。

このノリで、なんとか恐竜博にももぐり込めないか? 記事ネタは……「環境変化に適應できずに滅びたといわれる恐竜。変化の激しい業界で IT エンジニアが生き残るためには」とか(超こじ付け)、「6500 万年前の恐竜のように、絶滅寸前の IT エンジニア! そのとき地球は!」とか(切な過ぎる)。あるいは某 I 社の汎用機関連とか(スキルとキャリアに直接関係あるのか?)

……やっぱり炎天下で行列するしかなさそうだ。

(@ IT 自分戦略研究所 : 長谷川 玲奈)



## No.267

### いぶし銀のデータベース管理者になる / 伊香保ど？

2006年8月24日

# [コラム]エンタープライズ編集部員のつぶやき 伊香保ど？

最近のことですが、ITmedia Enterprise に記事を書いてもらうため、あるライターさんに電子メールで執筆依頼をしました。流通分野の研究で活躍する 50 歳前後の男性ライターさんからは、「前向きに検討いたします」というありがたいお返事。しかし、返信のある一文に、図らずも笑ってしまいました。

「さて、報酬は伊香保どですか？」

伊香保？ 一瞬状況がうまくつかめませんでした。もちろんすぐに分かりました。「報酬はいかほどですか」つまり、「原稿料はおいくらですか」という意味です。

ちなみに、伊香保といえば、群馬を代表する温泉地。自動車で東京から小一時間もあれば到着するため、都民にとっても最も身近な温泉天国の 1 つです。このライターさんもきっと、伊香保での温泉三昧の計画を立てていたのでしょう。

こういう文というのは、おそらく PC がなければ生まれないものですね。当の本人は、「伊香保」のイメージなどつゆほど持っておらず、単に PC の変換履歴が生かされてしまっただけです。「これも新たな日本語文化」などと開き直ればいいですが、やはり、「誤変換には気を付けよう」という教訓として受け止めた方が賢明です。

例えば、営業担当者が顧客に送った電子メールにおいて、ある言葉が思いがけず顧客にとっての競合他社の名前に変換されてしまっていたら、取り返しのつかないことになる可能性もあります。また、誤変換された文章を読まされてイライラを抑えられない人もいるかもしれません。

いずれにしても、社会人のたしなみとして、電子メールに限らず、文書やプレゼンテーション資料に誤変換の文字が入らないように工夫したいものです。Word の文書校正機能を使ったり、専用ソフトを購入するのも 1 つの方法かもしれません。

「大たん、かつ細心に文を作り、決して見直しを忘れない」

自戒の念も込めてこの言葉を贈ります。

(エンタープライズ編集部: 怒賀 新也)

## No.268

### 次世代ネットワーク、NGNってなに？/リハビリテーションとモチベーションの微妙な関係

2006年8月31日

## [コラム] 人財開発編集部員のつぶやき リハビリテーションと モチベーションの微妙な関係

初めてのリハビリテーション（リハビリ）は散々だった。麻痺（まひ）した方の「腕を動かす」「足を動かす」ところからのスタートだったが、まったく動かない。そして痛い。それをリハビリの先生（理学療法士）にいても、許してはくれない。「もう少し、頑張ってみよう」と、先生は1人、どこか先を見て走っているようだった。

ともかくリハビリは大変だ。意外と難しいと思ったのは、実は気持ちの面、モチベーションだ。リハビリでは、誰もがどんどんよくなる、というわけではない。何でこんなことを思い出したかということ、話題の漫画『ハチミツとクローバー第9巻』（羽海野チカ著、集英社刊）に、けがをしてリハビリを行う場面が出てきて、自分のリハビリの思い出がよみがえったからだ。

リハビリは、よくなるためにやっているのだから、本人のモチベーションは高く、それは維持できると思うかもしれないが、そうでもない。

少なくともぼくは、何度もくじけそうになった。そんなとき、先生は上に書いたように「頑張ろう」というときもあれば「それなら少し違うことに挑戦してみよう」とかいて、気を紛らわしてくれることもあった。それでも難しいようだを見ると、「今日はちょっと早いけど、やめましょう」なんてこともあった。

といって、やる気満々でリハビリを頑張りすぎてもダメな場合もある。ぼくの場合は、そんなときは麻痺している筋肉や筋が硬くなった。そんなときはリハビリを休ませてもらい、筋肉をマッサージしてもらったこともある。

やれば歩けるようになるかも、腕が動くかも、という当然の目的、エサがあってもくじけることがあるという現実。周囲のサポートがなかったら、左半身のリハビリにもっと時間がかかっただろう。

仕事でもモチベーションは大切だ。よく目的を見失わなければ大丈夫だというのが、そんなことがないことを、身をもって学んだ。目的が明確でも、くじけそうになったときなどには、頭を休め、気分転換を図ることをお勧めする。寄り道したり気分転換を図った方が、ゴールに早くたどり着くこともあるのではないかと。病気による経験だということと説得力がないかもしれないが、意外と普遍性があるような気がする。 （人財開発編集部：大内隆良）

## No.269

### Windowsを組み込め! / 買い物でアハ! 体験を考える

2006年9月7日

# [コラム]メディア統括スタッフのつぶやき 買い物でアハ! 体験を考える

私は買い物が好きです。いろんな商品を眺めみて、自分が「コレだっ!」って思う商品に出会うのが楽しくてしようがないです。そこで、なんとなく買い物のプロセスをまとめてみました。まず、「こういう機能があって、こういうデザインのもの」などというイメージを漠然とでも持って、買い物に行く。

そして、もちろん、目的の商品がありそうな場所やお店へ向かう。気に入ったものがあれば購入するし、なければほかのお店へ向かう。目的の物は、すぐに見つかるかもしれないし、妥協して購入してしまうかもしれないし、見つかるまで探し続けるかもしれない。とにかく、自分が決めた締め切りまでに購入する。

……ふと、いろんなできごとに通ずる気がしてきました。まったく同じとはいえませんが、

例えば「就職」。

「こういう仕事がしたい」というイメージを持って、就職活動をする。そういう仕事ができそうな会社へアプローチしに行く。気に入った会社があれば熱心にアピールするし、ダメならほかの会社へ向かう。大抵の人は学校卒業という締め切りまでに、就職先を決定する。

そして「結婚」。

「こういう結婚がしたい」というイメージを持って、結婚相手を探す。そういう結婚ができそうな人へアプローチしに行く。気に入った相手がいれば熱心にアピールするし、ダメならほかの相手へ向かう。自分が決めた締め切りまでに、相手を決定する。

現代の買い物は供給過剰な状態なので、消費者に決定権があるけど、昔は物々交換だったことを思うと、本当に似てると思う。相手が嫌だと思ったら、手に入らないのだから。

さてさて、いつもとは違う視点で「買い物」を見てみたら、新しい発見ができました。ぜひみなさんもいつも当たり前に行っていることを、違った視点で見てください。今流行の「アハ体験」ができるかもしれません。

(メディア統括: 浅田 名保実)

## No.270

### ユーザビリティについて考えてみませんか？／水もしたたる……？

2006年9月14日

## 【コラム】人財開発編集部員のつぶやき 水もしたたる……？

某 CM を眺めながら、ついつい「ああ、僕の中のよからぬものも流れてくれたら……」とつぶやいてしまう。まるで宇宙のように際限なく膨張し続ける脂肪細胞に、ようやく恐れを抱いた僕。脂肪以外にも大量のよからぬものが、僕の体には内包されているに違いない。

よからぬものを体から出すには「水を飲めばいい」。非常に短絡的だと自分でも思っているのだが、もう頭の中では「デトックス! デトックス!」とシュプレヒコールが起こっている。こうなると自分でおかしいと思ってもなかなか止められない。何らか情報を得ようと、いつの間にか PC に向かっていた。

ある説によると、1日に体重 1kg 当たり 40cc の水を飲む必要があるという。0.12t になろうかという僕の体で考えると、1日に 5 リットル弱の水を飲まないといけな。人は 1 日当たりそんな量の水を飲めるのだろうか。不安を抱きつつ、取りあえずはやってみようと思つて昼間に 2 リットル、夜に 2 リットルのミネラルウォーターを飲み続ける日々が続いた。

しかしながら、毎日同じ水ばかり飲んでると、次第に飽きてくる。幸いなことにいまは、コンビニやスーパーにたくさんの種類の水が置いてあるので、いろいろと試すことができた。酸素が入っているもの（つい先日、特別な効果はないという報道があったばかりで、何ともいえない気分だ）から炭酸水まで。

水を大量摂取し始めて、いま現在数カ月が経過した。しかし、体の中のよからぬものが出て行った感じが一向にしない。体重も減らないし（むしろ増えている）肌も荒れている。何がいけないのだろうか。友人にメールで相談したところ、「飲むだけで『出す努力』をしてないからじゃないの」と 1 行の返信が帰ってきた。

そのメールを読んだ瞬間、あまりに自分が間抜けすぎたためか、CM の美女のように一筋の涙が僕の頬を伝っていた。

（人財開発編集部：千葉大輔）

## No.271

### 達人の技を盗む／カタログを捨てよ、町に出よう

2006年9月21日

# [コラム]エンタープライズ編集スタッフのつぶやき カタログを捨てよ、町に出よう

アイティメディアの記者たるもの、発表会の場では耳を澄まし、聞き取ったコメントをすばやくメモしつつ、「ここぞ」という瞬間ではパシャッとカメラのシャッターを切る……はずなのだが、現実にはそうはいきません。

写真は、記事の中で臨場感を伝えるとても重要なアイテム。だけど、この仕事をして何年にもなるのに、からっきし下手なのです、私。「ああ、ピンぼけっ」「あれれ、あっち向いちゃった」なんて心の中で叫んでも、後の祭り。デジカメのメモリの中には、とても前衛的な写真の山が保存されています。まるで「究極超人あ〜る」本人並みです（って、分かる人はどれくらいいるかしらん）。

いや、もちろん、全員がこんな腕じゃないですよ。特に編集部には、「まさに一瞬を切り取った」ほれほれするような写真を撮る方がたくさん。だからなおさら、自分のへたれ具合が恥ずかしいのであります。

てことで最近は一念発起。撮影のノウハウ情報を検索して研究に励みつつ、横目で、今や「戦国時代」に突入したデジタル一眼レフのカタログをにらむ毎日……想像するだけならタダですもんね。「あれも撮りたい、これも撮りたい」って妄想がわいてきます。

例えば、通勤の道筋にいる野良猫たち。まったりしたネコのアップ……幸せだあ。思い切って撮りテツ（鉄道写真好き）デビューもいい。まずは流し撮りのマスターから始めなきゃ。

そうそう、サッカーの写真にもチャレンジしよう。シュートの瞬間を切り取ることができたらうれしいなあ、でも喜んでシャッター切るどころじゃないかなあ。あ、星空もいい。石垣島あたりに遠征して、昼間は水中撮影、夜はスローシャッターで天体写真なんてね……ってな具合に、いろんなものが撮りたくなってきました。写真って、不思議ですよ。たくさん好きなものが再確認できます。

まずは、無駄に知識ばかり増やさず、カメラを持って街に出ることから始めなきゃ。「下手の横好き」と突っ込まれようが、いつか、「水曜どうでしょう」の大泉洋さんのように「バズーカ」を使いこなせる日を夢見て頑張ります。皆さんが撮影してみたいものは何ですか？

（エンタープライズ編集部：高橋 睦美）

## No.272

### 組み込みLinuxってどんなもの? / 「さかなクン」に教えられる

2006年9月28日

## 【コラム】@IT編集スタッフのつぶやき 「さかなクン」に教えられる

はじめまして、9月より@IT編集部配属になりました宮田と申します。今後ともよろしくお願ひします。先日、夏休みを利用して友人の住む館山に行ってきました。「何もないんだよね」と友人はいいますが、海もある山もあるとてもよい場所でした。そして連れていかれた場所は館山の駅から歩いて15分ほどの「安房博物館」。こぢんまりとした建物が3つあるだけの博物館なのですが、あの「さかなクン」が客員研究員として在籍している博物館だったりします。

博物館で展示されているのは主に地元漁民の生活に関するものなのですが、一番びっくりしたのはそのさかなクン関連。小学生を集めて「さかなクンと魚を描こう!」というイベントが行われたらしく、作品が壁一面に絵が飾られていました。

それを観て私は驚いてしまいました。単に小学生の絵だけじゃなくて、さかなクンが余白に魚の特徴、絵に対するコメント、そして自画像イラストを手書きでびっしりと描いているのです! 100枚近い作品のすべてに、それが行われているのだから驚きます。

いったい何時間かかっているのでしょうか。こんな「さかな愛」あふれる行動に、絵を描いた子供たちは本当に喜んだに違いありません。

そしてふと、あるひとことを思い出しました。オタキングこと岡田斗司夫先生がある番組でおっしゃっていた「オタクはいろいろな知識や貴重なグッズを持っているかもしれないけれど、それを他人に広めて理解してもらうことでオタクとしてのステージが上がるのだ」という言葉。

さかなクンはあまりにポピュラー過ぎて興味を持ちにくい「さかな」というジャンルを、彼なりの方法で子供たちに広めていて、自分の興味をしっかりと浸透させようとしてました。今回絵を描いた子供たちの中にも、将来さかなを研究したい! という思いが生まれたのではないのでしょうか。

マニアたるもの、自分の興味を内に秘めるだけではなく、自分の力で広め、みんなにも興味を持ってもらうことで世界は広がっていくのである……そんなことを教わったような気がします。「愛のあるマニア」、私の目標です。

(@IT編集部:宮田 健)

## No.273

### 内部統制を理解する / 防犯対策はじめました

2006年10月5日

# [コラム]@IT編集スタッフのつぶやき 防犯対策はじめました

3週間程前に某県の賃貸マンションに引越しました。皆さんはすまいに対して、どんなこだわりを持っていますか？今回、私がこだわった条件は、ズバリ「駅近」で、「お風呂追い焚き」ができること。これが絶対条件。後は、「和室」があればということなし！

肝心の物件探しですが、賃貸関連のネットやフリーペーパーも充実しており、簡単に見つかるであろうと思っていました。しかし、条件に合う物件が意外に少なかったり予算との兼ね合いなど、良い物件がなかなか見つからず、半分あきらめかけていた矢先、今のマンションと出会ったのです。

この物件は「ある1点」を除き、まさに僕の条件にぴったり。物件探しに疲れを感じていたこともあり、見学に行ったその日に勢いで手付金を払い、物件を押さえてしまいました。この勢いが、「ある1点」に勝ったのです。

その「ある1点」とは、1階であるということ……。

今まで住んでいた家は、2階以上だったのであまり気にならなかったのですが、いまの家に住んでから、空き巣被害のニュースや、移り住んだ県が出している空き巣被害件数など見て、小心者の私は恐怖心を煽られてしまいました。そんなこともあり、防犯意識が非常に高まりました。

調べてみると、空き巣の手口で1番多いものは、「窓からの侵入」であるといえます。わが家の内部をおおっぴろげに外にアピールしているベランダの窓、これが1番危険だ！こいつをなんとかするため、防犯グッズを調査。早速自転車を走らせ、近所のホームセンターへ。店員さんをつかまえ話を伺うと、窓からの侵入を防ぐものとしては、以下の3つがよく売れているそうです。

- ガラス窓用の補助鍵
- 開閉ブザー
- 人感センサーつきライト

もちろんここでも持ち前の？勢いで、店員さんに薦められるがまま、これらをすべてを購入してしまいました。盗られるほどの財産もないのですが、備えあれば、憂いなし。取り付けも無事完了し、防犯グッズたちのおかげ？で何事もなく平和な日々が続いています。

(@ IT 編集部 : 八木沢篤)

## No.274

### そろそろVistaを考えますか / 鈴鹿サーキット、思ひ出ボロボロ

2006年10月12日

## 【コラム】@IT編集スタッフのつぶやき 鈴鹿サーキット、思ひ出ボロボロ

入院していた 2002 年を除き、1993 年から毎年続けていた鈴鹿詣で。それも今年でひとまずオシマイ。F1 や日本 GP 自体がなくなったわけではないが、やはり寂しい。

サーキットには、TV では味わえない喜びが多々ある。だが、いいことばかりではない。というより苦痛も相当なもの。暑い寒いは当たり前。十数万人が集まるだけに、トイレや売店には長蛇の列。道路も大渋滞。バスや電車にも人々が殺到する。

公共機関としては、サーキットと白子駅（近鉄名古屋線）をつなぐ臨時バスがある。行きも帰りも、早い時間帯は職員にも余裕があるのか、比較的人道的な運用。ただし時間の経過とともに乗客は貨物扱いとなり、快適性を犠牲にして輸送力アップを図る傾向がある。

サーキットから歩ける距離にある鈴鹿サーキット稲生駅（伊勢鉄道）の職員に至っては、最初から乗客を人扱いするのはあきらめているフシがある。列車に人を詰め込むギネス記録に挑戦しているのではあるまいか。座れば天国だが、そうでなければ名古屋までたっぴりと地獄を満喫することに。いつぞやは、トンデモなくナナメったヘンテコポーズでの道行を強いられた。われながら、よくあんなポーズが取れたものだ。白いギターもらえるんじゃないか？

こうした苦痛を少しでも和らげようと工夫を凝らし、いくつか裏ワザなども編み出してきたのだが、蓄積したノウハウも来年からは無効。改修前の富士スピードウェイには何度か行ったことがあるが、道路しかルートがないのではいかんともしがたい。F ポンや GT ですら渋滞するのに、F1 なんかやって大丈夫なのか？（一応、1976、77 年に F1 をやってはいるが）

最後に、鈴鹿サーキット&鈴鹿市&名古屋の皆さん、大変お世話になりました。またいつか、鈴鹿で F1 が開催されんことを！

（@ IT 編集部：中澤 勇）



No.275

RFIDをきっちり理解しよう / Life Hackerとしての千葉敦子

2006年10月19日

**[コラム] Biz.ID編集スタッフのつぶやき**

## Life Hackerとしての千葉敦子

8月にアイティメディアに入社した吉田有子と申します。私はビジネスマン向けに Biz.ID という媒体の編集をしていますが、いまここで提供している情報は主に「LifeHack」と呼ばれるものです。今回はまだ LifeHack という言葉もなかったころの人だけれど、現在なら LifeHacker と呼ばれてもおかしくないある女性について紹介したいと思います。

1940年に生まれ、1987年に47歳でがんによって亡くなった、千葉敦子さんというフリーの国際ジャーナリストです。乳がんになり、片方の乳房を切除した後、83年にはニューヨークに移住し、仕事を続けながら再発するがんの治療を受けていましたが、闘病の末に亡くなりました。がんになってからも、亡くなる直前までの闘病の様子を生々しく描いた『「死への準備」日記』など何冊もの本を出版しました。

このように「病と闘ったジャーナリスト」でありながらも、能率的な生活や仕事のやりかたを工夫し、それについて書いた著作も面白いのです。仕事から家事、読書、情報整理術などを説いた著作『ニューヨークの24時間』や『ニュー・ウーマン』を読むと、日常生活のあらゆる面を組織化することが大好きな人であることが分かります。

コンピュータにも強い興味を持っていて、米国の自宅に持っていたPCからオンラインでデータベースについて調べ物をする1980年代当時の方法について詳しく書いたりもしています。

文体はあくまでも歯切れよく論理的です。日本人の国民性について論じた著作もあり米国はいいけど、それに比べて日本は……的な批判が多く、ちょっと一面的なのでは?と思う部分もあります。しかし、職業を持つ女性がまだ少なかった時代に差別されながら働いてきたので、日本の企業の持つ、特に男社会的な部分に対しては厳しくなるのもいたしかたないかな、とも思います。

私が中学～高校生くらいだった80年代後半には、彼女の著作が何冊も発売され、私はそれを読んでジャーナリストの仕事や暮らしぶりに憧れていました。当時はすべての著作を読んだわけではありませんでした。1年ほど前にふと思立ってネット古書店をフル活用し、手に入る彼女の著作をそろえました。現在、ほとんどの著書は絶版になっているなど、忘れられているような状態の千葉敦子さんですが、再評価されてもよい人だと思っています。

(Biz.ID 編集部：吉田有子)

No.276

速いJavaアプリケーションを作る / ワンコインプライスの魔力

2006年10月26日

## [コラム] 技術部スタッフのつぶやき ワンコインプライスの魔力

「ワンコイン本」とか「ワンコインでお釣りがくる」というフレーズが妙に気になっている荷口と申します。9月にアイティメディアに入社したエンジニアです。

一般的にワンコインといえば 100 円もしくは 500 円のことを指すと思いますが、この表現について考えてみたいと思います。よく、「イチキュッパとかニキュッパというような価格設定には購買意欲を高める効果がある」といいますが、似たような魔力が宿っているような気がするのは僕だけでしょうか。

先日、昼食のついでにフラフラと散歩していたときのことで。非常に興味をそそるモノを見つけて購入してしまいました。山本海苔店さんの「おつまみ海苔」です。10×2cm 程の一口サイズの海苔 2 枚で、さまざまな具材がサンドしてある口休め系の食べ物です。わさび / ごま / うめなどの味が用意しており、個人的にはわさび系が気に入り、パリパリと食べては気がついたらデスクの上には、早くも 7 缶もの空缶が積み重なっています。

さて、このお値段が 500 円（税込 525 円）というワンコインプライス（税込では若干頭が出てしまいますがご容赦を）です。もちろん、店頭にはワンコインとは書いてはませんが、内容量 20g で 525 円という高いのか安いのか分からない価格設定の商品。

同僚には「高い」ともいわれますし、そもそも「海苔 20g の適正価格って？」などと疑問を抱きつつも、結局は「ま、いっか。おいしいしワンコインだし」と、完全に販売側の策略にはまっています。

私が「百均」とか「ワンコイン」といったものが好きなタイプなのかもしれません。ダイソーさんの 100 円ショップなどを見かけると、ついつい入店してみたくくなりますし。

たかが 100 円、たかがワンコインとも思いますが、最近のこの類はあなどれない商品も多く、「えっ? これがこの値段?」と思うような質の高いものも見つかって面白いです。これまで、こういったお店にあまり行かない方々も足を運んでみてはいかがでしょうか。

(技術部: 荷口 将仙)

No.277

T-Engine・T-Kernelに注目／高度情報化と睡眠不足とアメフトの相関関係について

2006年11月2日

## [コラム]技術部スタッフのつぶやき 高度情報化と睡眠不足と アメフトの相関関係について

7月に入社しました増田です。システム部にて運用に携わっています。このメールマガジンをはじめ、ITmedia & @ IT のコンテンツを快適に提供すべく現在一生懸命業務にいそしんでいます。

さてだんだん秋が深まっておりますが、私にとって秋から冬にかけては一番楽しい季節です。なぜならアメフトのシーズンだからです。ここでは、私とアメフトの歴史を振り返ってみたいと思います。

初めてアメフトに興味を持ったのは、1989年にNHKが衛星放送の試験放送を開始したことで、たまたま住んでいた集合住宅で衛星放送の共同視聴設備を導入したのがきっかけです。まだ本放送前でたまたまNFLの映像をそのまま流していたりしたのを見て興味を持ち、本放送開始後も毎週のNFLの録画中継を見ていました。

そのうちただ試合を見るだけでは物足りなくなり、アメフト雑誌を買ったり、パソコン通信やネットニュース&メールリストで情報収集するようになって立派なアメフトおたくとして成長してきました。

さらなる転機は、1人暮らしで、CS放送の視聴環境が手に入ったことと、東京めたりっく通信が、ADSLによるインターネット常時接続サービスを提供しはじめ、アメフト関連の情報が非常に入手しやすくなったことでしょうか。

インターネットで、現地のスポーツニュースメディアや新聞の内容が、リアルタイムでそのまま見られるようになったこと、これは大きかったです。いつしか、情報の鮮度が低い月刊のアメフト雑誌を買わなくなりました。またCS放送では、BSの編集された録画中継と違い、(当時)毎週2~4試合程を生放送中継していたので、よりタイムリーに試合を楽しめるようになりました。

また当時からNFLではネットラジオで試合の生放送をやっていたので、CSで自分の応援しているチームの試合が生中継で組まれないときは、一生懸命アメフトのラジオ中継(当然英語)までを聞くようになりました。

そしてついに今年のシーズンよりNFLのインターネットビデオストリーミング放送が始まりました。現地のTV放送をそのままCMも含めて生中継で見られるということもさることながら、自分の応援しているチームの

すべての試合を生中継で見られるという素晴らしい時代になってしまいました。

こうして自分のアメフトファンとしての歴史をかんがみると、まさに「高度情報化の進展」の恩恵を受けまくっています。日本市場では大してニーズがないと思われる（だからテレビでは扱いが低い）アメフトというコンテンツも、ネットがあれば、国境の枠を越えてオーディエンスにリーチできるという、コンテンツホルダーにとってもファンにとっても、幸せな構図ができる時代になったのかなと感じます。

さて NFL の試合は大体アメリカ東海岸時間で日曜日の午後 1 時からやっているわけです。日本時間でいうと月曜日の午前 3 時からということになります。つまり生放送を見ようと思うと、月曜日の昼間は寝不足気味だったりするわけです。

もしあなたの周りに 9 月から 1 月にかけて月曜日の昼間は寝不足っぽい人がいたら、それはアメフトファンなのかもしれません。

(技術部：増田 正史)

No.278

Windows Vistaとは何か? / 早くも今年のベストソング20

2006年11月9日

## 【コラム】@IT編集スタッフのつぶやき 早くも今年のベストソング20

10月に入社した平田と申します。Java フォーラムの編集担当です。初めてコラムというものを書くのに、何を書いたらよいかいろいろと考えました。音楽好きなので、11月にして、今年のマイ・ベストソング 2006 を発表することにします!

- 1: Apache (AFRA & Incredible Beatbox Band) 『I.B.B.』 より
- 2: Smells Like Teen Spirit (B-Dash) 『All Apologies』 より
- 3: Elevator Music (Beck) 『The Information』 より
- 4: Lost In The Supermarket (Ben Folds) 『森のリトルギャング オリジナル・サウンドトラック』 より
- 5: Deja Vu (Beyonce Feat. Jay-Z) 『B'Day』 より
- 6: A Song For Sorry Angel (Sorry Angel) (Franz Ferdinand & Jane Birkin) 『Monsieur Gainsbourg Revisited』 より
- 7: Gin & Milk (Dirty Pretty Things) 『Waterloo To Anywhere』 より
- 8: Statue Of Liberty (Marisa Monte) 『Universo Ao Meu Redor』 より
- 9: Viscera Eyes (The Mars Volta) 『Amputechture』 より
- 10: 気分上々↑↑ (mihimaru GT) 『mihimagic』 より
- 11: Megaton (Dramagods) 『Love』 より
- 12: Comatose (Pearl Jam) 『Pearl Jam』 より
- 13: Meu Samba e Assim (Marcelo D2) 『Meu Samba』 より
- 14: Tokyo I'm On My Way (Puffy) 『Splurge』 より
- 15: The Eraser (Thom Yorke) 『The Eraser』 より
- 16: War Of The Sexes (The Streets) 『The Hardest Way To Make An Easy Living』 より
- 17: You Only Live Once (The Strokes) 『First Impressions Of Earth』 より
- 18: A Hard Day's Night (Sugarcult) 『Lights Out』 より
- 19: The Saints Are Coming (U2 & Green Day) 『18 Singles』 より
- 20: Love Train (Wolfmother) 『Wolfmother』 より

1 アーティスト 1 曲で選びました。( ) 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム名です。順番はアーティスト名のアルファベット順です。以下、知らない方のために簡単ではありますがコメントを加えます。

- 1: 日本が誇るヒューマンビートボックス (口でドラムの音を出す人) AFRA のユニットの曲です。AFRA は某企業の CM で一躍有名になりました。
- 2: 日本のロックバンド B-Dash が世界遺産的ロックバンド Nirvana の必殺パーティソングをパンク調にカバー。
- 3: アメリカのミュージックシェイカー Beck のニューアルバムの 1 曲目。このアルバムは全曲ビデオ付きでアルバムジャケットも好みにカスタマイズできて画期的です。
- 4: アメリカのピアノロッカー Ben Folds がイギリスのパンクバンド The Clash の名曲をカバー。
- 5: アメリカの R & B の歌姫 Beyonce が恋人の Jay-Z と共演したダンスチューンです。
- 6: イギリスのバンド Franz Ferdinand がフランスの元祖ちよい悪オヤジ Serge Gainsbourg の曲をフランス人女性歌手 Jane Birkin とデュエットでカバー。
- 7: イギリスの新人? ロックバンド Dirty Pretty Things のデビューアルバムからの曲です。私はピートよりカール派です。
- 8: ブラジルの歌姫 Marisa Monte によるサンバにヒューマンビートボックスを合わせた画期的なナンバー。
- 9: アメリカのプロGRESSIVEハードコアバンド The Mars Volta の曲です。ギターリフがひたすらカッコいい。
- 10: 日本の男女二人組による陽気なダンスナンバー。女性の方を CM で初めて見たときは矢口真理さんかと思いました。
- 11: ポルトガル出身のハイパーハードロックギタリスト Nuno Bettencourt 率いるバンドの曲です。夏に行われた UDO Music Festival での来日公演には痺れました。
- 12: もはやアメリカンロックの大御所バンド Peral Jam による激ヤバモッシュナンバー!
- 13: ブラジルのヒップホップ MC、Marcelo D2 によるサンバヒップホップ。
- 14: 説明不要の日本の女性デュオ Puffy による陽気なスカパンク。作詞作曲はアメリカのパンクバンド The Offspring のボーカルによるものです。
- 15: イギリスの音楽作成集団 Radiohead のフロントマン Tom Yorke の初ソロアルバムからの曲です。途中に入る R2D2 が喋っているような電子音に病みつきます。
- 16: イギリスの白人ヒップホッパー The Streets のタテノリダンスナンバー。Eminem 好きな方にお勧めです。
- 17: アメリカのロックンロールバンド、The Strokes のポップソング。今年の元旦に発売されたアルバムなので、これが今年一番聞いた曲かもしれません。
- 18: アメリカのポップロックバンド Sugarcult による The Beatles のカバー曲。CM でよく耳にした方も多いのでは?
- 19: アイルランド出身で世界に羽ばたいたバンド U2 がアメリカのポップパンクバンド Green Day と夢の共演。パンクバンド The Skids の曲を感動的にアレンジしています。
- 20: オーストラリアのロックバンド Wolfmother による iPod の CM ソングです。

本当は 20 曲だけじゃ足りないのですが、字数の関係上泣く泣く 20 曲に絞りました。みなさんのベストソングは何だったのでしょうか。私に共感できた方はいたでしょうか。よろしかったらご意見などをお聞かせください。

(@ IT 編集部: 平田 修)

## No.279

# テスト、テスト?、テスト! / 不幸はいつも突然に——データもタンス貯金したくなる

2006年11月16日

## [コラム]エンタープライズ編集スタッフのつぶやき

# 不幸はいつも突然に ——データもタンス貯金したくなる

自分には怨霊でも取り憑いているのだろうか。自宅のデスクトップ PC で「真・三国無双 BB」をやってみようと思い、その前にビデオカードのベンチマークでも見てみるかとベンチマークを調べるソフトウェアを走らせてみると、突然の異常終了の後、BIOS すらも立ち上がらない事態に。

むざむざとやられてたまるかとキーボードをカタカタ押すなどささやかな抵抗を試みるが、BIOS すら立ち上がっていない現実の前にはまさにでくの坊。アァーと奇声を発し、最終的には「ノートン、ノートン」とうつろな目で所有してすらいなソフトウェアの名を呼び続ける自分。

結局マザーボード買い換えとなったわけだが、今なおふつつつと湧いてくるのは「一体なぜ? どうして?」という不可解極まりない気持ちばかり。まあ HDD のデータ自体は消えていないようなので何とでもなるのだけど、データの保存先が Web サービスの向こうにあたりすると、その安全性は高いようで、実はもろいのではないかとさえ思った。

ある優れた Web サービス——ここではメールサービスでよいだろう——を提供する米国のベンチャーがあるとする。そのサービスは人気を集め、多くのユーザーが使うようになる。ところがある日、そのベンチャーがのびきならない事情でサービス自体を終了した場合、そこに蓄積したメールは二度と目にできなくなる可能性もある。

いつかこうした問題で訴訟を起こす人が出てくるのではないかと思うと、その解決を法整備やコンプライアンスの遵守といった周辺の対応ではなく、データの保存場所または方法についてのブレイクスルーを夢想してしまうのだ。恐らくそれは、0 と 1 のデジタルの世界ではなく、量子力学的な世界での副産物として実現され得る、と話す研究者と以前話したことがあるが、その早期実現を祈りつつ、取りあえずこまめなバックアップで眼前の事故に対応していきたいと思った。

(エンタープライズ編集部: 西尾 泰三)

No.280

Flexってなんだ? / GPSで次世代サイクリングを

2006年11月24日

## [コラム]エンタープライズ編集スタッフのつぶやき GPSで次世代サイクリングを

こんにちは。10月からエンタープライズ編集部配属になりました國谷と申します。よろしくお願いします。今回は、趣味の自転車いじりとGPSの話です。

中学生のころから自転車いじりを始めて十数年。最近ですが、自転車にGPSを搭載することを企てています。

本来、自転車いじりとはチタンやカーボンのような軽い（そして高額な）素材のパーツを使って1グラム単位の軽量化を図り、極限まで自転車を速くすることにあります。なので、重さが200～300グラムもあるようなGPSレシーバーを自転車に付けることは自転車いじり本来の目的に反することなのですが、自転車を楽しむツールであることには変わりないので注目しています。

GPSといえば、カーナビや携帯電話の歩行者ナビのように、ルート案内に使うのが一般的です。しかし自転車に搭載する場合は、走行した場所の緯度・経度などをログとして記録するために使います。帰宅後にPCの地図ソフトと連携させて、どこの道を走ったのかを地図に表示できるので、サイクリングの記録を簡単に作成できるそうです。私としては、「今日はここを走った!」と、日記風にまとめることに使おうかと考えています。

ちなみに自転車に限らず、登山で愛用している方も数多くいらっしゃるようで、カシミール3Dなどと連携させると、自分の歩いた登山道を立体地図として表示することもできます。

ここまで書いて「楽しいなら、なぜ買わない?」という声が聞こえそうですが、気になるGPSのお値段は“ウン万円”で、地図ソフトも“ウン万円”するので、庶民にはなかなか手がができません。季節もだんだん寒くなって、サイクリングに行きづらくなったので、GPS導入はもう少し先になりそうです。

(エンタープライズ編集部: 國谷 武史)



## No.281

### 見た目だけじゃない! Ajaxの神髄とは? / それでもやっぱり野球が好きだ

2006年11月30日

## [コラム]TechTargetジャパン編集スタッフのつぶやき それでもやっぱり野球が好きだ

小久保裕紀がホークスに帰ってくる。そして松坂大輔はメジャーへ挑戦する。私は野球が好きだ。自分も草野球チームに所属していたりもするし、もちろんプロ野球観戦にも行く。特にパ・リーグが大好きだ。

2004年9月8日。プロ野球オーナー会議で近鉄バファローズが消された日である。「球界再編問題」として各種メディアで取りざたされ、物議を醸した。選手会は初のストライキを決行、ファンは横断幕を掲げ、声を枯らして叫んだ。しかし近鉄バファローズは消滅し、楽天イーグルスが新規参入。なぜ合併でなければならなかったのか?なぜ共存できなかったのか? 古田選手会会長の会見での涙が、今でも目に焼きついている。

考えてみてほしい。応援するチームのなくなった不幸を。つい昨年までライバルだったチーム名の入ったユニフォームを着て、スタジアムへ赴く違和感を。近鉄バファローズのファンは今どうしているだろうか。ブルーウェーブのファンはどうしているのだろうか。あれから2年、プロ野球はどう変わったのだろうか。

新規参入したイーグルスはまだまだ弱小ながらも仙台の人々に受け入れられ、着実に地元根付いている。2004年に北海道に本拠地移転したファイターズは、東京ドーム時代では考えられないほどの観客を動員、勢いに乗って今年は優勝した。ダイエーからソフトバンクへとオーナーが移ったホークスは、変わらぬ強さと人気を持続。1991年に千葉へとフランチャイズを移したマリーンズのライト外野席は常に満員、「26番目の選手」としてファンの応援は欠かせないものとなった。強豪ライオンズは怪物・松坂の活躍と若手の台頭で強さを持続、2005年には25年ぶりに「ファン感謝の集い」を復活させるなどファンサービスにも力を注いでいる。合併から2年、オリックス・バファローズはテリー・コリンズを新監督に迎え、建て直しに全力を注いでいる。

プロ野球ファンは古田の涙を忘れない。近鉄バファローズファンの叫びを忘れない。いびつな形を残したまま、今もプロ野球は続いている。

惜しまれつつも今年引退した新庄はこんなことを言っている。「プロ野球の存在意義は、その街の人々の暮らしが少し彩られたり、単調な生活がちょっとだけ豊かになることにほかならない。ある球団が中心で物事を進ませるセ・リーグにはない、野球くささをパ・リーグは持っている」

松坂はいなくなるが、小久保は帰ってくる。来年もパ・リーグが熱い。

(ターゲティング・メディア事業推進部: 納富友三)

## No.282

### ストアド・プロシージャってなんじゃ? / お手軽オススメ冬グルメ

2006年12月7日

## [コラム] TechTarget 編集スタッフのつぶやき お手軽オススメ冬グルメ

こんにちは。10月からTechTarget 編集部配属になりました榎本と申します。よろしくお願いたします。「三度の飯より飯が好き」、某アーティストのキャッチフレーズですが、わたしもソレに負けず劣らず食べるのが好きです。おいしいことはいいことだ! グルメ万歳! というわけで、最近好評をいただいたオススメを2つ紹介したいと思います。

まず1つめ。冬といえば何といっても鍋。野菜と肉を放り込めばできるお手軽あったか料理です。鍋にもいろいろ種類があります。ちなみに私もこれまで、水炊き、味噌鍋(石狩鍋)、チゲ鍋、豆乳鍋、トマト鍋、カレー鍋、牛乳鍋……常に新しい気持ちで鍋に挑んできました。キムチ鍋にイカの塩辛を投入して生臭さに後悔したり、味噌鍋に酒かすを足したところ調子に乗りすぎてドロドロになったり、ヤミ鍋で人間関係が危なくなったり、と数々の試練を乗り越えてきました。

さて、そんな数々のネタを提供してくれる鍋ですが、今回は鍋の味付けそのものではなく、わが家で開発された新しいツケダレをオススメします。ぼん酢味に飽きたなとか、ちょっと味を変えたい、などというときの追加味。

別皿に用意するものは、豆板醤とねりゴマ。そんなに大量にはいりません。ねりゴマに、適量の豆板醤を混ぜ合わせます。辛いのが好きな方は多めに。これを主に、豆腐にちょろっとつけて食べると絶品です。食べだすとハマってしまい、ほかの具にもつけたくなること請け合いです。ぜひお試しあれ。

1人でもカンタンにできる料理の1つが鍋なわけですが、やはり鍋ばかりでは飽きてしまうこともあります。そんな1人暮らしの方を筆頭にオススメするグッズが、「レンジでつくるスパゲッティ」!これが2つめのオススメです。

これはパスタを簡単に作るための調理用具で、容器にパスタと水を入れてレンジでチン。水(湯)を切る。それだけでパスタがおいしく食べられるというすばらしいグッズです。この魔法BOXがあれば、鍋もお湯もいりません。お皿を洗うのが面倒なら、具とソースをそのまま容器に入れて混ぜればOK。ゆでる必要はないし、鍋を洗う必要もありません! 料理をするのは面倒だけど美味しいモノが食べたいという方にうってつけです。そんな便利商品に、モノグサな私は大喜びしております。しかもこれがまた安いときた。試したことのない方はコチラもぜひ。

食欲の秋、といいますが、冬だって食欲はおう盛です。その代わり脂肪もおう盛……いやいや、寒い冬に向けて、カロリーを蓄えているのでありますよ。

(TechTarget 編集部: 榎本 有紗)

## No.283

### セキュアOSに手をのばそう / 母にささげるメルマガコラム

2006年12月14日

# [コラム]クリエイティブ室担当スタッフのつぶやき 母にささげるメルマガコラム

私事で恐縮ですが、このメルマガジンの配信日である 12 月 14 日は、わたしの母親の誕生日なのです。ちょうど還暦なのですが、見た目も気も若い人なので、もうそんな歳かと驚いてしまいます。まあ自分の年齢を考えると不思議でもなんでもないので……。

そんな母は今、管理薬剤師という仕事をしております。わたしが小さいころこそパート勤めをしておりましたが、2 人の子どもが成人し家を出た今はバリバリと正社員として働きつつ、休みの日は小旅行やカルチャーセンターの習い事をしてみたりと、かなり悠々自適な生活を送っています。

ところが母は、「もう今年度いっぱい定年退職するわ!」と言い出しました。「なんでよ、元気なんだからもっと働けばいいじゃない (急に暇になってボケたりしたら困っちゃうし!)」と言ったら、「だって、行きたいところに好きなように行けて、美味しいものを何の制限もなく食べられるのは今しかないもの! だからしばらく遊んで暮らすのよ~。飽きたらまた仕事でもすればいいわ♪」

確かにそのとおり。今までたくさん働いてきたのだから、これからはゆっくり楽しむ人生を送ってほしいと思います。いわゆる団塊世代のセカンドライフですね。ちょうど母親のような人狙いの旅行やサービスもちまたにあふれていることですし。

さて、この親にしてこの子あり。かっこよく言えば「今この気持ちを大切にしたい」……裏を返せば思いつきで気分任せて行動してしまいがちなわたしは、急に思い立って年明けのパリ行きチケットを取ってしまいました。だってよく分かんないけどパリに行きたい! って思ったんだもん! きっとそこに何かがあるのよ。さあ自分探しの旅へ! (いい歳してまだ探してるのか! と各方面からツッコミを受けること必至)

いや、きっとね、うちの母親、仕事辞めたら「ルーブル美術館に行きたい」とか「エルミタージュに行きたい」とかいうと思うんですよ。だから今回はその下見です。そのうち母親専属ガイドでパリに行くことになると思うし。仕方ないなあ、わたしも仕事忙しいけど、休み取って一緒に行ってあげるよ (もちろんお母さん持ちで)。ああなんて母親思いの娘なんでしょう!

お母さん、お誕生日おめでとう! このメルマガは母親に転送します……きっと。(クリエイティブ室:小野田涼子)

## No.284

つかみどころがない? 組み込み世界をのぞこう / 2006年、@IT発行人がわが身を振り返る  
2006年12月21日

**【コラム】@IT発行人のつぶやき**

# 2006年、 @IT発行人がわが身を振り返る

2006年、この1年の仕事のなかで自分にとっての一番の変化は、ポッドキャストの番組を始めたことです。編集の仕事をして10年。たまにセミナーなどで人前でしゃべることはあっても、レギュラーの仕事として毎週台本を書き、スタジオに入りマイクの前でしゃべることなど、予想もしていませんでした。

その番組「@IT ナナメ読み Weekly」を始めたのは今年の2月。最初は勝手も分からず台本もテーマだけを並べた適当なものだけを用意しただけでしたが、さすがにテーマだけを見てペラペラとしゃべれるわけもなく、2回目からはきちんと台本を作るようにしています。

しかし、ひとたび自分のしゃべりを録音して聞き直してみると、

- 早口すぎる
- ところどころ口がまわってない
- 「えー」が多い

などの欠点が気になってがっかり。分かりやすく話せるプロのアナウンサーってすごいんだなと、いまさらながら見直しています。まあ、そう思ったところで自分のしゃべりが急に変わるわけでもないのですが。

今年のポッドキャスト経験はそれだけではありません。秋にはなんと、全部で11回の長編ラジオドラマ（ラジオじゃなくてPodcastだけ）にも出演。それが「ちよいモテ システム管理者への道」。こちらは主人公のIT指南役という役柄のためせりふも多く、しかも長いうえに「ちよ、ちょっと待ってくださいよ!」とか「いやー、まいったなあ、はははは」なんていうベタな演技まで毎回求められるという状況に。それでも、プロのアナウンサーお二人に助けられつつ、なんとかやりきりました。

というわけで、今年は編集者や管理職としての成長よりも、おしゃべりの面での成長が大きかったのではないかと、と自分なりに思うわけですが、発行人や事業部長という肩書きの自分が果たしてそんなことでよいのだろうか、という点については年末年始にじっくり考えてみようと思っています。読者のみなさまも、よい年末年始をお迎えください。

(@IT 発行人 / テクノロジー・メディア事業部 事業部長: 新野淳一)

2007

## No.285

### 「〇〇に役立つこの★冊」、書評記事ピックアップ / 成長し続けることを誓う

2007年1月5日

## [コラム] 会長のつぶやき 成長し続けることを誓う

新年あけましておめでとうございます。2007 年新春、皆さんはどのように迎えられましたか? 今年も「@ IT」をはじめ、アイティメディアの各種メディアをどうぞよろしく願いいたします。

さて私事で恐縮ですが、この@ IT 通信が配信される前日の 1 月 4 日は私の誕生日です。53 歳。が〜ん。

よくもここまでという感慨はありますが「これからはのんびりと」とはいきません。新メディアの開発、事業の成長、自分と家族の QOL (生活のクオリティ) 向上と、やるべきことだらけです。これからは、心身の老いとやるべきこととの猛烈な戦いと覚悟を決めています。

「老いと戦い」ですが、社会人としての能力の成長曲線は、30 歳前後までは急激に高まります。体力はあり余り、社会的な能力はそれに追随し、結果的として「できること」は目に見える劇的成長を果たします。その後、生理的な能力の成長に支えられた社会的な能力の成長は徐々に停滞に向かいます。

さて、この停滞期から、自分自身との戦い、意志力の戦いが始まるはずです。

ちょうど 1 年前のこのコラムで、池谷裕二氏の著作「記憶力を強くする」を紹介しました。

同書では、「神経細胞の総数は歳とともに減っていきませんが、シナプスの数はむしろ反対に増えていくことが分かります。……この事実、若いころよりも歳をとったほうが記憶の容量が大きくなるということを意味しています」と、“年齢”のせいにする怠惰を戒めてもいます。最近では習いとなった新年の誓いは、あらためて「成長し続ける」ことです。

皆さんはいかががでしょうか?

(アイティメディア 代表取締役会長: 藤村厚夫)

No.286

2006年をニュースで振り返る / 四字熟語で新年抱負

2007年1月11日

## [コラム]社長のつぶやき 四字熟語で新年抱負

新年あけましておめでとうございます。

今回の年末年始は並びがよく、12月29日から1月8日まで11連休で、今週から出勤という方も多いと思います。あらためて、本年も@ IT ならびにアイティメディア株式会社をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、当社は現在丸の内に2箇所のオフィスを構えて営業しております。私は、日ごろは営業部門・管理部門などと一緒に明治生命館（なんと重要文化財!）というビルで執務をしています。こちらは定時出勤組の職場なので、週に一回月曜日の朝に「朝礼」を行っています。

さて、年末最後の朝礼で、社員の皆さんに宿題を出しました。新年の抱負を四字熟語で各自決めて、年始の朝礼で「その心」を発表する、というものです。4名の社員に1月9日の朝礼発表をお願いしました。

うち2名は2006年4月入社の新入ですが、「水滴穿石」（小さなことの積み重ねにより大事を成す）、「継往開来」（先人の事業を受け継ぎ、未来を切り開く）と、なかなかお目にかからない難しい四字熟語を持ってきました。でも、それぞれ気持ちのこもった良い選択だと思います。3人目に登場した「真打」は、受け狙いで大きなスケッチブックに「菜食健美」と書いてきましたが、年始早々外して笑いを取っていました（期待通り!）。1月9日入社の女性社員は自己紹介のスピーチで、「取捨選択」といかにも実務経験豊富で味わいのある四字熟語を発表しました。

私はというと、今年の大河ドラマ「風林火山」では激し過ぎる。「芙蓉峰頭」は縁起がよいが、登りつめるという意味で少し傲慢か。「臥薪嘗胆」は好きだが、今年は花開く年にしたい。月並みに、「七転八起」にしようと思いましたが、一歩間違えると「七転八倒」になりそうなので遠慮。

考えているうちに、簡単そうで難しい宿題を出してしまったことに気がきました。結局、商売の縁起担ぎで、「千客万来」にしました。今年も、@ IT に多くの来訪者・読者が訪れますように、という願いを込めて。本年も@ IT を何卒よろしくお願い申し上げます。

（代表取締役社長：大槻利樹）

## No.287

# Vistaの前にLinuxで3Dデスクトップ環境を先取り／テレビの中でリアルに遊べ！

2007年1月18日

## [コラム]クリエイティブ室担当スタッフのつぶやき テレビの中でリアルに遊べ！

お正月休みは大阪の実家へ帰省しました。久しぶりに会う家族とのんびりしようと思っていたのですが、実家の居間を見てビックリ。兄が年始早々任天堂の「Wii」を手に入れただけでなく、プロジェクターまで備えていたのです。

ゲーム好きな私は、この環境を目の前にしてのんびり正月を過ごせるわけがなく、久しぶりに集まった家族5人を巻き込み“リアルサイズ”Wii Sports ボーリング大会となりました。

ゲームをやったことがない父と母は、コントローラーの操作に最初戸惑っていましたが、すぐに慣れて普通のボーリング感覚で楽しんでいました。

そこで分かったことは、父はボーリングがめっちゃ上手だったこと。よくよく聞いてみると、実は「マイボール」「マイシューズ」「マイグローブ」の黄金3点セットを持っていたことが発覚。Wii Sports のボーリングでも現実世界と同じようにちゃんとボールをスピンさせながらストライクを連発。そしてスコアは200越え。……父、スゴイ。そして何よりも現実同様の感覚のできるWiiがスゴイ。私？ 私はリアルと同じくアンダー100のスコア。ゲームで父に圧倒的に負けてちょっとヘコみました。

そして「ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス」も大画面で体験してみました。CGで描かれた世界を自由に動き回り、コントローラーを振って釣りをしたり、パチンコ玉を的に当てたり……。画面が大きいからでしょうか、本当にその世界にいるような気がしました。高い所から飛び降りたらぞくとするし、川で泳いだら何だか気持ちが良いのです。敵が出てこない最初の村で十分遊んだ後、さあ冒険に出るぞ！ というところでストップしてしまいました。……怖い。

ゲームなので敵が出てくるのは当然のこと（それが楽しいはず）なのですが、敵と戦うのが怖いと思ってしまったのです。今までいろんなゲームをしてきましたが、初めての感覚でした。時間がなかったことでもあります。とうとう最初の村から出られないまま、東京へ戻ってきてしまいました。

今までゲームは現実から完全に離れたものだったのですが、操作も映像も感覚も現実に近づいているのだなと実感しました。これからもっと現実に近いゲームが出てくるでしょう。きっと私は「勇者」になれない「村人」の



ままなのだろうなと。戦わず村の中で平和に遊んでるだけで幸せな村人（そしてスコアはアンダー 100）。

……うーん。リアル。

新年早々、小心者ということが分かったところで、今年は改善すべく、まず Wii で「ボーリング」と「ゼルダ」を頑張りたいと思います（そっちかい!）。

(クリエイティブ室：林敬子)

## No.288

### 不正侵入と戦え! / ジャグリングを「科学」する

2007年1月25日

#### [コラム] 編集部員のつぶやき

## ジャグリングを「科学」する

みなさま、こんにちは。2006年の11月末に@ IT 編集部に加わりました西村賢と申します。ニュースを担当しております。

趣味で3年ほどジャグリングをやっています。ボールや棍棒を投げるアレ、和名でいえばお手玉です。以下、ジャグリングとコンピュータの知られざる関係のお話です。

情報理論の父といわれるクロード・E・シャノンは、晩年になってジャグリングに目覚めました。そして「ジャグリング定理」という方程式を発表します。それまでジャグリングについて誰も科学的考察を加えていませんでしたが、初めてボールの滞空時間や個数の関係を定式化したのです。それ以後、ジャグリングの世界に数学者や情報科学の研究者や学生がドツと流れ込み、軌道のパターンを記述するノーテーション（記法）を開発します。楽譜みたいなものです。

ノーテーションのおかげで、それまで知られていなかった美しいパターンが次々と発見され、次第にパターンも複雑、高度なものに進化しています。ここ10年とか20年の話です。ちなみに投げるボールの数も、ここ10年ほどでインフレを起こし、かつて5個がほとんどのアマチュアジャグラーのゴールだったのが、今では7個が目標という人が増えています（ちなみに世界記録は9個。私は6個を練習中）。

ノーテーションにはいろいろあるのですが、最も劇的な成功を取めているのは「サイトスワップ」と呼ばれるもので、滞空時間を数字列で表す記法です。97531、7441などと投げる順に高さを記述します。この数列は乱数では駄目で、いくつかの条件を満たす必要がありますが、ここでは触れません（マイナスの滞空時間まで含めると、サイトスワップは置換群になっているという数学的な構造があったりして、そういう研究も蓄積されています）。

サイトスワップは無限にも近いパターンを生み出すツールとなりましたが、問題は、正確な高さの比で投げるのは人間には難しいことでした。そこに登場したのがパソコン上で動くシミュレータです。数字を入れるだけで画面のなかのバーチャルジャグラーが、ひょいひょいと投げしてくれます。ムカつくことに、絶対に落としません。

シミュレータの登場で、それまで机上の数列でしかなかったパターンを目の当たりにしたジャグラーたちは、コンピュータ内のジャグラーをまねし始めました。とても実行不可能だと思えることを、地道で粘着的な練習によっ

て実現するのがジャグラーという人種一般の特性なのですが、サイトスワップについても同様でした。近年、すさまじく高度化したパターンをロボットのように正確に投げるジャグラーが若い層を中心に登場してきています。純技術指向のスポーツジャグリングというジャンルも興隆してきています。

実際にジャグリングを習得するのは骨が折れますが、シミュレーターで遊ぶのは簡単です。Java で動くシミュレーターもあるので、ご興味をもたれた方は「97531」「123456789」「88441」などの数字列をパソコンに投げさせてみてください。美しいパターンが現れますよ!

(@ IT 編集部 : 西村賢)

## No.289

### エンジニアと内部統制をつなぐのは「ログ」だ / オスカーの行方、短編映画に注目！

2007年2月1日

#### [コラム] 編集部員のつぶやき

## オスカーの行方、短編映画に注目！

今年もアカデミー賞が 2 月 25 日に発表されます。それに先立ち先日ノミネート作品が発表され、「硫黄島からの手紙」の作品賞ノミネートや日本人として 49 年ぶりに助演女優賞にノミネートされた菊地凛子さんがクローズアップされています。そんな中今回は個人的に注目しているある作品を紹介したいと思います。それは短編アニメーション賞にノミネートされている「The Little Matchgirl」邦題「マッチ売りの少女」です。

これはアンデルセン原作の誰もが知っているストーリーなのですが、この短編映画ではせりふは一切なく、その代わりポロディンの弦楽四重奏曲の曲にのせて物語が進みます。雪の降るロシアを舞台として少女が懸命にマッチを売る姿と、裕福な家族たちのコントラストがモノトーンで表現されています。

そして寒さに耐えきれず売り物のマッチを擦ってしまうと、今までのモノトーンが一転、夢のようなシーンが表現されます。そしてマッチをすべて擦ってしまうと……皆様ご存じのような悲しいエンディングを迎えます。初めてこれを見たとき、恥ずかしながらわずか 5 分程度の作品に号泣してしまいました。

この作品、日本でも「リトル・マーメイド」という DVD の特典映像として見ることができます。そう、この作品はディズニーのものなのですね。リトル・マーメイドもアンデルセン原作の童話ですが、こちらの方はストーリーをかなり大きく変更していてエンディングは賛否両論でした。しかし今回の短編は原作に忠実な作りで、ラストはディズニー的ではありません。だからこそ心に残る作品になっています。

もともと、この「マッチ売りの少女」は、クラシック音楽と映像を融合させるプロジェクト「ファンタジア」最新作の一部でした（残念ながら途中で公開を断念したようです）。日本でも漫画やドラマでクラシック音楽が空前の大ブームとなっています。映画に興味のある方はぜひ「マッチ売りの少女」もチェックしてみてください。

(@ IT 編集部：宮田健)

## No.290

### 組み込み技術の集大成！携帯電話の世界／2月といえばチョコレートと紅茶でしょ！

2007年2月8日

#### [コラム] 営業担当のつぶやき

## 2月といえばチョコレートと紅茶でしょ！

入社してまもなく、@ IT 通信のコラムを書きませんか？ とお願いされた。深く考えず「了解ですー！」と返信したもののどう考えても時期が悪い。1月なら「新年あけましておめでとうございます。今年の抱負は……」3月なら「三寒四温、春の予感。そろそろお花見シーズンですが……」と、超メジャーなお題がある。なのに、私は2月に当たってしまった。年明け早々ついてない（泣）

周囲にコラムネタを探しても平凡なサラリーマンの私にはネタがあるはずもなく……苦し紛れに、個人的にはここ数年すっかり関心をなくしてしまっている「バレンタインデー」を取り上げてみることにしました（^ ^；

さて、日本でバレンタインデーといえば「チョコレート」ですが、このチョコレートに合わせるドリンクって難しいくないですか？ チョコレートは甘いけど結構「苦い」。好きな子からもらう義理チョコはさらに苦い（だろうと思う）。

この苦い食べ物にワインとかコーヒーとかもってくると苦味が助長されて、せっかくの甘美さが消えてしまってもったいない!!

そこで、私がお勧めするのは「紅茶」。

シナモンとミルクを加えた薄めのセイロンティーなら寒いこの時期にもぴったりだしチョコレートの甘さと苦さに絶妙にマッチすること間違いナシ!

紅茶は入れるのが難しいとか面倒だと言う人も多いと思いますが、バレンタインのチョコレートを食するときくらいはじっくり3分茶葉を蒸らして、ティーカップとミルクを温め、シナモンスティックでぐるぐる廻したりしたっていいんじゃないか? いや、送り主のことを思うと、むしろそれくらいやって欲しい!!

ということで。

「取りあえずコーヒー」派の方も、「取りあえずビール」派の方も? 今年のバレンタインにはぜひ「紅茶とチョコレート」をお試しくださませ。

(営業本部：浜田純子)

## No.291

次世代ネットワーク(NGN)で実現するものは? / 号砲! 東京のお祭りが始まります!

2007年2月15日

# [コラム]エンタープライズ編集員のつぶやき 号砲! 東京のお祭りが始まります!

はじめまして。1 月中途入社 of 斉藤と申します。

さて、今週末は石原都知事の肝いり企画! 「東京マラソン」が初めて開催されます! 参加者 3 万人がドドッと都庁前をスタート。ゴールの東京ビックサイト (江東区) を目指し 42.195km のコースを駆けめぐります。まさに F1 モナコ GP に例えるならばランナーが街中を駆けめぐり圧巻さを感じるのかもしれませんが。併せて東京都は駆け巡る圧巻さを感じるのかもしれませんが。併せて東京都は「東京大マラソン祭り」と称し、沿道の地域各所で地域一体となった協働イベントが開催されます。まさに当日は都心部が季節はずれの “お祭り” 一色と化すこと間違いなし!

そもそも 2 月の東京マラソンといえば、長嶋茂雄さんや、今年は石原慎太郎さんの号砲とともに始まる「青梅マラソン」が代名詞といえ、東京にとって新たな風物詩となるか? という試金石です。

季節の風物詩といえば、前月「箱根駅伝」も季節、いや「新年の風物詩」的代名詞といえます。私が単に好きなだけかもしれませんが (汗&汗)。駅伝ファンにとっては 1 月 2 日の号砲が待ち遠しく、号砲とともに新年が明けるといっても過言ではありません。マラソンとは違い駅伝では、沿道の間近で小旗を手に声援を送ると、ランナーの表情からはたすきをつなぐ重みをひしひしと見て感じとれ、沿道ファンともども一喜一憂します。

東京マラソンにおいても、新たな一喜一憂がこの週末に繰り広げられるのか? 期待感が持てます。ゴール前では江戸三大祭の 1 つ、下町深川の祭り神輿も出、初物イベントを盛り上げる演出があるとのこと。まさに「東京大マラソン祭り」そのものといえ、さまざまな楽しみがある必見の週末となりそうです。

(エンタープライズ編集部: 斉藤豊也)

## No.292

# バックアップは管理者の義務です / GPSで旅行が楽しくなる

2007年2月22日

## [コラム] 編集部員のつぶやき

# GPSで旅行が楽しくなる

@ IT 通信 No.280 で「GPS で次世代サイクリングを」というコラムがありました。自転車に GPS を付けて位置の記録すると楽しい、という内容でしたが、私もそれを読んでとうとう買ってしまいました。ソニー製のハンディ GPS を。

この GPS はもともとデジタルカメラの周辺機器として発売されています。画像ファイルの日時と GPS で記録された日時をマッピングし、位置情報を写真にはり付けられるというもののなのですが、有志がこのデジタルグッズを解析し、GPS ログを書き出せるようなプログラムが作られています。これを身に付けていれば自分がいつでもいたかを書き出せ、Google Map などの地図上にマッピングできるのです。

……と、このようなことを上記コラムが配信されたころに編集部内で熱く語っていたのですが、まわりの方は完全に引き気味。それならば百聞は一見にしかず、旅行で早速これを使ってみました。PC を持って行かなかったため帰ってくるまで結果が分かりませんでした。想像以上の「自分ログ」が作成できました。

このときは本格的なエンジン付きのミニボートを 30 分くらい運転し、ジャングルのような所を通過してシュノーケリング、という 3 時間程度のツアーだったのですが、まわりに何も障害物がないので本当にきれいにログがとれました。Google Map を拡大していくと、軌跡とほとんど同じ場所に同じツアーのボートが多数写っていてびっくりしました。そのときは海のどのあたりにいるのかまったく分かっていませんでしたが、これならばっちりです。

旅行に行く前に、東京都内で散歩でこの GPS を使ったのですが、ここまでうまく軌跡がとれることはなく、買って失敗したかと思っていました。しかし 1 回でもこのような「自分ログ」を見てしまうと次はどこに行こうかな、という気分になれます。外出したくなるデジタルグッズ、皆様も 1 ついかがでしょうか？

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.293

### 組み込み開発の改善を考える / UEFA の楽しみ方、教えます

2007年3月1日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# UEFA の楽しみ方、教えます

私は海外のサッカーを見るのが好きで、そろそろ海外サッカーの最高峰、「UEFA チャンピオンズリーグ決勝トーナメント」が始まる時期になります。私事ながら毎年楽しみにしており、この時期は寝不足になりながら観戦しております。

この大会の良さというのがまあ皆うまい! ということで尽きるんですが夜中 3 時ぐらいにも「おお～」とうなったり「やばい」など叫びながら超絶プレーの応酬する試合に試合中は釘付けになります。そして試合後は「ウイングイレブン 10」のチームにその試合で気に入った選手を獲得し、ゲームの中で監督、フロントの気分も味わいながら 2 倍楽しむということをやっております。

私の楽しみ方はまだいろいろあるのですが長くなり過ぎるため、最後に UEFA チャンピオンズリーグで私のお気に入りの一戦を紹介してコラムを締めたいと思います。

その試合とは 2001 - 2002 シーズンの決勝戦、「バイヤーレバークーゼン vs レアル・マドリッド」です。結果からいうと 1 - 2 でレアルの優勝だったこの試合、試合内容も最後まで目の離せない本当にスピード感のあるシーソーゲーム。ただ、私の記憶に残っているのはジダンの決勝ボレーというワンプレー。鳥肌が立ちましたよ。「なんじゃこいつは (汗)」「あんたすげえよ」と興奮すぎて寝付けないう様。もちろん、彼がすぐにわが「ウイングイレブン」チームに入団したのはいうまでもありません。

スポーツは一瞬でも心に残る瞬間をくれます。ほんのひとときでも好きなスポーツなんかには時間を割いてみると、よい気分転換になるのでは?

(営業本部 : 佐藤崇)



No.294

Javaを他言語と連携させよう / 2ページで3000億円売るコミュニケーション

2007年3月8日

## [コラム] ターゲティングメディア営業担当のつぶやき 2ページで3000億円売る コミュニケーション

こんにちは。@ IT の姉妹媒体である TechTarget 担当の野田と申します。さて、「コミュニケーション」って、IT が便利にしてきたはずなのに、難しいと感じませんか? 「伝えたはずのメールが伝わっていない」「会議で分かりあったと思ったら認識ズレがあった」、@ IT 読者のあなたにもきっとあるはず。実は、私も IT 導入プロジェクトに携わっていた時期がありまして、想像できるんです。

私は今、TechTarget (IT 製品やサービスの情報を得たい企業と情報を伝えたい IT 企業をマッチングするメディア) を担当しています。言ってみれば、コミュニケーションの仲介サイトです。この仕事を始めてすぐに思ったことがあります。

「世界で一番売った広告 (セールスレター) って何だろう?」

お金を払うというアクションを最も引き出したそれは、ビジネスの世界でコミュニケーションに最も成功したと考えられるのでは、と思ったわけです。

調べてみると、米国経済紙ウォールストリートジャーナルのたった 2 ページのダイレクトメールが 3000 億円 (!) を売り上げたと言われているようです。1 カ月の購読料が 28 ドルであることを考えると、驚異的です。

内容を要約すると、こんな感じです。何もかもがよく似た 2 人の男がいて、大学卒業から 25 年後の同窓会に 2 人は出席する。卒業後に勤める会社も一緒、幸せな家庭環境もよく似ている。しかし、2 人には 1 つだけ違いがあった。1 人は小さな部門のマネージャー、もう 1 人はその会社の社長だった。2 人を分けたのは何か。

「共感」「信頼性」「緊急性」など、行動を起こしてもらうための工夫が散りばめられていて、勉強になります。

コミュニケーションがうまくいっていないとき、相手のせいにしてしまうのは簡単です。でも、きっと相手も同じように思っているはず。だとしたら、自分の伝え方を振り返ることができるかどうか、25 年後の 2 人を分かつかもしれませんよ。

(ターゲティングメディア営業部 野田洋輔)

## No.295

### 「ネットで話題」を一気に復習 / 免許証番号の秘密

2007年3月15日

## [コラム] 編集部員のつぶやき 免許証番号の秘密

いつもご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。@ IT 編集部の八木沢と申します。今回のコラムでは、ちょっとした話のネタをご提供できればと思います。

皆さん、免許証はお持ちでしょうか? ビデオレンタル店などで入会手続きをする際に、身分証明として免許証を提示すると思います。ビデオ屋の店員さんは、規定の用紙に（主に）免許証番号を書き写していますよね? 今回はその番号のお話です。

ご存じのとおり、免許証の番号は全部で「12 けた」あります。もちろんこれには意味があります。普段、この番号を気にすることはないにしても「取得した地区や個人の識別番号など何か意味があるんだろうな」と容易に想像できるでしょう。

しかし、その番号の一部に面白い秘密があるそうです。聞いた話によると、皆さんが免許センターで試験を受けた際の「点数」が分かるらしいのです（事実かどうかは不明ですが……）。私は免許証を取ってから 10 年ほど経過していますが、まったく知りませんでした。

この話を聞いて私も早速調べて見ました。あるサイトによると、私の結果は「99 点」と出ました! こちらのページで利用されている Javascript をみると、どうも 100 から 5 ~ 6 けた目の数値を引くと、点数らしきもの (?) が表示されるようです。

正直「やるな俺!」とちょっと優越感。一夜漬けて、暗記力を頼みに試験を受けた時の記憶がちょっとだけ蘇りました。

よく飲み会などで、免許証の顔写真の話題で盛り上がることもありますが、この「点数」の話題でも実は意外な盛り上がりみせるかもしれませんね。

ここまで紹介してなんですが、これ事実なんでしょうか? どなたかご存じの方がいらっしゃったら真偽のほどを教えてください。

(@ IT 編集部: 八木沢篤)

## No.296

### 入門記事を活用しよう! / 新世界へ

2007年3月22日

# [コラム]デザイン担当スタッフのつぶやき 新世界へ

いや~、スピリチュアルな話でも SF の話でもないんですよ。私がよく朝食や昼食に行っているお気に入りの喫茶店（洋食屋さん?）「ニューワールド サービス」を紹介したいと思います。

有楽町駅・日比谷駅近辺の三信ビルディングという、昭和 5 年に建てられたオフィスビルの 1 階にひっそりとお店があります。ロウソク型の白熱灯やライトが無数に置いてある店内はかなり薄暗く、なんとも歴史を感じるレトロなお店です。

忙しい仕事の合間にランチに行くと、ついマッタリしてしまい、時がたつのを忘れてしまいます。そんな穏やかな時間が流れる中、名物店長ウォンサン（87 歳!）がお出迎え。

いつもバリバリ働いていて親切丁寧に注文を聞きに来てくれるのですが、なかなか注文通りのメニューを持ってきてくれない……（笑）しかしそこは名物店長のお茶目なキャラクター、まったくもって憎めないんです……

そして、このお店の看板メニューはハンバーガー。ジューシーでピリリと効いたコショウが練りこまれたハンバーグと、サクサクとしたパンの組み合わせは、絶妙!それもそのはず、このお店は日本で初めてハンバーガーを紹介したとのこと。第二次世界大戦後、進駐軍が三信ビルディングで働くことになり、軍人向けに作られたお店だそうで、今でもその当時の味を受け継いでいるのです。

そんなこのお店は、自分にとっては数少ないゆったりくつろげる癒やしの場所だったのですが、この三信ビルディング、戦前に建てられた建築物だけあってかなり老朽化が進んでいるらしく、2007 年 4 月でビルが解体されてしまうそうです。その関係で残念ながら「ニューワールド サービス」も、2007 年 3 月 30 日をもって閉店してしまいます。

デリやカフェといったチェーン店が増える中、このようなお店が残っていることすら奇跡だったのかもしれませんが、50 年以上「ニューワールド サービス」で働き続けた店長に「お疲れ様でした」の気持ちで一杯です。

最後にもう一度、足を運びたいと思います。

（メディア統括本部 角田縛）

## No.297

### 暗号化の世界 / 人事と涙と男と女

2007年3月29日

## 【コラム】人事担当スタッフのつぶやき 人事と涙と男と女

アイティメディアの総務人事部で働く浦野です。人事部で働く人間は、人を見る目が長けているのかというとまったくそうではありません。しかし、いろいろな状況に慣れて取り回しはできるようになってきます。

例えば、初対面の人物とお互い心を開いて話すような状況をつくること。初対面の学生と（しらふで）人生の岐路についてこんこんと本音を交わすなどという、異常な状況に慣れて、適応できるというわけです。

そんなふう慣れるものの1つに、「女性の涙」というものもあります。ここだけの話、面接で「泣く」女性が結構います。またそれ以外でも、人事の仕事をしていると（役回りの的に）女性が泣くシーンにちょくちょく出くわすこととなります。

やはり男性は、「女性の涙」にからきし弱いのでは？ それまでの形勢は一気に逆転「えっ?! ボクのせい?」「この涙を何とか納めなくては!」というシーンが繰り広げられることになるでしょう。もう、問答無用です。

しかし実のところ、女性が泣いている場合、本人は相当冷静であることが多いようです。“今ここで泣くべきよスイッチ”を女性は全員持っていて、意識的に ON している場合が多いように思います。こうなると、泣きながら女性が話したことは、酔っ払いがしゃべったことと同じくらい、まったくアテにならない場合もあります。

特に 30 歳代以上の男性は、雰囲気的に「泣くのは恥」という人生を歩んでいる人が多いので、涙の意味を大きく捉えがちで、女性に泣かれることも相当重く受けとめてしまうのかもしれない。

そんな男性の皆さんには、女性の涙に遭遇したら「この涙の狙いはなんだろうか?」と冷静に分析することをお勧めします。冷静に女性の涙を理解して、全部分かったうえでお望みどおりのリアクションをすることが、最終的に男性に求められる態度であるような気がします。（泣）

（総務人事部：浦野平也）

## No.298

### サービスの「顔」、ユーザーインターフェイスを考える / アフィリエイト代金の行方

2007年4月5日

#### [コラム] 編集者のつぶやき

# アフィリエイト代金の行方

先日、「検索結果にブログが出ると『がっかり』が2割以上」というニュースがありました。確かに何かを検索するとブログが上位に入ることが多いですが、やはりがっかりするのはアフィリエイトを主としたページに当たってしまったときでしょう。私もアフィリエイトリンクを付けたページを運営しているのですが、自分のページも誰かから同じように思われていることを考えると申し訳なくなってきます。今回はそんな私のアフィリエイト体験記を取り上げたいと思います。

「アフィリエイトで食っていけたらなあ」はブロガーならば誰もが一度は考えるダメな思考。もちろん私もそれを目指し、とある海外のアフィリエイトに登録し、バナーを表示させ続けておりました。これで一気にお金持ち、アメリカンドリーム! なんてことにはもちろんならず、1日につき良くて数セント、悪ければクリック数0という緩やか過ぎるペースで積み立てられていきました。

それから数十カ月。とうとうその時は来ました。気がついたら支払い単位となる100ドルとなっており、無事支払いが行われました……小切手で。小切手などを手に取るのはもちろんこれが初めてでした。調べてみると日本でもシティバンクなどでは小切手を自分の口座に入金することができるのですが、一般の銀行では時間がかかる上に数千円の手数料が掛かるとのこと。小切手の半分近くを手数料で持っていかれるのは納得がいかず、換金できぬままさらに時は流れていきました。

そしてある日、ネット上で「手数料5%で換金できます」というサービスを発見、調べてみると多くのブログで同じように手にしたアフィリエイトの小切手をそこで換金しているという記述を見つけることができました。これは便利だ! と思いこの換金業者のサービスに登録、小切手にサインして郵送しました。サイトの説明を読むと約2カ月で振り込みが行われるとのこと。世の中便利になったもんです。

そのお金を何に使ったかって? そのときには思いもしませんでしたよ、そのネット小切手換金屋さんが夜逃げするだなんて…… (泣)

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.299

### 頑張れ！組み込みエンジニア／デジイチ狂想曲

2007年4月12日

# [コラム]@IT自分戦略研究所編集者のつぶやき デジイチ狂想曲

最近周囲の人（文字通り「自席の周囲にいる人」）がデジタル一眼レフカメラを相次いで購入した。昨年からずっと「デジタル一眼レフ欲しい」とことあるごとにいていた身としては、正直なところ「やられた!」という思いだ。

学生時代はカメラにまったく興味がなかった。大きなカメラを持ち歩く友人を見ながら「カメラ（と写真）のどこにそんな魅力があるのだろうか」と常日ごろから疑問を感じていた。そんな僕がカメラを買ったのは会社に入ってから、それも「仕事で使うから」が理由だった。そのときはさしてこだわりなくカメラを選んだ理由は「手ブレ補正」「高ズーム」という条件。

しばらくはその選んだカメラで満足していた。初めてちゃんと使うカメラなのでそれほど不満点は出なかったのだ。しかし、ある日状況が一変した。とある取材で編集長からデジタル一眼レフを借りて写真撮影をする機会があった。僕は体が大きいためかあまり小さいものを扱うと「何ともいえない違和感」を持つことが多い。デジタル一眼レフが持つ重さと大きさが僕をまず安心させた。そして被写体にピントを合わせてシャッターを切った瞬間、「カシャ（というカリバシャ）」という音とともに手に伝わる振動……。もう僕はデジタル一眼レフの魔力の虜になっていた。

「そうか、カメラってこんなに面白かったんだ。これまでカメラを持たずに申し訳ない」と誰に対しての謝罪か良く分からないが、そんな思いが胸に去来したのだった。

それからは冒頭にあるように、ことあるごとに「デジタル一眼レフ欲しい」といていたのだが、先立つものがなく歯がゆい思いをしていた。そんなところに今回の周囲のデジタル一眼レフ購入である。無性に悔しい……。

編集長からも「君はまだ買わないの?」といやなプレッシャーも掛けられている。早速量販店で資料を集めたり、ネットで調べたりしている。いま僕の頭の中では、「ちょっと待て、結局先立つものがないじゃないか」と正しく突っ込む天使と「世の中には便利な支払方法があるんだぜ」と誘惑する悪魔が戦っている。いったいどっちが勝つのだろうか。個人的には悪魔を応援している。

（人財開発編集部：千葉大輔）

## No.300

### @IT通信の歴史を振り返る／アイティメディアの「成人式」

2007年4月19日

# [コラム]社長のひとこと アイティメディアの「成人式」

代表取締役社長の大概です。読者の皆様におかれましては、日ごろ@ IT をご利用いただきまして、心から感謝申し上げます。当コラムも今回で通算 300 号を迎えました。何事も継続することは、それ自身価値のあることだと思います。

また、弊社は本日 4 月 19 日、東京証券取引所マザーズ市場に上場いたします。上場は目的ではなく、企業経営・会社発展の手段とプロセスに過ぎませんが、近年上場審査の厳しさが増してきた中で、多くのステークホルダーに対し約束を果たしていきたいと思っています。

かつては、「メディア企業は上場すべきではない。自由な報道活動ができなくなる」という意見が大勢でしたが、私はそうは思いません。上場により、経営の透明性や投資家ひいては市場への開示・説明義務を負うことにより、厳格で公正な企業運営を行うことができると考えます。

また、「利益重視」が良くないという意見もありますが、メディア企業といえども、利潤の再生産を果たしてこそ、新たなコンテンツやメディア・インフラへの再投資ができます。赤字や累積債務で経営が行き詰まり、人材やコンテンツを縮小していく数多くの同業他社を見てきました。

私は、この株式上場を当社の「成人式」と思っています。成人になると多くの権利と同時に義務が発生します。社会のルールや義務を守ることにより、企業の信頼感やブランドが醸成されます。上場を新たな発展ステージへのスタート・ラインと思い、緊張感をもって、事業運営・メディア活動に専心していくことを、読者の皆様にお約束いたします。

また、@ IT は当社の基幹メディアとして、上場企業となるアイティメディアの経営を支えると同時に、今期も多くの新しい技術分野やコンテンツの開拓を行い、読者の皆様の期待に応えてまいります。

本年度も@ IT を何卒よろしくお願い申し上げます。

(代表取締役社長：大概利樹)

## No.301

### 安心してメールを使うために / 上場記念！気分上々ソング20

2007年4月26日

#### [コラム]編集者のつぶやき

## 上場記念！気分上々ソング20

@ IT 編集部の中野です。今回は祝アイティメディア上場! ということで、気分が盛り上がるようなパーティ・ソングを 20 曲紹介します。踊りたいとき、みんなで大合唱したいとき、気分がノっているときはもちろん、落ち込んでるときに聞いても、楽しい気分になれること間違いなし!

1 アーティスト／グループにつき 1 曲で選びました。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム／シングル名です。では、どうぞ!

1: Are You Gonna Be My Girl (Jet) 『Get Born』より

某音楽プレイヤーの CM で一躍有名になったオーストラリアのロックバンドによるロックンロール・ナンバーです。エアギター世界一のダイノジのおおち氏がよく使って、日本でもさらに有名になった曲です。レッツ、エアギター!

2: Bad Medicine (Bon Jovi) 『New Jersey』より

アメリカのベテランロックバンドの代表曲。男たちの汗臭い大合唱で盛り上がります。

3: Do You Remember Rock 'n' Roll Radio? (The Ramones) 『Ramones Mania』より

アメリカの元祖パンクバンド The Ramones による弾けるポップチューン (ちなみに Sex Pistols は彼らに影響を受けたそうです)。リズムに合わせて手拍子をしたくなります。

4: Don't Stop Me Now (Queen) 『Jazz』より

日本でも大人気のイギリスのバンド、Queen によるピアノロックの名曲! この曲が使われた某 CM を思い出すと、踊りたくなります。

5: Girlfriend (Avril Lavigne) 『The Best Damn Thing』より

アメリカのロック歌姫による出たばかりのニュー・アルバムからの突撃恋愛ソング。今年の Summer Sonic も期待大です。



6 : Give It Away (Red Hot Chili Peppers) 『Blood Sugar Sex Magik』 より

こちらも日本で大人気のアメリカのロックバンドによる変態ファンクロック。バンドメンバーが金粉? まみれで暴れるビデオ・クリップは必見です。

7 : Informer (Snow) 『12 Inches Of Snow』 より

カナダのレゲエシンガーによるヒップホップなのかレゲエなのかよく分からない佳曲です。すごい早口で歌うのはかなり難しいでしょう。

8 : LOVE マシーン (モーニング娘。) 『3rd -LOVE パラダイス -』 より

説明不要と思われる増殖分裂を繰り返すアイドルグループによるヒット・チューン。この曲で一気に国民的人気を得ましたね。

9 : My Sharona (The Knack) 『Get The Knack』 より

アメリカの偉大な一発屋による一発ヒット曲。日本でも CM などによく使われているので、みなさんも 1 度は聞いたことがあるかと思います。

10 : One More Time (Daft Punk) 『Discovery』 より

フランスのフルヘルメットダンス DJ ユニットがディスコ・チューンで踊らせます。機械的な処理をされた歌が面白いです。こちらも日本の CM で使われました。

11 : One Night Carnival (氣志團) 『Boy's Color』 より

日本のヤンキーロックバンドによる不良の宴。ディスコ調のサビで盛り上げながらも、熱い語りでジーンとさせます。

12 : The Real Slim Shady (Eminem) 『The Marshall Mathers LP』 より

アメリカの白人ラッパーによる必殺ヒップホップ・チューン。ヘンテコなリズムは 1 度聞いたら忘れられなくなります。

13 : Rock And Roll All Nite (Kiss) 『Double Platinum』 より

アメリカの大御所メイクロッカーたちによる大盛り上がりのロックン・ロールで朝まで踊ります。日本でも CM で有名になった曲です。

14 : Sure Shot (Beastie Boys) 『Ill Communication』 より

アメリカの白人グループによるヒップホップでタテノリで踊れます。ワキャワキャ騒ぐラップがみんなを煽り立てます。

15: Wannabe (Spice Girls) 『Spice』 より

イギリスのアイドルグループが歌って踊ってもうタイヘン! な曲です。5人がしっかりとキャラ立ちでして日本の戦隊もののように分かりやすかったのが印象的でした。

16: ごきげんだぜ! ～ Nothing But Something ～ (Da Pump)

『Da Best of Da Pump』より日本のダンスユニットによるごきげんなダンスナンバー。とても印象的な歌い出しで一気に笑わされます。

17: マツケンサンバII (松平 健)

日本の有名俳優によるサンバのリズムで踊らせてくれる曲。子供から大人まで大人気で、振り付け用のDVDまで発売されました。

18: ワッショイ (Bump Of Chicken) 『Supernova/ カルマ』 より

日本の実力派ロックバンドBump Of Chicken。このバンドは発売するCDすべてに遊び心満載の隠しトラックを収録しています。この曲はその1つで、普段のシリアスなロックから離れ、日本の祭りを素材に笑わせてくれます。和太鼓のリズムがよい感じです。

19: 前略、道の上より (一世風靡 SEPIA) 『シングلز』 より

柳葉敏郎氏や哀川翔氏が所属していたパフォーマンス集団のヒット曲。祭りのリズムと渋い歌声で男臭さに満ち溢れています。ソイヤッ、ソイヤッ、ソイヤアッ!

20: 恋のメガラバ (マキシマム ザ ホルモン) 『ぶっ生き返す』 より

日本の何でもありロックバンドによる変な曲です。デス声や甲高いラップやポップな歌声といろいろなリズムが混ざり合う感じがすばらしい。いま一番熱いバンドだと思います。

ほかにもおすすめのパーティ・ソングがたくさんあったのですが、字数の関係上仕方なく20曲に絞りました。みなさんも機会があれば、ぜひ聞いてみてください。嗚呼、音楽って本当にすばらしいですね!

(@ IT 編集部: 平田 修)

## No.302

### 「いまさら聞けない」立場の人へ / 大変です、め、メールが動きません！

2007年5月10日

#### [コラム] 編集部員のつぶやき

# 大変です、め、メールが動きません！

連休が明けて出勤したら、メールが 2800 件もきていました。そしていつものように、その 8 割以上がスパムメールなのです。その駆除作業はおろか、メールの受信自体がままならぬ状況です。そうしてメーラーがモタモタオタオタと処理をしている間、このコラムで愚痴を書いて時間を有効利用することにしました。

私は、スパムメールが許せません。あれなんなんですかね、いったい。

スパムを送っている人たちも、その量ほどに得しているのですか？ 費用対効果ってどうなっているの？ その方面に詳しい方がいらっしゃいましたら私に教えてください。

とにかく、私にとっては間違いなく大損です、迷惑です、うざいです。だって、貴重な朝の時間が、メールチェックとフィルタリングに割かれていき、費用対効果もへったくれもないではありませんか。朝早く出社して、そのための時間を取るなんて、なんだかモチベーション上がりません。

しかも件名から「重要連絡」「お久しぶりです」と、仕事メールぶってくるのも気に入りません。「ごめん(>\_<)」と、顔文字を付けてなれなれしくしてくるのも、中身の内容がアレだと分かっているからか、ムカムカしてきます。わざとですかね？ 仕事が絡んでいなければ、笑って許せるのですが……。

送っている人たちだって自分の立場になったら、多かれ少なかれ、私と同じことを考えるはず、ですよ？ でも仕事だから、冷淡に構えてこなせてしまうのですかね？

仕事、お金、権力が絡むと、こうやって人はあっさりとマインドコントロールされてしまうものなののでしょうか。すごく偉い人が「そうしなさい」といえば、なんでもしなければならぬのが人間社会の常……そういう世の中になれば、普通にそういうこともできてしまう、ということですかね。

なんだか話があげさになってしまいました……。 「長いものには巻かれる」と昔からよくいうものですが、物事の本質だけは見失いたくないな、と強く思う私です。

(@ IT 編集部：小林由美)

## No.303

### 業務プロセスを見直そう / ネコ様と一緒に引っ越し

2007年5月17日

## [コラム] 編集部員のつぶやき

# ネコ様と一緒に引っ越し

この連休は皆さまいかがお過ごしでしたでしょうか。編集部ではなぜか引っ越しをする人が多く、連休という雰囲気ではありませんでした。そんな私も引っ越しにこの連休のすべてを費やしたのですが、今回の引っ越しは今までと違い、「ネコ様」同伴の特別なものでした。

引っ越し業者は冷蔵庫やエアコンは運んでくれます。しかし当たり前のことですがネコは運んでもらえません。最初は引っ越しの前日にペットホテルへ預けてしまおうかと思いましたが、さすがに連休、気がついたときにはもう予約でいっぱいでした。そのためネコ様と一緒にタクシーで移動することにしました。部屋の荷物が搬出される間は風呂場に閉じこめ、気がつくとネコ様、キャリーバック、そして念のためネコトイレの3つだけというがらんとした室内にネコ様は焦ります。ここからが大変。

この引っ越しで最も恐れていたのがネコ様をキャリーバックに詰めるという作業。キャリーバックに入れられる→病院に連れて行かれる→ギニー、ということを知っているのかいないのか、ウチのネコ様はそれこそ泣くように必死にいやがります。普段は袋を開けるときの「カサッ」という音だけで飛んでくるおやつを大量にキャリーバックに入れて誘い出そうとしても、ネコ様はまったく近づいてきてくれません。

刻々と流れる時間。焦る自分。新居の玄関前で「まだッスか?」と言いたげな引っ越し屋さんの顔が頭にちらつきます。そして15分ほどの格闘の末、やっとネコ様をキャリーバックに入れ、タクシーを見つけて新居に移動しました。

新居でもお風呂場にいったん閉じこめ、ものの30分ほどで搬入が終了しました。引っ越し屋さんが最後に「ネコ、大変でしたね」と一言。何のことだろう?と思いつつも、引っ越しも終わった!と一休みすると、かなり汗をかいていることに気がつきました。そこでタオルで首筋をぬぐうとそこには真っ赤な血が……どうやらキャリーバック大騒動の時にきっちり反撃されていたようです。

いまだにその傷は目立つのですが、新居でスヤスヤと眠る姿を見ると、怒る気にはなれなくなるのがネコ飼いの悲しいサガです。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.304

### 運用管理のヒント、教えます / 丸の内建築散歩

2007年5月24日

# [コラム] 技術部スタッフのつふやき 丸の内建築散歩

私どもアイティメディアが本社を置く丸の内周辺。先日、新丸ビルが開業しました。オープンして5分で入場制限がかかり、初日に13万人が来場したことは、記憶に新しいところです。

2002年の丸ビルオープン以来、丸の内周辺は再開発が進んでおり、丸の内オアゾ（2004年）、東京ビル TOKIA（2005年）など、オフィスだけではなく商業施設も兼ね備えたビルが続々と誕生しました。

これからも、赤レンガで有名な東京駅丸の内駅舎を、創建当時のドーム屋根に復元しようとする建て替え計画や、東京駅をはさんで八重洲側では、グラントウキョウノースタワー・サウスタワーというツインタワービルの建築も進んでいます。

いままではオフィスビルが多く、ビジネスのイメージが強い地域でしたが、再開発を通してビジネス以外にも楽しめる街に変わっていかうとしていることが感じられます。

そんな再開発著しい地域ですが、昔からの有名建築物の宝庫でもあります。

特に、皇居のお堀沿い日比谷通りを、東京駅から日比谷公園に向かい歩いて行くと、国の重要文化財に指定されている明治生命館、GHQの本部が置かれたことで有名な第一生命館（DNタワー21）、9月1日に開業するザ・ペニンシュラ東京を横目に晴海通りを渡ると、残念ながら七十余年の歴史に幕を閉じ現在解体工事中の三信ビル、帝国ホテル、日比谷公会堂など、さまざまな有名建築物を見ることができます。

丸の内では無料巡回バスが運行していて、このような街並みをバスの車窓から眺めるのもよいでしょう。新旧建築物が混在する丸の内。近くにお越しの際は、地図を片手に散歩してみたいかがでしょうか。

（技術部：太田宗伸）

## No.305

### 日本版SOX法の予習・復習 / 苦いってすばらしい!

2007年5月31日

## [コラム] @IT自分戦略研究所編集者のつぶやき 苦いってすばらしい!

社会人になって2カ月が経とうとしています。

学生のころはまったくといっていいほど口にしたことのないコーヒー。小さいころに親が飲んでいるのを見て好奇心で少しもらって以来、苦くてまずいから嫌い、という飲み物になっていました。

しかし社会人になってクライアントや取材先など、どこに行っても待合室や応接室でコーヒーをいただくようになりました。手持ちぶさたで、ちまちま飲んでいるうちにいつの間にかこの苦い飲み物に抵抗がなくなりました。私もこうして少しずつ大人の階段をのぼっていくのでしょうか。

そのうち「コーヒーを飲まなきゃ1日が始まらない! あの苦さが人生なんだ」とか言い出すのかもしれない。

もう1つ、社会人になって飲めるようになったもの。それは、ウイスキー。

数ある飲み物の中でも、決しておいしい部類ではないと思います。ですが、おいしさ以外の魅力がウイスキーにはあることに、最近になってようやく分かりました。

学生のころは、酒を飲むことは騒ぐことと同義だった気がします。飲むとなったら、テキーラやジンなど、手早く酔えて安く上がる酒をあおっては、大騒ぎして、好んで疲れを買っていました。

いまは、1日の疲れを癒すために酒を飲むようになりびっくりします。時間とともに複雑に変化する香りを楽しみながら、今日あったことを順々に振り返る、自分にとって最高にリラックスした時間。仕事でしてしまった失敗も、程よく酔いが紛らわしてくれ、この1杯を明日も飲めるように、頑張ろうという気にさせてくれます。

社会人になって2カ月……結局成長したのは味覚だけ?

(人財開発編集部: 荒井亜子)

## No.306

### データベーススペシャリストの心得 / 「不動明王 VS 遅刻王」軍配はどっちだ？

2007年6月7日

#### [コラム] 管理本部スタッフのつぶやき

# 「不動明王 VS 遅刻王」軍配はどっちだ？

私が学生のころは、いつでもどこでも連絡オッケーなケータイやポケベルはなかった。もし誰かと待ち合わせをして遅刻なんぞした日にゃ、待たされた人は不動明王ばりの顔で怒り狂い、「やい、昼飯おごれ!」「荷物を持ちやがれ!」と罰を与えるかさっさと帰ってしまうだろう。そして遅刻した人は自分の犯した罪を反省するのだ。

その昔、八王子に住んでいる友達と中野サンプラザの前で待ち合わせをしたが、彼女は待ち合わせ時刻の 1 時間 30 分が過ぎても現れなかった。私は心配になった。もしや事故にでもあったんじゃないか、急に具合が悪くなって倒れてやしないか……。私は冷静になった。「あ、彼女は遅刻王じゃないか!」。まさかと思いつつ、彼女の自宅に電話をしてみるとあっさり本人が出た! 私は不動明王への変身を終え、電話口の彼女に話しかけた。

私「もしもし、P ちゃん (仮名) ? (怒)」

P「う、うん」

私「いま、どこっ?! (激怒)」

P「……家」

ケータイならありえる会話である。しかし携帯などない時代、私は公衆電話から遅刻王の自宅に電話をしている。怒りが爆発しそうになるのを抑えつつ、自宅にいる遅刻王に向かって「いまどこだ?」と尋ねている。不動明王おかしいぞ、家にかけているのだから家に決まっている。途中で自分が発した言葉のおかしさに気付いたものの、もう引き返せない不動明王は返事を待った。うっかり不動明王からの電話を取ってしまった遅刻王はなすすべもなく「家」と当たり前の答えを言うしかなかった。そして不動明王は約 4 時間、中野サンプラザの前で 1 点を見つめ微動だにしなかった。

これが今ならケータイで一発終了である。不動明王に変身することもなく、連絡がいつでも取れてとても便利だ。しかし、遅れた方は「ごめん」と言いながらも“慌ててる感”がない気がするのは私だけだろうか?

そこで私は提案する。ケータイをあえて携帯せず、待ち合わせに挑戦してみてもどうだろう? 時間の大切さ、約束の重みに気がつくかもしれない。そして平凡な日常にちょっとドキドキするようなスリルも味わえるかも。

先日私は、茨城県の某駅で数年ぶりに彼女と待ち合わせをした。携帯が鳴った。いうまでもなく遅刻王からだっ  
た。この駅は 1 時間に 1 本しか電車がこない。「やはり、そうか……」私は肩を落とし、駅前に 1 件しかない喫  
茶店「おちあい」でアイ스티ーを飲み、数時間後、遅刻王と“おちあう”のだった（おちあいだけにね）。

（管理本部：小島貴香子）



## No.307

### 準備OK? 攻めのアイデンティティ管理 / 人間に与えられた特権、それは

2007年6月14日

# [コラム]エンタープライズ編集部員のつぶやき 人間に与えられた特権、それは

突然ですが、人間に与えられた特権って何だと思いませんか？

僕は「考えて、生み出すことができる」ことではないかと思えます。情報を集め、仮説を立て、行動し、結果今までにないものを創り出す。これは人間にしかできない行為だと思いますし、そういう瞬間に立ち会ったとき、または自分が関与したときに、例えようのない感動を覚えます。

僕は新入社員としてエンタープライズ編集部配属となり、1カ月が経ちました。果たして自分は仕事の上で「考え、生み出す」ことができているのかいつも考えてしまいます。考えれば考えるほど、まだまだ何もできていないな、という悔恨の念だけが残ります。

そんな時、僕はいつも「守破離」を思い出します。守破離とは、物事を習得するうえでの段階を3つに分けた言葉です。

「守」とは、師匠の教えを正確かつ忠実に守り、基本の作法、礼法、技法を身に付ける、いわば「学び」の段階をいいます。「破」とは、それまで身に付けた技や形をさらに洗練させ、自己の個性を創造する段階をいい、「離」とは、さらに前進させ、自らの新しい独自の道を確認させる最終段階のことをいいます。

僕は編集記者としての道を歩んでいくことになりましたが、はっきりいってまだ分からないことだらけ。そんな自分にできることといえば、先輩の教えに基づいて、記事の書き方をまねし、記者としての経験を積み重ねる。今はそんな時期だと自分に言い聞かせて日々自分と向き合っています。

自分が目指す理想の姿である「考えて、生み出す」人になるためには、「離」の境地に達しないとはいけません。道は果てしなく遠いですが、偉業を成し遂げた先人たちは皆自分なりにこのような道を歩んでいたのではないのでしょうか。

歩き続けると道ができます。先日メジャーリーガーになった桑田選手は、じん帯断裂という大けがを経験しました。そこから復活まで、グラウンドの外延をひたすら走り続けました。植わっていた芝生がはげて見事な道となり、そこは「桑田ロード」と呼ばれるようになりました。

この道は桑田選手が自分に課した「守破離」を成し遂げたから生まれたのではないのでしょうか。そして自分に打ち勝ち、自分を育ててくれた環境から自ら離れることで、40 歳を目前にメジャーリーガーとなることができたのだと思います。

説教くさくなりました。今の自分に満足することなく、謙虚に、そして時には大胆に自分の道を歩んでいきたいと思います。

(エンタープライズ編集部：藤村能光)

## No.308

### 組み込みLinuxをもう一度見つめ直す / 新人、仕事が楽しくなってきました！

2007年6月21日

## [コラム]メディア・マーケティング担当のつぶやき 新人、仕事が楽しくなってきました！

初めまして、メディア・マーケティング部に配属になりました菱山と申します。

6月も半分終わり、本配属から2カ月が過ぎようとしています。1日中オフィスにこもることの多い仕事で、オフィスから東京駅までの帰りの散歩道がひそかな楽しみです。夜風の気持ちいい季節になりました。

ゴールデンウィーク明けに本配属先に初出勤。考えていたことといえば、とにかくあいさつ。あいさつをきちんとすること。新人は何ができなくともあいさつだけはきちんと。それだけを考え緊張しながら出勤したことを覚えています。

はじめの1カ月、割り振られた仕事をこなすだけで精いっぱいの日々でした。その仕事が、誰にどのように影響し活用されるかを考える余裕もなく、ミスのないように行うことで精いっぱい。それでもなんとか仕事を頭の中で整理して、時間管理に取り組みます。

そして、2カ月目。ちょっとした変化がありました。それは、今の仕事を“自分に割り振られた仕事”ではなく、“自分が担当している仕事”としてとらえることができるようになったこと。受身ではなく、“自分がやっているんだ”と能動的にとらえてみると、気持ちが少しずつ変わってきます。まだ余裕はないものの、ちょっとだけ楽しくなってきました。

学生時代、フランスに語学留学をしました。そのとき、日本に長く滞在したことのある先生とこんな会話をしました。

私 「日本で嫌だったことは何かありますか？」

先生 「うーん……特にはないけど、そうだなあ、日本人って“～しなきゃいけない”っていう言い方をよくするでしょ？自分がしていることなのに、誰かにやらされているみたいに」

私 「そうですねえ。私も“～しなきゃ”ってよく使っていた気がする」

先生 「あれはちょっと違和感があったなあ」

今、このやりとりを思い出しています。特に新人のころは、その仕事の意味や、重要性をしっかりと理解できな

いまま行ってしまう仕事もあると思います。それを、“誰かにやらされている” ととらえるか、“自分がやっている” ととらえるか。そこで、楽しめるかどうかが決まるのではないのでしょうか。どんなことも、やるからには楽しくやっていきたいものです。

少しずつ、自分なりの仕事の楽しみ方をつかんでいけたらと思います。

(メディア・マーケティング担当：菱山文乃)

No.309

e-文書法を知る / 宇宙開発のためならいくら税金を払ってもいいと思う男

2007年6月28日

**[コラム] 編集部員のつぶやき**

## 宇宙開発のためならいくら税金を払ってもいいと思う男

6月22日にスペースシャトル、アトランティスが地球に戻ってきました。今回はホームグラウンド、ケネディスペースセンターがあるフロリダの天候不良のため、久しぶりにカリフォルニア州のエドワーズ空軍基地への帰還となりました。

ニュースの記事によると、機体をそこからフロリダに移送するのに170万ドルの経費がかかるそうです。NASA好きな私はこの記事を読んでニヤリとしてしまいました。ああ、アレがまた行われるのだな、と。

なぜそんなにお金がかかるのか疑問の方も多いかもかもしれません。飛行機なのだから数時間飛ばすくなんじゃないの?と思うかもしれませんが、実はスペースシャトルの本体(オービターと呼ばれます)は宇宙に行ける機能はあっても、地球上を自力で飛ぶことはできないのです。オービターはグライダーと同じなんですね。

そこで1つの疑問が出てきます。宇宙から帰ってくるときにどうやって目的地に降り立っているのか? 答えは簡単、「推進装置をほとんど使わず、職人芸的なコントロールで降りてくる」のです。減速しつつ姿勢制御を行い、重力に引っ張られながら地球上のある1点へと見事に「落ちてくる」という芸術、スペースシャトルのパイロットは伝統的にアメリカ空軍のエースパイロットしかできないのもこの仕組みを考えるとうなずけます。

さて、ではそんなオービターをどのようにフロリダまで移送するのでしょうか?トラックで陸送? それとも船? いやいや、やっぱり空輸なのです。その方法とは……NASAの考えることは本当に面白いです。

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.310

### あなたのケータイ、Felica入ってる? / 哲樹吉村の比較的すべらない話

2007年7月5日

## [コラム]@IT情報マネジメント編集部員のつぶやき 哲樹吉村の比較的すべらない話

はじめまして。この6月から@IT 情報マネジメント編集部配属となった吉村と申します。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

最近、「人志松本のすべらない話」というテレビ番組がお気に入りです。さすがプロの芸人さん、面白い体験談をいっぱい持っているなあ、と感心することしきりなのですが、IT 業界の内輪ネタなら私にも「すべるかもしれない、でもほんのちょっとだけ面白い話」があつたりします。その中から業界人には比較的ウケる確率が高い2つのお話を……。

#### ●その1:「えっ、もう? はやっ!」

当時勤めていた会社が、別の会社を買収されたときのおはなし。買収元の会社のオフィスに引っ越した当日、PC のセッティングを終え、LAN の接続も終わり、メーラーを開いたところ、買収元の社長から全社員に向けて「おめでとう!」というタイトルのメールが。引っ越してきた自分たちを歓迎してくれるメッセージだと思い、気を良くして開けてみると、

「社員諸君、おめでとう! 今日是我れわれにとって記念すべき日です。本日、当社は\*\*\*社（注:また別の会社）による買収提案に合意することを……」

——あの、スイマセン、ぼくたち今日来たばかりなんですけど。

#### ●その2:「どこか遠いところへ……」

それはとあるパッケージベンダで働いていたときのこと。基幹業務に導入した製品が週1回コアダンプを発生してダウンしてしまう、というトラブルに見舞われました。調査しても原因はさっぱり分からず。顧客からは怒鳴られ、物を投げつけられ、それでも半年間にもおよぶ必死の調査の末、ようやく原因が突きとめられました。プログラムを修正し、客先に出向いてプログラムを入れ替えて、ようやく一安心。みんなで談笑していたら、客先のマネージャが真っ青な顔をして駆け寄ってきました。

「いったいどうなってるんだ! 週1回どころか……5分おきにコアダンプしてるじゃないか!」

——そのままこっそり抜け出して、新幹線に乗ってどこか遠いところに逃げようと本気で考えたことを覚えています。

2 つともちょっと自虐ネタですが、若い人はこういう話、ストレートに笑い飛ばしてくれるんです。でも、ベテランの方の中には、「そう、大変だったねえ……」と本気で同情してくださる方もいらっしゃいます。きっとそういう方は、私なんかよりもはるかに多くの修羅場をくぐり抜けて来たに違いありません。懐の深さみたいなものがあるような気がします。私もそんな風に人間性を深めていければ、と思っているのですが、まだまだ経験不足ですね。今後も精進せねば……。

(@ IT 情報マネジメント編集部 : 吉村哲樹)

## No.311

### ソフトウェアの品質向上をまじめに考える / 朝食は宇宙テイストで

2007年7月12日

# [コラム] 営業担当のつぶやき 朝食は宇宙テイストで

皆さんは今朝、どのような朝ごはんを食べましたか？

ごはんのみそ汁にたまご焼きに納豆、それともトーストにヨーグルトにハムエッグ？理想の朝ごはんを挙げれば枚挙にいとまがありません。素敵な1日のスタートを切るためにも、健康的な毎日を送るためにも朝ごはんは必要不可欠です。学生のころ、母親に何度もいわれました——「朝ごはんだけは、ちゃんと食べなさいっ!!」と。遅刻しそうになりながらも、必死で朝ごはんを食べてから家を飛び出していたことを思い出します。

4月から社会人となり、1人暮らしをしていると、どうしても朝ごはんがなおざりになってしまいます。

駅まで走っている途中、母親のあの言葉が頭の中でリピートされます。「朝ごはんだけは、ちゃんと食べなさいっ!! 朝ごはんだけは、ちゃんと食べなさいっ!!」……分かったよ、お母さん、ちゃんと食べるから。脳内のお母さんをなだめながら、私はコンビニへ駆け込み、銀色のフォルムに包まれたゼリー状のものを購入。ホームへ向かう階段を駆け上りながら私は10秒でそれを食します。それが、私の今朝の朝ごはんです。

この10秒の朝ごはんは、子どものころ、初めて見た宇宙食を思い出させてくれます。そう、あれは福岡県北九州市のスペースワールドで購入した宇宙食。銀色のフォルムに原料すらなにか分からないものが包まれている。これは、日常で食べるものではない。宇宙で食べるものだ、と興奮した宇宙食。

それに見た目も中身も近いものを日常的に食べているなんて……それも宇宙ではなく、地球で。子どものころには想像すらしなかった、まるで宇宙食のような朝ごはんのスタイルに、あのころと同じ興奮を覚えます。

私はこれからもスローフードやロハスと書かれた雑誌の広告を横目で見ながらも、10秒で朝ごはんを食すと思います。母親はこれを、朝ごはんとして認めてくれるかは、分かりませんが……。

(テクノロジー・メディア営業部：寛司 絢子)



## No.312

### セキュリティの初動対策を学ぶ / 地震についての苦い思い出

2007年7月19日

## [コラム] 技術部スタッフのつぶやき 地震についての苦い思い出

7月16日に大きな地震がありました。被災地の皆様、および関係者の皆様にはお見舞い申し上げます。私は夢の中でしたのでまったく気が付きませんでした。都内でも地震の揺れでエレベーターが止まったビルもあるとか。高層ビルはしなやかに揺れることで倒壊しないようになっている、と聞いたことがあります。高いところで「揺れる想い」はしたくないものです。

地震といえば、私には幼いころの思い出があります。テレビを見ていた私を家に残して、母親が買い物に出た時のことです。このときちょっと大きめの地震があり、1人で留守番していた私はパニックに……。地震でみんな死んじゃったんじゃないかと不安でいてもたってもいられず家を飛び出してしまいました。ああ、なんてバカな子だったのでしょうか……。目的地もなくトコトコ走る男の子は、偶然にも駅に向かう道の途中で母親と再会しましたとさ。めでたし、めでたし。

これが私の頭に残る、地震に関しての最古の記憶です。きっと3歳ころのことだったのでしょうか。それだナインパクトがあったんです。もしかしたら「警察のお世話」になっていたかもしれないですね。

被災地には兵庫や石川からの支援も入っているそうです。大地震を経験した自治体は確実に災害への対応能力を高めています。しかし東京は大丈夫なんでしょうか？ 南関東でマグニチュード7クラスの大地震が起こる確率は、今後30年間で70%、50年間では90% (!) とのこと。私たちが生きているうちに起きてしまう可能性は非常に高い! ってことです。

そんな私は会社の机の引き出しにペットボトルの水と固形の非常食を置いています。家では枕元に懐中電灯とホイッスル。いざという時のために、やれることはやっておきたいですね。

(技術部: 岩原信吾)

No.313

SNSやブログはビジネスでも使えるのです! / カード地獄によろこそ

2007年7月26日

## [コラム] 編集部員のつぶやき カード地獄によろこそ

仕事で使えるしきつと新しい趣味になるだろう、と自分に言い聞かせ、とうとうデジタル一眼レフカメラに手を出してしまいました。表題の「カード地獄」は、ローンで手に入れてカード地獄というわけではなく、気がつくとうが家は半端な容量の「メモ리카ード地獄」になっていました。

以前@ IT NewsInsight にて、「デジタル・ネイティブ層はどんどん買ってどんどん売る」という記事が掲載されていました。デジタルガジェットを次々と手に入れては、自分に合わないと感じたときにすぐ売却するという層。まさに自分のこと! と思いました。デジタルカメラの面白そうなものが出る、と知るやいなや、今持っているものがいくらで売れるかを確認し、さらりと買い替えてしていました。

しかし、メモリーカードはなかなかそうはいきません。皆さんもご存じのようにメモリーカードは価格の下落が激しく、売ったとしても4けた円にいくかいかないか程度。そのため、わが家には実にハンパな容量の、そしてさまざまな規格のメモリーカードが残ってしまい、このまま放置すると呪われるのではないかと思うほどです。

しかも今回買ったデジタル一眼レフで使用しているのは、今まで持っていなかったコンパクトフラッシュ。また新しい種類のメモリーカードが増えてしまいました。仕方がないので、過去のカードたちを供養する意味で、電気屋で一番目立っていた「30種類のカードが読み込めます!」というカードリーダーを買ってきてしまいました。

これを使って64Mや128Mの、もう誰も見向きもしないようなメモリーカードをたまに差してみようかな、と思います。だから化けて出てこないでね。

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.314

# モノづくり大国ニッポンの未来／夏休み、博物館巡りはいかが？

2007年8月2日

## [コラム] 編集部員のつぶやき

# 夏休み、博物館巡りはいかが？

最近、よく都内の博物館・科学館巡りをしています。

子供のころ親に連れられて行った博物館の思い出は、恐竜の骨や大きなはく製など、ごく少数の「子供にでもすぐ理解できる」展示物しかなく、そのほかのものはとても退屈な印象しかありませんでした。しかし時が流れて大人になってから見る博物館・科学館は違います。1つ1つの展示物がこちらに語りかけてくるかのようで、時間を忘れるすてきなスポットになっていました。

東京近辺でまずお勧めなのは、大人の魅力あふれる江戸東京博物館。ここでは江戸の街並みを再現した大小さまざまな模型が圧巻です。あまりにアダルトな雰囲気なので子供が退屈してしまいそうなのがちょっと難。そして理系のあなたにぴったりのお台場、日本科学未来館。ここでの勧めはIPのパケットをボールに置き換えて「見える化」したインターネット物理モデル。カタカタと音を立てて情報が移動している様子を見ると、このような作業を無言でこなしてくれるPCに感謝したくなります。

そして一番の勧めは、この春本館がやっとオープンした、上野の国立科学博物館。わたしの場合博物館の思い出というところが真っ先に出てくるのですが、もしあなたがここ数年科学博物館に行ったことがないという場合、印象があまりに変わっていてびっくりすると思います。新館（地球館）にある動物たちのはく製が展示された荘厳なエリア、古生代に生きた、今では考えられない姿形をした生き物たち、自然にあわせ分化していった植物たちの軌跡……。ここでは飽きやすい子供たちにもすぐに理解できるような、インパクトの大きい展示物がいっぱいあります。

博物館巡りをしていると、最近の博物館は見せ方が非常にうまくなっていると同時に子供も大人もより理解を深めてもらうように、説明員を多く配置していることが分かります。子供のころの記憶では「見せっぱなし」という印象が強かったのですが、当時の自分ならまず見過ごすであろう、単なる石ころのような展示物（実際は日本にしかない岩石展示）も、子供たちが熱心に説明を聞いている姿を見て、今の子供たちがうらやましいなあ、と思いました。

しかしわたしたちの世代にしかできなかったこともあります。もう20年以上前になるでしょうか。上野の科学博物館というとアフリカのミイラと干し首という2大トラウマ展示物があったのですが、本館リニューアル後も展示されておらず。これが楽しみだったんだけどなあ……

(@ IT 編集部:宮田健)

## No.315

### エンジニアの生き方 / 美しい成功、パタゴニア

2007年8月9日

# [コラム] デザイン担当スタッフのつぶやき 美しい成功、パタゴニア

“5 月から 9 月までは速達を期待しないでください”

1966 年、アウトドアグッズを販売するパタゴニアは、顧客にこのような案内文を送りました。この期間は社員が登山を楽しむ季節であることと、高い波がありサーフィンにもってこいの季節であるため、商品の配送処理を速めることが難しい、という内容でした。

うっそうとする森と駐車場に置かれたサーフィンボード、半ズボンとサンダル姿の社員、社内保育園からの流れ出る子供たちの笑い声……。米国カリフォルニア州にあるパタゴニア本社の風景です。社員の自由、幸せな生活と鮮やかな経験こそが、製品開発へとつながるとというのがパタゴニアの経営哲学です。

パタゴニアの従業員は、波の高さが 6 メートル以上になる日はサーフィンを楽しむことができる決まりになっています。そんな緩い体制に見える会社ですが、パタゴニアは全世界で年間 2 億 4000 万ドルの売上を誇る世界的なアウトドアブランドなのです。

1957 年、小さな倉庫からスタートしたパタゴニアが、世界的なブランドとして成長する中心には創業者イヴォン・シュイナードがいました。彼は会社利益より従業員 1 人 1 人の生活を重視しました。彼は事業家であるとともに、生活の余裕を楽しむことができる登山家だったからです。

彼はまた“死んでしまった地球でできるビジネスはない”という信念の下、パタゴニアが進むべきビジョンを提示しました。パタゴニアが初期人気商品だったピトン（岩場や氷壁を登るとき、岩や氷に打ち込んで手掛かりとする金属製の釘）の製作を突然中断したことも、鋼鉄で作ったピトンが岩壁を壊していることに気が付いたからなのです。

捨てられたペットボトルをリサイクルしたり、コットン製品をすべてオーガニックコットン製に切り替えたり、風力エネルギーで工場を運営したり、すべての社員が 2 カ月間環境運動団体でボランティアに従事するなど、パタゴニアは社会と環境に対する責任と義務を果たし、親環境企業のモデルとして成長しました。

韓国ソウルのブッカカン山の仁寿峯には「シュイナード道」があります。177 メートルあるこのコースは、イヴォ

ン・シュイナードが在韓米軍勤務時代に何の装備も待たずに開拓した道です。誰も行こうと思わない道を彼は開拓し、自分の名前を付けたのです。

誰もやっていなかった新しいことに挑戦すること、環境を考えること、目の前のことよりその先を見ること、これがパタゴニアが美しい成功をしたことではないでしょうか。僕もこういうことができるデザイナーになりたいと思っています。

(メディア統括デザイン部：金廷卓)

## No.316

### 見直そう、サーバの防御力／あの夏の思い出

2007年8月16日

## [コラム] 編集部員のつぶやき あの夏の思い出

夏が来れば思い出す……と来たら、皆さんは何を連想しますか？ 海水浴や花火、キャンプといった遠い夏休みの思い出？ それともはかなく散った夏の恋でしょうか？

私の場合、残念ながらそうした叙情的な思い出ではありません。浮かんでくるのは 2003 年、そう、あの「Blaster」が猛威を振るったあの夏のことです。

Blaster は、2003 年 7 月に公表された Windows の脆弱性を攻撃し、未パッチのマシンに自動的に感染するワームで、当時、日本のみならず世界的に大流行しました。特に日本では、まん延した時期がちょうどお盆休みと重なったため、対応や周囲のサポートに苦慮した方も多かったのではないかと思います。

Blaster がベンダや業界にもたらしたインパクトは非常に大きいものでした。この事件から得られた教訓が、パッチ提供システムの整備や対策ソフトの強化、OS のソースコードの見直しといったセキュリティ対策が推進されるきっかけにもなりました。皮肉な話ですが、Blaster のような大きな被害が生じなければ、今のようなセキュリティ対策は進んでいなかったかもしれません。

そのおかげもあって、最近では大規模な感染が発生することはほとんどなくなりました。そのかわりに、「個」をターゲットとした目立たない、けれど本人にとってはダメージの大きい攻撃が増えてきています。マーケティングをはじめさまざまな分野で「マスの時代から個の時代へ」という流れが指摘されていますが、セキュリティも例外ではないようです。

さて、ここまでこのメールマガジンを読んでいるということは、皆さんはオフィスに戻って仕事に復帰されていますよね？ 中には別の時期にお休みを取られるため、入社されていたかたもいるかと思いますが、いずれにせよ「あの夏」が二度と繰り返されることのないよう、たまったメールの処理や見知らぬ Web サイトへのアクセスにはどうぞ十分に気をつけて。

(@ IT 編集部：高橋睦美)

## No.317

### 知っておきたい、カーエレクトロニクス / 上京して4カ月、友を思う

2007年8月23日

# 【コラム】Business Media 誠編集部員のつぶやき 上京して4カ月、友を思う

「なぜ東京のセミは夜に鳴くのだろう？」——東京に上京してから4カ月が経過しました。右も左も上も下も分からず大阪から出てきた私は、少しずつ東京の環境に慣れてきたのでしょうか。虫の鳴き声にも耳を傾ける余裕がやっとできてきたようです。

上京する際、大阪の友人・知人が送別会を開いてくれたことを思い出します。東京と大阪……飛行機なら1時間弱で移動できますが、やはり物理的な距離はあるもので徐々に疎遠になっていくのは辛いものです。

東京でも別れがありました。会社の転勤が9月にある所では、8月の送別会が“定例”なのでしょう。最近、記者仲間の1人が異動するということで、送別会に参加しました。

大手新聞社で勤務するJ氏は、私と同じ1969年生まれで記者歴は15年。バブル経済崩壊後「失われた10年」の時代に、「火薬庫」と呼ばれた関西の金融界を、J氏は経済記者として活躍していました。徹底した取材と豊富な人脈で、数多くのスクープを世に出し、周囲の記者連中からも一目置かれていました。

大阪での活躍が高く評価され、その後は東京、兜町で証券を担当。そして9月からはシンガポール配属となりました。取材範囲はベトナムやタイ、フィリピン、オーストラリアなど、移動距離を考えただけでも大変そうです。

ただ周囲からは、「J氏ならどこへ行っても大丈夫」と太鼓判を押されています。誰とでも気さくに話しかける性格で、国は変われども積極的な取材活動を続け、シンガポール発の記事を連発して読者を魅了してくれることでしょう。

媒体や取材対象は違いますが、J氏の報道に刺激を受けながら、私もニュースを追いかけ「東京発」を配信していくつもりです。

(Business Media 誠編集部：土肥義則)

## No.318

### 物流分野のRFIDはどうなっている? / 「この汁、何スカ?!」 in 京都

2007年8月30日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 「この汁、何スカ?!」 in 京都

いや~本当に毎日暑いですね。埼玉の熊谷市、岐阜の多治見市で 40.9 度という恐ろしい記録をたたき出したことは記憶に新しいと思います。そんな中、これまた暑いといわれる京都に行ってきました。

鈴虫寺、二条城、広隆寺、壬生寺、八木邸、建仁寺、三十三間堂、南禅寺、東福寺、金閣寺、八坂神社…… 2泊3日という短い期間でもあったのですが、初日から奥さんとともはかなりアクティブにいろいろと見てまわり、古都京都を満喫しました。今回はこの京都旅行で驚いた「食」に関するできごとについて紹介します。

それは、京都旅行最終日の夕食。奥さんが「せっかくだからおいしい料理が食べたい(肉が)」とリクエスト。「なぜ京都料理を外すんだ……」と、心でツッコミを入れつつも取りあえずノープランでタクシーに乗り込み祇園方面へ。

「おいしい店は地元の人に聞いた方が早い!」と、タクシーの運転手さんに質問。とても親切な方で、味も価格も保証できるというおススメのお店を紹介してくれました。しかし、そこは地元でも人気店らしく結局満席でNG。肉をあきらめきれない僕らは「次は交番だ!」と、またもや地元の人を頼りに交番に直行。そして、お巡りさんから1軒の焼肉店を紹介してもらいました。

正直、そのときも「京都に来てまで焼肉かあ……」と思いましたが、空腹に耐え切れず、僕らはその焼肉店へ直行。入店後、すぐに注文を済ませ、運ばれてくるお肉を待つ間、タレの容器を小皿に傾ける。

すると、容器から“キラキラと輝く透明度の高い汁”が注がれているではないですか!「えっ何これ」と僕。奥さんもきょとんとして見つめています。思わず店員さんに「ちょっと!この汁、何スカ?」と確認。「焼肉を浸してお召し上がりください」と冷静な店員。「は、はあ」と僕ら……。

味見してみると単なるダシ汁(かなり薄い味付け)のようで、これをつけるだけなの?と思いつつも、「京都の焼肉ってこうなんだ」と無理に自分たちを納得させて、この不思議なダシ汁焼肉を食しました。

京都の焼肉店ではダシ汁につけて食べるのが一般的なんですか?個人的には普通のタレで食べたかったなあ……。

(@ IT MONOist 編集部 : 八木沢篤)



## No.319

# そもそも「セキュリティ」ってなんだろう？ / デジタルツールに私的脆弱性が発覚

2007年9月6日

## [コラム] クリエイティブ室担当スタッフのつぶやき デジタルツールに私的脆弱性が発覚

世の中には「負の組み合わせ」というものがあります。それは「平日+朝」(=つらい、起きたくない) というものだったり、「休日+駅」(=人ごみ、行きたくない) というものだったりするわけです。

その「負の組み合わせ」の中に、最近、「アルコール+デジタルツール」というものが出現したことは、まだ @ IT で取り上げられてはいませんが大事件です。この組み合わせは、「夜+手紙」<sup>(注)</sup> と同じくらい危険ではないかとちまたでは大騒ぎです。

(注) 「夜+手紙」=夜に書き上げた傑作な手紙を朝になって読み返すと、高い確率で破り捨てるというアレ

「アルコール+デジタルツール」の前者は、いわゆる酒類を、後者は PC やケータイのことを指します。この組み合わせは、

仕事で疲れて帰ってくる

↓

缶ビールを開けながらいつものように無言で PC を立ち上げる

↓

やたらと SNS にコメントを書き込みたくなる

↓

今日アップされていた友人すべての日記にレスをつける

↓

翌日、そういえばなにか書き込んだっけな程度の感覚で彼らの日記を見る

↓

自分のつけたレスが最悪な内容だった

↓

その上、誰からも返信がない

↓

無我夢中で、すべてのレスを削除

という危険性を帯びていることが伺えます。

ただ上記の場合ですと、自分の過ちを消去することができるのでまだマシです。本当に恐ろしいのは、記録を消せないパターンです。酔った勢いで書きなぐったにもかかわらず、思いのほかコメントがついてしまった SNS 上の日記ですとか、第三者のデジカメに記録されてしまった自分の愚行ですとか、そういうものは常に私たちを脅かす存在となってしまいます。

悲しいかな、これらについてすべて身に覚えがあるので、アルコールが入った状態でデジタルツールに触れることは避けるようにしています。他人が所持するケータイやデジカメに対しては、なるべく近寄らないという対応をとっています。

しかしながら、アルコールがまわってくるとどうでもよくなってしまいます。そして翌日、その飲み会のことを忘れたところに突如として誰かが私に語りかけるわけです。

「この間の飲み会なんだけどさ～。この写真見てよ～」

恐ろしくて身震いがします。みなさんも気をつけましょう。というか、お酒はほどほどに。

(クリエイティブ室：平野鉄平)

## No.320

### 情報システムと天災／エバーロストからネバーロストへ

2007年9月13日

# [コラム]エグゼクティブ編集部員のつぶやき エバーロストからネバーロストへ

今年の日本の夏は暑かったですが、イタリアの夏も暑かったです。

久しぶりの長期休暇、ならばワイン目当てでイタリア、トスカーナへ。ワイナリー巡りならレンタカー!ということで、Hertz おすすめの「ネバーロスト・システム」というカーナビを搭載した豪華な車をあらかじめ予約しておきました。

フィレンツェの空港に到着後、Hertz のオフィスで車をピックアップします。「地図はもう必要ありません。安心して快適なドライブをお楽しみいただけます」の言葉通り、「ネバーロスト」がこの旅のお供です。

目指すホテルは、「Locanda dell'Amorosa」(ロカンダデラモッサ)。トスカーナらしい糸杉と緩やかな丘を眺めながら、ローマへと続く高速道路アウトストラダ「A1」を飛ばします。快適、快適。ホテルの案内はヴァルディキアーナで降り、あとはシナルンガへ向かい、サインどおりに行けばたどり着くはず、とっていました。

シナルンガに着いたのが3時30分、しかしホテルに着いたのが5時。この間なにをしていたか——そう、ネバーロストとの格闘。いろいろなパターンで町の名前を入力したり、ホテルを検索したり、行ったり戻ったり。童話に出てくる森に迷いこんだように文字通り右往左往してしまいました。

結局ホテルに電話をして場所を聞き、そして15分で到着。ホテルの名前は「ロカンダデラモッサ」ではなく「アモロッサ」。「Amorosa」と入力すればよかったです。車の中で散々「エバーロスト」と悪態ついてごめんなさい。反省です。

翌日は機械と人間、お互い機嫌を直してワイナリーツアーへ。民家=ワイナリーのような小さなところも多く、「本当にこの道でいいのエバちゃん？」などと疑っていましたが、無事4カ所のワイナリーを巡り、モンテプルチアーノのワインを満喫できました。この活躍をたたえ、ネバーロストと呼び名を戻してあげることになります。

そしてフィレンツェに戻る日。ネバーロストへの信頼も高まり、迷うことなく無事に帰還することができました。システムには愛と思いやり、人生にはワインとバケーション、そしてやはり旅には地図が必要でした。

(エグゼクティブ編集部：福盛田結花)

## No.321

# RFIDを活用したユビキタス社会は実現する? / フィッシングメールにだまされるなんて

2007年9月20日

## [コラム] 編集部員のつぶやき

# フィッシングメールにだまされるなんて

「セキュリティを強化しましたので、こちらから再度ログインしてください」「あなたの口座を更新する必要があります」……あなたを巧みにだまそうとするフィッシングの手口は、残念ながら日々進化しているようです。

無差別に送られるフィッシングメールは「数打ちゃ当たる」というのを原理としているため、口座を持っていない銀行からのメールが来るなど、見破るのは簡単と思っている方も多いのではないかと思います。しかし、久しぶりにだまされそうになったフィッシングメールがわたしに届きました。今回はそのお話を取り上げたいと思います。

どうしても手に入れたいものがあるため、ここ 1 カ月ほどネットオークションを使っています。このサービスが出た当初は何度も利用して、主に不要物を出品していた側だったのですが、応札側に回ると期限ギリギリのタイミングでの入札合戦でどうしても白熱してしまいます。結局、20 個近くの品に入札を繰り返すも、わずかな差で負けて涙をのんでいました。

そんなことがあったため、それをオークションで手に入れることはあきらめかけていました。ところがある日、何の気なしにその業者が提供しているフリーメールのアカウントにアクセスしてみたところ、普段は迷惑メールすらほとんどこない受信ボックスに 10 通近いメールが届いています。その最初のメールの件名を見ると、

「入札しましたオークションの品物について」

というような文字が。そのメールによると、1 位入札した人が辞退したので、次点のあなたと取引したい、ということでした。どうしても手に入れたかったものが手に入る! と一瞬喜んでしまったのですが、どうもおかしいのです。というのは、2 通目も同じタイトル、同じ文面、しかしまったく別の名前を名乗ったメールが来ていたからです。このとき初めて気がつきました——これがあの「次点詐欺」かと。

今回は何通もメールが来ていたのですぐに気がつくことができたのですが、たった 1 通だけだったらどうだったでしょうか。フィッシングにはだまされることなんてないと思っていた自分でしたが、その根拠のない自信はもうくも崩れ去ってしまいそうです。「ニーズ」とぴったりマッチしてしまったフィッシングほど怖いものはありません。

セキュリティを高めるためにはウイルス対策ソフトを入れるだけではなく、どのような手法があるのか、ということを知っておくことも重要です。ぜひ皆様も@ IT の記事や ITmedia のニュースを参考にいただき、わたしのようにだまされることなく、安全なネットライフを過ごしてください。

(@ IT 編集部：宮田健)

## No.322

データベースのセキュリティ、考えていますか / F1 って、グルグル周ってるだけでしょ?

2007年9月27日

# [コラム] クリエイティブ室担当スタッフのつぶやき 「F1 って、グルグル周ってるだけでしょ?」

今年も F1 が日本にやってきます。鈴鹿を離れ、富士スピードウェイでの開催となった F1 日本グランプリ。鈴鹿に慣れ親しんでいたわたしにとっては少しさみしい想いをしていましたが、富士との隔年開催となることが最近発表され、2009 年から鈴鹿復活となります。そう考えると富士での開催も楽しみになってきますね。

しかし F1 をはじめとしたモータースポーツの世界はとっつきにくいのでしょうか。私のまわりは“F1 好き”な人間は存在しません。そして話題になることもありませんでした……。

そんな状況ではありますが、あなたも 9 月 30 日、日本グランプリで F1 デビューしてみたいかでしょうか? といってもどう見ればいいのか分からないかもしれませんので、手始めにわたしにとっての“F1 観戦の見どころ”をご紹介します。

### ●見どころその 1 : 第 1 コーナーへの飛び込み!

個人的にはこの瞬間が一番好きかもしれません。22 台のマシンが一齐にスタート、それらが第 1 コーナーへ突っ込んでいく。追い越し、接触、そしてクラッシュ! 1 台ウン十億円ともいわれるマシンが大破なんてことも。ここでの順位変動がレースの行方を左右します。

### ●見どころその 2 : 勝敗を握るピットイン!

タイヤ交換、給油……単純にはそれだけですが、実は F1 観戦においてココがとりわけ重要なポイントなのです。コース上での追い抜きが難しい近年のレースにおいて、チームが勝利するための戦略の要となるのがこのピット作業です。非常に地味ですが見馴れてくるとかなりの興奮ポイントなのです。

F1 は 1/100 秒、1/1000 秒を争うスポーツなので、力の均衡したチームならなおさら、たった 1 つのミスも許されません。ドライバーはレース中、最高速度 350km、最大 4G もの重力に耐えながら、極限状態でレースに挑んでいます。そのためレース後は 2kg ~ 3kg も体重が減らしいです。そういう精神力の勝負を見ているだけでも結構面白いですよ。

そう、F1 はただコースをグルグル周ってるだけじゃないんです! F1 の見方を知れば絶対にハマること間違いなし。だまされたと思ってぜひ一度、ご覧あれ。

(クリエイティブ室: 青木勇介)

## No.323

# ITと環境問題、切っても切れない関係／世の中、ベースがないとズンズンこないでしょ？

2007年10月4日

## 【コラム】営業担当のつぶやき

# 世の中、ベースがないとズンズンこないでしょ？

皆さんはベーシストという人々をご存じですか？ 一般的に「暗い」「見えない」「え？ ギターじゃないの？」などといわれる残念な楽器「ベースギター」を弾いている、報われない人たちを指します。

しかし音楽の世界において、ベースは欠かすことのできない楽器です。ためしにいつも聴いている曲の低音を切ってみてください。ノッペリした音になるでしょう？ベーシストは、世の中の曲をノッペリさせないようにがんばっているのです。

それと同時に、音全体のバランスを取ることもベーシストの重要な役割の1つです。曲の展開によっては歌うようにシンプルに鳴らしたり、時にはギター顔負けの激しい音色や速いフレーズを求められたりと、実は過酷なポジションでもあります。

9月21日は、世界で最も才能のあったベーシストの1人、ジャコ・パストリアスの命日でした。ということで本日は、世界で活躍する日本人ベーシストを、僕の独断で3名だけ紹介させていただきます（敬称略）。

### ●櫻井哲夫

6弦ベースのパイオニア。最近では腰痛のためか、軽量の5弦にスイッチすることが多いようです。この人さえいなければ、僕はベースなんてモテない楽器に手を出さなかったのに……。そしてなんといっても僕と名字が一緒（笑）。

### ●日野“JINO”賢二

日野皓正の次男です。最近ではAIのバックバンドで活躍。彼のベース弾き語りはとてファンキーです。日本語より英語の方がうまいため、話しかけるときは英語がいいようです（そんなチャンスはなさそうですが……）。

### ●納浩一

エレキとウッドを弾きこなす二刀流。語り口はとっても穏やかで、教則ビデオでは語尾に「いかがでしょうか」を多用し、視聴者の眠りを誘います（苦笑）。森山良子のバックや、自身のジャズユニットなどで活躍しています。

もちろんこのほかにも素晴らしいベーシストはたくさんいます。皆さん、ぜひいつも聴いているあの曲の低音部にも注目してみてください。聴きなれたはずのフレーズから、心地よくグルーブするベーシストの顔が浮かんでくるかもしれませんよ。

(営業本部：櫻井裕)



## No.324

### EPCglobalは流通を変えられるのか / 伝説のミュージシャンから歴史を学ぶ

2007年10月11日

# [コラム]エンタープライズ編集部員のつぶやき 伝説のミュージシャンから歴史を学ぶ

少し前の話題になりますが、2007年8月16日にジャズ界の巨匠、マックス・ローチが亡くなりました。

ドラム奏者として活躍していたマックス・ローチは、トランペット奏者のクリフォード・ブラウンとの共作が有名ですが、そのほかにもディジー・ガレスピー、バド・パウエル、ソニー・ロリンズなど数多くのミュージシャンと共演しました。

実は数年前に日本でライブを行ったとき、チケットを持っていたにもかかわらず、所用で行けなかったことを思い出しました。後悔先に立たず。今となってはもう二度と彼のプレイを観ることができないわけですから……。

そこから学んだのは、歴史に名を残すミュージシャンは今この瞬間しかない、ということでした。特にそのような方々は高齢者が多いためいつ何があるか分かりません。もちろん CD など彼らのプレイを拝聴できるわけですが、ライブに勝るものはありません。同じ時間、同じ場所で歴史を共有できるのであります。

もちろん、これはジャズに限ったことではありません。2005年10月にクイーンが実に20年ぶりとなる来日ライブを果たしました。ご存じのように、故フレディ・マーキュリーを擁した伝説のバンドです。

わたし自身は1979年生まれなので、リアルタイムでクイーンを聴いていたわけではありません。しかし音楽ファンとして好きなバンドであったし、ロック史を語る上でも実に大きな存在です。その「生ける伝説」を一目見ようと、大枚はたいて埼玉アリーナへ足を運びました。

開演予定時間を30分過ぎたところで幕が開け、新ボーカルとなるポール・ロジャースが歌いながら登場。しばらくしてギター音と共にスポットライトが切り替わり、次の瞬間、ブライアン・メイがわれわれの目の前に立っていました。底知れぬ感動というのは、こういうことを指すのでしょうか。自然と大量の涙が溢れてきました。彼のプレイを通して、歴史の重みを体感できた貴重な瞬間でした。

人から歴史を学ぶ。今後もこうした機会を大切にしたいです。

(エンタープライズ編集部：伏見学)

## No.325

### 基本を学んで強いエンジニアになろう / 初夜のないハネムーンはダメ？

2007年10月18日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# 初夜のないハネムーンはダメ？

「結婚なんて興味ない!」「結婚式なんてありえない!」と思っている私ですが、毎年この季節になると、ある場所で結婚式をしたくなります。その場所とは、「アイスホテル」。

アイスホテルとは、毎年冬になるとスウェーデンの川の上に作られ、氷と雪だけでできているホテルで、建物はもちろん、ベッド、バーのカウンター、グラス、あらゆるものが氷でできています。

照明は光ファイバー（だったかな）。シャンデリアまで氷でできていて、氷の中に光ファイバーを埋め込んであるので、氷自体が発光しているように見えて本当にキレイなのです。（実際には写真や映像でしか見たことがないので全部受け売りですが）

笑えるのが、寝るとき。ベッドが氷でできているので直接寝られるはずもなく。ベッドの上にはトナカイの毛皮が敷いてあって、その上に寝袋を置いて中に入って寝るとのことです。私の記憶が確かだったら、室内の気温はマイナス5度、外気はマイナス25度ぐらいだったはず。寝袋はなんと、マイナス15度対応の寒冷地仕様だそうで、寝袋の外に身体を出して寝ると凍傷になる恐れもあるそうです。トイレは建物の外にあるので、もし夜中に行きたくなった場合は、寝袋からでて防寒服を着込んで、トイレまで（もし吹雪だったとしても）歩いていかなければなりません。

そのほかに私が覚えているのは、ベンチも氷でできたチャペルが併設されていることとか、すべて氷でできた食器でてくるコース料理が1万円ぐらいとか……。氷の器でてくる料理はやっぱり冷たい料理なのでしょう。さすがに暖かい料理は無理ですよね。お酒は冷たくても身体が温まりそうだけど、寒いところで防寒具を着て、冷たい料理って……。

そして一番魅力的だと思ったのは、ホテルそのものが春になったら溶けて消えてしまうってこと。これってものすごくロマンチックじゃないですか？

ホテルが凍った川の上に建てられるので、冬季限定で毎年建て替えられます。それも毎年違うデザインで。だから、一度泊まったら同じホテルには二度と泊まれません。それから、スイートルームも各部屋をそれぞれ、毎年違うデザイナーが作るのと同じ部屋はないとか。思い出作りには最高ですよね。

ただ難点は、スウェーデン最北の街にあること。それからホテルに泊まるとしても、滞在できるのが夕方から朝の 8 時までなので、お酒を飲む以外することがないこと。いいこともあれば悪いこともあるけど、一回ぐらいは行ってみたい!

普段、「結婚式なんていない!」と思っている私ですが、ここでなら結婚式をしてみたいと思っています。で、毎年この季節になると、周りの男の子を捕まえてこの話を繰り返すわけですが、返ってくるのは「寒いから嫌だ」とか「遠いから嫌だ」という色気のない反応ばかり。私の唯一のロマンチックな夢を壊すようなことしかいわれません。去年は、そんな話をしているうちに、こんな発言が飛び出しました。

「そこで式をしても、初夜ないよ?」

やっぱり、初夜がないハネムーンはダメなんじゃないかな……

そんなわけで、今年こそ誰かを誘って、疑似体験してみようと思っています。その名も「アブソルート・アイスバー東京」。防寒具貸し出しサービス付きのバーを体験するチャンスなんてめったにありません! みなさんも、記念日などに行かれてみてはどうですか?

(クリエイティブ室: 原田江里子)

## No.326

# サーバ仮想化の仕組みって、どうなってるの? / 「今週末どっか行くの?」「海外。」

2007年10月25日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# 「今週末どっか行くの?」「海外。」

ええと、2 回目のコラムバトン? が回ってきました。前回は確か旅ネタだった気がしますが、今回も旅ネタです。わたしにとって今年には近年まれに見る“旅行年”なのです。なんだかもう、稼いでは旅に出て、稼いでは旅に出て……その繰り返し。そのうち本当に職業：旅人になるんじゃないかと心配な今日このころです。

そんなわけで旅好きと集まって話す機会が多い今日このころ、顔を合わせれば「どこか行きたーい!」「次はどこ行くー?」から始まります。最近ハマっているのは「現地待ち合わせの旅」。1 人旅も、2 人旅も好きですが、これは基本「現地集合・現地解散」な旅。誰かがどこかに行くことが決まれば、その日程に合わせて便乗し、有名ドコロで待ち合わせて合流! 先月はそのノリで、友人の 1 人が仕事で北京に行くのを聞きつけ、そこに便乗するメンバーに混ぜてもらい、行ってきました週末北京。合い言葉は、

「じゃ!来週天安門広場で!」

いやー、できるんですね、週末海外。急な話だったのでそうそう休むこともできず、私だけ土日に 1 日だけ有給をくっつけて参加。2 泊 3 日、北京滞在時間 35 時間ほどの旅でした。でもその 35 時間で飲み、食い、万里の長城にまで行ってきました!

「この週末どこか行った?」

「うん、ちょっと遠出して万里の長城行ってきたー」

ができてしまうことにオドロキ。土日は寝てるだけ、っていう方、一度やってみてください。世界って意外と近いですよ!

——小野田涼子：2007 年旅行先：1 月パリ、2 月岐阜・札幌、5 月伊豆大島、6 月沖縄、9 月北京・プラハ〜ブダペスト……旅の楽しみプライスレス。そして貯金残高レス。

さて、次の待ち合わせはどこにする?

(クリエイティブ室：小野田涼子)

No.327

情報セキュリティマネジメントシステム再考 / 未来の国のレトロが消える

2007年11月1日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 未来の国のレトロが消える

11月になりました。ハロウィンが終わったと思ったら次はもうクリスマスです。クリスマスといえば東京ディズニーランド。次々と新しいアトラクションができ、恋人たちでぶつたがえする場所ではありますが、11月14日にひっそりとある施設がクローズすることをご存じでしょうか。その場所とは「スターケード」、一言でいうと、未来の国の中にあるゲームセンターです。

遊園地にゲームセンターならば当たり前という印象がありますが、あのテーマパークにそれがある、というと驚かれる方もいるかもしれません。トゥモローランドにあるこの施設は開園当初から存在しているのですが、今から見るととても異様な空間で、いまだに80年代のゲームである「ドンキーコング」や「ゼビウス」「マリオブラザーズ」（スーパー、にあらず）が現役で稼働しています。未来の国、夢の国というイメージからはかけ離れたこのレトロな空間は、ごく一部のマニアには有名な場所でした。

しかしなぜこのようなものが夢の国にあるのでしょうか。わたしなりに考えてみました。

自分の出身中学もそうだったのですが、高校受験が終わったあと、何もすることがないためか、社会科見学と称して学校行事でこのディズニーランドに行ったことがあります。中学3年生ですので無邪気に遊ぶのが普通の姿ではありますが、中には

「ディズニーランドなど女子供のためのもの。ここではしゃぐなどできるか!」

と、間違った大人の階段を上ってしまうやからも必ずいるわけです。しかしこの行事を無視してさぼるほどの勇気もない中学生は行き場をなくしますが、このゲームセンターがあるおかげで軟着陸することができるのです。少なくともわたしの中学では、ここで丸1日過ごした人間がいたことは確かです。自分がそっち側の人間だったかどうかは覚えてもいないし思い出したくもないのですが。

そんなスターケードもまもなくクローズしてしまいます。今週末にディズニーランドに行かれるという方がいましたら、レトロフューチャーな場所から消えるレトロに思いをはせつつ、もう普通では遊べないゲームをやってみるのも、いい思い出になるかもしれません。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.328

# さあ、もういちど通信プロトコルの世界へ / パスワードにおぼれる現代人

2007年11月8日

## [コラム] 技術部スタッフのつぶやき パスワードにおぼれる現代人

とある日曜日の午後。いつものようにパソコンのスイッチを入れると、ピロピロと情けない電子音が鳴りました。画面に出たメッセージは……ハードディスクが見つかりません。

えー!?! 朝使ったときにはなんともなかったのに。何かの間違いだと思いたくていろいろと飽きるまでやってみます……よし、飽きた。

分かっているのは、電子音がハードディスクから鳴っているという事実のみです。どうやら「壊れた」ことを教えてくれているようです……親切ですが手遅れです。

とにかくハードディスクは動きません。取りあえず新しいハードディスクを買ってきてセットアップします。そしてできる限りの復旧を試みます。ファイルはもうあきらめるしかなさそうです。しばらくしてメールの設定を行っている時に気がつきました。

……Gmail や Hotmail のパスワードが分からない!

プロバイダのメールアカウントは紙で通知されたものが残っているので大丈夫でしたが、各種ウェブサービスの ID とパスワードも壊れたハードディスクの中です。私はそれぞれのサービスに、第三者には類推できないパスワードを設定していました。すばらしいことに本人にも類推できません。

ですが ID さえ覚えていれば、パスワード再設定や再取得があるサービスなら何とかかなりそうです。手始めに Gmail でやってみたところ、「お申し込み時にお知らせいただいた予備のメールアドレスに案内メールをお送りしました」と表示されました。これは本当にすばらしいサービスです。でも、予備のメールアドレスってどこですか?

最近はウェブサービスを利用することも多くなり、必然と ID とパスワードも増える一方です。サービス側でも再設定や再取得の方法を用意してくれていますが、ID すら覚えていないとお手上げです。

皆さんは増え続ける ID とパスワード、どのように管理されていますか?

(技術部 : 岡本大介)

## No.329

### 電子メールのセキュリティ、甘く見てませんか？／メールは来る、メールが来ない

2007年11月15日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# メールは来る、メールが来ない

皆さんのメールボックスには、1日に何通くらいのメールが来ていますでしょうか？

2006年の@IT調査によると、勤務先では1日平均86通のメールを受け取り、そのうち31通が「スパム」なのだそうです。編集部では公開メールアドレスがあるので、スパムの比率はもっと多いのですが、ふと自分の個人メールアドレスを見ると、スパムでもないし自分あてのメールでもないものが日に日に増えていっているような気がします。

それはどういうものかということ、自分から進んで登録していったけれど、いつしかあまり必要としなくなっていったメールマガジンなど。オンラインショップから来るバーゲンのお知らせメールや企業からの新製品情報などがメールで来るのですが、スパムのように即削除とまではいかないものの、フォルダにためられたまま見ることがないであろうメールの数が徐々に増えているという感覚があります。

最近ではこのような、自分で登録はしたものの、あまり見るものがなくなってしまったメールのことを「ベーコン」(Bacon)と呼ぶそうです。個人的なメールではないけれどもスパムでもないもの、例えばTwitterなどのサービスから送られてくる、さまざまなNotifyメールもベーコンの1つ、だとのこと。

この言葉を知ってから、なるほどそういう分類もあるのか!と、自分なりにベーコン的メールを切り分けるフィルタを作ってみたところ、メールボックスが本当にきれいになってしまいました。次々やってくるメールのほとんどはスパムとベーコンフォルダに分けられていき、スパムは削除、そしてベーコンは本当に暇なときにタイトルだけ見る、というようになりました。メールに費やす時間はかなり節約されたと思います。

が、最近になって「ほとんど」どころではなく自分に届くメールの9割9分がスパムかベーコンであることが判明、まったくもってメールが来ない現実を目の当たりにし、ベーコンなんて言葉を知らなければよかった、と後悔しています。け、決して友達が少ないとかじゃなくて、Twitterやインターネットメッセージで事足りるようになった、ということですので……多分……。

(@IT編集部:宮田健)

## No.330

### データベースチューニングマニアックス! / あなたがこれを読んだのも引き寄せの結果?

2007年11月22日

## [コラム] 営業担当のつぶやき あなたがこれを読んだのも 引き寄せの結果?

たくさん本を読むほうではありませんが、少し前に知人からスピリチュアル系ビジネス書(?)「引き寄せの法則」がよく売れていると聞き、なんとなくネット書店で購入しました。

序文は「神との対話」で有名な著者ニール・ドナルド・ウォルシュの寄稿から始まります。ここでいきなり「今あなたは何をしてる?(中略)証拠はそれで十分だ」ときました。つまり私は「引き寄せの法則」によってこの本を買ったらしいのです……。しびれるほどの怪しさにむしろ癒されます。

本書の全般的な書評はネットにたくさんありましたので割愛します。なかなかの高評価、かつ長文で真面目な書評が多くありました。

個人的にお勧めしたい見どころは、著者である夫婦が「引き寄せの法則」へたどり着くまでの経緯です。夫はオカルト大好き。夫を愛しているがオカルト嫌いの嫁。夫は嫁が拒否反応を示さない境界線を探してみたり、辛抱強く説明したり。

一方嫁は、寝室にそれ系の本を持ち込ませなかったり、夫が話したくてウズウズしている姿を冷静に分析していたり。しかし最終的には嫁がなんと霊能力者になってしまったという。そんな人間ドラマが繰り広げられます。

強く思うことで現実のものとなる、というこの法則。10月にアイティメディアに入社したわたしですが、これはわたしが引き寄せたのか引き寄せられたのか。それよりもこれから良い仕事をたくさん引き寄せないといけませんね。

ニール・ドナルド・ウォルシュ太鼓判、お守り代わりにこの1冊、みなさんも引き寄せられてみませんか?

(ライフスタイル・メディア営業部: 藪田淳史)



## No.331

### 内部統制に戸惑っているのはあなただけではない! / 拒絶反応? にヒヤリとした週末

2007年11月29日

## [コラム]@IT自分戦略研究所編集者のつぶやき 拒絶反応? にヒヤリとした週末

つい先日、友人が PC を新しく組むことになり、余った CPU を安価で譲ってもらうことになりました。「これで僕もマルチコア使いの仲間入りだ」と時代から 2 週遅れくらいの感慨に浸りながら CPU を交換しました。

交換自体は問題なく終わり、CPU もうまく認識されたようでほっと一安心。手元にあるデータでマルチコアの力でも拝んでみようかと、自宅を録画した動画をエンコードしてみたところ、順調に作業が進んでいたはずなのですがいきなり「ブツン」と音を立ててディスプレイが真っ暗に。

「すわ、何事?」と焦りながら、まずは PC の様子を見ます。ファンから涼しい風が送られてくるだけです。気を取り直して電源を入れ直しても、やはりファンが回るだけ。一応 HDD の音がかすかにしたので、そちらへは通電しているようなのですが、BIOS が起動しないのです。

とにかくいきなり切れてしまったので、どこが問題になっているのかさっぱり分かりません。問題を切り分けるべく、あちこちの接触を試してみたり、古いパーツを持ち出してパーツの不良を疑ってみたり……。なかなか原因が特定できません。私の PC は 2 年くらい前に組んだものなので、グラフィックスカードやメモリならともかく、マザーボードを変えらるとなるともうこれまで使っていた Socket に対応したものが売っていません。「マザーと CPU の交換か……」と肩を落とし、休日の秋葉原行きを決意しました。

しかし、その 1 週間後、最後の悪あがきとばかりに祈りながら電源スイッチを押すと何の問題もなく動くのです。手痛い出費を覚悟していた自分としては拍子抜けです。私の祈りが通じたのでしょうか……。

結局何が原因で動かなかったのかさっぱり分かりません。いきなりやってきた「異物」に拒絶反応を示したのかもしれない。PC は今日も快調に動いていますが、「またいきなり動かなくなったらどうしよう」とおびえながら電源を入れる日々が続いています。

(人財開発編集部：千葉大輔)

## No.332

### 設計で手を抜くと、あとが大変！／オトナのアニメで異文化交流！

2007年12月6日

# 【コラム】TechTarget企画部スタッフのつぶやき オトナのアニメで異文化交流！

全世界で大ヒットしている大人向けアニメ「サウスパーク」が、自分の中で熱い。

最初はスラングを勉強するために必死で見ていたのが、いまでは内容を理解して笑えるようになった。この作品、アニメとは思えないほどたくさんの生きたスラングが出てくる。もちろん、ここで勉強できるスラングはそう簡単には使えない。ただし親しい仲間同士の会話で使う、buddy、man、dude など（どれも友人親友というような意味）はかっこいいし、すぐに使えるからおすすめ（？）だ。

内容はまさに大人向けアニメ。コロラド州の小さな町・サウスパークに暮らす 4 人の小学生らが繰り広げるお話しで、過激な下ネタや、実在する有名人や政治や社会、国際関係に関係するブラックジョークが続々と出てくる。例えば私が初めて購入したサウスパークの DVD では、あのフセイン元大統領が「ゲイ」という設定だ。

このような内容なので、子供が間違っ見てしまわないよう、放映時間もかなり遅く設定されている。この過激さを考えると、この扱いは妥当だろう。

ただ、内容は過激ではあるがなんかどことなくスッキリしている。逆に、こんな過激な内容でここまでスッキリしてしまっているのかと思う。なんといっても登場人物の 1 人、ケニーが毎回、何かしらのかたちで死んでしまう。それすらもスッキリしているように思えてくるからこの番組は恐ろしい。

犯罪への影響は大丈夫なのだろうか？ と最初は心配したが、どろどろしているよりは、このようにスッキリしていた方が犯罪への影響は少ないのかもしれない。

(ターゲティングメディア事業部：大西健司)

## No.333

湿布じゃないよ、SIPだよ / 今年も勝手にミュージック・オブ・ザ・イヤー、ベスト20  
2007年12月13日

# 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 今年も勝手にミュージック・オブ・ザ・イヤー、ベスト20

@ IT 編集部の平田です。毎年恒例(?) 今年も私の独断と偏見に満ち満ちたベスト・ミュージックを 20 曲発表します。選んだ理由も添えているので、暇なときに読んでやってください。

1 アーティスト／グループにつき 1 曲で選びました。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム／シングル名です(敬称略、曲名アルファベット・50 音順)。

1 : Bird Flu (M.I.A.) 『Kala』より

スリランカとイギリスをルーツに持つ女性ミュージシャン M.I.A. のニューアルバムから「鳥インフルエンザ」というタイトルの曲を選びました。バリ音楽とヒップホップとダンスホール・レゲエが混ざったようなビートが面白いです。

2 : Disk Partizani (Shantel) 『Disk Partizani』より

バルカン音楽とダンス系音楽を融合した音楽性で一躍名を馳せたドイツ出身の DJ Shantel のニューアルバムからの 1 曲。ジプシー的ブラスやメロディーが電子ビートに乗っかっていて、実に興味深いです。

3 : El Kitapena (Manu Chao) 『La Radiolina』より

ラテン・ロックの大御所、元 Mano Negra のメンバー Manu Chao の久しぶりのソロ・アルバムからの 1 曲。哀愁漂うラテン系メロディーと軽快なビートが心に響く曲です。

4 : FUNKY TOWN (安室 奈美恵) 『PLAY』より

沖縄が生んだヒップホップ・ソウルの女王、安室奈美恵のファンキー・ダンス・ナンバー。この曲は某 CM で使われ、一発でハートを打ち抜かれました。安室は小室ファミリーを抜けてからの方が好きです。

5 : Girlfriend Japanese Version (Avril Lavigne)

今年流行りまくったアメリカのロック歌姫による突撃恋愛ソングのサビだけ日本語バージョンです。日本語の歌い回しに違和感がありまくります。Avril は今年から一気に弾けてびっくりするくらいギャル化しましたが、何かあったんですかね。

6 : The Good, The Bad & The Queen (The Good, The Bad & The Queen)

『The Good, The Bad & The Queen』よりイギリスのバンド Blur のボーカルと The Verve のギタリスト、元 The Clash のベーシスト、そしてアフロ・ビートの重鎮ドラマーによるスーパーグループが今年の初めに発表したアルバムよりアルバムタイトルチューンを選曲しました。シンプルで飽きが来ない非常に良い曲です。

7 : Icky Thump (The White Stripes) 『Icky Thump』より

すでに 2000 年代の顔ともいえるアメリカのベースなし 2 人ロックバンドのニューアルバムから、シンプル極まらない落雷ギターリフが印象的な 1 曲目です。安易に電子音楽に走らずに、これだけ新しいブルース／ロックを生み出せるこのバンドはもはや “ふたり Led Zeppelin” です。

8 : Lava Lava Original Mix (Boys Noize) 『Oi Oi Oi』より

これまで Kid Alex という名義で活躍していたドイツ人 DJ / プロデューサーが名前を変えて出したニューアルバムからの 1 曲。歪んだノイズが混じった電子音のビートがひたすら気持ちよくしてくれます。

9 : Lay Down The Law (Switches) 『Heart Tuned To D.E.A.D』より

イギリスの新人ロックバンドによるゴキゲンなディスコ・チューン。Fuji Rock でのライブも盛り上がりまくりました。Franz Ferdinand が好きな人にはぜひお勧めです。

10 : Let It Roll (Velvet Revolver) 『Libertad』より

元ガンズ&ローゼスのギター・ベース・ドラムと元 Stone Temple Pilots のボーカルほかによるアメリカのスーパーバンドのセカンド・アルバムの 1 曲目。疾走感溢れるギターリフとビートは昔のガンズ好きにはたまりません。来日公演中止は非常に残念でした……。

11 : Physical Cities (The Bad Plus) 『Prog』より

Jazz の革命児バンド The Bad Plus のニューアルバムより。このバンドを知ったのは Nirvana の Smells Like Teen Spirit をハチャメチャにカバーした曲を友人より教えてもらったからです。今回もハチャメチャです。

12 : The Pretender (Foo Fighters) 『Echoes, Silence, Patience And Grace』より

アメリカを代表するロックバンド Foo Fighters の 6 枚目のスタジオ／アルバムから、静と動、緩と急が入り交じる壮大な歌曲です。ボーカル／ギターの Dave Grohl はもともとドラマーとして名を馳せた人で、自分にとって心の師匠です。

13 : Temptation Ft. Alex Turner (Dizzee Rascal) 『Maths And English』 より

イギリスの「グライム」と呼ばれるテンポ早めの電子音主体のラップ音楽の第一人者ニューアルバムから、これまたイギリスの新人ロックバンド Arctic Monkeys のメンバーがボーカル／ギターで参加した曲。電子音とギターの絡みが気持ちいいです。

14 : Tick Tick Boom (The Hives) 『The Black and White Album』 より

スウェーデンのロックンロールバンド The Hives のニューアルバムから選んだ、時限爆弾のようなキメ・フレーズが面白い曲です。ライブでむちゃくちゃ盛り上がりそうな曲です。

15 : The Way We Roll Feat. Busta Rhymes & Shaggy (Elephant Man)

『Let's Get Physical』 よりダンスホール・レゲエのジャマイカ代表選手 Elephant Man とラッパー BustaRhymes、そして同じくダンスホール・レゲエのベテラン Shaggy の競演曲です。みんなキャラが濃くて妖怪大戦争です。

16 : くちびるモーション (Puffy) 『Honeycreeper』 より

アメリカでもアニメで大人気らしい日本の女性 2 人組が歌うシンプルでポップなロック・チューン。某 CM で使われたサビが印象的で、最初は「また奥田民生の曲かな?」と思っていましたが、この曲を書いたのは何と元 The Yellow Monkey の吉井和哉でした。

17 : 花の名 (Bump Of Chicken) 『Orbital Period』 より

日本の実力派ロックバンド Bump Of Chicken の間もなく発売されるニューアルバムからの雄大なバラードです。某映画の主題歌としても有名ですね。メンバーの藤原基央の書く独特の詞とメロディーは実に美しいです。日本の宝です。

18 : 大迷惑 (MONGOL800) 『ユニコーン・トリビュート』 より

今年日本の伝説のバンドユニコーンのデビューから 20 周年ということで、そのトリビュートアルバムが作られ、多くのバンド／歌手が参加しました。その中から沖縄出身のロックバンド MONGOL800 によるカバー曲です。沖縄風味の味付けや MONGOL800 ならではの「間」が原曲を壊し過ぎず、大人し過ぎずで絶妙です。

19 : 恋のメガラバ (マキシマム ザ ホルモン) 『ぶっ生き返す』 より

「日本の何でもありロックバンドによる変な曲です。デス声や甲高いラップやポップな歌声といろいろなリズムが混ぜり合う感じがすばらしい」と今年春の@ IT 通信の「上場記念! 気分上々ソング、ベスト 20」でも選びましたが、手抜きではありません。今年、この曲は外せないんです。

20 : 15 Step (Radiohead) 『In Rainbows』 より

今年突然発表したアルバムが音楽性以外のところばかりで話題となっているイギリスの音楽作成集団 Radiohead。このアルバムは音楽自体もとても素晴らしいもので、オープニング曲では電子音と生楽器演奏、そして歌声のレイヤが幾重にも渡り折り重なって絡み合い、「さすが」としかいいようがありません。

今年も面白い音楽がいっぱい生まれましたね。ほかにもお勧めの曲がたくさんあったのですが、字数の関係上仕方なく 20 曲に絞りました。皆さんも機会があれば、ぜひ聞いてみてください。

(@ IT 編集部 : 平田修)

## No.334

### 縁の下の力持ち、DNS再考 / 今年手に入れたすばらしいデジタルグッズ5選

2007年12月20日

#### [コラム]@IT編集部員のつぶやき

# 今年手に入れた すばらしいデジタルグッズ5選

2007年もあと1週間。今年もさまざまなデジタルグッズがわが家にやってきました。思えばいろいろと散財してしまったわけですが、今回は買ってよかった! と心から思えたデジタルグッズ、トップ5を取り上げてみることにしましょう。

#### ●第5位 リモコン付き照明

今年は久々に引っ越しをしたのですが、そのときに照明器具が1つ足りなかったので思い切ってリモコン付きのものを買ってみました。タイマーで決められた時間にオンにする機能があるので、目覚まし代わりに明かりをつけています。すぐ消して2度寝してしまうので意味がないのですが。

#### ●第4位 B5サイズのノートPC (中古)

自宅ではMacを使っているわたし。でも出張などで持ち歩くにはデカいし重いので、ミニノートをオークションで手に入れてみました。数えたところ現行機種種の7世代前の古いもので、メモリも少ないですしハードディスクもうるさいのですが、ちょっとしたメモ書きならばまったく問題なし。これで出張もばっちり! なのですが、今年は1回しか出張がありませんでした。

#### ●第3位 iPod shuffle

ランダム再生を楽しむ、という割り切りがとてもよいと思います。最小限の機能であることが逆に便利で、普通のiPodを持っているにもかかわらず持ち歩くのはこのshuffleであることが多いです。

#### ●第2位 ワンセグ付き携帯電話

初代のアクオスケータイを手に入れました。実はわが家、テレビがないのでニュースなどはこの携帯電話についているワンセグで見えています。わたしにとって優先度が高いのは大画面よりも「個」画面ですね。そしてモバイルfelicaで定期券代わりにもなるので、毎日手放すことができません。

#### ●第1位 ニャンだろ~?! 光線

栄えある第1位は誰がなんといおうとこれ。これはレーザーポインターのようなモノで、ボタンを押すと照ら

される魚の形の光が猫の本能をくすぐります。そして猫のハンターとしてケモノとしての一面を見せてくれる実にすばらしいアイテムなのです。それが 1 位かよ! という声もあるでしょうけれど、電源をオン・オフできるのですから立派なデジタルグッズでしょう。わが家ではこれに付いているチェーンの音がチャラッとなるやいなや、どこからでも猫がすっ飛んでくるというほどお気に入りのようです。

さて、来年はどんなすばらしいデジタルグッズが登場するのでしょうか。多分ニャンだろ～光線を超えるグッズはなかなか登場しないのではないかと思います、ウチの猫にとっては。

(@ IT 編集部 : 宮田健)



## No.335

後悔しないためのバックアップ術 / 2007年、発行人が選ぶ@IT (内輪の) 10大ニュース  
2007年12月27日

# [コラム]@IT発行人のつぶやき 2007年、発行人が選ぶ @IT (内輪の) 10大ニュース

2007年の@IT通信は今回が最終号。そこで@IT発行人の私、新野が勝手に選ぶ、@IT編集部、@IT情報マネジメント編集部、@IT MONOist編集部、@IT自分戦略研究所編集部の4編集部で起きた、印象深かったできごとトップ10を紹介しましょう!

第10位 社内のレイアウト変更で窓際に追いつめられる編集部

第9位 新野の失言のおかげで、新人配属ナシか?

第8位 社内異動に揺れる編集部

第7位 なぜかスタッフの引っ越しがブームに!

新人研修での私の「新卒ではつとまらないよ」発言が波紋を呼んだ事件 (第9位)。そして、編集部のスタッフが次々に自宅を引っ越すという現象 (第7位) もありました。

第6位 相次ぐスタッフのおめでた&産休!

第5位 Yahooへ@ITニュースの提供開始

第4位 基本レイアウトのCSSへの切り替え作業

これまでHTMLのテーブル機能でレイアウトしていたページをCSSに変更。地味で時間のかかる作業でした (第4位)。その作業を主に担当したデザイン担当A、それに編集担当Tと、夏から秋にかけて次々におめでたで産休突入 (第6位)。スタッフに子供ができるというのは、個人的にもうれしいできごとでした。

第3位 大阪で初イベント

第2位 @ITイベントカレンダー開始

第1位 @IT MONOist開始!

11月には、ついに大阪で100名規模のイベントを自主開催 (第3位)。そして今年は大きな新サービスを2つ投入 (第2位、第1位) したところ。この2つは来年、ぜひ大きく羽ばたいてほしいと思っています。

この 1 年、@ IT は順調に成長したと同時に、来年の種まきもでき、充実した 1 年でした。読者のみなさまは、  
どんな 1 年だったでしょうか？

今年もご愛読に感謝いたします。よいお年をお迎えください。

(@ IT 発行人／アイティメディア株式会社 常務執行役員：新野淳一)

2008

No.336

モバイルWiMAXって何だろう？／仕事への“テコ入れ”を誓う！？

2008年1月10日

[コラム]会長のつぶやき

## 仕事への“テコ入れ”を誓う！？

新年あけましておめでとうございます。2008 年新春、皆さんはどのように迎えられましたか？ 今年も「@ IT」をはじめ、アイティメディアの各種メディアをどうぞよろしく願いいたします。

さて、新年に誓いも新たにすることは何でしょうか？

私は、仕事をいかに“テコ入れするか”です。

え、なにか行き詰まった仕事を強引に進めることか、ですって？ 違います。仕事の進め方に、どのように“テコの原理”を駆使するかという考え方のことです。

というのも、最近、本田直之氏の「レバレッジ時間術——ノーリスク・ハイリターン成功原則」に感化されたからなのです。そう。「レバレッジ=テコ」なんですね。

同書を読んで最も感心するのは、限られた時間で人生を楽しみ、かつ人並み外れた結果を残す人の思考法についてです。

彼らは時間を「消費」ではなく、「投資」しています。「投資」することで「時間資産」を築き、「不労所得」的に時間を得ているのです。（同書より）

著者はこんな例を挙げています。かつて PC が普及し始めた時期のこと。著者はタイピングを習得すべく 5 日間の集中トレーニングを受講したといいます。人生の長い期間を考えると、タイピングに習熟しているか否かでどれくらい時間資産上の差異を生むかと説きます。

少しずつ時間資産を引き出す「節約」ではなく、大きなリターンを創造する点を見つけ、そこに「投資」する。これがレバレッジ（テコの作用）の神髄です。

大きなリターンを生み出すカイゼン点はないか。今年はそんな思考法を自分に動機づけてみたいと考えているところです。皆さんはいかがでしょう？

（アイティメディア 代表取締役会長：藤村厚夫）

No.337

システム運用管理の日常を知る / 砂漠の中で思ったこと

2008年1月17日

## [コラム]社長のつぶやき 砂漠の中で思ったこと

アイティメディア 代表取締役社長の大概です。遅ればせながら、読者の皆様に新年のごあいさつと旧倍のご愛顧をお願い申し上げます。

今年の正月は UAE (アラブ首長国連邦) のドバイにいました。アラブ圏では最も安全な観光地として、最近メディアでも多く取り上げられる大都市です。

アクセスが良く安全でありながらアラブのエキゾチックな情緒を味わうことができ、アラビア海の美しいビーチ、砂漠の中の隠れ家リゾートがあり、ショッピングにかかる税金も安いなど、旅人を飽きさせない観光資源にあふれています。

ドバイ都市部の人口 120 万人のうち、現地の人は 20%で残りの 80%は外国人です。英語が標準的に使われていますが、「人種のるつぼ」状態のため、かなり激しい「なまり」があります。現地の方で街を歩いているのは圧倒的に男性で、時折見かける女性は皆黒いベールをまとい、「アラブの国」を感じさせます。

アラビア海に面した美しい海岸にドバイのシンボルとして建っているのが、世界でただ 1 つの 7 つ星ホテルといわれるバージール・アラブです。セキュリティが厳しく、宿泊者以外はその広大な敷地にすら入れません。6000 円程度の入館料で見学ができるそうです。

現在、市内のど真ん中にドバイの新しい顔となる地上 800m、180 階建ての「パール・ドバイ」という超高層ビルが建設中です。1 月 2 日の英字新聞に「168 階まで完成した」「このまま雲を突き抜ける」という記事を見かけました。別の場所では、すでに地上 1km を超える新しいビルの建設が始まったと聞きます。市内の至る所が建設中で「ああ、この街は未完成なのだなあ」と感じます。完成したらいったいどのような未来都市が出来上がるのだろう、と期待と不安が交錯します。

原油高など、怪しい雲行きを経済環境の中で、オイルマネーの象徴ともいうべきドバイの地でいろいろなことを考えましたが、本日はそのうち 1 つだけ触れたいと思います。

今年はポスト京都議定書といわれる「洞爺湖サミット」で、待ったなしの地球温暖化対策、環境問題が主なテー

マとして取り上げられそうですが、ドバイのように全力疾走で開発と発展を続けているところでは、残念ながら「環境問題」は完全に置き去りにされています。きっと、中国やインドも同様でしょう。

「環境保護」を理由に発展途上国 (?) の開発や成長を抑制することは不可能ですが、先進国が母なる地球の致命的なダメージを知っていながら、経済成長優先をはばかりなく通そうとするのも、人間のおぞましさかなと思います。

先進国が苦渋の決断をもって「経済」より「環境保護」を優先したとしても、それをはるかに上回る規模とスピードで途上国の開発と環境破壊が進むことが明白で、誰もその流れを変えられないところにこの問題の難しさがあります。

しかし、「環境問題」を技術や産業セグメントととらえた場合、まだまだ地球環境を守っているためのテクノロジーは未開拓であり、未曾有の可能性を秘めており、また社会情報インフラとしての集積度も未熟です。IT の次にわれわれ（日本や本来は米国）が築くべき「英知」かな、と感じました。

(アイティメディア 代表取締役社長：大槻利樹)

No.338

ITエンジニアとユーザーの共通言語、モデリング/デジタルデータの寿命

2008年1月24日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき デジタルデータの寿命

デジタルデータの利点の 1 つは、場所をとらないことだと思っています。ここ最近では音楽 CD をすべて PC に入れることで、CD ケース自体は収納棚の奥深くにしまうことができました。分類も一瞬で便利です。

でも、デジタルデータで怖いのは消えるのも一瞬であること。それに、紙ならば多少色あせて劣化しても読むことができますが、デジタルデータは 0 か 1、読めるか、読めないかです。

そんなこともあって、自分はデジタルデータに対しては病的なまでに慎重で、常にバックアップを取っています。正月の長いお休みの間に思い立ってそのバックアップデータを見直してみましたが、いくつか気になった点があったので今回はそれを取り上げてみます。

### ●バックアップメディアは 1 年に 1 回必ず見直そう

最も古いデジタルデータは 1993 年のタイムスタンプでした。当時はフロッピーディスクにバックアップしていたものが ZIP ドライブ、CD-R、DVD-R と徐々に大きいメディアに移行し、現在はハードディスクをバックアップメディアとして利用しています。たまたま 4 年前に作成したバックアップ DVD-R を見つけたので読み込んでみたのですが、なんとすでに読み取り不能になっていました……。

もしハードディスクに保存していなかったら 2、3 年分のデータが消えていたところでした。保存しただけで満足せず、たまにはメディアの入れ替えをしないといけないね。

### ●10 年後もその圧縮・展開ツールは存在していますか？

以前はバックアップメディアも容量が小さく（当時は大容量だったのですが）、高価であったため 1998 年ごろのデータを見ると圧縮されて保存されていました。ところがこの圧縮ファイルの形式がメジャーなものではなく、圧縮率の高さだけが売りのツールで処理されたもの。すでにそのメーカーは存在しておらず、1 年分くらいのデータが消失……。

最近ではメディア単価も安いので、なるべく圧縮せずに保存するようにしています。

●環境とアプリケーションもバックアップが必要

自宅では Mac を利用しているのですが、時代とともに OS のアーキテクチャが大幅に変更されたため、1990 年代に作ったファイルはアプリケーションが実行できず、内容を見ることができませんでした。幸い当時の OS とハードウェアを保持していますので、万が一のときには開くことができますが……OS は日々進歩しているとはいえ、使い慣れたアプリケーションが動かなくなることは残念なことです。

今回過去のデータを整理していて感じたのは、やはりテキストファイルは強い、ということです。15 年近く前のデータで、今の PC でも見られる形式はテキストデータと一部の画像ファイル程度。最近のアプリケーションは XML 形式でもファイルを保存できるというのは、この点を考えると非常に納得ができます。

バックアップを取るときには、10 年後でも見られるようにちょっと工夫してみたいかがでしょうか。デジタルデータで自分を振り返るのもたまにはいいですよ。

(@ IT 編集部 : 宮田健)



No.339

OpenIDって何だろう？／経営とIT、このすばらしき世界

2008年1月31日

## 【コラム】@IT情報マネジメント編集部員のつぶやき 経営とIT、このすばらしき世界

「でもね、世間じゃ SCM、SCM っていわれてますけど、ホントはそんなにステキなものじゃないですよ」

それまでまゆ 1 つ動かすことなく、丁寧に戦略を語っていた氏は、私が取材ノートを閉じた瞬間、急にそんなこといいだした。

「在庫を減らすっていえば営業がうるさいし、営業にいい顔すれば生産部門が騒ぐし……。全体最適っていても、結局、部門の力関係や人間関係だったりするじゃないですか。定義通りの最適化なんて、なかなかできないですよ。びくびくしながら調整してるんです」

氏はそれから少し間をおくと、部屋の入り口を一度見やってから、「だから『関連部門をリード』とか、くれぐれもエラそうなふうには書かないでね」と小声でいうのだった。

一方、すごい勢いの人もいる。

「CRM が難しいのは当たり前。でも、とにかくやるんです。ウチはトップがきっちりリードしてくれてるし、私も関係部門にヨコグシ刺しまくってますよ。多分、社内でめちゃくちゃ嫌われてるんじゃないかな。でもこの本気度を外の人にもぜひ分かってほしいね」

企業取材をしていて楽しいと思うのは、こういうホンネというか、素の部分を見せてくれる人たちに出会ったときだ。企業戦略そのものは理路整然としていても、その裏側では実に色んな人間ドラマが渦巻いている。

申し遅れました。この 1 月から@ IT 情報マネジメント編集部に入りました内野と申します。これまでもいろんな媒体に手を染めてきましたが、編集記者の仕事を通じて、上記のような、ちょっとしたドラマをたくさん見えました。

経営論の本を書いたのに、自分の会社は潰れちゃった元社長。いつも誌面で高級車をリコメンドしているのに、普段はボロい原チャリに乗っている自動車評論家。広告塔としてイベントに出席したのに、離婚のことを取材陣に突っ込まれたせいか、私の取材中ずっと「やってらんねえよ」とつぶやいていたさわやか系俳優。悪評高い法律

について「私も同感です」と口走った後、突然の上司の登場に、慌ててタテマエを並べはじめた国の役人。でも皆さん、人間臭くて味わい深い方ばかりでした。人間、矛盾やあつれきにとらわれると、いい味を醸すものなんでしょうか。

世に出されている情報はどんなにキレイで格好良くても、一皮めくれば矛盾だらけで不完全。私の場合、そのギャップから感じる楽しさが、この仕事を続けている 1 つの支えになっているのかもしれませんが。

特に、企業戦略は理詰めでまとめられている分、ギャップを知ると戦略に体温のようなものが感じられて、ひとしお趣深いものです。ホンネを話してくれた人には、親近感のようなものすら感じて、自然と応援したくなってしまいます。

中でも「経営と IT」という分野は、企業の経営層や現場層、コンサルタント、ベンダなど、たくさんの人たちの思いが複雑に絡み合っています。いま一番、時流に乗った世界でもあり、ほかの分野よりダイナミックなドラマが多いのではないのでしょうか。

そういう世界を見てみたい、そこにいる人たちのドラマを味わいたいと思ったのが、この仕事を選んだ大元の動機だったりします。動機としては、少しヒネかれていますでしょうか？

何はともあれ、個人的にはそんな期待感を持ちながら、キレイなだけの理想論に流されない、現実根ざした情報提供をしていけるよう、努力したいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(@ IT 情報マネジメント編集部：内野宏信)

## No.340

### 今日からわたしも「作る側」へ／楽しい弁当生活の始まり

2008年2月7日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 楽しい弁当生活の始まり

私事ですが、最近結婚をしました。いままで夜遅くまで働いていたのですが、なるべく早く帰宅して夕飯を家で食べるように努めています。

実は、結婚する直前にいままでの疲れが出たのか体調不良が続いていたのですが、1月から2人暮らしを始めて健康的な食事と睡眠を取ることで、だいぶ調子が戻ってきました。コンビニや外食でも健康にいいものを意識して食べるようにはしていたのですが、やはり手料理を誰かと一緒に食べるというのは重要なことだと感じています。

つい先日は、妻が夕飯の残りでお弁当を作ってくれました。が、長らく弁当生活を送っていなかったので、私は肝心の「はし」を持ってくるのを忘れてしまいました。というよりも、そもそも弁当用のはしなど家にありません。

その日はたまたま会社の机の中にコンビニの割りばしがあったので事なきを得ました。早いところ買っておかないと駄目だなと考えていたら、携帯でチェックしていたニュースに飛び込んできた「はし」の文字。

それは、パンズから発売された「ストラップ型マイはし」についての記事でした。はしを忘れたその日に、携帯電話でこの商品を知ったので、何か運命的なものを感じました。

早速ネットでチェックしてみると、はし袋のデザインもよく、「環境ビジネスの展示会『エコプロダクツ 2007』」で販売したところ、予想以上の好評で在庫がなくなってしまった」というニュースも発見しました。

これは買うしかない! と思って帰宅したところ、すでに妻によって別のはしが購入されていました……。

感謝の気持ちと残念な気持ちが交錯するとともに、2人で生活するというのはこういうことか、と納得。しばらく新鮮な日々が続きそうです。

(テクノロジー・メディア営業部：山岡大介)

## No.341

### 便利で危ない電子メール／便利と危険の綱引き

2008年2月14日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 便利と危険の綱引き

最近、アカウントアグリゲーションのツールを使い始めました。アカウントアグリゲーションとは銀行や証券会社の残高情報、さらにクレジットカード、電気、ガス、電話などの請求情報をまとめて管理できるツールで、今現在の自分の資産と負債が一目で分かるというとても便利なものです。投資や財産形成に関する本を読むと必ず書いてある「自分の収支を確認しよう」という目的にはぴったりです。

このツールにインターネットバンキングなどの ID とパスワードを登録すれば、ボタン 1 つで最新の残高情報を更新してくれます。どうも内部では金融機関などのサイトへ HTTP で接続し、その内容を解析してリクエストを投げるというカ業で成り立っているようです。そのため、金融機関のページがリニューアルするとしばらくの間使えないということもおきます。

……と、最初は便利だと思っていたものの、やはり気になるのはセキュリティ。このアカウントアグリゲーションには ASP サービスとして提供されるタイプと、クライアント PC にインストールするタイプの 2 種類がありますが、前者は ID とパスワード（要するに銀行の暗証番号そのもの）をサーバに預ける形になります。後者はそれが PC 内に暗号化されて保存されるためより安全ではありますが、おそらく、事故が発生したとしても自己責任となるでしょう。

徐々に PC って便利だ! と思ったツールなのですが、取り扱っている情報が漏れると文字通り「身の破滅を招く」ものなので、常用するかどうかはメリット、デメリットをてんびんにかけた上で決めるべきものかと思います。これだけ便利であると攻撃者にとっても「便利」ですので、DNS ポイズニングやファージングなどで正しいサイトのふりをしたニセモノに接続してしまい……という可能性もゼロではありません。

しかし、その危険性はブラウザでインターネットバンキングを利用する場合も同じこと。常にセキュリティアップデートを行い、自己防衛しつつ利用するというのが現実解なのかもしれません。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

No.342

MySQLってどうなるの? / 仮想化はどこに向かうのか

2008年2月21日

## [コラム] 技術部スタッフのつぶやき 仮想化はどこに向かうのか

仮想化をウィキペディアで調べてみると、仮想化の定義は「リソースの物理的特性をそのリソースと相互作用するシステム、アプリケーション、エンドユーザーから隠ぺいする技法」と解説されています。今回はその中で主にサーバの仮想化についてつぶやいてみます。

ここ数年、サーバやストレージの新製品が出るたびに、プレスリリースには仮想化の文字が並び、これからは仮想化の時代だといわんばかりです。しかし、実際に使用されている話はあまり聞きません。私自身、前職で仮想化機能を持った、ちょっと頭のよいブレードサーバの導入をしていましたが、汎用的な HA クラスタサーバとしての機能しか使っていませんでした。

サーバの仮想化がほとんど浸透しないうちに、シンクライアントなどクライアント PC の仮想化が注目を浴びています。クライアント PC の仮想化はセキュリティの確保という明確な目的があるため導入が早いようですが、なぜサーバの仮想化は浸透しないのでしょうか?

サーバの仮想化のメリットはハードウェアコスト削減、使用効率や可用性の向上などいろいろとありますが、ユーザーから見える一番大きなメリットはコスト削減だと思います。しかし、実際にコスト削減の効果を得るためには、ある程度の導入規模が必要になります。

そうすると、仮想化に向けたブレードサーバや SAN ストレージの導入も必要になることが多く、単純にサーバを並べるよりもコストが高くなってしまいます。スモールスタートが可能なハズの仮想化が、ハードルの高いものになっているのが現状のようです。管理・運用する面から見れば仮想化はとても魅力的で、1990 年代に流行ったダウンサイジングの流れで分散化され、台数が増えすぎたサーバを統合し、スパゲッティ状の LAN ケーブルや電源ケーブルから解放されるのも精神衛生上望ましいと思います。

当初はクライアントのアプリケーションとして使われていた Java が、サーバサイドのアプリケーションでも活躍しているように、当初の目的とはちょっと違うところで活躍してる例もありますから、サーバの仮想化も今の流れとは違った活躍方法があるのではないかと考えつつ書いてみましたが、そうそう簡単には新しい発想は生まれないようです。

(技術部: 石野博之)

## No.343

# Adobe AIR 1.0がとうとう公開！／今、ラジオのエアチェックが熱い！

2008年2月28日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 今、ラジオのエアチェックが熱い！

みなさまが家に帰って最初にする事といえばなんでしょう。テレビをつける？それともPCの電源スイッチに手を伸ばす？わたしの場合は「ラジオをオン」。いまさらラジオ？というなかれ、ネット時代におけるラジオはなかなか現代人と相性のいいメディアになりつつあるのではないかと、思い始めました。そこで、今ラジオを聴くべき3つの理由を挙げてみましょう。

### ●その1：人と違う情報が得られる

「最近ラジオを聴いてるんだよね」というと、ほとんどの人は「なんで？」という反応です（わたしの場合、テレビを持っていないのが一番の理由なのですが）。それだけに、ラジオで取り上げられている話題などはとても新鮮でした。ここ最近では4月からスタートする緊急地震速報のラジオ放送に関連して、災害に関するトークが各番組で行われていました。阪神大震災での体験談が多く寄せられていたのですが、テレビでは最近ほとんど取り上げられなくなったことも、ラジオでは丁寧に番組化していると感じました。

### ●その2：デジタルメディアプレーヤーとの相性がよい

実はラジオを聴くきっかけとなったのは、PCで録音ができるUSBラジオチューナーの存在です。これを使うとタイマー録音した番組をそのままデジタルメディアプレーヤーに転送することができ、通勤途中でラジオ番組をクリアに聴くことができます。これが非常に便利。今までは特定の曲を何度も聞くというようなスタイルだったのですが、今ではラジオ番組ばかりを聴くようになりました。

### ●その3：「ながら」で聴ける

ここが一番のポイントだと思うのですが、テレビですとどうしても画面を見ないといけないので、テレビに自分の時間が占有されてしまいます。ラジオであれば占有されるのは耳だけですので、インターネットを見ながらでもラジオを聴くことができます。ポッドキャストブームを見ていると思うのですが、音声だけというメディアには作るのも聴くのも手軽さがあり、動画とはまた違ったニーズがあると思っています。

本音をいうと、ラジオこそインターネット時代には放送から通信へ移行すべきメディアだと思っていますが、日本のラジオ局の場合、大人な事情があるからかポッドキャスト化すらも及び腰になっているようです。このままラジオがどんどんマイナーなものになっていき火が消えてしまうのは実にもったいない話。もし今回のコラムでなにか引かかるものがあつたとしたら、家に眠っているであろうラジオを取り出し、もう一度聴いてみてはいかがでしょうか。（@IT編集部：宮田健）

No.344

SaaSは「ソース」と読みます / 本日もダメ出しデイズなり

2008年3月6日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 本日もダメ出しデイズなり

このメルマガのコラムのお話をいただいてから、かれこれ数日、適当なテーマを模索していましたが、まあ、なにも出ません。正確にいうと、思いついてはダメ出しの連続です。

最初は「ウケるなにがし」のような本に書いてあった「起承転結ではなく、衝撃的一文から話を始めよ」を実践すべく、読者の皆さんがびっくりするような書き出しを考えてみました。しかし、特にびっくりするようなことはありません。「昨日、宇宙人と会議をしました」そんなことを書いたら、翌日から編集部に住づらくなります。

やはりこういうものは力まずに、さらっと書いたほうがよい。そう思って、直近の話題でお茶を濁そうと、知人〇氏の引越し顛末（てんまつ）記をテーマに……と書き出して数行、やはり他人のネタを書くのはよくないことだと思い始めました

しばしの思案のあと、超・極私的ライフワーク(?)である「鼻の形研究」についてうんちくをたれようと思いつきます。

これだけは、三十数年の人生で誰からも同意を得られない、マニアック過ぎる楽しみゆえ、あまり公表したくなかったのですが、背に腹はかえられません。

書いてみたところが、結局、鼻へのダメ出しです。やれ、吸気機能としてはB マイナスだ、軟骨としてあれはいただけん、などなど……。あらためて読むと、なんと「心の美しくない感」がにじむ文章でしょう。

そもそも、鼻の形状について、文章で説明してみると、なんともまどろっこしい。「小豆大の小鼻とシャモジタイプの軟骨によって形成される外観」や「開口部頂上近辺のトグロ状の部分が迷宮のように深く」など、鼻研究家以外にはまったく分からないに違いありません。

こうして悩んでいくうちに、夜はどっぴりとふけていきます。ますます焦る私。そして空は白んでゆき、締切日の朝を知らせるのです。こんなコラム、ダメですか？

(@ IT 編集部：原田美穂)

## No.345

### オフィスにおけるICカード／海外はダメでも東京プチトリップがあるさ

2008年3月13日

## [コラム]クリエイティブ室担当スタッフのつぶやき 海外はダメでも 東京プチトリップがあるさ

2007 年は旅行ざんまいでした。さらには引っ越しもあり、年明け早々まったく貯金がない状態で地味に過ごすこと 3 カ月……どこにも行かずじっと家にいるかというところでもありません。海外旅行は自粛中ですが、ちょっとくらいは旅したい!

そんなわけで、休みの日にはどこかへ出かけないと気が済まないわたしみたいな人、きっとほかにもいますよね? そんなに休み取れないし、そもそもお金ないけど、休みの日くらいゆっくり癒されたい! 実はそんな人にオススメの週末プラン、ご紹介します。

実は東京って天然温泉が多いんです。昨今はやりのスーパー銭湯やテーマパーク的温泉も侮れません。リーズナブルに温まってゆっくりして、美味しいご飯でも食べてきたら、それだけで週末東京プチトリップです。

最近お気に入りなのが、調布にある「深大寺温泉ゆかり」。ここはリーズナブルな上に（たまたまうちから）アクセスがよいのです。近辺には深大寺、神代植物園など自然散策できる場所もあり、そして有名な深大寺そばのお店が 20 軒以上もあります。これからの季節、露天風呂も気持ちいいですし、温まった後のおそばと深大寺ビール一杯は格別! 所要時間約半日。東京でこんなにゆったりできる場所があるんだ~ととっても素敵なひとときが過ごせることをお約束します。

(クリエイティブ室:小野田涼子)



## No.346

### 忘れてませんか？ こんなサーバセキュリティ対策 / 水槽の内外にやってくる新しい生活

2008年3月21日

# [コラム] 技術部スタッフのつぶやき 水槽の内外にやってくる新しい生活

ちょうど 1 年前から飼育しているグッピーたちが今も元気に泳いでいます。

この始まりは子どもがご近所から頂いてきたおたまじゃくしで、初めて家に水槽を設置し、50 匹くらいのおたまじゃくしから見事 200 本の手足が生まれました。しかしさすがに 50 匹のカエルを家の中で飼育することは難しいため、この子たちは生まれ故郷へ戻しました。無事に生き続けてくれているとよいのですが。

そして余った水槽には、ホームセンターで見かけて気になっていた、色彩豊かなグッピーが新たに入居することになりました。経験不足から何匹もかわいそうなことをしてしまいましたが、知識が増えるとともに水槽や器具が増え、グッピーの出産に立ち会うことができるまでになりました。

初めて見たグッピーの出産はとても感動的です。グッピーは卵を産むのではなく、母親の胎内で卵を育て、ふ化させてから出産します。おなかから飛び出した瞬間にすぐに泳ぎ始めるのです。しかし母親に見つかってしまうとすぐに食べられてしまうため生まれた直後からサバイバル生活が始まります。

そんなこんなで子がまた子を産むようになり、いまでは 4 世代が 6 つの水槽で分散して過ごしています。グッピーのほかにコリドラスやヤマトヌマエビ、石巻貝などの友達も同居するようになりました。

この冬は各水槽にヒーターを設置し、24 時間稼働させたため電気代が例年よりも高くなりました。そんな冬もうすぐ終わりを告げようとしています。一緒にグッピーの世話をしていた子どももまもなく卒園し、4 月から小学校へ入学します。グッピーたちにも新しい生活をと思い、少し大きな水槽を準備中です。4 月には入居できるでしょう。

もうすぐ春ですね。

(技術部：室井勉)

## No.347

### 適用スタート前夜！日本版SOX法／今年は引っ越ししないぞ宣言

2008年3月27日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 今年は引っ越ししないぞ宣言

春はお引っ越しの季節。わたしの場合なぜか2～3年ごとにふらふらと引っ越しを繰り返しています。駅まで徒歩17分の場所→5分の場所→駅の上(!)と順調にステップアップしておりましたが、昨年引っ越した場所は最寄り駅までバス15分という場所。今回はなぜそのような場所を選んだのかをお話ししましょう。

わたしの場合、家族に4本足でニャーと鳴くのがいるため、どうしてもペット可の物件を選ぶ必要があります。賃貸でペットOKというマンションも増えてきましたが、ほとんどの物件は「ペットがいる場合は敷金1カ月分追加願います」というもので、飼うなら飼うでしっかりお金はいただきますというようなものばかりでした（大家さんの立場なら当たり前だとは思いますが）。そこでいろいろ調べていると、UR都市機構の物件にペットがOK、いやペットが“前提”のマンションがいくつかあるではありませんか。その名も「ペット共生住宅」。

これらのマンションでは内装もペット寄りに作られており、例えば壁紙も腰ほどの高さで2つに分かれており、もしつめとぎをしてしまったとしても半分だけ張り直せばよい仕組みになっていたり、部屋によってはペット用のくぐり戸や猫用のタワーまでも完備。理事会ならぬペットクラブもあります。それでいてまわりのマンションに比べてもほとんど家賃も変わらないので、空き室が出るのを見計らってすぐに転居しました。

マンション内がほとんど犬、もしくは猫がいる家庭ですので、何よりあまり神経質にならなくてもよいのが気に入っています。深夜にうるさい子犬の鳴き声にしても誰も怒らないというのはここくらいしかないのではないかと思います。ペットのための病院も近くにありますが、駅からバスで15分という点以外はほぼ満足です。

問題はここから別の場所に引っ越せるかどうか。ペットOKの物件を探すのも大変ですけど、せっかく下半分のみが変えられるようになっている壁紙の、上の部分をガリガリやられているため、敷金がいくら取られるのかが心配で心配で……。なので当分はここにしようと思っています。

(@ IT 編集部：宮田健)

## No.348

### 迷惑メールとおさらばしよう / 週末は桜に会いに

2008年4月3日

# [コラム] TechTarget 営業スタッフのつぶやき 週末は桜に会いに

唐突ですが、私は一年の中で桜が咲くこの季節が最も好きで、この時期になると週末は決まって都心・関東近郊の桜名所を巡っています。

今回は、その中でもお勧めなスポットを厳選して 2 カ所、みなさんにご紹介しましょう。メジャーな場所かもしれませんが、知っておいて損はありません。

#### ●中野通り（早稲田通り交差点から哲学堂公園あたりまで）

西武新宿線新井薬師駅、もしくは JR 中野駅北口から至近。大きめの桜トンネルといった感じです。缶ビールを飲みながらぶらぶら歩くのがいい感じです（一歩間違えると不審者ですが……）。

また、クルマのサンルーフを全開にして走ると爽快です。オープンカーならもう最高です。ただし、くれぐれも安全運転で。

#### ●権現堂（桜）堤

東武日光線幸手駅からバスで行くことにはなりますが、関東でも有数の桜の名所です。堤防の上に桜が並び、小さめの桜トンネルとなっています。堤防の下には菜の花畑もあり、日中はピンクと黄色のコントラストが楽しめます。

この季節、夜はまだ若干冷えますが、露店が多いのでそこで熱かんを飲むという選択肢もあります。都心からはちょっと距離がありますが、クルマをお持ちの方は一度足を運ぶ価値があると思います。

桜の咲いている時間はあっという間ですが、その無常感をさかんにしたいところ。つまりまるどころこの春も酔っ払う気満々。このメールマガジンが配信されるころまで桜の季節が続くことを祈りながら、今週末はどこに会いに行こうか考える毎日です。

（ターゲティング・メディア営業部：関戸有）

## No.349

### @ITは新社会人を応援します! / まだまだ現役、わが街の貸本屋

2008年4月10日

# [コラム] 企画部スタッフのつぶやき まだまだ現役、わが街の貸本屋

みなさんは「貸本屋」ってご存じでしょうか。その名のとおり本を貸すお店で、現代のビデオ / DVD レンタルショップの漫画本版です。

戦後から 1960 年代初頭までは全国に数多くの貸本屋が存在したといわれていますが、図書館の充実や一般家庭でのテレビの普及により、現在では極めて少数の店舗しか残っていないそうです。最近は漫画もケータイで読む時代ですが、そんな流れに逆らって今も根強く残っている店が存在します。そんなわが街の貸本屋の魅力をご紹介します。

すっかりこの店の常連になりつつある私ですが、初めて店に訪れたときの衝撃は今でも鮮明に覚えています。最初は様子だけ見ようと立ち寄ったのですが、店内は最新の漫画から定番の漫画、さらには絶版となっている貴重な漫画まで無造作に積まれており、それだけでももう夢の世界。すっかり夢中になってしまった私はやっぱりなにか借りたいと思い、「ジョ ジョの奇妙な冒険」1 ~ 15 巻を手に取りレジへ。そこで店のおじさんのひとことに驚かされました。

「あ、これ 1 冊足りないからね。なんでか 1 冊だけ借りてった人がいるんだよね……明日あたり返ってくると思うんだけどね」

ん?! と思って見てみると、1 ~ 15 巻を持ったつもりが 12 巻だけない。この山積みの漫画の中でなにが貸し出し中なのかを把握している驚異的な記憶力。

そして、「カード忘れても番号いってくれば大丈夫だから」と、なぞのコード番号だけが手書きで書かれている紙の会員カードを渡され、さらには「10 巻の後ろに返却日書いとくからね。29 日だからね」と、鉛筆で返却日を書き込んでいるようだったので帰宅後に確認してみると、まるで暗号、解読不可能でした……。

そんな愛すべきわが街の貸本屋。料金はなんと 1 週間 1 冊 80 円から。しかも期間内に早く返却すると次回レンタル時に差額を割り引いてくれるという、なんとも良心的なお店であります。

ここのところ、めっきり漫画から離れた生活を送っていましたが、この貸本屋のおかげでまた漫画におぼれる生活が戻ってきました。貸本屋よ、永遠なれ!

(業務推進部:坂井亜都沙)

## No.350

### プロジェクトリーダーの心得、伝授します / アナログレコードの消失

2008年4月17日

# 【コラム】@IT自分戦略研究所編集者のつぶやき アナログレコードの消失

いま引っ越しをしようと準備を始めています。荷物の整理をしているときに、ふと懐かしいものを見つけました。大量のアナログレコードです。

「そういえば、最近使っていないな」と感慨深くなりました。「聴く」ではなく「使う」。部屋の片隅には、ターンテーブルが2台とミキサーが1台鎮座しています。学生時代に趣味でDJをやっていた関係で、アナログレコードをそれなりに所有しているのです。

時代の移り変わりというのは残酷なものです。アナログレコードを見て感慨深くなるのは、社会人になってDJをする回数が激減したことも要因の1つですが、アナログレコードそのものが廃れ始めていることも関係しています。

音楽メディアがCDやMP3へと変遷していく中で、DJの文化では変わらずにアナログレコードが愛され続けてきました。理由は音質であったり、コントロールしやすい点であったりとさまざまですが、おそらく最も重要な理由は「カッコいいから」ではないでしょうか。そうです、アナログレコードはカッコいいのです!

近年では楽曲の販売がオンラインに移行しつつあり、クラブミュージックの世界も例外ではありません。MP3のダウンロード販売という流通網と、PCでDJができるソフトウェア／ハードウェアの進化により、アナログレコードの流通量は激減しています。2007年末、有名なクラブ系レコード店のシスコレコードが全店閉店、オンライン通販のみになったことは、音楽好きの間では衝撃的なニュースとして広まりました。

ダウンロード販売が便利なのは否定しません。ただ、何となく、アナログレコードの良さってあるよなあ……というのは、単なる懐古趣味なのでしょうか。引っ越しが終わったら、久しぶりにレコード屋に足を運んでみようかな、なんて思っています。

(人財開発編集部：岑康貴)

## No.351

いまさらでも学ぶ! SQLインジェクション/あのルービック・マジックが再販されていた!

2008年4月24日

**[コラム]@IT編集部員のつぶやき**

# あのルービック〇〇が再販されていた!

「ルービック・マジック」(Rubik's Magic)を知っていますか? ルービック・キューブに似た名前で、手を動かして遊ぶのは共通ですが、まったく別もののパズルゲームです。これは1980年代に販売されたもので、名前は覚えていなくても、実際にものを見れば思い出せる人もいるかもしれません。先日、都内某所の雑貨屋で見かけたときに、私も名前よりそのたたずまいで思い出したほどです。郷愁にかられて即、衝動買いしてしまいました。

ルービック・マジックは正方形の透明なプラスチックの板8枚を2×4の長方形に並べて糸でつないだものです。糸は正方形に対して45度の角度で掘り込まれた溝に複雑に絡ませてあるので、折りたたんだり斜めにねじ曲げて立体的な形を作ることができます。

このパズルでは長方形の板全体にリングの絵が書いてあり、基本的には絵を並び替えるもののようですが、複雑な形の立体を作る方に夢中になってしまいます。立体の形は30種類以上で、椅子や煙突、ハート、階段、箱、アルファベット、さらには魚までとてもいろいろなものに変化します。

衝動買いした日に久しぶりに嬉々としていじっていると、プラスチックの一部に小さく「2008」の文字が。「もしかして古いものが売れ残っていたのではなく、復刻して再販されたのでは?」と思い、インターネットで調べてみると、なんと2008年2月からメガハウスという会社から再販されたようです。よくぞ、再販してくれました!おかげで、小学生のときに夢中になって遊んでいた気持ちを、久しぶりに思い出すことができました。テレビゲームにはない「感触」を楽しむパズルゲームというのも、やっぱり面白いものです。ルービック・キューブも最近復活してブームを起こしたようですし、ルービック・マジックもまた脚光を浴びるかもしれませんね。

ルービック・キューブのような並べ替え要素と、知恵の輪のような立体的な難しさが同居したルービック・マジック。皆さんもぜひこの面白さを試してみてください。ただし、あまりにも強引にねじると糸が切れてしまうので、ご注意ください。そういえば、私は小学生のときに遊びすぎて糸を切ってしまったことを思い出しました……。

(@ IT 編集部:平田修)

## No.352

### 2010年、暗号に何が起きるのか / お前なんか、圧縮してやる!

2008年5月1日

## [コラム] @IT 編集部員のつぶやき お前なんか、圧縮してやる!

連休の中休み、いかがおすごしでしょうか。私はまた引っ越しをしていました。もう履歴書に「趣味:引っ越し」と書いても問題ないレベルです。前回の引っ越しからたった1年しかたっておらず、開けてなかった段ボールもあり、今回は非常に楽でした。

その開けなかった段ボールに入っていたのは数百枚の CD と DVD。特にほぼデジタル化した CD は文字通りお荷物でしかない状態です。思い切って全部捨ててしまおうかと思ったものの、倫理的に問題がありそうなのでどうしようか悩んでおりましたが、そんな私にぴったりのアイテムを見つけました。

それはコクヨの「MEDIA PASS」という CD ケース。これはレンタル CD 屋さんで使われているような、不織布で作られたスリーブです。それならば多くのメーカーから販売されているのですが、これは CD の歌詞カード、裏ジャケット、さらには帯までもが入られるよう工夫されています。それでいて厚みはケースの半分以下なので、想像以上に省スペースで CD をしまうことができます。

iPod などのデジタルプレイヤーを活用している人であれば、CD ケースからメディアを取り出して聞く、ということはもうほとんどないと思います。それであれば少しでも省スペースで保存したいもの。この MEDIA PASS ならカードをめくるように CD を管理できますし、なにより軽い! CD ケースを捨てる、というのは最初は抵抗があるかもしれませんが、その「なんとなくもったいない」という臨界点を超えると、コンパクトになっていく自分のコレクションが快感に変わっていきます。

ということで、この連休で CD250 枚、DVD140 枚を一気にこのケースへと移行、実に段ボール 4 箱分を物理的に“圧縮”することに成功しました。これで次の引っ越しも安心です (もうしません)。

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.353

### 初めてのトラブルシューティングに備えて / プログラマから芸術家になるチャンス？

2008年5月8日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# プログラマから芸術家になるチャンス？

死ぬまでに一度は見に行きたいイベントの 1 つに、オーストリアのリンツで毎年開催されるアルス・エレクトロニカという芸術祭があります。2008 年は 9 月 4 日～9 日にかけて、「A NEW CULTURAL ECONOMY - When Intellectual Property Runs Up against Its Limits」をテーマに開催されます。何やら意味深なテーマですね。アルス・エレクトロニカは、一般的にメディアアートと呼ばれるジャンルの芸術作品が一堂に会する場です。

メディアアートとして有名なものとしては、1980 年代に注目を浴びたナム・ジュン・パイク氏の一連の作品が挙げられるでしょう。ビデオテープに録画した映像にさまざまな加工を加えて、ブラウン管に表示させる作品です。これを雑誌やテレビなどで見かけた方も多いのではないのでしょうか？

そのナム・ジュン・パイク氏が故人となられたのは 2006 年。氏の作品で使われたビデオテープもブラウン管ディスプレイもすでに DVD や液晶・プラズマディスプレイに置き換えられつつあったタイミングに氏が亡くなったのは、ある意味で象徴的な出来事でした。

技術の進歩に伴い、メディアアートというカテゴリでは、より新しい技術を駆使した作品が多くを占めるようになってきました。また、鑑賞者がアクションを行って初めて作品が完成されるような、インタラクティブ性を持った作品も多数発表されるようになってきています。

例えば、橋本弘太郎氏が 2006 年に発表した「Sharelog」という作品は、閲覧者が Suica をかざすことで初めて作品として成立します。IC カード上に記録された乗降記録が地図上に展開され、閲覧者は自分の行動記録を視覚的にとらえることができます。日常的な行為が視覚化されることで、閲覧者は自分の意識していなかった行動に真正面から向き合うことになります。アートの世界で Suica 情報を利用するなど、ほんの少し前までは考えもしないようなアイデアですね。

このアイデア、プログラマの皆さんならピンときた方も多いのではないのでしょうか？

Google Maps API を使って自分の位置情報を日時とともに記録していくような、最近流行の Web サービスのマッシュアップと非常に近い発想なのです。



一般に、インタラクティブなメディアアートを制作するには、基本的な電子・電気回路などの知識が必要とされますが、最近ではそうしたハードルの高さを回避しようという動きもみられます。

情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) の小林茂氏は、GAINER.cc というプロジェクトを進めています。回路図が読めなくても、ActionScript などのプログラミング言語のみで赤外線センサやレーザー光センサなどを使ったインタラクティブなメディアアートを制作できるようにしようというコンセプトに基づき、基板の設計図や API が公開されています。このプロジェクトに触発され、草の根的に Ruby 版や Perl 版など、さまざまな言語での実装が公開されています。

こうして見てくると、メディアアートの世界がどんどんプログラマの皆さんの世界と接近してきているように思えてなりません (むしろ、メディアアート界には激しくハードルの高いことをされている方も存在しますが)。

先のアートな作品群が、自分とは遠く関係のない話題だと考えていた方は多いかもしれませんが、参入ハードルが下がりつつあるいま、プログラマの皆さんもモニタを離れたところで腕試しをする機会を作ってみてはいかがでしょうか？

ちなみに、メディアアート作品の多くが動画共有サイトほか、Web 上で閲覧可能ですので、ぜひ探して鑑賞してみてください。

(@ IT 編集部 : 原田美穂)

No.354

Eclipseプラグインで広がる開発環境 / 何があっても動じない性格になったワケ

2008年5月15日

## [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき 何があっても動じない性格になったワケ

アイティメディア新入社員の杉浦知子です。先週まで@ IT で研修をしていました。右も左も分からぬ状態で下された指令は「記事を書きなさい」。専門用語と格闘しながらなんとかニュースを執筆。おかげで一回りも二回りも成長できました。

その研修期間中に先輩社員の方々から口をそろえていわれたこと、それは「何があっても動じなさそう」。見た目と態度からそのような印象を与えたみたいです。自分の人格形成に影響を与えたのはいったい何だろうかと考えてみたところ、まず思い当たったのは「地震と雷が多いところで育った」ことでした。

統計的に正しいかどうか分かりませんが、私の生まれ故郷栃木県では小さい地震がたびたび発生したり、梅雨の時期から夏にかけては夕立が多く、毎日のように雷が鳴るとい土地柄でした。ですので、ちょっと揺れを感じても「まあどうせ大きくはならないし」と揺れる蛍光灯を見ながらおさまるのを待ち、雷が鳴っても「またか」と思うくらいで、子どものころであっても地震、雷で怖くて泣き出すなんてこともありませんでした。ちなみに栃木では、屋外で雷が鳴ったらどこを歩けば安全かということはきちんと小学校で習います。

大学生となり神奈川県に住み始めてからは、地震も雷も年に数回経験するかどうか。大学で知り合った北海道出身の友人は、地震が発生したとき怖くて廊下で震えていたという話を聞きました。雷が鳴って「怖いっ」と気になる男子に抱きついたりする方がかわいい女なのでしょうが、非常時にも落ち着いて行動できることは長所なのだと言っています（決して危機感がないというわけではないです……よね）。

そして5月8日に東北から関東地方にかけて大きな地震がありました。栃木県は震度5と聞いて実家に電話をしました。母いわく「地震、あったみたいだねえ。気付かなかったけど」。もしかして、何があっても動じない（ように見える）のは、県民性ではなく遺伝だったのでしょうか……。

(ITmedia エンタープライズ編集部 : 杉浦知子)

No.355

よろしい、ならばMac OS Xだ! / キーボードマニア的なれ合い

2008年5月22日

## [コラム] @IT 編集部員のつぶやき キーボードマニア的なれ合い

突然ですが、私、社内では変態的なキーボードを使っていることで知られています。キーボードなんて、押してへこむモノが左右に 40 ~ 50 個ぐらい並んでくれさえすれば何でもいいと思っていますが、体質的にそうもいかない事情を抱えています。10 年ほど前から左手のけんしょう炎に悩まされていて、エルゴノミック・キーボードでないと長い文章を打てないのです。ノート PC の平べったいキーボードも使いますし、それなりに好きなのですが、調子が悪いと 10 分も打たないうちに左手の小指が痛んでくるのです。

そんな私が使っているのはキネシスという会社の「コンツアード・キーボード」というものです。おわん型にへこんだキー配列を持つ独特のフォルムから、「サイバー」な感じを演出したい映画の小道具なんかでも使われています。

キーボードにこだわりがないと書いた私ですが、実はキネシスのキーボードについて語り始めると 1 時間では止まりません（迷惑なやつです）。そして、「やっぱり東プレのタッチがいい」とか「メンブレン駄目だよね」とか「101 配列じゃないと@が打てないよ!」とか「Ctrl の位置が左手小指じゃないとね」とか「マイクロソフトのナチュラル……」とか、そういうことを喜々として語る“キーボードマニア”をみんな敵に回して怒らせることになるかもしれません。ごめんなさい、PFU が販売している HHK（ハッピー・ハッキング・キーボード）も私から見れば単に小さいだけのキーボードなんです。

ひと口にキーボードマニアといっても、何にこだわるかによって上記のように、いろいろな種類のマニアがいます。そして互いに会話がかみ合わないことが少なくありません。ただ、こだわりを持つもの同士は得てして「同病相憐れむ」ものらしく、キーボードマニアたちは、自分とは異なる信念を持つマニアと出会っても結構話を合わせたりして盛り上がろうと努める傾向がある気がします。

キーボードマニアに流派があるといっても、それは世間的にはどうでもいい話です。エンジンをチューンする車マニアが内装や外装にこだわる車マニアを鼻で笑うようなのと同じで、本質的には目くそ鼻くそ的な話です。キーボードへのこだわりといっても、ほとんどの場合は、しょせん「QWERTY 配列+ローマ字入力+かな漢字変換」という限られた入力方式の話だけで、本質的には何も違いません（そうじゃないこだわりを持つ人々もいます）。世間の人々は、マンガ研究会とアニメ研究会の仲が悪いと聞いても「ところでマンガとアニメって違うの?」としか見てくれませんよね、それと同じです。

そうしたことをわきまえた上で、あえて分別のない鼻くそ的なことを書きますが、やっぱりキータッチだとか、多少のキー配列のことなんて、そんなのはこだわるほどの話ではないのであって、キネシスこそが唯一最高と呼ぶにふさわしい市販キーボードなのですよ! (あ、書いてしまった)

(@ IT 編集部: 西村賢)

## No.356

# オブジェクト指向は決して難しくない/入札なしにネットオークションを楽しむ方法

2008年5月29日

[コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき

## 入札なしに ネットオークションを楽しむ方法

ポータルサイト Yahoo!JAPAN、毎日お世話になっている人も多いのではないのでしょうか。私が最近チェックしているのは、Yahoo! オークション内の「話題のキーワード」機能です。オークションでよく検索される言葉をピックアップしたものだと思いますが、トップページに表示されているのはキーワードのみで、説明はありません。情報が少ないだけに、自分の知らないキーワードを見つけると、ついクリックしてしまいます。さて、ここ数カ月で発見した「これは一体なに?」キーワードは……

### ● 「モッフル」

モッフルとは「餅+ワッフル」——見た目はワッフル、実体はお餅というお菓子です。これを自宅で手軽に作れる「モッフルメーカー」が人気で、見事「話題のキーワード」に仲間入りとなったようです。秋葉原に店舗があるそうなので、気になる方は「モッフル」で検索を。

### ● 「エヴァ フィルム」

映画「エヴァンゲリオン新劇場版:序」のDVDに封入されているフィルムのこと。ほとんど覚えのない(ハズレ)シーンがでるか、綾波レイの笑顔(アタリ)シーンが出るかまさに神のみぞ知るという特典です。キャラクターが写っているフィルムは手が出ないほどの高値がついています。ちなみに私もこの特典につられてDVDを購入した1人ですが、ドキドキとともに手に入れたのは、ヤシマ作戦準備中というほとんど覚えのないシーンでした。

### ● 「腹筋サポートプレート」

これは女性でも楽に腹筋ができるという話題の運動器具のようです。腹筋運動の起き上がりを助けてくれるものなのですが、ビリーズブートキャンプのようなブームがやってくるのかどうか……。ひと昔前は楽をしてやせる商品に人気集中していましたが、ニコニコ動画ランキングで「6分で割れた腹筋を手に入れる腹筋法」という動画が連日上位にランクインするほどの運動ブーム。来るぞ夏! 目指せくびれ! 脱メタボリック! そんな呪文が私たちを惑わせるのです……。

商品を購入せずとも、楽しいひとときをもたらしてくれるネットオークション。見ているだけで消費者心理をくすぐられ、無駄遣いに走りかける私でした。

(@ IT MONOist 編集部:上口翔子)

No.357

やっぱり気になるプライバシー / 大好き! キッチン道具

2008年6月5日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 大好き! キッチン道具

通販サイトやカタログを見るが大好きな私。お店に並んだキッチン道具をあれこれ見て回っていると、ついつい時間がたつのを忘れてしまいます。今回は、そんな私が買ってよかったなあとしみじみ思っているキッチン道具の1つをご紹介します。

それは“セラミック製のおろし器”です。

ほんの少し前までは、スライサーも一緒に付いているプラスチック製のおろし器を使っていました。1人暮らしの記念に友人が買ってくれたもので、もう何年も使っているけど壊れているわけでもないし、となんとなく使い続けていましたが、このおろし器を使うにはものすごく力が必要でした。大根を3分の1本おろし終わったころにはもうほかの料理を作る気力がなくなってしまうくらいです。

そこで購入したセラミック製のおろし器。もうみなさんは普通に使っているキッチン道具なのかもしれませんが、初めて使ったときの衝撃は忘れられません。これを使うと、大根があっという間に「おろし」に! 片手であまり力を入れずにおろせるなんて!

ポイントは底についているシリコンゴム。これのおかげでおろし器自体がすべらないのです。そしてセラミックなので水洗いだけで手入れが簡単にできます。このおろし器のおかげで、大根おろしの食卓登場頻度が上がりました。

もちろん大根だけじゃなく山芋もジャガイモも、トマトだって簡単に擦れます。山芋鉄板焼きなんていう居酒屋メニューも自宅で簡単に作れてしまいます（鉄板じゃなくフライパンですが）。

おろし器だけではなく、切れ味のいい包丁や煮込み料理がおいしくできる鍋や見た目もかわいい保存容器など、お気に入りのキッチン道具を少しずつ増やしているところです。といっても料理が大好きというわけではありません。基本的に面倒だと思っていて、少しでもラクに楽しく、手をかけすぎずにおいしいものが食べたいと思っているからこそ、キッチン道具にこだわっているのかもしれない。

100 円ショップに行けば一通りの道具がそろえられますが、自分のお気に入りのキッチン道具を探すのもいいものです。「最近料理するのが面倒だし、なんだかメニューがマンネリ化してきたな～」と思っている方は、キッチン道具の見直しをされてみてはいかがでしょうか。道具 1 つ変えるだけで、料理のレパートリーが広がるかも?!

(業務推進部：須藤恵)

## No.358

### 脆弱性、把握できてますか？／ああ、愛しきエラーメッセージ

2008年6月12日

## 【コラム】営業担当のつぶやき

# ああ、愛しきエラーメッセージ

私が初めて PC に触れたのは小学校 6 年生くらいのころでした。当時は PC を起動させてマウスを動かすだけでわくわくしていたのですが、仕事で毎日のように使っているとやはりあのころのような新鮮さはなくなり、ストレスのない完ぺきな使い心地を PC に求めてしまいます。

しかし、PC は完ぺきではありません。彼らは「エラーメッセージ」で調子が悪いことを私たちに知らせてきます。エラーメッセージが出ると、思い通りに動かない PC に対してやり場のない気持ちになることがほとんどですが、なぜか愛しさを感じるエラーメッセージがあります。果たして、共感していただけるかは分かりませんが……。

まずは、

#### ● 「ディスクがいっぱいです」

というメッセージ。“いっぱいです”という表現にキュンとくるのは私だけでしょうか。“お腹いっぱいこれ以上ご飯が食べれないよう”と知っている少年のように思えて愛おしくなります。

そして、

#### ● 「ネットワークがビジーです」

ネットワークに障害が発生している時、ビジー（忙しい）といわれると、擬人化されたネットワークが、まるで同僚のように思えます。誰だってビジーになることはあるので「そうか、忙しいのか。無理させちゃいけないな」と、仲間のように助け合いたい気持ちになります。

どんどん行きます。

#### ● 「予期しないネットワークエラーが発生しました」

“予期しない”といわれてしまっては、しょうがないと思わずにはいられない。過去に自分の身に降りかかった、数々の予期しない出来事を思い返しては、「PC も突然の出来事に戸惑っているのだろう。しばらく考えさせてあげよう」と優しい気持ちになります。



しかし、同じ“ 予期しない ” 出来事でも、下記のように片付けられてしまうこともあります。

● 「アプリケーションが予期せず終了しました」

データを保存する直前に、このようなことをいわれることが多々あります。どんなに大好きな OS でも、愛を失いそうになる瞬間です。まるで、冷たく事後報告をされている気分……。少しだけ文言を変えて「アプリケーションが予期せず終了したみたいです……」と、いっそのこと他人事のようにしてくれたら、どんなに楽なことか……？

これからも私は、無機質なはずのエラーメッセージに一喜一憂しながら、ビジネスとプライベートのパートナーとして、PC とともに人生を歩んでいきたいと思います。

(営業本部：寛司絢子)

## No.359

### オフショア開発、恐るるに足らず！／私の人生を変えた歌舞伎役者

2008年6月19日

#### [コラム] 営業担当のつぶやき

# 私の人生を変えた歌舞伎役者

大学時代、聞かれて一番嫌だった質問は「趣味は？」でした。運動神経ゼロのため、テニスサークルに入ってキャピキャピ汗を流すことはなかったですし、専攻していた英米文学の授業とは関係なく手にとった本といえば、ヴァージニア・ウルフとカート・ヴォネガットくらいなものでした。

入学する前、大学の4年間とは「味わったことのないような感情を抱かせてくれるようなもの」に出会うためのモラトリアム期間だと考えていました。しかし、そういったものは一向に見つかる気配がなく、大学生活最後の夏休みが始まろうとしていました。私は焦っていました。

そのとき、私は午前中のテストを終え、すがすがしい気分で銀座周辺をふらふらしていました。歌舞伎座の前を通りかかってたまたま目についたのが、「蜷川幸雄演出七月歌舞伎十二夜」の文字。歌舞伎に興味があったわけではなく、メジャーな演出家の舞台をちらっと見てみよう、という軽い気持ちで一番安い当日券を買いました。

そして私は、「十二夜」の世界の中に完全に引き込まれてしまったのです。歌舞伎の筋書きはフィクションであるにもかかわらず、舞台に存在している役者のリアリティに、ただただ驚かされました。「麻阿」という人物を演じた市川亀治郎は、舞台の上では正真正銘の女性であり、そのしぐさや表情はぞくとするほどの色気を醸し出していたのです。

その日以来、暇さえあれば歌舞伎をはじめ、現代劇、オペラ、バレエ、狂言といったありとあらゆる舞台を見に行くようになりました。魂が乗り移ったような演技者の姿を見て、もう一度あのと時のように不気味な感触を味わいたい、という気持ちからでした。

それから残り9カ月の学生生活の中で、観た舞台は50公演近く。ふとした気持ちで飛び込んだ別世界のおかげで、わたしの人生はいままでとは違ったものになったのです。

(営業本部 IT インダストリー営業統括部：新井友子)

No.360

iPhoneでITベンダは変わるのか / 1時間のずれと生きる

2008年6月26日

## [コラム] 営業推進担当のつぶやき 1時間のずれと生きる

社会人になってはや3カ月。一番の悩みといえば朝に弱いことでしょうか。私にとっていま最も大きな課題は「いかにすがすがしく起きられるか」です。

そういえば、高校時代に生物の先生が「人間の体内リズムは1日25時間なんだ」と話していたのを思い出しました。なんでも、人間は外の状況も時間も分からない空間で生活すると、1日25時間周期で過ごす、という実験結果があるそうなんです。地球は24時間でまわるのに、なんでその上に生活する私たちの体内時計は1日25時間に設定されてるんだ!? 不思議! と、これを聞いたときには本当に衝撃的でした。

このずれのなぞはいまだ解明されていないそうです。火星の自転が25時間らしく、人類の祖先は火星に住んでいたのかも、とロマンテックなことをいう人もいますよね。

山田詠美さんの著書「僕は勉強ができない」でもこの「1時間のずれ」が登場する短編があります。普通の人は、食事や遊びや仕事など、日常の動作をくり返すうちに少しずつ体をだまして、つじつまを合わせていきます。しかし中にはそれがうまくできない人がいます。そういう人たちは、常に「時差ボケ」のような状態で生きていくというのです。

これを読んでからは「自分を含めて、この1時間のずれをうまく修正できずに過ごしている人が多いのかもしれない」とおぼろげに思うようになりました。よくボーッとしている私ですが、なるほど、それは時差ボケ回復のための時間なんだと、自分自身を肯定しています。ごまかしているともいいますが。

なお、この「1時間のずれ」を修正する一番いい方法は、朝にお日さまの光に当たることだそうです。朝起きたら伸びをして、日の光をいっぱい浴びて、すてきな1日をはじめましょう。

(業務推進部：大屋れい子)

## No.361

### 開発者の声を聞く／おじいさんと私

2008年7月3日

# 【コラム】ITmedia +D編集担当のつぶやき おじいさんと私

大学3年の夏、私は単身長崎へと向かった。ある1人の老人を捜しに行くためだ。

名も知らないその老人とは高校の修学旅行で出会った。その出会いは、長崎市内の名所である“片足鳥居”の前。片足鳥居とは、一本柱鳥居ともいわれる山王神社の鳥居のこと。被爆によって片方の柱が失われながら、もう1本の柱だけでいまなお立ち続けている。その鳥居の近所に住んでいた老人は市内を観光する私たちを捕まえた。おそらく若者に戦争体験を知ってもらいたかったのだろうか、家から写真を持ち出して一所懸命に昔の記憶を語ってくれた。

しかし、高校生の私には戦争の話よりも自由時間の残り時間が重要だった。いま思えばあさはかだが、それは班のメンバーにとっても同じだったようだ。「もう時間がないから」と話を遮り逃げるように立ち去ろうとした。すると、老人はいった。

「少ししか話ができなかったけれど、たくさんの人にいまの話を伝えてほしい」——思いが詰まったこの言葉が忘れられず、それは年々重みが増していった。

そして戦後60周年を期に、今度こそちゃんと話を聞きに行くことを決意した。そして長崎で3日間、名前は分からず顔もおぼろげな中で、わずかな手掛かりをもとに聞き込みをした。最終的には再会を果たすことができた。当然、相手は私のことを覚えているはずもなく、不審者がたずねてきたと思っただろう。しかし4年前の出会いと、再度話を聞かせて欲しいという思いを伝えたところ、とても喜んでもらった。そしてていねいに話を聞かせてくれた。反戦への思いと、人を大切にしたい気持ちが詰まった話だった。

これがきっかけで、私は記者になりたいと思うようになった。“伝えたい思い”を持っているのにその“すべ”を持たない人がたくさんいる。記者に限らずとも、そんな人の手伝いをしたい。現状の私にはまったくスキルもなく、修行を積みねばならない状態だ。いつかそのおじいさんのところにあらためて取材へ行ける日がくるように、頑張らねばならん!と思う日々なのであった。

(ITmedia +D 編集部：小笠原由依)

No.362

Twitter、ご存じですか？/ソリティアにハマるのは×××な人？

2008年7月10日

**【コラム】@IT編集部員のつぶやき**

## ソリティアにハマるのは×××な人？

私が社会人になりたてのころ、職場で利用していた OS は Windows 3.1 でした。VisualBasic でバリバリ開発するような現場だったのですが、昼休みにはなぜか OS に付属する「ソリティア」と呼ばれるゲームで遊ぶ姿が目立ち、昼休みの貴重な時間をそんなものでつぶすだなんてもったいない、と思っていました。しかしそれから十数年、まさか自分がそのゲームにハマってしようとは思いませんでした……。

最近、携帯電話での「パケット定額」オプションを外しました。今までは移動時間の手持ちぶさたを携帯電話でのネットサーフィンでつぶしていましたが、パケット定額制を外した携帯電話は何をするにもお金がかかる恐ろしいデバイスになります。そこで常に持ち歩いているものをもう一度見直すと、iPod があるではありませんか。

今のデジタルオーディオプレイヤーは単に音楽が聴けるだけではなく、アドレス帳やカレンダー、そしてゲームもできるように進化しています（機能が追加されていく様子は携帯電話の進化を思い出します）。手元の iPod にもゲームがいくつかインストールされており、そこには Windows におけるソリティア、「クロンダイク」が入っていました。

操作性のよさもあるのでしょうか、これが意外とツボにはまってしまい、わずか 1 カ月でプレイ回数はすでに 3 ケタに。音楽を聴きながらトランプ 1 人遊び、というのが私の移動時間における定番となっています。

このコラムを書くまでは、社会人になりたてのころに「ソリティアで遊ぶようなおじさんにはなりたくない」と思っていたことをすっかり忘れていました。これは時がたって自分が丸くなったからなのか、歴史あるトランプゲームの魅力にやっと気が付いたのか、それとも iPod の操作性がなせる技なのかは分かりません。この行為に生産性はまったくありませんが、昔の自分の偏見はひどかったなあ、と思いつただけでもよしとします。

(@ IT 編集部：宮田健)

No.363

2008年、Windows Serverを極める夏／対Gセキュリティ強化のススメ

2008年7月17日

**[コラム] 営業担当のつぶやき**

## 対Gセキュリティ強化のススメ

夏。あなたはこの季節に何を思い浮かべますか。真っ赤な太陽、冷えたビール、打ち上げ花火に浴衣美人……さわやか期待を裏切るかのように、あなたの背後にもあの黒い影が迫っているかもしれません。そう、今年もゴキブリくんの季節がやってまいりました。

どこからともなく現れ、素早い動きで物陰に逃げ込む。神出鬼没な彼らに毎年悩まされていませんか。私の家でもとうとう、本年初の戦闘員による襲撃を受け、家族総出で応戦する大戦争へと発展しました。

しかしこれはまだかわいい方。私の父の実家——通称“悪魔の館”は皆様の想像の域をはるかに超えているでしょう。

東京の一角、真新しい住居が立ち並ぶ中、とりわけ存在感を放つ古い家。その扉にはじめて手をかけた人間はこれまでにない恐怖を覚えます。四方の壁、柱、机の上からいすの下まで、見渡す限りの黒い影。一瞬目をやるだけでも5、6匹は確認できるほど大勢のゴキブリくんが盛大に出迎えてくれます。一体どうしたらこんなにも大量のゴキブリくんが住み着くのか。いや、もしかしたらゴキブリくんの家に祖父が住み着いたのでは……？

この状況はまずいと、弟とともに昨年“ゴキブリくん一斉撲滅作戦”を決行しました。まともに戦うには数が多すぎる、ということで、CMでおなじみ、煙を部屋に充満させて害虫駆除をするタイプの殺虫剤を試すことに。正直あまり効果は期待していませんでしたが、これはすごいです！1日家を空け夕方帰宅すると、そこには静寂に包まれた空間が。無残に横たわる戦士たちの姿を横目に、科学の力の偉大さを痛感しました。何の罪もない彼らを思うと胸が痛かったりもしますが……。

殺虫力はもちろんですが「殺虫剤を使ったから大丈夫」という安心感を得られるのは大きいですね。この季節、帰宅して電気をつける瞬間に少なからず不安を感じるあなたは一度試してみたいはいかがでしょうか。

(ビジネス／コンシューマ営業統括部：音羽洋昭)

## No.364

### 電源がなければ動かない／“萌え分析”オタクなワタシ

2008年7月24日

## [コラム] 営業担当のつぶやき “萌え分析”オタクなワタシ

23歳の誕生日、「工場萌え」という写真集をいただきました。Wikipediaによると「萌える」とは、対象への好意、傾倒、執着、興奮など、ある種の感情を表すスラング、という定義なんだそうです。すると工場萌えとは、工場に対する好意、傾倒、執着、興奮などのある種の感情ということになります。でも、ちょっと待って？ それって「工場オタク」と何が違うの？「萌え」と「オタク」の違いって一体何？

スラングを考えると、もとの意味を知らずして本質は見えてこないだろうと思い、まずは広辞苑を開いてみました。それによると「萌える」の意味は「芽が出る・きざす・芽ぐむ」とされています（小学生の女の子のぺしゃんこの胸がほのかに膨らみはじめるのをイメージした私を変に思わないでください）。

一方「オタク」は、「特定の分野、ものごとにしに関心がなく、そのことには異常なほどに詳しいが、社会的な常識には欠ける人」とされています。これはさきの「萌える」の定義によく似た表現です。ということは、「萌え」と「オタク」は、同義語と考えてよいのでしょうか。うーん……いや、腑に落ちないです。

先ほど、広辞苑の「萌える」から、小学生の女の子の胸を思い浮べたと書きましたが私以外にもそういう人がいるのではないかと考えています。少しずつ何かが始まっている——「芽が出る、きざす、芽ぐむ」にはそんなイメージがあるからです。そして実はここにこそ「萌え」と「オタク」の違いが隠されているのではないのでしょうか。

初めて工場的美しさに触れ、興奮を覚えたときの感情。それが“萌え”なのではないのでしょうか。その時点ではまだ工場的美しさしか見ていないけれど、相当に心を奪われている状態です。その人が萌えるがままに工場的美しさについて調べ始め、そのテーマで論文が書けるほどに詳しくなった状態、それが「オタク」なのではないのでしょうか。

そう考えると、何かに対する何らかの感情が首をもたげたとき、人は誰しもそれに萌えてるということになります。年金萌え、食品偽装萌え、教員採用試験萌え——日本人は今、萌えているのです！

(営業本部：酒井真弓)

## No.365

### 知ってるつもり? のサーバ仮想化 / 手作りピストバイクで走る夏

2008年7月31日

## [コラム] 営業推進担当のつぶやき 手作りピストバイクで走る夏

ここ最近では空前の自転車ブームのようですが、私もその流れに乗った 1 人です。梅雨が明け、晴れる日も多くなってきたので、そんな日には固定ギアのピストバイクに乗ってどこかしらに出かけます。

友人からニューヨークのピストバイク集団 MASH の映像を教えてもらったのは 2 年前のこの時期でした。マンハッタンの街中をさっそうと走る、シンプルな自転車に魅せられ、そんなイカしたピストバイクが欲しくなりました。

どこにいけば映像に映っていたような自転車が手に入るのか? 取りあえず近所の街の自転車屋を探してみました。が、ぴんとくるものが見つかりません。いろいろ調べるうちに、先に見た映像の自転車は競輪用のフレームをベースに使っているらしいということが分かりました。市販されている新車を買うんじゃつまらない……ならば持ち前の DIY 精神! というわけで、ネットオークションや部品屋さんでパーツを集め自分で作ることにしました。

工具をそろえ、パーツをそろえ、試行錯誤しながら、3 カ月ほどで何とか乗れるモノができました。早速乗ってみようとサイクリングに出かけたのはよいものの、慣れない固定ギアはママチャリなどとはまったく別の次元の乗り物のようでした。

ピストバイクの魅力はなんといっても固定ギア。ペダルを後ろに回せばバック走行するし、急に足を止めれば、ドリフトのように横に滑ります。スノーボードで走っているような心地よさで、はまったらくせになります。

なお、ピストバイクは基本的にブレーキのない自転車と説明されますが、日本ではブレーキのない車両の公道走行が禁止されており、国内で一般向けに販売されているピストバイクにはブレーキが付いています。

(営業推進部 : 櫻井路晃)



## No.366

### いまさら聞けないデータベースの基礎 / 太宰と石ころと私とポン酢

2008年8月7日

## [コラム] ITmedia Biz.ID 編集担当のつぶやき 太宰と石ころと私とポン酢

太宰治の最初期の短編集「晩年」に、「葉」という一編が収められています。

「新宿の歩道の上で、こぶしほどの石塊（いしころ）がのろのろ這って歩いているのを見たのだ。石が這って歩いているな。ただそう思っていた。しかし、その石塊は彼のまえを歩いている薄汚い子供が、糸で結んで引摺っているのだということが直ぐに判った。子供に欺かれたのが淋しいのではない。そんな天変地異をも平気で受け入れ得た彼自身の自棄（やけ）が淋しかったのだ」（「葉」より引用）

今回のコラムでは、不意にこの短編を思い出した話をしたいと思います。

先日部屋で 1 人考えごとをしていたところ、不意の睡魔に襲われました。疲れていたのもそのまま横になりたかったのですが、その日はまだすべきことが残っていたのでこころでなにか「温かくて甘い飲み物」でも飲んで、脳に糖分を補給しよう、と思いたったのです。

キッチンに向かい、棚の上を眺めると、インスタントコーヒーのビンが見つかりました。私は、疲れていても眠くてもお酒を飲んでいても、どんなときでもできるだけ論理的な思考から行動を決定したい、と常日ごろから考えている人間です。コーヒーの瓶を見て、こう考えました。

「インスタントコーヒーは、温かいけれど、苦いからやめよう」

続いて棚の別の場所を見ると、ポン酢のビンが見つかりました。

「ポン酢は温かくないし、すっぱいからやめよう」

眠かった私は、そう考えていたのです。“そんな天変地異をも平気で受け入れ得た彼自身の自棄が淋しかったのだ”——われに帰ってひとしきりびっくりしたあと、いろいろとあきらめた私は冷蔵庫を開けてビールを飲むことに決めました。

(ITmedia Biz.ID 編集部：杉本吏)

No.367

Javaをとことんチューニング/同居(予定)の相手が見つかりました

2008年8月14日

**[コラム] 営業担当のつぶやき**

## 同居(予定)の相手が見つかりました

7月半ばに引っ越しをしまして、そろそろ1カ月がたとうとしています。神奈川の実家から引っ越し、神田のマンションに1人住み始めました。周囲は雑居ビルやらオフィスやら高速道路やらで、なんとも人恋しい生活を送っています。

先日、何を思っただけで急に水族館に行きたくなりました。しかし一緒に行く友人もおらず1人で水族館に行くなんてさみしすぎると考え、ネットで見つけた規模の大きな熱帯魚店へ行くことにしました。夏場の暑い時期に熱帯魚を見て涼みつつ、順路にそって海水魚コーナーへ入って行きました。名前を知っているのはカクレマノミくらいしかないのですが、色とりどりの魚たちを見ているとなんとも和みます。

すると別の水槽に1匹、そんな優雅な魚たちとは違った空気をかもし出している魚がいました。長くて太くて茶色い体のデカイ魚が岩に体を巻きつけてじっとしています。正式な名称は覚えていませんが、それは「ウツボ」でした。

ウツボはほかの魚を食べてしまうため、単独で隔離しているそうです。そんな凶悪そうなウツボを見ているうち、コイツも水槽の中で毎日1人なんだなという気分になり仲間意識が生まれてきました。

そのあと熱帯魚屋、海水魚屋を回って情報を収集し、いまのマンションであっても比較的大きめの水槽で海水魚が飼育できることが分かりました。私も90cmの水槽を購入しウツボを飼う予定です。

いま、新住居の仲間として仲良くやっていけるようなウツボを探しています。家に帰ってウツボにエサのイカをやりながら、自分もビールとスルメなんてシチュエーション……実に楽しみです。

(IT インダストリ営業統括部：関雄一)

No.368

セキュリティポリシーをもう一度／ネットもうかつなことを書けない世の中へ

2008年8月21日

## [コラム]メディア編成担当のつぶやき ネットもうかつなことを 書けない世の中へ

ジャーナリストの鳥賀陽（うがや）弘道さんが「サイゾー」（インフォバーン）編集部からの電話取材に対しオリコンチャートの信頼性を疑問視する発言をし、オリコン株式会社から賠償金 5000 万円を請求されたことをご存じの方もいるだろう。

実際に掲載された記事は鳥賀陽さんが書いたものではなく、あくまで鳥賀陽さんの発言を元にサイゾーの編集部員が構成したものである。にもかかわらず、オリコン株式会社はサイゾーの版元であるインフォバーンではなく、鳥賀陽さんを起訴した。

この裁判がいかにも異例なものであるかは、週刊ダイヤモンドの 2008 年 5 月 24 日号の「裁判がオカシイ!」という特集の中の、「メディアを相手取った民事訴訟一覧」において、個人が訴えられたものがこの 1 件のみであることから推測できる。

この裁判について、企業が個人を訴えるなんて SLAPP（Strategic Lawsuit Against Public Participation : 恫喝訴訟）だ! という気も、ブラックジャーナリズムに関わったのが運の尽きという気もない。その段階の議論は、もはやいい尽くされた感があるからだ。

ここでは言論の自由というものは決してマスコミだけの問題ではないということを基点に考えていきたい。このメールマガジンの読者の皆さんの中にはブログや SNS を利用している方も多いただろう。その中におけるふとした発言が、あなたを被告席に立たせることになり得る世の中になったということだ。特にいまは過日の秋葉原無差別殺人事件の影響もあり、世の中全体がネット上の発言に敏感だ。

だが今日のネットの発展には自由な発想、自由な発言が欠かせなかったように思う。下手な抑圧はネットの発展を妨げ、斬新なコンテンツが生まれることを妨げてしまうのではないか。折しも 2008 年 6 月 11 日、青少年ネット規制法案が可決された。ネット倫理がどのように広まり、そしてそれによって青少年たちがどんな成長を遂げるのか。未来を見守りたい。

（メディア統括部：藤田恵司）

## No.369

### フィッシング詐欺に釣られない／この夏のいた～い初体験

2008年8月28日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# この夏のいた～い初体験

先日、高校時代の友だちと江ノ島へ海水浴に行ってきました。連日の猛暑のためか、8月初めにもかかわらず、浜辺には多くの人がひしめき合っていました。

早速私たちも日焼け止めを塗り、準備万端いざ海へ！ 浮き輪につかまり優雅に波に揺られていると、足に妙な違和感が。海の中でチクチクとかゆみと痛みが足を襲います。

まさかクラゲ!? と騒ぎつつも、いままでクラゲに刺された経験がない私たちはそのまま痛みを耐え、泳ぎ続けていました。そのあと、浜に上がりふくらはぎに目をやると、約 10 センチにわたりミズ腫れが……。友だちにも同様の腫れを発見し、そこではじめてクラゲに刺されたという事実を確信した私たち。なんとも鈍すぎる。いづれお盆後に姿を現すクラゲたちですが、今年はどうやら出現が早まっているようでした。

いまだ消えない刺されたあとを眺めつつ、今回はクラゲに刺された際の応急処置を紹介したいと思います。一般のクラゲ類に刺された場合、まずタオルなどを使ってクラゲの触手を取り除きます。素手で除去しようとする、二次的に手も刺され、被害が拡大するそうです。

そのあと海水または食用の酢で洗い、氷や水で冷やしてください。患部を洗う際に真水で洗ってしまうと、表皮についたクラゲ細胞から毒針が発射され痛みが強くなるため、決して真水では洗わないよう注意が必要とのこと。

私たちはというと、浜にあった救護センターの看護師さんに洗ってもらい、薬をつけてもらいました。家ではムヒで代用できるそうなので、夏も後半の海でクラゲに刺されてしまった方はムヒを付けてかゆみを和らげるといいかもしれません。

生まれて初めてクラゲに刺された 2008 年夏、これもまたいい思い出となりました。

(IT インダストリー営業統括部：澤井加奈)

## No.370

エンジニアはケータイ大好き! / パンダの一生に自分の夢を重ねてみた22歳の夏  
2008年9月4日

# [コラム]ITmediaエンタープライズ編集部員のつぶやき パンダの一生に自分の夢を 重ねてみた22歳の夏

上野動物園のパンダと私の家族には、ちょっぴり不思議な関係があります。

上野動物園に「トントン」というパンダがいました。トントンは 1986 年 6 月生まれ、私は 1986 年 1 月生まれ。私の名前は、トモコです。

上野動物園に「ユウユウ」というパンダがいました。ユウユウは 1988 年 6 月生まれ、私の妹は 1988 年 5 月生まれ。妹の名前は、ユウコです。

偶然ですが、生まれた年が同じで両方とも名前が似ている(?) ことで、小さいころの私たち姉妹にとって、トントンとユウユウは親しみを感じるパンダでした。「トントンに会いたい」と両親にねだっては、上野動物園に連れていってもらったものです。

成長するにつれ、トントンの記憶は頭の片隅に追いやられていました。そんな私がトントンのことを思い出したのは今年の 5 月。小学生のころ以来、久しぶりに上野動物園に行った時のことです。2008 年 4 月 30 日にリンリンが亡くなり、上野動物園にパンダは 1 頭もいなくなっていました。がらんとしたパンダ小屋の向かいの壁に上野動物園とパンダの歴史をつづった、写真入りの年表が張ってありました。1986 年 6 月に生まれ、2000 年 7 月 8 日にがんで亡くなったトントンの一生が、そこにはありました。

トントンは、上野動物園で生まれて、上野動物園を出ることなく一生を過ごし、上野動物園で死んだ、唯一のパンダだそうです。先日亡くなったリンリンは上野動物園で生まれたパンダではありませんし、ユウユウは中国で亡くなっています。

一生を上野動物園で過ごしたため、上野動物園にはトントンの写真がたくさん残されています。生まれたばかりのトントン、水浴びをするトントン、木に登って降りられなくなり、飼育員に救助されるトントン……トントンの生きた証が、たくさん残されています。

トントンの年表を見ながら、ふと、自分が「書く仕事がしたい」という夢を持った理由を思い出しました。自分という存在を何か“形に残るもの”で残したい……それが理由です。

そんなことを、トントンは思い出させてくれました。

(ITmedia エンタープライズ編集部：杉浦知子)

## No.371

IPS(侵入防止装置)は使えるのか? / デザイナーが“営業部”配属を通じて経験したこと  
2008年9月11日

# [コラム] デザイン担当スタッフのつぶやき デザイナーが“営業部”配属を通じて 経験したこと

私は自分からは人に電話をしたりしないタイプなのですが、そんな私に対して頻繁にたわいのない話で連絡をくれる方々があります。その方々はいずれもある会社で知り合った仲間ですが、全員、自分とはまったく違った職種です。

以前に就職した会社で、広告営業部へと配属されたことがありました。デザイナーとして入社したので広告の制作をやることは理解していましたが、入社日まで“営業部”配属とは知らず、そこではほかに制作ができる人間はいませんでした。10人くらいの営業職の方々に囲まれて仕事をするということに不安が募りました。

しかし業務に慣れていくと、その環境は刺激的なものに変わりました。以前の職場では結果は「納品」でしたが、営業部としては「広告の成果」も結果となります。もちろん制作者としてはカッコよいものを作りたいと思う願望もあります。営業の視点である「広告の成果」と制作の視点である「カッコよさ」、同じ部署にいる仲間がお互いの満足する結果を出すために自然に意見をぶつけ合いました。そして納得するまで作り直し、自ら率先して休日出勤などをして、全員が満足できる広告ができたとき、びっくりするくらいの達成感がありました。

「お金を生むもの」「コストパフォーマンスを考えたもの」「ユーザーのニーズがあるもの」「デザイン性に優れているもの」……かかわるたくさんの人たちの意見が反映されたものを作ることが、よいもの作りだと私は考えます。そしてその目に見える成果物に「自分」が関係したことによって、初めてこういった仕事をしてきてよかったと思えました。

その会社を退職して数年が経ちますが、そこでかかわった方々といまでも頼り頼られる関係を築けていることが自分の財産であります。そしてこの“営業部”配属という経験を境に、自分の制作者としての価値観が、「スタッフみんなでこだわってもの作りがしたい」というものになりました。

いま、この会社にいる理由はここにあります。

(メディア統括本部：石川透)

No.372

海外のイベントに参加しよう! / だってここは秋葉原だから

2008年9月18日

## 【コラム】Business Media 誠編集部員のつぶやき だってここは秋葉原だから

ふと思い立って、秋葉原のゲームセンターに向かうことがある。

プレイするのは 1992 年に登場したアクションゲーム、「天地を喰らう II」。三国志の蜀の武将を操り、敵のボス曹操を倒すというゲームだ。敵を倒す爽快（そうかい）感と絶妙な難易度から、ゲーマーの幅広い支持を集めている。発売から 16 年たった今でも、全国のゲームセンターの 10 件に 1 件には設置されているほど根強い人気があるのだ。

最初に、5 人の武将から操るキャラクターを選ぶのだが、ここで普通の人はまず選ばない「黄忠」という武将がいる。ほかのキャラクターより扱いづらい武器を使うため難易度が高いと避けられてしまうのだ。

普通のゲームセンターで黄忠を選ぶ人は少ないのだが、ここ秋葉原では違う。だいたい 4 人に 1 人は黄忠を選ぶ。そして、そのうち 3 人に 1 人はワンコインでクリアする。僕もそんな 1 人だ。

淡々とプレイして、淡々とクリアする。クリアしてもニコリともせず、当然だぜという雰囲気です席を立つ。ハイスコアランキングに名前を入れるなんてとんでもない。だって、それが秋葉原の流儀だから。

なぜ、難易度の高いキャラクターを使ってわざわざプレイするのか？

1 つには、自分がどこまでやれるか試したい気持ちがあることが挙げられる。扱いづらいキャラクターでどこまでダメージを食らわずに進めるか、どれだけ早くクリアできるか。人が集まるゲームセンターはある意味、演舞場のようなもの。オリンピックに臨む体操選手のように、鍛えてきた自分の技がどこまで出せるかを試すのだ。

そしてもう 1 つ、プレイする理由はある。それは、秋葉原という街の雰囲気を作り出すのに貢献したいと思っているから。秋葉原は世界有数の電気街。ゲームセンターは電気街の象徴の 1 つなので、秋葉原のゲームセンターのレベルは高くなければならない。めったに見られない黄忠のワンコインクリアを達成することで、ほかの地方から来た人に「やっぱ秋葉原スゲー」と感じさせたいのだ。

そんな子どもじみた理由から、今日も秋葉原のゲームセンターに向かう。自分が活躍できる世界に居心地の良さを感じているだけのような気もするんだけど。

(Business Media 誠編集部:堀内彰宏)



No.373

インターネットが殺される、DNSの毒 / マンガとダンボールと私

2008年9月25日

## [コラム] 総務担当スタッフのつぶやき マンガとダンボールと私

最近私がよく読んでいるマンガというと、スピリッツ、マガジン、オリジナルといった少年誌から青年誌でしょうか。いつかは近代麻雀やモーニングなども読んでいましたが、さすがにいい大人がマンガばかり読むのもいかなんと思ひ、この3誌までに絞ることにしました。

パチンコやゲームセンターなどへ行くとあっという間に500円、1000円と出費してしまうので、私にとってマンガはとても経済的な娯楽なのです。以前のお気に入りではギャラリーフェイクや美味しんぼ、北斗の拳。最近のものでは、エリアの騎士や新クロサギ……どれもとても練り込まれた迫力あるストーリー性に魅かれています。

これらのマンガのひたむきに「本物」を追求する姿勢に共感を覚えるのですが、残念ながらマンガの主人公とは違って、自分は休日などゴロゴロしている実にふがいないオッサンです。自分自身の気持ちの弱さが問題だということは、ここ2~3年でやっと認めることができました。それまでは「そうじゃない、気持ちだけは人に負けていない」とずっと思っていました。酒の席で、友人に指摘されても反論せず、こころの中でそうじゃないと言い続けてきましたが、本当は現実を認めたくないだけだったのかもしれない。

引っ越しから半年以上たつのに、あいかわらず片付かないダンボールの山を見ると、今週も片付けられなかったなあ、情けないなあ、と反省します。毎週のように休日になるとわき上がる面倒な気持ちに負けており、他人との勝ち負け以前に、自分に負けていることに気がつきます。最近、やっとそれを認められるようになりました。

自分の欠点はわかったのですが、それからまだ一歩も踏み出せていません。気付くのに40年以上かかったのに、実際の行動に移せるのは何年後になるのでしょうか。涼しくなってきたので、年内にダンボールの数を半減させることから始めたいと思います。

(総務人事部：難波徹)

No.374

振り返ると未来が見える / Web サービスで自分をさらけ出す

2008年10月2日

【コラム】@IT編集部員のつぶやき

## Web サービスで自分をさらけ出す

最近、Tumblr（タンブラー）という Web サービスを利用しています。これは@ IT でも「Tumblr を使ってみた」という記事で紹介されている、Web 上のテキストや画像を簡単に引用できるサービスで、ソーシャルブックマークと同じような方向性をもつものです。使い方は人それぞれだと思いますが、私は自分が見たサイトの閲覧ログのような用途で毎日利用しています。

いままでもソーシャルブックマークは使っていたのですが、ソーシャルブックマークでは URL に対して短いコメント、そしてタグ程度しか付けられません。最初はこのタグを活用して分類していたのですが、そのときの考え方で付けるタグが変わってしまうため、あとから探そうとするとなかなか見つけられませんでした。さらに一番の問題は、ずいぶん前にブックマークしたページを見ようとしてもすでにコンテンツが消失していたり、あったとしても「なんでこのページをブックマークしたんだっけ?」と、すっかりそのころの記憶がなくなっているということです。

個人的な意見ですが、Tumblr がソーシャルブックマークよりも優れていると思う点が 2 点あると考えています。1 点目は、引用することでなぜ自分がそのページに興味を持ったのかが明確に記録をでき、未来の自分へ足がかりが提供できることです。引用という形なので、万が一対象のページが消えても覚えておきたいテキスト、画像がキープできることは重要です。

そしてもう 1 つ、これは使ってみてはじめて気がついたのですが、ほかの Tumblr ユーザーがせっせと集めた引用を見ると、その人がいま何をしているか、何を調べているか、何を考えているかが手に取るように分かってしまうことが非常に興味深いことです。まだ昼の 1 時なのにネコ画像をせっせと Tumblr に引用している姿を見れば「ノッてないな」ということが分かりますし、見慣れたタイトルが Tumblr に並んでいると、いま@ IT の記事を見てプログラミングの勉強をしているんだな、というも分かります（大感謝です）。

最近、ブログやソーシャルネットワークサービスの日記に思わず「書いてはいけない」ことを書いてしまい問題になるという事件が多く発生しています。「プライベートをインターネットというオープンな場所に書くなんて信じられない!」と思っている人も、Twitter や Tumblr では私生活が丸見え、ということもあるかもしれません。ひょっとすると先進的な Web サービスを利用するということは、自分をさらけ出すことと同じなのではないでしょうか。これこそが知の共有なのだ! と考えるべきなのかもしれません。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.375

### 企業の拠点間をつなぐWANの過去と未来 / 道路は続くよどこまでも

2008年10月9日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 道路は続くよどこまでも

「僕、鉄道制覇が終わったら、今度は国道を目指そうと思うんです」——数年前の酒の席。当時、JR 全線完乗を目指していた鉄道好きの後輩はこう語った。「知ってます？ 国道って鉄道並みに奥が深いんですよ」。

その言葉は本当だった。普通の人にはどれも同じように思えるだろうけれど、よくよく調べていくと「何でこんなところを通ってるの?」「何でこんなにとびとびなの?」といった具合に、不思議な道路に出くわすことができる。道路財源がどうか交通経済学がどうか、そういったまじめな話を抜きにしても、純粋に面白いのである、これが。

中でもひそかなブームとなっているのが、国道をもじって「酷道」と呼ばれる、一連の「ひどい道」である。曲がりなりにも「国」を背負ってる道なのに、離合 (=すれ違い) すらできないほど細くなってしまったり、車が1台すり抜られるかどうかというナゾの障害物がどかーんと置いてあったり、途中から砂利道になって雨が降ると小川が流れてたりする。もっとひどいのになると、途中で消える。いや、正確に言えば道は存在するけれど、登山道か獣道なのだ。国道を示す青色の三角看板 (通称、おにぎり) に向かって「これはひどい」とリアルにタグ付けしたくなるほど。

ユニークなところでは、青森県にある「階段国道」、339号線が有名だ。国道のはずなのにかなり急な階段部分があり、車両は通行禁止。国道4号線乗りつぶし (岩手県に入ったあたりでもう泣きたくなるので、素人にはお勧めできない) のついでに立ち寄ってみてはいかがだろう。

「海上国道」なんてのもある。代表格が幹線・国道2号線の関門海峡部分で、車道以外に、徒歩でも通れる「人道トンネル」もある (「水曜どうでしょう」好きならお分かりですよ?)。それから勝手に「キング・オブ・海上国道」を献上したいのが国道58号線だ。鹿児島県から種子島、奄美大島、沖縄本島を結ぶ最長の海上の道だが、船便の関係で、普通の国道とは違って一気に北から南へと塗りつぶすことができない。この難易度の高さがまた心をくすぐるのである。

皆さんの家の側にも国道は走っている。何の変哲もない道でも、その先には面白いことが待っているかもしれない。

(@ IT 編集部 : 高橋睦美)

## No.376

# 実は重要、帳票力で生産性アップ／人間の体内時計は24時間11分!?

2008年10月16日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 人間の体内時計は24時間11分!?

@ IT 通信のバックナンバーを見ていたところ、弊社新卒入社の大屋れい子さんが「1時間のずれと生きる」と題して書いている文章が目にとまりました。

「人間の体内時計は 25 時間サイクル。だからみんな朝寝坊」。サーカディアンリズムとも呼ばれるこの体内時計の話聞いたことがある人は多いでしょう。私も高校生のときに聞いて何と便利な言い訳だと思い、以来 1 限目の授業は堂々と半分ぐらいすっぽかすようになりました。よく卒業できたものです。

さて、この 25 時間説、うさんくさいと思ったことはありませんか。私は長らく都市伝説っぽいなと思っていました。潮の満ち引きと出産や犯罪発生率に関係があるとするのと同じぐらいうそっぽく、しかも思わず高校生に「へえ!」と言わせるような何かがあります。地球の自転速度が変化していることを考慮に入れるとしても、1 時間も環境適応に失敗するなんて生物としてあまりにおかしい（しかも自転は過去にさかのぼるほど速く、1 日は短かった）。進化上ありそうにない話ではありませんか。

この際長年のモヤモヤを解消しようとネットで調べてみました。1999 年にハーバード大学の学内誌に掲載されたエッセイ「Human Biological Clock Set Back an Hour」で、メディカル・スクールの Charles Czeisler 教授らが 24 人の被験者を対象に行った実験が目につきました。それまで長年、人間のサーカディアンリズムは 25 時間といわれてきたものが、教授らは 95% の人は 24 時間プラスマイナス 16 分と確認したといいます。結論はわれわれの体内時計は 24 時間 11 分だということです。

この結果は、ほかのほ乳類と比較しても同程度に正確で安定していて妥当だとも書かれています。人間だけ 1 時間もずれているのはヘンですよね。教授らが驚いたのは、この安定性が老若を問わないものだったとも書かれています。ちなみに、この発見は科学誌のサイエンスに掲載されたようです。

従前の実験結果が人間の体内時計の周期を 25 時間とか、場合によっては 65 時間だと長く見積もっていた理由はなんでしょうか。Czeisler 教授らによれば、それは被験者が自由に電灯をつけたり消したりできる実験条件によるものだそうです。任意に電気をつけたり消したりすることで、人間の体内時計はだいたい 40 分以上の影響を受けるとあります。目から入る光の影響でしょうか。いずれにしても、24 時間 11 分 + 40 分 + アルファで 25 時間と計算が合います。

あれれ……。ということはですよ、生物としての人間の体内時計は 24 時間 11 分かもしれませんが、文明社会に生きているわれわれにとっては、やっぱり事実上 25 時間ではありませんか。だって電気をつけたり消したりするのはわれわれの自由なんですから。

何だか当たり前の結論に到達した気がします。自ら規則正しい生活（就寝時間）を意識しないと、いくらでも体内時計が狂いますよ、ほとんどの人は普通に生活していると 25 時間ぐらいになってしまいますよ、ということでしょうか。これ以上詳しく学説を調べる時間ありませんので、ひとまず私はこの結論で納得することにします。

というわけで、新人の大屋さん、25 時間になるのも 24 時間になるのも心掛け次第みたいですよ。がんばって朝は起きましょう。いや夜はちゃんと電気を消して早寝しましょう。

(@ IT 編集部 : 西村賢)

No.377

まだまだイケる！ ケータイWebサイト開発 / 子供と運動会と親子の距離と

2008年10月23日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 子供と運動会と親子の距離と

先日、息子が通う託児所の運動会がありました。こぢんまりとしたグラウンドに、園児と親たちが 100 人くらい集まりました。観光バスの発着所に隣接しているため、縁もゆかりもない見物客（観光客）の視線のなか、子供たちと親たち、先生がかけっこ競争をしました。

うちの子はまだ歩けないので、当然走ることもできません。それでも黒子として母親がアシストし、3 種目に出場しました。ただのかけっこではなく、途中の障害物を越えたり、コースに用意されたご褒美を取ったりしながらゴールするのですが、前の選手の動きを観察しつつ、それを忠実にトレースするのは意外と大変でした。それでも、首尾よく種目をこなせたのは、数日前に私だけこっそりと練習をさせてもらっていたからでしょう。先生に感謝です。

運動会から帰ると、父親の補助による歩きのトレーニングがはじまりました。1 歳半の息子よりも小さな赤ちゃんたちが、普通に自立歩行しているのを運動会で見て焦ったからでしょうか。

誰に強いられることなく、楽しそうに手を引かれて歩く息子に、親離れされてしまったような、ちょっとした寂しさを味わいました。こうしてあっという間に親と距離を置くようになっていくんでしょうかね……。

(@ IT 編集部 : 河内典子)

## No.378

# ウイルスの歴史から何が見える? / 血液型別性格分類論は楽し

2008年10月30日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# 血液型別性格分類論は楽し

「～型自分の説明書」(Jamais Jamais 著)という書籍が爆発的に売れているようだ。星座占いや誕生日占いなどあまり信じないタイプだが、知人から強く薦められたので購入してみた。自分はO型なので「O型自分の説明書」を購入したのだが、読んでみるとこれが結構、自分の性格と当たっていたのだ。面白かった説明文を、わたくし岩瀬のショートコメントとともに紹介しよう。

●頼まれるとイヤって言えないお人好し。「めんどさいからホントはやなんだよなー」。でも、おだてに負ける。それで結構大変なことになる。でもすごい感謝されて「またガンバロー!」って思う。

→岩瀬のショートコメント：つまりO型は単純。

●右と言われれば、右を熱く語る。左と言われれば、左を熱く語る。言ったヒト以上に熱く詳しく語る。

→岩瀬のショートコメント：つまりO型は単純。

●しゃべるとき、声がデカイ。とゆーか、声がよく通る。ザワザワの店内でも、店員さん呼ぶのも一発。「すみませーん!」「はい、ただいまー」よしっ。

→岩瀬のショートコメント：つまりO型はうるさい。

●人と食べ物を分け合うのは平気。別々の料理を頼んで、「それちょーだい! こっちのもあげるから」する。でも、1人でこっそりウマイものを食べているときに、「横からひとくち」されるのは大大大キライだあああ! 「出せ! それ、今クチに入れたもん出せ! そんで新しく買ってみせろ!」「お楽しみ」をうばった罪は重い。

→岩瀬のショートコメント：つまりO型はわがまま。

●お腹がすくと急に無口になる。お腹空いているのに何も食べられないと、なんとか食べ物にありつこうとする。極限までお腹がすくと、とうとう動かなくなる。食べ物補給で一気にご機嫌。でも、食べたものがマズいと、さらにご機嫌斜めになる。ブチブチといつまでも文句を言い、機嫌はもう急斜面。

→岩瀬のショートコメント：つまりO型はわがまま。

●掃除は苦手。散らかっていたほうが「自分の部屋」って感じがする。でも突然の大掃除。なのに、最初の手の付けどころでいきなり迷う。途中で、マンガが出てきた。ちょっと読んでみる。押し入れの奥にアルバムがあっ

た。ちょっと見てみる。「ちょっと」どころじゃなかった。1 時間も経過。まあ最終的にあの辺とかその辺はおおまかに済ませたから満足。

→岩瀬のショートコメント：つまり O 型は適当。

それぞれの説明文に対して、自分なりに簡単にコメントを書いたが、簡単に言ってしまうと「単純でわがままで食にうるさい奴」なのかもしれない。周囲に O 型の間がある方は、あくまでこれは私見によるものなので、これを読んで「あいつとは距離をおこう」などと思わないで欲しい。

ここでは、わずかしこ紹介できなかったが、この他にも興味深いものが多くあった。ぜひ、興味を寄せられた方がいたら一度目を通して見ることをお薦めする。意外と気付かなかった自分が見つかるかもしれない……。

(ビジネス / コンシューマ営業部 : 岩瀬貴義)



No.379

プログラマとしてLispは押さえておくべきか？ / 男の自炊、B級グルメ

2008年11月6日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 男の自炊、B級グルメ

社会人となり半年以上がたちました。以前は仕事の事で生活がいっぱいだったのですが、最近は多少、プライベートの時間を楽しめるようになってきました。さて、最近ハマっているものは自炊です。特に B 級グルメのような、簡単に安くできるものにハマっています。

一番よくやる B 級グルメはご飯にツナ缶とマヨネーズをかけた。ツナマヨ丼。このツナマヨ丼を基本として、上にレタスやアボカド、ウィンナー、ベーコンを乗せるなど、日によってトッピングを変えています。どんな食材を上に乗せても、意外とよく合うのです。そのほかにも、カップ焼きそばにペッパーソースを混ぜ、ノリで巻いたり、サンチュとともに食べるのもおいしいです。

この B 級グルメの魅力は、「適当さ」にあると思います。冷蔵庫の中に余っているものを適当に選び「これならおいしいかもしれない」と直感のみで作ります。ときにおいしく、ときにマズく……そんな一喜一憂がなんともいえません。

きっとはじめて卵かけご飯を作ってみた人は、これが本当においしいのかどうか分からずに作ったのではないでしょう。しかしそんな B 級グルメの先駆者の挑戦があったからこそ、卵かけご飯がポピュラーなものになっているのだとおもいます。

いつか、僕の自炊からもポピュラーな B 級グルメが生まれるかもしれません。生まれないかもしれません。

(IT インダストリ営業統括部：関雄一)

## No.380

### 知らないでは済まされないPCI DSSの世界／風になりたい

2008年11月13日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 風になりたい

最近、無性にバイクに乗りたくなります。

学生時代は 350CC のインド製バイクをなけなしのバイト代で購入し、海へ山へ学校へバイト先へ、そして女の子の所へと（ほんの数回ですが）走り回ったものです。

昨今、バイク界ではビッグスクーターなるものが大変人気ですが、バイクはやはりギア付きを私としてはお勧めしたいところです。

アクセルをひねるだけでスイスイ走れるスクーターとは違い、ギア付きのものはクラッチの切り方、微妙なアクセルの開け方など、慣れないうちはなかなか難しいものです。しかし一度勘をつかみ、「マシン」と一体になることにより、よくある表現かもしれませんが、本当に風になっている（ような）感覚を全身で感じられるのです。

夏は暑く冬は寒い、転んだらただでは済まないというリスクを恐れ、現在はもっぱら車移動の私ですが、清々しい季節になると乗りたくなります。単純な移動手段ではなく、単純に風になるために。

現在バイクをお持ちでない方も、ちまたにはレンタルバイクというものがあるので、利用されてみてはいかがでしょうか。もちろん、安全運転で!

(IT インダストリ営業統括部：関戸有)

## No.381

### 情報漏えいを防ぐためにできること / 妖精が住むバー

2008年11月20日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 妖精が住むバー

麻生首相の発言で一躍有名になった東京・日比谷の帝国ホテルのバー。実は私、それ以前からぜひ行きたいと思っていたのです。その理由は、とある「妖精」。

帝国ホテルの「オールドインペリアルバー」にはこんな逸話があります。あるとき、初老の男性がバーにやってきて、このバーでお勧めのカクテルを訪ねました。差し出されたのは、ライトグリーンのフルーツが入ったカクテル、その名も「ティンカー・ベル」。その名前を聞いて初老の男性は驚きました。なぜなら、その人こそ、映画「ピーター・パン」でティンカー・ベルを描いたディズニーのアニメーター、マークデービス氏だったからです。そんな偶然から、マーク・デービス氏は帝国ホテル 100 周年を記念した絵を贈ったそうです。

これを聞いてディズニーファンの私は黙っていられませんでした。先日、友人と連れだってとうとう帝国ホテルのバーへ。さすがに夜のバーに行く勇気はなく、ランチの時間帯に「このサンドイッチ（2000 円弱）と、カクテルのティンカー・ベルを!」というオーダーを。お昼どきとはいえ、となりに座っていた方はごく自然に葉巻をふかしており、やはり帝国ホテルのバーは客の雰囲気も違います。

そして私たちは、「ここにティンカー・ベルの絵があると聞いたのですが」と切り出してみました。するとバーテンダーの方は一言「少々お待ちください」と、それ以上なにも言わずにさっと額入りの絵を持ってきてくださいました。そこには、カクテル「ティンカー・ベル」の上で笑みを浮かべるティンカー・ベルが。紛れもない本物の「妖精」が目の前にありました。

ティンカー・ベルはディズニーが生み出したマリリン・モンローと評されるほど、世界中で愛されている妖精。そんな彼女が住むバーがこんな身近にありました。あなたもぜひ、週末はホテルのバーとしゃれ込んでみませんか？

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.382

### 仮想化がプログラマの世界を変える / エコな湯たんぽ、オススメです

2008年11月27日

## [コラム] 営業担当のつぶやき エコな湯たんぽ、オススメです

最近、めっきり寒くなってきましたね。

私は寒いのがとても苦手なのですが、家には昨年購入したカーボンヒーターしかなく、いつも寒い思いをしています。昨年は布団を実家から持ってくるのが遅くなり、極寒の中毛布一枚で風邪をひいたこともあります。

そんな中、省エネで安全、しかも健康的な「湯たんぽ」がはやっているらしいという話を聞き、早速購入しました。これがとても暖かく、非常に重宝しております。

湯たんぽには、「安眠、筋肉の緊張を和らげ、新陳代謝促進、免疫力の向上、手足の冷えを改善」などの効果があるようです。体のしんから外に熱が発生し、その熱エネルギーが体内の循環を活発化させるとのこと。通常の暖房器具が、体の外から暖めるのに対し「湯たんぽ」は体のしんから暖めるので、とても健康に良いんですね。

暖かいだけでなく、体調管理にも役立つ、なんて素晴らしいアイテムなのでしょうか。新しい暖房器具購入も考えていましたが、コレがあれば必要なさそうです。

ちなみに私は、無印良品で湯たんぽ本体とカバー、合計 2000 円で購入しました。皆さん、この冬は、湯たんぽで健康的に過ごしましょう。

(IT インダストリー営業統括部 : 鈴木直人)

## No.383

### 面倒くさがらずにバックアップしよう／お酒とクラウド

2008年12月4日

## [コラム] 営業担当のつぶやき お酒とクラウド

コストさえかければそこそこスピードが上がるサーバとは違って、人間のパフォーマンスはどんなに高いお金を積んだところでそう簡単には向上しない。さらに人間は、わざわざお金を払ってまで、自らのパフォーマンスを下げようとすることがある。

僕もそのうちの 1 人だと告白しよう。今日もコンビニでお酒を買って、飲む。早速いい気持ちになって（パフォーマンスが落ちて）きた。サーバにこの感覚は分かるまい。

しかし考えてみると、人間ってやつはつくづくサーバとは正反対だ。例えばサーバ（以下、敬愛の念を込めて「彼」とする）には、電力さえあればいい。取りあえずコンセントさえあれば彼は動き出し、パフォーマンスを最大限に発揮してくれる。

だが私が必要とするものは、目の前にある季節限定のビール 1 本と、このビールを空けたあとに飲む発泡酒 1 本、さらに予備には第 3 のビールを 1 本。そしてつまみにはチーズやお新香と、この季節には鍋も。そうそう、締め雑炊にはご飯と卵だ。寝るときにはベッド……ああ、その前にはシャワーもいる。一晩を過ごすだけでこの騒ぎようだ。長い目で見れば、愛も希望も夢も必要なのだ。しかも困ったことに、そのすべてがそろったところで、100%のパフォーマンスが発揮されるわけではない。

彼は自分の役割にいちずだ。しかしそれを扱う人間は、とにかく複雑で理解しがたい。だけでも私は、この不可解さこそが、彼にはない、人間の愛すべき一面だと思う。人間は 1 人では何もできないが、その無数に必要なものを無限に組み合わせて、空を飛んだり宇宙へ行ったり、幼かった彼をマルチコア搭載でグリーンで仮想化な、何千万円もする代物にまで進化させてきた。

そしていま、自分たちだけでは飽き足らず、彼を雲の向こうへ飛ばそうとしている。この“飛行”も、息抜きのビールなしには成し遂げられなかった“偉業”に違いない、と付け加えておこう。10 年後、雲の向こうまで行ってしまった彼らに思いをはせて、私たちは次に、何をどこまで飛ばそうとしているのだろうか。

ここまで考えて、3 本目の缶を置き、シャワーもベッドも忘れ、床に寝転び、目を閉じる。愛すべきノート PC は、そんな私を見て、ため息をつくようにスリープした。

(IT インダストリ営業統括部：平野鉄平)

## No.384

### 真剣、本気の事業継続 / 夢をかなえるために必要なもの

2008年12月11日

## [コラム] @IT 編集部員のつぶやき 夢をかなえるために必要なもの

2008 年もあと 3 週間。今年もいろんな映画を見ました。しかし私は宣伝をばんばん打つような映画をほとんど見ていないため、こんな映画見たんですよといっってはみんなに首をかしげられます。そして編集部で付けられたあだ名は——おかまじゃないおすぎ。そんな私ですがつい先日心に残る DVD を見ましたので、今回はそれを紹介させてください。

その映画のタイトルは「デート・ウィズ・ドリュー」。登場するブライアンは、あのドリュー・バリモアとデートすること。地元のテレビ番組のクイズで賞金 1100 ドルを手にしたブライアンは、「30 日以内なら全額返金」する電機屋で一番いいビデオカメラを買い（借り?）、友人のツテだけを頼りにその夢の実現にむけ突き進むという、大自然も政治的意図もまったくない純粋なドキュメンタリー映画を作りました。

@ IT 情報マネジメント用語事典に「六次の隔たり」という言葉があります。これは世界中のどの人でも 6 人程度の知人の連鎖を介してつながることができる、というものです。まさにこの映画は「六次の隔たり」の実証実験で、コネも人脈もほとんどない彼が、気がつくとい知人の知人があこがれのスターだったりするのは興味深い話です。

それ以上に感心したのは、彼の夢に対する情熱の強さ。「夢がかなう」という言葉には、幸運が突然降ってくるというような印象があり、自分がなにか努力したという感じはしません。しかしブライアンは夢のために、30 日間真剣に（はたから見るとこっけいに）夢に向かって努力します。最初は突拍子もない設定に笑っていた自分も、だんだんと彼を応援しはじめ、真剣に映画を見ていました。

果たして 30 日間、1100 ドルであこがれのドリュー・バリモアとのデートは実現するのか……その結末をここで語るのは無料というものです。映画公開はずいぶん前に終わった作品ですが、今年見た映画では一番、心に残ったすばらしい作品でした。

（@ IT 編集部：宮田健）

## No.385

### デスクトップアプリを作ろう / 今年も勝手気ままに俺ベスト20曲

2008年12月18日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 今年も勝手気ままに俺ベスト20曲

@ IT 編集部 of 平田です。今年も選びました独断と偏見に満ち満ちたミュージック・オブ・ザ・イヤー 20 曲! 選んだ理由も添えています、大した理由じゃなくほとんど気分で選んだものなのであんまり気にしないでやってください。

1 アーティスト / グループにつき 1 曲で選びました。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム / シングル名です (敬称略、曲名アルファベット・50 音順)。

1 : All Nightmare Long (Metallica) 『Death Magnetic』より

米のメタル番長 Metallica の 5 年ぶりのニューアルバムから比較的歌メロがなじみやすい曲を選びました。ボーカルギター担当 James の語尾節回しがカラオケでやりたくてしょうがない!

2 : Bag It Up (Oasis) 『Dig Out Your Soul』より

1990 年代前半に一世を風びした英のムーブメント「ブリットポップ」の申し子 Oasis のニューアルバムの 1 曲目です。Oasis のアルバムはいつも 1 曲目が高揚感があって体を引っ張ってくれます。あらためてボーカル担当の Liam の声は本当にいいですねー。

3 : Comfortably Dumb (Extreme) 『Saudades de Rock』より

米のファンクハードロックバンド Extreme が再結成してニューアルバムが出る! というのが、個人的には G & R 新盤よりも今年の大事件でした。アルバムもさることながら、先日仕事を早めに抜けて行ってきた来日公演も良かったです。欲をいえば、スタンディングだったらもっと良かったのに!

4 : I Got Mine (The Black Keys) 『Attack and Release』より

米の二人組ブルースロックバンドが DJ Danger Mouse (7: の Beck 参照) と組んだニューアルバムからのこってこってのブルースナンバー。同じ編成の米 2 人組ブルースロックバンド The White Stripes とはまた違った泥くささがいい感じです。泥くさい音楽、大好きです!

5 : Mani (Orishas) 『Cosita Buena』 より

キューバのヒップホップ集団による底抜けに明るい1曲です。特に途中で入るカラッとしたギターとパーカッションがカリブ海を思い起こさせて楽しくなります (行ったことないけど…)

6 : Manwomanboggie (Q-Tip feat. Amanda Diva) 『The Renaissance』 より

米のヒップホップトリオ A Tribe Called Quest の元メンバー Q-Tip のソロアルバムからかなりファンキーな1曲を選びました。女性ゲストボーカル Amanda Diva の歌声と Q-Tip のラップ、ベースラインの絡みがとにかくファンキー過ぎて体が自然と揺れてしまいます!

7 : Modern Guilt (Beck) 『Modern Guilt』 より

米の万能ミュージシャン Beck が、Beatles と Jay-Z をマッシュアップした「The Grey Album」で一躍有名になった DJ Danger Mouse と手を組んだ! ということで俄然期待していたのですが、期待以上の良いアルバムでした。後期の Beatles というか、初期の John Lennon の曲のような空気感が出ていて気持ち良かった。

8 : Nattura (Bjork feat. Thom Yorke) 『Nattura Single』 より

アイスランドの歌姫 Bjork が iTunes で新曲を突如発表。しかも、英の音楽集団 Radiohead のフロントマン Thom Yorke との共演。この2人の共演は Bjork が主演してカンヌ国際映画祭を受賞した映画「ダンサー・イン・ザ・ダーク」の1曲以来ですが、今回 Thom はほんのバックコーラスのみです。むしろドラムループの面白さで選びました。

9 : Plastic (Portishead) 『Third』 より

英の電子音楽バンドによる11年ぶりのサードアルバムからの1曲。ドラムビートを途中でぶった切ったような不思議なループと女性ボーカル、ベースの不穏な声の掛け合いに、はっとさせられます。ベースの歌声はあの世から歌われてるみたいで、はっきりいって怖いです。

10 : Single Ladies [Put A Ring On It] (Beyonce) 『I Am...Sasha Fierce』 より

女性黒人 R & B グループ Destiny's Child の元中心メンバーでソロでも活躍中の Beyonce によるダンス・チューン! ビデオクリップを見てるとこっちも踊りたくなります。アルバム名にある「Sasha Fierce」は、Beyonce の「別人格」なのだそうです。

11 : Spycatcher (Original Mix) (Machines Don't Care) 『Machines Don't Care』 より

今年クラブかいいいを賑わしたらしいフィジエット・ハウス集団によるアルバムから1曲選びました。UFO が降りてきてまた舞い上がるような音が印象的です。ちなみに「フィジエット (fidget)」とは「そわそわする」といった意味です。



12: Stuff is Messed Up (The Offspring) 『Rise and Fall, Rage and Grace』より

米のメロディック・ハードコアバンド The Offspring のニューアルバムからのゴキゲンな 1 曲です。祭り太鼓のような始まり方で問答無用の楽しさがあって、ライブでかなり盛り上がりそうです! アルバムも全体的に捨て曲なしで良かった。

13: Toll Road (Zach Hill) 『Astrological Straits』より

米の変態的なテクニックのロックバンド Hella のドラマーによるソロアルバムは、すご過ぎて何をやってるかまだ消化しきれないけど、とても面白かった。ただのテクニックひけらかしの自己満足に陥らないで、ドラムソロの新しい形を切り開いた気がします。

14: Trojan Horse (Bloc Party.) 『Intimacy』より

英の技巧派ロックバンドの 3 枚目のアルバムからギター・ベース・ドラムのアンサンブルのカッコよさに圧倒される 1 曲を。黒人ギターボーカルの Kelly の声を最初に聞いたとき、英のロックバンド Blur の Damon の若いころの声によく似ているなど思ったもんです。

15: Wild International (One Day As A Lion) 『One Day As A Lion』より

米のヘビィロックバンド Rage Against The Machine のボーカル・ラッパーの Zack de la Rocha が長年温めていたソロアルバムを、元 Mars Volta でパワフルドラマーの John Theodore とドロップ! ラップとドラムとわずかな電子音なのに Rage Against The Machine に負けず劣らずの迫力がありました。

16: ゆきこさん (ミドリ) 『あらためまして、はじめまして、ミドリです。』より

日本の若手ハードコアバンド、ミドリ。その音を初めて聞いたときは衝撃で頭の中がぶっ飛ばされました。金切り声を上げる女性ボーカル後藤まりこの声もさることながら、不安感を煽るような無調というかジャズのようなピアノとハードコアがうまいこと融合しているのが印象的でした。

17: 屋ヶ名クファディーサー〜スヌ万才 (登川 誠仁) 『酔虎自在』より

沖縄民謡の重鎮による 6 年ぶりのソロアルバムの 1 曲目です。三線の調べと歌声が和〜みます。屋慶名は現在のうるま市で、そこにあるクファディーサーという木とうるま市出身の女性の美しさを歌った民謡だそうです。私事ですが、今年は初めて沖縄に行ってきたので、ちょっと沖縄ブームです。

18: 爪爪爪 (マキシマム・ザ・ホルモン) 『爪爪爪 / F』より

日本の何でもありロックバンドによる変てこで激しくてファンキーで面白くて切ない曲です。今年は Punk Spring と SummerSonic で 2 回もライブを見てしまいました。早くアルバム出ないかな。

19: 氷雨 (ジェロ) 『Covers』 より

今年、突如現れた黒人演歌歌手ジェロによるカバーアルバムからの佳山明生のカバー。はっきりいって、いままで演歌になじみはなかったのですが、この曲は某 CM で聞いてからなぜか頭から離れません。そこからジェロのデビュー曲「海雪」も好きになりました。

20: 7 a voir (Jean-Philippe Viret) 『Le Temps Qu'il Faut』 より

最後に、となりの席の H さんに貸してもらった仏の Jazz トリオによるアルバムを紹介します。比較的静かなノリのもので、この曲はドラムのリズムが多彩でとても面白かった。

今年の選曲を振り返ると、どちらかという打楽器が印象的なものとかリズム的に面白いものを選んだのが多かったです。今年でこのコラムも 3 回目ですが、いつもながら脈絡がなさ過ぎですね。皆さんも機会があれば、ぜひ聞いてみてください。

(@ IT 編集部: 平田修)

## No.386

じっくり読みたい、あの人の考え方 / 年末恒例? @IT(内輪な)2008年トピックを振り返る

2008年12月25日

# [コラム]@IT発行人のつぶやき 年末恒例? @IT(内輪な) 2008年トピックを振り返る

@ IT にとって、2008 年は大きな変動があった年だったと思います。内輪ネタを中心に、話題になった@ IT のこの1年のトピック（といっても4月から）を独断と偏見で振り返ってみました。

4月 @ IT 新体制がスタート

5月 @ IT に初めての新卒が配属に!

6月 MONOist に「電子機器フォーラム」がオープン

前発行人の新野氏がフリーの立場になり、永井が後任として別編集部より異動してきました。@ IT の新編集長には三木が着任し、情報マネジメントの鈴木編集長、MONOist の上島編集長とともに新体制でスタートしました。

そして昨年の新野氏の「@ IT は新卒ではつとまらないよ」という失言問題? で心配されていた新卒の配属ですが、無事に女性1名がMONOist に配属されました。

7月 新フォーラム「Server & Storage」と「Coding Edge」が同時オープン

8月 「デザインハック (D89)」コーナーを新設

9月 MONOist 用語事典がスタート

7月には2つの新規フォーラムが同時にオープンしました。「Server & Storage」では今年話題を集めた「仮想化」を中心に、分かりやすい解説記事が人気となりました。「Coding Edge」では、リリースとほぼ同じタイミングで、フォーラム担当に第2子が誕生するなど、それぞれうれしいスタートになりました。

また、「リッチクライアント」フォーラム内には、産休から復帰した担当編集者が、「デザインハック (D89)」コーナーを立ち上げて、わが子のように育てています。近い将来のフォーラム化が楽しみです。

さらに9月には、MONOist に配属された新卒編集者を中心に、MONOist 用語事典が立ち上がるなど、にぎわいのある夏になりました。

10 月 新米の収穫、その行方は？

11 月 「@ IT Ondemand-books」のテスト販売をスタート

12 月 「PCI DSS セミナー」をはじめ、盛りだくさんのイベントを実施

10 月はまったく個人的な話で恐縮です。昨年から某所で仲間と田んぼを借りて米づくりをしているのですが、2 年目に入った今年も無事、お米を収穫することができました!あともう少して収穫という時期にゲリラ豪雨に見舞われ、田んぼが水没しかけたりもしましたが、フタを開けてみれば大豊作で、昨年よりも大粒のお米ができました。この新米を会社のイベントの際に提供したところ、MONOist 編集部の人間に当たり、恰幅（かっぷく）のよすぎるその体格からか「当たるべくして当たった」と複数人から言われました。

11 月には、@ IT の人気記事をオンデマンド出版で提供する新サービス「@ IT Ondemand-book」をテスト的に開始しました。復刻マンガ本で有名なコンテンツワークス社より販売されています。

そして 12 月は、編集部主催で同日に 2 つのセキュリティ系イベントの実施や 2 回目となる大阪イベントなど、編集部を総動員してのイベント運営となりました。

最後におめでたいニュースとして、情マネ編集部で「あどみちゃん」と長くお付き合いをしていた（連載を担当していた）編集者が 12 月に結婚! 年の最後をハッピーに締めくくってくれました。

皆さんにとっての 2008 年はいかがでしたでしょうか? 世界的な景気後退を受けて、暗いニュースが目立ちますが、@ IT ではエンジニアの皆さんが元気になるような記事をお届けしていきたいと、スタッフ一同思っています。本年のご愛読に感謝するとともに、来年も引き続きよろしく願いいたします。

(@ IT 発行人 / テクノロジー・メディア事業部長: 永井利洋)

2009

No.387

Firebugで〇〇しようよ! / 新年、自らに問いかけを発する

2009年1月8日

## [コラム]会長のつぶやき 新年、自らに問いかけを発する

新年あけましておめでとうございます。2009年の新春をどのように迎えられたでしょうか? 今年も「@ IT」をはじめ、アイティメディアの各種メディアをどうぞごひいきにお願いします。

さて、この時期にありがちなことではありますが、例年“誓い”を立てています。

私は、@ ITの読者の平均年齢からは、残念なことに大幅にずれており、この正月で50代の半ばに到達しました。この年齢にもなれば、これまで、そしてこれからの人生について、いやがうえにも思いを巡らせることとなります。

折悪しくも、心穏やかに過ごすには少し厳しい過渡期の情勢下です。冷静沈着に考えを深めることがなかなか難しい時期だからこそ、考えを巡らせることに価値があるといえるかもしれませんね。

私の尊敬するピーター・ドラッカーは、こんなことを書いています。

私は、今でもこの会話（引用者注=ドラッカーの父とその友人であったシュンペーターとの会話）を忘れることができない。私は、この会話から3つのことを学んだ。

1つは、人は、何によって人に知られたいかを自問しなければならないということである。2つめは、その問いに対する答えは、歳をとるにつれて変わっていかなければならないということである。成長に伴って、変わっていかなければならないのである。3つめは、本当に知られるに値することは、人を素晴らしい人に変えることであるということである。

私も、ちょうど過去を振り返り、自らに問いかけを発している時期です。そして、これから成長に伴ってどうそれを自覚的に変化（深化）させていけるか。大切な時期に入っていると考えます。

さて、恥ずかしいので紹介は避けますが、自身が人からどのように知られたいのか、誓いを立ててみました。皆さんはいかがでしょう?

(アイティメディア 代表取締役会長：藤村厚夫)

No.388

IPで電話を楽しもう／チャンスはピンチの顔をしてやってくる

2009年1月15日

**[コラム]社長のつぶやき**

## チャンスはピンチの顔をしてやってくる

遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。日ごろは、@ IT ならびにアイティメディア株式会社をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。本年も引き続き、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2008年の@ IT は、Server&Storage などいくつかの新しいフォーラムを開設いたしました。また、おとし始めた製造業向けのサイト「@ IT MONOist」も編集部を増員し強化した結果、読者数、PVともに成長することができました。すでにおなじみの「@ IT 情報マネジメント」「@ IT 自分戦略研究所」を含め、@ IT ブランドもだいぶ多角化してきたなあ、と思います。

昨年、ある集まりで IT エンジニアの方から「@ IT は IT エンジニアのバイブルですよ」といわれ、非常にうれしい気持ちになりました。と同時に責任の重さを痛感し、このメディアを引き続き発展させ、IT 産業発展の縁の下の力になればと、意を新たにしました次第です。

前回のこのコラムは、旅行先のドバイで書きました。世界のクレーンの3分の1がドバイに集まっているといわれるほどの建設ラッシュで、地上800mのビルがほぼ完成し、1kmの新たなビルが計画されている、と報告したばかり。そのドバイも、世界不況の直撃を受けて、バブル崩壊寸前と聞きます。投機的に取引されていた不動産が売り込まれ、ビル街は居住者不在の廃虚……とまではいかないと思いますが、一時の伝説的な繁栄からすると相当陰りが出てきているようです。

年が明けて「おめでとうございます」とはいったものの、2009年はなかなか産業、ビジネスにとって厳しい年になりそうです。景気は循環するものだとすれば、必ず回復すると信じたいものです。今回は、その回復にいったいどのくらいの年月を要するのでしょうか？

私は経済の専門家ではありませんので、そのあたりはよく分かりませんが、なるべく早く回復基調を取り戻して欲しいものです。ただし、次なる回復は必ず構造変革を伴って実現するだろうと思っています。いまと同じところに、資金や需要が戻ってくるとは限らない。つまり、絶好のイノベーションの好機だと考えます。

多くの企業が新たな成長ステージに向かってイノベーションに取り組むでしょうし、当社自身もそのようにありたい。また、メディアとしてそうした技術革新・経営改革をしっかりとお伝えしてまいりたいと思います。

本年もなにとぞ、@ IT をよろしく願い申し上げます。また、読者の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

(アイティメディア 代表取締役社長：大槻利樹)



No.389

syslogを極めよう／9年根付いて住めば都？

2009年1月22日

## [コラム]TechTarget編集部員のつぶやき 9年根付いて住めば都？

現在暮らしているアパートでの生活が、今年で9年目に突入しました。

都会へのアクセスも良く、同じ市内にある厄除大師よりも、川を越えて明治神宮へ行く所要時間の方が短いらいです。また物価が安く、近くにある商店街のスーパーの特売日には隣の市から駆け付ける人もいます。そんな生活しやすい環境です。

最近、この街自体も住んでいる人も様変わりしていることを強く実感しています。

駅前のスーパーは食品売り場を24時間営業にし、夜遅く帰る人をターゲットにした展開で商店街との差別化を図っています。また駅から徒歩20秒という立地条件が良さそうなテナントは、なぜか半年単位で店が変わります。わたしは帰りがけに立ち寄っているのですが、客の入りがいマイチ良くないようです。雑誌でも取り上げられるほどの有名なカレーやラーメンなどの店が入ってきても、なぜか続きません。リニューアルを繰り返しては最終的に撤退していきます。リニューアルに伴い、カラオケが導入され、食べた後にマスターから「1曲どうですか？」といわれるラーメン屋もありました。客単価や客の回転率を考慮すると、わたしのような素人でも完全にリニューアルに失敗したことが分かります。味が良いただけにとっても残念でした。

そのほか、よく通っているファストフードやコンビニエンスストアの店員が成長する姿を（勝手に）見続けることもできました。化粧っ気がなく、とても素朴な感じだったファストフードの店員は、今ではバッチリメイクで目チカラがかなりアップしています。菓子パンを1つ購入しただけなのに「温めますか？」と聞いてきたコンビニエンスストアの店員は、今では「リーダー」のネームプレートを着けて現場を仕切っています。釣銭を渡すときに小指を立てる癖は変わっていませんが。

そんな街にあるアパートの賃貸契約はあと半年。このまま住み続けるべきか、引っ越すべきか、今とても悩んでいます。

(ターゲティング・メディア事業部：翁長潤)

## No.390

### エンジニアはAndroidを目指す / “彼女”に邪魔をされなくなった新しい職場

2009年1月29日

## [コラム]ITmedia +D編集部部員のつぶやき “彼女”に邪魔をされなくなった 新しい職場

私が昨年 9 月まで勤めていた会社では、猫を飼っていました。

職場はマンションの一室で、周りは閑静な住宅地。そんな環境のせいもあってか、会社の周りではよく野良猫を見かけました。会社が 1 階で、入り口のドアを開けっ放しにしていたので、猫が勝手に入ってくることもありました。

そんなある日、普段は見かけない猫が会社の周りをウロウロするようになりました。その猫、がりがりにやせ細っていてかなり弱っているようでした。しかもよく見ると……グレーの毛並みにグリーンの瞳……これはロシアンブルーでは!? なぜこんな由緒ある血統の猫が野良猫になったのかはなぞですが（おそらく捨てられたのかも）あまりにかわいそうなので、会社で飼うことにしました。

最初はやせ細っていた猫も、毎日えさを与えていくうちに順調に(?) ふくよかな体になり、社員にもすぐになつきました（メスのためか、私も含め男性社員によくなつていました）。私は会社で猫を飼うまで、猫に触れたこともなかったのですが、いざ飼ってみると、かわいいもんですね。仕事に行き詰まったときなどは、猫と遊んで気分転換をするのが習慣になりました。

毎日えさやトイレの世話をしたり、土日や正月休みなどは社員が交代で世話をしていたのですが、その手間を差し引いても、プラスの効果の方が大きかったと思います。1 人で休日出勤するときも、猫のおかげですいぶん癒されました。もはや「仕事のため」というよりは「猫に会うため」に会社に行く、といっても過言ではないほど猫好きになってしまったのです。

とはいえ、休日など人が少ないときはやたらと甘えてきて仕事に集中できなかつたり離席したすきに PC のキーボードの上に乗って、気付いたら意味不明な言葉が入力されていたり、自分の席の近くで“粗相”をしてしまったり……「仕事の効率」という点ではマイナスでしょう。それでも彼女（猫）は、仕事で疲れた心を癒してくれる貴重な存在でした。この（以前務めていた）会社が編集プロダクションで、仕事内容がハードだっただけに、なおさらです。

転職をする際、「新しい職場や仕事に慣れるかな?」という不安はもちろんありましたが、「猫がいなくても大丈夫かな?」という不安も少しあった……かもしれません。今の職場には猫はおろか動物は 1 匹もないので(当たり前) 仕事を邪魔されることはありませんが、どこか寂しくもあります。いわゆる“一般企業”に勤めるって、こういうことなんだなと、ほかの人とは少し違った視点で実感したのです。

(ITmedia +D 編集部 : 田中聡)

## No.391

# モバイルWiMAXって何ですか? / アイ・ラブ・顔文字!

2009年2月5日

## [コラム] 営業担当のつぶやき アイ・ラブ・顔文字!

最近、仕事やプライベートにおいて、コミュニケーションの手段が多様化していることをあらためて実感しています。

電話、メール、メッセージ、グループウェア……実際に会って話していると、声や表情などでいろいろなメッセージを交わせますが、テキストベースのコミュニケーションになると「なぜ、こんなにも無機質になってしまうのだろう!」と、うまく自分の気持ちを表現できないことにもどかしくなったりします。短い文章で伝える必要のある携帯電話のようなメールでは、よりいっそうその難しさは増します。

しかし、その無機質なテキストメッセージに感情を与えてくれる、世紀の大発明が「顔文字」と「絵文字」ではないでしょうか。「嫌い」というネガティブな言葉も「嫌い(;\_;)」とすることで、大きくその意味は違ってくるほどに、視覚的なメッセージがはらむ意味の強さを感じます。

某大手掲示板で生まれた顔文字を見ていると、「・」 「v」 や 「d」 などの組み合わせで、喜怒哀楽以外の「微妙な」気持ちですら顔文字に表現するという荒業を成し遂げています。そもそも表情豊かな人間の顔が、こんなにもシンプルで表現できることに感謝をしたくなるほどのバリエーションです。

その中でも、私が気になっているのは、(´・ω´) という顔文字。かわいいと思うのですが、どういう感情を表しているのが非常に悩ましく、日常的に使いたくて使えない顔文字の 1 つです。

あ~楽しかった(´・ω´)! も違うような気もするし、ごめんね(´・ω´) も違う気がする……。この顔はよく「ショボーン」という言葉と一緒に使われているのを見ますが、しょんぼりしているときは、私は泣きの顔文字を使います。こんなとき、「(T\_T) ショボーン」ではだめなのでしょうか?

顔文字が共通の言語となったいまの時代、ふと気がつけば、私を悩ませるものはどのような言葉で伝えるかではなく、「どの顔文字を使うか」「どの絵文字を使うか」のような気がしています。

もしかすると、「顔文字」や「絵文字」の大発明は、知らないうちに自らの言葉で文章を紡ぎ出す力をどんどん衰えさせているのかもしれない。

(営業本部: 寛司 絢子)

## No.392

### 知られざる“ペネトレーションテスト”の世界 / ハイテク機器と母親

2009年2月12日

## [コラム] @IT 編集部員のつぶやき ハイテク機器と母親

私自身はほとんどテレビを見ない生活になっているのですが、昨年の夏、ビデオデッキが壊れたというので母親から相談を受けました。今買うならやはりハードディスクレコーダーだろう、と思ったものの、「自分の舞踊を録画したビデオがあるからビデオデッキがいい」と。仕方がないので折衷案として、ハードディスクレコーダーにビデオデッキが付いているタイプのものを買いました。まず活用されないと思いながら。

テレビを見ていた時期はハードディスクレコーダーもフル活用していて、ドラマだけでなくニュース番組も念のため録画、テレビの放映時間に縛られない生活をしていました。結果ほとんど見ないことが分かり、今に至ります。そのため、ビデオテープの資産をまずはハードディスクにダビング、その後は自分のためにいくつかの番組録画予約をしては、まったく見ないまま放置していました。

ところが、最近になってハードディスクレコーダーのライブラリを見たところ、びっくりするくらいの番組が録画されていました。それも歌舞伎や舞踊など、明らかに母親の趣味の番組でした。いわく、「画面にテレビ番組表が出るから楽だわ〜」と、気になる番組を片っ端から録画、テレビの放映時間に縛られない生活を送っているではありませんか。ドラマのシリーズ予約もお手の物、結果、「あんたこの番組録画、見ないんだったら消しなさいよ」とまで。

若者がテレビ離れをし、いまや中心となる視聴者層はちょうど私の母親のような年齢層になっていると聞きます。ハードディスクレコーダーのユーザーインターフェイスはちょっと凝ったことをしようとするとたんに分かりにくくなるものの、単に録画予約をするだけなら簡単なインターフェイスになっていました。ハイテク機器も年齢問わず使えるようになってきていることに驚きました。

ここまで活用されるのならば、ブルーレイ付きを買っておけばよかったかなあ……。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

## No.393

### モバイルで遊ぶ、楽しむ / 食べて気が付くおふくろの味

2009年2月19日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 食べて気が付くおふくろの味

年々肥大化する体のことを考えて……とか、わが家のエンゲル係数がびっくりするくらい高かったから……というわけでもないのですが、以前よりも自炊をする割合が増えました。平日は自炊のために使える時間がそれほどないので、できるだけ休日にまとめて作っておいて、冷凍して保存。食べるときは温めるだけにする形をとっています。

事前に作るものを決めて、それに合わせて食材を購入。分量に合わせて塩の量などを調節して、できるだけ飽きがこない料理を目標に台所に立っています。もちろん、実際に作ってみるとうまいかないところがあるので、こまめに味を見ながら作ります。最悪どうなってもちゃんとリカバリーできるようにカレー粉を常備しています。

ただ、それで毎日の食生活がまかなえるというそうでもなく、「まだあるはず」と思っていた作りおきがないということもよくあります。そんなときは冷蔵庫の中身とにらめっこをしながら適当に作るのですが、作っているといま鍋の中にある料理に対して、かつてどこかで見たような既視感を抱きつつ、盛り付けて食卓へ。

口に運ぶと過去の記憶と結びつき、毎回思わず「同じ味だ」とつぶやいてしまいます。私が冷蔵庫にあった食材で適当に作った料理、それは私の母の料理そっくりなのです。「どこかで見たなあ」ではなく、幼少のころから幾度となく食べてきたものです。ただ単に炒めるだけじゃなく、ちょっととろみをつけて炒め煮風にする（そのため、少し味がぼける）ところなど意識してないのに本当に似ています。

だんだんといわゆる男の料理から脱してきたのかなと思いつつ、忙しいさなかにできあいのものに頼るわけでもなく、毎日食事を作ってきた母を少しだけ思い出しました。

(テクノロジーメディア事業部：千葉大輔)

## No.394

### 事業継続と災害復旧／キャストの小さなユーモア

2009年2月26日

# 【コラム】@IT MONOist編集部員のつぶやき キャストの小さなユーモア

先日、ある IT ベンダさんのプライベートイベント取材するために、米国フロリダ州のオーランドへ行ってきました。そのスケジュールの合間で、私は他媒体の記者さんとともにディズニーワールドにあるテーマパークの 1 つ、アニマルキングダムへ少しだけ遊びに行ってきました。今回の主目的はもちろん仕事。しかし日本から遠いオーランドを訪れる機会は、この先金銭的にも時間的にもなかなかないでしょう。せっかく会場からも近いのだし、息抜きがてら、1 度ぐらいは行っておこうと考えた……というのは言い訳でしょうか。

ともあれ私たちは、そこで一番人気の乗り物「エクスペディション・エベレスト」に乗りました。日本の遊園地の絶叫系アトラクションと同じように、そのクライマックス、私たちの変顔写真を撮られてしまいました。それをいただき、紙のファイルに入れて持ち歩いていました。

そのときは“歩き回るだろうし”と、大きなカバンでなく、小さなバッグを持ち歩いていました。なので荷物は必然的に両手で持っています。私は複数のことをいっぺんに考えるのが苦手です。荷物も極力、大きな袋で 1 つにします。作業でも荷物でも、複数に分割すると、なにかを 1 つ、ウっかり忘れてしまうのです。

「あ、写真がないです!」

私は突然、それに気が付きました。案の定、やってしまったのです。

この数分前、「ダイナソー」というアトラクションに乗っていました。そこでは座席の手前の小さなポーチに手荷物をしまうようになっていたので、バッグは肩に掛け、写真のファイルだけをそのポーチに入れていました。間違いなくそこだと私は確信し私たち一行はそのアトラクションに戻ることにしました。

乗っていた車両の番号が分からなければ、乗り物は常に循環しているし、探しようがない——最初、担当のキャスト（ディズニーワールドの従業員）にそういわれました。ただ、もう 1 人のクルーが「写真を見ればいいじゃない」と機転を利かせてくれました。ダイナソーでも、エクスペディション・エベレストと同様にクライマックスで写真を撮影します（そこでの写真はいただきませんでした）。その写真は、乗り物のシステム内にストックされ管理されていました。おかげで私の乗っていた座席はすぐに特定され、クルーの 1 人が直ちに写真を探しに行ってくれました。

「あったことにはあったのですが……」

私たちの元に戻ってきたクルーは、持ってきた紙のファイルを渡し「Sorry」といいました。その中身は空でした。“写真はなくなってしまったんだ”と誰もがそう思いました。

しかしその後、彼の背中から手が伸び、あの写真が出てきました。彼はニヤリと笑って、こういいました。

「もう探しませんよ? こういうの面倒なんだから!」

はい、気を付けます。やっぱり、荷物は必ず1つにします! 私はそう、固く心に誓いました。

日本でも一生懸命探してくれるのは同じでしょうが、真面目な顔で「出てきました」と伝えてくれるだけだったかもしれません。いま多くの企業でつらい時期を迎えているんじゃないかと思います。しかしつらいときこそ、こんな小さなユーモアも大事にできたらいいですね。

(テクノロジーメディア事業部: 小林由美)



## No.395

### オブジェクト指向って何ですか？／花粉に敏感な体質になってよかったこと

2009年3月5日

#### [コラム] 営業担当のつぶやき

# 花粉に敏感な体質になってよかったこと

ここ最近なんだか目はかゆいし、くしゃみも止まらず鼻がかゆい。電車の中でくしゃみをしていると「風邪のウイルスをばらまかないで!」という冷たい視線を感じるけれど、ちょっと待って……これは風邪じゃない……。そう、これは花粉症です。

これまで、敏感に花粉に反応したことがないため、止まらなくしゃみや目のかゆみがこんなにもつらいだなんて、想像すらできませんでした。

うらかな春の陽気に包まれた表参道も、風の谷のナウシカにでてくる「腐海」のように見えてきます。せっかく心待ちにしていた春の空気を、胸いっぱい吸い込む勇気が出ません。

私が生まれ育った田舎では、裏に大量のスギ花粉を備えた山が存在し、この時期になるとスギ花粉を私たちの街に投下していました。そこには、ただ花粉のミサイルを受けとめる以外、なすすべがなかったわが兄。

毎朝、開かなくなった目と、敗北感たっぷりのその姿を見ては「陸にうち上げられた魚の目のごたる」と笑ってからかっていた私（九州弁でごたるとは「～みたいだ」という意味です）。

兄ちゃん、ごめん。あんなことを言っていた私を許して欲しい。今ならそのときの辛い気持ちが分かります。

マスクを着けているあの人も、くしゃみが止まらないあの人も、きっと今日も明日も花粉に悩まされているのだろうと思います。

花粉に敏感な体質になってよかったこと。それは、花粉症の人に優しくなれること。私は電車のなかでくしゃみを連発するあの人に、優しい視線を送ることのできる自信があります。

(営業本部：寛司絢子)

## No.396

### アルゴリズムを知らずして / 秘境に生まれてよかった話

2009年3月12日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 秘境に生まれてよかった話

吉幾三の「俺ら東京さ行ぐだ」では、テレビもラジオもなく、車もそれほど走っていない、という表現がありました。テレビもラジオもない、というのはややいいすぎですが、大方間違っていない表現だと、田舎者の私はいまごろになって思うのです。

山と海に挟まれた狭い平地にしがみつくようにある集落に私の生家があります。テレビとラジオはありましたが、車はそれほど走っていませんでした。

子供時分には、それ以外の世界を知らないのので、これが標準的日本の光景であると思っていたわけです。いや、むしろ周囲の村から比べると都会だなあ、だって、あっちの村ってば畑と砂利道と牛しかないじゃん! などと優越感を持って過ごしていました。それに、列車（2両編成のディーゼル車）も走ってるしバス（1時間に1回くらい）もあるし! いやー都会に生まれて良かった、そう思っていました。

そんな井の中の蛙的優越感が崩れたのは、上京から2年後に帰郷した折。普通の町並みとしての記憶を残したまま、故郷の駅に降り立った時分は愕然としました。

「なにこの過疎」

いったん東京の風景を見てしまった私にとって、その光景は「寂れた」としかいいようのないものでした。おそらく、ここで一生を過ごしていたらこんな思いはしなかったでしょう。しかし比較対象を知ってしまったことで、強烈に“田舎”を感じるようになりました。

そんな愛すべき生まれ故郷が日本の秘境100選に選ばれてしまうほどの秘境だったことを知ったのは、上京してからこれ十数年たったころでした。

いわれて見れば、手付かずの自然だらけではありました。ちょっと歩けば原生林。ちょっと歩けば断崖絶壁でしたもの。

しかし秘境というのは、アマゾンの奥地やらインドネシアの山奥など、人類学者が決死の覚悟で調査に行くところ

ろではなかったか。調査した結果、現代文明から孤立した新たな部族を発見したりするあれではなかったか。

ああ、そういえば、山奥には山賊がいるから行っちゃだめ、っておばあちゃんがいました。山賊ってというのが未発見の部族なら、それは当たっていたのかもしれない。

(@ IT 編集部：原田美穂)

No.397

Mac OS Xを開発者が好むワケ／ぜひ見て欲しいこんなサイト(前)

2009年3月19日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき ぜひ見て欲しいこんなサイト(前)

2009年2月19日に公開した「Google 記事の裏に Twitter あり」という記事末尾に書かれた「ちなみに記者の Twitter アカウントはこちら」というリンク。その記事の公開直後から、垣内記者のアカウントには次から次へとフォローが相次ぎ、いつの間にもやら@ IT 更新情報やおすすめ過去記事、そして編集者の気になる一言が再送信される、非公式@ IT 代表アカウントになっております。

### ▼ Google 記事の裏に Twitter あり

そこで、今回は@ IT をより深く知るために、知っておいて損はない（と編集者が思い込んでいる）Web サイトをいくつかご紹介していきましょう。まずは twitter 関連から。

### ▼ Twitter / ikakiuchi

@ IT NewsInsight / @ IT 情報マネジメント、垣内記者の twitter アカウントです。この記事を開示して以降、びっくりするくらいのフォローをいただいたようで、なかには中学生 twitter もいるとか。内容は@ IT の半公的お知らせだけでなく、プライベートに近い内容も飛び出します。ここに対して@ IT へのコメントをいただくと、もれなく担当編集者にも通知が行きますので、一言いいたい人はぜひフォローしてみてください。いまのところは@ IT のハブ twitter アカウントになっております。

### ▼ Twitter / knsmr

同じく@ IT NewsInsight、西村記者の twitter アカウントです。西村記者の twitter は記事になる前のネタや、海外での動向をいち早く、記事になる前にピックアップするような内容になっており、ここでのつぶやきが将来の Analysis コーナーで取り上げられるかもしれません。同じ社内の人間ながら、個人的に非常に興味深く読ませていただいております。

実は編集部内でもまだ twitter をどうやって使うべきか、という指針がなく、ほぼ個人が自発的に情報を twitter に流しているというのが現状です。読者の皆さまに顔の見える編集部に、ということを目指しつつ、今後もいろいろな「面白いこと」ができればと思っていますので、ご意見、ご感想があればお気軽にどうぞ！（ちなみに私の

twitter アカウントは“tamiyata”です。セキュリティのネタを中心に上げてます)

そして twitter 以外にも見逃せない Web サイトがあるのですが、それはまた、次回に。

(@ IT 編集部: 宮田健)

No.398

Railsで、出発進行! / ぜひ見て欲しいこんなサイト(後)

2009年3月26日

**[コラム]@IT編集部員のつぶやき**

## ぜひ見て欲しいこんなサイト(後)

先週のコラムでは、編集部内の注目 twitter アカウントを手前みそながら取り上げてみました。今回もある意味手前みそなのですが、注目したいサイトを紹介します。

### ▼ Publickey

2009年2月26日にオープンしたばかりの、Ajax に JavaScript、CMS やメールソフトなどのレビューを含め、かなり多岐にわたる IT 情報を素早く提供するような Web サイトです。現在は“ベータ公開”という扱いですが、ニュースサイトや個人のブログを分け隔てなく取り上げ、さまざまな Web サービスを積極的にマッシュアップする非常にモダンな作りになっています。

特にブックマークカテゴリの記事は特徴的で、例えば jQuery というキーワードのページでは、その解説をさまざまなサイト (@ IT の記事も含め) へのリンクを含めて解説するだけでなく、右ペインにははてなブックマークやアマゾンの関連書籍、勉強会へのリンク、そして twitter での発言検索の内容も表示されており、ストック型の情報だけでなく、いまだんなことが話題になっているかもキャッチできるようになっています。

実はこの Publickey、運営しているのは元@ IT 発行人の新野氏です。ここで取り上げろという圧力があつたわけではありませんが(苦笑)、メディアの中にいる人間としてもこのような新しい試みというのは非常に参考になり、その意味で注目せざるを得ないと考えています。なかには「弊社のことかー!」と叫ばざるを得ない記事もあつたりなかつたりと、編集部内では戦々恐々としています。

振り返って@ IT の構成を見ると、読者の方々との交流や個人ブログとの連携などはまだまだという段階です。ソーシャルブックマークなどでコメントをいただくことは多いのですが、それに対して反応をすぐに行うことができず、距離を縮めるには至っていないかもしれません。新野氏の Publickey のようにモダンなアーキテクチャに一新したいところですがそれも難しく……。まだまだ私たちにもやるべきこと、やらなくてはいけないことがたくさんあることを痛感しました。

ということで、@ IT とともに、Publickey をどうぞよろしく願いいたします。

(@ IT 編集部: 宮田健)

No.399

JSONを使ったアプリケーションを作ろう / Twitterのタイムラインが埋まった日

2009年4月2日

[コラム] @IT編集部員のつぶやき

## Twitterのタイムラインが埋まった日

前々回のこのコラム欄で、@ IT 編集部内で Twitter の利用が広まり、半分公的な情報配信が始まっていることに触れました。最近、その Twitter の威力を再認識する出来事がありました。ワールドベースボールクラシック (WBC) です。

この手の大きなスポーツイベントは、できればリアルタイムで見たいもの。テレビ中継を見ることができれば一番いいのですが、一応社会人をやっている手前、日中はそもいきません。こっそりワンセグを見るという手もあるでしょうが、昼日中オフィスで……というも若干はばかられるところ。そこでこれまで、ワールドカップや昨年の WBC などでは、主に速報サイトにお世話になってきました。仕事しながら、時々別のタブをリロードして、逐次試合経過を知るというわけです。

ところが今年の WBC では、速報サイトを見るより早く、Twitter のタイムラインを追うだけで確実に状況を知ることができました。日本代表チームが勝ち進むごとに、Twitter のタイムラインが加速的に伸びていくさまは、なかなか見応えがありましたよ。中でも優勝の瞬間は「やった!」「おめでとう」だけで画面が埋まったほどです。

この Twitter での実況、従来の手法以上に迅速に状況が分かるというメリットもさることながら、個人的にいいなあと感じたのは、ただ経過が分かるだけでなく、つぶやきを発した人たちとの一体感が得られることでした。選手への思い入れ、仕事しながらも経過が気になってしょうがない……そんな姿が文字列の向こうに浮かぶところが、Twitter の魅力の 1 つかな、なんて考えています。もちろん、負荷集中時の信頼性や検索性など、まだまだ強化して欲しいポイントはありますが……。

何より、中には「録画しておいてあとでじっくり見るから、家に帰るまで情報遮断しなきゃ」って考えている人もいるはず。そういう方にとって、こういうサービスが広がるのは酷な状況かもしれませんね。

(@ IT 編集部 : 高橋睦美)

## No.400

### 「ID管理システム」のいま／たまにやるからポイントが高い男の料理

2009年4月9日

## 【コラム】@IT MONOist編集部員のつぶやき

# たまにやるからポイントが高い男の料理

突然ですが皆さん、料理してますか？

男だからといって“料理をしない”と決め付けてはもったいないですよ。味や見た目じゃありません。奥さんや両親、子供のために休日腕を振るうのもたまにはいいと思いませんか？ 自分の料理でみんなが笑顔になる(?) と考えたらワクワクしますよね。そんな方のために、私（男性／32歳）が奥さんに食べてもらって好評だった料理をご紹介します。

今回は誰でも簡単に作れる「ポークソテー」です（ちなみに、私が最初に覚えた超簡単料理です）。スーパーで2枚で200g、380円くらいで売っているロースカツ用豚肉を準備してください。あとは台所にある塩、こしょう、酒、醤油、油を使うだけです。家計にもやさしいですね。

はじめに、まな板の上にロースカツ用豚肉を置き、脂身に包丁でスジを入れます。そして、塩とこしょうを少量振りかけ、手で肉全体に擦り込みます。ここまでできたら裏面も同様に行ってください。下ごしらえはたったこれだけです。

次に、フライパンを中火で温め、手をかざしてほんのり温かく感じてきたら油を少量引き、すかさず肉をフライパンに載せます。直径28cmのフライパンであれば2枚同時に焼けると思います。片面に少し焦げ目（焼き色）が付くまで中火で火を通してください。片面に色が付いてきたら弱火（消えるか消えないかのギリギリな火加減）にして肉をひっくり返します。ここでフライパンにフタをして、キッチンタイマーで7分間蒸し焼きにします。この間、まな板を洗ったり、盛り付け用の皿を準備したりすればOKです。

タイマーが鳴ったら、フタをあけて料理酒を少量かけます。そして、アルコール分を飛ばしたら肉を取り出します（残った肉汁は後で使います）。ここで一度火を消して焼きあがった肉を食べやすい大きさに切り、皿に盛り付けます。ここまでできたら、もう一度フライパンを中火で温め、残った肉汁に醤油を少量加えてタレを作ります。沸騰した瞬間くらいに火を止めて、肉を盛り付けた皿に豪快にかけるだけです。

いかがでしょうか？ 簡単ですよ。これに千切りキャベツでも添えてあげれば立派なおかずの出来上がりです。



毎日ご飯を作ってくれる奥さんや家族のために、たまにはご飯を作ってあげてはいかがでしょうか。きっと自分が思っている以上に喜んでくれますよ!

ただし、後片付けまでしっかりとやらないと、せっかくの笑顔が消えてしまいますのでご注意を……。

(IT インダストリー事業部：八木沢篤)

## No.401

### 押さえておくべきXSS対策の基本 / 美味しいインターネットを飲もう

2009年4月16日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# 美味しいインターネットを飲もう

お酒を飲む量が減った。きっかけは1つではない。晩酌をすると翌朝に響くようになったこと、2~3日飲むのを我慢したあとのお酒はとておいしいこと、いまのうちにあまり飲み過ぎて、もっと年を取ってから飲めなくなるのを避けたいこと（いつかわが子と飲みたい）……。

とはいえ節酒、断酒をすることはあっても、ほどほどを心掛けながらおいしいお酒を飲み続けたいと思っている。飲んだことのない地ビールや新しいビールの発掘・試飲、仲間たちとの宴会。移り気でさみしがりな自分には、まだまだ楽しみが残っている。

同じように最近、インターネットに接続する時間も少し減ったように思う。理由は飲酒が減った理由と同じなのかもしれない。

深夜までネットサーフィンをすると朝起きるのがつらいこと、しばらくぶりにネットに触れると、情報の目新しさや質がかえって際立つ（ように感じる）こと、そして、まだ読み始めたばかりだが、「人間が一生のうちに見られるものは限られている」と主張する本に出会ったこと。これは当然の概念のようで目からウロコだった。

ネットの世界をずーっと歩いていると、役に立ちそうな情報がたくさんある。翌朝には忘れてしまっているような、自分にとって本当は必要でない情報を思わずじっくり読んでしまうことも多い。その一方で、インターネットから学んだこと、救われた経験もとてつもなく多く、忘れられない言葉や人物にもたくさん出会った。

確かに一生は限られているので、無駄なものよりは、必要なものを見る時間の割合を増やした方がいいに決まっている。そのためにはどうするかというと、お酒と同様、インターネットともほどほどに付き合うに限る。なんでもかんでも飲んで悪酔いするのを防ぐのだ。

でも単純にインターネットに触れる時間を減らすだけだとさみしい。例えばビールを断つには、代わりに炭酸水を飲む（酒より高くつく場合もあるが、酔っぱらわないのはメリットだ）。同じくインターネットを断つには、その代わりになるもの、新聞や本を読んでみることにする（あまり興味のわからない話も多いが、徐々にどんな話題も楽しめるようになってくるから不思議だ）。

かつてある先輩がつぶやいていたひとことが強烈だった。「惰性で酒を飲んじまったらいけねーよな」。

インターネットにも同じことがいえてしまう気がする。それだけ魅力的で、中毒性があり、ほどほどの距離で付き合いたいんだと思う。いまそれを仕事にはしていますが。

(企画推進部：平野鉄平)

No.402

DBチューニングでパフォーマンスアップ! / 古本屋巡りの似た愉しみ、StumbleUpon

2009年4月23日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 古本屋巡りの似た愉しみ、 StumbleUpon

「StumbleUpon」(スタンブル・アポン)というサービスをご存じですか? FirefoxなどでStumbleUponのアドオンを入れてボタンを押すと、どこか面白いWebサイトへ連れて行ってくれるという実にシンプルなサービスです。あらかじめ自分の趣味・嗜好を指定しておけば、大体希望ジャンルのコンテンツに巡り会えます。テキスト主体のコンテンツだけでなく、写真や動画などもあります。ちょっと息抜き、というようなときに、何となくボタンを押してみると思わず引き込まれるコンテンツに巡り会えることがあります。

「stumble upon」は「バツリ出くわす」「思いがけず見つける」という意味です。ボタンを押すまで何が出てくるか分からないのですが、StumbleUponに登録されているWebサイト(URL)は、大抵多くの人々の支持を得ているところなので、ハズレが少ないです。もちろん期待ハズレだと思えば、自分の評価をStumbleUponのデータベースに反映させることもできます。「こういうのが好き」であることをStumbleUponに知らせると、ますます自分好みのコンテンツが出てきやすくなります。

私はStumbleUponに古本屋巡りに似た愉しみを見いだしています。frameやblinkを使った手書きHTMLという見るからに古いWebページでありながら、きらりと光るコンテンツというものが多くあるものです。実際、1990年代後半に作られたものなど十年もののコンテンツが出てくることも珍しくありません。まるで古本のようにです。

古本のようにだといっても、日の当たらないワゴンで1冊100円で売られているような安っぽい古本というわけではありません。古本の醍醐味(だいごみ)は、100年前に中国で出版されたはりきゅうの辞典のようなものだったり、80年前に自費出版された名もない軍人の手記だったり、60年前に市井の商人が編纂した私家版関西弁辞典だったり、50年前に出たアメリカの国民生活白書だったり、そういう一般書店ではまず巡り会えないような何かであろうと思っています。新刊サイクルの加速する書店(インターネット)で巡り会えないものの、実は良質な本(コンテンツ)という類のものもあります。

主にニュースを担当している私の情報収集活動による影響が大きいかもしれませんが、私には、このところインターネットが蛍光灯にきらきら照らされた書店の新刊コーナーのように感じられています。ポータルサイト、

ニュースサイト、RSS、ブログ、検索、ソーシャルブックマーク、Twitter、どこを見ても過去 24 時間とか数日以内に作られたコンテンツであふれかえっていて、せいぜい数カ月以内の“新鮮”なものばかりを見えています。

書物がそうであるように、Web ページも新しければいいというものでもありません。それどころか、私には、ソーシャルブックマークのようなサイトにリストアップされる「新入荷」「売れ筋」の棚の半分以上は、なぜ売れているのかよく分からない“ベストセラー”に酷似しているように思えます。これは、新書ブームにあやかりうとした出版社による粗製濫造によって、内容が薄い似たり寄ったりの新書が書店に氾濫したのと平行的な話にも思えてきます。判型や体裁を統一することで出版コストを下げ、刊行サイクルを速めた新書と、CMS やホスティングによって手軽にエントリが公開できるようになったブログ／オンラインメディアとは、どこか通じてるように感じています。

そうしたとめどないノイズの洪水に押し流されそうになっていると、StumbleUpon が提示してくれる“古本”のようなコンテンツが一服の清涼剤のように感じられることがあります。装丁は古色蒼然としながらも、決して古びることのない（あるいは古びたからこそ輝きを増す）コンテンツに心が落ち着こう（あるいは踊ろう）というものです。

いえ、実際にはそんなに高尚な話でもなく、ジョークコンテンツも多いのですが、それでもまあインターネットは実は広がったんだな、そういえば Web サーフィンってこういうことだったなと思わせてくれる新鮮さが、StumbleUpon にはあるように思います。

(@ IT 編集部 西村賢)

## No.403

### 連休中にインストールしてみよう / 絶対に展示されない標本を見た！

2009年4月30日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 絶対に展示されない標本を見た！

先日、国立科学博物館の新宿分館で開催されていた「オープンラボ」に参加してきました。上野にある「本館」とは異なり、普段は研究、標本管理を行っている分館が、年に1度だけ公開されるイベントです。めったに見られない貴重な標本や、専門家による詳しい解説を生で聞ける、手作り感あふれる素晴らしいものでした。今回はそこで見た、とある標本に心奪われてしまった話を。

ダーウィンの進化論に関する展示にて「これは通常、絶対に展示されない標本です」という前置きで登場したのは、白と黒の2色で作られた頭蓋骨のレプリカ。頭頂部の右側と左側、そして右あごと歯が数本、眉間の部分が黒でそれ以外は白。どうやら白いところは未発見部分のようです。この頭蓋骨は「ピルトダウン人」という原人のもの。なんの変哲もなさそうなその頭蓋骨は、進化の道筋から「とんでもなく」外れたものなのだそうです。

サルやゴリラ、オランウータンなどの特徴は「あごが大きく前に出ており、脳が小さい」というもの。そして人間は逆に「あごは小さく、脳が大きい」という特徴があります。進化の過程においては、二足歩行をし大腿骨がしっかりし、あごが小さくなってから脳が発達する、とされているそうです。その過程ですとまず「あごが小さく、脳がまだ未発達で小さい」という原人が登場し、人間に近づいていくはずで。

ところがこのピルトダウン人、「あごはオランウータン、でも脳はヒトと同じくらいの大きさ」だということです。しかも発見されたのは、他の原人がアフリカで多く見ついているにもかかわらず、ヨーロッパにて見つかったというのです。

ここでネタバレ。ご存じの方はご存じかもしれませんが、このピルトダウン人とは考古学界では非常に有名な「ねつ造」の原人。頭頂部はクロマニオン人、あごはオランウータンのものを巧妙に組み合わせたものだったのです。そういわれてみると、左右の頭頂部、およびあごの関節といった、組み合わせられるべき部分が都合よく欠損していたり、これみよがしに眉間の骨や歯などといった部分が都合よく発見されているなど、専門家から見ても「よくできている」という偽物なのだそうです。

解説をしてくれた研究員の方によると、これが作られた20世紀初頭はまだ進化論に対する風当たりが非常に強く、ダーウィンの「種の起源」ですらヒトの出自はあいまいに書かれていたそうです。そして文化の中心ヨー

ロッパでも「ヒトの起源はヨーロッパ以外であるべきではない」という考えも根強く、ねつ造が生まれた背景にはそのような想いもあったのだろう、ということでした。

研究員いわく、「これは考古学的には『汚点』ですが、その背景にあるものが興味深いと思い、展示してみました」とのこと。その狙いは大当たりしたようで、その後の質問コーナーでもピルトダウン人に関するものばかりが挙げられていました。考古学にも民俗学や宗教、歴史、そして人の想いが深く関係することを知った 1 日でした。

(@ IT 編集部：宮田健)

## No.404

### 何はなくとも「コスト削減」/“沖縄タイム”で考えた

2009年5月14日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき “沖縄タイム”で考えた

先週はゴールデンウィーク。新入社員の私にとって、初めての大型連休でした。新人のくせに生意気なとは思いましたが、せっかくの休暇。ここぞとばかりに沖縄へ行って参りました。限られた日数の中でいかに沖縄を満喫するか。事前にリストアップした訪問場所を組み合わせ、プランニングは万全でした。

着実にプランを遂行していたころ、親しくなった現地の方に「時計なんて外しちゃえさー。沖縄タイムを楽しんで」と言われました。沖縄タイムとは「時間にルーズ」または「時間に追われずにゆったりと過ごす」という意味のようです。

沖縄では、きっちりプランニングをするなど言語道断。都会の騒がしさとかけ離れた異空間で“時間に追われず過ごす”ことこそ、沖縄ステイの面白さだといいます。時間を意識せず、ゆったりとした日々を過ごすと、不思議と気分が穏やかになります。まさに究極のストレス解消法。これを東京で実現できないものでしょうか。

異空間を作れば実現できるのでは——以前、安易な考えから私は、部屋を異空間に仕立てたことがあります。まずは時間感覚をまひさせます。時計はもちろん、テレビやカレンダーなど「時間を意識させる」一切のものを排除しました。そして次に、生活感を極力なくします。真っ白な広い部屋にはベッドとステレオのみに。

外界の喧騒とは明らかにかけ離れた無機質な空間。ここで時間を意識せず、ゆったりとした日々を送れたかという……ただただ時間を気にしない、無気力な日々を送る結果となりました。これでは単なるダメ人間です。やはりバカンス地の癒しを東京で実現するのは無茶なのでしょう。

そんなとき、ふと友人の腕時計に目をやると、20時にもかかわらず短針が15時を差していました。それ指摘すると友人は、自信満々に「半年は止まっている。時間に縛られなくていいでしょう」と答えました。それなら腕時計をしなればよいのに……という疑問はさておき。友人は時間を意識せず、ゆったりとした日々を送っているようです。彼女は壊れた腕時計1つで、沖縄タイムを実現していました。

長々書きましたが、結局は心の持ちようだ、ということです。今回の沖縄旅行にしても無機質な部屋にしても、環境を整えたところで自分自身が意識的に行動しなくては何事も実現できません。



4 月から会社の一員になりましたが、まだ一人前の社会人にはなっていません。これから意識的に自分のできることを実行し、できないことを見つけては克服していくことで、一人前になっていきたいと思ったゴールデンウィークでした。

(管理本部：滝沢渚)

No.405

バックアップあれこれ / Twitter で考えるオンオフの境界

2009年5月21日

## [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき Twitter で考えるオンオフの境界

「はじめまして、新入社員の伊藤海彦です」

「へー、海彦って珍しい名前だね。じゃ弟は山彦?」

「いいえ妹しかいないんです」

「じゃ妹の名前は山子?」

「(苦笑)」

----- <ここまでテンプレ> -----

改めましてこんにちは、新人の伊藤海彦です。自分の名前をネタにするとコラム 2 回分くらいスペースをつぶせるのですが、面白くないのでやめます。

1 カ月半の研修もそろそろ終わり、この号が配信されているころには配属先が決まっているはず。編集なのか営業なのか、どこの事業部か、かわいいあの先輩の隣に座れるのか……などなど、配属に関する妄想は尽きません。同期の間では、ほとんど都市伝説レベルのうわさまで飛び交っています。それをまとめてここにぶちまけるとビール 3 杯分くらいはイケるのですが、安全保障上の観点から差し控えます。

最近、先輩社員を Twitter で追い掛け回すのにハマっています。追い掛け回すといっても別にストーカーするわけじゃなく、ただそれっぽい人を見つけてはフォローしているだけです。僕は学生時代から Twitter を始め、いまでは Twitter でできたネットワークを使って人に会うことも珍しくありません。そういうのは普通「オフ会」と呼びますが、Twitter の場合、大規模な場合を除き、わざわざオフ会と銘打つことはあまりありません。オンラインとオフラインの差を感じさせないくらい、Twitter がオフラインの世界と連続的だということなんだと思います。

しかしそれゆえの悩みもあります。自分の見聞きした情報をどこまで post していいのかという問題です。入社してからは特にそうで、「これ、はてなブックマークで社員の発言として引っ張り上げられたらどうしよう……」「いやしかし僕はあくまで『伊藤海彦』ではなく、ウェブ上のアカウントとしてしゃべっているのだから……」などとめんどくさいことを考えざるを得なくなります。

それは「情報が外に漏れることのリスク」としてもとらえられますが、「ウェブ上の人格と現実の人格のをどう使い分けるか」という問題でもあります。ここまでオン／オフの境界を揺さぶるツールが出てくると、そんな使い分けは無意味だったのでは、と思うこともしばしばです。

脳を直接プラグでつなげて互いの思考を一緒にくたにする、というのは攻殻機動隊やマトリックスなど SF の話ですが、Twitter を見ていると、もう実現しているような気さえしてきます。Twitter で他人をフォローするとき、ユーザーが集めようとしているのは、断片的な「情報」ではなく、その人がどんな人なのかという「人格」です。Twitter は、他人の人格とそこから漏れ出してくる他人の思考のメルティングポットだ! と考えると、ちょっと夢があります。あまりかっこよくはありませんが。

(メディア・マーケティング統括部：伊藤海彦)

## No.406

### もう一度基礎から学ぶ“HTML” / オレのNo Music, No Life.

2009年5月28日

# [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき オレのNo Music, No Life.

小学生から中学生の間、数年間クラシックギターを習っていました。女の子に黄色い声でキャーキャーいわれているビジュアル系バンドにあこがれてなのか、それとも「今日の仕事はつらかった〜」とギターを弾きながら歌う、オヤジのその切ない背中にいとおしさを感じたからなのか……。習い始めた理由はもう覚えていません。

ギターを習い始めて間もないころは、先生に教わることを忠実に守り、まじめに練習していました。先生は練習曲を弾くときに感情移入しすぎてか、鼻息が荒くなるが多かったのですが、そのあたりも忠実にまねしていました。鼻息荒くすればうまく弾けるのかなと……。逆ですよ。

そんなこんなで始まった、私と音楽の付き合い。男1人暮らし、さみしい夜は1人クラシックギターを奏でています。暗いノクターンやモルダウ、情景などの曲が好きですが、最近は坂本龍一さんの energy flow にどっぷり浸かっております。幼いころに習い始めたクラシックギターにいろいろお世話になっております。癒されます。

社会人となり、せっかく東京に出てきたので、音楽を通しての出会いもあればと最近考えています。趣味としての音楽を充実させながら、もしかして仕事においても何かシナジーが生まれるような出会いがあるのではないかと、なんてことを期待してます。

以前からピアノを習いたかったので、先日体験レッスンに参加してきました。10年後ジャズピアノを弾いてる自分を夢見て、独り身1人暮らしを趣味の面から、仕事の面から楽しもうと思っています。

(人財支援営業部：青山航)

## No.407

### チャレンジ! ETロボコン/次はポーケンなのか?

2009年6月4日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 次はポーケンなのか?

ネットのウワサによると、twitter の次は Poken が流行るそうです。

僕が twitter を始めたのは 2 年前のこと。調べてみると、2007 年 4 月 30 日に mixi 日記で友人たちに紹介していました。そして友人たちと使い道を探ったものの、「飽きた」という結論に落ち着いた気がします。2 カ月ほどで放置状態になりました。それが最近になって「検索するとけっこう知り合いがいる」という状況になり、再びつぶやき始めました。

「検索するとけっこう知り合いがいる」という状況は、ネットのサービスにとって重要な意味を持つと思います。僕がメインで使う SNS を GREE から mixi へ移行したのは、大学の新生が迷わず mixi を選んでいたからでした。何もしなくても「マイミク」が増える mixi と、積極的に誘わないと「グリ友（こんな呼び名があることを最近知りました）」が増えない GREE では、選択の余地はなかったのです。ちなみに初期の GREE は東大生と慶大生だらけだったのですが、そんな話はいまや昔。GREE は当時とはまったく別物に進化したようです。

皆さんはデジタル名刺として注目されているポーケン (Poken) をご存じでしょうか。相手のポーケンと自分のポーケンを合わせることで、名前やメールアドレスなど紙の名刺に書くようなことはもちろん、メッセージャーや twitter の ID も交換できるツールです。mixi などの SNS アカウントも登録することができるので、「あとで (アカウントやら URL を) メールします!」とか「hoge hoge というニックネームで上から 5 番目くらいに出てくるので検索してください」ということもなくなりそうです。

社内にはポーケンを持っている先輩社員が何人もおり、ポーケンが話し掛けるきっかけになり、交換した twitter で意外な一面を知ったりもします。もしかしたら、2 年後には誰もが持っているツールになるかもしれません。そのとき、ビジネスや生活ではどんな変化が起こるのでしょうか。「[「脳コイル」](#)のようなメガネができる日はいつになるのでしょうか。考えるだけで、わくわくが止まりません。

(マーケティング・コミュニケーション部: 山本恵太)

## No.408

### 実は必修、ライセンスのあれこれ／エンジニアは主役なのだ！

2009年6月11日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき エンジニアは主役なのだ！

気温 25 度を超える日も珍しくなくなってきた今日このごろ。暑くて出かけるのもおっくうという休日には家で映画鑑賞がおすすめです。@ IT のメルマガに掲載されるコラムということで、エンジニアが主人公の映画を 3 本ご紹介します。

1 本目は「バトル オブ シリコンバレー」。シリコンバレーの巨星、スティーブ・ジョブズと、ビル・ゲイツのドキュメンタリードラマです。かのマッキントッシュが生まれ出された経緯と、その後ジョブズが解雇された真相、ゲイツ率いるマイクロソフトがシリコンバレーで成功していく過程を描いています。コンピュータ業界がどう切り開かれてきたのか、伝記風の仕立てになって面白いと思います。

2 本目は「シリコンバレーを抜け駆ける!」。転職先のベンチャー企業で反感を買い、99ドルパソコンを作るという無理難題を押し付けられた主人公が、会社を見返そうと奮闘します。果たして 99ドルパソコンは完成するのか、そしてライバルの仕掛けたわなどは何か。会社に属する社員と著作権の問題などにも触れていますが、基本的には気楽に見ることができるコメディとなっています。

3 本目は「プライマー」。主人公のエンジニアは仕事のかたわら、ガレージで仲間と機械製品を作り、商品化を夢見しています。しかしなかなかビジネスにつながらず行き詰っていました。そんな中、偶然作り出した超伝導を利用した重力軽減装置の「箱」の中で、時間の流れがゆがむことを発見してしまいます。監督自身元エンジニアということもあってか、パズルのように難解で、SF 好きの方はもちろんサスペンス好きな方にもおすすめできる、見応え十分な作品となっています。

もし「エンジニア的に見て、こんな面白い作品がある」という方がいましたら、ぜひ@ IT クラブ Cafe までお知らせください!

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：射場理恵)

No.409

リッチクライアント向け言語「Curl」／私流、梅雨時の過ごし方

2009年6月18日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 私流、梅雨時の過ごし方

梅雨入りし、じめじめしてきたこの時期。オフィス内や電車は冷房が効き始めて、肌寒く感じる場合があります。体が冷えて代謝が悪くなってくるこの時期、汗をかいて体を温めることは重要なことです。

そこで、思い浮かぶのは岩盤浴とサウナ。どちらも温度の高いところで汗をかくというイメージですが、何が違うのかご存じでしょうか。

実はその違いは、湿度と室温にあります。サウナは「空気」を高温にするのに対し、岩盤浴は「岩盤」を暖めているのです。

締め切った部屋で、空気の温度を高温に保ち、発汗させるサウナは長時間いることはできません。慣れていないとすぐに息苦しくなってしまいます。それに対し、岩盤浴では気持ちのよい温度に温められた岩盤の上に、ただ寝そべっているだけでよいのです。どちらも「汗をかく」という効果がありますが、岩盤浴は何の苦痛もなく自然に大量の汗をかくことができるのです。

最近では、友達同士や家族、カップルでもいける大型の岩盤浴施設ができてきています。体を温め、汗をしっかりとかいて老廃物を出し、ゆっくり会話してストレスや疲れを解消する……。梅雨の時期、こんな素敵な時間の過ごし方はいかがでしょうか。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：射場理恵)

## No.410

### みんな気になるWindows 7 / 新しいビジネスを考えた！

2009年6月25日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 新しいビジネスを考えた！

@ IT 読者の皆さんは、月にどれくらい本を読まれるでしょうか。

社会人の1年目とは、読書の傾向が大きく変わる時期なのかもしれません。ネット広告について、システム開発について、担当している分野の専門知識についてなど、いままで目もくれなかった分野の本を手にする毎日。本は欲しいけどお金はない、ということでその足はいつの間にかブックオフへ。

が、よくいわれていますように、私もあの元気いっぱいな店員の対応が苦手です。例えば、たかだか数百円の古本を買ったぐらいで店員から「ありがとうございました！」と大声でいわれてしまうと、こっちが申し訳ない気持ちになります。「いやホントいいですから」と心の中でつぶやかざるを得ません。

こちらから質問するとき以外は口を開かない、そして不機嫌そうにしているのが書店の店員のあるべき姿だろうなどとくさしたくなるあたり、静かな店内で、ゆっくりと物色できる古本屋のほうが、自分の性には合っているようです。

その点、深夜のコンビニはなんと素晴らしいことか。

草木も眠る丑（うし）三つ時。店員は20歳前後のアルバイト。トロトロと遅い動き。進まない会計。眠そうな顔。ハリのない声……（もちろん、すべての店員がそうだとはいいませんが）。店員の対応の悪さに目くじらを立てる人も多いようですが、深夜のコンビニで買うものなどロクなものじゃないのですから、まじめに対応されてもこっちだって困るというもの。暗い夜道にこうこうと輝いたたすまいとは裏腹に、ゆったりと時間が流れるあの店内は、なかなかいい味を出していると思っています。

というわけで、「やる気のない店員が集まった新古書チェーン店」でもあれば、毎日のように通うのだからなあ、と夢想してはいますが、まあもうからないですよ。

（環境メディア事業推進部：池田厚生）



No.411

Google App Engineを始めよう / 世界天文年に読みたい5冊

2009年7月2日

## [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき 世界天文年に読みたい5冊

2009 年は「世界天文年」。ガリレオが望遠鏡で宇宙をのぞいてから 400 周年のお祭りの年です。7 月 22 日には日本でも皆既日食が観測できます。七夕や花火大会など、夜空を見上げる機会が増えるこの季節、気軽に「天文と宇宙」を楽しめる 5 冊の本を紹介します。

1 冊目は、ガリレオ・ガリレイ「星界の報告」(岩波書店:1976 年)。ちょうど 400 年前、ガリレオが望遠鏡をのぞいた時の記録です。この時代、月面は卵のようにつるつるだと考えられていました。当時の宇宙観とガリレオの熱弁が面白い 1 冊です。

2 冊目は、長沢工「はい、こちら国立天文台」(新潮社:2005 年)。三鷹の国立天文台にかかってくる、問い合わせ電話のよもやま話。「生協の白石さん」のような、ていねいな対応に和みます。

3 冊目は、チェット・レイモ「夜の魂—天文学逍遙」(工作舎:1988 年)。自然派の天文学者によるエッセイです。「夜空を観察する技術は、50%が視覚の問題で、50%が想像力の問題である」という名言など、天文へのロマンが満載の 1 冊。

4 冊目は、稲垣足穂「一千一秒物語」(新潮社:1969 年)。星や月がやたらとアグレッシブな小説です。月と取っ組み合いのけんかをしたり、星を打ち落としてパンにしてみたり。怪人タルホの世界は 1 度はまると、くせになってしょうがない。

5 冊目は「天文手帳」(地人書館)。人の予定よりも天体の予定を優先する異色の手帳です。12 月 25 日のスケジュール欄、備考には「02:32、月が赤道を通過。上弦。ヘラクレス座 S 星(周期 307.28 日 変光範囲 6.4 ~ 13.8 等)が極大のころ」とあり、「クリスマス」のクの字もありません。年末の言葉は極めてクール。「来年の予定は決まっていますか? 来年の宇宙の予定はもう決まっています」。眺めているだけで楽しい手帳です。

東京はあまり星が見えませんが、仕事帰りに「ああ疲れた」と夜空を眺めるのもなかなか乙なものです。せっかくのお祭り年なので、今年はプラネタリウムにでも通おうと思っています。

(人財支援事業部 人財支援編集部:金武明日香)

## No.412

# 世界に羽ばたけ! Imagine Cup 2009 / 私、光を捨てました

2009年7月9日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 私、光を捨てました

私事ながら、先日自宅に ADSL 回線を引きました。また引っ越し? というのではなく、いままで保持していた光回線を撤去し、その上で ADSL、わざわざ「12M」といういまとなってはかなり遅い部類の回線を選びました。

そもそも、光回線の 100M (正確には構内 SDSL により 50M のベストエフォートでしたが) という帯域を、まったく活用できていなかったことが乗り換えのきっかけでした。光ケーブルでのアプリケーションといえば、テレビ放送を IP 通信で行うものや、高音質な IP 電話、テレビ電話などがあります。私はそれらを一切使っておりませんでしたし、負荷のかかるような動画ダウンロードも普通の人程度にしか見ていません。ましてや自宅でサーバなども立てていない以上、このような広帯域は不要ではないか? と思ったが吉日、あっさりと乗り換えです。しかもスピードよりは安定性を重視し低め、安めの回線に。

結果どのようなことが起きたかというところ……これが何も変わらない。家族は回線がダウングレードしていることすら気が付いていませんでした。さすがに ADSL ですと上りの速度は体感できるほどに遅くなってはいます。が、その程度なら我慢できます。その結果得られるのは、月額 1000 円強のコスト削減。

光回線にしたときには、これで自宅サーバを公開しても問題なし、とは思いましたがいまや電気代などを考えるとレンタルサーバや、Amazon EC2 をはじめとするクラウドサービスを利用した方がメリットが大きくなってきました。そうすると、光回線は個人レベルでは「分かっている人ほど」メリットを感じなくなってきてしまうのではないかと心配になります。

もちろん、光回線の利点はいっぱいあるとは思いますが、今後どのような方法でそれをアピールしていくのか、アピールすべきなのかは興味深いところです。そしてそれが「何も知らない人をだますかのようなプロモーション」にならないよう、注意深く見守らなければ、と。

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.413

### Silverlightを始めよう / 探求はいつも疑問から始まる

2009年7月16日

# [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき 探求はいつも疑問から始まる

くだらないことを話す時間は至上の楽しみである。

例えばどんなこと?と聞かれたとき (誰も聞かないが) 真っ先に思い浮かぶのが、大学3年の冬、某有名ファーストフード店でグ○コロを食べていたときのこと。そこで不意によぎった疑問、

「コロッケの定義って何……?」

それから小一時間、友人とともにコロッケ談義をしたのであるが、その概略を説明するところだ。

……コロッケといえば、ジャガイモをつぶしたものを衣で包んで揚げたもの。グラタンを包んで揚げてもコロッケならば、コロッケがコロッケたるゆえんは何か。衣か?衣だとしたら、トンカツはどうなんだ。エビフライは? 具を混ぜたりつぶしたりしてないとカツ? だとしたらメンチカツは? 串カツとかいろいろあるけど、「カツ」っていったいなニ!?

ここで登場するは、現代人のお供 (?), Wikipedia 大先生である。

携帯電話のちっさい画面で Wikipedia を検索し、コロッケ、カツレツ…と検索。その結果得られた答えをざっくりまとめると、

#### ●カツレツ

→主に肉を衣 (小麦粉、パン粉) で包んで揚げたもの (魚介は~フライ)

#### ●コロッケ

→イモをつぶしたものやホワイトソースを衣で包んで揚げたもの (ホワイトソースの方はクリームコロッケ) コロッケは、カツレツの技法を応用したものだとか。

なんとなく釈然としないものはあるが、取りあえずはこれでひと段落……とはいかなかった。じゃあエビカツってなんでカツ? グラタンコロッケ……メンチカツ……。

再度先生の登場。先生によると、エビカツとはエビを粗めにすりつぶしたものを、衣で包んで揚げたとのこと。これは、定義に当てはまらない? グラタンコロッケとは?まあ、うん、それはそれで◎。グラタンクリームコロッケにするとしつこいし。それっぽい名前をつければいいんじゃないか?

こんな感じで。最後はどうでもよくなって、かなり適当に談義は終了。大体いつもそう。さあ、もっと有意義に時間を使おうか……。

(管理本部 経営企画部: 永守薫)

## No.414

### 夏はおばかだ！ おばかアプリ選手権レポート／自分の未来予想図

2009年7月23日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 自分の未来予想図

このコラムをご覧の皆様、初めまして。新人の山岡健人と申します。社会人になり未知のできごとと驚きが連続する日々が過ぎていきます。

未来を予測して行動すること、それこそが社会人として必要とされる能力だと思います。いま書いているこの原稿が配信されるのは、ちょうど1カ月後ということで、このコラムでは1カ月先の、ちょっと未来の自分を想像してみたいと思います（実はこれを書いているのが配信される約1カ月前、6月23日なのです）。

梅雨が空け、暑さがいよいよ本格化（しているでしょう）。昨年のゲリラ豪雨が懐かしいような気持ちです。今年の梅雨は雨があまり降りませんでした（希望）。街には夏向きの音楽が流れていますが、今年はサザンの新曲は出ません（多分）。袖口で汗を拭いつつ、かげろう揺れるアスファルトの上を歩きます。

最近では徐々に仕事量も増え、家に帰る時間が遅くなってきました。しかしどんなに疲れていても自炊だけは欠かさないように努力していたため、結構貯金もできています。夏休みには海外でも行こうかな、なんて夢をふくらませていると、営業先へ着きました。

「先日で案内差し上げました件について……あれ、おかしいな……ちょっと、持ってくる資料を忘れてしまいました。すみません。ほんとにすみません」。あせる私に追い討ちをかけるように、会社から電話がかかってきました。「おい、今日お前が郵便物担当だろ、荷物で扉が開かないぞ！ 何やってるんだ」。急いで会社に戻って片付けをしていると、もう午前0時。久々に旧友と飲む約束も忘れ、がっくりと肩を落としながら、その日は家に帰りました。

——書いていて怖くなってきました。ミスを許されるのも、怒られるのも新人の間だけと言われますが、それは同じ過ちを繰り返さないことが前提です。経験から未来を予測し、さらには先回りして動けるような人間になりたいものです。

※追記：7月17日

1カ月前に書いた予想でしたが、大体合っていると思います。が、貯金はたまっていません。

(IT インダストリー事業部：山岡健人)

## No.415

### twitterを始めよう / 最強のメモ帳を求めて

2009年7月30日

# [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき 最強のメモ帳を求めて

皆さんはどうやってメモを管理していますか？

私は書いたメモを管理するのが本当に苦手で、これまでもメモした紙を紛失したり、どこにメモしたのか分からなくなったりと、管理に悪戦苦闘しています。

おそらく、メモの管理ができている人は理想のメモ帳に出会えたのだらうと思います。私もそんな相棒と出会いたい! ということで、入社から4カ月間、理想のメモ帳に出会うため、以下のようなさまざまな種類のメモを使ってきました。

- A4 ノート、B5 リングノート、メモパッド
- 携帯や iPhone のメモ
- 卓上メモ、ポストイット
- A5 ノートパッド
- ポメラ
- Windows のメモ帳 (ヤケクソ)

というように、お金と時間をかけてさまざまなツールを使ってきたのですが、どれも結局満足しませんでした。その理由は……

- 普通のノートはどこに何を書いたか分からなくなるし、持ち運ぶには少し大きい。
- ケータイのメモは存在感が薄すぎて、メモしたこと自体を忘れてしまう。
- 卓上メモやポストイットは、ゴミと一緒に間違えて捨ててしまう危険がある。
- 時代はもう紙じゃなくてデータだろ! と思いポメラを使うも、お客さんの前でカタカタするのはちょっと……。
- Windows のメモ帳は図を描いたりするときには面倒だし、ファイルが多くなってくると結局どこに書き込んだのか分からなくなる。

このように検証を重ねた結果、理想の最強メモ帳像が見えてきました。それは

『片手で持ち運べる小さなサイズで、お客さんの前でも気兼ねなく出せて、リング式でページ移動が可能で、そ

こそこの情報量が書き込めるもの』

このワガママな要求を満たす可能性があるものとして、今回はナローサイズの手帳を購入しました。これはすごい! これはいままでで最も使い勝手がいいぞ! これで私もメモ管理マスターだ! と思っていたら、ナローサイズは今期で生産終了、リフィルは現在売られている分で終了だということが分かりました。なんてこった。

理想のメモ帳を探すはるかな旅、今後もしばらくは検証が続きそうです……。

(IT インダストリー事業部アカウント営業統括部: 吉川拓希)

No.416

Rubyの進化を追い！／首とYシャツとiPhone

2009年8月6日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 首とYシャツとiPhone

最近、肩が凝って仕方がないんです。

私は4月にアイティメディアに入社しました。5月に現在の営業部に配属され、配属された翌日にITmedia for iPhoneの営業担当になることが発覚し、さらにその翌日にiPhone 3Gを買うという、愛社精神の塊のような行動を取りました（ちなみにその2週間後にiPhone 3GSの発売がアナウンスされました）。

もちろんiPhoneは触っていて楽しいです。たまに挙動不審になりますが、そんなところもかわいかったりします。

ただ1つ問題が。

携帯を首にかける、それがカッコイイビジネスパーソン像だと思い込んでいる私は、もちろんiPhoneも首からかけております。ただ、iPhoneを首にかけると、とんでもなく肩が凝るのです。しかもiPhoneを首にかけるためには、専用のケースかストラップが必要となります。私はケースを使っているのですが、その重さ分がプラスされて、さらに私の肩を苦しめているのです。

買った当時は我慢して1日中ぶら下げておりましたが、ボディブローのようにダメージを与え続けるその重みに耐えられず、日に日に首にかける時間が少なくなりました。現在では、首にかけてから本体をYシャツの胸ポケットに入れることで首への負担を低減しております。その代償として、私のYシャツの胸ポケットはすべて異様な形に膨らんでおります。非常に格好悪いです。

もし弊社にご来訪いただく場合は、周りを見渡してみてください。Yシャツの胸ポケットがおかしな形になっているのが私です。

もっと素敵に、iPhoneを装備する方法をご存じの方はどうぞご連絡いただけますと幸いです。いつか、ベストiPhone賞をいただけるくらい、iPhoneが似合う男になりたいと願ってやみません。

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部：綿貫竜太)



No.417

リッチGUIって何だろう? / 私、キョウ運の持ち主です

2009年8月13日

## [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき 私、キョウ運の持ち主です

皆さんはおみくじの結果、信じていますか?

私はくじ引き式のおみくじではなく、からから振って棒を出すおみくじの方がなんとなく信じられる気がするの  
で好きです。先日、鶴岡八幡宮に行ったときに“からから派”おみくじを発見し、意気揚々と今年2度目の運試  
しをしました。

からからからから……どしゃっ!

張り切りすぎて5本くらい一気に出てきました。おみくじの順番待ちしている人がたくさんいる中で、恥ずかし  
い! と思いながら、慌てて番号のついている棒をかき集め、その中の1本の番号を伝えます。

苦笑いの巫女さんから渡されたおみくじに、大きく書かれていた漢字は「凶」。

「またか……」

実は今年の3月末、巖島神社でも凶みくじを引いていたのです。それが生まれて初めて引いた「凶」。社会  
人デビューする前に凶デビュー、しかもこれで2度連続で凶。今年は100%の確率での凶です。

最近悪い結果をおみくじから抜く神社が多いらしいというウワサもある中、この結果はなぜでしょう。神様か  
ら今年の運勢に太鼓判を押されているのでしょうか。

以前どこかで「悪い結果であったときは、利き手ではない手で結ぶとよい」と聞いたのを思い出して、しっか  
りと左手で結び付けてきました。しかし、凶を引いたからといって悪いことが続いて起きている、というわけでは  
ないですね。凶運を吹き飛ばせるくらいの強運が欲しいと思う、今日このごろです。

(財務経理部: 迫野由佳)

## No.418

### あなたのデータベース、健康ですか？／実に悩ましきパスワード問題

2009年8月20日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# 実に悩ましきパスワード問題

実は私、以前ニュースになった EC サイトでクレジットカード番号を流出されてしまいました。それだけでなくメールアドレスやログインパスワードも漏れた可能性があるということで、Security&Trust フォーラム担当としては大変おいしい、いや大変悩ましい状況です。それをきっかけに、複数のサイトで併用していたパスワード文字列を、それぞれのサービス専用のパスワード文字列に修正をかけました。今回は私のパスワード作成方法をお話ししましょう。

#### ●ステップ 1：種となるパスワード文字列を作る

まずは 6～8 文字でパスワードの種を作ります。この作り方は前々職の後輩さんに教えてもらったのが秀逸だったので、いまもそれを使っています。それは「どこか適当な駅名、地名を基にする」というもの。

例えば秋葉原を選んだとします。これをローマ字読みにして akihabara、先頭を大文字にして Akihabara、さらに数字に置き換えたりして Aki88ra なんかにします。舞浜だったら「Ma18ma」ですかね。乗り換え駅や自分の住んでた街の住所を基にすればいいかと。本来はここで記号も入れられるといいです。

#### ●ステップ 2：サービスごとにプレフィックス／サフィックスを付ける

Twitter ならば「tw」とか、tumblr なら「tu」とかをその種の前後に付けます。「Aki88ratw」とか「tuMa18ma」ですかね。

……ということで、これですと人間が見てしまえばプレフィックス／サフィックスを付けていることがバレバレです。あーじゃあ amazon だと Aki88raam ね、ハイ終了なのですが、機械的なブルートフォースには耐えられるのではないかと考えています（一部の EC サイトではパスワードが 8 文字までなどの制限が付いたりして困りますが……むしろそのような制限が付いているということはアレであると判断して使わないという手もあります）。

もちろん、本来はすべてのサイトですべてランダムなパスワードをきっちりと管理するという方法が一番正しく、ある意味上記も「使い回し」ではあるので危険性はゼロではありません。しかしこのあたりはよくいわれる「セキュリティと利便性のバランス」が重要だと思いますので、どこで折り合いを付けるかは「自己責任」なのでしょう。

私がなぜこれを書いたかというと、ぜひ皆さんの意見ややり方を知りたい、という思いがあったからです。パスワードのノウハウはなかなか表に出しにくいとは思いますが、本来は匿名掲示板などがあるといいのですが、オレにひとこと語らせろ! という方はぜひ@ IT クラブ Cafe に書き込んでみてください (炎上しない程度に)。

(@ IT 編集部: 宮田健)

No.419

CSSを見直そう／幸せを見つけた夏

2009年8月27日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 幸せを見つけた夏

朝夕に涼しさを感じるようになりました。皆さんは今年、どのような夏を過ごされましたか？

東京に暮らし始めてから3度目の夏を迎えました。

今年の夏は、江ノ島の海に行きました。運悪く、遊泳禁止でした……。

花火大会にも行きました。無計画さゆえに、残り10分間しか見ることができませんでした……。

念願のコミケにも行きました。会場に向かう途中で、あまりの熱気に貧血を起こしそうになりました……。

私はおしゃれな街のマンションに住んでいるはずなのですが、先日、私のゴミがカラスに荒らされていました。東京のカラスを侮っていました……。

夜にベランダで物思いにふけていたら、突如セミに襲われました。遠くふるさとを思い出しました……。

……私の頭の中の「東京で過ごす夏」は、もっとスマートで、都会的で、きらびやかなはずなのに。理想と現実は何故こんなにも違うのでしょうか。

しかし、こんな私にも先日うれしいことがありました。

コンビニで買い物をしたときのこと、お会計が「777円」で、私の財布の中にもちょうど「777円」あり、ぴつたりと支払うことができたのです。なぜか、幸せな気持ちになりました。

この日常的な小さな喜びは「東京らしさ」とはまったく何も関係ないところに存在していました。これまでずっと「東京らしさ」さえあれば楽しくて幸せだと思っていた私は、あらためて田舎者だと痛感しました。

この出来事を境に、私の頭の中の「東京で過ごす秋」がぐっと日常的になったのはいうまでもありません。

(アカウント営業統括部：寛司絢子)

## No.420

# 仮想化とセキュリティ/インターネットモンスター、それは親子の愛？

2009年9月3日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# インターネットモンスター、それは親子の愛？

Twitter のつぶやき、放置されたブログやホームページ、アップデートされない Web サービス……。これらはみんな、どこへいってしまうのでしょうか？

ネットのはるか奥深く、映画「JM」で出てくるような空間に飛んでいってしまうのでしょうか。どこかに巨大なごみ箱があって、そこにポイポイ捨てられていくのでしょうか。それともインターネットに巣食うデジタルなモンスターが、いらなそうな情報からむしゃむしゃ食べてしまうのでしょうか。

現実はそのファンタジックではありませんね。インターネット上のデータは、URL が生きていてサーバが壊れてもしない限り、どこへもいきません。いつでもそこへはアクセスできます。

どんな情報をもひたすら食べて (?) 蓄積する生き物、それこそがインターネットモンスターなのです (要はインターネットですが、親しみを込めて生き物にしてみました)。情報の種類は問いません。どんなに都合の悪い情報であっても、彼は食べて食べて、そしてずっと、守り続けるのです!

そう、例えば、哲學家っぽく放ってしまった (多分) 名言、酔っ払って書いた (致命的な) 日記、誰かがアップした (自分の醜態をさらされた) 写真、動画。どんなに恥ずかしい過去だろうが、いまの自分とは関係ないことだろうが、私たちはそれから逃げることはできないのです……! な、なんと恐ろしい……! お願いだから忘れさせて! いつまでそこにあるの!?

さて、ここまでインターネットモンスターの悪い面ばかり見てきましたが、彼のよい面も見てみましょう。これはそう遠くない未来に起こる、ある親子の会話です。いえ、もしかしたら、すでに起こっているかもしれません。

——前日、夜の帰りが遅いことを父に怒られた娘（18）は、ふてくされたまま翌朝を迎えた。

母「娘、ちょっとこの URL にアクセスしてみて」

娘「えーなにさ。めんどくさい」（カチカチ）

母「これはお父さんが使ってた写真共有サービス。しばらく使ってないみたいだけど、パスワードは変わってないはず」

娘「勝手に見ていいの〜？ また怒られるじゃん」

母「いいのよ、私も使ってたんだから。パスワードはあんたの名前よ」

娘「あたしの名前？ きもっ」（カチカチ）

娘「なにこれ……10TB もあるじゃん！ なんか変なファイルとかあるんじゃないの〜？」

母「……（まったくこの娘は）」

母「その写真でも見て、自分がしたことをよく考えなさい！」

娘「……（なんなの、えらそうに）」カチカチ

娘「……」カチカチ

娘「……（これ、全部ワタシの小さいころの写真……）」カチカチ

娘「……（10TB って容量限界じゃん……やりすぎ……）」カチカチ

娘「……（いろんな人からコメントがついてる。みんなに見せたんだ）」カチカチ

娘「……（1人娘だもんなあ……）」カチカチ

娘「……」カチカチ

～夕食～

母「あらま娘が珍しい、お酌してあげてるの？」

娘「一杯だけだからね」

父「……（なにがあったのか分からんが初めての娘のお酌……うっ。泣きそうだ。昨日は怒ってごめん、娘）」

娘「（やっぱり男の人って口下手なんだなあ）」

——こうしてインターネットモンスターは、また 1 つささやかな親子愛を育んだのでした。

感動ですね。ただデータを守るだけのモンスターですけど、蓄積されているデータの量が多い分、ドラマを生んでいるに違いありません。今日もこの画面の向こうで、飽きもせずにデータばかり、ばくばく食べているんです。ばくばく。

（営業推進統括部：平野鉄平）

No.421

UMLモデリングを見直そう / もっと実物大ロボットが見たい!

2009年9月10日

**[コラム] 営業担当のつぶやき**

## もっと実物大ロボットが見たい!

先日、惜しまれつつも一般公開を終了し、解体作業に入ったお台場、潮風公園の実物大ガンダム。展示終了ギリギリで見に行くことができました。8月最後の休日ということもあり、最寄り駅である、ゆりかもめ台場駅の周辺にはたくさんの人。赤い矢印と「ガンダム」と書かれた案内を頼りに、台場駅から潮風公園に向かいます。

公園に入って少し歩くと、ガンダムがどの位置にあるのか大体分かります。というのも、そこにいる人たちの視線はすべて同じ方向に向けられているからです。急いでその方向に目を向けると、林越しにそびえ立つガンダムの後姿が……。

一緒に行った友人とそろって「すごい」「でかい」としかいえませんでした。18メートルの実物大ガンダムは少し離れて見えても圧倒的な存在感です。いつもプラモデルで見慣れているとはいえ、1/144 や 1/100 のスケールのものとは格が違います。しばらくは何も考えられずに、ただただボーっと眺めていました。

あとはひたすら友人と一緒に、デジカメや携帯電話のカメラでガンダムを撮影しながら、ガンダムの顔が動けば感嘆の声を漏らし、ミストを噴射すれば歓声を上げるなど小学生になった気分を楽しみました。普段以上に立体のすごさを感じ、ガンダムのほかにもいろんな実物大ロボットが見たい。そう思いました。

9月末には神戸の新長田にて、大きさ 18メートルの「鉄人 28号」のモニュメントが公開される予定で、現在建設中だそうです。ちょっと胴長の鉄人だと、どうバランスを取るのか、モニュメントの質感はどうなるだろうとか、これも見に行けるといいなと思っています。

この実物大ロボット建造の流れに乗って、熱海にマジンガー Z（光子力研究所のある富士山周辺でも可）を、浅間山の付近にゲッターロボを、そしてそのお土産用に光子カバリアせんべいを作ってくれないものかと願っています。

(企画推進部: 千葉大輔)

## No.422

### 企業システムでJavaを活用せよ! / 苗場で見たOasis最後のライブ?

2009年9月17日

#### [コラム]@IT編集部員のつぶやき

# 苗場で見たOasis最後のライブ?

今年も夏が終わってしまいました。私にとって夏の終わりはロック・フェスティバルが終わったときなので、もう1カ月も経過してしまいました。

私はここ数年、毎年 Fuji Rock Festival に行ってます。Summer Sonic もアーティストによって見る日を決めていくのですが、今年は両方行ってきたので、その行程や感想などを簡単に述べたいと思います。ロック・フェスティバルに行ったことがない人には分からない話も含まれますが、詳細が気になった方は公式ページで調べてみてください。また、感想は主観と偏見に満ち満ちています。あしからず。

まずは、Fuji Rock Festival 2009 から。毎年、3 日間のうち面白そうな日だけ 1 日間行っているのですが、今年は 2 日間参加してきました。

7 月 24 日の初日から軽く衝撃でした。例年は 1 日間だけなので、レンタカーで自宅からみつまた駐車場にいき、そこから苗場スキー場への送迎バスに乗るのですが、今年は 2 日間の参加ということで、初めて電車で行くことにしました。電車から降りて送迎バスに向かうにつれて見えはじめる大群衆。みつまた駐車場ではほとんど待つことなく送迎バスに乗っていた私は、そこですでに心が折れかけたのですが、快晴による期待感もあり、何とか 2 時間ほど送迎バスを待ち続けることができました。

ところが、会場に着くとすさまじい土砂降り。しかし、フジロッカーであればこんなのは当たり前です。「やっぱりか」と少し落ち込みつつも、バスから降りるやいなや持参した雨がっぱを着込みます。中途半端な防水具では水の浸食を受けてパンツまでびしょ濡れです。カッコ付けては水に体温を奪われ、長丁場にはとても耐えられません。幼子に気持ち程度の防水具を付けてぐったりさせている準備不足の家族連れがちょっと悲しかったです。

と、前置きはここまでにして、いよいよ突撃。手始めは Red Marquee に現れた、英の新人ロックバンド Cage The Elephant。アルバムを試聴してぜひ見たいと思っていたので、間に合ってよかったところ。ライブ栄えすると思っていた曲たちが、予想以上に足を弾ませてくれて、冷え気味の体を温めてくれました。

続いて見たのが、White Stage の Major Lazor。いま一番面白いと思うプロデューサー Diplo と SWITCH によるユニット。世界中の音楽を取り入れたダンスホール主体の曲をベースに、2 人の DJ プレイやダンサーの激



しいケツ振りが、聴衆の心を躍らせます。

その後の Green Stage で見たのは英女性歌手の Lily Allen。正直いままであまり聞いたことがなかったのですが、そのキュートさにはやられました。あんなにかわいい「F ×× k You」は聞いたことがありません。

そこからは、食事を取ったり持参の椅子に座ったりしながら、Green Stage に張り付いて Paty Smith と Paul Weller をのんびり視聴。この日は雨に終始打たれ続けていたので、ノれる曲のときは体を暖めながらの休息です。すべては、そのあとのトリのために。

Green Stage のトリで現れたのは Oasis。待ってましたとばかりに先頭に向けて人をかき分け始めたところに響きだしたのは、名曲「Rock 'n' Roll Star」のイントロ。こいつはすごいライブになるかもと思ったのもつかの間、響き渡るのはボーカル Liam の明らかに喉の不調と思われる声。Liam も歌いにくそうにしている様子に見えて、ちょっとテンション下がります。代わって兄貴の Noel はさすがの安定感の歌声、これでテンションを持ち直したところ、Liam の声の調子もだんだん上がってきて、名曲たちが輝きを取り戻します。安定感では Noel だが、やっぱり調子のよいときの Liam の声にはかなわない。締めが Beatles の「I Am The Walrus」だったのが疑問だったのを除けば、ライブでは珍しい曲が多く、結局なんだかんだで満足できる内容でした。

その数日後、まさかの Noel の Oasis 脱退? 劇。いま思えば、Noel が Liam の声の好不調の波が激しいのに嫌気が刺したのか、と思わせるライブではありました。「Liam の声の好不調を含めて Oasis なんだ」と思っているファンは大勢いるはずだし、Noel もそれは分かっているとは思いますがね。今回もいつもの兄弟げんかだといいなと祈るばかりです。

(@ IT 編集部: 平田修)

No.423

“ハッカー”の思考を追え! / @IT CORE編集部から見たETロボコン2009

2009年9月24日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき

# @IT CORE編集部から見た ETロボコン2009

お隣の編集部、@ IT MONOist の編集者が「ET ロボコン 2009」の東京地区大会に参加するというので、私たちの編集部でも（ヒマな人間を集めて）応援に行ってきました。

この ET ロボコンは、プログラミング可能な LEGO Mindstorm NXT と各種センサーを使って 2 輪倒立ロボットを作成、黒い線が引かれたコースをいかに速く、いかにポイントを重ねて走ることができるかを競うコンテストです。

会場は新宿にある工学院大学の 1 階ホール。そこには想像以上に大きいコースが用意されています。そのコースを取り囲むように、各チームがどのような「戦略」で黒い線を識別し、ルートを取っていくかを示したコンセプトシートが掲げられていました。

このコンセプトシート、あるチームは「ショートカットを狙って高得点を得る」というテーマを掲げ、そのためにショートカットの入り口でセンサーの入力をどう判断するかなど、プログラミング内容の解説が書かれています。ちなみにわれらが MONOist チームの狙いは、ゴール後ぴったり止まってポイントをゲットすること。その結果はレポート記事をご参照ください……。

当日初めてそのルールや内容を知った私が思ったことは、これは単純なプログラミング技術の高さだけで勝てる勝負ではないということ。機械との相性やその日のコンディションなど、複雑な要素が絡み合っており、一筋縄ではいかないものだという印象を持ちました。よくプログラミングの世界は「(論理バグを含め) プログラムしたことが忠実に実行される」といいます。しかしこの世界では、頭の中 (コンセプトシートの中) では完ぺきな計算をしたとしても、実際に走るとふらついたりコースアウトしたりと、もくろみ通りにはいかないようです。

そして当然ながら、組み込み機器にはリソースの制限があり、いまはあまり考えなくなったコードのダイエットや最小限のメモリで動作させるための工夫なども必要なようです。このあたりは、実際にいまプログラマーとして働いている方も面白いと思っていただけるのではないのでしょうか。

MONOist チーム（といってもたった 1 人なのですが）は今回残念な結果となりましたが応援していた@ IT CORE の編集者たちも次回は何か手伝いたい、という想いがあります。まずは私、セキュリティフォーラムを担当してますので、2 輪倒立ロボットのセキュリティから考えてみようかと……え、意味がない？

（@ IT 編集部：宮田健）

No.424

iPhoneアプリ入門／脳内トリップしてみませんか

2009年10月1日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 脳内トリップしてみませんか

私、このコラムでは毎回旅行にちなんだことを書かせていただいているほど、旅行が好きです。今回はなんと機上でこのコラムを書いています（単に休み前に原稿を提出するのが間に合わなただけなんですけど……）。ただ、いまは成田を発ってほんの4時間。旅の思い出はまだ書けません。そんなわけで今回は、妄想旅行のお話を。

私は旅行と同じくらい、古い写真や古い地図、路線図などが大好きです。特に大正～昭和初期のころの東京の街の様子や地図、電車の路線図のたぐいは、食い入るようにして眺めてしまいます。あのモノクロの写真たちを見ると、なぜかドキドキワクワクしてたまりません！ こんな貴重なものを残してくれて、先人よ、ありがとう！

そこから派生したのか、タイムトラベルものの小説も好きです。できれば未来にタイムスリップするのではなく、過去、しかも戦前のころ、銀座が最も美しく華やかだったころの東京だったりするのがよいのです。単に大正浪漫・昭和初期オタクなのかもしれません。オススメは広瀬正の「マイナス・ゼロ」や宮部みゆきの「蒲生邸事件」あたりでしょうか。

こうなると、いつか自分にもタイムスリップしてしまう日がやってくるのではないかと妄想が始まります。ある日突然、過去にすっ飛ばされたらどうしよう……それならやっぱり昭和初期がいいな……。丸の内の一丁倫敦（ちょうどいま三菱一号館が復刻しましたね）や、万世橋駅を見たいな……。銀座線にも乗ってみたいな……。 (by「地下鉄に乗って」)。

ああ、でも戻ってこれなくなったらどうしよう、どうやって生計を立てようか。家ごとタイムスリップしてくれたら (by「終わりに見た町」)、古い銘仙の着物とかあるからなんとかなる？ 電気はどうしよう、コンセント使えるの？ やっぱソーラーハウスとかにしとくべき？

……とまあ、ありもしないことを考え本気で心配し始める始末。われながらばかばかしいと思っていたのですが、最近便利なものを発見！ 携帯やポータブルオーディオ類を充電できるソーラー充電器があるんですね。これならうっかり過去に飛ばされちゃっても、とりあえず iPod 聴けるしさみしくないかも。携帯は……きつとつながらないと思いますが。でも、念のため、用意しておこうかな……なんて思っている今日このごろです。か、海外旅行にもきつと便利だよ！

(ビジネス・コンシューマー事業部：小野田涼子)

No.425

アッと驚く攻撃者の手口 / 映画でわが身を振り返る

2009年10月8日

**[コラム] 営業担当のつぶやき**

## 映画でわが身を振り返る

仕事帰りに、なぜだか「魔女の宅急便」が見たくて見たくてたまらなくなりました。この映画はご存じの通り、13歳になった魔女のキキが生まれた街を離れて修行に出るという、スタジオジブリの作品です。駅の目の前には某レンタルショップ店。迷わず直行しました。

7年ぶりに見る魔女の宅急便は冒頭から鳥肌もの。

「いつの間にこんなに大きくなっちゃったんだろう。うまくいかなかったら、いつでも帰ってきていいんだよ」

これは、急に出発を決めた娘に対するお父さんのせりふです。実家（徒歩7分以内）の父を思い出し、涙が止まりませんでした。

前回見たときは、ちょうど大学受験のときでした。音楽系の大学を目指していたわたしは、そのころスランプのど真ん中。ピアノ科を志望していたのですが、何度弾いても納得がいきません。そんな中気晴らしに見たのがこの作品でした。飛べなくなって必死にもがく、主人公のキキと自分を重ねながら見ていたことを思い出しました。

生きていればいろいろなことがあります。つらいことも、よいことも。物事がとんとん拍子に進むこともあれば、その逆もあります。なにげなく、でもドラマティックな毎日を過ごしながら、人は磨かれて成長し、自分らしく輝いていくのだなあと感じました。

時間に追われるように過ごす毎日ですが、忘れていた大事なことを思い出させてくれたような気がします。折に触れていろいろなことを教えてくれるこの作品を、これからも大切にしていきたいと思いました。みなさんも、秋の夜長にぜひご覧ください！

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部 : 大西七歩)

No.426

提案書の書き方 / 8年ぶりにスイッチが入ったトラウマ

2009年10月15日

【コラム】@IT編集部員のつぶやき

## 8年ぶりにスイッチが入ったトラウマ

10月11日からスタートした Oracle Open World の取材のため、サンフランシスコに来ております。本コラム執筆時点では登録を終え、まさにこれから最初の基調講演が始まろうというところ。このメールが届くころには、@ITでもニュースとして公開しておりますのでぜひ読んでください。日本から来た記者を対象としたブリーフィングでは、今回のイベントにおける Twitter ハッシュタグとして、「# OOW09J」という日本語のみのタグをその場のノリで設定、これを追い掛けると現地の雰囲気は伝わらないかと思ひます。

さて、8年ぶりのサンフランシスコ、到着したその日は曇り、大変寒い陽気でした。ホテルに向かう車中で見たのは、サンフランシスコの街を縦横無尽に結ぶバスの姿。そこではっと昔の記憶がよみがえってきました。恐怖の記憶が。

それはまさに8年前、サンフランシスコの中心部の西にあるゴールデンゲートパークに行ったときの話。ちょっと歩いてみようという軽い気持ちでそこを目指したのですが、話によるとその周辺は少々治安が悪く、気を付けた方がいい場所であるということでした。私は海外旅行では石橋をたたいても渡らないほどのことなかれ主義なので、なるべく危険な地域には近寄らないようにしています。が、このゴールデンゲートパークから次の目的地に行くまでは、バスでその危険な場所を通らなければいけないことが分かりました。

まあバスに乗ってるだけなら、とタカをくくっていたら、事件は起きました。いかついお兄ちゃんがバス停を過ぎたあたりで「止まりやがれ!」（意識）と大声で叫びはじめます。と思った次の瞬間、彼は降りるサインであるヒモを引っ張るよりも早く、非常扉のレバーを覆うプラスチックカバーをゲンコツ一発で破壊しレバーを作動、バスは緊急停止しました。この間、5秒くらいだったでしょうか。しばらくの間バスは動けず、車内は騒然……というわけでもなく、平然としています。ああ、これは日常茶飯事なのだなと理解しました。

幸いなことに、海外旅行でこれを超える事件は体験していません。この程度のことではトラウマなんて、という方も多いかと思いますが、私にとっては大事件なのです。今回の取材旅行もなにげともなく終わってくれればいいと思っていますが……。

(@IT編集部:宮田健)

No.427

Yet anotherなデータベースシステム / 音質追究はオカルトではない(はず)

2009年10月22日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 音質追究はオカルトではない(はず)

社内には iPhone ユーザーが多数。かくいう私もユーザーの 1 人です。そもそも手持ちの音源のリッピングが面倒だという理由で、いわゆる「シリコンオーディオ」の利用し始めたのはかなり遅めだったのですが、使ってみるとなかなか便利ですね。リッピングは相変わらず面倒ですが、それなりに音源の蓄積は進みつつあります。

さて、自宅でゆったり聞くために、この音源を活用しよう! ということで、自宅のシステムでもこのデータを活用しようとするのは人のツネ。

以前より、Windows Media Server ベースのストリーミングサーバを作ったりしていましたが（市販品に同等機能のものもありますが非常に高価です）、いよいよ、本格的なピュアオーディオメーカーが、本気で「デジタルストリーミングサーバ」を作り始めています。一般ユーザーが入手できる部品にはどうしても限界があり、性能もそれなりだったところがあります。なおかつ、データの入出力が USB ポート経由となるため、オーディオマニアから見ると貧弱……なかなか満足のいくものにならないという欠点があります。その点、専門メーカーでは、専用の部品や考え抜かれたノイズ対策など、素人にはまねのできない知恵が盛り込まれているため、品質は非常に高いようです。

イギリスのピュアオーディオメーカー LINN が制作した「KLIMAX DS」もその 1 つです。仕組みをみると、IT 系の知識のある方にとってはどうということのないものに見えると思います。PC で同様の構成のシステムを組むことは、専門家でなくてもすぐにできるでしょう。ただし、重要なのは再生部分の仕組みです。通常の PC 操作には必要十分な性能であっても、「オカルト」といわれるオーディオ再生では十分でないことが多いのです。

どうやら、音楽再生には、キーボードを打つときの電氣的なノイズや、電流の振れなどが影響してしまうらしいのです。ここまで書いていて、あまりにもオカルトなことを書いている自分にちょっと笑ってしまいますが、聴けば分かってしまうので致し方ありません。ちなみに、この製品、非常に高価なので、下位機種にちょっと手を加えて代用するのもお勧めです（それでも高いのですが）。

(@ IT MONOist 編集部 : 原田美穂)

No.428

(また)おばかアプリ選手権がやってきた! / サンフランシスコの悲しい思い出

2009年10月29日

[コラム]@IT編集部員のつぶやき

## サンフランシスコの悲しい思い出

サンフランシスコで行われていた、Oracle OpenWorld2009 から帰ってまいりました。初海外出張は大変なハードスケジュールで、毎日朝 6 時に起床し、会場へ向かって、記事を書いて、ホテルに戻るという繰り返しでした。今回はそんな中で起きたことを。

Oracle OpenWorld には各メディアから記者が集まりますが、某 I 社の記者の方は今回が初海外。取材でもないのに常にカメラを持ち歩き、見るものすべてが新鮮だったようでした。

事件は最終日に起きました。お土産を買いにウォルグリーンというドラッグストアに行ったら、レジ待ちの間、その記者の方が何やらかわいい眼鏡っ娘（ハイスクール・ミュージカルに出ていたオレーシャ・ルーリン似）と親しげに会話しているではありませんか。そんなに英語をしゃべれない人なのに。私がレジを済ませた直後にレジ故障に見舞われたようで、店の外から見る限り、実にいい雰囲気ではしゃいでいたようです。

あとで聞いたら、その眼鏡っ娘は京都に住んでいたことがあったらしく、日本語がペラペラ。深夜に近い時間帯に日本人がいたので話しかけてきたようです。ホテルと会場の往復しかなかった私たち（特に I 社の記者の方）には新鮮な体験でした。

で、当然ながら「連絡先、聞いたよね?」とツッコミを入れたところ、その記者の方は固まってしまいました。その後ろをその眼鏡っ娘が笑顔で「バイバーイ!」と去っていきます……。

そこからホテルに向かう間、「まあ、もしかしたら明日ばったり会うかもしれないですね。そうしたら運命ですよ!」と慰めるも、翌日は帰国で 9 時には空港にいるというスケジュール。空港の免税店で香水を手にしながら「こういうのをあの娘にプレゼントできればなあ……」とつぶやく I 社の記者さん、目が本気でした。

ともあれ、無事に取材も完了、編集部ブログも@ IT 通信コラムも書くことができました。あとはこのメールマガジンを I 社の記者さんが読んでないことを祈るのみです。

(@ IT 編集部: 宮田健)



## No.429

### 知ってるつもり「RDB」再入門 / 若冲を見て考えた自分の役割

2009年11月5日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 若冲を見て考えた自分の役割

美術館や博物館の類に行くのが好きで、ちょこちょこ出かけていきます。つい先日は「皇室の名宝」展で江戸時代の絵師、伊藤若冲の代表作「動植綵絵（どうしょくさいえ）」の全 30 幅が公開されたので、上野にある東京国立博物館まで足を伸ばしました。

若冲の作品は、宇多田ヒカルの PV や飲料水のパッケージに採用されたこともあるのでご覧になった方も多いかもしれません。その描写の緻密（ちみつ）さや、特徴的で鮮やかな絵画の色使いなど、目の前の作品の前から離れたくないような衝動に駆られるほど、うっとりしてしまう作品ばかりでした。

しかし、この若冲の作品群も日本で再び脚光を浴びるようになったのは、昭和 40 年代になってから。それまではどちらかというと、現代のデザインに違和感なくマッチするような作風は、基本から外れ、奇をてらった「悪趣味な」絵である、というのが、若冲の評価だったらしいのです。作品をみれば「これはほかの作品とは違う。すごい」と納得してしまうような天才の作品であっても、キュレーターに認められ、再発見されるような契機がないとなかなか一般には広まっていけないのかもしれない、と感じました。

そのように考えると、いままでありがたがってあがめていた権威やブランドは、一握りの人間が、その時代の価値観に基づいて、独断と偏見で選んできた結果であるともいえそうです。

いま、歴史上で名前の残っている「名作」たちは、その作品の質もさることながら、「マーケティング」に長けていた作品が多いのかもしれません。私が若冲展に行ってまんまと感動しているのも、そのたぐいの可能性が高いかもしれません。逆に、作品のクオリティさえ担保されていれば、時間がかかっても、必ず日の目を見る日が来るとも信じていたいものです。

と、よく考えたら、若冲のように素晴らしいのにブレイクしていない / さらなる大ブレイクを待つ IT ソリューションを発掘することが、私の役割なのでした。これから有名になるであろう IT ソリューションをお持ちの方は、@ IT の広告が効果抜群ですよ!ご検討のほど、どうぞよろしく願いいたします。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部 : 山田竜司)

## No.430

### マウスの可能性 / 花札のススメ

2009年11月12日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 花札のススメ

今年の夏、アニメーション映画「サマーウォーズ」を見ました。作中最も印象的だったのが、ヒロインと家族が花札をしているシーンでした。家族で花札とくれば、私が思い出すのはわが家のお正月です。

誰がいい出すのか、わが家では毎正月、なんだかんだで必ず花札をすることになります。初めは面倒くさがつている者もやり始め、負けると「もう一回!」といい出す始末。サマーウォーズでの家族花札シーンは、そんな高揚感を思い出させてくれました。

私の一番最初の花札の記憶は、幼少のころです。ルールは祖母に教えてもらい、見よう見まねで始めました。ところが徐々に花札はただのゲームの枠を超え、その勝敗がお年玉の金額を左右するまでに。これは子供には一大事であり、必死で強い札を集めたものです。

映画で取り上げられていたのは“こいこい”というゲームでしたが、花札にはほかにも“はちはち”や“花合わせ”“おいちよかぶ”などのゲームがあります。わが家で主にやっていたのは花合わせで、計 48 枚の中から自分の持ち札と同じ季節の札を取っていき、合計点を競うというものです。これは最も覚えやすく、初心者にもお勧めのゲームです。

一方、賭け（ギャンブル）要素が強く、実力よりも運だめしとなるのが“おいちよかぶ”です。札は 1 ゲームで数枚しか使用せず、掛けた金額を示すチップ（わが家ではカーペットに楊枝を刺していました）などを用意します。韓国ドラマの「オールイン」で主人公がやっていたのもこれです。こいこいや花合わせに比べるとあまり知られていないゲームかもしれませんが、はまると面白いゲームです。

花札の魅力はゲームの面白さだけではありません。額に入れても耐えうるであろう絵柄の美しさにひきつけられる人も多いはず。各月×4の絵柄には、逸話の一場面を切り取った図案もあり、さらに、すべてに季節の花が細かく描かれています。別名「花かるた」と呼ばれるのも頷けます。

美しい花札の中でも、特に私の目を引いたのは松井天狗堂の花札です。こちらの花札はすべて手作り（日本で唯一の手刷り花札）で、細部まで非常に鮮明に描かれています。その分高価ではありますが、まさに職人技の傑作です。

残念なことに、メディアでも話題の職人として取り上げられた松井天狗堂のご主人は、自分の代で花札作りをやめるそうです（実際にはもう作っていません）。つまり、美しい手刷りの花札は京都の本店か、取引のあるかきた専門店など一部でしか手に入りません。東京で取り扱いがあるのは神保町の奥野カルタ店ですが、先日（10月初）伺った際には2セットタイプ（ゲームによっては2セット以上使うこともあるため、このような売り方もされています。その分価格は倍）が1つしか置いてありませんでした。

私は奥野カルタ店のガラスケースの前で「手刷りの花札を作る職人さんがいなくなっても、花札文化は廃れてほしくない」と強く思いました。花札を身近に感じ“月見、五光、猪鹿蝶”など、花札独特の言葉を知る人がもっと増えたらうれしく思います。

気付けばもう11月。1人でできるテレビゲームも楽しいのですが、年未年始には家族で趣き深い花札を楽しんでみるのもまた一興、ではないでしょうか。

(@ IT MONOist 編集部：上口翔子)

## No.431

### 魅惑のケータイWeb開発 / 妊婦が猫を飼うと流産する!?

2009年11月19日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 妊婦が猫を飼うと流産する!?

ひょんなことから、携帯百景という携帯写真投稿サイトのことを知りました。デジタルカメラの写真のブログはこれまで何度もトライしましたが、どれも長いこと続きませんでした。しかしこの携帯百景だけは、ゆるゆると投稿を続けることができます。ふと思ったとき、手元にある携帯電話で撮影し、すぐ投稿できることが大きな利点だと思っています。携帯写真メインのサイトですから、パソコンからの閲覧がメインの写真ブログのように、画質に強くこだわる必要がないのも気楽に続けられるポイントだと思っています。

実はこの携帯百景、猫の写真投稿がとても多いのです。投稿者さんたちの日常に溶け込む猫たちを見ていると、自分もこんな生活がしたいなぁと考えてしまうものでした。私も小さなころから身近に猫がいたこともあって、結婚し実家を出てからも、ずっと猫を飼いたいと考えていました。でも、ずっと踏ん切りがつかずにいました。

その踏ん切りをつける大きなきっかけとなったのは、いま振り返れば、社内の同僚の携帯百景の投稿だったと思います。小さな息子と猫が仲良く一緒に寝ている写真です。私にとっては、最高の幸せを表現した写真に思えました。彼女は妊娠をする前からずっと猫と暮らしていました。私はつい「そういえば、妊娠中は猫を飼っていても大丈夫だったの?」と尋ねましたが、「大丈夫だよ」とあっさり答えました。

「妊娠したら猫は飼ってはいけない」と、母からずっと口うるさくいわれ続けてきました。母自身も猫の愛好家ですが、ここだけはしつこく譲らないのです。妊娠したらかわいい猫をいつきでも手放すことを考えると……というよりは、「手放しなさい」と母から口うるさくいわれることや、母に根負けして誰かに預ける手配をすることなどが、何だか面倒だと思ったのが正直なところでした。

私の母は小さなころ、同居していた姉が妊娠したとき、自分が飼っていた猫を祖母に捨てられてしまいました。祖母は「妊婦に猫を近づけると流産する」という昔からのいつたえを強く信じていました。その根拠をいろいろ調べてみましたが、猫を家の外に出さず、人並みに清潔に生活していれば、いつたえの発端となっている猫からのトキソプラズマの感染はまずないそうです。しかし書籍やネット上の情報だけではどうも私の心に響きませんでした。

「大丈夫だよ」

その同僚のひと言だけは、私の心に大きく響きました。身近な人にいわれることの説得力って、とても大きいのですね。何より迷信が本当なら、彼女だっいまごろ困っているということになりますから。ともあれ、もし母にうるさくいわれても、「大丈夫だっば」としっかりと突っぱねる覚悟が、自然とできました。

そういうわけで、いまはとってもかわいい茶トラ猫の兄弟と暮らしています。私の子どもと猫たちが一緒に寝ころがる写真を携帯百景に投稿するのが夢です。

(@ IT MONOist 編集部：小林由美)

No.432

アジュアなのか、アジュールなのか / 好きです、司馬遼太郎

2009年11月26日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 好きです、司馬遼太郎

最近、めっきり寒くなってきておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

寒くなってきたので、家で過ごす時間も多くなります。そこで家での過ごし方として私がお勧めするのが、司馬遼太郎の本、そして大河ドラマです。

司馬遼太郎の作品は大作が多く、読み始めるまでに時間がかかりましたが、歴史好きの私は最初に王道の「竜馬がゆく」を読みその世界観にはまり、次いで「燃えよ剣」「功名が辻」などなど次々読破。歴史の事実の中に、日本人の強さを再認識しながら楽しめるので、読んだあとはしばらく武士気分になれることもお勧めのポイントです。

そしてだいたいの作品を読破したかなあというそんなとき、ふと立ち寄ったレンタルビデオ店にて「翔ぶが如く」のDVDを見つけたのでした。本はすでに読んでいたので、映像では話のイメージが壊れるかな、と思いながら1巻のみ借りて帰りましたが、実に面白いのです。西田敏行の西郷、鹿賀丈史の大久保などハマり役も多く、読んだ小説同様のイメージが広がります。

そして今度、「坂の上の雲」がついに映像化されます。これを機会として、寒くて家を出たくないというときのお供に小説を読んでみたり、読んだ本のドラマなど見てみるのはいかがでしょうか。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部 : 佐藤崇)

## No.433

### これだけかかる、情報漏えい事件のコスト／地方だって負けてません

2009年12月3日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 地方だって負けてません

ネットワークと PC さえあれば、ヨットの上からでも仕事ができる時代。テクノロジーの発達により、環境に依存しない働き方を容易に想像できるようになりました。東京で暮らす方がほとんどであろう@ IT 読者の皆様に、私の地元、九州で働いていた自分の親を思い出しながら、地方暮らし「ビジネスマン編」の利点を挙げてみたいと思います。

#### ●宴席は「皆、本気で飲める」

私は社会人になってお酒の場の楽しさを知ると同時に、終電間際の葛藤のつらさを知りました。宴会もたけなわ、深夜 0 時ごろ、宴席にいる皆が自問自答をスタートさせます。「潔く、終電?」「タクシー?」「始発まで頑張る?」これらの選択が生み出す結末を天秤にかけながら、決断を下さねばなりません。せっかくの酔いも冷めてしまいます。

しかしクルマ文化の発達した地方は、公共機関に縛られることはありません（私の父は、いったんクルマを家に置いてからタクシーで宴席に向かっていた）。彼らには「タクシーで帰宅」or「奥さんにクルマで迎えに来てもらう」の 2 つの選択肢しかありません。いずれにせよ、帰りの移動空間は「寝ながら」帰宅が可能です。皆が終電を気にすることなくスタート時から本気で飲むことができるのです。

#### ●自宅の庭でゴルフの練習

ビジネスマンといえば、趣味でも接待でもゴルフが挙げられるでしょう。上達のために日々の練習は欠かせません。平日はマンションの一室でパターを、週末は打ちっぱなしに出かけて練習に励みます。一軒家に暮らすことが多い地方では、自宅の庭のグリーン（芝生）の上でパターの練習ができますし、場所によっては、山や海に向かって打つことも可能です。本当のコースに限りなく近い環境で練習するぜいたくが地方にはあります。

#### ●毎晩、満天の星が存在する

ビジネスマンがほっと一息するのは、やはり帰り道ではないでしょうか。オフの自分に戻れる瞬間です。そのとき、都会の雑踏や満員電車ではなく、満天の星空を眺めることができれば……いやおうなしにリラックスし、心に余裕が持てると思います。

以上 3 点、実際は賛否両論あるかと思いますが、東京で働いているからこそ分かる、地方の利点があると思います。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：寛司絢子)

No.434

jQueryでリッチなWebサイト／文学フリマ行ってきた！

2009年12月10日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 文学フリマ行ってきた！

よく見ていた Web サイトに「文学フリマに出展します!」という文字が。調べてみると、どうやらさまざまな文章を同人誌として販売する、文字通りのフリーマーケットが開催されるということで、初めてその文学フリマに行ってきました。

今回の会場は京急蒲田の近くの大田区産業プラザ。この 1 階のフロア全域を使って、400 近いサークルが所狭しと並び、自作の本を販売しています。内容はさすがに同人誌といったところで、通常では本屋に並ばないような奇抜なテーマのもの（例えば「ペット葬」だけを特集した本など）や、ネット上で有名な方が寄稿する本など、個人的には興味深い本がいっぱいありました。

が、やはり初めて参加するイベントなので、いったい何をみればいいのか分かりません。そこで登場するのはやはり Twitter。さっと iPhone を取り出し、友人に投げかけます……「文学フリマ来たけど何見るべき?」と。そうすると届くわ届くわ、このブースのこの本面白そう、という情報が。その中には知人だけでなく、実際にブースで販売している方の関係者まで含まれていたようです。その情報を頼りに何冊かの本を買い、ブースの方に「実は Twitter でおすすめされて来ました」というと本当に喜ばれました。

思えばテキストなんてものは、インターネットによって簡単に配信できる情報の 1 つのはずです。発表の場は無限に広がっていて、そこに流せばコストゼロで届けられます。実は私も、テキストだったら Web サイトから見られるようにすればいいじゃないかと思っていたクチでした。しかし、ここ文学フリマではそのテキストを紙に印刷し、直接手渡するということが本当に大きな意味を持っています。中には採算度外視で販売を行うサークルもあるようです。

デジタル化は配信コストを劇的に下げるといいます。それは正しい方向なのですが、文学フリマの様子を見ると、やはり自分で作ったものは自分の手で、必要としている人に直接渡すことも重要だと感じました。そしてデジタルはそこに至るまでのプロモーション手段として利用することで、より発信者と受信者が身近になることも実感しました。

この文学フリマ、次回第 10 回は 2010 年 5 月 23 日に開催予定ということです。ぜひいつかは出展者側として参加したい、と思うイベントでした。

(@ IT 編集部: 宮田健)



## No.435

### いまこそ挑戦、mixiアプリ/2009年、俺ベスト、20曲

2009年12月17日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 2009年、俺ベスト、20曲

@ IT 編集部 of 平田です。そろそろ飽きられていると思いますが、今年も自分が聞いた範囲でミュージック・オブ・ザ・イヤー 20 曲を選びました。選んだ理由も簡単に添えています。

1 アーティスト/グループにつき 1 曲で選曲。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム/シングル名です。  
(敬称略、アーティスト名アルファベット・50 音順)

1 : Pretty Visitors (Arctic Monkeys) 『Humbug』より

英のハードロックバンドによる 3 枚目のアルバムからオルガンの響きを生かしたコーラスと、疾走感あふれる部分の緩急が素晴らしい 1 曲を。手数が多いドラムが気持ちいい。プロデュースは Queens Of The Stone Age の Josh Homme (後述)。

2 : Treat Me Like Your Mother (The Dead Weather) 『Horehound』より

The Kills の Alison Mosshart と The White Stripes の Jack White が手を組んだ! ということで話題をさらった新バンド。ここで、Jack はドラムを披露! ホント音楽の妖精のような人です。

3 : We Made You (Eminem feat. Jessica Simpson) 『Relapse』より

米の大人気白人ラッパーがついに復活! しかも 5 年振りのアルバムタイトルは「Relapse」と来たもんだ。最初のラップが始まる前の「ン、ン!」という咳払いが、妙にカッコよし。プロデュースはもちろん Dr. Dre で、パロディラップや扮装 PV も健在!

4 : Mast Qualendar – Khiraj Aqeedat (Faiz Ali Faiz & Titi Robin) 『Jaadu : Magic』より

Nusrat Fateh Ali Khan 亡き後の次世代カフワリーを担う Faiz が、多方面で活躍する仏人音楽家の Titi と手を組んで、カフワリーの新しい形を表現。10 分近くあるこの曲でも、さまざまな楽器と手拍子コーラスのアンサンブルが熱く入り、最後まで飽きさせない。

5 : Be Good, Child! (Flipper) 『Love』より

米のベテランパンクバンドの 15 年ぶりの新作に、なんと元 Nirvana の Krist Novoselic が、もちろんベースで参加! これだけで今年のベスト 20 にランクインが決定です。往年のベースプレイが Nirvana の名曲「Dive」を

思い出させます。

6: Out of the Blue (Julian Casablancas) 『Phrazes for the Young』 より

米の 2000 年代のロックンロールの 1 つの方向性を位置付けたともいえるバンド The Strokes のボーカルが初のソロアルバムを発表! シンセなどで The Strokes よりもニューウェーブよりの音作りをしていますが、曲はまさしく The Strokes のそれ。ところが、これがとっても良い感じに合っていたのが面白い。

7: Arte do Barulho (Marcelo D2) 『A Arte do Barulho』 より

ブラジルのサンバ・ヒップホップの第一任者のニューアルバムより。Marcelo は Planet Hemp というブラジルのミクスチャーバンドのリーダーですが、この曲では、Planet Hemp を彷彿とさせるディストーションが効いたギターループをフューチャーしていて、それがまた心地良い。

8: Polyrhythm (Marty Friedman) 『Tokyo Jukebox』 より

JPop が大好きな元メガデスの米人ギタリスト Marty Friedman が、Perfume の有名曲をインストカバー。ボーカル部分を Marty がギターで弾いていますが、曲自体の良さがよく分かります。

9: It Ain't Love (MSTRKRFT feat. Lil Mo) 『Fist of God』 より

ベースとドラムだけの二人組という変則性で注目していたけど、惜しくも解散してしまったカナダの Death From Above 1979。その片割れがエレクトロニックユニットとして活動している 2 枚目のアルバムより、女性ラッパーをフューチャーした激しい 1 曲を。

10: Whachadoin? (N.A.S.A. Feat. Spank Rock, M.I.A., Santogold & Nick Zinner) 『The Spirit Of Apollo』 より

米とブラジルの新 DJ ユニットの、豪華ゲスト満載デビューアルバムから。Diplo な人脈が結集したこの曲は、問答無用のパーティーチューンだ!

11: TOCALE YA (Ojos De Brujo) 『Aocana』 より

スペインはバルセロナのフラメンコベースのミクスチャーバンド Ojos De Brujo。この曲も哀愁あふれるフラメンコギターのスリルとリズムが実に面白い。

12: ウエディング・ベル (Puffy) 『Bring it!』 より

いままでもさまざまなカバー曲を披露している Puffy ですが、今回は「なつかしの名曲特集」みたいな番組でよく聞く、3 人組女性グループ、シュガーの名曲をカバー。あの必殺フレーズも見事に再現。

13: She Want Me (Sean Paul) 『Imperial Blaze : 帝王激炎』 より

ジャマイカのダンスホールレゲエを世界的に知らしめた Sean が発表したニューアルバムより。どうでもいいけど、アルバムの邦題が「帝王激炎」って。そのまんまの訳のはずなのに、四字熟語だからか妙にインパクトがある。

14: Being Authentic (Shantel) 『Planet Paprika』 より

前アルバムでジプシー・ブラス／バルカン音楽をクラブ向けにして一世を風靡（ふうび）したドイツ人 DJ & プロデューサーによるニューアルバムから、ダンスホール・レゲエの風味も加わった小気味よい躍動感溢れる 1 曲を。

15: Death To All But Metal : メタル魂 (Steel Panther) 『Feel The Steel : 鋼鉄の女豹』 より

ロングヘアーとピチピチ衣装を身にまといつつ、メタリックなギターリフと長尺ソロ。ボーカルが甲高いシャウトを聞かせれば、メンバーは男くさいコーラスで応える。Motley Clue や Dokken、RATT など LA メタルのころの懐かしい思ひ出……ではありません。2000 年代のいま、20 年前の音をこれほど新鮮に響かせるバンドがいるものか! 邦題もイカすぜ !!

16: Fight! Smash! Win! (Street Sweeper Social Club) 『Street Sweeper Social Club』 より

Rage Against The Machine のギタリスト Tom Morello が以前から手を組んでいるラッパー Boots Riley とともに新バンドを結成。Zack とはひと味違うラップスタイルの Boots をフューチャーしているが、バックバンドはまんま Rage といっていいかも。だが、それがいい。

17: Elephants (Them Crooked Vultures) 『Them Crooked Vultures』 より

米の Queens Of The Stone Age の Josh Homme が現代のドラム神 Dave Grohl と 2002 年のアルバム「Song For The Deaf」大成功以来、再び手を組んだ! しかも、今回はベースに Led Zeppelin の John Paul Jones を迎えて、ブルース寄りのハードロックを聞かせてくれます。来日公演熱望。

18: Ere Tasfata Adounia – He Who Values Life (Tinariwen) 『Imidiwan- Companions』 より

「砂漠のブルース」として名をはせる、北アフリカのベルベル人系遊牧民であるトゥアレグ人のバンド。アルバム全編に鳴り響く枯れに枯れきったギターの響きだけでも十分にかっこいいが、この曲は後半盛り上がる疾走感もたまらない。

19: Manabadman (Toddla T feat. Serocee) 『Skanky Skanky』 より

Machines Don't Care のメンバーで英の DJ / プロデューサーによるダンスホールユニット。ダブステップやグライム、ドラムンベースなどなど流行りのエレクトロニック音楽を飲み込んだトラックなどと評されているようですが、個人的にはジャングルっぽいなーと思って懐かしんでいます。

20:HELLO (ユニコーン)『シャンブル』より

個人的に今年が一番の音楽的思い出は、何といてもユニコーンの再結成! 1月1日から再結成&ニューアルバム&ツアーの発表は“衝撃”以外の何物でもありませんでした。友人のおかげで行けた武道館公演は、本当に幸せな瞬間で、「すばらしい日々」は鳥肌モンでしたね。そのニューアルバムから阿部義晴の手による佳曲を紹介。アルバムの最後の曲なのに「HELLO」とは、今後を期待させる感じでうれしい!!

今年の選曲を振り返ると、元 Nirvana のメンバーが参加した曲を 2 曲も選んでしまいました。しかも、今年は Nirvana の「Live At Reading」が、やっと 2 年越しで発売されたり、デビューアルバム「Bleach」20 周年記念のデラックスエディションが出たりと、個人的には、前半はユニコーンで、後半は Nirvana の年でした。

(@ IT 編集部:平田修)

## No.436

# Twitterは何を変えるのか／今年も？ @IT 2009年ハイライトを振り返り

2009年12月24日

## 【コラム】@IT発行人のつぶやき

# 今年も？ @IT 2009年ハイライトを振り返り

景気後退の影響で何かと暗いニュースが多かった 2009 年ですが、年末恒例 (?) 内輪なネタを中心に、@ IT 編集部発のホットなトピックをご紹介します。特に順位は付けずに、編集部ハイライトを順番に振り返ってみたいと思います。

### ●セミナーや勉強会の盛り上がり

今年は 1 年を通じでもっともホットなキーワードになった「クラウド・コンピューティング」をはじめ、「コスト削減」効果につながるセミナーを数多く実施しました。開催地は東京、大阪に加え、今年は福岡にまで遠征しています。

また、小規模ながらもニッチなテーマを中心に、編集部「勉強会」を実施することができました。呼びかけを @ IT 会議室（電子掲示板）などで行い、広いとはいえない弊社の会議室で夕方から開始、終わったあとは「軽く」お酒を飲みながらの懇親会、というスタイルが定着してきています。

### ●「おばかアプリ」が話題に？

セミナーの中でもやや異色なものが、D89（デザイン・ハック）が不定期に開催している「おばかアプリ選手権」です。第 1 回が 3 月に行われ、これまでに 3 回実施しています。

毎回チケットが完売するなど、一部の方々に熱狂的な支持をいただいています。回が重なるにつれ、おばかぶりには拍車がかかり、他社メディアから取材が入るなど注目度も上がっています。運営ではライブ中継や Twitter との連動などもあり、編集部のモチベーションと、編集担当のカラーが最も強く出ているセミナーかもしれません。

### ● Web セミナーの実施、米国 ON24 社との提携

また、リアルセミナーだけではなく、オンラインの Web セミナーも目立ってきました。スライドデータと音声をマージするものや、リアルセミナーの映像をアーカイブして後日公開するものなど、セミナーの形態も多様化してきています。

11 月には、米国 ON24 とバーチャルイベントで提携するなど、弊社の今年の大きなニュースの 1 つになりました。経費削減やパンデミックなどへの注目もあり、今後ますます需要が高まっていそうです。

●@ IT 会議室をリニューアル

2001 年 7 月に開設した@ IT 会議室を改修しました。旧会議室は一部のプログラムがサポート切れになるなど、会議室機能のアップデートやメンテナンスが年々困難になっていました。ユーザーの皆さんに安心して会議室をご利用いただくために、全面的なリニューアルと過去記事のアーカイブ化を実施しました。使い勝手やデザインに対する意見をユーザーの方々にお聞きして改良を進めています。

● IFRS フォーラムと問題解決カタログが新規オープン

今年も 2 つの新規フォーラムが立ち上がりました。情報マネジメント内に財務分野をカバーする「IFRS 国際会計基準フォーラム」が 6 月に、そして IT 担当者が抱える問題の解決に焦点を絞った「@ IT 問題解決カタログ」が 9 月にオープンしました。

●編集部ブログと Twitter

最後に、まだ盛り上がっているとはいいいがたいですが、@ IT 編集部ブログと Twitter を利用した情報発信も始まっています。編集部の生の声を聞いてみたい方は、ぜひアクセスしてみてください。

振り返ってみると、今年は編集部スタッフが試行錯誤を繰り返し、読者の皆さんとの接点を積極的に作り出してきた年だったといえそうです。来年はいただいた貴重な「声」をしっかりと受け止め、各メディアの成長に生かしていきたいと思います。

本年もご愛読をありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。

(@ IT 発行人 / IT インダストリー編集副統括部長：永井利洋)

2010

## No.437

### 年の初めに“バックアップ”/「これからの10年」を展望する

2010年1月7日

## [コラム]会長のつぶやき

# 「これからの10年」を展望する

おめでとうございます。アイティメディア 代表取締役会長の藤村です。2010年の新春をどのように迎えられたでしょうか? 本年も「@ IT」をはじめ、アイティメディアの各種メディアをどうぞごひいきにお願いします。

毎年、年初に当たっては、わが身を振り返り、これからの歩みに思いを巡らすこととなります。私にとり、この2010年は、ご愛読いただいている「@ IT」開設 10周年に当たる、節目の年です。

ちょうど10年前のいまごろ、私はサイトの構想に資金集め、そしてリクルーティング活動にと、奔走する日々を過ごしていました。昨今“IT 人気”のかげりが吹聴されますが、10年前のわが国も、ちょうど「IT バブル」(インターネット・バブル、もしくはドットコム・バブルとも呼ばれました)のクラッシュ期で、弱小 IT ベンチャーを取り巻く環境は厳しいものへと変化し始めていました。そのためか、資金集め、ヒト(スタッフ)集めは想像以上に難航しました。

他人に向かっては胸を張り夢を説く一方で、心中には不安が渦巻く。他人はすべて自分より幸福そうに見え、自分は取るに足りない者に思えて、なかなかいらだつ気持ちを鎮めることもできません。

そんな時期、苦し紛れながら自分にいい聞かせたのは、

- (1) 「これからの 10 年で、世界は変わる」
  - (2) (その 10 年に向けた) 「ビジョンが大きく間違っていなければ、残るは愚直な努力のみ」
- でした。

さて、気付けば 10 年はたちまちに過ぎ去り、新たな 10 年を迎えています。

周囲は、IT 業界どころではない大型経済スランプで、先行き不透明感が漂います。苛立ちや不安感も去来します。

こんな不透明な時期だからか、「これからの 10 年とは?」「どこに向かって愚直に努力できるか?」と、あらためて自分に問わなければと思っています。皆さんはいかがでしょうか?

(アイティメディア 代表取締役会長: 藤村厚夫)



No.438

C言語に立ち戻ろう / オプティミスティック・シンドローム

2010年1月14日

[コラム]社長のつぶやき

# オプティミスティック・シンドローム

@ IT 読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。アイティメディア 代表取締役社長の大概です。

昨年は、6月に国際会計基準に特化した「IFRS フォーラム」、9月には IT 担当者向けに「@ IT 問題解決カタログ」など、コンテンツの拡充に取り組んでまいりました。本年も、読者の皆様に役立つ情報を、@ IT ならではの読みごたえのある記事として提供してまいりますので、何とぞご期待ください。

さて、世の中の経済情勢は、リーマンショックが起こった直後の昨年のいまごろよりもますます深刻化しているように思うのは私だけでしょうか。政府が「デフレ宣言」するほど、どんなに優れた製品やサービスも、「安く」なければ売れない時代がやってきました。

製品やサービスを提供している皆様の会社も、あるいはそのような会社さまからマーケティングや広告宣伝の費用をいただいている当社のようなメディア企業も、なかなか厳しい経営環境におかれています。

先般、ある米国人のベンチャー企業社長と話をしたら、米国はあのリセッションから立ち直りつつあると聞いていました。GDP は下方修正されましたし、ドル安と雇用不安は続いていますが、どういことなのでしょう？

その人いわく「あくまでも個人的な考えだが、GM は意外と早く立ち直り、新しい自動車メーカーへと生まれ変わるだろう。米国人は、谷も厳しいがはい上がるのも早い。とにかく、楽天的だ。また、かならず良くなると思っている」

私たち日本人は、二番底を警戒して戦々恐々、気持ちがシュリンクしています。設備投資や消費など経済活動は、マインドに影響される部分が多く、それが連鎖します。

一方では、企業も家計もギリギリまで切り詰めてなんとかやっている、というのが実情です。そんなときに「楽観的になろうぜ」などという寝首をかかれそうですが、起こってしまったことは仕方ない、未来に向かって進んでいきたいものです。私は、ズバリ、日本全国「オプティミスティック・シンドローム」を提言します。

当社は、昨年設立 10 周年を迎えることができました。本年は、新生アイティメディアの誕生の年、第 2 創業

というつもりで、「ターゲティング・メディア」化を図っていく所存です。専門メディア企業として、読者の皆様によりスピーディな情報を届け、企業のマーケティングの方に高い ROI（投資対効果）を提供できるメディア企業になろうと考えています。

新たな Web サイトやコンテンツ、広告主向けの新商品をぞくぞくと提案して、元気な気持ちで再び成長を取り戻したい。味わいたい、と思います。

新年に先立ち、経済環境は厳しいけれど未来志向の心意気で、そのスタートを切りたいと思います。本年も、アイティメディアを何とぞ、よろしく願い申し上げます。

（アイティメディア 代表取締役社長：大槻利樹）

## No.439

### いますぐ確認! Gumblar対策/愛のむきだしという“体験”

2010年1月21日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 愛のむきだしという“体験”

少女漫画が大好きな私。仕事の合間に相談とかこつけて、漫画好きが集まる編集の方々の席まで雑談をしにいきます。「少女漫画が好きなら、ぜひ」と、社内の方に「愛のむきだし」という映画を教えてもらい、観に行きました。上映時間がなんと約4時間にもわたる作品なのですが、時間の長さをまったく感じさせません。

園子温監督による話題作で、さまざまなところで批評を目にします。以下、今回は好き勝手に感想を述べさせていただきます。

#### ●キャストが素晴らしい!

主演の西島隆弘 (AAA)、ヒロインの満島ひかり (元 Folder5) はいうまでもなく、コイケ役の安藤サクラが素晴らしかった。役柄も個性的で、角度によってときに美しくあやしく、ときに不気味に映り、異常な個性を放っていました。

#### ●音楽が素晴らしい!

ゆらゆら帝国の「空洞です。」が使われており、ただでさえインパクトがあるシーンをさらに印象深いものにしていました。クラシック音楽も効果的で、ラヴェルのボレロやベートーヴェンの交響曲第7番が流れるシーンは圧巻です。

#### ●ストーリーが素晴らしい!

女装あり、新興宗教あり、盗撮ありのとんでもないストーリーですが、れっきとしたラブストーリーです (と私は思っています!)。特にラスト30分の展開は何度見ても感動的。

先日、会社の後輩と話をしているときに非常に盛り上がり、早速DVD観賞会を予定中です。最初から最後まで、見事に愛がむきだされている本作品、気になった方はだまされたと思って、ぜひ見てくださいね。キーワードは「女囚さそり」に「コリント書第13章」!

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部: 大西七歩)

## No.440

# プラグインに存在する脆弱性 / あなたの選択が Web ブラウザ戦争を左右する？

2010年1月28日

## [コラム] 営業担当のつぶやき

# あなたの選択が Web ブラウザ戦争を左右する？

突然ですが、あなたの使っている Web ブラウザは何ですか？

いま「Web ブラウザ戦争」という言葉が存在するほど、Web ブラウザ同士の生き残りをかけた激しい争いが起きています。ちなみに、1990 年代の Internet Explorer (IE) と Netscape Navigator の猛烈な競争を第一次 Web ブラウザ戦争と呼び、2004 年以降、FireFox などが IE のシェアを圧迫し始めている現在は、第 2 次 Web ブラウザ戦争と呼ぶそうです。

IE をはじめとして、Firefox、Chrome が現状世界での市場シェアトップ 3 を占めています。2009 年 12 月の Net Applications による発表では、IE はおよそ 62% のシェアを誇り Firefox がおよそ 26%、Chrome が 5% 弱といった構成になっています。しかし世界に存在するブラウザはそれだけではありません。レンダリングエンジンで種類別に分けると、Windows 向けでも Trident 系で 20 個弱が存在し、そのほかにも KHTML 系、Gecko 系があります。これに Mac 向けブラウザ、独自レンダリングブラウザを加えると本当にたくさんの Web ブラウザが存在するのです。

この Web ブラウザ戦争を制するのはどれか……。個別の機能の優劣のみで完全に勝負が決まるものではないのが、この争いの面白さです。

例えば、国によってもそのシェアは異なります。フィンランドでは Firefox のシェアは 45.5% と、世界で最も Firefox が使われている国だそうです。これは Firefox の機能だけが要因となっているわけではないでしょう。また、マイクロソフトと欧州委員会との IE バンドルの独禁法違反問題のような、第三者機関の関与もそのシェアに関係しています。

ともあれ、個人の選択基準が最大の要因となることには変わりはありません。軽い、見やすい、面白い……Web ブラウザ戦争を生き残るには、どの要件が最も重要視されるのか興味があるところです。

ちなみに私は Opera を愛用しています。理由はたくさんありますが、長年使い慣れた愛着が大きな要因かも

しれません。Web ブラウザの数と同じくらい、それを選ぶ基準もまたたくさん存在するのです。PC は好みのも  
のを選ぶのに、Web ブラウザなんて意識して選んだことがない方は、ぜひこのコラムをきっかけに Web ブラウ  
ザを見直してみてください。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：菅野絢)

## No.441

### メール対策から始めるセキュリティ / CAD / CAE関係者のTwitterオフ会に行ってきた

2010年2月4日

#### [コラム] 営業担当のつぶやき

# CAD / CAE関係者の Twitterオフ会に行ってきた

最近各種メディアで露出の激しい Twitter。私は主に情報収集（特に各種専門分野の方とのコミュニケーションツール）として活用しています。さらに、気になるテーマについて発言している人には積極的に「じかに」会いに行きます。深いコミュニケーションを行うには「対面」が最も効果的で、そのあとのネット上でのコミュニケーションも円滑になります。

先日は、CAD / CAE 関係者の「Twitter オフ会」に行ってきました。オフ会といっても今回は私を含め 4 人での小規模な飲み会です。以前からフォローしていた方の「CAD / CAE についての未来を語りたい!」という発言がきっかけで開催されました。@ IT では、@ IT MONOist という製造業向けの媒体でこの分野に注力しています。私はこの媒体をメインで扱っているのですが、現場のエンジニアさんや、ユーザーさん、販社さんとお話する機会があまりなかったので、「私もぜひ!」と即日返信しました。個人的に約 10 年前からさまざまなオフ会に参加しているので、こういった催しには抵抗がありませんでした。むしろ、テーマを絞っていれば初対面でも話は弾みやすいのです。

さて、今回お会いする方々はすべて初対面。実際にお会いしてみると、まず年齢層は 25 歳 ~ 32 歳と比較的若く、性別は全員男性。Twitter のユーザー層とも合致するでしょうか。また、開発元、ベンダ、ユーザー、メディアとそれぞれ違う立場もあり、おのおの活発に質問し合うという状況でした。何より、CAD / CAE に対する熱い想いがあり、メディアとしてこの話を記事にしたい! と盛り上がったのですが、ほぼオフレコの内容で、やむなくコラムで経緯をお伝えしている次第です。

ぜひ皆さんも積極的に情報交換してみたいかがでしょうか。Twitter でなくても構いません。いまはネットで簡単に情報が手に入る時代ですが、それと合わせていろんな人と会うことで、新しい何か生まれるかもしれません。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部 : 山岡大介)

## No.442

### ITスキル標準の有効性／現代人にお勧め、南部鉄瓶

2010年2月12日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 現代人にお勧め、南部鉄瓶

先日、友人から南部鉄瓶をお祝いの品としていただきました。なじみもなく私はまったく知らなかったのですが、長く使えるし、鉄分が出て体にいいと聞き、いただいてからよく使っています。あの山田五郎氏も好きで、鉄瓶コレクターらしいです。

男性は1日あたり0.5～1mg、女性は1～2mgの鉄分が必要らしいのですが、現代の食事でこの量を摂取するのは難しく、しかも野菜、穀類、卵、乳などの鉄分は「三価鉄」で、体に吸収されにくい性質があるようです。ですが、鉄瓶から溶出するのは体に吸収されやすい「二価鉄」であるため、鉄分の補給源としても注目されているようです。

使ったあと内側を洗ってはいけない、水分を中に残してはいけないなど、使い方に若干の注意が必要ですが、日本の伝統を感じることができ、とても気に入っています。外国の方へのプレゼントにもよいかもしれません。

現代人は、サプリメントに頼っている部分も大きいかと思いますが、こういった古くから使われているものから補える部分もあり、日本の歴史と知恵に感謝したい気持ちです。

このような鉄瓶は1万～5万円程度で買えるようです。ちなみに私がいただいたのは盛岡 薫山工房の急須でした。興味がある方はぜひ!

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：鈴木直人)

## No.443

### できるエンジニアのデータモデリング技術 / プログラムとジャズの“共通言語”

2010年2月18日

## [コラム] @IT情報マネジメント編集部員のつぶやき プログラムとジャズの“共通言語”

先日、「ソースコードリーディングワークショップ 2010」を取材しました。開催が土曜日だったので、本音をいえば趣味で続けているトロンボーンの練習に行きたかったのですが、そこはお仕事。ぐっとこらえて会場に向かいました。ところが、これが公私ともに刺激的な1日になったのです。

それは当日、パネルディスカッションに登壇した電通国際情報サービスのひがやすを氏の一言がきっかけでした。

「よいソースコードを書くには、よいコードをたくさん読むこと。無から有は生まれない。そしてたくさんアウトプットしてよい部分を自分のものにする——」

ハッとしました。これはまるっきりジャズのアドリブの上達法と同じです。アドリブはコード（和音）を追いつつ、使ってよい音を判断して音をつなげていくのですが、1番いいのはプロの演奏をたくさんコピーすることといわれています。

「コードからはずれないように」と、スケールばかり練習していてつまらないフレーズしか吹けず悩んでいた僕に、ひが氏が基本を思い出させてくれたのです。

さらに「悪いコードを読むとよいコードのよさ分かる」。これにはうなりました。ずっと前に取材したアルトサクソ奏者のキャンディ・ダルファーも「よい演奏をするには間違った演奏も知らなきゃ」とっていたのです。そのほか「理解したポイントをメモする」「短い時間で効率よく」など次々と貴重なヒントが。公私両面で心底来てよかったと思いました。

取材しながらそんなことを考えていたら、参加者の皆さんが何だかジャズマンに見えてきてしまいました。1人1人がプレイヤーで、このワークショップはジャムセッション。皆が腕を磨き合っている……なんてカッコいいんだ! と思ったら辛抱たまらず、その晩は友達を無理やり呼びだして、カラオケ屋で朝までなんちゃってアドリブを炸裂させてしまったのでした。教訓がまったく生きてないところがポイントです。

それにしても、コーディングと音楽の世界の共通点の多さにびっくりです。両方とも一種の言語だからなんでしょう。あるいは、どんな世界でも第一線の人が考えることは同じなのかもしれませんね。

(@ IT 情報マネジメント編集部 : 内野宏信)



## No.444

### フォレンジクスを学ぶ / あなたはどんな「タグ」を持っていますか？

2010年2月25日

#### [コラム] 営業担当のつぶやき

## あなたはどんな「タグ」を持っていますか？

「人にいえる趣味がずいぶん減ったなあ」と思う今日このごろ。

自由な時間がまったくない訳ではないのですが、昔は楽しくて仕方なかった数々の趣味を「忙しい」のひと言で遠ざけてしまっています。

バスケの試合でシュートを決め、黄色い歓声が飛び交っていたあのころ。大学の卒業ライブで会場をワッと沸かせたあのとき。カンボジアの国境で物売りの子供たちに囲まれながら絵を描いたあの日。

いまもかろうじて趣味といえるのは「下町散歩」でしょうか。いま私が住んでいる北千住には、猫とベトナム雑貨に囲まれてコーヒーが飲める喫茶店や、創業以来変わらない味が自慢の団子屋、至る所に残り続ける銭湯など、味のある風景が広がっていて時間を見つけては、その街並みを写真に収めています。

趣味が転じて友達が増えること、美味しい御馳走をたらふく食べることに、きれいな景色を見に旅行へ繰り出すこと、それらはすべて「タグ」と考えています。そしてそのタグは、自分を表す端的な言葉になります。

「〇〇のことだったら、あの人に聞こう」と周りの人に思ってもらえるような「タグ」を、皆さんはいくつお持ちでしょうか。1月に行く、2月は逃げる、3月は去るといわれるます。忙しさに追われて働くなかでも、自分の「タグ」に没頭する心の余裕くらいは確保したいものです。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部 : 山岡健人)

## No.445

### そのログ、何に使ってます? / 恐るべしジャニーズのエンタテイメント

2010年3月4日

#### [コラム]@IT編集部員のつぶやき

# 恐るべしジャニーズのエンタテイメント

「もちろん、行きますよね!」「は、はい…」

そう押し切られて行ってきました、ジャニーズの舞台。友人のジャニーズマニアがチケットを余らせており、私も昨年の舞台の話聞いて思わず「面白そうですね」といってしまったことが発端なのですが、これがなかなか興味深いものでした。

場所は帝国劇場、昨年までアイティメディアが入っていたビルのお隣。いつも 21 時ごろになると日比谷駅の改札前にずらりと並ぶ「出待ちの列」を見てはいましたが、劇場の中に入るのは初めて。そこで驚いたのは男女比。男性は 1 割くらいだろうと想像したのですが、実際のところは 0.1%もいればいい方でしょうか。たまに行く劇団四季の舞台も男性比率は低いのですが、今回の舞台は明らかに女性だらけ。さらに驚くことに、その年齢層が大変幅広い。中学生くらいのファンがいたと思ったら、明らかに自分よりも年上の女性の方々がいたり、いままで見たことのない客席の構成です。

そしてその理由はすぐに分かりました。今回は史上最年少座長こと滝沢秀明さんの舞台だったのですが、これが大変な「エンタテイメント」。自分もディズニーのテーマパークやラスベガスのショーなど、エンタテイメントはいろいろと知ってるぞと思っておりました。しかし、滝のように流れる水で作った文字のカーテンや、帝劇を水浸しにするほどの舞台装置、そして舞台冒頭から惜しみなく宙吊りになるタッキー。終始口が半開きの状態です。

が、問題点もあります。それはストーリーがまったくもって理解できないこと。それも来場者にとってはそんなことは問題がないようで、終わったあと「またあのシーンで寝ちゃったわ」などの声が聞こえてきました。「あの」って表現してたということは、何度もきてるんだ……と驚いた次第です。

ともあれ、ジャニーズのエンターテインメントはごく一部の層をわしづかみにしているさまをまざまざと見せつけられた 3 時間 (注:女子トイレが混雑するため途中 30 分の休憩含む) でした。聞いたこともない Jr. のメンバーの解説などを聞いて、本当に面白い体験でした。

(@ IT 編集部: 宮田健)

## No.446

### IT業界のハイブリッド旋風／目標：引っ越し！

2010年3月11日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 目標：引っ越し！

あっという間に2月も終わり、気が付けば3月。月日がたつのは本当に早いものですね。

入社して間もなく1年がたとうとしている私ですが、最近計画しているのが「引っ越し」です。大学入学をきっかけに上京してこのかた、東京の外れで姉と2人暮らしをしているのですが……姉の勤務地は池袋、そして私は大手町。

いまの住まいはお互いにとって職場から遠いので、まわりの方からも「なんでそこに住んでいるの？早く引っ越した方がいいよ」といわれるのがお決まりのパターンになってきました。

入社して間もないころは「社会人生活に慣れるまではこのままの生活スタイルで」という理由で引っ越しを考えていませんでしたが……そろそろ早朝に起き、寝ぼけながら電車の乗り換えをするのも苦になってきました。そして何よりも「通勤時間を短縮してもっと自由に楽しめる時間をつくりたい」と、満員電車で揺られながらひしひしと感じるようになってきました。

そんなこんなで最近になりようやく引っ越しする気が起きてきた私ですが、計画し始めたといっても、まだ物件をネットでみている程度。「ここだったらペット可だし、犬を飼いたいな～」「ここだったら通勤も楽だし、ジムにも行けるかもしれない」など、引っ越したあとのイメージはどんどん膨らむ一方で、気になるのが引っ越しにかかる手間。

上京したときはまだ学生で時間もあり、いろいろと家族が手伝ってくたので、難なく引っ越しができたのですが、いまは状況が違います。荷物詰めやあらゆる手続きを土日や有休で準備しないといけないことを考えると、面倒くさがりの私の悪い癖で「いまのところでも通えなくはないしな～」とってしまうのです。

しかしそこで引っ越しをあきらめてしまってはまた「早朝に起床、寝ぼけながら電車乗り換え」の繰り返しです。何とか「引っ越しの手間」に負けないように、引っ越したあとの生活イメージを膨らませ、気持ちを保っています。

もうこの際思い切って不動産会社に行った方がよいか～と思う今日このごろですが次に@ IT 通信コラムを書くときまでには引っ越しを済ませて「引っ越ししました！」というテーマでかけるようにしたいと思います。

(IT インダストリー事業部 アカウント営業統括部：射場理恵)

No.447

Flex Builder 最新版の機能とは / どこでもつながる時代だけれど

2010年3月18日

**[コラム]@IT 編集部員のつぶやき**

## どこでもつながる時代だけれど

3月初めに、サンフランシスコに出張しました。しかし滞在先のホテルから、どうしてもインターネットに接続できません。あれこれ設定を確認し、PC を再起動してもダメ。最悪の場合、環境の整った展示会場から接続するか、いっそテキストをプリントアウトして FAX で送信するか……と思い悩んでた気が付きました。「あれ、海外からの FAX 送信ってどうやるんだっけ?」。長年使っていないと、ど忘れするものですね。

いまでもホテルからのブロードバンド接続は当たり前ですが、7 ~ 8 年前まではダイヤルアップ接続も珍しくありませんでした。海外出張に出かけるとなれば、回線アダプタとカード型モデムは必須。さすがに音響カブラ(ご存じですか?) が出動したことはありませんが、入念に用意してから出掛けたものです。

それでも確実に接続できるとは限りません。最終手段は FAX と電話。ホテルのビジネスセンターに駆け込んで、打ち出した原稿を FAX で送信したこともありました。私はやったことはありませんが、電話口で原稿を読み上げ、日本にいる編集部員がそれを PC で打ち込んで入稿する、なんていうウルトラ C を使った人もいたそうです。

しかしそれもいまは昔。モデムの設定方法なんてわざわざ意識しなくても、ケーブルを差し込むだけで、あるいは Wi-Fi でさくっとつながることができますし、通話だって Skype や携帯電話がそのまま利用できます。いい時代になったものです。

ちなみにホテルの部屋から接続できなかった理由は、端子とモデムをつなぐケーブルがばっさり切断されていたせいでした。ま、こんなこともあるのですから、やっぱり準備は入念に……。

(@ IT 編集部 : 高橋睦美)

No.448

ファイルサーバ導入あれこれ／百億の物語と千億のSF

2010年3月25日

## [コラム] 営業担当のつぶやき 百億の物語と千億のSF

SF、好きですか？ 私、大好きなんです。人気のあるジャンルですよ。例えば映画ならスターウォーズやエイリアン、最近ではマトリックスやアバターなど「宇宙や未来を舞台にした空想冒険物語」は数多く作られてヒットも飛ばしています。いくつかは私も観ましたし、楽しかったです。

でも何か足りないんです。映画よりも小説派なんです、そういうことでもありません。「冒険物語」なら海洋探検でも西部劇でも成り立ちます。現実とは違う幻想世界が見たいならファンタジーでも構いません。つまりSF じゃなくてもスペクタクルやエンターテインメントは満たせる訳です。

じゃあ SF って何なの？ どうしたら SF なの？ という命題に、少しばかりお付き合いいただければ。嗚呼、SF 好きってどうして定義論も好きなんですか。

物語が編まれるなら、SF に限らず、そこには作者による「テーマ」があるでしょう。そして、このテーマを語る手法として、SF は最も優れていると私は考えます。例えばこの現実世界で人間より賢く、高度な物質文明を築いている生物は地球にいません。しかしここで、ロボットが自意識を持ち、自己増殖の方法も手に入れた世界があるとします。するとロボットは人間の上位存在となり、相対的な関係として、人間は家畜のレベルに下がります。

どうでしょう。人間という存在の意義がいやでもテーマに浮かび上がってきませんか？ 現実にもある設定で論じるなら、奴隷制やカースト制が例になるかも知れませんが、歴史や社会の背景など余分な情報も付いてきます。SF のよい点は、未来科学や異世界の法則がある架空世界だからこそ、テーマ以外の論点は解決した／存在しないものとして扱える／目隠ししてしまえる点にあると思います。

物語にはテーマがあるから、実はすべてのジャンルが持つ性質なのですが、SF はそれに特化していると私はいいたいです。ただの宇宙冒険活劇ではファンタジー、それでは物足りない。作者が提示する主題とがっぴり四つの取り組みがしたい。思考実験に付き合いたい。それが私にとっての SF です。だから私は SF が大好きです。

(IT インダストリー事業部 企画推進部：野口優)

No.449

PCI DSSはゴールではない／UMPCにキーボードは必要か？

2010年4月1日

**[コラム]マーコム担当のつぶやき**

## UMPCにキーボードは必要か？

韓国製の UMPC (Ultra-Mobile PC) 「Viliv S5」 を使うようになって、半年ちょっとが経ちました。起動するたびにデスクトップフォルダが別のフォルダに移動したり、いきなり画面が砂嵐状態になってピーガーピーガー鳴ったりと怪しい動きを見せていますが、「こやつめハハハ」という気持ちで付き合っています。

Viliv S5 にはキーボードがない点にひかれて買ったのですが、自分にはやはりキーボードは必要だという結論に達しました。ただ、ノートパソコンのような携帯性を損なうものであったり、スマートフォンに付いているキーボードには未来を感じません。大きさや重さに影響を与えない程度の、物理的な何かが付いているとよいと思うのです。

例えば本体の裏側にキーボードを付けるのはどうでしょう。新たな操作方法には底なしのキャズムを感じさせますが、慣れて使えるようになるのであれば、UMPC にとって 1 つの選択肢になりそうです。あとは「マイノリティ・リポート」でトム・クルーズが使っていた、グローブ型の入力装置もよさそうです。まだまだ先になりそうですがいずれはメジャーな入力方法になると予想しています。

Viliv S5 を仕事で使うこともあるのですが、そのときは Apple の Wireless Keyboard を使っています。配列が違うので最初は戸惑いますが、尊敬すべき誰かが作ってくれた最適化ツールもあり、思いのほか快適に使えます。ただ、Viliv S5 は画面が小さいので目が痛くなります。こればかりはトレードオフなので仕方ないですね。

UMPC は発展途上の分野ですが、いろいろと妄想して楽しめるよさがあります。Viliv S5 は、未完成ながら未来を感じさせるところに魅力を感じてしまう人にお勧めしたい一品です。

(マーケティング・コミュニケーション部：山本恵太)

## No.450

### 初めての運用管理 / あこがれのキミに会えた

2010年4月8日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき あこがれのキミに会えた

お気付きの方はほとんどいないと思いますが、京葉線各駅のホームの乗車位置をよく見ると、「14 両編成（3 ドア）」向けのマークがあると思います。しかし、京葉線で 14 両編成の車両を見た人はほとんどいないはず。

それもそのはず、その 14 両編成車両は首都圏の JR で最も「レア」な車両なのです。私は昨年 11 月に京葉線沿線に引っ越して以来、それを探し続けていましたが、先日やっと夢がかないました（大げさ）。その車両とは、E331 系。2006 年に落成しながら、相次ぐ故障で実運用に入った日数はごくごくわずかの不遇な車両です。

この E331 系の特徴は「接続式」と呼ばれる仕組みで、台車が車両と車両の間にあるという、大変珍しいものです（小田急のロマンスカーが接続式でした）。そのため車両の長さは 13.4 メートル級と短く、14 両編成ではありませんが通常の車両の 10 両に相当する長さです。

実際に乗車してみると、ドアが 3 つしかないのでミニカーに乗っている気分。そして接続式の台車のおかげで、ガタンガタンというテンポが通常車両とちょっと違うのが新鮮です。

この E331 系、現在 1 編成しか存在しません。この車両の計画時には次期主力通勤電車の実験も兼ねていたと思うのですが、JR 東日本が発表した京葉線の新車両計画にはまったく触れられておらず、おそらくこの系列が増備されることもないでしょう。

特殊な車両ゆえ、運用を土日だけに絞っておりますので、レア度はドクターイエローなどの「一般に知られるレア車両」とは比べものになりません。華麗なる週末 5 日のこの車両、もし見かけたらその日はラッキーになること間違いなしです。次に京葉線に乗るときは、ぜひ車両の長さをチェックしてはいかがでしょうか。

（@ IT 編集部：宮田健）

No.451

DB、いろいろそろってます / 人間の心理を読んでGWを楽しもう

2010年4月15日

## [コラム] 営業企画部員のつぶやき 人間の心理を読んでGWを楽しもう

いよいよ来週からゴールデンウィーク（GW）突入ですが、皆さん GW 中の予定はすでに立てましたか？

今年の GW は、4 月 30 日を休むと 7 連休。5 月 6 ～ 7 日まで休むと 11 連休なんていわれています。GW はどこに行っても混んでいるから、家でゴロゴロしているのが一番、なんて声をよく聞きますが、人間の心理を読むことで GW を楽しく快適に過ごすことが可能です。

例えば、GW といえば遠出できるチャンスなので、遠出する人で東京の高速道路はとて混んでいますが、一般道はガラガラ。新幹線は混んでいますが、在来線は空いているなど、人の行動を考えることで、意外と快適な移動手段があったりします。

そこで、GW におすすめしたいのが「東京ディズニーリゾート」（TDR）。なぜ GW に最も混みそうな TDR が？ もちろん普通に行けば大混雑で楽しめるわけがありませんが、ここで人間の心理について考えてみましょう。

TDR が遠くて、大型連休のときしか行くことのできない方々は「GW の後半は家でのんびりして、GW 明けに備えたい」と思うでしょう。逆に TDR が近くていつでも行ける方々は「GW なんてどうせ混んでいるから、ほかの休みに行こう」——こう考えるのが普通だと思います。この 2 つの心理から読めること。それは、GW の後半は空いているのです！

というわけで、今回の GW 中でおすすめの日は 5 月 8 ～ 9 日の土、日曜。毎年、GW 最後の 2 日間は通常の土日より空いています。あわせて、7 連休の方が最終日となる 5 月 5 日（水）。これを裏付ける証拠として、ディズニー直営ホテルの予約状況や宿泊料金帯があります。

ディズニー直営ホテルは、閑散期である「バリュー」から、繁忙期である「トップ」まで 4 段階に分かれています。5 月 5 日の料金帯は閑散期を表す「バリュー」。5 月 8 日の料金帯は通常の土曜日と同じ「ピーク」となっています。これは 5 月 5 日が空いていることを物語っています。通常の土曜日と同じ料金帯の 5 月 8 日の予約状況を見ると、翌週の土曜日、5 月 15 日よりも空室が多いのです。これで「GW 後半の TDR は空いている」と信じていただけましたか？

今年の GW は、いつもより空いている TDR を満喫してみましょう！

（メディア営業企画部：柿澤誠）



## No.452

### これから始めるプログラミング / 書けない理由、書く理由

2010年4月22日

# [コラム] 広告オペレーション部員のつぶやき 書けない理由、書く理由

この原稿を書いている今日は、編集担当から指定された締切日を 8 日過ぎています。なぜ、今日まで原稿を書か(け)なかったのか、その理由を綴ろうと思います。

物心ついたころから、私は文章を書くことが大好きでした。小学校や中学校での作文、高校生になると小論文、ほかのどんな課題よりも大好きな課題でした。高校生時代の担任教師にいわせると、私の書く文章は「感性が独特すぎて共感することはできない」ものらしく、決して高く評価されることはありませんでした。指定の課題図書を無視して、「バトル・ロワイアル」(高見広春著)の感想文を書いて提出したこともあります。自分が書きたい文章を好きなだけ書く、それが私が喜びを感じることでありました。

そんな私は漠然と「将来は文章を書く仕事がしたい」と強く思っており、社会人になった年、その願いがかなうこととなりました。ところが、長年の夢が叶って 1 年を過ごしたころ、私は大好きだった文章を書くことが、嫌いになってしまったのです。

私が就いた記者という仕事は、当然、自分の意見を主張する文章を書くことはできません。文法や構成など、さまざまなことに気を配りながら文章を書かなくてはなりません。しかも、速報性が求められる記事を執筆する場合は、時間とも戦いながら文章を書かなくてはなりません。記者を続けているうち、私は「文章を書く」ことに苦痛を感じるようになり、いままで感じていた喜びや楽しみを感じるができなくなってしまったのです。

それまでプライベートで日々感じたことを綴っていたブログを書くことも、mixi で日記を書くことも、ライブのレポートを書いて雑誌に投稿することも、すべてやめました。毎晩、「明日も文章を書かなくてはならない」そう思うと苦痛から眠れなくなりました。文章を書く、それだけのことがとても怖くなり、いつの間にか「嫌い」になっている自分に気付きました。記者という仕事から離れて 1 年たったいまでも、他人に見せる文章を書くことに抵抗があります。ここまでが、原稿の執筆が遅れた理由です。

中学生のころから憧れだったフリーランスのライターさんが、まだ学生だった私にいった言葉があります。「僕は、仕事以外で文章は書かない。書きたいとも思わない。だから、ブログなどで楽しく文章を書いている君を、すごいと思う」。当時、私はこの言葉の本当の意味を理解することができませんでした。

いまになってやっと、その言葉の意味を理解できたような気がします。社会人として未熟な私には、「好きなことを仕事にすること」は無理だったのでしょう。順序が逆だったのです。仕事として与えられたことを好きになれたとき初めて「好きなことを仕事にする」喜びを感じられるのかもしれません。

(メディア開発本部：杉浦知子)

## No.453

### 新しいことにチャレンジする連休／技術がもたらす「第2の発見」

2010年4月30日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 技術がもたらす「第2の発見」

「奥にある青いトレイには、1 つにつき 1 体の人骨が納められてます。これは東京スカイツリーの建設現場で発掘されたもの。もし東京スカイツリーを見たら、高いなあと思うと同時に、この下にはいっぱい骨があったことも思い出してくださいね——」

年に一度、たった 4 時間しか開催しない「科学博物館オープンラボ」では、このようなお話を聞くことができます。昨年のいまごろ、オープンラボで知ったピルトダウン人のことを当コラムで取り上げましたが、今年も興味深い話を聞きました。

古人骨が多数収納されている収蔵庫では、縄文時代の復元頭骨を展示していました。下あごは前歯の下あたりで 2 つに分かれた状態で発掘され、復元する際に接着剤でくっつけています。実はこの接着する際の技術が問題で、左右のあごの接続角度がずれていることがあるのだそうです。

発掘された頭骨のパーツを復元する際、足りない部分はパテや接着剤で補うのですがその標本ではあごの角度が若干広がっていることが分かりました。しかし、昔の技術で作った復元頭骨は大変強力な接着剤で固めており、はがすことができません。そこで、新しい技術の出番です。この頭骨を CT スキャンでデータを取り、PC 内で分解、再構成します。そこから計算した「正しい復元頭骨」を、3D プリンタを使って物体として再復元したことにより、その縄文時代の頭骨はいままで考えられていたよりも顔が細いという「再発見」がされました。実際の比較画像を見せていただきましたが、その結果が出たのが数週間前だとか。

その収蔵庫には弥生時代から江戸時代まで、数万の古人骨があり、毎年 500 体程度増えていくそうです。発掘されて収蔵されたあとでも新たな発見がある、それも最新技術のおかげであることは大変刺激的でした。

専門家自身が親身に解説してくれる機会はなかなかありません。来年は皆さんもぜひ科学博物館オープンラボに参加してみたいかがでしょうか。

(@ IT 編集部：宮田健)

## No.454

# HTML5に舵を取れ／わたしのかんがえたさいきょうのえすえぬえす

2010年5月13日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき わたしのかんがえた さいきょうのえすえぬえす

ちまたでウワサの Twitter ドラマ「素直になれなくて」。皆さんご覧になってますか？ はじめは冷やかしのつもりで見ていたのに、第 3 話を見逃してしまったことが想像以上にショックで「なんでこんなに気になるの？ アイツのこと……もしかしてこれは……恋？」というトレンドドラマ的状况に陥っているのは私だけじゃないですよ。というか、トレンドドラマって言葉はもう死語なんですかね。

ドラマ放送中、私の Twitter タイムラインで必ず話題になるのが「これ Twitter じゃないよね？」ということ。なぜか一切増減しないフォロワー、誰かがツイートするたびに音が鳴る iPhone……。フォローされる側の許可がなければフォローすることができない、いわゆる「鍵付き」の状態を全員が設定しているのだとすればありえるのでしょうか、それにしてもなんだか不自然に感じます。少なくとも私が知っている Twitter とは異なるサービスを皆さんお楽しみのようにです。

しかし、私は考えました。ミクシィよりもオープンで、Twitter よりもクローズな、新しい SNS！ それが「Grouping」（注：私の考えた SNS です）。ドラマで彼らが使っているのは、きっとこんな SNS ではないかと思うのです。

ユーザーは登録時に、まず自分の居住地や年齢、性別などパーソナルデータ、趣味や関心などを登録します。そこまでは普通の SNS。「Grouping」が特徴的なのは以下の点です。

- SNS 側が、ユーザーとユーザーを勝手に 4、5 人のグループにしてくれる
- グループで 1 つページを持つ。それは他グループに所属するユーザーが見ることはできない
- グループページ内において、グループの構成員は日記や BBS、マイクロブログなどで交流する（交換日記なんてのもあっていいかもしれない）

いわば、システムによって自動的に組まれた仲間同士でサークル活動を行うようなもの。出会ったときはまったく知らない者同士ですが、「この人とこの人はきっと気があはず」とシステムが組み合わせしてくれた仲間です。安心してください。グループという閉鎖的な環境下で交流を深めれば、きっとすぐに仲良くなれるはず。

グループの中で出会った仲間とは、恋もあるでしょう。友情もあるでしょう（むしろ問題や犯罪につながりやすいかもしれませんが……）。普通に暮らしているだけじゃ出会えなかった人と一生の友人になれるかもしれませんよ。

いかがでしょう、このコラムを読んでくださっているエンジニアの皆さま、どなたか実現してみませんか？

（管理本部：斎藤未来）

## No.455

### 注目! Windows 7でできること/さらば、青春の光

2010年5月20日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき さらば、青春の光

入社後、まず会社ですることは郵便配達。会社へ配達された各種郵便物を、あて先の机まで届けます。先日、両手いっぱい郵便物を抱えながら歩いていて、ふと思いました。

この光景は映画、「さらば青春の光」だ——

「さらば青春の光」という映画をご存じでしょうか。モーツの経典ともいわれるイギリスの作品で、モーツ文化に傾倒する当時の若い労働者階級の人々を描いている作品。ファッション性の高さや、衝撃的なラストで有名です。

内容は割愛するとして、その映画の主人公ジミーは、ベスパに乗って徒党を組む以外の時間は会社で働いています。ピチピチのスーツに身を包み、仕事は会社の雑用。主に郵便配達です。

変化のない日常と、いいようのないフラストレーション。そして彼は会社を辞め、自暴自棄に陥ってしまいます(何年後かには改心して働いている姿を見ることができるのですが)。

最初にこの映画を見たときは、ジミーがなぜ自暴自棄になったのか理解できませんでしたが、いまなら強く共感できます。会社の一員でありながら、何一つ会社に貢献できないという状況、無力感——まさにいまの自分自身です。

こんな書き方をすると、まるで私が五月病であるかのような印象を持たれるかも知れませんが、そんなことはまったくありませんのでご安心ください。むしろ、そんなフレッシュな気分を味わえるのも人生でいまだけ。願わくば、無力感ですら楽しめる余裕を持ちながら仕事をできるようになりたいものです。

(管理本部：加藤宗肖)

## No.456

### ユーザーが望むシステムを目指して / マッシュルーム・カットとIT

2010年5月27日

# [コラム] アイティメディア新入社員のつぶやき マッシュルーム・カットとIT

街で大学時代の後輩とばったり出くわしたとき「どこの専門学校生？」といわれました。スーツで買い物に行っても、アパレルの店員さんから「同業者の方ですか？」と声をかけられます。現在では、休日に友人と会うと、半ばあきれ気味にこういわれます——「よくその頭で社会人できるね」。

……きのご頭の新人・松岡です。改めましてこんにちは。

入社して約 2 カ月が経ちますが、社内の方とのあいさつのとき、何度髪型について触れていただいたか分かりません。最近では社外でも上記のような言葉をかけられることが続き、この髪型は社会一般的にもどこか「逸脱」したアイコンなのかもしれないといまさらながら再認識させられている次第です。しかしながら、実は私としてはまったく逆で、こんな自分がアイティメディアに在籍することは、偶然でも何でもないと思っているのです。

私の服装観に大きな影響を受けたものに、デザイナー・山本耀司氏による「服を選ぶことは生活を選ぶこと、人生を選ぶことだ」という言葉があります。何を隠そう就職活動時、私が IT 業界を志望した大きな動機の 1 つも「服装に対する許容範囲が広いから」でした。

IT という新参の業界を支えるモチベーションに「既存の業界が内包する価値観を疑う」というチャレンジングな問いかけがあるなら、1 人の生活者として、まずは働く服装を、そして自分自身の人生を選ぶ、という地点に降りていくのではないかと、私は考えました。外部接触がある部署は別にしても、IT 系企業＝私服で働く人が多いのは、極めて自然な帰結のように思えたのです。

そう、私のなかで、外見と仕事とは地続きなもの。

服装も仕事も、自分が「何者でありたいのか」と「何者でしかいられないのか」とのせめぎ合いのなかで、日々生まれる「わたし」の一部。単に「個性の発現」を訴えたいのではなく、スーツであれ私服であれ、個人の裁量権が大きい会社のなかで、日々の装いについて考えることは、自分の仕事そのものについても問いを促す、豊かな契機にもなり得るのではないかと。

……きのご頭は、そんなひそかな (?) プロパガンダだったりもするのです。

(管理本部:松岡瑛理)

No.457

セキュリティのトレンドは? / イタリアとバルセロナに行ってきました(前編)

2010年6月3日

**[コラム]@IT編集部員のつぶやき**

## イタリアとバルセロナに行ってきました(前編)

ゴールデンウィークに嫁と、イタリアの数都市とスペインのバルセロナを周る、パック旅行に行ってきました。

アイスランド噴火の影響で、もしかしたら無事に着けないかもと不安がありつつ、12時間ほどかけて何とかイタリア北部の都市ミラノに到着。曇天の中、初の欧州の地へ降り立ちました。初日は、そのままホテルに直行してチェックイン。早速ピザ屋に繰り出して釜焼きピザを1枚注文。アジア人がやっている怪しげな店でもパリッとしておいしく、さすがはイタリア、といったところでしょうか。

2日目はまず、ミラノ市内観光へ。曇り時々雨の天候の中、スリに合わないように、お腹にパスポートをしまい込み、バスに揺られてミラノ市内へ向かいます。Vodafone が提供する iPhone の看板がやたら目に付きます。まずはゴシック様式の大聖堂（イタリア語で「ドゥオモ」）を見学。その後、歩いたヴィットリオ・エマヌエーレ2世のガッレリアは、新小岩のアーケードとは一味違う荘厳さ。昼食はミラノ風カツレツとサフランリゾットを食べて、イタリアのビールを飲み干しました。

その後、バスに揺られて世界遺産のベローナへ立ち寄ります。ここには、「ロミオとジュリエット」の舞台となったジュリエットの家があります。さらに、バスでベネチアに到着。ここでイタリア初のパスタを食べましたが、観光客向けに大量に注文をさばく店だったためか、アルデンテではなくがっかり。ベネチアのシーフードは港町だけに美味かったのに……。期待を裏切られつつ、イタリアワインでごまかすことにしました。

その日宿泊のホテルでイタリアのテレビを試しに見てみると、何をいっているのかサッパリ分かりません……。取りあえずサッカーを動きだけ眺めていると、テレビのCMでもVodafoneがやたら流れています。サッカー選手のトッティがiPhone片手に何やらやっているの眺めながら、この日は就寝しました。

3日目は、まずベネチア観光。ジェットボートでベネチア市内へ着くと、お祭りの出店のよう、仮面がやたら並んでいる店が目につきます。今回の旅行の目玉の1つゴンドラ遊覧は小雨が降る中でしたが、見所満載でカメラが手放せません。ゴンドラは1度もぶつからずに川を周りきります。さすがはプロの貫禄といったところ。ゴンドラを漕ぐ人はイタリア語で「ゴンドリエーレ」といい、イタリアではとても名誉のある職なのだとか。



その後、チョイ悪な現地人ガイドに連れられ、ドゥカーレ宮殿やサンマルコ広場、溜め息橋を渡り歩き、ベネチアアンガラス工房の職人技を見学しつつ、昼食はイカ墨のパスタを食べました。チョイ悪現地人ガイドのお勧めで来た店でしたが、今度はパスタが一部生茹で……。いつになったら「これは、うまい!」と納得できるパスタに出会えるんだ!?

その後、バスに揺られてフィレンツェへ。ホテルのレストランでフィレンツェ名物の牛ステーキを食べます。これは、大変おいしいものでした。でもパスタはここにはなく……。そして 3 日連続で曇り時々小雨な天気。この旅行から「禁煙」を始めた身にとっては、イライラ要素は少しでも減らしたいところだ。明日こそ晴れてくれ!

(@ IT 編集部:平田修)

No.458

Androidアプリを作ろう! / デジタルグッズ買うたやめた音頭

2010年6月10日

[コラム] @IT 編集部員のつぶやき

## デジタルグッズ買うたやめた音頭

「買うたやめた音頭」という言葉があります。これは買おうかやめようか悩んだプラモデルマニアが、棚から商品を取り出しては戻し取り出しては戻し……という状態を指した言葉です。

このメールマガジンが発行されるちょっと前、アップルは新型 iPhone を発表しました。私はこういうデジタルグッズが大好きです。iPhone 3G の日本発売のときは発売で秋葉原に並び、1 年後も当たり前のように 3GS へ機種変更。古くは Palm や CLIE にももちろん手を出し、周辺機器の折りたたみキーボードや Palm 用アナログモデムも購入。キワモノなデジタルグッズが出ると「誰が買うんだよ……あ、自分か」と思うわけです。

ところが、iPad 発表のころから自制心が出てきました。発表内容を見て素晴らしい! と思いつつも、欲しいと思わなかったのです。

素直に Twitter で「iPad 買いません」と述べたところ、これが大変な反響。これまでの自分を知っている友人からは「とかいって予約すんでしょ?」「いつ気が変わるか楽しみです」など……。発売したあとも実物を手にした方たちが次々にプレゼンをして誘惑するのですが、ギリギリ平静を保っています。

思えば私の場合、デジタルグッズで「買うたやめた音頭」を踊ったあげく買ったものは、ほとんどが「売却」という結末を迎えています。衝動買いに近い出会いをしたデジタルグッズほど、結果としては「よかった!」と思えるものが多いようです。最近ではポメラがそうでした。

「迷うモノは、いつかは手に入れることになる」という人もいますが、自分はおそらくそうではないのでしょう。「迷ったら買わない」を実践しつつ、新型 iPhone はどっちなんだろう、と軽く迷っている次第です。多分、買いますが。

(@ IT 編集部: 宮田健)

No.459

クラウドセキュリティの勘所／ワールドカップ期間の睡眠時間

2010年6月17日

## [コラム] 営業担当のつぶやき ワールドカップ期間の睡眠時間

いよいよワールドカップが始まりました。僕はサッカー暦もそこそこ長く、いまだに毎週末には趣味の草サッカーを行っているほどのサッカー好きですので、否が応でも気になってしまいます。

そんな僕ですが、サッカー観戦が大の苦手です。必ず寝てしまいます。自分の試合中は寝ることはない（当たり前）のですが、どうしても観戦だけはダメです。テレビ観戦なら 10 分が限界です。

例えば 6 月 14 日に行われたカメルーン戦、頑張ったのですが 20 分程度で寝てしまいました。もちろん、本田選手の得点は見逃しました。

僕の実家が練馬で、埼玉スタジアム 2002 がアクセスしやすいこともあり、よく浦和レッズ戦を見に行きました。盛り上がる周りのサポーターにも負けることなく、爆睡したこともしばしば。まあ、そのときはアルコールも手伝ったのですが……。

学生時代、スペインはバルセロナまで行き、レアルマドリッド対バルセロナをスタジアムで観戦したことがあるのですが、ここでも寝かけました。あのころ絶頂だったロナウジーニョのエラシコですら、僕の睡眠は妨げられないそうです。

ワールドカップ期間中は寝不足になる人も多いかと思いますが、僕に関していうと、むしろ十分な睡眠が取れる期間だったりします。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部：櫻井裕)

## No.460

### アーキテクト力で乗り越えろ / むらさき書房の思い出

2010年6月24日

## [コラム] 営業担当のつぶやき むらさき書房の思い出

寂しいゴールデンウィークにならないようにと、連休前に後輩がいろいろな漫画を貸してくれました。「ペンとチョコレート」「午前3時の無法地帯」(両作品とも ねむようこ著)、「愛すべき娘たち」(よしながふみ著)、「失恋ショコラティエ」(水城せとな著) などなど、バラエティに富んだ面白い作品ばかりで、大変有意義な連休を過ごすことができました。

その中でも「こどものおもちゃ」(小花美穂著) を 20 年ぶりに読みましたが、いま読んでも感動的で、初めて読んだころの、いろいろなことを思い出しました。

私の土台を築いた「少女漫画」と、切っても切り離せないのが、地元田町にある「むらさき書房」という本屋さん。残念ながら、最近閉店となってしまいました。

おそらくご親族で経営されているその小さな書店は、幼少時、行くたびに必ず知り合いに会うような、みんなに愛された場所でした。「(本の) カバーは要りません」と断ると、お店の方は「ありがとうございます。恐れ入ります」と、とても丁寧に声をかけてくれました。「〇時にむらさき書房前ね」などと、よく待ち合わせ場所にも使ったものです。

漫画だけでなく、読書感想文や学校の課題のためなど、社会人になってからも素晴らしい本とたくさん出会うことができた、とても素敵な場所でした。閉店したのは悲しいですが、心からありがとう、といいたいです。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部 : 大西七歩)

## No.461

### 電子出版、興味ありませんか？／電子出版？ もう体験済みですよ！

2010年7月1日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 電子出版？ もう体験済みですよ！

電子出版が盛り上がっています……と書いて思い出しました。私、もう 15 年も前に、電子出版を体験していました……。

時は 1994 年。まだ日本でも「Macworld Expo / Tokyo」が開催されていた時代です。当時大学生だった私は、アップルが主催する学生グループに入っていました。そこで、普通の大学生活では体験できないことをしよう、というテーマで手を出したのが「エッセイ執筆」でした（ちなみに私、大学では理系でした）。

執筆期間約 1 年、まだ一般向けのインターネットサービス事業者がリムネットとベッコアムくらいしかなかった時代ですので、発表場所は「パソコン通信」。エッセイの内容は、時代を鋭くえぐるような含蓄あふれるものになるわけもなく、ひたすら自分の身を切る、忘れたくても忘れられないこっぴどかしい内容ばかり。

そのとき、上記 Macworld Expo / Tokyo で、ボイジャーさんが「エキスパンドブック横町」という、いまでいう文学フリマのような試みを始めました。「エキスパンドブック」という電子書籍フォーマットの本をフロッピーディスクに入れ、きれいにパッケージングしてボイジャーブースで販売委託ができる、当時としては画期的な仕組みです。

確かそこに 50 部の本（フロッピーディスク）を納入し、結果 40 部くらいはきっちり売れた記憶があります。それも裏がありまして、「電子書籍は立ち読みできない、ならばジャケ買いしてもらうためにはハダカしかない!」という、大変学生らしい助言を受け、美大に通うグループメンバーにそれを作ってもらったのが功を奏しました。キャッチコピーは、「はっきり言って、卑怯です」だったと思います。うそは言ってません（確か、当時アイドルの千葉麗子さんに 1 部押し付けた記憶が……）。

このときに出したエキスパンドブック版の電子出版、おそらくいまでは閲覧環境を整えることも大変だと思います。もちろん、自分でも思い出したくもありません。が、たったいま当時と同じようなコラムを書いています。学生時代の思いつきがいまにつながってるのは、ちょっと不思議な感じもします。

(@ IT 編集部：宮田健)

No.462

いまどきのデータベース技術 / 京都にて魔王と出会う

2010年7月8日

## 【コラム】@IT自分戦略研究所編集担当のつぶやき 京都にて魔王と出会う

先日、友人たちと京都旅行に行ってきました。中学校の修学旅行で金閣寺を見て以来の京都です。

「山登りしようぜ!」と無駄な体育会系ノリを撒き散らす友人の発案で、鞍馬山に登ることになりました。「どうせ高尾山と同じくらいのキツさだろう」とタカをくくっていたのが間違いのもと。そこには、意外なほど険しい山道を前にして、杖を片手に悪態をつく運動不足の編集者の姿が!

あとで知ったのですが、そもそも鞍馬山は密教による山岳修験の場として栄えた山。いくら現在は観光客向けに整備されているとはいえ、キツイことには変わりありませんでした。

ぜーぜーいいながらしばらく山道を登ると、開けた場所に出ました。なんか小さな建物が……。

『魔王殿』

えっ、なにそれこわい。僕はいつ、剣と魔法のファンタジーの世界に迷い込んだというのでしょうか。

なんでも、鞍馬山に建つ鞍馬寺は毘沙門天、千手観世音、護法魔王尊の三身一体を本尊としているそう (Wikipedia 調べ)。毘沙門天と千手観世音は存じておりましたが、まさか魔王までいるなんて……。しかもこの護法魔王尊、650 万年前に金星から地球に降り立った方らしい。有名な鞍馬天狗は、もともとこの護法魔王尊のことだったという説もあるようです。天狗おそるべし。

まさか日本オブ日本という印象の強い京都に来て「魔王」というドラクエちっくな言葉に出会うとは思いませんでした。京都は奥が深い。ほかにも京都の素敵スポットをご存じの方は、ぜひ教えてください。

(人財支援事業部 キャリアデザイン部 : 岑康貴)

## No.463

# メール“以外”でコミュニケーション／ランチで文化の衝突を目撃

2010年7月15日

## [コラム]@IT MONOist編集担当のつぶやき ランチで文化の衝突を目撃

伊丹十三監督の映画「タンポポ」が公開されたころ、日本中にグルメブームが起こっていたようで、フランス料理やイタリア料理のマナー講座などが大盛況だったようです（わたし自身はまだ子供だったため、残念ながらブームを体感していません）。パスタは皿の端で巻き取って食べるべし、などというルールが一般に浸透したのもこうしたブームを通過してきたからこそだと思います。

一方で、日本的なマナーというのもあり、女性は大口を開けず静かに食べるべきだ、といった儒教文化圏的観念も、グルメブーム時には同時に存在していたのではないのでしょうか。そのころにいいお年ごろだったであろう、妙齢女性のパスタ食の姿を見るにつけ、そのように思うようになりました（最近では大口できれいに食べる大食い女性の食べ方に好感を持つ人もおり、必ずしも女性らしい食べ方だけがよしとされているわけではないように思います）。

あまりよくないことですが、わたしには 1 人で昼食に出たときに、目のやり場もなく対面で食事する方を意味もなく見てしまう癖があります（これこそ行儀がよくないですね、すみません）。見ていて気付いたのは、あの時代にお年ごろだった女性の食べ方だけが非常に独特だということです。

食べ方についてはいくつか分類できます。

1. 徹底的に巻き取って口に運ぶ
2. 半分だけ巻き取って、口からはみだした分をかみ切ってぼろっと皿に戻す
3. 半分だけ巻き取って、口からはみだした分を思い切りすす
4. 半分だけ巻き取って、口からはみだした分をたらしながら、口の中の麺を先にそしゃく、その後に残りの麺をすす
5. ラーメン、焼きそば同様にしっかりすす

5については、ごくわずかしか目撃していません。気取ったていになるのを嫌った男性に多いパターンかもしれませんが、最も日本的食文化に忠実であるとも思います。

ちなみに、1 ~ 4 については口に運ぶまでの挙動はほぼ共通しており、ほとんどのケースでスローモーションのようにゆっくりと、おそるおそるちいさくすぼめた口に運ぶことが判明しています（そんなに怖いのかしら、とこちらが思うほどに）。おそらく女性は大口を開けて食事をしてはならない、というルールがベースとして浸透していたからではないかと想像します。

また、2 ~ 4 タイプは、麺を見たらすすりたいという日本的食文化の魂と、グルメのマナーとしての巻き取らねばならないという意志のせめぎ合い、両者による制約の度合いの濃度差によって段階的に体系化できると思います。目撃するたびに、失礼なことは承知ですが、濃度を推測しながら、ああ文化の衝突と克服がいまここで起こっているんだな、などという壮大な妄想を巡らせてしまいます。1 人ランチなので妄想が止まらないんですね……。

興味深い例としては、「半分だけ巻き取って口に運び、口からはみ出した麺をぶら下げたまま、友人の会話に相づちをうって麺をぶらぶらさせる」という事例も目撃しました。このケースでは最終的には 4 のパターンに収束しました。

わたしは、おいしく食べられればそれでよいと思います。ただし、マナーに気を使うなら徹底してほしいとも思います。さらにいうと、すすらないのがマナーなどというなら、麺にしなければいいのに、とも思います。おいしいから食べますけれども。

ここまで書いてあらためて思いましたが、こんな観察をしてしまうわたしが最も非礼ですね。ちなみに、わたし自身は 1 の無理やりにも全部巻き取って食べる 1 タイプで観察しすぎて人の目が気になるタイプともいえます。

(エンジニアリング・メディア編集統括部 @ IT MONOist 編集部：原田美穂)



## No.464

### 比べて分かる開発言語／イタリアとバルセロナに行ってきました(中編)

2010年7月15日

## 【コラム】@IT編集担当のつぶやき イタリアとバルセロナに に行ってきました(中編)

嫁とゴールデンウィークに、イタリアの数都市とスペインのバルセロナを周るバック旅行に行ってきました。@IT通信 No.457 のコラムの続きです。

4日目は、まずフィレンツェの市内観光でした。天気は、晴れたり曇ったりで一喜一憂していましたが、ドゥオモやメディチ家礼拝堂などを含め、町並みがとても素晴らしかったです。歴史を肌で感じた気がしました。特に、ポッティチェリの「ヴィーナスの誕生」など、ルネサンスの作品群で有名なウフィツィ美術館は、見どころがあり過ぎでした。

午後になり、念願の自由行動! もう、パスタが食べられればどこでもいいと思いつつ、雰囲気良さそうな店を選んで、ポロネーゼやピッツアを注文。これが、いままでがなんだったんだというぐらい大当たりでした。本場のパスタを堪能し、ようやくイタリア旅行の目的が果たせた気分になりました。

そのあと、たどたどしい英語／イタリア語やガイドブックを頼りに、電車で数時間揺られて、ピサの斜塔に赴きました。着いた瞬間から豪雨になりましたが、斜塔に入れる時間が限られているので昇りはじめます。らせん状で斜めになっている階段は変な感じでした。塔頂に着くまでに多少時間がかかるだろうから、その間に晴れるだろうと高をくくっていましたが、なかなか晴れずに結局斜塔の途中で雨宿り。数分待つと晴れ間が見えはじめたので、最上部に一気に駆け上がり記念撮影。これはつかの間の晴れだと思い、さっさと斜塔を降りたところ、案の定とどろく雷鳴。間一髪で、ピサの斜塔を満喫できました。

5日目は朝からバスに揺られて、世界遺産のシエナ市内へ。この日はようやく晴れたので起伏のある市内を観光で歩いていると、だんだんと暑くなってきました。そこで目に付いたのが、イタリアン・ジェラート。晴れた日のジェラートは絶品でした。

さらにバスに揺られてたどり着いたのは、イタリアの首都、ローマ。バチカン市国内のサン・ピエトロ寺院、トレビの泉、スペイン広場、コロッセオ外観など、有名な観光名所を巡りまくりで写真も取りまくりで、大興奮でした。ツアーに含まれていなかった「真実の口」は、ローマ三越の地下にあるレプリカで済ませておきました。

翌日の自由行動でローマ市内を観光するという案もあり、そこでコロッセオ内部や、本物の真実の口を見に行くこともできましたが、それはあきらめました。なぜなら、翌日は今回の旅行の最大の目的といっても過言ではない、イタリア南部の“ある島”へのオプション旅行を選んでいたので——（続く?）。

（@ IT 編集部：平田修）

## No.465

### おさえておきたい、こんな言語／ノーティフィケーションで便利……!?

2010年7月29日

## 【コラム】@IT編集担当のつぶやき

# ノーティフィケーションで便利…!?

会社や家でパソコンを使っているとき、「ポーン」とか「ピロローン」という音が鳴ったり、ブルルッと手元やポケット内のデバイスが震えたりすることが増えました。以前は「お、メールが来たかな」という感じで、便利に思っていたのですが、最近、これが行き過ぎてるなと思うようになりました。

iPhone は 5 分おきにポーリングしてメールをチェックしているので、たとえ PC を開いているときでも、新着メールを知るのには「ポケットの震え」によることが増えました。まずこれが第 1 段階。新着を知るのはポケット内の微妙な震えでありながら、実際のメールチェックは PC、というのが意外にいい感じに思いました。

Google Chrome の Extension に Gmail チェッカーというのがあって、これも便利そうなので入れることにしました。これで 2 重に新着メールを知らせてくれるようになりました。まあいい感じです。

最近、Twitter の Web クライアントとして Seesmic というものを使っているのですが、Web アプリでありながら mention や reply を音で知らせてくれるようになりました。便利ですね。

……この辺りまではよかったです。

最近、Android 端末 (Nexus One というやつです) と iPad を買いました。Android は買ったばかりなので、2 つほど Twitter クライアントを入れたのですが、それぞれがノーティフィケーションを出してくれます。もちろん新着メールや新着 SMS も知らせてくれます。さらに最近、弊社では Yammer という企業向け Twitter ともいうべきサービスを実験的に使い始めたのですが、この Android 向けクライアントも、ノーティフィケーションを出してくれます。

もう、あれこれ音が鳴りすぎて嫌なんです (だったら止めるという話ですが)。しかも、どれがどれだか分かりません。こういうとき、ライフハッカーと呼ばれる人ならフィルタリングやら転送機能やらを駆使して必要なときだけ音を出したり、音色を分けたり、なんていう設定をチャチャッとやっちゃうのかもしれないね。めんどくさがり屋の私は、メガネのガラス面に文字が流れるような SF の世界が実現するまでは、当面は音に悩まされてみようかと思っています (メガネに文字が流れてうっとうしいかどうかは、ぜひやってみてくださいよね)。

(@ IT 編集部 : 西村賢)

No.466

いまどきのユーザーインターフェイス/イツツ・ノット・オートマチック

2010年8月5日

**[コラム]@IT編集担当のつぶやき**

## イツツ・ノット・オートマチック

いまずぐ買う予定はないけれど、車のカタログを眺めるのが好きです。でもそのたびに「買いたいクルマがない!ますます選択肢が減っていく～」と痛感しています。何のことはない、MT 車にこだわっているだけなんです……ホントに少ないんですよ、MT 車。

決して走り屋だからではありません（むしろ運転は下手な方なので、いつも走行車線をとろとろ安全運転しています）。なぜそこまで MT 車にこだわるのかというと、理由の 1 つは燃費。最近の AT 車はずいぶん賢くなって、カタログスペックを見ると MT 車以上のものもあるようですが、友人の AT 車で街を実際に走ってみると、意外とガソリンを食うなあ、と感じたりします。

2 つめの理由は、単純に楽しいから!「この坂なら 3 速でこのくらい踏むと、こんな感じで加速するよね」という予想通りに車が動いてくれると、「ああ、機械を操作してるなあ」って実感できます。シフトチェンジや半クラッチをはじめとするもろもろの操作が狙ったとおりにいくと、本当に楽しい。運転しながら大声で歌っちゃうくらいです。

ただ、ETC 割引制度のおかげで高速道路はととも混雑するようになり、頻繁に渋滞に遭遇するようになりました。そんな渋滞の中、クラッチを踏む左足がだるくなってきたときだけは、「ああ、AT 車は楽でいいなあ」と思いますが。

さて、先日見に行った展示会では、モバイル通信にインテリジェントな車という組み合わせで、道の混雑状態や到着予定時刻を踏まえて最適なルートを走行し、前の車との車間も調整してくれる……なんていう「夢の自動車システム」が紹介されていました。楽ちんでしょうが、個人的には、運転の醍醐味（だいごみ）が失われてしまってさみしい限りです。たとえこの仕組みが実用化されたとしても、きつうちは、非インテリジェントな MT 車でとろとろ走り続けていることでしょう。

(@ IT 編集部 : 高橋睦美)

No.467

コストを下げる、コストをかける／見える！ 私にも見えるぞ！

2010年8月12日

## 【コラム】営業担当のつぶやき 見える！ 私にも見えるぞ！

昨年、日本中の話題を席卷した実物大ガンダム。今年は場所を静岡に移し、ビームサーベルの追加など装いも新たに展示中です。静岡といえばガンプラの聖地、「アナハイムエレクトロニクス」こと「バンダイホビーセンター」があり、ある意味里帰りといったところでしょうか。

その実物大ガンダムに端を発した実物大ロボットですが、2009年10月に神戸で鉄人28号が完成したと思ったら、2010年7月には富士急ハイランドに何と実物大の（といっても胸から上だけですが）エヴァンゲリオン初号機が登場するなど、にわかに実物大ロボットの時代が訪れつつあるようです。昨年「もっといろんな実物大ロボットが見たい」と思った私にとっては朗報です。

そんな実物大ロボットとセットで最近増えてきているのが、「AR」（拡張現実）を使ってさまざまなものを現実世界に投影しようとする動きです。つい先日、秋葉原では超合金のイベントに合わせて、iPhoneのARアプリ越しに実物大のマジンガーZがお目見えしました。先述した富士急ハイランドでは、アトラクション周辺で、ARアプリを通じて、全長80メートルの実物大エヴァが、実物大ガンダムでもARアプリを使って、シェア専用ザクが見られるようになるようです。

ARを使ったキャラ投影の極め付けは、一部で話題沸騰の「ラブプラス+」。ARマーカーが設置された場所に「彼女」が現れ、写真が撮れるというのですが、現在は熱海とコラボレーション。熱海の観光スポットにARマーカーが設置されています。

ARで投影されたロボットや「彼女」がその場にとどまるだけでなく、ARの世界で自由に動き回れるようになれば、まさしくそこはアニメ「電脳コイル」のような世界。何だかどきどきします。ああ、早くそんな世界が訪れないものか……。

ちなみに、うちの前の道を歩いていると、猫や犬がしきりに立ち止まって私の住んでいる部屋を見上げているのですが、何が映ってるんでしょうか……。

（企画推進部：千葉大輔）

## No.468

### クラウドをめぐる論点整理 / 人生は、旅だ

2010年8月19日

# 【コラム】マーケティング・コミュニケーション部員のつぶやき 人生は、旅だ

初めて「旅」を意識したのは、11歳のころ。毎年家族で行っていた沼津の祖母の家にその年、親は1人で向かわせてくれた。初めての1人旅は、なぜかお気に入りの真っ赤なラジカセを抱えて、お気に入りの猫のキャラクターの白いリュックを背負っていたことを覚えている（何か1980年代を勘違いしている小学生だったのではないと思われる）。東京の西の町から、電車とバスを乗り継いで無事に祖母の家にたどり着いたときの「ひとりでもできるもん!!」の達成感。

15歳のとき、初めて友人同士で旅行。高校1年の夏、中学時代に仲の良かった女子4人でどこかに行こうということになり、近場でお小遣いで行けるちょっとしたところへ……。いまとなっては、どうして初島が候補に挙がったのか謎なのだが（女子高生が行くには渋すぎるのではとまでは思う）、とにかく女子4人は熱海港からフェリーに乗り、初島の民宿に一泊した。旅のしおりの制作は私が担当した。バブル時のリゾート計画、「初島クラブ」が建設される前のお話。

時が過ぎ、そのころのメンバーだった1人は早々に音楽の才能を発揮。大学からアメリカに渡り、いまでは多分ちょっと名の知れた女性トロンボーン奏者になり、ホルン吹きの日那さんと子どもとアメリカで暮らしている。もう1人は幼稚園から高校まで一緒に、徒歩30秒の近所に住む幼馴染だったが、社会人になってから彼女の実家が引っ越してしまう。めったに連絡を寄こさない不精な子だが、親同士の近況報告によれば、山口で結婚しそろそろママになるらしい。いや、もうなったかもしれない。知らせのないことは元気な証拠、とか思うようにしている。そしてもう1人は高校時代に連絡が途絶えてしまったため、いまだどうしているかまったく分からない。明るくタフな子だったので、多分どこかで元気に暮らしていると思う。

赤いラジカセを抱えて1人旅に出たり、女子高生初島ツアーに出かけたりしていた子は、1人でふらりとパリやイスタンブールに向かってみたり、10人超の大所帯で沖縄ツアーを繰り広げたり、はたまた現実逃避したくなった30代女子2人で奄美大島逃亡を企てたりできるようになった。なぜ旅行関係の仕事をしていないのか、不思議でたまらない。

いつまでたっても「僕らは旅の途中」とか思っていて、いい加減にしないといけないかも、と思っている。取りあえず、時々東京の片隅から旅に関することをつぶやいたりして、気持ちだけは相変わらず旅に出ている。

（メディア・マーケティング統括部：小野田涼子）

## No.469

### エンジニアが語る「セキュリティの作り方」/あえて夏場に引っ越しをするべき5つの理由

2010年8月26日

# [コラム]マーケティング・コミュニケーション部員のつぶやき あえて夏場に引っ越しをするべき 5つの理由

先日、お盆の暑いさなかに引っ越しをしました。一般的に引っ越しというのは、学生や新社会人の動く2、3月が最盛期の様です。引っ越しという作業自体考えても、なるほど暑くも寒くもない春先がいいでしょうね。でも、あえて夏場に引っ越すからこそそのメリットというものもあります。そこで、あえて夏場に引っ越しをする5つの理由を挙げましょう。詳細は以下から。

#### (1) 部屋が余っている

引っ越しシーズンではないので、探す人より部屋の数がいっぱいあります。すぐ決めないとよい部屋がなくなるなどと急かされることもありませんし、条件面での融通も効きやすい!

#### (2) 引っ越し屋が空いている

やはりシーズンではないので、時間の指定など要望通りになる場合が多いし安い!

#### (3) 日が長い

朝早く作業を始めて、夕方まで作業が遅れても困らない!

#### (4) ゴミ収集曜日が多い

自治体によって、夏だけゴミの収集曜日が多く設けられる場合があります。これは特に、引っ越し前に大量にゴミを捨てなければならぬ際には非常に助かりますね!

#### (5) ガスの使用開始連絡が遅れても大丈夫

ガスは使用開始連絡をしなければ使えませんが、つつい連絡を忘れてしまう人もいるでしょう。夏は水道から冷水しか出なくとも問題ありませんが、ほかの季節ならガスのあるなしは死活問題!

引っ越しはしたいけれど……とためらっている人は、まずは思い切って動いてみてはどうでしょうか。物件はネットでも探せるし、大手不動産会社ではiPhone用の物件検索用アプリケーションも提供しているようです。Googleマップのストリートビューと組み合わせれば、遠隔地でも住居周辺情報が分かります。9月は法人の異動時

期で、引っ越しシーズンが始まってしまいますよ。夏場に引っ越すメリットを最大限に生かすなら、いまがチャンスです。

ただし、まだまだ残暑は厳しいです。引っ越し前には十分な水分と、予備の有給日の確保をお忘れなく。

(IT インダストリー事業部 営業統括部：菅野絢)



No.470

チーム開発への挑戦 / お仕事は雨音に囲まれながら

2010年9月2日

## [コラム] @IT 編集部員のつぶやき お仕事は雨音に囲まれながら

お仕事として文章を書くとき、私はいつも街中のカフェにポメラを持ち込んで作業をすることがほとんどです。これは、自宅やオフィスで文章を書こうとすると、ネットにつながっていることで「仕事にならない」からです。なので、この作業をしているときは極力 iPhone にも触らず、無線 LAN も接続せずに自閉モードになります。

最近、この自閉モードにさらなる武器を加えました。それは、音。

スターバックスなどではスローな BGM がかかっていることが多いですが、やはりざわざわしているのは仕方ありません。そこで最近仕事のときに聞いているのは、「Thunderstorm」。その名の通り、雷鳴と雨の音が収録された、1 時間強のファイルです。

はじめはしとしとと降っていた雨が、徐々に力強い音に変わり、遠くになっていた雷鳴が襲いかかる。豪雨が 30 分ほど続くとまた柔らかい音になり、その雨音が終わるころには 1 つ仕事が終わっている、という素晴らしいものです（もちろん、仕事が終わっているかどうかは私次第ですが）。不安をかき立てるようなイメージの雷鳴ですが、私はむしろこれを聞くと落ち着いた気分になれます。

この「曲」を聞くときの脳内イメージはなぜか、アメリカの中西部、見渡す限り黄金色の農場にぼつんとたっている小屋の軒先で、ロッキングチェアに座りながらパイプを吹かし、雨と雷を見つめる老人（=自分）というもの。もちろん、そんな場所に行ったことはないんですが、そんな想像を膨らませながら、大都会東京の大混雑のカフェで仕事をしているわけです。

集中する方法は人それぞれかとは思いますが、もしいまあなたがなにかに打ち込みたいならば、ぜひ一度この世界を聞いてみるといいかもしれませんよ。

(@ IT 編集部 : 宮田健)

No.471

データベース管理者、必見／バーチャルエキスポ、開催中

2010年9月9日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき バーチャルエキスポ、開催中

実はいま、「ITmedia Virtual EXPO 2010」をオンライン上で開催しています。

@ IT からは主に Security&Trust フォーラムが中心となり、パビリオンとして協力しています。普段は大変堅い記事を執筆いただいている筆者さんに声をかけ、ゆるさを前面に出した座談会を企画しました。

@ IT の編集者として以前より、記事からにじみ出る筆者の皆さまの雰囲気だけでなく「顔」を出せればと思っておりました。IT 業界の中でも異色なセキュリティエンジニアのお仕事を筆者の「顔」を通じて表舞台に出させていただき、この世界を目指す若手がもっと増えればうれしい、それがセキュリティに編集の立場としてかかわってからの目標でした。それをうまく、この座談会で出せれば……などということはあまり考えず（苦笑）、なんとなく堅い方向に流れそうなこのバーチャルイベントで、1 つくらいは何も考えずに楽しく見られるものを入れたい、というのが本音でした。

すでに収録は終わっており、大変和やかな雰囲気で 30 分ほどの座談会を終えました。今回の座談会は 9 月 9 日（本日です）から公開です。一足先にテスト動画を見たのですが、やはりこういう場でのトークスキル、動画撮影されるスキル（?）はとても重要なのではないかと感じました。

Web 媒体の編集者は、写真のレタッチやデザインスキルなど、言葉の編集だけでなく多くのスキルが必要になったといいます。今後はこういったテレビ番組を構成するようなスキルなども必要になってくるのではないかと感じたイベントでした。セキュリティパビリオンではそのほかにも特別講演を用意しています。私もいくつか出ておりますので、ぜひ、ご覧くださいませ。

（@ IT 編集部：宮田健）

No.472

ソフトウェアテストのススメ / 植物はどうやって情報を伝達するのか

2010年9月16日

## [コラム]EE Times Japan編集部員のつぶやき 植物はどうやって情報を伝達するのか

動物と違って、植物には外界の様子を探る器官が備わっていないように見えます。しかし、季節が変わると花を咲かせ、葉を落とします。幼いころから植物には不思議なものを感じてきました。

わが子から夏休みに自由研究をしたいという話を聞いたとき、それならば植物の「感覚」を研究できないだろうかと考えました。植物が光の方に曲がる時に利用する植物ホルモン「オーキシン」や、赤色光を感じて発芽するレタスの実験などが面白そうです。しかし実際にやるのは小学生になりたての子供なので、なるべく簡単な題材を選ばなくてはなりません。そこで、「果物が熟すのはなぜか」という研究を子供と一緒に進めることにしました。

果物が熟すとき、エチレン (CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>) が植物ホルモン (情報伝達物質) として働くと教科書にはあります。ただしどの程度の濃度で有効なのか、ホルモンの温度依存性はどうなのかといったことは分かりません。子供向けに思い切り実験の内容を簡単にして試してみました。

エチレンガス源は熟したリンゴです。近所に生えていた青い (緑色の) レモンと組み合わせ、果たして黄色になるかどうか実験開始です。リンゴ、レモンとも重量をそろえ、リンゴとレモンをビニール袋に入れていきます。リンゴ 1 個とレモン 1 個、リンゴ 1 個とレモン 2 個という 2 種類の組み合わせを室温下と冷蔵庫内に放置してみました。実に単純な実験です。

エチレンの効果は意外に強く、室温下では一週間もしないうちにレモンのリンゴに近い側が黄色くなりはじめました。冷蔵庫では変化がなく、レモンだけをビニール袋に入れたものも青いままで。

実験結果をまとめると、エチレンの作用は温度に敏感で、エチレン濃度を高くしても、どんどん効果が上がるわけではなく、ある一定の点から効果が上がらなくなるということが分かりました。1 日でレモンが黄色くなれば面白かったのですが。機会があればいろいろな果物を使って試してみたいですね。

(EE Times Japan 編集部 : 畑陽一郎)

No.473

Webアプリケーションをセキュアに / iPhone4片手に週末クッキング

2010年9月24日

[コラム] 営業部員のつぶやき

## iPhone4片手に週末クッキング

暑い暑い夏が過ぎ、秋がやって来ました。少しずつ夜明けが遅くなり、日が早く落ちるようになります。ああ、早く帰って美味しいご飯が食べたい…少し辛い大根おろしをすって、じっくり焼いた秋刀魚を食べたい。あわよくば焼酎も飲みたい。そんな食欲の秋。

はい、そこで iPhone4 の「クックパッド」アプリの出番です。例えば、旬の魚を使った料理。先日私は「カレイの煮つけ」にチャレンジしたのですが、久しぶり過ぎて調味料は目分量というわけにはいかず、このアプリに頼りっぱなしでした。若干煮る時間が足りなかったのか少し薄味になってしまったのですが、比較的美味しくできたのではないかと思います。

さて、このクックパッドのアプリ、iPhone の食べ物系アプリとしては、食べログと並んで良く使われているのではないのでしょうか。まだダウンロードされていない方に、このアプリの 5 つの機能をご紹介します。独身男性にも婚活女子にもお勧めですよ。

1. 検索: 「旬のキーワード」「検索履歴」が見られます
2. 話題のレシピ: これは PV で算出してるのかな? 夜 9 時には「ぶどうのワインゼリー」や「ししとうの冷凍保存法」といったレシピが上位に並んでいました
3. 履歴: 最近見たレシピが見れます
4. ご意見 BOX: コメントが簡単に送れます
5. プレミアム: MY フォルダ、人気検索など

特に「4. ご意見 BOX」を 1 つの項目として並べているところが素晴らしい。ユーザーからの意見が非常に重要だという姿勢がここに表れています。こうしたユーザー目線で開発されたアプリケーション。2009 年 11 月にリリースされて以来、2010 年 9 月時点で 100 万を超えるダウンロードがあるそうです。有料会員も順調に増えているようで、業績も順調に伸びている模様。

みんなで料理を共有して楽しみ、それによって業績も伸ばす、というのはなんだかとても理想的なビジネスのような気がしますね。見習いたいものです。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第四営業部 : 山岡大介)

No.474

蘇る“エクスペリエンス” / ガラスの破片を飲んじゃった!

2010年9月29日

## [コラム] 営業部員のつぶやき ガラスの破片を飲んじゃった!

高校時代からの友人の結婚式を翌日に控えた9月のある日、私は夕食の支度をしていました。メニューはアサリのパスタ。事前にしっかり砂抜きをしておいたアサリを用意して調理開始です。麺もちょうどよい硬さにゆで上がり、フライパンでゆでて無事完成……のはずでした。

あと少しででき上がりというところで、頭上にある棚からコショウを取り出そうとして、誤ってコショウの瓶を落としてしまいました。そのとき、「バリッ!」という嫌な音がしましたが、コショウの瓶が無事だったので、調理を続けました。思えば、このときにもっと丁寧（ていねい）に調べていればよかったです。

調理の合間に一息つこうと、手元に置いたグラスから麦茶をぐいっと飲んだとき、異変に気がきました。グラスの底にはキラキラ光るものが……。さらにグラスをよく見ると一部が割れています。コショウの瓶を落としたときに、グラスに当たっていたようです。

グラスの欠けた部分の大きさと、グラスの底に残っている破片の量を比べたとき、私は青くなりました。残っている破片が明らかに少ないのです。そうです、私はガラスの破片を麦茶と一緒に飲んでしまったのです。

このとき、本気で「死ぬかも」と思いました。何だか胸のあたりが苦しいような、胃がちくちくするような気さえてきました。しかし、その後の私の行動は、いま思い返してみると意外なほど冷静でした。

余計なものは排出するに限ると思い、まずは水を大量に摂取。その後、情報収集を始めました。某 Web サイトによると「便と一緒に簡単に出てくることもあるが、出てこないときは手術が必要になるかも」とのこと。万が一のために、夜間・休日診療をしている病院の連絡先も調べました。最後に、自分を励ますために、古代の人たちに想いを馳せました。古代の人なら骨や石の誤飲はもはや日常茶飯事だったはず!と。

おかげさまで、ハプニングから1週間以上たちましたが、体に異常はありません。落ち着いた対処のおかげでしょうか、やはり人間はちょっとしたエラーくらいなら、問題なく対応できるようになっているようです。とはいえ、皆さんは、もしガラスを誤飲するようなことがありましたら、きちんと病院へ行ってくださいね。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部:大西七歩)

No.475

オブジェクト指向を学び直す / 「食が細い女子」にあこがれていたけれど

2010年10月7日

## [コラム] ターゲティング・サービス部員のつぶやき 「食が細い女子」にあこがれていたけれど

今年の夏は暑かったですね。丈夫が取り柄のわたしも、生まれてはじめての夏バテを体験してしまいました。

梅雨の半ばごろから暑さのために体調がすぐれず、「夏ってこんなに暑かったっけ」とぼやく毎日。まさに暑さが「こたえる……」という感じで、疲れやすく食も進まない状態が続きました。かかりつけのお医者さんを訪ねたところ、「夏バテですね、まあ無理はしないで栄養取ってくださいよ」とのこと。おかゆやスープの味付けを変えてみたり、りんご酢がいいと聞いて飲んでみたりと、自分なりに工夫していました。

そのうち、治ったとはいえませんが夏バテしている状態に慣れ、さほどつらくなくなってきました。それでも食欲は戻らないまま。気力と体力は多少戻ったため、「太らなくていいんじゃない？」などとのんきに考えていました。それというもわたしは普段「よく食べる」方で、そのことをちょっと恥ずかしいと思っています。友人とドーナツ屋さんに行くとき、本当は3つくらい食べたいのに1つにしておいたり、昼食が1人前では足りなくて切ない思いをしたり、飲み会で最後に残った空揚げをとっても食べたいのにやせ我慢をしたりという経験から、「食が細い」という状態に漠然としたあこがれを抱いていたのです。

しかし、体調不良で食が細いという状態は、やはりいいものではありません。1枚では足りなかったランチピザが半分も食べられなくなっていると気付いたときは、「こんなはずでは……!」と絶句してしまいました。もともと食が細いのなら何の問題もないのですが、食べたいものを以前のように食べられないというのはつらいものです。少々大げさにいえば「人生が楽しくない」という感じでしょうか。かつての自分ののんきを反省しつつ、健康の大切さをかみしめているところです。

夏バテが快方に向かうにつれ、いろいろと食べたいものも出てきました。いま一番食べたいのは焼き鳥と焼肉です。しかし、いまの状態で焼き鳥を食べに行ったら、5本でおなかがいっぱいになってしまうでしょう。焼肉ならタン塩とカルビ塩を食べ終えたあたりで降参することになりそうです。それではつまらない……ので、食べに行くのはもう少し先のことになるかもしれません。

お彼岸の中日を過ぎたころから、ようやく全国的に涼しくなってきたようですね。食欲の秋はもうすぐ。さっさと夏バテを治して、思い切り焼き鳥(20本くらい)と焼肉(レバ刺し・塩コッケー・タン塩・カルビ塩・ホルモン塩とユッケビビンバくらい)を食べたいものです! おっと、食べすぎには気を付けねば。(ターゲティング・サービス部:長谷川玲奈)

## No.476

### 高可用システムへの挑戦 / イタリアとバルセロナに行ってきました(後編)

2010年10月14日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき イタリアとバルセロナに に行ってきました(後編)

ボンジョルノ! @ IT 編集部員の平田です。旧聞ですが、ゴールデン・ウィークに嫁と行った、イタリアの数都市とスペインのバルセロナを周るパック旅行のレポートです。@ IT 通信 No.457と464のコラムの続きとなります。

6日目は早朝から、バスを南へスッ飛ばしローマからナポリに向かいました。ナポリの町並みを巡るという案もありましたが、その日に目指したのは、あの「青の洞窟」で有名なカプリ島です。ここを訪れるために、このパックツアーを選んだようなものです。旅路はここまで、曇天・雨天続き。当日も雨天だったため、青の洞窟を見るのは無理かなと思っていましたが、イタリア南部に近づくにつれて、晴れていき、俄然期待は高まるばかりでした。ナポリに着くころには、すっかり快晴! 意気揚々と高速船で、いざカプリ!

島に到着して、さあ青の洞窟へと息巻いていたところ、順番待ちで午後にまわされ、島内観光&昼食が先になりました。「モンテ・ソラーロ」という島全体を見渡せる山にリフトで登ったところ、「これでもか」といほどの絶景。やはり天気が良いと景色も10倍良く見えます。その後、地元の魚介類の pasta を堪能し、いよいよ青の洞窟か、というところで、残念な報せ! 現地ガイドさん「ダメデース。アオノドウクツチュウシニナリマシター」。晴れていても、風が強いと波が高くなり入れないそうです……。

げんなりとしながら、カプリ島を観光してナポリに戻り、現地ガイドさんの「ムネンジャー。マタ、リベンジキテナー」の励まし(?)を受けてローマに戻りました。また、行くのはいつになることやら……。ローマでは、ふらりと立ち寄ったレストランのカルボナーラの美味さと、何か細かいパスタの入ったコンソメスープの温かさに励まされました。

気分一新、7日目はローマから飛行機でバルセロナへ。スペインもイタリア南部と同じく快晴で、青の洞窟での失意から立ち直り、バルセロナ観光を楽しみました。ガウディの「グエル公園」を一周し、その色彩や造形の独創性を堪能しつつ、やって来ました「サグラダ・ファミリア」。これを見るために、このパックツアーを選んだようなものです。とにかく、スゴいとしかいいいようがありません。大きさもさることながら、作りの複雑さ、装飾のきめの細かさが、「これでもか、これでもか」と次から次へと迫ってきます。バチカン市内のサン・ピエトロ寺院は、キリスト教的意匠に少々食傷気味でしたが、ここは飽きさせません。

その日は、タパスとシーフードパエリアに舌鼓を打ちつつ、明日の準備をして市内のホテルでさっさと寝ました。ちなみにバルセロナ市内も、iPhone の看板や CM が多かった印象が残っています。

いよいよ最終日! 1 日中バルセロナ市内観光です。まず目指したのは、サッカーのクラブチーム「FC バルセロナ」の本拠地、「カンプノウ」スタジアム。「メッシやイブラヒモビッチに会えるかも」と期待を寄せつつ敷地内を回ってみました。が、さすがに会うことはできず、スタジアムを見つつ FC バルセロナグッズを買ってサッカーの聖地を後にしました。

その後向かったのは、「カサ・ミラ」「カサ・バトリヨ」。ガウディの世界遺産を連続で堪能しつつ（しかも、それぞれに見どころ満載でまったく飽きさせない!）、途中でまたパエリアを食べました。パエリアは、前日に食べたお米のものではなく、パスタを極端に短く切って細かくなったものでした。日本のパエリアといったら、お米版しか見たことなかったので、お米とは違う触感で非常に新鮮でした。

夕食は、事前に予約しておいた地元の有名な劇場で、フラメンコを鑑賞しました。スペインの中でも、バルセロナは本場中の本場というわけではないそうですが、「やはり、スペイン国内で見るフラメンコは一味違う!」という気がしました。足踏みで伝わる振動、響く重低音、フラメンコギターの流麗な調べ、入れ替わり立ち替わりで織りなす男女ダンサーの躍動、飛び散る汗、輝くおでこ、絞り上げるように訴えてくる歌声、カスタネットと手拍子、そしてリズムカルな指パッチン。どれもこれも最高でした。これを鑑賞するために、このパックスツアーを選んだようなものでした。

前半は雨天・曇天だったり、禁煙ができたり、いろいろとトラブルがあったり、見たいものがすべて見られなかったわけでもなかったのですが、とても良い経験になりました。またいつか、カプリ島のリベンジも兼ねてイタリアやスペインに行きたいものです!

(@ IT 編集部 : 平田修)



No.477

Windows XPにサヨナラ／あなたのそばにもきっとしている「説明男子」

2010年10月21日

## [コラム]アグリゲーションメディア編集部員のつぶやき あなたのそばにもきっとしている「説明男子」

皆さんはどんなタイプの異性が好みですか? 「おしとやかな人」 だとか 「美女」 だとか 「明るい人」 だとか、誰も好みのタイプはあると思います。ちなみにわたしはというと、説明男子が大好きです。「お前の好みなんて聞いてねえよ!」 そんな声が聞こえてきそうですが、どうもはじめまして。自称、説明男子エヴァンジェリストの小笠原と申します。

説明男子とは、今はやりの草食なんちゃらや肉食なんちゃらに乗じて作った説明好きな男性たちを指す造語です。好きなことについて目をきらきらさせながら 1 時間でも 2 時間でも語る。夢中になるあまり、まわりの空気が読めなくなることもある。なんて愛おしいんだ! おい! 抱きしめたい!

彼らが語る話の濃さはさることながら、話しているときの目の輝き、得意げな顔、周りが見えなくなるくらい一生懸命話す姿……どれをとってもたまりません。こちらが違う話を始めても「でさ、」の一言で自分の話に戻してしまう強引さもすてきです。普段口数が少ない人であればあるほど、そのギャップに胸がキュンとなります。

ああ……好きだっ! 今日も明日もあさっても誰かに説明されたくてたまりません。

話題は変わりますがわたしは今年 7 月から、Twitter と連携したニュースアグリゲーションメディア「OneTopi」 (<http://1topi.jp/>) の運営を担当しています。「iPhone」 (@iphone\_1topi) や「AR」 (@ar\_1topi) など 1 つのテーマに関するニュース記事や話題をキュレーター (専任解説者) が集約し、コメント付きで紹介するメディアです。

3 カ月間 OneTopi を見守り、1 つ気付いたことがあります。1 つのテーマにまつわる話題だけを投稿しつづける各トピックを見ることは、好きなことを延々語り続ける説明男子の話を聞くことに似ている、と。キラキラした目や得意げな顔を見ることは残念ながらできませんが、そこは想像で補えばいつでも説明男子体験を味わえる、と勝手に思っどキドキしています。

OneTopi は 10 月 20 日に 1 周年を迎えます。トピックの数は 100 を超えました。「iPhone」に始まり、開発者向けの「Google App Engine」、お酒好きな方にお薦めしたい「ビール」、音楽関連なら「ヘビーメタル」や「テクノ」などジャンルの幅も広がりつつあります。好みのトピックとも出会えるかもしれません。ソフトな説明男子体験をしに、よければのぞきに來てくださいね!  
(アグリゲーションメディア編集部:小笠原由依)

No.478

クラウド開発の世界へ進め! / 「名刺交換させてください」の人との楽しいランチ

2010年10月28日

## [コラム]EE Times Japan編集部部員のつぶやき 「名刺交換させてください」の 人との楽しいランチ

「新人研修中です。よろしければ、名刺を交換させてください」。突然、道ばたで話し掛けられた。

相手は私を見ていて、私も相手を見ている。突然も何も無いのだけれど、道ばたで知らない人から名刺交換だなんて言われたので、突然だと感じてしまったのだ。確かに、入社して間もないのだろう。スーツは新しく、立ち振る舞いはどこかぎこちない。

何やら、不動産のアンケートをしているらしい。むげに断るのも忍びない。時間もあったので、トンカツ屋でランチをしながら、彼の話を聞くことにした。もちろん、名刺交換をしたら、後日、不動産を売り込まれることは知っている。けれど、どうにもこうにも、私は断ることができないのだ。

というのも、私自身、彼と同じようなことをしていたからだ。新卒で入社した沖縄の小さな会社で、どこからか入手したか分からないリストをもとに、片っ端から知らない人に電話を掛け、アポイントを取り、商品売り込みに行った。

沖縄という土地柄のせいかどうかは分からない。行く先々で、いろいろな方からさまざまなアドバイスをもらった。必死の形相で、商品売り込みにくる社会人なりたての私を、痛々しくて見てられなかったのかもしれない。

「先輩の皆さんへ。まだ働き始めたばかりで、思うような結果は出せていませんが、頑張りますので、どうぞ、しばらく暖かく見守っててください」。沖縄県中部にあるステーキハウス「国」のマスターは、得意の「早稲田式速記文字」で、こう書いてくれた。会社に戻ったら、ちゃんと先輩に感謝の言葉を述べること。そんなアドバイスだった。

あるときなど、客先に上がらせてもらった後に、名刺を忘れてきたことに気が付いた。「名刺を忘れてしまいました。申し訳ありません」。そう言った私に、「名刺を取りに会社に戻りなさい。そして、もう一度来なさい」と厳しい表情で諭してくれた方もいた。名刺は、仕事をする上で非常に大切なもの、そんなアドバイスだった。

商品を売り込むときだけでなく、何も無いときにも、まめに連絡しなさいよ。あなたが喋るばかりだったら、こっちが考えていることは分からないでしょ、もっと落ち着いて相手を観察してみるようにしなさい、などなど。いま考えてみれば、初対面の相手から毎回、何かしらのアドバイスをもらっていたような気がする。かつての恩返し、という訳ではないけれど、誰であろうと話し掛けられたら無視はせず、何かしら言ってあげようと思っている。

名刺をくださいと話し掛けてきた彼とのランチは、それなりに有意義なものだった。彼は昔ながらの営業、いわゆる電話営業や、チラシ配布、名刺交換での見込み客捜しを担当している。新人教育の側面もあるだろうけど、それを毎日するのは辛いとのことだった。当然、インターネットや雑誌にも広告を出していて、問い合わせのあったお客さんへの営業もしている。ただ、こうした反響営業ができるのは部署内のえらい人だけ。インターネットや雑誌の広告の効率は、旧来の地道な営業を超えていないとのことだった。

結局、名刺は会社のものだからと説明して、渡さなかった。個人のメアドを教えたら、「先日は、ありがとうございました。元気に頑張っていますよ」といういいねいなメールがきた。「隣にいる人は赤の他人でも、少しでも言葉を交わせばちょっとした知り合いだ」そう考えてみるのも悪くないのかもしれない。

(EE Times Japan 編集部:前川慎光)

No.479

Linuxを使ってみませんか／何でもiPhoneのように操作できればいいのに

2010年11月4日

**[コラム] 営業担当のつぶやき**

# 何でもiPhoneのように操作できればいいのに

2年前——2008年の夏、友人たちとドライブに出かけたとき、助手席に座る友人が、当時まだ珍しいものだった iPhone を使っていました。そのときの同乗者の中で iPhone を使っていたのはその友人だけでした。

その友人は、カーナビを操作しようとして、画面を一生懸命に指でなぞり始めました。何を始めたのかと思って尋ねてみたところ、地図をスクロールさせたかったとのこと。そのカーナビはボタンで操作する機種であることをすっかり忘れていたようです。音量を調節するときも画面に触れていたその友人の姿を見て、みんなで「iPhone かぶれだ」と少々ばかにしながら笑ったものでした。

月日がたち、そういう私も先日ガラケーから iPhone に機種変更しました。周囲に iPhone ユーザーが増えると、あのユーザーインターフェイスを難なく使いこなす姿にあこがれを抱くようになったのです。

かつては「妙な手つきで何かをさすっている仕草」にしか見えなかった動きが、最近の私には近未来的でかっこよく見えます。特に女性が細い指で操作する姿は、とても魅力的です。

しかし、実際に使ってみると、楽しいのは最初のころだけで、2カ月もすると iPhone の操作も日常の一部になってしまいます。そして、iPhone の操作法に慣れてしまったことで、これまで当たり前だった操作にストレスを感じる場合があります。

例えば、Microsoft PowerPoint を使って、右側へ移動させようとするとき、スクロールバーの存在を忘れて、右から左へマウスをドラッグしてしまいます。画面は動くはずもなく、選択範囲が広がるだけです。「iPhone のように、操作できればいいのに……」と思ってしまいました。2年前のことはすっかり忘れています。

これまで、コンピュータの操作を理解しようと自ら学んできたのに、今となっては、コンピュータが私の感覚に近づいてこないことへ不満を感じてしまうとは、ワガママで傲慢な人間になってしまったなあ……と少々悲しく思います。

2 年前に笑った友人のことを思い出し、あの時は「iPhone かぶれた」と笑った私たちも、今、同じ場面に遭遇したら「なんでタッチパネル操作ができないんだ」と不満を漏らすかもしれません。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第三営業部：寛司絢子)

## No.480

### 今年は早めに！年賀状作り／年賀状作りに役立つ3つのおススメ情報

2010年11月11日

## [コラム]編集担当のつぶやき

# 年賀状作りに役立つ3つのおススメ情報

「今年こそ早めに準備しよう」。そう思っていたのに、新年が始まってからやっと重い腰を上げ、年賀状を出すという体たらくを数年続けている。

そんな私だが、いざ年賀状を作るとなると毎年楽しんでいるのも事実である。PC を使用せず、1 枚 1 枚手書きで別の図案を書いたり、学生のころには芋版画やクレヨン画にも挑戦した。

そこで私なりに、2011 年の年賀状向けにおススメの情報を 3 つ紹介したい。

まず年賀状といえば、郵便事業株式会社（元郵便局）。近年、従来の「お年玉付き年賀はがき」以外にも「いろどり年賀」と呼ばれる地色付き（桃色、うぐいす色）和風絵柄はがきが出ていることをご存じだろうか。切手部分のデザインも、鏡餅や干支など正月をイメージさせる、ほっこりとした冬の図案が愛らしい。今年は紙質も、より和風に近くなったようで、私も楽しみにしている。

次に、ちょっと趣向を変えて活版印刷。活版印刷とは、PC 普及前に用いられていた印刷技術で、実際に文字や図案を組んで紙に押すので、完成したはがきは、やや凹凸のができる。その技術を生かしている印刷屋は国内では減ってきているが、風合いの魅力から、いま再び注目されている。今年登場した Mac OS X 用の写真管理ソフトウェア「iPhoto'11」で活版印刷ができるサービスも登場している（時期的には、まだクリスマスカードが主流だが）。

最後に、消しゴムはんこだ。これは芋版画にも通ずるアナログ作業が必要だが、1 つ作れば、ずっと使うことができ、インクの色を変えるだけで年賀状の雰囲気を変えることもできる。年賀状以外の普段使いでも、なかなか役に立つ。書店でもこの時期、消しゴムはんこの本が並び始める。中でも私のお気に入り、図案集の老舗、野ばら社の「図案辞典」だ。消しゴムはんこは何ぞや、というビギナーさんには、宝島社の「かんたん、消しゴムはんこ」をおススメしたい。

さて、「今年こそ早めに準備しよう」——今年もそう思っているが、どうなることか……。皆さまにおススメした手前、努力したいと思う。

(IT インダストリー事業部 ターゲティング・メディア編集部：上口 翔子)

## No.481

### パンデミック対策、結局やりました？／お酒をモバイルで……「ポケット瓶」の魅力

2010年11月18日

## [コラム] 営業担当のつぶやき お酒をモバイルで…… 「ポケット瓶」の魅力

読者の皆さんはお酒はお好きですか？ 私は大好きです。

昨年ごろ？ から某飲料メーカーの積極的なプロモーションにより、ハイボールが急激に人気を集め、いまでは居酒屋でもすっかり定番の飲みものとなっているようです。読者の中には、何人かはまった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

では、同じお酒でも、ウイスキーのいわゆる「ポケット瓶」はご存じでしょうか？ 購入する人はハイボールを飲む人より、はるかに少ないでしょう。ポケット瓶というだけあって、ジャケットの胸ポケットに入る手頃なサイズとなっていて、容量は 180ml ぐらいが多いです。いつでもどこでもお酒を飲みたい私としては、携帯性の良さだけでもうれしいうえに、これをストレートでちびちびと瓶からそのまま直接飲むのが何ともいえぬ気持ち良い。最近気づいたのですが私にとって、これが一番安価に、かつ手っ取り早く酔っ払える方法なのです。

40 度のウイスキー 180ml で 300 ~ 400 円程度、素晴らしい価格設定です。これを一本飲めば、お酒好きの私でも良い感じにホロ酔いになることができます。ビールやチューハイでは、こうはいきません。私の場合、同程度の満足感を得るためには最低でも 500ml 缶を 3 ~ 4 本は飲む必要があります。発泡酒や第三のビールであったとしても、4 本で 800 円程度となってしまいます。くどいようですが、それと比較して、ポケット瓶は素晴らしいコストパフォーマンスなのです！

そして何より素晴らしいのは、ウイスキーだと何故か二日酔いをしません。私のような酒飲みにとって、二日酔いは最大の悩みなのですが、いまのところこの飲み方で二日酔いになっていません。

と、このようにいろいろと書いておりますが、何だかんだとお酒を飲む口実を考えながら、日曜日の夜は更けていくのでした。読者の皆さん、お酒は適量を守って楽しく飲みましょう。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第 3 営業部：関戸 有)

No.482

スパムメールにはもううんざり / 猫と幸せ

2010年11月25日

## [コラム]@IT MONOist編集部員のつぶやき 猫と幸せ

ブログや Twitter の投稿を見ていると、IT 系のお仕事をされている人に「猫好き」という人を多く見かけませんか? 当社、アイティメディアもまた IT 系の職場ですが、やはり猫好きが目立ちます。IT 系の人で、猫を飼っている人を多く見かけるのは、おそらく、普段の業務が忙しい人が多いからではないかと推測しています。

- 猫は、散歩がいらぬ

大きな理由は、ここではないでしょうか。少なくともわたし自身、確かにこの部分は大きいのです。終電で帰ってきて、寝る前や早朝に外で散歩させる必要はないし、疲れ切っていて家でごろごろして過ごしたいときも、猫はそれを快く受け入れてくれるし。

猫は、多頭で群れずに単独行動を好むといわれます。また広い範囲を動き回るよりは、決まったテリトリー内で何かに登ったり降りたりするのを好みます。その習性からか、猫はひとり遊びがとても得意で、おもちゃや、キャットツリーをいくつか置いておけば、勝手に遊び始めます。それに、窓の外の鳥たち、不意に現れる反射光の筋、部屋に迷い込んだ小さな虫など、何でもおもちゃにしてしまうのです（だからといって、「猫と一切遊んであげなくて OK よ」というわけでもありませんが）。

わが家の猫たちは、家の外に一切出しません。この子たちをご紹介してくださった里親ボランティアの方と約束した条件の 1 つでもあります。外の世界を知らず、家の中で一生を過ごすことは、猫にとって幸せなのか? — そういう疑問を持つ方もいると聞きます。でも、自動車事故に遭う、どこかにはまり込んで出られなくなる、誰かにいたずらされる、捨て猫と勘違いされる……、など外の世界に出たときのトラブルの方が恐ろしいと思うのが正直なところでは。

しかし、家の中でずっと過ごしてもらうにしても、外のお散歩を許してあげるにしても、それにどう理由を付けようか、結局は人間のエゴなのかもしれませんね。

それでも、これからもたくさんの愛情を注いで、この子たちを幸せにしたいと考えているのも心底の本音。猫嫌いだったわたしの夫を猫バカに変えるほどに、猫たちはわたしたちに無償（多分）の愛を注いでくれるからです。イヤホンを 3 本、AC アダプタ 2 本を破壊されようが、スーツのズボンを使い物にならなくされようが、痛く



もかゆくもありません（おそらく）。

いまの時世、だいたいどの仕事も、いいことよりは、厳しいことが多いでしょうし、ときに自尊心を深く深くえぐられることもあると思います。それでもぐっとこらえて、しのぐのがオトナのたしなみではありますが、猫たちは、もふもふすりすりと、IT 戦士たち（岡田有花さんではなくて、広義の）の働き疲れを優しく癒してくれる存在だとわたしは思います。

そんなわけ(?)で皆さま、1topi「ねこ」もどうか、ごひいきに。本日は、猫教の布教活動にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

(@ IT MONOist 編集部：小林由美)

## No.483

### 情報漏えいは他人事ではありません／ネギが飛ぶ

2010年12月2日

## 【コラム】@IT自分戦略研究所編集部員のつぶやき ネギが飛ぶ

道にネギが落ちているのを見たことがある。やたらと猫の姿を見かける住宅街で、あそこに猫が、おやここにもと、きよろきよろ周りを見回しながら歩いていたら、白線の上に転がるネギと出合った。ネギはうまい具合に白線と同化していたので、おそらく、いつもどおり歩いていたら気が付かなかっただろう。住宅街に住む誰かが、猫に気を取られてネギを落としたのかもしれない。不思議なことがあるものだ、誰か拾って鍋にでも入れるのだろうか、ネギを横目に見ながら駅へと向かった。

道にネギを落としたことがある。ある日、鍋焼きうどんを作ろうと思い立ってスーパーに出かけた。ところが、家に帰ってみるとネギがない。買い忘れたかと思ってレシートを見直してみたが、お金は払っている。信号を待っている間にすられたのかとも思ったが、ネギ泥棒が隣にあった手羽先を見逃すとは思えない。レジ袋を持ち上げると、横に穴が空いていた。まさにネギが落ちるのにつけての穴。慌てて道を引き返してみたが、ネギはどこにもない。わずか 15 分ほどの間に、ネギは忽然と消え失せた。

上記はどちらも、ある 1 年に起きた出来事である。ネギが落ちているのを見たのが 4 月ごろ、ネギを落としたのは 11 月ごろ。冷静に考えればただの偶然なのだが、偶然が二度続いたら因縁を感じるのが人間というもの。もしかしたら、春に見たネギは、わたしが冬に落としたネギだったのかもしれない。ちょっと時空がねじ曲がって、ネギがワープして別の場所に落ちた、とか。もしくは、春に見たネギは「お前は冬にネギを落とす。用心せよ」というお告げだったのかもしれない。

伝説や民話はこうして出来上がっていくのだなあと思う。日常のちょっとした不思議な出来事を人に話す。すると聞き手はさまざまな解釈を与え、繰り返し話されるたびに不思議さは増していく。実際、日本には、木や岩が飛ぶ民話が多く残されている。ネギが 1 本ぐらい飛んでも不思議じゃない。

結局、わたしが落としたネギは見つからず、もう 1 本買いに行くはめになった。どこかの心優しい鴨がネギを拾ってくれて、わが家まで届けてくれないものかと、いまでもちょっと期待している。

(@ IT 自分戦略研究所編集部：金武明日香)

No.484

ITで活躍する女子たち／NASAが足元から見つけた大発見

2010年12月9日

**[コラム]@IT編集担当のつぶやき**

# NASAが足元から見つけた大発見

「いよいよ異星人の存在が明らかに?」

12月2日、NASAが「宇宙生物学上の発見」について会見を行うと聞いて、ワクワクしながら夜更かしした方も多かったのではないのでしょうか。いよいよ銀河ハイウェイの工事が始まるのか、ファウンデーションの探索が始まったのか、それともついに本物のサンタクロースを捕捉したのか……とあれこれ空想（正確には妄想）しながら発表を待ちました。

フタを明けてみれば「ヒ素を取り込むバクテリアを発見した」という内容。正直、「なーんだ」と思ったのですが、一晩明けてよくよく考えてみれば、これってすごいことですね。

これまで生命の維持には、炭素、酸素、水素、窒素、リン、硫黄の6元素が必須といわれてきました。なのに、その1つであるリンの代わりに、生命にとって猛毒のはずのヒ素を取り込んで生き延びるバクテリアがいた……まさに、生命のあり方に関する常識が覆ったわけです。てことは、もしかすると地球外のどこかに、ヒ素をベースにした異なる生態系があるかもしれない!

それにしても、宇宙のかなたどころか、地球の湖の中に発見の足掛かりがあったなんて意外な話です。考えてみれば、月の石や小惑星イトカワの微粒子を持ち帰ることはできても、われわれ人類はまだ、地球の海の一番深いところにすらたどり着いていません。研究が進めば、また地球の中から、新しい発見が飛び出すかもしれませんね。

(@ IT 編集部：高橋睦美)

## No.485

# PHPを使ってみませんか／2010年も俺ベスト20曲を選ぶことに……

2010年12月16日

## 【コラム】@IT編集担当のつぶやき

# 2010年も俺ベスト20曲を選ぶことに…

@ IT 編集部の平田です。なぜか今年も俺ベスト 20 曲を選ぶことになりました。早いもので 5 回目です。例年どおり自分が聴いた範囲で選びました。選んだ理由も簡単に添えています。

1 アーティスト／グループにつき 1 曲で選曲。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム／シングル名です。(敬称略、アーティスト名アルファベット・50 音順)

### 1 : Bring The Light (Beady Eye)

英の国民的ロックバンド Oasis から、名曲を多く書いていたギタリスト・ボーカルの Noel Gallagher が脱退したのは去年の夏のこと。残りのメンバーで新バンド Beady Eye を結成したはいいが、やっていけるのかと心配しているところに無料ダウンロードでデビュー曲が届けられました。ピアノや女性コーラスを生かした、まさにロックンロール! という感じで、Oasis にはなかったタイプの曲だが、これが思いのほか心地良かった。

### 2 : Voyage (Charlotte Gainsbourg) 『IRM』より

仏の女性歌手が、米オルタナティブ・ロックの代表選手 Beck のプロデュースで制作したことで話題になったアルバムから、打楽器のリズムとギターのカットिंगの絡みがかっこいいトラックを選曲。短いフレーズの弦楽器の入り方も良かった。

### 3 : Evil Boy (Die Antwoord feat. Wanga) 『\$O\$』より

南アフリカのヒップホップグループのデビューアルバムからノリノリの 1 曲を。変テコな PV やラップ、女性コーラスに注目が集まりがちだけど、独特のリズムを刻むトラックが面白いと思っていたら、あの Diplo がプロデュースしているとかで納得。サマソニで見れば良かったと、いまになって後悔……。

### 4 : Love The Way You Lie (Eminem Feat. Rihanna) 『Recovery』より

昨年 5 年ぶりに復活した米の大人気白人ラッパーのニューアルバムから、女性 R & B 歌手 Rihanna の歌とピアノが印象的で、ドラマチックな 1 曲を選びました。Eminem の名曲、「Lose Yourself」と「Stan」を足して 2 で割ったような感じです。

5 : White Flag (Gorillaz feat. Bashy, Kano & The National Orchestra For Arabic Music)

『Plastic Beach』より

英の大人気ヴァーチャル・アニメーション・バンドによる3枚目のアルバムから。Damon Albarnの歌はないものの、曲の最初と最後で響くアラブ系オーケストラの演奏と中盤でのBashyとKanoの勢いのあるラップで飽きさせない。Jamie Hewlettによるアニメーションも相変わらずかっこいい!

6 : Elleya Misafir (Hassan Abdel Aziz) 『Egypt Noir – Nubian Soul Treasures』より

エジプトとスーダンの間に住むというヌビア人の音楽を集めた編集盤です。ヌビアン音楽の代表歌手の故 Ali Hassan Kuban の影響下にあるミュージシャンたちが持ち寄った曲は、どれも独特で面白いですが、Gnawa 音楽っぽいベースラインと打楽器リズムの上に、Hassan Abdel Aziz の歌声とアラビアンな弦楽器の音色が絶妙に絡む1曲を選びました。

7 : Fula Fula (Konono No. 1) 『Assume Crash Position』より

エレキ化した親指ピアノや手作りの打楽器で、6年前に一躍有名になったコンゴの音楽集団のニューアルバムから。基本的なスタイルはアルバム全体を通して変わっていませんが、ホイッスルや打楽器のリズムがどことなくサンバっぽい曲が印象に残ったので選びました。

8 : Petit Rumbero (La Troba Kung-Fu) 『A la Panxa del Bou』より

スペインはバルセロナのルンバ・カタラーナ系のミクスチャーバンドのアルバムから疾走感溢れる1曲を。ルンバ・カタラーナ独特のリズミカルな手拍子に加え、カントリーっぽいギターとアコーディオンのリフのアンサンブルが楽しい!

9 : Tell Me Why (M.I.A.) 『MAYA』より

英出身のタミル系スリランカ人女性歌手による、本名を冠したアルバムから選曲しました。アルバムでは後述のRuskoもプロデュース・共作している曲が多いですが、やはり往年のパートナーDiploと共作している、この曲が歌メロ的にもトラック的にも一番良かった。

10 : SAKHALIN ROCK (Oki Dub Ainu Band) 『SAKHALIN ROCK』より

アイヌの弦楽器トンコリ奏者、OKIが4年ぶりにOki Dub Ainu Bandとして出したアルバムは、その名のとおりロックを意識したもの。トンコリのファンキーなリフとダブっぽいベースにエレキギターが時折絡み、独自のロックを生み出しているのではないのでしょうか。

11 : Balkan Trap (Opa Cupa) 『Centro di Permanenza Temporanea』 より

伊のトランペッター、Cesare Dell'Anna が率いる多国籍ブラス・バンド Opa Cupa。Zina や Tarantavirus もそうですが、Cesare が関わるプロジェクトの音楽性は、どれも非常に独特で面白いです。この曲でも Jazz っぽいピアノをベースにしたリズムのうえに、Cesare のトランペットやブラス隊が跳ね回り、さらにスペイシーなディジリドゥまで絡んじゃいます!

12 : Kekfoi (Oquestrada) 『Tasca Beat』 より

ポルトガルのグループ Oquestrada は、ファドで使うギターを前面に押し出し、そこにアコギやアコーディオンなどを織り交ぜるといった独自の音楽性でデビューアルバムを発表しました。シャレオツで軽やかなビートで和ませてくれます。

13 : I Was Drunk (Riva Starr) 『If Life Gives You Lemons, Make Lemonade』 より

伊のエレクトロニカ／ハウス DJ のデビューアルバムから「オラ酔っ払っちゃった」と題したゴキゲンなナンバーが届きました! 電子ビートにジブシー／ロマな生楽器を折り混ぜつつ楽しげな合唱でテンションアゲアゲにしようと思っ掛けてきます。

14 : Oy (Rusko feat. Crookers) 『O.M.G.!!』 より

前述の M.I.A. の新作での数曲プロデュースでも一躍有名になった英のエレクトロニカ／ダブステップの DJ である Rusko の初フルアルバムから、伊人 DJ ユニット Crookers との共演曲をセレクト。ひたすらベースがブンブン鳴って気持ちいい。

15 : Watch This (Slash feat. Duff McKagan & Dave Grohl) 『Slash』 より

米の伝説的ハードロック・バンド Guns n' Roses の元メンバーにして現在は、Velvet Revolver で再び脚光を浴びたギタリスト Slash がソロアルバムを発表しました。その中の 1 曲で同じく Guns n' Roses 時代からの盟友ベーシスト Duff に加え、一時期は敵対していたと噂された Nirvana の元ドラマー Dave と共演! これだけでも今年の 20 曲入りは決まったようなものです。

16 : El Viajero Del Tiempo (Very Be Careful) 『Escape Room』 より

コロンビア発祥のラテン系リズム、クンビア。最近では電子化したデジタルクンビアがダンスミュージックとして流行中らしいですが、米バンド Very Be Careful は生演奏のクンビアで躍らせてくれます。今年発売の新作からハーモニカのような音色を出す鍵盤楽器トリキティシャのリフが印象的な、疾走感溢れるナンバーを。

17: Nwa Gezani My Love (Zinja Hlungwani) 『New Wave Dance Music From South Africa』より  
南アフリカの北部リンポポに住むシャンガーン族が英米のニュー・ウェイブ系の音楽と出会い生み出されたという「Shangaan Electro (シャンガーン・エレクトロ)」なる音楽。その代表曲を 2006 ~ 2009 年の間に録音したコンピレーション・アルバムから、男性 R & B コーラスグループのような歌声が入った比較的聴きやすい曲を選びました。

18: ひとりカンタビレのテーマ (奥田 民生) 『OTRL』より  
日本のロックバンド「ユニコーン」のメンバーであり、「ひとり股旅」なる単身アコギ弾き語りツアーでも名を馳せる奥田は、いつも何かしら個性的な活動をすることが多い人です。今年行ったのは、何と 1 人ですべての楽器をこなすレコーディング風景をお客を集めて見せること。しかも、それを「ひとりカンタビレ」と題して全国ツアーで行い 1 曲ずつ仕上げながら、アルバムにしてみました!

19: 23 才の夏休み (神聖かまってちゃん) 『友だちを殺してまで。』より  
楽曲・活動の Web 動画公開やライブパフォーマンス、過激な歌詞などで、ネット上で一番注目を集めたといっても過言でない新人バンドのデビューミニアルバムから、一番キャッチーで聴きやすいと思える曲を選びました。ボイスチェンジャーで女性っぽい声に変えて歌っているので、慣れが必要かもしれませんが、青春な感じでかなり良い唄だと思います。

20: 恋人たちのクリスマス (All I Want for Christmas Is You) (怒髪天)

『Merry X'mas Mr. Lonelyman』より

自身の音楽性を「R & E (リズム&演歌)」と呼んでいる、男臭さが尋常じゃないロックバンド怒髪天。今年のフジロックでも榊原郁恵の「夏のお嬢さん」を汗くさーく、そして面白くカバーしていましたが、何と Mariah Carey のクリスマスソングも荒々しい英語でカバーしてしまいました。中盤の「オイッ! オイッ!」とかロマンチックのカケラもなくて好きです!

今年の選曲を振り返ると、アフリカの曲が多かったですね。まあ、W 杯があったということで、アフリカが注目されるが多かったのも、よく聴く要因になったのかもしれませんが。

(@ IT 編集部: 平田修)

## No.486

# データベースの未来はどっちだ？ / 2011年末、「クラウド」という言葉は消え去る？

2010年12月24日

## 【コラム】@IT編集担当のつぶやき

# 2011年末、 「クラウド」という言葉は消え去る？

2010年は、文字通り「クラウド一色」の年でした。私は、この言葉自体は来年末くらいに寿命を迎えると思っています。誤解のないように申し上げておきますが、「クラウド」が単なる一過性の流行だとはまったく思いません。この言葉が表現しようとしていることは、消え去るものではありません。

11月末に、当編集部主催で「クラウドという言葉が嫌いな人のための社内ITインフラ最適化術」というセミナーを開催しました。その際の私の講演では、クラウドという言葉をもっとく使いませんでした。いま、ITの世界で起こっていることは、この言葉を使わなくても十分に説明できます。

現在、企業ITの世界で起こっているのは、ITのユーザーである業務部門にとって、ITがどれだけ役立てるかをめぐる競争です。業務部門は以前から、「早い、安い、うまい」ITを使いたいと望んできました。この場合の「うまい」はいろいろな意味を持ちますが、ざっくりいえば、業務上やりたいことにできるだけ直結する（足手まといにならない、あるいはやりたいことを助けてくれる）ITです。最近1~2年の間に、いわゆるクラウドサービスをはじめとする選択肢が大きく広がったことで、企業内でITを使う人々の立場は、ITを提供する人々に対してますます文句が言いやすくなってきました。

これにより、IT部門をはじめ、IT製品ベンダ、サービス事業者、システム・インテグレータなど、ITを提供する役割を持つ人々にとって、あたかも戦国時代に突入したかのような状況が生まれました。これまで、暗黙の前提と考えていたそれぞれの間のすみ分けや役割分担があいまいになり、新たな主導権の取り合いや付加価値の奪い合いが起こるようになりました。

守るべきものを持つ人々、持たない人々。それぞれ戦い方は異なりますが、IT関係者は、新たな状況下で、どのように自社が付加価値を維持したり、高めたりできるかを競い合っています。新たな囲い込みを図ろうとする動きも見られますが、簡単にはいなくなっていることは事実です。「任せていただければ安心ですよ」といったあいまいな言い方は説得力を失いつつあります。効率性（コスト）、柔軟性、俊敏性、そして業務をより直接的に支援するITシステムをどう提供できるかが、今後ずっと問われ続けていくことでしょう。



「クラウドという言葉が嫌いな人」の中には、自らのこれまでの立場が脅かされるために「クラウド」という現象を恐れている人々がいます。こうした人たちを少しでも動かすという点で、この言葉は今後も存在する意義を持つでしょう。しかし、本質を理解している人にとっては、クラウドは単に新たな現実を表現する形容詞の 1 つでしかありません。IT がよりビジネスに直接的に貢献すること。業務を支援することを本来の目的とする IT にとっては当たり前のことです。しかし、これまで一人歩きしてしまっていた部分があることは否めません。とすれば、いま IT 業界で起こっていることは本来の姿にあらためて近づくためのさまざまな試みです。IT が本来の姿に十分近づいたとき、クラウドという言葉は完全に不要なものとなるはずで

(@ IT 編集長:三木泉)

2011

No.487

今年はRuby on Railsを始めよう / 「定義」を書き換える“飛躍的思考力”

2011年1月6日

**[コラム]@IT創業者のつぶやき**

## 「定義」を書き換える“飛躍的思考力”

新年あけましておめでとうございます。2011年の新春をどのように迎えられたでしょうか? 今年も「@ IT」をはじめ、アイティメディアの各種メディアをどうぞごひいきにお願いします。

新年早々から過年の話題で恐縮ですが、少しお付き合いを。

2010年の夏、著名な文化人類学者の梅棹忠夫氏が亡くなりました。これがきっかけで、氏の『情報の文明学』に出会いました。その中に次のような個所を見付け、しばし衝撃が冷めやりませんでした。

東海道新幹線をどうかんがえるか。

…あれは情報産業だとおもう。

情報をはこんでいる、あるいは情報をいっぱいつめこんだ人間をはこんでいる。

…東京か大阪で会議があるとか、

そういう人間をはこんでいるだけです。

1960年代に新幹線が開通した時期の考察です。いかに近未来を感じさせたとはいえ、列車に「情報産業」の姿を見たとは驚きです。

しかし、私は既成のカテゴリを大きくまたぐこのような飛躍的思考力が、いまこそ問われていると思うのです。

氏は「運送産業」の定義である、物理的に人や荷物を移動させることから飛躍し、(人の形をした知識など)情報を高速に交換する手段を新幹線に見たのでした。移動や運搬の手段が単に高速化されたと見れば、既成の定義の見直しは不要でしょう。しかし、運搬対象が変わるなら定義の大幅な見直しは必須です。

なぜなら、それはもはや「運送産業」の呼称は当たらず、「情報産業」であるのかもしれないからです。いつの日も、この飛躍と変化は、既成の定義(産業カテゴリ)に沿ってキャリアを築こうとする多くの人々を揺さぶることでしょう。

さて、現在、「(産業の) 定義」の断絶がそこかしこで起きてはいないでしょうか? 私たちの仕事の再定義が近づいているかもしれません。

(アイティメディア 取締役: 藤村厚夫)

No.488

Visual Studio 2010にチャレンジ! / 厳しい環境を乗り越え、未来に向かって

2011年1月13日

[コラム]社長のつぶやき

## 厳しい環境を乗り越え、未来に向かって

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

どんよりと重苦しい景況感と迷走する国内政治、緊張の解けない北東アジア情勢のなかで迎えた 2011 年ですが、読者の皆さんにとって本年が少しでも良い年になることを願ってやみません。

さて、@ IT では昨年 11 月に、注目されている Ruby on Rails の発展を目指してアールラーニング社と共同で「Rails 技術者認定試験運営委員会」を設置しました。また、12 月には、スマートフォン、ソーシャルアプリ開発情報に特化したサイト「@ IT Smart & Social」を開設しました。当社独自調査では、IT エンジニアの 7 割がスマートフォンやソーシャルアプリの開発に関心があるという結果があり、当サイトはすでに「スマソ」の愛称で親しまれています。

2011 年も@ IT はエンジニアのための技術情報専門メディアとして、チャレンジを続けていきますので、ご愛読のほどよろしくお願い致します。

ところで、私ごとではありますが、この年末年始は久しぶりに故郷の信州・諏訪に帰郷してゆっくり過ごしました。高校時代の旧友の集まりなどがあったのですが、その他の時間は、もっぱら読書にいそしみました。特に面白かったのが、「蒼穹の昴」でした。日清戦争のあたりは、大清帝国の末期を描いた歴史小説でドラマ化もされ、現在も NHK で放映中です。この時代、中国から見た日本なども描写されていて勉強になりました。

昨年読んだ本の中で一番は、「永遠の 0 (ゼロ)」です。戦時下特攻隊に志願する若者たちの、戦争に明け暮れた短い青春時代を描いた作品で、涙なくしては読めません。娘や家人にも勧めました。

今日の日本の繁栄は、あの時代の多くの先人たちの悲しい犠牲の上に成り立っていることを痛感します。また、戦後多くの先輩の努力のおかげで、有数の経済大国としてよみがえった日本。そのことを想像すると、厳しい環境を乗り越えて、未来に向かって立ち向かっていく新たな勇気がわいてきます。今年は、必ず飛躍の年にするぞと。

(アイティメディア 代表取締役社長：大槻利樹)

## No.489

### Titaniumと統合したAptanaって何だっけ / 帰宅後20分で作れる「にんじんしりしりー」

2011年1月20日

## [コラム]アイティメディアの料理人のつぶやき 帰宅後20分で作れる 「にんじんしりしりー」

あ、どもごぶさたです。しかし今年の冬は寒いですね! 今夜は鍋でも作るかな……。

僕が料理始めたの、わりと最近ですよ。ずっと外食で生きてきましたから。でも当時住んでいた二子新地って、周りにあんまり食べる場所がなくて、外食に飽きちゃって。で、気まぐれに肉ジャガ作ってみたら、わりとうまかった。もう、実家に帰らなくても肉ジャガ食えるじゃんて思うと、なんか自由になれた気がした 35 の夜って感じで。

レシピは色んなのを見るけど、最近はクックパッドが多いかも。CGM ってやつですか? チャットで作るノウハウが集積してますからね。バナナの切り方まで載っているし、やっぱり「30代女性の3人に1人が利用するサイト」ってすごい。

でも CGM があるからこそ、プロの仕事が光りますよね。料理本でいうと、西 健一郎さんの『日本のおかず』とか、好きです (幻冬舎 <http://amzn.to/hYuC72> )。

例えば、「新じゃがと牛肉の煮物」の材料は、いも・牛肉・砂糖・醤油・油、以上。ふつうもっと具に玉ねぎ・にんじんとか、調味料に酒・みりんとか使うじゃないですか? これだけでいいの? って不安を抑えつつ手順どおり作ると、旨いんだな! これがまた。シンプルなのにうまい秘密は、本のはじめに書いてありました。

“春夏秋冬、それぞれに旬を迎えて美味しくなる素材には、必要以上の調味料はいらないのです。(中略) ぜひ、日本の旬の恵みを生かした、より美味しい料理を食卓に並べ、この食文化を将来の日本に生きる人たちに伝えてください”

おお、メシを作るって、文化を伝える行為なのか! と目からうろこが落ちますね。カレーを作ればインド、麻婆豆腐で中国文化を継承してるって思うと、愉快じゃない? これからもいろんな国の料理を作って多様な文化を継承し、世界平和に貢献しよう! おっそろそろスーパー閉まっちゃうんで、また。今度なんか作って持ってきますよ。

～付録：帰宅後 20 分で作れるおすすめオリジナル・レシピ「しりしりパスタ」～

1. どうにかして「しりしり器」を購入し、にんじんをしりしりする（僕は許田の道の駅で買いました）
2. にんじんを弱火で炒め、色が黄色っぽく変わったらツナの水煮缶を投入
3. 溶いた玉子を混ぜあわせ、塩・コショウ・かつお節で味付け
4. 100 円均一店で売っている「レンジ茹で器」で茹でたパスタを 3 と合わせて完成
5. 首里城とサン・ピエトロ大聖堂を脳裏に浮かべながら、いただきます。

（リード研究所：小柴 豊）

No.490

いよいよ離陸なるか? IPv6 / @IT 100年宣言

2011年1月27日

## [コラム]@ITが大好き過ぎるスタッフのつぶやき @IT 100年宣言

唐突ですが、問題です。次の6つの言葉は一体何でしょうか? 「Windows2000Insider」 「PCInsider」 「XML eXpert eXchange」 「Linux Square」 「Master of Network」 「IT Business Review」 ……。

正解は2000年5月に産声を上げたその日の@ IT に存在したフォーラム名です。今や、当時のままの名称で存在しているのは「Linux Square」のみとなりました。

まあ、10年以上の月日が流れていれば、このくらいの変化は当然で、そのほかのフォーラムも名前を変えながらも更新され続けているということの方が、激変が続く IT 業界の中では珍しいことなのかもしれません。

当時の@ IT は社員数10名程度。「IT エンジニアの役に立つ!」を合言葉に、当時まだ目新しかった Web 上のメディアとして、さまざまなチャレンジをしていこうとしていました。

それから10年、編集メンバーが少しずつ入れ替わり、サイトの規模が大きくなり、運営会社の名称も変わるなど、周りの環境がそれぞれ激変してきました。かくいう私も部署を異動し、直接的に@ IT にかかわる機会も少なくなりつつあります。

しかしこれだけは、変わっていないし、これからも変わらないものがあります。「IT エンジニアの役に立つ!」という気持ちです。これがなくなるとは@ IT ではなくなってしまうという心構えは健在です。

もし、読者の皆さん、この気持ちが薄らいでいるように感じる事があれば、容赦なくご連絡をください。@ IT が@ IT であり続けるために。

(アイティメディア CGM 事業推進部: 手塚 暁)

## No.491

### 相撲の勝敗からのぞくデータ解析の世界 / 仕事はプレイだ!

2011年2月3日

# [コラム] アイティメディア 経理スタッフのつぶやき 仕事はプレイだ!

年度末も近くなり、異動や転勤の方が多くなる季節だと思います。私は一足早く年末から、同じ部内ながら、まったく別の業務を担当することになりました。

日々混乱する頭、ミスの嵐、机に積もっていく書類……（関係者の方、申し訳ありません）。私の年末は怒とうのように過ぎていきました。

そんなとき、先輩社員にこんなことを言われました。

「仕事は〇〇（職種）プレイだ」

プレイ!? と、最初はその言葉のインパクトの強さに、戸惑いが隠せなかったのですが、最近なんだかこの言葉が楽しくなってきました。

ちなみに私の仕事はこの言葉を借りると「経理プレイ」になります。左手に電卓、右手に赤ペン、顔にはメガネが……と、“経理っぽいこと”を想像して、その通りになりきってみると、いつもの業務にも張りが出てくる気がします。そして、それまでは気が付かなかった楽しさも発見できるようになりました。

うちの会社のいかにも! な社員さんも、もしかしたら同じことを実践されているのかもしれない。

また、仕事以外にも「お父さん・お母さんプレイ」「彼女・彼氏プレイ」など、いろいろな場面で応用できますよね。（多用し過ぎると不謹慎な気もしますが）なりきってみることで得られるものもあるのだなと実感しました。

（アイティメディア 管理本部 財務経理部：迫野 由佳）



## No.492

### そろそろ登場？ 次世代iPad / たった一言ですべてが変わるかも! ?

2011年2月10日

## [コラム] 女子イベント大好きスタッフのつぶやき たった一言ですべてが変わるかも! ?

イベントめじろ押しの中。クリスマス、正月を経て、今や街はバレンタインムード一色です。赤やピンクのかわいいPOPに、あま〜い香り。そんな中そわそわと歩くのは男子だけじゃありません。女子にとってもワクワクドキドキなイベントなのです。

チョコの入手方法は人それぞれ。有名店に並んで買う人もいれば、街中でふと目を引かれ、購入する人もいます。もしくは、ネットでワンクリック! で各地の美味しいチョコを手に入れる人もいます。それでも、本命には、やはり手作りでしょうか??

かくいう私は、毎年手作りチョコを作っています (誰にあげるの? などと聞くことなかれ……)。誰かにあげたい、喜んでもらいたい、という気持ちもちろんありますが、それより“女子っぽいイベントにのっかりたい!” “イベントにかこ付けてお菓子が作りたい!” という単純な動機もわりと大きな要因で……。作ったのはいいものの、結局は家族で食べる、ということもしばしば (笑)。

私のような女子は、あげる相手を求めているかもしれません。たとえそれが本命じゃなくても、あげる相手がいるだけで張り合いが出るものです。だから男子は、この季節は思い切ってチョコの催促や、チョコ大好きアピールをしてみたいかがでしょうか。

相手が何か作りたいと悩んでいる女子だったら、例えば「トリュフが食べたい」の一言で彼女の決心がつくかもしれません。そもそもあげるかどうか悩んでいる女子は「チョコ欲しいな♪」なんて言われちゃえば、(全員が、とは思いませんが) 喜んでチョコを用意しちゃうでしょう。

もしくは、「バレンタインはまだなのに、自分でおいしいチョコを買うのは悔しくて……。もらえるかも分からないけど (笑)」などとつぶやきながら、板チョコでもかじっていたら、バレンタイン当日にはおいしいチョコをもらえちゃうかもしれません (笑)

と、これらは、あくまで“私目線”のお話なので、女子みんなに当てはまるとはもちろん思いませんが、世間の男子の皆さまには、ぜひ、ちょっとの勇気を出してみてくださいなあと、そう思う今日このごろです。

(メディア開発本部 技術開発統括部: 永守 薫)

## No.493

### 雪や氷の上でも滑らずいこう! / 無線で電力を送る不思議

2011年2月17日

## [コラム]EE Times Japan編集スタッフのつぶやき 無線で電力を送る不思議

最近、ようやくスマートフォンを購入しました。いいですね、スマートフォン。地図アプリに歩数計、快適なインターネット接続にと、移動中についつい触ってしまいます。「良いことづくめ」といいたいところですが、困ったことが1つだけあります。朝外出して、夜に自宅に戻る前に電池が切れてしまうこと。さあ、どうなるか。夜の時間帯に、嫁さんからのメールやら電話やらに反応できず、帰宅するなり、「あんた、どこで何をしていたの!!」と悲惨なことになってしまうのです。

いつでもどこでも、手軽に充電できれば……。その夢を実現するカギが、電力ケーブルを使わずに、非接触でスマートフォンを充電できる「ワイヤレス給電技術」です。3年ほど前に大きな技術進展がありました。数10cm離れていても、高い効率で電力を伝えられる「共鳴（磁界共鳴）方式」の提案です。しかし、よくよく考えてみると不思議です。電力を送る側（送電側）と電力を受け取る側（受電側）が、数10cmも離れているのに電力が伝わるのです。実はそこには、人間模様にも勝るとも劣らない興味深い現象があります。電力を送る側（男性）から遠く離れる受電側（彼女）に、思い（電力）をどうにか伝えようとする、男女の人間模様に例えられましょう。

具体的に紹介しましょう。何もない空間を高い効率で電力を伝えられるのは、2人の価値観（共振周波数）がぴったりと合い、相思相愛の状態（共鳴状態）だからです。電力を伝える効率を表すのに、「 $k \times Q$ 」と呼ぶ指標があります。kは2人の距離の近さ（結合係数）、Qが互いを想う強さ（Qファクタ）です。Qが強ければ、少しばかり遠距離になっても $k \times Q$ を大きくでき、効率良く想いを伝えられるのです。

ただそんな2人にも、気を付けるべき点が2つあります。1つは、いくら価値観の合った2人といえども、距離が広がり過ぎると、電力を送る側がよそ見をしてしまい、効率が下がってしまうことです。言葉を変えると、浮気です。想いをうまく伝えられる領域は限られており、これを「近傍界（near field）」と呼びます。もう1つは、電力を受け取る側の心変わりです。価値観がびたっと合っているがゆえ、ちょっとした行き違いで一気に幻滅してしまい、電力を伝える効率が大幅に低下してしまうのです。電力を送る側はいつなんどきも、電力を受け取る側の心変わりに合わせる度量の広さ（負荷変動に合わせた適応制御）が求められます。

（EE Times Japan 編集部：前川慎光）

## No.494

# プログラムの良し悪しはアルゴリズムで決まる! / 服は人なり

2011年2月24日

## [コラム] 装い大好きスタッフのつぶやき 服は人なり

突然ですが、お聞きします。人生において「衣」、つまり「着ること」をどの程度重視されていますか。何万円払ってでも好きな服を買いたい、可処分所得の中でやりくりできればいい、何の関心も持っていない……服との付き合い方は、きっと人それぞれかと思えます。

いえ、何も「オシャレ」に興味を持ってもらおうとこのコラムを書いているわけではありません。

学生時代、私は人の服装を観察するのが好きでした。当時、自分自身の問題に対処するため<服>が有効だと気づき、装いに関して敏感になっていたという背景もあります。加えて、あまり知らない相手との交流が増える大学では「どんな服を着ているのか」が、その人を知る格好の手掛かりになったのでした。

なかでも「大学教員のファッション」は、ひときわ興味を惹く対象でした。服装自体がではありません。ファッションに対する先生方の関心のなさが興味を惹くのです。

男性であれば、似たようなジャケットに、似たようなパンツ、似たような革靴。女性であれば、地味な色味のパンツやスカート。服装に関して外的な拘束はないはず。なのに、同じ職業集団に属する人々の服装は結果としてどうしてこんなに似てくるのか、不思議で仕方ありませんでした。

お世話になった先生は多かったのですが、1人だけ話に引かれ、学部をまたいで講義に熱心に出席し続けた先生（専門は文学理論）がいます。先生の書いた本に以下の一節がありました。

### 「教師のファッションと授業」

僕の経験だと、つまらない授業をやる講師はいつも同じ地味でくたびれた背広なんか着ているのがふつうだ。女性だとだいたい流行遅れのスーツ。お洒落な教師はだいたいにおいて、授業がうまい。つまり、身体表現を含めて、自分のプレゼンテーションに意識的だからだ。言うまでもなくファッションは思想だ。中にはファッションにはまったく無関心な教師もいる。それは『無思想』なのではなく、『人間は内面だ、ファッションには無関心でいい』という『思想』を表現しているのである。（石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書 2006 p191）

服装に関心がないということが、別の面でその人の「関心」の持ち方を表している——人が服を「着る」という行為の奥深さをあらためて気付かせてくれた一節でした。

何か「ある」ことを「当たり前」だと思わずに、「不在」や「欠如」に見えるものを、別の何か置き換えることから話を始める。他人に対するそんな理解の形もあり得るのかもしれないね。

そんなことを考えながら、今日もへんてこな頭で会社に向かう私なのでした。

(IT インダストリー事業部 営業統括部：松岡 瑛理)

No.495

花粉も防ぐ！ イオンの恩恵／クスリの神様

2011年3月3日

## [コラム] アイティメディアの女子のつぶやき クスリの神様

ラーメン屋にて、小学5年生くらいの男の子がカウンタ越しに店主と話している。「鼻がムズムズする」。そうか少年、それは花粉症だな、かわいそうにと、ギョーザを食べながら私は思った。ラーメン屋を出る。猫がするみたいに思い切り伸びて欠伸してみた。ふんわり暖かい風が吹き、春って感じがした。私は花粉症とは無縁である。うらやましがられるが、これはひとえに祖母のおかげなのである。

私は幼いころ体が弱く、アレルギー体質だった。ことさら花粉はダメで、春は決まって鼻はズビズビ、袖はガビガビ。そんな私をふびんに思い立ち上がったのは祖母。いにしえの知恵を使い、その辺りの植物でさまざまな「クスリ」を開発してくれた。

まずは、弟切草で作った液。ティッシュでこよりを作り、先端にそれを含ませて鼻の奥まで入れると、ひとしきりくしゃみが出た後、ミントを吸ったような爽快感で鼻どおりがスツとした。それから乾燥ドクダミを煮出すドクダミ茶。「飲み続ければ、体調が良くなる」と毎日飲まされた。そして「これが一番効いたのでは?」と思えるのが、ニンニクのしそ漬。私は、まずいと決め込み、舌に乗せないよう朝夜7粒ずつ注意深く食べた。サボってごちそうさまをしようとする、と、「体質改善!」の掛け声とともに、祖母にニンニクをよそられてしまう。そんな日々を数年続けた中3の春、私には花粉症が訪れなかった。

実家を離れたいま、働きながら毎日食事を作る大変さが身にしみている。あのころ、祖母は家業の酒屋をこなした後、私のためを思い、一心にクスリを作っていた。ニンニクを嫌がったりして、私が祖母だったらどんな気持ちか、考えただけで胸が締め付けられる。あの日に戻れるなら、10回以上かんで味わって、美味しいといいながら、10粒くらい食べたい。

その祖母が昨夏、熱中症で倒れ、とても心配したが、すぐ元気になり畑仕事に戻った。電話すると、「ポカリスエットを作って飲んでるから大丈夫」とのこと。どうやらポカリスエットの成分表示を参考に、水、果物の缶詰の汁、酢、塩でポカリスエットのようなものを開発したらしい。夏休みに一緒にトウモロコシを収穫する約束をして電話を切った。

(メディア開発本部：酒井 真弓)

## No.496

### 失敗を恐れるな！／旅行会社さん、子連れ専用ツアーを企画してください

2011年3月10日

#### 【コラム】@IT編集部ママのつぶやき

# 旅行会社さん、子連れ専用ツアーを企画してください

こんにちは。子持ちの編集部員、河内です。いつの間にかママとなり、慣れぬ子育てをしています。ところで、あと1カ月ちょっとでゴールデンウィークですね。海外旅行にでも行ってみようかと計画されている方もいることでしょう。

私もできれば旅行に行きたいとは思っていますが、子連れ旅行というものにはとにかく問題が付きまとうものです。地味に問題なのが公共の交通機関です。電車や飛行機での移動時間が長ければ長いほど問題はどんどん深刻になっていきます。

子供がうるさいからと、飛行機の前の座席からぬっと iPhone を持った手が差し出され、自分たちを撮影されたり、背もたれのすき間からずっとこちら側をのぞかれたりしたら、どうします？ 私たちも先日、そんな恐ろしい体験をしました。

前席のその人からすれば、1万円で座席をアップグレードしてゆっくりと旅の疲れを取ろうとしたのに、子連れに後ろの座席を陣取られ、なぜおれはハズレくじを引いてしまったのかと、嘆いたのでしょう。私だって独身のころは、子供の声をうるさく感じていた1人でした。

そういう私も、今は1児の母。そこで、子育てファミリーが「そうだ、旅行に行こう!」と思い立ったときに、その思いつきを実現しやすくする案を発表させていただこうと思います。

その案とは、ズバリ「子連れ専用便」です。分煙ではありませんが、飛行機丸ごと子連れ用にしまえば、いくら子供が騒いでも、誰に気兼ねすることなく、移動時間をのびのびと過ごせるようになるのではないのでしょうか。(ただ、分乗飛行機が当たり前になったら、普通の便に子連れの方が搭乗せざるを得なくなったとき、現状よりも肩身の狭い思いをしなくてはならなくなると思います。それはまた問題なのですが)

どなたか、子育てファミリー向けに子連れ客専用飛行機を計画してください。旅行が好きな子育てパパママなら、少しくらい旅費が高くて払ってくれそうですし、行き先があまり興味のない場所だ行ってしまおうと思います。

(@ IT 編集部：河内典子)

## No.497

### 災害、停電時の対応・システム復旧関連 / 震災、その夜のアイティメディア

2011年3月17日

## [コラム]アイティメディア管理本部長のつぶやき 震災、その夜のアイティメディア

このたびの東北地方太平洋沖地震に際し、不幸にも亡くなられた方に心から哀悼の意を表します。また、被災者ならびに関係者の皆様にお見舞い申し上げます。

大手町のオフィスビル 7F にいる当社では、震災当日、相当の揺れを感じましたが、スタッフ、設備などに被害はなく、現在（16日）を迎えています。14～15日は原則在宅勤務とし、大多数のスタッフがオフィスに集ったのは震災以来です。震災発生から今日に至るまで、スタッフの生命に責任を持つ管理本部長として大過がなかったことに胸をなでおろしている状況です。しかし、この間「こりゃ、あかん」と思ったことが一度だけありました。

都心に勤務している方は経験なさったと思いますが、震災当日は交通機関がマヒして多くのスタッフが徒歩で帰宅しました。遠隔地のため帰宅が困難なスタッフ（通称、「帰宅難民」ですね）へはオフィスでの宿泊を推奨。総勢で30名くらいが宿泊することになりました。もちろん、私も責任者として残ることに。

夜食を買い出ししたり、会議室に仮眠スペースを設置したり、まさか使うことになるとは思わなかったヘルメットや非常持ち出し袋を倉庫から取り出したりと、もろもろ支度を終え、「やれやれ、一段落」と思った矢先、いままでの余震とは比べものにならないくらい大きな揺れが。夜中で照明を落としている中、ビルがミシミシと嫌な音を立てます。皆が天井を見上げ、不安そうな顔をしています。まるで、映画のワンシーンのような光景でした。

慌ててテレビを見ると震源地は長野だと。「こりゃ、あかん」と思ったのは、この時です。連鎖で地震が発生し、東京直下型の地震が起こるかもしれない。初めて30名の生命を預かる責任の重さを感じました。「無理してでも帰宅すべきだったか」とか「いざとなれば、ご近所の皇居に避難しよう」とか、寝不足の頭でぐるぐると思いを巡らせました。

その後は大きな揺れもなく、無事に朝を迎え、電車が動いてから皆を帰宅させ、ドアを施錠したときには、ため息が漏れました。直接被災なさった方々には申し訳ないくらい軽微な体験ですが、あの夜の都心での一風景でございます。

今後、アイティメディアでは全運営メディアを通じて、われわれ専門メディアしかできない支援をしようと計画  
中です。少しでも皆さまのお役に立てれば幸いです。 （アイティメディア管理本部長:小林 教至）

No.498

AWSが東京にやってきた！ / がんばろう！ 日本

2011年3月24日

## [コラム] 営業スタッフのつぶやき がんばろう！ 日本

このたび発生した大地震により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。地震発生から 10 日ほど過ぎましたが、たびたび起こる余震や原発の問題、それに伴う停電などまだまだ不安は尽きません。ライフラインが復旧し、被災者の皆さまが一日も早く平穏な日々を過ごせるよう願っております。

さて、今回の大地震はスポーツ界にもさまざまな影響をもたらしました。多くのスポーツイベントが中止や延期となる中（本稿執筆中の 3 月 19 日時点では）、プロ野球のセントラル・リーグ開幕時期や、春の選抜高校野球の開催可否がニュースで取りざたされています。

計画停電が続く中、日本国民は一丸となって節電対策に腐心しています。そんな状況で、1 試合で 3500 世帯分の電力を消費するというナイトゲームを強行しようとする、日本プロ野球組織の決定や進め方にはまったく納得がいきません。

その一方で、選手たちは震災からの復興に積極的に協力しています。北海道日本ハムファイターズのダルビッシュ有投手や東北楽天ゴールデンイーグルスの田中将大投手は Twitter で積極的に情報を発信し続けていました。元サッカー選手の中田英寿氏、陸上の為末大選手など義援金の寄付活動やチャリティマッチの開催など行動を起こした選手や団体も多く見られました。

彼らアスリートたちの行動は、被災者の皆さんを支援するだけでなく、多くの人たちが「被災者のために行動する」きっかけ作りにもなっているように思います。

過去を振り返ると、1995 年に発生した阪神・淡路大震災では、「がんばろう KOBE」を合言葉にイチローを擁するオリックスブルーウェーブが快進撃を続け、11 年ぶりのパシフィック・リーグ制覇を成し遂げ復興を目指す人々に元気を与えたことを思い出します。

当時 22 歳のイチローは 2 年連続のシーズン MVP や首位打者のタイトルだけでなく、盗塁王や主に 1 番打者での出場が多い中、打点王も獲得し、シーズン 9 冠を達成しました。打点王と盗塁王の同時獲得は、日本プロ野球史上イチローだけが成し遂げた偉業であり、被災者にとってはまさにヒーローと呼べる存在だったと思います。



私は阪神ファンではありますが、今年は東北楽天ゴールデンイーグルスが台風の目となるように感じています。被災者の皆さまを元気付けるような一生懸命なプレーと、イチローのようなヒーローの出現を期待しながら、私も被災者の皆さまのために自分ができることをやりたいと思います。

(IT インダストリー事業部：林大樹)

## No.499

# 停電・電力不足を乗り切ろう／ワーキングマザーと停電

2011年3月31日

## [コラム]働くママのつぶやき ワーキングマザーと停電

東日本大震災後、節電は私たちが最も身近でできる務めです。計画停電ともうまく付き合っていかなければなりません。乳幼児を持つワーキングマザー（私）には問題が山積みです。子育ての生活に生じた変化に対応するのは、一筋縄ではいきません。

買い物：スーパーが停電に伴い、会社からの帰宅後は、すでに閉店していることもしばしばです。開いてても、欲しいものは売り切れています。週末の買いだめも、欲しいものに限って「1人1品」。いまだに実家かママ友に頼るか、手に入りにくいものを抜いて食事メニューを考案しています。

お弁当：食品確保が難しいのは、どこも一緒です。震災後、間もなく保育園から「お弁当持参」の通知がありました。ひえええ。子どもの期待に応える、かわいいお弁当を作りたいのは山々ですが、給食に慣れたママには、そんなスキルはありません。とにかく、お弁当が茶色にならないようにメニューを考え、前日に準備して、翌日詰めるだけにして、なんとかクリアです。

明かりの確保（夜の停電）：子どもは暗闇がニガテです。懐中電灯1本では、ちょっと心許なさそうなので、実家からもらった大きい懐中電灯を天井からつるしました。さらに、ロウソクを何本か点けたら、「ハッピーバースデー？」と喜ぶ子ども。楽しむ余裕が生まれたようです。でも、やっぱり怖くてママの足元にしがみついていた。

平日 18:20 ~ 22:00 の計画停電：本当に「どうしよう……」と思ったのが、これです。保育園のお迎え後の帰宅したてのこの時間、ワーキングマザーはフル回転しています。ご飯を作り、子どもに食べさせる。その間にお風呂を沸かして、洗濯機を回して干す。昨日干して乾いた洗濯物をたたんでしまう。ご飯の後片付け、子どもをお風呂に入れた後は、明日の保育園の準備。寝る前に嫌がる子どもをなだめての歯磨きとトイレ……。多少のスケジュールの違いはありますが、皆さん大体こんな感じではないでしょうか。しかも、なるべく早く子どもを寝かせたいので、停電前の 18:20 がタイムリミットです。もうこうなったら、その日はお風呂なし（体を拭くだけ）。洗濯も、食事の後片付けも翌日に延期です。夕食は麺類。お弁当は適当サンドイッチ。いつものようにバタバタ動き回らないママに、子どもは喜んでいましたが……。

そして今度は、放射性物質の汚染問題ですね。毎日のように課題が降ってわいてきます。

でも、地震で亡くなった方、家族を失った方、家や仕事を奪われた方々を思うと、こんなことで泣いていてはいけないと思います。肩の力を抜いて、深呼吸します。問題に直面してもどーんと構える「肝っ玉母ちゃん」でありたいです。

(アイティメディア管理本部：大谷 美和)

## No.500

### あの長寿連載の1回目 / IT に何ができるんだっけ？

2011年4月7日

# [コラム] 500号記念のつぶやき IT に何ができるんだっけ？

東日本大震災では、私の知り合いやその知り合いにも、直接・間接的に被災者支援などにかかわっている人たちがたくさんいます。ある知り合いは、栃木県で救急医療センターのセンター長をしていますが、今回の震災で所属する病院にも被害が出たり、ガソリンや生活必需品が入手しにくくなり、自身の生活が危うくなっているにもかかわらず、緊急医療活動で東北に行くなど、文字通り不眠不休で働いていました。身を粉にして働いている方々に敬意を表すとともに、今回の震災の影響の大きさをあらためて感じます。

今回、「IT で何ができるのか」を懸命に考えた方々も多いことと思います。私もその 1 人です。視野を狭く考えると、携帯や PC を通じたコミュニケーションの円滑化くらいしか人に役立つことはないのでは、などということになってしまいがちです。

でもそんなことを悩んでいる間に、今回は即座にクラウド関連の人々が、ミラーサーバを立てたり、消息情報システムを提供したりしました。避難所に張り出された紙に記されている名前を、写真から読み取って入力し、検索できるようにした人たちもいました。

被災者と、被災者に無償で住居を提供したい人をマッチングする roomdonor.jp が話題になっています。被災地の通信環境や通信端末の関係もあり、まだ受け入れが決まった件数は多くはないようですが、住居提供の申し入れはかなり多数に上っています。

これなどは、ネット上のサービスの良さをよく表していると思います。受け入れたいと思う人が、日本全国から、自ら簡単な入力を行うだけで、その意思を伝えられるということです。役所の人が手作業で情報を集めるなどするよりも、はるかに迅速で効率的、かつスケールする活動です。

「IT で何ができるか」とあらためて考えるまでもなく、IT やインターネットは、被災者支援活動、そしてその後必要となる生活再建や産業復興で、欠かすことのできない基盤になるはずで、さらに、パワーグリッドや医療・介護への IT 活用など、IT が生活を支える基盤としてさらに浸透していく、あるいは浸透させていかなければならないことは確実です。限りある人的資源、物的資源を有効に活用していくことは、被災地だけでなく、今後の日本全体にとっての最大のテーマです。

「IT は元気がない」などといわれるようになってから久しいですが、どっこい、IT は社会インフラとしてどんどん進化しています。そのことを思い出すと、明るい気持ちになります。ちなみに、@ IT 通信は今回で 500 号を迎えました。今後とも、いや今後こそ、ぜひよろしく願いいたします。

(@ IT 担当編集長 三木泉)

## No.501

# スマホアプリ開発も可能になったDreamweaver / 20年越しのAIとの出会い

2011年4月14日

## [コラム] IT産業をウオッチし続ける編集者のつぶやき 20年越しのAIとの出会い

「人工知能 (AI)」が世界の IT 産業に一大ブームを巻き起こしたのは、今から 20 年以上も前のことだ。ベテランのエンジニアには懐かしく感じられ、若いエンジニアには枯れた技術のように響くかもしれない。

その当時、オブジェクト指向言語のはしりともいえる Prolog や Smalltalk を使いこなせることが、プログラマにとってはステータスだった。知識ベースと推論エンジンを備えたエキスパートシステムが、保険会社やプラントエンジニアリング会社で開発されて、高度な保険商品の立案や大規模なプラント設備の配管設計に応用されたものである。

IT の最先端を行く AI は、スーパーコンピュータ並みの高性能マシンと膨大なソフトウェアを駆使して、多額の開発・運用費をかけて初めて実現できた。そんな憧れの AI マシンを、まさか我が家で使える日がやって来るとは。しかも、お掃除ロボットとして……。

そう、お掃除ロボットの「ルンバ (Roomba)」が、毎日のように家の中を動き回っている。購入したのは 8 カ月前の昨年夏。週末に掃除係を任命されている私は、何とか楽をしたいと考え、以前からルンバに注目していた。

そして、量販店で手にしたパンフレットのキャッチコピー、「マサチューセッツ工科大学 (MIT) のエンジニア 3 人が造った AI ロボット……」を読んだ瞬間、MIT にも憧れを感じていた私は、ためらうことなく購入を決めた。

家に持ち帰り、早速セットアップして試してみると、どうにも動き方が稚拙だ。同じ場所をぐるぐる回ったり、ガラス窓に思い切りぶつかったりと。そんなはずはない、と 30 分ほど見ているうちに、いよいよ推論エンジンが機能し始めたような動き方になってきた。かつて本や雑誌の記事で読んだ AI のアルゴリズムが、円盤型のルンバの内部で実行されている様子を私は十分に想像できた。

もともと地雷探査のために開発されたというから、このお掃除ロボットに組み込まれている技術には奥深いものがあるに違いない。最初のうちは取りこぼしていたホコリも、やがて見事に吸いこんでいく。

そして 1 時間ちょっとたったのだろうか。部屋の隅に置いてあるベースステーションとワイヤレスで通信しながら、ちゃんとホームポジションまで戻って充電を開始したではないか。中央にあるランプがオレンジ色に点滅して、ま

るでウルトラマンの胸に付いているランプのようだ。おお、これはまさしく「AI ロボット」と呼ぶにふさわしい。

20 年越しの AI との出会い。私は毎週末、きれいに掃除された部屋の中で、IT の恩恵をたっぷりと享受している。

(EM インダストリー事業部：石田雅也)

## No.502

### 新世界を切り開くエンジニアたち / 犬にストーキングされています

2011年4月21日

## 【コラム】犬に弱すぎる編集者のつぶやき 犬にストーキングされています

現在、私は友人 2 人と 3LDK のマンションでルームシェアをしています。入社時間や就寝時間などのそれぞれの生活習慣がまったく異なるため、顔を合わせる機会はほとんどありません。1 人暮らし時代と比較すると家賃も半額以下、広いリビングやシステムキッチンを利用できるなど、たくさんのメリットがあります。

ただ、今年 1 月から友人が飼い始めた同居犬（生後 6 カ月の柴犬・オス）に付きまとわれて困っています。私がリビングやキッチンにいると、常に背後にいて上目遣いでこちらを見ながら、尻尾をフリフリ。私が部屋に戻ろうとすると、ドアの前でスフィンクスのような格好になり、私の進路を遮ります。私の部屋に入れると、すぐにベッドに飛び乗り数時間にわたり占領します。

彼はまだトイレのトレーニング中で、時々“お土産”を残していくので、正直なるべく部屋に入れたくはないです。ただ、私が部屋に閉じこもっていると大音量で部屋の前で吠え始めます。近所への迷惑を考えると、結局は一度部屋に招き入れなければなりません。

なぜ、そこまで好かれてしまったのか？ 恐らく、私が夜の散歩に連れて行ったり、暇な時に背中や足をマッサージしているからだと推測しています。

私もこの犬のことは好きで、最近人に好かれていないので正直うれしい気持ちもあります。ただ、飼い主が嫉妬してしまったため、若干シェアハウス内の人間関係が悪化してきました。最近、飼い主は犬の名前ではなく「このストーカー犬!」と呼び始めました。犬の生後 6 カ月は人間の 9 歳に相当するそうですが、そうした社会的なこともそろそろ覚えてもらいたいです。

(TechTarget ジャパン編集部: 翁長 潤)



## No.503

### スマートに広がるソーシャルプラットフォーム/Ustreamで話せる説明男子いませんか？

2011年4月28日

# [コラム]“説明男子”が好きなアイティメディア社員のつぶやき Ustreamで話せる 説明男子いませんか？

すいません、ついにデビューしてしまいました。なんてたって、アイドルじゃないですよ。いや、アイドルとしてのデビューも将来の夢として引き続き見据えてはおりますが、違うんです。私、Ustream デビューしてしまったんです。

事の発端は、先輩社員の一言でした。「@ IT 通信」の熱心な読者の皆さまなら、きっと覚えていらっしゃるでしょう。「@ IT 通信」No.477に掲載されたコラム「あなたのそばにもきつという『説明男子』」を。何を隠そう、私も大の“説明男子”好き（“説明男子”とは何たるか、というところもためになる説明はバックナンバーをご覧ください）。尊敬する先輩であり、説明男子愛好仲間でもある小笠原さんと私が「こんな説明男子は好きだ」と盛り上がっているところ、別の先輩社員お2人に「その会話さあ、Ustreamで放送しようよ」と勧められてしまったのです。

いや、無理です。面白い話できないですよ、私シャイですし。えっ、これががんばったら世の中の説明男子が周囲に集まってきてモテモテ？ 本当ですか？ 説明男子と結婚できる？ じゃあやります。

そんな勢いで始まってしまった放送ですが、のんきにかまえていた私たちをよそに先輩方はやる気モード。「50人同時閲覧目指そう！」なんて無理だよなあ、と思っていたのに、放送を続けてひたすら喋り倒していると思った以上に閲覧してくださる方が増えていきます。皆さんどんだけお暇なんですか！ と口では言いつつ、なんででしょう、この高揚感。Twitter でリアルタイムにいただく「よく意味が分かりません」というツッコみが気持ちいい！ 痛気気持ちいい！ 気付けば閲覧者は45人まで増えていました。

時間もテンションも限界を迎えたため、第1回の放送は取りあえず45人までの閲覧状況でストップしました。トークだけで場の空気を盛り上げるのはなかなか難しく、力不足を痛感しましたが、思った以上に周囲の人から好評の声もいただいたので調子に乗ってまたやってしまうかもしれません。

その際はぜひ、私たちの華麗かつ残念なトークをご覧くださいね。ちなみに、ゲスト出演したい“説明男子”も自薦他薦を問わず募集中です！

(営業統括部：斎藤未来)

## No.504

# 激走するフラッシュメモリ / ひこにゃんと鹿に癒やされたゴールデンウィーク

2011年5月12日

## [コラム]ねとらぼ編集者のつぶやき ひこにゃんと鹿に癒やされた ゴールデンウィーク

ゴールデンウィークを利用して、彦根城に行って参りました。目当てはゆるキャラ「ひこにゃん」です。彦根城では週に何日かひこにゃんのショウタイムがありまして 30 分ほどひこにゃんを堪能できます。ショウタイムといっても歌ったり踊ったりではなく、ポーズを取ったり MC (?) のお兄さんと小芝居をしたり。ショウというよりは撮影会といった感じで、観客はカメラや携帯で写真を撮りまくっていました。

しかもひこにゃんはポーズを取るとしばらくそのまま止まってくれてくれるので、すごく写真が撮りやすい。さすがバレンタインに 200 個プレゼントをもらうだけのことはある「モテ」ゆるキャラだなあと感心しながらひこにゃんを堪能してきました。ちなみに実際に見たひこにゃんはかなりでかかったです。登場した瞬間周りの人が口々に「でかい……」とつぶやいていたのが印象的でした。

せっかくなので奈良にも寄ってきました。残念ながら、せんとかんには会えませんでした。奈良公園で鹿と戯れてきました。東大寺辺りの鹿は、鹿せんべいをあげようとしても食べ飽きたのか見向きもしてくれず……。別の場所に行くと打って変わって、入れ食いと言いたくなるほど食いついてきてくれました。せんべいに食いつく鹿の姿はほほえましく、ほのぼのした気分になりました。

さて、ここから宣伝ですが、ITmedia では 4 月に新チャンネル「ねとらぼ」(<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/>) が立ち上がりました。というか、ねとらぼ自体は 2008 年からコーナーとしてあったのですが、うっかり独立しました。萌えキャラやゆるーいネタ、誰得情報から割とまじめなお話まで、話題の種をお届けできるよう頑張りますのでご愛顧よろしくお願ひします。

(ビジネス・コンシューマー事業部：廣渡 朝子)

## No.505

### 五月病を乗り切れ！ 新人プログラマ／楽しいロストバゲージな過ごし方

2011年5月19日

## [コラム]ITmediaガジェット編集長のつぶやき 楽しいロストバゲージな過ごし方

インドに旅行したときのお話です。香港経由デリー行き飛行機がインディラガンディー国際空港に到着したのは深夜もまわった時間でした。到着すると普通は預けておいた荷物を受け取り、出口へと進んでいくのですが、なぜか自分の荷物が見当たりません。待てど暮らせど、やってこないマイバッグ。そして、気がつくと数名の日本人が、その場で立ちつくしているのです。そうです。いわゆるロストバゲージというものに巻き込まれたわけです。

そんなわけで今回、ロストバゲージを楽しく過ごす方法を皆さまに、ご紹介したいと思います。普段記事執筆に追われる日々ですが、たまの休みにはドンと旅行に出かけるのがもっぱらの楽しみです。そんな貴重な旅行初日のワクワクを突き崩すロストバゲージに遭遇すると、人は大体「えへら」と自嘲気味に笑うものです。自分とは、真っ先に Twitter に投稿した口でした。「ロストバゲージなう」。多分、誰かに聞いてもらわないと落ち込むかと思ったのでしょう。

ほどなくして、やることは1つです。バゲージクレームには必ずある受け付けに赴くことです。「なんで出てこないんじゃ、ポケー」と怒りをぶつけたいところですが、つたない英語力では、それもかきません。クレームタグと照合して事務的に書類を提出します。今回の場合は同じ境遇の日本人が数名いたため、連帯意識で乗り切れました。

証明書を発行してもらい、ホテルに長期滞在する場合はホテルへ届けてもらったり、ツアーだった場合はツアーコンにお願いしたりして解決です。きっと数日で届けられるでしょう（時々、最後まで出て来ない場合もあるので、注意）。

ただ、自分は日々移動を繰り返し、滞在先も現地でゲストハウスを探す根なし草状態での旅行でした。滞在先が決まったら連絡する旨を何とか伝えておき、すべてをあきらめ、ほぼ手ぶらで旅行を開始することにしたのです。荷物はどうやら経由地の香港で下ろされてしまったようです。

結局、インド滞在5日目まで荷物を受け取ることはできませんでした。その間、同じかつこうというわけにもいかないの、着替えや生活用品を現地調達していきます。せっかくなので現地の衣装を買い求め、ちょっとしたコスプレを楽しみました。そして、荷物を空港で受け取り思ったことは、「この荷物いらなかったんじゃないか？」

という疑問です。機内に持ち込んだ貴重品とカメラだけで移動し、現地調達した着替えなどを詰め込んだビニール袋を片手にふらっと旅行するのが、意外や快適だったのです。行く先々でも身軽過ぎると笑いも取れました。

ロストバゲージすると、大体落ち込みます。でも、ないものは仕方ありません。せっかくなので、それをネタに生活用品を買いに市場に出かけたり、服を買うために交渉したりと、楽しんでほしいものです。多分、何も困ることはありません。

常用の薬や大事なものは、機内に持ち込んでおけば万全です。また保険などに入っている場合は、帰国後でもロストバゲージ中にかかった代金を 10 万円を限度額に請求できます。レシートや購入したものなどは控えておいてくださいね。物価の安いインドなら買い物し放題ですよ。

ちなみに、荷物がなくなり一番困ったことは充電でした。iPhone やカメラの AC アダプタがロストバゲージした荷物に入っていたのです。iPhone は Wi-Fi が飛んでいるところでは、現地の情報収集にも役立ちます。焦りましたが、旅行者に聞いてみると、けっこう持っているもので、何とかなってしまうから不思議です。

(ネット&カルチャー統括部：加藤亘)

## No.506

### 季節の変わり目には注意しましょう／帰ってきたラジオ小僧

2011年5月26日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき 帰ってきたラジオ小僧

学生から社会人となって、2カ月がたちました。自分の環境、特に生活リズムは一変しましたが、その影響もあるのか、社会人になってから早くもマイブームができてしまいました。

第2次ラジオブームです。

自分がラジオに初めてハマったのは高校2年生のとき。夜更かししたいお年ごろだったのででしょうか。友だちに勧められたのをきっかけに、深夜に勉強するふりをしてラジオを聴く、という習慣が始まっていました。学校があるので、平日はある程度自重していたのですが、金曜日の夜や、夏休みなど長期休暇になると毎日のように聴いていたような……。よっぽど勉強したくなかったのでしょう。

当時は、外出中のためラジオをオンタイムで聴けない場合、わざわざ番組をMDに録音して後で聴いていました。今思えば、相当面倒なことをやってたなあ、としみじみ思います。録音中は、MDコンポを電源の消し忘れかと家族に疑われて電源を切られ、もめたこともいい思い出です。

そんなラジオっ子だった自分も大学生になると、ラジオから心が離れていきました。外出が劇的に増え、面倒な作業が嫌になったからだと思います。そして5年たった今再び自分にラジオブームがやってきました。

聴く番組は相変わらず、深夜のラジオ番組が中心ですが、高校生のころと劇的に変わったのは、ラジオを聴くスタイル。今の自分のラジオ生活を支えているのはポッドキャストと動画投稿サイト（ニコニコ動画）です。あのころ聴いていた、お笑い芸人のトークラジオは、ポッドキャストで自動更新して、通勤電車の中で聴いています。休日は家の中で、動画投稿サイトにアップされたラジオ番組をパソコンで聴くような時間が増えました。

自分のラジオへの接し方が変わったということだけでも、世の中変わったなあ……と感じられるのが面白いです。コンテンツの視聴に時間と場所の制約がなくなったことで生活が大きく変わってしまうものですね。そんなこと、普段生活している中ではなかなか感じ取れないものですが、5年ぶりのラジオへの復帰は、昔の思い出と共に、自分に世の中の変化を気付かせてくれたのでした。

(IT ガジェット統括部：池田憲弘)

## No.507

# iOS 5発表までにiOS SDKのAPIを振り返る／ウワサで踊ろう

2011年6月2日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき ウワサで踊ろう

いまや、すっかり日常に溶け込んでいるスマートフォン。ちまたでは、この秋に「iPhone 5が出る」とか、「いや出るのは、iPhone 4Sだ」とか、いろいろとうわさされていますね。何にせよ、まだ姿もはっきり分からない新製品について、あれこれと想像を膨らませるのは楽しいものです。

私が携帯電話を初めて触ったのは小学生のころで、年の離れた姉のお下がり譲りを受けたものでした。もちろん当時はFOMAカード差し替えのようなことはできませんから、お下がりのケータイを通話やメールに使えるわけもなく、ひたすら3和音の着メロを自作して楽しんでたというのが私のケータイデビューです。

中学生になると、自分もようやく親にケータイを買ってもらえることになりました。ただでさえ、人一倍関心を持っていたケータイなので、初めて買うものを選んだときのワクワク感は、いまでも覚えています。あいにく買って3日後にケチャップをぶっかける羽目になったのですが……。

初めてのケータイを手にしてからというもの、新製品が発表されるたびに「どんな機能が付いたんだろう」「どれだけ使いやすくなったんだろう」とドキドキの連続でした。新製品についてのうわさが出始める時期から、2ちゃんのスレに毎日のように張り付き、「カメラが付くらしい」「ストレート型でも折りたたみ型でもないらしい」などといった根も葉もない情報に目を輝かせていたあのころを懐かしく思います。

そんな自分の少年時代のことを思い出すと、いまの小中学生も新しく出るスマートフォンやアプリのうわさに同じようにワクワクしているのかなと、ふと思うときがあります。IT技術の発展に伴い、昔のように「ついにカメラ搭載!？」などという単純な進化では語りづらくなっているモバイル事情ですが、完成品を享受する楽しみのみならず、“これから”を想像する楽しみもあり、続けてほしいところですね。

(ビジネスイノベーション統括部：本宮学)

## No.508

### あの文字を使うにはどうすればいい? / BOT系Twitterアカウント

2011年6月9日

# [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき BOT系Twitterアカウント

初めまして。2011年4月に新卒で入社させていただきました太田智美と申します。今回は、私のTwitter事情についてお話しします。

2年ほど前のある日のことでした。同級生から「Twitter始めた?」「フォローしたよ!」と、声を掛けられるようになりました。ところが、そのころの私はまったくのアナログ人間で、Twitterでつぶやくどころか、アカウントを作ったこともありませんでした。さらにいえば、Twitterというメディアの存在さえ知りませんでした。そんな私がどうしてそのような言葉を掛けられるようになったのでしょうか???

そう……、私になりすましたBOTが存在していたのです。同級生の何人かがふざけて作ったらしいということが後で判明しました。最初のツイートは「Twitter始めたよ~! よろしくネ☆」という、いかにも私っぽいキャラクターでのTweet。そして次のツイートには、アカウントのパスワードが公開されていました。つまり、このアカウントを使っていつでも誰でも私になりすましてつぶやくことができるプラットフォームが、Twitter上に展開されていたのです。

つぶやきの内容をしてみると、私のプレゼンテーションに合わせて「あ~、ドキドキする~」や「ご清聴ありがとうございました!」などがあり、あるときには「ちょっと暑くなってきたから上着脱ごつと!」なんていうツイートもありました。

こうして、私のTwitterアカウントは生まれました。BOTを譲り受けて、今でこそ個人運用をしていますが、もともと、アカウントもアイコンも自分で作ったものではありません。これこそ、オープンソーシャルプラットフォーム。そんな時代を経て、私のアカウントは今も元気に活動しています。

(IT インダストリー事業部営業統括部第四営業部 : 太田智美)

No.509

Biz/Browserってクールなの？/ポロシャツ一択！“スーパークールビズ”のススメ

2011年6月16日

## [コラム]アイティメディア新入社員のつぶやき ポロシャツ一択！ “スーパークールビズ”のススメ

先日環境省が提案した「スーパークールビズ」。同省ではTシャツ、ポロシャツ、アロハシャツ、ジーンズ、サングラスでの勤務を認め、同様のスタイルでの勤務を認める企業も増加中です。弊社も先日スーパークールビズの導入を発表しました。

さて、ビジネスマンの皆さんは今まで「スーツしか着てはいけない」という窮屈なような、楽なような世界で生きていたのに、このスーパークールビズによって“スーツ以外のビジネスカジュアル”というまいち訳の分からないスタイルを追求しなければならなくなりました。きっと皆さんは「何を着たらいいんだろう?」「スーツの方が選ぶ手間が省けて楽なのに」など思っているはず。導入以後もスーツを着ている方、結構いらっしゃるのではないのでしょうか。そこで大学時代アパレル企業でアルバイトしていた私が、ビジネスシーンでおすすめのクールビズスタイルを紹介したいと思います。

それは“ポロシャツ”。ポロシャツの多くは、鹿の子編みのコットン100%で、風通しが良く、汗もよく吸収してくれます。ドレスシャツでは汗をかいたら背中がべったりと濡れてしまいますし、臭いも気になりますが、ポロシャツなら涼しく、快適に過ごせます。

また、もともとポロ競技向けのウェアだったこともあり、アメリカではセミフォーマルな時にも着用する方も多く、ビジネスシーンにはもってこいのアイテムです。まあ、単純にTシャツよりも、襟付きのシャツの方がきちんと見えますし、襟で高さが出るのでスタイルも良く見えますしね。

ビジネスシーンでのポロシャツは、サイズの選び方と着こなしが重要です。オーバーサイズのポロシャツを、パンツにインして着てしまったら、それぞれ“休日のお父さん”のようになってしまいます。サイズはなるべくジャストで、丈は長すぎず短すぎず、大体ベルト下3cm位の物を選びましょう。ボトムスには、チノパンやスラックスパンツを合わせます。こちらもなるべくジャストサイズで。足元には、TPOに合わせてローファーやストレートチップなどの革靴を履くことで、ポロシャツでもきちんとした印象を与えられます。

暑い日にスーツを着て汗だくになっているビジネスマン、見ている側としては、気持ちの良いものではないで



すよね。マナーとしてスーツを着ているはずが、相手に不快感を与えてしまっては元も子もありません。「スーパークールビズ」が許された今、ぜひポロシャツを有効活用して、スマートな夏を過ごしてほしいと思います。

(ねとらぼ編集部：笹山美波)

## No.510

### スーパーコンピュータとは? / 見えてきた、新時代ITの原動力

2011年6月23日

## 【コラム】@IT創業者のつぶやき

# 見えてきた、新時代ITの原動力

こんにちは! 「@ IT」 をご愛読いただきありがとうございます。エンジニアでないにもかかわらず、IT の、その“技術”トレンドに注意を払いながら長くビジネスをしてきました。

そのトレンドですが、この3、4年、それ以前とは明瞭な変化を感じてきました。乱暴にそれを1つの傾向として表現すると、「コンシューマリゼーション」と言い表せます。

むろん、背景にさまざまな要素が絡まりあっていますが、「消費(者)化」、すなわち、エンドユーザーの欲求がビジネスや技術進化の原動力になっていることは明らかです。

まだ「?」でしょうか。では、さらに砕いて説明します。例えば、「モバイル(スマートフォン)」。あるいは「ソーシャル(メディア)」。いずれも、数年前に私たちの視界に姿を現した際には、それが企業活動や社会、経済に影響をもたらすとまでは想像できませんでした。

まさしく、「消費者」の振る舞いの一コマにしか見えなかったのです。けれど今は、それが消費活動はもちろん、企業活動を、そして社会、国家のあり様さえ変えかねないうねりを見せています。

このメガトレンドに通底しているのは、消費者がその感覚に正直に振る舞う、かつ、その感覚を際限なく拡張していくという方向感でしょう。モバイル機器を持ち、ソーシャルメディアに常時つながった消費者は、かつてない規模で活動の自由と可能性を広げています。

価値観も変わります。消費者には“操作感”などユーザー体験が重大な意味を持ちます。この点を満たさない商品は存在意義を失います。さらには、いったん利便性を得た「企業内消費者」は、企業内システムの“掟”をよい意味でも悪い意味でも侵食しつつあります。

これから半導体、ネットワーク、データベース、各種サーバ技術などの他分野が、消費者が手にした新次元の利便性に奉仕すべくさらに発展を遂げることでしょう。「クラウド」という語も、実はコンシューマリゼーションの一環を成す概念だった、ということにもなりかねない動向です。

さて、そうは言ってもこのメガトレンドは巨大であるが故に多面的な動きを生じることでしょう。エンジニア諸氏がどう未来の仕事を見いだすべきか、1 つだけの正解があるわけではありません。自らの中にある“コンシューマ”の感覚を大切にしながら、先々を見越していくべきでしょう。

面白く、変化に富んだ未来が見えてきました。

最後になりましたが、「@ IT」の運営会社を創業して 11 年目。新しい IT の潮流に棹さず振る舞いを求めてアイティメディアを離れることになりました。

私が当コラムで執筆するのもこれが最後です。お付き合いありがとうございました。

(アイティメディア 取締役：藤村厚夫)

No.511

クラウドを制するものは、ITを制す！ / 26歳独身OLの1人暮らし@南青山

2011年6月30日

## [コラム] アイティメディア営業部員のつぶやき 26歳独身OLの1人暮らし@南青山

「ところでお兄ちゃんにも伝えたから、一応あなたにもいっておくけど、30歳までに家を出て行ってね」。

私が26歳にして初めて実家を出て、都内で1人暮らしを始めたきっかけは、母から告げられた一言だった。4年弱の猶予は残されていたものの、そういわれたこと自体に何ともいえない寂しさを覚え、SUUMOで田園都市線・半蔵門線沿線の1人暮らし用マンションを検索し、その日のうちに2軒の内覧を申し込んだ。

乃木坂駅から徒歩3分、青山一丁目駅・六本木駅から10分、鉄筋コンクリートの3階建てでオートロック付きという好条件のわりに、家賃がすこぶる安かった。トラブル物件ではない、という不動産会社の言葉をただただ信じたい。入居から半年が経過したが、幽霊にはまだお目にかかっている。

南青山というエリアに住んでみると、小学1年生から暮らした実家のある宮前平（川崎市）と違って、面白いこともたくさんある。まず、近所にガールズバーがある。一度行ってみたいと上司にせがみ、先日連れていってもらった。ちなみに上司は、その後再訪したようである。また、ミッドタウン内に入っている24時間営業のスーパーに行く途中には、某超有名芸能事務所所有と思われるスタジオがあり、レッスン帰りのきれいな少年たちに遭遇することもある。女性の私にとっては、こちらの方がガールズバーよりも癒し効果がある。天気の良い休日はミッドタウンの裏にある公園や青山霊園など、お散歩コースも充実しているので、するかしなないかはさておき、ダイエットの環境は整っている。

しかし、26年もの間、父・母・兄の家族4人の生活に慣れてきた私にとって、誰もいない部屋のドアを開けるたびに郷愁を感じてしまい、大手町のオフィスから1時間かけて宮前平に帰ることが最近増えてきた。兄とビールを飲みながら母の作った夕飯を食べる時間は至福のときである。そして、南青山のマンションに帰らない日があまりにも続いたため、先月の電気代はたったの1300円であった。

(EM インダストリー事業部 営業統括部 : 新井友子)

## No.512

### とっとと作ってしまおう! / エジプト革命の後のタハリール広場にて

2011年7月7日

# [コラム] 革命家を目指す営業部員のつぶやき エジプト革命の後のタハリール広場にて

私は人が熱を持って行動しているのを見るのが好きだ。本気の人の熱はやがて周囲に伝播し、大きなうねりとなって化学反応を起こす。その反応の積み重ねこそ、歴史と呼ばれるものなのではないか、と私は考えている。例えばその状態は革命と呼ばれることもある。つまるところ私は革命が好きだ。

確実に歴史に残るであろう革命が 2011 年 1 月 25 日、エジプトで起きた。チュニジアで起きたジャスミン革命に触発され、29 年にわたるムバラク大統領の独裁政府を倒したエジプト革命だ。「これはもう現場に行くしかない!」と判断した私はゴールデンウィークを利用してエジプトを旅した。本当はシリアにも行きたかったのだが、私がシリアの首都ダマスカスに到着した 4 月末には本格的な内戦状態に入っており、入国できなかったのだ。結局その晩は、20 名ほどの濃いヒゲだらけの空港警察の集団の中で一夜を明かすこととなった。

シリアではさんざんな目に遭ったが、翌日はエジプトの首都カイロに到着。早速、革命の中心となった「タハリール広場」に向かう。革命後、混乱が続いていると見られているのか、観光客はまばらだった。

しかし、観光客向けに「革命 T シャツ (革命の起こった日付 1.25 がおしゃれ)」や「革命記念ハンカチ」が売られていた。広場では、今なお混乱の続くリビアやシリアを助けよう、というデモの真っ最中で、シュプレヒコールが鳴りやむことはなかった。

私はそのデモに参加していた、ノリのよさそうなエジプトの若者と話をした。彼もずいぶん警官とやりあったらしい。革命後何か変わったか、との問いに、「今までより、警官を恐れなくなった」と答えてくれた。何かにつけて賄賂を要求するような悪徳警官もいたらしいが、今は姿を潜めているという。「まあみんな警官を馬鹿にしちゃって、交通渋滞がひどくなったんだけどね」と言ったので、「それは元からだ」と返して 2 人で笑った。

しばらく話を続けたら、携帯持ってるか? と聞かれた。私はここでは持っていない、と答えたところ驚かれた。彼はピカピカの Nokia 製スマートフォンを出しながら、その場で私の Facebook アカウントを聞き、フレンド申請してくれた。iPhone が主流ではないのか? との問いには、「クールだけど高い」と答えてくれた。

本当に Facebook 革命だったのだなと妙に感心しながら、ムバラクがインターネットを遮断したときのことを聞いた。「あれはケッサクだった。ネット遮断で何が起きているか分からない人たちがこの広場に集まって、革命を

加速させたんだから」と。

「今はまだまだ自由を実感できてないけど、これからは絶対楽しいよ。俺の給料、今は月 2 万くらいなんだけど、もっと豊かになって、恋人と子供作って、でかい家に住むんだ。津波とか大変かもしれないけど、ジャパンは自由で楽しいだろ?」、と話す彼は本当に楽しそうだった。自由は自由で結構大変だけど、幸せになれよな、と言って、彼と別れ、私はタハリール広場を後にした。彼と話した後は、なんだか楽しい気分になっていた。

私は革命も好きだが、自分の明るい未来を信じて楽しそうにしている人間を見るのもまた好きなのだ、と気付かされた 1 日だった。最後にムハンマド、お前、絶対幸せになれよな!

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第四営業部 : 山田竜司)

## No.513

### おばかアプリって何だっけ? / アイデアを「アプリ」という形にするために

2011年7月14日

# [コラム]おばかアプリを愛する@IT編集部員のつぶやき アイデアを 「アプリ」という形にするために

@ IT のデザイナー向けコーナー「デザインハック」を世に広めるために、デザイナーと開発者の交流をテーマとして開催された「おばかアプリ選手権」。初回から、AdobeAIR / Flash や iPhone などデザイナーが好む技術を使ったアプリが多く発表されました。その後、その適用技術やプラットフォームが 1 人歩きして、AR (拡張現実) や楽器、自転車、手袋型デバイス、Twitter、ソーシャルアプリ、さらには重量、マルチタッチ、脳波、貧乏ゆすりなど、さまざまセンサを .NET の技術で扱うまでに広がっていきました。

おばかアプリはユーザーに愛されなくてはなりません。そのためには、さまざまな技術を駆使した機能はもちろん、デザインも重要です。デザイナーと開発者がコラボして、アプリにナイスなデザインを付加させて、その本気度を、おばか度を選手権で競い合ひましょう、という基本的な趣旨に加え、「ウケそうなネタをいかにアプリという形に落とし込むか」ということも重要になってきました。

ウケるためには、技術はどれを使ってもアリだし、デザインに凝り過ぎる必要もありません。もちろん、凝ったデザインでウケを狙うのもアリです。むしろ、おばかアプリを通して、未知の技術や見たこともないデザイン、意外なプレゼンの演出に触れて、その視野を広げていただく機会にもなったかと思っています。重要なのは、1 つのアイデアをいかにしてアプリにするかのプロセスだろうということで、昨年は「おばかアプリを作りたいけど、何をどうすればいいかわからない」という方のために、「おばかアプリ勉強会」を開催しました。アイデアを形にする数々の“プロセス”の例からヒントを得て、アプリ作成に役立てていただきました。

今年も、「第 5 回おばかアプリ選手権」に先立ち、「おばかアプリプレスト会議」と称した勉強会を開催します。趣旨は、アプリの企画や実装、UI デザインを持ち寄っていただき、それを基にプレストして「おばかアプリ」として完成させるためのヒントを得ていただくというものです。プレスト相手は、YUREX (ユレックス) の母 天羽裕美さんや、コンチの父 牛木匡憲さん、そして、選手権の常連メンバーです。

7月16日という3連休の初日で恐縮ですが、アイデアを「アプリ」という形にすることに興味のある方は、ぜひお越しいただければと思います。ビール片手に面白さを追究するためにワイワイできますし、秘密のお土産もありますので、ぜひご参加を!

(@ IT 編集担当:河内典子・平田修)

## No.514

### 何をするにもチームワークは大切です / 息子が鉄っちゃん

2011年7月21日

## [コラム] 息子を溺愛する営業部員のつぶやき 息子が鉄っちゃん

2011年7月10日に息子が2歳になりました。1歳を過ぎてから、歩行とちょっとしたおしゃべりを覚えて、一緒に過ごす時間がとても楽しく感じます。しかし気になることもあります、1歳ぐらいから急速に「電車」が好きになり、いまでは完全な鉄道マニアになってしまったのです。

寝言でも「電車!」と言っていますし、起きると1秒後には「電車!」と言ってきます。パソコンとiPadは電車を見るデバイスとして認識しているようで、開くとほぼ100%の確率でYouTubeの電車映像を再生しています。

特に小川企画というところが作っている中央線の映像と、一畑電車という島根県の鉄道の動画がお気に入りのようで、かなり再生しています。

幸か不幸か、私の家の近くには小田急線とJR線が走っており、見なくなったら簡単に電車を見にいけることができます。踏切で見る人が多いのですが、踏切が鳴って遮断機が降りるとテンションが最高潮に達し、すごい笑顔になります。

しかし、不思議なことに電車に乗るのはそれほど好きではないようです。とにかく見るのが大好きで、特に横から同じ高さで見ることが好きらしいです。自分はそれほど乗り物にひかれた記憶がありませんが、男子は皆こののでしょうか。

小学生になったら、夏休みなどを利用して一緒に電車を見に地方へ行くことになるのでしょうか（生で一畑電車を見てみたい気もする）。

将来は一流の車掌、もしくは運転手になってくれると思います。小川企画さん、今後も良い映像の制作、よろしく願いいたします。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第二営業部 : 鈴木 直人)



## No.515

# スマホアプリ開発でテストやセキュリティを気にしていますか？／ゴン太の一生

2011年7月28日

## [コラム]犬が大好きな営業部員のつぶやき ゴン太の一生

最近、iPhone アプリの「instagram」を毎日チェックしています。

特に、私のお気に入り、柴犬の写真をアップしてくれる marutaro さんのアカウントです。marutaro さんは、毎朝、海の近くを散歩しています。その、楽しそうな表情にいつも癒されながら通勤しています。

私も、その昔「ゴン太」という名前の犬（雑種）を飼っていました。小学生の私が、「ペットを飼いたい!」という一心で近所で生まれた子犬をもらってきたのです。

転勤族だったわが家は、いろいろな街に引っ越しました。そのほとんどが住宅街で、家の庭にロープにつながれて、じっとすることが多かったゴン太を見ると、「ペットが欲しい!」という私のエゴでもらってきたけれど、「本当にゴン太は幸せなのだろうか?」と思うようになりました。

私が高校生のころ、ゴン太が脱走するという事件が発生しました。一日たって、家に帰ってきましたが、「ゴン太は家でロープにつながれているよりも、野生で暮らした方が幸せなのかもしれない」といった母の言葉を今でも覚えています。

定年を迎えた両親は、実家のある長崎に帰りました。長崎の実家は山の麓にあり、ゴン太も大自然の中でのびのびと余生を送りました。

山の中を散歩しているとき、ゴン太は鹿を見つけると猛スピードで追い掛けていました。逃げ足の速い鹿に、ゴン太が追い付くことはありませんでしたが、犬本来の生き方を取り戻したかのように、毎日生き生きとしていました。

そんなゴン太も3年前に他界。ゴン太のお墓には、「あの世でも鹿を追い掛けられるように……」と、父が山で拾ってきた鹿の頭部の白骨が置いてあります。

犬語が分からない限り、ゴン太の一生が幸せだったかは知る由もありません。「せっかく俗世を離れて静かに暮らしていたのに、鹿を追い掛けさせるとは迷惑な飼い主だ!」と思われるかもしれませんが……。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第三営業部：寛司 絢子)

## No.516

### 攻めの姿勢が大切です / マーケターから記者へ

2011年8月4日

# [コラム] アイティメディア新人? 記者のつぶやき マーケターから記者へ

今年の4月から、「ねとらぼ」と「ITmedia ガジェット」で記者をしています。3月まではマーケティング・コミュニケーション部で自社のプロモーションをしていました。伝える情報が自社のことから他社のことに変わったのが大きな変化ですが、業務内容もまったく違うので、新入社員の気分で奮闘しています。この4カ月で印象に残った記事を振り返ってみました。

## 3位

[歯磨き専用スペースに結婚相談所も! 至れり尽くせりの韓国 NHN オフィス訪問レポート](#)

初めての海外出張で韓国に行ってきました。NHN 本社が本当に素晴らしかったというのが一番の感想です。ブンドンという街そのものがきれいで、何度か訪れている韓国のイメージとは違う印象でした。ただ、運転の荒さはどこに行っても変わらないようで、滞在したホテルの前で1日に2回、事故を目撃したときは、さすがにあきれてしまいました。

## 2位

[「俺のフィギュアも買って行ってくれ!」——ワンフェスで江頭 2:50 が大暴走](#)

出張から帰って次の日がイベント取材。幕張に着いた時点でヨロヨロでしたが、印象に残っているのは記事に書いた通り、エガちゃんの大暴走です。最初は最後列からズームレンズで狙う予定だったんですが、カメラの前に人が立ち始めてしまったため、ステージ横に移動。それが当たりだったのか外れだったのか、抱きつかれたりステージに上げられそうになったり、それはもう大変な取材でした。

## 1位

[Google に負けないものを作りたい——女子大生が挑む日本独自の「かわいい検索」](#)

一番印象に残っているのはやはりこちら。たくさんのツイート、Facebook の「いいね!」をいただき、どういった取材をして、どういった記事を書けば伝わるのか。そして読んでもらえるのかが少し見えた気がしました。これからも、こういった読んだ人がいい意味でドキッとしたりワクワクする記事を書いていきたいなと考えています。

(ビジネス・コンシューマー事業部 ネット&カルチャー統括部: 山本 恵太)

## No.517

### 夏休みの時期でも仕事の方へ／音楽で世界を巡るための5冊

2011年8月11日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 音楽で世界を巡るための5冊

@ IT 編集部の中平です。なぜか毎年「俺ベスト 20 曲」を選ぶことになっています。普段からロックを中心にいわゆる「洋楽」「邦楽」の人気のあるものはもちろん聴いていますが、日英米加豪にとらわれない世界中の音楽も好きで常に、聞いたことがない音楽を探し、ネットなどで情報収集にいそしんでいます。

なぜ、世界中の音楽が好きになったのかというと、まず私が飽きっぽい性格というのがあります。また、90年代によく読んでいた音楽誌『CROSSBEAT』が98年ぐらいに掲載した、とある号のマンギ・ビート特集が面白くて、そこから世界中の音楽が好きになっていったというのがあります。当時は、ネットを全然使ってなく、もっぱら情報源は雑誌や書籍だったのもあり、夢中になって読み返したものでした。

というわけで、私がよく読み返す世界中の音楽を紹介している書籍や雑誌を5冊並べます。夏休みに世界中の音楽を聴いてみる切っ掛けにしてもらえれば幸いです。

#### ▼ 1:『GLOCAL BEATS (CD ジャーナルムック)』大石始、吉本秀純 監修、

音楽出版社 刊、2011年3月

「Global」+「Local」=「Glocal」という文字通り、世界各地の民族音楽を基軸に、ネットやグローバル化によって広まったロックやヒップホップ、電子音楽などがごちゃ混ぜにされた面白い音楽ばかりを、さまざまな著者が章ごとに紹介しているカタログ本です。特に、『サイケデリックとしてのフォルクローレ』の章や、東南アジア系、カリブ海のソカ／チャットニー、メキシコのソン・ハローチョなど下記の雑誌や書籍で知らなかったものには、驚かされました。

#### ▼ 2:『音楽がわかる世界地図 今と過去、世界各地の音楽・楽器・ミュージシャンが一冊でわかる』

ロコモーションパブリッシング 刊、2005年11月

世界地図で位置を確認しながら各地の音楽の情報を読んで回れる本です。全体的に英米の割合が多いですが、カラーの世界地図やイラストが豊富で、読んでいて世界中を旅したような気分してくれます。2006年4月に出たVol.2も必見です。

▼ 3: 『エキゾ音楽超特急 完全版』 サラーム海上 著、若山ゆりこ イラスト、

文化放送メディアブリッジ 刊、2008 年 10 月

よろずエキゾ風物ライター／DJ として活躍する著者が、東南アジアやインド、アラブ地域を中心に現地の音楽家たちやフェスティバル取材したレポートを、氏の味わい深いイラストとともに地域ごとに掲載した旅日記。著者とともに世界旅行したような気分が味わえます。グナワ音楽、ケチャやガムランなどのインドネシア系、ベリーダンス、エイジアン・マッシュヴ／ポリウッドといったインド系などのディスクガイドとしても読めるので、お得です。

▼ 4: 『酔酒酔音—世界の音楽と酒への旅』 星川京児 著、音楽之友社 刊、2004 年 4 月

春夏秋冬+αの章立てで、古今東西の音楽を各地域の地酒とともに紹介するという一風変わった書籍です。著者は世界の音楽とともに酒にも造詣が深く、現地で聞いた音楽や飲んだ地酒のレポートがこれでもかこれでもかと登場する大変興味深い 1 冊です。酒と音楽の相性の良さは、万国共通のようですね。

▼ 5: 『STUDIO VOICE (スタジオ・ボイス) 2006 年 1 月号』

INFAS パブリケーション 刊、2005 年 12 月

紙媒体では惜しくも休刊してしまった『STUDIO VOICE』の音楽特集号。第 1 特集『再興ワールドミュージック WORLD CROSSOVER』、第 2 特集『ハイブリッド・ポップ! THE IMMIGRANT SONGS』ともに素晴らしい内容で、読み応え十分です。特に、第 2 特集の『移民の歌 80 選』ではデンゲ・フィーヴァーやオホス・デ・ブルッホ、ラシッド・タハなどの名盤が紹介されていてロック好きも必見です。また STUDIO VOICE は、2007 年 11 月号、2009 年 9 月休刊号などでも刺激的なディスクガイドを掲載してくれました。

紹介した本を読んで気になった音楽がありましたら、まずは聴いてみてください。マイナーな音楽でも、最近では Youtube や Amazon、iTunes などで検索すれば、大抵は試聴できます。本当に便利な世の中になりました。

(@ IT 編集部: 平田修)

## No.518

### 惨敗です／楽しい…… はずですよ…… 金魚飼育……

2011年8月18日

## [コラム]EE Times Japanの恐妻家のつぶやき 楽しい…はずですよ…金魚飼育…

「金魚と私、どっちが大事なのっ!?!」。妻は、私が新たな水槽を勝手に購入したことに、激怒しているようです。事後承諾だったことが悪かったのか、水槽が増えすぎたことが不満なのか定かではありませんが、とにかく1週間も機嫌が悪くなるぐらい怒っています。趣味の道を貫き通すのも、そう簡単ではありません……。

私の家庭のリビングを占める大小合わせて5つの水槽で泳いでいるのは、すべて金魚。20匹以上いるでしょうか。妻に言わせると、「同じ種類の魚ばかりでつまらない! 食べられないし!!」とのこと。ひとりで金魚といっても、実にさまざまな種類がいて、それぞれ格好も顔つきも違うでしょと、いくら丁寧に説明しても、なかなか理解してくれません。なぜだろう。

金魚の飼育を始めたのは、つい2年ほど前。近所に、金魚を養殖する飼育池があり、散歩の途中にふらりと立ち寄ったのがきっかけでした。今までの金魚のイメージを覆す風景に、一気に引き込まれてしまいました。まず、飼育のスケールがでかい。田んぼかと思うような大きな飼育池に、無数の金魚が泳いでいます。そして、飼育池の傍らのいすにどかっと座り、煙草をふかしながら、金魚を真剣なまなざしで見つめるおじいさん。隣に座ったお客さんと「この尾の流れは、なっちゃんねえ」、なんて会話をしています。イメージとのギャップをきっかけに相手に興味を持つことは、人間社会でも多々あることかと思いますが、私もイメージとの違いで金魚に興味を持ったのです。

飼育を始めて分かったことなのですが、金魚の表情はなかなか多彩で、かわいらしい。「いい歳して気持ち悪い…… この人……」と思うなかれ。金魚にも個性や表情があるのです。餌を欲しがるときの必死な形相は、なかなか迫力があります。餌を食べ終わったのに、物足りなそうに口をもぐもぐしている表情には、哀愁がただよいます。時々、眠たそうに大きなあくびをするというのも、ゆったりと泳ぐ金魚らしい。皆さま、日々のせわしなさと、喧騒を忘れられる金魚の飼育を試してみたいはいかがでしょうか。初期投資は5000円程度から。必要なのは、毎日の餌やりと、月に2回程度の水替え、そして愛情です。

ちなみに、冒頭に書いた妻からの質問への私の答えは、「そんなの比べられるわけじゃないか。もちろん、どちらも大事だよ!!」というもの。この回答で100点満点と思いきや、見事に火に油でした。難しい。私の趣味の世界に、妻をどう引き込もうか、思案しています。

(エンジニアリングメディア統括部 前川慎光)

## No.519

### 夏の終わりのやり残し / ネパールに心惹かれる理由

2011年8月25日

# [コラム] 旅ONETOP | キュレーター の つぶやき ネパールに心惹かれる理由

世間では夏休みが終わろうとしている時期にナンですが、まだ夏休みを取っていないので、ゴールデン・ウィークの旅行の話を書こうと思います。まだちょっと涼しかった、あのころです。学生時代からバックパッカーだったような人なら、きっと何度も訪れているであろうカトマンズ、なぜバックパッカーをそんなにも惹きつけるのか……。そんなロマンを求めて、ではなく、単純に日数と、予算と、そして「行ったことのない国を」という条件で今回の目的地に決定。「ヒマラヤ見られたらいいなー♪」程度の、ネパールの知識皆無で向かった私には、想像と違うことがたくさんで、なかなか思い出深い旅となりました。特にオチはないのですが、いくつかエピソードをご紹介します。

#### ●エベレストを観たいなら、行く季節を間違った

盆地であるカトマンズから、エベレストの山々は見えません。ポピュラーな方法は、カトマンズからほど近い「ナガルコット」という丘陵地帯から見るといいます。早朝そこに向かうヒマラヤ日の出ツアーに参加しました。が、この季節、夜になるとスコールが。そう、雨季です……。朝4時の出発時は何とか晴れかけたものの、靄（もや）が立ちこめて山々がハッキリ見えません。薄ぼんやりとした、幻想的といえば幻想的な景色。でも、エベレストかどうかは分からない……。ベストシーズンは秋ですか、そうですか。勉強不足でした。再訪する理由ができました。ちなみに、インドに向かうフライトで上空から雲の切れ間に現れたヒマラヤ山脈なら見たことあります。

#### ●カトマンズはシモキタだった

カトマンズは小さな町です。新市街と旧市街とありますが、正直割とどっちも「ザ・アジア!」です。(もちろん新市街の方がイマドキなお店もたくさんあるし、旧市街の方が旧き良き趣があります) そんな中、軒を連ねる店々を見て思いました。「……シモキタ?」そう、私の住む街、東京・下北沢。布やお香やフェルト雑貨のお店……。なんか私の通勤路にある「む〇ん堂」とか「チ〇カカ」とかで見るよ、こーゆーの!! そして一番の驚きは、下北沢をはじめ、小田急線沿線から東京近辺で展開するコーヒーと外国食材のお店「カルディ」のカフェがあったこと! まさかカトマンズでカルディに出会うとは……。スタバもないのにびっくりです。ちなみにネパールやインドは、紅茶がメインの文化なので、あまり美味しいコーヒーに出会うことができず、カルディで飲んだカフェオレにうっかり癒されてしまいました。

●ネパールは節電の先輩だった

実は、ネパールは日常的に計画停電のある国です。ホテルでも、きちんと「何日は何時から何時まで停電」と表示してあります（そして、その通りじゃないことしばしばだそうです）。大きめのホテルなどでは自家発電も備えているので、非常灯が点いたり、明かりに困ることまではありませんでしたが、携帯電話やカメラの充電だったり、シャワーの時間だったり、電気がない時間を計算しながらの日々。ちょうど東日本が突然の電力不足に慌てふためいていた直後だったので、ネパールの堂々たる(?)先輩っぷりを体感しながら帰国できました。

総じてネパールは、人も温かく、気候もおだやかで、とても居心地の良い国でした。実際、私は滞在していた数日間、本当に体調も良く、ここに移住した方が精神的にも良いのでは?! と思ったくらいです。人々がネパールを目指す理由が、少しだけ分かったような気になった旅でした。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 企画推進部：小野田涼子)

No.520

しっかり見ていますよ / SM 弁慶判断、承ります

2011年9月1日

## [コラム] オルタナばんちょ〜のつぶやき SM 弁慶判断、承ります

「上司が Twitter に夢中で、全然仕事をしてくれない」

「同僚の A さんは、Facebook で積極的に情報発信や交流をしているけれど、実は社内で干されている」

こんな人、あなたの周りにもいませんか？ ソーシャルメディア上の発言だけを見ると、とっても有能そうなのに実際のビジネスの場ではまったく活躍していない人。私はこういう人を「ソーシャルメディア弁慶」と呼ぶことにしました。今日から。

彼らの被害は、今のところまだまだ限定的です。でも、「ソーシャル・リクルーティング」なるものがこれから流行るそうなので、就転職の現場で「ソーシャルメディアで活躍しているのが優秀な人だろうと思って採用したのに、実際はまったく使いものにならなかった」と嘆く採用担当者が出てくるのも時間の問題でしょう。

採用担当者ならばその辺りを見極めるのも仕事のうちなのですが（ソーシャルメディアが流行る何年も前から、プロの採用担当者やハンターは、Web 上に散らばる情報も集めてこれぞと思う人の総合評価をしていました。そうやって、現在の会社の中では活躍できずに埋もれている将来のスターを見つけたりもしてきたものです）、これだけ情報が多くなってくると、真贋を見分けるのも難しいですよ。

だからね、「ソーシャルメディア弁慶を見抜きますコンサルティング業」を立ち上げたら、需要あるんじゃないかなーと思うんです。古参の人材屋さんたち、いかがでしょう？ 今後半年ぐらいは需要があると思います（それ以降は、ソーシャルメディア自体がどうなるか分かんないだわねー）。

（エンタープライズ編集部【兼、キャリアカウンセラー】：鈴木麻紀）



## No.521

### “雲”の未来はプラットフォームにあり / 飛んでイタタンプル ～トルコ腰痛旅行記～

2011年9月8日

## [コラム]リード研究所所長のつぶやき 飛んでイタタンプル ～トルコ腰痛旅行記～

節電の名目で今夏 1 週間の休暇取得に成功したワシは、旅に出ようと思った。国内もいいが、せっかく手に入れた 168 時間のフリーダム、どこか遠くに行きたい。未体験の文化に触れつつ、新たな味体験も重ねたいではないか!

そういえばワシ、今までイスラム圏に足を踏み入れたことがなかったな。このままでは世界平和を語る資格がない。ではいざ聖地エルサレムへ! ……と思ったものの、中東周辺は今何かとアレなんで比較的安心感のある? トルコ共和国を選んだ。

日本とトルコの友好が 120 年に及ぶとはいえ、直行便でも約 11 時間、物理的な距離は遠い。切符はもちろん格安エコノミーなので、否が応でもカラダがこわまる。ラク (トルコ産のきつつい蒸留酒) でも飲んで、酔っ払って寝るしかない。

トルコに着いたら国内線に乗り継ぎ、奇岩群で有名なカッパドキアに向かった。ここでワシの印象に残ったのは、数万人のキリスト教徒が迫害を逃れて棲みついたという地下 8 階の巨大な闇空間、カイマクル地下都市だ。冷気漂う通路の天井は低く、壁は狭く、しゃがみ込むように進む。所々に敵を防ぐための回転式岩壁があったりして、気分はレイダース。通気孔兼水道などのインフラに加え、教会やワイン製造などの施設も完備で、生活の場を地底に求めた人達の凄まじい開拓魂を感じた。

カッパドキアからイスタンブールに移動すると、世界は一変する。白茶けた火山岩に覆われたアナトリアの大地から、蒼く輝く海に囲まれたヨーロッパの都市へ。石畳で舗装された市街地を歩けば、コンスタンティノポリスの栄華が偲ばれる。この街を欲しがったメフメト 2 世の気持ちが、ちょっとだけ分かる気がした。

気分も新たに、アヤソフィアなどの世界遺産を訪ね、鯖サンドなどのトルコ料理を堪能するうちに、腰のあたりが硬直して違和感が高まってきた。長時間フライトや地下都市探索、石畳歩行などの疲労が、ボディブローのように効いてきたらしい。

そこで最終日前日、旅の疲れを癒そうとハمامに入った。トルコ式銭湯で、サウナにアカスリが付いた場所で

すな。ところが、ワシに付いた担当者がやたら暴力的なオヤジで、マッサージの最後に逆エビ固めのような姿勢をキメられた瞬間、ワシの中の何かがスパーク! だましだまし抑えてきた腰の痛みが、決定的なものとなってしまった。

翌朝、普通に起きれないワシがいた。壁を伝ってなんとかつかまり立ちしたものの、少しでも前傾すると激痛が走るので、机の上のメガネを拾うのさえ絶望的な気分になる。このまま、出発まで寝ていたい。しかし、2度と来れないかもしれないこの街を、もう少し味わっていたい。アンビバレントな葛藤の末、予定していたバザール探索はあきらめた。それでも執念のヨチヨチ歩きで近場の食堂にたどり着き、トマトスープを食べることはできた。トルコ最後の思い出は、酸味が効いて、うまかったぜ。

今回の旅を振り返ると、やはりトルコという国は十字路なのだと思う。ヨーロッパとアジアが交差する地点にあって、自分の文化をしっかりと持ちながら他者のそれも受け入れることで、平和と独立を保っているように見える。タフでありながら柔軟で優しいトルコの人たちには、学ぶべき点が多い。

最後に、これからトルコ共和国を訪ねる人に向けて、ワシのメッセージを贈ろう。

“腰痛の時ハママに行ってはいけない”

ではよい旅を!

(リード研究所:小柴豊)

## No.522

「オマエ言ったじゃないか!!」「知らねーよ!!」/  
初めてのキャニオニング、20メートルの滝から「え〜い!」

2011年9月15日

**[コラム]アイティメディア広報担当のつぶやき**

# 初めてのキャニオニング、 20メートルの滝から「え〜い!」

皆さまは「キャニオニング」というアウトドア・アクティビティをご存じでしょうか? 溪流を滑って下ったり、岩の上から滝つぼにジャンプしたりしながら川を下っていく遊びで、渓谷を見て楽しむだけでなく飛び込んで満喫しようという、アウトドア好きには何とも魅力的なアクティビティです。数カ月前にテレビで見かけてからこの夏を待ち遠しく思っていました。

初挑戦でお世話になったのは、群馬県みなかみ町。利根川源流のこの町は、温泉も豊富な山間の町です。

当日の天気は小雨。前日から降り続いていた雨のおかげで水量は多く、流れもいつもより速めという初心者にはなかなかのコンディションの中、ウェットスーツ、ライフジャケット、ヘルメットなどを着込んでいざ溪流へ。

最初はごく平らな、浅いところを仰向けで滑ってみるのですが、なかなか思うような体勢が取れません。流れは穏やかに見えても、水の流れというのは見かけ以上に強いものです。冷たい水が鼻や口から入ってきてちょっと苦しくなりますが、ここはまだまだ序の口でした。

ほどなくして現れたのが、落差 20 メートルの滝。20 メートルです。近くに見物用の橋があるくらい見事な滝です。それを下りる（落ちる）とのこと。冗談でしょう? と思ったことは言うまでもありません。

どきどきしながら降りる（落ちる）心の準備をしていたのですが、実際は半分くらいは腰につないだロープでインストラクターのお兄さんが引っ張りながら下ろしてくれます。ちょっと拍子抜けでしたが、それでもロープで下ろされながら、「ああ、落ちるときにあの岩にぶつかったら、私、死ぬかな……」などと大げさなことを想像するくらい緊張していました。

お兄さんは、半分くらい下ろしてくれると、ロープをパッと手放してしまいます。私の体はドボンと滝つぼへ。終わってしまえば「なーんだ」という感じでしたが、それでも後から下りてくる人を見上げると、そわそわしてしまうほどの高さでした。

その後も数メートルの岩の上から水面に飛び込んだり、スーパーマンの格好で流れに乗ったり、仰向けで頭から流れ落ちたりしながら、2 ~ 3 時間キャニオニングを楽しみました。何かとスロースターターな私は、終盤になってやっと慣れて楽しくなってきたので、ちょっと遊び足りなかったかなと心残りでした。こうして、私にとって初めてのキャニオニングは終了しました。

いつもは遊歩道などから眺める渓谷ですが、川に入って苔のむす大きな岩や木々を眺めるのは、なかなか楽しいものでした。キャニオニングは 10 月ごろまでは楽しめるようです。アウトドア好きの方にはお勧めです。

(メディア・マーケティング統括部 広報担当：菱山文乃)

## No.523

### 名インタビュアーになろう／記者だって…… たまにはインタビューされてみたい願望

2011年9月22日

## [コラム]ねとらぼ記者のつぶやき 記者だって……たまには インタビューされてみたい願望

@ IT 通信をご覧の皆さま、こんにちは! 気になる・人に話したいネットの旬ネタをお届けするニュースサイト「ねとらぼ」の宮本です。@ IT 通信の担当者に「ちょっと書いてよーっ」と呼ばれて、やって参りました。「う～ん、何を書こうかな～」と散々悩んだ挙句、最近お気に入りの Web サービスを 1 つご紹介することにします。

paperboy&co. が運営している「ザ・インタビューズ」をご存じですか? ユーザー同士がインタビューし合うサイトです。誰にインタビューされたかは分からない仕組み。普段の会話では照れくさくてなかなか聞けずにいることを質問したり、好きなものを熱く語ったりして楽しめます。

記者も始めてみたところ、すぐにいくつか質問が届きました。例えば「座右の銘など、あなたの好きな言葉はありますか?」「社会人になりたてのころのエピソードなどを聞かせてください」「どんな学生時代でしたか? 思い出話などを聞かせてください」「もし記者になってなかったら今ごろどうしてたと思いますか?」などなど。

普段はインタビューする側ですから、インタビューされるという経験はとっても新鮮。「学生時代はアルバイト三昧だったな～」「社会人になりたてのころは編集長によく怒られたな～」などと当時の記憶を思い出しながら、回答を書いて公開してみました。誰に聞かれたか分からないので、ちょっぴりドキドキします。回答ページには Facebook の「いいね!」ボタンやツイートボタンが付いています。自分の回答に「いいね!」が付くと、うれしいものですね。

ザ・インタビューズは、ねとらぼの記事でも紹介しています。わたしもインタビューページを開いていますので、遊びに来てください。

(ビジネス・コンシューマー事業部 ネット&カルチャー統括部: 宮本真希)

No.524

日本人の「ヤバい」デザインカノジャンボ鶴田が最強です

2011年9月29日

## [コラム]“プロレス大好き”EDN Japan編集スタッフのつぶやき ジャンボ鶴田が最強です

いやぁ先月末行ってきましたよ、AT。すげえ盛り上がりだったなぁ。……ちょっと、最初から飛ばし過ぎですかね。ATというのは、8月27日に開催されたプロレス3団体の合同チャリティ興行「ALL TOGETHER」の略。そんな略語を使う私は、大のプロレスファンであります。

いわゆる団塊ジュニアど真ん中でして、小学校時代には、タイガーマスクブームに影響されて教室でプロレスごっこに明け暮れておりました。金曜夜8時の「ワールドプロレスリング」と、週刊少年サンデー連載の「プロレススーパースター列伝」を毎週の楽しみにしていたものです。そんな少年も、中学生になるとすっぱりプロレスに興味を失ってしまいました。ブームが過ぎ去ったこともさることながら、プロレスが「かっこ悪いなぁ」と思うようになったんでしょうかねえ。

それから時間も経って大学生のとき、深夜にテレビを点けるとプロレスをやってるじゃないですか。「最近のプロレスはどんな感じかねえ」と見ていると、異常に強い黒パンツのデカイおっさんが、緑や黄色やオレンジのタイツの若手レスラーをバツバツとやっつけてます。このおっさんと、やられてもやられても向かっていく若手レスラーの攻防が、これまた熱い。気が付けば、毎週深夜このプロレス番組を見るようになっていました。ちなみに、番組名は「全日本プロレス中継」で、黒パンツのおっさんがジャンボ鶴田、若手レスラーが三沢光晴、川田利明、小橋建太でというわけです。

これ以降、再度プロレスにハマってしまいました。そして、就職して東京に来てからは、聖地・後樂園ホールで生観戦が可能になってしまい、もはや抜けきれない状態に。まぁ、格闘技が隆盛のころは、八百長だの何だのといわれていましたが、やっぱりショウスポーツとしての面白さは図抜けているものがあります。

さて、この私をプロレスに再度引きこんだ黒パンツのおっさんことジャンボ鶴田は、史上最強のプロレスラーと目されている人物です。私も、本気になったジャンボ鶴田なら、総合格闘技でも最強の名をほしいままにできたのではないかと考えています。すでに亡くなられているのですが、いろいろと幻想を抱かせる人物なんですよ。

そして、私と同じく、ジャンボ鶴田が最強だと思う方がいらっやいます。先日総理大臣に就任された野田佳彦氏です。これまで政治には、あまり思い入れはなかったのですが、同じジャンボ鶴田最強論者として、野田総理には頑張っていただきたいなぁと思ってます。

(EDN Japan 編集部: 朴尚洙)

## No.525

### 「一本」射ってもうひと頑張り? / ○○エンジニアは数あれど、悩みは共通?

2011年10月13日

## [コラム]@IT MONOist 編集部員のつぶやき ○○エンジニアは数あれど、 悩みは共通?

こんにちは。@ IT MONOist 編集部 原田です。

@ IT MONOist はこの@ IT 通信でも記事を紹介しているので、ご覧になった方も少なくないと思いますが、「IT エキスパートのための問題解決メディア」である@ IT のメールマガジン購読者の皆さんの多くは IT 系エンジニアの方々だと思います。

@ IT MONOist は、IT の話題にも言及しているものもありますが、その多くが実体のあるモノを作るエンジニアの方々を対象にしています。

Web メディアや特に IT 系の媒体を見ていると「エンジニア」=ソフトウェアエンジニア、システムエンジニア、ネットワークエンジニア……というイメージが強いかもかもしれませんが、メカニカルエンジニアなどモノづくりエンジニアさんや製造現場の担当者さんのことも気に留めていただけると幸いです。

実のところ、モノと情報、扱うものは異なれど「エンジニア」と名の付く職業の皆さんの想いのいくつかは共通しているのかな、と思われることもしばしばあります。

例えばこのお話。

「[良い営業](#)、[普通の営業](#)、[悪い営業](#)、[嫌な営業](#)」の3ページ目に注目してください。

覆面座談会形式で、製造物の数量などを管理している方に本音で語っていただき、記事化したものです。この記事の A 氏の言葉は（下記）、@ IT 通信読者の皆さんならきつとうなずくに違いないと確信しています。

「普段しらを切って納期遅れを出しておいて、何か営業からいわれたら『そんなこといったって営業だって……』といい返すような、そんなコミュニケーションしか取っていないですね。大体先に文句をいってくるのは営業ですから、何かいわれたらいい返すという習慣が無意識のうちに身に付いている」

期末の追い込み時期などではムチャな納期の案件ばかり、なんていうお話はソフトウェア開発の世界でもよくある話ではないでしょうか（しらを切るのはよくありませんが……）。

@ IT MONOist の中にもきっと「分かる!」と共感いただける話題があるのではないかと思います。ぜひ、息抜きに読んでみてください。別の世界のように思えるものの中に、共通するものが見つかるかもしれません。

読後の感想は@ IT MONOist 公式 Twitter アカウントまでお願いします。

(@ IT MONOist 編集: 原田美穂)



## No.526

### ひょっとしてまだ生きてる? / どんな本を自分の子供に与えよう、と親としての務めを考える

2011年10月13日

#### [コラム]ねとらぼ記者のつぶやき

# どんな本を自分の子供に与えよう、 と親としての務めを考える

先日、ふらりと図書館の児童コーナーに立ち寄った際、詩の本がずらりと置いてある棚を見つけました。近くに居た小学 1 ~ 3 年生くらいの小さな子供たちを見回し、「そうか、小学校で少し習うしなあ」と思いつつ、その棚を眺めます。すると「子供に読ませたい詩シリーズ」なるものを発見（ふらりと立ち寄ったもので、本に関する詳細は覚えていません……）。その第 1 巻は、島崎藤村。そして八木重吉、宮沢賢治、石垣りん……と続きます。冷静に考えて小さな子供に、青年の恋や社会を憂う昔の詩を教えるなんて、ハードルが高過ぎますよね（笑）。しかし同時に、「幼いころに読み聞かせられたら、どのような人間に育つのだろう」との疑問も持ちました。

文学や物語で「心を育てる」という教育手法はよく知られていますが、実際子供の人格形成にどんな影響をもたらしたかは、親も本人も本質的に理解できません。すべての事象や物事が関連し、人格が形成されるためです。だからこそ自分なりに、思うままにいいと思うものを読ませがちではありますが、本は少なからず人格形成に影響を及ぼすので、十分に気を使わなくてはならないと思うのです。

というのも私の実体験が分かりやすい例で、小学校のころ、親の勧めで芥川龍之介、太宰治、菊池寛など人間の内面の「エゴイズム」を描く作家の作品ばかりを読みふけていました。その影響で「人間や社会は哀しいもの」との固定概念が強く残ってしまい、おかげで人より多く悩みにふけるような気がします（苦笑）。もし自分の子供に同じような本を与え、私と似たように育ててしまったら、少しかわいそうな気がするのです。「親に子が似る」、との意味ではうれしいような哀しいような気もしますが。

こぼれ話はこれくらいにして、ではどんな本を与えるべきか。「どう育てて欲しいか」との親としての思いもあるでしょうし、結局のところ「自分なりにいいと思うものを与える」しかなく、振り出しに戻ってしまいます。それでも親にできることと言えば、安易に、そしてやみくもに良いと思う本を与えるのではなく、これから人格形成を迎える未熟な子供のために、思考を最大限に凝らし、豊富な知識と経験の中から選択してあげるのが、成熟した大人である親としての務めなのではないか、と私なりに考えたのであります。

(ビジネス・コンシューマー事業部 ネット&カルチャー統括部：笹山美波)

## No.527

### 「授賞式」で会ウォーズえ! / 「名前を知る」という事件

2011年10月20日

## [コラム] ONETOPi 運営スタッフのつぶやき 「名前を知る」という事件

結論から先に書きます。Twitter を利用していて、非公開にしているなど、あまりオープンにしたくない、という方は、設定の「他のユーザーがメールアドレスから私を探せるようにする」のチェックを外しておきましょう……。これ以上悲劇を繰り返さないように……。

さて、皆さんは Twitter や Facebook など、「ソーシャルメディア」を利用していますでしょうか? このようなツールが登場して以来、人は本当にどうでもいい、もといすばらしい情報をインターネット上にバラまき、もとい発信しています。

とはいいつつも、その人がソーシャルメディアを使っていることが分からなければ、存在していないと一緒。これは私見なのですが、私の世代（1970 年代前半）は大学時代には、まだ携帯電話や電子メールがあまり普及しておらず、その時代の仲間との“ネット上の”つながりが希薄な印象があります。メールアドレスを交換していたとしても、当時のプロバイダを今も使っていることは“まれ”ですので、連絡先のメンテナンスは困難の極みです。

で、今回の本論。先日アップデートが行われた iOS 5、皆さんお使いになっているでしょうか。Twitter アプリとの連携も行われ、設定画面に「連絡先をアップデート」という項目があります。これは、連絡先に登録されたメールアドレスを基に、Twitter のユーザー名や写真を連絡先に追記してくれるという、便利な機能です（これ自体は純正 Twitter アプリにも機能がありました）。これをやってみたところずいぶん前に教えてもらった旧友のメールアドレスはやっぱり使われていないようでほとんどアップデートされませんでした。

ところが、です。すでに Twitter アカウントを知っている友人の連絡先に、まったく見覚えのない写真が付いているではありませんか。メジャーバージョンアップにはバグが付きものだなあと確認すると、そこにはまったく知らない Twitter アカウントが。そうです。いわゆる「裏アカウント」がひも付いているのです。さらに、連絡先には残していたけれど二度と連絡しない／できないような人（ここでは仮に元カノ的な人だと思ってください）にも Twitter アカウントがアップデートされています。ああ、あなた Twitter やってたのね……。

こうやって私は、知らなければ知らないで済んでいた事実を、便利な新機能のおかげで知ってしまうことになりました。繰り返します。Twitter 設定の「他のユーザーがメールアドレスから私を探せるようにする」のチェックを外しておきましょう。これ以上悲劇を繰り返さないように……

（スマートメディア事業推進部：宮田健）

## No.528

### 泥沼に引きずり込んでやる! / 5年ためたツケを払っています

2011年10月27日

## [コラム] 誠 Biz.ID 編集部の巨漢のつぶやき 5年ためたツケを払っています

@ IT 通信をご覧の皆さま、大変ごぶさたしております。誠 Biz.ID 編集部の鷹木です。以前こちらのコラムに書いたのが 2006 年 6 月 29 日ですので、実に 5 年ぶりの登場であります。

5 年前のコラムはちょうど Biz.ID がオープンした当日ということもあり、かなり初々しさ爆発のお話でして、今読むと赤面するような部分もあったりします。今は会社も引っ越し、媒体もある程度軌道に乗って、なんとか毎日過ごしているというところでしょうか。

当時と大きく変わったことがあるとすれば、鷹木の体重であります。入社時は 85 キロ前後だったはずですが、あれよあれよと太ってしまい、2011 年（つまり今年）の正月には 112 キロ! 実家に帰れば近所の親戚にあきれられ、幼なじみの友達にあいさつしても気付かれない始末。小さい甥っ子姪っ子も逃げるほどのありさまでした。

ということで、この体重を減らさなアカン! と一念発起。食事制限などを試みていたんですが、体重ってなかなか減らないんですよね。ちょっと減ってきたと思ったら、飲み会だ、ランチミーティングだって“余計なイベント”が……（いや、楽しいんですけどね）。

結局 8 月に入っても 105 キロぐらいまでしか減らず、抜本的な減量には至りませんでした。そこで始めたのがジョギングです。有り体にいうと、皇居ランナーになったわけです。36 年生きてきて、初めて減量のためのジョギングを夏の盛りに始めました。

学生のころからスポーツをやっていたし、長距離走は比較的自信があったのですが、当初は皇居の 1 周（大体 5 キロぐらい）すら完走できない状況。半分ぐらい歩いていました。まあ、実際走るのはつらいですよ。なんだか足も昔のように動かないし、そもそも大腿部を上げようとするとお腹に引っかかったりして、ギクシャク（笑）。走っていれば、お腹は痛くなるし、膝や足首もなんだかギシギシってきます。

昔のような根性はすでにないので、痛かったら走らずに歩く、つらかったら走らずに歩く、を徹底。気持ちよく走れるところまでしか走らないを“自分ルール”として設定しました。だって、痛かったりつらかったりしたら、それだけで続けられないですよ。長期戦なので、なるべく長く続けられるようなルールを付けた、というわけです。

ちなみに走っても歩いても同じ距離なら消費カロリーはそれほど変わりません。なので、歩いててもそれなりに体重は減っていきます。人間数値が目に見えてくるとやっぱりやる気も出るもの。走ったり歩いたりを続けているうちにできるようになるものですねえ、今では 2 周を走れるようになったのです（そのうち半周は歩いています）。

あと、走っているといろいろ物思いにふけることができるのも良いところですよ。実は鷹木、毎日の通勤は自転車。なので運転に注意しているとあまりぼーっとできないんですよ。その点、皇居の周りをゆっくり走っている分には余裕があります。日ごろインプットに追われている生活ですが、走りながら徐々に整理していく時間としても貴重です。この原稿も走りながら考えたのでありました。

ちなみに体重は 26 日朝までで 89.6 キロ !! 目標は 11 月 5 日までに 85 キロであります、ちょっとギリギリかなあ。まあ、気楽に頑張っていこうと思います。皇居で鷹木を見た方はぜひお声がけください!

(誠 Biz.ID 担当編集長: 鷹木創)

## No.529

「脱Googleマップ」という戦略は描けるのか／2011年は出張取材の“当たり年”でした  
2011年11月4日

# [コラム]世界を股に掛ける記者のつぶやき 2011年は出張取材の“当たり年”でした

3月上旬にドイツ・ハノーバーで開催された IT 見本市「CeBIT」に始まり、帰国した翌週には沖縄へ飛びました。4月は博多、5月は神戸と、入社以来一度もなかった国内出張の機会が3カ月連続で訪れました。

6月は一休みして、7月には中国・大連へ。オフショア開発や BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）によって勢いづく大規模なハイテクパークの様子を見ることができました。

8月には再び沖縄へ。滞在中、風速 60 メートルの大型台風直撃するという珍しい体験ができました（おかげで2日間足止めを食らいました）。

息をつく暇もなく、8月末にはオーストラリア・メルボルンでカンファレンスを取材。初めて赴く南半球は、8月なのに寒く、夜空を眺めると今まで見たことのない南十字星（サザンクロス）が輝いていました。ちなみに、南十字星は時期や場所によっては北半球でも観測できるそうです。

9月の小休止を終え、10月早々には IT 業界最大規模のカンファレンスを取材すべく米国サンフランシスコへ。帰国前日には米アップルの元 CEO、スティーブ・ジョブズ氏の悲報をお膝元ともいえる場所で聞き、沈みきった街の雰囲気を感じることとなりました。

10月は、これで終わりません。2週間後に再び米国へ。今度はラスベガス。1カ月に2度も太平洋を渡るとは思いもよりませんでした。ここまで来れば、もはや体力と気力の勝負です。日中は30度に迫る気温、照りつける太陽をうまくやり過ごし（実際にはカンファレンス会場であるホテルに缶詰め）、無事全日程を終えたと思いましたが、砂漠特有の「超」乾燥する空気にやられてしまい、帰国した直後に軽い風邪をひきました。

今年のこの状況を振り返って、四六時中、海外を飛び回る企業経営者や政治家、VIP などは尋常でない体力の持ち主だなとあらためて痛感しました（もちろん、彼らはファーストクラスやビジネスクラス、あるいはプライベートジェットなのですが）。長々と書きましたが、結論は「仕事で高いパフォーマンスを発揮するには体力が不可欠だ」ということです。浅いような深いような……。

（ビジネスイノベーション統括部：伏見学）

## No.530

ちょっとしたことですが……/おそ松やさしさ研究所だより:<失敗に向き合うの巻>

2011年11月11日

# [コラム]企画推進部のおそ松さんのつぶやき おそ松やさしさ研究所だより: <失敗に向き合うの巻>

@ IT 読者の皆様、はじめまして（ではないかもしれませんが）。私「やさしさ」と申します。ご存じのように、ひとの心に宿る一抹の情です。

今回のコラム担当である入社 2 年目の「おそ松さん」。後輩のできた今年度は「やさしい先輩」を目指そうと、こっそり「おそ松やさしさ研究所」を設立しました。コラム用に報告準備を進めていたものの、なぜか締め切り直前になって突然「紅葉を見に行く! あとは任せた!」と研究室に私を残し、山登りに行ってしまいました。

仕方がないので、代わって私が「やさしさ研究レポート<後輩が失敗をしでかした編>」をお送りします。新人時代の経験から、おそ松所長は以下を心掛けたいそうです。

### ■ 12 色の心を持つ

明確な「白黒基準」も大切ですが、物事を「白か黒か」で判定していると「はみだしもの」に厳しくなりがちです。研究室に、一冊の書物（海保博之『人はなぜ誤るのか—ヒューマン・エラーの光と影』福村出版,1996）が残されていました。同書いわく「<誤り>も見方を変えればこんなよい面がある」とのこと。

1. 誤ったためにたまたまよいことが起こる
2. 逆境への耐性をつけてくれる
3. 『正解の世界』で過ごすストレスから人を解放する

……などなど。エラー判定のピンクや青も、白黒とはまた別の可能性を秘めていると思えば、状況の見方がいくぶん変わりそうです。

### ■ 「できないこと」を持つ

「できること」ではございません。勉強、スポーツ、なにか 1 つ「できないこと」を持つとよいでしょう。かつて「できなかったこと」でも結構です（恋愛成就とか）。

他人と同じことができないひとの悔しさ、涙、鼻水。「自分にもできないことがある」目線を持つと、なんだかよく理解できませんか。それこそ「やさしさへの招待状」であることが、現在までにおそ松所長によって確認さ

れています。

……いかがでしょうか。最後にバラすと（一見後輩思いのようですが）これは、おっちょこちよいでよく怒られた所長の壮大な居直り研究でもあります。山にこもったのも「下心がバレるやんげ」という恥じらいゆえ、とのこと。しかし、かつての失敗が人と人をつなぐ研究に育ったことを思えば、これはまさに「誤ったためにたまたまよいことが起こった」ってやつですね。がんばれ、おそ松!

(IT インダストリー事業部 営業統括部 企画推進部：松岡瑛理)

## No.531

### アウェーがホームにやって来る / 28歳の“はじめてのおつかい”

2011年11月17日

## [コラム]元「I社」の記者のつぶやき 28歳の“はじめてのおつかい”

読書の秋に食欲の秋、スポーツの秋——。気候に恵まれた秋は、新しいことを始めるのにぴったりの時期です。私はこの10月からIT製品／サービスの導入・購買を支援するWebサイト「TechTarget ジャパン」の編集記者としてアイティメディアに加わりました。前職で務めた雑誌の編集記者とはひと味違った仕事内容や環境で、日々新しいことを経験しています。

転職ほどの大事ではないですが、思い返せば28歳だった2年前の10月にも新しいことを経験していました。ちょっと恥ずかしいのですが、それはクレジットカードを使った買い物です。前職で初めて海外出張したとき、海外での買い物で初めてクレジットカードを使いました。購入したのは依頼されたものだったので“はじめてのおつかい”とでも呼べるでしょうか。拍子抜けするぐらいに簡単に決済できることに、いまさらながら驚いたのを覚えています。

それまでクレジットカードを持っていなかったわけではありません。大学院修了時に大学発行のクレジットカードを作る機会があり、記念として作成していました。ただ、手にした後は一度も利用することはありませんでした。

なぜクレジットカードを使わなかったのか。盗難や不正利用に対する警戒があったのも事実ですが、具体的な使い方のイメージがわからないという漠然とした“不安”や、当たり前過ぎて使い方を人に聞けないという“恥ずかしさ”が心理的な壁になっていたのかもしれない。単に店員にクレジットカードを差し出して領収書の額面を確認し、必要に応じてサインするだけという極めて簡単な作業なのですが……。当時の自分にとっては未知の世界だったのです。

クレジットカードの件はともかく、せつかく便利なものや面白いことが目の前にあるのに、経験しないではもったいないかと、最近は思います。11月も後半に入り、秋もいよいよ残り少なくなってきましたが、何かを始めるのに遅過ぎるということはありません。もし新しいことを避ける理由が単なる不安や恥ずかしさにあるのであれば、少々の恥は覚悟で人に聞いたり、挑戦してみた方がよいのではと自戒を込めて思います。

ちなみに、初めての海外出張のときには、クレジットカードだけではなく、ちょっとした出会いや、ほろ苦い思い出がありました。その様子は「@ IT 通信 No.428」のコラムに詳細に描かれていますので（コラム中の「I社の記者」が私です）、ぜひご一読ください。

（ターゲティングメディア統括部：鳥越武史）



No.532

2004年のことを思い出してみよう / 水が焼酎に!? 魔法の水筒伝説

2011年11月24日

## [コラム]EMインダストリー事業部の営業部員のつぶやき 水が焼酎に!? 魔法の水筒伝説

「私の水筒、水を入れると焼酎の味と香りが付くんです!」

南アルプス、鳳凰三山からの帰りのバスの中で、その女性は言った。証拠とばかりに彼女が水筒のキャップを開けると、車中に芋焼酎の甘い香りが漂った。

話を聞いてみると、どうやら彼女は登山用の飲料水とは別に、酒専用の水筒を持ち歩き、そこにお気に入りの焼酎を入れているのだそう。いつも焼酎が詰められるその水筒には、次第に焼酎の味と香りが染み込み、ついには水を入れるだけで焼酎が楽しめるというシロモノに。酒しか入れないその水筒に、たまたま水を入れることになったのは、彼女の同行者が下山中に自分の水筒を破損してしまったからだという。

登山をやっていると、時々こういった豪の女性（もの）に出会う。基本的に登山の準備では荷物を軽くすることを考える。余分な荷物を増やすことは、ほとんどあり得ない。それでも増やすとするならば、遭難時の対応も兼ねて食料を多めに持っていくとか、その程度だ。特に水や酒などの液体は重くなる上、液漏れしたときに他の荷物が濡れないようザック内の置き場所にも気を使う。

それにもかかわらず、いやそれでもあえて「酒を持っていく」という彼女の判断は、酒好きであることを露ほども隠さない、まさに豪快そのものである。しかも、水筒に酒の味と香りが染み込むほどの使い込みよう。

あるグルメマンガで、毎日のようにスッポンを煮込んでいる土鍋に水と米を入れるとスッポン雑炊が出来上がる、というエピソードがあったが、そんな世界が身近に現れるとは思いつかなかった。スッポンと焼酎を一緒にしてはいけないかもしれないが。もちろん、水筒に入れた水が本当に焼酎になるわけではない。彼女によれば香りや若干の味が付くだけで、限りなく薄めた水割りの風味に近いという。しかし、排気ガスが漂うバスの中でもはっきり分かるその香りはまさに芋焼酎そのもので、そんな水筒を持っている彼女がちょっとカッコイイと思えてしまった。

ライバル心を刺激された私は、それ以来酒専用の水筒を山に持っていくことにしている。しかし、余分な装備になるので、荷物が重いときには家に置いてきてしまうことも多い。自分は酒好きなのはすなのだが……。水筒に酒の香りを染み込ませるにはどれくらいかかるのか? まだまだ自分は修行が足りないようである。

(EM インダストリー事業部 営業統括部 : 佐藤圭太)

## No.533

### 師走の忙しさを乗り切ろう / 超絶乱打に熱狂乱心

2011年12月1日

## [コラム]EDN Japan編集者のつぶやき 超絶乱打に熱狂乱心

皆さんは、「NANTA (ナンタ)」という韓国のエンターテインメントショーをご存じでしょうか。

ナンタとは「乱打」を韓国語で発音したもので、その名のとおり、出演者たちがひたすら乱打するショーです。ただし、バチで太鼓をたたくのではなく、厨房のセットを舞台に、シェフに扮（ふん）した出演者が、包丁やお玉で、まな板や鍋を乱打するのです。とにかく、舞台の上の物ならば、何でもかんでもバチ代わり / 太鼓代わりにされてしまうというわけです。

出演者は 5 人いるので、ご紹介しておきましょう。

Manager (支配人) : 出番は少ないが、存在感はすごい。ショーのクライマックスでは、巨大なバチで巨大な太鼓をたたくので、乱打の技術はこの人が一番でしょう。たぶん。

Head Chef (コック長) : キャラ設定は完全に 3 枚目。15 分近く、たった 1 人でステージに立ち、観客をいじり倒して場を持たせるという大役を担っているため、度胸と柔軟性、瞬発力、持久力があると思われます。

Sexy Guy (セクシーガイ) : 名前のまんま。外見がセクシー&ワイルド系のシェフ (この単純かつ素直なネーミングセンスには拍手を送りたい)。外見はワイルドながら、内面は 2.5 枚目。

Nephew (甥っ子) : マネージャーの甥という設定。外見はひたすらかわいい、ハートキャッチャー系。性格もおちゃめ。

Hot Souce (美人シェフ) : 紅一点。カッコいい。きれい。すごい。

肝心のショーはというと、これがもう強烈に面白い! ショーが始まれば、超絶乱打のオンパレードに度肝を抜かれ、熱狂します。打つわ、たたくわ、走り回るわ、とにかく素晴らしいです。さらにクライマックスでは、セクシーガイと甥っ子が、なぜか上半身裸で太鼓をたたき、その“サービス”(断言しますが、あれは絶対にサービスです)に乱心。乱打で鍛えた二の腕がまぶしかったのは、照明のせいだけではないのです。

ノンバーバル（言葉を使わない）パフォーマンスで、あれだけ観客を沸かせるとは、ナンタ恐るべし。こうして私は、めくるめく二の腕の世界…… じゃなくて乱打の世界にすっかり魅了されてしまったのです。

ちなみに、見るなら前列 1 ～ 2 列目の VIP 席がおすすめ。さらに、90 分間ノンストップで興奮するため、高血圧の方は要注意です。

(EDN Japan 編集部：村尾麻悠子)

## No.534

来年度からプログラミングが中学生に必修化 / ご飯が美味しくなった、ろくろ体験

2011年12月8日

# [コラム]EMインダストリー事業部 営業部員のつぶやき ご飯が美味しくなった、ろくろ体験

「ろくろに触りたい、お皿を作りたい」

10月になって夏の疲れも貯まったころ、無心になりたくて、ろくろ体験に行ってみようと思い立ちました。上野駅から特急列車で、のんびり1時間半。笠間焼で有名な茨城県笠間市へ。JR東日本の女性限定の日帰り旅行プラン「めぐり姫」を予約して行ってきました。ネット予約時にはプラン名など全く気にしませんでした。旅行中には現地のレストランの店員さんや、ろくろ教室の先生に「めぐり姫の～」と私たちの代名詞として連呼され、少々恥ずかしい思いをしました……。アラサーで「姫」は恥ずかしいです。

初めてのろくろ体験は、とても有意義な時間でした。手のひらの中でろくろと粘土がクルクルと動くと、粘土と水の心地良い感触がスルスルと指先に伝わってきます。静かな工房の中では、ろくろの回転する微かなモーター音だけが響き渡ります。無音の中で集中したせいか、自分たちも一緒に回ってるような無心になるひとときを過ごしました。

作ったのは、大きなお皿、お茶碗、小さな花瓶の3つです。作品の形を整えた後は、色を選びます。色はピンク、白、水色、生成り色、茶色、藍色、黒色など、さまざま。

「このお皿で食事をするとき、何色だったら美味しいのか？」なんて普段考えないことを想像しながら選びました。10種類近くある色と質感について、散々悩んだ挙句に選んだのは、食事用のお皿は白に近い生成り色、花瓶は青色という無難過ぎる色でした。先生が色付けし焼いてくれるので、後は完成した作品が自宅に届くのを待つのみ。ろくろを回すだけの、ろくろ体験でした。

11月後半の寒い雨の日に、焼き上がった3作品は届きました。自分の作ったお茶碗に、炊きたてのご飯を入れて食べたときの達成感。普段以上に、ご飯が美味しく感じられました。お皿を作る体験だけではなく、使用するたびに普段以上にご飯を美味しくさせてしまうろくろ体験。おすすめです。

(EMインダストリー事業部 営業統括部：佐藤美果)

## No.535

### 誰が何と言おうと好きだー！／まだまだやります！ 2011年勝手にベスト20曲

2011年12月15日

#### 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# まだまだやります！ 2011年勝手にベスト20曲

@ IT 編集部の平田です。今年も俺ベスト 20 曲を選ぶことになりました。早いもので 6 回目です。私は、この企画があつてこそ、毎年楽しい音楽生活を送れていると思っています。来年も、どんどん新しい曲に挑戦していきますので夜露死苦!例年どおり自分が聴いた範囲で選びました。選んだ理由も簡単に添えています。

1 アーティスト／グループにつき 1 曲で選曲。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム／シングル名です。(敬称略、アーティスト名アルファベット・50 音順)

1 : Cyclic Sun (Africa HiTech) 『93 Million Miles』より

英国テクノアーティストのベテラン 2 人組のニューアルバムから。ひたすら繰り返されるピアノのフレーズが気持ち良い。曲同様にミニマルでカラフルなアルバムジャケットも良かった。

2 : A History of Now (Asian Dub Foundation) 『A History of Now』より

在英エイジアンバンドが今年放ったアルバムは、久しぶりにライブ向きの曲ばかりでした。特にアルバムタイトル同名曲は、リーダーの Chandrasonic のギターが轟く好ナンバーで 1 月に出了たアルバムにもかかわらず、すぐに今年のベスト 20 曲入りでした。単独来日公演も熱かったけど、「London to Tokyo」は演ってほしかった……。

3 : Hopce (Baba Zula) 『Gecekondu』より

トルコのサイケデリックロックバンド Baba Zula の 5 年振りのニューアルバムから、アラビアンな弦楽器のリフと「ヘイ!」という掛け声が繰り返されるライブ向きの曲を選択。このバンドもライブ見てみたいです。

4 : The Roller (Beady Eye) 『Different Gear Still Speeding』より

元 Oasis…… という肩書きが要らなくなったんじゃないかと思えるぐらい充実したデビューアルバムから屈指の名バラードを選曲。Noel のアルバムはあんまり聞いてませんが、アルバムの出来は Liam 側の勝ちですね。この曲を聞くと、なぜか中嶋みゆきの「時代」を思い出します。サマソニでの生歌も、じんわり来ました。

5: Run The World (Girls) (Beyonce) 『4』 より

もはや説明不要というぐらい日本でも人気の米 R & B 歌姫の 4 枚目のアルバムから先行シングルをセレクト。名プロデューサー Diplo が手掛けたので、期待大で聞いてみたら、どこかで聞いたことのあるフレーズが……。同じく Diplo が Major Lazor で 2 年前に手掛けた「Pon De Floor」という曲が元ネタでした。リサイクル早い。

6: Caravan (Boban & Marko Markovic Orchestra VS Fanfare Ciocarlia)

『Balkan Brass Battle : ジブシー・プラス大決戦 !!』より

セルビアとルーマニアのベテランブラスバンドが共演というだけで、すでに要チェックなアルバムでした。この曲のみアルバム内で唯一同じ曲を演り合っています。まさに「大決戦」ですね。Jazz のスタンダードといえる Duke Ellington のカバー曲で、それぞれの個性が出ているのが、一気に聞けて面白いです。

7: Me Alone (Bunji Garlin)

トリニダード・トバゴの Soca のカリスマ Bunji Garlin が今年 3 月のカーニバル用に提供したという曲。ただのノリが良い高速ブレイクビーツというだけではなく、歌メロがとても良くて口ずさみたくくなります。

8: Hangover (BaBaBa) (Buraka Som Sistema) 『Komba』より

ポルトガルの Kuduro ユニット Buraka Som Sistema。前作で大ブレイクしての満を持してのニューアルバムです。本作でも踊り出したくなるようなナンバーを連発しています（踊れませんがね……）。この曲は「バ」とか「イエ」とかだけいってればいいので、歌うのは楽です。

9: Hallo (DRC Music feat. Tout Puissant Mukalo & Nelly Liyemge)

『Kinshasa One Two』より

アフリカ大好きな Blur / Gorillaz の Damon Albarn が次に選んだ国は、コンゴ。発起人となって DRC Music というプロジェクトを立ち上げて 10 月にアルバムを発表しました。このプロジェクトはオックスファムという貧困をなくすための民間団体を支援するものだそうです。この曲で Damon は、コンゴの歌手たちとともにボーカルを披露しています。

10: I Should Have Known (Foo Fighters) 『Wasting Light』より

もはやベテランの域に達した米ロックバンド Foo Fighters のニューアルバム。プロデュースを手掛けたのは、何とあの Butch Vig! しかも、この曲では Krist Novoselic が中盤で雷鳴のようなベースソロを客演していて胸アツです。20 年振りの共演は、Dave の自宅スタジオでなごやかに行われたようです。ドキュメンタリー映画でレコーディング風景を見ました。同時上映の 3D ライブは 3D の意味をあまり感じず、たんとと曲を演るだけという何だかなという出来でした……。

11 : Limit To Your Love (James Blake) 『James Blake』 より

3月に出したデビューアルバムで彗星のごとく名を広めた若干 22 歳の新鋭アーティスト James Blake。アルバムでは静かで寒くなるような曲群を Dub Step を通過したノイズビートを交えて繰り広げています。ただのエレクトロニックミュージシャンというだけではなく、その歌唱も素晴らしいのが、注目を集めている一因のようです。この Feist のカバー曲でも空間と響きを生かしたトラックとピアノに情熱的な歌声を乗せています。

12 : Black Smoke (Kode9 & The Spaceape feat. Cha Cha) 『Black Sun』 より

英国 Dub Step アーティスト Kode9 が The Spaceape とともにリリースしたアルバムから、The Spaceape と Cha Cha という女性アーティストのトースティングが御経みたいで印象的な曲をセレクト。日本画のようなアルバムジャケットも味わい深くて凄く良かった。この曲の選曲理由の大半は「ジャケ買い」ならぬ「ジャケ選」です。

13 : Get Up (KORN Feat. Skrillex) 『The Path of Totality』 より

米のベテランヘヴィロックバンドが次に挑んだのが、エレクトロミュージックとの融合だった……! このアルバム先行曲では、ロックバンド出身の米の Dub Step アーティスト Skrillex と共演ということで話題を集めていました。Skrillex が去年出たアルバムも元ロッカーということでノイズがやかましくて比較的楽しめました（「Rock & Roll ……」なんて曲もあるぐらいです）が、もう Dub Step の定義が全く分からなくなりました。Dub Step ってもっと静かで落ち着いた音楽かと思っていたので……。米では、こういうのを Dub Step というのか?

14 : Shipwreck (Modeselektor feat. Thom Yorke) 『Monkey Town』 より

独を拠点に活動するエレクトロ・ダンスユニット Modeselektor は、前作に続いてまたも Radiohead の Thom Yorke と共演しました。しかも今回は 2 曲も参加しています。2 曲のうち、より歌メロを聴かせてくれる曲を選曲しました。今年は、Radiohead もニューアルバムを出しましたが、こっちの方が耳になじみました。

15 : American Beauty (Mr.Big) 『What If...』 より

日本大好きな米ハードロックバンドが一昨年オリジナルメンバーで再結成したのは、記憶に新しいところですが、なんとニューアルバムも昨年末に出しました。昨年の本コラムにはギリギリ間に合わなかったのが、今年の 20 曲に入れました。アルバムでは、この曲以外でも平均年齢 50 歳を超えるとは思えないハードでテクニカルな曲を次々と繰り出します。単独来日公演も凄かった。とゆーか、若かった!

16 : レーザービーム (Perfume) 『JPN』 より

CM で好きになった曲です。Perfume ではポリリズムの次に好きな曲になりました。3 年振りのサマソニのリベンジ (?) 公演も良かったです。今回は、落ち着いて見られましたし、Perfume も客を心配せずに楽しげに踊ってました。

17 : Monarchy of Roses (Red Hot Chili Peppers) 『I'm With You』 より

日本でも「レッチリ」の愛称で親しまれ、ミュージックステーションの出演も当たりまえになってきた Red Hot Chili Peppers。ギタリストが変わってどうなっちゃうの? と心配していましたが、杞憂に終わりました。少なくともダラダラとした前作よりは良かった。サマソニのトリ公演でも、新ギタリストはアグレッシブに動き回っていました。ギビラウェイでの締めも良かった。

18 : Take Five (Sachal Studios Orchestra)

『Jazz Interpretations of Jazz Standards & Bossa Nova』 より

パキスタンの音楽集団による Jazz と Bossa Nova の名曲カバーアルバムから、Dave Brubeck の名曲「Take Five」のカバーを選びました。誰でも 1 度は聞いたことがあるんじゃないかなと思える、あのフレーズをシタールで弾くところなるのかと感心しました。タブラのリズムも意外と合うんですね。

19 : Machu Picchu (The Strokes) 『Angles』 より

米 Rock & Roll バンドの 4 作目は、いままでの集大成のようなアルバムでした。前 3 作とも 1 曲目はミドルテンポだけどインパクトがある佳曲をもってきていましたが、4 作目でもそうになりました。今年のサマソニでライブを始めてみましたが、思いのほか熱かったです。

20 : maximum the hormone (マキシマム・ザ・ホルモン) 『グレイテスト・ザ・ヒッツ 2011 ~ 2011』 より  
ドラマーのナヲが産休から復帰し今年になって、新曲を出したマキシマム・ザ・ホルモン! しかも 3 曲入りなのに「グレイテスト・ザ・ヒッツ」と来たもんだ。しかもバンド名を冠した曲名を出すとは再始動感が半端ないです。金切り声やデス声か渦巻くハイテンションロックに念仏も加わってさらに混とんとしています。これを 1 人で歌うのは、もう無理です……。サマソニでも X とレッチリの前だろうが関係ねーとばかりにハイテンションで攻めまくりでした。

今年の選曲を振り返ると、サマソニや単独公演で見たアーティストの曲が多かったです。やはりライブの影響力はでかいですね。特に、今年のサマソニは激アツでした。初めて見た生 X JAPAN も凄かったです。でも、個人的な今年のベストライブアクトは、KORN です。生ポクテーは最高でした!

(@ IT 編集部: 平田修)



No.536

2011年のベスト5／愚息の1年トップ5 NEWS

2011年12月22日

## [コラム]@IT編集長のつぶやき 愚息の一年トップ5 NEWS

@ IT 編集部の大津です。多分、はじめまして……です。

というのも、私は趣味が非常に偏っているためコラムを書くネタがなく、いつも避けておりました。何と@ IT 通信 No.170 が出たところから編集部にいる古参部員にもかかわらず、このコラムを書いた記憶がありません。恐らく初めてだと思えます。今回が 536 号なので、実に 365 回も逃げて参りました。われながら「よく頑張った!」と自分を褒めてあげたいところですが、ついに捕まってしまいました。

というのも、@ IT 通信では毎年、その年の最終号は編集長がコラムを書いて締めることになっており、4 月に就任した私もさすがに逃げ切ることができずにこのような事態になった次第です。

さて、ここ数年の年末コラムを振り返ると、@ IT について書かれたものや、業界の展望など、比較的真面目なものが多かったようです。これを読み、私も編集長として“バシッ!!”と業界への提言をブチ上げようと思い、しばらく考えてみたのですが何も思い浮かばず……。私ごときが提言してもなあ、と思い直し、昨年産まれた“愚息の 1 年トップ 5 NEWS”をまとめることにいたしました。

完全な親バカ視点であり、なおかつ超プライベートネタですので、読者の皆さまはまあまったく興味はないと思うのですが、あまりのわが子のかわいさに書かずにはおれません! 申し訳ございませんが、お時間がございましたらお付き合いください。

5 位：前世はカッパ? 水遊びに目覚める

子どもの入浴といえば、父親の仕事。わが家でも主に私の仕事です。生後すぐの入浴時は、かなり慎重に入浴させていたのですが、ある日、勢い余って顔に「バシャ」っと水を掛けてしてしまいました。明らかに鼻の穴に入ったり、目に入っているのが心配しましたが、それほど嫌がっていないどころか、しばらくすると自分から洗面器に顔を浸けたりするように! いまではシャワーノズルを握りしめて自分に掛けたり、お風呂や海、プールなど水遊びが大好きなようです。将来、北島康介選手を抜く名選手になると確信しております!

#### 4 位：いたずらに目覚め、家中の DVD & CD を破壊

比較的、ハイハイが遅かったわが子ですが、動けるようになると親が思いもよらない行動に出るのはどこの家庭も同じかと思います。わが子の場合、テレビが好きなおともあり、テレビ台につかまり立ちしていることが増えました。その後、テレビ台の上にあった DVD & CD ラックから DVD などを抜き出し、床に擦り付け始めたではありませんか! 一生懸命、やめるように懇願していたのですが、ふと目を離すとキュキュッと擦り付ける音が……。いまでは、わが家の CD や DVD の大半はお亡くなりになっております。あのスクラッチテクニックを見ていると、きっと将来は偉大な DJ になる予感がします。

#### 3 位：父、出張中に初たっち&初歩きを披露

子どもの成長期においては、昨日できなかったことが、今日急にできるようになる感動的な瞬間が多いので、見逃したくないのが親心。特に 0 ～ 1 歳の時期において、最も見逃したくないのが、初立ちや初歩きだと思います。毎日少しずつ練習を重ね、よるよると立ち上がったたり、勇気を振り絞って最初の一步を出す瞬間は親バカとしては涙ものでしょう。わが子は立ちが若干遅く、同月齢の子が続々と立ち上がる中、のんびりとハイハイをしておりました。毎日、一生懸命練習する姿はほほえましいものがありました。ただ、練習をしているものの、なかなか進展せずに 2 カ月程度たったところに私が海外出張に行くことになりました。「お願いだからまだ立たないでよ。まあ、まだまだ先か」と声を掛けて出発したところ……。2 日後に妻から「今日、1 人でハイハイから立ち上がり、3 歩歩きました」とメールが! なんてこったい! その 2 日後に帰国したところには、もう慣れたもので、すくすくと立ち上がっては 5 ～ 6 歩歩き、初々しさを感じられませんでした。感動の瞬間は次の子までとっておきます。

#### 2 位：通っている保育園のグラビアを 2 度飾る

恥ずかしげもなく自慢してしまうと、わが子は非常にカワイイのです。4 月から保育園に通っているのですが、大きな声では言えませんがわが子が一番カワイイと思っています。保育士の先生にも、隅でこっそりと「大津さんのお子さんがかわいくて、ついつい抱っこしてしまいます」と告白されてしまうほどです。そんなカワイいわが子ですから、コスプレするとさらにカワイイさ倍増です。ハロウィンパーティの際にはデビルの格好をして、先生や上級生の女の子などの心をわしづかみにしておりました。その保育園で 2 度ほどホームページトップの写真を飾ったのも自慢です。将来はアイドルになること間違いなしでしょう。

#### 1 位：震災で 1 カ月間疎開

今年はやはり、震災の話題は避けて通れないと思います。被災して子どもや親を亡くされた方のお話を聞くと、自分が親の立場になったいま、より感情移入し、以前にも増して心が痛みます。被災された方々には心からご冥福をお祈りいたします。わが子も生後半ごろに震災を体験しました。東京在住ですので、深刻な被害は受けておりませんでした。原発の先行き不安もあり、妻と子供で震災直後に 1 カ月間ほど田舎に疎開しました。この 1 カ月間は、非常にいろいろと考えさせられる期間でした。1 カ月子供に会えない寂しさはもちろんあったのですが、被災された方々の不安に比べれば比較にならないものでしょう。その後、わが子は帰ってきましたが、半年以上たったいまでも、放射能の不安や恐怖はまったく和らいでいないと思います。政府には、被災地の子供や親

の不安が少しでも小さくする施策を期待したいと思います。

以上、“愚息の一年トップ 5 NEWS” をお届けしました。あまりにも個人的なネタで申し訳ございません。最後に申し上げたように、いまだに震災の傷跡が残っておりますが、@ IT では今後もエンジニアの皆さんが元気になるような話題を積極的に取り上げていきたいと思っております。本年のご愛読に感謝するとともに、来年も引き続きよろしくお願ひいたします。

(@ IT 編集長: 大津心)

# 2012

No.537

Jump! / ようやく「一回り」。次の一回りに向けて

2012年1月6日

## [コラム] アイティメディア代表取締役社長よりごあいさつ ようやく「一回り」。次の一回りに向けて

新年明けましておめでとうございます。本年もご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災および福島原子力発電所の事故により、ご家族ご親族を亡くされた方、そして今なお不自由な生活を余儀なくされている皆さまに、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

思えば、2011年という年は私たちの記憶の中でも特につらく厳しい1年でした。かつて例を見ない大震災によって、多くの日本人が犠牲になり、さらに多くの人々が安らかな日常を失ってしまいました。私たちすべての日本人の心の底にある自信、自負が消えかかっているような気がしてなりません。

復興に向けて動き始めたかと思えば、強烈な円高と欧州の財政危機により、回復しかけていた景況感は一瞬という間に冷え切ってしまいました。また、年金問題、財政、外交、社会保障など、かつての失政のツケがすべての日本人に重くのしかかっています。

そんな中で迎えた2012年は、少なくとも気持ちの面では未来志向で前を向いて歩き始めたいものです。実は、弊社の設立登記は1999年12月28日であり、営業開始は2000年1月でしたので、会社が生まれて丸12年が経過したことになります。今年の干支は縁起の良い「辰（立つ）」です。日本では古来より十二支、つまり12という周期を「一回り」として大切にしてきました。例えば私たち日本人は、「彼は私より一回り若い」と12歳違いをひと言で表現します。

社員200人足らずの弱小メディア企業が、12年「一回り」存続し続けることは簡単ではありませんでした。親会社があったので、不渡りを出して取引先にご迷惑をお掛けすることはありませんが、恒常的な資金不足で、実質的な債務超過になったこともありました。

2000年1月に営業を開始した弊社は、2001年に早速危機を迎えます。9.11世界同時多発テロの影響で、米国を中心に急激に経済が冷え込み、創業したばかりの弊社は何度も苦境に立たされました。当時は、まだネットメディアの経営基盤は弱く、多くのライバルたちは旧来のビジネスモデルである出版などに一時的に逃げ込みました。私たちは、ネット媒体しか持たないメディア企業でしたので、すべてをネットの未来に賭けたのです。

また、このころ米国ではネット企業の合従連衡が進みました。その影響を受けたこともありました。私たちの提携先であった「ZDNet（ジーディーネット）」が同業ライバルである「CNet」に買収されたのです。経営陣が変わったことで、提携先と私たちのそれぞれの経営戦略の間に溝ができ、彼らとの提携を解消せざるを得なくなりました。この「離婚」には、「結婚」するときよりも多くのエネルギーを費やしてしまい、喪失感だけではなく、「これからやっていけるのだろうか」という大きな不安に襲われました。

なにしろ、これまで培ってきた「ZDNet」という、メディアにとって最も重要な「ブランド」と、ネット企業にとっての生命線である「URL」を失ったのです。「ITmedia」としてあらためてスタートを切ることになりましたが、業績や資金繰りも楽ではありませんでした。今考えるとこのときは、当社最大の存亡の危機だったと思います。社員はよく頑張ってくれました。心より感謝したいと思います。

その後、2002 年後半ごろから売上が伸び始め、2003 年には黒字を達成しました。ネットの普及と企業のマーケティング戦略の変化が追い風となり、2007 年まで順調な 5 年間が過ぎました。この間に、株式会社アットマーク・アイティと合併し、2007 年 4 月には東証マザーズにオンライン専門メディア企業としては国内初となる上場を果たしました。

年頭のコラムが、何やら当社の 12 年の歴史を紐解くような話になってきましたが、せっかくですので続けさせていただきます。

上場を果たしたころは弊社の業績も好調でしたが、2008 年に再び危機が訪れます。サブプライム問題とリーマンショックにより、それまで順調に成長を続けてきた売上が減少し、経営的な曲がり角を迎えました。この間、さまざまな対策を打ち、2011 年によく持ち直してきたところです。

メディアはやはり「公器」であり、質の高い情報を提供し続けることが大切です。一方で、私たちアイティメディアは私企業でもあります。財務や経営が安定しなければ、質の高い情報を提供し続けることはできません。

「メディアの革新を通して、情報革命を推進し、社会に貢献する」これは、当社の経営理念です。社員数や資本金、あるいは社会への影響力を考えると、世界には巨大なメディア企業がたくさんあります。しかし、アイティメディアの存在意義は「メディアを未来に向けて革新していくこと」です。創業以来 12 年、幾多の困難も乗り越えて今日を迎えました。これまでに学んだことを生かして、メディアの将来の姿を提案する。そんな会社を目指して、新たな気持ちで突き進んでいきたいと思えます。

(アイティメディア代表取締役社長：大槻利樹)

## No.538

### 黙って付いて来なさい/さぁ走ろう! 田舎マラソン大会のススメ

2012年1月12日

# [コラム]EE Times Japan編集スタッフのつぶやき さぁ走ろう! 田舎マラソン大会のススメ

弊社オフィスは皇居のすぐそばにあるのですが、夕暮れ時になると皇居を周回するコースを毎日多くのランナーが楽しそうに走っています。そんなランナーの皆さんに触発されて、「よし! フルマラソンに挑戦しよう」と思い立ったのが半年ほど前。宮崎在住の友人に誘われたこともあり、南国宮崎で昨年 12 月に開催された「青島太平洋マラソン」に、ふらりと参加してきました。

何とか完走できましたが、タイムは 6 時間 22 分。制限時間が 6 時間 30 分でしたので、本当にギリギリでした。後半はほとんど歩いてしまいましたが、いろいろと楽しいことがあったので、あっという間のひとときでした。鹿児島県指宿市で開催されている「いぶすき菜の花マラソン」に、10 年ほど前に参加したときのおぼろげな記憶と合わせて、田舎の(失礼!)マラソン大会の魅力を 3 つ紹介したいと思います。

#### (1) コースの途中で食べられる地域の特産物

私のようにわかランナーは、最初は快調に走り出しても、20 ~ 30km あたりからへろへろになり、走っているのか歩いているのか分からないような状態になってしまいます。そんなときに休憩所に目をやると、地域の特産物が置いてあります。菜の花マラソンでは薩摩芋、青島太平洋マラソンでは日向夏や日向夏ゼリーをいただきました。よっこらせと道端に腰を下ろし、足をもみながら食べる特産物は格別です。

#### (2) 沿道の皆さんが送ってくれるパワーあふれる声援

練習では 20km も走れないのに、大会本番にはどうにか完走できる。それは、沿道の皆さんが送ってくれる声援のおかげです。青島太平洋マラソンには地域の大勢の高校生がボランティアとして参加しており、すさまじい勢いで声援を送ってくれました(女子高生の声援もアリ)。ハイタッチで迎えてくれるほど力強く声援を送ってくれる集団もあります。へろへろになっていても、大きな声援を浴びると不思議な力が湧いてきて、「まだまだやれるぞー!」と気分が盛り上がってくるという、ちょっとした非日常体験を楽しめます。

#### (3) 「無心」になれる環境

何かと悩みが多いこのご時世、朝起きてから寝る直前まで、(もしかすると夢の中でも) いつも何かしら考えごとをしている方も多いのではないのでしょうか。にわかランナーはフルマラソン後半に差し掛かると、体中の筋肉痛に苦しみながら足をただ前に動かすのみという状態に陥るのが普通です。もはや余計なことを考える余裕はありません。まさに無心の境地。周囲の海や山、草木を眺めつつ、何も考えずにひたすら歩く。なかなか体験でき

ないことです。

フルマラソンというと日々鍛えている人だけが走るもの、過酷な競技と思われがちですが、そんなことはありません。景色を眺めながら走り、つらくなったら「のんびり歩こう!」と開き直ってしまえばよいのです。案外ゆったりと楽しめますよ（きついけど……）。ぜひ、お試しください。

2012 年はさらに南下して、沖縄県で開催されている「NAHA マラソン（12 月）」あるいは、「伊平屋ムーンライトマラソン（10 月）」に挑戦しようかと今から考えています。

@ IT 編集部よりご注意

マラソンは誰でも挑戦できるスポーツですが、大会当日の気候や本人の体調によっては熱中症や脱水症状に陥る可能性があります。心筋梗塞などの重篤な病気を発症することもあります。無理はいけません。生命の危険につながります。競技中は十分な水分補給を心掛けてください。決して無理をせず、体調に異変を感じたら早々にリタイアしましょう。

（エンジニアリングメディア統括部：前川慎光）



## No.539

時間をかけなきゃ分からないことだってあるさ / 陸路で北米大陸を横断してきました  
2012年1月19日

# [コラム] 第一営業部の旅人のつぶやき 陸路で北米大陸を横断してきました

私は旅が好きだ。特に、陸路で移動する旅が好きだ。旅行中、目的地への移動手段はたとえ目的地との間にかなり距離があったとしても、電車やバスで移動することが多い。

年末年始はアメリカに行ってきたが、もちろんただの観光旅行ではない。ニューヨーク～ロサンゼルス間約6000キロを、電車とバスを使って13日間で横断した。旅の間に、陸路での旅のどんなところが良いのかを考えてみたので、以下に思いついたことを挙げてみたい。北米大陸横断中に感じたことなので、ここで紹介する私の考えがすべて、全世界で通用するとは思わないが、場所によっては参考になることもあると思う。

その1、地域の文化の違いと、変化していく様子を感じられる関東と関西では、うどんのだしが大きく異なるということは有名な話だ。その境目は岐阜県にあると聞く。陸路で旅をしていると、隣り合う地域の文化や風習の違いを感じ取ることができる。さらに、バスや電車が進むに従って、文化や風習が少しずつ変わっていく様子を見ることもできる。

今回は北東沿岸部のニューヨークから南西部へ移動した。バスや電車が移動し、メキシコに近づいていくと、次第に暑くなってきた。そして、気温の上昇に歩調を合わせるように街中の看板などにスペイン語の表記が目立つようになるのがとても興味深かった。飛行機は、短い時間で遠くまで移動できるが、快適で移動に時間がかからないだけ。趣に欠ける。

その2、それぞれの地域における人々の暮らしぶりを垣間見られるバスは決して速くはないが、気軽に利用できる。飛行機に比べると運賃も安い。地域に暮らす人々も利用するので、バスに乗っていると庶民の暮らしぶりが少し分かる。

今回の旅行では、大陸横断鉄道のアムトラックと、全米中に路線を張り巡らせているグレイハウンドのバスを利用した。アムトラックとグレイハウンドバスの両方に乗ってみると、利用者や乗務員に明らかな違いがある。両者を比較して運賃に大きな差がない地域であっても、アムトラックは裕福な白人が多く、グレイハウンドバスは黒人、ヒスパニック、若い軍人といった低所得層が多かった。アメリカ社会の格差を見せつけられた思いだ。それぞれの乗客が所持しているスマートフォンを見ても、アムトラックはiPhoneやiPad。グレイハウンドバスはそれ以外と、顕著に分かれていた。

その 3、コスト。これが陸路で旅をするときに感じる最も大きなメリットかもしれない。今回はアメリカの 12 都市を回ったが、アムトラックやグレイハウンドバスには何と「乗り放題パス」がある。これを利用した結果、およそ 3 万円で北米大陸を横断できてしまった。飛行機で 12 都市を回ったら 3 万円で足りるわけがない。およそ 15 倍くらいの費用がかかっただろう。また、バスや電車に乗っていると、宿泊代も浮く。今回の旅行のように 15 日間で北米大陸を横断しようとする、バスや電車に長時間乗ることになる。8 時間以上は当たり前。25 時間以上バスにゆられることもあったが、深夜発の便なら、バスや電車で睡眠を取るようになるので、宿泊代が浮くというわけだ。

その 4、インターネットが使える。旅客機の機内ではインターネットを利用できないのが普通だ。携帯電話の電波も届かない高空を超高速で移動するのだから仕方ない。最近では、通信衛星を利用して、旅客機内でもインターネットの利用を可能にするサービスも存在するが、広く普及しているとは言えない。一方、アムトラックではほぼ全車、グレイハウンドバスも 6 ~ 7 割の便で無線 LAN を利用でき、SIM カードを購入することなくネット環境を構築できた。移動時間中に優雅に @ IT を楽しむのもまた一興だ。

その 5、移動における約束事が少ない。旅客機に搭乗するときは、セキュリティチェックという面倒な儀式を済ませなければならない。搭乗の数時間前にチェックインを済ませる必要もある。旅客機は私たちを短時間で遠いところまで連れていってくれるが、搭乗するまでが面倒なのだ。電車やバスなら、そういう面倒を感じることはない。セキュリティチェックを受けることもないし、目的の便を逃しても、次を待てばよい。自分の都合で、カジュアルに利用できるのが気楽だ。離陸数時間前のチェックインや、セキュリティチェックを考えると、移動距離によってはアムトラックに乗ってしまった方が、飛行機よりも早く着いてしまうということも少なくない。

いかがだったであろうか。1 週間以上の旅行でない、時間を惜しんで航空機で移動することになってしまうだろうが、陸路の旅には、体験してみないと感じられない楽しみがあるということをお分かりいただければ幸いだ。

そして、この点は共感していただけないかもしれないが、全行程を陸路で旅をすると旅が終わるときに、マラソンを完走したかのような達成感を得られるのだ。ぜひ長い距離を陸路で旅して、この感覚を味わっていただきたい。

短い距離を長時間かけて移動すると、辛く感じる時もある。しかし、陸路での移動に何か面白いことを発見できれば、観光地を巡るだけではない、旅の楽しさを感じられるだろう。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部：山田竜司)

## No.540

### やりたい放題 / PC を買い換えなくなったわけ

2012年1月26日

# [コラム] ONETOPI 運営担当者のつぶやき PC を買い換えなくなったわけ

自分の毎年の恒例行事の 1 つに「PC を買い換える」というものがありました。これは新しいモノが欲しいということもありますが、1 年で保証が切れるのであれば、売れるうちに手放し、差額で新品を手に入れる方が賢いのでは、という考えです。が、昨年はその恒例行事がなかったということに気が付きました。

困った。欲しい PC がない。

これにはいくつかの理由があります。そもそもいま使っている MacBook Air (2010 年モデル) が大変優秀で買い換える理由がありません。インテルのロードマップが「いまは買うな、時期が悪い」と警告を発していること……そんな理由をいくつか考えたあと、もっと単純なことに気が付きました。

いまの MacBook Air、シールをベタベタ貼ってるんです。

これが不思議なもので、シールを貼って自分仕様にデコレーションしたら変に愛着が湧いてしまい、これでいいや、と思うようになりました。いや、これじゃなきゃダメかも、と。

これまでの PC との付き合い方は、購入した瞬間から売るときのことを考え、本当にきれいにきれいに使うことだけを考えてました。結果、持ち歩くこともほとんどありませんでした。ですが、いま使っているマシンは以前に比べ単価が非常に安くなったことから、1 年後の売価も高が知れているため扱いが若干雑に。ギークの方々のマネをしてシールを貼ったら意外といい感じで、やっと PC が「自分の手になじむツール」になりました。

よく言われることではありますが、ツールは使ってナンボ。あえて美品を汚すことで、もっと美しく見えるものになるのかもしれませんが。目の前のかわいいツールを壊れるまで使い倒そうと思います。

(スマートメディア事業推進部 : 宮田健)

## No.541

エージェントは大事です / 今しかない? クラシックカーだらけのキューバに行ってきた  
2012年2月2日

# [コラム]人財営業部員のつぶやき 今しかない? クラシックカーだらけの キューバに行ってきた

私ごとですが昨年 4 月に結婚し 7 月に新婚旅行に行ってきました。場所はキューバとカンクン（メキシコ）で 13 日間の旅です。

学生のころにツーリストカードを取得したものの行けずにいたキューバはリベンジ旅行です。地球半周しないと着かないので社会人になってからは行けない、とあきらめていましたが、新婚旅行ということで長期休暇をもらい念願のキューバに初上陸してきました。

キューバはカンクン経由で日本から総飛行時間 16 時間ほどで着きます。これよりも時間がかからない行き方もあるみたいですが、ニューヨーク、カンクンにも行きたかったので、このルートにしました。

カンクン～キューバ間は飛行機でたった 1 時間の距離で、クラシックカーの走る国にタイムスリップです。カンクン～キューバ便は遅れることもよくある、と聞いていたので覚悟していたのですが、やはり飛行機の中で 1 時間ほど待たされました……。まあ、これは想定内ですね。

深夜 25 時に空港着。タクシーを拾い、ホテルのある旧市街地に。旧市街地までの道に街灯はほとんどなく、真っ暗な道をひたすら走ります。徐々に暗闇に建物が見えるようになり、テンションが上がっていきます。

空港から車で走ること 30 分で何とか無事にホテル到着。ようやく、ゆっくりできると思ったら、トラブル発生。ダブルブッキングで部屋がない……。25 時 30 分にホテルの人にタクシーを呼んでもらい、代わりのホテルへ向かうも、タクシーの運転手にホテル近くの広場で降ろされました。スペイン語で「あそこがホテルだよ」といわれましたが場所が分からず、キューバの町をうろつく 26 時。

結局 10 分ぐらいさまよい、見つけたホテルは当初予約していたものよりもグレードが高かったのが良かったのか悪かったのか。翌日には予定通りのホテルに宿泊しましたが、これはこれで良い思い出になりました。これもキューバでは、よくあることなのでしょう。

翌日は、朝から旧市街地を散歩しました。独特なカラーで塗装されたカラフルな建物やクラシックカーの走る街並みを見ると、ますますテンションが上がります。よく写真で見るキューバはクラシックカーばかり写っているのですが、キューバの車はクラシックカーだけなのかと思っていましたが、意外と今どきの車も走っていました。旧市街地ではクラシックカーの割合が 2 台に 1 台という比率のようでした。今後キューバでは、自動車の売買に関する法律が改正され、クラシックカーが減るかもしれないという話もあるので、これだけのクラシックカーが走るキューバを見られたのは、この旅行のときだけだったのかもしれないと思うと、貴重な体験でした。

その他には、ヘミングウェイがよく来ていたというバーや、モヒート発祥のレストラン（モヒートは日本円にして約 350 円! 看板メニューなのに安い）、ハバナクラブが運営するラム酒博物館、オペラ（スペイン語で全く分からず途中休憩で退席……）に行きました。夜はハバナ名物（?）のキャバレーに行き、妖艶で華やかな女性のダンスを楽しみました。

いろいろと見どころのあるキューバですが、私としては街並み、雰囲気が好きなので最終日は旧市街地をゆっくり散策しました。なかでも海辺沿いの道は素敵な場所で、地元の人たちにとっても憩いの場所になっています。夕日が落ちるころには（日が長く夜 8 時くらい）ビール片手に語り合う若者やトランペットを吹いている人、海に飛び込む子供たち、観光客をナンパする地元の人たちで賑わってます。私たち夫婦もビール片手に夕日を見ながら、ゆるやかに流れるひとときを楽しみました。

カンクンから 1 時間で行けてしまう異文化の国キューバ、お勧めです（※アメリカを経由してしまうと、葉巻きやラム酒などのお土産が持って帰れないので、ご注意を）。

ちなみにカンクンに行ったら、自然と動物のテーマパーク「シカレ」は完成度がとても高く見ることをお勧めします。洞窟のある溪流をシュノーケリングを付けて川下りできたり、イルカと泳げたり、夜には「シカレナイト」というショーがあります。ショーのクオリティもとても高く、海のリゾートカンクンとは違う楽しさがあります。ぜひ、行ってみたいかがでしょうか。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 人財営業部：平田雅章)

No.542

ChromeがAndroidにやって来る! さあどうなる? / 週末鉄子で日常からトリップ!

2012年2月9日

## [コラム]1月に入社したアラサー女子のつぶやき 週末鉄子で日常からトリップ!

電車というものが好きです。

「テツ」と呼ばれるにはおそれ多いですが「自分を地下鉄に例えると何線か?」という話題で友人と盛り上がったり、青春 18 きっぷで東京から地元の岡山まで途中下車しながら 3 日かけて帰省したり…… という程度の、ほんの少しだけ鉄分の入ったアラサー女子です。アラサーですが、1 月に入社したばかりの新人でございます。よろしく願いいたします。

以前、日本全国の駅を「降りつぶし<sup>\*</sup>」したという、その周辺ではちょっとした有名人にお会いしました。そのとき、「大井川鐵道に行ったことないの? ダメだよココは押さえとかなきゃ」と叱咤され、翌週、早速静岡県の大井川鐵道へと向かうことにしました。

※注釈: 駅を通過するだけの「乗りつぶし」と異なり、すべての駅で下車すること。時間とお金がかかり掛かる

大井川鐵道とは、静岡県の新金谷駅から千頭駅区間を SL が走る、鉄道ファンに人気の路線。「降りつぶし」をした人が感動し、その後も何度も訪れたというその絶景を楽しみに、いざ SL に乗り込みます。

大自然の中を力強く走る SL。

窓の外には多くの「撮り鉄」の姿。真剣にレンズをのぞき、シャッターチャンスを狙います。相席になった乗車経験豊富なプロの(?)「乗り鉄」のおじさまからは大井川鐵道の楽しみ方を指南されるという、日常から大きくトリップしたひととき。

車内探検を終え、ひと通り写真を撮り終わると、ビールをブシュッ。移り変わる景色を眺めながらの 1 杯は、旅の醍醐味 (だいごみ) の 1 つでもあります。

SL を堪能した後は、沼津の魚に B 級グルメの静岡おでん、おいしい地元料理に日本酒が進みます。結局、花より団子、鉄道よりお酒? なんてツッコミが入りそうですが、ゆったり流れる時間が過ごせた、なんとも幸せな旅でした。

ビジネスの現場では、どれだけ速く目的地に到着できるか、というスピードが大事ですが、鉄道でゆったりのおんびり「移動を楽しむ旅」というものは、なかなかいいものです。

週末限定で鉄道を楽しむ「週末鉄子」、一度お試しあれ。

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部：豊田昌代)

## No.543

ハイブリッドでいこう / 目指せ100種！ おかっぱり海釣りチャレンジは今年も続く  
2012年2月16日

# [コラム]釣りを愛する営業部員のつぶやき 目指せ100種！ おかっぱり海釣り チャレンジは今年も続く

何を隠そう、3度の飯より釣りとクルマと家族とドライブと旅行とスキーと温泉と海と山と電子工作と……えーっと、いろいろと趣味を楽しんでいる私ですが、今回は海釣り、それも「陸（おか）っぱり」を紹介します。

「陸っぱり」というのは、陸に立ったまま仕掛けを投入して釣ることを指します。私の記憶が確かならば、初めて釣りをしたのは実家の近くにある防波堤です。夏に港を埋め尽くすように群れているイワシをサビキ仕掛けで釣った体験だったと思います。正直、この状況であれば誰がどんな道具を出しても釣れるのですが、子供にとってはまさに「衝撃の初体験」！ 若干5歳にして「釣りに行く→いっぱい釣れる→楽しい」という方程式が脳内に確立された瞬間でした。

しかし、人間の向上心は果てしなく、大人になって財布に若干の余裕ができると、「より良い道具で、より良い場所で、より大きな魚を狙いたい」と思うようになります。

「陸っぱり」で釣れるのは小型魚が主で、写真を撮って自慢するような大物を狙うのは（少なくとも、関東では）なかなか難しいことです。魚影が濃い地方までお金を掛けて移動するとなると行ける回数が限られますし、危険を冒して立ち入り禁止の堤防に入るなど、論外です。

大物じゃなく、小魚1匹でも釣れれば楽しいですし、もし釣れなくても海を眺めながら、ゆっくり時間を楽しむこともできます……。が、やっぱり大物を釣りたい！

そこで、私が最近気に入っているのが「遠投カゴ釣り」という釣法です。比較的長めの竿に耐久性の高い「PEライン」という糸を巻いたスピニングリールを取り付け、大きめのカゴに餌を詰め、これまた大きめのウキを付けます。針は入魂の1本針で勝負します。

ここ数年は、すっかり釣り師になった息子と、いかに大物を釣るか、どちらが先に100魚種釣るかを競っています。

釣る楽しみ、釣りたての新鮮な魚を料理して食べる楽しみ、最高ですよ～！ まだまだ寒いですが、春に向けて皆さんも釣りを始めてみませんか？

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部:石岡宣慶)



## No.544

### ビッグデータを活用しよう／アンパンマンは、なぜ愛される？

2012年2月23日

## [コラム]娘を愛する企画推進部員のつぶやき アンパンマンは、なぜ愛される？

私には2歳の娘がいます。娘はアンパンマンが大好きです。どんなに機嫌が悪くても、アンパンマンの番組さえ見せれば、収まります。おもちゃ売り場に行こうものなら、興奮して駆け出すので大変です。娘が最初に覚えた言葉も、「アンパンマン」でした。

3歳くらいの子供に影響力があるのは分かりますが、言葉も理解できない赤ちゃんでさえ心を奪われるのはなぜでしょうか？

以上のような疑問を、ネット検索したところ、面白い答えがありました。赤ちゃんというのは、初めて外界のモノを見たときに、反応する形は「丸」だということです。外界の形には、丸もあれば四角や三角もあります。そして、それらを認識する脳内のニューロンは異なっていて、最初に発達するのが、丸を認知するニューロンだということです。

アンパンマンの顔は誰もが知っている通り、丸。目も鼻もほっぺも、全て曲線で構成されています。そして巧妙なのは、その配色。赤いマント、茶色い衣服、黄色いベルトは、赤ちゃんが親しみを覚えやすい色なのです。

アンパンマンの作者である、やなせたかし氏が、その世界に込めたメッセージにも感心させられます。バイキンマンは悪役ですが、ときには「いい奴」としても描かれ、愛くるしい一面を見せます。アンパンマンは、バイキンマンに毎度のように手を焼きますが、決してトドメを刺しません。

もちろん、それでは物語が終わってしまうからですが、やなせ氏はバイキンマンも同じ比重で大切に描いているように思えます。それについて、やなせ氏はこう説明しています。

——パンを作るには酵母菌が必要。また人間の体にも悪玉菌や善玉菌があり、生活のあちこちに存在する。つまりバイキンは、単に排除するものではなく、社会において共存が不可避——だからだそうです。

この話を聞いて、私は“深い”とうなってしまうしました。何かを作るということは、メッセージであり、そのメッセージが強いからこそ、影響力を持つのだと納得させられました。

(IT インダストリー事業部 企画推進部：田口洋平)

## No.545

### 「ソーシャル」の本質はどこにある？／柴犬にステマ

2012年3月1日

## [コラム]犬を愛する営業統括部員のつぶやき 柴犬にステマ

2010年9月、実家に生後3カ月の豆柴がやってきました。名前は「メイ」。女の子ですが、なぜか「メイ太郎先生」と呼ばれています。

人懐っこい見た目に反して柴犬は、かなりクールなのだそうです。

メイ太郎先生も、名前を呼んでも寄って来ません（しつけの問題かもしれませんが……）。無駄吠えや、噛みつくことは一切なく、非常に良い子です。

驚いたのは、近所のドッグランに行ったときの出来事です。他の犬たちと楽しそうに遊んでいたときに、「どこからそんな力が!？」と思うほど猛スピードで駆け回っていました。

柴犬って、あんなに早く走るんですね。

先日、実家に泊まったときに、可愛さ余って檻の近くで寝ました。いつもと様子が違うことを察したのか、メイ太郎先生はゴソゴソと一晩中起きており、おかげで睡眠不足になりました。

柴犬って、夜寝ないんですね。

離れて暮らしているので、頻繁には会えません。個人の存在を犬に忘れさせないためには、その人の名前を犬にいつか聞かせるといいらしいです。

それを知って、実家の家族には、メイ太郎先生の前で私の話題を出すようにしてもらっています。いま流行りのステマ（ステルスマーケティング）です。今日も、「メイ太郎先生に届け」と、大手町から念を送っています。

メイ太郎先生、いつまでも元気で長生きしてね。

ちなみに、「メイ太郎先生」と検索すると、可愛い豆柴の画像が出てくるので、気になった方は、ぜひチェックしてみてください。

(IT インダストリー事業部 営業統括部:大西七歩)

## No.546

### 花が咲く、鼻を焼く / だってタマゴがこげてるんだもん

2012年3月8日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# だってタマゴがこげてるんだもん

子育てをしていると、小さな子どもが口にする悩みや苦情、言い訳が身につまされることが少なくありません。幼稚園での人間関係の悩みは、ほとんどそのままオトナ社会の人間関係にも当てはまります。

A: りさちゃんって、意地悪なんだよ。だっておもちゃ壊しても謝らないんだもん!

B: こうくんはずるいよ。先生に隠れてご飯を残すんだもん!

C: ふじ組のめいちゃんは、お姉ちゃんだからって、いばるからきらい!

サラリーマンがビールを飲みながら、以下のように話していても不思議はありません。

A: 山本って最低。プロジェクトがコケたのに顧客に謝らないんだぜ。オレの立場はどうなる?

B: 第 2 営業の田淵さ、部長の見えないところでえげつない数字をでっち上げてんだぜ?

C: あの日浦ってなに? オレより入社が 1 年早いだけでなんであんなに偉そうなわけ?

幼稚園児と会社員で言ってることは基本的に同じです (すべて架空の会話です)。私が父として言うのは、オトナ社会にも嫌な人間はいくらでもいるけど、「いいオトナ」は愚痴らないもの。だから、お前ももう 5 歳なんだから愚痴るのはやめなさいということだけです。愚痴っても何も変わらないし、他人は変えられない。変わるのはお前のほうだけだと。

そんなことを口にする、ムスメに説教しているのか、自分に言い聞かせているのか分からなくなってきます。

もう 1 つ、子どもとオトナで相似形だなと思うのが、「言い訳」の構造です。

子どもは変な言い訳をします。例えば、「どうしてほうれん草を食べないの? 早く食べなさい」と言うと、同じお皿に乗っている罪のないスクランブルエッグを指さして「だってタマゴがこげてるんだもん」というようなことを言ったりします。

は!? 関係ねえ! ほうれん草だよ! 理屈になってねーぞ!

お皿でたまたま隣合わせたタマゴが焦げているからといって、ほうれん草を食べないというのは意味が分かりません。面食らうほどスジが通っていません。子どもらしい言い訳に思わず笑ってしまいそうになるのですが、ふと、オトナの言い訳はどうなんだと思ったりするのです。

雨が降って電車のダイヤが乱れたから遅刻した（関係ねえ! 10 分刻みで電車は来てるし）

忙しくて時間がないから勉強ができない（関係ねえ! テレビを週に 10 時間も見てるじゃんか!）

x のせいでプロジェクトが止まっている（x とプロジェクトの関係を述べよ!）

今週は休肝日がゼロ。付き合いもあったからねえ……（関係ねえ! 火曜日と水曜日は自宅飲みじゃんか!）

太ったのは職場の常設グリココーナーのせい（理屈になってねえ! 食ったのはお前だ!）

……どれも程度問題なのではないでしょうか？

できないこと、できなかったことの言い訳と、できないことの正当な理由の違いはどこにあるのでしょうか？それは状況や主観による程度問題です。だとするとですよ、実はオトナの言い訳も程度が低いことが多いのではないかと思えてくるのです。オトナが「x だから y ができない」という場合、その x が真因であるケースというのは実は相当に少ないのではないのでしょうか。特に仕事関連だと、できない理由が 10 個あっても、できる理由が 3 個ぐらいあれば全力でやれて話です。そう考えると、オトナだって毎日のように「タマゴがこげてるんだもん」と言っているのではないかと自省したりするのです。

読者の皆さまにおかれましても、「今年こそ xxx をやる!」と正月に宣言しておきながら、花粉が舞い始めた今に至るまで、1 秒たりともソレに取り組んでいないなんてこと、ありませんか？なぜですか？「だってタマゴがこげてるんだもん」という言い訳はなしにしましょうよ。

（@ IT 編集部：西村賢）

No.547

アイデア出すならブレストで / 品川のアダムス・ファミリー

2012年3月15日

## [コラム]@IT自分戦略研究所編集部員のつぶやき 品川のアダムス・ファミリー

わが家は「品川のアダムス・ファミリー」と呼ばれています。毎年 10 月 31 日のハロウィンにかかる圧倒的情熱が、命名の理由です。ハロウィンとクリスマスの情熱比は、9:1 ぐらいでしょうか。

10 月になると、家は徐々にホーンテッド・マンション化していきます。階段には、おもちゃのクモの巣とコウモリを飾り、廊下のランプには薄く伸ばした綿を掛けてホコリが積もっているように見せます。トイレや台所、各人の部屋には日を追うことにかぼちゃが増殖し、月末近くにはダンボール 3 箱分の飾りを使い切ります。

10 月 31 日は、家中の人間がそろって料理を作る慣わし。主なメニューは、かぼちゃグラタン、魔女の指ウィナー、真緑のカクテルに紫のゼリー、おばけピザ、おばけカップケーキなどをもりもり作って、仮装しながらもりもり食べます（合言葉は「アメリカ人を見習え!」ですが、これは見た目の話であって味は見習いません）。

「なぜ、そこまでハロウィンに全力?」とよく聞かれます。

もう、かれこれ 10 年以上続けているので、花見やクリスマスと同じぐらい当たり前なのですが、周りの人にとっては不思議なようです。

昔に住んでいた地域がハロウィン祭りをやっていたから、などもっともらしい理由を見つけようと思えばできるのですが、おそらく本当のところは「全力で遊びたい」人が集まっていたからではないかと。

いかに通常の料理で使わない色（蛍光ピンクとか青とかライムグリーンとか）を使って、おいしい料理を作るかというコンセプトの基、アイデア会議をやるのはなかなか楽しいですし、それを実装するのはさらに面白い。スタッフがおいしくいただくためのものなので、全力にならざるを得ないところがポイントです。

日本では装飾やレシピの情報が少ないので、海外の本や Web サイトを参照し、装飾、主菜、デザート、ドリンクについては各人の得意分野ごとに役割を分担します。いつまでにどれだけの準備をするかを情報共有し、手が足りないようなら手伝います。ただのプロジェクトですね。

クリスマスだと、こうはいきません。すでに装飾やレシピの定型が充実しているので、遊びやいたずらの要素

がハロウィンに比べて少ない。工夫の余地があるからこそ、頭も手も動かしがいいというものです。

エンジニアからものづくりの楽しさを聞くと、ジャック・オ・ランタンがケタケタと笑いながら脳内をよぎります。もちろん、仕事でのものづくりと家でのイベントは比べられるものではありませんが、根本の楽しみは、それほどずれていないように思います。だからエンジニアから話を聞くのはとても面白いし、それを伝える仕事で良かったと思います。楽しみは、プログラム言語と同じようにさまざまな人をつなぐ共通言語ですね。

「遊ぶ姿勢に、その人の実力と本気が表れる」とはプロマネ（母）の言葉ですが、その教育効果は抜群でした。絶賛子育て中であるエンジニアの皆さまにおかれましては、ぜひ一家内プロジェクトの導入をご検討いただきたく。

（@ IT 自分戦略研究所編集担当 金武明日香）

No.548

人脈づくりのポイント / 削っちゃいけないインバルの個性

2012年3月22日

## [コラム] @IT情報マネジメント編集部員のつぶやき 削っちゃいけないインバルの個性

@ IT 情報マネジメント編集部の内野です。先日、久々にクラシックのコンサートに行ってきました。曲はドボルザークの「新世界」。誰もが知っている超メジャーな曲ですし、クラシック好きな自分としては「何を今さら」感もあったのですが、エリアフ・インバルというマーラーを得意とする人が指揮者なので、興味深く思ったのです。

このインバルという人を初めて知ったのは高校生のころ。安物ですが自分用のオーディオを買ってもらったばかりだった僕は、少しでも良い音で鳴らしてみたく、学校帰りに本屋でレコード雑誌を読み漁ったりしていました。そんな折に、何かの雑誌で「優秀録音賞を取った」というインバルの CD を見つけたのです。

曲はフランクフルト交響楽団によるマーラーの「交響曲第 5 番」。それまでもチャイコフスキーとかリムスキー・コルサコフとかオーケストラを鳴らしまくるような曲は聴いていましたが、この CD は衝撃的でした。ダイナミックレンジがとて幅広く、特に強奏部で金管セクションが荒々しいほどに鳴りまくっているのです。かといって、決して雑というわけではなく、とてもドラマチックで情感豊かな仕上がり。

当時は、まだ子供ですからクラシックを聴く基準は「かっこいいかどうか」「気分が高揚するかしないか」くらいのものでしたが、「かっこいい」「高揚する」以上の何かを感じたのでしょ。すっかり、その CD の“とりこ”になってしまい、近所迷惑も省みず、安物のオーディオが壊れるほどの音量で毎日のように聴いていました。

その後、他の指揮者、他のオーケストラが演奏するマーラーの「交響曲第 5 番」を、いくつか聴きましたが、違和感や物足りなさを感じてしまい、マーラーについては今に至るまで、その CD を聴き続けてきました。そのインバルが今、目の前にいる。「いったいどんな新世界になるんだろう」と耳を傾けていると……。不思議ですね。少し泥臭いというかノスタルジックな感じがするドボルザークの曲にもかかわらず、ところどころで独特の悲哀やロマンティシズムを持つマーラーっぽく聴こえたのです。ま、気のせいというか、ブラシーボ効果のせいかもしれません。

でも、演奏が終わった後、あの CD で感じるのと同じような感情を抱いていたことから、もしかしたら自分が気に入ってきたのは、マーラーでも「交響曲第 5 番」でもフランクフルト交響楽団でもなく、実はインバルだったのかなあなどと考えていました。

どんなにきれいな仕上がりでも、個性がないものってあまり魅力を感じませんよね。音楽に限らず、やっぱり一貫したスタンスというか、思想のようなものがにじみ出ているものほど魅力的に思います。

そんな目で周りを見てみると、最近安くてよくできたものがたくさんありますが、「魅力的なものって少ないなあ」などと感じます。特に最近の自動車は、そのほとんどが僕には白モノ家電にしか見えませんし、駅前の風景も、どこで降りても同じように見えたりします。僕の視野が狭いだけなのかもしれません。でも、標準化やコスト削減も大切ですが、やっぱり削っちゃいけないものもありますよね。

昨日も、そのマーラーの CD を聴きながらコスト削減に関する記事を書いている際に、ふとそんなことを思ってしまったのです。

(@ IT 情報マネジメント編集担当 内野宏信)



No.549

ペアプログラミングエトセトラ / 空前のろくろブームの裏事情

2012年3月29日

## [コラム]@IT編集部員のつぶやき 空前のろくろブームの裏事情

ご存じですか? いま、IT 業界で空前のろくろブームが起こっています。

発端となったのは Twitter。「IT 業界の人のインタビュー写真は、みんなろくろを回しているような手つきをしている」というつぶやきをきっかけに、「そういえば確かに」「自分も、ろくろを回してた!」と大いに盛り上がりを見せています。

実は記事を掲載する側からすると、ろくろポーズって使い勝手がいいんですよ。証明写真のように真っ正面から撮影した動きのない絵だと、ライブ感がいまいち伝わりません。下手すると、「この人、無理やりしゃべらされているんじゃないか……」なんて印象が浮かんでしまいます。その点ろくろポーズは、手つきのダイナミックさといい、身の乗り出しっぷりといい、「この人は真剣に、熱意と自信を持って語っているのだなあ」というイメージが、ひしひし伝わってくるわけです。

取材をしても、始めからろくろを持ち出す方はあまり多くありません。最初はやっぱり硬い感じで、控えめな動きでお話を始めるわけなんですけど、だんだん興が乗ってくると、徐々にろくろが回り出します。後半になればなるほど、ろくろが大型化する傾向にありますね、だいたい。

ただ今度は、あまりに勢いに乗りすぎて、シャッターチャンス逃してしまうという問題も生じます。この点、海外のスピーカーさんは手慣れてますねえ。カメラを構えると「ほら、いま取ってね」といわんばかりにニコリと笑って、小ぶりのろくろを取り出してきます。

要は、インタビュー記事を編集する側の視点ゆえに、ろくろ回しが世にあふれているわけです。それにしてもこの習慣、元をたどればどこから生まれたんでしょうね? 個人的にはビジネス誌あたりが源流だとにらんでいるのですが(タイアップ記事という説も)、もし初出をご存じの方がいらっしゃれば、ぜひお知らせください!

(@ IT 編集部 高橋睦美)

No.550

どうなる？ 2012年度 / 26歳 Happy Birthday の誓い

2012年4月5日

**[コラム]@IT統括部員のつぶやき**

## 26歳 Happy Birthday の誓い

2012年4月より@IT統括部所属になりました太田智美と申します。入社2年目の未熟者ではございますが、何卒よろしく願いいたします。

実は、本日、26歳になりました。 ☆。°。°。(●'▽'●)ノ。°。°。☆

今日は、両親をはじめ、いつも私のことを支えてくださるすべての方へ感謝する日にしたいです。

せっかくなので、ここで26歳の誓いをひとつ……。

「26歳、太田智美は、トゲになることを、誓います。」

昔からエッジが立っている人って学年に1人は必ずいますよね？ どこにいても周りに人が集まっていて、オーラを放っている。今年はそういう人を目指したいなあ……と。

でも、最近気付いたのですが、そういう人って生まれつきというか、いざ「なろう!」と決めてなれるようなものではないような、そんな気がします。それに、今の性格的に、100人いたら100人に好かれるような人格なんて絶対に無理……。せっかくなら、自分らしいことを誓いにしようと考えました。

そこで思い付いたのが「トゲ」。「〇〇といえば太田智美」と言われるような、鋭くて不気味なヒカ리를キラリと放つ「トゲ」になりたい。いつもどこかでチクチクしていたい。

そんなことを思う26歳の始まり。来年のいまごろはどんな自分になっているのか楽しみです。

(@IT統括部 太田智美)

No.551

挑む! スマートフォンアプリ開発/マジック×ロジック×テクノロジー

2012年4月12日

## [コラム]ITmedia マーケティング編集長のつぶやき 21世紀のマーケティングは マジック×ロジック×テクノロジー

1979年に創刊された「広告批評」は30年間、テレビCMの批評を通して、大量消費時代に突入した日本の「いま」を切り取り続けてきました。しかし、触媒としてのテレビCMがかつての輝きを失い、時代を批評するという大きな役割を担えなくなったことで、2009年4月、自らその役割に終止符を打ちました。

現在の日本は、あえて言えば、ポスト大量消費時代と位置付けられる気がします。ひたすら作って、どんどん消費するのではなく、必要な量を必要に応じて消費する時代。潮目が大きく変わったのは西暦2000年ごろでしょう。

そんな時代の変化に寄り添うように、企業のマーケティングのあり方も変化を余儀なくされています。このことは、「広告批評」が存在し得なくなった大きな要因として、指摘に値する重要なポイントだと僕は考えています。キーワードは「ロジック」と「テクノロジー」です。

よく言われることですが、マーケティングはマジックとロジックの融合です。いままでの過去30年間は、どちらかという、優秀な広告クリエイターの発想(=マジック)が企業のマーケティング活動を牽引していたような気がします。つまり、マジックのタネをロジックで裏打ちしてきたということです。しかし、21世紀に入り、インターネット技術(=テクノロジー)が台頭するに従って、理詰め(=ロジック)の存在感がマジックを凌駕しつつあるように感じられて仕方ありません。

マジック優勢時代の広告表現には時代を批評する力がありました。それは、広告がある種の芸術作品として普遍的な価値を持ち得る存在だったということを意味します。一方、論理に勝った広告表現は、強力な即効性能を有しますが、だいたいにおいて批評という優雅な営みとは相性が良くありません。

21世紀初頭のマーケティングは、ロジックとテクノロジーの発言権が強まると予想されます。もちろん、マジックが消滅するとは思いませんが、20世紀の大量消費時代で一世を風靡したような感じではなく、いままで以上に存在感を増したロジックやテクノロジーと融合する形で、“新しいあり方”を模索していくのだと思います。

つまり、僕たちはいま、マジックとロジックにテクノロジーを加えた新しいマーケティングが求められる時代を生きているということです。そんな激動の時代を切り取るために、アイティメディアは 2012 年 7 月 17 日、テクノロジー志向のマーケティング専門メディア「ITmedia マーケティング」をオープンします。21 世紀のマーケティングはとても面白いですよ。

(ITmedia マーケティング編集長：谷古宇浩司)

## No.552

### Twitter CEO 来日! 今後の展望は? / 電子書籍のライバルが Amazon である理由

2012年4月19日

# [コラム] メディア・マーケティング統括部員のつぶやき 電子書籍のライバルが Amazon の 1-click である理由

電子書籍を利用したことはあるでしょうか。現状、国内の電子書籍は普及に苦戦中という話もありますが、ではその最大のライバルはなんのでしょうか? 年内国内進出が一部で報道されている Kindle でしょうか? やはり紙の書籍・リアルのお店でしょうか?

私は Amazon の 1-click 注文システムだと思っています。

電子書籍のメリットは、その 1 つに「本屋に行かずとも、いつでもどこでもすぐに本が手に入る」ということが挙げられますが、Amazon の 1-click 注文システムと「お急ぎ便の組み合わせは、紙の本ながら電子書籍のそうしたメリットを凌駕します。欲しいと思ったときにブラウザの検索フォームに書名を打ち込み（大概是検索結果の最上位に表示される）Amazon へのリンクへと飛び、1-click で買う。ここまで 3 ~ 4 クリックで済み、時間にして 1 分とかかかっていません。

もちろん、実際に本が届くまでには 1 日~数日かかるでしょう。しかし、それは「買う」という行為の前に立ちはだかるハードルとしては、二次的なものです。実際に本が届くのがいつであろうが、買い手側はまず「買った」という事実が欲しいわけです。そして、その「買った」という体験を与える仕組みとして、Amazon のシステムは最も速い部類に入るでしょう。電子書籍は実際にコンテンツが手に入るまでの時間は紙の書籍と比べて短く済む場合が多いですが、「買った」という事実を手に入れるまでの時間は、Amazon の 1-click 注文システムにまだ及ばない、というのが私の実感です（電子書籍ストアの品揃えがまだ不十分、という問題もここには含みます）。

当然、本が届いた後に本棚の残りスペースを見て後悔するわけですが、あの速さは、そうした後悔を後悔に留めておくだけの欲望を喚起します。反省はしません。

いつか、電子書籍がそれ以上に速く「買える」日が来ることを待ち望んでいます。

(ITmedia メディア・マーケティング統括部: 伊藤海彦)

## No.553

### GWセキュリティ注意報／喜びを他の誰かと分かり合う！

2012年4月26日

# [コラム]メディア・マーケティング統括部員のつぶやき 喜びを他の誰かと分かり合う！

3～4月に東京オペラシティで開催された、小沢健二さんのコンサート「東京の街が奏でる」に行ってきました。90年代に「渋谷系の王子」と呼ばれていたころからのファンですが、ライブには一度も行ったことがなかったため、生まれて初めて生で見る、聴く「小沢くん」でした。なので、その感動、いや緊張たるや……途中の記憶が一部飛んでるくらいです！（もったいない!）

小沢さんは2010年に自ら公式サイトを立ち上げ、13年ぶりにライブツアーを行い、音楽活動を再開しました。それ以来、そのサイトでファンに向けてメッセージを発信したり、Ustreamで今回のコンサート開催や作品集発売の告知をしたりと、ネットを使ったセルフプロモーションを行っています。活動休止から現在も、テレビなどの既存メディアには姿を見せないため、公式サイト更新やUstream中継のたびに、ファンはちょっとしたお祭り状態になります（笑）。

私は活動再開時もライブに行けなかったのですが、そのライブに行った、たくさんの方たちとTwitterで知り合うことができました。オフ会やTwitter越しに彼ら彼女らと「会話」するうち、無理してでも行けば良かったと後悔したので、今回は絶対に行こう!と強い気持ちで臨んだのでした。

さて、どんなコンサートだったかは、多くの方がブログなどに感想を書いていますし、ここで書くと長くなりそうなので控えておきます。ご興味のある方は検索してみてください。

私がコンサートそのものと同じくらい楽しく感じたのは、2年前から交流してきたTwitterのオザワ友達や、今回また新たに知り合った方たちと、会場で実際に会って話して盛り上がったことでした。首都圏だけではなく、地方から遠征してきた人たちもいましたし、自分は見ない日でも、その日見る友達に会うためだけに来る人もいて、まさに「喜びを他の誰かと分かり合う\*」ようなお祭り状態でした。

さらに、全12公演のうち最後の2回は、小沢さん自身の計らいで、演奏中の様子を映したモニターが会場ロビーに設置され、チケットが取れなかった方も無料視聴できました。公式サイトでの本人による告知や、ソーシャルメディアで情報が広まり、かなりの人数が集まったようです。私はこの現場を見ていませんが、ここでもファン同士の交流があったとか。

※「痛快ウキウキ通り」（作詞・作曲：小沢健二）という曲の中に出てくる歌詞です。

アーティストとファン、さらにファン同士がネットを通じてダイレクトにつながり、交流する。彼が活動休止した 1998 年当時は難しかったことが、いまは実現できているのを目のあたりにして、Web 業界の片隅にいる者としては、なんだか面白い時代になったなあと思わずにはいられないのでした。

(メディア・マーケティング統括部：阿部知衣)

## No.554

### 話題再沸騰！ソーシャルゲーム界／ゴールデン……ワーク？

2012年5月10日

## [コラム]デザイン部4年目社員のつぶやき ゴールデン……ワーク？

GW も明け、日常が始まってしまいました。社内では、お土産の交換会が行われる中、私はもらうだけ……。GW 中は、まったく外出しませんでした。

というのも、同期に誘われて、とある社会人サークルの Web サイトを作ることになり、その作業をするため 6 日間ほど家にこもり、ずっとコーディングをしていました。

担当は Web のフロント周り全般で、6 日間で LP (ランディングページ) を 4 つ、既存のページ改修、新サービスのデバッグ作業などをこなしました。LP のデザインはほぼ決まっていたからまだ良いものの、5 月 1 日の時点で作業は大量に残っていました。

ああ、これは、もう無理だ、どこにも行けない。ごめんよ NEX-5。GW 中にお前を起動することはないようだ――。

この時点で、遊びに行くことをあきらめました。休日とは体を休める日ではなかったのか。

作業のやりとりは、すべて Google+ のチャット上で行っていました。一緒に作業をしている人たちも、焦りと疲れで日に日に口調が変わっていく。そして止まらない Google+ のリプライ音 (iPhone のアプリは音が鳴りません)。

ピロリンピロリン 「ここ修正してください」

ピロリンピロリン 「表示崩れてます」

ピロリンピロリン 「このページの進捗は、どうですか。いつごろ出せそうですか」

私は、そっと通知設定を切りました。

生活のサイクルは、コンビニでご飯を買う→食べる→作業→気づいたら寝落ち……と、このような感じでしたが、何とか最低限のリリースは完了し、ひとまずの目標は達成できました。かなり体はきつかったですが……。



ただ不思議と、辛くはありませんでした。一緒に作業している人たちが、同じように自分を追い込み、本気で取り組んでいる人たちだったからだと思います。一緒に作業していると、何か悔しくて「負けられない」という気分になるんですよね。ある意味充実した連休だったと思います。

……連休明け、疲れすぎて遅刻した理由は以上です。すみませんでした!

(メディア開発本部 技術開発統括部 デザイン部 : 吉川拓希)

No.555

ドキドキの新人配属♪ / 京都のアヤシイ夜

2012年5月17日

## [コラム] 新入社員のつぶやき 京都のアヤシイ夜

はじめまして、この春から ITmedia で働くことになりました、新入社員のすだです。本日より 4 週間、@ IT 通信コラムは新入社員 4 名が担当いたします。本日は私、すだの担当になります。“管理本部付”となっていますが、実は本日夜に配属が決定します……ドキドキです。お手柔らかにお願いいたします！

先週はゴールデンウィークでしたね。皆さんはどこかにお出かけされましたか？ お休みをとって 9 連休だった方も多いのではないのでしょうか。

私はゴールデンウィーク前半に京都へ行ってきました（もちろん新人は有給とらずに 3 連休 + 4 連休です！）。初めての京都で、古風な街並みを味わおうとワクワクでした。

到着当日の夜は京都料理の 1 つ、「おばんざい」。和風な店内にカウンターがあり、お惣菜が 10 種類ほど並んでいます。ひじきの煮物や魚のマリネ、切干大根や里芋の煮転がしといったおふくろの味が楽しめます。一緒に旅をした友人と乾杯をし、おばんざいとともに「ぶぶづけ」を楽しみます。あられなどがかったご飯に、ほうじ茶をかけ、塩辛い煮昆布と一緒に食べます。これがまたおいしい。

カウンターは団体のお客さんから個人のお客さんまでさまざまで、私たちの隣に座っていたのは少し酔っぱらったおじいさんでした。こちらに微笑みかけながら「旅行ですか？」と話しかけられた友人。そのまま話は盛り上がり、おじいさんは語り始めたのでした。

おじいさんは生粋の大阪人。かつて原発に出入りしていたメーカーの社員で、政府の方針で原発が国内に一気に増えた頃働いていました。東京電力ばかり非難されるが、なぜ政府は自分のことを否定しないのか、そんな内容の講演をよく行っているそう（あくまでおじいさん談です）。

おじいさんは話をやめる気配はなく、女将さんも交えて会話は続きました。なんでもこのおばんざい屋さんにはよく来ているそうです。「今日もママが元気くれって言うから来たんだから」と得意げにおっしゃっていました。

すると「ママが元気になるもの持ってきたから」とおじいさんは何やら見たことのない機械を取り出しました。中学のときに見たようなアンペア、ボルト表示のある機械、そしてコードでつながった鉄のプレートがついていま

す。「心臓が悪いんだから、胸にあてて」と言われるがままに胸に当てる女将さん。「悪いことは言わない、絶対よくなるから、この機械を買いなさい」……あれ？

そのあとも酵素がとれる健康食品を全員食べさせられ、続ければ絶対よくなるから買いなさい、と言われました。おじいさんのこれまでの語りはマルチ商法だったわけです。知らない年輩の方と話せるようなコミュニケーション力も大切だろうと長々付き合っていたものの、最後に裏切られたような気持ちになりました。

時に旅は素敵な出会いをもたらしてくれると思いますが、皆さんも知らない人には気を付けてくださいね！

(管理本部 総務人事部：須田希美)

## No.556

### IT業界のEclipse / グルメな合同研修

2012年5月24日

## [コラム] 新入社員のつぶやき グルメな合同研修

はじめまして。新入社員の張です。先週から始めました新社員コラムシリーズ、第2弾は私がお届けいたします。

私たち新社員は先週木曜日に配属発表となり、いよいよ今週から各部署での勤務が始まりました。配属発表当日は、研修の課題をやりながら、そわそわ、にやにや、うろうろ、という謎のテンションで夕方の発表を迎えました。今はまだ不安と期待が入り交じっている状態ですが、気持ちを新たに今週から頑張っています。

さて、皆さんはどんなランチタイムを過ごされていますか？

今年のアイティメディアの新人研修には「5社合同研修」というものがありました。当社の新社員は4人ですが、インターネット関連事業をやっている他社の新社員と一緒に、合計20人でマナー研修、Webの基礎研修、会社説明のプレゼン大会などを行いました。

この研修では、何度か他社や専門学校などに行くことがあったので、毎回「今日のお昼は何食べよっかなー♪」とわくわくしながら考えることが最大の楽しみでした。お昼休みのたびに、同期や他社の皆さん（「仮想同期」と呼んでいます）とおいしいご飯を求めていろいろなところに行きました。

恵比寿では、チキンライス、鰻丼、メキシカンバイキング、五反田ではハンバーグ、渋谷ではトムヤムクンとチカラ飯、築地市場では海鮮丼を食べました。特に、海鮮丼への想いは熱く、会社説明のプレゼンでバタバタしていた日でも、アイティメディアの4人ははるばる海鮮丼を食べにいきました（さすがに時間がなく、テイクアウトにしましたが（笑））。

アイティメディアのオフィスがある大手町に戻ってきてからは、ビル地下の飲食店で売っている500円弁当がお昼ご飯の中心になりましたが、いろんなメニューがあるので、毎回選ぶのに迷ってしまいます。迷ってうろうろしているうちに争奪戦に負けることも……。神田も近いのでオフィスが移転する前に、もっとお昼ご飯の開拓をしたいなあというのも最近の野望であります。

一方で、昨年からiPadの家計簿アプリで支出を記録し続けているのですが、研修期間の昼食代はなかなかき

つかったのも正直なところ。社会人になりたてのころは「お弁当女子になる」という目標があったにもかかわらず、まだ一度しかお弁当を作れていません。節約のためにも「そろそろ自炊復活させねば」という反省もあります。以上が、私のお昼事情であります。

思い返している今もおなかが空いてきてしまうくらい、おいしいものに出会った貴重な研修期間でした。ランチの時間ってとっても至福なひとときなんですよ。おいしいものを食べながら、ほっと一息つく幸せ。これからもランチには熱い想いを掛けていきたいと思っております。

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部 メディア営業部：張筱)

No.557

インターネットと音楽事情 / “かわいい” に潜る

2012年5月31日

## [コラム] 新入社員のつぶやき “かわいい” に潜る

総選挙が近い。もちろん、AKB48 選抜総選挙です。ああ今年は、いったい何が。

AKB48 が好きです。女なのにアイドルが好きって変わってるね、どういう気持ちなの、と言われることもありますが、アイドルに限らずかわいい女の子がとても好きです。自分と年がそう変わらない、あるいは年下の子たちががんばってるのを見ると、妙に感極まってしまう。自分はこの子たちと同じ生きものでいいんだろうか……! と思いつめてしまうレベル。異次元です。

“manufactured girl group”。先日ミュージックステーションに出演したノエル・ギャラガーさんが、番組出演後に自身のブログで彼女たちをそう称したことに注目が集まっていたのですが、ファンとしては大変に的確な表現だと思いました。「みんな同じに見える!」、最初はそこが出発点で正しいし、わたしもそうだったわけです。あれだけたくさんいて迫力すら感じさせる女子の“群れ”の中でのやりとりを眺めていると、当たり前ですが、それぞれに個性やキャラクターがあることが分かっていきます。平面に見えていたものが急に立体的に見えたときのドキドキはすごいです。あれだけ人数がいると、もっと知りたい、と思ったときにいくらでも潜り込んでいける先があります。ディティールに目が行くようになると、もうキリがないです。

最近は Google+ が楽しくて楽しくてしょうがないです! 「人気の投稿」にしょっちゅう出てきてうとういしい! という方もいらっしゃるかもしれませんが、彼女たちのソーシャルメディアの使いこなし方や適応力の高さが本当にすごくて感動します。最初は支給された GALAXY の充電のやり方すらおぼつかなかったのに。限られた仕組みの中で新しいコミュニケーションのやり方をどんどん生み出しています。

- 毎日動画をアップして自己プロデュース番組を作る、「クイズを出して正解した人には +1」(本人から +1 が付く!)
- 出演ドラマをリアルタイムで見てコメント欄でファンと一緒に実況する「質問募集します!」
- でも、500 件のコメントすべてに回答するのは大変なので「10 の倍数の質問に答えるよ」

などなど

いろいろ考えるなあ、と感心します。誰にも教えられてないだろうけど、これは完璧なソーシャルマーケティングです。

商業的な意味でも音楽的な意味でも、いろいろ揶揄されていることはファンもよく分かって、それでも目を離せないエネルギーが AKB48 にはあるのです。アイドルという虚像であっても女の子たちが笑ったり泣いたりしているのは紛れもない事実です。順位が付いてしまうことは、とてもつらいし、ある意味下世話だと思いますが、それでも見守りたい気持ちが勝ってしまいます。

決戦は 6 月 6 日です。どんな結果になっても絶対にドラマが生まれる仕組みなんです。心が痛い。ドキドキ。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 企画推進部 : 山崎春奈)

## No.558

### 遠くにも、触れていきたいの…… / 1人暮らしを始めて2カ月

2012年6月7日

## [コラム]新入社員のつぶやき 1人暮らしを始めて2カ月

こんにちは。新入社員の和田です。ほかの新社員は3人とも女性で僕だけ男なんです。なんかすみません、という感じですが、こんな私は4月から1人暮らしを始めました。

実家は千葉市内にあり、アイティメディアの大手町オフィスまでは片道1時間とちょっとです。電車に乗るのが嫌いなので、この時間がとっても苦痛です。そこで千葉市内よりもっと近くて家賃の安い場所に引っ越そうと入社してから決めました。遅いですね。候補地はいろいろありましたが、宅配BOXとオートロックというハイテクな匂いに釣られてしまい、東京駅から電車で20分の市川駅近くのマンションに引っ越すことにしました。

引っ越すことを決めてから実際に引っ越しするまでの期間が10日ぐらいしかなかったので、かなり大慌てで引っ越し準備を行いました。引っ越し準備って重要ですよ。アレが足りない、これが足りない、で2カ月たつたいまでもダタバタしています。最近、やっとキッチン収納とか部屋のインテリアを考える余裕が出てきたので、いろいろな雑誌を見ながらどんな部屋がいいかな? っと思いさら考えています。

1人暮らしの一番の難関ポイントは、家事です。いままで親に甘えて生きてきたものですから、ご飯をめったに作らない、洗濯機を回さない、炊飯器を使えない、とできないことだらけでした。クックパッドなどを見ながら必死になって料理をやっているうちに最近徐々に料理が楽しくなってきました。夢としてはテレビ番組の「MOCO'S キッチン」みたいにオリーブオイルをかけたり、塩をふぁーっとかけたりして、格好良く料理したいです。一方で、洗濯はキライになりました。洗濯機に任せておけばいいのかな? と思っていたのですが、実際は天候を気にしないといけないので、なかなかタイミングが難しいです。また、引っ越し初日に排水ホースが抜けて部屋一面が水浸しになる大惨事も起きたため、それ以来洗濯中は洗濯機から離れられません。

親ってすごいですよね。1人暮らしをして親に感謝しないといけないとあらためて実感しました。

あっ、初任給で何もプレゼントしてない!

(メディア開発本部 技術開発統括部 開発部:和田良太)



## No.559

### 記事に隠れてる「ギョーザ」を探せ! / “先輩風”なんて気にしない

2012年6月14日

## [コラム] 2年目社員のつぶやき “先輩風”なんて気にしない

@ IT 通信の編集をしている同期に「新人のみんなが書き終わったら、次はキミね」とコラムを頼まれて1カ月。格の違いを見せてやらねばと思い、後輩4人のコラムをチェックしていましたが、想像以上に面白く、ハードルが上がってしまい困っています。

僕は社会人2年目が始まったばかりの“ひよっこ”編集記者ですが、会社の中で誰よりも後輩が入ってくることを心待ちにしていた自信があります。昨年は1年目ということもあり、部署のさまざまな先輩から散々イジられて過ごしてきました（ほとんどは自分の失敗談がネタになっているわけですが）。後輩が部署に配属されたらイジりの対象は移るはずだと、配属に大きな期待をしていたわけです。

ですが、世の中そう上手くいかないもの。2年目は2年目なりのイジられ方がありました。何をするにも“先輩風を吹かせている”と言われるようになってしまったのです。

例えば、新人が行う業務（郵便の配布とか）の引き継ぎをしていると、先輩が来る来る。一声かけてくれるのかと思いきや、皆、一斉にiPhoneを構えて写真を撮り始めました。きっと後でFacebookにでもアップするのでしょう。それどころかデジタル一眼レフを構える人まで。一体何に使うんだ……!

そういえば、自分も大学るとき、サークルやゼミで後輩が先輩っぽくふるまうのを頼もしいと感じて（ニヤニヤしながら）見ていたなあ、と思い出しました。結局、自分が所属している部署には、女の子が1人配属に。あー、これはダメです。周りにいるオジサンたちはシャイだから、たぶん若くて清楚な女の子はイジれません。オジサンたちのストレス発散の対象は当分変わることはないでしょう。

ベテランのオジサンたちから見れば、1年目と2年目なんてそう変わらないように見えるかもしれませんが、新人の立場から見ればそうではありません（経験談）。どんどん頼られる先輩にならねばなあ、とひそかに思っています。

僕の吹かせる先輩風なんて、そよ風くらいのものだと自負していますが、いずれは“台風”のような先輩風が吹かせられるようになりたい。と、先輩方のイジりに対して開き直れるようになったことが、1年目での1番の成長かもしれません。

(ビジネス・コンシューマー事業部 + D PC USER 編集部: 池田憲弘)

No.560

IT業界とマンガ／“長距離ランナーと「ITmedia マーケティング」

2012年6月21日

## [コラム]ITmedia マーケティング編集長のつぶやき 長距離ランナーと 「ITmedia マーケティング」

6月24日にサロマ湖100kmウルトラマソン「50kmの部」に出ます。フルマソンを走りきって、さらに残り8kmもあるタフなロードレースです。100kmマソンランナーのつわもものである、僕が住むマンションの管理人さんによると、100kmを完走するには「なにしろ、ゆっくり走ること」だそうです。50kmでもコツは同じ。僕の場合、どんなに早く走っても5時間以上はかかるので、気長に構えるに越したことはないのです。なんといっても『アラビアのロレンス』（227分）より長いわけですから。

元来「いらち」である僕が、長距離ランナーとなって、身を持って自覚したのは、「一步の重み」という価値観の重要性でした。数時間の連続走行という長距離レースにおいては、一步一步のリニアな積み重ねが最終的な結果に直結します。決してあきらめず、そして、自棄（ヤケ）にもならず、森の奥の湖面のように冷静に。なにはともあれ、ひたすら走り続けることでしか見えてこない世界というものがあるわけで、まずは一步、さらに一步、そういう気の遠くなるような繰り返しの果てに、フルマソンや50km、100km、200kmの完走という結果が立ち上がってくるのです。

昨年コツコツ準備してきた新メディア「ITmedia マーケティング」のオープンがあと1カ月先に迫っています。どんな規模であれ、あるいはどんな形であれ、いままでこの世に存在しなかったものを創り出すときには、ものすごいエネルギーが必要です。何度も事業計画書を書き直し、いくつものプレゼンをこなして、まずはプロジェクトを顕在化し、さまざまな人々を説得ながら社内の正規ルートに乗せて……、という、いつもながら気の遠くなるような新規事業立ち上げのプロセスを開始したのは、昨年の10月ごろだった気がします。

幸い社内外の多くの方々のご協力のおかげで、6月20日には「ITmedia マーケティング」のプロモーション用ティザーサイトが立ち上がりました。正式オープンは7月17日です。ようやくゴールの現実的なイメージが見えてきた感じです。マソンで例えると「30kmを超えて、残り10kmの攻略方法を考え始めた」といったところでしょうか。

そういうわけで皆さん、テクノロジー×マーケティングの専門サイト「ITmedia マーケティング」に、ぜひともご期待くださいませ。

(ITmedia マーケティング編集長：谷古宇浩司)

## No.561

### 安齋、家入、ザリガニの三大巨匠が語る！／現場が教える「デジタル教科書」導入事情

2012年6月28日

## [コラム]現役世界史教員のつぶやき

# 現場が教える「デジタル教科書」導入事情

皆さま、はじめまして。アルバイトの田中です。私は@ IT でアルバイトをする傍ら、都内の某私立校で世界史の教員をしているという変人です。そんな私が今回のコラムを書かせていただくことになったので、せっかくですから“教育”に関してお話しします。

6月の頭に、慶応義塾大学の中村伊知哉先生も参加している DiTT（デジタル教科書教材協議会）が「デジタル教科書法案」を発表しました。

「デジタル教科書」とは、読んで字のごとく電子化された教科書です。初代 iPad の登場辺りごろから急激な盛り上がりを見せていますが、法制度の面で、導入にはいくつかのハードルがありました。しかし、今回の法案が可決されれば、より具体的にデジタル教科書の普及が進みます。

現場では賛否両論ありますが、私自身は賛成です。特に、私が教えている世界史（社会科全般）はデジタル教科書との相性が良いからです。例えば、教科書で気になった歴史用語（例えば「ハンムラビ法典」「五賢帝」など）を、デジタルなら簡単に調べられます。また、写真や絵などの資料は簡単に拡大して細部まで見ることが出来ます。

実際、私も授業で iPad を使っています。主に生徒たちに資料を見せるのに使っていて、大きい紙にカラー印刷して見せていたときより、準備がだいぶ楽になりました。

さらに、子供たちのやる気を刺激する可能性も秘めていると思います。世界史の教科書を読んで、あまりにもつまらなくて眠くなった経験はありませんか？ そんな生徒でも、デジタル教科書なら、面白い写真や映像、マンガなども加えたりして、世界史の世界に引き込むことができるかもしれません。

ただ、現場では否定的な意見が多いのも事実です。他教科の先生にヒアリングすると、教科によっては、「教科書を電子化するメリットが見えてこない」という意見も多かったです。例えば国語は、その典型ではないでしょうか。

では、子供の意見はどうなのでしょう。私は現在、高校 2 年生のクラスを持っているので、その子たちに「教

科書の電子化」について尋ねてみました。いわゆる「デジタルネイティブ」世代の彼らは、きっと教科書の電子化に大賛成なのだろうと思っていましたが、第一声はこうでした。

「先生、教科書を電子化して、何の意味があるんですか？」

予想もしてなかったこの一言に正直私は驚いてしまいました。彼らにも電子化するメリットが、いまひとつ見えてこないようです。確かに、現在はデジタル教材自体が少ないため、いくらデジタルネイティブ世代といっても、イメージしづらいのかもしれませんが。「教科書が電子化されたら、何がうれしい？」と聞くと「荷物が減る！」という率直な答え。これには笑ってしまいました。

逆に「紙の方が資料集とか好きなところをパラパラ読めるからいい」「誰かに壊されそう」「盗む人が出てきそう」という意見も出てきました。大人が旗振って導入を進めているデジタル教科書ですが、意外と子供は冷静に見ているのかもしれません。

さて、さまざまな意見・課題が垣間見えましたが、政府はこのようなデジタル教科書の普及を含む、教育の IT 化を目指した「フューチャースクール事業」に取り組んでいます。最終的には、2020 年までに（「遅い」というツッコミは、なしで!）タブレットなどの情報端末を生徒 1 人に 1 台配布することを目指しています。

しかし、つい先日の 6 月 13 日に、こんなニュースが飛び込んできました。

「実験授業」廃止判定=府省版事業仕分け― 総務省

どうも、総務省の行政事業レビューにおいて、フューチャースクール事業は廃止判定を受けたようです。日本の教育が電子化される日は、まだまだ遠い未来の話なのかもしれません……。

(@ IT 統括部 : 田中 高明)

## No.562

### 移転の後には……/あこがれのオライリー本に名前が載った!

2012年7月5日

# [コラム]元@IT Security&Trustフォーラム担当のつぶやき あこがれのオライリー本に 名前が載った!

こんにちは、現在アイティメディアでスマートフォンに関する取り組みに従事しています、宮田と申します。

私は以前、@ IT で Security&Trust フォーラムを担当していきまして、当時「セキュリティ対策の『ある視点』」という連載を筆者の辻さんと進めておりました。辻さんは現在も「セキュリティ・ダークナイト」が連載中で、独特な語り口でセキュリティの考え方を解説しています。そして、日本では数少ない「アノニマスウォッチャー」として、最近ではテレビなどでも“引っ張りだこ”の有名な方になりました。

そんな辻さんが、先日アイティメディアにふらりと遊びに来まして、1冊の本を手渡してくれました。セキュリティ界では話題になった「実践 Metasploit」です。同じく私が担当していきまして「オール・ザッツ・PCI DSS」を連載する川島さんとともに監訳が行われた、大変濃ゆいセキュリティ本です。

こちらを献本いただいたわけですが、残念ながら一介の元セキュリティ編集者。ここまで専門的な本（エンジニア御用達のオライリー本）を読みこなす自信はありません。ということで、まずは自分でも読んで理解できるであろう、監訳者まえがきを拝見しますと、そこにはこんな謝辞が。

「記事を書くきっかけを作ってくれた柿澤誠さん、宮田健さん、高橋睦美さん」

以前辻さんからは「いまオライリー本の監訳やってるんですよー、終わったら1冊持っていきますね」という話は聞いていましたが、まさかあのオライリー本に自分の名前が掲載されるとはまったく想像していませんでした（何もしていないのに!）。@ IT の連載で筆者さんを有名にできればうれしい、と考えながら手探りで連載を企画、進行していった当時のことを思い出し、しみじみとしてしまいました。

@ IT 時代に担当した筆者さんとは、執筆者、編集担当を超えていまも遊んでくれる方がいっぱいいて、辻さんもそのお1人。本当にありがたいことだと思っています。いまは編集部からもセキュリティ界からも離れてしまいましたが、@ IT は個人としても大好きなメディアです。これらのつながりを今後も続け、応援できればと思っています。これからも、@ IT をどうぞよろしくお願ひいたします。 （スマートメディア事業推進部:宮田 健）

No.563

HTML5にのり遅れるな! / iOSアプリ「ねこらぼ」リリースしました

2012年7月12日

## [コラム] アイティメディア社内アプリ開発者のつぶやき iOSアプリ「ねこらぼ」リリースしました

はじめまして。2012年の1月にアイティメディアに入社して、スマホアプリの開発（内製）を担当している澤と申します。また、弊社の運営しているサービスのONETOPIでは「iOSアプリ開発(Twitter:@iOSdev\_1topi)」も担当しております。

前述の通り、アイティメディアに入社して日々アプリの開発業務を行っているのですが、先月ついに自分がすべて実装したiOS向けアプリをリリースできました。その名もずばり「ネコ好きまっぐら! ねこらぼ」です!

こちらはアイティメディアのねとらぼ編集部がお勧めする、とっておきのネコ記事45本がたったの「85円（7月31日まで）」で楽しめる、ネコ好きにはたまらないアプリです。iPhone、iPad、iPod touchのいずれでも楽しめるので、まだダウンロードしていない人は、これを機にぜひ、ぜひダウンロードをお願いします!

▼ [iTunes App Store](#) [ネコ好きまっぐら! ねこらぼ](#)

いきなりの宣伝、失礼いたしました。

ところで、この「ねこらぼ」アプリについてWeb上で見掛けたレビューの1つに以下のようなものがありました。

「アプリといっても特別な機能があるわけではありません」

確かにその通りで、このアプリの主役はネコ記事のコンテンツなので、アプリ自体には「特別な機能」は用意していません。しかし、その主役であるコンテンツを純粋に楽しめるように、心を込めて作っています。当たり前のことが当たり前にできるように。コンテンツを読む邪魔をしないように。決して落ちたりすることないように。

上記のレビューにもコンテンツ、つまり記事で取り上げているネコたちの可愛さは十分伝わったようでとてもうれしく思いました。そんなことを思いながら、これからもアプリを作っていこうと思います。

(スマートメディア事業推進部: 澤 辰洋)

## No.564

話題のマリッサ・メイヤーって誰やねん! / 「カスタマイズOK」の賃貸物件に住んでみた  
2012年7月19日

# [コラム] アイティメディア総務人事のつぶやき 「カスタマイズOK」の 賃貸物件に住んでみました。

こんにちは! 総務人事部の伊原です。

おかげさまで、7月2日にアイティメディアのオフィスが無事赤坂に移転しました。そして先週、追いかけるように自身の引っ越しも行いました。

もっと事前に考えようよ…… と突っ込まれそうなくらい、ととてもバタバタしましたが、通勤が楽になったので結果オーライです w

物件決めは場所やコスト面などを、いろいろ踏まえなければなりませんが、妄想を膨らまして考えるのは、とても楽しいですよね~!

いろいろ探し迷いましたが結局、最近はやりで TV などでも取り上げられている「壁紙がカスタマイズできる賃貸物件」を選択しました。

自分で見つけたため、仲介手数料なしのうえに、大家さんと仲良くなったのもあり、とんとん拍子に話が進みました。

壁紙選びは本当に、わくわくしましたねえ。1万枚以上もある中から好きなサンプルをいくつかピックアップし、実際のお部屋に持って行って決めました。

最初は「真っ白な空間を作ろう」と思っていたのですが、「輸入された柄物にしようか」「組み合わせ（一面ごとの部分変えも可）をどうしよう」とか考えているうちに、「あーしたい」「こーしたい」と要望がどんどん出てきて……。せっかくなので、思いっきり遊んでみました!

選択したのは白塗り×白レンガ×ターコイズブルー×スカイブルーの組み合わせです。大好きな地中海をイメージしました♪ 4種類も使ってしまったのに、大家さんもノリノリで対応してくださいました。

2 週間後に工事が終わり、出来上がり写真が送られてきた来たときには、引っ越しモチベーションがとても上がりましたね～。

引っ越しを終えた今、家に帰るのがとても楽しみになりました。家具や小物にも、とことんこだわりたいところですが、お財布と相談……の前に片付けをまず終えなければっ! というところです。

まだまだ先になりそうですが、理想の空間が出来上がるよう頑張りたいと思います。

(管理本部 総務人事部：伊原 沙幸)



## No.565

### 分厚く立ちはだかる稟議の壁 / 演劇とネットの親和性

2012年7月26日

# [コラム] アイティメディア総務人事のつぶやき 演劇とネットの親和性

先日、大学の先輩が 37 歳にして初めて就職しました。

学生のころから演劇に没頭し、卒業後もアルバイトをしながら芸能事務所に所属し、ずっと表現の世界で研鑽してきた人です。けれども、最近は自身の可能性に限界を感じてしまいました。そんなとき、とあるネット企業の PR イベントに役者として参加し、そこの広報担当者と意気投合しました。そして「悩んでいるなら、うちの新規事業で人を募集しているから受けてみないか」と誘われたそうです。いうまでもなく、先輩は社会人経験ゼロです。何という大らかな光景でしょうか。

私自身も採用に関わっていますが、これまで何の経験もスキルも業界のコネもない 37 歳を採用するかというと、返答に詰まります（先輩、すみません）。

おそらく、就職を後押ししてくれたその広報の方が、先輩を見込んで人物を保証し、経営陣に根回ししてくれたのだと思います。人に対して、それだけのリスクを背負うことも、また人にそんなリスクを背負わせることができるのも、2 人の人間力のなせる技だと思います。

仲間内で飲みに行き、お店の大將に一番気に入られるのは先輩でした。イケメンでもないのにやたらにもて、大家さんやお隣さんにもよくしてもらうようなキャラでした。その一番の持ち味は「素直」であることだと思います。先入観なく、環境に臨機応変に対応できる先輩は、ビジネスの世界でも成長余力を感じさせます。

思えば、私を含め当時演劇をやっていた仲間の多くが現在ネットの業界にいます。私なんかは卒業と同時に就職し、周囲から「裏切りもの」と呼ばれた口ですが、その後、多くが演劇を離れ、ネットベンチャーに就職したり、フリーの Web デザイナーになったり、起業したりしています。演劇とネットの親和性は何かしら研究に値するテーマかもしれません。

そんな中で、最も遅れてこの業界に参入してきた先輩の活躍に、今から胸をときめかせています。

（管理本部 総務人事部：長谷川 深）

## No.566

### 真夏の××× / 自分のキャリアの集大成ってなんだ？

2012年8月2日

# 【コラム】「調査のチカラ」担当者のつぶやき 自分のキャリアの集大成ってなんだ？

突然ですが、皆さんはこれまでどのようなキャリアを歩まれてきたのでしょうか？そのキャリアの集大成と言えるものはありますか？

私の場合、新卒入社から現在の経営企画に至るまでの間に、発注の管理、営業サポート、広告の管理、売上の管理、リサーチやメディア開発、マーケティングといった業務を担当してきました。EXCEL 中心という共通点がありますが、それ以外はバラバラな業務です。

「そのキャリアの全部を生かすことができる仕事なんて、そんなにはないだろう」と思っていたのですが、幸運にも今年になって見つかりました。

それが、この3月にオープンした新サービス「調査のチカラ」の立ち上げです。

この「調査のチカラ」は、リサーチ担当としてとんでもなく優秀な上司に自分が負けられないために、また、自分が異動になってもかわいい後輩がしっかりやっけていけるように、私が収集し続けていた調査事例集が基になっています。サイト全体の企画・設計についても、これまでの経験を生かし、広告の配置からページの構成まで、一通り担当させてもらえました。

正直なところ、これまで自分のキャリアの集大成などと大仰なことを考えることはあまりなかったのですが、いざこういったものが出来上がってみると、とてもうれしいもので、1時間ごとにPVの推移を眺めてはニヤついております。

ちなみに現在お勧めの調査データとしては下記などがあります。調査データがご入り用の際は、ぜひ「調査のチカラ」をご利用ください！

(管理本部 経営企画部：鈴木 一冬)

No.567

オリンピック裏話 / 「たかが枕、されど枕。」

2012年8月9日

## [コラム] アイティメディア財務経理のつぶやき 「たかが枕、されど枕。」

皆さま、最近よく眠れていますか？

先日、離れて暮らす両親から枕が送られてきました。何でも使ってみて良かったものとのこと。

通販でもよく見る、肩から首にかけてカーブしている形で、試しに頭を乗せると左右に動いても枕と身体が良い感じにフィットします。これは何か期待ができそうです……。早速、試しに寝てみることにしました。

そして翌朝、期待以上の寝起きを体験することになります。

「スッキリ!!」

低血圧で朝がめっぽう弱い私。今までこんなに気分良く起きたことはありません。良く眠れたから気持ち良く起きた、という感じです。人生の 3 分の 1 が睡眠であるなら、今まで費やしてきた眠りの時間をやり直したいくらいです。

今では初日のような感動はありませんが、眠ることによって疲れが取れるようになった気がします。

たかが枕、されど枕! 寝具ひとつで、こんなにも変わるものですね。以前「枕ソムリエ」と呼ばれる枕選びの専門家が話題になりましたが、せっかくならご自分に合ったものを選んでみてはいかがでしょうか。

しかし、寝具はなかなか買い換えるタイミングが難しいもので……。思い返せば 1 人暮らしを初めて早 7 年。掛け布団、毛布、そして枕と、私の両親はたまに寝具を送ってくれます。

今は、いつになったら敷布団が送られてくるかなあ、と首を長くして待っているところです。

(管理本部 財務経理部：迫野 由佳)

## No.568

### 恋の予感…… / 夏休みは「そうだ京都へ行こう」

2012年8月23日

# [コラム] アイティメディア内部監査室室長のつぶやき 夏休みは「そうだ京都へ行こう」

今年の夏休みは自分で勝手に「温故知新」をテーマとし、何十年も前に行った場所巡りをしてきました。

1 つ目は京都府宮津市の天橋立です。

私の出身地は京都で、日本三景で有名な京都府北部の観光地「天橋立」は、物心がつくかどうかという時期に親に連れられて行ったらしいのですが、その記憶はまったく残っていません。

従って、実際に行っても、記憶に残っているものは何もないはずで、初めて訪れる観光客と同様に、日本三文殊の智恩寺へ参拝し、白砂青松を散策し、リフトに乗って山の上の展望台から股のぞきをするという、お決まりのコースを楽しみました。

しかし、不思議なものです、股のぞき発祥の地の傘松公園の展望台に立つと既視感というか、頭の中で「いつか見た風景」が確かによみがえってきます。それだけ印象が強かったのでしょうか。

さすがに、平安時代の古きより「大江山 いく野の道の 遠ければ まだふみもみず 天橋立」と歌われる名勝地だけのことがあります。

ちなみに、撮ってきた写真を逆さまにして見ても地名の由来となった「天へと架かる橋」とは見えず、自分が逆さまになることで、視覚神経が錯覚を起こして、そのように見えるということですから、ぜひとも現地へ行って確かめてください。

もう 1 つは、北山杉の産地でもある鷹峯近くにある京見峠（京都市北区）です。

この京見峠に至る道は、京都から福井県へ抜けるいわゆる「鯖街道」の 1 つで、新しく国道ができるまでは重要な道でした。鷹峯は本阿弥光悦が住んでいたことでも有名です。

こちらは 30 年前の学生時代にドライブでよく行った場所で、昼間は京都市内が一望でき、夜は碁盤の目にそろうた夜景が抜群にきれいな場所です。道幅が狭く不便な場所ですから観光客は来ず、昼も夜も静かでお気に入り

りの場所でした。

ところが、その京見峠。今回行ってみると、道路から見えた京都市内が見えなくなっていました。理由は開発のせいではなく、道路の左右に植えられていた北山杉が大きく育ってしまい、それが邪魔をしていたからです。

もしそれを知らなければ、そのまま通り過ぎてしまうだけでしょうが「確か、この辺りだったかな？」とクルマを道の脇に停め、道より少し高くなっている杉林を数メートル入っていくと、ちゃんと昔と同じ眺めが、そこにはありました。

京都の眺めはここからが 1 番美しいと誰かが言っていましたが、平安時代以降、京都と福井を往復する多くの旅人や商人たちも、ここからの景色を眺めていたことを考えると、何かとても感慨深いものがあります。

(内部監査室室長：神崎真澄)

No.569

はじめてのしゅっちょう / ポルトガルの古城に泊まる

2012年8月30日

## [コラム] アイティメディア広報のつぶやき ポルトガルの古城に泊まる

こんにちは、アイティメディアの広報を担当している菱山と申します。

今日のコラムでは、お盆に訪れるはずだった長野県大桑村の阿寺溪谷をご紹介する予定だったのですが、ちょうど大雨となつてしまい断念。そこで、少し前のことですが、ゴールデンウィークに訪れたポルトガルについてお話しします。

リスボンからバスに乗ること 1 時間、オビドス (Obidos) は中世の城壁に囲まれた小さな町です。白い壁と少しくすんだオレンジの屋根の家々が並び、1 日もあれば街じゅう歩き回れるくらいの小ぢんまりとしたところで、その町並みがとても可愛いのです。5 月のあたまはバラの花が家の壁に沿っていくつも咲いていて、町の雰囲気にはぴったりでした。

この町を囲んでいるのが、15 世紀ごろに建てられたという城塞です。城壁には自由に上ることができて、町を一望できます。ただし、手すりや柵のない幅 1 メートルくらいのところをずっと歩くので、高所恐怖症の方はご注意ください。

実は、オビドスのシンボルでもあるこのお城には、泊まることができます。ポルトのホテルがいくつもあります。

旅行の計画はいつも大雑把な私ですが、オビドスのポサーダは、全 9 室。中でも人気の塔を独占できる部屋に泊まりたくなり、ここだけは前から予約していました。旅先では、楽しみにすればするほど、「思ってたのと違う……」ということが起こるものなので、今回は果たして…… と、はしゃぐ気持ちをややセーブしつつ部屋に案内してもらおうと……。何と、イメージしていた通り!

塔の中なので若干狭いものの、分厚い石積みの壁と、そこに掛けられた鉄の甲冑。重苦しい雰囲気は何とも言えません。ああ、ちょっとファンパツしたけどこの部屋にして良かった。

しかし、感動もつかの間、夜になると状況が変わってきました。隙間のような窓しかないため、外の景色が見えない圧迫感。そして、雰囲気満点の薄暗い照明。

……怖いのです。甲冑が怖い。こっちを見るなよ……。中世のお城では、さぞいろいろなことがあったでしょう。何か、出るんじゃないだろうか……。想像が駆け巡り、案の定熟睡できずに夜中に目覚めて、しばらく寝付けませんでした。

古城はもういいかな、というのが私の感想です……（苦笑）。しかし、本物のお城に泊まれるというのは、なかなかない体験。私は勝手にどきどきはらはらしてしまいましたが、興味のある方にはぜひ試していただきたいです。

（管理本部 経営企画部 広報担当：菱山文乃）

No.570

HTML5コミュニティ / 夏に入っても気分爽快! 温泉私的ベスト5

2012年9月6日

## [コラム] アイティメディア 総務人事部の つぶやき

# 夏に入っても気分爽快! 温泉私的ベスト5

厳しい残暑が続いておりますが、こんな暑いときだからこそ、いっぱい汗かいて涼しくなる、これが最高の暑さ対策だと思う今夏。その手段としては、やはり温泉に浸かること、これ以外にないでしょう。

言わずもがな、温泉は、その成分が主に皮膚から体内に吸収されることにより、効能にうたわれている症状を緩和・改善してくれるものでありますが、夏には何よりも「爽快感」が一番の効能なのであります。

そこで夏に入っても気分爽快! 温泉好きになれる? 私的ベスト5 (入浴済み) を紹介します。

### ▼ 高峰温泉 (長野県)

標高 2000m 雲上の温泉。そこで有名なのが、その名も「雲上野天風呂」。定員 4 人の小さなお風呂で、昼は高峰渓谷の絶景、夜は満天の星々、空を流れる天の川。自然との一体感、薬効高いお湯で心身ともにリラックス、まさに爽快な温泉なのであります。

### ▼ 長湯温泉 (佐賀県)

高濃度炭酸泉で有名な温泉、そこで有名なのが「ラムネ温泉」。32℃と少々ぬる目。湯に溶けてる炭酸ガスが身体を温め、血管も拡張し血流改善の効果あり。入浴剤「バブ」の 12 倍と言われる無数の気泡で全身包まれ、飲んでよし、浸かってよし、のまさに爽快な温泉なのであります。

### ▼ 酸ヶ湯温泉 (青森県)

八甲田山の麓、国民温泉第 1 号に指定、大浴場「千人風呂」で有名な秘湯といえば、ここ。その名の通り強い酸性で成分濃く、ミルクみたいに、トロトロしている。ガッツリ入ると、湯当たりを起こす可能性あり。正しい入浴法で温泉成分を吸収すれば、まさに爽快な温泉なのであります。

### ▼ 那須湯本温泉 (栃木県)

今も噴煙上がる那須岳の麓、白くに濁った腐卵臭のお湯といえば、そう「鹿の湯」。6 個所の湯船は最高 48℃。入浴時間は 1 回 3 分。高温エリアは我慢大会の体をなしておりますが、湯船から出た後には大量の汗・汗・汗。



天国となるか、地獄となるか、汗をかいてナンボの、爽快な温泉なのであります。

▼自宅温泉（東京都）

どこへ出かけても家のお風呂が一番落ち着くって、言っている。お勧めは、湯の花をお土産に家でも温泉を楽しむこと。風呂釜を傷めないかと気を使いつつ、熱めの湯温で余韻を楽しむ。まさに、これが 1 番爽快な温泉なのであります。

以上、私的ベスト 5 を紹介しました。脂汗はほどほどに、爽快な汗をかこうじゃありませんか!

（管理本部 総務人事部：井野 智尚）

No.571

気分はハワイで、もうロコロコ♪ / エンジニア採用と「人事」

2012年9月13日

## [コラム] アイティメディア 総務人事部のつぶやき エンジニア採用と「人事」

エンジニアの採用という点で考えてみると、「人事」（採用担当者）の存在は、ほぼ「邪魔」といいようなケースが多いと感じています。

エンジニアの現場が人材を採用しやすい環境を作っていくべきなのですが、「人事」は、その方法に思い至っていないのが現状ではないでしょうか。

「人事」部の発想は「まず職務経歴書で書類選考」「面接で人柄を確認」「候補人材の発掘は紹介会社や求人サイト」というもので、これらが総じてエンジニアを採用する際の「邪魔」になっているのだと思います。現場からしてみれば、「実力・スキルのある人が欲しい」だけのことですが、その選考プロセスは、エンジニアの実力を測定できない人事が口を挟みやすい方法になっていたり、人事がやり慣れたアプローチ方法に制限されたりしてしまいます。

人事を長くやっても、「面接を繰り返せば何かを確認できるのか……」は、とても難しい問題です。企業と候補者、お互いが知り合ってから期間が短過ぎるのが、その原因に他なりません。転職しようとするエンジニアも、人事も、この原因を解決しない限り、採用におけるミスマッチを根本的に修正できないでしょう。

最も確証ある採用方法とは、旧知の仲であったり、一緒に仕事をしたことがある人であったりなど、お互いにその素性或能力を把握している人物にアプローチすることでしょう。「コネ」というのはネガティブにとらえられがちですが、本来は最も良い方法ではないかと思います。

最近では CodelQ や Wantedly など、エンジニア採用の新しい形を問うサービスがいくつか出てきました。両サービスに共通するのは「人事ではなく現場のエンジニアが前面に立つことで、エンジニア同士のつながり（コネ）を作りやすくする」という発想です。「エンジニア同士がつながり、お互いの能力を確かめ合うところから採用はスタートするべきである」と。納得です。

現場と人事のありかたを問い直すサービスに、今後たくさんの成功事例が出てくると面白いなと思っています。

（管理本部 総務人事部：浦野 平也）

No.572

いよいよ明日、iPhone 5 販売開始 / 67 歳からのキャリアチェンジ

2012 年 9 月 20 日

## [コラム] アイティメディア 総務人事部のつぶやき 67 歳からのキャリアチェンジ

私の高校時代の友人で、東京でオフィス向けの不動産ビジネスを手掛けている者がいます。ご両親は九州で酒屋をやっています。ところが、その友人がこのお盆に帰省したところ、「実家が不動産屋になっていたよ」と面白そうに話してくれました。

悪徳不動産屋にお店を乗っ取られたとかいう話では、もちろんありません。

67 歳になるご両親が 40 年以上営んだ酒屋を廃業し、新たに不動産会社を経営することになったとのことでした。お 2 人とも、もともと不動産には興味があったうえ、酒屋という商売柄、お得意先回りで地元の物件情報に精通していたので、地域密着型の不動産会社を立ち上げたそうです。

もちろん、友人も事前にいろいろ相談は受けていたようですが、「まさか本気だったとは!」と、さすがに驚いたようです。

自分が不動産業界に進んだことが内心ずっとうらやましかったのかも、と友人は言います。でも、酒屋というあまり満身に休暇を取れない商売の中で、空いた時間を見つけては勉強し、夫婦そろって宅建などの資格を取ったことは、生半可な気持ちでできるものでもないと思います。

しかし、67 歳からのキャリアチェンジはすごい!

思えば、カーネルサンダースが KFC を始めたのが 65 歳ですし、新しいことへのチャレンジは年齢じゃないのかもしれないね。この夏、一番元気が出た話でした。

※ちなみにその友人は 3 人兄弟なのですが、兄弟 3 人とも不動産業界で働いています。親の教育のたまものなのか。これはこれで、教育論として興味深いことです。

(管理本部 総務人事部: 長谷川 深)

## No.573

### 立ちはだかる言語の壁 / トルコ旅行後に思う、I Love 日本。

2012年9月27日

## [コラム] アイティメディア総務人事部のつぶやき トルコ旅行後に思う、I Love 日本。

こんにちは! 総務人事部の伊原です。

先日、好きな壁紙をチョイスできるカスタマイズ物件でターコイズブルーと白のお部屋に住んだお話しをして、海好きをアピールさせていただきました。

今回、それだけでは飽き足らず、夏季休暇を利用してトルコに行って参りましたので、皆さまのこれからの旅の参考に、とレポしたいと思います!

一口に感想を述べますと……

- ワン、ニャンがいっぱい
- ご飯はハズレが多い
- 日本のトイレは素晴らしい
- とにかく道路が整備されていない
- 盗むな! だますな! 嘘つくなー!
- 美男美女がところせまし
- 都会と田舎、貧富の差が町ごとに歴然としている

まとめますと、I Love 日本。に収まるんでしょうかね〜 (笑)。今、日本で自分が生活している環境をあらためて幸せだと思いました。

トルコ人は人情があり非常に世話好きで、それぞれに愛国心を感じましたが、悪い人はとことん悪い……。

指定された金額は、まず疑った方がよいです。タクシーもお土産も最大 4 分の 1 くらいまで下がります。私は払ったお金を払ってないと言われて困ったり、旅仲間はお土産を盗まれ、チカンにも遭いました (トホホ……)。

でも、多くのトルコ人は基本、根が明るくておもてなし好きです。歴史の関係上、日本人にはとても友好的でありますし、ちょっと歩けば、チャイ、もしくはワインとお菓子 (「ターキッシュデライト」という、もちもちした甘いもの) をごちそうしてくれたり、誤って落としたポーチを追い掛けて、届けてくれたりもしました。

私は 20 代最後の節目にということもありましたが、名目はダンス仲間たちとの気ままな自由旅行。女性 4 人であーだこーだ言いながら無時帰ってきた今、「行って良かったな～」と心から思います。

社会勉強になりましたし、目の保養にもなりました!

ちなみに、トルコリラはトルコ以外では、なかなか使い道がないので、帰国前に使い切るか、ドルかユーロに換えておきましょう。

個人的に、イスタンブールではガラタ塔に行くまでの街並みがヨーロッパの影響が強く素敵です。カッパドキアの気球も壮大な景色に感動しました。

皆さまも旅をする際は気を付けて楽しんでくださいね。

(管理本部 総務人事部：伊原 沙幸)

No.574

秋のコミュニティ祭 / エンジニアの闇鍋「ITコミュニティ秋祭り」

2012年10月4日

## [コラム]元@IT自分戦略研究所 / エンジニアライフ担当のつぶやき エンジニアの闇鍋 「ITコミュニティ秋祭り」

「自分ができる依頼は断る。やったことがない依頼は全部受ける」

とあるエンジニアへのインタビュー中に聞いた、印象的な言葉です。「結果が予想できることより、結果が未知数な方に時間を割きたい」というお話でした。私はエンジニアではなく編集者ですが、すごく腑に落ちる言葉でした。そもそも編集者という職業に興味を持ったきっかけは「未知なものへの興味」「愉快的話を聞きたい」願望にあったからです。

昔からいわゆる「共感」「内輪話」にほとんど関心がなく、自分が知らないことを知っている、自分とは違う世界に生きている人の話が好きでした。自分がよく知っている舞台（会社とか）を前提にして「分かる分かるー」みたいな愚痴話をするよりは、全然違う世界の話聞いて「何それ、すごい!」と驚きたいわけです。

幸いにも、学生時代に出会った人は実に多彩でした。妖怪フィギュア造型師、フィンランドのヨガマスター、蝶ハンター、京都の元割烹に下宿しているモンゴル研究家、家出してドバイの書店員になった人など、彼らのおかげで飽きることなく日々を過ごせました。

編集者になってからは、独自の世界観を持つエンジニアたちの話を聞くことが、何よりの楽しみになりました。特に、コミュニティに所属している人たちの話は面白く、気が付けば社内の人と飲む回数はめっきり減り、代わりに彼らと色々な話をする機会が増えていました。

10月5日（金）に開催する開発者イベント、「IT コミュニティ秋祭り・リターンズ @東京カルチャーカルチャー」も、飲み会を発端にして生まれた企画です。

ここはエンジニアの闇鍋空間です。

「知り合いに愉快的人がいない」「最近ちょっと閉塞感を感じている」「誰かと技術の話をしたい」という悩みを持つ人と、かつてそういう悩みを抱えていた人がごちゃ混ぜになってお酒を飲んでわっしょいする予定です。

◎ざっくりイベント内容

【第 1 部】 コミュニティお悩み相談室

1. コミュニティに参加したら世界が変わった
2. 発表したらもっと世界が変わった

【第 2 部】 コミュニティお悩み相談室【野良バージョン】

登壇者がテーブルに 1 人ついて、他の参加者たちと一緒に、さまざまなテーマについて、ざっくばらんに話し合う「ワールドカフェ」スタイルです。

1 人での参加者が大半なので、ご安心ください。ぼっち力が高いエンジニアの参加をお待ちしております。

(スマートメディア事業推進部：金武 明日香)

No.575

ぴっかぴかの@IT / まぢかよ! ? @IT がスマホ対応へ

2012年10月11日

## [コラム] @IT 編集長のつぶやき まぢかよ! ? @IT がスマホ対応へ

いつも@ IT をご利用いただきありがとうございます。@ IT 編集部の大津です。

早速ですが、今週火曜日 10 月 9 日に@ IT を大幅リニューアルしました!

実に@ IT 創立以来、12 年ぶりの大リニューアルと言えるものです。

トップページや記事面のデザインはもちろん、会員制度や@ IT が提供しているイベントカレンダーや QA サービスなど、大部分のサービスを刷新しました。

リニューアル内容は主に以下の 4 点です。

- スマートフォン対応
- 会員基盤の移行
- イベントカレンダーリニューアル
- 会議室の QA @ IT への移行

それぞれの概要については、リニューアルの際に紹介した記事がありますので、こちらをご参照ください。

上記の記事でも少し触れましたが、ここでは、今回のリニューアルを実施した背景について、もう少し詳しく書かせていただきたいと思います。

記事でも触れたとおり、今回リニューアルを実施した最大の目的はスマートフォン対応です。理由は、“世の流れに遅れずに対応したかった” という思いがありました。スマートフォンへの移行は、メディアにとってそれだけ大きなパラダイムシフトだと感じたからです。

弊社コンテンツにおけるスマートフォンからの閲覧率は日増しに増加しています。また、コンテンツ形態や広告商品などの技術も日進月歩で進化しています。今後、スマートフォンはますます便利になり、接触時間も増えていくでしょう。@ IT は、現状ほとんどの方が PC モニタから閲覧していただいておりますが、“今後ぜひスマートフォンからも閲覧してほしい” という思いを込めてリニューアルしました。



一方で、スマートフォンも万能ではありません。その性質上、“すき間時間を埋めるコンテンツ”、例えばちょっとしたゲームやすぐ読めるニュース記事、SNS などを利用するには非常に適していると思います。一方で、@ IT が主に提供しているサンプルコードなどが頻出する“じっくり読むコンテンツ”を読むには画面の大きさの問題から難しい面もあると思います。そもそも、写経をしたり、サンプルコードを実行するには向いていない環境です。

そこで@ IT では、“従来の解説記事をスマートフォンでできる限り読みやすく提供する”という取り組みを続ける一方で、今後“スマートフォンらしい使い方”を提案していきたいと考えています。例えば、「朝の通勤時間で気になる記事をチェックしていただいて、会社に着いたら PC 上でじっくり読む機能」などは、あると便利だなと思っています。

これはほんの一例ですが、今後読者の皆さまの声を聞きながら、“スマートフォン上での使いやすさ”も、これからどんどん強化していきたいと思っています。ぜひ、皆さまのご意見をお聞かせください。

@ IT を、今後ともよろしく願いいたします。

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部 @ IT 編集長：大津 心)

## No.576

### @IT イベントカレンダー+ログを発表/ IT 勉強会カレンダーのイベントも含めて検索できる!

2012年10月18日

## [コラム] イベントカレンダー+ログ 事務局員のつぶやき IT 勉強会カレンダーの イベントも含めて検索できる!

いつも@ IT をご利用いただきありがとうございます。@ IT 編集部の平田です。

10月9日から@ IT が大幅にリニューアルしましたが、「@ IT イベントカレンダー」も「イベントカレンダー+ログ」としてリニューアルしました。従来の機能に加え、以下の変更/追加点があります。

- ログイン機能の変更（イベント情報を掲載いただくには、新たなメールアドレスとパスワードの設定によるアカウント作成、または Twitter アカウントによる認証が必要になります）
- 承認制度の廃止（事務局の承認を待たずに、すぐにイベント情報を掲載できます）
- 「料金」「時刻」「地図」「画像」「タグ」の登録・表示
- 「公開範囲」を設定できる（「限定公開」にすると一覧に表示されなくなり、イベントの URL を知らせた人だけが閲覧できるイベントになります）

機能面の強化ではないですが、さらに大きな変更点としては、IT 勉強会カレンダーのデータを取り込んで表示するようになりました。掲載を許諾いただいた IT 勉強会カレンダーの運営者さまには、あらためて御礼申し上げます。

この結果、掲載イベント情報が 8500 件を超え、国内最大級の IT・製造業・ビジネス関係の総合イベントポータルサイトになったかと思います。これまでイベントカレンダーは企業主催のセミナーを多く掲載していましたが、今後はコミュニティ主催の勉強会系のイベントも含め、より一層多種多様なイベントを検索して開催情報を得られるようになりました。イベントを主催される方も、イベント情報を探している方も、ぜひイベントカレンダー+ログをご活用いただければと思います。

また数カ月後をめどに、開催後イベントの情報まとめ機能やスマートフォン対応など機能強化を図る予定ですので、ご期待ください。

リニューアルした@ IT、ならびにイベントカレンダー+ログを、今後ともよろしく願いいたします。

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部: 平田 修)

No.577

Happy---!! Halloween / 正しく問うことの難しさ

2012年10月25日

## [コラム]QA@IT担当者のつぶやき 正しく問うことの難しさ

こんにちは、@ IT 編集部の西村です。「QA @ IT」という IT エンジニア向けの質問・回答コミュニティを 2012 年 5 月末に立ち上げました。リニューアルや改修を重ねながら、そろそろ半年が経過します。おかげさまで、ユーザー登録は順調に伸びています。やってみて 1 つ気が付いたのは、むしろ質問する人よりも回答する人の方が多いということです。

私も質問・回答ともにやってみて気が付いたのですが、むしろ良い質問をすることの方が難しいのかもしれない、と思っています。答える方は、自分が知っていることであれば回答は難しくありません。調べる必要があるにしても、調べれば良い話です。何を調べればいいのか分かっています。ところが質問したいときは、単に「分からない」状態よりも悪いことが多くあります。「よく分からない」という表現は「何が分からないのかも分からない」という“メタな分からなさ”がある場合の言い方です。どう質問していいのかすら分からない状態ですね。

周囲に技術的な質問をして相談に乗ってくれる人がいないような、そういう人にぜひ、お使いいただければと思って QA @ IT を企画したのですが、ある技術分野やソフトウェアスタックに疎いと、質問することを躊躇しますよね。最初のうちは自分が何を分かっているのかすら分からないので、見当違いの質問をしてしまうかもしれないからです。なぜ、どこで問題が起こっているのかという問題の切り分けは、問題特定後の対処よりも難しい面があります。リアルなアプリケーション開発などでは、特にそうです。むしろ問題領域がハッキリ認識できていれば、問題解決の半分は終わったようなものかもしれません。そういう意味で、正しく問うことは難しいのだなと思います。

とまあ、質問するハードルが意外に高いなど書いてきましたが、ネットの良いところは、やり直しがしやすいことです。QA @ IT では、いったん投稿した質問を後から何度でも編集ができます。最初は漠然と現象だけ報告をして、そこからエキスパートのアドバイスを聞いて問題を特定するというやり取りができることもあると思います。「分からないところが分からない」のは、実は割と普通のことだと思いますので、ぜひ皆さま、お気軽に質問を投稿して日々の業務や調べものにお役立てくださいませ!「PostgreSQL と MySQL はどちらかに明確な優位性がありますか?」のように、必ずしも答えが 1 つに決まらない質問でも歓迎です。

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部: 西村 賢)

No.578

Windows 8 祭 / 今年、とうとうハロウィンデビューをしました。

2012年11月1日

## [コラム]ねこポップ画伯のつぶやき 今年、とうとうハロウィンデビューを しました。

いつからか、ハロウィンという習慣が自分にとってスルーしづらい雰囲気になりました。というのは、Facebook と Twitter のせいだと思います。この時期になると、仮装した友達の写真が大量にアップロードされていき、その華やかなパーティの雰囲気と自分の地味な生活とを比較しては「ハロウィンしない自分は非リア充なんじゃないだろうか」と思い込むほどになっていました。そんなわけはないんですけど。

ハロウィンに憧れる私は、昨年のハロウィンの時期は、東急ハンズで買った髪の毛の長いのっぺらぼうの被り物に猫の顔を書いて準備万端の状態、誰かにパーティとかに招かれるのを期待していました。

しかし、誰にも招かれず、ハロウィンは終了しました。

今年は、ねとらぼの池谷さんに誘われて『化け猫パレード』の取材に同行しました。神楽坂のあの坂をみんなで猫の仮装をしてパレードしちゃうというイベントです。100 円で簡単な猫顔のメイクをしてくれます。

私は昨年から用意してあったのっぺらぼう猫を「ニャダ子（ねとらぼで私が連載中のマンガに出てくるキャラで貞子と猫をかけている）」という設定にして仮装をしたら、大人気！ 何人もの女の子たちが「キャー！ ニャダ子だー！ 写真一緒に撮ってください」と声をかけてくるほどでした。

しかし嬉しい反面、キャラの強い仮装には責任が伴うことを体験しました。

私は佐藤ではなくニャダ子なので、カメラを向けられたら襲うようなポーズをしたり、たまに「にゃご〜」とか言って演じたりしなきゃいけない、いやそんな責任はないけど、そうしないと周りがしらけるのではないかと気疲れしてしまいました。普通にピースなんかしてしまったら「なんだよコイツニャダ子じゃねーじゃん！」と言われてしまうような。後半は、なんだかも一疲れてしまいました。

でも、結局来年も参加してニャダ子以上のキャラの強い仮装をしたいと思います。

(技術開発統括部 デザイン部 : 佐藤 翔)

No.579

Happy Wedding for 同期 / 懐メロ的コンテンツを懐かしいと感じる頃合い

2012年11月8日

## [コラム]あるゲームバカのつぶやき 懐メロ的コンテンツを 懐かしいと感じる頃合い

と言っても音楽ではなくゲームの話。ここ何年か、昔のゲームを最新機種に移植したり、高品質画像のリメイクを施したものが目立ってきた感があります。もちろん、こうした移植タイトルは以前から一定数ありましたが、新作ゲームも多く発売されているので、客観的に「目立っている」のではなく「自分にとって懐かしいものだから注目してしまう」のが正確なところなのですが。

懐かしいゲーム、って具体的には何でしょう？ 「ゲーム&ウオッチ」からスタートした私としては「ドンキーコング」が最古でしょうか。しかし、印象に強いのはテーブル筐体で遊んだアーケードゲームの数々です。祖父の家が駄菓子屋でゲームコーナーを置いていたため、幼稚園のころから遊び始め、三つ子の魂百まで、今もゲーセン通いは止みません。シューティングゲームが好きですね。

「スペースインベーダー」で100円玉を積むほどの年齢ではありませんが、それなりに黎明期から遊んでいるので、どんなゲームでも再登場となれば懐かしく感じます。それが商業的な狙いだったとしても、うれしいものです。オリジナルを知らない人が新たに触れるチャンスでもありますし。

スペースインベーダーから数えれば、ゲーム史も三分の一世紀。今や文化として認められている映画とて、当初は「下世話なものだ」と騒がれながらも、百年余の歴史をかけてこそです。ゲームも時の試練を受けながら、アーカイブを残し、そうやっていってほしいものです。

つい最近でも、新宿で復刻リメイクのゲームがテスト稼働すると聞いて、休日に出かけました。十年以上前のゲームですが、私を含め、どう見ても当時プレイしていただろう年齢層の人ばかりができていて「みんなゲームバカだなあ」と心の中で笑った後、コインを1枚入れたのでした。

(ターゲティングメディア統括部 キャンペーンマネジメント部 : 野口 優)

## No.580

### 衆議院解散・総選挙迫る? / 林檎を丸かじり

2012年11月15日

# [コラム] キャンペーンマネジメント部員のつぶやき 林檎を丸かじり

6月ごろからでしょうか。お昼ご飯に林檎を食べる生活を続けています。

うさちゃん型に切ったものをタッパーに入れて、食前にちょっとつまんだりデザートとして、というようなかわいらしいものではありません。林檎大玉 1 個（夏場は小玉 2 個）を皮も剥かずにガブリと丸かじりするのです。

きっかけは、ただ何となくそうしたかったから。ダイエットとか健康とか歯ぐきを鍛えるとか、そういうことはあんまり考えずに、ただ食べたかったから食べた。翌日も食べたくなったから食べた。それだけです。

林檎 1 個だけだと、お腹がいっぱいにならないのではないかとと思われるかもしれませんが、不思議なことに結構マンブク、噛むという動作が入るからか気持ち的にも飢餓感はありません。そうして「何となく」林檎を食べ続けているうちに、よい効果がいろいろと出始めました。

まず、体重が減りました。今まで「ダイエットしよう」と思って食事制限をしても、ちょっと減ってはまた元に戻り、というパターンを繰り返していたのですが、今回は徐々に体重が減り、それはリバウンドしないのです。さらにうれしいことに、ウエストが細くなりました。私は脂っこい食べ物が大好きなので、知らず知らずのうちに内臓脂肪が貯まっていた、それが 1 日 1 食脂抜きをすることで改善できたのかもしれない。

次に、出費が減りました。お昼御飯にお弁当を買ったり外に食べに行ったりすると、500 ~ 1000 円は掛かります。それが林檎だったら、1 食 150 円ぐらい。微々たるものですが、林檎をいつも買うスーパーのポイントも貯まります。

さらに、時間も節約できるようになりました。お弁当を買ったり外に食事に行ったりすると、往復の移動時間がかかりますが、林檎ならば冷蔵庫から出して、洗って、拭いて、後はかじるだけ。左手で林檎を持ちつつ右手は自由に使えますので、かじりつつメールや記事のチェックもできます。

ほかにも、口腔が鍛えられる（同僚におすそ分けしたら、本当に歯茎から血が出てビックリしてました）、周囲にニラミが効くようになる（恐がられます）など、さまざまな効果がある林檎丸かじりランチ。林檎が美味しい季節です、皆さんもトライしてみませんか？（ターゲティングメディア統括部 キャンペーンマネジメント部：鈴木 麻紀）

## No.581

### 巫女さんに学ぶ / 親と手をつないだのは、いつ？

2012年11月22日

# [コラム] 広告オペレーション部員のつぶやき 親と手をつないだのは、いつ？

先月友人の結婚式に出席しました。お色直しのエスコートで新郎が新郎のお母さまと退場する際「今までありがとう!」とお母さまを抱きしめ、一緒に手をつないで会場を後にする姿に、思わず目頭が熱くなってしまいました。

おそらく男女問わず、小学校高学年ぐらいから親と手をつなぐことが何となく恥ずかしくなり、だんだんと一緒に出かける機会も少なくなってくるのではないかと思います。

この新郎の方も十数年ぶりに手をつないだそうです。お母さまには十数年前の小さな手をした息子さんが目に浮かんだのしょう。こらえきれず、涙されていました。

日本では頻りに握手をする習慣はありませんし、子供が親と仲良く手をつないでくれる期間も反抗期を迎える前までとなると、あっという間に終わってしまい、今度手をつなぐのは介護のとき……と考えると、一児の母としては何とも寂しい気持ちになります。

そういう私自身も、親と手をつなぐことはなかったのですが、昨年出産の真っ最中に思わず母の手をにぎったことを覚えています。痛みをこらえるのに必死だったものの小さいころに感じた何とも言えない安心感がよみがえりました。そして、それと同時に母の手が細く小さく感じられたのを覚えています。

当たり前存在となってしまう、手をつなぐことはもちろん、普段の生活では感謝の気持ちを伝える機会もなかなかないですが、明日は勤労感謝の日。少し主旨は違うかもしれませんが、普段は言えない感謝の気持ちをご両親に伝えてみてはいかがでしょうか。

(技術開発統括部 広告オペレーション部 : 射場 理恵)

## No.582

### ふるふるふるったー / 職人って……

2012年11月29日

## [コラム] 広告オペレーション部員のつぶやき 職人って……

先日、結婚式での両親へのプレゼント用ということで初めて陶芸教室へ行ってきました。作ったのは、お茶碗です。

一通り説明を受けて作業を開始したのですが、やはり難しい……。粘土の質感が思ったよりも固かったり、ろくの回転の調節をペダルの踏む力で調節したり、ちょっとした力加減で形が歪んでしまったり。

スタッフの方が時々、微調整で手助けしてくれるのですが、その手際の良さと言ったら! 完全に手の感覚だけで、歪んだ器をきれいに整えたり、凹んだ箇所を修正したり、その技を見るのが一番の体験だったかもしれません。不器用な私の彼は、そのスタッフに作業をほとんどやらしてもらっていました (笑)。職人の技術を実際に見るといことは、それぐらい新鮮な驚きでした。

全くの初心者と、熟練のスタッフを比べるのもおこがましいですが、やはり職人技というのは一目ただけで違う! と感じさせる何かがあるのだなあと、しみじみ感心。1つ1つの洗練された動作は日頃の鍛錬があってこそのもので、プロとはこういうものだと思います。

そして、私には一目で人を驚かすことができる技術があるのかと言われれば……。ひと言で「職人」と呼ばれる人は、どのような分野でもそうした技術を持っている人のことを言うものだと、あらためて感じました。

手作り職人、機械を操る職人、デジタル作業の職人、おしゃべり職人などなど……。さまざまな分野で活躍する人は何かしら1つは人を驚かす技術を持っている。私もいつか、どんな分野でも、職人と呼ばれるような技術を持ちたい~!!!

(技術開発統括部 広告オペレーション部 : 金子 里美)



## No.583

# クロスサイトリクエストフォージェリ/1日の“ずらし”と1年の遅れ

2012年12月6日

## [コラム] 広告オペレーション部員のつぶやき 1日の“ずらし”と1年の遅れ

@ IT の読者の皆さま、初めまして。私は、@ IT に掲載されるネット広告のオペレーション業務を行っています。クライアントから送られてくる広告原稿を受領し、掲載をするお仕事です。

一見すると、インタビュー記事や発表会などの情報を読者にお届けする編集記者や、広告代理店などを相手に商談を行う営業担当と比べますと、地味な仕事に映ります。

しかし、オンラインメディアを運営していくうえで、必ず必要とされる業務で、どのメディア企業にも必ず1人は担当スタッフがいるはずで

そんなオペレーションの仕事において、よくある悩ましいのが、バナーの公開直前になって「リンク先の公開が間に合わない」というお申し出をいただくことです。発売延期や、社内承認の遅れなど、さまざまな原因がありますが、こればかりはしょうがない事情です。公開を1日ずらしたりして、トラブルが発生しないように日々調整しています。

少し話がそれますが、私には、1歳半になる息子がいます。その息子が生まれて間もないころ、記念写真を撮りました。

その写真がとても良い出来だったので、取り上げてもらった病院に見せたところ、「ぜひ、うちの病院のホームページに息子さんの写真を掲載させてもらいたい」というお申し出をいただきました。

とてもうれしい話だったので、もちろん快諾したのですが、その後、特に連絡なく1年が経過しました。

息子は1歳半になり、そんな話も忘れかけていた、つい先日のこと、医者から「公開した」との連絡がありました。とてもうれしかったのですが、どうしてこんなに時間がかかってしまったのか疑問に思い質問してみたところ、「承認とか社内の手続きに時間がかかってしまった」とのことでした。

なるほどなあ、私は思いました。

業務上、私はリンク先の更新について多方面に無理をお願いしています。相手もプロだから、期限に何とか間に合わせてくれるのであって、普通はそんな簡単なことではないのだなと。

あまり当たり前にとらえないよう、今後は真摯に調整をお願いしようと思います。

(技術開発統括部 広告オペレーション部：高砂 里作)

No.584

ミサイルとIT / 今年の抱負、どうでした？

2012年12月13日

## [コラム] 広告オペレーション部員のつぶやき 今年の抱負、どうでした？

今年も1年の振り返りのタイミングとなりました。作年末の豪遊を反省し、節約・節制を抱負として心に抱いた年初を、まるで昨日のようのことに思い出します。そんな1年、振り返ってみれば、「よくお金を使ったな〜……」と思います（おや?）。

度が過ぎなければ、自分が大切だと思うところにお金を掛けることは大事なことです。習い事をしてみたり、いろいろなところへ旅行してみたり。私も、今年は国内のさまざまなところを旅行しました。発端は、ある歌手の国内巡業に合わせて旅行する、いわゆる「おっかけ」旅行なのですが、歌を聞いて心洗われるだけではなく、さまざまな土地の歴史や文化に触れ、その土地の人たちの話を聞くことができ、私にとっては素晴らしい記憶と経験になっています。

実は、今年心掛けていたことの1つに“頭を使って考えること”があります。頭を使うこと、そして、それを表現することがとても苦手な私は、意識的に「私の意見はどうか」「なぜそう思うのか」を考えるよう努めてきました。ですが、いざ旅行に関して何か意見を求められると、答えに詰まることがあります。「ただ漫然と旅行をして何か意味があるの?」と聞かれて頭を抱えたりもしました。

しかし、旅行に関して言えば“ただありのままを感じること”は1つの大事な要素だと思います。四季折々の風景の美しさや自然の豊かさ、厳しさ、歴史的建造物の荘厳な佇まい。見るだけで人に感動を与えてくれるというものは確かに存在します。ですが、例えばその地の歴史を少し学んでから行ってみるといった要素を加えると、何も知らずに行くときとは違った風景が見えてくることもあります。こんなことはいわなくても誰でも分かっていることなのではないでしょうかね……。

“いわなくても分かっていることを、あえて考えてみると深みにハマる”ループに陥って混乱するのが、頭を使って考え過ぎることの“わな”です。

“感じること”と“考えること”の両方を適度に取り入れつつ、「あそこはコレが良かった!」ということ素直に人に説明できるようになりたいなと思っています。ただ心の中に留めておくよりも、言葉で人に伝えることでより鮮明に心に残るものもあると思うからです。

というわけで、「来年は、もっとよく学び、よく表現することを目標としようかな～」などと考えている年末の 1 日でした。

(技術開発統括部 広告オペレーション部: 永守 薫)

## No.585

### 世間はスマートフォン推しです / 私の@IT史

2012年12月20日

# [コラム]@ITが大好きな営業部員のつぶやき 私の@IT史

私事ですが、2007年から、6年間お世話になったアイティメディアを、退職させていただくことになりました。

この6年間で心に残っている@ITの企画を振り返りたいと思います。

#### ●内部統制の盛り上がり

今でこそ、1つのテーマに沿った集合型イベントが当たり前ですが、当時の@ITでは、ほとんど集合型イベントをやっていませんでした。内部統制の盛り上がりもあり、2007年度に初の2トラックイベントを@IT主催でチャレンジしたことは、心に残っています。

#### ●VB研、.NET開発者中心

3年間に渡り、担当させていただいた企画。定期的で開催するイベントでは、開発者の方と、たくさん会話をさせていただきました。普段は業務に追われている.NET開発者の皆さまにとっても、開発者の未来を考える希望となるイベントだったと思います。

#### ●おばかアプリ選手権

エンジニアの皆さんの、おばかなプレゼンを楽しませてもらいました。回を重ねるごとに洗練されていて、今やスマートフォンのアプリが主流ですが、強烈に印象に残っているのは、Windows 7のおばかアプリ選手権に出演された秘書アプリ。WPFで3Dキャラクタを作り、そのキャラクタを秘書にするという、無駄に凝ったアプリでした。愛媛からいらっしゃっていた開発者の方、また出演してほしいなあ。6年間、私1人では出会えない人たちに、アイティメディアを通じて出会えたこと、たくさんの経験ができたことをあらためて感謝しています。

離れても、一読者として大好きな@ITを応援しています。

(営業統括部 第一営業部: 寛司 絢子)

No.586

2012年クリスマスまとめ／今年も……「愚息の1年トップ5 NEWS」!

2012年12月27日

**【コラム】@IT編集長のつぶやき**

# 今年も…「愚息の1年トップ5 NEWS」!

今年も…「愚息の1年トップ5 NEWS」!

@ IT 編集部の大津です。早いもので、今年もこの時期が来てしまいました……。

昨年の本コラムで“愚息の1年トップ5 NEWS”を書き、「500回を超える@ IT 通信のコラムで、最も読者の皆さまのお目汚しをしたバカ野郎」だと自覚しております。

ですが、やはり我が子があまりにも可愛くて抑え難いので、今年も懲りずに「愚息の1年トップ5 NEWS 2012年版」を書かせていただきます!

5位：2歳3カ月になり、おしゃべり上手に

昨年と現在を比べて、一番息子の成長を感じるのは、やはり“おしゃべり”だと思います。昨年の同時期はまだ、1つの単語をどうにか発する程度でしたが、いまではかなりおしゃべり上手になり、一通りのコミュニケーションが成立するほどです。単語も「あんよ、じゅっちゅ」が「足、ジュース」に変わり、毎日会話を楽しめるようになりました。おしゃべりが上手になると、子ども特有の頭の柔らかさや、発想の豊かさに舌を巻いてしまうこともしばしば。自分の頭の固さを痛感する日々です……。

4位：早くもジブリ、ディズニー漬けな毎日

おしゃべりと比例するように、最近増加しているのがアニメを観ている時間です。周りでは「テレビは週に1時間しか観せない」「テレビは要らない」といった親も多いのですが、我が家はかなり観せてます……。観てると大人しいので子守りにもなりますし! かなりダラけた親ですみません。そんな中、いま息子が夢中なのが、「魔女の宅急便」「スティッチ」「ミッキー」です。もう、毎日毎日飽きずに観ています。こんな早く洗脳されてしまって、パパは将来が心配……。

3位：保育園転園し、新保育園でもモテモテ!!

昨年も保育園に入っていたのですが、4月に、より近所の保育園に転園できました。昨年できたお友達との別れは辛く、転園後1カ月くらいは若干グズっていましたが、いまでは新しい保育園が大好きになっています。というのも、新しい保育園のクラスメートの女の子にモテモテなのです! 2歳児だというのにハグは当たり前、この

前はチュっとしているところを目撃してしまいました……。それも女の子の方から迫る形で、です。近頃のキッズは……。未恐ろしい!

#### 2 位：好き過ぎて……。水泳スクールに入校

昨年も触れましたが、我が子は水が大好き。去年は、お風呂での水遊び程度でしたが、今年は夏になった途端プールデビュー! ほぼ毎週末プールへ行きました。プールで何をするかと言うと……。ひたすら溺れるのです! 溺れるように水に飛び込み、泳ぎ、苦しくなった頃合いで親が助けると大喜び。リスクー過ぎる遊びに親は疲労困ぱいです。夏のプールであまりにも喜んでいたので、2 歳になったのを機に水泳教室に入れました。今では週末にプールへ行くのを指折りで楽しみにしているほどです。やっぱり、将来は北島康介!

#### 1 位：本当になれる!? 来春にはお兄ちゃんに

そして、今年最大のニュースは息子が来春お兄さんになることです。順調にいけば、春には妹が誕生する予定です。まだまだ甘えん坊の息子が、お兄ちゃんに……。とても想像できませんが、きっと妹が来れば、少しずつお兄さんとしての自覚が芽生えていくのだと思います、いやそう思いたいです……。きっと妹に嫉妬して大変なんだらうなあ……。

以上、“愚息の 1 年トップ 5 NEWS 2012 年版”をお届けしました。今年も「THE 個人的なネタ」で申し訳ござません。@ IT では、今年 10 月にリニューアルし、スマートフォン対応などを実施し、大きな変換期を迎えています。来年も引き続き、今後もエンジニアの皆さんが元気になるような話題を積極的に取り上げていきたいと思ひます。本年のご愛読に感謝するとともに、来年も引き続きよろしくお願ひいたします。

(@ IT 編集長：大津心)

# 2013



No.587

さよならMessenger。こんにちはSkype! /  
2013年、スマート・パラダイムの新時代に向けて

2013年1月10日

## [コラム]アイティメディア代表取締役社長よりごあいさつ 2013年、スマート・パラダイムの 新時代に向けて

@ IT 読者の皆さま。新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、@ IT では昨年記事の制作システムを変更しました。CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）をアイティメディアの他のメディアと同じものに統合いたしました。

これによって何が変わるかというと、記事配信の柔軟性が高まります。スマートフォンからでも快適に@ IT の記事が読めるようになりました。

@ IT は、エンジニアの方々が仕事にアクセスされることが多く、逆に早朝や昼休み、あるいは深夜などのオフタイムは相対的にアクセスが減っていました。しかし、今後は、そのような時間にも駅のホームや車中、家でもスマートフォンを通して、@ IT を見ていただくことができます。

今後数年は、オフィスでも個人でもスマートフォンおよびタブレット端末の普及が進みます。そんな中で、情報システム部門もあるいは IT エンジニアも、このパラダイムに添えていかねばなりません。もちろん、クラウドや仮想化、ビッグデータや IFRS も喫緊の課題ではありますが、この押し寄せるスマート・パラダイムは企業や組織を問わず、情報社会の大きな課題となっていくでしょう。

@ IT は、そのようなスマート・パラダイムの新時代においても、情報システム部やエンジニアの皆さま、幅広い読者の皆さまの情報ニーズにお応えできるよう、自らの姿や定義を時代に合ったものに変えていこうと思ひます。

2013年、変化の年。@ IT も変わっていきます。何とぞ、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

（アイティメディア代表取締役社長：大槻利樹）

## No.588

### カレログ、大幅アップデートへ／大雪で気付いたアナログの大切さ

2013年1月17日

# 【コラム】アイティメディア営業部員のつぶやき 大雪で気付いたアナログの大切さ

先週末の連休を利用して、長野県の竜王へ今シーズン初のスノーボードに行ってきました。土曜、日曜と快晴で、最高の初滑りとなりましたが、帰京予定日の 14 日に東京が数年ぶりの大雪に見舞われたことで、最悪の展開を迎えました。高速道路の全面閉鎖に伴い、下道での帰り路を余儀なくされたのです。

竜王出発が 13 時。深夜の規制解除まで下道の大渋滞を延々と進み、結果東京渋谷に到着した時間は、翌日 15 日の 6 時でした。計 17 時間。20 名乗りの狭い小型マイクロバスで東京を目指すという苦行となりました。想定外の事態で、いくつか気付いたことがあります。

#### 【1】コミュニケーションの希薄さ

友人ばかり 20 名での旅路でしたが、数時間もすると会話や遊びのネタもなく、1 人で音楽を聴きだす者、寝たフリをする者、本を読み出す者…… 気付けば会話が全くなくなりました。さらに、DVD を購入して無言で見る者まで出てくる始末です。普段、いかに外部に情報があふれ、その情報を介してのコミュニケーションが中心になっているかを痛感した気がします。仲の良い友人同志でも、コミュニケーションの中身は希薄なのだと、思い知らされました。

#### 【2】伝達手段の携帯依存

真っ先に、各人が口にした不安がスマホの充電切れです。会社の上長や帰宅を心配する家族に想定外の事態を報告しようにも、充電が切れてしまうと、次の手段が浮かんでできません。いま振り返れば、「スマホが使えない → 公衆電話を探す」という発想が誰かから出てきてもいいものですが、ほぼ全員の発想は、「スマホが使えない → コンビニで充電機を買う」でした。効率を考えれば、決して間違いではありませんが、携帯電話への依存度に少し怖くもなりました。

私たちの子供世代が大人になるころには、こうした発想の乏しさや文明への依存は、ますます進んでいるのではないのでしょうか。「新しい IT 技術を伝えるメディア企業に所属しているからこそ、そこにただ依存するのではなく、失いつつあるアナログの大切さを忘れることなく仕事をしなければいけない」そんなことに気付いた、17 時間の苦行でした。

(営業統括部 第三営業部：細沢功)

No.589

Facebookの新たな可能性 / Facebookの正しい使い方

2013年1月24日

## [コラム] アイティメディア営業部員のつぶやき Facebookの正しい使い方

一昨年の夏、私は人生の岐路に立っていました。

人は少なからず持病というものを持っていると思いますが、私の場合若干困難な遺伝による難病の可能性がありました。その年のゴールデン・ウィークに父が他界しました。父の病気は「フォン・ヒッペル・リンドウ病」という日本でもかなり珍しい病気で、医者教科書に記載されているような難病です。

私が大学生のころに、ようやく特定の遺伝子異常が原因であることが判明した程度の根本治療ができない病気です。子供には50%の確率で遺伝することが分かっていました。

父の死を切っ掛けに、子どもたちへも遺伝する可能性があるため、検査をすることを決意しました。しかし、あまりに特殊な病気のため、検査方法や検査ができる医療機関が分かりません。インターネットで調べたところ「VHL 病患者の会 ほっと Chain」というサイトにたどり着きました。事務局の方のご好意により、1人の先生を推薦していただきました。紹介をいただいたものの、勤務されている横須賀市立市民病院はあまりに遠く、しかも平日の診療のため、数カ月躊躇しておりました。

そんなとき、ふと Facebook で先生に相談することはできないだろうかと思い立ったのです。検索の結果、先生との接触到成功しメールでの相談、友達申請をさせていただくことができました。診察をしていないのにもかかわらず、検査方法も含め詳しく相談に乗っていただくこともできました。

診療に伺った際聞いたのですが通常、患者とは接触を持たないとのことでした。なぜ応じてくれたかというところ「記載されている基本情報の信頼性が高かったから」、また「普段のウォールのやりとりが、まともであったから」とのことでした。

検査は無事に終わり、93%の確率で遺伝していないとの結果を得ることができました。関係者の皆さまと、Facebook の可能性とサービスに、とても感謝しております。

私も皆さまのお役に立てることがあるかもしれません。もしよろしければ、Facebook で友達になってください。打開できない何かを変えることができるかもしれません。 (営業統括部 第三営業部：三ツ谷正一)

No.590

5分で分かるxxx / 技術革新の牽引者たちを応援し続ける——

2013年1月31日

## [コラム]@ITを支え続けた営業部員のつぶやき 技術革新の牽引者たちを 応援し続ける——

去る1月26日に@IT編集部主催「第1回 業開中心会議」が開催された。この技術者向け勉強会は、2006年に「VB 研公開ゼミ」としてスタートし途中で名称を「.NET 中心会議」に変更し、さらに今年から「業開中心会議」と進化し都合19回目を数える。この日は土曜日であるが、100名近い読者が参加してくれた。

第1回のテーマは「.NET 技術の断捨離」。.NETのみならずソフトウェア/サービス開発において、言語や開発環境、手法は進化を続け新しい記述方法や開発スタイルが次々と登場してきている。当然、古い言語や開発スタイルでも同じような処理はできる。しかし、生産性や将来性を考慮すると、やはり新しい技術を取り入れるべきであろう。

だが、一方で過去の資産との一貫性を考慮すると、新しい開発手法に簡単には移行できない場合もあるし、そもそも、せっかく一生懸命勉強し培ってきた技術を捨てることはできるのか。また、忙しい技術者が新しい技術習得にどうやって向き合えばいいのか。それに上司、会社への説得はどうするか……

いくつもの複雑な選択肢の中で、どれを選び組み合わせるか、そして、どのようにして古い技術の利用を断ったり、捨てたり、離れたりしていけばいいのか？

これは技術者にとって永遠につきまとう課題で、同時に将来の自分の価値を決める重要な選択だ。何人かの参加者の方とお話をさせていただいたが、皆さんの苦心がひしひしと伝わってきた。

そんな中でメディアができることは、選択するための情報と習得するための情報、新たな価値創造のためのヒントの提供、そして技術者同志が互いのナレッジを交換する場の提供ぐらいだ。日々学び選択を迫られ続ける技術者の方々……すべての産業でITがますます重要な役割を担うこれからの時代において、その技術革新を推進する真の牽引者は、現場の技術者の方々に他ならないことを、あらためて痛感した。

@ITは、そんな技術者の方々を応援し続けなければいけない。

最後に、8年目に突入した「@ IT 業開中心会議」を心から支援し続けていただいているグレースィティさんと、企画協力していただいているデジタルアドバンテージさんには本当に感謝いたします。次回は通算 20 回目。皆さん、ぜひ楽しみに。

(IT インダストリー事業部 四本 健)

## No.591

### ITで天気を予想できるか？／人にばれないように、おならをしたい

2013年2月7日

# [コラム]おばかアプリが大好きな就活生のつぶやき 人にばれないように、おならをしたい

はじめまして、デザイン部のアルバイトの望野です。今回コラムを書くに当たり、私がアイティメディアでアルバイトをするきっかけになり、記憶にも大きく残った、「おばかアプリ」について書きたいと思います。

去年の3月23日に「東京カルチャーカルチャー」で行われた「おばかアプリ公開プレスト会議」に、「屁プリ」というアプリの紹介で参加しました。屁プリとは、「人にばれないように、おならをしたい」というコンセプトで考えたアプリです。

プレスト会議には、大学のゼミの先生の勧めから参加することになりました。当初は、ゼミが同じ2人とともに、3人1組で1つのアプリを作ることになっていました。

もともと、下らないものや、バカだなと思うものが好きなのですが、いざバカなものと考えたとなると、なかなか思い付きませんでした。取りあえず、最初は数を出すことにし、おならは置いといて自分の願望（「2次元に入りたい」「何か技を使いたい」）や、多くの人が体験したことのある身近な危機的状況（「トイレをし終わってからトイレットペーパーがないと気付いた」「おならをしたいけど、ばれたくない」など）をいくつか書き出して考えました。

それを土台に、「写真を撮ると、その相手と恋愛趣味レーションができるアプリ」「中二病の人のためのアプリ」「トイレットペーパーがないときにSOSをするアプリ」などを考え、そのときは屁プリを、それほど推しておらず、何個かあるうちの数稼ぎくらいのつもりでした。

話し合いを繰り返していくうちに、面白い案がいくつか出てきて1つにまとめるより各自出した案を1人ずつ発表した方が良いことになり、私は、おならのアプリのアイデアを詰めていくことにしました。最初はなかった、地図を使う「おならエリア」機能を付け、屁プリという名前になり、本物は作ることはできませんでしたが、プレゼンテーション用の資料を作りました。

当日は、3人で早めに集まり、何度もプレゼンの練習をして本番に挑みました。プレゼンがあまり得意ではないのと、上手くいくかという緊張で心臓はバクバクでした。

本番では多くの人に笑っていただき、また、記事でも取り上げていただき、とてもうれしかったです。「おぼかアプリ公開プレスト会議」は、多くの面白い方たちと出会うことができ、楽しく参加できたので、私の中でとても大きな経験になりました。

もう今は卒業間際の大学 4 年生で就活中ですが、これからも自分も楽しく、人からも楽しいと思ってもらえるものを作っていけたらと思っています。

(技術開発統括部：望野 杏梨)

## No.592

### バレンタインデーというイベント駆動 / 笑って、神妙にうなづくべし

2013年2月14日

## [コラム]津軽生まれの技術開発統括部員のつぶやき 笑って、神妙にうなづくべし

私の生まれ育った青森県弘前では「ゴミを捨てる」を「ゴミを投げる」という。手袋は「はめる」でなく「はく」ものであり、雨の日なんかには走って泥が服に跳ねるは「すっぱねあがる」だ。

実はこれらの言葉、東京に来るまでずっと標準語だと思っており、津軽弁だったと知ったときの衝撃と来たら!

津軽弁というのは青森の西側の方言だが、弘前市以外の町や村になると、また微妙にニュアンスが変わり弘前市民でも分からないことがたまーにある。(八戸に行くと南部弁となり、もっと差が出る)

高校時代は弘前近隣の市町村から来た同級生と地元言葉で、なぞなぞなんかして交流を深めたものである。

数年前、地元の神社にお参りにいったときに、そんな高校時代を一緒に過ごした同級生とバツリと出くわし、「わいー、たんげひさしぶりだっきゃ! な、いまだどうしてらんずよ! なして、ここさ来たんず!？」と大声で言われ、すっかり東京の生活も長くなっていた自分としては、「津軽弁とはこうも激しいものだったか!」となつかしいやら、びっくりするやら。

ちなみに、友人の言葉を訳すと、「わー、超ひさしぶりじゃね! お前今どこで何してるんだ! どうして神社に来たのよ!？」となる。

テレビでは字幕必須な青森出身の人間を旦那とした妻は結婚当初、親戚の家に行っても「何を言っているのかさっぱりで、話を振られても分からない。困った」と相談されたことがあった。そこで、その場しのぎとして「笑ったら笑って、真面目な顔をしてたら神妙にうなづくべし」を決行することに。

そのかいあってか、妻は場の空気を止めることがなくなり、現在は津軽弁も難なく聞き取りつつ、たまーに本人も訛るという順応さを身に付けた。すばらしい!

妻の母方の実家である長崎に行くと、いまだに「笑って、神妙にうなづく」を決行し続ける私とは天地の差であり、反省しきりである。

(技術開発統括部:野宮 祐助)



## No.593

### 東京マラソンの思ひ出／お笑いはライブだ！

2013年2月21日

# [コラム]お笑いが大好きな技術開発統括部員のつぶやき お笑いはライブだ！

先日、放送作家でタレント、立川一門の落語家としての顔も持つ「高田先生」こと高田文夫さんがプロデュースするお笑いライブ「我らの高田“笑”学校」を観にいってきました。

この高田“笑”学校は今回で 42 回目を迎えるという、関東では老舗のお笑いライブです。高田先生を中心に浅草キッドさん、松村邦洋さんといったレギュラー陣、青空球児・好児さん、昭和のいる・こいるさんといったベテラン勢からナイツさんやサンドウィッチマンさんといった“旬”の売れっ子、若手芸人までが同じ舞台上上がります。年季の入った「演芸ファン」（と呼ばれるような玄人筋）の方々からも一目置かれるイベントとして、一部ではよく知られているようです。

私はと言えば興味のある芸人さんのライブに“たまに”行く程度のミーハーなお笑いファンですが、高田“笑”学校だけは特別で、かれこれ 6 年ほど欠かさずに通っています。

高田“笑”学校の一番の魅力は、「ツーツービートの後継者」とも言われる浅草キッドさんの漫才（毎回、25 分もの長尺の漫才を、その日の舞台のためだけに披露しています）だというのはファンであれば誰もが認めるところだと思いますが、個人的には同じくレギュラーを務める松村邦洋さんのマニアックなモノマネが大好きで毎回、楽しみにしています。

ネタは、口調はビートたけしさんの織田信長が「本能寺の変」の直前にオールナイトニッポンを放送するという設定などがあります。何のことも、訳が分からないと思いますが、気になる方は松村邦洋さん著「武将のボヤキ 松村邦洋のお笑い裏日本史」を読んでみてください。

そんな高田“笑”学校ですが、今回は昨春、体調を崩して入院、休養されていた高田先生の快気祝いも兼ねた(?) 久々の開催ということもあり、ほたるゲンジさん、バイきんぐさん、松村邦洋さん、ますだおかださん、ハマカーンさん、そして、トリを務める浅草キッドさんまで、いつにも増して豪華なメンツが集まり、これまで観てきた中でも一・二を争う楽しいライブとなりました。実は、高田先生と親交の深いビートたけしさんもツーツービートとして出演するつもりだったそうですが、残念ながら実現しなかったようです。

今回は、私自身も久し振りのお笑いライブでしたが、大いに笑い、ストレスが発散できました。「テレビでお笑

いを見るのは好きだが、生で漫才やコントを観たことがない」という方も大勢いらっしゃると思いますが、そんな方もぜひ一度、ライブに足を運んでみてください。

(技術開発統括部：武藤 丈士)

## No.594

### 恋しきうるう年 / 充電制御に見る技術者の努力

2013年2月28日

# [コラム] 技術開発統括部員のつぶやき 充電制御に見る技術者の努力

以前、実家にあった車には電流計が付いていました。電装品のスイッチのオン/オフに合わせて針がプラス/マイナスに振れて、どのように電気が使われているか視覚的に確認できました。電気系統に異常がないかどうか分かるようになっていたのですね。

ただ、挙動を見ていると走行中は若干ですが、ずっとプラス側に振っていた気がします。つまり、常に充電しているといった感じでした。

最近の車は充電制御をしているそうなので、実家にあった車と比較的最近作られた自分の車の挙動を比較してみることにしました（ただし、私の車のカタログの仕様には「充電制御をしている」とは書いてありません）。

充電制御の挙動を見るには、バッテリーへの充放電を監視する必要があります。そのためには、メインヒューズとバッテリーの間に電流計を入れなければなりません。ですが、大電流が流れる場所では工作が大変なので、バッテリーのマイナスと車体の適当なところをつないで、そこに発生している電位差を計るようにしました。電流計もセンターメーター式のが必要なのですが、見やすい大きさのは高価なので、昔のラジオに付いていたチューニングメーターを流用しています。

簡易的な装置ですが、エンジンをかけるときはマイナス側（放電側）に大きく振れて、エンジンがかかればプラス側（充電側）にメータが動きます。期待通りの動作です。ウィンカーを点けるとマイナスにピコピコ振れて、なかなか愛らしいです。

さて、肝心の挙動ですが、アイドリング時は実家の車と同じ挙動でした。しかし、走り出すと「制御している」という感じがおり、加速すると充電を止めてしまったり（針がマイナスに振れて、電圧も下がる）、充電電流が少なくなります。ですが、巡航速度になってアクセルを緩めると、また充電を始めます。減速時はもちろん充電していて、クラッチを切るまで充電しています。アイドリングよりも減速時の方が針の触れ方は大きいです。

これを見ると、「なるべく燃料を使わないように」「加速が鈍くならないように」と、ちゃんと考えて制御しているようで、なかなか興味深いです。ただ最近の私の車は、バッテリーが劣化したのか、こんな挙動はなくなり、ずっとプラスに振れたままになっています。

充電にこんなに気を使うということは、充電も燃費にそこそこ影響があるということなのでしょう。少しでも燃費を良くしようとするメーカーの技術者の方々の努力には頭が下がる思いです。

(技術開発統括部：皆川 郁馬)

## No.595

### 今話題の「Evernote」を知る / 中古本探索に新しい楽しみを見つける

2013年3月7日

## [コラム] アイティメディア内部監査室室長のつぶやき 中古本探索に新しい楽しみを見つける

オフィスが大手町だったころは新刊本を扱う大型書店が近くにあったので、週に1度はぶらりと立ち寄り、新刊本や話題の本をよく買っていました。しかし、昨年青山一丁目にオフィスが移ってきてからは、近くにあった中型書店が撤退したたこともあり、書店から足が遠のくようになりました。

それにしても全国的に書店の閉鎖が相次いでいて、ここ8年間で約2割の店が閉店したそうですが、あと10年もすれば、ネット販売と電子書籍に追われ、大手チェーン店以外は残っていないような気がします。

代わりに本を得る手段として増えたのが、中古本を扱っているブックオフの利用です。月に数回は自宅近くの店へ行き、まとめて買っていただくことが多くなりました。

しかし、気が小さい? 私は、ブックオフを利用するたびに、心苦しい想いをしています。

もう2年前になりますが、小説家の樋口毅宏氏が、新刊小説の巻末で「図書館で新刊本の貸し出しは制限すべき」と書いて、現代の出版状況に一石を投じました。これに伴い、同じく小説家の白石一文氏がツイッターで「1年かけて500枚の長編小説を書き、晴れて出版。定価1500円で初版部数は5000部。作家の収入は1割(税込み)なので、75万円。手取りだと、67万5000円。それが年収。ということは月収にすれば、5万6250円。皆さんが図書館を利用すると良心的な作家ほど行き詰まる」とつぶやきました。

それら作家さんの訴えには賛否両論ありましたが、いずれにしても図書館で新刊本が借りられたり、著者には印税が入らない(新しい)中古本が流通すると、読者の利便性が上がる一方で、作品を生み出すために多くの時間や労力を使っているプロの作家さんが行き詰まってしまうと考えると、複雑な気持ちになります。

そこで最近私が本を購入するに当たって独自に基準を設けているのが、「文庫を含む新刊本は書店で購入する。ブックオフで購入するのは単行本でも文庫本でも発刊後2年以上が経っているものに限る」というものです。

そのせいで何十年も前に発刊され、埋もれてしまっていたり、すでに廃刊になっている良質な中古本に出会う機会が増え、その発掘作業が休日の新たな楽しみとなっています。

(内部監査室室長：神崎真澄)

No.596

異常気象でも冷静に / アナログに魅せられて

2013年3月14日

## [コラム] イベント企画担当者のつぶやき アナログに魅せられて

イベント企画を担当しています田口です。前職は、コンシューマ向けのイベント業界で働いていました。昨年より縁あってアイティメディアに入社し、BtoB イベントの業務に携わっています。

思えば学生時代はメディア論のゼミを専攻しており、まわり回ってアイティメディアに就職できたのは、何かの因果かなと思うわけです。

メディア論を勉強していた割には、雑誌や書籍といった“紙”という前近代的な媒体を愛し、その形態に固執する文学青年でもあったりします。実家には古本屋や書店で買い漁った文学やら歴史の本が山のように積まれています。Amazon で本を選ぶよりも、書店へ行くことが好きなのは、自分が思いもしなかったタイミングで良書に出会えるからです。映画に関しても、私は DVD よりも、映画館で封切りを観ることを好みます。

デジタルコンテンツがこれだけ普及した今でも、アナログなものや行為に魅了されるわけですが、それには理由があります。

アナログな形態は「記憶」に関わりますが、デジタルはむしろ記憶を要さない「記録」という形態だからです。書店で本と出会う、リアルタイムに封切りを観る、好きなバンドのライブへ行くというフィジカルな体験は、二度と取り戻せない反復不可能な体験ゆえに、一回性の出来事として「記憶」していると思うのです。

一方で、デジタルアーカイブ化されたものは、いつでもどこでも引き出せ、何度でも反復できるため、出来事や体験は特別なものでなくなります。検索エンジンの登場によって、私たちは言葉や言葉の意味を覚えようとしなくなりました。それは自分が記憶していなくても、いつでもデータから答えを引き出せるからです。

もちろん、その利便性に私たちの生活が支えられているのは事実ですし、メディアごとにコミュニケーション用途も異なります。しかし私は、反復可能なものよりも反復不可能なものが持つ“緊張感”を好むからこそ、イベントという“アナログな”仕事を続けているのかもしれない。

(営業統括部 企画推進部: 田口 洋平)

No.597

桜のももいろ／太りたい

2013年3月21日

## [コラム]マーケティング統括部員のつぶやき 太りたい

厭味ではありません。切実な願いです。昨年の秋、もともとガリガリの細身の体型だったわたしの体重が 57kg まで減ってしまいました。身長 178cm のわたしの標準体重は、BMI / 標準体重計算でみると 69.7kg。実に 13kg 近くもやせており、BMI 判定では「やせ」判定でした。

重ねて申し上げますが、厭味でなく悩みなのです。このまま年老いていったら、何かと体に不具合が生じそう……。過去最軽量の体重になってしまい、さすがにマズイと思い、太ること（筋肉質になること）を決意したのです。

それからは、1日4食の食生活に変えました。夕方、おにぎり2個を食べ続けると、徐々にではありますが、体重が増えてきたのです。脇腹も幾分お肉が付いてきました! 現在は 63kg。目標の 65kg まで、あと 2kg まで迫りました。すでに今年の夏のビーチをイメージしつつ、昨年末にダンベルを買って、筋トレを週2~3回ペースで実施。胸筋もピクピクいってます（イメージでは）。

が、浮かれるのもつかの間。ここで伸び悩んでいます。体重が増えないのです。暴飲暴食の限りを尽くせば、体重は増えそうですが、健康的ではない気がするし……。世の中には、痩せるためのさまざまな食品や健康器具が出ていますが、体重を増やすためのものがないように思うのです。世の中のやせ体型の男子諸君も同じ悩みを抱えているはず（たぶん）。飽き性のわたしには、地道に食べ続ける、筋トレし続けるのは、なかなか苦痛です。

そこで、モチベーションを維持するために、前日より体重や筋肉量が少しでも増えていたら、チョコ1個食べることにしました。ささやかなモチベーションツールですが、甘党のわたしにとっては、チョコ1個のために頑張れるのです。今日もチョコ1個のために頑張ります。

（メディア開発本部 メディア・マーケティング統括部：大室 智功）

## No.598

### 韓国サイバー攻撃の真相 / 不安定な教員の雇用事情

2013年3月28日

# 【コラム】4月から女子校教員のつぶやき 不安定な教員の雇用事情

@ IT でアルバイトをしつつ、高校教師をしている田中です。このたび、3 月末をもって株式会社アイティメディアを退社させていただくことになりました。

新しい職場は都内の某女子校で、「専任講師」という勤務体系でのスタートになります。友人に「女子校で働くことになった」と伝えると、もれなく全員から「マジかよ! うらやましい! 天国じゃん!」とレスが来るわけですが、女子校出身の友人の話を知ると、現実が良い話ばかりではありません。今から女性社会の怖さにおびえる毎日です。

さて、せっかく学校での就職が決まりましたので、学校業界の雇用形態についてお話しします。

現在、特に都内の学校（主に私立）の教員には、以下のような雇用形態があります。

- (1) 非常勤講師
- (2) 専任教諭
- (3) 常勤講師（名称は、他にも「専任講師」「特任教諭」など、さまざま）

(1) の非常勤講師は簡単に言えばアルバイト・パートの教員です。仕事は主に授業とテストの作成です。契約は単年度で、週の授業時間数に合わせて給与も決まり、出勤も授業の時間と相関します。皆さんも学生時代に「講師の先生」と呼ばれる先生方に会ったことはありませんか? 彼らは、この雇用形態で勤務してる教員です。

私は、ここ 2 年ほど非常勤講師として現任校に勤務していました。後に述べる専任教諭や常勤講師に比べて、授業だけで済むので時間的余裕は、たっぷりありました。出勤も担当する授業によっては、午後出勤や昼退勤なんていう日もざらです。

(2) の専任教諭は会社でいえば「正社員」の教員です。フルタイムで働き、仕事は授業から生徒指導、部活指導（部活については「教員の仕事ではない」という見方もありますが……）、担任も持ちますし、営業などの業務もあります。その代わり、給与は授業時数に寄らない場合が多く社会保障などの面もしっかり整備されています。



さて、一番謎なのが (3) の常勤講師です。これは言ってみれば「見込み採用」の契約社員なのです。仕事内容は (2) の専任教諭と同じ。部活指導もしますし、担任も持ちます。しかし、給与は専任の給与体系とは別で、学校によりさまざまですが、ほぼ必ず専任より給与水準は下がります。加えて、契約は単年度。1 年や 2 年で契約が打ち切られる可能性も十分にありま (実際、私の友人で経験者がいます)。

(1) の非常勤講師をいくつもの学校で掛け持ちながら生活をする教員もいますが、大抵の教員は最終的に (2) の専任教諭になることを望みます。そのためには、どうすればよいか。これも学校によって、の採用プロセスはさまざまですが、以下の場合が多いようです。

A : (1) 非常勤講師を経験 → (3) 常勤講師を経験 → (2) 専任教諭として正採用

B : (3) 常勤講師を経験 → (2) 専任教諭として正採用

C : (1) 非常勤講師を経験 → (3) 専任教諭として正採用

現任校では、A もしくは B でした。いずれにせよ、いきなり専任教諭、つまり正社員として採用される例は、ほとんどありません (公立も同様で、自治体によるのですが、東京都の場合は一応「見込み採用」としています。給与体系は正採用と変わらないようですが)。さらに、常勤・専任への採用枠も少なく、求人情報を見ていると、1 人や 2 人、多くて「若干名」という学校が珍しくありません。

他にも、以前、NHK の「クローズアップ現代」が特集した「派遣教師」なる教員もいます。詳しくは番組の方を見ていただきたいと思いますが、彼らの将来への不安や自分たちの境遇への不満を聞いていると、胸を痛めます。

一見、学校の教員は安定しているように見えますが、少子化の煽りも受け、このような不安定な雇用形態で働いている人たちが多いのが現状です。今回は主に私立学校の例を挙げましたが、公立の教員でも非常勤講師の問題はあります。

私は、新卒 1 年目で運良く現任校の「常勤講師」として採用されました。採用後に上司に聞いた話によると、経験がものを言う職場なので、新卒の人間を常勤で採用するのは珍しいそうです。

2 年目からは、家庭の状況などもろもろの事情で非常勤講師へと勤務形態を変えましたが、本当に運が良かったなあとも今でも思います。

テレビやネットを見ていると、教育について、さまざまなことが叫ばれています。いじめの問題、教員の不祥事、日本の教育の遅れ、IT 化の推進…… などなど。また、自民党に政権が変わり、教育再生実行会議もスタートし、日本の教育は少しずつですが動いています。

しかし、1 つ残念なことは、彼らが掲げる「教育改革」に、教員の現状に目を向けたものが（少なくとも私が見た限りでは）全くないことです。多くの教員が不安定な雇用条件の中、生徒のために寸暇を惜しんで教育活動に臨んでいます。「教育は人なり」とはよく言ったものですが「日本の教育を良くするために、先生が安心して働ける労働環境を作ろう」といった意見が少しでも現れてくれるといいなあと思います。

さて、後半、少々グチっぽくなってしまいましたが、これで長い長いコラムを終わらせていただきたいと思います。アイティメディアは Twitter 経由での採用で、当初 1 カ月のみの契約が、いつの間にか約 1 年半お仕事をさせていただきました。未熟者ながら、さまざまな方のお力添えあってこそその 1 年半だったと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。

「どんな学校なのか」「どんな子どもたちがいるのか」「どんな部活を持つのか」などなど、新しい職場に不安と期待でいっぱいです。しかし、職は変わっても、アイティメディアでの 1 年半は決して忘れません。楽しい職場でとても幸せでした。ありがとうございました。

(@ IT 統括部 : 田中 高明)

No.599

進化する新人研修 / 人生初のヒッチハイク

2013年4月4日

## [コラム] 新入社員のつぶやき 人生初のヒッチハイク

はじめまして、新入社員の近藤です。実は私、学生時代から1年間アイティメディアでアルバイトをしておりました。一時期フルタイムで出勤しており、社員と間違われることも、しばしば。こんな私も4月からようやく憧れ(?)の正社員になりました。

社会にリリースされる直前、10日間の沖縄女1人旅に行ってみりました。最近話題のLCC(格安航空会社)で直前に航空券を取り(直前過ぎてLCCの恩恵をあまり授かることができなかった……)、宿の予約もしないまま、ボストンバック一つで東京から逃げるように沖縄へ。旅の計画を事前に立てることが苦手な私は、航空券だけ取って後は現地で決めるスタイルが気に入っています。

今回の目玉は何といっても人生初のヒッチハイク! さすがに私1人ではなく、目的地が同じだった観光客の大学生と協働で。那覇から80キロ離れた北部の今帰仁という村まで2台の車にお世話になりました。スケッチブックにでかかたと目的地を書き、掲げること10分。意外と停まってくれるものですね。1人目のドライバーは沖縄国際映画祭の関係者の方で、「今どきヒッチハイクしてる奴なんて、いねえぞ(笑)」なんて言われながら約10キロ乗せていただきました。そして、2人目のドライバーは中学生の息子さんの練習試合の迎えに行く途中のイケメンパパでした。しかも所々、観光名所にも寄ってくれて、感謝してもしきれません。

ヒッチハイクの末、到着したゲストハウスは海の目の前という最高のロケーション。完全に一目惚れで、2泊の予定を1週間泊まることにしてしまいました。波の音を聞きながらハンモックでうつらうつら……。こんなにのんびりしていたら現実世界に戻れないんじゃないか……。そんな心配までしてしまうほど穏やかな時間が流れておりました。

でもね、あっという間に現実に戻されるものなのです。帰りの飛行機が2時間遅れ、終バス、終電を乗り継いで何とか帰宅しましたが、全ての乗り換えが分刻み。沖縄のスローライフとは正反対の東京の生活。皆さんはどちらの生活が好きですか?

(管理本部: 近藤早紀)

No.600

Windows XPのサポート終了まであと1年／ニュースソースの「民主化」

2013年4月11日

## 【コラム】@IT創設メンバーのつぶやき ニュースソースの「民主化」 ——@IT通信600号記念に寄せて

先週政府が開いたクールジャパン推進会議で、民間議員の秋元康さんから、「クールジャパンのポスターやキャッチコピー作りにクリエイターがノー・ギャラで協力すべきだ」という主旨の発言があったことが伝えられて、ネットの一部で盛り上がりました。

さらに、その騒ぎを受けて、岩崎夏海さんが「日当が百万の人のお金を払えないという話なのに、みんな勘違いも甚だしい」と発言して秋元さんを弁護したことも報じられました。

国策「クールジャパン」の目的は貿易収支の改善です。日本発の「クール」な無形資産に海外の人がお金を払うように仕向けて、有形の製品を売る製造業が稼げなくなってきた外貨を、もう一度稼げるようにすることです。ですから、その国策の予算は、日本のアニメやソフトやらの「文化財」を海外の人がたくさん高く買ってくれる仕掛けのために使うのがスジなわけです。

価値の源泉に当たる制作物を国がタダで召し上げるとか、政府予算で買い上げて海外に配るとか、まるでコメ政策みたいな議論になっているのが私ら素人には、さっぱり意味が分からないのですが、上の二つの発言のニュースソースがどちらも Twitter 上のつぶやきだったことは今風だなあと感じました。

12年前、この@ IT 通信が始まったころ、私たち商業 Web メディアは 1 人前のニュースソースとして世間から認知していただけるようもがいていた時期でしたが、いつの間にかネットのニュースソースは「民主化」されて、商業 Web メディアはまとめ役に回っているわけです。

12年後、ネットのメディアはどういう形になっていて、私たちはそれにどのように関わっていくのか、もっと考えて、議論して、手を動かしたいと思っています。それが「クール」かどうかは関係なく、ね。

(アイティメディア 監査役：樋口理)

No.601

ヒラメケ! アイデア / 新三大美女

2013年4月18日

## [コラム] 美女好き営業部員のつぶやき 新三大美女

ある日、『Business Media 誠』（以下、誠）編集部の D 記者が、「東京ラブストーリーの再放送がある～」と、誠の Skype 会議室で騒いでいました。私もドラマ好きなので、「確かに名作よね」と心の中で思っていたのですが、なぜかテンションが高い D 記者。聞いてみると、鈴木保奈美の大ファンのような様子でした。

鈴木保奈美なら、『この世の果て』でしょ! とか思う気持ちはさておき、話題は、好きな芸能人の話に。

やっぱり、「鈴木保奈美が一番だ」という D 記者に対して、「確かにきれいだけど、ちょっと時代が違うでしょ」ということで、鈴木保奈美は殿堂入りのポジションに無理やり押し込み、「今はやっぱり真木よう子でしょ!」という、何と納得し意気投合。翌日には、Skype アイコンが真木よう子になっていました。

別のある日、またも D 記者より、「夏目ちゃんが、バンキシャのキャスターになる～」とうれしそうな書き込みがありました。私も、夏目三久が好きだったので、ひとしきり盛り上がっていると、D 記者が、「じゃあ怒り新党風に、新三大美女は、真木よう子、夏目三久、鈴木保奈美で!」と勝手に決めるので、何とか、鈴木保奈美に代わる今の美女を見つけ出すために、「真剣に考えさせてください!」と懇願し、決定は待ってもらうことに。

その夜、真剣に考えた結果、Skype 会議室に「満島ひかりでしょ! これで完璧です!」と書き込んで、ドキドキしながら眠りにつきました。

翌朝、D 記者から意外にもすんなり「満島ひかり、いいですね～」っとお褒めの言葉をいただき、晴れて、ここに新三大美女が決定したというわけです。

その後、2 人で決定した新三大美女を大絶賛しているのですが、他の編集部員はもちろん、誰にいても「へー」とか冷やかな反応しか返ってこないのはいうまでもありません。

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部 : 河村泉)

## No.602

### 香港のIT事情 / 手作りご飯の有り難み

2013年4月25日

# [コラム] アルバイトのつぶやき 手作りご飯の有り難み

元気がないとき、落ち込んだときに効くものは、何でしょうか。私の場合は、親友と飲み明かすことでもなく、家に籠って映画を観ることでもなく、お笑い番組を観るのでもなく、誰かの手作りご飯を食べることです。

ある日、私が落ち込んでいるとき「美味しいものは作れないけど、何か元気が出るもの作ってあげるからいつでも家おいで」なんて友達がいてくれました。その言葉は「大丈夫?」と心配されるよりも心が暖くなる言葉でした。思わず涙を流してしまうところでした。

また別のある日、友人の家に泊まったとき朝食を振る舞われ、非常にうれしかったのを覚えています。朝食は、その日1日の調子をつかさどる、とても重要な食事です。友達より先に起きて準備をしているなんて、これぞまさに本物の女子力でしょう。そして日本のおもてなし文化を引き継いでいる、古き良き女です。

さらに、帰宅が遅くなり外食続きだと私は決まって顔にツケが回ってきます。肌荒れや吹き出物ができたり、疲れやすくなってしまいます。しかし、家で実家の食事を摂ることで、その症状はあっという間に消えてしまいます。それが簡単な野菜炒めだとしてもです。特別な野菜を使用しているわけでもなく、近所のスーパーの野菜なのに、どうしてこんなにも外食との差が出るのでしょうか。

誰かの手作りご飯を食べることは、どんな言葉よりも効果のある魔法の薬なのかもしれません。特別な材料や、特別豪華な料理なわけではありません。ただただ手作りご飯だけです。そうすると、さすがに「愛情」という言葉も無視できなくなってきました。「料理に愛情が入っている」というのは本当のことだと信じるようになりました。特定の人へ向けて作る料理には、不特定多数に向けて作る料理と確実な違いがあると思います。

普段何気なく手作りご飯を食べてしまっている方も、普段外食ばかりな方も、手作りご飯の有り難みを再認識してもらえたらうれしいです。

(EM インダストリー事業部 営業統括部 : 深尾 麻鈴)

## No.603

### カジノでヒトはトランス状態に / 大人の知的スポーツ

2013年5月9日

## [コラム] 新入社員のつぶやき 大人の知的スポーツ

はじめまして、新入社員の村上です。皆さん、ゴールデンウィークはどのように過ごされましたでしょうか。私の周りでは、10 連休を取って海外旅行に出かけた友人もいました。そんな中、私は趣味の一つであるポーカーに興じていました。

日本でポーカーと言うと、「手札が 5 枚」「ギャンブル」のイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、海外では手札 2 枚と全員共通で使用できる 5 枚のカードを使ってチップを奪い合う「テキサスホールデム」というゲームが主流で、カジノでもプレイできます。

競技人口は世界で 1000 万人以上と言われ、最大規模の大会では優勝賞金が 10 億円を超えることもあり、賞金額が最も多い個人競技となっています。海外では、スポーツチャンネルの人気コンテンツの一つとしてポーカーの世界大会が位置付けられています。

そんなポーカーの日本選手権が、ゴールデンウィーク真っ只中に 4 日間開催されました。本大会の前年チャンピオンとの出会いが切っ掛けでポーカーを始めた私は、今年が初参戦。ポーカー歴 4 カ月、平均年齢からするとかなり若い私が、どこまでやれるのか不安でしたが、本選出場の切符を賭けて、まずは予選に臨みました。

予選は約 1500 人が参加し、1 ブロック 50 人で上位 5 人になるまで争われます。女性プレイヤーも 130 人近くが参戦。私はと言うと、ワンハンド目から全チップをかけるなど、攻めに攻めまくるスタイルが功を奏し、なんと 50 人中 1 位で本選出場に漕ぎ着けました。

日常では味わえないスリルを味わえることがポーカーの魅力の一つですが、翌日の本選では大げさに言うと生きるか死ぬかの勝負を何度も行わねばならず、頭はオーバーヒート、胃はキリキリ、という 1 日でした。最後は 270 人中 70 位ほどの順位でフィニッシュでしたが、翌年の大会に向けて、さらなる努力を重ねようと決意しました。

大会期間中だけでも計 14 時間、プライベートを含めると計 40 時間以上はポーカーをしていたゴールデンウィークでした。快晴の中、大の大人が屋内に籠って手に汗握る真剣勝負を繰り広げてみるのも一興ではないでしょうか。

(管理本部：村上万純)

## No.604

### enchantMOONは流行るのか？／近場で新たな発見を

2013年5月16日

## [コラム]新入社員のつぶやき 近場で新たな発見を

はじめまして。新入社員の中尾です。私たち新入社員は、先週の金曜日に配属発表があり、いよいよ今週から、それぞれ配属された各部署での勤務が始まりました。配属先が決まり、期待半分不安半分ですが、一生懸命前に突き進みたいと思います。

私は5年ぐらい前から写真を撮るのが趣味で、毎週のように写真を撮っています。写真は人を撮るポートレート撮影がメインで友達を誘って街中で撮ったりしています。

写真を撮り始めてから街中で歩くとき、常に撮る場所を意識して歩くようになりました。意識しながら街中を歩くと、一つ一つの路地や建物、坂が面白く見えてきます。歩いてみて個人的に良かったのは、王子です。

駅の近くに、飛鳥山公園と音無親水公園などの大きい公園があり、坂が多く、住宅も多いです。さらに、住宅街には滝がある公園まであります。こういうところだと、いろいろなバリエーションの写真が撮ることができて楽しいです。

当社がある青山一丁目の周りも、歩いてみると結構面白いです。明治神宮外苑があり、坂が多く、住宅も多くあります。住宅街には隠れ家みたいなカフェやレストランもあるので、歩いているだけで楽しいし、撮影スポットとしても最適。いつか、友だちを誘って撮影してみたいものです。

皆さんも、職場や家の近くを、意識しながら散歩してみると、新たな発見があるかもしれません。さらに、四季ごとに咲く花が違ったり、同じ道でも雰囲気が変わってくることでしょ。これからも、私はいろいろな場所を歩いて、写真を撮っていきたいと思います。

(@ IT 統括部 キャンペーンマネジメント部：中尾太貴)



## No.605

### あなたのストレス、今何度？ / 私とコンピュータ

2013年5月23日

# [コラム] 新入社員のつぶやき 私とコンピュータ

はじめまして。新入社員の藤本です。といっても、三十路を越えているのですが……。これまで数社で Web メディアの編集に携わり、5月から@ IT 編集部に加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、私が初めて手にした PC と、その思い出について書きたいと思います。わが家に PC がやってきたのは 1995 年、私がまだ中学生のときでした。アップルコンピュータ（当時）の「Macintosh Performa 6210」という機種で、主に初心者向けのローコスト製品という位置付けの PC でした。

スペックは、PowerPC 603 75MHz、メモリ 16Mbytes、内蔵 HDD 800Mbytes。OS は、「漢字 Talk 7.5.1」が搭載されていました。当時の Macintosh は、680x0 プロセッサから PowerPC へと移行する過渡期にあり、ひどく不安定だったことを覚えています（システムエラー時に表示され、PC がフリーズしてしまう、いわゆる「爆弾」を何度も拝みました）。

当時のアップルというと、スティーブ・ジョブズ氏が追放された後、マイケル・スピンドラー氏やギル・アメリオ氏が CEO を務めていた時代です。同社の企業戦略は迷走し、Windows 95 の盛り上がりにも押され、業績は著しく低迷していました。私も Windows 機が欲しいとひそかに望んでいたものです。

当時、Mac ではもっぱらゲームをやっていました（まだ中学生だったものですから……）。「SimCity 2000」「ザ・タワー」「Marathon」「MYST」などにハマっていました。特に、1 人称視点シューティング（FPS）のほしりである Marathon は、その美しいグラフィックと滑らかな操作性が印象的でした。

また、「HyperCard」も外せません。HyperCard とは、「HyperTalk」と呼ばれるスクリプト言語を用いてプログラムを記述するツールです。初心者にも分かりやすい言語だったので、参考書を片手に初歩的なプログラムを組んで遊んでいました。

このような感じに、ここまで私の PC 初体験について、簡単に回想してきたわけですが、実はこの数年後には Windows 機を手に入れることとなるのです。それは、またの機会に書きたいと思います。

（@ IT 統括部：藤本和彦）

## No.606

### これからどうなる「Surface」? / 初競輪

2013年5月30日

## [コラム] 新入社員のつぶやき 初競輪

新入社員の與座です。先週の土曜日、初めて競輪に行きました。場所は川崎競輪場です。

競馬や競艇などをしたことがなく、ギャンブル初体験でした。女 2 人で行ったのですが、いざ競輪場に入ってみると、98%が年配男性。皆さん眉間にしわを寄せ、ビールと漬物を煽りつつ競輪新聞とにらめっこしています。

漂う勝負師たちの空気に膝を震わせながら、試しに第 1 レースの投票券を 100 円で購入。どの選手が早いかなどの情報も全く分からないため「一番イケメンそうな名前の人」に賭けることにしました。

結果は、配当金 700 円と大勝利!!! 「7 倍だ!!!」 「最高!! もう働かないぞ!!」 などと、友人と大はしゃぎ。こんなに利益が出るならと、賭け金を 1000 円に増加して、余裕の面持ちで第 2 レースに突入しました。もちろん「一番イケメンそうな名前の人」に賭けます。

結果…… 配当金は 0 円。「そりゃ、そうだよ……」 「だから、みんな働いてるんだよ……」 などと、秒速で社会の厳しさを知り、その後は、ちまちま 200 円位ずつ賭け、結局全体で 1500 円ほど負けました。たとえギャンブルといえど、分析など努力を怠らない人が勝つんだなあ…… と当たり前のことを学びました。

周りのおじさま方はというと、レース後、負けてしまった選手に向かって「安西（仮名）！お前太り過ぎなんだよ痩せろ！バカ！」と大声でクレームを付けていたり、「岡田（仮名）！本当にいつもありがとう〜！」と感謝をしていたりと、さまざまで大変面白かったです。

選手との距離は 10 メートルほどしかないのに、自分に期待するお客さんに至近距離で見られるというのは大変な仕事だな、と選手に同情したりしました。

思っていたより簡単に、楽しく遊べる競輪、皆さんも一度体験してみたいはかがでしょうか。

(EM インダストリー事業部 営業統括部：與座 ひかる)

## No.607

### ジャグリングするりんぐ? / 最強ライブ「吉本新喜劇」

2013年6月6日

# [コラム]EMインダストリー事業部編集スタッフのつぶやき 最強ライブ「吉本新喜劇」

5月に久々に吉本新喜劇を見てきました。吉本新喜劇というと、関西人には土曜の昼の定番ですが、それ以外の地域の人には、なじみがないかもしれませんね。ということで、勝手に吉本新喜劇の魅力を紹介したいと思います。

吉本新喜劇は、吉本クリエイティブ・エージェンシー所属のお笑い芸人たちが演じるドタバタ喜劇です。前身も含めると50年以上の歴史がありますが、大阪のなんばグランド花月（NGK）では毎日2～3回の公演が行われており、非常にハードルの低いエンターテインメントとなっています。

一応演劇なのですが、ストーリーは投げやりなくらいシンプルです。主人公とマドンナがいて、悪い奴が来て、なんだかんだドタバタして、結局ハッピーエンド、といった感じです。このシンプルなストーリーに、それぞれの出演者が持ちギャグやアドリブで織り交せて味付けをしていくことで、ドタバタ喜劇になっていきます。

吉本新喜劇では、演劇部分は練習しますが、お笑い部分はほぼアドリブでやっているそうです。主にツッコミ役の主人公（座長がやるときが多い）が、出演者の状況や客席の反応を見ながら、ツッコミつつ話をさばきます。ボケたら全員コケるなどの“お約束”や、出演者の持ちギャグ（島木譲二の「大阪名物パチパチパンチ」や桑原和男の「かみさまあー」など）は定番となっているのですが、慣れた客はもう待ちかまえているので、あえて触れないなどの超高等テクニックを駆使して、笑いを誘います。

基本的にアドリブがベースになっているので、同じ公演は二度と見られない、というライブ感が無駄にあふれています（下手をすると同じストーリーでも内容が変わっているときもある）。また、たまに客席をいじることもあるので、臨場感は半端ありません。そして終わったあとは、内容はよく思い出せないながらも、なんとなく心地良い疲労感と癒され感に包まれることになります。

どうですか？ きっと吉本新喜劇に興味湧いてきたと思います。大阪に行く機会があるときは、ぜひNGKで吉本新喜劇にチャレンジしてみてください。

遅ればせながら、5月からアイティメディア新喜劇の一員に加わることになりました。新たな舞台に立ち、オリジナルのギャグやアドリブを加えながら、笑いあり、涙ありの有益な情報を皆さんにお伝えしたいと思っています。ぜひ、よろしくお祈いします。

(EM インダストリー事業部 編集部：三島一孝)

## No.608

@IT編集部 西村賢、卒業 / 初めてのJavaOne取材のとき、私はJavaを知らなかった  
2013年6月13日

**【コラム】@IT編集部員のつぶやき**

# 初めてのJavaOne取材のとき、 私はJavaを知らなかった

こんにちは、@ IT 編集部の西村賢です。今だから白状します。

今から6年ほど前、まだ私がアイティメディアに転職してきたばかりのころの話です。中堅の記者・編集者として転職してきた私は当然即戦力となることが求められました。入社して割とすぐに、米国西海岸で行われるサン・マイクロシステムズ社（現在はオラクルに買収済み）のイベント「JavaOne」の海外出張の取材に行くよう命じられました。正確に言うと命じられたのではなく、上司に打診されて「行きます!」と即答したのですけどね。

本当は内心ドキドキでした。私は「Java」というのが何のことだか、ほとんど分かってなかったのです。

中途入社といっても、それまでの取材ジャンルが違っていたので知識に不安がありました。入社前はコンシューマー視点でPC業界をウォッチしてきたので、IT業界のことは良く分かっていませんでした。両者は重なりこそ小さくないものの、別業界といえるほど違います。

「このぐらいのプレッシャーがないようでは転職した意味がないし、この程度でジタバタするトシでもない」と、出張が決まったその日から、Javaの歴史や技術、企業社会での受容のされ方について猛勉強を始めました。「猛勉強」といえばポジティブですが、有り体に言って泥縄です。付け焼刃ですね。太平洋を飛ぶ飛行機の中でも一睡もせずずっと書籍や雑誌特集を読み続けていたのを思い出します。

あれから6年。すいぶんソフトウェア技術についてもIT業界についても詳しくなりました。なのですが、2013年6月一杯で@ IT から離れて、また新しいチャレンジをすることにしました。転職を前にして、今また6年前と同じようにプレッシャーを感じて緊張しています。程よい緊張は良い結果を出すためにはむしろ好ましいとスポーツの世界でいわれています。私も、きちんと結果を出して社会に対してプラスになるような仕事ができればいいなと思ったりしています。

@ IT 読者の皆さま、直接はお会いしたりお話できたりしてない方がほとんどかと思いますが、大変お世話になりました。今後とも@ IT をご愛読のほど、よろしく願いいたします。

(@ IT 統括部：西村賢)

## No.609

### 留学から学ぶもの / 世界で最も美しい本とWeb

2013年6月20日

# [コラム]ケルトに思いを馳せる留学生のつぶやき 世界で最も美しい本とWeb

アイルランドのダブリンに、“世界で最も美しい本”と呼ばれる『ケルズの書』がある。『ケルズの書』は、人々にキリスト教を広めるために聖職者たちが作った聖書写本だ。数年前、iPad アプリで『ケルズの書』完全版が出て、その完成度の高さで話題になった。

さて、この「世界で最も美しい本」は8世紀のものだが、眺めていると21世紀のWebやITの世界と通じるものがある気がする。例えば『ケルズの書』の名声を高めているのはそのデザイン性、「キリスト教」「写本」という枠組みを超えた、圧倒的な装飾文様にある。

キリストを表現する「XPI」というたった3文字を表現するために、『ケルズの書』は1ページを費やして、ねじれて渦巻き、無限に広がる魔法陣のような装飾を施している。ローマなどでは、このような装飾は見られない。

繰り返す円模様や渦巻きは、当時アイルランドやスコットランドに住んでいたケルト人たちの文化である。布教のため、聖職者たちはケルト装飾を用いて、ケルト人にとって魅力的な方法でキリスト教の世界観を描いた。

世界に広く受け入れられる宗教は常に、コアのメッセージをはっきり持ち、ローカルな神や信仰をうまく取り入れて浸透していく。『ケルズの書』を眺めていると、文化を汲み取ったうえでのローカリゼーションと、人々を魅了する美しいデザインにこだわった聖職者たちの職人魂に思いを馳せたくなる。

ケルト美術は、Web的な世界観だとも思う。ケルト美術のメインシンボルである「渦巻き」は、絶えず外に広がっていくように描かれる。これは、「永遠に変化し続ける世界」を表しているという。

彼らにとって世界は「神が作りたもうた完成版」ではなく、「常に変化し続ける、永遠のベータ版」だ。キリスト教は「神によって作られた完璧であるはずの世界（システム）がどうして矛盾（仕様漏れ）や悪（バグ）を抱えているのか」という問題が提示されるが、ケルトの世界観ではそもそも世界（システム）は完成しておらず、絶えず変化し続ける。日本の「ゆく川の流れば絶えずして、しかも、もとの水にあらず」という世界観とも通じるような気がして、個人的には好感が持てる。

そんなわけで『ケルズの書』とケルト文化を肴に妄想することをしばらく楽しみとしていたのだが、「これはつ

らいなあ」と思ったものが一つ。

ケルト人は“重要な掟や詩、呪文は全て口承で伝え、文書には残さない”。これらの重要な知識を知っているのは、最高階級である僧たちだけだった。「これをシステム構築や運用フェイズでやられたら……」と考えたところで頭が痛くなってきたので、残りのギネスを飲み干してさっさとベッドに潜りこんだ。

(スマートメディア事業推進部：金武明日香)

## No.610

### クッキー嫌い／おもてなしのエース？

2013年6月27日

# [コラム]EE Times Japan/EDN Japan編集者のつぶやき おもてなしのエース？

4月にアイティメディアに入社し、EE Times Japan / EDN Japanというエレクトロニクス系メディアの編集を担当しております竹本と申します。4月入社ですが、中途入社です。

さて、今年で36オになる私ですが、アイティメディアでは「新人」ということで、当コラムを任されてしまいました。編集という仕事をしておりながら、どうもこの手の“コラム”は苦手です。他人のことは好き勝手に書くことができるのですが、人に誇れることが何もない自分のこととなると、本当に嫌で仕方がないのです。

コラムの締め切りが迫り、憂鬱（ゆううつ）が積み積もって小学2年生の息子に、「自己紹介的な文章を書かなきゃいけない」と愚痴ったところ、「自己紹介なら好きな食べ物、嫌いな食べ物をいえばいいよ」と教わりました。というわけで、小2のアドバイスを真に受けて、話を進めたいと思います。

「私は、クッキーが嫌いです」。

この事実が幾度、私を苦境に陥れたことでしょうか。

幼少のころより、友人や知人の家に招かれたならば、かなりの高確率でクッキーが“おもてなしのエース”として登場します。見ているだけで寒気がするクッキー。手を付けられないのはもちろん、見もせずうつむいていると、必ず「遠慮せず食べて!」との声がかかります。

おもてなしのエースを「キライです」との一言で片付けるわけにもいかず「ええ、あの…… ちょっと苦手……」と言葉を濁しつつ説明するも、場の空気は必ず冷めます。

どうも「クッキーが苦手」というのは信じてもらえず、「私の出すものがイヤなんですよ!!」といった感じの誤解を生むようです。

そして、最も厄介なのが、「手作り」という忌まわしい冠をいただいたクッキーです。もはや逃げ場は、ありません。

料理上手な友人のお母さん、「これは別だから」と謎の言葉を繰り返すサークルの先輩、そして、サプライズの好きな付き合ったばかりの彼女……。

食うも地獄、食わぬも地獄。地獄を見るたびに、クッキー嫌いが増幅していきます。

クッキーは、おもてなしのエースであり、旅行や出張土産のエースでもあります。職場が変わるたびに、あまり信じてもらえない「クッキーが嫌い」という私の特異体質を、嫌な印象を与えず知ってもらうための苦労を強いられます。

入社から 3 カ月。私のクッキー嫌いは、少しは周りに知られるところになりましたが、まだまだ。

ですので、この場を借りて、私が「クッキー嫌い」であることをお知らせするとともに、この世の中には、“クッキーが嫌いな人間も存在する”ということを知ってもらえれば、幸いです……。

(EE Times Japan / EDN Japan 編集担当 竹本達哉)



## No.611

### 文章の書き方 / 文章書くのなんて大嫌いだ

2013年7月4日

# [コラム]EMインダストリー事業部編集スタッフのつぶやき 文章書くのなんて大嫌いだ

以前書いた@ IT 通信のコラムがひどいと身近な人々から攻め立てられたので、再度登場することになりました。

嫌々ながら考えていると、私はそもそも文章書くのが大嫌いだっことを思い出しました。そんな私が今文章に関連する仕事に就いているのはなぜだろうと振り返ってみると、あるエピソードがあったことを思い出しました。

それは私が浪人をしていた時のことでした。私は大学受験に失敗した反省から、何か自分を変えなきゃと、ある種の強迫観念に駆られていました。「友達と会うとやる気がなくなるから」と近くにたくさんの予備校があったにもかかわらず、地元の友達のいないすごく遠い予備校に通うことにしたり、「現役生との違い」にこだわり過ぎたあまり、受験に関係ない講座を受けたりとか、スティックをこじらせてかなりゆがんだ感じになっていたような気がします。

そのゆがみの中で履修した講座の一つに小論文講座がありました。友達には「受験に使わんのによよう続けるなあ。カラオケで待ってるで」（スティックは夏には挫折していた）とかいわれていましたが、半ば意地になって講座に出続けていました。

そんな小論文に出番が来るから分からないものです。志望校の後期の試験内容は、まさかの小論文のみ。「神様は最後にこんなドラマ残してた!」と私は飛び上がらんばかりに喜びました。そして受験日まで、ますます筆を磨き続けたのです。

私は万全の状態、受験当日を迎えました。体調も良く自信に満ち溢れていました。しかし、いざ、試験開始となり、問題文を読んだ私は目を疑いました。

「課題図書 A の 85 ~ 100 ページの内容で、〇〇がとった行動の理由を論じなさい」

……え？ 課題図書？

確かに、いわれてみれば試験会場近くの風景に違和感があったことは認めます。電車のホームでもバスの中でもみんな同じ本を読んでいました。しかし村上春樹の新作発売日だったら、そういうことだってあるかもしれませ

ん。自分の中で数秒間、何かが崩れ落ちる音がリアルに聞こえました。しかし、私は決意を固めました。

……OK、分かった

私は、敗色濃厚の中、戦地に赴く兵士のような気持ちで鉛筆を取り、猛然と書き始めました。私の人生の中で最も想像力と創作力を発揮した時間でした。そして原稿用紙いっぱいまで登場人物の細やかな心情を織り込んだ論文を書き上げました。

この期に及んでまだ奇跡を信じていた私に非常にあっさりとした不合格通知が来たのは約 1 週間後のことでした。その当時は、あまりの情けなさに「おまえなんて消えてなくなってしまう」と自分に心の中で叫んでいましたが、今から思うと、この 1 年があったから文章を書くことに抵抗感がなくなり、今につながっているように思います。ちなみに、この一部始終は当時必死で慰めてくれた両親には申し訳なさ過ぎて話せていません。いつか「今につながっているよ」ということで、話せる日が来たらいいなあと思う今日この頃です。

(EM インダストリー事業部 編集部：三島一孝)

No.612

Facebookで横行するなりすましの対策／昼のついでに昭和を見る

2013年7月11日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 昼のついでに昭和を見る

先日、往訪先から帰社する途中、乗り換えついでに新橋駅前ビル 2 階の稲庭うどん店で昼食を取る機会がありました。新橋駅前ビルは 1 階の文房具屋と喫茶ボンヌフくらいしか利用したことがないのですが、稲庭うどんが食べたい一心で、生まれて初めてビルの上階に上ったのです。いつもはあまり気にならないのですが、地下階から 2 階までをじっくり眺めながら上ったこともあり、あらためてビル全体からにじみ出る昭和感に興奮した次第です。昭和ブームからはかなりの周回遅れになりますが、せっかくなので、新橋駅前について検索エンジンさんに聞いてみました。

関東近郊にいらっしゃる読者の方はお分かりになるかと思いますが、新橋周辺には、駅を挟み込む形で「ニュー新橋ビル」「新橋駅前ビル（1 号館・2 号館）」が建っています。特に、新橋駅前ビルは駅地下コンコースと地続きになっており、乗り換えの途中からでもビル地下 1 階の様子がうかがえます。

電車の乗り換えで慌ただしく移動するビジネスマンの列の向こう、ガラス製の古いビル入りロドアの先に、赤ちょうちんを下げた居酒屋や立ち食いソバ屋などがミッチリと連なっており、ビルの中に歓楽街が出来上がっています。普通であれば、路地裏でひっそりとひしめき合っているような庶民派のお店が、ビルの中、しかも地下街に連なっている様子は非常に不思議なものです。最近の都心のオフィスビルでは地下街があるのは当たり前かもしれませんが、整備され、あらかじめ計画的に配置されているテナントとして行儀が良い格好の最近の地下街とは全く異質の空気を持っています。

実は、この新橋駅前に並ぶ三つのビル、闇市のあった土地を再開発してできたものなのだそうです。

ニュー新橋ビル、新橋駅前ビルは昭和 40 年代、新橋駅前再開発計画とともに建設が始まります。それまで物資難の都民の生活を支えてきた闇市は、このときに立ち退きを迫られました。闇市を完全に排除して近代都市の駅前にふさわしいビルを建築する——それが再開発計画の骨子です。

とはいえ、今までそこで生計を立てていた人々の収入源を奪う計画なわけですから、簡単にはいかなかったようです。ビル建築時には、立ち退き問題の折衷案として、既存の店舗をビルの中に抱え込み、営業権を認めるという形が取られます。地下街から地上階までにさまざまな店舗が「軒を連ねる」形で入りこんだのです。闇市がビルの中で再生したわけです。

ビルの中で軒を連ねる、とはいささか不思議な言葉ですが、現在でも新橋駅前ビル地下の一部では、独立した店舗のような外観のお店がいくつか残っています。平成になって久しい現在、戦後すぐの面影を残す路地裏的な光景を、ビルの中で見られる貴重な場所になっています。

闇市というと、「不法な」イメージがありますが、混乱期のことであり、また、実質的に庶民の生活を下支えとして機能していた事実から、当時の社会を構成する要素としてある程度認められていたものです。闇市の話は、あくまでもビル建築当時のことであり、現在、テナントとして入居している店舗の多くは、それ以降に合法的に入居しています。また、闇市を取り込んだビルとしては、ニュー新橋ビルの建築が先行しています。念のため。

ということで、付け焼刃の豆知識に終始してしまいましたが、皆さんも移動ついでに昭和の日本人の空気を楽しんでみてはいかがでしょうか？

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部 : 原田美穂)

## No.613

### 日本で初めてのネット選挙 / シマウマと私

2013年7月18日

## [コラム] 営業統括部員のつぶやき シマウマと私

皆さんはシマウマを贈られたご経験があるだろうか。想定で物事を語り、さらに決めつけるのはよろしくないことだが、私は多くの方がそういった経験は「ない」と答えると確信している。

私は今年の4月にアイティメディア株式会社に働く場所を移し、ちょうど3カ月ほどが経過した。その際、以前の職場の後輩に送別会を開いてもらったのだが、その場で彼らが私に贈ってくれたのが他にもないシマウマだったのだ。そのシマウマは体長1メートルほどの置き物で、得もいわれぬ存在感を放っていた。

当然私の頭には「なぜシマウマなんだ」という疑問が湧き、素直に後輩に問うた。彼らの答えは「先輩に傷を残したかった、こんなものもらったら困るだろうし、焦ると思った」とのことだった。

その後、終電で大混雑する中、私はシマウマを抱きかかえて帰った。山手線で遠くの方から「うわシマウマだ」と言われたことは今でも覚えている。家に着くと嫁に「酔っ払ってそんなもの持ち帰ってくるとは何事だ」と濡れ衣を着せられたりもした。

この時点で後輩の「先輩に傷を残したかった」という目的はほぼ成就しており、彼らの目的達成力の高さを痛感した。

しかし、1週間もするとわが家のリビングに不思議とシマウマはなじんだ。目くじらを立てて憤怒した嫁もシマウマを撫でるようになった。今では愛着すら湧いている。よく見ると優しい目をしている。

転職してきた人間というのは受け入れる側からすると、なかなかなじみづらい存在で、打ち解けるまで時間を必要とする相手といえるかもしれない。

私も転職してまだまだ3カ月。これからも努力をして社内の人間にもお客さまにも受け入れてもらうために頑張らねばならない。そして、それは簡単ではないかもしれない。

しかし、私は頑張ろうと思う。シマウマですら、なじむのだから。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 : 丸山幸太郎)

No.614

Chefを改めて勉強しよう / 頭の体操で暑さを忘れる

2013年7月25日

## 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 頭の体操で暑さを忘れる

毎日、暑い日々が続きます。連日のようにテレビのニュースでは猛暑について報道され、熱中症への注意が促されています。わが家がある江ノ島近辺から都内へと通勤してくると、気温の違いにびっくりするほど都内がヒートアイランド化しているのを肌で感じます。

最近、天気についてもう一つ驚いているのが天気予報です。まだ外れる日はあるものの、細分化した地域の予報を出したり、雲の動きや気温の変化などについてうまく予報を出したりすることがあります。テレビの天気予報では気象予報士が天気について解説しますが、今ではコンピューターによる予報が主流のようです。

ここで、私が学生だったときのある教授の言葉を思い出しました。

私が学生だったのは 1980 年代後半。コンピューターによるシミュレーションが専門だったその教授は、「コンピューターの演算性能が向上して、TFLOPS（テラフロップス）の性能が出るようになれば、天気を完全に予報できる」とっていました。その当時最速のスーパーコンピュータ「Cray-2」の演算性能は GFLOPS（ギガフロップス）のオーダーだったと記憶していますので、1000 倍高速化すれば天気が完全に予測できるはずだったこととなります。

ちなみに、そのころのパソコン用プロセッサの動作周波数は 10MHz 程度でしたので、演算性能は MFLOPS（メガフロップス）のオーダーでした。

半導体技術の進歩はめざましく、それからわずか 30 年弱で、TFLOPS のさらに 1 万倍にまで演算性能は向上しました。スーパーコンピュータ「京」の演算性能は、10PFLOPS（ペタフロップス）です。残念ながら天気を「完全に予報」するには、まだ至っていないようですが、プロセッサの演算性能の向上は、私たちにさまざまな恩恵を与えています。

例えば、スマートフォンに使われているプロセッサでも GFLOPS が当たり前。パソコン用のプロセッサは 100GFLOPS オーダーになり、TFLOPS の性能を発揮する GPU もあります。

ここでは浮動小数点演算性能を引き合いに出しましたが、同様に整数演算性能も向上しています。そのため、

当時と違いアセンブリ言語を使って 1 クロック単位でカリカリにチューニングするような作業よりも、高級言語を使って読みやすく保守性が高いコードが求められることが多いようです。とはいうものの、プログラミングを趣味としていた私としては、より速い、あるいは、より小さいコードを書くのに知恵を絞る方が楽しいと思うのですが、皆さんはいかがでしょう。

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部 : 山口哲弘)

## No.615

秋はコミュニティ系イベントが集結！/ジュエリーショップのお姉さんに、本気で恋した話  
2013年8月1日

【コラム】@IT編集部員のつぶやき

# ジュエリーショップのお姉さんに、 本気で恋した話

もう10年近くも前のことです。わたしは恋をしていました。その人に会いにいけそうな日には、服選びにもお化粧にも気合いが入り、朝から胸が高鳴るほどでした。その日の仕事が終わると、しっかりお化粧を直し、息を整え、意を決して向かったものです。

その人とは、たまに通っていたジュエリーショップのお姉さんでした。そのお店の品物は当時のわたしがしょっちゅう買えるような値段ではなく、お店に遊びにいった、あれこれ見せてもらうだけのことも少なくありませんでした。にもかかわらず、いつ立ち寄っても彼女は控えめな笑顔で感じ良く迎えてくれ、いろいろと品物を見せてくれ、詳しく説明してくれました。

わたしは彼女の、品物を扱う手つきの繊細さ、説明の熱心さに、いつも魅了されていました。そこにはジュエリーへの愛、ジュエリーを売るという仕事への愛があふれているように感じられました。

そして、彼女が真剣に向き合うのは、自分のお店の商品だけではありませんでした。ある日わたしがしていたネックレスを見て、彼女はこういってくれました。「その蝶のネックレス、すてきですね。マットとポリッシュのバランスがとても良くて……。本当にきれいです」。そのときの彼女の真剣な眼差しに触れた瞬間、わたしは恋に落ちたのです。

何年か通ううちに、彼女とたまに雑談をするようになりました。好きな食べ物、旅行してみたい国の話などなど……。あるとき彼女が「勉強してるんです」といって、こっそり見せてくれたのは、たくさん書き込みがされ、付せんが張ってある宝石図鑑でした。仕事熱心だな、本当にジュエリーを愛しているんだなということがひしひしと伝わってきました。

その後彼女は、あまりフロアには出なくなり、お店に行っても会えないことが多くなりました。それと同時にわたしもジュエリーを買う機会がなくなり、そのお店にもほとんど行かなくなってしまいました。

会うことがなくなった今でも、時折彼女のことを思い出します。感じの良い控えめな笑顔、わたしのネックレス



を少し首をかしげてじっと見ていた様子、いつも真剣にジュエリーと仕事に向き合っていた様子を。そして自分に問いかけるのです。この仕事を、真剣に愛していますか? と。

そして彼女のように、いつも真剣に取り組んでいれば、すてきな出会いがあったり新しい道が開けたりするかななどと、ぼんやり考えてみたりするのです。

(IT インダストリー事業部 @ IT 統括部 : 長谷川玲奈)

## No.616

### 激務な夏休みシーズンに、ふと想う上司の存在 / 忙しいときこそ使いたいもの

2013年8月8日

## [コラム] TechTarget 編集部員のつぶやき 忙しいときこそ使いたいもの

2 年ほど前、『マネジメント信仰が会社を滅ぼす』という本の書評記事を書きました。収益向上というゴールを求めるあまり、どうすればもうかるのか、自分の頭で考えることなく、手法や理論に逃げてしまいがちな傾向に警鐘を鳴らした作品です。「もしドラ」をはじめ、あらゆるビジネス書、ノウハウ本が売れていた中であって、理論やノウハウに左右されることなく、「自分の頭で自分のビジネスを考えよう」といった著者のメッセージを、ある種、心地よく感じたのを覚えています。

とはいえ、実践するとなると「自分の頭で考える」のは結構難しいものです。例えば仕事でも、過去に他の誰かが作った資料などをベースに新しいことを考えることが多いですし、プライベートでも、昼食を何にするか、どこに遊びに行くか、何をして過ごすか、何を買うかなど、そこには必ず他人の思惑が入っていて、あまり自分の頭では考えていないような気がします。

ここで「俺には自分がないのか」と言ってしまうと話が重くなるのですが、ときどきよくよく見返してみると、譲れないもの、譲れない要素が、自分の仕事やプライベートに散見されてホッとすることがあります。誰にどうこう言われたわけではなく、確かに自分の頭を使って、自分から楽しんでいた痕跡を見つけることができホッとするのは、結局、自分の頭で考えるというのは、こだわりや直感を大切にして、自分の時間を主体的に楽しむということなのかもしれません。実際、どんなことでも他人事にしてしまった瞬間、それは単なる義務や作業になり、世界は何だか灰色になってしまいます。

ずっと前に取材したことがある、あるジャズサクソ奏者は「良い演奏を真似するだけではなく、自分なりの解釈を入れる。もっと音楽を楽しめ。それが良い演奏のコツだ」と教えてくれました。自分の頭で考えないことには確かに「楽」「効率的」という利点もあります。しかし、どんなことでも、忙しいときでも、あえて自分のこだわりを意識的に試してみることが、結局は自分を楽しませ、自分を救うことになるのかもしれないなぁなどと、暑さや忙しさに流されがちな最近、あらためて強く感じています。

(IT インダストリー事業部 TechTarget 編集部 : 内野宏信)

No.617

「バグ発見」を英語で伝えてみよう / あーあーあああああ～暑い!

2013年8月22日

[コラム] @IT 編集部員のつぶやき

あーあーあああああ～暑い!

先日、1歳半の娘と嫁と北海道に旅行してきました。暑い東京から逃避し涼みにいくためです。初めての飛行機に娘がグズらないか心配でしたが、海外旅行に比べ比較的短い飛行時間なものもあり、何とか周囲に迷惑を掛けずに旭川空港に降り立ちました。

私も初の北海道でしたが着いてみたら、ああ暑い! 現地の人によると、「ここ数年はとても暑くて、農作物が良く育ち東北に負けないくらいおいしいお米が収穫できるようになった。でもさすがに、ここ数日は暑過ぎる。今日は息子が初めて部活を休んだ」とのこと。旭山動物園の動物たちも、半分ぐらいいぐったりしていました。

とはいえ、さすが話題の動物園。動物たちをいろいろな角度から見られるように導線が張り巡らされたり、かなり接近して見られるように設計されていたり、ところどころに仕掛けられた小窓を開けると、お楽しみコンテンツがあったり、餌付けショーがあったり、と来場者を飽きさせません。これぞ「優れたユーザーエクスペリエンス」なのかなと。また、比較的涼しいところで動物が見られるようになっている施設が多いのも助かりました。

動物園以外は、美瑛 / 富良野ののどかな大自然をレンタカーでドライブしてのんびり過ごしました。降りても長時間は外にいられないぐらいの猛暑でしたが、いろいろな観光名所をちょこちょこ回るには、ちょうど良かったかもしれません。もちろん車内では、さだまさし氏のあの歌を家族で大合唱!

私は、名作『北の国から』には興味がなく、ドラマゆかりの地には一つも行かなかったのですが、壮大な丘のパノラマや名所の木々、ラベンダーを含む色とりどりの花園などを見ているうちに、五郎さん一家が若干うらやましくも思えました。OS X 10.8 の壁紙として採用された日本人写真家の作品の撮影対象になった「青い池」も、かなり神秘的でした。何より現地のトウモロコシ、ジャガイモ、アスパラガス、メロン、トマト、牛乳、ジンギスカンが旨い! 温泉もある!

美瑛は過疎化が進んでいるらしく移住を支援しているので、移住もアリなのかもしれませんね。スマホの電波もほとんど問題ありませんでした。でも、冬の寒さや豪雪に耐えられるのかといたら、かなり迷うところですが……。

(IT インダストリー事業部 @ IT 編集部 : 平田修)

## No.618

### 海でじゃばじゃば／きんきんにとんとんにしたいのですが

2013年8月29日

## 【コラム】営業統括部員のつぶやき きんきんにとんとんにしたいのですが、

6月よりアイティメディアに入社しました営業部の今村です。早いもので、間もなく入社から3カ月が経とうとしています。だいぶ慣れてきましたが、まだまだ覚えないといけなくも多く、バタバタしています。

私にとっては今回で3回目の転職で、アイティメディアは4つ目の就職先になります。IT業界、特に外資系においては珍しくないことですが、転職は何回経験しても、なかなか慣れるものではありません。

特に異業種から転職している私は、今まで常識だったものが非常識になったり、逆に非常識だとされたことが、常識になったりして戸惑うことが多々あります。

中でも、業界によって使う言葉（業界用語?）には特に戸惑います。IT業界には「ERP」「MDM」といった3文字ワードが多く分かりにくいですが、Web広告の世界でも「グロス」「タイアップ」「CTR」などがありまして、最初は何のことかさっぱりでした。営業先の会話で業界用語が出てくると、お客さま聞くわけにもいかないので、知ったふりして帰って調べるといふことの繰り返しでした。

また、こうした業界特有の用語だけではなく、言葉使いには気を使っているつもり（営業という職業柄）ですが、「よく考えると本当に正しいのか?」と疑問に思う分かりにくい言葉を日常的に使っていることに気づきます。下にいくつか例を挙げてみます。

「なるほどですね」

「なる早」

「担当者レベル」

「カツカツ」

「いまいま」

「きんきん（近々）」

「無理無理」

「コミコミ」

「なるほどですね。きんきんにとんとんにしたいのですが、カツカツだというのがいまいまの状態です、コミコミだから無理無理やるしかないかと…… 担当者レベルでなる早で対応します」

もはや、意味が分かりませんね。

ここまで、ひどい使い方をすることはないとは思いますが、皆さんも多少の心当たりはあるのではないのでしょうか。

会話を円滑にするためには、ある程度は許容されることだとは思いますが、違和感なく使ってしまうことに怖さを感じることもあります。皆さんはどう思われますか？

(IT インダストリー事業部 営業統括部：今村友彦)

No.619

医療とIT / ダイエットブーム到来

2013年9月5日

## [コラム] @IT 自分戦略研究所新担当のつぶやき ダイエットブーム到来

弊社では最近、ダイエットがブームです。

ただ痩せるだけではつまらないので、ちょっとしたゲームのようなことも行っています。方法は簡単。A4 の紙に「●● (氏名) の野望」、その下にダイエットの期限と目標数値を書きます。「2013 年 9 月 15 日までに、72 キログラムまで痩せます」というように。しかるのち、その紙を私のデスクの前に張ります。

ダイエットに成功すると、私に好きな肉料理をオゴってもらえる。失敗すると、逆に私にオゴらなければいけない、というのがルールです。どんな肉料理にするかも A4 用紙に記入します (餃子、ステーキ、カツ丼、ローストビーフなど)。

それに対して、私は何をすることもありません。ダイエット者たちに「がんばってねー」と声をかけたり、Twitter のアカウント名を「●●デラックス」にするように強要したり、「●●74 キロさん」と現在の体重を追加して名前を呼んだりするだけです。

おのおのが決めた目標に向かって、おのおのが努力する。そのさまを私は黙って見ているだけ。まあ、なんつーか、神のまなざしというやつです。でも負けたらおごんなきゃなんない。しかも先方指定の肉料理を。

こんなに私に不利な賭けなのに、現在までのところ 8 勝 2 敗という結果になっています。8 オゴられ 2 オゴりです。そして問題なのは、私自身はダイエットに参加していないということ。にもかかわらず、連日の肉料理三昧。皆さんが目標達成に失敗してくれたおかげで、大幅出費は回避できましたが、体重の大幅増量は避けられないかもしれません。さー困った、やーれ困った (実はあまり困っていない。肉好きなので)。

あ、そーだ。申し遅れました。私、姓を鈴木、名は麻紀と申します。社内の別メディアを転々とし、このたび 6 年半ぶりに @ IT に帰ってまいりました。好物はビールとお肉です。以後、お見知りおきを。

(@ IT 統括部 @ IT 自分戦略研究所 : 鈴木麻紀)

No.620

結婚30周年記念日／プレゼンテーションの本質

2013年9月12日

## [コラム]リード研究所所員のつぶやき プレゼンテーションの本質

営業での商談や社内会議など、「誰かの前で話をする、プレゼンテーションをする」という機会は、社会人であれば少なからず訪れると思います。社会人7年目になる私も、得意ではないにせよ、そのような場をこなしてきました。

しかし、先日体験したのは、「勉強会の講師として話をする」ということです。これは、なかなか新鮮な体験でした。

しゃべりが流暢ではない分、まず考えたのは、内容とプレゼンピッチをいかに作り込めるかということです。来場者の知りたい情報を、いかに分かりやすくまとめることができるか、そして、視覚的にも理解しやすく伝えることができるかを考え、準備を進めてきました。

その甲斐もあり、初めてにしては、ある程度まとまった内容で、時間通りに淡々とこなせたのではないかと思います。

しかし、やはりプレゼンテーションの本質はスピーキング力だと、当日話をしている途中から感じていました。話の抑揚やジェスチャー、目線やマイクの位置など、気になり始めるときりがありません。こればかりは、練習、実践、練習、実践……と、繰り返さないと上達はしないのだろうと痛感しています。

見事に開催地を勝ち取った、2020年の東京オリンピックの勝因の1つも、最終プレゼンテーションだったといわれています。五輪招致コンサルタントの下、直前まで練習を繰り返していた努力があったからこそ、あの素晴らしいプレゼンテーションが生まれたのでしょう。

私の体験と比べるのもおこがましい限りですが、また同じような機会があれば、少しでも近づけるよう努力したいと思います。

(IT インダストリー事業部 ターゲティングメディア統括部：島津圭輔)

No.621

環境依存文字こわい / 東京オリンピック2020の観戦術

2013年9月19日

## [コラム]リード研究所所員のつぶやき 東京オリンピック2020の観戦術

先日、2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決まりました。1964年以来56年ぶりとなる東京での五輪開催となります。

せっかく地元での開催。個人的にはバレーボールや水泳競技を見てみたいのですが、チケットは抽選になるでしょうから当選しなければ観戦はできません。では、どうしたらオリンピックを真近で見られるのでしょうか。

マラソンやカヌーなどの野外競技ならチケットがなくても道端観戦できるかもしれませんが、チラッと見える程度のことでしょう。あるいは、ボランティアなどで競技の運営に携わるという方法もあるかもしれませんが、仕事ですから観戦するには少し無理があるかもしれません。

だったら、子供や甥っ子、姪っ子をけしかけてオリンピックに出場するよう説得したらどうでしょうか。家族ということで真近に観戦させてもらえるのではないのでしょうか。

ということで、これから出場できそうな競技を調べてみました。6年生の息子の場合は、7年後に18才になるので、18才前後の男子が活躍できそうな競技で日本人の競技人口が少なく、ロンドン五輪で男子の出場実績がある競技をざっと調べてみると、フェンシング、レスリング、ボクシング、飛び込み……。うーん、18才の根性なしには厳しそうです。

では、道具や場所に恵まれていれば十分チャンスがありそうな競技としては、射撃、アーチェリー、カヌー、ボート、セーリング……。

チケットを買って観戦するのが良さそうです。

(IT インダストリー事業部 ターゲティングメディア統括部 : 山本卓)



## No.622

### おばかを制すものはマッシュアップを制す / ちょっと脱いでもイイですか？

2013年9月26日

## [コラム] 営業統括部員のつぶやき ちょっと脱いでもイイですか？

30 歳前後の未婚女性は、迷っています。

まわりの友人たちが結婚、出産していくなか、「キャリア」と「結婚」という大きな 2 つのキーワードを目の前に、「次の一手」に迷い、考えあぐねます。迷う女性が行う行動はさまざまで、英語の勉強を始めたり、婚活パーティに参加したり、旅に出たり……。

そう、この夏私も迷っていました。だからこそ「ちょっとサンバやらない？」というひと言に、ふらふら付いていってしまったのです。

浅草サンバカーニバル。「サンバ」と聞くと、にぎやかな音楽に露出度の高いセクシーな衣装で踊るお祭りを想像する人は多いでしょうが、浅草サンバカーニバルは、祭りとはいえ実はコンテスト。優勝チームには栄光と賞金が与えられるため、参加しているチームは全員「優勝」を狙ってパフォーマンスを行うのです。

年上の友人（30 代未婚のサンバダンサー）の誘いに何の気なしに付いていったが最後、始まったのは猛特訓の日々でした。偶然にも私が入ったチームは例年優勝狙いをする強豪チームらしく、練習がとにかく厳しい。

本気度が高い人が多く、もしかすると仕事よりも熱が入っているかもしれません。「笑顔が足りない、笑え!」「歌え!」「もっとかわいく!」……と職場では絶対注意されないような内容の怒号が飛び、必死で笑顔をつくり、かわいく（と信じて）踊ります。

最初は着けるだけで恥ずかしかったサンバの衣装も「世界一美しいと思って着なさい!あなたすごくキレイよ」なんて言われ続けると、なんだか魔法にかかったみたい。

……ちょっとぐらい肌が露出していても気になりません。

そんな練習の日々を 3 カ月ほど重ね、ついに迎えた浅草サンバカーニバル当日。学生のように泣き笑いして練習してきたメンバーとの結束力は、最高潮に高まります。炎天下の下でのスタートからゴールまでは一瞬、当社比 250%ぐらいの最高の笑顔で無我夢中で踊ったことだけ覚えています。

結局、私の入ったチームは優勝を逃してしまったのですが、見に来てくれていた友人が撮影した写真を見ながら、「ああ、すごい露出しているなあ……」と冷静に感傷にひたりました。

そう。30 歳前後の未婚女子は、迷ってます。迷うと、とんでもない行動を起こす人も、きっと中にはいるのでしょう。

ちなみに、サンバのチームのメンバーには、40 代のお姉さま方が多くいらっしゃいました。常に堂々としていて、「笑いなさい!」「可愛いステキ、ビューティホー」と繰り返してくれました。そうか。40 代にもなると、迷いから覚めて「悟り」に入るのかもしれませんが（40 代のお姉さま、すみませんでした!）。

教訓：

- 好きなことなら本気で頑張れる
- あと 10 年で悟りが開ける
- 仕事と結婚のほかに「サンバ」という選択肢が増えた

(ビジネス・コンシューマー事業部 営業統括部：豊田 昌代)

## No.623

### 芸術の秋、何しよう？／過ぎるを控えてゆっくり過ごす

2013年10月3日

## [コラム]エンタープライズIT統括部員のつぶやき 過ぎるを控えてゆっくり過ごす

暑い暑いと思っていたら 10 月に入って急にひんやりしてきました。昨日の夜は寒いなと感じたら 19 度でした。

どんなに夏が暑くても日本には秋が来て冬、春と季節が巡ります。夏の終わりの物悲しさもこの季節にしか感じられない、独特のものです。先日ももらったお菓子は稲穂、銀杏、栗など季節の風物がかたどられており、こんなところから季節が感じられるのもいいものです。シンガポールに移住した友人が日々の出来事を、季節と結び付けられなくなったことが寂しいと言っていました。

こんな季節の変わり目には体調を崩しやすいものです。社内でもぐずぐずしている人が多いので、皆さんも気を付けてください。

私は習っているマクロビオテックの影響もあり、薬で治すというよりは食事に気を付けるようにしています。免疫機能が低下すると風邪を引きやすくなるので、免疫力を増強するナガネギ、タマネギ、ニラはお勧めです。気管支の炎症に効果的なのはレンコン、昆布。代謝を促進し、排泄力を高める玄米は食事の基本で、保温作用がある赤みそ、そばは寒さを感じ始めるこの時期には効果的です。

風邪なんて大したことないと思いがちですが、やはり体が弱っているときに発症します。「風邪は万病の元」と言うとおり、体のことを考るというサインでもあります。こんなときは食べ過ぎ、飲み過ぎ、働き過ぎを控え、家でゆっくり読書などいかがでしょうか。今週末は気が置けない友人たちと家でお鍋などいいかもしれません。くれぐれも飲み過ぎ注意です。

(IT インダストリー事業部 エンタープライズ IT 統括部：福盛田結花)

## No.624

### ITエンジニアが好きな井といえは? / ご存じですか? 2045年問題

2013年10月10日

## [コラム]元@ITスタッフのつぶやき ご存じですか? 2045年問題

20世紀末に「2000年問題」がありました。今度は「2045年問題」です。@IT読者の皆さんの中には、既知の方も多いかもかもしれません。恥ずかしながら、私はつい最近あるITベンダ経営者の方に教えていただきました。

「2045年問題」とは、2045年にコンピュータが全人類（想定100億人）の知能を超え、それ以降の歴史の進歩を予測できなくなるという説です。それ以降の未来は人類ではなくコンピュータが創っていくかもしれないということです。この時点を「技術的特異点」といいます。NASAでは2008年に「特異点大学」を設立して研究を始めており、米国政府やグーグルなどがバックアップしているそうです。

皆さんにはおなじみの「ムーアの法則」に従えば、確かに絵空事ではなく、30年後には人類100億人の知能の総和よりも、コンピュータの方が演算処理能力は高くなるでしょう。しかし問題は、人間のような知能を持ち得るかどうかです。このテーマについても欧米では巨費を投じて着々と研究を進めています。「人工知能を制する者、世界を制す」という時代を予見しているのでしょうか。

- 米国「SyNAPSE（シナプス）計画」（IBM、国防高等研究計画庁）
- ヨーロッパ「ヒューマン・ブレイン・プロジェクト」（EU、予算1560億円!）

2045年以降の世界については、映画「マトリックス」「ターミネーター」のようだと、いろいろと想像されていますが、皆さんの多くはご存命でしょう（そう願います）、20～30歳代の方はまだ現役で働いていることでしょう。私は、その時77歳なので、生死ぎりぎりでしょうかねえ。

いずれにせよ、2045年問題はITの進化が起点になるわけで、ITエキスパートである皆さんは2045年問題に向かう潮流に関与するのだと思います。というか、いまも関与しているわけですね。皆さんのいま、この瞬間携わっている業務の延長線上に未来があるのだと思います。

そして「@IT」も技術情報の提供という立場で、2045年問題に向かう潮流に貢献できればなと思っています。決して「スカイネット」が支配するような悲観的な未来ではなく、明るい地球の未来のために。

(ITインダストリー事業部:小林 教至)

No.625

ChefやVagrantでクラウドを使いこなせ/  
EDMやAORは長いから略す意味あるがNRGはどうなんだ

2013年10月17日

【コラム】SM事業推進部員のつぶやき

# EDMやAORは長いから 略す意味あるがNRGはどうなんだ

綿貫と申します。社内ではスマートフォン関連の全てや、ITmedia News スマートで音楽や萌え系記事を担当しております。さて、この業界にいと、やれ「RTB」だの「SSP」だの「DMP」だのとアルファベット 3・4 文字の略語が飛び交っていて、口にするだけで専門家になった気分に味わえます。正直、意味が分からないことも多く、分かったふりをして Google 先生に聞くこともしばしばです。「BYOD」なんてほかの言い方があったんじゃないでしょうか。

こういった傾向は音楽ジャンルでも顕著です。ここ最近では「EDM」というジャンルが流行しているようで、もともとは電子音楽全体を指していた言葉が、一部のパーティピーポー向けブチアゲダンスミュージックのくくりとして使われるようになりました。

挙げればキリがありません。70 年代から流行した「AOR」からはじまり、もう少し広く「MOR」なんてカテゴリも。ユーロビートの元にもなった「NRG」(Hi-NRG / Nu-NRG) や、コアなファン層を持つ「DnB」、特段踊らせる音楽でもないのに「IDM」という矛盾したジャンルも存在します。ブラジルでは自国のポップミュージックを「MPB」なんて呼ぶこともあるそう。そもそも「BGM」という言葉からして省略されています。

なんでもかんでも略してしまうのは楽ちんで少しかっこ良さげなことだと思いますが、ときに分かりづらく、排他的な雰囲気すら醸しだします。「ググレ」の一言で済ませず、さまざまなものに関して初めて耳にする相手にもきちんと伝わるように名付ける、説明するというのも、この時代には大事ということをも身をもって感じております。

@ IT に出現する用語たちも、もう少し分かりやすくなればいいのに、と思う今日このごろです。

EDM = エレクトロニックダンスミュージック

AOR = オーディオオリエンテッドロックなど諸説あり

MOR = ミドルオブザロード

NRG = エナジー

DnB = ドラムンベース

IDM = インテリジェントダンスミュージック

MPB = ムジカポブラールブラジレイラ

(スマートメディア事業推進部: 綿貫 竜太)

No.626

VMwareと戦略的IT改革 / 最近の #地方あるある は、まとめられがち

2013年10月24日

## [コラム] 技術開発統括部員のつぶやき 最近の #地方あるある は、 まとめられがち

最近、NAVERまとめや Togetter などのキュレーションサイトでは、“地方あるある” がまとめられていて、他の地域出身の方々の生活や風習、独特の文化を知るのが、とても便利になりましたね。

私は生まれてから就職するまで千葉県千葉市（県庁所在地）に住んでいて、当然幼稚園、小学校、中学校そして高校、大学とすべて千葉県内で完結していました。そんな純正千葉県民の私ですが、千葉市に住んでいるため「方言なんかあるわけがない」「文化も風習もほとんど東京と一緒にだろ」なんて思い込んでいました。

そんなとき、NAVERまとめの「千葉県あるある」まとめを読んでもみると次々と恐るべき事実(?) が判明したのです。

例えば、小中学校の出席番号が誕生日順になっているのは、千葉県以外ではあまりないということでした。

「出席番号は、早く生まれた人が一番先頭になるのが当たり前」な世界で生きていたため、友人の誕生日は出席番号から大体推測できたのです。他県民の方々は、どうやって友人の誕生日を覚えていたんでしょうか。不思議です。

一番驚いたのは、千葉県以外（一部地域を除く）では小学校の2時間目と3時間目の間にある休み時間を「業間休み」とは呼ばないということです。「業間休みは、鬼ごっこで、昼休みはドッチボールな!」なんていう約束を小学生の頃したのは、とても良い思い出（嘘）。そんな業間休みを業間休みとは呼ばず、他の県では「中休み」とかなんとか……。

他には、青あざのことを「あおなじみ」というのも千葉県の言葉だとか。「膝をぶつけたから『あおなじみ』ができた」なんてよく言いますが、他県の人には「おい、こいつは一体何を言っているんだ?」「青が馴染んできているのか。化粧の話か?」なんて思われていたのかもしれない。

今は、他の県の文化を、まとめ記事や Wikipedia など簡単に調べることができるので、ぜひご自身の出身地のことを調べてみてはいかがでしょうか。常識だと思っていたことは実は、他の県ではやっていないなど、知ると面白いかもしれません。秋の夜長ですしね。

（技術開発統括部：和田 良太）

## No.627

気になるっ！ 調査結果いろいろ / 先日、応用情報技術者試験を受けてきました。

2013年10月31日

# [コラム] 技術開発統括部員のつぶやき 先日、応用情報技術者試験を受けてきました。

応用情報技術者試験は情報処理技術者試験の 1 つで「高度 IT 人材となるために必要な応用的知識・技能をもち、高度 IT 人材としての方向性を確立した者」を対象とする資格試験です。試験は午前 150 分と午後 150 分に分かれていて、午前はマークシートの 4 択問題が 80 問、午後は記述式の問題を 12 問から 6 問選択する形式です。出題範囲は基礎理論やコンピュータシステムから経営戦略や法務に関することまで、とかなり広範囲です。

ともかくにも試験を受けるのは十数年ぶりです。学生時代は前日に一夜漬けでなんとか乗り切ってきましたが、あれからだいぶ年月が経ちました。あらかじめコツコツと勉強し、余裕を持って試験を受けたいと思っていました。

ところが試験が近づくに連れて仕事が忙しくなり、勉強する時間がとれないまま試験前日となりました。前日にもかかわらず、問題集の半分程度しか消化していない状態です。取りあえず、できるだけ問題集に目を通し、もう諦めて寝ることにしました。

当日、なんの勝算もありませんでしたが、試験会場に向かいます。朝は苦手な方ですが、なんとか 9 時半に間に合いました。受けないよりは受けた方が合格しそうですよね。

午前の試験が始まり、マークシートで回答していきます。問題集で見たような問題が多く、意外と解けます。が、それも半分までです。問題集は半分までしか目を通していません。残り半分は未知の問題です。経験と勘で考えるしかありません。時間ギリギリまで考えて、計算して、なんとか全部マークシートを埋めました。

午後は記述式の穴埋め問題がメインです。午前の問題集すら終わっていないのですから、午後対策は一切していません。どうにか解答欄を埋めましたが全く自信がありません。

久しぶりの試験を終えて、とても疲れしました。今回は合格できないかもしれませんが、勉強すれば合格できそうな気がします。次回（平成 26 年度春期）試験の受付は、1 月中旬開始予定だそうです。

（技術開発統括部：岡本 大介）

No.628

緑のカメレオン「Geeko」/イケてる会社の条件

2013年11月7日

## [コラム]技術開発統括部員のつぶやき イケてる会社の条件

私がアイティメディア合併前のアットマーク・アイティに入社したのは、2003年6月です。気が付くと、技術者としての腕前はともかくとして、すでに十年選手です。すべてにおいて飽きっぽい性格の割に随分と長く続いています。

そんな私ですが、趣味ではもっと長続きしているものがあります。ビリヤードです。

1986年に映画『ハスラー 2』が公開されて日本中で大ブームとなった……。そう! あのビリヤードです。週に3~4回だったり月に1~2回だったり、頻度はまちまちではありますが、20数年続いています。

「学生時代によくやった!」「懐かしい!」「キュー持ってるよ!」なんて方も数多くいらっしゃると思います。が、残念ながら私の周り(社内)には同好の士が見当たらないのです。ちなみに私の場合は会社帰りにビリヤード屋さんに寄ることが多く、そこで常連さんか店員さんで空いている方がいれば一緒に撞きますし、いなければ独りで練習しています。

もし社内に相手してくれる人がいて「帰りにちょっと行きましょうよ♪」なんて誘われたらもうシッポ振ってついていってしまうのですがね。さらに参加者が増えたら社内でプチサークル作って、定期的に練習会を開いたり試合だって出来ちゃうし。さらにさらにサークル活動が広まれば対外試合や社外の団体との交流会だって……。

妄想はとどまるどころを知りません。そして、ヒラメキました! キュインキュインキュイン!!

「会社のリフレッシュルームにビリヤード台置いちゃえばみんなやるんじゃない?」

いつの日か社長との面談があればプレゼンしてみます。「ビリヤード台置かないとイケてる会社じゃないらしいですよ~」ってね。

(技術開発統括部: 浅野 正徳)



No.629

カメラらんらんる〜♪ てろてろぺ〜♪ / カメラ好きにオススメの散歩スポット3選

2013年11月14日

## [コラム]@IT統括部員のつぶやき カメラ好きにオススメの 散歩スポット3選

突然ですが、カメラを持って散歩って楽しいですね。私はカメラが趣味で、毎週末、カメラを持って散歩することがライフワーク化しています。そこで、今まで写真を撮りに行って良かった、オススメの散歩スポットを3つ、勝手に紹介したいと思います（笑）。

### • 原宿／表参道

王道の散歩スポットですが、やはり歩いていて飽きない! 駅の近くには厳粛な雰囲気醸し出している「明治神宮」があり、土日にはロカビリーの人たちで盛り上がる「代々木公園」があります。一方、表参道の方に歩くと雰囲気が変わりオシャレなお店やカフェが多くあります。こんな別々の雰囲気が楽しめるスポットは原宿／表参道ならではのようです。

### • 神楽坂

パリのモンマルトルの街並みに似ている場所がある一方、石畳の路地が多くあったり、昔ながらの日本家屋があったりと、日本文化とフランスの文化も融合した面白い街です。後、写真を撮る身としては、坂が多いので、バリエーション豊かな写真が撮ることができて非常に楽しいスポットでもあります。

### • 王子

王子って意外に思うかもしれませんが、結構散歩に最適なスポットが満載の場所です。桜や紅葉の名所である「飛鳥山公園」があったり、「名主の滝公園」という住宅街の中に滝が流れる公園があったりします。特に、石神井川沿いに咲く桜は一度行ってみる価値があります! あと、石神井川沿いに野良猫が多く住んでおり、猫好きにとっても良いスポットです。

最近では、カメラを持って散歩することが好き過ぎて、散歩の雑誌まで買い始めてしまいました。今後も、カメラを持って散歩を繰り返し、穴場スポットを探していきたいと思います。同時に、カメラの腕も磨きたいです!

(@ IT 統括部 キャンペーンマネジメント部: 中尾 太貴)

## No.630

### インフルエンザ予防接種は本当に効くのか? / 実際に見る物と、映像や写真で見る物の違い

2013年11月21日

#### [コラム]@IT統括部員のつぶやき

# 実際に見る物と、 映像や写真で見る物の違い

最近、写真や映像技術が発達して、いろいろな現状をほぼリアルタイムに見ることができるようになりました。しかし、「写真や映像で見る物と実際に見る物では、やっぱり違う!」と、実感する出来事がありました。

それは、震災後の東北を見ておこうと思い、先日東北に行ったときの出来事です。報道などで有名になった南三陸町の防災対策庁舎。散々、映像でも写真でも見た、骨組みだけになった建物。写真や映像を見て思ったことは、「なぜ、もっと高い建物にしなかったのだろうか」ということ。

しかし、実際に目の前に立ってみると、「こんな高さまで津波が来るなんて、普通は思わない」と感じました。映像や写真と実際に目の前に立って見た印象は、こんなにも違い、自分の目で見ておく重要性を感じた瞬間でした。

震災後の東北を見学することについて、ためらいがある方も多いと思います。ですが、この出来事を風化させないために、地元の団体が語り部ツアーなどを実施しているので、ためらいのある方はツアーに参加してみてもいかがでしょうか。あのときのことを忘れないためにも……。

そして、確実に復興は進んでいます。報道では「復興は全然進んでいない」と、進んでいない地域ばかり取り上げられますが、そんなことはありません。確実に復興は進んでおり、東北の皆さんはがんばっています。しかし、手つかずのところがまだまだあるということもまた現実で、時間と費用がまだまだ掛かりそうです。

私は、今回訪問したことをきっかけに、定期的に東北を訪れ、何の役にも立てませんが、復興を見守っていきたいと思います。

(@ IT 統括部 キャンペーンマネジメント部: 柿澤 誠)

## No.631

### クラウドさんの魅力 / どうしてそんなに汚いのか

2013年11月28日

## 【コラム】@IT 統括部員のつぶやき どうしてそんなに汚いのか

どうしてそんなに汚いのか—— Windows の文字表示のことだ。今に始まったことではないが、毎日見なければならぬ画面が、こうも汚いと精神衛生上良くない。キーボードやマウスも含めて、直接身に触れて長時間使い続ける装置にはこだわりたい。そう考えるユーザーが多いのか、パソコン周辺機器売り場にはたくさんの種類のキーボードやマウスが並んでおり、好みに応じて選べる。ディスプレイもわかりだ。初期のころのカラー液晶ディスプレイと比べると、最近は品質が極めて向上した。

ところが、そこに表示される文字の品質はどうだろう。Windows 3.1 で TrueType、Windows XP で ClearType、Windows 7 で DirectWrite が導入されてはいるが、普段使っているデスクトップの文字はどれもきれいには見えない。印刷物のテキスト品質は高いのに、なぜ画面に表示するテキストの品質はこうも低いのか。小さい文字の表示にビットマップフォントが使われることが原因の一つだとはいえ、何とかならないものか。テキスト表示品質のためだけにでも、Mac に乗り換えようと何度思ったことか。そういえば、十数年ぶりにインストールした Linux (Ubuntu 13.10) のテキスト表示がきれいになっていることに驚いた。Linux のフォントレンダリングライブラリとして利用されている「FreeType」の性能が、この 10 数年の間に高められていたのだ。

先日、Windows 8.1 に関する記者説明会で、「新たに美しいフォントを導入した」との発表があった。字游工房の「游明朝体」と「游ゴシック体」の 2 書体のことだ。字游工房の Web サイトでは、サンプルのグリフ（字形）が見られる。確かにきれいなので、少し期待した。

ところが、実際に Windows 8.1 の評価版をインストールした PC の画面で、例えば Web ブラウザ（Chrome など）の表示フォントを游ゴシック体に設定しても、どうも期待したほどきれいには見えない。そういえば説明会では「高解像度できれい」と言っていたような記憶がある。低解像度（小さい文字）でもきれいにできないかと思ひ少し調べたところ、同じように感じている人々が世の中にはたくさんいらっしまったようだ。「windows フォント 汚い」のキーワードでネットを検索すると、出てくる出てくる。その中に、FreeType を使った Windows 用のフリーソフトがあった。これを早速インストールしたところ、なんと大幅に改善されたことか。フリーソフトで実現できることを、たくさんの開発者を抱えている Microsoft がなぜできないのか。日本語を使っていることが悪いのか。

DOS/V のころもそうだった。SVGA の高解像度モードを利用して画素数の多い文字を表示したり、多くの文

字数を表示したり、フォントを変更したりするドライバ（HiText あるいは V-Text）も、有志が開発したものだ。有志が開発するフリーソフトは、おそらく開発者本人が欲しいと思って作っているに違いない。私自身もそうだった。20 数年前に、大枚をはたいて購入したアウトラインフォント搭載のレーザープリンタが手元にあるのに、その機能が使えるソフトがない。ビットマップフォントで印刷されるので、せっかくのプリンタの性能を発揮できない。そこで、プリンタのページ記述言語（キヤノンの LIPS3）を出力する印刷ソフトを自作したものだ。必要だから作る——これがソフトウェアも含めて、ものづくりの基本だろう。

（@ IT 統括部：山口 哲弘）

## No.632

### 結局、DevOpsって何? / 決定!? オレのシュトーレン

2013年12月5日

# [コラム]EMインダストリー事業部部員のつぶやき 決定!? オレのシュトーレン

12月に入り、街はクリスマス仕様にシフトいたしました。アイティメディアのある青山・表参道周辺は、イルミネーションもショップのウィンドウも非常に凝ったクリスマス演出をしている所が多く、歩くだけで楽しい気分になります。

そんな12月、綺麗なイルミネーションも良いのですが、自分の関心事の1つに「クリスマス菓子」というのがあります。特に、シュトーレン（シュトレン）に目がありません。

シュトーレンは、もともとドイツのお菓子で、名前の由来は諸説ありますが、自分はイエス・キリストの“おくるみ”を模したものだという説を支持しています。日持ちも良く、ドライフルーツがたっぷり入ったパンとケーキの間のようなお菓子で、最近はいろいろなお店で売られるようになりました。

このシュトーレン、やはりお店ごとにいろいろな特色があり、この時期「どこのお店のものを買おうか」と悩むのが楽しいのですが、楽し過ぎてここ3年で気付けば20本ものシュトーレンを平らげて参りました。

この時期の手みやげにも最適なシュトーレン、その中でもおすすめをご紹介します。毎日少しずつスライスして食べながらクリスマスを待つのがドイツ流。ぜひ、お試しください!

#### ▼ Zopf (ツオッフ) / 千葉県松戸市

ラム酒に漬けたレーズン、チェリー、オレンジピール、くるみが入ったシュトーレンで、とにかく生地がおいしい!鉄板シュトーレンです。

#### ▼ アンデルセン青山 / 東京都港区

チェーンのアンデルセンの中でも旗艦店的な青山店。今年はヘーゼルナッツとチョコが入った「シュタインメッツシュトレン」があります。生地はサクッとしています。

#### ▼ タンネ / 東京都中央区

ドイツ大使館も御用達のドイツパン屋さんのシュトーレンは、バター控えめのパンっぽい風味です。初心者にも食べやすい、オーソドックス。

(EM インダストリー事業部 営業統括部: 内藤 美佳子)

## No.633

### 特設プロモページが世に溢れる理由／「Hulu」最高＼(^o^)/

2013年12月12日

## 【コラム】EMインダストリー事業部部員のつぶやき 「Hulu」最高＼(^o^)/

最初に言っておきますが、ステマではありません。今年の8月あたりからオンライン動画サービス「Hulu」をお試し→契約し、寝る前や通勤時間を利用してスマホでドラマや映画を楽しむようになりました。

“Hulu 前”の私は、映画を見るときも月1本程度。というか、映画やドラマを見たくても、レンタルに行くのも面倒だし、DVDは高いし、WOWOWは契約しているものの、見たいもの選べないし録画逃すし……。 「ならば、見ない!」という選択肢を採ることがほとんどでした。ですが“Hulu 後”の私は、隙間時間を活用して華麗に映画・ドラマを観賞! 先月は映画8本・ドラマ1シリーズを見ることに成功しました。大進歩です。

たくさん見れることももちろんですが、超憂鬱(ゆううつ)だった電車移動時間にも革命が訪れました。何か見ながら乗車することによって、「もう着いてしまう! あと10分乗っていたい!」と思えるほど楽しい時間に進化を遂げたのです。朝の通勤時間にハッピーなドラマを見た後などは、余韻で仕事もノリノリで行うことができます。主人公気分です。

念のためもう一度言いますが、ステマではありません。

でも、ちまたで言われているように「見たい映画がない!」はかなりあります。というか、「見たい映画があったらラッキー」ぐらいです。また、公開期間も限定されていたりするので、悔しい思いをすることも……。

とはいえ、「見てみたら面白かった!」という出会いを楽しむのがHuluの醍醐味(だいごみ)。隙間時間でいろんな世界を見ることができます。気になる人は、ぜひ試してみてください。おすすめですよ〜〜!

(EMインダストリー事業部 営業統括部: 與座 ひかる)

## No.634

### ボーナスの季節 / 2013年極私的ベスト20曲

2013年12月19日

# 【コラム】@IT編集部員のつぶやき 2013年極私的ベスト20曲

@ IT 編集部 平田です。去年はサボっていましたが、今年も極めて私的なベスト 20 曲を選ぶことになりました。

例年通り自分が聴いた範囲で選びましたが、これまでのように 1 曲ごとに選んだ理由などを書くのは、長いのでやめました。リストの後に簡単に触れます。「訳が分からないけど興味を持った」という人は、最近 YouTube などですぐ簡単に聞けるようになったので、調べてみてください。

1 アーティスト / グループにつき 1 曲で選曲。() 内はアーティスト名、『』内は収録アルバム / シングル名です。(敬称略、アーティスト名アルファベット・50 音順)

- 1: Judge, Jury And Executioner (Atoms For Peace) 『Amok』より
- 2: Rock N Roll (Avril Lavigne) 『Avril Lavigne』より
- 3: Harlem Shake (Baauer)
- 4: Adinat (Bombino) 『Nomad』より
- 5: Catch the Ice Dude (Broken Fingers) 『BF Juke 10』より
- 6: Vikings Coming (Bunji Garlin)
- 7: Survival (Eminem) 『The Marshall Mothers LP2』より
- 8: Kambe (Gnawa Diffusion) 『Shock El Hal』より
- 9: ティッカー大作戦! ~ YAVAY (hy4\_4yh (※読みは「ハイパーヨーヨ」らしい))
- 10: Ay, No Se Ofendan (Juana Molina) 『Wed 21』より
- 11: Black Skinhead (Kanye West) 『Yeezus』より
- 12: Wenu Wenu (Omar Souleyman) 『Wenu Wenu』より
- 13: My God Is Sun (Queens Of Stone Age) 『...Like Clockwork』より
- 14: One Way Trigger (The Strokes) 『Comedown Machine』より
- 15: ODDS & ENDS feat. 初音ミク (supercell) 『初音ミク -Project DIVA F-Complete Collection』より
- 16: Diane Young (Vampire Weekend) 『Modern Vampires of the City』より
- 17: 潮騒のメモリー (天野春子) 『あまちゃん歌のアルバム別冊』より
- 18: フリー (奥田民生) 『O.T.Come Home』より
- 19: み (きゃりーぱみゅぱみゅ) 『なんだこれくしょん』より
- 20: メス豚のケツにビンタ (キックも) (マキシマム ザ ホルモン) 『予襲復讐』より

1 は、まあ Thom Yorke と Flea の新バンドということで。Afro Beat への接近で騒がれたアルバムですが、一番歌メロが気に入った曲を選曲しました。2 は曲名と違いロックからどんどん離れていってる気がするけど、曲が良かったので。3 は今年初めから動画投稿が大ブームを起こした Trap の代表曲です。結局日本では、フォーチュンクッキーの方がはりましたね。

4 は北アフリカのいわゆる「砂漠のブルース」の若手です。The Black Keys の片割れがプロデュースしています。5 は Juke のミックステープ。Bandcamp から無料でダウンロードできます。6 はカリブ海の Soca 帝王がヴァイキングになっちゃいました。7 は PV が話題になりましたね。8 は Gnawa Rock 王者の復活記念で。アルバム 1 曲目からノリノリです。9 は今年 FunkKot が盛り上がっていたようなので。ついにアイドル市場に進出! 10 はアルゼンチン音響派の女王の 5 年ぶりのアルバムということで。美メロです。

11 は Saturday Night Live バージョンがとても良かった。もう Kanye はラッパーというよりロックスターですね。サマソニのトリでも申し分ない。12 はシリアの ElectroDabke スターを Four Tet がプロデュースしたということで。13 は、Dave Grohl が久しぶりにドラムで参加したということで。14 はさすがの仕上がり。疾走感がたまらん。

15 は遅ればせながら、今年ボカロをいろいろ聞き出したので。良い曲です。16 は 2013 年現在進行形の R & R! 17 はドラマも良かった。オープニング曲も良かった。18 は御大の 1 人制作アルバムより。ギターがかっこいい。19 は CM で気に入りました。幼児でも歌えそう。20 はカラオケで歌いたい。

もっと良いのがあったかもしれませんが、締め切りギリギリでこの 20 曲です。来年は、どうなることやら。

(@ IT 編集部: 平田修)



## No.635

# まだ間に合う! 年賀状/まだまだいきます……「子どもたちの一年トップ5 NEWS」!

2013年12月26日

## 【コラム】@IT編集長のつぶやき

# まだまだいきます……

# 「子どもたちの一年トップ5 NEWS」!

@ IT 編集部の大津です。早いもので、今年もまたこの時期が来てしまいました……。

2年続けて「愚息の一年トップ5 NEWS」を掲載し、あまりの親バカぶりに読者の皆さまの失笑を買ったと思いますが、編集長権限でしつこく今年もこのネタでいかせていただきます。

さて、昨年のトップ NEWS にさせていただきましたが、今年4月に無事長女が誕生し、子どもが2人になりました! 現在、長男3歳、長女8カ月です。従って、今年は愚息だけではなく、娘のニュースも含めさせていただきます! ただの親バカ自慢で見苦しい限りですが、少々お付き合いいただければ幸いです。

5位: グングン成長! 保育園の運動会で1着に!

昨年のコラムを読み返すと、やはり成長を感じますね。この1年間で身体能力がかなり向上し、走る・登る・飛ぶといった遊びに必要な能力が大きく進化しました。去年はぎこちなかった三輪車漕ぎや、ジャングルジム登りも1人でグングンやっけてしまいます。親としては、ついこの前まで一生懸命手伝っていた遊びを1人でできるようになるのはうれしい反面、役割が少し減って寂しくもありますね。さて、先日の保育園では運動会の徒競争で見事1位に! 奮発して「瞬足」(園児に大人気の、履くと足が速くなるらしい靴)を買ったかいがありました(笑)。

4位: 早くも婚約!? 結婚を約束する

女子に比較的人気のある愚息ですが、中でも保育園で同クラスのTちゃんに大分気に入られているようで、早くも結婚を約束したそうです。Tちゃんとはスイミングスクールも同じ所に通っており、そこで2人がハグしながら「大きくなったら結婚しよーねー」と言い合っている場面を目撃。素直に驚いていたのですが、帰宅後息子がおもむろに「Tちゃん怖い時あるから、Rちゃんの方が好きなんだー」としれっと言う始末。さすがに親バカな私も顔が引きつりました。今どきの3歳、恐るべし。

3位: やはり得意だった! プールで早くも進級

昨年通い始めたスイミングスクールですが、今年は3歳になったので幼児クラスへ進級。以前は親と一緒に40分間水遊びするだけでしたが、幼児クラスからは子どもだけで先生に習うスクール形式。いままでプールでは

常に一緒に入っていただけに、親としては「パパが居なくて寂しくて泣かないか心配。1人で泳げるか心配」でしたが、何のことはない、初回から何の問題もなく受講し、メキメキと上達。先生が驚くスピードで上級クラスへ進級しております。さすがに、東京オリンピックには間に合わないでしょうが、2028年のオリンピックくらいには出場が期待できると思います。はい。

## 2位：ディズニーもワールドワイドに。日米デビュー

テレビでは、以前より「スティッチ」「ミッキー」などに親しんでいた愚息。すっかりテレビっ子で、『おさるのジョージ』『チャギントン』などと並び、『ディズニーチャンネル』に釘付けです。一方で、「混んでる」「面倒」などの理由から行っていなかったTDLに遂にデビュー。乗り物よりも、パレードに大興奮しており、いまさらながら「もっと早く連れて行ってあげればよかった」と後悔しております。これで調子に乗った我が家は、夏休みに「アウラニ・ハワイ・ディズニー・リゾート&スパ」にもデビュー。結果、キャラクターブレックファーストやプールでエンジョイし、大正解でした！キャラクターブレックファーストは帰国後も事あるごとに話題に出す気に入りぶり。ディズニー好きの子どもが居る読者さまには、ぜひお勧めしたいホテルです。

## 1位：嫉妬と可愛さの微妙なバランス～兄妹2人物語

先述したように4月に長女が生まれ子ども2人になった我が家ですが、下の子はまだ赤ちゃんのため、今のところ全てにおいてお兄ちゃん優先で動いています……。土日のお出掛けもお兄ちゃんが行きたいところ。親と一緒に遊ぶのもお兄ちゃん優先で。妹はさんざん連れ回された揚げ句、抱っこ袋の中で寝る毎日。不憫ですが、第二子ってこういうものなのでしょうかね。どうしても、上の子優先になってしまいます。このように親的には相当上の子を優先しているのですが、それでも妹の世話をちょっとでもすると、かなり焼き餅を焼いて大変なことに。妹の意地悪や世話の邪魔をしまくりです……。一方で妹が可愛い時もあるようで、気が向くと一生懸命お世話をしたり、一緒に遊んであげたりするのを見ると、心から癒されますね。来年は兄妹仲良く過ごしてくれることを願うばかりです。

以上、“子どもたちの一年トップ5 NEWS 2013年版”をお届けしました。今年も完璧な個人ネタで申し訳ございません。読み返すと、ほとんど息子ネタですね。1位の所でも触れましたが妹はまだ赤ちゃんなので、どうしてもお兄ちゃん中心になってしまいます……。

さて、@ IT では今年も10月にリニューアルし、紙面構成などを変えていく所存です。来年も引き続き、エンジニアの皆さんが元気になるような話題を積極的に取り上げていきたいと思っております。本年のご愛読に感謝するとともに、来年も引き続き@ IT をよろしくお願いたします。

(@ IT 編集長：大津 心)

2014

No.636

2014年に起こること／2014年ITエンジニアを取り巻く「問題」とは

2014年1月8日

## [コラム]アイティメディア代表取締役社長よりごあいさつ 2014年ITエンジニアを取り巻く 「問題」とは

@ IT 読者の皆さま。新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

皆さまご存じのように、@ IT は昨年 10 月 7 日にリニューアルをいたしました。PR では「大幅リニューアル」  
とうたっていますが、実は編集チームは「リボーン」すなわち「生まれ変わる」つもりで新しい@ IT をスタート  
させました。

振り返れば、@ IT は 2000 年 2 月にサービスインして以来、「IT エキスパートのための問題解決メディア」と  
して主に IT 関連エンジニアの皆さまに役立つ情報を提供して参りました。今でも皆さまのファースト・オプション  
(第一選択肢) でありたい意志は変わっていません。そして、ショルダーキャッチにしている「IT エキスパートの  
ための問題解決メディア」という存在であり続けたいというビジョンも変わりません。

それでは「何を変えたのか」「何が変わったのか」といえば、IT エキスパートすなわち皆さまを取り巻く「問  
題」が変わったのではないかと。という認識が今回の大幅リニューアルの前提です。それは、言うまでもなくモバ  
イルインターネットやクラウド、ソーシャルテクノロジーなどの新しい技術の進化と普及によって、開発環境や開  
発言語のみならず、そうしたテクノロジーの変化へのスピーディーな対応、よりビジネスや経営視点での開発や  
運用に対する要求、そういったものが今までに増して皆さまを取り巻くプレッシャーになってきています。われわ  
れ@ IT は、そうした変化を先取りし、真に皆さまのお役に立てるメディアに進化しなくてはならない、という思い  
から始まりました。

コンテンツ面では、サイトを分かりやすく 4 つのカテゴリー（開発／運用構築／設計／キャリア&スキル）にま  
とめました。また、注目のテーマとして、DevOps、データ分析、IaaS、タブレットアプリ開発、iOS アプリ開発  
など、最新のテクノロジートレンドをカバーするものになっています。

繰り返しになりますが@ IT が現在持っている問題意識は、「IT エキスパートのための問題解決メディア」という  
存在価値を貫くために、変化するテクノロジーをタイムリーにキャッチアップするメディアに、@ IT 自身が生まれ  
変わらねば真に皆さまのお役に立てないということです。

本年も引き続き変革・改善を行い、より一層皆さまのお役に立てるメディアへと進化して参りますので、何とぞご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(アイティメディア代表取締役社長：大槻利樹)

No.637

2014年、子どもとプログラミングを始めてみよう/  
“社内ぼっち”に陥るのは情シスだけではない!

2014年1月15日

## [コラム]内部監査室室長のつぶやき “社内ぼっち”に陥るのは 情シスだけではない!

先日公開されたシマンテックさんの広告記事のメール広告にあった「“社内ぼっち”になりがちな中堅・中小の情シスが取るべき選択」という広告コピーがふと目に飛び込んできて、それがグサツと胸に突き刺さってしまいました。“クリぼっち”“ダンボっち”などに続き“社内ぼっち”かあと。

そうなんです、内部監査という仕事は情シス以上に結構真に迫る“社内ぼっち”的な業務で、巨大企業なら通常何十名もいる内部監査人ですが、当社を含む中規模以下の会社の多くでは、1人の担当が幾つもの役割を兼務して、なにもかも1人でやっているのが普通なのです。

たまたま当社は大手企業のグループ企業ということもあり、同じグループ企業の内部監査人たちと定期的に話をする機会がありますが、それがなければ社外の人と会話をするのもめったにありません（外部監査人は別）。さらに社内の人々からは、「できるだけ監査人とは目を合わせないように」という、まるで共通したお達しが出ているかのような扱いを受けます。

そりゃあ確かに忙しい仕事に割り込んで、「証拠書類を出せ」「契約書を出せ」「勝手にルールをいじるな」「捺印がない」と口うるさく言うことも多々あるわけですが、「それは監査という仕事上のことで、何もあなた方が憎らしくてやっているわけじゃないのですよ」と心の中で叫び訴えても、仕事の邪魔をされる現場の方に届くわけはありません。

さまざまな企業で何か問題が起きると、「コンプライアンス遵守を重視して」とか「情報セキュリティ対策には万全を期して」とか「管理体制を強化して」とかもっともらしいご託を並べるのですが、それが実際にちゃんと機能しているかどうかは公正中立な監査をしなければ分からないことで、絵に描いた餅のまま終わってしまうことになります。

それほど重要な業務なので、せめて1社ぐらい「大幅に予算を増額し内部監査体制を充実させます!」とか言ってくれてもよさそうに思うのですが、残念ながら費用対効果を含めまだ市民権が得られていないようです。と、多少ひがみの入った愚痴でした。

(内部監査室 室長: 神崎 眞澄)

No.638

JANOGに行ってきます! / 伏線の回収

2014年1月22日

## [コラム] 経営企画部員のつぶやき 伏線の回収

多くの皆さまと同じように、年末年始は1年を振り返り、これからの1年や将来に思いを馳せ、それなりにノンビリと過ごせる貴重な時間でした。大掃除をそそくさと終わらせ、テレビを前にくつろいで、特番やドラマの総集編など、昨年に世間で話題だった出来事や番組をまとめて後追いすることができました。

コンテンツの楽しみ方は十人十色ではありまして、私の場合、制作側の視点からアレコレ考えながら鑑賞してしまう癖があります。普段はその思いを隣人に共有しても、まったく共感を得られないのですが、@ IT 通信読者の皆さまはいかがでしょうか。

「ここの演出は自分ならこう」とか、「こっちに分岐したら」とか、「共有 DLL でテンポ速められるぞ」とか。監督や脚本家のファンの方からしましたら、おまえ何さま? なのですが、そうした思考実験が鑑賞自体に並び立つ楽しみなのです。

この年末では、何といても12月30日のNHK『あまちゃん総集編』（10時間バージョン）から31日の紅白歌合戦につながる演出に痺れました。毎朝のレギュラー放送はほぼ見ておりませんでした。世間の評判は知っていましたので、見ることにしました。このようなパターンは、期待だけが膨らみ後に未消化感が残ることが多いのですが、いやいや今更私を書くまでもなく、紅白生放送の第157話はドラマの可能性を広げる素晴らしい作品でした。脚本の遠謀深慮はもちろん、特異点ともいえる紅白生放送での伏線回収は、その難易度の高さも含めて身震いものです。

IT 業界では、故スティーブ・ジョブズ氏が2005年にスタンフォード大学で行ったスピーチが有名ですね。その時の1つ目の話を、「人生の伏線」というフレーズで記憶し、時折思い出します。

年初の空気と素晴らしい制作者（エンジニア）の姿勢に触れた余韻もありまして、普段はあまり意識しませんが、自分の人生の伏線をこれから回収していこうと、そう思ったのでした。

正月くらい、センチな気持ちになってみるのも悪くありません。が、柄でもありませんので、もし次回に機会ありましたら、その時は仕事内容をネタにしたいと思います。それでは、IT 業界を支えるエンジニアの皆さまに幸多からんことをお祈りしつつ、今年もアイティメディアを宜しくお願い致します。（管理本部 経営企画部：藪田淳史）

No.639

2014年、SlerはDevOpsで生き残れるか / 衝撃的な味噌煮込みうどん

2014年1月29日

## [コラム] 経営企画部員のつぶやき 衝撃的な味噌煮込みうどん

お店としては「山本屋本店」「山本屋総本家」などが有名ですが、私のおすすめは檀溪通りの方にある「まことや」です。手打ちのしこしこした麺、素材の違いを感じさせるネギや、かしわ（鶏肉）、コクのある味噌の組み合わせはまさに絶品です。

そして何より、かつおだし! 味噌の味にばかり目が行きますが、味噌煮込みうどんの味はかつおだしが決め手です。中でも「まことや」のかつおだしは、とても薫り高く、うまみがぎゅっと詰まっています。私は、子どもの頃は「だし」とはなんなのかよく分かっていませんでしたが、この「まことや」の味噌煮込みを食べて人生で初めて「だし」というものを認識しました。

サリバン先生が、ヘレン・ケラーの手に水を注ぎながら、その手に「water」と文字をつづり、ヘレンが全てのものに名前があることを理解するという有名なお話がありますが、それくらい(?)の衝撃的な味噌煮込みうどんです。

人間にとって、初めて覚える言語はコンピュータのOSみたいな役割もあると思いますが、一度「だし」の存在を意識して以来、あらためていろいろな「だし」を試してみると、それまではまったく気が付かなかった、その味わいの違いに驚いた記憶があります。きっとヘレンも、こんな気持ちを味わったのではないのでしょうか。

皆さまも名古屋にお出での際には、ぜひ私の「サリバン先生」こと、「まことや」の味噌煮込みうどんを食べてみてください。

(管理本部 経営企画部: 鈴木 一冬)



## No.640

### 今、最も注目すべきオフショア開発はミャンマー/アイティメディアって、どんなところ？

2014年2月5日

## [コラム] 新任広報部員のつぶやき アイティメディアって、どんなところ？

こんにちは、新任広報の射場です。突然ですが@ IT 読者の皆さまは「アイティメディア株式会社」にどんなイメージをお持ちでしょうか。「メディア企業だし、忙しそう」「たくさんの媒体を運営している」「テクノロジーの最先端を追っている」などでしょうか。

もしかすると、「アイティメディア株式会社」という会社名を出すよりも「@ IT」や「ITmedia」といった媒体名を出した方が、「あ〜知ってる」という人が多いかもしれません。

個人的な意見ですが、運営するメディアはもちろん、今後は「アイティメディア株式会社」のことも、もっと知っていただきたいなと思っています。とはいえ、なかなかお伝えする機会がないので、今回はこの場を借りて少しだけ社内のことをお話したいと思います。

#### ●毎週水曜のお楽しみ『ベーグルウエンスデイ』

日ごろ話さない人と交流を深める機会として昨年秋から毎週水曜に「ベーグルウエンスデイ」を開催しています。

社内のリフレッシュスペースに、何種類ものベーグルや野菜、ハム、サーモンが用意され、開始時間の12時になると社員が集まり、ベーグルを食べながらにぎやかに過ごします。アイティメディアはオフィスが6階と7階に分かれていますので、どうしても話す人が固定しがちなのですが、このような場があることで、いろんな人と会話ができて、新たな発見や気づきが生まれることがあります。

また今年からは、ベーグルだけではなくおにぎりやバナナも加わりパワーアップしています！

#### ●新入社員も役員も、もっと社長と話そう『代表ディスカッション』

数年前から、アイティメディアでは社長が社員一人一人と1時間、時間をとって対話する機会を設けています。

話題は、事業提案、会社への提言、業務内容の相談など…… なんでもOK。ちなみに私は「子育て」についてお話をし、普段は見れない社長の「父親の顔」を見て心が温かくなったのを覚えています。

社員は 200 名弱なので、全員を話すにはまる 1 年かかってしまいますが、社長にとっても社員にとってもお互いのことをより理解する良い機会になっています。「入社前の面接以来、社長と話をしていない」「社長と言葉を交わすのは、あいさつぐらいだ」というのは何だか寂しいですもんね。

今回は 2 つ紹介しましたが、他にもさまざまな取り組みや社内イベントがあります。全てお伝えできないのは残念ですが、これからも色んな形で「アイティメディア株式会社」に興味、関心ををもってもらえるきっかけ作りをしていきたいと思えます。

(管理本部 経営企画部: 射場理恵)

No.641

インフラ技術者が知っておきたい仮想化とパフォーマンスの関係／  
宮崎駿が「Sensei」たる所以

2014年2月12日

## 【コラム】「ITmedia マーケティング」編集長のつぶやき 宮崎駿が「Sensei」たる所以

先日、Le Monde.fr で「La dernière prophétie de Miyazaki」という記事を読みました。

このルポルタージュを執筆した Jerome Fenoglio 記者は宮崎駿氏の仕事やその言動をフランスの文豪 Victor Hugo に重ねているようです。読者の中にも同じように考える人がいるようで、Facebook ページのコメント欄には「Un genie」（天才）とか「Sensei」（先生）、「Le maitre」（先生、指導者）との書き込みが散見されました。

さて、記事の中で Fenoglio 記者は宮崎駿氏の発言を幾つか引用しています。いずれも左派系知識人の未裔らしい言葉で語られています。とりわけ印象的だったものを 1 つ紹介しましょう。

「2008 年の終わりにリーマン・ブラザーズが破綻し、世界は金融危機に直面しました。その時僕は、“これで世界は大きく変わるだろう” と思ったのです。その後の 2 カ月間、僕は近所の風景を撮影し続けました。世界が変わってしまう前の姿を残そうと思ったのです」

果たして、資本主義は 2008 年 9 月以降、その強欲さを抑制できたのでしょうか。2011 年には史上最悪の原発事故が発生し、世論の形が事故以前とはかなり変わりましたが、政権・与党を構成する人々、および利害関係にある企業人たちは、依然として、経済成長を錦の御旗に世論を蹂躪し続けています。それが今の日本の現実です。

現在の日本の映画監督で、自分の仕事と社会的責任を結び付けて発言できる人はそれほど多くありません。宮崎駿氏の進退が世界的な注目を浴びるのは、それ故にこそ、という面もあるのでしょうか。

（「ITmedia マーケティング」編集長：谷古宇浩司）

No.642

2010年仮想化の旅／興味がないのに医学を目指す受験生

2014年2月19日

## [コラム]TechTargetジャパン編集部員のつぶやき 興味がないのに医学を目指す受験生

「工学部なんて興味ない。入学を検討したこともない」——。大学院生のときに、個別指導塾で担当していた複数の生徒から聞いた言葉です。工学部に興味がないといっても「理科離れ」というわけではありません。彼ら彼女らは理系の生徒で、目指していたのは医学部医学科の合格。工学部出身の私にとって、冒頭の言葉を生徒から受けたときは少々ショックでした。

中には、「自らが罹患した難病の治療法を研究したい」といった明確な目標を持って、医学部医学科を志望する生徒もいました。私が受験生だったときに、そこまで明確な目標があったかといわれると、もっとあやふやだった気がします。その生徒は当然ながら、勉強への意欲は飛び抜けて高かったように記憶しています。

一方で、「医者にもなりたくないし、医学の研究にも興味がない」のにもかかわらず、医学部医学科を目指すという生徒も少なからずいました。その理由が、「工学部や理学部といった他の理系学部よりも、合格に必要な偏差値が高い」こと。偏差値の高さの証明として、入試の難易度が高い学部や大学に合格したい、ということなのです。

医者になることや医学に興味がないのにもかかわらず、偏差値の高さだけで医学部医学科を目指すという考えには、「なぜなのだろう」という思いが今でも拭えません。一方で、工学部など別の理系学部は、医学部と比べて職業とのつながりが見えにくい分、受験生にとってはあえて「工学部へ行きたい」と思えるほどの明確なイメージをつかみにくいのかもかもしれません。病院で医者に診てもらうのは普通でも、エンジニアと日常的に話す受験生はそれほど多くないはずですよ。

最近では、サイバーエージェントのグループ企業である CA Tech Kids や、Life is Tech など、高校生以下を対象としたプログラミング教室を開催する企業が増えてきました。自分が欲しいアプリを、自らの手で開発するのはきっと楽しいはず。現状を変える特効薬になるかどうかは分かりませんが、こうした動きが広がれば、受験生が IT に関して興味を持ち、偏差値とは別の視点で学部や大学選びをするきっかけになるかもしれません。

TechTarget ジャパンでは 1 月 28 日、教育機関向けの IT 製品の情報や導入事例などを紹介する「教育 IT」という専門メディアを立ち上げました。教育 IT でも今後、プログラミング教育をはじめ、教育機関における IT 教育を支援する製品／サービスを扱っていきたいと考えています。 (TechTarget ジャパン編集部：鳥越武史)

## No.643

### 国内データセンター開設、その後はどうなる？/レディに首ったけ

2014年2月26日

## [コラム]TechTargetジャパン編集部員のつぶやき レディに首ったけ

3LDK のマンションにアラフォーのおっさん 3 人でルームシェアをしています。癒しを求めて、イヌ 2 匹、カメ 3 匹も一緒に暮らしています。中でも、昨年 12 月から飼い始めた、紅一点のイヌの女の子「若葉」(黒柴・生後 5 カ月) がアイドル的存在です (注: カメ 3 匹の性別が不明のため)。

若葉のことをたまに「レディ」と呼ぶなど特別扱いしており、もう 1 匹のイヌ「修斗」(柴イヌ・3 歳) が悲しいそぶりを見せることもあります。修斗は「ハッハッハッ」と舌を出しながら呼吸することが多いのですが、若葉は尻尾を振りながら上目遣いで常に口角を上げてにっこりほほ笑んでいます。デレデレしてしまいます。

よせばいいのに、より可愛く見せようと試行錯誤。ピンクのフリフリドレスは毛の色と合わずに却下。銀色と黒を基調にしたドレスを買い、着させてはみたものの「夜の蝶っぽい」ということで物置にしまいました。今は、ラメが入った金色のリボン型で中央に真珠もどきのブローチがあしらわれた首輪を身に付けています。

ただ、若葉は体重が 2 倍以上ある修斗に真正面からぶつかったり、修斗の餌やぬいぐるみを強奪することもしばしば。小さい風貌によらずおてんばです。私が散歩や餌やりなどで一番世話をしていることもあり、夜は私の部屋で一緒に寝ることが多いです。

最近、「突然ノースカロライナ州に転勤」になったり、「巨大なレゴ人形に追い回される」という夢でうなされることがあるのですが、目を覚ますと若葉が私の上で丸まって寝ています。また朝起きると、シャツのボタンや寝る前に読んでいた本や雑誌などがかじられていることもあります。実は、この 1 週間で iPhone のイヤフォンを 3 回かじられて買い直しています。現行犯ではないので、怒ることができずに困っています。

これからドッグランに連れていったり、友人にも会わせたりする予定なので、ちゃんとしつけられるように努めたいと思います。

(TechTarget ジャパン編集部: 翁長潤)

## No.644

### ネコネコにゃんにゃんGitHub勉強会 / 竹原慎二氏のコラムにハマっています

2014年3月5日

## [コラム] TechTarget ジャパン 編集部員のつぶやき 竹原慎二氏のコラムにハマっています

元 WBA 世界ミドルチャンピオンの竹原慎二氏のコラム「竹原慎二の続・ボコボコ相談室」(code-G) が面白いです。サラリーマンや OL、ホステスなど、さまざまな職業の人たちから寄せられる悩みに対し、竹原氏が本音でズバツと回答するという企画です。竹原氏の辛口だけど人情味のあるキャラクターが私は大好きです。

特に面白かったコラムを 2 つ紹介します。1 つは、サスラオーさん (32 歳、営業) の「工作中的パチンコがやめられない」という悩みです。私はそんな人がいるという事実に驚きつつも、サスラオーさんからの「やめるにはどうしたらいいのでしょうか? 私は根っからのギャンブラーなのではないでしょうか?」という相談への回答に注目していました。

竹原氏の回答はこうでした。「おまえが賭けとるのは、自分のクビじゃ」。さらに、「ギャンブラーっっちゃうのは、儲かるときもダメになるときも自分一人、他人には迷惑を掛けんのじゃ」といった名言まで飛び出しました。最後は、「人生と引き換えの大当たりは、さぞ気持ちええじゃろ」と締めくくっていました。背筋が凍るようなドギツイ回答ですが、正論なので納得です。

2 つ目は、S さん (29 歳、建築業) からの「不景気で賞与や手当はカット。でも、経営陣はぬくぬく、おかしくね?」という悩み。「従業員は賃金がカットされ、5 年前の PC を使い続けているのに、役員たちは変わらず高級車に乗り、役員報酬ももらい過ぎだ」という愚痴に対し、竹原氏は「物事の上っ面だけ見てグダグダ文句言うなや」とバサリ。

そもそも経営者と従業員は平等ではなくリスクの度合いが違うのだという前提を基に、「社用車が高級車のままのもの、要は『買い換えしていない』ということじゃろ。おそらくお前のパソコンを買い換えるまで、社用車はそのままじゃ」と S さんに説いています。最後は、「それでも文句があるんなら、自分で商売を興したらええ」とのことでした。詳しくは Web サイトで読んでいただきたいのですが、読み手をプツと吹き出させるようなユーモア溢れる文章に心を奪われ通しました。

厳しい世界を戦い抜いてきた竹原氏だからこそ言える毒舌なのかもしれません。この相談室では、仕事だけではなく恋愛相談も見受けられます。「どんな不満にもカウンターを返せる竹原氏は、リンクを降りてもやはり強い!」と思わざるを得ません。

(TechTarget ジャパン編集部: 荒井亜子)

## No.645

### デバイス、IT技術と人間の関係を見直す／どうする、どうなる？ 7年目の自作米

2014年3月12日

## [コラム] ターゲティングメディア統括部長のつぶやき どうする、どうなる？ 7年目の自作米

趣味でやっている米作り（茨城）は今年で7年目を迎えます。3年前の震災をきっかけに、収穫後にお米の放射性物質検査を行うようになりました。ほぼ無農薬でやっているの、以前は残留農薬などあまり気にしていなかったのですが、やはり自分たちで安全性を確認したくて、毎年業者に依頼して調査レポートを送ってもらっています。

国が食品流通上、問題ないとしている放射性セシウムの暫定基準値は、3年前は500Bq（ベクレル）／Kgでした。その後、現在の新基準値（平成24年4月1日改定）では、100Bq／Kgにまで引き下げられています。

当時、玄米で測定したところ、セシウム134が3.5Bq／Kg、同137が3.7Bq／Kg、合計で7.2Bq／Kgという測定結果が出ました。これは国の安全基準を大きく下回っていて、多くの地域で検出限界が20Bq／Kgでしたので、このレベルは既に測定上「不検出（入っていない）」ということになります。それでも、自分たちの田んぼに「本当に放射性物質が入っているんだなあ」と、現実を突き付けられた思いがあったことをよく覚えています。

その後、2年前の調査では計1.67Bq／Kgまで減り、昨年は業者が保有する測定機器の検出限界値0.84Bq／Kgを下回って、実質的な検出ができなくなりました。

そして、2014年もいよいよ農閑期が終わり、土作りの準備に入ります。実は、昨年（2013年）は一般には豊作と言われているのですが、われわれの田んぼではヒエが大量に発生してしまい、過去最も少ない収穫量となりました。6年の間、除草剤をまったく使用してこなかったために、雑草が大量に発生しやすい土壌となっているようです。お世話になっている農家の方から、「今年は除草剤を使わなければ作業が大変だぞ」と言われています。たとえ草取りが大変で収穫量が激減しようと、除草剤を使わず安全、安心な米を自分たちの手で栽培するか、あるいは除草剤という魔法の薬に頼るか、節目の年になりそうです。

（IT インダストリー事業部 ターゲティングメディア統括部長：永井利洋）

## No.646

### プライベートクラウドって本当に必要？／名は体を表す

2014年3月19日

# 【コラム】ITインダストリー事業部 営業部員のつぶやき 名は体を表す

わが家では子どもの名前を考える際、以下の2つに重きを置いています。

- どういう子に育ててほしいか
- 分かりやすい漢字を基に考える

幸運なことに、私は3度名前を考える機会を得ました。このうち、今回は2人目の娘の命名についてお話しします。

「元気で愛嬌（あいきょう）のある女の子」がそのときのコンセプトでした。そこで、まずは名前辞典から1つの漢字を決めました。

【鈴】——この漢字は、かなり早い段階で決まりました。この字と他の字の組み合わせでさまざまな名前を考えたのですが、結局はこの1文字の名前にしました。

というのも奥さんが、次の詩を見せながら、「こういう子に育ててほしいと思っている」と言ったからです。

「その鈴は整えられた平らな道を歩いていたのでは  
鳴ることがなく、人生のでこぼこ道にさしかかった時  
揺れて鳴る鈴である。

美しく鳴らしつづける人もいるだろうし、閉ざした心の奥に  
押さえ込んでしまっている人もいるだろう。

私の心の中にも、小さな鈴があると思う。その鈴が、  
澄んだ音色で歌い、キラキラと輝くような毎日が  
送れたらと思う。

私の行く先にあるみちのでこぼこを、  
なるべく迂回せずに進もうと思う。」

※『花の詩画集 鈴の鳴る道』（1986年、偕成社、ISBN 4039632907）

確かにこのような考え方で生きていける子に育ってくれば、本人も周りの人も幸せだなと感じた次第です。われわれの願い通り、現在3歳になる娘は、いつも“りんりん”鳴って、本人自身も、また、周りの人も幸せにしています。

(ITインダストリー事業部 営業統括部 第一営業部:三ツ谷 正一)



## No.647

### 人事異動の季節~/いつか私もおおきな木になりたい

2014年3月26日

# [コラム]ITインダストリー事業部 営業部員のつぶやき いつか私もおおきな木になりたい

この前、ふと押し入れの整理をしていたら、昔お母さんに読んでもらった絵本『おおきな木』を見つけたので、今度は一人で読み返してみました。

りんごの木と子どもがいる。1本と1人は大の仲良しだった。成長した子どもは木にいろいろと求めるようになる。子どもが「お金が欲しい」と言えば木は実を与え、「家が欲しい」と言えば枝を与え、「船が欲しい」と言えば幹を与える。そして、さらに長い年月が過ぎ、かつて子どもだった老人は「休む場所が欲しい」と言う。木は残った自分である「切り株に座ってやすみなさい」と言う。老人はそれに従って座る。木はそれでうれしかった、で終わります。

子どもの頃に読んでもらった時は、「子どもは何てわがままなんだ、木は優し過ぎる。利用されているだけなのに木はバカだ」と、読んでくれたお母さんにギャーギャー文句を言っていました。でも、その時お母さんはこう言ってくれたんです。

「そうかもね。でもママは、木は本当にうれしかったんじゃないかな、って思うよ」

大人になった今、感想が変わりました。

木は、子を想う母で、わがままばかり言う子にいつも無償の愛を与え続ける。困ったときにしか来ないけれど、めったに顔を見せに来ないけれど、時々思い出して会いに来てくれるだけでうれしい。困ったときは、自分の持っているモノを全て使って力になってくれようとする。

当時のお母さんの言葉を思い出して涙が溢れてきました。わがままばかりだったのに（今も……）、そんな気持ちで育ててくれてたんだね。いつか私も子どもが生まれたら、そう思うようになるのでしょうか。

お母さん、ありがとう!

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部：高木 由佳)

## No.648

### 消費税増税動静 / 私の名前を冠した大会のトロフィーを作ってください

2014年4月2日

#### [コラム] IT インダストリー事業部 営業部員のつぶやき

# 私の名前を冠した 大会のトロフィーを作ってください

皆さんはトロフィー屋さんに行ったことがあるでしょうか。想定で物事を語り、さらに決めつけるのはあまりよろしくないことですが、多くの方がそういった経験は「ない」と答えるのではないかと私は思います。

私は大学の恩師に「君が在学中にやっていた、ばかげた遊びをルール化して勝手に大会にした。大会名は君の名前を冠しているんだ。ついては、君から商品を何らか贈呈してほしい」と依頼されたことがあります（在学中にやっていた遊びについては、また別の機会に）。

漠然とした依頼への対応は仕事でもプライベートでも非常に困難なものです。私も、この相談を受けたとき途方に暮れたことを覚えています。

数日考えた結果「大会への商品」とのキーワードから「そうだトロフィーを贈ろう」という解をひねり出しました。早速専門店を調べ、東武練馬駅を最寄りとする老舗のトロフィー屋へ訪問しました。

店に入り小ぶりなトロフィーを選んだ私は、そのトロフィーを店主に差し出し「私の名前を冠した大会のトロフィーを作ってください」と単刀直入に伝えました。

自分でも「ああ何を自分は言っているんだろう、おかしな人に思われるかもしれない」と思っておりましたが、店主は快諾し「30分ほど待ってほしい」とだけ伝え、作業に入りました。結果、30分もかからずに自分の名前が金色に印字された台座のトロフィーが完成しました。

かなり大げさではありますが、それは何か自分が生きている証のような得も言われぬ存在感を放っており、「ああ、作って良かったなあ」と心から思ったものです。

忙しい毎日、どこか自分の在り方を忘れてはいませんか。そんな時は、東武練馬駅に向かい、トロフィーを作ってみてはいかがでしょうか。「ああ、私はここに生きている」と実感できるはずです。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部 : 匿名希望男子)

No.649

「クラウドOS」って何? / 東京を歩いてみると……

2014年4月9日

## [コラム] IT インダストリー事業部 営業部員のつぶやき 東京を歩いてみると……

皆さんは自分の住んでいる街をじっくり歩いたことはありますか。

2カ月前に、腹にたまった脂肪を消費したいこともあり、そろそろ年齢的に健康を考えて少し走ろうかと急に思い立ちました。しかし、間違いなくヒザを痛めるか、翌日の筋肉痛に耐えられず、すぐに止めてしまうだけだろうと思い直し、せめて歩くところから、と休日に近所を歩くことにしました。

最初は近所 2 ~ 3km 歩く程度だったのですが、iPhone で音楽を聞きながら歩いているとこれが結構楽しいのです。最近では寄り道しながら 2 ~ 4 時間かけて 10km 以上歩くようになりました。

普段は仕事でもプライベートでも、電車・バス・車の移動がほとんどのため、通り過ぎていて気付かなかったところに思わぬ発見があったり、仕事で来てもほとんど気にしなかったものが目に付いたりします。

先日も田町近辺を歩いていたときのこと、アーバンランチという定期船の乗船口を見つけました。見てみると東京湾を航行しているとのことだったので、早速歩く足を停めて乗ってみました。

芝浦→お台場→豊洲を片道およそ 1 時間（運賃：1200 円）かけて航行します。

東京に住んで 30 年近くになりますが、初めてレインボーブリッジの下を船で通りましたし、話題の東京五輪の選手村予定地や豊洲市場予定地なんかを海から見られました。

今回乗った船も、観光サイトや雑誌を調べれば、どこかに載っているのかもしれないのですが、歩いていてたまたま見つけた船に乗るという「ぶらり途中下車の旅」的な感じが楽しいのです。

東京にも私の知らないもっとレアなスポットがたくさんあるはず。しばらく東京散歩は続けられそうです。

で、肝心のカロリー消費はというと……、もう少し頑張ります。皆さんも自宅近所を歩いてみると、今まで気付かなかった面白い発見があるかもしれませんよ。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第一営業部：今村友彦)

## No.650

### 新人研修で使ってほしい連載まとめ(プログラミング編) / 義務とやりがい

2014年4月16日

## [コラム]@IT編集長のつぶやき 義務とやりがい

4月は始まりの季節です。会社に就職した、異動した、組織が新体制になったという方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。私はこの季節になると、毎年何となく考えてしまうのが「仕事の義務とやりがい」です。というのも、「やりがいを感じられるかどうか」は仕事の大切な要素の一つには違いありませんが、やりがいがあるとうと無かろうと、出すべきものは出さなければならないのが仕事だからです。

いうまでもありませんが、結果を出すためには常に与えられた KPI (評価基準) を意識することが求められます。われわれの仕事だと、主な KPI はページビューや広告などの売り上げです。これを達成するために、例えば SEO 対策や、サイト内回遊を促すページ設計、広告商品企画など、あらゆる施策を考えます。

ただ、このところあらためて思うのは、「メディアとして何が一番大切か」ということです。確かにサイトのデザインを見やすくしたり、SEO 対策に取り組んだりするのはとても大切なことです。でも肝心の「届ける情報」の品質が悪かったり、ポイントがズレたものだったりするようでは、施策を打ってもあまり意味がありません。やはり「期待されている情報をきちんと紹介する」ことが、ページビュー・売り上げ向上の最大の施策となるわけです。

私は趣味でトロンボーンを吹くのですが、似たような話があります。「アンブシュア」と呼ぶ「トロンボーンを吹くときの基本的な唇の形」があるのですが、この模範的な形を意識しすぎると、体に力が入って辛くなるばかりか、かえって上達が妨げられやすいといわれています。楽器の選び方にしても、「この楽器を使えば良い音が出る」ということは決してありません。最も意識すべきは「良い音を出す」ことであって、「良いアンブシュア」「良いツール」といった「手段」ではないのです。良い音を目指した結果として、手段は自然に形作られたり、選ばれたりするわけです。

仕事もこれと似ていて、“本質的な要素”に目を向けることが大切で、そこに向けて正しく努力できているかどうか、やりがいにもつながるように思います。実際、KPI に追われて「本質的でない目先の施策」ばかりを考えると、仕事は辛くなり、結果も出しにくくなってしまわないのでしょうか。またそうした辛さは、音楽でも仕事でも、受け手に必ず伝わってしまうものです。

やりがいを感じながら実直に取り組んでいれば、数字はおのずとついてくると考えるのは甘いかもしれませんが、でもこの4月から編集長になって、「やりがい」と「やらなければいけないこと」を切り離して考えるべきで

はないと、あらためて強く感じています。@ IT 編集部も、Web 媒体の表現方法やマネタイズにさまざまな打ち手が考えられる今だからこそ、あえてシンプルに「読者に少しでも喜んでほしい」というメディアとしての原点を大切にしていきたいと思います。

今後とも、@ IT をどうぞ宜しくお願い致します。

(@ IT 統括部 @ IT 編集部：内野 宏信)

## No.651

IT業界の2003年とはどんな年だったのか／

登壇祝いでお母さんに衣装を買ってもらいました☆ キラキラ

2014年4月23日

[コラム]ねとらぼ編集部員のつぶやき

# 登壇祝いでお母さんに衣装を買って もらいました☆ キラキラ

「やりまーす! (^▽^) ノ」

と手を挙げて数カ月、いよいよイベント本番の日となりました。イベントでは、今話題のニュースや今後の IT 業界などについて語るとのこと。楽しみなのです〜♪

パネルディスカッションのテーマは「IT 系メディアの編集長たちが語る、ITトレンドの今とこれから」。あれ? 私編集長じゃない (まあいっか!)。というわけで、先日登壇祝いでお母さんに衣装を買ってもらいました☆ キラキラの Spanien コールが付いたドレスです。

私は社会に出て 4 年目ですが、いまさら不思議なことに気付きました。イベントに登壇する人は、スーツや普段着を着ている人がほとんどです。イベントでドレスを着ていると「なんでドレスなの?」とよく聞かれますが、音楽大学出身者からすれば舞台上でドレスを着ることはごく普通のことでした。

それと似たようなことがあります。会社では営業系の人はスーツ着用率が高いのです。「何でスーツなんですか?」と聞くと、口をそろえたように皆こう言います——「お客さんに会うからだよ」。私にはそれが分かりませんでした。「なぜ、お客さんに会うときは、スーツなんだろう……?」と不思議でした。でも、その現象はとても面白いと思いました。

人は皆、特有の文化・環境で育ち、その地域では大多数の人が同じような価値観になることがあります。しかし、その価値観は世界的に見たらごく少数派で、歴史を振り返って見てもほんの一過性のブームにすぎません。

例えば、少し前の日本では少数派でしたが、いまでは耳に穴を空けて金属をぶら下げて街中を歩くのヒトを目にすることが増えました。そう考えると、もしかしたら 100 年後には裸にペイントして街中を歩く人が日本でも増えるかもしれませんね。 それでは! 今日もイベントで暴れてきます!!

(ねとらぼ編集部: 太田智美)

## No.652

### 休暇前になぜか勃発するセキュリティ問題／コタツを囲んでプチ開発合宿

2014年5月7日

## [コラム]新入社員のつぶやき コタツを囲んでプチ開発合宿

初めまして。研修中の新入社員・せしもです。@ IT 通信コラムは、今回から 2014 年度の新入社員が順次担当いたします。

私たちは今、新人研修を受けている最中です。私自身は、この研修の中で JavaScript や PHP に触れたことがきっかけで、プログラミングにハマっています。学生時代にも授業でコーディングを行ったことはあったのですが、当時はあまり上達せず、挫折してしまいました。今度こそ自分が欲しいものを自分で作れるようになりたい、という思いで再入門しています。

とはいえ、1人でやっているともた挫折してしまう気がするので、週末に友人と自宅でプチ開発合宿をしています。我が家のコタツを囲んで、それぞれがコーディングをしたり、UI デザインをしたり。分からないことがあるときには、仲間と一緒に見られる液晶モニターに映して、皆にアドバイスをもらいながら進めると、1人のときよりもスムーズです。

研修課題に取り組んだときには、Web 開発の仕事をしている友人を家に呼んで、ピザを食べたりビールを飲んだりしながらワイワイやりました。もう、合宿なのかホームパーティーなのか、よく分からない感じですが、皆で作ると楽しいですし、続けていける感じがします。

研修で作ったのは、ランチのマッチングシステムです。誰かと一緒にランチをしたいときに自分の予定を登録すると、同じ時間帯に予定が空いている人とマッチングする、というサービスです。PHP と MySQL で制作しました。自分の書いたコードが思った通りに動くと、めちゃくちゃうれしいものですね!

コードを仕事で書くことはおそらくありませんが、欲しいものを自分でさっと作れたら“クール”だよなあ、と思っています。次は、青空文庫のリーダーを開発したいです。頑張るぞ~!

(管理本部 本部付：瀬下翔太)

## No.653

先進的なIT基盤を構築するIT技術重視企業／江戸より働きマンの胃をささえしもの“そば”

2014年5月14日

**[コラム]新入社員のつぶやき**

# 江戸より働きマンの胃を ささえしもの——“そば”

皆さまも一度は食したことがあるであろう“そば”。

そんなそばが、実は、江戸時代から働く男たちに愛されてきた日本古来の“ファストフード”であることをご存じでしょうか？では、なぜ、そばがファストフードとしての地位を確立し、江戸の男たちに好まれてきたのでしょうか？

今回は、その理由を、新入社員の福山がお送りいたします。

まず、皆さまもご存じであろう通り、徳川家康が幕府を開いてから、江戸は日本でも最大の人口密集地となり、日本有数の食料の消費地にもなりました。

密集する人口の中で特筆すべきは、参勤交代で訪れる武士、地方の“本店”から来て江戸の“支店”で働く商人など、当時の江戸に勤務する男たちの多くが、単身赴任だったことです。この単身赴任男性比率の高さが、江戸の外食市場に影響を与えたようです。

とはいえ、大名や大商店の主とは異なり、「おひとりさま」のメンズなので、構えた豪勢な店よりも気楽に入れる屋台の人气が高かったそうです。加えて、彼らが暮らす木造長屋では調理による火災の回避、あるいは個別世帯での燃料費節約などの理由から、自炊があまり行われなかったこと、当時の武士や肉体労働者が満腹になるのを嫌い、食事を小分けにする傾向があったことなど、ファストフードがはやる要素が江戸にはそろっていたようです。

江戸時代の屋台そばの人气は、このような背景があって確立されていったものだそうです。

そば以外にも、江戸後期になると、江戸湾では安価な魚が豊富に手に入ることから、手軽にできる握り寿司や、てんぷらの屋台も多かったそうです。



とまあ、こんな感じでコラムを書きましたが、新入社員なのに、仕事の抱負や頑張りとは一切関係のない“そばのコラム”を書いて白い目で見られないか若干心配ですが、コラムを書いた日のお昼は我慢できず、わざわざ会社の外にそばを食べにいきました（9日ぶり3回目）。

江戸時代の働きマンたちに思いをはせながら（?）今日もそばを食べて頑張りましょう!

（管理本部 本部付：福山忠秀）

## No.654

### IT部門に新入社員がやってきた! / アナログ世界の不思議な書店の物語

2014年5月21日

# [コラム] 配属が決まったばかりの新入社員のつぶやき アナログ世界の不思議な書店の物語

始めまして。今春からアイティメディアに入社した陰山と申します。今回はこのメルマガ読者の皆さんにお勧めしたい本を紹介します。

突然ですが、皆さんの手元には google 検索でヒットしない——検索エンジン上では存在しないことになっている書籍はどれくらいあるでしょうか? 今回紹介する作品は、そんなデジタルな時代に置いていかれた古書が眠る書店を舞台にした物語です。

「え、@ IT のメルマガなのにそんなアナログっぽい本を紹介するの?」

と思われた方、ちょっとお待ちください。この『ペナンブラ氏の 24 時間書店』（ロビン・スローン著 / 島村浩子訳、東京創元社 2014 年 4 月 25 日）は、そんな書店に潜むアナログなナゾに、テクノロジーを愛するデジタルな青年が挑んでいく物語なのです。

「Ruby は最高」と語る失業中の元デザイナーのクレイは、「ペナンブラ氏の 24 時間書店」の求人を見つけ、働くことに。一見ただの古書店に見えるそのお店ですが、奥には “google 検索にも引っかからない” ナゾの本がぎっしりと詰まった書架があり、少数の常連客だけがその本を借りていくという不思議な一面がありました。店主からそのナゾの本を読むことを禁じられているクレイですが、それに加えその客たちとのやりとり、客の様子、どのように本を請求したかを全てを記録するよう命じられます。

そんな閑古鳥が鳴くこのナゾに包まれた 24 時間書店の経営を、グーグルのターゲティング広告を使って立て直そうとするクレイ。彼はその広告を見てやってきた Google 社員の女の子や、とあるソフトウェア（読んだ方はそのくだらなさには笑はず）を開発した CEO といった仲間たちと、さまざまな先端テクノロジーを用いて不思議な書店の秘密を解き明かしていきます。

著者のロビン・スローン氏は「2014 年にはグーグルとアマゾンが合体した Googlezon がネットで収集した情報をもとに個人向けにニュースを自動生成する」という、2004 年当時の未来予想を描いた映画「EPIC 2014」の製作メンバー。きっとテクノロジーに親しみのある皆さんには楽しんでいただけるのではないかと思います。

(EM インダストリー事業部 エンジニアリングメディア統括部 : 陰山遼将)

## No.655

### IT環境のカイゼン／精密機器工場から出荷される野菜に嫉妬

2014年5月28日

# 【コラム】新人研修を終えた新入社員のつぶやき 精密機器工場から出荷される野菜に嫉妬

こんにちは。新人の笹本です。今回のコラムでは、農家の娘である私が、最近話題になることの多い“工場産の野菜”についてお伝えしたいと思います。

工場産の野菜とは、施設内で徹底管理されて育った野菜のこと。季節や外部環境に左右されずに栽培できたり、栄養素のコントロールまでできたりするそうです。最近では、電機メーカー各社が野菜の生産に熱心に取り組んでいて、半導体工場が野菜工場になったところもあるとのこと。農業を営む父が天気予報を見てはウンウンと唸っているのを間近で見てきた私としては、最新技術を駆使して栽培された野菜が気にならないわけがありません。「菌の侵入を制限したクリーンルームで育てられた」なんて、なんだか弱々しく育っていそうな気がしませんか……!

工場産の野菜に嫉妬のような、なんだかもやもやした気持ちを抱いていた矢先、取材帰りの同期から富士通が作った工場産の野菜をもらいました。憧れの人（というか野菜）に出会えた喜びに、すぐに食べてみたくなりましたが、ぐっとこらえて冷蔵庫に入れました。というのも、このレタス、畑で育てられたレタスに比べて、痛みにくいそうなんです。とりあえず、3日ほど様子を見てみました。

そして、3日後――。

3日も放っておいたのに、切り口が変色していなくてびっくりしました。弱々しいどころか、強過ぎる。しかも、洗わずに食べられるんです。手間いらすな、できるやつでした。パッケージの説明によれば普通のレタスより甘みがあるそうなのですが、私の個人的な感想としては、普通のレタスの味と変わりませんでした。味は変わらず、長持ちで、調理が楽。難点と言えば、価格くらいでしょうか……。

今後は、このように工場で栽培された野菜がスーパーに並ぶこともあるかもしれません。野菜から漂う土のにおいや葉っぱの間から虫が出てくるイベントがなくなるのは少し寂しいような気もしますが、さまざまな面で便利になりそうですね。当分、工場産の野菜への嫉妬が増すばかりの日々が続きそうです。

(IT インダストリー事業部 営業統括部 第三営業部：笹本理乃)

## No.656

# 新言語Swiftのコーディングで使えるUnicodeって何だっけ? / これだけはアナログ!

2014年6月4日

## [コラム] 根暗な新入社員のつぶやき これだけはアナログ!

就職氷河期を駆け抜け、この春から社会人になりました。新入社員の藤井です。メディアの frontline に立ってみて感じたのは「デジタル、便利〜!」ということです。研修中はいろいろな発表会や取材に同行して、最先端のテクノロジーを目の当たりにしてきました。

ちなみに、同行したのは JINS の新商品の発表会です。運転好きのメガネっ子としては「欲しいな〜。いくらで買えるんだろうな〜」と、JINS MEME の発売を今から楽しみにしております。

けれど、そんな私が 1 つだけアナログにこだわっているものがあります。それは、日記です。

かれこれ 17 歳のころから今日まで、ひっそりと書き続けているのですが、そんな日記を私は「デスノート」と呼んでおります。「えっ……」と思った皆さん、ご安心ください。私の「デスノート」は人の名前を書き連ねるものではなく、「悩みごとや悲しみばかりを書き過ぎたが故、人に見られた暁には……」という「(私が) デス(する)ノート」なのです。いつか絶対に世から消滅させたい(というか燃やしたい)がために、今日も手書きの日記を続けております。

……とまあ、ものすごく微妙な告白でした。何でもデータ化できるようになった現在、日記も、スマホのメモや公開範囲を決めたブログなどにつづるのは便利かもしれませんが、@ IT の読者の皆さまは最近文字を書きましたか? 私は社会人になってから、ペンを持たなくなったなと感じています。たまには、自分の字で言葉をつづってみることも新鮮で楽しいものですよ。

(技術開発本部: 藤井千桃子)

No.657

ストレージ装置とバックアップ / 最近の新人は頼もしい

2014年6月11日

## [コラム] 学生時代に総合格闘技をやっていた人事担当のつぶやき 最近の新人は頼もしい

「なぜそれが必要なのか、理由を理解して動きたいです」

「まず正解を知りたい、どうするのが正解ですか」

「失敗した方が学ぶことができるので、今うまくいなくて逆に良かったです」

——ここ数年の新社会人世代が発しそうな言葉を挙げるとすれば、この3つかと思います。本人たちが意識的・明示的に発することがなかったとしても、彼らの行動原則の中に、これらの感覚が強く組み込まれているように感じます。

こうした感覚はいずれも悪いことではないと思います。しかし、周囲にいる先輩（上司）としては、これらの感覚が原因で彼らの成長が停滞しないよう、気を配っておきたいところです。

目先の理由を細かく与えないと動けない癖がついてしまっはいけませんし、そもそも正解など存在しないビジネスの場面をどう生き抜くか、という大前提を発想に組み入れてもらう必要もあるでしょう。失敗が学習の大きなきっかけであるとしても、それを頼みに、最初からそれを頼みに行動しては、成長につながるとは思えません。

新社会人が抱えるこうした感覚は、周囲にいる大人たちが若者に対して過剰に“正しい情報”を与えようとした結果だとも考えられます。失敗しない若者、減点が少ない若者、自分たちの期待通りに動く若者を増やそうと過ぎているのかもしれない。

こう考えてみると、ちまたで行われる新人研修についても見直されるべき時期かと思います。これまでの新人研修では、とかく大人側の都合を“正解”として設定し、それらを正確に教え込もうとしていました。就活アドバイスなどにも言えるかもしれません。どうも、教える大人側がいろいろ口に出し過ぎるのです。そして、たいいてい大人がやってしまう“口出し”は全体的に古臭い（笑）。

新人にあれこれと教え込もうと口出しをする大人側も、環境の変化、テクノロジーの変化、ビジネスの変化に合

わせて、毎回自分をゼロリセットするくらいの覚悟を持たないといけないはずだと感じます。われわれの側も理由や正解なんて持っていないのではないのでしょうか。手段が目的化することで生まれてしまった（誤った）正解だつてあるでしょう。

そんなときは、新人たちと横並びで、一緒に学ぶスタンスがちょうどいいようにも思います。

いくら社会人経験が増えたとしても、ときには失敗もあります。成長しようとして、新しい環境を自ら求めているのならばそれも当然のことです。

一方で、先輩としての威厳とか、上司としての立場とかいったタテマエをあまり気にしなくても察してくれる、知恵のある若い世代が多くなっているようにも思います。

「先輩や上司も、大変なんですよ、ぼくらにも分かります」

——これも、最近の新人が発する代表的な言葉だったりします（笑）。よく分かっているね、君たち。

最近の新人は頼もしい。

（管理本部 総務人事部：浦野平也）

## No.658

### 業務アプリ運用のルール／戦争と平和とアニメと私。

2014年6月18日

## [コラム]当社広告運用を担うスタッフのつぶやき 戦争と平和とアニメと私。

「さよなら西暦。ようこそ、宇宙世紀」

アニメ作品「ガンダム」シリーズのファンなら耳や目にしたことがある言葉かもしれない。このせりふは「ガンダム」シリーズの1作品である『機動戦士ガンダム UC (ガンダム UC)』の冒頭で、登場人物の一人であるリカルド・マーセナスが演説で語った言葉だ。

『ガンダム UC』は、2010年に1作目を公開、2014年5月17日ついに完結編が劇場公開となった。全部の作品を見ていないので、好きというのはおこがましいかもしれないが、私は「ガンダム」シリーズが好きだ。「ガンダム」の他にも、アニメや漫画が大好きでよく漫画を買ったり、アニメを見たりしている。

実は、今最もお勧めのアニメ作品はといえば「ガンダム」ではなく『ダイヤのA』と『君と僕。』の2作品。『ダイヤのA』は毎週欠かさずアニメを見ており、漫画も全巻そろえている。2014年4月29日に行われた神宮球場でのイベントにも行った。もう一つの『君と僕。』に関しては、Twitterの「フォロワーさん」と「聖地巡礼」と称して京都旅行にも行ったほどだ。決して「ガンダム」シリーズ一辺倒なわけではない私ではあるが、やはり、オールタイムベストのアニメ作品は何かと聞かれたら、まずガンダムが浮かんでくる。

では、なぜガンダムという作品が数ある作品の中でも頭から離れないのだろう。それはガンダムのストーリーが一貫して戦争をテーマにしているからだと思う。

私は広島県出身で、小さなころから戦争や平和について考える機会が常にあった。原爆ドームはもちろん、原爆資料館にも小学生になる前から足を運び、小学校に通うようになると、毎年戦争をテーマにした『対馬丸』『パパママバイバイ』などの映画作品を鑑賞し、地元の方に戦時中の話を聞いたり、千羽鶴を折ったりもした。学校の図書室にあった『ちいちゃんのかげおくり』『まっ黒なおべんとう』『伸ちゃんの三輪車』などの絵本は今でも頭から離れることなくずっと残っている。

戦争について学習した後は必ず、戦争をなくして平和にするにはどうするべきかという問いかけがあり、他の地域の皆さんよりもこうした問題を考える機会が多かったように思う。

当時の私の答えはといえば、子供らしく「人と仲良くするとか」「話し合いをする」といっていたし、今でも『機動戦士ガンダム 00』のエンディングの映像にある、主人公の乗っていた機体に花が咲き、少年兵だったころの主人公の手から銃が落ちる描写を思い起こし、私は心からそんな未来が来ればよいと思っている。

しかし、世界には人の価値観、宗教、領土問題など戦争になる原因はたくさんあり、それらがある限り人間にとって平和な世界とは架空の理想郷なのかもしれない。アニメなどで描かれている平和とは、エンターテイメントでしかなく、描かれるような平和を望んでもどうしようもない。

それでも、今年も 8 月が近付けば『青い空は』の歌詞を口ずさんでしまう日があることだろう。

(技術開発本部 クリエイティブ・ソリューション統括部：加蘭充未)



## No.659

### ITエンジニアのコミュニケーションスキル／骨から身体を整える

2014年6月25日

## [コラム] 当社広告運用を担うスタッフのつぶやき 骨から身体を整える

入社以来 5 年と少し、ずっと座り仕事をしています。小さなころから親に物差しを背中に入れられるほど姿勢が悪く、繁忙期には首肩腰はじめ身体中カチカチになり、耐え切れなくなるたびにマッサージ店に駆け込んでいました。

そんな“生粋猫背”の私の背中がぴん! と伸びる体験をしました。皆さま、「ピラティス」をご存じでしょうか。よく「ヨガと何が違うの?」と聞かれる、マットを使った（機械を使うものもあるようです）エクササイズです。一般的にヨガは瞑想的な修行や治療、ピラティスはリハビリから生まれた身体づくりを目的としたものといわれています。

「背骨の一つ一つを真珠だと思って、上からくるくる回すように……」「お腹の上にお皿が置いてあって、そこにビー玉が載っているイメージで……」——私の先生は動作をこのように説明します。例えはかわいらしいのですが、動作は地味にシンドイです（笑）。また、呼吸の仕方も求められるので、日ごろいかに自分が息を止めて生きているかを感じます。

初めてレッスンを受けた後は、自然と背筋が伸びていることに驚きました。いつもの状態を思い出してわざと姿勢を崩すと、気持ちが悪くなるのと同時に、身体が「そうじゃないでしょ」と自然に背筋を伸ばしてくれるのです。今までの、姿勢を伸ばそうと試みるものの、いつの間にか猫背に戻っている状態と逆なのが面白くて笑ってしまいました。

先生いわく、これは「骨と骨とが元の間隔に戻っている」状態なのだそうです。もちろん効果は一時的なもので、継続して行うことが大事とのこと。ケガなどもし難くなるそうです。

デスクワークの方には特にお勧めです! 皆さまもぜひお試しください。

(技術開発本部 クリエイティブ・ソリューション統括部: 迫野由佳)

## No.660

### 新しい技術、新しいルール／「姿勢」がメジャーバージョンアップ

2014年7月2日

## [コラム] 技術開発本部長のつぶやき 「姿勢」がメジャーバージョンアップ

コンピューター（当時はマイコンと言っていた）に初めて触れたのは高校生のころだ。そのころ、この専門職に就くとはつゆほども思っていなかったが、今ではコンピューターがなければ、ただの人以下な自分になっている。

当時、コンピュータ技師（古い）といえば、頭脳労働者的なイメージがあったが、いざ自分になってみると、それほど頭を使っていると意識したことはない。ただし、経年劣化に伴ってか、最近、偏頭痛、肩凝りがひどくなってきていた。すわ劣化した脳が反乱を……と思ったものだが、どうやらデバイスの位置関係が原因らしい。

某ニュースサイトに掲載されていた「姿勢 2.0」によれば、動くことなく何時間も同じ姿勢を維持し続けるデスクトップやラップトップ型のコンピューターは史上最悪のデバイスらしい。その影響も、椎間板突出、椎間板ヘルニア、関節周囲炎、内臓機能不全……と予想以上に深刻だ。

この記事のアドバイスによれば、まず、ディスプレイの位置について「正面で読む文字は目に対して適正な距離と大きさを」とある。職場ではデュアルディスプレイを利用しているが、この春の席替えに伴い、左右のディスプレイを入れ替えた上に、情報量を押し込もうと小さい画面の方は解像度を上げるなど、この記事の指針からすると最悪な変更を行っていた。

こんな小さなことで変わるのか？ と始めは半信半疑だったが、環境を修正してみると、肩凝りや偏頭痛が徐々にだが軽減されたのだ。「最近凝りがひどいなあー」という方はぜひお試しあれ;-)

（技術開発本部：清水巖）

## No.661

データセンターをめぐる話 / あれから2年。子どもが成長し、私が気付いたこと  
2014年7月9日

# [コラム] アドバイジング・ソリューション部員のつぶやき あれから2年。子どもが成長し、 私が気付いたこと

@ IT の読者の皆さま、こんにちは。

一昨年、このメルマガのコラムに息子の誕生について書かせていただいた者です。気が付けばあれから2年が経ちました、今は仕事と育児に追われる日々の連続です。

毎朝、6時過ぎに起床し、今年で3歳になった上の子供の食事や着替えの支度をして保育園へ送ってから会社に向かっています。保育園は家からそう遠くはないのですが、片道でおよそ20分はかかってしまいます。

私の住んでいる土地は坂のとても多い地域なので、急な坂道を登り降りしながら保育園へ向かわなくてははいけません。普段でもきつく感じることのある勾配が、ベビーカーを押しながら進むと、それはそれはきつく感じられます（息子は歩けるが、歩く気がないのです）。

「ルートラボ」という土地の標高差を調べることができる Web サイトで調べてみたところ、家と保育園の最大の標高差は30メートルあることが分かりました。マンションに換算すると約10階に相当する高さだそうです。自分の子供の世話なので嫌だと思ったことはありませんが、冷静になってみると結構な労力だなと思いました。確かに近所で見掛ける自転車は、全て電動アシスト付きです。

一方で、坂の多い土地に住んで良かったと感じるところもあります。それは景色が良いという点です。少し足を伸ばせば絶景……とはいかないまでも、きれいな夜景や、天気の良い日には富士山がいつでも望めます。風通しも良いので、これからの季節は夕涼みにも最適な環境です。坂道はキツイですが、自分の住んでいる場所はとても気に入っています。朝は高台から望む富士を横目に保育園に向かい、夜は街の夜景を背に家路に就きます。

……と、格好良いことを書きましたが、全部、最近になって気が付いたことです。

恥ずかしい話ですが、子供が生まれたことで、否応なく早起きして、できるだけ早く仕事を切り上げて帰宅しなければいけなくなったただけの話です。

今まで、朝は当然そんな余裕はありませんでしたし、夜も遅かったので街の明かりも消えていました。ただただ、坂道がキツイだけだったのです。

思わぬところから生まれた新しい習慣が、普段気が付かなかった身近なものの素晴らしさを気付かせてくれたのです。

新しい「気付き」を教えてくれた 3 歳の息子に感謝したいと思います。

(技術開発本部 アドバイジング・ソリューション部：高砂里作)

No.662

OpenStack4周年 / Aが好き? Bが好き?

2014年7月16日

## [コラム] デザイン部員のつぶやき Aが好き? Bが好き?

「Optimizely」「planBCD」「Visual Website Optimizer」——。この数年で A/B テストを低価格で手軽に行えるサービスが増えてきました。

A/B テストを提供するサービスは以前からありましたが（グーグルのウェブサイトオプティマイザーなど）、実装・運用に手間が掛かることや、データ重視の意思決定ができない組織では十分に活用されてこなかったように思います。風向きが変わったのは Optimizely の登場です。

ご存じの方も多いと思いますが、Optimizely のダン・シロカー氏は Google Chrome の元プロダクトマネージャーで、2008 年の米国大統領選挙ではバラク・オバマ氏の陣営でデータ解析を行い、A/B テストを駆使して寄付金を 6000 万ドル上乗せした人物として知られています。彼はそのエピソードを追い風に Optimizely を立ち上げました。

その Optimizely が登場して数年——。日本国内からも 2013 年に元リクルートの須藤憲司氏が創業した Kaizen Platform が提供する planBCD がリリースされました。同サービスは A/B テストのボトルネックであった、改善案の作成を、クラウド上でデザイナー／エンジニアに外注できる仕組みを用意し、改善活動をワンストップで提供するサービスプラットフォームを作りました。

さらに 2014 年、Optimizely は API を開放し、オラクルの「Bluekai」との連携を、planBCD は Intimate Merger の「DMP」と連携することで、属性ターゲティングが可能になり、属性ごとに A/B テストを行い、より最適なデザインをユーザーに提供できる下地が出来上がりました。

今後、A/B テストサービスはさらに進化し、ユースフルな Web サイトが増えていくのではないのでしょうか。

最後になりますが、@ IT では昨年から小規模ながら A/B テストを繰り返しています。テストを繰り返すことで、皆さまにとって使いやすいサイトになれば幸いです。これからも @ IT をよろしく願いいたします。

(デザイン・ソリューション部：後藤健太郎)

## No.663

### 継続的インテグレーション(CI)してる? / 子供の世話と時間の使い方

2014年7月23日

## [コラム] デザイン部員のつぶやき 子供の世話と時間の使い方

わが家には 2 人の子供がいます。5 歳の長女（最近やっと会話が通じるようになった）、1 歳の次女（赤ちゃんが少し進化した生き物）です。長女は会話が通じるようになったとはいえ、まだまだやりたい放題のお年ごろ。次女にいたっては喋れる言葉が「マンマ、パパ、ネーネ、ワンワン」くらいで、あとはやっぱり好き放題に生きています。

子供の世話で心掛けていることは、まず第一に「死なせない」、次が「衣食住の充足」でしょうか。この最低限の世話をするだけでも毎日大変です。毎日の退社後の流れを書き出してみます。

#### (1) 最寄り駅まで帰る

寄り道厳禁。延長保育の時間になると料金が発生してしまいます。

#### (2) 駅近くのスーパーで夕食の材料を買う

野菜は宅配で頼んでいるので、主にその日のメインの肉か魚、あとはデザートなどを買い足します。

#### (3) 保育園にお迎え

この春から 2 人が同じ園に通えるようになったので、ずいぶん楽になりましたが、2 人まとめて歩くのは結構大変です。長女は勝手にかくれんぼを始めて柱の陰に隠れたり、次女は最近の彼女の「マイブーム」であるアリさんを見付けるのに必死で、なかなか歩いてくれません。保育園を出たところは公道を担っており、それなりに車も通るので 2 人が車にひかれられないように細心の注意を払います。かーさん、本気（マジ）です。

#### (4) 帰宅、夕食作り

2 人には DVD を見せて夕食の支度が終わるのを待ってもらいます。長女はお腹が空くようので、飴などの軽めのおやつを与えておきます。

#### (5) 夕食

長女は食事中に席を立ったり、人形遊びを始めたりするので注意しつつ、並行して次女の世話をします。

(6) お風呂

最近、お風呂上りに次女が裸で逃げていってしまうので、まず先に自分の体を拭いてから、次女をしっかり捕まえて着替えさせます。

(7) 歯磨き

長女は先に自分で磨いてもらって、私は仕上げ磨きをしてあげます。次女はふざけて逃げたがるので多少強引に歯磨きして、最後は泣かれます。

(8) 就寝

長女とは「今日あった楽しかったこと」を寝る前に話すようにしています。次女がもう少し喋れるようになったら次女の「今日楽しかったこと」も聞く予定です。

以上が寝るまでの流れです。ほぼ毎日同じです。これだけのことなんです、グツタリです。

長女が小学生になったら勉強の時間も組み込まなければいけません。机に向かう習慣を付けさせたいのですが、なかなか時間が取れないので、先日保育園の先生に相談しました。

先生のアドバイスは「勉強の習慣を付けさせるのも大事ですが、それよりも、今はお母さんと一緒に何か遊びの時間を作ってみてはどうでしょう。その中で会話が増えて子供の考えていることが分かるし、いずれはその時間を勉強に使ってもいいと思いますよ」とのことでした。

日々忙しさの中で衣食住の世話に気と時間を取られがちでしたが、先生の言葉によって、まずは一緒に遊ぶ時間が大事なんだと気が付きました。

タスクは変わりませんが、週のうち何日かは子供との遊ぶ時間を最優先にしてみようと思います。

(デザイン・ソリューション部：佐藤道子)

## No.664

### ITエンジニアが押さえておくべき書類のお作法 / 母と新しいコミュニティ

2014年7月30日

## [コラム] デザイン部員のつぶやき 母と新しいコミュニティ

よくある話ですが3年前に父親が亡くなって以来、実家で母親が一人暮らしをしています。

高齢者の一人暮らしは心配です。自分には兄と姉がおり、両人ともお互いの住んでいるところへ引き取ること考えているようですが、母はそれを拒否しています。

理由は実家がある町のコミュニティにあると思います。実家近くはいわゆる団塊ジュニアが多く産まれた地であり、そういった子どもたちの現在は自分と同様に実家から出て暮らしている人が相当多く、二世帯住宅などで暮らしている人はまれです。また高齢者ともなると同居人が亡くなっている方が多く、近所を見るだけでも半数以上が母親と同じように一人暮らしになっています。

そういった同じ境遇の人たちや、同じ境遇になる可能性のある人たちが、自然に支えあい助け合う関係を築いていっているようです。例えば、実家のお隣さんです。自分が住んでいたころは、それほど仲は良くなく、回覧板を届けるくらいの関係で食卓の話題に上ることもありませんでした。

そのお隣さんは数年前に奥さんを亡くし、いまでは旦那さんの一人暮らしです。同じ境遇であることから、困ったことなどが話題になり、だんだん話すようになったようで、たまに自分が実家に帰ると、お隣さんからお土産をもらったとか、お隣さんとかいう話をしたとか、よく話題に上るようになりました。困ったことがあったり留守になったりするときにはお互いに相談したり助け合ったりしているようです。

また、斜め向かいの方は最近、旦那さんを亡くしました。とても落ち込んでいる奥さんを母はこまめに話し掛けて話し相手になっているようです。なぜそうしているかと聞けば、父が亡くなったときにとても気を使って助けてもらったのと、自分がその気持ちがよく分かるからだそうです。

とても当たり前の話のような気がしますが、今の自分の環境からは想像すらできません。自分はお隣さんの名字すら知りません。こんな環境に母を無理やり連れてくるよりも、実家で一人暮らしをしている方がよほど安心感があるだろうと最近思うようになりました。そして、そんな理由で母もまた子どもの住む家への同居を拒否しているのだと思います。全ての人々がそういった環境で老後を過ごすわけではないでしょうから、そういった環境で母が過ごしていけることを今では嬉しく思っています。

(デザイン・ソリューション部: 石川徹)



## No.665

### 夏休みに何をしようか / 声優の技術に魅了される「艦これ」

2014年8月6日

## [コラム] デザイン部員のつぶやき 声優の技術に魅了される「艦これ」

8月3日、パシフィコ横浜で開催された人気ブラウザゲーム「艦隊これくしょん -艦これ-」の初公式ファンイベント「第一回横浜観艦式予行」に行ってきました。

「艦隊これくしょん -艦これ-」はプレイヤーが提督となり、擬人化された戦艦や駆逐艦などの女の子「艦娘」(かんむす)を育成し、艦隊を編成して敵艦隊を攻略するゲームです。DMM.com (ディーエムエムドットコム) と角川ゲームスが制作しました。

イベントでは、「艦娘」に声を当てている多数の声優さんが出演されたのですが、この声優さんがただ者ではない方ばかりなのです。

映画やアニメなどでは一人一役を演じることがほとんどで、一人二役、三役となるとかなり珍しいものですが、このゲームでは声優さんが声を使い分け、姉妹艦など多数の「艦娘」を担当しています。イベントでも舞台上で複数の艦娘を演じ分けており、好きな艦娘が演じられるたびに、ファンから歓声が上がりました。目の前で「艦娘」を演じ分けられるだけでも技術の高さを感じたのですが、さらにすごいのは、その演じ分けが声優さん自ら歌うキャラクターソングにも取り入れていたことです。

舞台上で音楽が鳴り出すと、艦娘の衣装を着た声優さんが歌い出します。声優さんは歌いながらも目まぐるしく「艦娘」を演じ分けており、この姿には「流石プロの技術」と魅了されました。

今回のイベントで登場した「艦娘」はごく一部でした。登場していない「艦娘」はまだまだいるので、今後、いくつかのキャラクターソングが生まれ、何人の声優さんが「艦娘」を演じ分けながら歌うのかと思うと期待に胸が膨らみます。

声優の技術が光るゲーム作品「艦隊これくしょん -艦これ-」は、2015年1月にはアニメ化が決定しており今後も目が離せません。

(デザイン・ソリューション部: 周木翔)

## No.666

### それでも現場はExcelで回る／「おひとりさま」とインターネット

2014年8月20日

# 【コラム】ITmedia News編集部員のつぶやき 「おひとりさま」とインターネット

レベル1: ラーメン、弁当 レベル2: 映画、ファミレス、レベル3: カラオケ——ネットに伝わるこんな「難易度レベル」をご存じですか。これは「一人〇〇」、つまり一人での行動のレベル感を表したものです。「一人ラーメン」は最もレベルが低く、それよりは「一人映画」や「一人カラオケ」のほうがちょっと難しい——ということになります。

私はマイペースで楽しめる一人〇〇が大好きです。人目が気になる方もいるでしょうが、「見られたところでどうせ一生会わない人だから」と気にしないことにしています。

先日楽しんだのは「一人海水浴」（「レベル13」という高難度だとか）。行き先の逗子海岸（神奈川県逗子市）は今季から「浜辺での音楽や飲酒の禁止」を打ち出したことで話題になりました。お客が減ったとも聞いていましたが、安心感が広がったのか、家族連れや若者でビーチは盛況でした。

もっとも、にぎわうビーチでも一人客は私くらい。「おひとりさま」なんて言葉が定着している一方で、「一人〇〇」は意外に見かけることが少ない印象です。やはり家族や友人など、複数の人々で体験を共有する機会の方が多というのが一般的なようです。

対照的なのがインターネットです。インターネットでは原理的に、それぞれのユーザーは常に「一人」としてネットワークにぶらさがっている形です。その意味で、インターネットは「おひとりさま」を合計した巨大な総体であるともいえそうです。ネットが「ぼっち」に優しいこと、ネット上の経験・体験がリアルと違った特異なものになるのは、こんなところにも理由があるのではないかと考えています。

今年の夏休みは少し遅めにとり、一人温泉・一人旅館・一人海水浴のコンボを連泊で楽しむ予定です。といっても「ラブプラス」を持参するので、カノジョと一緒に、といえなくもない……ですね。

(ITmedia ニュース編集部：小林伸也)

## No.667

画像にまつわるテクノロジー / 「オリ姫」には負けられません! プロ野球でもビッグデータ活用

2014年8月27日

# [コラム] IT インダストリー 営業部員のつぶやき 「オリ姫」には負けられません! プロ野球でもビッグデータ活用

8月も終わりに近づいてきましたが、まだまだ暑い日が続いていますね。

私事ですが、お盆休みを利用して広島に旅行に行ってきました。

お好み焼きや牡蠣を食べたり、宮島にフェリーで渡り厳島神社を眺めたりと、いろいろと回ったのですが、個人的に一番行きたかったところが「マツダスタジアム」でした。大阪出身の私ですが、プロ野球チーム「広島カープ」の大ファンでして……（大阪にいたころは周りが阪神タイガースファンばかりなので、大きな声で言えませんでした）。

やっと“聖地”にたどり着けたという達成感はたまらなかったです。多分使わないのですが、テンションが上がってしまい、試合の帰りに広島カープのマグカップ（プラスチック製で930円）も購入してしまいました。

少し話は変わりますが、「カープ女子」という言葉をスポーツニュースなどでよく耳にしますが、最近「オリ姫」や「猛牛女子」という言葉もあるのをご存じでしょうか? こちらは「オリックスバッファローズ」のイケメン選手の「追っかけ」をする女性ファンのことを指しているようです。

今年（2014年）、開幕前の低い下馬評を覆して快進撃を続けるオリックスバッファローズは、前半戦の観客動員数が前年と比較して16.2%増とのこと。その増加を支えるのは「オリ姫」「猛牛女子」と呼ばれる若い女性ファン層の増加によるものが大きいようです。

実は、これだけでなく、オリックスバッファローズでは、「ビッグデータ」活用による動員数増加施策も行っているとのこと。野球の世界でもITを駆使した経営戦略を導入していたことに驚きました。

ファンクラブの会員証はICカードになっていて、グッズやチケット購入、さらには飲食履歴などもデータとして蓄積されて性別、年齢別に分類しグッズや飲食の好みなどを分析、チケットセールスやイベントの企画、告知メールの文面までファン層に応じてアプローチを変えているとのこと。「ビッグデータ」の活用によって、ファンの満

足度が高まり、ファンクラブへの新規加入が大幅増となって昨年比 1.5 倍の 4 万人に達したそうです。

意外なところで「ビッグデータ」が活用されていて、チームの快進撃が大きなビジネスチャンスにもつながっているのですね。いやはや、あっぱれです。広島カーブも負けてられないですね。

また、応援に行かねば!

(IT インダストリー営業部：荒川昌幸)

No.668

5分で分かるIT(ネットワーク編) / TVは古いか、つまらないか?

2014年9月3日

## [コラム]ITインダストリー営業部員のつぶやき TVは古いか、つまらないか?

インターネットが普及してはや 20 年。普及してから 5 年後くらいの時に米国のとある調査会社が米国内の 10 代の若者に調査したところ、たしか 60%前後がネット視聴が主流、TV は見ないと回答していた記憶がある。私は、当時「この先 TV はどうなるのだろうか?」などと思っていた。

しかし、それから 15 年ほど経った現在、個人的には TV が面白くてつまらない。よくできているのである。海外の秘境に住む邦人を訪ねに行く番組、来日する外国人を空港でつかまえてその後密着取材! 前者は、頑張る、あるいはたくましく現地で活躍する日本人を紹介、後者は日本の“おもてなし”の気持ちと来日する彼らが思う日本を知ることができる。

他にも、日本が大好きな外国人とともに“日本流”を検証する番組や、隠れた親日国を紹介する番組などがある。笑いあり・涙あり・発見ありの、企画力・取材力・実行力に優れた番組が多数あるのだ!

そんな中で私がイチ押しなのは『秘密のケンミン SHOW』である。東京以外の道府県の土地土地の風習や食文化を、各地の代表タレントと共に紹介する番組なのだが、この番組のすごさは、ネタが切れないことである。「味噌汁の具にレタスを使う県」「大阪のイカ焼き」などなどだ。日本の懐の深さに、驚きと喜びと自信を感じる今日このごろである。ブラボー日本!! アイラブ日本!! 日本! 日本!

だいぶ脱線したので、話を最初に戻そう。「TV は古いか、つまらないか?」——私の所属チームには、娘ほどの年齢の女子（ティーンではない）が二人いる。まずは、リサーチせねばなるまい……。

う〜む、確かそのうちの一人は「家にテレビがない」と言っていたような……。結果が辛そうである。

(IT インダストリー営業部 : kitamu)

No.669

5分で分かるIT(Webデザイン・コンテンツ制作編) / 夏の終わりと改革の痛み

2014年9月10日

## [コラム]ITインダストリー営業部員のつぶやき 夏の終わりと改革の痛み

9月に入り、すっかり涼しくなってきました。2014年の夏が終わりましたが、皆さまはどのようにこの夏を過ごされたでしょうか？

この夏、話題になったことの一つに「逗子海岸の規制強化」が挙げられます。「海岸での飲酒全面禁止」「音楽を流すことの全面禁止」「海の家営業時間の大幅短縮化」というルール（「安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例」および「安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例施行規則」）が市議会で可決され、話題となりました。

ご存じでない方のために補足しておく、夏場の海水浴場における“やんちゃ”な若者らの騒音、海岸の“クラブ”化、飲酒トラブルに長年悩まされてきた逗子市では、地域住民や家族連れが安心して海水浴を楽しめるようにするために、上記の通りの大胆な規制に踏み切ったのです。

まるで、音楽そのものが悪であるかのような一連の流れに対して、おそらく騒音の原因になっているのであろう若者らだけでなく、ついには音楽界の著名アーティストまでが反対声明を出したりしていました。しかし、実際のところ、この一連の動きを死活問題として真剣に見守っていたのは、海の家オーナーたちでしょう。

コラム執筆に当たり、調べて分かったことですが、もともと逗子海岸の海の家が「クラブ化」に踏み切ったのも、海を家の売上減少に歯止めがきかず、若者を誘致しようとした苦肉の策だったようです。

思えば、祖父母の家が逗子にある私も、20年以上前は逗子海岸によく遊びに行っていたものです。たしかに、当時は静かで閑散とした海岸だったことを覚えています。結局、この夏の逗子海岸への来客数は約20万1300人と、昨年（2013年）の半分以下だったとの結果が9月1日に発表されていました。

何かを変えるために新しいことに取り組み、達成できたこともある一方で、別の問題が大きくなり過ぎたことで、全てを壊して原点に立ち戻る——痛みを伴う改革といえますね。

さて、多くの企業が、上半期の最終月を迎えるこの9月。変化の多い季節でもありますが、静かな波の音を感じつつ、前向きに頑張っていきたいと思います。

(ITインダストリー営業部：細沢功)

No.670

5分で分かるIT(セキュリティ基礎編) / けがの功名

2014年9月17日

## [コラム]ITインダストリー営業部員のつぶやき けがの功名

@ IT の読者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。体に不調を来たしていませんか? 唐突ですが、私は自身の誕生日ウィークである 8 月最終週に、不覚にも左足首にけがをしてしまいました。救急車で運ばれた病院で受けた診断の結果は全治 3 週間とのこと。その日以来、1 週間は左足を使えず松葉づえ生活に。現在はリハビリを受ける日々が続いております。

松葉づえ生活とはいえ、日々の仕事から完全に離れるわけにはいきません。出社しないわけにもいかず、朝の通勤ラッシュを避けるようにしたり、徒歩においても気にする部分が増えたりしました。そんな生活だからこそ刺激を受けた点も多く、それはそれで有意義に感じましたので、いくつか紹介しましょう。

例えば、通常より歩くスピードが 3 分の 1 程度になっていた時には、通常では意識していなかった事柄に気付きます。

前方からスマホを見ながら歩いてくる人がいれば、その人の歩くコースをイメージして早めに避けたり、前方の道が斜めに傾いていれば松葉づえを突く位置を早めにシミュレーションしたり、あるいは降車駅のエレベーターに近い車両に乗れるよう意識したり、などなどです。以前は意識的に使っていなかった部分の感覚が、けがをしたことによって研ぎ澄まされていくように感じます。

自分で自由にどうにでもできる体だったときは、“先のこと”にまったく意識が向いていなかったのだなと思いつつも返しもします。

そんな今年の夏も終わりましたが、けがの回復が確認できる毎日は、意外にも結構ポジティブになれたのでした。

(IT インダストリー営業部 : 久徳英一)

No.671

5分で分かるIT(開発+α編) / 「スポーツの秋」を堪能できる11月2日

2014年9月24日

**[コラム] 営業統括部部員のつぶやき**

## 「スポーツの秋」を堪能できる11月2日

すっかり涼しくなりました。秋ですね。秋といえば「スポーツの秋」。皆さん運動はしていますか? @ IT を運営してます弊社アイティメディアでは「スポーツ促進支援」なる制度がございまして、健康促進のためのスポーツ活動費用の一部(半期 5000 円)を補助してもらえます。

私、夏の初めにスポーツ刈り(髪型)にしたので、これで申請しようと思い、聞いたところ「面白いけど、NGです」という回答が……。証拠の写メも撮っておいたんですけどね。はて、どうしたものか。思案のしどころです。

さて、そんな私ですが学生時代はラグビーに励んでおり、一端のラグーマンをやっておりました。今は、見る専門でラグビー観戦を楽しんでいるのですが、まさにこの時期、ラグビーシーズン到来です。社会人ラグビー、大学ラグビーの試合が本格スタートする時期なんですね。

5年後には「2019 ラグビーワールドカップ」が日本で開催されます。ラグビーファンが一人でも多く増えることを願い、個人的に「大学ラグビーで最もパフォーマンスの高い」と思ってる日付をご紹介します。

それは、秩父宮ラグビー場(最寄駅:東京メトロ外苑前駅)で、早稲田 VS 帝京と、慶應 VS 明治の2試合が開催される、11月2日です。毎年同じ組み合わせの試合が同会場で行われますが、これらの大学が所属する「関東大学対抗戦」の優勝を左右する大きな山場であり、毎年熱い試合を見せてくれます。

この4チームは全国でも最高峰の大学チームであり、2013~2014シーズンの「全国大学選手権」では、上記の中から3大学が準決勝(ベスト4)に進出しました。

11月2日は、それらのチームの試合を1日にまとめて見る事ができるのです。外苑の銀杏が色付き始め、まだ秋風の気持ち良い中観戦できるので、ラグビーを初めて見る方でも楽しんでもらえると思います。ぜひ、一度ラグビー場に足を運んでラグビーの魅力を知ってもらえると嬉しいです。

(IT インダストリー事業部 営業統括部:平田雅章)



No.672

Software Definedまとめ / 蚊とビールとお祭り

2014年10月1日

## [コラム] ビジネス&テクノロジー統括部員のつぶやき 蚊とビールとお祭り

10月になりましたね。今年も早いものであと3カ月ですが、年末が近付いているという実感がまったく湧きません。気温もあまり下がっていないようで、何かと暖かい日が多い最近ですが、個人的には友人の結婚式（2次会）に呼ばれる回数が激増し、財布がどんどん冷え込んでいくのを身にしみて感じています。

そんな話はさておき、10月といえば「ビール」でしょう（異論は受け付けます）。オクトーバー、ということでドイツビールの祭典「OKTOBERFEST」（オクトーバーフェスト）が楽しみな1カ月です。日本におけるOKTOBERFESTは、簡単にいうと野外で海外のビールを飲むイベントです。醸造メーカーや販売代理店などが展開する屋台でビールを買い、そのまま会場内に設置されているテーブルで飲む——会場に行けば誰でも自由に参加できます。

このイベントはもともと、ドイツのバイエルン州ミュンヘン市で毎年秋に開かれるビール祭りが発祥ですが、今ではすっかり日本でも定着した印象を受けます。現在の形に近いオクトーバーフェストが日本で初めて開催されたのは2003年のこと。当初は横浜と日比谷だけでの開催でしたが、今では東京だけではなく奈良や長崎、仙台といった地方都市でも開催されており、その時期もさまざま……といいますが、10月を意味する「オクトーバー」の名前はそのままに、今ではほぼ1年中各所で開催しています。

そんなわけで先日、一足早く（10月まで待てずに）日比谷公園で行われていたオクトーバーフェストに参加してきました。土曜日ということもあり、大混雑が予想されたのですが、一つだけ“勝算”がありました。

「みんな、蚊が恐くて来ないじゃね……？」

当時はデング熱の報道が過熱しており、代々木公園も封鎖されて間もないタイミングでした。「お酒を飲むと蚊に刺されやすくなる」と言われていますし、ビールフェスティバルなど、はっきりいって危険極まりない場所なのです。となれば、参加者も減るはず。これならいける！ 全身に虫除けスプレーを掛けて対策し、日比谷公園に向かったのです。

しかし実際は、期待を裏切って日比谷公園は大盛況。席も全然空いていません。考えてみれば、皆も同様の対策を考えているはずなのですが、その時は「みんな蚊が恐くないの……」と、あ然としたのを覚えています。

蚊のリスクよりも、イベント参加を優先した人がこれだけいたのかと考えると（運営側もちろん虫除けの対策はしていましたが）、何か日本って平和だなーとしみじみ思っていました。

10月3～19日の期間、横浜の赤レンガ倉庫でオクトーバーフェストが開催されます（5日まではお台場でも開催しています）。提供されるビールは1000～1400円程度とやや高級ですが、ちょっとぐらいお財布が寒くなくても、ビール好きなら一度行ってみたいはいかがでしょうか。

（ビジネス&テクノロジー統括部：池田憲弘）

No.673

大規模オンラインサービスのインフラ/スポーツの秋がはかどるガジェット

2014年10月8日

**[コラム]@IT企画部員のつぶやき**

## スポーツの秋がはかどるガジェット

ここのところ、夏から一変して気温が下がり「もう秋だな……」と実感します。秋といえば「読書の秋」「食欲の秋」など、いろいろとありますが、皆さんはいかがでしょうか? 私にとって、今年は「スポーツの秋」です!

私は入社2年目なのですが、入社してから全く運動をしてきませんでした。しかし、今年の夏に知人に勧められて試しにランニングをしてみたところ、思った以上に楽しく、最近では時間があれば走るようになりました。目標の距離を走り切った時の達成感と、タイムを見ながら徐々に成長を実感できるのが、もうたまらないのです。いまはひそかに「東京マラソン」完走を目指して、日々精進しています。

ランニングはスポーツの中でもお金がかからないものだと思っていたのですが、凝り始めるとやはりある程度のお金がかかるようです。靴やウェア類、スポーツ用メガネなど専用のものはどれも高く、なかなか買えずにいます。オンラインショップを見ていると知らないうちに購入ボタンを押しそうになって「ハッ!」とわれに返ることもあります。

最近気になるのが、ランニング用のウェアラブル機器。「Nike + Fuelband」や「Jawbone」などがあります。どれも良さ悪しがあり、購入を悩んでしまっています。それに加えて、発売が待ち遠しいのが「Apple Watch」です。ガジェットとしても魅力的な「Apple Watch」ですが、加速度センサーにGPS、心拍計、消費カロリー計算など豊富な機能が、これ一つに搭載されているのは素晴らしいですね。

こうして書いていくと、ただのガジェット好きのようですが、目的はあくまでもランニングを楽しむこと。気温も涼くなって走りやすくなったので、遠征もしたいですね。ランニング用品をそろえつつ、どんどん走り込みたいと思います。

(@ IT 統括部: 中尾太貴)

No.674

安全なSQLについて考える / 千年くらい前の子どもの表情が面白い

2014年10月15日

**[コラム]@IT編集部員のつぶやき**

## 千年くらい前の子どもの表情が面白い

当方、年末にはクリスマスケーキを食べて寺で除夜の鐘を聞き、神社に年始の初詣をするような、典型的な「ちゃんぽん型」無宗教なのですが、最近、日本の古い仏教文化が面白く、本を読んだり博物館に出向いたりしています。千年くらい前の人たちが、命がけではるばる海をわたって、当時の最先端カルチャーを持ち帰ってきただけあって、本気度が違います。

現在、サントリー美術館（東京・六本木）では、高野山の歴史的文化財を収蔵する「霊宝館」などにある国宝を集めた企画展を開催しています。皆さんもきっと教科書で見たことがある運慶や快慶の作とされる彫刻像が生で見られるのです。

特に「八大童子」と呼ばれる8体の像のクオリティの高さは、ぜひ見てほしいところですが、今にも動き出しそうな表情、衣類の柔らかさを表現した細部のこだわりは見ていて飽きることがありません。

当時の宗教観を反映したそれぞれの表情には、現代の感覚からすると「なぜ?」と思うようなものもあります。穏やかな顔をしているのに、口元だけが犬歯をむき出しにしていたり、慈悲の心を表している像ということなのに、にらみつけるような表情をしていたり、なぜか龍に乗って半分だけ座禅を組んでいる像がいたり、それぞれ、当時の文脈では重要な意味があるようですが、まったくの素人が素で見ると面白い構図です。

さて、高野山は2015年に開山から1200年を迎えるのだとかで、観光PRにも余念がありません。来年のお披露目を目指していくつかの施設を改修した他、多数のイベントや旅行会社によるツアー企画が準備されているようです。標高の高い場所ですから、夏場の避暑にも良さそうですね。

(@ IT 統括部: 原田美穂)

No.675

安全なSQLについて考える / 千年くらい前の子どもの表情が面白い

2014年10月22日

## [コラム] TechTarget ジャパン キャンペーンマネジメント部員のつぶやき ゴルフの面白さが深まった出来事

夏のある日のことです。私は休日出勤の代休をいただき、平日にゴルフの練習に行きました。いわゆる「打ちっ放し」です。平日の朝7時でも1階打席は7割ほどが埋まっていました。私は翌日のコンペに向け、軽い調整のつもりで練習をしていました。しかし、ドライバーの調子が悪く、調整どころかどンドンスイングに力が入って悪い方に向かっていました。

私の隣で練習しているご老人（年齢は75歳でした）が1球打つたびに悩んでいる私をチラチラと見ています。打ちっ放しには初対面の人にも気軽に声を掛けてスイングを教えてくれる、正直いって「迷惑な方」がいらっしゃることがあります。きっとこのご老人もそんな教え好きな人だろうと思い、話し掛けられないように無視を決め込んでいました。翌日に本番プレーが控えているので、スイングをいじられたくありません。

しかし、絶対にこじ開けさせないつもりで固く閉じていた私のオーラも何のその、そのご老人は私に声を掛けてきました。「やっぱり来たか」と思いながらも、人生の大先輩であり、ゴルフという共通の趣味を持った者同士、なおざりな態度は取れません。ここは大人の対応で乗り切ろうと決心し、適当な受け答えでやり過ごそうとしました。

ところが、です。この方のスイング理論を聞いていると、ただのゴルフ好きの年金生活者とは思えなくなりました。どんな経歴をお持ちなのか会話の中で探ったところ、若いころはシングルプレーヤーで、有名なプロゴルファーにコーチをお願いしたこともあるかなりのお金持ちであることが分かりました。

ご老人は私の欠点を的確に捉え、1点集中でそれを直してくれました。15分ほどのレッスンでしたが、おかげで悩みだったフックボールが格段に改善されました。私が練習場を去るときにお礼のあいさつをすると、ゴルフに対する私の考えを一変させる深い言葉をくれました。

「君ね、ゴルフは理論武装だよ。スイング理論を頭に入れなさい。それがなければ練習が無駄になる。経営だって理論武装が大事だろ?」「いま40歳くらい? まだ間に合う。レッスンは高いから本を読みな。納得できる本に出会うまで何冊でも」こんな人と出会えるのも、ゴルフの面白さだったりするのです。

(TechTarget ジャパン キャンペーンマネジメント部 : 柳澤浩嗣)

No.676

Windowsユーザーのための最新便利ツール/ゲームセンターのぐち

2014年10月29日

## [コラム]TechTargetジャパン キャンペーンマネジメント部員のつぶやき ゲームセンターのぐち

皆さん、ゲームは好きですか？ 遊んでいますか？

一口にゲームと言っても、将棋やチェス、双六（すごろく）といったボードゲームから、トランプなどのカードゲーム、知恵の輪やクロスワードのパズル、それにスポーツも一種のゲームに分類できます。が、ここでは「コンピューターゲーム」もしくは「ビデオゲーム」「電子ゲーム」と呼ばれる種類のゲームを取り上げたいと思います。

コンピューターゲームといえば、やはり代表格は「ファミリーコンピュータ」、通称「ファミコン」ですね。今から約 30 年前に発売され、そこから爆発的に普及・認知共に広がっていきました。現在では手の平に乗るスマートフォンがファミコンの何倍何十倍以上の性能を持ち、カセットの何百倍何千倍以上のデータ量を無線で送受信できるようになり、遠くの見知らぬ相手とも一緒に遊べるソーシャルゲームが盛り上がっているのはご存じの通り。

しかし、このソーシャルゲームは、どちらかといえばゲーム本体よりもそれを通じたコミュニケーションが重視された作りになっています。つまり、自分で操作するアクションのプリミティブな快感と、自分とコンピューターの一騎打ちといった閉鎖的な楽しさが足りないのです。

特に、幼稚園のころスペースインベーダーのテーブル筐体に出会いシューティングゲームに目覚め、後の格闘ゲームの大流行では飛び込んで対戦するだけの社交性がなかったため横目に眺めつつ、「やっぱり一人で遊べるシューティングは最高の友達だね」と黙々 100 円玉を両替していた誰かにとっては。

そうして遊び続けてきたゲームセンター、通称「ゲーセン」ですが、昨今の利用状況は芳しくありません。娯楽の多様化もありますし、家庭用ゲーム機やスマートフォンの高性能化で陳腐化した面もあります。その逆境の中、私が愛するも採算は取りづらいレトロシューティングを多数稼働させて、この 10 月に「シューティング祭」を開催した奇妙なゲーセンが「高田馬場ミカド」。有名な「グラディウス」全シリーズから誰も知らないような珍作までが、あなたのコイン 1 個を待っている。私のコイン 1 個も待たれている。

皆さん、ゲームは好きですか？ 遊んでいますか？ みんなで行こうゲーセンミカド！ シューティング以外もいっぱいあるよ。以上、ゲーセンミカドの宣伝でした。（TechTarget ジャパン キャンペーンマネジメント部・野口優）

No.677

XX年問題のあれこれ / 3回目のモチベーション

2014年11月5日

## [コラム] TechTarget ジャパン キャンペーンマネジメント部員のつぶやき 3回目のモチベーション

目前に控えたマラソン大会に向けた練習に力が入ってきました。12月にハーフマラソン、1月にはフルマラソンに出場するので、両方の完走が目標です。いちおう、フルマラソンは2年前から年1回ずつ出場し、2年連続で完走しているので、今回はタイムを少しでも縮められればと意気込んでいます。

私がランニングを始めたのは3年前ですが、その際に走り方のコツを教えてくれた先輩がいます。地元の先輩で昔から仲が良く、もう十年來の酒飲み仲間です。その先輩が1年半前、脳梗塞で倒れました。幸い軽度でしたので命に別条はありませんが、後遺症のため趣味だった車やバイクの運転、サーフィンは今でもできません。その先輩が何と、先日フルマラソンを完走したというのです。

大病からたった1年半でのその成果に、周囲のわれわれは歓喜しました。「ゴールした瞬間、『一つ戻ってこられた』と思って涙が出たよ」と語る先輩は本当にステキでした。必死の努力をわれわれは見てきたので、その知らせに私も涙しました。

私が出場した2回のフルマラソンのうち、1回目はその先輩と一緒に走り、先にゴールした先輩は近所の銭湯に行きつつ、1時間以上後にゴールした私を待っていてくれました。2回目の出場となった前回、既に状態がかなり回復していた先輩は10キロの部に参加しました。そして今回はまた、一緒にフルマラソンを走ることができそうです。尊敬する先輩とまた一緒に走れることが、何よりも私のモチベーションとなっています。

(TechTarget ジャパン キャンペーンマネジメント部 : 納富友三)

No.678

スタートアップの本当のところ / IT ジャーナリストの“TL;DR”な日常

2014年11月12日

## [コラム] IT ジャーナリストのつぶやき IT ジャーナリストの“TL;DR”な日常

職業柄、日常的に英語の情報に接し、英語を母国語とする人にインタビューすることも多い私ですが、最近「TL;DR」という言葉に出会いました。「too long; didn't read (長過ぎて読んでいない)」の略で、英語圏のソーシャルメディアではよく使われているようです。この言葉そのものは知りませんでした。意味は私にとって全く新しくありません。記事を書いている間、一瞬たりとも頭から離れることのないポイントです。

ここでどさくさに紛れて、自慢をさせてください。私は英語でのインタビューをこれまで 800 回くらいやってきたのではないかと思います。50% くらいの確率でインタビュー後に相手からお褒めの言葉をもらいます。“Good questions (いい質問ですね)” や “Obviously you know this industry very well (この業界のことをよく分かっていますね)” はよく言われますが、これらについては単なるお世辞として受け取っています。

一番うれしかったのは、ある著名なエンジニアにインタビューした後で、その人が私のことを “He really knows his stuff (彼は本当に仕事分かっている、できるね)” と言っていたと人づてに聞いたときです。インタビューのトピックについて、真摯に向き合っていると評価されていると感じたからです。

しかし、良いインタビューをただけでは良い仕事をしたことになりません。TL;DR にならないように、考えながら記事を書いています。

結局のところ、記事が短いか長いかは、それぞれの読者の興味次第です。それでもできるだけ多くの方々に、何とか IT の世界の「文脈」を伝えたい。そういうつもりで、いつも悩みながら仕事をしています。

(エグゼクティブエディター：三木泉)



No.679

移ろわない技術 / 10年後、Web編集者って仕事あるかな？

2014年11月19日

## [コラム] 誠 Biz.ID 編集部員のつぶやき 10年後、Web編集者って 仕事あるかな？

元@ IT 編集部の岡田です。数年前に社内公募でコンシューマー向けの事業部に脱出したはずなのに、何の因果か@ IT が所属する IT 業界向けの事業部に「出戻り」です。昨年のおごろは「東京モーターショー」で美人コンパニオンを追いかけていたのに、今では中小企業の IT 化を追いかけています。

振り返ると、@ IT 通信を最後に編集したのが 2010 年 3 月 25 日付けの 448 号。コラムを書いたのは、何と 2004 年 11 月 11 日付けの 178 号。10 年も前のことなんて覚えていませんでしたよ……。

掘り起こして当時のコラムを読んでもみると、息子を連れて見に行った「デカレンジャー」のショーがいかに効率的に親の財布を狙ってくるかについての、愚痴のような駄文でした。その息子も今や高校生です。今はもっばら娘がはまっている「プリキュア」の魔の手から逃げる日々。その先には「アイカツ!」が!

ともあれ、10 年という期間はあっという間ですね。先日、「IT によって 10 年後になくなる仕事」が話題になりました。そのリストの中に「Web 編集者」という仕事は入っていませんが、今のままならそれほど遠くない未来には不要になっている気も。

編集や校正は機械でやった方が効率が良さそうですし、「こう書けばヒットする」という膨大なデータを基に良質なコンテンツを量産してくれるかもしれません。編集者なんかいなくても、書き手が原稿をシステムに入ればいいわけです。むしろ、原稿料の支払い手続きを忘れるような編集者がいなくなって幸せかも。何事も最適化ですなあ。

と、悲観的、自虐的な妄想はいくらでもできるわけですが、実際のところは分かりません。今の世の中には、スマホのように 10 年前にはなかったものがたくさんあります。

グリーやミクシィがゲーム事業を主力にするとは、当時は思いもしませんでした。10 年後、メディアはどんな形をしているのでしょうか？ それは分かりませんが、きっと「書き手」と「読者」をつなぐ仕事をしている気がします。

(誠 Biz.ID 編集部：岡田大助)

No.680

ありのままではダメよ～ダメダメ/オッサンと若者の境界

2014年11月26日

## [コラム]ITmediaエンタープライズ編集部員のつぶやき オッサンと若者の境界

エンタープライズ編集部の岩城です。これまでガジェット好きが高じて十数年、携帯電話とPCを扱うコンシューマー向け媒体にいましたが、何を血迷ったか企業 IT 分野の担当に移ってまいりました。あらためて「想定読者は、どんな人なのだろう」と考えていたところ、年齢層の幅、具体的には「オッサンと若者の境界はどこか」に考察が飛び火しました。

というのも、それを考えさせられる出来事を経験していたからです。

数年前、「PC USER」編集部数年ぶりの新人が配属されました。当時（今もですが）の“アタリ”ネタは、アップル製品とWindowsや自作PC関連製品。深夜2時に始まるアップル新製品の発表を受け「早速買っちゃったよ。ほらほら」、Windows新バージョンやインテルの新世代CPU登場を受け「深夜販売で買ったぞ」と、記事制作はもちろんですが、編集部内でも自慢合戦を繰り広げたものでした（今もですが）。

当時の大ボスと私ら（=オッサン）はその新人（=若者）を引き連れ、「新しいMacBook Airは買うだろ?」「深夜販売、楽しいだろ?」「あのころはもっと楽しかったんだぞ」と“ガジェット好きにさせる教育”に熱心でした（もちろん、それだけではありませんが）。

そんな、ウキウキの大ボスに隠れて、新人が私にぼそりと意見を言いました。

「（大ボス）さんの話が濃過ぎてついていけません（泣）。なぜ、PCを買わなきゃならないのですか？スマホでいいです」「明日の昼間や週末にゆっくり買えばいいのに、なぜわざわざ深夜なんですか？（哀）」

ただ、この考え方は今や勢力を伸ばして「当たり前」になった感があります。いわゆる“情報の消費”を担う作業はスマホで十分、“情報の創造”を担うPCは取りあえず会社にあります。情報漏えいの懸念から禁じられてきたノートPCの持ち帰りや私物タブレットの業務利用も、企業ITのモバイル対応や、私物デバイスの利用を考慮したセキュリティ対策の浸透などによって認められるならば、社員個人が別途所持する必要はなくなります。

では、深夜に並んでまでPCを購入することにウキウキする大ボスと、この新人、思考の異なる二つの勢力は、どこに境界があるのでしょうか？私は何らかの（IT技術の発展してきた歴史に対する）「懐かし話」に共感するか、

共感できずにただぼかーんとしてしまうか、がその境目ではないか、という考えに落ち着きました。

PC やケータイ、ゲーム機などのコンシューマー商材の場合は特にその違いが分かりやすく例にできますが、クラウドが進む企業 IT 分野でも「あのころは社内にサーバールームがあってさ。でな、ケーブル配線の並びの美しさにこだわりがあったんだ。え? どうでもいいなんて言うなよ」なんて話が情シスのメンバー間で繰り広げられているのかもしれない。

もちろん、どちらがいいかは別の話です。何にせよ「使うのは人である」という点は同じです。何らかのカテゴリに沿って企画を考える際、こういった妄想があとあと意外と役に立ったりします。

(ITmedia エンタープライズ編集部 : 岩城俊介)

No.681

OSS系開発プロジェクトの組織運営に学ぶ／コーヒー専門店が注目される理由

2014年12月2日

## 【コラム】Business Media 誠 編集部がつぶやき コーヒー専門店が注目される理由

毎年秋シーズンに書店を訪れると、「ワイン」や「ジャズ」の特集を組んだ雑誌が目につきます。前者は、11月第3木曜日に「ボジョレー・ヌーヴォー」が解禁されることなどが（PR 的にも）関係しているのは容易に分かるのですが、後者のジャズはなぜでしょう？

確かに、「東京 JAZZ」（9月）や「横浜ジャズプロムナード」（10月）といったフェスティバルが首都圏で開催されたり、“秋の夜長にジャズを”といったキャッチフレーズがしっくりくる季節であったりするのも理解できるのですが、実際ジャズは年中無休ですし、例えば、真夏のうだるような暑さで聴くジャズは情熱的です。ただ以前、某大手 CD チェーンの広報の方が「秋はジャズが売れる」とおっしゃっていたので、マーケティング的には成功しているのでしょう。

さて、例年はそんなことをうだうだと考えているのですが、今秋は書店の様相が少し違います。「コーヒー」の特集を組む雑誌やムックなどが多いのです。もっとも、コーヒーというテーマ自体は古くから定期的に展開されている“鉄板ネタ”でしょうが、今年はやけに目立ちます。コーヒー愛好家が急増しているのでしょうか。少なくとも私がよく行く純喫茶はいつも空いているのですが……。

推測としては、2015年2月、清澄白河に日本1号店をオープンする「Blue Bottle Coffee」にまつわる影響ではないかと思います。米国・サンフランシスコを中心に展開するコーヒーショップで、“コーヒー業界のアップル”と呼ばれています。特徴は一杯ずつ丁寧に入れるドリップコーヒーを提供している点です。日本の喫茶店ではごく普通のことですが、これが米国では大いにうけて、今もなお Blue Bottle Coffee は大ヒットしています。今年10月に出張でサンフランシスコを訪れた際、店舗に足を運びましたが、常に客の列ができていました。

日本での展開も楽しみですね。きっと連日、大行列ができるんだろうなあ……。

(Business Media 誠 編集部：伏見学)

## No.682

### 覚えておくべきオブジェクトストレージ&KVSの仕組み/ 今年のデジ系トピックベスト3はこれだ!

2014年12月10日

## 【コラム】@IT統括部員のつぶやき

# 今年のデジ系トピックベスト3はこれだ!

年の瀬も迫り、この1年を振り返るコンテンツが増えてきました。そこで今回は、個人的に注目したデジ系トピック・ベスト3を振り返ってみたいと思います。

### 【3位 YouTuber】

第3位は「YouTuber (ユーチューバー)」です。YouTuberとは、「YouTubeの動画再生で広告収入を得ている人たち」という意味で、その中でも群を抜いて有名なのが「HIKAKIN TV」を運営する「HIKAKIN」です。

口でリズムを奏でるヒューマンビートボックスである彼は（低音がいい感じですが）、軽妙なトークとリズムを織り交ぜたスタイルが人気で、ゲーム中継をしたり、超巨大なチョコレートを作ってみせたりと、人々の好奇心を巧みに操っているのが印象的です（アイコンの作り方が上手ですね）。

ベスト3への選定理由は、まったく無名であった一般人の彼が、誰でも使えるインフラを使って1億を超える広告収入を得た点です（ブログのアフィリエイト収入なんてスズメの涙ですからね）。また、通信インフラの高速化やスマホの普及など、この時代“らしさ”が後押ししている点も見逃せません。

余談ですが、芸人の「日本エレキテル連合」も「日本エレキテル連合の感電パラレル」というチャンネルを持っていますので、冒頭の定義と照らし合わせるに彼女らもYouTuberということになりますね。

### 【2位 格安SIM】

IIJ（インターネットイニシアティブ）が2014年10月に料金据え置きで通信容量を倍増して以来、各社から魅力的な格安SIMが続々と提供されるようになりました（本当に良い切っ掛けを作ってくれました!）。

特にここ数カ月は、イオンの成功を見てか、ツタヤや日本郵政など「全国展開」していて「リアル店舗」を持つ企業の参入表明が相次ぎました。リアル店舗で対応できる強みを見越してのことでしょう（個人的には数日ならばSIMの郵送を待てますが）。

かくいう私も、この年末年始で格安SIMを申し込んでみようと思っているのですが、とにかくサービスのバリ

エーションが多く、「格安 SIM を手に入れて何を実現したいのか」を明確にする作業が必要だと痛感しました（迷いに迷っています）。それくらい、各社が提供するサービスは個性的で、魅力あふれるものが多いと言えます。

### 【1 位 動画配信サービス】

第 1 位は、定額で動画コンテンツが楽しめる「Hulu」「d ビデオ」「UULA」などの動画配信サービスです。大勢の人たちが心血を注いで作った映画やドラマなどの動画コンテンツをいつでもどこにいても楽しめるわけですから、個人的には動画共有サービスなどとは一線を引いてお話ししたいところです。

ちなみに、視聴できるコンテンツは各サービスごとに異なり（UULA は音楽配信にも積極的）、しかも定期的に入れ替わるため、目ぼしい作品がなくなったらサービスを切り替えるのが私流です（使い勝手も各社で異なります）。

先日までは Hulu でアメリカのテレビドラマ「アンダー・ザ・ドーム」を視聴していたのですが、この作品の続編が出そろうまでしばらくかかるとのこと。そんな時に、「d ビデオ」（NTT ドコモ提供）がキャリアフリー化したと聞き付け（ソフトバンクモバイルの利用者でも視聴可能になった）、早速加入してみました。キャリアフリー化は 2014 年 4 月からのことだそうなので「遅耳」ですね……）。

というわけで、今回のベスト 3。スマホで動画を思う存分楽しみたいけれど、大手通信キャリアの 3 日間で 1GB 制限は厳しい。となると使い放題の格安 SIM は魅力的だけど MNP できる選択肢が少ないので、通信専用 SIM + ルーターが無難かと思いきや、これだと格安じゃないじゃないか。いやいや、そもそも格安を目指して通信 SIM を選んだわけではなく……、と迷走する今の自分らしいベスト 3 となりました。

（@ IT 統括部：大倉雅弘）

## No.683

### 人間とコンピューターの未来 / 2014年、オレ的よく聴いたアルバムベスト10

2014年12月17日

#### [コラム] @IT編集部員のつぶやき

# 2014年、オレ的よく聴いた アルバムベスト10

@ IT 編集部の大沼です。例年、メルマガの担当者が自ら「俺ベスト 20 曲」を選んでいるらしいのですが、今年には私が仕事 / プライベートを含めてよく聴いたアルバムの「ベスト 10」を紹介させていただきます。

1 アーティスト / グループにつき 1 アルバム。アルバム名 / アーティスト名、() 内はリリース年です。

1 : Wild Frontier / Gary Moore (1987)

2011 年に亡くなったギタリストの 8 枚目。ハードロックのアルバムなのですが、出身地であるアイルランドの音楽の影響が強く出ているせいか、なんだか懐かしさを感じさせてくれます。『The Loner』『Crying in the Shadows』(この曲は本田美奈子さんに提供した『the Cross ~愛の十字架~』のセルフカバー) の ? 曲で、彼の本領“泣きのギター”を堪能しました。ちなみに、羽生結弦選手が金メダルを獲得したソチ五輪、『パリの散歩道』を使ったショートプログラムの日(2月26日)は、ムーアの 3 回目の命日でした。

2 : Dr.Feelgood / Motley Crue (1989)

80 年代に一世を風靡した LA メタルの代表格バンドで、メタル系では珍しく、全米アルバムチャートで 1 位を獲得したアルバムです。いかにもアメリカっぽいカラッとした、ノリの良いハードロックから、ポジティブなメッセージのバラードまで、バラエティに富んだ、まさに“捨て曲なし”の名盤。テンションを上げてくれる『Kickstart My Heart』で仕事のスタートです。

3 : How The West Was Won / Led Zeppelin (2003)

解散から 23 年後にリリース。ツェッペリンが最も充実していた 72 年のライブを収録した 3 枚組です。あらためてライブのバンドだなあと認識させられる一枚でした。23 分にも及ぶ『Whole Lotta Love』も、長いと感じさせない演奏力にはただただ感服。いつまでも聴いていたい気にさせてくれます。生でページ先生の演奏を見たのは一度だけ。

4: Afterburner / ZZ Top (1985)

陽気なテキサスのオッサン 3 人組の 9 枚目。いつまでも変わらない、アメリカンなブルース&カントリーを聴かせてくれます。シンセを多用した本アルバムは、いかにも 80 年代っぽく、さっくりと聴けます。『Sleeping Bag』は、高速道路のゆっくりクルージングにピッタリでした。この曲のミュージックビデオも面白いですよ。

5: Wheels of Fire / Cream (1968)

邦題『クリームの素晴らしき世界』。今年 10 月 25 日にベースのジャック・ブルースが亡くなりました。ギター、ベース、ドラムのシンプルな構成で、本当に素晴らしいロックを聴かせてくれます。『Crossroad』のエリック・クラプトンのギターは、何度聴いても鳥肌モノですね。「Clapton is God」と、壁に落書きしたくなるというものです。今の落ち着いた、しぶいクラプトンとは違い、かなりはっちゃけた感じがすごく素敵です。

6: Electric Ladyland / Jimi Hendrix (1968)

ギターの革命児、ジミヘンさんの 3 枚目。多くのミュージシャンに影響を与えたといわれるだけあって、曲作り、演奏、パフォーマンスは実に個性的。そんな彼の音楽が確立しつつあったのがこのアルバムです。ポップでハードな『Crosstown Traffic』、ちょっとファンキーな『Rainy Day, Dream Away』、リフとワウペダルが唸りまくる『Voodoo Child』など、今聴いてもカッコイイですね。こんなふうにギターが弾けたら超楽しそう、と思いながら聴いていました。

7: LONG LIVE ROCK'N'ROLL / Rainbow (1978)

邦題『バビロンの城門』。Deep Purple のリッチー・ブラックモアとロニー・ジェイムズ・ディオ、コーギー・パウエルの 3 人、それぞれの才能が融合し、極上のハードロックを生み出しました。クラシカルな超大作『Gates of Babylon』、疾走感抜群の『Kill The King』は必聴。いつもはやる気のないリッチーも、このときばかりはノリノリです。

8: TIMERS / ザ・タイマーズ (1989)

「ZERRY」（忌野清志郎によく似ている人だそうで）が率いたバンドの 1 枚目。『デイ・ドリーム・ビリーバー』が CM でよく使われるので聞いたことがあると思いますが、デビュー当時は何かと騒動の多いことでも有名でした（生放送の演奏中にラジオ局を罵倒など）。工事用ヘルメットをかぶって、口元を手ぬぐいで覆いながら、当時の社会を風刺した曲を演奏する姿は衝撃的でした。彼らのメッセージには、今でも考えさせられるところがありますね。

9: Lumieres / 村治佳織 (2005)

いつもハードな曲ばかりでは耳が疲れてきたとき、よく聴いたのがこのアルバム。サティ、ドビュッシー、ラヴェル、ミシェル・ルグランなどを、素晴らしいギターの音色で聴かせてくれます。特に、『亡き王女のためのパヴァーヌ』が秀逸。日本が世界に誇るクラシック・ギタリストの音は耳に優しく、心身がゆるりとなりました。



10 : Spirit Of The Forest / Korpiklaani (2004)

邦題『翔び出せ！コルピクラニ』。日本版の発売元が付ける奇抜な邦題と、『Wooden Pints』（邦題：酒場で格闘ドンジャラホイ）のPVがインターネット上で大ウケしたフィンランド発の「森メタル」バンドの1枚目。その後「旅メタル」「酒メタル」などジャンルが揺れましたが、基本はメタルなので普通に聴けます。別アルバム収録の「Vodka」もギターリフが最高にカッコイイ曲です。ミュージックビデオではバイオリンがイイ味を出していましたが、2011年に健康上の理由で脱退したそうで。残念。

今年は、羽生選手の金メダル獲得に一役買った、ゲイリー・ムーアに脚光が当たったことが個人的にはうれしかったですね。ソチ五輪のショートプログラムで使われたのは34年前のライブ音源で、そのCDも再発売されたそうです。良い曲はいつまでも、多くの方に聴いてもらいたいものですね。

(@ IT 編集部 : 大沼淳哉)

No.684

担当のお勧め記事トップ4/エンタープライズITとマイルス

2014年12月24日

【コラム】@IT編集長のつぶやき

## エンタープライズITとマイルス

「伝説というのは、過去の業績にしがみついている老人のことだろ」——今年もいろいろなトレンドが生まれてきたエンタープライズITの世界。やや過激な表現ではありますが、今ほどこうした考え方、スタンスが重要なタイミングもないのではないのでしょうか。ご存じの方も多いかもかもしれませんね。これはジャズのトレンドを常にリードし続けてきたジャズトランペッター、マイルス・デイビスの言葉です。

言い尽くされてきたことではありますが、ジャズの歴史は彼の歴史を追うことで、ほぼその全てを追うことができてしまいます。というのも、スウィング、ビバップ、クール、ハードバップ、モダン、フリー／モード、新主流派と経て、フュージョンにつながっていった演奏スタイルの歴史において、クール以降のほとんど全てにマイルスが絡んでいるからです。さまざまなプレーヤーが時代に即した音楽を探り、スタイルを模索してきた大きなうねりの中で、マイルスは常にトレンドをリードする立ち位置にいたのです。

ジャズの世界をIT業界に例えるのはやや無理があるかとは思いますが、次々と新しいものが出たり、新しいと思えば過去の焼き直しだったり、といったところは似ているのではないのでしょうか。そうした“常に新しいものが出てくる世界”においては、冒頭の言葉のようなマイルスのスタンスは、非常に重要だと思うのです。

実際、今年のエンタープライズITの世界は、ずいぶんと“スタイルが変化”するための土壌が整った年でした。開発と運用が連携して早く作り、早く改善する「DevOps」、オープンソースのプライベートクラウド構築ソフトウェア「OpenStack」、インフラを抽象化してソフトウェアでコントロールする「Software-Defined x」、各種運用管理作業を自動化する「運用自動化」、IoT (Internet of Things) による SoE (System of Engagement) へのチャレンジなどなど。このように並べてしまうと、一見それぞれ別のトピックのようにも見えますが、その実、これらは全てつながっています。そのつながり方が、ここにきてぐんと分かりやすくなってきたのではないかと思います。

例えば DevOps も OpenStack も自動化がキーワード。いま必要なものを、速く作って、速く正確に展開するためのものです。運用管理も、(OpenStack で語られる自動化とは文脈が違うものの) 自動化をキーワードに、問題の予兆を検知して素早く、確実に対処する、といった方向に変わってきています。

これらを一言でいえば、「システムはずっとそのまま」という前提が、「システムは変わり続ける」という前提に

変わった——よりシンプルに言えば、従来の「静的な構築・運用」が、「動的な構築・運用」というスタイルに変わってきたということです。数年前から指摘されてきたことではありますが、さまざまなトレンドが出そろった今、「構築・運用スタイルの変化」という大きなうねりが、本格的に立ち上がろうとしているのです。

もちろん、従来型の構築・運用スタイルがなくなることはないでしょう。しかし、新しい経営環境、IT 環境が求めるスタイルとのズレが、2015 年は、より明確に立ち現われてくるのではないのでしょうか。現にそうしたスタイルのズレに起因する問題は、これまでも多数の現場で起こってきました。

例えばサーバー仮想化環境やクラウド環境の管理に、従来型の静的な運用管理スタイルだけで対応しようとしても、なかなかうまくいきません。乱暴かもしれませんがこれを音楽の世界に例えると、電子楽器を使い 16 ビートで演奏するフュージョンを、スウィングのスタイルだけで演奏しようとしている、といったところなのかもしれません。ニーズや環境に即してスタイルを変える必要があるのは、音楽も IT も仕事も人生も、同じなのかもしれませんね。

ちなみにマイルスの名言には、クリエイターという面で共通点があるためか、開発・運用のエンジニアにも当てはまりそうな言葉がいろいろあります。スタイル変革が迫られている今、これらの言葉がエンタープライズ IT の世界でも大切なことを示唆しているように感じるのは、少々考え過ぎでしょうか。

「先に演奏するぞ、曲名はあとで教える」

「ジャンルというヤツは嫌いだ。そんなもの、音楽には関係ないだろう」

「音楽は競争じゃない。協調だ。一緒に演奏して互いに作り上げていくものなんだ」

「終わってしまう前に、終われ」

「偉大なバンドを作り上げるためには、全員の犠牲が必要で、それなしじゃ何も起こらない」

※出展／参考：『マイルス・デイビス自叙伝（1）（2）』（宝島社）

2014 年も@ IT をご愛読くださり誠にありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。

（@ IT 編集長：内野宏信）

2015

No.685

2015年、どんな技術が流行るかのヒント／変化へのチャレンジ

2015年1月7日

## [コラム]アイティメディア代表のつぶやき 変化へのチャレンジ

@ IT 読者の皆さま

新年明けましておめでとうございます。本年も@ IT をよろしく願い申し上げます。

当社は、1999年12月に創業しちょうど15周年を迎えました。また、2000年2月にスタートした@ IT も今年でちょうど15周年を迎えることとなります。

変化の激しいインターネットやメディアの世界で15年を経た今日でも、皆さまのお側でお役に立てるのは、ひとえに読者の皆さまの支持があってのことです。心より御礼申し上げます。

とはいえ、ご存じの通り、IT分野のトレンドも足早く、開発現場の皆さまも、また編集部の記者や編集者もその変化への対応を迫られている毎日かと思えます。

@ IT も昨年は内野新編集長の下、さまざまな変化にチャレンジして参りました。@ IT 記事中にITエンジニアのためのQ&Aサービス「QA@IT」の仕組みを取り入れ、新サービスとして人気連載をまとめてPDFで読める「@IT ebooks」をスタートしました。また、ITエキスパートのための成長支援メディア「自分戦略研究所」(略称:自分研、ジブンケン)のリニューアルも行いました。

2015年も読者の皆さまにさらに愛されるメディアとなるべく、編集部一丸となって取り組んでまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

また、既に発表させていただいた通り、4月には旧来リクルート社が運営されてきた「キーマンズネット」を経営統合いたします。こちらは、既にご存じの方も多いと思いますが、IT関連製品を選定するためのデータベース型情報メディアです。@ IT に加えてご活用いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

(アイティメディア 代表取締役社長:大槻利樹)

No.686

ジョブチェンジの前に読みたい記事 / 天津には甘栗屋が一軒しかない

2015年1月14日

## [コラム] @IT キャンペーンマネジメント部長のつぶやき 天津には甘栗屋が一軒しかない

2014 年秋の連休（シルバーウィーク）にふと旅に出たいと思い立ち、留学中の友人が住む北京に行ってきました。北京は二度目の訪問です。一回目は北京オリンピック開催まで一年を切った、2007 年 9 月に超弾丸（北京滞在時間 38 時間）で行きました。街の至るところで急ピッチの工事が行われており、あの悪名高き公衆トイレなども残っていましたが、利用する勇気はちょっとなかったので体験せずじまいでした。あれから 7 年、再び北京の地を踏んだところ……なんとまあ、きれいに整えられていること！ 空港も、地下鉄も、繁華街の道路などもきれいに整備されているため、古い中国のイメージを持って訪れるとちょっと拍子抜けするかもしれません。

さて、北京旅行での代表的な観光地といえば万里の長城（八達嶺）ですが、一回目の北京旅行で行ってしまったので、今回は北京から高速鉄道を利用して片道約 30 分の天津に行ってきました。「天津」といえば読者の皆さんに思い浮かぶのは「天津飯」「天津甘栗」ではないでしょうか？

ところが！ どちらも天津発祥ではないんです！ ショック！！

しかし、天津にも甘栗屋が一軒あるということで、ガイドブック『地球の歩き方』を参考に「天津で天津甘栗を食べたい」と言いたいがためだけに、地下鉄とタクシーを乗り継いで、わざわざその天津唯一の甘栗屋に向かったのです。

甘栗屋があるとされるエリアに降り立ったものの、そこはビジネスエリアでした。周囲はきれいなオフィスビルが多く、なんとなく私がイメージしていた“街角で栗を売るおじさん”がいる雰囲気ではありません。

ウロつくこと約 10 分。「こんなところに本当に甘栗屋があるの？」と不安になってきたその時、新聞記者を勤める同行者が「あっ！ 栗の皮が落ちている！ 現場は近いぞ！！」と、本領（？）を発揮し、無事に目的の甘栗屋を発見したのでした。店舗はビルの 1 階にありました。都内にお住まいの方ならば甘栗屋「甘栗太郎」の店舗をイメージしていただくと近いと思います。

こうして無事、天津甘栗にありつけて、思い出深い天津旅行となりました。どんなにくだらないうちでも、旅に目的があると印象深くなるのでお勧めです。そんな私の 2014 年の旅の達成感第 1 位は「アンマンであんまん！」でした（成田空港のコンビニからわざわざ空輸しました）。今年は何をしようかなー。

（@ IT キャンペーンマネジメント部：小野田涼子）

No.687

全てはプログラマブルになる／プロレス人気が再び高まっている件

2015年1月21日

## [コラム]“プロレス大好き”MONOist編集長のつぶやき プロレス人気が再び高まっている件

前回私が「@ IT 通信」のコラムを担当したのは、2011 年秋ごろだったでしょうか。約 3 年半ぶりの担当となりますが、その間に大きく変わったことがあります。

私がこよなく愛するプロレスの人気がえらく高まっているのです。体感では前回コラムの時と比べて約 10 倍くらいの伸び。年間の書籍購入コストの 95%が雑誌『週刊プロレス』で占められている私が言うのだから間違いない。

総合格闘技「K1」や「プライド」が一世を風靡した 2000 年代前半、プロレス人気はどん底まで落ち込んでいました。「新日本プロレス」の永田選手が年末の格闘技興業でミルコ・クロコップやエメリヤーエンコ・ヒョードルといった総合格闘技の選手に“秒殺”されていたあのころと比べて、今は雲泥の差という感じです。

これも、2012 年にカードゲーム会社のブシロードが新日本プロレスを買収してくれたおかげだったりします。ブシロードが、子どもとオタクに売りつけたカードゲームの利益で、新日本プロレスの夏の祭典「G1 クライマックス」の広告を手線で展開したりする。プロレスファンにとって、とてもありがたいことです。子どもとオタクに足を向けて寝ることはできません。

新日本プロレスの興業チケットも売れ行き好調です。昔は土日の後楽園ホールもガラガラだったので当日券で余裕で観戦できましたが、最近は予約が必要になっています。

この新日本プロレス人気、トリクルダウン的に他の団体にもしたたり落ちてきてくれればいいんですが、まだそこまで入っていません。前回のコラムで書いた通り、「ジャンボ鶴田最強」幻想に惑わされ続けている私としては、馬場・猪木の時代に新日本プロレスと競っていた「全日本プロレス」に頑張ってもらいたいところ。2000 年に新団体「ノア」と分裂してから、今度は 2013 年に新団体「W-1」と分裂したのでかなりつらい状況ではあるんですが、何とか復活してほしい。

全日本プロレスの期待の選手は、一時は“ネクストジャンボ”と呼ばれた諏訪魔（誤字じゃなくてこういうリングネーム）ですかね。

(MONOist 編集長：朴尚洙)

No.688

ソフトウェア品質って何だっけ? / サブカルの聖地がモノづくりの聖地に!?

2015年1月28日

## [コラム] MONOist 副編集長 / 3D モデラボ担当のつぶやき サブカルの聖地がモノづくりの聖地に!?

@ IT 読者の皆さん、こんにちは。突然ですが、「3D プリンター」を目にしたことはありますか? 触れたことはありますか?

製造業の現場では、ソフトウェアの UI 開発と同様、早い段階でプロトタイプを作る「ラピッドプロトタイプング」の手法を用いる際に、試作品開発などで 3D プリンターが活用されてきましたが、IT 系エンジニアが多い @ IT 読者の皆さんの職場環境では、まだ見たり触れたりする機会は少ないかと思います。

一般への普及という点では、数年前から家電量販店などで個人用途向けの「パーソナル 3D プリンター」が販売されるようになりましたが、残念ながらまだ“パーソナル”には程遠く、一般の方が使う（家庭で使う）にはハードルの高い装置……というのが多くの人が抱く感想ではないでしょうか?

ただ、読者の皆さんの中には“個人のモノづくり”に興味があり、3D プリンターに高い関心を持たれている方もいらっしゃると思います。今回のコラムでは、そんな方にオススメのスポットをご紹介しますと思います。

その名も「あッ 3D プリンター屋だッ!!」です (笑)。

ちょっとふざけた名前のこのお店。サブカルの聖地「中野ブロードウェイ」の地下 1 階にあります。

中野ブロードウェイを訪れたことのある方はお分かりだと思いますが、地下 1 階はスーパー、八百屋、魚屋、肉屋、ソフトクリーム屋、雑貨屋、洋服屋などが「ごった煮」状態で並ぶカオス空間です。うろつく人たちも、買い物に来ている主婦、おじいさん&おばあさん、そして学校帰りの女子高生といった具合にさまざまです。そんな中で、国内外の複数のパーソナル 3D プリンターが「ブォーン、ブォーン」と動いているのです。店舗と通路を遮る壁は一切ありませんので、そこを行き交う人々は「あッ、3D プリンターだ!」とお店側の思惑通りの言葉を口にして、興味深げに 3D プリンターの動作や出力した造形物を見て、触れていきます。

店長さんいわく、「3D プリンターに興味を持っている人が気軽に立ち寄り、お客さん同士でコミュニケーションが自然と生まれて情報交換をし合える、『古き良きバイクショップ』のような存在にしたいんです」とのこと。中野ブロードウェイという場所柄か、今では 3D プリンターで鉄道模型を作る「CAD 鉄」、ヨーヨーを作る「Yoyo-



Maker」、消波ブロックを作る「テトラガール」と呼ばれる感度の良い（ちょっと変わった）人たちが自分の欲求をカタチにすべくお店に顔を出しているそうです。

まだ一家に 1 台には程遠い 3D プリンターですが、興味を持たれている方は多くいらっしゃると思います。近くで見たい、触ってみたい、詳しい人にいろいろ聞いてみたいという方は、一度、中野ブロードウェイの地下 1 階に足を運んでみてはいかがでしょうか。きっと、新しい世界が開けるはずです !!

(MONOist 副編集長 / 3D モデラボ担当 : 八木沢篤)

No.689

攻撃者に代わってお仕置きよ! / ピンチはチャンス

2015年2月4日

## [コラム] MONOist 副編集長のつぶやき ピンチはチャンス

私は元来いい加減な性格で、いろいろ思い悩むことがあっても一晩寝れば忘れてしまうというような都合のいい人生を歩んできました。そんな私の学生時代の口癖は「ピンチはチャンスやで」でした。当時は単純にピンチに陥った人を元気付けるために乱発していただけだったのですが、単位を落として留年しそうな友人や、アルバイトで運搬用の自動車を破壊して落ち込む友人などに、この言葉を掛けて大いなる恨みを買ってきました。

当時は特に根拠もなく発していたこの言葉ですが、最近「意外に的を射ていたかも」と思い始めてきました。イノベーションの手法に関する取材で「革新を起こす人たちは減るものを嘆くのではなく、増えるものに対してどう取り組むべきかに目を向けている」という話を聞いたからです。

事業を行う中で売り上げだったり、利益だったり、取引先だったりが増えることはマイナスで大きなピンチだといえます。多くの人はここで嘆いて考えを止めてしまいます。しかし、革新を起こす人は、ここで“減るもの”を見るのではなくこの現象で生まれた“増えるもの”を見ます。例えば売り上げが減ることで、付帯作業が減り今後のビジネスを創出する時間が生み出せたり、取引先が減ることで1件辺りの顧客にかかる時間を増やし顧客満足度を高めることができたりという“チャンスに変えることができるというわけです。全てが革新につながるわけではないでしょうが「ピンチだピンチだ」と嘆くだけでは状況は変えられません。「変化する事象を見定めて、その中の可能性を探る」という意味では、非常に価値のある考え方だな、と思います。

最近、この“ピンチはチャンス”発想の究極体だと思っているのが「日本は課題先進国」という、三菱総合研究所 理事 小宮山宏氏の言葉です。日本は世界でも最も早く少子高齢化を迎え、労働力人口の減少や社会コストの増大、インフラ老朽化など数多くの問題を抱えています。これらの課題はどう考えてもピンチ以外の何者でもありません。

しかし、課題先進国という捉え方は、課題を“増えるもの”と認識し、その課題をいち早く解決することで、新たなビジネスを創出しようという非常にポジティブな考え方です。日本と同様の課題は一部を除いて先進国共通の課題です。また、インフラ整備の問題は新興国でも深刻で、遅かれ早かれ世界共通の課題になるともいえます。これらの課題をいち早く解決するノウハウや技術を日本企業が生み出したとしたら、日本国内はもとより世界に売り出す新たな価値を提供できるようになります。

実のところ、この課題先進国である日本のピンチをチャンスに変える重要なポイントは、@ IT 読者である IT 技術者の皆さんと、われわれ MONOist 読者である製造関連技術者の皆さんに懸かっているのではないかと考えています。人口減少や労働力減少の中、必要な価値を国内で創出するには IT とエレクトロニクスので効率的に高い生産性の労働を生み出さなければなりません。それにはロボットだったり IoT だったり ICT エレクトロニクスのより深い産業実装が必要となってきます。

私が学生時代に乱発していた“ピンチ”は、ほとんどが“ピンチ”のまま終わり、多くの友人を失う結果になりましたが、現在の日本の置かれた環境をチャンスに変えることができるかどうかは、ある意味で“気持ちの持ち方”に懸ってくるのかもしれない。

(MONOist 副編集長 三島一孝)

## No.690

### アイティーは四次元ポケットじゃないから。／願うのは世界平和だけ

2015年2月18日

## [コラム]EE Times Japan/EDN Japan編集部員のつぶやき 願うのは世界平和だけ

2014年のことですが、夏季休暇を利用して、私は妹と共にパリへと飛び立ちました。初めてのパリ。ルーブル美術館で数々の名画を堪能し、セーヌ川のほとりを散策し、ワインに舌鼓を打ち、すれ違う素敵なパリジャン&パリジェンヌに目を奪われ……と、ガイドブックを地で行くような、しかし夢のような時間を過ごしていました。

そして、いよいよ帰国が明日に迫った日、とんでもないニュースが飛び込んできました。何と、乗る予定だったエールフランス便が、ストライキの対象となり欠航するというのです。そう、半月にもおよび、2億ユーロもの損害を出した、エールフランス史上最長となる大規模ストライキに、私たち姉妹は見事に巻き込まれたのでした。

私「は……？ スト？ 何それ、バッターアウト的な？」

妹「それはストライク」

私「じゃあれか、囚人が着てる、縦のしましま模様のな」

妹「それはストライプ」

私「あ、じゃあれだな、あの～～……」

妹「ストだよ、スト。お姉、ストライキだよ」

私「……（絶句）」

と、アホな会話を繰り返すほど動揺した私ですが、何としても帰らなくてはなりません。とにかくエールフランスの本社へ駆け込みました。

しかし、そこは既に長蛇の列。世界各国に飛ぶ予定だった乗客たちが押し寄せていたのですから、当然です。取りあえず、ストライキの情報を調べるよう妹に頼み、私は、代替手段と、そのメリット／デメリットについて、必死に考えていました。

- 選択肢 (1) : このまま並んで、振替便を手配する

メリット : 無事に振り替えられれば、そこでエールフランスとはさよなら。アデュー

デメリット : 恐らく交渉に丸一日かかる。しかもいつの振替便になるか分からない。下手をすると延泊になる

- 選択肢 (2) : 4 ～ 5 万出して新たに格安便の片道を買う

メリット : すぐに帰国便を決められる。観光に戻る

デメリット : エールフランスの片道分の払い戻し手続きが長丁場になる可能性あり

どう考えても (2) だろう、そうだろう。同意を得ようと妹の方を振り返ると、ストライキの情報をスマートフォンで調べているはずの彼女は、「東国原、再婚!」という別のゴシップ記事を読んでいました。いつか「シメ」てもいいかな……。

というわけで、私の判断を基に旅行代理店に駆け込みました。

私「とにかく明日、パリを出られる便を。どこを経由してもいいです!!」

担当者「でしたら、アブダビ経由のエティハド便を最安値でお手配できますよ」

私「じゃ、それで!!」

担当者「はい、かしこまりました～」

私「……え、アブダビ? アブダビって、あの～～……」

担当者「ええ、中東のアブダビですよ。アラブ首長国連邦の」

私「…… (絶句)」

まあとにかく、他に代替手段はなかったので、早速帰国便を買い直し、無事に日本に戻ってくることができました。

それにしても……。

パリがあまりにも素敵で、「あ～、もう少し滞在したいなあ」とちらりと思ったのは事実。そして、旅行先を決める際、「中東にもいつか行ってみたいよね～」と話していた私たち。

下手なことは望むものじゃありません。帰国した次の日に出社した際、渡航先を知っていて、状況を案じていた同じ部署の先輩からは「村尾さん、これからは (デモのようなトラブルがないように、という意味で) 世界平和だけを願ってください」と言われ、「いや～まったく、その通りです」と心の底から同意したのです。

(EE Times Japan/EDN Japan 村尾麻悠子)

No.691

マイナンバーもDBが重要 / 我が家の電力メーターが無線通信を開始した！

2015年2月25日

## [コラム]スマートジャパン統括部長のつぶやき 我が家の電力メーターが 無線通信を開始した！

電力とエネルギーをテーマにしたメディアを担当している仕事柄、新しい電力メーターとして導入が始まった「スマートメーター」には特に新鮮味を感じていなかった。ところが、いざ我が家に設置されたというお知らせを電力会社から受け取ったら、ちょっとワクワクしてきた。毎日の電力の使用量が分かると、いったいどんな感じになるのだろうか。

電力の世界では IT の活用が遅れていて、いまだにほとんどの電力メーターは数値を目視で確認する方法を採っている。ようやくスマートメーターへ切り替えが始まり、各家庭の使用量が通信ネットワークで電力会社へ届く方法に変わっていく。大抵の場所では無線通信だが、一部の地域では街に張りめぐらされた電線を使って電力会社までデータを送る方式だ。

スマートメーターのデータで毎月の検針が自動化できるだけでなく、30分単位の使用量が家庭でも短時間のうちに分かるようになる。我が家では東京電力の見える化サービスを7月から受けることができる。スマホで自宅の電力の使用量が分かるようになると、それはそれで面白そうではないか。例えば朝の使用量がすごく多くて、夜は意外に少ないとか。平日よりも週末の方がたくさん電力を使っている、などなど。

ただし賃貸マンションに住んでいる私は、どこにスマートメーターが付いているのか分からず、まだ実物を見ていない。せっかくだから一度は見ておきたいので、次の週末に管理人さんに聞いてみることにしよう。

さて皆さんの家にも、スマートメーターのお知らせは届きましたか？

(EM インダストリー事業部 石田雅也)

No.692

@ITには「ゲーム開発」コーナーがあります / 「雑誌」の雑記/雑感

2015年3月4日

## [コラム]EMインダストリー副事業部長のつぶやき 「雑誌」の雑記/雑感

本日3月4日は、3（ザッ）4（シ）の語呂合わせで「雑誌の日」だそうです。

学生のころは本当によく雑誌を買っていました。自分のお小遣いで初めて定期購読し始めたのは、確か小学生のときの『天文ガイド』だったと思います。中学生での運命的な出会いが『マイコン BASIC マガジン』——通称「ベーマガ」です。そこから8bitパソコン（当時は「マイコン」と呼ばれていました）の雑誌をむさぼるように読みました。

書店に平積みされていた『マイコン』『I/O』『アスキー』は、分厚い誌面の半分ぐらいが広告だったため、表紙にアイロンを当ててノリを溶かして広告部分を外してから書棚に並べていました。ソフトバンクが1982年に創刊した『Oh! MZ』は“平とじ”で広告が少なく、そのコアな内容も気に入って創刊号から欠かさず購読していました。

10代のころに穴が開くまで読んだこれらの雑誌が、今の仕事の礎になっていることは間違いありません。@IT通信をご覧になっている（特に中年の）皆さんは、私とほぼ同様の体験を経て今に至っているのではないのでしょうか。

コンピューター系だけではなく、バイクやオーディオの雑誌もよく買っていました。映画に行くときは『ぴあ』、彼女ができたなら『Hot-Dog PRESS』か『POPEYE』、男性向けファッション誌『MEN'S NON-NO』が創刊されたのは高校卒業の春でした。そうそう、当時は「FM情報誌」というジャンルもあり、私は『FMレコパル』派でした。

インターネットがまだ普及していなかった1980～90年代、雑誌は専門情報をいち早く入手する唯一の方法でした。全国出版協会・出版科学研究所によると、雑誌の発行部数や売り上げは1997年がピークで、以降は毎年減少の一途をたどっています。しかも現在、雑誌を購入する年齢層の中心は中高年層で、10代の雑誌離れが深刻とのこと。確かに、わが家の中学生の娘が雑誌を買って読んでいるのを見たことがありません。

かくいう私自身も、最近ほとんど雑誌を買わなくなりました。昨年末に開業した近所の大型商業施設内に紀伊屋書店が入っているのですが、ここには雑誌のバックナンバーをiPadで無料閲覧しつつコーヒーが飲める新業態のカフェが併設されています。今度ここで、ゆっくり“雑誌めぐり”でもしてみようかと思っています。

(EMインダストリー事業部 西坂真人)

## No.693

備えるIT、支えるIT／あれから4年、自分がすべきこと。

2015年3月11日

# [コラム]EE Times Japan/EDN Japan編集者のつぶやき あれから4年、自分がすべきこと。

2011年3月11日。東日本大震災から4年――。

未曾有の被害をもたらしたあの日の出来事は、今も、昨日のこのように鮮明に覚えている一方で、東京で暮らす私の生活は、震災前とほぼ何も変わることなく戻っています。

ただ、丸4年を前にしたテレビ報道を見る限り、津波や原発で甚大な被害を受けた東北沿岸部を中心とした被災地については、まだまだ震災前の状況とはほど遠く、思うように復興が進んでいません。あらためて、震災の影響の大きさ、復興の難しさを感じるとともに、復興のために何かしたいけれど、何もできていない現状に後ろめたさを感じます。

よくよく思い返せば、私が編集を担当する『EE Times Japan』『EDN Japan』が扱うエレクトロニクス業界、とりわけ半導体業界も、震災の影響がまだ完全には拭えていないといえます。

半導体産業は地震などの自然災害に弱い産業です。半導体製品を製造するには2カ月程度の時間を要します。少し乱暴な表現ですが、その間に1秒でも電力供給が止まれば、2カ月間の努力が全て水の泡と消え、経営さえも大きく揺るがす問題に発展します。実際、三洋電機は2004年に発生した新潟中越地震による半導体工場被災が経営不振の引き金となりました。

4年前の震災では、当時、日本最大級の半導体メーカーであった「ルネサス エレクトロニクス」の茨城県にある工場が、復旧まで半年以上を費やす甚大な被害を受けました。もともと赤字体質に苦しむ経営状況の中で、追い打ちを掛けるような被災であり、企業存続が危ぶまれる状況へと陥りました。

ルネサス エレクトロニクスはその後、国が大半を出資する産業革新機構などの支援を得て再建が図られ、震災から丸4年たった今、ようやく最終黒字を計上するまでに立ち直りました。とはいえ、同社の現在の従業員数は震災時に比べ、約半分程度にまで減り、売り上げ規模も震災前の7割を下回る水準にあります。

いまだに被災地の多くの中小企業が苦しんでいる中、“産業の米”とも例えられる半導体産業は国の手厚い支援を得て、存続の危機を回避するところまでこぎ着けたといえます。



被災地の復興を促すには、まずは経済的な復興が不可欠です。甚大な被害を受けつつも、一方で手厚い支援を受けた半導体業界は、“復興のシンボル”となり雇用や経済活性化面で還元していく義務があります。エレクトロニクス業界の恩恵にあずかるメディアに身を置く私自身も微力ながらも、業界の復活に貢献していかなければならないと、強く思い直している次第です。

(EE Times Japan / EDN Japan 竹本達哉)

No.694

真実をつかむための技術 / 数字は巡る。4のアリナシ、0のアリナシ。

2015年3月18日

## 【コラム】MONOist編集者のつぶやき 数字は巡る。4のアリナシ、0のアリナシ。

とりとめのないことを考える瞬間が面白い。

電車がホームに入ってくる瞬間。風呂で肩までお湯につかった次の瞬間。ベッドに入って眠りに落ちる寸前。何気ないことを思い浮かべて考えて、結論も求めずに思考をめぐらせるのは一種の「入神状態」のような楽しさがある。

あるとき脳裏に浮かんできたのが、「サムライブルー」（サッカー日本代表のユニフォーム）に背番号「4」を付けた金髪の日本人サッカー選手。そう、本田圭佑選手だ。

Jリーグのクラブチーム「名古屋グランパス」からオランダ エールディビジエの「VVV フェンロ」、ロシア プレミアリーグの「CSKA モスクワ」、そしてイタリア セリエ A の「AC ミラン」へと移籍し、いまやヨーロッパきっての名門サッカークラブで背番号「10」を背負っているのはご存じの通り。

サッカー選手が背番号を付けてプレーするようになった理由は諸説あるが、時期はおよそ 1920 年代のことだという。当初は試合ごとに 1 ~ 11 の番号が割り当てられていたので、その慣習からポジションと番号が緩やかにひも付けられていくことになった。

その後、試合ごとではなく個人ごとに番号が割り当てられるようになって、徐々にポジションと番号、選手と番号、二つの結び付きが混在していくようになる。

現在でいうと、10 番といえば攻撃の全権を握る（起点となる）攻撃的な中盤の選手というイメージで、9 番はストライカー、1 番はゴールキーパーといった組み合わせが一般的だ。1 ~ 11 の番号の中で、小さな数字を付けた選手がゴールキーパーやディフェンダーなど守備的なポジションを担い、大きな数字の選手がミッドフィールダーやフォワードなどの攻撃的なポジションを担うというのが大まかな割り当てになっている。だからこそ、本田選手のように日本代表チームのユニフォームに「4」という小さな数字を付けていながら、攻撃的な働きをするというのはあまり聞かない組み合わせだ（AC ミランでは「10」だが）。

もっとも本田選手は背番号について「違和感があると言われるけど、それは常識にとらわれ過ぎ。（イメージ

を) 変えていければ面白い」と発言していて、そのあたりは「ホンダ節」なのだろう。彼らしい。

ではサッカーを離れたとき、「数字」そのものはどんなイメージをまとうのだろうか？

「1」だと「始まり」や「起源」、「2」だと「次世代」とか「両極」だろうか。「次世代」でいうと Web 2.0 なんていう言葉が流行した時期もあった。「5」だと『ゴレンジャー』のような「戦隊もの」かもしれないし、「8」だとやっぱり「末広がり」だろうか。

このイメージはおそらく人によって違いがあるだろう。数字そのものにわれわれが持つイメージからは、語呂合わせや個人の生い立ち、文化や宗教、いろいろなところに因果を求められることができるように思える。そんなことをとりとめもなく考えるのはとても面白い。

映画『十二人の怒れる男』や『七人の侍』、小説『永遠の0』など、映画や小説のタイトルに数字を含んだものが多いのには、受け止める側にイメージをふくらませてもらえる効果があるからかもしれない（『永遠の0』の「0」は零戦の「0」だろうが、何も無い=0のイメージと「永遠」の組み合わせは想像をかき立てるものがある）。そういえば、小説『そして誰もいなくなった』は直接、数字を含んでいないが、誰もいなくなった=0人なので、遠回しには数字の入ったタイトルといえるだろう。

ちなみに、日本サッカー協会は選手の背番号について「番号は整数の1から99を使用し、0は認めない」としている。

筋書きの有無は別として、見ている者にドラマを提供するという意味では同種のエンターテインメントだけれども、物語に「0」はアリ、サッカーの背番号に「0」はナシだったのだ。

(MONOist 渡邊宏)

## No.695

### 就職、転職、異動……、荒波を生き残れ／人生の帳尻

2015年3月25日

# [コラム]TechTargetジャパン編集者のつぶやき 人生の帳尻

桜の季節がやってきました。

週末の「花見で一杯」を早くも待ち焦がれている方も少なくないと思いますが、私のように酒を飲まない人間でも、この時期はやはり何となく心が躍るものです。だから、お花見に誘われれば、喜んでどこへでも飛んで行きます。ドーナツを片手にホットチョコレートをすすりながら、ハイテンションな酔人のノリについていくのもまた、楽しいものです。

もともと酒好きだった私ですが、あるとき健康上の理由をきっかけに断酒しました。本当に止められるのか、3日坊主で終わったら恥ずかしいから黙っていようか、我慢し過ぎて禁断症状が出たらどうしよう……、などと不安はあったものの、やってみると意外と何とかなるものです。今日まで約2年半、幻覚を見ることもなく、脱アルコールの日々を継続しています。

「飲まなくなって人生何か変わったか?」とよく人から聞かれます。しかし、実はこれといって思い当たる変化はありません。家に早く帰るようになったわけでもなければ、お金がたまるようになったわけでもないのです。全く変化がないので、自分でも驚くほど。

「赤ちょうちんで一杯、締めはラーメン」という生活からは抜け出しましたが、その分甘いものを食べるようになったため、全体的な摂取カロリーは変わりません。

酩酊して電車で「寝落ち」することはなくなりましたが、目がさえている分、スマートフォンでの読書だけに夢中になりがちで、結局最寄り駅で降りそこなうことはしばしばあります。酔って記憶をなくすことはなくなりましたが、寄る年波か、何事も忘れっぽくなってきました。

人生うまく帳尻が合うようにできているものですね。

(TechTarget ジャパン 織茂洋介)

No.696

IoT=Internet omoroi Things!?! / 同世代の友達が欲しい

2015年4月1日

## [コラム]ITmedia Mobile編集部員のつぶやき 同世代の友達が欲しい

趣味のコミュニティというのは年齢や性別を超えて共通の話題に興じられるという特徴がありますが、私の趣味はポーカー、ボードゲーム、マージャン、囲碁、格闘ゲームなどで、基本的に30代~40代前半の男性しかいません。1988年生まれの26歳ですが、同世代の友達がほとんどいないというのがちょっとした悩みです。

同世代の友達がもっと欲しいなあと思いつつも、サイコロステーキを食べながら「バラバラの肉を見ると、ミキサー大帝にバラバラにされたミートくんを思いだすね」「いや、ミートくんをバラバラにしたのはバツファローマンで、ミートくんバラバラにされたのがミキサー大帝だよ」みたいな80年代トークができないのも寂しいなと感じる自分もいます（80年代のマンガ『キン肉マン』が分かる人には分かる話題です）。

かといって、若者に人気のあるゲーム『モンスターハンター』などに手を出すと、オンライン上で初対面の人にいきなり「よう、チンパン」などとあいさつされるので、怖くてしょうがない。

このように、どこに行っても「濃いメンツ」に囲まれてしまうので、同世代のナウでヤングな若者たちと話しても物足りなく感じるのではないかという不安もあります。そんなとき、そのスジの玄人たちが集うゲームバーで今風な20歳の女子大生を見かけて、珍しいなあと思って眺めていると、突然『ラストハルマゲドン』（1990年に発売されたゲームソフト）のBGMを口ずさみ始めたんです。その場にいた全員が心の中で「いやいや、お前何歳だよ!」って突っ込まずにはいられなかったんですが、「人を見た目で判断してはいけない」という好例だなと感じた次第です。別のゲームバーにいた同年齢の女性も、往年のゲームソフト『ファンタシースター』が好き過ぎて、突然、「セガ・マークIII」の話振ってくるという突き抜けっぷり。

本当にそんな女子がいるのかと疑いたくもなりますが、本日は4月1日。「信じるか信じないかはアナタ次第」ということで。

(ITmedia Mobile 編集部 村上万純)

## No.697

### 「ジャバぷろぐらむって何ですか?」/ 私の仕事は? あなたの仕事は?

2015年4月8日

# [コラム] TechTarget ジャパン編集長のつぶやき 私の仕事は? あなたの仕事は?

自分の仕事は何なのか、分からなくなることがあります。一応、編集者ということになっているのですが、一般的にイメージされるコンテンツの企画や構成、執筆という編集業務に加えて、メディア全体のビジネスモデル構築や、クライアント対応、ユーザーインターフェース改善、検索エンジン対策などさまざまな仕事をしています。メディアやコンテンツを中心とした“何でも屋”というところでしょうか。

では、何でも屋が残念かというところではないのです。従来は確かにコンテンツのことだけを考えていたのですが、私の場合はそれでは成長を感じることができませんでした。メディア戦略についての資料を作ったり、慣れないプレゼンテーションをしたりすることは確かに難しいし、プレッシャーなのですが、かつての編集者では体験できなかったことかもしれません。メディアビジネスの中心となり、事業を推進するアイデアとその実行を担えるのは幸せなことだと思っています。

私の所属する TechTarget ジャパン編集部では、メディアビジネスに関心がある編集者を募集しています。TechTarget ジャパンは企業の製品担当者を対象にしたメディアです。技術に加えて、その長期的なトレンドや自社ビジネスへの適用、投資対効果を考える人が読者です。読者やクライアントから結果を出すことが求められているメディアですが、その分やりがいがあります。一緒にメディアビジネスの最先端に触れ、将来を考えていきませんか? ご応募お待ちしております。

(TechTarget ジャパン編集部: 垣内郁栄)

## No.698

### iPhoneアプリの作り方が分かればアップルウォッチのアプリも作れる/ 仕事帰りにふらっと帰宅ランのススメ

2015年4月15日

## [コラム]TechTargetジャパン編集長のつぶやき 仕事帰りにふらっと帰宅ランのススメ

運動不足を解消しようと思って始めたランニングですが、気が付けば四年目となりました。目下の目標は、フルマラソンを四時間以内でゴールすること。しかしながら、平日はなかなか走る時間を確保できません。出勤前の早朝、帰宅後の夜中に走ることもできるのですが、さまざまな誘惑に負けて、つついサボりがちになってしまいます。

そこで試してみたのが、会社から自宅まで走って帰る「帰宅ラン」です。私の場合、その距離はおよそ 25km。週一回程度で継続できれば、月間で 100km ほどの走行距離を稼ぐことができます。仕事の疲れを抜きながらのんびりと走れば、効果的な練習方法になるのではないかと考えたのです。

帰宅ランのコツは荷物を身軽にすることです。ランニングに必要なものはできる限り会社に置いておくことが得策です。また、帰宅ルートを事前に確認しておくこともお勧めします。繁華街は人の往来が激しく信号待ちも多いため、できれば避けるルートを選ぶことをお勧めします。最初はルートの一部で電車を使うことで走る距離を調整し、慣れてきたら徐々に距離を延ばしていてもいいでしょう。

メリットは、早起しなくても平日にトレーニングができ、月間の走行距離を延ばせることです。普段は電車で通勤している距離でも「意外と走れるものだ」という驚きと気付きが得られるでしょう。週末だけでは走り足りないランナーは、ぜひ一度、帰宅ランを試してみたいかがでしょうか。

(TechTarget ジャパン編集部：藤本和彦)

No.699

プログラマーのためのリーン・スタートアップ入門 / 「お嬢様聖水」を飲んでみた

2015年4月22日

## [コラム] キーマンズネット編集部員のつぶやき 「お嬢様聖水」を飲んでみた

何という響きでしょう。お嬢さまの透き通るほど清く涼やかな、聖なるウオーター。ガスを含んだ小さな玉がキラキラ光る、黄色味がかかった聖なるウオーター。

この「お嬢様聖水」の正体は、女性の美のためのエナジードリンク。体が求める 117 種類の自然の恵みを凝縮した炭酸飲料です。東京であれば地下鉄の売店で買うことができます。190 ミリリットル入りで価格は 210 円 (税込み)。一口飲めば、私の中の「お嬢さま」が目覚めます。今日も朝からチャージです。

生まれてこの方、女ですものお嬢さまに憧れて生きてきました。でも、いろいろと道を間違えたようで、お嬢さまどころか、現在たどり着いたのは「中年小市民」。なぜ間違ったのか。「これまでの人生分岐点では、お嬢さまとして成人するためのチョイスができなかったのか?」「お嬢さまになるための判断として、条件を考え抜いて十分に出し切ったのか?」……。この聖水を一口飲むと後悔が押し寄せてきます。

「なぜできなかったのか?」——その答えは、おそらくまだ人生が一回目だから。

今から若いころの自分に教えてあげたい。その選択が後々影響することを。制服を着た高校生の自分に戻りたい。将来大成する男子を校舎でロックオンするところからやり直したい。

「お嬢様聖水」を飲んで私の中の「お嬢さま」が目覚めたと思ったら、青春ノイローゼにもなる恐怖のウオーター。美を手に入れるって、そう簡単じゃないのですね。

ということで、人生は一回しかありませんが、この 4 月からアイティメディアに加わった「キーマンズネット」は、二回目の人生が始まりました。@ IT 読者の皆さま、よろしければこちらでも会員登録をお願いします。

(キーマンズネット編集部: 野崎美穂)



## No.700

### 700号記念☆創刊を振り返る(1) / この15年で、何が変わり、何が変わらなかったのか？

2015年5月13日

#### 【コラム】@IT編集長のつぶやき

# この15年で、何が変わり、 何が変わらなかったのか？

いつも@ IT をご愛読くださり誠にありがとうございます。@ IT 編集部の内野です。実は 2015 年 5 月 22 日、『@ IT』はサイトオープン 15 周年を迎えます。

@ IT がオープンした 2000 年 5 月 22 日といえば、まだ時代は「IT バブル」。1990 年代の Windows 95 発売、アマゾンなど E コマースの活性化などを受けて、社会全体が IT を中心に大きく盛り上がっていたころです。その後間もなくして IT バブルははじけるわけですが、その後も、Web 2.0 ブーム、ソーシャルメディアの浸透、仮想化／クラウドによる企業 IT システムのパラダイムシフトなど、実に目まぐるしい速でさまざまな技術、事象が立ち現われてきました。

この間、@ IT も年々拡大し、当初は五つでスタートした専門フォーラムも、現在は十五を数えるまでになりました。特に近年はテクノロジーの進展、システム構成の在り方の変容などにより、専門フォーラムをまたがる技術、情報も増え、媒体としても“見せ方”の変革を問われている状況にあります。「技術者のための専門情報サイト」という基本ポリシーを堅持しながらも、時代に応じて媒体も変化を求められ続けているわけです。

興味深いのは、これまでの記事を振り返ってみると、この「15 年で変わったこと」「変わらなかったこと」「繰り返していること」が、おのずと浮き彫りになることです。例えば 2000 年に公開された記事でも、いまだにランキング上位にとどまり続けているものもあれば、数年前は非常に高い PV を記録しながら、現在はあまり読まれなくなってしまっているものもあります。あるいは、ここ数年読まれていなかったものの、最近になって再び盛り返している記事も。

@ IT は「短期間で陳腐化しない情報」を提供するサイトであることが特徴の一つ。それ故に、過去を俯瞰すると、こうした IT 業界の変遷や本質的な物事がよりくっきりと立ち上ってくるのでしょうか。思い出深いキーワード、パスワードはさまざまありますが、この 15 年間で何が残り、何が消え、何が繰り返しているのか、皆さんはどのように見ていらっしゃいますか？

@ IT 編集部ではこれからも専門情報サイトとして、“実際に頭を働かせ、手を動かせる”中身の濃い情報をお

届けしていきます。編集部一同、情報提供にますますまい進いたしますので、どうか今後とも@ IT をよろしくお願いたします。

なお、@ IT 編集部では 15 周年を記念して「15 周年記念企画シリーズ」を 5 月末からスタートする予定です。「これまでの 15 年、これからの 15 年」を考えるさまざまなコンテンツを順次公開していきますので、ぜひ皆さんも 15 年間の思い出を振り返りつつ、今後の 15 年を展望してみたいかがでしょうか。

(@ IT 編集長：内野宏信)